UCLA
UCLA Previously Published Works

Title

Dictionary of Ikema, a variety of Miyako Ryukyuan 南琉球・宮古語 池間方言辞典：西原地区版 第3版

Permalink

https://escholarship.org/uc/item/5gn0r27b

Author

Iwasaki, Shoichi

Publication Date

2025-01-24

DOI

10.15084/0002000466

Peer reviewed

eScholarship.org Powered by the California Digital Library
University of California

国立国語研究所学術情報リポジトリ

南琉球・宮古語 池間方言辞典：西原地区版 第3版

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2025-01-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲間, 博之, 田窪, 行則, 岩崎, 勝一, 五十嵐, 陽介, ダニエル, ワイマーク, 中川, 奈津子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000466

南琉球・宮古語　池間方言辞典

西原地区版

仲間博之

田窪行則

岩崎勝一

五十嵐陽介

ダニエル・ワイマーク

中川奈津子

謝辞

本辞典の凡例、構成などは、以下の文献を参照させていただきました。

上地徳男 (2021)『佐良浜方言語彙辞典』ボーダーインク.

内間直仁、野原三義 (2006)『沖縄語辞典』研究社.

国立国語研究所 (2001)『沖縄語辞典』国立国語研究所.

下地賀代子 (2017) 『たらまふつ辞典』多良間村教育委員会.

富浜定吉 (2013)『伊良部方言辞典』沖縄タイムス社.

渡久山春英、セリック・ケナン (2020)『南琉球宮古多良間方言辞典』国立国語研究所.

本辞典の発刊に当たっては以下の財政的援助を受けた。

科学研究費補助金基盤研究 (B)「言語使用と非言語的認知操作における空間指示枠の相関についての実験的研究」(課題番号 17H02333 代表田窪行則)

科学研究費補助金基盤研究 (C)「可能世界を用いない様相表現の意味論的枠組みの構築ー日本語様相表現を中心に」(課題番号 20K00586 代表今仁生美)

科学研究費補助金基盤研究 (B)「時空間・論理領域の間の類比マッピングの形式モデル化とその検証」(課題番号 23320085 代表田窪行則)

科学研究費補助金基盤研究 (A)「消滅危機言語としての琉球諸語・八丈語の文法記述に関する基礎的研究」(課題番号 24242014 代表狩俣繁久)

科学研究費補助金基盤研究 (B)「比較言語学的方法による日本語・琉球諸語諸方言の祖語の再建および系統樹の構築」(課題番号 17H02332 代表五十嵐陽介)

科学研究費補助金基盤研究 (C)「日琉祖語の再建を目的とした同源性タグ・意味タグ付き語彙データベースの構築」(課題番号 21K00517 代表五十嵐陽介)

UCLA Terasaki Center for Japanese Studies

UCLA Asia Pacific Center

協力者 (敬称略)　村の長老の方々に語の意味、発音、用法、などの確認をしていただきました。特に、池間吉子さんにはそのほかにも宮古上布、儀礼、習慣などに関する文化的な情報に関して多大なる御教示をいただきました。以下皆様のお名前と生まれ年をそえ感謝の代わりとさせていただきます。

(故) 高里ハル (大正 11 年)、(故) 仲間松子 (昭和 3 年)、仲間初枝 (昭和 2 年)、池間吉子 (昭和 12 年)、砂川愛子 (昭和 13 年)、仲間忠 (昭和 18 年)

その他協力者　それぞれの専門分野に関する情報をいただきました。

仲間和俊 (昭和 20 年)、池間清吉 (昭和 24 年)、仲間正幸 (昭和 24 年)、本村邦彦 (昭和 28 年)、楚南聡 (昭和 31 年)、仲間宣子 (昭和 23 年)、砂川正吉 (昭和 22 年)、仲原正昇 (昭和 22 年)

仲間博之氏の次女仲間寛子さんにはさまざまなコンピューター使用に関するアシスタントをしていただきました。また池間島在住の伊良波盛男氏、具志堅基氏、「きゅーぬふから舎」代表の前泊博美氏からもいろいろな援助をいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

まえがき

まえがきばが　つーふぁい　っヴぁがまぬ　ときゃんどぅ　んまー　かん　ないたい。あやひどぅ　ばー　ぱーん　そぅだてぃらいたい。ぱーや　がっこうまい　いでぃっだんば　ずーまい　ゆまいん　かつまいひらいん　やまとぅむぬいまい　あっじゃいん　ひとぅどぅあたい。ばんとぅ　ぱーとぅが　むぬいや　いつまい　すまぬ　むぬいどぅ　あたい。また　がっこうんいきーまい　すまぬ　むぬいどぅ　はーさかたい。

私が赤ん坊のころ、私の母親は亡くなりました。それでわたしは祖母に育てられました。祖母は学校もでていなかったので、字も読めず、書くこともできない、共通語も話せない人でした。私と祖母の会話はいつも村の言葉でした。また、学校に行っても村の言葉がたくさん話されていました。

あやひー　っさらぬ　こーこーんかい　いきー　やまとぅむぬいや　まーぬ　むぬっじゃいっだん。みどぅんあぐたが　なうやひー　ひろゆきゃー　こーこーあいきゃ　なうちゅんま　むぬっじゃだ　うたいそぅが　んなまー　なうやひー　うんそぅく　むぬっじゅーがてぃ　つきゅーば　あがい　うらー　なうぬ　くとぅー　あらん、やまとぅ　むぬいぬ　あっじゃいんだきどぅ　あたいてぃー　あいてぃがー　ばらいー　うたい。だいがくー　いでぃー　こーこーぬ　しーしーん　なりー　やまとぅ　むぬい　ほぅっでぃー　あすてぃがー　ふっちゃ　くぱりーうたい。

そして、平良の高校に行きましたが、共通語はあまりはなせませんでした。同級の女子学生たちがどうして博之は高校の時は何も話さなかったのに、いまはどうしてたくさんはなすのかと聞くので、それはなんということはない、共通語を話せなかっただけだと、言うと笑っていました。大学を出て、高校の教師になって、共通語を話そうとすると、口が固まってしまっていました。

すまぬ　むぬいぬ　じてんぬ　っちゅふぁっでぃ　うむいたい　むぬー　んなまから　１７かねんまいどぅ　あたい。ばー　いつまい　うなが　まっふぁぬ　あーぎん　ほーげん　のーとを　うっきー　うむいいだすが　かず　かきゅーたい。ゆなか　すばい　っさっでぃー　あすとぅきゃんどぅ　ゆながい　つかいや　みーん　むぬいまい　うむいだ

はい　うたいば　っふぁどぅくまんまい　かきゅーたい。すばいや　っしーってぃから　かかっでぃー　あすてぃがー　んめ　きつぎんてぃー　ばっしーどぅ　うたい。あいえいば　っふぁどぅくま　やらばんまい　わいてぃー　かかだかーならっだん。

村の言葉の辞典を作ろうと思ったのはいまから１７年前でした。私はいつも自分の枕の上に方言ノートを置いて、思い出すたびに書きました。夜中、小便をしようとするときには長い間使っていなかった言葉も思い出したので、暗いところでも書いていました。小便をしてきてから書こうとしたら、（書こうとした単語を）きれいに忘れていました。だから、暗いところであっても、一生懸命書かないといけませんでした。

くぬ　じてんな　たくぼしーしーや　とーきょー、いわさきしーしーや　ろすあんぜるす、ばー　うつなーん　うとぅい、いふてぃまい　へんしゅーかいぎゅー　ひーったい。あやひーまた　あくせんとぬ　いがらし　しーしー　へんしゅーぬ　なかがわ　しーしーが　そぅいー　やぐみ　じゃうたう　あたい。

この辞典は、田窪先生は東京、岩崎先生はロスアンジェルス、私は沖縄にいて、なんども編集会議をしてきました。また、アクセントの五十嵐先生、編集の中川先生が、参加してくれてとてもよかったです。

くらー　17かねんまいん　すきゃきたい　むぬ　えいば　うなが　かきゃー　むぬまい　ばっしゅー　むぬまい　はーさ　あたい。あいえいば　すまぬ　あにそぅじゃんみんから　ゆー　ならいまい　あすたい。いけまよしこ　しーしー　はずみ　つむでぃまい　ほぅだ　ならーす　じゃうっじゃひー　ふぃーさまいー　やぐみ　すでぃがほー。あやひーまた　たくぼしーしー　はずみ　こくりつこくごけんきゅーしょぬ　やびとぅーんーなやぐみ　すでぃがほー。

これは１７年前に始めたものですから、自分が書いたことを忘れているものもたくさんありました。それで、村の先輩方からもしばしば教えてもらいました。池間吉子先生はじめ、怒りもせずに、ご教授下さり、大変ありがたく存じます。また、田窪先生はじめ、国立国語研究所のみなさん、とても感謝いたします。

2022年1月（文責　仲間博之　翻訳　田窪行則）

序

本辞典は南琉球宮古語池間方言（以下「池間方言」）のうち宮古島北部に位置する西原地区にみられる下位変種の基本的な語彙および成句、約 6,000 項目を収録したものである。池間方言は宮古島の北に位置する池間島を発祥の地とし、現在はその池間島のほか、佐良浜（宮古島西隣の伊良部島東部海岸より）、そして西原の三地区で話されている。佐良浜地区には約 300 年前、西原地区には約 150 年前（明治 7 年）に池間島から、琉球王府の命令により分村という形を通して池間方言話者が移住してきた。この三地域で話される池間方言は微細な違いはあるもののお互いのコミュニケーションには全く支障はないとされている。現在でもこの三地域の人々は「池間民族のつどい」という毎年の行事を通し、言語文化を共有する「一民族」というアイデンティティ継承の努力を続けている。

宮古島市・統計みやこじま（miyakojima.lg.jp) によると令和二年 (2020 年）現在の人口は西原（800 人)、池間島（521 人)、佐良浜（2654 人）であるが、このうち池間語を流ちょうに話せる話者は 60 歳から 65 歳以上の話者で、これは全人口の約 3 割にあたる 1300 人ほどと推定される。しかし、理解度テストを用いた我々の最近の調査では、30 代後半でも人によっては 60 代以上とほとんど変わらない理解力を持っていることがわかっている。つまり、これらの若い世代の話者は積極的に話すことはないものの、十分な理解力はあり、潜在的には話者になる可能性があると思われる。このような潜在話者が池間方言を話さないのにはさまざまな要因があるが、年上の世代から言葉の使い方をとがめられたり、学校教育での共通語の強制的使用などがあげられるであろう。いずれにせよ若い世代が池間方言を使わない今の状態が持続すれば現在 60 歳の人口が 90 歳になる 30 年後には池間方言はユネスコの規定する消滅危機言語の中でも最も危機度のたかい「危篤状態」（Critically Endangered）の段階に達していると思われる。この状態を鑑み、宮古地域でも地元地域言語の活性化に関する関心は高まってきており、西原地区においては老人会総出の「西原村立て」という歌と踊りをともなったお芝居の発表や、「ひよどり」幼稚園園長花城千枝子氏による方言による創作絵本の作成、小学生による方言発表会などが行われている。本辞典はこのような方言活性化への貢献、特に将来の学習者育成へのささやかな手助けになればという思いで作成されている。正確性を保つためにやや専門的な解釈や記述も混ざってい

るが、なるべく一般の読者の理解の妨げにならないよう努力した。

本辞典に収められている見出し語は宮古語池間方言の西原下位方言の母語話者である仲間博之氏の内省によるものであるため、池間島、佐良浜の方言形は含まれていない。田窪行則（約 3500 語）、岩崎勝一（約 3500 語）、林由華氏（約 800 語）がフィールドワークで採集した語彙を、仲間博之氏が独自で作成していたリストと照合しながらすべての語彙について、発音、品詞を確かめる形で進行した。例文については、仲間氏の作成したものの外に、田窪・岩崎がフィールドワーク中に記録した例や、ひよどり保育園園長の花城千枝子氏の創作童話や「西原村立て」のせりふなどからも適宜採用してある。例文作成に当たっては、理解のための語彙集ではなく、現代生活を池間方言で営むための例も取り入れるよう努力したが、十分ではないかもしれない。なお意味及び使用法が不確かな場合は他の母語話者に確認を依頼した。特に池間吉子さんには語彙の意義および文化的な情報に関して度重なるご協力をいただいた。

辞書の形にするにあたり、アクセントについては五十嵐陽介が改めて調査し、その結果を掲載してある（凡例のアクセントの項目参照）。エクセルの表を TeX に変換して、組版する作業は中川奈津子が行った。また、中川は編集全般を担当している。校正の最終段階では大野剛氏（カナダ・アルバータ大学教授）の協力を得た。

本辞典は 2006 年 1 月に正式に開始した「池間プロジェクト」の一成果である。このプロジェクトは大野剛氏が提案し、それに田窪行則（当時京都大学教授、現在国立国語研究所）と岩崎勝一（UCLA 教授）が加わり、さらに林由華氏、田村早苗氏、川田拓也氏をはじめとする京都大学の大学院生らが参加する形で綿々と継続されてきた。これら池間プロジェクトのメンバーおよび我々を支えてくださった支援者の皆さんとともにこの辞書の完成を喜びたい。この辞書はまだ完成には程遠いものである。さらに改訂を続けて行きたいと思う。

第 2 版のまえがき

第 2 版にあたり、以下の修正、追加を行った。この修正にあたっては、Daniel Wymark 氏の多大な助力を得ることができた。(1) 共通語から池間方言を引ける逆引き索引を巻末に付した。文の共通語訳のなかから候補を自動抽出し、共通語訳の方を見出し語にして配列したものである。共通語から本文の対応単語を探すための補助となるように作成したものである。あくまで簡略なものであり、本格的な共通語-池間方言辞典として使うものではない。(2)「。」や括弧が抜けているものや多すぎるものを修正し、辞書の例文などが見出しとずれているものを修正した。(3) 1 刷り印刷後に新たに思いついた単語や表現を追加した。

第 3 版のまえがき

第 3 版では第 2 版の誤植等を訂正した。オンライン出版のみである。第 3 版をもとにした、「南琉球宮古語池間西原方言音声語彙データベース」を公開済みで (https://doi.org/10.48708/7238327)、例文と音声がセットになったデータベースも公開予定である (2024/1/7 現在)。第 3 版作成に当たり、「学術知デジタルライブラリの構築」の助成を受けた。

凡例

1　見出し語

本辞典に採用した見出し語の大部分は現在池間方言 (西原下位変種) で使用されている語彙および成句であり、池間方言を理解し話すために必要なものである。少数日本語などからの借用語も含まれるが、借用元の言語は表示しない。さらに古謡の中から採集した語、現在では使われない古語や差別的と思われる用語、蔑称、卑語なども一部含まれているが、これらは歴史的記録として掲載することとした。例文についてはなるべく差別的なものは取り除く努力をした。

2　表記・表示

見出し語はひらがなで表記したが、長音は「い」や「う」を用いず、長音記号「ー」をもって示す (例：「みー (目)」、「どーそー (同窓、同級生)」「そぅー (野菜)」など)。「じ・ぢ」「ず・づ」に関しては、語源にかかわらず、「じ」「ず」のみをもちいる。「ち」「つ」が連濁しても「ず」「じ」を用いる。例文の共通語訳では魚、植物、場所、人名などはカタカナ表記を用いた。ただし漢字が定着している場合は漢字を用いる (例：「平良」など) ひらがな表記とともに簡易発音記号および品詞を表示 (下記参照)。名詞の意味分類が必要と思われる場合は略号 (〖魚〗、〖鳥〗など) により表示 (下記「略語・記号」参照)。動詞はその基本形を示しその活用タイプを表示 (下記参照)。三モーラ以下の名詞、動詞、形容詞にはアクセント型を表示した。詳しくは (下記「アクセント」参照)。

3　音節表

この表はこの辞書の見出し語における音声表記に現れる音節を「ひらがな」および簡易音声表記で示したものである。簡易音声表記は精密な音声表記を記したものではなく便宜的なものである。また動詞の活用の説明ではこの表記とは完全に一致しないローマ字表記

を使っているので注意されたい。簡易音声表記の留意点を以下にまとめた。

- 母音記号は [a, i, u, e, o] の五母音のほか中舌母音 [ɨ] を認める。
- 長母音は長音記号 [ː] で表す。
- 中舌母音 [ɨ] は子音 [s, ss, z, zz, ts, tts] のあとにのみ現れる。
- 母音 [e] および [o] をもつ音節はほぼ終助詞、借用語、感動詞、オノマトペに限られており、頻度が極端に低いため、( ) にいれて示す。ほかのいくつか頻度の低い音節も（ ）に入れ示す。
- 池間方言では「ざ」はたまに「じゃ」の自由異音として現れる。この場合頭子音は [z]～[dz] の間で揺れることもある。音節表では [z] をもちいる。
- 「っざ」「っぞぅ」も頭子音は [z] をもちいる。
- その他の有声歯茎子音は [z, ʐ, zz, ʐʐ] などで示す。
- 「は」行の音に関しては常に [h] を用いる。
- なお「ふ」[fu] と「ほぅ」[hu] は対立する: (「ふ―」[fuː] (来る) 対「ほぅー」[huː] (船の帆)
- 「っら、っり、っる」は [rra, rri, rru] で示す。[rr] は正確にはそり舌 (retroflex) の完全な閉鎖に後続するそり舌はじき音、すなわち [ɖɽ] であるがこれも揺れがある。
- 促音は子音を重ねて示す: [zza, ʐʐa]
- 拗音は [j] の渡り音をもってしめす: [hja, kju]
- 撥音「ん」は [m][n][ŋ] (直後の子音の調音位置に同化) であらわす。語末は [n] であらわす。
- 形態素の最初のみに現れる無声撥音「ん゜」は、[n̥] [m̥] (直後の子音の調音位置に同化) であらわす。
- なお表の中で空欄になっている部分は普通使われない音節である。

あ	い		う	(え)	(お)
[a]	[i]	[ɨ]	[u]	[e]	[o]
か	き		く	(け)	(こ)
[ka]	[ki]		[ku]	[ke]	[ko]
っか	っき		っく		
[kka]	[kki]		[kku]		
きゃ			きゅ		(きょ)
[kja]			[kju]		[kjo]
っきゃ			っきゅ		
[kkja]			[kkju]		
が	ぎ		ぐ	(げ)	(ご)
[ga]	[gi]		[gu]	[ge]	[go]
ぎゃ			ぎゅ		
[gja]			[gju]		

ちゃ	ち		ちゅ		(ちょ)
[tɕa]	[tɕi]		[tɕu]		[tɕo]
っちゃ			っちゅ		
[ttɕa]			[ttɕu]		
だ	でぃ		どぅ		(ど)
[da]	[di]		[du]		[do]
っだ	っでぃ		っどぅ		(っど)
[dda]	[ddi]		[ddu]		[ddo]
な	に		ぬ	(ね)	
[na]	[ni]		[nu]	[ne]	
にゃ			にゅ		
[nja]			[nju]		
は	ひ		ほぅ		
[ha]	[hi]		[hu]		

さ [sa]	し [ɕi]	す [sɨ]	そぅ [su]	(せ) [se]	(そ) [so]		ぱ [pa]	ぴ [pi]		ぷ [pu]		
っさ [ssa]	っし [ɕɕi]	っす [ssɨ]			っそぅ [ssu]		ば [ba]	び [bi]		ぶ [bu]	(べ) [be]	(ぼ) [bo]
しゃ [ɕa]			しゅ [ɕu]		(しょ) [ɕo]		ひゃ [hja]			ひゅ [hju]		
っしゃ [ɕɕa]			っしゅ [ɕɕu]		(っしょ) [ɕɕo]		ぴゃ [pja]			ぴゅ [pju]		(ぴょ) [pjo]
(ざ) [za]	(じ) [ʑi]	ず [zɨ]					っば [bba]	っび [bbi]		っぶ [bbu]		
っざ [zza]	っじ [ʑʑi]	っず [zzɨ]	っぞぅ [zzu]				びゃ [bja]			びゅ [bju]		(びょ) [bjo]
じゃ [ʑa]			じゅ [ʑu]		(じょ) [ʑo]					っびゅ [bbju]		
っじゃ [ʑʑa]			っじゅ [ʑʑu]				ふぁ [fa]	(ふぃ) [fi]		ふ [fu]		
た [ta]	てぃ [ti]		とぅ [tu]	(て) [te]	(と) [to]		っふぁ [ffa]	っふぃ [ffi]		っふ [ffu]		
		つ [tsɨ]					っふゃ [ffja]			っふゅ [ffju]		
った [tta]	ってぃ [tti]		っとぅ [ttu]				(ゔぁ) [va]					
		っつ [ttsɨ]					っゔぁ [vva]	っゔぃ [vvi]				
	っち [ttɕi]						っゔゃ [vvja]			っゔゅ [vvju]		
ま [ma]	み [mi]		む [mu]	(め) [me]	(も) [mo]		ら [ra]	り [ri]		る [ru]		(ろ) [ro]
みゃ [mja]			(みゅ) [mju]				(っら) [rra]	(っり) [rri]		(っる) [rru]		
や [ja]			ゆ [ju]		(よ) [jo]		りゃ [rja]			(りゅ) [rju]		

わ [wa]

ん [n] [m] [ŋ] (直後の環境により変化)
(「ん」の長音は「んー」で示す)

ん゜ [n̥] [m̥] (直後の環境 (「ま、な」行のみ) により変化)
(「ん゜」に「ん」が続く場合は「ん゜ん」で示す)

4 見出し語の配列

見出し語の配列は日本語のひらがな五十音順に従うが、細部は以下の規則を適用してあるため日本語の辞書とは違う様相を呈している。

- 清音、濁音、半濁音は原則としてこの順序で示す。
- 長母音は短母音の後に現れる (例：「な」「なー」)
- 二重母音は長母音の後に現れる (例：「なー」「ない」)
- 拗音は長母音の後に現れる (例：「きー」「きゃ」「きゃー」)

- 日本語にはない語頭促音は「つ」から始まる語とし、「た」行に入れる (例：「っく」[kku])
- このため実際の発音では語頭子音が全く異なるものでも連続して表示されることがある (例：「っふ」[ffu]「つふ」[tsɨfu])
- 日本語にない [v] 音はひらがな「う」に濁点をつけ「ゔ」の様に示すが、この音は少数の例外をのぞいて促音としてあらわれるので「っゔ」[vv] として現れるのが原則である。
- しかも語頭音節として現れるのは「っゔぁ」[vva]、「っゔぃ」[vvi]、「っゔゅ」[vvju] にかぎられている。「っゔゃ」[vvja] は語中にのみ現れる。
- 同様に「っぞぅ・っそぅ」[zzu/ssu] も促音としてしか現れない。
- 語頭促音で始まる見出し語の順は以下のようになる：「っゔぁ]、「っゔぃ」、「っゔゅ」、「っく」、「っさ・っざ」、「っし・っじ」、「っしゃ・っじゃ」「っしゅ・っじゅ」、「っそぅ・っぞぅ」、「った・っだ」、「っちゃ」、「っちゅ」、「っつ」、「ってぃ・っでぃ」、「っふぁ」、「っふぃ」、「っふ」
- 無声撥音「ん゜」は有声撥音「ん」の後に現れる (例：「んな」「ん゜な」)
- 「ん」の長音は「んー」と表すが、「ん゜」と「ん」の連続は「ん゜ー」でなく、「ん゜ん」と表す。無声撥音の連続は存在せず、必ず後ろは有声になるためである。また、「かーかんんまり (ケチな奴)」のように明らかに二つの単語として発音されるものは、「ん」が連続する場合でも長音表記を用いず、「ん」を明示的に表記した。

5 語義

語義にさらなる注釈が必要な場合は適宜 [　] をもちいてしめした。語彙に下位分類が必要な場合は〖　〗をもって〖魚〗の様に示した。この下位分類は語義を明確にすることが目的であるため、普通名詞として確立している物、例えば「牛」「馬」などには〖動〗(＝動物) の下位分類を示すことはしない。また一つの言葉に二つ以上の分類が可能な場合はその主な下位分類のみ示すのを標準としている (例：「ほぅぎゃん」は高粱 (こうりゃん) で植物ではあるが、もっぱら食べ物としてとらえられているので〖植〗の表示はせず、〖食〗のみを示した)。ここで用いた分類項目は以下のものである。

〖生物〗　　生物
〖動〗　　動物
〖鳥〗　　鳥類
〖魚〗　　魚類
〖昆〗　　昆虫
〖貝〗　　貝類
〖植〗　　植物
〖祭礼〗　　祭礼
〖遊〗　　遊戯
〖食〗　　食べ物
〖果物・野菜〗　果物・野菜
〖道具〗　　道具
〖蔑称〗　　蔑称
〖地名〗　　地名
〖人名〗　　人名
〖古語〗　　古語
〖歌語〗　　歌語
〖幼児語〗　　幼児語

語義が一つ以上にのぼり、それらの間に意味の隔たりがある場合はセミコロン (;) をもって示した (例「あら」(家の) 外 ; (人や家の) 外見)。さらに語義間に関係が認められるもののその意味拡張がさらに広がったと思われる場合は項目を別に立てた。(例 (①「あみかうー」(水を) 浴びる ②「あみかうー」(他人の) 借金を引き受ける)。この表示は同音でも品詞が違う場合にも適用した (例 ①「いさら」名詞 (畑の) 石ころ ②「いさら」形容詞 (畑が) 石ころだらけだ)。

ひとつの語に音韻論的に関係づけられる異形態がある場合は [変異] という項目により示した。たとえば「かりうし」(航海安全) の [変異] の項には「かりゅーし、かりゆす、かりうす」と記されているが、これは「かりうし」という言葉に対し三つの音韻論的に関係づけられる変異形があることをしめしている。さらにこの情報はクロスレファレンスされており、どの見出し語からでも関係する四つの形が探せるようになっている。

さらに一つの語に同義語がある場合は用例の最後に [類] という項目をもうけてしめした。たとえば「たま」は「分け前」の意味であるが「ばきだま、っじだま、とぅいまい」も同じ意味の言葉なので [類] として三つの言葉を示している。これもクロスレファレンスがされている。

6 用例

語義に続く用例はなるべく多くのものを示すようにしてある。特に動詞に関してはその格の取り方や活用形の使い方がわかるように工夫してある。語義の説明でセミコロン (;) を用いた場合は、用例もその順序に現れるようにしてある。用例の日本語訳はなるべく日本語としてこなれたものを用いるようにしているが、文の構成がわかるよう、あるものは直訳に従い、それの意訳を [ ] の中に入れて示した。その場合直訳は (＞) または (＜) の開き側、意訳は閉じ側に来るようにした (例：ばが　っじだまー　いひなふだー (私の取り分は少ない［＞これだけしかないのか］)。また [ ] は例文への注釈をするためにも用いた。さらに、池間方言と共通語で表現が対応しない場合、( ) を用いて補足した (例：っうぁーんじゃんかいが［お前はどこにか［＞お前はどこに (行くの) か］)。

7 品詞

以下の 12 の品詞および成句を認定した。ある品詞にはその下位分類をいくつか認め〖形式名詞〗の様に示した。

名詞	下位分類：〖形式名詞〗〖疑問詞〗〖数詞〗
代名詞	下位分類：〖指示詞〗〖再帰代名詞〗〖不定代名詞〗
動詞	基本形を見出し語とし、その活用パターンを示した (「活用形」の節を参照)。 動詞活用形「ちゅー (投げる)」の連用形、命令形「てぃっづぃ」のように、規則から動詞の活用形が予測しにくい場合、基本形に加えて、活用形そのものを見出しに入れてある。この場合、以下のように品詞の項目には、「動詞」ではなく、「動詞活用形」としてある (例：「てぃっづぃ」動詞活用形　動詞「ちゅー (投げる、放る)」の連用形および命令形)。
形容詞	形容詞と名詞は形態論上ほとんど区別がないので、便宜的なものである。形容詞として活用する場合は、接尾辞「かい」「かたい」や、否定形「っふぁにゃーん」を用いた例をあげ、名詞として活用する場合は、コピュラ「あい」「あたい」や否定形「あらん」を用いた例をあげるようにした。形容詞の見出し語は語幹で示した。
助詞	下位分類：〖格助詞〗〖副助詞〗〖焦点助詞〗〖接続助詞〗〖終助詞〗
副詞	動詞や形容詞を修飾するものは副詞とした。名詞の用法があるものでも「てぃ（と）」などをつけて主として副詞として用いられるものは副詞としても立項した。
オノマトペ	特に「擬声語、擬態語」などの下位分類はもうけない。
感動詞	下位分類：〖間投詞〗〖応答詞〗〖フィラー〗
補助動詞	主に動詞の連用形に後接し様々な意味を付加する。それ自体も活用する。
接頭辞	動詞、名詞、形容詞の前につき意味を付加する。
接尾辞	動詞、名詞、形容詞の後につき意味を付加する。
助数詞	物などを数える際に用いられる接尾辞。
成句	慣用句や決まり文句など一単語以上の組み合わせ。動詞で終わる成句は動詞の活用形を示した (例：っさ　ん゜ん (m 語幹)「足が痺れる」など)。

8 活用形

8.1 動詞の活用

池間方言における活用語は動 (コピュラを含む) 及び補助動詞のみである。形容詞自体は活用せず、いわゆる「かり活用」である「かい」をつけて、存在動詞「あい」に準じた活用をするか、「むぬ」をつけ、それに「コピュラ」の「あい」をつけて、活用させる。

動詞・補助動詞は見出しにその活用形タイプを記してある。タイプは「母音活用」「子音活用」「不規則活用」にわかれる。「子音活用」はさらに語幹末に現れる子音の種類により分類される。この分類は便宜的なものであり、必ずしも言語学的に厳密なものではなく、活用のタイプを網羅的にするために採用されている。例えば、w 活用は共通語の「買う」の場合は、「買わない (kaw-anai)」のように w が未然形で現れるために kaw-を子音語幹として認める根拠となりえるが、池間方言では w の形が現れることはない。これは母音間で w が脱落するためである。このため、「買わない」にあたる形は ka-an になるが、この ka-an の an の形は他の子音語幹の動詞と同じであり、子音語幹動詞に延長語幹-a を加えた、いわゆる「未然形」に否定の接辞 n をつけた形になっている。以下にみられるように使役形、受け身形などでも、このタイプの動詞はあたかも w があるかのようにふるまうため、便宜的に w 活用として子音活用の一種として扱う。

8.2 動詞の基本的な活用について

「不規則活用」動詞は活用形により語幹がかわる動詞「あす (する)」と「あい (言う、歌う)」「ふー (来る)」の三つを認める。ほかに、コピュラ「あい (だ、である)」と存在動詞「あい (ある)」、「うい (いる)」は否定形にいわゆる補充形 (suppletion) を持ち、過去形が他と異なるため、別に説明をした。音韻変化が複雑なため、やや活用形が予測しにくいものに関しては、できるだけ本文に見出し語としてあげ、本文中でも説明を加えた。

8.2.1 動詞活用のパラダイムの説明

池間方言の活用は他の宮古方言に比べると比較的単純で、「未然形」「連用形/命令形」「基本形」が分かれば、活用形式を示すことができる。語幹はこれらの活用形から取り出すことができる。動詞活用の語幹表記は煩雑さを避けるため本文中で使った簡略音声記号を使わず、池間方言を表記するためのローマ字正書法を使っている。この表記に付いては Takubo (2021) を参照。これは tts などの重子音表記を避けるためと視認性を高めるためである。また、なるべく混乱が生じない場合はかな表記を用いる (かな表記の方針については田窪 (2020) を参照)。8.2 節では左の音声記号の代わりに次の表記法を用いる。

[j] ＞ y

[ts] ＞ c

[dz] ＞ z

[ɨ] ＞ I (小文字の i に横線の入ったものを大文字の I でしめす)

[tɕa] ＞ cya

[tɕu] ＞ cyu

長音記号は母音のみ「:」を用いた。

「ん」は視認性を重視して N で表記する。

語幹　語幹は子音語幹と母音語幹に分けた。語幹の名称は便宜的なものであり、音韻規則、音韻形態規則を設定することによりさらに一般化をすることができるが、複雑な規則なしに簡単に実際の活用形が導き出せることを目的とした。詳しくは林 (2009)、下地 (2018) などを参考にされたい。w 語幹は、「うむー」のように、語幹の最終母音が/u/になる場合は umuw-のように子音語幹としてふるまう場合と、umu:-のように母音語幹としてふるまう場合があるが、それらはここでは明示しなかった。詳しくは Takubo (2021) を参照されたい。ここでは基本的な活用形の作り方だけを述べた。

未然形　母音語幹は語幹と同じ形例：みー (見る)、いび (植える)
子音語幹は語幹に a をつける。例：あいか aik-a (歩く)

連用形　母音語幹は語幹が長母音「いー」i: の場合は語幹と同じ。例：みー
語幹が短母音「い」i の場合は、i をつけて長母音 i: にする。例：いびー

命令形　命令の意味を表し、文終止が可能。
母音語幹：語幹に「る」をつける。例：みーる (見る)、いびる (植える)
子音語幹：語幹に-i をつける。例：あいき aik-i (歩く)

基本形　文の終止形式としても使われるが、名詞修飾形式としても使われ、また様々な語を後続させることもできるため、終止形でなく、基本形とした。基本形は次のように作られる。
母音語幹の基本形は語幹と同じ。
子音語幹の基本形は、語幹末子音の種類によりいくつかのタイプに分類される。

基本形の作り方　子音語幹の基本形は、まず語幹の種類により i をつけるもの、I (= [ɨ]) をつけるもの、u を付けるものにわかれるが、そのあと様々な二次的音韻変化をおこすことがある。

【1】i をつけるもの［歴史的には舌尖母音だった I (= [ɨ]) が付いて、子音が落ち、それから I (= [ɨ]) が i に変化したと思われる］

-z, -r/-rr, -m/-n → -zi, -ri/-rri, -mi/-ni

(二次的音韻変化-1) zi, ri, rri はその子音が規則的に落ちる

zzi → i 例：azzi → ai あい (言う、歌う)

zi → i 例：bizi → bii びー (座る)

ri/rri → i 例：turi → tui とぅい (取る)

mugyarri → mugyai むぎゃい (おなかがごろごろする)

(二次音韻変化-2)mi/ni は i が落ち鼻音が撥音化する

mi/ni → m/n → N (撥音)

例：yumi → yum → yuN ゆん (読む)

sIni → sIn → sIN すん (死ぬ)

nmi → nm → nN んー (膿む)

【2】I (= [ɨ]) をつけるもの

-ff, -c/-cc、-s/-ss → ffI, cI/ccI、sI/ssI

aic + I → aicI あいつ (歩く)

nbus + I → nbusI んぶす (蒸す)

cuff + I → cuffI ちゅっふ (作る)

cIcc + I → cIccI つっつ (切る)

ss + I ->muss + I むっす (むしる)

(二次的音韻変化) 語幹が二重子音で終わるものはそれを短子音にし母音を長母音化する。「作る」「切る」「むしる」などの二音節以上の動詞は上の単純形とこの二次的音韻変化を経た形の両形が存在する。

ss + I → sI: すー (知る、わかる)

ff + I → fI: ふー (降る)

cuff + I → cufI: ちゅふー (作る)

cc + I → cI: つー (釣る、切る、切れる)

cIcc + I → cIcI: つつー (切る)

ss + I → musI: むすー (むしる)

【3】u をつけるもの

-ff, -b、-w, vv → -ffu, -bu、-wu, -vvu

(二次的音韻変化-2)bu, wu, vvu はその子音が落ちる

bu → u 例：ゆらう (呼ぶ)

wu → u 例：かう (買う)

vvu → u → u: 例：うー

8.2.2 活用の表

つぎの活用表には 2 種類の母音語幹と 21 種類の子音語幹動詞がまとめられている。母音語幹動詞は語末が短母音 /i/ か長母音 /i:/ かによって区別する。子音語幹動詞は語幹の最後の子音によって区別するが、あるものはこの子音自体が変化する (例：k 語幹動詞は「いか」「いきー」「いつ・いふ」つまり k-k-c/f のように子音が変わっている)。また、あるものは連用形と命令形の間で規則的に子音がかわる (例：s/h 語幹は「うたひー (連用形)・うたし (命令形)」のように /h/ 系列と /s/系列の子音が使われている)。

		未然形	連用形/命令形	基本形
母音語幹		語幹と同じ	連用形：語幹末が長母音の場合、語幹と同じ、短母音の場合は長母音にする/命令形：語幹に「る」を加える	語幹と同じ
母音語幹	mii- (見る)	みー	みー/みーる	みー
母音語幹	ibi- (植える)	いび	いびー/いびる	いび
子音語幹		語幹 + a	連用形：語幹 + i (i) (長母音 i: が原則であるが短くなることもある)/命令形：語幹 + i	語幹 + {i/I/u}
b 語幹	yurab- (呼ぶ)	ゆらば	ゆらびー/ゆらび	ゆらう
c/cc 語幹	cc- (切る、釣る、着る)	っちゃ	っちー/っち	つー
cc/tt 語幹	cIcc- (切る)～cItt- (切る)	つっちゃ	つっちー～つってぃ/つっち～つってぃ	つっつ～つつー
f/ff 語幹	ff- (降る)	っふぁ	っふぃー/っふぃ	ふー
f/ff 語幹	cjuff- (作る)	ちゅっふぁ	ちゅっふぃー/ちゅっふぃ	ちゅっふ～ちゅふー
g 語幹	u:g- (泳ぐ)	うーが	うーぎー/うーぎ	うーず
k 語幹	ik- (行く)	いか	いきー/いき	いつ～いふ
m 語幹	yum- (読む)	ゆま	ゆみー/ゆみ	ゆん
mm 語幹	mm- (膿む、濡れる)	んま	んみー/ (んみ)	んー
n 語幹	sIn- (死ぬ)	すな	すにー/ (すに)	すん
r/rr 語幹	tur- (取る)	とぅら～(とぅっら)	とぅりー～(とぅっりー)～とぅいー/とぅい	とぅい
r/rr 語幹	mugyar- ((水などが) 濁る)	むぎゃら～むぎゃっら	むぎゃりー～むぎゃっり/むぎゃっり	むぎゃーい
s 語幹	us- (なくす)	うさ	うしー/うし	うす
s/ss 語幹	ss- (知る、わかる)	っさ	っしー/っし	すー
s/h 語幹	utas- (打たす)	うたは	うたひー/うたし	うたす
c/t 語幹	tac-～tat- (立つ)	たちゃ～たた	たてぃー～たちー/たてぃ～たち	たつ

		未然形	連用形/命令形	基本形
zz/dd 語幹	cIzz-〜 cIdd- (妨害する)	つっだ〜つっじゃ	つっでぃー〜つっじー/つっでぃ〜つっじ	つっず〜つずー
vv 語幹	vv- (売る)	っづぁ	っづぃー/っづぃ	うー
w 語幹	kau- (買う)	かー	かいー/かい	かう
z 語幹	biz- (座る)	びじゃ	びじー/びじ	びー
zz 語幹	azz- (言う、歌う)	あっじゃ	あっじー/あっじ	あい

8.2.3 使役形、受身・可能形、尊敬形の派生の仕方

使役形　母音語幹の場合：語幹に「っさす」をつける。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：みーっさす mii-ssasI、いびっさす ibi-ssasI

子音語幹の場合：語幹に-asI「あす」をつける。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：ゆます yum-asI、びじゃす bizy-asI、かわす kaw-asI ＞かーす ka-asI

受身・可能形　母音語幹の場合：語幹に rai「らい」をつける。結果は母音語幹の動詞になる。

例：みーらい mii-rai (見られる (受身、可能))、いびらい ibi-rai (植えられる (受身、可能))

子音語幹の場合：語幹に -ai「あい」を付けて表す。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：ゆまい yum-ai (読まれる、読める)、(かわい kaw-ai ＞) かーい ka-ai (買われる、買える)

「っそぅー (拾う)」のように「u:」で終わる動詞の場合は「ua ＞ u: という規則がはたらくため「っそぅー ssu + あい ai」は「っそぅーい ssu:i」となる。

尊敬形　母音語幹の場合：語幹に「さまい」を付けて表す。結果は母音語幹の動詞になる。

例：みーさまい mii-samai (ご覧になる)、いびさまい ibi-samai (お植えになる)

子音語幹の場合：語幹に「あまい)」を付けて表す。結果は母音語幹の動詞になる。

例：いかまい ik-amai (いらっしゃる)、ゆままい yum-amai (お読みになる)

8.2.4 それぞれの活用形に続くもの

未然形に続くもの

否定：ん (しない)

母音語幹：みーん、いびん

子音語幹：あいかん、ゆまん

意向形：でぃ (しよう)

母音語幹：みーでぃ、いびでぃ

子音語幹：いかでぃ、ゆまでぃ

意志否定：じゃーん (しない (よ))

母音語幹：みーじゃーん、いびじゃーん

子音語幹：いかじゃーん、ゆまじゃーん

否定過去：っだん (しなかった)

母音語幹：みーっだん、いびっだん

子音語幹：いかっだん、ゆまっだん

条件：ば (すれば)

母音語幹：みーば、いびば

子音語幹：いかば、ゆまば

譲歩 **1**：(否定) + まい (しなくても)

母音語幹：みーんまい、いびんまい

子音語幹：いかんまい、ゆまんまい

譲歩 **2**：(条件) + ばんまい (しても)

母音語幹：みーばんまい、いびばんまい

子音語幹：いかばんまい、ゆまばんまい

連用形に続くもの

アスペクト形式など

ういˍ (〜ている)、あいˍ (〜てある)、にゃーんˍ (〜てしまう)、すてぃˍ (〜てしまう)、うっつˍ (〜ておく)

みーˍ (〜てみる)、はっじゃつˍ (〜そこねる)

いつˍ (〜ていく)、ふーˍ (〜てくる)、ふぃーˍ (〜てやる、てくれる)

うとぅいˍ (〜ながら、ていて)

接続助詞などから (＝てから (時間の始点))

いきーから (行ってから)

基本形に続くもの

テンス・モダリティ

たいˍ (過去形)、がまたˍ (べきだ、予定だ)、はずˍ (はずだ、だろう)、など

接続形

そぅがˍ (逆接：けれど)、んつきゃˍ (比較：より)、ばどぅˍ (条件・理由：たら、れば；ので、から)、てぃがーˍ (条件：たら、と)、きゃˍ (〜時)、がˍ (目的：に)、っちゃーんˍ (同時進行：ながら) など

複合動詞

ぐりˍ (〜にくい)、やすˍ (〜やすい)、はっじゃつˍ (〜失敗する)、ほぅすˍ (〜たい)、はずみˍ (〜始める)、すきゃきˍ (〜始める)、など

終助詞

なˍ (禁止)、なˍ (か、真偽疑問)、がˍ (なの、疑問詞疑問)、どーˍ (よ)、そぅーでˍ (よ)、ちゃˍ (そうだ)、てぃんどーˍ (そうだ)、さˍ (だろう)、など

8.3 不規則動詞

8.3.1 コピュラあい ai (だ、である)

語幹	a〜ya、ar, yar あい〜やいあら〜あ〜やら
基本形	あい通常、肯定、文終止の位置では省略される。
過去形	あたい
連用形	(共通語の「で」に当たる活用形はない。「名詞 + や　ひー」などを用いて表すこともできる 例：くりゃー　まさいや　ひー　くりゃー　かに。 「これはマサイで、これはカニだ。」
未然形	あら
否定	あらん 例：あいやあらん。 「そうではない。」
否定過去形	あらっだん 例：うらー　あい　あらっだん 「それはそうではなかった。」
否定連用形	あらだ 例：くまー　がっこー　あらだ　こーみんかん。 「そこは学校ではなく、公民館だ。」
条件形	やらば 例：ばが　とぅいやらば　まいにつ　てぃんぬ　とぅー。「私が鳥だったら毎日空を飛ぶ (のに)。」
接続形	やい 普通「やいば (なので)」、「やいそぅが (だけど)」、「やらばんまい (であっても)」、「やいてぃがー (だったら)」などの形をとる。 例：からー　つむたみ　やいば「かれは冷静な人だから...」 からー　つむたみ　やいそぅが「かれは冷静な人だけれど...」

8.3.2 存在動詞

	あい (ある)	うい (いる)
基本形	あい	うい
過去形	あたい	うたい
連用形	ありー	うりー
未然形	あら	うら
否定	にゃーん	みーん
否定過去形	にゃーっだん	みーっだん
否定連用形	にゃーだ	みーだ
条件形	あらば	うらば
接続形	あいば (あるので、あるから)、あいそぅが (あるけれど)、あらばんまい (あっても)、あいてぃがー (あったら) など	ういば (いるので)、ういそぅが (いるけれど)、うらばんまい (いても)、ういてぃがー (いたら) など

8.3.3 あす (する)

語幹	as, hu, hii
基本形	あす
過去形	あすたい
連用形	ひー
未然形	ほぅ
否定	ほぅん
否定連用	ほぅだ
譲歩	ほぅんまい、ほぅばんまい
否定過去形	ほうっだん
否定連用形	ほぅだ
接続形	あすば (するから)、あっそぅが (するけれど)、あすてぃがー (すれば)、ひーから (してから)、ほぅばんまい (しても) 、などの形をとる。
命令形	あっそぅ (しろ)

8.3.4 ふー (来る)

語幹	fu:/ku:/tt
基本形	ふー
連用形	ってぃ〜っち
未然形	くー
否定	くーん
否定連用	くーだ
譲歩	くーばんまい、くーんまい
命令形	くー
過去形	ったい
否定過去形	くーっだん
接続形	ふーば (来るので、来るから)、ふーそぅが (来るけれど)、ふーてぃがー (来たら) 、などの形をとる。

8.4 形容詞の活用

形容詞、「むぬ」などを付け、語幹を名詞扱いしてコピュラの「あい」を付けて活用させる場合と、「かい (r/rr 語幹)」を付けて活用させる場合とがある。ここでは「あつかい (暑い、熱い)」の活用をあげる。

語幹	acIkar-
基本形	あつかい
連用形	あつかりー
未然形	あつから
否定	あつからん
否定連用	あつからだ
譲歩	あつからばんまい、あつからんまい
命令形	無し
過去形	あつかたい
否定過去形	あつからっだん
接続形	あつかいば (暑いので)、あつかいそぅが (暑いけど)、あつかいてぃがー (暑かったら) 、などの形をとる。

9 提題形と目的格形の変化

提題助詞 (「あ」a) は接続する名詞の最後の音節のタイプにより次の様に変化をする。

前接名詞の語末音	提題形		
短母音 (a)	(長母音)	さた (砂糖) + あ	さたー (砂糖は)
短母音 (u)	(長母音)	っぞぅ (魚) + あ	っぞぅー (魚は)
長母音	や	きー (木) + あ	きーや (木は)
二重母音		まい (米) + あ	まいや (米は)
子音 + i	ゃー	あみ (雨) + あ	あみゃー (雨は)
		さき (酒) + あ	さきゃー (酒は)
す	っさ	かーす (菓子) + あ	かーっさ (菓子は)
つ	っちゃ	あかつ (血) + あ	あかっちゃ (血は)
ず	っじゃ	ぶーず (サトウキビ) + あ	ぶーっじゃ (サトウキビは)
ん[1]	んな	みどぅん (女性) + あ	みどぅんな (女性は)

目的格助詞 (「う」u) は接続する名詞の最後の音節のタイプにより次の様に変化をする。

前接名詞の語末音			
短母音 (a)	う	さた (砂糖) + う	さたう (砂糖を)
短母音 (u)	(長母音)	っぞぅ (魚) + う	っぞぅー (魚を)[2]
長母音	ゆ	きー (木) + う	きーゆ (木を)
二重母音		まい (米) + う	まいゆ (米を)
子音 + i	ゅー	あみ (雨) + う	あみゅー (雨を)
		さき (酒) + う	さきゅー (酒を)
す	っそぅ	かーす (菓子) + う	かーっそぅ (菓子を)
つ	っちゅ	あかつ (血) + う	あかっちゅ (血を)
ず	っじゅ	ぶーず (サトウキビ) + う	ぶーっじゅ (サトウキビを)
ふ	ふー	たうふ (豆腐) + う	たうふー (豆腐を)
	っふ		たうっふ (豆腐を)
ん[3] [4]	ぬ	みどぅん (女性) + う	みどぅんぬ (女性を)

[1]高齢者 (85 歳以上) では語末の m と n は区別されるため、これらの話者では、im (海)、in (犬) の提題形は、「いんま」imma (海は)、「いんな」inna (犬は) のように区別される。

[2]-u で終わる名詞 (「っぞぅ」) は提題形と目的格形がおなじになる。

[3]「ん」は「ぬ」でなく「ゆ」も許される。みどぅん + う＞みどぅんゆ。

[4]提題助詞と同じく高齢者 (85 歳以上) では語末の m と n は区別されるため、これらの話者では、im (海)、

10 アクセント

池間方言は弁別的なアクセントを持ち、3 種類のアクセント型 (A 型、B 型、C 型) が対立する (Igarashi et al. 2011; 五十嵐他 2012) A 型、B 型、C 型は、琉球祖語に再建されるアクセント類である A 系列、B 系列、C 系列 (松森 2000) におおよそ規則的に対応することから、池間方言は琉球祖語におけるアクセントの区別を比較的忠実に保持しているということができる。その一方で、祖語の A 系列に属する 2〜3 モーラ単純名詞の大部分が、池間方言では B 型として反映される (すなわちこの環境で A 系列と B 系列が合流している) という新しい特質も観察される (五十嵐 2016b)。対立するアクセント型の数は品詞ごとに異なり、名詞と形容詞は 3 種類、動詞は A 型と C 型の 2 種類が対立する (Igarashi et al. 2018)。

池間方言のアクセント型は広範な環境で中和するという特徴がある (五十嵐 2016a, 2016b)。例えば語を単独で発話した場合、2〜3 モーラ名詞では A 型と B 型が中和し、4 モーラ以上の単純名詞ではすべての型が中和する。したがって、ある語がどのアクセント型を持つかを判定するためには、分析対象の語を特定のキャリア文に入れる必要がある。どのような環境において中和が生じないのかは完全には解明されていない。しかし (1) のキャリア文を用いると、名詞、動詞、形容詞それぞれのアクセント型の判定が行えることが明らかになっている。本辞書でも (1) のキャリア文を用いることによってアクセント型の同定を行った。(X は分析対象の名詞、動詞あるいは形容詞を表す。)

(1) キャリア文

a. 名詞 X まい にゃーん「X もない」
b. 動詞 X はず「X だろう」
c. 形容詞 X むぬ はず「X だろう」

(1) のキャリア文に入れられた 2〜3 モーラ語のアクセント型は (2) のように実現する。(“˩” と “˥” はそれぞれピッチの上昇、下降を表す。また太字は高く実現するモーラを表す。)

in (犬) の目的格形は、「いんむ」immu (海を)、「いんぬ」innu (犬を) のように区別される。

(2)

a. 名詞

A	B	C
た⌜び⌝　まい　にゃーん	た⌜き⌝　まい　⌜にゃーん	な⌜び　まい⌝　にゃーん
「旅もない。」	「丈もない。」	「鍋もない。」
ぬ⌜るい⌝　まい　にゃーん	む⌜ぬい⌝　まい　⌜にゃーん	う⌜むい　まい⌝　にゃーん
「呪いもない。」	「言葉もない。」	「思いもない。」

b. 動詞

A	B	C
た⌜つ⌝　はず		た⌜つ　はず
「焚くだろう。」		「立つだろう」
す⌜かす⌝　はず		す⌜かす　はず
「耕すだろう。」		「騙すだろう」

c. 形容詞

A	B	C
あ⌜ま⌝　むぬ　はず	な⌜が⌝　むぬ　は⌜ず	し⌜ば　むぬ⌝　はず
「味が薄いだろう。」	「長いだろう。」	「心配だろう。」
き⌜ばす⌝　むぬ　はず	す⌜だす⌝　むぬ　は⌜ず	が⌜ばー　むぬ⌝　はず
「貧乏だろう。」	「涼しいだろう。」	「大きいだろう。」

アクセント型は、フレーム文における 2 番目・3 番目の 2 モーラ以上の形態素の高さに基づいて決定される。双方ともが高くないものが A 型であり、2 番目が低く 3 番目が高いものが B 型であり、2 番目が高く 3 番目が低いものが C 型である。

池間方言には 1 モーラの自由形式は存在せず、4 モーラ以上の語の多くは複合語である。複合語と単純語とでは、たとえ同じアクセント型であっても、その実現が異なる。また、ある型を持つ単純語の実現が、別の型を持つ複合語の実現と表面上類似することがある (五十嵐 2016b)。例えば、単純語「な⌜びゃ⌝ーら (へちま)」は C 型であるが (な⌜びゃ⌝ーら　⌜まい⌝ にゃーん)、「むず (麦)」と「ぐる (枯れた茎)」からなる複合語「む⌜ず⌝+ ぐる (麦の茎)」は B 型である (む⌜ず⌝+ ぐる　⌜まい⌝ にゃーん)。さらに、同じアクセント型を有する複合語であっても形態素境界の位置が異なると、アクセント型の実現が異なる。たとえば「みーか (三日)」と「ない (成り)」からなる「⌜みーか⌝+ ない (一昨日)」と「みー (目)」と「かない (敵い)」からなる「⌜みー⌝+ かない (目の良い人)」は同じく B 型であるが、複合語内部のピッチ下降位置が異なる。

本辞書は、当該の語がどのアクセント型に属するかを A (A 型)、B (B 型)、C (C 型) のア

ルファベットで表記する方法を用いる。この方法を採用した上で、4 モーラ以上の語のアクセント型について十分な情報を記載するには、A, B, C のアルファベットに加えて、問題の語が複合語か単純語かを示す必要がある。また、同じく複合語であってもアクセント型の実現は形態素境界によって異なるため、複合語には形態素境界情報も付与する必要がある。しかしながら、ある語が複合語か単純語かを包括的に判断できる方法が見つかっていないため、これらの情報を網羅的に与えることができない。したがって、語の長さや形態論的構造に拘わらずアクセント型に関する情報を統一的に与えるためには、A, B, C のアルファベット表記法を排して、“˩” や “˥” といった記号を用いて表層のピッチパタンを表記する方法が最も有益であると考えられるが、それは紙面の都合上不可能である。

以上の理由から、本辞書は 2 モーラ・3 モーラの名詞、動詞、形容詞について、A, B, C のアルファベット表記法を用いてアクセント型の情報を記載した。その他の品詞に関しては、アクセント型の調査方法自体が確立していないため、アクセント型の情報は与えられていない。

3 モーラの名詞、形容詞の中には、上記の A, B, C の型に収まらないものが 16 語見つかっている。本辞書ではそれを「B 特殊」「C 特殊」と名付け表記している (3)。

(3) B 特殊と C 特殊

B 特殊	C 特殊
ほぅ˩な˥ん　まい　˩にゃーん	ほぅ˩ず˥む　˩まい˥　にゃーん
「大波もない。」	「広い心もない。」

B 特殊に属するのは「ほぅなん (大波)」、「ほぅんつ (大通り)」の 2 語、C 特殊に属するのは「はーか (赤毛の人)」、「はーな (大きい穴)」、「はーぶ (大きな洞窟)」、「ほぅーちゃ (大口をたたく人)」、「ほぅーつ (伝染病の 1 種)」、「ほぅがら (大柄な)」、「ほぅぎゃん (高粱)」、「ほぅずむ (広い心)」、「ほぅだに (大きな睾丸)」、「ほぅとぅー (大海)」、「ほぅどぅー (立派な体格)」、「ほぅどぅー (リーフの名前)」、「ほぅぶに (大きな骨)」、「ほぅむず (大麦)」の 14 語であり、そのほとんどすべてが語源的に接頭辞「ほぅ (大きい)」を含む語である。(アクセント　文責　五十嵐陽介)

参照文献

五十嵐陽介、田窪行則、林由華、ペラール・トマ、久保智之 (2012)「琉球宮古語池間方言のアクセント体系は三型であって二型ではない」『音声研究』16(1), 134-148.

五十嵐陽介 (2016a)「南琉球宮古語池間方言・多良間方言の韻律構造」『言語研究』150, 33-57.

五十嵐陽介 (2016b)「名詞の意味が関わるアクセントの合流：南琉球宮古語池間方言の事例」『音声研究』20(3), 46-65.

上地徳男 (2021)『佐良浜方言語彙辞典』ボーダーインク.

内間直仁、野原三義 (2006)『沖縄語辞典』研究社.

国立国語研究所 (2001)『沖縄語辞典』国立国語研究所.

下地賀代子 (2017) 『たらまふつ辞典』多良間村教育委員会

下地理則 (2018) 『南琉球宮古語伊良部島方言』くろしお出版

富浜定吉 (2013)『伊良部方言辞典』沖縄タイムス社.

田窪行則 (2020)「方言を仮名で書く―琉球宮古語池間方言を例に」『ことばと文字』13号, 102-110, 公益財団法人日本語のローマ字社.

渡久山春英、セリック・ケナン (2020)『南琉球宮古多良間方言辞典』国立国語研究所.

林由華 (2009)「琉球語宮古池間方言の談話資料」大西正幸・稲垣和也 (編)『地球研言語記述論集 1』総合地球環境学研究所インダスプロジェクト, 153-199.

松森晶子 (2000)「琉球アクセント調査のための類別語彙の開発―沖永良部島の調査から」『音声研究』4(1), 61-71.

Igarashi, Yosuke, Yukinori Takubo, Yuka Hayashi, and Tomoyuki Kubo (2011) How many tonal contrasts in Ikema Ryukyuan?. *Proceedings of the 17th International Congress of Phonetic Sciences*, 930-933.

Igarashi, Yosuke, Yukinori Takubo, Yuka Hayashi, and Tomoyuki Kubo (2018) Tonal neutralization in the Ikema dialect of Miyako Ryukyuan. In: Haruo Kubozono and Mikio Giriko (eds.) *Tonal Change and Neutralization*, 81-128, Berlin: Mouton De Gruyter.

Takubo, Yukinori (2021) Morphophonemics of Ikema Miyakoan. In: John Kupchik, José Andrés Alonso de la Fuente, and Marc Miyake eds. *Studies in Asian Historical Linguistics, Philology, and Beyond*, 65-79, Leiden: Brill.

目次

謝辞 i
まえがき iii
序 v
凡例 ix
1 見出し語 ix
2 表記・表示 ix
3 音節表 ix
4 見出し語の配列 xii
5 語義 xiii
6 用例 xv
7 品詞 xvi
8 活用形 xvii
8.1 動詞の活用 xvii
8.2 動詞の基本的な活用について xvii
8.3 不規則動詞 xxv
8.4 形容詞の活用 xxvii
9 提題形と目的格形の変化 xxviii
10 アクセント xxix
あ 1
い 47
う 67
え 99
お 101
か 103
き 139
く 147

け 159
こ 161
さ 163
し 177
す 187
せ 207
そ 209
た 221
ち 243
つ 249
て 279
と 289
な 305
に 327
ぬ 335
ね 343
は 345
ひ 379
ふ 403
へ 431
ほ 433
ま 445
み 469
む 485
も 501
や 503
ゆ 519
よ 535
ら 537
り 539
ろ 541
わ 543
ん 545

逆引き 571
著者略歴 647

あ

あ [a]【助詞】提題を表す、「は」。提題を表す「あ」はつく語の最後の音に従って形が変わる（１）a で終わる語のあとでは、aa になる　例：っふぁ（子供）＋あ＝っふぁー（子供は）（２）u で終わる語のあとでは u+a ＝ uu になる。例：っぞぅ（魚）＋あ＝っぞぅー（魚は）（３）i で終わる語の後では i+a=jaa になる。例：さき（酒）＋あ＝さきゃー（４）二重母音、長母音で終わる語の後では ja になる。例：まい（米）＋あ＝まいや（米は）。（５）子音＋ で終わる語の後では、子音を「っ」を入れて促音にしてから「あ」をつける。例　どぅす（dus、友達）＋あ＝どぅっさ（どもだちは）。（６）「ん」で終わる語のあとでは、「んな」になる。例　みどぅん（miduN、女性）＋あ＝みどぅんな（女性は）。（７）n で終わる名詞は、nn にして「あ」をつける。例：いん（海、犬）＋あ＝いんな（海は）。【例】あちゃー　かでぃふっちゃ（明日は台風だそうだ）。あいっぞぅー　あうさりむぬ（アイゴは生臭い）。うぬ　さきゃー　んめ　あぱりー　ぬまいん（その酒はもうアルコール分が抜けていて飲めない）。きゅーやぐみ　あうひぐるむぬ（今日はとても肌寒い）。あかいらうっちゃ　びゅーい　むぬまいどぅ　あい（アカイラウツは毒のあるものもある）。かぬ　みどぅんな　あてぃ　あぱらぎかいばならん（あの女性は余りにも美しい）。［変異］や。

あ [a]【助詞】目的語を表す（「う」に対して、第二目的格ともよばれる）、「を」。提題を表す「あ」と同じ変化をする。【例】さきゃー　ぬみー　みはなー　あかたん　なるー（酒を飲んで顔が赤くなった）。じかんな　あーひー　っさらんかい　いかでぃ（時間を合わせて平良に行こう）。［変異］や。［類］う。

あー [a:]【名詞】［B］粟。【例】あーだーら（粟俵）。あーぬ　っさ　とぅい（粟の下草取り）。んきゃーんな　あーひーどぅ　じゃうなうゆ　うさみゅーたいちゃ（昔は粟で税金を納めていたそうだ）。

あーき [a:ki]【感動詞】困ったなあ。【例】あーき、でぃんぬどぅ　ばっしー　ってぃにゃーん（困ったなあ　お金を忘れて来ちゃった）。

あーぎ [a:gi]【名詞】[A] 上、高い方；上座；上級。【例】ほぅんぬぎゃー　つくいぬ　あーぎん　うっき（本は机の上におけ）。たむぬーぎゃー　かなまいぬ　あーぎん　ぬーひー　かみる（薪を頭の上にのせろ）。っぅぁが　かなまいぬ　あーぎんな　かじゃんぬ　とびゅー（お前の頭の上に蚊が飛んでいる）。まさいが　やーや　ばが　やーぬ　あーぎなぎんどぅ　あい（マサイの家はうちの家の北の方にある［上手の高い後ろの方が北に当たることが普通である］）。かじゃー　きーぬ　あーぎんどぅ　ふつ（風は木の上に吹く［＝波風は最高責任者に吹く（当たる）］）。そぅじゃっそぅー　あーぎんかい　いかまてぃ（先輩達は上座に行って下さい）。あーぎぬ　がっこー（高校以上の上級学校［昔は旧制中学、旧制高校、大学のことを指した］）。んきゃーんな　きばんかいてぃがー　うむくとぅ　あらばんまい　あーぎぬ　がっこうんかいや　いかはいっだん（むかしは貧乏だったら能力があっても上級学校には進学させられなかった）。［類］あーび、わーぎ、わーび、わーら。

あーきどぅーき [a:kidu:ki]【成句】開けっ放し。【例】かまぬ　やーや　いつまい　あーきどぅーき（向こうの家はいつも開けっ放しだ）。あーきどぅーき　やー（戸の開けっ放しの家）。

あーぐ [a:gu]【名詞】[C] 歌。【例】あーぐー　あい（歌を歌う）。かりゃー　さぐー　いりー　あーぐー　あっじゅー（彼は彼独特の歌い方で歌をうたっている）。

あーぐしゃ [a:guɕa]【名詞】歌の上手い人、御嶽で祈願専任役の人。

あーさ [a:sa]【名詞】[C]《食》あおさ［岩に付着する食用の海藻］。【例】あーさう　とぅい（あおさを取る）。ほぅらばまんきー　あーさ　かつが（大浦湾にあおさをむしり取りに（行く））。かーき　あーさう　むっす（乾いたあおさをむしり取る）。

あーす [a:sɨ] ①【動詞】[s/h 語幹][A]（時間、性格などを）合わせる、重ねる；重ね着する。【例】じかんな　あーひー　っさらんかい　いかでぃ（時間を合わせて平良に行こう）。にんぎんぬ　とぅずぶとぅー　うむくとぅ　あい　ひとぅぬどぅ　ほぅりむぬんかい　あーすばどぅ　じゃうかい（人間の夫婦は頭の良い人が馬鹿者に合わせる方が良い）。うぬきゃが　ふたーいや　あーはいん（その二人は合わせられない）。やりずんぬ　あーひー　かうー（古着を重ねて掛布団にする［＜重ねて被る］）。②【動詞】[s/h 語幹][A] 乗せる。【例】っぅぁが　くるまんかい　くるー　あーし（お前の車にこれを載せろ）。ぬーまんな　ぐずき　ばかーいどぅ　あーはい（馬には 50 斤［＝ 30 キロ］ぐらいが乗せられる）。［類］ぬーす。

あーす [a:sɨ]【動詞】[s/h 語幹][A] 押

しだす、しぼり出す、(膿やニキビなどを)つぶしてだす。【例】つーゆ　あーす(母乳を出す)。んつんぬ　あーす(ニキビを潰す)。ほぅがさー　んみーどぅーば　んーくー　あーし(おできは赤く化膿しているので濃を出せ)。

あーつ [a:tsɨ] ①【動詞】[k 語幹][A](しまったものが)開く。【例】やどぅぬ　あーつ(戸が開く)。くぴんぬ　ふたー　あーかん(瓶の栓が抜けない)。みーぷたいかいば　みーや　あーかいん(まぶしくて目が開かない)。[変異]あーふ。[類]あつ、あふ。②【動詞】[k 語幹][A](しまったものを)開ける。【例】やどぅー　あーつ(戸を開ける)。くぴんぬ　ふたう　あーつ(瓶の栓を抜く)。みーゆ　あーつ(目を開ける)。ふっちゅぎゃー　あーかだうり(口を開けるな[＞いらないことをしゃべるな])。[変異]あーふ。[類]あつ、あふ。

あーったつばう [a:ttatsɨbau] ①【名詞】粟の収穫時期に粟の実を取るために粟を叩く棒。【例】あーったつばうひー　あーゆ　ったつ(粟叩く棒で粟を叩く)。②【名詞】柔道の背負い投げ[棒を振り回すことと柔道の背負い投げが似ていることからそう言われている]。

あーつな [a:tsɨna] ①【形容詞】何をするか分からない、乱暴な、突拍子もない。【例】からー　あーつなんまりむぬ　やいば、なうゆ　あすががら　っさいん(彼は突拍子もないやつなので、なにをするかわからない)。からー　いつまい　あーつなかいばならん(彼はいつもなにをしだすかわからない)。[類]あじゃーな。②【名詞】何をするか分からない人、乱暴な人、突拍子もない人。

あーなか [a:naka]【名詞】粟畑。【例】ばー　あーなかう　まーりー　みーくーでぃ(私は粟畑を見て回ってこよう)。ばー　あーなかー　むちや　うらん(私は粟畑は持っていない)。

あーぬい [a:nui]【名詞】粟のおにぎり。【例】あーぬいゆ　ふぁう(粟のおにぎりを食べる)。

あーぬいや　ばりーどぅ [a:nuija bari:du]【成句】瓜二つ。【例】うぬきゃが　っざっふぁー　あーぬいや　ちゃらてぃー　ばりーどぅ(彼ら父子は(粟のお握りをまっぷたつに割ったように)瓜二つだ)。

あーぬうはつ [a:nuuhatsɨ]【名詞】粟の初もの[お供えに使う]。【例】あーぬうはっちゅ　かんかい　うさぎでぃ(粟の初物を神様にお供えしよう)。

あーはな [a:hana]【名詞】上の方、表面。【例】つくえぬ　あーはなう　とぅみーみーる(机の上を探してみろ)。みずぬ　あーはなん　っさぬどぅ　ゆりゅー。(水の上に草が揺れている)。あーはなう　みーる(上側をみなさい)。ゆーいぬ　すきむぬぬ　あーはなう　とぅいー　かんかい　すきー(お祝い

の供え物の上（の方の一部）を取って神に供える)。［類］はな。

あーばん [a:ban]【名詞】「名詞＋｛～ぬ・が｝」や「節＋ぬ」の後ろについて「～だけでなくその他に､～の上に」を表す。【例】りょこーぬ　あーばん　でぃんまい　っじたい（旅行をさせてもらった上に金も貰った)。りょこーんかい　いきぬ　あーばん　でぃんまい　はーさ　っじたい（旅行に行った上に､お金もたくさんもらった［＞行かせてもらった］)。ういが　あーばん（それ以外に、その上に)。［変異］わーばん。

あーび [a:bi]【名詞】［A］上、高い方；上座；上級。［変異］わーび。［類］あーぎ。

あーび [a:bi]【名詞】［C］〖貝〗アワビ。【例】あーびぬ　からひーどぅ　ぶーゆぎゃー　そぅー（アワビの殻で苧麻の皮を削ぐ)。

あーびゅーい [a:bju:i]【名詞】大祭事日和、大日取り、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる。［類］ほぅっびゅーい、かんびゅーい。

あーぶ [a:bu]【名詞】［A］穴、洞窟。【例】やらびんみゃー　あーぶぬ　なかん　かっふゅーたい（子供たちは洞窟の中に入って隠れていた)。［類］はーぶ。

あーらうんーた [a:raun:ta]【名詞】〖植〗ヒメクマヤナギ。

あーらうんーたぎー [a:raun:-tagi:]【名詞】〖植〗ヒメクマヤナギの木。

あい [ai]【動詞】［不規則動詞］［A］コピュラ「だ、である」の終止形。過去形は「あたい」、連用形はなく、代わりに「名詞＋や　ひー」などを用いる。否定形は「あらん」、否定過去形は「あらっだん」、否定連用形は「あらだ」。通常、肯定、文終止の位置では省略される。接続形　～ば､～そぅが、未然形＋ばんまい、などでは「やいば」「やいそぅが」「やらばんまい」の形をとる。

あい [ai]【指示詞】〖指示副詞〗そのように、そう；そうだ；「あいぬ」の形で、「そのような、そんな」　。【例】あいや　あらん（そうではない)。A: うらー　あいな？　B: んーでぃ　あいだら（A: それってそうなの？　B: そう、そうなんだよ)。うりゅーぎゃー　あいや　ほぅん（それはそうはしない)。うりゅーぎゃー　あいや　あっじゃん（それはそうは言わない)。あい、あいてぃぬ　くとぅだら（そう、そういうわけなんだよ)。あいはず（そのはずだ［＜そうであるはず］)。あいぬ　むぬー　にゃーん（そんなものはない)。あいぬがら　っさいん（そうかも知れない)。あいどぅ　あたい（そうだった)。あいどぅ　うむー（そう思う)。あいちゃ（そのはずだ)。あいだら（そうだよ)。

あい [ai]【形容詞】［A］（人に対して）

付きまとう、じゃれつく。 【例】かりゃー ばぬんかいどぅ うんそぅく あいかい（彼は私につきまとっている）。［類］あり。

あい [ai] 【名詞】［B］〖植〗藍。 【例】みやこじょーふーぎゃー あいひどぅ そぅみー（宮古上布は藍で染める）。

あい [ai] 【名詞】［B］〖魚〗アイゴ。【例】あいや さすどぅす（アイゴは（毒針があって）刺す）。［類］あいっぞぅ。

あい [ai] 【動詞】［母音語幹］［C］和える。【例】あい じゅー（和えた野菜）。んーぎーぬ はーゆ あいー まくぶなますてぃー ふぁう（芋の葉をあえてブダイの刺身として食べる）。

あい あっそう [ai assu] 【成句】そうしなさい。 【例】しーしーが あすがにゃーん あい あっそう（先生がやる通り、そうしなさい［＞やる通りにやりなさい］）。［変異］あいっそぅ、あやっそぅ。

あい あらだ [ai arada] 【成句】そうではなくて、逆に。 【例】うぬ くとぅー あいや あらだ じょ かいほぅでぃ（そのことはそうじゃなくて、こうしよう）。うらー あい あらだ、かいぬ くとぅちゃ（それはそうではなくて、こうらしい）。［類］かいあらだ。

あい あり [ai ari] 【成句】すこしして、すこし時間がたってから；目的地まで行くのにすこし時間がかかる。【例】あいや ありどぅ かでぃふつぬかいすかじゃー ふつ（すこし間があってから台風の返しの風は吹く）。きゅーや あみ やいば すかまうぎゃー あい ありーからどぅ すきゃきでぃ（今日は雨だから仕事をもう少ししてから始めよう）。っさらんかいやあい ありどぅ いきゅーたい（平良に行くのはある程度時間がかかった）。いきまたーひや ふにひー あい ありどぅ いかいー（池間までは舟である程度時間をかけないと行けない［＜ある程度時間をかけて（はじめて）いける］）。

あい [ai] ①【動詞】［不規則動詞］［C］存在動詞、「ある」。「あい」は、本来連体形であるが、焦点助詞「どぅ」がある文では終止形として使われる。焦点助詞がない文では普通「あり」が終止形として使われる。過去形は「あたい」、否定形は「にゃーん」。 【例】あかいらうっちゃ びゅーい むぬまいどぅあい（アカイラウツは毒のあるものもある）。うたきんな かうるぬどぅあい（ウタキには香炉がある）。かぬきゃが まいんどぅ んまむぬぬ あい（あの人たちの所にご馳走がある）。［類］あり。②【補助動詞】［不規則動詞］（連用形について）ある状態になっていることを示す「～てある、～た」［共通語の「てある」と違い、意志的な動作でなくても使え、「前もって準備のために～し

てある」という意味はない]。【例】きーゆ　たうひーあい（木をたおしてある)。やーんかい　ばーっしゃー　むぬーとぅいが　いつ（家に忘れ物を取りに行く［ばっしゃー＝ばっし＋あい]）。うらー　ばが　っちゃーい　っぞぅ（これは私が釣った魚だ［っちー＋あい＝っちゃーい]）。やーぬ　かぎゃー　んじゃんかい　うきゃーががら　むいとぅ　とぅみらいん（家の鍵はどこに置いたのか全然見つからない［うきゃー＝うき＋あい]）。きゅーや　うまんかい　っちゃー　かいや　ありーどぅー（ここに来たかいがある［っちゃー＝ってぃ（来る）＋あい]）。

あい [ai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C]（人が）あばれる。【例】やらびんみゃー　やーぬ　なかん　ありーどぅー（子供たちは家の中で暴れまわっている)。[類] あり。②【動詞】[r/rr 語幹] [C]（生き物が）餌を求めて激しく集まる。【例】うぬ　っぞぅー　うぬ　びじゅんかいどぅ　うんそぅく　あい（この魚はこの餌にとてもあばれる［＞良くくいつく]）。びーやぬどぅ　っさりむぬんかい　ありゅー（ゴキブリが腐ったものに集まっている)。くぬいぬ　やらびんみゃー　あかばたういんかいや　あらん（最近の子供たちはスイカには集まらない)。[類] あり。③【動詞】[r/rr 語幹] [C]（海などが）荒れる。【例】きゅーぬ　いんな　ありーどぅー（今日の海は荒れている)。[類] あり。

あい [ai] ①【動詞】[zz 語幹] [A] 言う［否定形：あっじゃん、連用形：あっじ、命令形：あっじ、過去形：あいたい]。【例】ばが　なーゆぎゃー　まさいてぃどぅ　あい（私の名前はマサイと言います)。っづぁー　んなまー　なうてぃどぅ　あいたいが（あなたは今何と言ったのですか)。っづぁー　んなまー　なうがが ら　あいたいな（あなたは今何か言ったのですか)。ばが　あいがにゃーん　あっじ（私の言うとおりに言いなさい)。っづぁが　なーや　あいぐりかいば　ならん（あなたの名前はとても言いにくい［＞発音しにくい]）。っづぁが　あっじゅーが　にゃーん（君の言う通りだ)。むぬいゆ　あい（ものを言う)。[変異] あっじ。②【動詞】[zz 語幹] [A]（歌を）歌う［否定形：あっじゃん、連用形：あっじ、命令形：あっじ、過去形：あいたい]。【例】さちこー　あーぐー　あい　むぬぬどぅ　うむっし（さちこは歌を歌うのが好きです)。っづぁが　ん゜ぬ　あっじゅーたい　あーぐーぎゃー　なうてぃどぅ　あい（あなたが昨日歌っていた歌は何といいますか)。

あいえいそぅが [aieisuga] 【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。【例】あいえいそぅが　ばー　ほぅじゃーん（それはそうだけど、おれはやらない)。[変異] あいやいそぅが、あいやそぅが。

あいえてぃがー [aietiga:] 【接続詞】

そうだったら、それじゃあ。 【例】A：あちゃー　かでぃふつちゃ。　B：あいえてぃがー　あちゃー　いきまー　いかいん（A：明日は台風だってさ。B：だったら明日は池間は行けない）。あいえてぃがー　ばー　いかじゃーん（そうだったら私は行かない）。［変異］あいやてぃがー、やいてぃがー、やてぃがー、えてぃがー。

あいかい [aikai]【副詞】あれこれ、あれこれと。 【例】あいかいぬ　はなっそぅ　あすたい（いろんな話をした）。からー　ばが　すかまう　なうゆまい　あいかい　かしーや　ひーふぃーたい（彼は私の仕事をなんでもあれこれ手伝ってくれた）。

あいがにゃーん [aiganja:n]【成句】（～の）言うとおり。 【例】ばが　あいがにゃーん　あっじ（私の言うとおり言いなさい）。かいが　あいがにゃーん　あい　あっそぅ（あの人の言うとおりやりなさい）。っづぁが　あいがにゃーん　むぬいばどぅ　ばいかい（あなたの言うとおり話したら（事態は）悪くなるばかりだ）。

あいぎだうり [aigidauri]【感動詞】〖応答詞〗そうらしい。 【例】A: からー　やみーどぅーちゃ　B: あいぎだうり（A: あいつは病気だって　B: そうらしいね）。

あいくとぅ　にゃーんくとう [aikutu nja:ŋkutu]【成句】あること ないこと。 【例】かりゃー　あいくとぅ　にゃーんくとぅー　なうまい　んなない　むぬっじゅーたい（あいつはあることないことを何もかも全て話した）。

あいたー [aita:]【名詞】ハンセン氏病患者の蔑称、ライ病患者。 ［類］くんきゃ、くんちゃ。

あいだーだら [aida:dara]【感動詞】〖応答詞〗そうだ、そうなんだよ。 【例】あいだーだら、っづぁが　あっじゅーが　にゃーん（そうなんだよ、あなたの言っている通りだよ）。［類］あいだら。

あいだら [aidara]【感動詞】〖応答詞〗そうだ、そうなんだよ。 【例】あいだら、っづぁが　あっじゅーが　にゃーん（そうなんだよ、あなたの言っている通りだよ）。［類］あいだーだら。

あいだり [aidari]【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。 【例】やらびんみんみぬ　むぬー　ふぁいぬ　あとぅー　やぐみ　あいだりどぅ　あたい（子供たちが食事したあとは（食べかすで）とても散らかっていた）。むぬーふぁいぬ　あとぅぬ　あいだりゅーぎゃー　とぅい（食べた後の食べかすを取りなさい）。あいだりぬ　すきゃーりゅーい（食べかすなど（米粒など食べた時にこぼれたもの）が散らかっている）。［変異］あいだ

い。［類］くず、あいだりくず、あいだいくず。

あいだりくず [aidarikuzɨ] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。 ［変異］ありだいくず。［類］くず、あいだり、あいだい。

あいちゃ [aitɕa] 【感動詞】〖応答詞〗そうだって（さ）、だそうだ（よ）。【例】あいちゃ。かいが　あすがにゃーん　あっそぅ（だってさ。あいつのやる通りにやってよ）。

あいつ [aitsɨ] 【動詞】［k 語幹］［C］歩く；（学校や会社に）通う；走る。 ［変異］あいふ。

あいつー [aitsɨ:] 【動詞】［cc/tt 語幹］言い込める、詰（なじ）る、非難する。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　あいっちゃん（そんなに他人を罵らない［＞罵ってはいけない］）。［変異］あいっつ。［類］あいっち。

あいっぞぅ [aizzu] 【名詞】〖魚〗アイゴ。 【例】あいっぞぅー　ばかばいむぬ（アイゴは（食べると）吹き出物が出る）。あいっぞぅぬ　つーずんな　ささいな（アイゴの刺には刺されるな）。［類］あい。

あいっち [aittɕi] 【動詞】［母音語幹］言い込める、詰（なじ）る、非難する。【例】かりゅーぎゃー　ちゅーく　あいっちたい（あいつを強く非難した）。［変異］あいってぃ。［類］あいっつ。

あいっつ [aittsɨ] 【動詞】［cc/tt 語幹］言い込める、詰（なじ）る、非難する。【例】ひとぅーぎゃー　まーぬ　あいっちゃん（他人をあまり非難するな）。かいん　あいっちゃいー　ばー　かさますかいば　ならっだん（あいつになじられて私は悔しくて仕方がなかった）。かさますかいば　たやん　あいっちー　すてぃる（悔しいから強く言い返してやれ）。［変異］あいつー。［類］あいっち。

あいつびゃー [aitsɨbja:] ①【名詞】歩く速度が速いこと。【例】あいつびゃー　ひとぅぬ　あとぅー　うーいん（歩くのが早い人の後はついていけない）。②【名詞】赤ちゃんの歩き始めが早いこと。【例】ばんたが　みどぅんっづぁー　むいとぅ　あいつびゃー　あたい（私たちの娘は、歩き始めるのがとても早かった）。

あいつんつ [aitsɨntsɨ] ①【名詞】いつも行き慣れた道。 【例】うまぬどぅ　ふくやまんかいぬ　あいつんつ（これが福山へ行くいつもの道だ）。②【名詞】目的地までの途中。【例】どぅーや　ぶらんかいぬ　あいつんつん　ってぃーどぅー（私たちは保良に行く道の中間ぐらいに来ている）。はいんかいぬ　あいつんつん　どぅすん　いじゃうたい（畑に行く途中で友達に会った）。

あいでぃ [aidi] ①【名詞】[C] 少しずつ大切に食べること、少しずつでもたくさんご飯が食べられるおかず、またその性質。 【例】むぬーぎゃー あいでぃがまーひー ふぁい（ご飯は（おかずと）すこしずつ合わせて食べなさい[＞少量のおかずを大切にして少しずつ食べろ]）。[類] かてぃー、かてぃ。②【形容詞】[C] 食べでがある；少量でたくさんご飯が食べられる [おかずに使う]。【例】っぢぁから かうたい わーや やぐみ あいでぃむぬ あたい（あなたから買った豚はとても食べでがあった）。やぐみ あいでぃ わー（見かけよりも多い豚肉）。ういがどぅ あいでぃかい（これがたくさんご飯が食べられる（おかずだ））。

あいてぃー [aiti:]【感動詞】〖応答詞〗そうなんだ、（語尾を上げて）そうなの。 【例】あいてぃー（そうなんだ）。あいてぃーだ（そう言うことらしい）。あいてぃーちゃ（そうだそうだよ）。

あいてぃぬ くとぅ [aitinu kutu] 【感動詞】〖応答詞〗そういうことだ。 【例】あい、あいてぃぬ くとぅだら（そう、そういうことなんだよ）。

あいてぃぬ むぬ [aitinu munu] 【感動詞】〖応答詞〗そういうことだ。 【例】うりゃー あいてぃぬ むぬ（それは、そういうことなんだよ）。

あいてぃんどー [aitindo:] 【感動詞】〖応答詞〗そうらしい、そうだそうだ。 【例】A: まさいや みがとぅどぅ あらういだすたいな B: あいてぃんどー（A: マサイはミガと婚約したのかい。B: そうらしいよ）。

あいてぃんぬがら [aitinnugara] 【感動詞】〖応答詞〗そうかも（しれない）。 【例】A: まさいや みがうどぅ とぅずあすがまたびゃーい。B: あいてぃんぬがら（A: マサイはミガを嫁さんにするのかね。B: そうかも（しれない）ね）。[類] あいてぃんむがら。

あいてぃんむがら [aitimmugara] 【感動詞】〖応答詞〗そうかも（しれない）。 【例】A: まさいや みがうどぅ とぅずあすがまたびゃーい。B: あいてぃんむがら（A: マサイはミガを嫁さんにするのかね B: そうかもしれない）。[類] あいてぃんぬがら。

あいな [aina] 【感動詞】〖応答詞〗そうなの、そうか。 【例】A: まさいや みがうどぅ とぅずあすがまたびゃーい。B: あいな、あいどぅ あたいな（A: マサイはミガを嫁さんにするのかね。B: そうか、そうだったのか）。

あいぬ [ainu] 【連体詞】こんな、そんな、あんな。 【例】あいぬ むぬ（{こんな、そんな、あんな} もの）。あいぬんまり（{こんな、そんな、あんな} 奴）。あい かいぬ ばーだら（そう言う訳だよ）。ばー んめ ふたかいまてぃや あいぬ くとぅーぎゃー ほぅ

じゃーんば　たんでぃやらー　ゆらひー　ふぃーさまてぃ（私はもう二度とそんなことはしないのでお願いですから許してください）。

あいぬ　かいぬ [ainu kainu]【成句】それくらいのことも、あんなことも　そんなことも。【例】ばー　あいぬ　かいぬ　くとぅがまうまい　っさっだん（私はそれくらいのことも知らなかった）。ばぬんな　あいぬ　かいぬ　むぬまい　とぅみらいん（わたしにはそれくらいのものも見つけられない（よ））。

あいぬ　ばー [ainu ba:]【成句】そう言うわけ、こんな理由。【例】っぅぁが　あっじゅーくとぅー　あいぬ　ばーだら（あなたが言っていることは（結局）そう言うことなんだよ）。あいぬ　ばーやひどぅ　ばぬんな　がっこーや　いかいっだん（そう言うわけで私には学校に行けなかった）。また　あいぬ　ばー（へー、そうなのか［応答詞として使われる］）。［類］かいぬ　ばー。

あいぬむぬ　かいぬむぬ [ainumunu kainumunu]【成句】あんなもの、こんなもの。【例】あいぬむぬ　かいぬむぬ　むちーふーな（こんなもの持ってくるな）。

あいはず [aihazɨ]【感動詞】〖応答詞〗そうだろう、そのはずだ。【例】A: まさいや　ってぃーどぅーな　B: あいはず（A: マサイは来たの。B: そのはずだ）。あちゃー　あみびゃーいー。あいはず（明日は雨だろうね。だろうね）。［類］かいはず。

あいひー [aihi:]【接続詞】そうすることで、そのあとで、そして。【例】きゅーや　すとぅむてぃ　ひゃーひんうきー、あしゃー　ふぁいー、あいひー　いんかい　いつたい（今日は朝早く起きて、朝ご飯を食べて、そして漁にでかけた）。でぃんな　はーさ　まうきー　あいひー　ふにまい　かうたい（金を儲けて、それで船まで買った）。［変異］あやひー。［類］かいひー。

あいびゃ [aibja]【感動詞】そうなんだ。【例】あいびゃ、ばー　なうちゅんま　っさっだんさー（そうなんだ。私は全然知らなかったよ）。［変異］あいば。

あいびゃーん [aibja:n]【成句】そうかな、そうだろうな［自分の考えを疑っているとき、相手の言うことを疑っているときの両方使える］。【例】からー　かい　あっじゅーそぅが、あいびゃーん（あいつはそういっているが、そうなのかな）。うらー　さにんな。あいびゃーん（これは月桃かな。ちがうかも）。［類］かいびゃーん。

あいふ [aifu]【動詞】［k 語幹］［C］歩く；（学校や会社に）通う；走る。【例】はいぬ　あっじゃう　あいふ（畑の端を歩く）。ひとぅぬ　あいふ　んっちゅぎゃー　つっじゃん（人の歩く道をふさぐな）。ばー　あてぃ　うだいやひど

ぅ　ひとまた　あいふきゃー　いっちゃ　はーみきーどぅー（私はとても太っているので一歩歩くと息が切れる）。てぃびゅーぎゃー　みーだ　まいゆたーな　みー　あいき（後ろを見ずに前だけ見て歩け）。いんぬ　あいふ（漁師をする［＜海を歩く］）。がっこーんかい　じてんしゃひー　あいふ（学校に自転車で通学する［＜学校に自転車で歩く］）。かいんな　んがいんやうんてぃ　そぅっづぃー　あいき（あいつにおいつかれないように一生懸命走れ（［＜走って歩け］）。［変異］あいつ。

あいほぅーきゃー [aihu:kja:]【成句】そうしている中に、そうこうしている間に。【例】あいほぅーきゃー　ふにゃー　いでぃー　はりーにゃーん（そうしている間に船は出ていった）。［変異］あやほぅーきゃー。［類］かいほぅーきゃー。

あいま [aima]【名詞】［C］（ものや人との空間的）間：（出来事が続く時間的）間；（出来事と出来事の）合間。【例】っづぁが　びー　あいまー　にゃーん（お前が座る場所はない）。ひーまむぬー　ふぁう　あいままい　にゃーん（昼ごはんを食べる時間もない）。うぐなーいぬ　あいまん　ぶとぅぬ　っちゅーたい（集まりの最中に旦那が来た）。すかまぬ　あいま（仕事の合間）。

あいやいそぅが [aijaisuga]【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。【例】あーぎぬ　がっこーんかい　いつぶすむぬ。あいやいそぅが　やーんな　でぃんな　にゃーん（上の学校に行きたい。でも、家には金がない）。っさらんきー　あそぅーが　いつぶすむぬ、いー。あいやいそぅが、どぅーや　まどぅー　にゃーん（平良に遊びに行きたいね。でも、僕たち、時間がないよ）。あいやいそぅが　ばー　あいや　うむーん（だけど、私はそうは思わない）。［変異］あいえいそぅが、あっそぅが、あいやそぅが。

あいやそぅが [aijasuga]【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。［変異］あいえいそぅが、あっそぅが、あいやいそぅが。

あいやてぃがー [aijatiga:]【接続詞】そうだったら、それじゃあ。【例】A: っづぁー　とぅずとぅみぶすむぬな　B: おー　A: あいやいてぃがー　ばが　みどぅんっづぁー　なうばい（A: お前は結婚したいのかい。B: そうです。A: じゃー、うちの娘はどうだい）。［変異］あいやいてぃがー、あいえてぃがー、やいてぃがー、やてぃがー、えてぃがー。［類］かいやてぃがー。

あう [au]【動詞】［w 語幹］［C］（人が人に約束して、または、偶然に）会う；（人が事故、災難などに）会う。【例】んˀぬ　かにんかい　あうたい（昨日カニに会った）。みーかない　ばがっふぁー　こーつーじこん　あうたい（一昨

日うちの子が交通事故にあった)。

あう [au]【動詞】[w 語幹][C](着物などが人に)似あう;(物の形状などが別の物の形状と)一致する;(意見などが)一致する　性格などが)合う;　論理的に説明がつく。【例】くぬ　つんな　たるんかいまい　あうどぅす(この服はだれにでも合う)。くぬ　かぎゃー　かぎぬ　あなんかいや　あーん(このカギは鍵穴に合わない)。かいとぅー　はなっさ　あーん(あいつとは話が合わない)。ばんな　つむ　あーん　ひとぅー　みーん(私には気の合わない人はいない)。っづぁが　きゅーぬ　はなっさ　んˀぬぬ　はなすとぅ　あーん(お前の今日の話は昨日の話と合わない)。

あう [au]【名詞】[C]青。【例】みどぅんしーとぅんみゃー　あうすかーとぅー　っちゅーたい(女子生徒は青いスカートをはいている)。[類]あう。

あうー [au:]①【動詞】[vv 語幹幹][C](暖を取るために)火に当たる。【例】きゅーや　っしかいば　うまっちゅあうー(今日は寒いので(暖を取るために)火に当たる)。っしかいば　うまっちゃ　あっづぃ(寒いから火に当たれ)。[類]あっづぃ。②【動詞】[vv 語幹幹][C](食べ物を)あぶる;火に当てる。【例】うまつひー　っぞぅー　あうー(火で魚をあぶる)。ひんじゃぬばたう　あっづぃー　やきー　ふぁう(山羊の腸を(火に)あぶって焼いて食べる)。かじゃまきぬ　とぅきゃんなやりさばう　あっづゅーとぅい　うりゅー　かうかい　とぅくまんかい　あたらすきゃー　なういどぅす(虫刺されの時には古い草履を火にあぶって、それをかゆいところにあてると治る)。[類]あっづぃ。

あうー [au:]【動詞】[vv 語幹幹][C]扇ぐ。【例】あうずひー　あうー(扇で扇ぐ)。あつかいば　あっづぃー　ふぃーさまてぃ(暑いので扇いでください)。[類]あうず。

あうい [aui]①【動詞】[r/rr 語幹][C](風や火が何かを)煽(あお)る。【例】かでぃん　あうらい　たうりーにゃーん(風に煽られて倒れた)。うまつんあうらい　あつかいば　ならっだん(火に煽られて暑くて仕方なかった)。②【動詞】[r/rr 語幹][C](人に何かさせるために人をおだてて)何かをさせる。【例】かにゅー　あうりー　あーぐーあっじゃすたい(カニをおだてて歌を歌わせた)。まさいとぅ　かにゃー　んーんなん　あうらい　ぶどぅいすきゃきたい(マサイとカニは皆におだてられて踊りはじめた)。

あうぎ [augi]①【動詞】[母音語幹][A](水、土、石等を別の容器などに)入れる。【例】うまんかい　んたうぎゃーあうぎる(ここに土を流し入れろ)。[類]あうず。②【動詞】[母音語幹][A](中のものを)捨てる。[類]あうず。

あうきゃ [aukja]【名詞】[C]〖生物〗10ｃｍ位の小さいイカ。【例】あうきゃー　たいがい　かまさーとぅどぅ　ひとぅみ　うい（アウキャはたいがいカマスと一緒にいる）。

あうく [auku]【名詞】[C] 穀物を叩いて実を取り出したり、殻を落としたりする棒［長い棒と短い棒を連結し、短い方をもって長い方を穀物に叩きつける］。

あうくばら [aukubara]【名詞】穀物などをあうくで叩くときに手にできたマメ。

あうぐるくん [augurukun]【名詞】〖魚〗ハナタカサゴ。

あうさり [ausari]【形容詞】（魚が）生臭い。【例】あいっぞぅー　あうさりむぬ（アイゴは生臭い）。

あうず [auzɨ] ①【動詞】[g 語幹] [C]（水、土、石等を別の容器などに）入れる。【例】うまんかい　んたうぎゃー　あうぎ（ここに土を流し入れろ）。[類] あうぎ。②【動詞】[g 語幹] [C]（中のものを）捨てる。【例】ばきつぬ　みっじゅぎゃー　あうぎー　すてぃる（バケツの水をすててしまえ）。[類] あうぎ。

あうず [auzɨ]【動詞】[g 語幹] [C] 扇ぐ。【例】あつかいば　あうずひー　あうず（暑いので扇で扇ぐ）。[類] あうー。

あうず [auzɨ]【名詞】[C] 扇、うちわ。【例】くばがさぬ　はーひーどぅ　あうっじゅぎゃー　ちゅっふ（ビロウの葉で扇を作る）。

あうそぅ [ausu]【名詞】[C]（浅瀬でなく）海の深いところ。【例】ふか　あうそぅ（深い海）。

あうそぅん [ausun]【名詞】トンボ。【例】かでぃふつゆらん　ないてぃがー　あうそぅんぬどぅ　うんそぅくとぅびーふー（台風の時期になるとトンボがたくさん飛んでくる）。あうそぅんぬ　とぅいー　あそぅー（トンボを取って遊ぶ）。

あうだ [auda]【名詞】[C]〖道具〗もっこ。【例】あうだんかい　っさー　かりー　いりー（もっこに草を刈りて入れる）。

あうたん [autan]【副詞】（植物などが）青く、青々と（茂る）;（殴られて皮膚などが）青く（なる）。【例】んーぎーや　あうたん　なりー　ういー　はやいーどぅーい（芋の蔓は青々と生い茂っている）。まさいや　かにん　なっじゅらいー　みーや　あうたん　なるー（マサイはカニに殴られて、目が青くなった［＞目の周りに青あざができた］）。[類] あう。

あうっどぅい [auddui]【名詞】病気がちの人が顔色に血色がないこと。【例】やみどぅ　みはなー　あうっどぅ

いや　ひーゆー（病気で顔には血色がよくない）。

あうなず [aunazɨ]【名詞】〖生物〗青大将（ヘビの一種）。【例】あうなずぬ　あっづぁー　はいがさぬ　っそぅいん　ない（青大将の脂は台湾坊主［＝禿頭病］の薬になる）。

あうぬー [aunu:]【感動詞】〖フィラー〗あのー、何というか［「あうぬぎゃー」ともいう］；仕方がないので、とにかく　［「あうぬぎゃー」とも言う］。【例】じょー　いんかい　いかっでぃー　うむいー　うたいそぅが　あうぬー　ばー　かなまい　やんかいば　いかじゃーん（「さあ、海に行くぞ」と思っていたんだけど、あのー、頭が痛いんでいくのやめるよ）。あうぬー　ゆくい（どうでもいいからとにかく休め）。［類］あにゃむぬー、あなむぬー。

あうぬがま [aunugama]【名詞】それくらいの人、物。【例】あにゃ　あうぬがまうぎゃー　とぅっじゅぎゃー　ほぅん（その程度の人は妻にしない）。（小さなみすぼらしい魚を渡されて）あうぬがまうぎゃー　っじじゃーん（そんなものはうけとらない）。［類］あにゃるがま。

あうぬんみ [aunummi]【名詞】あんなやつら、そんなやから。【例】あうぬんみゅーぎゃー　てぃっづゃーがらひー　すちゅーき（そんなやつらはほっておけ）。あにゃ　あうぬんみまいんかいや　いかん（あんなやつらのところには行かない）。

あうばい [aubai]【名詞】〖昆〗銀蝿。【例】さたんな　あうばいぬどぅ　たかりゅー（砂糖には銀蝿がたかっている）。

あうばじゃかい [aubaʒakai]【名詞】（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げること；（手、股、扇など閉じてあるものが）開くこと。【例】うゆびゅー　あうばじゃかい　あっそぅ（（手や足）の指を広げろ）。またうぎゃー　あうばじゃかいやー　ひー　びーな（股を開いて座るな）。あうっじゅ　あうばじゃかい　あす（扇を広げる）。とぅいぬどぅ　はにゅー　あうばじゃかい　ひーゆー（鳥が羽を広げている）。［変異］あうばだかい。

あうばじゃかい [aubaʒakai]【動詞】［r/rr 語幹］（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げる；（手、股、扇など閉じてあるものが）開く。【例】うゆびゅー　あうばじゃかい（（手や足）の指を広げる）。ういびとぅん　なりー　うゆびゃー　あうばじゃからん（年寄りになって　指をひろげることができない）。［変異］あうばだかい。

あうばじゃかす [aubaʒakasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げる。【例】うゆびゅー　あうばじゃかす（指をひろげる）。またうぎゃー　あうばじゃかひ

ー　びーな（股を開いて座るな）。あうっじゅ　あうばじゃかす（扇を広げる）。とぅいぬどぅ　はにゅー　あうばじゃかひーゆー（鳥が羽を広げている）。［変異］あうばだかす。

あうばじゃからす [aubaʐakarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げる。【例】うゆびゅー　あうばじゃからす（指をひろげる）。またうぎゃー　あうばじゃからひー　びーな（股を開いて座るな）。あうっじゅ　あうばじゃからす（扇を広げる）。とぅいぬどぅ　はにゅー　あうばじゃからひーゆー（鳥が羽を広げている）。［変異］あうばだからす。

あうばだかい [aubadakai]【名詞】（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げること；（手、股、扇など閉じてあるものが）開くこと。［変異］あうばじゃかい。

あうばだかい [aubadakai]【動詞】［r/rr 語幹］（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げる；（手、股、扇など閉じてあるものが）開く。［変異］あうばじゃかい。［類］あうばじゃかす、あうばじゃからす。

あうばだかす [aubadakasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げる。【例】うゆびゅー　あうばだかす（指をひろげる）。またうぎゃー　あうばだかひー　びーな（股を開いて座るな）。あうっじゅ　あうばだかす（扇を広げる）。とぅいぬどぅ　はにゅー　あうばだかひーゆー（鳥が羽を広げている）。［変異］あうばじゃかす。［類］あうばじゃからす。

あうばだからす [aubadakarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（手、股、扇など閉じてあるものを）開く、広げる。［変異］あうばじゃからす。［類］あうばじゃかす。

あうひぐる [auhiguru]【形容詞】肌寒い。【例】きゅーや　やぐみ　あうひぐるむぬ（今日はとても肌寒い）。［変異］あうぴぐる。

あうびつ [aubitsɨ]【名詞】〖魚〗ロクセンスズメダイ。

あうます [aumasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（作物に肥料を入れて）青々と成長させる。【例】ぶーずんかい　っふぁいや　いりー　あうます（サトウキビに肥料を入れて青々を成長させる）。

あうまちゃ [aumatɕa]【名詞】〖鳥〗メジロ。［変異］あうまっちゃ。

あうみー [aumiː]【名詞】臆病者。【例】からー　あうみー　やいば　あうやーゆぎゃー　ほぅだ　すぐ　ひんず（あいつは臆病だからケンカはせずにすぐ逃げる）。［類］あうみーやから。

あうみーやから [aumiːjakara]【名詞】臆病者。［類］あうみー。

あうやー [aujaː]【名詞】ケンカ、言い争い、とっくみあい。【例】あうや

ーゆぎゃー　ほぅん（ケンカをしない［＞ケンカをしてはいけない］）。うぬきゃが　ふたーいや　ばかかいきゃー　うんそぅく　あうやーゆまい　ひーうたい（その二人は若い頃はいつもケンカばかりしていた）。

あうん [aun]【動詞】［m 語幹］［C］（作物に肥料が入って）青々と成長する；（海の色、空の色）青くなる。【例】んーぎーぬ　はーや　むいとぅ　あうみーどぅー（芋の葉はとても青々としている）。ふかいんな　むいとぅ　あうみーどぅー（深い海は青々としている）。きゅーぬ　てぃんな　あうみーうい（今日の空は青い）。

あか [aka] ①【形容詞】［A］（周囲が）明るい。【例】くまどぅ　あかかいばくまんかい　くー（こっちが明るいからこっちにこい）。②【形容詞】［A］（色が）赤い。【例】あかぎー（赤い髪）。かんれきんな　あかずんぬ　つー（還暦には赤い服を着る）。からー　いつまいさきゃー　ぬみー　あかみはな（あいつはいつも酒を飲んで赤い顔をしている）。

あか [aka]【名詞】［C］（色の名前）赤。【例】あかいる（赤色）。いきまむぬいんな　あか、あう、っふ、っそぅぬ　ほぅかんな　いるー　にゃーん（池間のことばには赤、青、黒、白しか色はない）。

あか [aka]【名詞】［C］髪の毛。【例】んまぎ　あか（見事な髪の毛）。ふすひー　あかう　きっず（櫛で髪をすく）。あかう　ゆー（髪を結う）。かなーいや　みどぅんまい　びきどぅんまい　からっじゅぎゃー　ゆっづぃどぅ　うたい（昔は女性も男性も髪を結っていた）。［類］からず。

あか [aka]【名詞】［C］船底にたまった水。【例】ふにぬ　あかう　んˀん（船底にたまった水を汲みだす）。［類］あかま。

あか [aka]【感動詞】期待とは裏腹のときに出る言葉、えっ、何だって。【例】あか、あにゃ　うさかがま（えっ、たったこれだけ）。［類］あがい、あがー。

あがー [aga:]【感動詞】痛いときに出す悲鳴。【例】いちゃかい　とぅきゃんな　あがーてぃどぅ　あい（痛いときにはアガーと言う）。あがー　いちゃかいば　ならん（アガー　痛くてしかたがない）。［変異］あがい、あがえ、あっがー。

あかい [akai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（雨が）上がる。【例】あみぬ　あかりゅー（雨が上がった）。あみぬ　あかいぎかい（雨が上がりそうだ）。

あかい [akai]【名詞】［B］明かり、灯り。【例】ゆーかーまんどぅ　あかいぬ　みーらいゆー（ずっと遠くに明かりが見える）。やーぬ　あかい（家の灯り）。あかいゆ　つきる（あかりをつけろ）。

あかい [akai]【名詞】[B] 蟻。【例】あかいぬ　すー（蟻の巣）。まーぬ　あかいや　ゆみー　あいつな（あんまりゆっくり歩くな［＜蟻を数えて歩くな］）。

あがい [agai] ①【感動詞】ああもう、ああしまった、ああ残念だ。【例】あがい　ひんじゃー　ひんがひーにゃーん（ああ山羊を逃がしてしまった）。あがい　ぶとぅー　すにーにゃーん（ああ、夫が死んでしまった）。あがい　んめ　くとぅすまい　やーっそぅ（ああ大変だ、今年も飢饉だ）。あがい　んめ　きゅーまい　さきくたんでぃ（ああ　もう大変だ、今日も二日酔いだ）。あがい　たんでぃ　なうばい　ほぅでぃが（ああもう、どうしようか）。［変異］あがえ。②【感動詞】相手を制止することば、これ、こら。【例】あがい　んめどー、うまんかいや　ふーな（こら、あぶない、こっちには来るな）。

あがい [agai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（太陽が）あがる、（月が）出る；（値段、成績、給料などが）上がる；（家などに）上がる。【例】てぃだぬ　あがりーふー（太陽が上がってくる）。つっちゅぬ　あがい（月が出る）。あがいてぃだ（朝、東から昇る太陽）。くぬいや　むぬぬ　だいぬどぅ　あがりゅー（最近は物価が上がっている）。んまがぬ　がっこーぬ　せいせきゃー　なうちゅんま　あがらん（孫の学校の成績は全然あがらない）。［類］ぬーい。

あがい [agai]【名詞】［A］東。【例】あがいでぃんからどぅ　てぃだー　あがい（東の空から太陽は昇る）。あがいかた（東の方）。

あがい [agai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］いまやっている仕事を終える；退勤する；離職する。【例】くまぬ　すかまー　はやまり　あがりー　かまぬ　すかまう　すきゃきでぃ（ここの仕事ははやく終わらせて、向こうの仕事にとりかかろう）。からー　すかまー　あがりー　やーんかい　はりーにゃーん（あの人は仕事を終えて家に帰った）。ていねんな　ひー　こーちょーぬ　すかまー　あがりーにゃーん（定年になって校長職を退職した）。［変異］あがいー。

あがい　たんでぃ [agai tandi]【感動詞】何とまあ、びっくりした時の悲鳴。【例】あがい　たんでぃ、なうばい　あすばどぅ　じゃうかいが（あれまー、どうすれば良いんだろう）。［類］あがい　んみゃ。

あがい　んみゃ [agai mmja]【感動詞】もう大変だ、びっくりした時の悲鳴。［類］あがい　たんでぃ。

あがいがあがい [agaigaagai]【成句】まさか、そんなことがあるのか。［類］うばいがうばい。

あがいじゃとう [agaiʒatu]【名詞】〖地名〗西原の東の集落［東支部と南支部を合わせたもの］。【例】あがいじゃ

とぅ　ぶとぅ　むつてぃがー　かーうり　くーさんよ（東里の夫を持つとヒダガーでの水汲みが大変だよ）。

あがいにゃー [againja:]【名詞】東隣の家。　【例】あがいにゃーや　むとぅやー　かーばた（東隣は本家の川端だ）。

あかいらうつ [akairautsɨ]【名詞】〖魚〗魚の一種。　【例】あかいらうっちゃ　びゅーいむぬまいどぅ　あい（アカイラウツは毒のあるものもある）。

あかうい [akaui]【名詞】〖果物・野菜〗瓜［表面がだいだい色の大き目の瓜。ふつうの瓜よりは硬い］。

あかうぎー [akaugi:]【名詞】〖植〗くわ科の常緑高木。

あかうぎーぬ　んー [akaugi:nun:]【成句】芋畑の取り残しの芋。　【例】あかうぎーぬ　んーぬどぅ　ういゆー（取り残しの芋が生えている）。

あがえ [agae]【感動詞】ああもう、ああしまった、ああ残念だ。　［変異］あがい。

あかがに [akagani]【名詞】銅。

あかぎー [akagi:]【名詞】赤毛、赤毛の人［実際には黒色が薄い髪、あるいはその髪の人を指す］。　【例】あかぎー　みどぅんがま（赤い髪の女の子）。うまんな　あかぎーや　みーん（ここには赤毛の人はいない）。

あかぐー [akagu:]【名詞】食紅［昔はこれを入れて赤飯を作っていた］。

あかぐい [akagui]【名詞】甲高い声、また、甲高い声をしている人。　【例】うぬ　みどぅんがまぬ　くいや　あかぐい　だらよ（その女の子の声は甲高い声なんだよ）。

あかぐすな [akagusɨna]【名詞】つのまた［寒天の材料］。　【例】あかぐすなひー　たうふー　ちゅっふ（ツノマタで豆腐をつくる）。［類］うる。

あかさ [akasa]【名詞】［C］未婚女性の産んだ子供、私生児。　［類］あかさっづぁ。

あかさっづぁ [akasavva]【名詞】未婚女性の産んだ子供、私生児。［類］あかさ。

あかじゃら [akaʑara]【名詞】〖魚〗ベラ。　【例】んなまから　あかじゃらう　つーが（今からベラを釣りに（行こう））。

あかじん [akaʑin]【名詞】〖魚〗赤メバル。

あかす [akasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］吉凶を占う、ユタが祈祷して予見したりする。　【例】びきむぬすーぬ　むぬー　あかす（男性の祈祷師が吉凶を占う）。むぬすーぬ　なうやひー　んまー　すにーはりーにゃーんがてぃー　あかす（祈祷師がなぜ母親は亡くなったか明らかにする［＜亡くなったかと］）。

あかすやー [akasija:]【名詞】床屋［「あかそぅいやー」から来ているが「あかそぅやー」とは言わない］。【例】あかすやーんきー　あかー　そぅりーくー（床屋に行って髪を切ってこい）。［類］あかそぅいやー、さんぱつやー。

あかそぅいやー [akasuija:]【名詞】床屋、散髪屋。【例】あかそぅいやーんきー　あかう　そぅい（床屋に行って髪を切る）。［類］さんぱつやー、あかすやー。

あかたん [akatan] ①【副詞】明るく（なる）。【例】すとぅむてぃん　なりどぅ　てぃんな　あかたん　なるー（朝になって空が明るくなった）。②【副詞】赤く（なる）。【例】さきゃー　ぬみー　みはなー　あかたん　なるー（酒を飲んで顔が赤くなった）。あかぺんきゃー　ぬりー　やーぬ　かびゅーぎゃー　あかたん　なしる（赤いペンキを塗って家の壁を赤くしなさい）。つみゅー　あかたん　そぅみる（爪を赤く染める）。

あかつ [akatsɨ]【名詞］［B］血。【例】っざらひー　うゆびゃー　きりどぅ　あかっちゃ　いだひーにゃーん（鎌で指を切って血が出てしまった［＜血を出してしまった］）。

あかっづぁ [akavva]【名詞】赤ちゃん、赤ん坊。【例】あかっづぁぬ　んま（赤んぼの母親）。あかっづぁぬ　んぎゃーてぃー　なつ（赤ちゃんがおぎゃーと泣く）。

あかつすばい [akatsɨsɨbai]【名詞】血尿。【例】あかつすばいぬ　いでぃー　いちゃかいばならん（血尿がでていたくて仕方がない）。

あかつつ [akatsɨtsɨ]【名詞】明け方［「しゃーか（深夜から午前３時ごろまで、未明）」より後で、日の出前］。［類］しゃーか。

あかない [akanai]【名詞】（夕日や朝日が）赤くなっていること［「あかないあす」の形で用いられる」。【例】てぃだ　あかないや　ひーどぅ（（朝焼けで）太陽が赤くなっている）。ばかすかいば　みはなー　あかないや　ひーどぅーたい（恥ずかしくて顔が赤らんでいた）。

あかばたうい [akabataui]【名詞】スイカ。【例】あかばたういや　うたひーみーきゃー　っさきーにゃーん（スイカを落としたら割れてしまった［＜「落としてみたら」意志的に落としたという意味ではない］）。

あかばに [akabani]【名詞】赤毛、赤毛の人［実際には黒色が薄い髪、あるいはその髪の人を指す］。［類］あかぎー。

あかばみつ [akabamitsɨ]【動詞】［k語幹］騒々しく騒ぐ。【例】みどぅんみゃー　あかばみきゅー（女性たちは騒々しくしている）。［変異］あかばみふ。

あかばみつ [akabamitsɨ]【名詞】騒々しく騒ぐこと。【例】みどぅんみゃー　あかばみっちゃ　ひーゆー（女性たちは騒々しくしている）。

あかばみふ [akabamifu]【動詞】［k語幹］騒々しく騒ぐ。［変異］あかばみつ。

あかばみふ [akabamifu]【動詞】［k語幹］騒々しく騒ぐ。［変異］あかばみつ。

あかぶか [akabuka]【名詞】生理。【例】きゅーや　あかぶかぬどぅ　いじゅー（今日は生理中だ）。

あかぶす [akabusɨ]【名詞】金星。【例】てぃんぬ　あかぶす（金星）。

あかふそう [akafusu] ①【名詞】赤い便。②【感動詞】断るときに使う拒否の言葉、いやだ。【例】あかふそぅ　んば（いやと言ったら、いやだよ）。

あかほぅにゃ [akahunja]【名詞】人参。

あかま [akama]【名詞】［C］船底に溜まった水。【例】ふにぬ　あかまうん゜み（船底に溜まった水を汲め）。［類］あか。

あかます [akamasɨ]【動詞】［s/h 語幹］赤くする；（顔を）赤らめる。【例】やどぅんかい　ぺんきゃー　ぬりー　うまう　あかます（ドアにペンキを塗ってそこを赤くする）。ばかすかいば　みはなう　あかますたい（恥ずかしくて顔を赤らめた）。

あかやー [akaja:]【名詞】リーフと島の間にある岩の凸凹しているところ。魚がたくさんいる。【例】あかやーんな　っぞぅぬどぅ　むいとぅ　ういー（アカヤーには魚がたくさんいる）。

あかやっとう [akajattu]【副詞】「やっとぅ」の強調形、やっとのことで。【例】だいがくんかいや　あかやっとぅがまんどぅ　ごーかくあすたい（大学にはやっとのことで合格した）。［類］やっとぅ。

あからす [akarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（部屋などを）明るくする。【例】でんとーゆ　つきー　くまー　あからし（電灯をつけてここを明るくしなさい）。

あかん [akan] ①【動詞】［m 語幹］［A］（周りが）明るくなる；陽が昇る。【例】てぃだー　あがりどぅ　てぃんな　あかみどぅーたい（太陽が昇って、空が明るくなっていた）。んなーぎゃー　てぃだー　あかまん（まだ日が昇っていない）。てぃだぬ　あかんてぃがー　はいんかい（日が昇ったら畑に（行こう））。②【動詞】［m 語幹］［A］（色が）赤くなる。【例】ふがさー　あかみどぅ　んみゅー（おできは赤くなって膿んでいる）。

あかんた [akanta]【名詞】赤土。【例】あかんたばい（赤土の畑）。あかんたん

な　むぬー　まーぬ　でぃきん（赤土には作物はあまりできない）。

あかんちゃ [akantɕa]【名詞】〖魚〗ロクセンフエダイ。　【例】あかんちゃう　つー（ろくせんふえだいを釣る）。

あき [aki]【動詞】［母音語幹］［A］（周りが）明るくなる、陽が昇る、（夜が）明ける。　【例】てぃだぬ　あきてぃがー　はいんかい（日が昇ったら畑に（行こう））。［類］あつ（k 語幹）、あふ（k 語幹）、あかん（m 語幹）。

あき [aki]【名詞】［B］秋。　【例】くまんな　あきゃー　にゃーん（ここには秋はない）。

あき [aki]【動詞】［母音語幹］［A］（ドアなどを）開ける；（土地を）開墾する。　【例】やどぅー　あきる（戸を開けろ）。はいゆ　あきー（開墾する）。［類］あつ、あふ。

あきしゃる [akiɕaru]【名詞】〖古語〗早朝。　【例】あきしゃるぬ　つゆがはな（早朝の露の花［古謡「豆が花」から］）。［類］しゃーか。

あきず [akizɨ]【名詞】［A］〖古語〗トンボ。　【例】んきゃーんな　あうそぅんぬぎゃー　あきずてぃーまい　あっじゅーたいが　おーかん（昔はトンボのことをアケズとも言っていたようだ）。

あぎまーす [agima:si]【動詞】［s/h 語幹］せかす。　【例】まーぬ　ばぬー　あぎまーすな（あまり私をせかすな）。すかまう　はやまり　あっそぅてぃー　あぎまーす（仕事を早くやれとせかす）。

あきや　ふー　ふー [akija fu: fu:]【成句】（戸を）開けたり閉めたり。　【例】やどぅー　あきや　ふー　ふー　ほぅー（戸を開けたり閉めたりしている）。

あきゃうだ [akjauda]【名詞】商人、仲買人。　【例】っぞぅあきゃうだ（魚の仲買人）。あきゃうだぬ　あつないあす（行商人が商いする）。

あきんさう [akinsau]【名詞】（石切り場など使う非常に重い）金棒。　【例】あきんさうゆ　うまんかい　うすんき（金棒をそこに差し込みなさい）。あきんさうひー　いっそぅ　むたず（金棒で（てこの原理で）石を持ち上げる）。あきんさうひー　あなう　あきー（金棒で穴を開ける［＜上からたたきつけて開ける］）。

あぐ [agu]【名詞】［C］同じ干支の人［ふつうは同じ年回りの人で集まったりする］、同級生。　【例】まーらいが　そぅじゃぬ　あぐ（一回り上の同じ干支の男性）。あぐー　かなすかいば　ならん（同級の友だちはいとおしい）。

あくまがま [akumagama]【名詞】生後間もなく亡くなった子供［墓に入れないので麻袋に入れて土に埋める］。

【例】あくまがまうぎゃー　むとぅんかいや　いりん（生後間もなく亡くなった子供は墓には入れない）。

あさ [asa]【形容詞】［A］浅い。【例】あさ　いんがま（浅瀬）。うまぬどぅかまんつきゃー　あさかい（ここのほうがあそこより浅い）。

あさぎ [asagi]【名詞】［C］物置小屋、屋敷内の農具、薪等を入れる家。【例】たむぬーぎゃー　あさぎん　うっつ（薪を物置小屋に置く）。たむぬー　あさぎんどぅ　あい（薪は物置小屋にある）。

あさってぃ [asatti]【名詞】明後日。【例】あさっちゃー　うつなーんかい（明後日は沖縄に（行く））。［変異］あさてぃ。

あし [aɕi]【名詞】［C］朝食。【例】じょ、あしゃー　ふぁいー　はいんかい（朝ご飯を食べて、畑に（行こう））。じょ、あしゅー　ふぁーでぃ（さあ、朝ご飯をたべよう）。［類］すとぅむてぃむぬ。

あし [aɕi]【名詞】［B］汗。【例】あしゅー　かつ（汗をかく）。あつふ　ないてぃがー　あしゅーどぅ　かつ（暑くなると汗をかく）。あしゃー　たいたいてぃー　たらほぅー（汗をぽたぽたとたらしている）。

あじゃ [aʑa]【名詞】［B］ホクロ。【例】かりゃー　あじゃ　あい　びとぅ（あの人はホクロの多い人だ）。ふたいぬあじゃ（額のほくろ）。

あじゃーな [aʑaːna]【形容詞】（話すこと、行動に）自制心がない、短気な、急に何かをしでかす；（仕事などが）ちゃんとしていない。【例】あじゃーなんまり（何をしでかすかわからないやつ）。かりゃー　ふつあじゃーなかいばならん（あいつは言い出すと自制できない）。ふつあじゃーなんまり（言いたい放題に喋る奴）。にゅーあじゃーなんまり（寝癖の悪い奴）。あじゃーな　すかま（駄目な仕事）。［変異］あちゃーな。［類］あーつな。

あじゃんつ [aʑantsɨ]【動詞】［k 語幹］（駄々をこねている子を）あやす、なだめる、言い聞かす。【例】なつっじゃっふぁう　あじゃんつ（泣き虫の子をあやす）。っうぁが　ぶとぅー　ぎっじゃ　ひらいんば、まさぐんてぃ　あじゃんきー　ならーし。（あんたの旦那は言うことを聞かないので、よく言い聞かせなさい）。［変異］あじゃんふ。

あじゃんふ [aʑanfu]【動詞】［k 語幹］（駄々をこねている子を）あやす、なだめる、言い聞かす。［変異］あじゃんつ。

あしん [aɕin]【名詞】［A］汗疹（あせも）。【例】あつふ　ないてぃがー　あしんぬどぅ　いでぃー（暑くなると汗疹が出る）。

あす [asɨ] ①【名詞】［B］歩幅。【例】やぐみ　ながあす（とても歩幅が大きい）。

かいんかいや　あすぬ　うゆばんば　ばぬんな　きょうさにゃーや　かちゃいん（彼には歩幅が負けるから私には（彼に）競争は勝てない）。やぐみ　ながあす　はーびとぅ（コンパスが長くて速い人）。②【名詞】［B］足取り。【例】あっさ　むちゃん（足取りが心もとない）。③【名詞】［B］（建築物、自然物の）下の土地、（山の）ふもと、（島などの）海岸に接する下の部分。【例】ほぅぎーぬ　あっさ　すだすむぬ（大きな木の生えている下は涼しい）。ばんてぃが　やーや　やまぬ　あすんどぅ　あい（私たちの家は山のふもとにある）。

あす [asɨ]【動詞】［不規則］［A］やる、する。【例】ばが　ほぅでぃ（私がしよう）。んなまー　なうゆどぅ　ひーゆー（いまなにをしてるの）。かんち　あさまてぃ（こんなふうになさってください）。あんち　ほぅんまい　ゆぬくとぅ（そんなことしてもおなじだ）。うるー　たるがなーん　あすみる（それをだれか（ほかの人）にやらせなさい）。やらびゃー　ばらいがま　あす（子供は笑っている［＜子供は笑いをする］）。うらー　あすやすむぬ（それはやりやすい）。

あず [azɨ]【名詞】［C］味。【例】あずぶたむぬ（味が濃い）。あずぬどぅ　うすかい（味が薄い）。あっじゃ　にゃーん（味がない）。あず　くーた（味がとても濃い）。

あずがー [aziga:]【名詞】硬口蓋、上あご。【例】あてぃ　あずまむぬー　ふぁうてぃがー　あずがーぬどぅ　ひぎゃうかいば　ならん（とても甘いものを食べると硬口蓋がくすぐったくてならない）。［類］あずく。

あすかた [asɨkata]【名詞】やり方。【例】なうばい　あすかたまい　にゃーん（どうしようもない）。あすかたうならひー　ふぃーさまてぃ（やりかたを教えてください）。うぬ　げーむぬ　あすかたうぎゃー　っしっどぅ　うらまいな（このゲームのやり方をご存じですか）。

あずき [aziki]【動詞】［母音語幹］［C］（もの、人をだれかに）預ける。【例】ぎんこーんかい　でぃんぬ　あずきー（銀行に金を預ける）。っふぁう　むらにん　あずきー（子供を子守に預ける）。

あずく [aziku]【名詞】［C］硬口蓋、上あご。【例】あずくん　むぬぬ　たばりゅー（上顎に食べ物がくっついている）。［類］あずがー。

あずくや [azikuja]【名詞】シャコガイの殻。【例】にぐーぬ　からう　あずくやてぃー　あい（シャコガイの殻をアズクヤと言う）。

あずつ [azitsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］預ける。【例】どぅすんかい　でぃんぬ　あずつ（友だちに金を預ける）。［変異］あずふ。［類］あずき。

あすはっじゃき [asihaʑʑaki]【動詞】[母音語幹] やり損ねる。【例】あすはっじゃきー　げんのーひー　うながうゆびゅー　ったきーにゃーん（間違えて金づちで自分の指を叩いてしまった)。[類] あすはっじゃつ。

あすはっじゃつ [asihaʑʑatsɨ]【動詞】[k 語幹] やり損ねる。 [変異] あすはっじゃふ。[類] あすはっじゃき。

あすはっじゃふ [asihaʑʑafu]【動詞】[k 語幹] やり損ねる。 [変異] あすはっじゃつ。[類] あすはっじゃき。

あすはっじゃふ [asihaʑʑafu]【動詞】[k 語幹] やり損ねる。 [変異] あすはっじゃつ。[類] あすはっじゃき。

あずふ [azɨfu]【動詞】[k 語幹] [C] 預ける。 【例】どぅすんかい　でぃんぬあずつ（友だちに金を預ける)。[変異] あずつ。[類] あずき。

あずふ [azɨfu]【動詞】[k 語幹] [C] 預ける。 [変異] あずつ。[類] あずき。

あずま [azɨma]【形容詞】[B]（味が）甘い。 【例】さたー　あずまむぬ（砂糖は甘い)。かーっさ　あずまむぬ（お菓子は甘い)。

あずまうつ [azɨmautsɨ]【名詞】おせじ、甘言。 【例】かりゃー　あずまうつびとぅ　やいば　かいが　ふつぐるまんな　ぬーいな（彼は口のうまい人だから彼の口車には乗るな)。

あすみ [asɨmi]【動詞】[母音語幹] [A]「あす」の使役形、させる。 【例】すかまう　あすみ（仕事をさせる)。

あそぅー [asu:]【動詞】[b 語幹] [A] 遊ぶ。 【例】みなかん　いんがまとぅあそぅー（庭で犬と遊ぶ)。やらびゃー　あそぅーたらーん（子供は遊び足りない)。まさいや　すかまー　ほぅだあそぅびゅー（マサイは仕事をしないで、遊んでいる)。

あそぅー [asu:]【名詞】[A] 遊び。【例】やらびぬ　すかまー　あそぅーどぅ　すかま（子供の仕事は遊ぶことだ)。くぬいぬ　やらびんみゃー　あらぬあそぅーゆぎゃー　っさん（最近の子供は外の遊びを知らない)。くぬいぬやらびんみゃー　あらん　あそぅーむぬーぎゃー　ほぅん（最近の子供は外で遊ぶことをしない)。

あたい [atai]【動詞】[C] コピュラ、繋辞「あい（だ、である)」の過去形。「〜であった、だった」の意味を表す。

あたい [atai]【動詞】[C] 存在動詞「あい（ある)」の過去形、「あった」の意味を表す。

あたい [atai]【名詞】[A]（「名詞＋ぬ・が」、動詞基本形につけて）そのことの程度が大きくないこと、難しくないことを表す、「〜くらい」、「〜なんか」。【例】うぬ　あたいがまー　なうまいあらん（そのくらいのことは何でもな

い)。でぃんぬ　じゃーん　あいてぃがー、あめりかんかい　いふ　あたいや　どぅーやすむぬ（金さえあれば、アメリカに行くぐらいは簡単だ)。

あたい [atai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（的に）当る、(答えが）当たる、(いい人に）当たる、正しい。【例】ふっじゃ　あたりーにゃーん（くじは当った)。うりゃー　あたりゅーむなうむ　ばぬんな　さだかー　ひらいん（それはあっているのか否か私には判断できない)。かりゃー　じゃう　とぅずんかいどぅ　あたりゅー（彼は良い奥さんに巡り合っている)。ばー　きゅーや　ふーや　ありどぅ　じゃうひとぅんかい　あたりゅーい（私は今日は運がよくていい人に当たった)。っづぁー　あたらん（あなたは間違っている)。

あたいさわい [ataisawai]【名詞】支障、あたりさわり。

あたくま [atakuma]【名詞】不意、急なこと。【例】かいが　たぬんな　あたくまどぅ　あたい（彼の頼みは急だった)。かいが　あたくまぬ　たぬん（あいつの急な頼み)。ういびとぅー　あたくまん　すにーにゃーん（年寄りは急に亡くなった)。あたくまん　ふにゃー　すずみーにゃーん（あっという間に船は沈んでしまった)。［類］あたふず。

あたくまん [atakuman]【副詞】急に、あっという間に。【例】あたくまん　かでぃっふちゃ　ってぃーにゃーん（急に台風が来た)。やらびゃー　あたくまん　ほぅいふ　なりゅーたい（子供はあっという間に大きくなっていた)。あたずむひとぅー　あたくまん　つむでぃー　んなす（短気な人は急に怒ってしまう)。［類］あたふずん。

あたずむ [ataʑimu]【形容詞】短気、短気な。【例】かりゃー　あたずむんまり（彼は短気な奴だ)。かりゃー　あたずむ　やいば　なうちゃーにゃー　つむでぃー（彼は短期なのでなんでもないことに腹を立てる)。

あだつ [adatsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［C］（足りないもの、必要なものを）捜し求める。【例】くらー　うまんな　にゃーんば　まっちゃんきー　あだてぃー　くー（これはここにはないので、お店に行って買ってこい)。やーぬ　ぬくずーや　っちゃんば　あがいにゃーんきー　つー　ぬくずーゆ　あだてぃー　くーでぃ（家のノコギリは切れないので東隣りの家に行って借りて来よう)。［類］あだてぃ。

あだてぃ [adati]【動詞】［母音語幹］［C］（足りないもの、必要なものを）捜し求める、買い求める。［類］あだつ。

あだなす [adanasɨ]【名詞】〖植〗アダンの木の気根［縄をなうのに用いる］。【例】んぎやまー　まーりどぅ　あだなっそぅ　とぅいったい（アダンの木がたくさん生えているところを回って気

根を取ってきた)。あだなすひー　ん゜なう　なう（アダナスで綱をなう)。

あだなす　ん゜な [adanasɨ n̥na]【名詞】アダンの木の気根で編んだ綱。

あたばかーい [atabaka:i]【名詞】ちょっとの間［副詞としても使える］。【例】あたばかーいがま　ばー　いきー　くーっじゃー　うぬ　っふぁがまう　みーうきよ（ちょっとの間出かけてくるから子供を見といてくれ)。あたばかーいぬ　ちゃん　ぬそぅどぅー　ひんぎーはりーにゃーん（ちょっとの間に泥棒は逃げて行った)。

あたふず [atafuzɨ]【名詞】あっという間。［類］あたくま。

あたふずん [atafuzɨn]【副詞】急に、突然に、あっという間に。【例】あたふずん　ふにゃー　すずみーにゃーん（あっという間に船は沈んでしまった)。［類］あたくまん。

あたらか [ataraka] ①【名詞】大切なもの；大切なこと、大切である性質。【例】ばぬんな　なうんつきゃーまい　とぅずぬどぅ　あたらか（私には何よりも妻が大切だ)。でぃんな　あたらか　やいば　まさぐん　つかい（お金は大切なものだから正しく使いなさい)。［類］あたらき。②【形容詞】大切だ。【例】でぃんな　あたらかかいば　まさぐん　つかい（お金は大切なものだから正しく使いなさい)。［類］あたらき。

あたらかぬ [atarakanu]【連体詞】大切な。【例】あたらかぬ　みどぅんっ　づぁうぎゃー　っづぁんかいや　ふぃーん（大切な娘をお前にはやらない)。［類］あたらす。

あたらき [ataraki] ①【名詞】大切なもの；大切なこと、大切である性質。［類］あたらか。②【形容詞】大切だ。［類］あたらか。

あたらす [atarasɨ]【形容詞】大切な、愛おしい。【例】ばが　かなす　あたらす　ぶとぅ（私の愛しい大切な夫)。あたらす　ずん（大切な着物)。ばー　みどぅんぬぎゃー　あたらすかいば　ならん（私は妻が愛おしくてならない)。［類］あたらか、あたらき。

あたらっさ　あす [atarassa asɨ]【成句］［s/h 語幹］大切にする。【例】むぬーぎゃー　あたらっさ　ひー　ふぁい（食べ物は大事にして食べなさい)。さやふだうーゆぎゃー　あたらっさ　ひー　つかい（大工道具を大切に使いなさい)。んぬっちゅぎゃー　あたらっさ　ほぅだかーならん（命は大切にしないといけない)。

あたらん [ataran]【動詞活用形】当たってない、まちがっている［「あたい（r/rr 語幹)：答えが正しい、言っていることが正しい、適当である」の否定形]。【例】っづぁー　あたらん（あなたは間違っている)。っづぁが　むぬいや　あたらん（お前の言っていること間違

っている［内容、言い方の両方を指せる］）。さんばんぬ　くたいや　あたらんば　なうし（3 番の答えは間違っているから直しなさい）。

あたり [atari]【名詞】［A］（くじなどの）当たり、正解、正しいこと。【例】うぬ　ふずんな　あたりゃー　にゃーん（このくじには当たりはない）。っうぁが　くたいや　あたり（お前の答えは正解だ）。かいが　あっじゅー　くとぅー　あたりや　あらん（あいつが言っていることは正しくない）。［変異］あたい。

あたりゅーむ　なうむ [atar-ju:mu naumu]【成句】正しいのか正しくないのか。【例】うりゃー　あたりゅーむ　なうむ　ばぬんな　さだかー　ひらいん（それはあっているのかどうか私には確認できない）。

あだん [adan]【名詞】［C］〖植〗アダン。【例】あだんな　ばすまい　つばまい　ふぁーいどぅす（アダンは中の実も外の実も食べられる［中の実を「ばす」、外の実を「つば」という］）。［類］あだんぎー、んぎ。

あだんぎー [adaŋgi:]【名詞】〖植〗アダンの木。［類］あだん、んぎ。

あだんば [adamba]【名詞】〖植〗アダンの葉［草履や帽子を作るのに使われる］。【例】あだんば　やー（アダンの木で作られた家）。

あちゃ [atça]【名詞】［B］明日。【例】きゅーや　きゅー　あちゃー　あちゃ（今日は今日、明日は明日だ［＞今日できることは明日に持ち越さない］）。また　あちゃんかい（また明日［別れの挨拶に使う］）。あちゃー　あみ　はず（明日は雨だろう）。

あちゃーな [atça:na]【形容詞】短気な、急に何かをしでかす。【例】あちゃーなんまり（急に何かをしでかす短気な奴）。［変異］あじゃーな。

あちゃがみゃー　ひとぅに [atçagamja: hituni]【成句】翌朝まで目覚めることなく寝ること。【例】すばいすーがまい　いかだ　あちゃがみゃー　ひとぅに　ほぅでぃ（小便しにも行かないで明日まで起きることもなく熟睡しよう）。きゅーぬ　すかまー　くーかたいば　あちゃがみゃー　ひとぅにはず（今日の仕事はつらかったから朝までぐっすりだろう）。

あつ [atsɨ] ①【形容詞】［B］（物が）熱い。【例】あつみず（お湯［＜熱い水］）。あつちゃー（熱いお茶）。うまっちゃ　あつむぬ　やいば　うまんかいや　ゆっじゃだうり（火は熱いのでそこには近づくな）。②【形容詞】［B］（天気が）暑い。【例】きゅーや　あつかいば　ならん（今日は暑くてたまらない）。きゅーや　あつかいば　うゆばん（今日は暑くてたまらない）。なつん　なりー　あつふ　なりーにゃーん（夏になって

暑くなった)。

あつ [atsɨ]【動詞】[k 語幹][A](周りが)明るくなる、陽が昇る、(夜が)明ける。【例】てぃだぬ　あつてぃがーはいんかい(日が昇ったら畑に(行こう))。[変異]あふ。[類]あき(母音語幹)、あふ(k 語幹)、あかん(m 語幹)。

あつ [atsi]【動詞】[k 語幹][A]開ける、(隙間が)空く。【例】やどぅー　あつ(戸を開ける)。やどぅー　あきやうらん(戸が開いていない)。[変異]あふ。[類]あーつ、あーふ、あき。

あっづぁ [avva]【名詞】[B]油、脂。【例】あっづぁんそぅ(油みそ[ブタの脂肉と味噌を炒めたもの])。ひんじゃぬ　あっづぁ(ヤギの脂)。

あっづぁうつ [avvautsɨ]【名詞】お世辞、綺麗ごと;またそれを言う人。【例】あっづぁうつ　むぬぬ　むぬいゆぎゃー　つかだうり(お世辞を言う奴の話は聞くな)。あらうつびとぅー　あらから　あいそぅが　あっづぁうつびとぅー　ひとぅー　ほぅみー　ひとぅんかい　びらう(歯に衣着せず喋る人はストレートに話をするが、お世辞をいう人は人にへつらう)。

あっづぁない [avvanai]【名詞】脂っこいこと[「あっヴぁないあす」の形で用いられる]。【例】あまんぬ　ふぐいや　あっづぁないや　ひーどぅー(ヤドカリの肝は脂っこい)。

あっづぁびーた [avvabi:ta]【名詞】(肉などが)脂っこい、油まみれ。【例】くぬ　わーや　あっづぁびーた　やいば　んめ　ふぁーいん(この豚肉は油っこいのでもう食べられない)。かいが　つんな　あっづぁびーた(彼の服は油まみれだ)。っづぁが　あっづぁびーた　みはなう　あらいー　くー(お前の脂ぎった顔を洗ってこい)。

あっづぁびーた [avvabi:ta]【形容詞】脂っこい、油まみれ。【例】くぬ　わーや　あっづぁびーたかいば　んめ　ふぁーいん(この豚肉は油っこいのでもう食べられない)。

あっづぁみー [avvami:]【名詞】〖魚〗クマノミ。【例】あっづぁみーがまーっぞぅぬみーとぅどぅ　ひとぅみうい(クマノミはイソギンチャクと一緒にいる)。

あっづぃ [avvi]①【動詞】[母音語幹][C]火に当たる。[類]あうー。②【動詞】[母音語幹][C](食べ物を)あぶる;(火に)当てる。[類]あうー。

あっく [akku]【名詞】[C]悪口。[変異]あっこ。[類]あっくー、あっこー。

あっくー [akku:]【名詞】悪口。【例】あっくー　あす(悪口をする)。[変異]あっこー。[類]あっこ。

あつぐー [atsɨgu:]【形容詞】分厚い。【例】あつぐー　かびー(分厚い紙)。あつぐー　んみゅーつ(分厚い胸)。うぬ

すーっさ　あつぐーかいば　そぅらいん（この肉は分厚いので切れない）。

あっこ [akko]【名詞】[C] 悪口。［変異］あっく。［類］あっくー、あっこー。

あっこー [akko:]【名詞】悪口。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　あっこーゆぎゃー　ほぅん（そんなに人の悪口を言うもんじゃない）。［変異］あっくー。［類］あっく。

あつさ [atsɨsa] ①【名詞】[C] 熱さ、熱いこと。【例】くぬ　ちゃーぬ　あつさー　やぐみ　あつさ（このお茶はとても熱い）。②【名詞】[C] 暑さ、暑いこと。【例】なつぬ　さなかー　あつさぬ　ばんず（真夏は暑さの盛り）。きゅーぬ　ひーてぃーぬ　あつさぬ（今日の太陽はとても暑い）。きゅーぬ　あつさー　やぐみ　あつさ（今日の暑さはひどい）。

あつさむい [atsɨsamui]【名詞】暑がり、暑さに弱い。【例】くぬ　やらびゃー　むいとぅ　あつさむい（この子はとても暑がりだ）。

あっじ [azʑi]【動詞活用形】[A]「あい（言う、歌う）」の連用形；「あい（言う、歌う）」の命令形。【例】あーぐー　あっじーみーる（歌をうたってください）。やらびんかいや　あっじー　つかひー　ならーし（子供には言い聞かせて教えなさい）。あーぐー　あっじ（歌を歌って）。［変異］あい。

あっじゃ [azʑa]【名詞】[B]（畑、道、教室などの）端、すみ。【例】はいぬ　あっじゃう　あいつ（畑の端を歩く）。んつぬ　あっじゃ（道の端っこ）。こーえんぬ　あっじゃ（公園の端っこ）。きょーしつぬ　あっじゃ（教室のすみ）。

あっじゃき [azʑaki]【名詞】畑の端の草木を切ること。【例】っうぁー　きゅーや　はいぬ　あっじゃきゅー　ひーくー（お前は今日は畑の端の草刈りをしてこい）。はいぬ　あっじゃきゅー　あす（畑の端の草かりをする）。

あっそぅ [assu]【動詞活用形】[不規則]［A］「あす（やる、する）」の命令形。【例】すかまう　あっそぅ（仕事をやれ）。っうぁが　あっそぅ（お前がやれ）。すかまう　はやまり　あっそぅてぃー　あぎまーす（仕事を早くやれとせかす）。かりゅーぎゃー　っさん　ふい　あっそぅ（あいつのことを知らない振りしなさい）。

あっそぅが [assuga]【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。【例】あーぎぬ　がっこーんかい　いつぶすむぬ。あっそぅが　やーんな　でぃんな　にゃーん（上の学校に行きたい。でも、家には金がない）。［変異］あいえいそぅが、あいやそぅが、あいやいそぅが。

あったみ [attami]【動詞】[母音語幹]（人、ものを）叩く、（釘、ボールなどを）打つ。【例】たるが　なーがどぅ　やどぅふっちゅ　あったみゅー（だれか

がドアを叩いている)。やらびゅー　あったみや　ならん（子供を叩いてはいけない)。ぼーるー　ばっとひー　あったみる（ボールをバットで打ちなさい)。かにふっじゅ　げんのーひー　あったみたい（釘を金づちでたたいた)。

あっち [attɕi]【動詞】[母音語幹][C] 熱くなる、沸騰する。 [類]あっつ。

あっちゃ [attɕa]【名詞】[C] 下駄。【例】あっちゃう　んˀん（下駄を履く)。

あっちゃい [attɕai]【動詞】[母音語幹] 託す、持って行ってくれと頼む。[類]あっちゃう。

あっちゃう [attɕau]【動詞】[w 語幹] 託す、持って行ってくれと頼む。【例】うつなーんかいぬ　むぬー　かいんかい　あっちゃいー　むたすたい（沖縄への物を彼に頼んで持っていってもらった)。むぬー　どぅすんかい　あっちゃいー　っふぁんかい　むちゃすたい（物を友人に託して子供に渡してもらった)。[類]あっちゃい。

あっちゃす [attɕasɨ]【動詞】[s/h 語幹] 沸かす、あたためる。【例】みっじゅ　あっちゃす（お湯を沸かす[＜水を沸かす])。ちゃーゆ　あっちゃす（お茶を沸かす)。くぬ　んっつーゆ　あっちゃし（このみそしるをあたためてくれ)。[変異]あったす。

あっちゃぬぶー [attɕanubuː]【名詞】下駄の緒。【例】あっちゃぬ　ぶーや　つっちゅーば　なうはだかーならん　（下駄の鼻緒が切れているのでなおさないといけない)。

あっつ [attsɨ]【動詞】[cc/tt 語幹][C] 熱くなる、沸騰する。【例】みっじゃ　あっちーどぅー（水は熱くなっている[＞沸騰している])。[類]あっち。

あつない [atsɨnai]【名詞】商い。【例】あきゃうだぬ　あつない　あす（行商人が商いする)。ぬずんどぅ　あつない（希望するからこそ商い[＞商売は両者が望むからこそ成り立つ])。きゅーまい　んまー　っさらんきー　あつないあすが（今日もお母さんは平良の町に商売に（出かけた))。

あっはーいー [ahhaːiː]【感動詞】何を言っているかと相手を馬鹿にする時に使う。【例】A: ばー　でぃんな　さんおく　ありー　B: あっはーいー　ほぅりむぬいゆぎゃー　あすな（A: 俺は金が三億ある。B: ばかなことを言うな)。[類]あっはーえー。

あっはーえー [ahhaːeː]【感動詞】何を言っているかと相手を馬鹿にする時に使う。 [類]あっはーいー。

あてぃ [ati] ①【副詞】（動詞を修飾して）十分に（～することができる)。【例】うさきぬ　さきがまうぎゃー　たうかーひー　あてぅどぅ　ぬん（それくらい酒は一人で十分に飲むことができる)。うぬ　ふくるんかいや　あてぃ

どぅ　はいー（この袋に十分に入る）。②【副詞】理由表現の中に使われて形容詞の程度が大きいことを表す、余り（～ので）。【例】とーきょーんな　あてぃ　ひとぅぬ　ういかいば　ひとぅびゅーいぬ　あす（東京には人が多すぎて人酔いする）。かぬ　みどぅんな　あてぃ　あぱらぎかいばならん（あの女性は余りにも美しい）。ぶとぅー　すなひー　あてぃ　かまらすかいばならん（旦那を亡くして余りにも悲しくてならない）。［類］あてぃくとぅ。

あてぃ [ati]【名詞】［C］当て、生きがい。【例】っふぁぬどぅ　ばが　あてぃ（子供が私の生きがいだ）。［類］みあてぃ。

あてぃ　かーん [ati ka:n]【成句】（～するのに）十分すぎる、十分に（～することができる）。【例】うまんな　ふぁうむぬー　あてぃかーんどぅ　あい（ここには食べるものは十分過ぎる程にある）。ばが　たまー　うさきひー　あてぃ　かーん（私の分はそれだけで十分過ぎる）。あてぃ　かーん　っしーどぅー（十分過ぎる程に知っている）。

あてぃがー [atiga:]【接続詞】それでは、じゃー。【例】あてぃがー　ばー　やーんかい　はらでぃ（それでは私は家に帰る）。

あてぃくとぅ [atikutu]【副詞】余り（～ので）。【例】ぱーが　すんたい　とぅきゃんな　あてぃくとぅ　かまらすかいば　ならっだん（祖母が亡くなったときには余り悲しくてどうしようもなかった）。あがいー　っづぁが　ぴーや　あてぃくとぅ　っさかいば　んびゃーいん（お前の屁は臭くてがまんできない）。ばかかいきゃー　あてぃくとぅ　むぬふぁう　くーかいば　まいやーまいにち　なきどぅ　うたい（若いときは食べるにも困っていたので、毎日毎日泣いていた）。［類］あてぃ。

あでぃふ [adifu]【名詞】［C］タコの巣、タコの巣のありか。【例】たくぬ　あでぃふーぎゃー　たるんかいまいならーはん（タコの巣の場所はだれにも教えない）。たくぬどぅ　あでぃふん　びじゃりーうたい（タコがタコの巣にデンと座っていた）。

あとぅ [atu]【名詞】［C］（時間的に）後（あと）。【例】また　あとぅんかい（また後で）。かいが　あとぅから　はり（あの人の後から帰りなさい）。あうやー　ひーまい　あとぅー　にゃーん　ひとぅ（言い合いをしても後に持ち越さない人）。あとぅぬ　ひーぬ　ぶーとぅい（最終日のブートゥイ［ミャークズツの最終日に旗を触って神様からの果報をもらう儀式］）。あとぅぬ　ゆー（後の世）。あとぅ　ほぅかんな　あいどぅすな（あとほかにありますか）。

あどぅ [adu]【名詞】［B］かかと。【例】あどぅ　ぐるー　ふぁーす（（人を）踵で強く打つ）。

あとぅ　ひとぅむちゃき [atu hitumutçaki]【成句】残りの一踏ん張り、残り僅かの仕事。【例】くーかいそぅが　あとぅ　ひとぅむちゃき　やいば　わいてぃー　ほぅだかーならん（疲れているが残り僅かの仕事だから頑張らないとならない）。

あとぅがま [atugama]【名詞】後妻、後添え。【例】かいが　あとぅがまー　あぱらぎ　ばかみどぅん（彼の後妻は若くて美人だ）。［類］あとぅどぅみ。

あとぅざん [atuzan]【名詞】後産、胎盤。【例】あとぅざんぬ　はやまり　いだはだかー　ならん（後産を早く出さないといけない）。

あとぅだま　うーだま [atu-dama u:dama]【成句】残り物に福がある。【例】いらう　ぬかすぬどぅ　あとぅだま　うーだま（選び残したものに残り福がある）。

あとぅどぅみ [atudumi]【名詞】後妻、後添え。［類］あとぅがま。

あとぅなうい [atunaui]【名詞】大器晩成。【例】ばが　ぶじゃー　あとぅなういや　ひー　うやきん　なるー（私の叔父は大器晩成で金持ちになった）。

あとぅぬひー [atunuhi:]【名詞】〖祭礼〗ミャークズツの最終日［ブートゥイと呼ばれる］。

あとぅぬゆー [atunuju:]【名詞】後の世。

あな [ana]【名詞】［B］穴、（人や物の）欠損。【例】うまん　かんぬ　あなぬ　あい（そこに蟹（かに）の穴がある）。ういが　あなー　っふぁはいん（あの人の穴は埋められない［その人に能力があったので後が埋められないという意味と、その人が作った損失が埋められないという意味の両方がある］）。あなう　ぷーつ（穴を開ける［物理的に穴を開けるという意味と、損失を作るという意味がある］）。

あな [ana]【連体詞】そんな（何でもない物）。［変異］あにゃ。［類］あなる、あにゃる。

あなみ [anami]【動詞】［母音語幹］［C］ねだる。

あなみ [anami]【動詞】［母音語幹］［C］（人を）叱る。［類］あなん。

あなん [anan]【動詞】［m 語幹］［C］（人を）叱る。【例】ひとぅーぎゃー　まーぬ　あなまん（人をあまりしかるな）。［類］あなみ。

あなん [anan]【動詞】［m 語幹］［C］（人にものを）ねだる［「ひとぅんかい（人に）むぬー（ものを　あなん（ねだる）」の形と「ひとぅー（人を）あなん（頼む）」の形がある］。【例】ひとぅんかいや　むぬーぎゃー　あなまん（人に物をねだらない）。ひとぅー　あなみー　むぬー　っじー　ふぁう（人にねだって食事をもらって食べる）。［類］あなみ。

あに [ani]【名詞】[C] 姉。 【例】あに　そぅじゃぬ　むぬいゆぎゃー　うっとぅんみゃー　わいてぃー　つきーならい（姉・兄の忠告は弟・妹たちはしっかり聞いて身に付けなさい）。はーに（長女［「親からいう長女」と「自分の一番上の姉」の両方使える］）。なかーに（次女［「親からいう次女」と「自分の上から二番目の姉」の両方使える］）。

あにそぅじゃ [anisuʒa]【名詞】姉さんと兄さん。 【例】みがとぅ　まさいがどぅ　ばが　あにそぅじゃ（ミガとマサイが私の姉と兄だ）。

あにゃ [anja]【連体詞】そんな（何でもない物）。【例】あにゃ　かーかにがまぬどぅ　でぃん　ない（そんな何でもない空き缶がお金になる）。あにゃむぬがまうぎゃー　っじん（そんなものは受け取れない）。ばが　たまー　あにゃ　うさきがまいー（私の分はそんなものなんだな）。［変異］あな。［類］あにゃる。

あにゃむぬー [anjamunu:]【副詞】ほかに方法がないから、しかたなく。【例】きゅーや　あみまい　っふゅーば、あにゃむぬー　やーん　ゆくいー　うらでぃ（今日は雨も降っているし、仕方がないから家で休んでいよう）。でぃんまい　にゃーんば　あにゃむぬー　うつなーんかいや　いかじゃーん（金がないので、仕方ないけど沖縄には行かない）。じゃうかいむぬー　にゃーんば　あにゃむぬー　うるー　かーでぃ（いいものはないので仕方ないからこれを買おう）。［変異］あなむぬー。［類］あうぬー。

あにゃる [anjaru]【連体詞】そんな（何でもない物）。［変異］あなる。［類］あにゃ。

あぬゆ [anuju]【名詞】[A] あの世、かの世。 【例】ぱーや　あぬゆんかい　はりーにゃーん（祖母はあの世に行ってしまった）。［変異］あぬゆー。［類］かぬゆ。

あば [aba]【感動詞】あれ、何 ［「あば、あば」と繰り返して使うこともある］。【例】あば　うらー　なうが（一体それは何だ）。あば　うらー　なうどぅ　あた（あれ、それは何だったかな）。あば　あば　なうてぃーぬ　ばーが（あれれ、どうなってるの）。

あぱ [apa]【名詞】[C]〖魚〗オニオコゼ（毒魚の一種）。 【例】あぱぬ　つーずんな　どぅくぬどぅ　あい（オニオコゼの刺には毒がある）。

あぱ　うどぅるつ [apa udurutsɨ]【成句】いきなりビックリすること。【例】まずむぬー　みー　あぱ　うどぅるっちゃひーにゃーん（幽霊を見ていきなりビックリした）。

あばい [abai]【動詞】[r/rr 語幹] [A]（田畑が）荒れる。 【例】かまぬ　はいぬ　ぬっさ　はいゆぎゃー　みばから

んば　はいや　ずみく　っさー　ういー　あばりゅーい（あそこの畑の持ち主は畑を世話しないので、畑はたくさん草が生えて荒れている）。

あぱい [apai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］アルコール分が抜ける。　【例】うぬ　さきゃー　んめ　あぱりー　ぬまいん（その酒はもうアルコール分が抜けていて飲めない）。

あばさ [abasa] ①【名詞】［C］〖魚〗ハリセンボン。　②【名詞】［C］おしゃべりの人、大げさな奴。【例】うぬ　あばさが　ふっちゅぎゃー　ったきー　ならーし（そのおしゃべりの口をたたきなおせ）。

あぱつな [apatsɨna]【副詞】おかずなしに。　【例】まいゆ　あぱつな　ふぁい（ご飯をおかずなしで食べなさい）。

あぱなつ [apanatsɨ] ①【動詞】［k 語幹］あおむけになる。　【例】あぱなきー　にっづぃ（仰向けに寝ろ）。あぱなきーみーる（仰向けになってみろ）。やまぬ　はなう　あぱなきー　みー（山の頂上を仰ぎ見る）。［変異］あぱなふ。②【名詞】あおむけ。【例】あぱなつにゅー（仰向けに寝ること）。

あぱなつみー [apanatsɨmi:]【名詞】仰ぎ見ること。　【例】てぃんぬ　あぱなつみー　あす（天を仰ぎ見る）。

あぱなふ [apanafu]【動詞】［k 語幹］あおむけになる。　【例】あぱなきー　にっづぃ（仰向けに寝ろ）。あぱなきーみーる（仰向けになってみろ）。やまぬ　はなう　あぱなきー　みー（山の頂上を仰ぎ見る）。［変異］あぱなつ。

あぱなふ [apanafu]【動詞】［k 語幹］あおむけになる。　［変異］あぱなつ。

あぱらぎがま [aparagigama]【名詞】（感動詞的に使って）可愛い子供や動物。　【例】あがい　あぱらぎがま（あらっ、可愛いー）。［類］あぱらぎっふぁがま。

あぱらす [aparasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（秘密を）ばらす。　【例】うぬ　しぇいねんとぅ　しょじょぬ　くとぅー　あぱらはいにゃーん（その青年と娘のことはばれてしまった）。

あばらぶに [abarabuni]【名詞】あばら骨。　［類］ゆんぶに、さうきぶに。

あばらやー [abaraja:]【名詞】あばら屋。　【例】ばんてぃが　やーや　あばらやーがま（私たちの家はあばら屋だ）。

あぴゃー [apja:]【名詞】［C］年取って子の産めなくなったメス豚。　【例】っふぁー　なさがりゅー　わーゆどぅ　あぴゃーてぃー　あい（（年取って）子を産めなくなった豚を「アピャー」と言う）。［類］あぴゃーわー。

あぴゃーわー [apja:wa:]【名詞】年取って子の産めなくなったメス豚。　【例】あぴゃーわーや　ひつにかいば

ならん（子の産めなくなった豚はかたくてしかたがない）。あぴゃーわーぬ　かーや　あつぐー　ぷかむぬ（子の産めなくなった豚の皮は分厚くてかたい）。［類］あぴゃー。

あふ [afu]【動詞】［k 語幹］［A］（周りが）明るくなる、陽が昇る、（夜が）明ける。　【例】てぃだぬ　あふてぃがー　はいんかい（日が昇ったら畑に（行こう））。［変異］あつ。［類］あき（母音語幹）、あかん（m 語幹）。

あぶ [abu]【名詞】［B］〖昆〗虻（アブ）。　【例】あぶん　ささいてぃがー　いちゃむぬ（虻に刺されたら痛い）。

あぶ [abu]【名詞】［B］洞窟。【例】はーあぶ（大きな洞窟［＞「はーぶ」とも言う］）。［変異］あーぶ。

あふい [afui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（水が容器から）溢れる；たくさんある。　【例】たんくから　みっじゃ　あふりーどぅー（タンクから水があふれている）。でぃんな　かさき　あふりーどぅー（お金はくさるほどある）。

あふず [afuzɨ]【名詞】［C］あくび。【例】あふっじゅ　あす（あくびをする）。やらびゃー　かまりゅーんががら　あふっじゅ　ひーゆー（子供は飽きたのかあくびをしている）。ながばなっそぅ　つふてぃがー　あふずまい　あすどぅす（長話を聞くとあくびも出る）。

あふた [afuta]【名詞】［B］ゴミ、ちり；役に立たないやつ。　【例】うまぬ　あふたう　うぐないる（そこのゴミを集めろ）。あふたう　むーす（ゴミを燃やす）。あふたうぎゃー　っそぅい（ゴミを拾いなさい）。すかまー　ひらいん　あふた（仕事のできない奴）。

あま [ama]【名詞】［C］〖指示詞〗あちら　［「あまかま（あちらこちら）」としてしか使わない］。

あま [ama]【形容詞】［A］味がうすい。　【例】っづぁが　んっつーや　あまかいば　ならん（あなたの味噌汁は薄味すぎる）。

あまーす [ama:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］甘やかす。　【例】やらびゅーぎゃー　あまーはん（子供を甘やかしてはいけない）。

あまい [amai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］甘える。　【例】んまんかい　あまりゅー（母親に甘えてる）。てぃびぬつーふぁやがまー　あまいふだー（末っ子はよく甘える［豚の末っ子は一番後ろの乳を飲む。人間でも末っ子が最後の母乳を飲むことから末っ子のことを「てぃびぬつーふぁやがま」と言う］）。ほぅいふ　ないてぃが　あまいや　ほぅん（大きくなったら甘えてはいけない）。［類］あまい（母音語幹）。

あまい [amai]【動詞】［母音語幹］［C］甘える。　【例】んまんかい　あまい

うい（母親に甘えてる）。［類］あまい（r/rr 語幹）。

あまい [amai]【動詞】［母音語幹］［A］（ニコニコと）笑う。 【例】やらびがまー　ひとぅんかい　あまいゆー（子供が人ににこにこ笑っている）。［類］ばらい（r/rr 語幹）。

あまい [amai]【名詞】［C］（食べ物の）残りもの;（使った）余り。 【例】きゅーぬ　ふぁいぬ　あまいや　んみゃにゃーん（今日の食事の残り物はもうない）。つんな　かいぬ　あまいひーや　そぅば　ふぁうが（服を買った余りでソバを食べに（行こう））。

あまいあまい [amaiamai]【副詞】（こどもなどが）ニコニコする様子［「あまいあまいてぃ」ともいう］。【例】やらびゃー　たるんかいまい　あまいあまいてぃー　ひーゆー（この子は誰にでもニコニコしている）。

あまいうむくとぅ [amaiumukutu]【成句】生きるための知恵。 【例】にんぎんな　あまい　うむくとぅぬ　にゃーだかー　ならん（人間は生きるための知恵がなければならない［＞単なる知識だけでは生きていけない］）。

あまいずつ [amaizɨtsɨ]【名詞】閏月（うるうづき）。 【例】うるーどぅすんな　あまいずつぬどぅ　あい（閏年には閏月がある）。

あまいどぅす [amaidusɨ]【名詞】閏年（うるうどし）。 【例】くとぅっさ　あまいどぅすちゃ（今年は閏年だって）。［変異］うるーどぅす、うるどぅす。

あまいなう [amainau]【名詞】竜巻。 【例】あまいなうぬどぅ　いんかいうりーふー（竜巻が海に降りてくる）。

あまかま [amakama]【副詞】あちこち。 【例】やらびゃー　あまかま　とぅみたいそぅがどぅ　とぅみらいっだん（子供はあちこち探したがみつからなかった）。［類］あまくま。

あまぐい [amagui]【名詞】雨乞い。

あまくま [amakuma]【副詞】あちこち。 【例】あまくま　まーりー　ったい（あちこち回ってきた）。［類］あまかま。

あまた [amata]【連体詞】余計な、無駄な。 【例】うらー　あまたむぬ（それは余計なものだ）。あまたむぬいゆぎゃー　あいな（余計なことをしゃべるな）。あまたでぃんつかい（無駄使い）。

あまだい [amadai]【名詞】雨だれ。 【例】やーぬ　んつきから　あまだいぬ　うちゅーい（家の軒から雨だれが落ちている）。

あまたすかま [amatasɨkama]【名詞】徒労、余計な仕事。 【例】っぅぁが　すかまー　あまたすかま（あなた

の仕事は徒労だ)。あまたすかまうぎゃー　ほぅん（余計な仕事はしない)。

あまたなんず [amatananzɨ]【名詞】不要なことをやって後で苦労すること。【例】くーっふぁ　にゃーだ　あまたなんっじゅぎゃー　ほぅん（楽しくて余計な苦労をしてるわけではない)。

あままい　かままい [amamai kamamai]【成句】あっちもこっちも。［変異］うままい　くままい。

あままい　くままい [amamai kumamai]【成句】あっちもこっちも。［変異］うままい　くままい。

あまみず [amamizɨ]【名詞】淡水。【例】ひだがーぬ　みっじゃ　あまみず（ヒダガーの水は淡水だ)。

あまみず [amamizɨ]【名詞】雨水。

あまらす [amarasɨ]【動詞】残す、余らせる。【例】ふぁいあまらす（食べ残す［「ふぁうあまらす」とも言う])。

あまり　かまり [amari kamari]【成句】十分だ。【例】ばー　うさきひー　あまり　かまり（私はそれだけで十分だ)。

あまん [aman]【名詞】［C］ヤドカリ。【例】あまんぬ　ふぐいひー　っぞぅー　つー（ヤドカリの内臓で魚を釣る［「ふぐい」は睾丸のこと])。あまんぬふぐいあらい（ヤドカリが海の水にお腹の卵を産卵すること［＜ヤドカリの睾丸洗い])。

あまんぶに [amambuni]【名詞】踝（くるぶし）の丸い骨。

あみ [ami]【動詞】［母音語幹］［A］浴びる。【例】みっじゅ　あみ（水を浴びる)。［類］あん。

あみ [ami]【名詞】［B］雨。【例】あちゃー　あみ（明日は雨だ)。あちゃーあみゃー　っふぁん（明日は雨は降らない)。あみゃー　いりーにゃーん（雨はやんだ)。あみん　ったかい（雨に打たれる)。あみん　ふかい（雨に降られる)。あみぬ　あかいきゃたーひーまち（雨があがるまで待て)。やぐみあみ（大変な雨、大雨)。ほぅすずあみ（大粒の雨)。いみすずあみがま（霧状の雨、小粒の雨)。かでぃふつあみ（台風の雨)。すまうてぃあみ（漁をしているときに島が見えなくなるほどつよくふる雨)。かんないあみ（雷雨)。なつぬあみ（夏の雨、スコール)。　やーらあみ（やわらかい雨)。ひーてぃーあみ（天気雨)。ゆがほぅーあみ（恵みの雨)。2

あみかうー [amikau:] ①【動詞】［vv 語幹幹］（水を）浴びる。【例】ひぐるみっじゅ　あみかうー（冷たい水を頭からあびる)。［類］あみかっづぃ。②【動詞】［vv 語幹幹］（他人の）借金を引き受ける。【例】ひとぅぬ　うっかう

あみかうー（他人の借金をひっかぶる）。［類］あみかっづぃ。

あみかっづぁす [amikavvasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］（水などを）かける。【例】みっじゅ　あみかっづぁす（水をかける）。ひぐる　みっじゃ　あみかっづぁはいーにゃーん（冷たい水を頭から浴びせられた）。みっじゅ　かなまいから　あみかっづぁし（水を頭からかけろ）。［類］あみかっづぁらす。②【動詞】［s/h 語幹］（他人の）借金を引き受ける。

あみかっづぁらす [amikavvarasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（水などを）かける、浴びさせる。【例】かにゃー　まさいんかい　みっじゅ　あみかっづぁらすたい（カニはマサイに｛水を浴びさせた/水をかけた｝）。かにゃー　まさいんかい　あっじー　やらびんかい　みっじゅ　あみかっづぁらすたい（カニはマサイに言って｛子供に水をかけさせた/子供に水を浴びさせた｝）。［類］あみかっづぁす。

あみかっづぃ [amikavvi] ①【動詞】［母音語幹］（水などを）かける。［類］あみかうー。②【動詞】［母音語幹］（他人の）借金を引き受ける。［類］あみかうー。

あみがっふぃ [amigaffi] 【名詞】雨宿り。【例】きーぬ　すたん　あみがっふぃ　あす（木の下に雨宿りする）。

あみじゃた [amiʑata] 【名詞】飴。【例】あみじゃたう　なんー　（飴を舐める）。

あみすず [amisizɨ] 【名詞】雨粒、雨足。【例】あみすすぬどぅ　うちゅー（雨が降っている）。

あみっふぁしゃ [amiffaɕa] 【名詞】〖昆〗アメンボ。【例】あみっふぁしゃぬどう　みずぬ　はなん　うい（アメンボが水面にいる）。あみっふぁしゃぬどう　みずぬ　はなん　とぅぬぎーまーるー（アメンボが水面を走り回っている）。

あみふー [amifu:] 【名詞】雨降り、雨の降っている日。【例】あみふーんなやーん　にっづぃー　うらでぃ（雨の日には家で寝ていよう）。きゅーや　ひとぅむてぃから　あみふー（今日は朝から雨降りだ）。やぐみ　あみふー（土砂降りだ）。くぬいや　あみふー（最近は雨期だ）。あみふー　わーつつ（雨降りの天気）。

あめりか [amerika] 【名詞】天国（アメリカのように遠いところという意味）。【例】おばーや　あめりかんかい　はりーにゃーん（おばあさんは亡くなった）。

あや [aja] 【副詞】そのように。【例】あや　ほぅだうり（そうはするな）。あやほぅーきゃー　ふにゃー　いでぃー　はりーにゃーん（そうしている間に船は出ていった）。［変異］あいや。

あや [aja]【感動詞】「(それは) だめだ」と思ったときに発する感動詞、あちゃ、あらまあ。 【例】あや、うらー だみ (あちゃ、これはだめだ)。

あや [aja]【名詞】[B] 綾。 【例】あやずん (綾のある着物)。つんぬ あや (着物の紋様)。

あやかーり [ajaka:ri]【副詞】特別に、本当に。 【例】かぬ みどぅんな あやかーりどぅ かぎかい (あの女性は特別に美しい)。あやかーりどぅ ひぐるかたい (特別に冷たかった)。[変異] あやかりー。

あやかい [ajakai]【動詞】[r/rr 語幹] (立派な人に) あやかる。 【例】ながんぬつ ぱーが あやーかりゅーとぅい ながんぬつ あっそぅ (長寿のおばあさんにあやかって長生きしなさい)。

あやぎた [ajagita]【名詞】〖昆〗蝶。 【例】あやぎたー かぎむぬ (蝶は美しい)。[類] あやばさ、あやばに。

あやぐい [ajagui]【名詞】かすれ声。 【例】からー あやぐいひー あーぐー あい (彼女はかすれ声で歌を歌う)。

あやす [ajasɨ]【形容詞】[A] 怪しい。 【例】かいがどぅ あやすかい (彼が怪しい)。

あやす [ajasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [C] (子供を) あやす。 【例】っふぁう あやす (子供をあやす)。

あやす かやす [ajasɨ kajasɨ]【成句】あれこれすること。 【例】あやす かやすてぃー ひーういきゃー ひーま なりーどぅー (あれこれしていると昼になった)。あやす かやす ちゃうきゃー (そうこうしている中に)。[変異] あいあす かいあす。

あやすてぃがー [ajasɨtiga:]【接続詞】そうしたら。 【例】まーたー ゆっづぃー うまんさし、あやすてぃがー まずむぬまい ひとぅまい とぅいや はらん (ススキの魔除けを結んでそこに挿せ。そしたら魔物も人も取って行かない)。

あやすふ [ajasɨfu]【形容詞】あやふやだ、はっきりとしない。 【例】くまぬ すかまー きゅーひーや あやすふだーい (ここの仕事は今日で (終えられるかどうか) ちょっと微妙だ)。ういが あっじゅー むぬいや いつまい あやすふむぬ (彼が言うことはいつもあやふやだ)。[類] うかーすふ。

あやたーい [ajata:i]【動詞】[r/rr 語幹] ずば抜けている。 【例】うぬ やらびぬ うむくとぅー あやたーりーどぅー (この子の知能はずば抜けている)。[変異] あやたい、あやたり、あやたりー、あやたーりー。

あやたーり [ajata:ri]【副詞】ずば抜けて。 [変異] あやたり、あやたりー、あやたーりー。

あやたーりー [ajata:ri:]【副詞】ずば抜けて。【例】はーにゃ　すーがくー　あやたーりー　でぃきゅーたい（長姉の計算力はずば抜けてよくできた）。［変異］あやたり、あやたーり、あやたりー。

あやたい [ajatai]【動詞】［r/rr 語幹］ずば抜けている。［変異］あやたーい。

あやたり [ajatari]【副詞】ずば抜けて。［変異］あやたーり、あやたりー、あやたーりー。

あやたりー [ajatari:]【副詞】ずば抜けて。［変異］あやたり、あやたーり、あやたーりー。

あやぬん [ajanun]【名詞】南京虫。【例】んきゃーんな　あやぬんまい　ぬんまい　うんそぅく　うたい（昔は南京虫もノミも沢山いた）。あやぬん　かまいー　かうかいば　ならん（南京虫にかまれた）。

あやばさ [ajabasa]【名詞】蝶。【例】あやばさー　きつぎむぬ（蝶は綺麗だ）。［類］あやぎた、あやばに。

あやばに [ajabani]【名詞】蝶。［類］あやばさ、あやぎた。

あやひー [ajahi:]【接続詞】そうすることで、そのあとで、そして。【例】みがまう　かなすかたいばどぅ　うるー　とぅっじゃひどぅ、あやひー　んめ　っふぁまい　いつぬひとぅ　まうきたい（ミガちゃんが好きだったので、彼女をめとり、そして、子供も 5 人もうけた）。うらー　ひんじゃ、　あやひー　うらー　ぬーま（これは山羊、そして、これは馬だ）。［変異］あいひー。

あやほぅーきゃー [ajahu:kja:]【副詞】そうしている中に、そうこうしている間に。【例】あやほぅーきゃー　ふにゃー　いでぃー　はりーにゃーん（そうしている間に船は出ていった）。［変異］あいほぅーきゃー。

あやほぅーば [ajahu:ba]【副詞】そうしているから、そうだから。【例】あやほぅーばどぅ　かりゃー　うやきかい（だからあいつは裕福なんだ）。［変異］あいほぅーば。

あやみ [ajami]【動詞】［母音語幹］［C］危害を加える［「殺す」という意味ではない］。【例】ひとぅーぎゃー　あやみん（人に危害を加えない）。［類］あやん。

あやら [ajara]【感動詞】なにくそ。［類］あらら、あららがま、あやらがま。

あやらがま [ajaragama]【感動詞】なにくそ。【例】あやらがま、っづぁんな　まきん（なにくそ、お前には負けないぞ）。［類］あらら、あやら、あららがま。

あやん [ajan]【動詞】［m 語幹］［C］危害を加える［「殺す」という意味ではない］。［類］あやみ。

あら [ara]【名詞】[C]（家の）外；（人や家の）外見。【例】やらびゃー　んまぬ　あらんかい　いでぃでぃー　あすてぃがー　いつまい　がんない（子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる）。とぅか　さうずばりゃーひー　やらびゅー　あらんかい　いだひー　てぃだがなっそぅ　うがます（10日目の魔除けをした後に赤ちゃんを外に出して太陽神を拝ませる）。あらんかい　いでぃー　あそぅー（外に出て遊ぶ）。からー　あらー　うとぅなすぎ（彼は外見はおとなしそうだ）。

あら [ara]【名詞】[C]（コメなどにはいっている）小石など；欠点。【例】まいぬ　あら（米に交じっている小石など）。ひとぅぬ　あらー　とぅみん（人の欠点はさがさないものだ）。

あら [ara]【形容詞】[A]（仕事などが）荒い。【例】うぬ　さやふぬ　すかまー　あらかいば　うるー　つかう　ひとぅー　みーん（この大工の仕事は粗いので彼を使う人はいない）。

あら [ara]【助詞】〖終助詞〗だろうね、だろうか、じゃないかな　[「あらんな」の省略形]。【例】あいぬ　さんみんまい　かいぬ　さんみんまいどぅ　ひーゆーや　あら（あれやこれやと考えてるんじゃないのかな）。くらー　びゅーいがっさ　あら（これはクワズイモじゃないの）。[類]あらんな。

あらいず [araizɨ]【名詞】闘争心、勝負するときの元気、意気込み。【例】すまう　とぅい　とぅきゃんな　あらいっじゅ　むてぃ（相撲を取るときには負けないぞという意気込みを持て）。

あらいだす [araidasɨ]【動詞】[s/h語幹]結婚を申し込む[「あらう　いだす」ともいう]。【例】かぬきゃー　んˀぬどぅ　あらいだすたいちゃ（彼らは昨日結婚を申し込んでオーケーをもらったそうだ）。じょー　みどぅんぬ　やーんかい　さきゃー　むちーいきー　あらう　いだはでぃ（さあー女性の家に酒を持って行って結婚を申し込もう[昔は酒を持って行って相手の父親が許可をすれば婚約が成立した]）。

あらいだすゆーい [araidasɨju:i]【名詞】婚約式。

あらう [arau]【動詞】[w語幹][A]（体を）洗う；（着物を）洗濯する；（食器を）洗う。【例】どぅーゆ　あらう（体を洗う）。つんぬ　あらう（着物を洗う）。まかいゆ　あらう（お椀を洗う）。まなちゃうぎゃー　つかうてぃがー　あらい（まな板を使ったら洗え）。かいが　はなすん　つむー　あらーいたい（彼の話に心が洗われた）。

あらうつびとぅ [arautsɨbitu]【名詞】歯に衣着せずはっきりものを言う人。【例】あっづぁうつびとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかだ、あらうつびとぅぬ　むぬいゆ　つき（口のうまい人

の話を聞かずに、歯に衣着せず話す人の話を聞け)。

あらがー [araga:]【名詞】(生き物、果物などの)表皮。【例】わーぬ　あらがーや　くぱむぬ(豚の表皮はかたい)。

あらかぎ　なかっさり [arakagi nakassari]【成句】外側は綺麗だが内側は汚い(外面だけの人間)。【例】かりゃー　あらかぎ　なかっさり　やいば　かいが　つむぬ　なかー　ゆまいん(あいつは外面はいい人だか、心の中は読めない)。からー　むいとぅぬ　あらかぎ　なかっさりんまり(あいつは外面だけの奴だ)。[類]あらかぎ　なかふとぅてぃ、あらかぎ　なかやり。

あらかぎ　なかふとぅてぃ [arakagi nakafututi]【成句】外側は綺麗だが内側は汚い(外面だけの人間)。[類]あらかぎ　なかっさり、あらかぎ　なかやり。

あらかぎ　なかやり [arakagi nakajari]【成句】外側は綺麗だが内側は汚い(外面だけの人間)。[類]あらかぎ　なかっさり、なかふとぅてぃ。

あらから [arakara]【副詞】直接的に、率直に。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　あらからー　んみかん(そのように人を真正面から叱らないものだ)。あらから　あっじ(ちゃんと言え[>回りくどい言い方をするな])。

あらがん [aragan]【名詞】〖生物〗オカガニ。【例】あらがんな　んまっふぁにゃーん(オカガニはうまくない)。

あらす [arasɨ]【動詞】[s/h 語幹][A](仕事で金を)稼ぐ。【例】ぶとぅー　でぃんぬぎゃー　あらひー　やーでぃん　ふぃーうたい(夫は仕事で稼いで、家族を養っていた[<家族に与えていた])。

あらす [arasɨ]【動詞】[s/h 語幹][A](魚を)餌を求めて激しく集まらせる、撒き餌する。【例】びじゅー　てぃっづぃー　っぞぅー　あらし(餌を投げて魚を暴れるほど集めろ)。[類]ありっさす。

あらずむびとぅ [arazɨmubitu]【名詞】心が荒く短気な人。【例】あらずむびとぅー　すぐ　なうちゃーにゃー　つむでぃどぅす(短気な人はすぐ何でもないことに怒る)。

あらでぃーびとぅ [aradi:bitu]【名詞】仕事が雑な人。【例】あらでぃーびとぅぬ　すかまー　じゃうっふぁにゃーん(仕事が雑な人の仕事は良くない)。

あらどぅくま [aradukuma]【名詞】幽霊が出ると言われて恐れられている所。【例】ほぅらだっちゃ　あらとぅくま(大浦集落の入口は幽霊等の出るところだ)。

あらなー [arana:] 【名詞】あだ名。【例】ひとぅーぎゃー　あらなーひやゆらばん（人をあだ名では呼ばない）。

あらは [araha] 【名詞】［B］外海から波が干瀬に寄せて波打っているところ、波うち際。 【例】あらはんな　なんぬ　ぶりゅー（干瀬の波うち際には波が大きく立っている）。

あらはな [arahana]【名詞】一番最初。【例】あらはなー　っづぁから　すきゃきる（まずはあなたから始めなさい）。

あらび [arabi]【名詞】［C］〖祭礼〗（祭事や記念行事）初日。【例】みゃーくづつぬ　あらび（ミャークズツの初日）。

あらまた [aramata]【名詞】相撲の外掛け。 【例】あらまたう　かきー　たうすたい（外掛けを掛けて倒した）。

あらら [arara] 【感動詞】なにくそ。［類］あらら、あやらがま、あらら。

あららがま [araragama]【感動詞】なにくそ。【例】あららがま　まきやならん（なにくそ負けてはならない）。［類］あやら、あやらがま、あらら。

あらん [aran] 【動詞】［C］（コピュラ（指定辞）の否定形）～ではない、違う；間違いだ［池間方言では「だ、である」にあたることばは現在の終止の形では通常現れない。条件形（～なら）は、「やいてぃがー」、理由形（～だから）は、「やいば」、過去形（～だった）は「あたい」、否定形（～ではない）は、「あらん」を使う。否定連用形（でなくて）は、「あらだ」］。 【例】うらー　とぅいや　あらん（これは鳥ではない）。あらん（違うよ［応答詞として相手の言うことを否定するときに使う］）。うらー　あらっだん（これではなかった）。あいや　あらん（そうではない）。

あり [ari] ①【動詞】［母音語幹］［A］（生き物が）餌を求めて激しく集まる。［類］あい（r/rr 語幹）。②【動詞】［母音語幹］［A］（こどもがおとなに）付きまとう、じゃれつく；（好きな異性に）じゃれつく。【例】やらびゃー　んまんかいどぅ　うんそぅく　ありー（（その）子供はお母さんにじゃれつきまくっている）。みがー　かにんかいどぅ　かなすかんががら　うんそぅく　ありゅーたい（ミガは（彼が）大好きなのかカニにじゃれつき回っていた）。③【動詞】［母音語幹］［A］（海などが）荒れる。［類］あい（r/rr 語幹）。④【形容詞】［A］（人に対して）付きまとう、じゃれつく。【例】くぬ　っふぁー　　むいとぅぬ　あまいっづぁーひどぅ　ばぬんかい　うんそぅく　ありかい（この子は甘えん坊でとても私にじゃれつく）。⑤【形容詞】［A］（生き物が）餌を求めて激しく集まる、たかる。【例】ぐるくんな　びじゅんかい　ありむぬ（グルクンはエサによくたかる［＞撒き餌がよく効く魚だ］）。

あり [ari]【動詞活用形】［r/rr 語幹］［C］存在動詞「ある」の特別終止形［終止形

の「あい」は、焦点助詞「どぅ」があるときに使う。過去形は「あたい」、否定形は「にゃーん」で、終止形と特別終止形の区別はなくなる]。【例】ばー　でぃんな　はーさ　あり（私はお金はたくさんある)。かいんな　っふぁー　みちゃーい　ありちゃ（彼には子供が三人いるって)。

ありだい [aridai]【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。［変異］ありだり。［類］くず、あいだり。

ありだり [aridari]【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。［変異］ありだい。［類］くず、あいだり。

ありや　みーん [arija mi:n]【成句】またとない素晴らしい（人)。【例】まーずんまぬ　あにゃー　ありや　みーん　じゃうひとぅ（まーずんまのおばさんは見たこともない素晴らしいひとだ［「まーずんま」は屋号]）。

あるまずー [arumazɨ:]【名詞】（そこにあるもの、いるもの）みんな。【例】あるまずー　ふぁい（あるもの全て食べなさい)。うまん　うるー　ひとぅんみんかい　あるまずー　ほーびゅー　ふぃーる（そこにいる人みんなにほうびをあげなさい［＜そこにいる人にみんな]）。

あわてぃ [awati]【動詞】［母音語幹］［C］慌てる、急ぐ。【例】たまっさにゃーんんまり、　まーぬ　あわてぃだうり（落ち着きのない奴だ、余り慌てるな)。あわてぃる、　んめ　ふにん　ぬーいうくいがまた（急げ、もう船に乗り遅れるぞ)。

あん [an]【動詞】［m 語幹］［C］編む。【例】びらふー　あん（芋を入れるカゴを編む)。

あん [an]【動詞】［m 語幹］［C］（水などを）浴びる。【例】ひぐる　みっじゅあん（冷たい水を浴びる)。［類］あみ。

あん [an]【名詞】［B］網。【例】あんぬ　ひつ（網を引く［サディヒツ（＝小規模の地引網）などに使う])。あんぬがにー（網を（まとめて）引き揚げる［漁船で使う規模の大きい網漁に使う])。あんぬ　ちゅっふい（網を繕う)。

あんぐーにゃ [aŋgu:nja]【名詞】〖昆〗蛾、主に沖縄クロホージャク（スズメ蛾科）という大型の蛾を指す。網に寄ってくるので網グーニャと言う。外敵に見つからないようにホバーリングしながら花の蜜を吸う大型の蛾。［類］ぐーにゃ。

あんしーがら [anɕi:gara]【成句】そうかも［「あんしーぬがら」とも言う]。【例】あんしーがら　っさいん（そうかも知れない)。［変異］あんしがら、あんちがら、あんちーがら。［類］あいがら、あいぬがら。

あんだっちゃる [andattɕaru]【連体詞】そんな（人、こと、もの）。【例】あんだっちゃる　ひとぅんかいや　むぬー　たぬまいん（そんな人にはものは頼めない）。あんだっちゃる　くとぅーぎゃー　うむーだうり（そんなことを考えてはいけない）。

あんつかい [antsɨkai]【名詞】追い込み漁［「あんつかいまーい」の省略形］。［類］あんつかいまーい。

あんつかいまーい [antsɨkaima:i]【名詞】追込み漁。【例】あんつかいまーいや　ひー　いらうっちゅ　とぅい（追込み漁でブダイを取る）。きゅーまい　あんつかいまーいゆ　でぃかひーみーでぃ（今日も追込み漁で大漁だ［＜大漁してみよう］）。［類］あんつかい。

あんつきぎー [antsɨkigi:]【名詞】〖植〗マングローブ。【例】あんつきぎーひー　あんぬ　そぅみー（マングローブの木（の樹液）で網を染める［マングローブの樹皮を煮詰めた樹液では防腐効果があるため］）。

あんてぃー [anti:]【副詞】そう。【例】あんてぃー　あいぬがら　っさいん（そう言うかも知れない）。［変異］あんてぃ、あんち、あんし、あんちー、あんしー。

あんでぃら [andira]【名詞】（芋を入れる）編みカゴ［アダンの木の根で綱を作り、それを編んで作る］。

あんぬ　ほぅかぬ　うにゃ [annu hukanu unja]【成句】網の外のフグ［＞蚊帳の外、関係ない人］。【例】っうぁー　あんぬ　ほぅかぬ　うにゃ　やいば　むぬっじゃだうり（お前は部外者なので黙っておれ）。

あんばい [ambai]【名詞】食べ物の味加減（を調べる）。【例】あんばいゆ　ひーみーみーる（味加減を見てみる）。んっつーぬ　あんばい　あす（味噌汁の味加減をする［「あんばいゆ　あす」でもよい］）。

あんぱつ [ampatsɨ]【動詞】［c/t 語幹］負債や責任を背負う。【例】うっかーんなない　あんぱてぃーにゃーん（借金を全部背負った）。

あんぱつ [ampatsɨ]【名詞】負債や責任を背負うこと、またその負債。【例】っうぁが　あんぱっちゅぎゃー　っうぁが　あんぱつ　あっそぅ（お前の借金はあなたが責任を負いなさい）。っうぁ　たうかーひー　うっかうぎゃー　あんぱっちゃーひー　かっうぃ（お前一人で責任を取って借金をかぶれ）。

あんまーす [amma:sɨ]【形容詞】（気温や湿度のせいで）気分が悪くなっている。【例】きゅーや　あてぃ　あつかいば　あんまーすむぬ（今日は余りにも暑いので気分が悪い）。

い

い [i] 【接尾辞】～のころ［時期を表す接尾辞］。 【例】くぬい（この頃）。ゆぬい（（前年と）同じ頃）。きじゃい（祭日の頃）。

いー [i:] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］入る；（日、月が）沈む。 【例】っぞぅー　あんかい　いりーにゃーん（魚は網に入った）。てぃだの　いーんかい　いー（太陽が西に沈む）。［類］いり。②【動詞】［r/rr 語幹］［A］（ものをなにかに）入れる。【例】っぞぅー　あんかい　いり（魚を網に入れろ）。［類］いり。③【動詞】［r/rr 語幹］［A］（雨、雷など天候が）収まる。【例】あみゃー　いりーにゃーん（雨はやんだ）。あまいなうや　いりーはりーにゃーん（竜巻はおさまった）。かでぃふっちゃ　いりーにゃーん（台風はおさまった）。んˀむー　いりーにゃーん（雲はなくなった）。［類］いり。

いー [i:] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］要る、必要だ。 【例】っぅぁー　でぃんな　いかっさ　いーどぅす（お前はお金はどれくらい要るの）。［類］いり。

いー [i:] 【名詞】［B］〖魚〗エイ。 【例】かまんたいー（エイ）。うまん　いーぬ　うーぎゅーい（そこにエイが泳いでいる）。［類］かまんた、かまんたいー。

いー [i:] 【名詞】［A］入江。 【例】いーんかい　ふにぬ　はいりっちゅーい（入江に船が入ってきた）。

いー [i:] 【名詞】［A］西。 【例】てぃだー　いーんかい　いー（太陽は西に入る）。いーにゃーなぎ（西隣辺り）。

いー [i:] 【名詞】［B］千枚通し、錐。 【例】いーひー　かびーゆ　ぴーつ（千枚通しで紙に穴をあける）。

いー [i:] 【助詞】〖終助詞〗ね、ねー。 【例】くぬいや　っぅぁー　まーぬ　みーらいっだん　いー（最近は余り見えなかったね）。

いーがま [i:gama] 【名詞】〖地名〗昔、村立ての際に人々が池間から西原に入った入江。 【例】いーがまん　あんぬ　はい（イーガマに網を張る）。

いーがま　くーがま [i:gama ku:gama] 【成句】至る所、どこも。 【例】ぶとぅー　いーがま　くーがま　とぅ

みー　まーいたい（夫をそこらじゅう探し回った）。

いーき [i:ki]【動詞】［母音語幹］［A］（ウロコを）はがす。【例】っぞぅぬ　いーきゅー　いーきでぃ（魚の鱗をはがそう）。［類］いーつ。

いーき [i:ki]【名詞】［B］ウロコ。【例】はだらぬ　いーきゃー　かたかいば　はずぐりむぬ（やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい）。っぞぅぬ　いーきゅー　はず（魚の鱗を剥ぐ）。［変異］いーつ。

いーさ [i:sa]【名詞】［C］〖蔑称〗聾唖者（ろうあしゃ）。【例】いーさむぬい（手話）。

いーじゃとぅ [i:ʒatu]【名詞】〖地名〗西原の北支部（にぬは）、西支部（さいぬは）を合わせた地名。【例】いーじゃとぅ　ぶとぅ　むつてぃがー　あかじゃら　ばんまいよ（イージャトゥの夫を持つとベラの食事だけだよ［アカジャラは魚の名前で、小さく鱗も剥ぎにくく美味しくない。まずい魚の代表］）。

いーつ [i:tsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］煎る。【例】まみゅー　いーつ（豆を煎る）。いーつまみ（煎った豆）。［変異］いーふ。

いーつ [i:tsɨ]【名詞】［B］ウロコ。［変異］いーき。

いーつ [i:tsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（ウロコを）はがす。【例】っぞぅぬ　いーきゅー　いーかでぃ（魚の鱗をはがそう）。［変異］いーふ。［類］いーき。

いーなずき [i:naʒiki]【名詞】いいなづけ。

いーにゃー [i:njaː]【名詞】西隣。【例】いーにゃーなぎ（西隣辺り）。いーにゃーや　やまこー（西隣はヤマコー）。

いーばー [i:baː]【感動詞】好都合だ、良かった。【例】うむい　うたいんつきゃー　やすだい、いーばーがま（思ってたより安いね、ラッキー）。

いーばー　まいだー（良かった）。いーばーがま（よかった）。むいとぅ　いーばーがま（とってもよかった）。っぞぅー　ふぃーっじゃ、いーばーどぅっちゃー（魚くれるんだって、来て良かったね［ふぃーっじゃ＜ふぃーでぃ＋ちゃ（「くれる」の意志形＋伝聞の接辞）］）。きゅーや　かでぃふっちゃひー　がっこーや　にゃーんちゃ、いーばーまいだー（今日は台風で学校は休みだって、良かったよね）。

いーふ [i:fu]【動詞】［k 語幹］［C］煎る。［変異］いーつ。

いーふ [i:fu]【動詞】［k 語幹］［C］（ウロコを）はがす。［変異］いーつ。［類］いーき。

いーゆまい　あがいゆまい

[i:jumai agaijumai]【成句】西も東も。【例】からー　いーゆまい　あがいゆまい　っさん（あいつは西も東も知らない［＞なにも分からない］）。

いかーす

[ika:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］（何かを取るため、捕まえるために手を）伸ばす。【例】てぃーや　いかーひー　かっーそぅ　とぅい　みゃらまてぃ（手を伸ばしてお菓子を取って食べてください）。

いかう

[ikau]【動詞】［w 語幹］［A］（綱、糸、木等が何かに）届く。【例】うぬ　くばずーぬ　んˀなー　まるかいば　いかーいん（この釣瓶の綱は短くて届かない）。

いかがら

[ikagara]【名詞】（何に使うかわからない）得体のしれないもの、正体のわからない人；変な状況。【例】うらー　いかがらむぬ（それは妙なものだな）。いかがらむぬーぎゃー　すてぃる（何に使うかわからない得体の知れないものは捨てろ）。うぬ　みどぅんな　いかがらみどぅん（この女性は正体がしれない人だ）。いかがらむぬ、うまん　あたい　っぞうぬどぅ　にゃーだ　んぎーにゃーん（おかしいな、ここにあった魚がなくなってしまった）。［変異］いきゃがら。

いかっさ

[ikassa]【名詞】〖疑問詞〗ものの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときにつかう使う疑問詞、いくら、どれくらい。【例】うぬ　っぞぅー　いかっさが　だい（この魚の値段はいくら?）。うぬ　うっさ　ひとぅいん　っさうぎゃー　いかっさばかーい　ふぁうどぅす（この牛は一日にどれくらいの草を食べますか）。くまから　っさらたーひー　あいつてぃがー　いかっさばかーい　かかいどぅす（ここから平良まで歩くとどれくらいかかりますか）。くまから　いきまたーひや　いかっさ　ばかーい　あり　やいば（ここから池間までの距離はどれくらいあるの）。　くぬ　ぱそこんぬ　んぶさー　いかっさばかーい　あり（このパソコンはどれくらいの重さがありますか）。［類］いさか、いさき。

いかっさまい

[ikassamai]【副詞】いくらでも、（否定を伴って）いくらも。【例】うらー　むぬーぎゃー　いかっさまい　ふぁうどぅす（あいつは飯をいくらでも食べる）。でぃんな　いかっさまい　かしどぅす（お金はいくらでも貸すよ）。からー　むぬーぎゃー　いかっさまい　ふぁーっだん（あいつは食べ物をあまり食べなかった）。

いから

[ikara]【形容詞】［B］（量が）少ない。【例】ういがどぅ　いからかい（これが少ない）。うらー　いから（それは　少ない）。うらー　いからかいばばー　っじじゃーん（これは少ないからもらわない）。［類］いからさ。

いからさ

[ikarasa]【形容詞】（量が）

少ない。 【例】ういがどぅ いからさ（これが少ない）。［類］いから。

いがんぐい [igaŋgui] 【名詞】遺言。 【例】いがんぐいゆ っふぁんみんかい あす（遺言を子供達にする）。ぱーが いがんぐいゆ つふ（おばあさんの遺言を聞く）。

いきや ふーふー [ikija fu:fu:] 【成句】頻繁に行ったり来たりすること。 【例】むとぅやーんかい いきや ふーふー あす（実家に頻繁に行き来する）。

いきゃがら [ikjagara] 【形容詞】（何に使うかわからない）得体のしれない、（人などが）正体のしれない；（状況などが）変だ。 ［変異］いかがら。

いさうがん [isaugan] 【名詞】〖生物〗岩ガニ科モクズガニ。

いさか [isaka] 【名詞】［C］〖疑問詞〗ものの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときに使う疑問詞、いくら、どれくらい。 ［類］いかっさ、いさき。

いさき [isaki] 【名詞】［C］〖疑問詞〗ものの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときに使う疑問詞、いくら、どれくらい。 ［類］いかっさ、いさか。

いさぐ [isagu] 【名詞】［C］咳。 【例】いさぐー あす（咳をする）。かじゃー ひきどぅ いさぐー ほぅー（風邪ひいて咳している）。いっだいびとぅー いつまい いさぐーどぅ あす（喘息の人はいつも咳をする）。

いさら [isara] ①【名詞】［B］（畑の）石ころ。【例】かまー いさらぬどぅ はーさ あい（あそこは石ころがたくさんある）。②【形容詞】［A］（畑が）石ころだらけだ。【例】うまー いさらかいば ならん（そこは石ころだらけだ）。

いさらばい [isarabai] 【名詞】石ころだらけの畑。 【例】いさらばいんなんーぬ いびばどぅ じゃうかい（石ころだらけの畑には芋を植えると良くできる）。［類］いすぐーばい。

いしだ [iɕida] 【名詞】［C］〖魚〗ヒレナガスズメダイ［カツオの餌になる赤い小さな魚、「ジャグ」の一種］。 ［変異］いすだ。［類］むぎゃ。

いじゃ [iʑa] 【名詞】［C］〖疑問詞〗場所を尋ねる疑問詞、どこ。 【例】かいがやーや いじゃ（彼の家はどこだ）。っづぁー いじゃんかいが（お前はどこに（行くの）か［朝の挨拶に使う］）。かりゃー いじゃんかいどぅ はりーにゃー（あいつはどこに行ったの）。うぬっぞぅー いじゃんまい うり（この魚はどこにでもいる）。からー いじゃんかい いかばんまい んーなからかなっさ ひらいゆー（あの人はどこに行っても人気者だ）。［変異］んじゃ。

いじゃー [iʑa:] 【名詞】［C］どれくらいの長さ、距離。 【例】いじゃー ば

かーい（どれくらいの長さ、または距離か)。［類］いなぎ、うなぎ。

いじゃい [iʑai]【名詞】［B］足が不自由で立って歩けない人。 ［類］いじゃら。

いじゃい [iʑai]【名詞】［A］夜の漁、漁（いさ）り。 【例】いじゃいや ゆいぬ いん（漁りというのは夜の漁のことだ)。いじゃい あすが いつ（漁りに行く)。

いじゃう [iʑau]【動詞】［w 語幹］［C］（約束して）会う、（偶然に）出会う。【例】どぅすんかい いじゃうが いつ（友達に会いに行く)。きゅーや すかまぬ あいば っづぁとぅや いじゃーいん（今日は仕事があるのであなたとは会えない)。かいんかいや ゆながい いじゃいや みーっだん（彼には長い間会っていなかった)。きゅーや やびとぅーんなとぅ いじゃーいー やぐみ ほぅからすむぬ（今日は皆さんと会えてとてもうれしいです)。んˀぬ かいんかい いじゃうたい（昨日、彼に出会った)。

いじゃどぅーす かまどぅーす [iʑaduːsi kamaduːsi]【成句】方々、あちこち。 【例】やらびゃー いじゃどぅーす かまどぅーす とぅみたいそぅが とぅみらいっだん（子供は方々探し回ったが見つけられなかった)。［変異］んじゃどぅーす かまどぅーす。

いじゃまい かままい [iʑamai kamamai]【成句】あちこち。 【例】やらびゅー いじゃまい かままい とぅみーまーい（子供をあちこち探し回る)。

いじゃら [iʑara]【名詞】［C］足が不自由で立って歩けない人。 ［類］いじゃい。

いす [isɨ] ①【名詞】［B］大漁；運がいいこと。 【例】きゅーぬ いんな やぐみ いす あたい（今日の漁は豊漁だった)。いっさ つきーどぅー（運がついている)。［変異］いそぅ。②【形容詞】［A］大漁だ；運がいい。【例】きゅーや むいとぅ いすかたい（今日は大漁だった)。［変異］いそぅ。

いす [isɨ]【名詞】［B］石。 【例】いっそぅ っそぅー（石を拾う)。いすぐーばい（石ころだらけの畑)。いっそぅゆーかーまんかい ちゅー（石を遠くに投げる)。

いす [isɨ]【名詞】［B］椅子。 【例】いすん びー（椅子に座る)。

いず [izɨ]【名詞】［C］元気、勇気。【例】うりゃー いっじゃ にゃーんんまりえいば なうまい ひらいん（彼は意気地なしなのでなにもできない)。いっじゅ いだし（元気を出せ)。あらいず（勝負するときなどの最初の意気込み)。いっじゃ いだひー あいき（元気を出して歩け)。やぐみ いず あい

びとぅ（とても元気のある人）。なうゆ　あすんまい　いずぬ　にゃーだかー　だみ（何をやるにしても元気がないとダメだ）。

いすうす [isiusi]【名詞】石臼。【例】いすうすひどぅ　まみゅーぎゃー　ひつ（石臼で大豆を引く）。

いすぐー [isigu:] ①【名詞】小石。【例】いすぐーばい（小石の多い畑）。うまー　いすぐー（あそこは石ころだらけだ）。②【形容詞】小石だらけの。

いすじゃやふ [isiʑajafu]【名詞】石工。

いすだ [isida]【名詞】［C］〖魚〗ヒレナガスズメダイ［カツオの餌になる赤い小さな魚。「ジャグ」の一種］。【例】かっちゅぬ　びじゅてぃー　いすだう　とぅい（カツオの餌としてイシダを取る）。［変異］いしだ。

いすぬまら [isinumara]【名詞】土が丸く固くなり石になっているもの。【例】いすぬまらー　とぅすんまい　ないどぅす（土が硬くなり石になったものは砥石にもなる）。

いすぬみー [isinumi:]【名詞】〖貝〗牡蠣（かき）［岩にくっついているカキ、岩ガキ］。【例】いすぬみーゆ　ばりー　とぅい　ふぁう（牡蠣を割って取って食べる）。

いすばい [isibai]【名詞】石灰。【例】さたう　にーとぅきゃんな　いすばいゆどぅ　いり（黒糖を煮るときには石灰を入れる）。うんどーかいんな　いすばいひどぅ　せんぬ　ひつ（運動会には石灰で線を引く）。

いすぱぎ [isipagi] ①【名詞】（漁で）収穫がないこと；（仕事で）成果がないこと。【例】きゅーぬ　いんな　いすぱぎどぅ　あたい（今日の漁は不漁だった）。［変異］いそぅぱぎ。②【形容詞】（漁で）収穫がない；（仕事で）成果がない。【例】きゅーぬ　いんな　いすぱぎかたい（今日の漁は不漁だった）。［変異］いそぅぱぎ。

いすびとぅ [isibitu]【名詞】獲物や賞金などが多くとれる幸運な人。【例】かりゃー　いすびとぅ　やいば　きゅーまい　はーさ　たくー　とぅいふーはず（彼は幸運な人だから今日も沢山タコを取ってくるはずだ）。マサイや　いすびとぅ　やいば　ぱちんこん　まきゃー　くとぅー　にゃーん（マサイはくじ運の強いくやつだからパチンコで負けたことはない）。［変異］いそぅびとぅ。

いずびゃーき [izibja:ki] ①【名詞】元気のある状態。【例】すかまー　あすとぅきゃんな　いずびゃーきぬどぅ　いつばん（仕事をするときには元気なのが一番大切だ）。かりゃー　いずびゃーきひとぅ（彼は元気のある人だ）。［類］いずぶた。②【形容詞】元気のある。【例】からー　んˀぬ　いじゃうたい

とぅきゃんな　いずびゃーきかたい（あいつは昨日会った時は元気だった）。［類］いずぶた。

いずぶた [iziɬbuta] ①【名詞】元気のあること。【例】かぬ　ばかむぬー　やぐみ　いずぶた（あの若者はとても元気がある）。［類］いずびゃーき。②【形容詞】元気のある。【例】かいがどぅ　いずぶたかい（あいつが元気がある）。［類］いずびゃーき。

いそぅ [isu] ①【名詞】［B］大漁だ；運がいい。［変異］いす。②【形容詞】［A］大漁だ；運がいい。［変異］いす。

いそぅがす [isugasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］せかす、急がせる。【例】まーぬ　いそぅがすな（そんなに急がすな）。すかまうぎゃー　いそぅがし（仕事を急がせろ）。②【形容詞】忙しい。【例】きゅーや　ひとむてぃから　いそぅがすむぬ（今日は朝から忙しい）。

いそぅぱぎ [isupagi] ①【名詞】（漁で）収穫がない；（仕事で）成果がない。［変異］いすぱぎ。②【形容詞】（漁で）収穫がないこと；（仕事で）成果がないこと。［変異］いすぱぎ。

いそぅばぎゃ [isubagja]【名詞】漁でなにも取れなかった人。

いたき [itaki]【動詞】［母音語幹］［A］（液体を）こぼす。【例】みっじゅ　いたきー　すてぃる（水をこぼしてしまいなさい）。［類］いたつ。

いだき [idaki]【名詞】［C］〖疑問詞〗どれくらい（の高さ、の深さ、の値段）を表す疑問詞。【例】いだきばかーいぬ　たかさ（どれくらいの高さ）。くぬ　やーや　たかさー　いだきばかーい（この家は高さはどれくらいですか）。くまから　いんぬ　そぅくたーひー　いだきばかーい　あり（ここから海底までどれくらいの深さがありますか）。くぬ　くるまー　いだきばかーいひどぅ　かーいー（この車はどれくらいで買える）。ばー　でぃんな　いだきまいにゃーんば　くぬ　てれびゃー　かーいん（私はお金はあまりたくさんないのでこのテレビは買えない）。

いだす [idasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（外に）出す；（学校に）通わせる；（手紙を）送る；（お金を）出す。【例】とぅかんてぃん　っふぁがまう　あらんかい　いだす（トゥカンティには子供を外に出す［トゥカンティは出産後 10 日前後のお祝い］）。っふぁう　がっこうんかい　いだす（子供を学校に通わせる）。てがみゅー　うつなーんかい　いだはでぃやいそぅが　でぃんな　いかっさ　かかいどぅす（手紙を沖縄に出そうと思うんだけどお金はいくらかかるの？［＜だそう＋だけど］）。でぃんな　いかっさ　いだすがまた（お金はいくらだすの？）。

いだすうや [idasɨuja]【名詞】〖祭礼〗出産祝で赤子を戸外に出すお爺さん。

いだすぱー [idasɨpaː]【名詞】〖祭礼〗出産祝で赤子を戸外に出すお婆さん。

いたつ [itatsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（液体を）こぼす。【例】みっじゅ　いたつ（水をこぼす）。んっつーゆ　いたつ（みそ汁をこぼす）。［変異］いたふ。［類］いたき。

いたふ [itafu]【動詞】［k 語幹］［A］（液体を）こぼす。［変異］いたつ。［類］いたき。

いたらーん [itaraːn]【形容詞】つまらない、必要のない、馬鹿な。【例】あいぬ　いたらーん　くとぅーぎゃー　ほぅん（そんなつまらんことをするな）。いたらーん　むぬいゆぎゃー　あすな（つまらんことは言うな）。かいが　あっじゅー　くとぅー　いたらーん（彼が言っていることはつまらない）。

いちころ [itɕikoro]【名詞】簡単であること。【例】うい　あっさ　いちころ（これをすることは簡単だ）。

いちふ [itɕifu]【名詞】［C］従兄弟、従姉妹。［変異］いちゅふ。

いちゃ [itɕa]【形容詞】［B］（体が）痛い。【例】くっづぁ　あがいや　ひどぅ　くっづぁー　いちゃかいば　ならん（こむらがえりして　ふくらはぎが　痛くてならない）。ほぅがさー　いちゃかいば　ならん（おできは痛くてしかたがない）。ふすぶす　やんかいば　いちゃかいば　あいかいん（節々が痛むから痛くて歩けない）。かなまいや　まーぬ　いちゃっふぁにゃーん（頭はあまり痛くない）。いじゃぬどぅ　いちゃかいがよ（どこが痛いですか）。

いちゃ [itɕa]【名詞】［B］板。【例】うまぬ　いちゃんかい　かにふっじゅうんき（ここの板に釘を打ちなさい）。

いちゃます [itɕamasɨ]【動詞】［s/h 語幹］いじめる、苦しめる；痛めつける。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　いちゃまはん（そんなに人をいじめるな）。とぅずんかいや　なうまい　ふぃーだ　いちゃます　びきどぅんな　だみ（妻に（生活費を）なにも与えずに苦しめる男はだめだ）。ばー　かいん　いちゃまはいにゃーん（私は彼に苦しめられた）。じんとーぜいや　むいとぅ　ひとぅー　いちゃますたいはず（人頭税はとても人を苦しめたはずだ）。かにゅー　なっじゅりー　いちゃますたい（カニをなぐって痛めつけた）。

いちゃん [itɕan]【動詞】［m 語幹］［C］痛む、苦しむ。【例】つむー　いちゃみーどぅー（頭が痛い）。じんとーぜいひー　ひとぅー　いちゃんたいはず（人頭税で人は苦しんだはずだ）。

いちゃん [itɕan]【名詞】［C］痛み。【例】かなまいぬ　いちゃんてぃや　にゃーん（頭の痛みなどはない）。

いちゃん [itɕan]【名詞】［C］腰巻、長じゅばん。【例】いちゃん　ふかすま

ーい（腰巻めくり［現在のスカートめくりのいたずらにあたるもの］）。

いちゅ [itɕu]【名詞】［C］糸。［変異］いとぅ。

いちゅに [itɕuni]【名詞】［C］高い音調。【例】みゃーくぬ　あーぐー　いちゅに（宮古の歌は高い音調だ［宮古民謡「とうがにあやぐ」から］）。

いちゅふ [itɕufu]【名詞】［C］従兄弟、従姉妹。【例】いちゅふー　きょーだいぬ　んまりむぬ（いとこはきょうだいみたいなもの）。ゆまん　ほぅんぬ　いちゅふんかい　ゆるきたい（読まなくなった本をいとこに譲った）。またいちゅふ（またいとこ）。［変異］いちふ。

いつ [itsɨ] ①【動詞】［k 語幹］［A］行く。【例】きゅーまい　すかまんかい　いつ（今日も仕事に行く）。っさらんかい　いきーくー（平良に行って来い）。けんちじぬ　まいんかい　いつ（県知事を訪問する）。かいまたんかい　あいきー　いつ（狩俣に歩いていく）。しーとぅー　ゆみーいつてぃがー　たうかー　みーっだん（生徒をかぞえていったら一人いなかった）。いっでぃーいつむぬー　くーかいばならん（生きていくのは苦しくて仕方がない）。［変異］いふ。②【補助動詞】［k 語幹］（動詞連用形について）～ていく（「場所から離れていく」「時間の経過とともに変化していく」など）の意味を添える。【例】こがにまるー　さんじん　いでぃーいつちゃ（黄金丸は三時発だって［＜出ていく（スケジュールが三時という意味）］）。らんぷぬ　うまっちゃ　ひーちゃなー　きゃーりーいつ（ランプの灯が少しずつ消えていく）。［変異］いふ。

いつ [itsɨ]【名詞】［C］息；命；勢い、元気。【例】ばー　あてぃ　うだいやひどぅ　あてぃ　っふぁいやひどぅ　ひとまた　あいつきゃー　いっちゃ　はーみきーどぅー（私はとても太っているので一股歩くと息がハーハーする）。ぱーや　んめ　いっちゃ　にゃーん（おばあさんはもう息を引き取っている）。あてぃ　ほぅからすかいば　いつまい　ひらいん（とてもうれしくて息もできない）。ながいつびとぅ（息を長く止められる人；長命の人）。ばが　いつぬ　あいきゃー　うぬきゃん　まきやならん（私が元気があるうちはあいつらに負けてはならない）。

いつ [itsɨ]【名詞】［A］《疑問詞》いつ。【例】いつ　うつなーんかい（いつ沖縄に（行くの）?）。いつどぅ　じゃうかいが（いつがいいですか）。からー　いつ　っちゅーががら　っさいっだん（あいつがいつ来たかわからなかった）。いつまい　くー（いつでも来い［「いつやらばんまい　くー（いつでもいいから来い）」と同じ意味）。ばー　いつまい　さんじんどぅ　うきー（わたしはいつも三時に起きる）。

いっづぁす [ivvasɨ]【動詞】［s/h 語

幹]「ゆー（怖がる、恐れる）」の使役形、「怖がらせる」。【例】やぐいや　かきー　いっづぁす（大声をあげて驚かす）。かいん　いっづぁはいにゃーん（あいつにビックリさせられた）。

いっづぃ [ivvi]【動詞】［母音語幹］［A］恐がる。【例】かりゃー　なうゆまい　いっづぃん（彼は何事をも怖がらない）。やらびゃー　っづぁうぎゃー　いっづぃーどぅー（子供はあなたのことを怖がっている）。やらびゃー　かりゅーぎゃー　ほぅーぐる　いっづぃ。（子供は彼を恐れ怖がっている）。いんぬぎゃー　いっづぃだうり（犬を恐がるな）。かりゃー　なうゆまい　いっづぃん　はてぃ　みどぅん（彼女は何をも恐れない強い女性だ）。［変異］うーっづぃ。［類］うー。

いつか [itsika]【名詞】［A］〈数詞〉五日。

いっかうー [ikkau:] ①【動詞】［vv 語幹幹］（水等を）ひっ被る。【例】みっじゅ　かなまいから　いっかっづぃーにゃーん（水を頭からひっかぶった）。②【動詞】［vv 語幹幹］（借金などを）かぶる。【例】うっかう　いっかっづぃーにゃーん（借金をひっかぶった）。

いつがから [itsigagara]【副詞】いつ頃か。【例】うつなーんかい　いつたいむぬー　いつがからどぅ　あたいがから　うぶいや　うらん（沖縄に行ったのはいつごろだったのか覚えていない）。

いっかっづぁす [ikkavvasi]【動詞】［s/h 語幹］（水等を人に）ぶっかける；（水を自分で）かぶる。【例】やらびんかい　みっじゅ　いっかっづぁす（子供に水を浴びせる）。かーんきー　みっじゅ　いっかっづぁひー　くー（井戸に行って水をかぶってこい）。［類］いっかっづぁらす。

いっかっづぁらす [ikkavvarasi]【動詞】［s/h 語幹］（水等を人に）ぶっかける；（水を自分で）かぶる。［類］いっかっづぁす。

いつがみまい [itsigamimai]【副詞】いつまでも。【例】っづぁが　くとぅー　いつがみまい　ばっしらいん（あなたのことはいつまでも忘れません）。ゆながい　まちゅーそぅが　かりゃー　いつがみまい　くーん（長い間まっているが彼はいつまでも来ない）。うりゃー　てぃびふぎゃ　やいば　いつがみまい　うむくとぅー　いでぃん（彼はもの覚えがわるいやつだからいつまでたっても知恵がつかない）。

いつから [itsikara]【副詞】とっくに、すでに。【例】からー　いつから　やーんかい　はりーにゃーん（彼はとっくに家に帰った）。［類］きさから。

いつき [itsiki]【名詞】［C］勢い、影響力、健康で元気なこと。【例】っざぬ

いつきぬ　あいきゃー　っづぁまい　わいてぃ　かない（お父さんが元気なうちにお前も頑張れ）。いつき　あい　ひとぅ（勢いのある人）。っざー　ういびとぅん　なりー　んみゃ　いつきゃー　にゃーん（父は年を取ってもう影響力はない）。

いつぐ [itsɨgu]【名詞】［C］普段、いつも（使うもの、おいてあるもの、食べるもの）。【例】いつぐー　うまんかいや　いかん（普段はそこには行かない）。いつぐぬ　むぬぬどぅ　にゃーん（いつものものがない［＞普段使っているもの、普段置いてあるもの］）。

いっさ [issa]【名詞】［B］戦、戦争。【例】いっさー　ひーや　ならん（戦をしてはならない）。いっさゆー（戦の世）。

いっず [izzɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［C］生きる。【例】すなだ　わいてぃー　いっでぃ（死なないでしっかり生きなさい）。ゆながい　いっだんまい　なうぬ　みーんまい　ならん（長い間生きてもなんの役にもたたない）。［類］いっでぃ。

いっだい [iddai]【名詞】咳、痰、喘息。【例】いっだいびとぅー　いつまい　いさぐーどぅ　あす（喘息の人はいつも咳をする）。いっだいびとぅ（（病気がちで）咳をして痰を吐く人）。いっだいや　なまらん（喘息がとまらない）。

いっだす [iddasɨ]【動詞】［s/h 語幹］生き返らせる。【例】うーっふぃー　すにーにゃーん　ひとぅー　いっだす（溺れて死んだ人を生き返らす）。

いっだま [iddama]【名詞】人を呪うこと、呪いの言葉を言う。【例】ひとぅー　いっだま　あすてぃがー　うなが　どぅーんかいどぅ　ふー（人を呪うと自分に来る［＞人を呪わば、穴二つ］）。ひとぅーぎゃー　いっだまうぎゃー　ほぅん（人を呪わない［＞人をを呪ってはいけない］）。いっだまー　ひー　ぬるー（呪いの言葉を言って呪う）。

いっちゃー　っさん [ittɕa: ssan]【成句】自制が効かない、分別のない。【例】まーぬ　いっちゃー　っさん　むぬふぁいゆぎゃー　あすな（あまり分別のない食べ方はするな）。かりゃー　つむでぃてぃがー　いっちゃーっさん　ほぅりむぬ（彼は怒ると自制心が効かなくなる馬鹿者だ）。まーぬ　いっちゃー　っさん　むぬいゆぎゃー　あすな（あんまり馬鹿なことは言うな）。

いつつ [itsitsɨ]【名詞】［A］〖数詞〗五つ。

いつっふぃ [itsɨffi]【動詞】［母音語幹］息があがる、息ができない。［類］いつふー。

いっでぃ [iddi]【動詞】［母音語幹］［C］生きる。［類］いっず。

いっとぅつ [ittutsɨ]【名詞】一時、すこししたら。【例】うぬくとぅー　いっとぅつぬ　ばんがま（そのことは一時的なものだ）。うりゃー　いっとぅつんな　むどぅいどぅす（彼はちょっとしたら戻ってくる）。

いつなんどぅつ [itsɨnandutsɨ]【成句】いつ何時。【例】いつなんどぅつ　ないぬ　ふーががら　っさいん（いつ何時地震が来るかもしれない）。

いつぬにー [itsɨnuni:]【名詞】息の根。【例】いつぬにーぬ　ふかっでぃー　あすきゃ　くらはいたい（息の根が止まるほど殴られた［「いつぬ　にーゆ（息の根を）」でもよい］）。

いつぬひとぅ [itsɨnuhitu]【名詞】〖数詞〗五人。

いつばかーい [itsɨbaka:i]【名詞】いつ頃。【例】っづぁー　やーにゃー　いつばかーいんどぅ　ふーがまた（あなたは来年はいつ頃来るのか）。［類］いつなぎ。

いつふー [itsɨfu:]【動詞】［f/ff 語幹］息があがる、息ができない。【例】だりー　いっちゃ　ひらいんばかーい　いつっふぃー　うたい（疲れて息もできないくらい喘（あえ）いでいた）。［類］いつっふぃ。

いつまい [itsɨmai]【副詞】いつも。【例】かぬきゃが　ふたーいや　いつまい　ひとぅみ（あの二人はいつも一緒だ）。いつむすがまうぎゃー　かなっさ　あっそぅ（動物をかわいがりなさい）。

いつむす [itsɨmusɨ]【名詞】家畜、ペット；動物。【例】いつむすんな　むぬーまい　ふぃー　みっじゅまい　ぬまし（家畜に餌もやり、水も飲ませろ）。じょー、　どぅーまい　いつむすがまう、まゆがまう　つかなーでぃ（さ、私たちもペット、猫を飼いましょ）。やまぬ　いつむっそぅぎゃー　かつまだうり（山の生き物は捕まえるな［山に住んでいる生き物は病気を持っていることが多いから］）。やーぬ　いつむっそぅ　つかなう（家畜の世話をする）。

いつむどぅい [itsɨmudui]【名詞】往復。【例】きゅーや　っさらとぅぬ　いつむどぅいや　あいきー　だりーどぅーい（今日は平良との往復を歩いて疲れている）。

いつむん [itsɨmun]【名詞】親戚。【例】ばんちゃー　いつむん（私たちは親戚だ）。

いつんつ [itsɨntsɨ]【名詞】往路、行く途中。【例】むとぅやーや　がっこうんかい　いつんつんどぅ　あい（実家は学校に行く途中にある）。

いでぃ [idi] ①【動詞】［母音語幹］［C］（外に）出る、（偉い人物が）出る。【例】あらんかい　いでぃー　あそぅー（外に出て遊ぶ）。いでぃー　はり（出てい

け)。すかまんかい　いでぃー　はたい（仕事に出ていった)。いでぃふつから　いでぃる（出口から出ろ)。ぬーからどぅ　ぶっさ　いでぃー（恵まれない家庭から偉人は生まれる)。②【動詞】[母音語幹][C]発生する、発症する。【例】すばいがまぬどぅ　いじゅー（コバエが発生している)。さみかうしゃーや　いでぃー　かうかいば　ならん（疥癬が出て痒くてしかたがない)。

いでぃ [idi]【名詞】[A]〈疑問詞〉どっち、どれ［人でも物でも可]。【例】いでぃがどぅ　っうぁが　みどぅんっうぁ（どっちがあなたの娘だい)。っうぁー　いじゅー　とぅらでぃ（君はどっちを取るの)。くいとぅ　くいとぅや　いでぃがどぅ　ます（これとこれとはどっちがいい［[わらべ歌「ナビンマヤーヌ　ムク」にでる文句、日常語でも使う])。[変異]んでぃ。

いでぃーはいーふつ [idi:hai:-futsi]【名詞】出入口、戸口。【例】っうぁが　やーぬ　いでぃはいーふつん　たつてぃがー　たるまい　やーなかんかい　はいらいんだらよ（お前が戸口に立ったら誰も家の中に入れないよ)。[変異]いでぃはいふつ、いでぃーはいふつ、いでぃはいーふつ。

いでぃいー [idii:]【名詞】（人の）出入り、往来。【例】やどぅふっちゃ　いでぃいー　あす　どぅくま（玄関は出入りする所だ)。くまー　にんぎんぬ　まーぬ　いでぃいーや　にゃーん　とぅくま（ここはあまり人の往来がないところだ)。

いでぃそぅるー [idisuru:]【動詞】[w 語幹]出揃う。【例】きゅーや　やびとぅんーな　いでぃそぅるい　ふぃーさまい　やぐみ　すでぃがほー（今日はみなさんおそろいいただきありがとうございます)。まみがはなー　いでぃそぅるいーよー（豆の花は出揃っているよ）[[古謡　豆が花から。次に「つゆがはなー　さきそぅるいーよー（露の花は咲き揃っているよ）と続く。古謡では一般に対句を成し韻を踏む])。[類]いでそぅるい。

いでぃみー [idimi:]【名詞】分担金。【例】っうぁが　いでぃみーや　いちまんえん（お前の出し分は 1 万円だ)。[類]はらいみー、いでぃみーはらいみー。

いでぃみーはらいみー [idim-i:haraimi:]【名詞】分担金。［類］いでぃみー、はらいみー。

いでそぅるい [idesurui]【動詞】[母音語幹]出揃う。［類］いでぃそぅるー。

いとぅ [itu]【名詞】[C]糸。【例】はいんかい　いとぅー　っちゃんつ（針に糸を通す)。[変異]いちゅ。

いとぅま [ituma]【名詞】[C]休み、暇。【例】かりゃー　がんじゅーかいば　ひとぅいぬ　いとぅままい　にゃーん（彼は健康だから一日の休みもな

い［＞健康で休みをとらない］)。［変異］いちゅま。［類］ゆくい。

いなう [inau]【名詞】［C］内海、リーフと島との間の内海。 【例】みがにまーいゆ　いなうん　あす（素潜り漁を内海でする)。いなうんどぅ　たくまいうい（内海にタコもいる)。

いなぎ [inagi]【名詞】［C］［疑問詞］長さ、高さ、幅、距離、どれくらい。【例】くぬ　んˀなー　いなぎばかーい　あり（この綱の長さはどれくらいあるの)。かいが　たかさー　いなぎばかーい（あの人の背の高さはどれくらいあるの)。くぬ　だいぬ　はばー　いなぎばかーい（この台の幅はどれくらいなの)。っさらたーひー　いなぎばかーい（平良までどれくらい距離があるの)。［類］いじゃー。

いなびかい [inabikai]【名詞】稲光。【例】いなびかいや　ひかりどぅ　かんないまい　なりゅー（稲光が光って雷もなっている)。

いばい [ibai]①【動詞】［r/rr 語幹］［A］威張る；自慢する。 【例】うやきてぃー　まーぬ　いばいな（金持ちだと言って余り威張るな)。っふぁぬどぅ　りゅーだいんかい　はいりーにゃーんてぃー　いばるー（子供が琉大に入ったと言って自慢している)。②【名詞】［A］威張ること；自慢すること。【例】からー　うむくとぅあい　ひとぅ　やいばまーぬ　いばいてぃーまい　にゃーっだん（あの人は賢い人だから自慢ということはあまりなかった)。

いばいさー [ibaisa:]【名詞】威張ること；自慢すること；ほら吹き、自慢する人。【例】からー　いつまい　むいとぅぬ　いばいさー　だら（彼はいつも威張る奴だよ)。たくーぎゃー　まーぬ　とぅいや　くーんそぅが　はーさ　とぅいっちゃーてぃ　いばいさーやい（たこをたくさん取ってはこなかったけれどたくさん取ったと自慢ばかりしている)。からー　でぃんな　はーさ　ありーどぅーてぃ　いばいさーやいだらよ（彼はお金はたくさんあるといって威張ってばかりいるよ)。［類］いばら。

いばら [ibara]【名詞】［C］威張る人。【例】からー　いばら　だら（あいつは威張るやつなんだ)。［類］いばいさー。

いび [ibi]【名詞】［B］御嶽のもっとも神聖な場所［ここでナナムイの儀式やお祈りをする］。【例】いびんかい　はな、さき、まーそぅー　うさぎが　いふ　（イビに供物、酒、塩を供えに行く)。ななむいぬ　ぱーたー　いびんどぅ　かんぬ　にがう（七杜の巫女たちはイビで祈願する)。

いび [ibi]【動詞】［母音語幹］［A］（種、苗を）植える。【例】かふーん　そぅーゆ　いびー（屋敷内の畑に野菜を植える)。ぶーっじゅ　いびー（サトウキビを植える)。んーぎーゆ　いび（芋づる

を植える)。ゆぬりゃ　なりーどぅーば　ぶーずまい　いびだかーならん（その時期になっているのでサトウキビも植え付けないといけない)。

いびがん [ibigan]【名詞】〖生物〗伊勢海老。【例】いびがんぬぎゃー　ゆいぬ　いんな　ひどぅ　とぅい（伊勢海老は夜間の漁でとる)。いびがんぬんまさ　あい　むぬー　にゃーん（伊勢海老ほどうまいものはない)。

いひな [ihina]【名詞】[C] 少しの量；少しの時間。【例】ばが　っじだまー　いひなふだー（私の取り分は少ない[＞これだけしかないのか])。だりーゆーば　いひながまやらばんまい　ゆくーっさし（疲れているので少しだけでも休ませてくれ)。

いびら [ibira]【名詞】[C] 飯ヘラ、芋をこねる細長い棒。【例】いびらひーんーぬ　ったつ（イビラで芋を叩く)。

いふ [ifu]【接頭辞】〖疑問詞〗「たーい（人)」、「つ（つ)」、「かいま（回)」「から（匹、頭)」「うに（隻)」「うず（本)」などの助数詞の前につき数量の疑問詞を作る　いくつ、いくら、なんにん、何回、何匹、何隻、何本。【例】さうがつ　たーひーや　んめ　いふか　ありーどぅ（正月までは後何日あるのか)。

いふーず [ifu:zɨ]【名詞】〖疑問詞〗細長い植物や芋を数える疑問詞、何本、いくつ。【例】ぶーっじゅぎゃー　ひとぅたいひー　いふーずな　まるつ（サトウキビは一束に何本束ねるの)。あんでぃらんな　んーな　いふーず　あり((この）アンディラには芋がいくつあるの［アンディラは芋を入れる網かご])。［変異］いふすず。

いふか [ifuka]【名詞】[A]〖疑問詞〗日にちを数える疑問詞、何日。【例】さうがつたーひーや　んめ　いふか　ありーどぅ（正月まではあと何日あるの)。

いふかいま [ifukaima]【名詞】〖疑問詞〗回数を聞くための疑問詞、何回。【例】みゃーくんかいや　いふかいまってぃーだ（宮古には何回来たことがありますか)。やらびあいきゃー　ひとぅいん　いふかいままい　いんかいや　いきゅーたい（子供の頃は一日に何回も海に行っていた)。くぬ　しばいや　いふかいま　みーばんまい　うむっし（この芝居は何回見ても面白い)。［類］いふん。

いふから [ifukara]【名詞】〖疑問詞〗生き物、家畜、魚の数を数える疑問詞、何匹、何頭。【例】っぅぁるが　やーんな　うっさ　いふから　うるーたい（お前の家には牛は何頭いたの)。

いぷぎ [ipugi]【名詞】[C]〖疑問詞〗大きさ、高さ、重さを聞く疑問詞、どれくらい。【例】っぞぅー　いぷぎばかーい　あた((その）魚はどれくらいの大きさだった)。からー　たかさー　いぷぎばかーい　あり（あいつは身長は

どれくらいあるの)。くぬ　いっさ　んぶさー　いぷぎばかーい　あり（この石の重さはどれくらいあるの)。[変異]いほぅぎ。

いふたーい [ifuta:i]【名詞】〈疑問詞〉人の数を聞く疑問詞、何名、何人。【例】っづぁー　んまがー　いふたーい　うり（おたくのお孫さんはなんにんいるの)。きゅーぬ　うぐなーいんかいや　いふたーい　ふーがまた（今日の集まりには何人来るの)。

いふつ [ifutsɨ]【名詞】[A]〈疑問詞〉（年が）何歳、（ものの数が）いくつ。【例】っづぁー　いふつ　なりーどぅー（あなたは何歳になったの)。かーっさ　いふつ　あり（お菓子はいくつあるの)。

いふん [ifun]【名詞】[C]〈疑問詞〉回数を聞くための疑問詞、何回。【例】かいんかいや　いふん　いじゃうどぅすたー（あの人には何回会いましたか)。ほぅんぬぎゃー　いふんまい　いふんまい　ゆんばどぅ　うぶいらい（本は何回も繰り返して読めば覚えられる)。ひとぅぬ　なーや　いふん　つかばんまい　うぶいらいん（人の名前は名前は何回聞いても覚えられない)。[類]いふかいま。

いほぅぎ [ihugi]【名詞】[C]〈疑問詞〉大きさ、高さ、重さを聞く疑問詞、どれくらい。【例】っづぁー　っぞぅだまー　いほぅぎ　っじでぃ（あなたは漁の分け前をどれくらいにしようか)。ばが　まうきゃー　いほぅぎまい　にゃーん（私の稼ぎはいくらもない)。[変異]いぷぎ。

いみ [imi]【名詞】[B]夢。【例】ぱーが　すがたぬどぅ　いみん　みーらいうたい（おばあさんの姿が夢にでてきた[＜見えていた])。ゆびゃー　んまが　いみゅー　みーたい（昨晩は母の夢を見た)。[変異]ゆみ。

いみ [imi]【形容詞】[B]小さい。【例】ばが　やーぬどぅ　んながーな　いみかい（うちの家が一番小さい)。だいやもんどー　いみからばんまい　じゃうとぅー（ダイヤモンドは小さくてもいい)。うまんな　いみ　っぞぅがまぬどぅ　はーさ　うい（ここには小さな魚がたくさんいる)。くいんつきゃ　いみかい　ちゃばんな　むちーくー（これより小さい茶碗をもってこい)。ばーほぅいかいむぬ　がばーかいむぬー　とぅらでぃ　やいば　っづぁー　いみかいむぬー　とぅい（私は大きい方の物を取るからあなたは小さい方の物を取れ)。[類]ぐま。

いみ　まそぅー　びとぅ [imi masu: bitu]【成句】夢が正夢になる人。【例】かりゃー　いみ　まそぅーびぃとぅ　やいば　かいが　いみゃー　いつまい　あたりーどぅー（彼は夢が正夢になるひとなので、彼の夢はいつも当たる)。

いみあみ [imiami]【名詞】小雨。【例】あがい、いみあみがまぬどぅ　っふゅーい（あ、小雨が降ってる）。

いみかいきゃ [imikaikja]【成句】幼いころ。【例】ばんちゃー　いみかいきゃー　きばん　あたい（私たちは幼ないころは貧乏だった）。

いみさみー [imisami:]【成句】見下して見る事［いみさ＝小さいこと］。【例】いみさみー　あすな（見下して見るな）。ひとぅーぎゃー　いみさみーゆぎゃー　ほぅん（ひとを見下すことをしない［＞他人を見下してはいけない］）。

いみすず　あみがま [imisiʒi amigama]【成句】霧状の雨、小粒の雨。

いみすず　んーがま [imisiʒi n:gama]【成句】（育ち切っていない）小さい芋。【例】っさに　んーがまうどぅ　いみすず　んーがまてぃーまいあい（（まだ育ち切っていない）ひげ根芋を「いみすずんーがま」とも言う）。

いみずむ [imiʒimu]【形容詞】料簡が狭い、人間が小さい。【例】いみずむんまり（度量が小さい人）。

いみでぃーがま [imidi:gama]【名詞】手が小さい；ケチな人。【例】みがが　てぃーや　やらびぬ　てぃーぬんまらーひー　いみでぃーがま（ミガの手はこどもの手のように小さい）。かりゃー　いみでぃーがま　やいば　ひとぅんかいや　なうゆまい　ふぃーん（彼はケチだから人には何も恵まない）。

いら [ira] ①【感動詞】〖談話標識〗話しはじめに言いよどむときにだすことば、あのね、えーと；〖フィラー〗つなぎ言葉として使うことば、ね、えーと。【例】いら、からー、いら　あぱらぎ（あのね、彼女はね、美人だ）。っづぁー、いら　なかん　やらびどぅ　あたい（あなたは、ね、泣かない子供だった）。いら、かぬ、いら（あのね　あの、あのね）。②【助詞】〖終助詞〗文の最後に付けて念押ししたり、確認することば、いいかい。【例】ばんまい　いかでぃ、いら（私も行くよ、いい）。

いら [ira]【名詞】［C］（魚の）鰓（えら）。【例】っぞぅー　ばっじゃう　とぅきゃんな　いらうまい　とぅい（魚をさばく時にはエラも取りなさい）。

いらう [irau]【名詞】［B］〖地名〗伊良部。

いらう [irau]【動詞】［b 語幹］［C］（人を）選ぶ、（くじなどを）選ぶ。【例】すまぬ　そぅじゃっそぅー　いらう（村の役員を選ぶ）。っづぁが　じゃうかいてぃー　うむー　ふっじゅ　いらび（君がいいと思うくじを選びなさい）。

いらうつ [irautsi]【名詞】〖魚〗ブダイ。

いらじゃい [iraʑai] 【形容詞】必要のない、要らない。 【例】いらじゃい　むぬいゆぎゃー　あすな（要らないことを言うな）。

いらじゃい [iraʑai] 【動詞】［r/rr 語幹］要る、必要だ。【例】いらじゃらん　むぬいゆぎゃー　あすな（いらんことをいうな）。うぬ　とぅきゃー　みゃーすかたいば　でぃんな　いらじゃらだ　ふぁーいどぅすたい（そのころは生活が楽だったので、金も要らずに生活できた）。っづぁ　でぃんな　いかっさばかーい　いらじゃいどぅすが（お前は金はどれくらい要るのか）。

いらじゃらーん [iraʑara:n] 【成句】必要のない、要らない［動詞「いらじゃい」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味］。［変異］いらじゃらん、いらじゃーらん。

いらびーつー [irabi:tsɨ:] 【動詞】［ccc/ttt 語幹］厳選する　［< 選び + 切る］。【例】うまぬ　っぞぅ　なかから　じゃうかいむぬー　いらびっちー　みーる（そこの魚のなかからいいものを選んでみろ）。［類］いらびってぃ。

いらびってぃ [irabitti] 【動詞】［母音語幹］厳選する　［< 選び + 切る］。［類］いらびーつー。

いらびってぃ [irabitti] 【副詞】選びに選んで、精選して。 【例】いらびってぃ　とぅい（精選して（いいものを）取れ）。

いり [iri] ①【動詞】［母音語幹］［A］入る。 ［類］いー。

いり [iri] ①【動詞】［母音語幹］［A］入れる。 【例】みっじゅぎゃー　どんない　いりる（水はどんどん入れなさい）。［類］いー。②【動詞】［母音語幹］［A］（太陽、月が）沈む；（夜が）更ける。【例】てぃだー　いりーにゃーん（太陽は沈んだ）。ゆーや　いりーにゃーん（夜は更けた）。［類］いー。②【動詞】［母音語幹］［A］（ものをなにかに）入れる。［類］いー。③【動詞】［母音語幹］［A］（雨、雷など天候が）収まる。［類］いー。

いり [iri] 【動詞】［母音語幹］［A］要る、必要だ。 ［類］いー。

いりずみ [irizɨmi] 【名詞】刺青。【例】いりずみゅー　ほぅー　やくざぬ　うい（刺青をしているヤクザがいる）。［類］はずつ。

いりばー [iriba:] 【名詞】入れ歯。【例】ばー　はーや　にゃーんばどぅ　いりばーゆ　ひーゆー（私は歯がないので入れ歯している）。

いりびたい [iribitai] 【名詞】入り浸ること。 【例】かりゃー　いつまい　かまぬ　やーんどぅ　いりびたいやひー　むぬー　ふぁいゆー（彼はいつも向こうの家に入り浸りして飯を食っている）。

いりよー [irijo:] 【名詞】必要、入用。【例】でぃんな　いつまい　いりよー

（お金はいつも必要なものだ）。でぃんぬ　いりよーぬ　とぅきゃんな　いつまいあっじ（金が必要な時にはいつでも言いなさい）。

いん [in] ①【名詞】［C］海　［提題形、第二目的格形は「いんな」、目的格形は「いんぬ」であるが、80 代後半以上の世代ではそれぞれ「いんま」、「いんむ」になる。　【例】かりゃー　いんかい　はりーにゃーん（彼は海に行った）。いんぬ　かじゃ（海のにおい）。いんぬ　あいつ（漁に出る［＜海を歩く］）。じょいんかい　うーずが（海に泳ぎに（行こう））。②【名詞】［C］漁。【例】いんかい（漁に（行く））。かまんどぅ　いんうりびとぅぬ　みーらいゆー（向こうで漁をしている人が見られる）。いじゃいや　ゆいぬ　いん（漁りは夜の漁）。いんまーい（海に行くこと、漁に出ること）。いんびとぅんみ（漁師たち）。いん　うりが（漁に（行く））。いん　あす　ひとぅ（漁師）。いんしゃー（漁師）。

いん [in]【名詞】［B］犬　［「いん（海）」と異なり、提題形、第二目的格形は「いんな」、目的格形は「いんぬ（犬を）」で、80 代後半以上の世代でも「いんま、いんむ」となることはない］。【例】いんかい　むぬー　ふぃーる（犬にエサをあげなさい）。いんぬ　ぶいーゆー（犬が吠えている）。いん　っふぁいにゃーん（犬に噛まれた）。いんな　むぬー　ふぃーきゃたーひーや　びーないや　とぅんま　ほぅだ　むゆかん（犬は餌を与えるまでは微動だにせず動かない）。

いんうす [inusɨ]【名詞】〖生物〗ウミウシ。

いんかないびとぅ [iŋkanaibitu]【名詞】良い漁師。【例】まさいや　むいとぅぬ　いんかないびとぅ（マサイはとても良い漁師だ）。

いんぐな [iŋguna]【名詞】祝いの時などに漁に出る担当者たち。【例】ばー　きゅーや　いんぐな　やいば　いんいきー　っぞぅー　とぅいーくーでぃ（私は今日は祝い漁担当なので漁に行って魚を取ってこよう）。

いんくらしゃ [iŋkuraça]【名詞】犬の屠殺（とさつ）を生業にしている人、犬捕り。

いんしゃー [inça:]【名詞】漁師。【例】いんしゃーたー　きゅーまい　いんかい（漁師たちは今日も海に（行く））。［類］いんまーら。

いんじゃう [inʑau]【名詞】良い漁師。［類］いんばう、いんしゃー。

いんだうー [indau:]【名詞】漁具。【例】いんだうーゆ　そぅるい（漁具をそろえろ）。

いんとぅ　まゆ [intu maju]【成句】犬猿の仲［＜犬と猫］。【例】うぬきゃが　ふたーいや　いつまい　いんとぅ　まゆ（彼ら二人はいつも犬猿の仲だ）。

いんどぅい [indui] 【名詞】海鳥。

いんどぅい [indui] 【名詞】〖魚〗ミノカサゴ。 【例】いんどぅいぬ つーずんな どくぬどぅ あい（ミノカサゴの刺には毒がある）。

いんにんじゅ [inninʑu] 【名詞】（一緒に船に乗って漁に行く）漁師仲間。【例】ばんてぃが いんにんじゅ いつぬ ひとぅ（私たちの漁のメンバーは５名だ）。

いんぬ いそぅ [innu isu] 【成句】大漁［＜海の幸］。 【例】きゅーまい いんぬ いそぅ つきどぅーたい（今日も大漁だった）。

いんぬ すばな [innu sɨbana] 【成句】岸壁。 【例】いんぬ すばなんかい ぬーい（岸壁にのぼる）。

いんぬ むー [innu mu:] 【成句】海の藻。 【例】ふゆん ないてぃがー いんぬ むーぬ ゆー うい（冬になると海の藻が良く生える）。

いんぬーまがま [innu:magama] 【名詞】〖生物〗タツノオトシゴ。 【例】いんぬーまがまー びきむぬぬどぅっふぁうぎゃー なすちゃ（タツノオトシゴは雄が子供を産むらしい）。

いんばい [imbai] 【名詞】好色な女性、不倫女。 【例】いんばいやーや かたなばー（好色女の家は争いがたえない）。いんばい みどぅん（淫売婦）。

いんばう [imbau] 【名詞】〖生物〗ウミヘビ（毒をもつ）。

いんばう [imbau] 【名詞】優秀な漁師。［類］いんじゃう、いんかないびとぅ。

いんばた [imbata] 【名詞】海のちかく（浜辺も含む）。 【例】いんばたやー（海の近くの家）。いんばたう あいつ（浜辺を歩く）。ふにゅーぎゃー いんばたんかい ゆっじゃし（舟を海辺に寄せろ）。

いんまーら [imma:ra] 【名詞】漁師。［類］いんしゃー。

いんまらだに [immaradani] 【名詞】股関節にあるリンパ腺。 【例】いんまらだにぬ ふくりーにゃーん（股関節のリンパ腺が腫れた）。

う

う [u]【助詞】〖格助詞〗名詞について動作の対象を表す格助詞、を［長音、二重母音で終わる名詞に付く場合「ゆ」、「ん」で終わる名詞に付く場合は「ぬ」、「す、つ、ず」で終わる名詞のあとでは、それぞれ「っそぅ、っちゅ、っじゅ」となる。子音＋i で終わる名詞に付くときは、「み＋う＞みゅー、し＋う＞しゅー」のように「子音＋ゆー」となる」となる。「ふ」で終わる名詞に付く場合は、「たうふ（豆腐）＋う＞たうふー、たうっふ」のように「ふー」「っふ」のどちらも可能。それ以外の名詞に付く場合は「う」で現れる］。【例】はうゆ　かつん（ヘビを捕まえる［はう＋う＞はうゆ］）。いんかい　むぬー　ふぃーる（犬に食べ物をやれ［むぬ＋う＞むぬー］）。いすぐーばいぬ　むるっそぅ　っそぅい（石が混ざった畑の石をとりのぞけ［むるす＋う＞むるっそぅ］）。あんつかいまーいや　ひー　いらうっちゅ　とぅい（追込み漁でブダイを取る［いらうつ＋う＞いらうっちゅ］）。いんばたう　あいつ（海岸を歩く［いんばた＋う＞いんばたう］）。まみゅー　ひきー　たうふー　ちゅふー（大豆をひいて豆腐を作る［まみ＋う＞まみゅー、たうふ＋う＞たうふー、「たうっふ」でもよい］）。［変異］ゆ。［類］あ。

うー [uː]【動詞】［vv 語幹幹］［A］恐がる。【例】かりゃー　なうゆまい　うっづぁん（彼は何事も怖がらない［否定形として「いっづぁん」「ゆっづぁん」も可能）、「ゆーん」、「うーん」も可とする人あり］）。ばー　やらびあいきゃー　まずむぬーぎゃー　むいとぅ　うっづゅーたい（私はこどものときは幽霊がとても怖かった［＜怖がっていた］）。［変異］ゆー。［類］いっづぃ。

うー [uː]【動詞】［vv 語幹幹］［A］売る。【例】っぞぅー　っづぃー　うるーたい（魚を売ってくらしていた）。うーぬくい（売れ残る/売れ残り）。うらー　っづぁんまい　でぃんな　ならん（これを売っても（大した）金にはならない）。

うー [uː]【動詞】［w 語幹］［A］追いつく、（あとを）追いかける。【例】まゆがまう　うーたいそぅがどぅ　かつみらいっだん（子猫を追いかけたが、つかまえられなかった）。ぬーまう　うー

い（馬を追いかけろ）。やらびゃー　はーかいば　うーいん（子供は足が早いので追いつかない）。［類］うー（母音語幹）、うーい。

うー [u:]【動詞】［母音語幹］［A］追いつく、（あとを）追いかける［w 語幹の「うー」が受身形「うーい」、使役形「うーす」になるのに対して、母音語幹の「うー」は、受身形「うーらい」、使役形は「うーっさす」となる］。【例】ぶーっじゃ　ぬそぅみー　ぬすん　うーらいーにゃーん（サトウキビを盗んで主に追いかけられた）。［類］うー（w 語幹）、うーい（母音語幹）。

うー [u:]【動詞】［vv 語幹幹］［A］怖がる、恐れる。［類］うーっづぃ。

うー [u:]【動詞】［w 語幹］［A］（物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー　うるー　うーい（風呂敷でそれを覆え）。［類］うー（vv 語幹幹）、うーい、うーう、うーっづぃ。

うー [u:]【動詞】［vv 語幹幹］［A］（物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー　うるー　うっづぃ（風呂敷でそれを覆え）。［類］うー（w 語幹）、うーい、うーう、うーっづぃ。

うーい [u:i]【動詞】［母音語幹］［A］（あとを）追いかける、追いつく。［類］うー（母音語幹）、うー（w 語幹）。

うーい [u:i]【動詞】［母音語幹］［A］（物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー　うるー　うーいる（風呂敷でそれを覆え）。［類］うー（w 語幹）、うー（vv 語幹幹）、うーう、うーっづぃ。

うーう [u:u]【動詞】［vv 語幹幹］［A］（物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー　うるー　うーっづぃ（風呂敷でそれを覆え）。［類］うー（w 語幹）、うー（vv 語幹幹）、うーい、うーっづぃ。

うーぐる [u:guru]【名詞】おばけ、魔物。【例】うーぐるぬ　ふーば　なかだうり（お化けが来るから泣くな）。やらびゃー　うーぐる　いっづぃ　あす（子供はお化けを怖がる）。

うーじゅるかき [u:ʑurukaki]【名詞】（煮物や汁ものをする）中型の鍋。

うーす [u:si]【動詞】［s/h 語幹］［A］（馬や牛に荷を）負わせる、（馬車などに荷を）のせる。【例】ぬーまんかい　っさう　うーし（馬に草束を負わせろ）。

うーず [u:zi]【動詞】［g 語幹］［C］泳ぐ。【例】んすぬかーん　いきー　うーずが（ンスヌカーに行って泳ぎに（行こう））。

うーず [u:zɨ]【名詞】［C］水泳、水浴び。 【例】きゅーや　んすぬかーんきー　うーず　あすが（今日はヌスヌカーに水浴びをしに（行こう））。すぷたい　びとぅ、うーっじゅ　あっそぅ（不潔な奴め、水浴びしろ）。

うーず [u:zɨ]【動詞】［zz/dd］［A］（他のものと）比較する；（報酬などが働きぶりなどに）応じる、よる；（他のものに比較して）優れる、及ぶ。［変異］うーっず。［類］うーでぃ、うーっでぃ。

うーっづぃ [u:vvi]【動詞】［母音語幹］（物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて）隠す、覆う。 【例】うつつひー　うるー　うーっづぃる（風呂敷でそれを覆え）。［類］うー（w 語幹）、うー（vv 語幹幹）、うーい、うーう。

うーっづぃ [u:vvi]【動詞】［母音語幹］怖がる、恐れる。 【例】うーっづぃだうり（恐がるな）。かりゃー　まずむぬーぎゃー　うーっづぃどぅー（あいつは幽霊を怖がっている）。くぬいぬ　ひとぅんみゃー　まずむぬーぎゃー　うーっづぃん（最近の人たちは幽霊を怖がらない）。［類］いっづぃ。

うーっず [u:zzɨ]【動詞】［zz/dd］（他のものと）比較する；（報酬などが働きぶりなどに）応じる、よる；（他のものに比較して）優れる、及ぶ。［変異］うーず。［類］うーでぃ、うーっでぃ。

うーつつ [u:tsɨtsɨ]【名詞】大きなハンマー。

うーっつ [u:ttsɨ]【動詞】［cc/tt］追いかける、追い返す、追い出す。 ［変異］うっつ。

うーっでぃ [u:ddi]【動詞】［母音語幹］（他のものと）比較する；（報酬などが働きぶりなどに）応じる、よる；（他のものに比較して）優れる、及ぶ。［変異］うーでぃ。［類］うーず、うーっず。

うーっふ [u:ffu]【動詞】［f/ff 語幹］溺れかける；溺れて死ぬ。 【例】うまん　うーっふてぃがー　すんがまた（ここで溺れたら死んでしまう）。ばーん゜ぬ　うーっふぃー　んめちゃうたい（私は昨日溺れかけて大変だった）。やらびゃー　んすぬかーん　うーっふいーにゃーん（子供はンスヌカーで溺れた）。ばー　やらびあいきゃ　まじゃん　うーっふぁじゃうたい（私は子供のころ真謝港で溺れかけた（ことがある））。［変異］うーふ、うーふー。［類］うーっふぃ。

うーっふぃ [u:ffi]【動詞】［母音語幹］溺れかける；溺れて死ぬ。 【例】やらびぬどぅ　うーっふぃーにゃーん（子供が溺れてしまった［普通は溺れそうになることを意味するが、溺れて死ぬことも表せる］）。［類］うーっふ、うーふ、うーふー。

うーでぃ [u:di]【動詞】［母音語幹］［A］（他のものと）比較する；（報酬など

が働きぶりなどに）応じる、よる；（他のものに比較して）優れる、及ぶ。【例】っうぁが　ばきぶんな　んーなん　うーでぃてぃがー　っうぁがどぅ　はーさかい（あなたの分け前はみんなに比較するとあなたの方が多い）。っうぁが　ばきぶんな　うぁが　はたらつんどぅ　うーでぃらい（あなたの分け前はあなたの働きによります）。　から　ういんな　うーでぃん（あれはこれに及ばない）。なうばん　ほぅばんまい　かいんかいや　うーでぃらいん（何をしてもあいつには及ばない）。［変異］うーっでぃ。［類］うーず、うーっず。

うーんま [u:mma]【名詞】〖祭礼〗七杜（ななむい）の行事を取り仕切る代表者、司祭者。

うーんま　とぅーい [u:mma tu:i]【名詞】〖祭礼〗七杜のウーンマの石油ランプ［ナナムイにはランプは一つだけでウーンマが持って行った］。

うーんまぬ　とぅすぬばん [u:mmanu tusɨnuban]【名詞】〖祭礼〗ウーンマの健康祈願をする祈願の一つ。

うい [ui] ①【動詞】［母音語幹］［A］生える、成長する。　【例】っさぬ　うい（草が生える）。やらびぬ　ういむぬー　はーむぬ（子供の成長は早いね）。やらびゃー　ういなかー　あぱらぎふ　なるーたい（（この）子供は成長するにつれてだんだん｛ハンサム/美人｝になった）。②【動詞】［母音語幹］［A］（陰茎、陰核が）勃起する。【例】まらぬ　うい（（男性が催して）陰茎が勃起する）。ぴーぬ　うい（（女性が催して）陰核が勃起する）。③【動詞】［母音語幹］［A］老人になる、老いる。【例】っさだういきゃー　ういー　はちじゅーごんまい　なりーにゃーん（知らないうちに年を取って８５歳にもなってしまった）。

うい [ui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（人、動物などが）いる、住む。【例】ぬーんどぅ　みから　ぬーまぬ　うい（野原に三頭馬がいる）。っうぁー　んなまんじゃんどぅ　うるーば（お前はいまどこに住んでいるのか）。ばー　んきゃーんな　おーさかんどぅ　うたい（私は昔大阪にすんでいた）。

うい [ui]【補助動詞】［r/rr 語幹］（動詞連用形について、進行、結果の状態を表す）～ている。　【例】からー　なきー　うたいちゃ（彼女は泣いていたって）。ふがます　っざー　つむでぃんきー　うたい（口うるさい父は怒っていた）。みどぅんがまー　ばらいんきー　うたい（女の子は笑いこけていた）。でぃんぬどぅ　んつん　うちゅーい（お金が道に落ちている）。っふぁー　っざん　んーしゅー（（その）こどもはお父さんは似ている［んーしー＋うい］）。やらび　あいきゃー　うつなーんどぅ　うるーたい（子供の時は沖縄に住んでいた［うり＋うい＋たい］）。

うい [ui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］織る。

【例】ぶーずんぬ　うい（苧麻の着物を織る）。ういんかい　つふてぃがー　っさいどぅす（彼に聞いたらわかるよ）。

うい [ui]【指示詞】［A］〖指示名詞〗それ、その人、そいつ；これ、この人、こいつ［「うい」と「くい」は基本的に区別なく使われるが、文脈指示は「くい」でなく、「うい」が使われる］。【例】ういがどぅ　じゃうかい（{これ/それ}がいい）。ういひー　じゃうぶん（{これ/それ}で十分）。うらー　なうがい（{これ/それ}は{何だろう/何だ}）。うまんかい　いつてぃがー　たるががらぬ　ういはずやいば、ういんかい　つき（そこに行ったらだれかいるはずなので、その人に聞いて）。

うい [ui]【名詞】［B］きゅうり；うり。

うい [ui]【名詞】［A］神、神様。【例】ういんかい　うがん（神に祈る）。ういぬ　みゅーぶき　たすきーふぃーさまてぃ（神様のお力でお助けくださいませ）。ういか（神様からの果報）。ういびらい（神にお願いをすること）。［類］かんがなす。

うい [ui]【名詞】［A］上。【例】ういが　ういんかい　うるー　ぬーし（その上にそれをのせろ）。っうぁが　かないまいぬ　ういんな　はいぬどぅ　とぅびゅー（お前の頭の上にハエが飛んでる）。［類］はな。

うい [ui]【名詞】［A］北。【例】ういんかい　ふつ（北に向く）。ういかでぃ（北風）。ういでぃん（北の空）。ういっしばら（北隣）。ういかた（北の方）。ういんかい　ふきぬ　やー（北向きの家）。

ういが　はーさ [uiga ha:sa]【副詞】そんなに早く。【例】なうやひー　ういが　はーさ　すかまから　むどぅりー　ったいが（なぜこんなに早く仕事から戻ってきたのか）。

ういかぎ [uikagi]【名詞】成長につれて、姿形が良くなったことを表す。【例】かぬ　やらびゃー　ういかぎ（あの子は成長に従い{ハンサム/美人}になった）。かいが　んまー　ういかぎあたいば　うぬ　っふぁまい　ういがきん　ないはず（あの子の母親も成長して美人になったから、その子も美人になるだろう）。

ういぐり [uiguri]【形容詞】住みにくい、いづらい。【例】くまぬ　やーや　ういぐりかいば　はやまり　ひっこさでぃ（ここの家は居ずらいからすぐ引っ越そう）。ぶとぅとぅ　ばきゃーりってぃ　むとぅやーんかい　むどぅりっちゅーそぅがどぅ　ういぐりかい（夫と分かれて実家に戻ったけどいづらい）。

ういざん [uizan]【名詞】初産。【例】ばが　みどぅんっうぁー　ういざんやいば　やーんかい　っちゅー（娘は初産なので家に帰ってきている）。

ういだつ [uidatsɨ]【名詞】生まれ育

ち。 【例】じゃう　ういだつ（良い生まれ育ち）。

ういだてぃ [uidati] 【名詞】〖祭礼〗トゥカンティのときに初めて外に赤ん坊を出すこと。 【例】ばかっづぁぬ　ういだてぃんな　んまぬ　うほぅっじゅ　うがんが　いつ（赤ちゃんを最初に外にだすときにお母さんのご先祖を拝みに行く）。

ういつ [uitsɨ] 【動詞】［k 語幹］［C］（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。 【例】うまう　ういつな（そこを動くな）。くるまぬ　ういかだ　んぎーにゃーん（自動車が動かなくなった）。［変異］ういふ、うゆつ、。［類］むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

ういてぃっじゅまい [uitiʑʑumai] 【成句】あいつというやつは。 【例】ういてぃじゅまい　うむくとぅー　にゃーん　ひと（あいつは知恵の足りない人だ）。

ういなうす [uinausɨ] 【動詞】［s/h 語幹］成長に従い可愛くなる。 【例】かぬ　やらびゃー　ういなうひゃー　ひどぅ　あぱらぎふ　なりゅー（あの子は成長するにつれてきれいになってきた）。わいてぃういなうひーたかばなんなりよ（頑張って大きくなったら高い鼻になりなさい）。

ういびとぅ [uibitu] 【名詞】お年寄り。 【例】びきういびとぅ（おじいさん）。みどぅんういびとぅ（おばあさん）。くすまがい　ういびとぅ（腰の曲がった年寄り）。とぅっさ　とぅいー　ういびとぅ　なりーどぅー（年を取って年寄りになっている）。

ういびとぅ　ふい [uibitu fui] 【成句】実年齢よりも年寄りにみえる、年寄りくさい。 【例】かりゃー　ういびとぅ　ふい　びとぅ（彼は年寄りくさい）。

ういびとぅっじゃー　にゃーん [uibituʑʑa: nja:n] 【成句】年を取って相応の分別がある　［「ういびとぅじゃんまり（年寄みたいなやつ」は使わない）］。 【例】ういびとぅっじゃーにゃーんまり（年相応の分別がないやつ）。［変異］ういびとぅっじゃ。

ういびらい [uibirai] 【名詞】〖祭礼〗神様をあがめてお願いをすること。

ういまい　かいまい [uimai kaimai] 【成句】誰も彼も、あれもこれも。 【例】ばんてぃが　やーにんじゅー　ういまい　かいまい　いんしゃーどぅ　あたい（うちの家族はみんな漁師だった）。ういまい　かいまい　うまぬ　やーんな　たるまい　みーん（そこの家には誰もいない［＜誰も彼もそこの家には誰もいない］）。

ういやっづぃ [uijavvi] 【動詞】［母音語幹］成長に従い可愛くなくなる。

【例】からー　ういやっづぃどぅ　んずぎふ　なるー（あいつ成長して不細工になった）。

うかーす [uka:si] 【形容詞】（雨や風が）激しい、（人が）予想がつかない。【例】やぐみ　うかーす　あみ（とてもとても大変な雨だ）。かりゃー　やぐみ　うかーすびとぅ（彼は（何をするか分からない）とても大変な人だ）。

うかーすふ [uka:sifu] 【形容詞】（真偽について）自信がない、確かでない。【例】あちゃ　かいが　くーらい　むぬー　うかーすふかいば　あちゃぬ　うぐなーいゆぎゃ　ほぅだうり（明日あいつが来れるかどうかわからないので明日の会合はするな［＞やめよう］）。［類］あやすふ。

うかーすふ [uka:sifu] 【名詞】（真偽について）自信がないこと、確かでないこと。【例】ういが　こーこんかいや　ごーかくあすむぬー　うかーすふだー（彼が高校に合格するかどうかはっきりしない）。ごうーかくほぅーたいむぬー　うかーすふだ（合格したかどうか怪しい［＞合格したと言っているがそれは怪しい、信じられないという意味になる］）。からー　うっかー　かいひーだちゃうそぅが　うらー　うかーすふだ（あいつは借金を返したと言っているそれは怪しい）。［類］あやすふ。

うかい [ukai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］（人や壁に）寄りかかる。【例】なうがらんかい　どぅーゆ　うからはだかー　ばぬんな　たちや　うらいん（何かに身体を支えられていないと私は立っていられない［＜何かに体をもたれさせないと私には立っていられない］）。うまんかい　うかり（そこにもたれろ）。［類］うかい（母音語幹）。

うかい [ukai] 【動詞】［母音語幹］［C］（人や壁に）寄りかかる。［類］うかい（r/rr 語幹）。

うかう [ukau] 【動詞】［b 語幹］［C］（抵当になっている土地を）借金を返して取り返す［もととも自分の借金でなく、それを肩代わりする形でもよい］。【例】ばんな　でぃんな　にゃーんばずーや　うかばいん（私には金がないから土地は買い戻せない）。かいしゃずーゆ　うかびー　はいや　うながむぬん　ないたい（会社（沖縄製糖のこと）の小作地を買い戻し、畑は自分のものになった）。［類］うかび。

うかす [ukasi] 【動詞】［s/h 語幹］［C］（倒れているものを）起こす；（寝ているものを）起こす。【例】うまぬ　まるたう　うかし（そこの丸太を起こせ）。やらびゃー　うかひー　むぬー　ふぃー（子供を起こして食事をさせる）。［変異］うくす。

うかす [ukasi] 【動詞】［s/h 語幹］［C］（魚を三枚に）おろす。【例】っぞぅー　うかひー　なまっそぅ　きり（魚をおろして刺身にしろ［＜刺身を切れ］）。

うかずー [ukazɨ:]【名詞】春の順風。【例】きゅーや　じゃう　うかずーぬ　ふきゅーば　ほぅーや　はりー　ふにゅー　とぅばはでぃ（今日は春の順風が吹いているので帆を張って船を走らせよう）。

うかび [ukabi]【動詞】［母音語幹］［A］（抵当になっている土地を）借金を返して取り返す［もととも自分の借金でなく、それを肩代わりする形でもよい］。［類］うかう。

うかま [ukama]【名詞】［C］竈（かまど）。【例】うかまんかい　なびゅー　うっつ（カマドに鍋を置く）。［類］かまどぅ。

うかまがん [ukamagan]【名詞】〖祭礼〗台所の神［＞火の神］。

うがん [ugan] ①【動詞】［m 語幹］［C］頭を下げる；謝る；挨拶する。【例】ぬすどぅー　ゆらひーふぃーるてぃー　うがみゅーたい（泥棒が許してくださいと謝っていた）。しーしーんかいや　いつまい　うがみ（先生にはいつも頭を下げてあいさつしなさい）。にんぎんな　でぃんかいどぅ　うがん（人間は金に頭を下げる［＞世の中は金次第］）。かりゃー　ひとぅんな　うがまいん（彼は（威張っていて）誰にも頭を下げられない）。［類］うがまい。②【動詞】［m 語幹］［C］礼拝する、祈願する。【例】やらびゅーぎゃー　さうずばりゃー　ひーからどぅ　てぃだうぎゃー　うがます（赤ちゃんはお清めをしてしてから外に出して太陽を礼拝させる）。［類］うがまい。

うがん [ugan]【名詞】［C］〖地名〗大神島。【例】うがんな　いみずまがま（大神島は小さな島）。

うがんぬ　んまが　っし [ugannu mmaga ɕɕi]【名詞】〖地名〗島尻の後方にあるリーフの名前［＜ウガンの母のリーフ］。

うき [uki]【動詞】［母音語幹］［C］起きる。【例】にゅーたら、　はやまり　うきる（寝坊助、早く起きろ）。やらびゃー　うきばな　なりーどぅーな（子供は起きる時間になっているのかい［＞子供の起きてくるころだな］）。

うき [uki]【名詞】［C］海の浜から遠く離れたところ、沖。【例】うきんかいぬ　ふに（沖への船）。

うきくたい [ukikutai]【名詞】応答、受け答え。【例】うぬ　やらびぬ　うきくたいや　やぐみむぬ（この子の受け答えは素晴らしい）。

うきゃがい [ukjagai]【動詞】［r/rr 語幹］浮ぶ。【例】ふにゃー　うきゃがりーどぅー（船は浮かんでいる）。

うきゃがいそぅー [ukjagaisu:]【名詞】満ち潮に向かっていること。【例】んなまー　うきゃがーそぅーんなりーどぅー（潮が満ちてきている）。

うきゃん [ukjan]【名詞】[C]『植』ウコン。 ［類］うきゃんぎー。

うきゃん [ukjan]【名詞】[C]〖魚〗ブチアイゴ［アイゴの一種で、縞模様がついている］。

うきゃんぎー [ukjaŋgi:]【名詞】〖植〗ウコンの木。 ［類］うきゃん。

うぎん [ugin]【名詞】[C]〖道具〗魚を突く漁具、銛（もり）。 【例】うぎんひー っぞぅー つふ（銛で魚を突く）。

うくい [ukui]【動詞】[r/rr 語幹]［A］（決まった時間に）間に合わない、（到着の時間が）後になる、遅れる。【例】あわてぃる、 んめ ふにん ぬーいうくいがまた（急げ、船に乗り遅れるぞ［＜もう船に乗り遅れるぞ］）。きゅーまい みどぅんみゃー うくりどぅ ふーはず（今日も女性たちは遅れて来るはず）。めーるぬ へんじゃー うくりー ばがどぅ ばいかたい（メールの返事が遅れて私が悪かったです［＞すみませんでした］）。

うくい [ukui]【動詞】[r/rr 語幹]［A］（事件などが）起こる。 【例】やぐみぐとぅぬどぅ うくりゅーい（大変なことが起こっている）。

うくい [ukui]【動詞】[r/rr 語幹]［A］（ものを送付先に）送る；（出発する人を）送る；（人を）送って行く。 【例】うつなーんかい にーゆ うくい（沖縄に荷物を送る）。えきたーひー うくらでぃ（駅まで送ろう）。［類］うくい（母音語幹）。

うくい [ukui]【名詞】[A]送ること。 【例】うくいとぅ んかい（送りと迎え）。

うくい [ukui]【動詞】[母音語幹]［A］（ものを送付先に）送る；（出発する人を）送る。 ［類］うくい（r/rr 語幹幹）。

うぐい [ugui]【動詞】[r/rr 語幹]［C］蜂等が何らかの刺激で一瞬の中に怒り、攻撃に出る。 【例】んまばすぬ すーゆ つつきー みーてぃがー んまばっさ うぐっりーにゃーん（蜂の巣をつついたら蜂は一瞬に飛び出し攻撃にでた）。んまばっそぅ うぐっらす（蜂を刺激して一瞬の中に怒らせ攻撃に出させる）。にっづゅー はうゆ つつきーみーてぃがー うぐっりーにゃーん（寝ていたヘビをつついたら、突然攻撃してきた）。

うくたい [ukutai]【動詞】[r/rr 語幹]怠る。 【例】すかまうぎゃー うくたらん（仕事を怠らない［＞仕事を真面目にしなさい］）。

うくっとぅ [ukuttu]【形容詞】（人が）おとなしい；（心が）安心だ、不安でない；（場所が）静かだ。 【例】うくっとぅ びとぅ（おとなしい人）。かぬ っふぁがまー うくっとぅ っづぁがま（あの子はおとなしい子だ）。なうぬどう うくいがから うっくとぅー

ひらいん（何が起こるのか（わからないので）安心できない）。くまー　やぐみ　うくっとぅ　じゃうどぅくま（ここはとても静かでいいところだ）。

うぐなーい [uguna:i]【動詞】［r/rr 語幹］集まる、会って話し合う。【例】ひとぅとぅ　うぐなーらだかー　うむくとぅまい　いでぃん（人と会って話をしないと考えも出ない）。じゃーがまん　うぐなーい（（村の）広場に集まる）。やーにゃー　っづぁが　やーんかい　うぐなーりー　どーそーかい　ほぅでぃ（来年は君のところに集まって同窓会をしよう）。

うぐなーい [uguna:i]【名詞】集まり、会合。【例】ういびとぅんみぬ　うぐなーい（老人達の集まり）。うとぅじゃ　うぐなーい（親戚の集まり）。

うぐない [ugunai]【動詞】［r/rr 語幹］（お金を）集める。【例】ばいでぃんぬ　うぐない（分担金を集金する）。ばなむぬー　うぐない（（集落の各戸の）割り当て金を集める［昔は各戸に災害時や祭事の際に必要なものを割り当てて持ってこさせたが、現在はお金を集めるのが普通）。ぶーずぬ　からう　うぐない（サトウキビの枯れ茎を集めろ［「から」は枯れ葉も含む）。［類］うぐない（母音語幹）。

うぐない [ugunai]【動詞】［母音語幹］（お金を）集める。［類］うぐない（r/rr 語幹）。

うさい [usai] ①【動詞】［母音語幹］［A］（手で）押さえつける。【例】うまう　うさいる（そこを押さえろ）。［類］うさい（r/rr 語幹）。

うさい [usai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］（手で）押さえつける。［類］うさい（母音語幹）。②【動詞】［母音語幹］［A］実際より能力等を低く見積もる、侮る；他人を見下げて馬鹿にする。【例】ひとぅーぎゃー　あいや　うさいん（人をそんなに侮らない［＞侮るな］）。からー　ひとぅ　うさい　やなんまり（あいつは人を押さえつけるダメな奴だ［＞パワハラするダメな人だ）。［類］うさい（r/rr 語幹）。②【動詞】［r/rr 語幹］［A］実際より能力等を低く見積もる、侮る；他人を見下げて馬鹿にする。［類］うさい（母音語幹）。

うさい [usai]【名詞】［C］料理、つまみ。【例】さきぬ　うさいや　んななない　ゆーいぬ　うさいや　んななない　やらびんみんかい　ってつ　むっちゃひー　はらひーにゃーん（お祝いの料理は全部、お祝いの料理は全部、子供たちにそれぞれ持ち帰らせた［さきぬ　うさい（酒の料理）、ゆーいぬ　うさい（お祝いの料理）は同じ言葉の繰り返し］）。

うさか [usaka]【名詞】［C］これだけ；話の終わりに付け加えることば。【例】あか、あにゃ　うさかがま（何だって、たったこれだけなの）。きゅーぬ　まう

きゃー　うさかがま（今日の稼ぎはたったこれだけ）。ばが　はなっさ　うさか（私の話はこれでおしまい）。［類］うさき。

うさき [usaki]【名詞】［C］これだけ。【例】うさきだー（これだけしかない）。うさきがまぬ　むぬーぎゃー　ひとぅきゃん　ふぁい　すてぃる（僅かの物は一度に食べてしまいなさい）。ばがっじ　だまー　うさきひー　あてぃかーん（私の分け前はすこしで十分）。［類］うさか。

うさぎ [usagi] ①【動詞】［母音語幹］［A］載せる；捧げる、供える。 ②【動詞】［母音語幹］［A］（学校教育を）受けさせる。 ③【動詞】［母音語幹］［A］（人を）見送る。

うさきなー [usakina:]【名詞】こんなにたくさん。【例】まさいや　うさきがまひー　かにゃー　うさきなーな（マサイは僅かこれだけで、カニはそんなに沢山か）。っうぁんな　うさきなーゆぎゃー　ふぃーじゃーん（お前にはそんなにたくさんはやらない）。

うさす [usasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］（雑草などを）取り除く。【例】たいわんなーづっちゃ　なんとぅが　うさはいん（紫カタバミはなかなか除去できない）。

うさす [usasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］（責任を）押し付ける、人のせいにする。［変異］うっさす。

うさず [usazɨ] ①【動詞】［g 語幹］［A］載せる；捧げる、供える。【例】たむぬー　ばが　かなまいんかい　うさぎーふぃーる（薪を私の頭に押し上げてくれ）。はなう　とぅいー　かんかい　はなう　うさず（（供え物の）上（または端のごく一部）をとって神に供える）。しーしーんかいぬ　うさず　むぬ（先生へのみつぎもの）。 ②【動詞】［g 語幹］［A］（学校教育を）受けさせる。【例】きばんかたいそぅが　っふぁうぎゃー　がっこうんかい　うさぎたい（貧乏だったが子供を学校教育を受けさせた）。 ③【動詞】［g 語幹］［A］（人を）見送る。【例】っふぁー　さーりゅー　ひとぅ、うさずがっちゅー　ひとぅぬどぅ　すきゃかい　うたい（子供を連れている人、見送りに来ているひとで混雑していた［＜人が混雑していた］）。

うさば [usaba]【名詞】［C］（皮膚病の一種）たむし。【例】うさばー　かうむぬ（たむしは痒い）。

うさまい [usamai]【動詞】［r/rr 語幹］（喧嘩が）おさまる、（風などが）静まる。【例】やどぅゆんな　うさまりーどぅー（ケンカはおさまっている）。かじゃー　うさまりーどぅー（風は静まっている）。

うさみ [usami]【動詞】［母音語幹］［C］納める。【例】じゃうなうゆ　うさみー　ったい（税を納めてきた）。［類］うさん。

うさん [usan]【動詞】[m 語幹][C] 納める。 [類] うさみ。

うしーはい [uɕi:hai] 【動詞】[r/rr 語幹] 一家離散する；(ものが) なくなる。

うじゃー [uʑa:]【名詞】[C] (ものの) 長さがこれくらい、(距離が) そんな遠く。 【例】ばが みーたい はうや うじゃーばかーい ((長さが分かるものを見せて) 私が見たヘビの長さはこれくらいだ)。ばー うじゃーんかい いかじゃーん (私はそんな遠くには行かない)。

うじゃーなー [uʑa:na:] 【名詞】とても長いこと、とても遠く。【例】かぬ はうや うじゃーなー あたい (あのヘビはこんなに長かった)。うじゃーなーぬ すまから ってぃーふぃーさまい やぐみ すでぃがほー (とても遠くの村から来ていただいて本当にありがとうございます)。ばんちゃー うじゃーなーぬ ぶらたーひー いきゅーたい (私達はずっと遠くの保良まで行っていた)。

うじゅます [uʑumasɨ]【動詞】[s/h 語幹] 見せびらかす。 【例】っうぁが なうばい うじゅまはんまい ばー なうてぃーまい うむーん (お前がどんなに見せびらかしても私はちっともうらやましくない)。

うしろい [uɕiroi] 【名詞】白粉 (おしろい)。

うす [usɨ]【動詞】[s 語幹][A] (ものが) なくなる、消滅する、(人が) いなくなる；一家離散する。 【例】かじゃー うしーにゃーん (風はなくなった)。っうぁー かまんかい うしーはり (お前は向こうに消えうせろ)。うまん あたい でぃんな うしーはりーにゃーん (ここにあったお金がなくなってしまった)。かまぬ やーや うどぅきー うしーはりーにゃーん (向こうの家は破産して一家離散した)。

うす [usɨ]【動詞】[s 語幹][A] (人が人を) 押す；(仕事などを) 押し付ける；推薦する；(台風などが) 近づく。【例】あいや ちゅーく うさだうり (そんなに強く押さないでくれ)。あいや ひとぅんかいや すかまうぎゃー うさん (そんなに人には仕事を押しつけない [＞押し付けるな])。んなまぬ せんきょんな かりゅー うさでぃ (今度の選挙には彼を推す)。かでぃふつぬ みゃーくんかい うしっちゅー (台風が宮古に近づいてきている)。

うす [usɨ]【動詞】[s 語幹][A] (～の) せいにする。 【例】うぬ くとぅーぎゃー かいんかい うすな (この事を彼のせいにするな)。うなが ひーやー くとぅー ひとぅんかい うす (自分のやったことを他人のせいにする)。

うす [usɨ] 【名詞】[B] 牛。 【例】びきうす (雄牛)。んまうす (メスの親牛 [「っざうす (雄の親牛)」という言葉は

ない]）。みーうす（牝牛）。

うす [usɨ]【名詞】[C] 臼。【例】いすうす（石臼）。きーうす（木臼）。うすひー　まいゆ　つつ（臼で米を搗く）。あーゆ　うすひー　ひつ（粟を臼で挽く）。

うす [usɨ]【名詞】[C]〖貝〗水字貝の一種。

うず [uzɨ]【名詞】[C]〖魚〗ウツボ。【例】うっじゃ　あっづぁむぬ（ウツボは脂っこい）。うっじゃ　んぬつじゅーむぬ（ウツボは生命力が強い）。[類] ぬず。

うず [uzɨ]【助数詞】芋、茎等を数える単位、個、本。【例】んーぬ　ひとぅうず　ふぁうたい（芋を 1 個食べた）。ぶーっじゅ　にじゅーうずひー　ひとぅたいゆ　まるき（サトウキビを２０本で一束をくくれ［＞２０本で一束にしろ］）。[類] すず。

うすあい [usɨai]【名詞】押し合い、レスリング；押し合いへし合い。【例】やらびあいきゃー　ゆーどぅ　そぅじゃっそぅんみん　うすあい　あすみらいたい（こどものころよく先輩たちにレスリングをさせられた）。はーさぬ　ひとぅぬどぅ　まっちゃぬ　やどぅふつん　うすあいや　ひーゆー（たくさんの人が店の入口で押し合いへしあいしている）。

うすつ [usɨtsɨ]【名詞】[C] 食べ物をのせて運ぶ膳。【例】むぬーぎゃー　うすつん　ぬーし（食事をお膳にのせろ）。うすばーや　ふとぅてぃーばー（奥歯は虫歯だ）。

うすばー [usɨba:]【名詞】奥歯、臼歯。【例】むぬーぎゃー　うすばーひーちゅーく　かん（食べ物は臼歯で強く噛む）。うすばーぬ　にゃーだかー　むぬー　かまいん（臼歯がないと物は噛めない）。

うずむす [uzɨmusɨ]【名詞】ウジ虫。【例】ふそぅんな　うずむすぬどぅ　むいとぅ　たかりゅー（糞にはウジ虫がたかっている）。

うずん [uzɨn]【動詞】[m 語幹] [A]（ものを土中に）埋める。【例】うまんかい　いっそぅ　うずみ（ここに石を埋めろ）。

うずんばらやー [uzɨmbaraja:]【名詞】茅葺（かやぶき）の掘っ立て小屋［真ん中に柱を埋め込んで作る小さな小屋］。【例】んきゃーんぬ　やーんな　うずんばら　やーまいどぅ　あたい（昔の家には柱を埋め込んだ家もあった）。

うそぅー [usu:] ①【動詞】[w 語幹] [A] 覆う。【例】ほぅんぬぎゃー　うつつーひー　うそぅい（本を風呂敷で覆え）。うまう　うつつーひー　うそぅい（そこを風呂敷で覆え）。っうぁが　うつつーや　いみかいば　うるー　うそぅーんまい　まんでぃどぅす（お前の風呂敷は小さいからそれを覆っても

はみ出すよ)。[変異]うそぅい。②【動詞】[w 語幹][A](地域を)支配する。【例】みゃーくー　とぅゆみゃん　うそぅーいー　うたい(宮古は豊見親に支配されていた)。[変異]うそぅい。

うそぅい [usui] ①【動詞】[母音語幹][A](ものを覆いで)覆う。 [変異]うそぅー。②【動詞】[母音語幹][A](地域を)支配する。[変異]うそぅー。

うそぅい [usui] 【名詞】[A] 茅葺家の天辺の半円形の覆い。 【例】やーぬ　うそぅい(茅葺家の天辺の半円形の覆い)。

うそぅみ [usumi] 【動詞】[母音語幹][A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。 [変異]うすみ。[類]うすん。

うそぅん [usun] 【動詞】[m 語幹][A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。【例】あいぬ　とぅくまん　うそぅまん(そんなところにしゃがみこまない[＜しゃがみこむな])。やきゅーぬ　ぼーるぬ　とぅびーふーば　あたらんやうん　うそぅんたい(野球のボールが飛んできたのであたらないようにしゃがんだ)。[変異]うすん。[類]うすみ。

うそぅん [usun] 【名詞】[A] かがむこと、しゃがむこと、うつ伏せになること。 【例】うまん　うそぅんにゅー　あっそぅ(そこにうつ伏せになりなさい)。[変異]うすん。

うそぅんつ [usuntsɨ] 【形容詞】引込み思案だ、消極的だ。【例】うそぅんつびとぅ(目立たないようにする人)。からー　うそぅんつかいば　なうゆまい　ほぅっでぃや　ほぅん(あいつは引っ込み思案だからなにもしようとはしない)。[変異]うすんつ。

うそぅんっづぁい [usunvvai] 【名詞】人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異]うそぅんばい、うすんっづぁい、うすんばい。[類]うそぅんっづぁや。

うそぅんっづぁや [usunvvaja] 【名詞】隠れて食べる人。 【例】かっふぃー　ひとぅん　みーらいやうんてぃー　むぬー　ふぁう　ひとぅーどぅ　うそぅん　ばやてぃー　あい(隠れて他人には見られないように飯を食べる人をウソゥンバヤと言う)。[変異]うそぅんふぁや、うそぅんばや、うすんっづぁや、うすんふぁや、うすんばや。[類]うそぅんっづぁい。

うそぅんばい [usumbai] 【名詞】隠れて食べること。 【例】からー　なかじゃん　かっふぃ　うそぅんばい　あすたい(彼は台所に隠れて盗み食いをした)。[変異]うすんばい。

うそぅんふ [usunfu] 【動詞】[k 語幹](ものを中に)押し込む;(ものをなにかの間に)差し込む、。 【例】むぬーぎゃー　びばききゃたーひー　うそぅんきー　ふぁい(食べ物は吐き出すくらい

つめこんで食べなさい)。うそぅんつきゃー　んななない　はいーどぅす　はず(無理に押し込めたらみんなはいるはずだ)。ぶーずぬ　さにゅー　まにんかい　うそぅんき(サトウキビの種子をうねに差せ)。あきんさうゆ　いすぬ　すたんかい　うそぅんき(金棒を石の下に差し込みなさい)。[変異]うすんつ、うそぅんつ、うすんふ。

うそぅんふ [usunfu]【動詞】[k 語幹]うつむく。【例】うそぅんきー　あいつ(俯いて歩く)。[変異]うすんつ、うそぅんつ、うすんふ。

うだ [uda]【形容詞】[A]太った、太っている。【例】うだびとぅ(太った人)。くぬいや　っづぁー　うだふ　なりーどぅーいー(最近、君は太ってきたねえ)。

うだい [udai]【名詞】[C]《道具》縦 15 ㎝、横 20 ㎝、高さ 12 ㎝位の蓋のついた木箱、板厚は 1 ㎝位。煙草、釣り針、釣り糸、水中メガネ等貴重品を入れ、中の物が濡れないようになっている。

うだい [udai]【動詞】[母音語幹][A]太る。【例】ばー　あてぃ　うだいや　ひどぅ　あてぃ　っふぁいや　ひどぅ　ひとまた　あいつきゃー　いっちゃ　はーみきーどぅ(わたしはとても太り過ぎて一歩歩いたら息が切れる[>「うだいや　ひどぅ、っふぁいや　ひどぅ」は同じじ意味の言葉の繰り返し])。

うだい [udai]【名詞】[C]《祭礼》上から言われた祭事の役割。【例】みゃーくづつぬ　うだいゆぎゃー　わいてぃ　かなーだかー　ならん(ミャークズツの勤めを頑張ってやらないといけない)。きゅーぬ　うたきぬ　うだい(今日の御嶽の勤め)。うたきぬ　うだいゆぎゃー　わいてぃー　かなーでぃ(御嶽の役割はしっかり果たそう)。きゅーぬ　うだいや　っぞぅ　とぅいが　いつ　くとぅ(今日の役割は漁に行くことだ)。

うだか [udaka]【名詞】[C]この高さ。【例】かいが　たかー　うだか(彼の高さはこの高さ)。[類]うだつ。

うたがう [utagau]【動詞】[w 語幹]疑う。【例】ひとぅーぎゃー　うたがーん(人を疑わない[>疑ってはいけない])。

うたき [utaki]【名詞】[C]《祭礼》御嶽。【例】ななむいぬ　うたき(ナナムイの御嶽)。[類]かんぬやー。

うたす [utasɨ]【動詞】[s/h 語幹][C]落とす。【例】むぬー　うたす(物を落とす)。あかばたういや　うたひーみーきゃー　っさきーにゃーん(スイカを落としたら割れてしまった)。[変異]うとぅす。

うだつ [udatsɨ]【名詞】[C]梲(うだつ)、頭(があがらない)。【例】からー　くぬいや　うだっちゃ　あがらん

（あいつは最近うだつがあがらない［＞ぱっとしない］）。かいんかいや　うだっちゃあがらん（彼には頭が上がらない）。

うだつ [udatsɨ]【名詞】［C］この高さ。［類］うだか。

うだつ [udatsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［C］おだてる。［類］うだてぃ。

うだつまーい [udatsɨma:i]【名詞】春一番（旧暦二月に吹く強い風）。【例】うだつまーいんな　ちゅーかでぃぬふつ（旧暦 2 月ころには強い風が吹く）。［類］にがつまーい。

うだてぃ [udati]【動詞】［母音語幹］［C］おだてる。【例】うりゅーぎゃー　うだてぃばどぅ　なうゆまい　あす（彼はおだてたら何でもやる）。

うだまぶた [udamabuta]【名詞】（分け前などが）多い；神様からの沢山の果報。【例】きゅーぬ　ばが　ばきだまー　うだまぶた　あたい（今日は私の分け前はたくさんだった）。みはなぶた　うだまぶた　がーらしゅーれ（満面の嬉しさ、笑み、神様からの沢山の果報で満ち溢れさせて下さい［御嶽の祈願の文句］）。

うちゃーい [utça:i]【動詞】［r/rr 語幹］（人、車などが人、ものなどに）ぶつかる。【例】くるまぬどぅ　んつやっづぁしゃんかい　うちゃーりーにゃーん（車がブルトーザーにぶつかった［んつ（道）＋やっづぁしゃ（ダメにするもの）］）。くるまー　うちゃーらはいーにゃーん（車を追突させられた）。

うちゃーす [utça:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］（人がものを何かに）ぶつける、うっかりぶつけてしまう。【例】うーつっちゅ　いすんかい　うちゃーし（ハンマーを石にぶつけろ［＞石をハンマーでたたけ］）。くるまう　ますぎたんかい　うちゃーひーにゃーん（車を石塀にぶつけてしまった）。たうりー　ふたいや　いすんかい　うちゃーひーにゃーん（ころんで額を石にぶつけてしまった）。

うちゃーす [utça:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］（人が人に）ぶつかっていく。【例】かまぬ　ひとぅんみんかい　うちゃーし（あそこの人たちにぶつかれ［ナナムイのインギョウ（＝引退の式）の時などに喜びを表すために皆でぶつかりあうことがあった］）。

うちゃい [utçai]【動詞】［母音語幹］［C］（手や道具などで人やものを）打つ；（雨などが体を）打つ；（人や車などが人やものに）ぶつかる、（雨などがものに）当たる。［類］うちゃう。

うちゃう [utçau]【動詞】［w 語幹］［C］（手や道具などで人やものを）打つ；（雨などが体を）打つ；（人や車などが人やものに）ぶつかる、（雨などがものに）当たる。【例】ばうひー　てぃびたいゆ　うちゃうたい（棒でお尻を叩いた）。

かいんかい　うちゃい（あいつにぶつかれ）。あみぬ　くるまぬ　はなんかい　うちゃうたい（雨が車の屋根にあたった）。あみん　うちゃーいーにゃーん（雨に打たれた）。［類］うちゃい。

うちゃう [utɕau]【名詞】［C］〖祭礼〗御帳（村で生まれた新生児の名前を記載して神様に報告する帳面）。【例】うちゃうぬす（仲間御嶽の神様の名前）。くとぅすん　んまりゃー　やらびゅー　うちゃうんかい　ぬーす（今年に生まれた子供を御帳に記載する）。

うちゃうぬす [utɕaunusɨ]【名詞】〖祭礼〗神様の名前。新生児が生まれたらこの神様に報告をする。

うちゃなく [utɕanaku]【名詞】〖祭礼〗無病息災、五穀豊穣の祈願；その祈願に使う三段に重ねた餅［お盆の両サイドに三段餅を置き祈願する。昔コレラ等の伝染病で多くの人が亡くなったのでウチャナクで無病息災を祈願した］。【例】うちゃなく　にがい（健康祈願の祭り）。

うちゃん [utɕan]【名詞】［C］投げ網。【例】うちゃんひー　あさいぬ　っぞぅー　とぅい（打ち網で浅瀬の魚をとる）。うちゃんぬ　ちゅー（投網を投げる）。

うちゃん [utɕan]【名詞】［C］女性の下半身用の下着、腰巻。【例】みどんみゃー　うちゃんぬ　つー（女性たちは腰巻を付ける）。

うつ [utsɨ]【名詞】［A］（建物などや入れ物の）奥。【例】やーぬ　うっちゅ　みーみーる（部屋の奥を見てみろ）。うつばら（奥座敷［奥の小さな部屋］）。

うつ [utsɨ]【動詞】［t/c 語幹］［C］（注射などを）打つ；（釘などを）打つ；（ボールなどを）打つ。【例】げどくざいゆ　てんてきひー　うつ（解毒剤を点滴で打つ）。びょーいんきー　いたみどみゃー　うたいっちゃーそぅがどぅいちゃかいばならん（病院に行って痛み止めを打ってもらったけれど、痛くてしかたがない）。

うつー [utsɨ:]【名詞】［C］薪や炭火の火の残ったもの、熾火（おきび）、残り火。【例】んˀぬぬ　うつーひー　うまっちゅ　たつきる（昨日の熾火（おきび）で火をおこせ）。

うつ [utsɨ]①【名詞】［B］「ふつ（口、口中）」の母音に挟まれた時の形。「ふつん　っふん（口に含む）」のように単独で使う場合は「ふつ」が用いられる。【例】いみうつがま（小さい口）。ひとぅうつ（一口）。［変異］ふつ。②【名詞】［B］「ふつ（（瓶などの）口、入り口）」の母音に挟まれた時の形。単独では「ふつ」が用いられる。【例】かでぃぬ　かいすうつんな　かじゃー　にゃーん（台風の目に入ったら風はない）。［変異］ふつ。

うつ [utsɨ]①【名詞】［B］「ふつ（話すこと、話しぶり）の母音に挟まれた時の形。「ふつがる　びとぅ（口の軽い人）」

のように最初に来る場合には「ふつ」を用いる。 【例】あらうつ（歯に衣着せぬ人）。あっづぁうつ（誉め言葉を並べる人）。あずまうつ（お世辞［＜あまい言葉］）。ほぅーつ（大げさな人）。ひゃーうつ びとぅ（早口の人）。［変異］ふつ。②【接尾辞】ことば、普通接尾辞的に使って「～語」を表す。単独でことばを表すときは「むぬい」を使う。【例】すまうつ（故郷のことば）。みゃーくうつ（宮古語［普通、平良のことばをさす］）。やーまうっちゃ っさいぐりむぬ（八重山語は分かりにくい）。やまとぅうっちゃ むぬっじゃいん（共通語は話せない）。［変異］ふつ。

うっか [ukka] 【名詞】［C］借金；（返してない）恩や恨み。 【例】うっかぬ あてぃ はーさかいば かなまいまい ぬどぅまい まーらん（借金が多すぎて頭も首も回らない）。ばー っづぁんかい うんずぬ うっかぬ あいば うるー かいはでぃ（私はあなたに借りがあるのでそれを返します［＜恩義の借り］）。

うっくー [ukku:] 【名詞】面倒くさがること ［＜おっくう］。 【例】まーぬ うっくー あすな（あまり面倒くさがるな）。

うつぐーかっづゃ [utsɨgu:kavvja] 【名詞】〖生〗アカショウビン、くちばしが赤く、体が赤褐色の鳥。 【例】てぃびぬ やまんな ひとぅむてぃ はーひーから うつぐーかっづゃぬ なきゅー（裏山では朝早くからアカショウビンが鳴いている）。

うっさす [ussasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（責任を）押し付ける、人のせいにする。 【例】かりゃー うなが ひーやー くとぅーまい ひとぅんかい うっさひー ひんぎーはい（彼は自分がやったことも人のせいにして逃げて行く）。［変異］うさす。

うっじゃ [uʑʑa] 【名詞】［B］〖鳥〗ウズラ。【例】うっじゃぬ とぅぬか（うずらの卵）。

うっずき [uzzɨki] 【名詞】〖地名〗西原の北東にある山。 【例】うっずき やま（西原の北東にある山）。うっずきとぅ ぴんふぬ んなかぬ てぃびかたん まっさびぬ うたきぬ あい（ウッズキとピンフの間の後方にマッサビの御嶽がある）。

うっそぅ [ussu] 【名詞】［B］後頭部；みね［＜包丁や鎌などの刃の反対側］。【例】たうりー うっそぅー いすんかい ふぁーひーにゃーん（倒れて後頭部を石にぶつけてしまった）。ながうっそぅ（長い後頭部）。っさたらうっそぅ（平べったい後頭部）。っざらぬ うっそぅひー ったつ（鎌のみねの部分で叩く）。

うったーす [utta:sɨ] 【動詞】［s/h 語幹］追いかける、追い返す、追い出す。［変異］うっちゃーす。［類］うっつ。

うったーてぃー [utta:ti:]【副詞】そのためだけに、わざわざ、特別に。【例】きゅーや　みどりかいぬ　あいばどぅ　うつなーから　うったーてぃー　ったい（今日はみどり会があるので沖縄からわざわざ来た）。

うっちーはらす [uttɕi:harasɨ]【動詞】［s/h 語幹］追い返す、追い払う。【例】うぬ　さきふぁやうぎゃー　うっちーはらし（この酒飲みは追い返せ）。

うっちゃーす [uttɕa:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］追いかける、追い返す、追い出す。［変異］うったーす。［類］うっつ。

うっちゃす [uttɕasɨ]【動詞】［s/h 語幹］移す、移動させる。【例】うまぬ　つくいゆ　かまんかい　うっちゃし（ここの机を向こうに移動させなさい）。

うっちゃす [uttɕasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（写真を）写す。【例】しゃしんぬ　うっちゃす（写真を写す）。

うっちゃらす [uttɕarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］追いかけさせる。【例】かいんかぬ　ぎずぎゃうなう　うっちゃらし（あいつにあの腕白坊主を追いかけさせろ）。

うっつ [uttsɨ] ①【動詞】［k 語幹］［C］（ものをある場所に）置く［うかでぃ（意向形）、うかん（否定形）、うっき（連用形）となる。意向形、否定形は、「うっかでぃ」、「うっかん」とはならない］。【例】うぬ　ばーきゅー　うまん（かい）　うっき（その竹籠をここへ置け）。うぬ　っふすー　ちゃばんぬぎゃー　うまん（かいや）　うっつな（そのよごれた茶碗ははここへは置くな）。くぬかみゅーだいぬはなん　うっき　（このかめを棚の上においてください）。くまんうっきゃーたいみがにぬどぅにゃーん（ここのおいておいたメガネがない）。［変異］うっふ。②【補助動詞】［k 語幹］（連用形について、ある状態にする）～ておく。【例】でぃんぬ　ありゅーきゃ　くっちゅぎゃー　かいー　うかでぃ（金があるうちに靴を買っておこう）。

うっつ [uttsɨ]【動詞】［c 語幹］［C］（病気が）うつる。【例】やんぬ　うっつ（病気がうつる）。がーなう　うっつ（アヒルを追いかける）。

うっつ [uttsɨ]【動詞】［c 語幹］［A］追いかける、追い返す、追い出す。【例】とぅいぬ　むっじゅ　ほぅしゃー　とぅくまんかい　っちゅーば　うるー　うっち（鳥が麦を干してある所に来ているからそれを追い返せ）。やらびゅー　てぃびから　うっち（子供を後ろから追いかけろ）。［変異］うーっつ。

うっつ [uttsɨ]【動詞】［c 語幹］［C］（写真が）写る。【例】くぬ　しゃしん　うっちゅーひとぅー　たるやいば（この写真に写っているのはだれですか）。んめひー　まいがまん　くーだかー　うっちゃんだら（もっと近くに来ないと写らないよ）。

うつつー [utsitsi:]【名詞】風呂敷、大きな袋を広げて風呂敷として使うもの（水浴びするときなどにタオル替わりに使ったりする）。【例】うつつーひー　うそぅい（風呂敷で覆え）。

うっとぅ [uttu]【名詞】[A] 年下、弟、妹。【例】からー　ばぬんな　みーつ　うっとぅ（彼女はわたしより 3 つ年下だ）。うっとぅー　かなす（弟、妹は愛おしい）。

うっとぅっそう [uttussu]【名詞】後輩。【例】うっとぅっそぅんみゃー　そぅじゃっそぅんみぬ　むぬいゆ　つかだかー　ならん（後輩たちは先輩たちのいうことを聞かないといけない）。[類] すたっさ。

うつなー [utsina:]【名詞】〖地名〗沖縄本島。

うつない [utsinai]【名詞】身内、家庭内。【例】っふぁぬ　ゆーいゆぎゃー　うつないたーなひー　ほぅでぃ（出産祝は身内だけでやろう）。

うつにつ [utsinitsi]【名詞】内熱、こもり熱。【例】かんぼーやひどぅ　うつにつぬ　あい（風邪で内熱がある）。

うつぬ　くーい [utsinu ku:i]【成句】奥の小さな部屋。【例】ぶじゃがまー　うつぬ　くーいんどぅ　にっづゅーい（おじさんは奥の小部屋に寝ている）。[類] うつばら。

うつばら [utsibara]【名詞】奥の小さな部屋。【例】ぶじゃがまー　いつまい　うつばらぬ　くぶーがまんどぅ　にっづぃーうい（おじさんはいつも締め切られた奥の小さな部屋に寝ている）。[類] うつぬ　くーい。

うっふ [uffu] ①【動詞】[k 語幹] [C]（ものをある場所に）置く。【例】たむぬー　なかじゃんかい　うっつ（薪を台所に置く）。[変異] うっつ。②【補助動詞】[k 語幹]（連用形について、ある状態にする）～ておく。【例】さかさんさぐなうさぎーうっきゅーふばどぅういがみーやたりーうてぃーふー（逆さまにほら貝を下げておいておけば（それの）身は垂れて落ちてくる）。

うつみつ [utsimitsi]【名詞】〖魚〗マルヒラアジ。【例】うつみっちゅ　つー（まるひらあじを釣る）。

うてぃ [uti]【動詞】[母音語幹] [C] 落ちる。【例】きーから　うてぃー　かなまいや　ぴーきーにゃーん（木から落ちて頭に穴があいた）。

うでぃ [udi]【名詞】[B] 腕。【例】やぐみ　たやぎ　うでぃ（とても力強そうな腕）。[類] かいな。

うとぅい [utui]【接尾辞】（動詞連用形について）～しておいて、～していて。【例】すまー　とぅい　うとぅい　てぃっづぁい　うじゃー　すーたい（相撲を取っていて、投げられて腕を擦り

むいた)。くまん　かっふぃうとぅい　すぐ　まさいゆ　うどぅるかはでぃ(ここに隠れていきなりマサイを驚かせよう［＞いきなり飛び出して］)。

うとぅがい [utugai]【名詞】あご。【例】ひとぅーぎゃー　うとぅがいひーや　つかーん(人を顎では使ってはいけない)。

うどぅかす [udukasɨ]【動詞】［s/h 語幹］(騙して金などを)まきあげる。【例】かいん　うどぅかはいーにゃーん　(彼に騙されて金を巻き上げられた)。

うどぅき [uduki]【名詞】［C］(賭けや株などの)損失額。【例】っぅぁが　きゅーぬ　うどぅきゃー　いかっさ(あなたの今日の負けはいくらだ)。きゅーぬ　うどぅきゃー　ゆまいんばかい(今日の損は数え切れないくらいだ)。かいが　かいしゃー　むいうどぅきゃー　ひーにゃーん(彼の会社は大損した［「むい」は「量の多いことを表す接頭辞］)。

うどぅき [uduki]【動詞】［母音語幹］［C］(賭けなどに負けて)損する、破産する。【例】ぱちんこー　ひー　さんまん　うどぅきーにゃーん(パチンコをして、三万円損した)。かまぬ　やーや　うどぅきー　うしーはりーにゃーん(向こうの家は破産して一家離散した)。［類］うどぅつ。

うとぅさた [utusata]【名詞】音沙汰。【例】なうぬ　うとぅさたまい　にゃーん(何の音沙汰もない)。

うとぅじゃ [utuʒa]【名詞】［C］親戚。【例】うとぅじゃ　うぐなーい(親戚の集まり)。うとぅじゃぶた　ひとぅ(親戚の多い人)。［類］はらうず、かたい。

うとぅす [utusɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］落とす。【例】まかいや　うたひーばりー　すてぃーにゃーん(碗を落として割ってしまった)。［変異］うたす。

うどぅす [udusɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］(人や動物を)脅す。【例】ひとぅーぎゃー　うどぅはん(人を脅さない［＞脅してはいけない］)。

うどぅつ [udutsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］(賭けや株などで)損をする。［変異］うどぅふ。［類］うどぅき。

うとぅなす [utunasɨ]【形容詞】おとなしい。【例】うとぅなす　やらび(おとなしい子供)。

うどぅぬ [udunu]【名詞】［C］〖祭礼〗ウタキの中、神に願うところ。

うどぅふ [udufu]【動詞】［k 語幹］［C］(賭けや株などで)損をする。［変異］うどぅつ。［類］うどぅき。

うどぅるかす [udurukasɨ]【動詞】［s/h 語幹］驚かす、びっくりさせる。【例】くまん　かっふぃうとぅい　すぐ　まさいゆ　うどぅるかはでぃ(ここ

に隠れていきなりマサイを驚かせよう［＞いきなり飛び出して］)。

うとぅるす [uturusɨ]【形容詞】(人や話などが) 怖い ; (雨などが) 多量な。【例】うとぅるす　はなす (怖い話)。うとぅるす　みどぅん (怖い女)。うとぅるす　ゆみゅー　みー (怖い夢を見る)。やらびゃー　うとぅるすぎ　なりー　たちー　うたい (子供はおどおどして立っていた)。うとぅるす　あみ (大変な雨、大雨)。

うどぅるつ [udurutsɨ]【動詞】[k 語幹] 驚く。【例】あてぃ　うどぅるっちゃーひー　まずむぬん　たまっさとぅらいーにゃーん (余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた)。かいん　かぱてぃー　うどぅるかはいーにゃーん (彼に急に驚かされた)。[変異] うどぅるふ。

うどぅるつ [udurutsɨ]【名詞】驚き ; 反省。【例】がばー　はうや　みー　ばー　うどぅるつ　あすたい (大きなヘビを見て私は驚いた)。うどぅるっちゃ　にゃーん (驚きはない［＞失敗しても改善しようとしない］)。かりゃー　なうぬ　うどぅるつまい　にゃーん　ほぅりもぬ (彼は何の反省もないバカ者)。

うどぅるつ [udurutsɨ]【名詞】カツオの心臓。

うどぅるつ　うむくとぅ [udurutsɨ umukutu]【成句】懲りる心、反省心。【例】かりゃー　なうばい　うどぅきぬ　しゅくんな　うどぅるつ　うむくとぅー　にゃーん (彼はいくら損をしても反省しない)。かぬ　ひとぅー　うどぅるつ　うむくとぅー　にゃーん　さうや　にゃーんんまり (あの人は反省しない、懲りることのないやつだ)。

うどぅるふ [udurufu]【動詞】[k 語幹] 驚く。［変異］うどぅるつ。

うな [una]【名詞】[A] 自分。【例】うりゃー　うなが　むぬ (これは私のものだ)。うらー　うなが　むぬな (これはあなたのものかい［＜自分のものかい］)。うぬ　さきゃー　んˀぬぬ　ばが　ぬん　ぬくい　やいば　うらー　うなが　むぬ (この酒は昨日の私の飲み残りだから、それは私のものだ)。おい　まさい、うらー　うなが　むぬてぃー　いばいな (おい　マサイ、これは自分のものだといって自慢するな)。せんきょぬ　とぅきゃんな　うなが　かたぬ　はーさからだかー　かちゃいん (選挙のときには自分の味方が多くないと勝てない)。うなが　むきむきん　かなうてぃがー　あたり (各人の特性で頑張ればそれが良い)。うなが　さみゃー　かぎさみ (自分のサメ肌は綺麗な肌だ［＞アバタもえくぼ］)。うなが　っふぁ (自分の子供)。

うな [una]【助数詞】～艘、船を数える数詞。【例】ひとぅうな (一艘)。ふた

うな（二艘）。

うながい [unagai]【名詞】長い間。【例】あいぬ　うながい（そんなに長い間）。［類］ゆながい。

うながたき [unagataki]【成句】身の程。【例】かりゃー　うながたきゅーぎゃー　っさん　ほぅりむぬ（彼は自分の実の程を知らないバカ者だ）。

うながたま [unagatama]【成句】自分の分、自分なりに。【例】うながたまうぎゃー　うなが　ふぁい（自分の分は自分で食べろ）。うなが　たまうぎゃー　かないーどぅー（自分なりに頑張っている）。

うながつむーぎゃー　むちゃん [unagatsɨmu:gja: mutɕan]【成句】自制心がない、直ぐに怒る。【例】かりゃー　うなが　つむーぎゃー　むちゃん（彼は自分の心を持たない［＞彼は直ぐに怒る］）。

うながどぅー [unagadu:]【代名詞】〖再帰代名詞〗自分自身、自分の体。【例】うながどぅーから　すきゃきる（自分自身から始めなさい）。ひとぅんかいや　あっじゃだ　うながどぅーひー　あっそぅ（人に頼まないで自分でやれ［＜人に言わないで］）。うながどぅー　むつっちゃー　っさん（自分の体の管理の仕方を知らない［＞自己管理能力がない、世渡りが下手］）。うながどぅーふぁや（向こう見ずな奴）。うながどぅー　ふぁいんまり（（自暴自棄になったりして）自分自身をダメにするやつ）。うながどぅー　ふぁい　すかま（自分の身体を消耗するだけの仕事）。

うながどぅーどぅー [unagadu:-du:]【成句】各自、それぞれ。【例】うながどぅーどぅーぬ　うむい（各自の考え方）。うながどぅーどぅーひー　あっそぅ（自分のことは各自でやれ）。

うなず [unazɨ]【名詞】［C］ウナギ。【例】うなっじゃ　なびーむぬ（鰻はぬるぬるしている）。

うにゃ [unja] ①【名詞】［C］フグ。【例】うにゃうぎゃー　ふぁーん（フグは食べない）。②【名詞】［C］大食い［＜フグ］。【例】おい、うにゃ、まーぬ　ふぁうな（おい、大食い野郎、余り食べるな）。からー　むいとぅぬ　うにゃ（あいつはとても大食いだ。）

うぬ [unu]【指示詞】〖指示形容詞〗その；この［「うぬ」と「くぬ」は基本的に区別なく使われるが、文脈指示は「くぬ」でなく、「うぬ」が使われる］。

うぬきゃ [unukja]【名詞】［C］それら、彼ら。［類］うぬきゃた。

うぬきゃた [unukjata]【名詞】それら、彼ら。【例】うぬきゃた（それらだ）。［類］うぬきゃ。

うぬしゅく [unuɕuku]【名詞】その程度。【例】ういが　かなまいや　う

ぬしゅくだー（彼の頭はその程度だ）。［変異］うんそぅく、うぬしゃく。

うぬっさかん [unussakan]【名詞】（決めたことなどを言い訳をして）無視すること。【例】かりゃー　すかまぬどぅ　あいてぃー　いつまい　うぬっさかんな　ひー　くーん（彼は仕事があると言って素知らぬ顔をして、来ない）。［類］っさんふい。

うばいが　うばい [ubaiga ubai]【成句】参った、懲りごりだ、大変だ。【例】うばいが　うばい　ばー　んめうまんかいや　ふたかいまてぃや　いかじゃーん（こりごりだ、私はもうそこには二度とは行かない）。あいぬ　はなすまいどぅ　あいな、うばいが　うばい（そんな話もあるのか、もう大変だ）。あがいー　うばいが　うばいよー。ばー　なうばい　あすばどぅ　じゃうかいがよー（大変だ。私はどうすればいいんだ）。うばいが　うばい。なうばいぬ　はなすが（大変だ。何ということだ）。［類］あがいが　あがい。

うぱつ [upatsɨ]【名詞】［C］〖祭礼〗農作物の初物の祈願祭、お初の収穫感謝祈願［ウーンマの家で神酒を供えるなどして行う］。【例】あーぬ　うぱつ（粟のお初祈願）。

うはるず [uharuzɨ]【名詞】大主神社の神様。【例】うはるずんかい　てぃーゆ　かん（ウハルズに祈願する［西原のお祈りは両手を開き、手のひらを上に向けて上げる］）。［変異］うぱるず。

うぶ [ubu]【名詞】［C］〖幼児語〗水［赤ちゃんに水を飲ます時に「うぶ、うぶ」と言う］。［変異］おぶ。［類］おぶ。

うぶ [ubu]【名詞】［C］船の碇［石を縄で巻いて碇にしていた］。【例】ふにぬ　うぶー　うらし（舟の錨を下ろせ）。うぶんˀなう　まつ（錨の綱を巻く。

うぶい [ubui]【動詞】［母音語幹］［C］覚える。【例】ひとぅぬ　なーゆぎゃー　すぐ　うぶいる（人の名前は直ぐに覚えなさい）。ずーゆ　うぶい（字を覚える）。

うぶい [ubui]【名詞】［C］記憶力、覚え。【例】かいが　うぶいや　いつまい　にゅー（彼のもの覚えはいつも遅い）。ばー　かまんかい　いふたい　うぶいや　にゃーん（私はあそこに行った覚えはない）。やらびんみぬ　なーや　うぶいらいん（子供達の名前は覚えられない）。

うぶき [ubuki]【名詞】［C］お陰で。【例】んまーさぬ　うぶき　むぬまいふぁーいー　うたい（両親のお陰で飯も食べることができた）。ぶとぅぬ　うぶきどぅ　みゃーっさーひー　ふぁいゆー（旦那のおかげで楽して生活できる）。［類］みゅーぶき。

うぶく [ubuku]【名詞】［C］〖祭礼〗火の神。

うぶしゅー [ubuɕu:]【名詞】〖魚〗近海にいるカツオの一種、宗太鰹。 【例】うぶしゅーや　はまうつんどぅ　っちゃいー（宗太鰹は近海で釣れる）。

うぷだらか [upudaraka]【名詞】大嘘［大浦方言の借用とされる］。 【例】うぷだらか　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかだうり（大嘘つきの言うことは聞くな）。［類］ゆくし。

うぶゆー [ubuju:]【名詞】出産直後に親戚等に配るお粥。 【例】っふぁがまぬ　んまいてぃがー　うとぅじゃんみんかい　うぶゆーゆ　くばりーまーい（赤ちゃんが生まれたらお粥を配ってまわる）。［類］しらゆー。

うぶん゜な [ubuɲna]【名詞】〖道具〗錨を取り付けてある縄、錨綱。 【例】うまんかい　うぶん゜なう　てぃっづぃ（そこに錨綱を投げろ）。うぶん゜なゆなう（錨縄をなう）。

うほぅ [uhu]【形容詞】［B］大きい。【例】うほぅゆー（大きな幸福）。ういがどぅ　うほぅかい（これが大きい）。［類］がばー、ほぅい。

うほぅが [uhuga]【形容詞】［C］これくらいの大きさだ。 【例】うらー　うほぅが（それはこれくらいの大きさだ）。うほぅがばかーいぬ　かにふっじゅむちーくー（これくらいの大きさの釘をもってこい）。

うほぅず [uhuzɨ]【名詞】［C］亡くなった先祖たち、先祖神。 【例】うほぅずんかいや　てぃーゆ　かみだかーならん（先祖には祈願しないといけない）。［変異］うぷず。

うま [uma]【名詞】［C］そこ、ここ。【例】うままい　あらん、くままい　あらん、かぬちゃ（そこでもない、ここでもない、向こう側だ）。うまぬ　ままーい（その周辺）。うま　くま（（近くの）あちこち）。むとぅやーんかい　いきーみーたいそぅが　っざー　うまんなみーっだん（本家にいってみたけれど、お父さんはそこにはいなかった）。

うまかま [umakama]【副詞】あちこち。 ［類］あまくま。

うまがま [umagama]【副詞】すぐそこ。 【例】むとぅやーや　すぐ　うまがま（本家はすぐそこだ）。

うまくま [umakuma]【名詞】あちこち。 【例】やらびゃー　うまくま　あまくま　とぅみたいそぅがどぅ　とぅみらいっだん（子供はあちこち探したが探せなかった［＜そこここ、あちこち］）。［類］うまかま。

うます [umasɨ]【名詞】［C］箸。 【例】うますひー　むぬー　はさみー　ふぁう（お箸で食べ物を挟んで食べる）。［類］うみゃす。

うまつ [umatsɨ]【名詞】［C］火。 【例】うまっちゅ　たつきでぃ（火をおこそ

う)。たむぬんかい　うまっちゅ　たつきる（薪に火をつけろ)。ろーそくぬうまっちゅ　ふーってぃー　ふきーきゃーす（ロウソクの火をふーっと吹いて消す)。うまっちゅ　つきー（火をつける)。うまつん　んふばーい（火に温まる)。

うまなぎ [umanagi]【名詞】そこら辺。【例】うまなぎゅー　とぅみる（そこら辺を探せ)。

うままい　かままい [umamai kamamai]【成句】あっちもこっちも。［類］うままい　くままい。

うままい　くままい [umamai kumamai]【成句】あっちもこっちも。［類］あままい　かままい。

うみゃす [umjasɨ]【名詞】［C］箸。［類］うます。

うむー [umuː] ①【動詞】［w 語幹］［C］思う。【例】ばー　あいどぅ　うむー（わたしはそう思います)。からー　くーんてぃどぅ　うむー（あの人は来ないと思います)。かまんどぅ　いんうりびとぅぬ　みーらいゆー（向こうで漁をしている人が見られる)。っうぁ　なうばいどぅ　うむー（あなたはどう思いますか)。ばー　あいぬくとぅーぎゃー　ひとぅかいままい　うむいや　みーん（私はそんなことはいちども考えたことはない)。②【動詞】［w 語幹］［C］（人を）思慕する、愛する。【例】ばーみどぅんぬ　くとぅーどぅ　うんそぅく　うむいーゆー（私は妻のことをとても愛している)。ばー　んまりずまぬ　くとぅー　うむいー　なだぬ　いでぃたい（わたしは生まれ故郷のことを思って涙がでた)。

うむい [umui] ①【名詞】［C］思い、考え方。【例】うながどぅーどぅーぬうむい（自分自分の思い、考え方)。ばが　うむいや　かい（私の考えはこうだ)。②【名詞】［C］恋人、大切な人。【例】うむいぬ　くとぅー　いつまいうむー（恋人のことをいつも思う)。くぬ　っふぁー　ばが　うむい（この子は私の大切な子だ［＞「私が産ませた子だ」という解釈もある])。

うむいが　にゃーん [umuiganjaːn]【成句】思いのまま。【例】うなが　うむいが　にゃーん　あっそぅ（自分の思いのままやれ)。

うむいくがい [umuikugai]【動詞】［r/rr 語幹］思い焦がれる。【例】っうぁが　くとぅーどぅひー　うんそぅく　うむい　くがりゅー（あなたのことでとても思い焦がれている)。

うむいだす [umuidasɨ]【動詞】［s/h 語幹］思い出す。【例】んきゃーんぬ　くとぅー　うむいだす（昔のことを思い出す)。なうばい　かんがいばんまい　うむいだはいん（いくら考えても思い出せない)。

うむいやす [umuijasɨ]【形容詞】安心である。【例】っふぁんみまい　ほぅいふなりー　うむいやすむぬ（子供たち成長して安心だ）。

うむがい [umugai]【名詞】おもがい、馬の顔につける馬具の一つ。

うむかじ [umukaʑi]【名詞】面舵、船の操縦で船首を右へ回すこと。【例】うむかじゅー　きり（面舵を切れ）。

うむくとぅ [umukutu] ①【名詞】考え方、考え。【例】ばー　あいぬ　うむくとぅーぎゃー　ほぅん（私はそういう考え方はしない）。っづぁが　うむくとぅー　あたらん（お前の考えは間違っている）。ばー　あいぬ　うむくとぅー　にゃーん（私はそういう考えは持っていない）。ゆがうむくとぅ　むちや　ならん（曲がった考えは持ってはいけない）。②【名詞】知識、知恵、能力。【例】うむくとぅあいぎ（頭の良さそうな）。うむくとぅ　にゃーんぎ（頭の悪そうな）。うむくとぅあいかい　むぬぬどぅ　いつがみまい　ぬくいてぃぬ　むぬー　あらんちゃ（賢いものがいつまでものこるというものではないそうだ）。うむくとぅん　そぅいどぅ　なうまい　ひらいー（能力があるからこそ何でもできる［＜（正しい）知識に沿ってこそ］）。かりゃー　うむくとぅー　にゃーん　さうや　にゃーんんまり（彼は知恵のない思慮深さのない奴だ）。

うむくとぅあい [umukutuai]【成句】頭の良い（人）。【例】うむくとぅあい　ぶりむぬ（知識はあるが社会性がない）。にんぎんぬ　とぅずぶとぅー　うむくとぅ　あい　ひとぅぬどぅ　ほぅりむぬんかい　あーすばどぅ　じゃうかい（人間の夫婦は頭の良い人の方が人が馬鹿な方に合わせる方が良い）。

うむくとぅさーりどぅ [umukutusa:ridu]【成句】能力次第で。【例】うむくとぅさーりどぅ　なうまい　ひらい（能力次第でなんでもできる）。

うむっし [umuʨʨi]【形容詞】面白い。【例】うむっし　はなす（面白い話）。うむっしっふぁにゃーん（面白くない）。かりゃー　うむっし　びとぅ（彼は面白い人だ）。かいが　はなっさ　うむっしかいば　ならん（彼の話は面白くてならない）。

うむてぃ [umuti]【名詞】［B］表情。【例】っづぁ　いつまい　つむでぃゆーそぅがんまり　やいば　うむちゅーぎゃー　っふぁがらだうり（あなたはいつも怒っているような表情をしているから暗い顔をするな）。かいが　うむちゃー　やな　うむてぃ　やいば　かいとぅや　すかまー　ひとぅみゃー　ひらいん。（彼の表情は嫌な表情だから、彼とは仕事は一緒にできない）。やな　うむちゅーぎゃー　みしだうり（嫌な表情は見せるな）。かりゃー　うむてぃ

っふぁぎゃら　（彼は表情が暗い）。やぐみ　うむてぃ　ほぅからすぎ　ひとぅ（とても表情の明るい人）。うむちゃー　はるきー　ほぅからすむいぎ　ひとぅ（表情が豊かで、とてもうれしそうにしている人）。

うむてぃふさがい [umutifusagai]【名詞】暗い表情。【例】まーぬ　うむてぃふさがい　あすな（あまり暗い顔をするな）。

うや [uja]【名詞】[C] 祖父、おじいさん　[複数形は「うやた」]。【例】ばんてぃが　うやー　いんしゃーどぅ　あたい（私の祖父は漁師だった）。しゅーたまい　うやたまい　ばぬーぎゃー　かーばたぬ　かにうやてぃどぅ　あいどー、ならすじゃうっじゃひー　ふぃーさまてぃ（役人の皆さんもおじいさんたちも私はカワバタのカニウヤと申します、ご指導のほどよろしくお願い致します［カワバタは屋号、カニウヤは名前］）。

うや [uja]【名詞】[C] 池間の主などの下級役人を指す。

うやい [ujai]【動詞】[母音語幹] [A]（植物が）生い茂る、（植物が生茂って）広がる。【例】ぎすっちゃ　ひとむとぅからどぅ　うさきなー　うやいーゆーい（ススキは一株からとても沢山生えている）。んーぎーや　あうたんなりー　うやいーどぅーい（芋の蔓は青々と生い茂っている）。

うやいん [ujain]【名詞】御嶽の祭事等のための漁、役人のための漁労奉仕。【例】きじゃいんな　うやいんぬ　ほぅだかー　ならん（祭事には役人のための漁労奉仕をしなければならない）。

うやき [ujaki]【名詞】[C] 金持ち、裕福、財産家。【例】うやきゃー　きた　とぅどぅみ　（裕福は家の桁に留どまる［＞幸福は家庭の中にある］）。うやきんなりー　かりゅーぎゃー　みかいはでぃ（金持ちになってあいつを見返してやろう）。うやきてぃー　まーぬ　いばいな（金持ちだと言って余り威張るな）。

うやきゃー　まーる [ujakja: ma:ru]【成句】金持ちは順番に回ってくる［＞金は天下の回りもの］）。

うやぐに [ujaguni]【名詞】〖歌語〗首里。

うやすとぅ [ujasitu]【名詞】小姑。［類］すたさうっとぅ。

うやっふぁ [ujaffa]【名詞】親子。

うやまいむぬい [ujamaimunui]【名詞】敬語。【例】くぬいぬ　ばかむぬんみゃー　うやまいむぬいゆぎゃーっさん（最近の若者は敬語の使い方を知らない）。

うやんま [ujamma]【名詞】役人（うや）の奥さん；女陰。【例】うやんまー　つむかぎ　あぱらぎ（役人の奥さんは心がきれいで美人だ）。

うやんまふくる [ujammafukuru] 【名詞】〖祭礼〗ナナムイの女性の持つたばこ袋。

うゆー [uju:] 【動詞】［b 語幹］［A］（勝負に）勝つ；（持ち物などが相手に）勝る。【例】ばー　っづぁんかいや　うゆばん（私はお前には勝てない）。かいんかいや　あすぬ　うゆばんば　ばぬんな　はーさにゃーや　かちゃいん（彼には歩幅が及ばないから私には（彼に）競走は勝てない）。

うゆつ [ujutsɨ] 【動詞】［k 語幹］［C］（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。【例】やーからー　うゆかん（家から動かない［＞いつも家にいる］）。［変異］うゆふ、ういふ、ういつ。［類］むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

うゆび [ujubi] 【名詞】［C］指。【例】ほぅーゆび（親指）。ひとぅさすゆび（人差し指）。なかゆび（中指）。くゆび（小指）。

うゆびずつ [ujubizɨtsɨ] 【名詞】指さすこと、指さし。【例】ばが　うゆびずつ　あす　とぅくまう　みーる（私が指しているところをみなさい）。ひとぅーぎゃー　うゆびずっちゅぎゃー　ほぅん（人を指さししてはいけない）。

うゆふ [ujufu] 【動詞】［C］（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。【例】うまからー　うゆふな（そこからは動くな）。［変異］ういふ、ういつ、うゆつ。［類］むゆふ、むいふ、むいつ。

うゆふ [ujufu] 【動詞】［k 語幹］［C］（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。［変異］うゆつ、ういふ、ういつ。［類］むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

うらー [ura:] 【代名詞】〖指示詞〗「うい」の提題形、それは、これは、彼は、彼女は。

うらじゃ [uraʑa] 【名詞】［C］奥の部屋、奥座敷、裏座。【例】ばんてぃが　うらじゃー　べんきょーしつどぅあたい（うちの奥座敷は勉強部屋だった）。

うらす [urasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］［C］下ろす、降ろす。【例】にーゆ　うらす（荷を下ろす）。［変異］うるす。②【動詞】［s/h 語幹］［C］（穀物の種を）蒔く。【例】むぬだにゅー　うらす（穀物の種を蒔く）。［変異］うるす。［類］まつ。

うり [uri] 【動詞】［母音語幹］［A］（人が下に）降りる；（霜が）降りる；（下のほうの畑に）行く；（海に）漁に行く。【例】やまう　うりー（山を降りる）。ちゅーぬどぅ　うりゅー（露が降りてい

る)。きゅーまい　いんゆ　うりが　いかでぃ（今日も海に漁に行こう［＜今日も海を降りに行きます］)。きゅーや　かでぃうす　やいば　いんな　うりらいん（今日は時化だから漁には行けない［＜海には下りられない］)。さかまう　うりや　ぬーい　ぬーい　あす（坂を降りたり上がったりする)。

うり [uri]【動詞】［母音語幹］［A］存在動詞「うい（いる)」の特殊終止形。「うい」が焦点形「どぅ」を含む文の終止形に使われるのに対し、「うり」は焦点形を含まない文の終止に使われる。【例】ばー　とぅっじゃ　うり（私は妻はいる)。［類］うい。

うりー [uri:]【名詞】［C］（畑が）潤っている時期。【例】あみゃー　っふぃー　うりー　なりゅーば　ぶーずまい　いびだかーならん（雨が降って（畑は）潤っているからサトウキビの植え付けもしないといけない)。

うりなつ [urinanatsɨ]【名詞】午後4時ごろ　御嶽に行く時間。［類］てぃだななつ。

うりふつ [urifutsɨ]【名詞】降り口。【例】はまんかいぬ　うりふつ（海岸への降り口)。だんぬ　うりふつ（階段の降り口)。うまなぎんな　うりふっちゃ　にゃーんば　ゆーかーままーい　ほぅだかー　ならん（ここら辺には降り口はないから、遠回りしないといけない)。

うる [uru]【名詞】［A］サンゴ。【例】うるいす（サンゴ)。

うる [uru]【名詞】［A］《植》紅藻植物、スギノリ科の多年生海藻、ツノマタ、またツノマタで作った食べ物、炊くと寒天状になり食用となる。【例】うるひー　たうふー　ちゅっふ（ツノマタで豆腐をつくる)。

うるー [uru:]【動詞】［w語幹］［C］潤う。【例】あみゃー　っふぃー　はいや　うるいーどぅーい（雨が降って畑は潤っている)。［類］うるい。

うるーどぅす [uru:dusɨ]【名詞】閏年。【例】うるーどぅすんな　あまいずつぬどぅ　あい（閏年には閏月がある)。［類］うるどぅす、あまいどぅす。

うるい [urui]【動詞】［母音語幹］［C］潤う。［類］うるー。

うるいす [uruisɨ]【名詞】サンゴ。【例】いんぬ　うるいす（海のサンゴ)。

うるずつ [uruzɨtsɨ]【名詞】閏月。

うるだうふ [urudaufu]【名詞】《食》ツノマタを炊いて寒天状にした食べ物。

うるどぅす [urudusɨ]【名詞】閏年。【例】うるどぅすんな　あまいずつぬどぅ　あい（閏年には閏月がある)。［変異］うるーどぅす。

うわい [uwai]【動詞】［r/rr語幹］［A］終わる。【例】しばいぬ　うわいきゃ

みーうたい（芝居が終わるまで見ていた）。

うわい [uwai]【名詞】［A］終わり。【例】ばが　はなっさ　うさきひー　うわいどー（私の話はこれで終わりだよ）。

うん [un]【形容詞】［A］大食いだ（ウニが大食いなことから）。【例】からー　うんかいば　たるからまい　みっふぁさ　ひらいゆー（彼は大食いなのでみんなから嫌われている）。かずっちゃ　うんかいばどぅ　うんてぃーまいあい（バフンウニは大食いなのでウニとも言う［＞ウニは大食いとされている］）。ばー　くぬいや　むいとぅ　うんふ　なりーどぅー（私は最近は大食いになった）。

うん [un]【名詞】［B］ウニ。【例】うんびとぅー　なんとぅが　びとぅらはいん（大食いの人はなかなか満腹にさせることはできない）。［類］かずつ。

うん [un]【名詞】［B］鬼。

うん [un]【名詞】［C］運。【例】うんじゅー　びとぅ（運の強い人）。

うんかずつ [uŋkazɨtsɨ]【名詞】〖生物〗〖食〗バフンウニ。【例】んきゃーんな　うんそぅく　うんかずつまいうたいそぅが　んなまー　むいとぅみーん（昔はとてもウニもいたが今は全然いない）。［類］かずつ。

うんじゅー [unʑu:]【形容詞】強運だ、強運の。

うんじゅー [unʑu:]【名詞】強運、強運な人。【例】からー　うんじゅーやいば　たからふっじゅぎゃー　かいん　かーし（彼は強運な人だから宝クジは彼に買わせろ）。［類］ふーじゅー。

うんず [unzɨ]【名詞】［C］恩、恩義。【例】かりゃー　うんっじゃ　にゃーん　ひとぅ　やいば　ういんな　なうゆまい　ふぃーだうり（彼は恩義を知らない人だからなにもやるな）。　かりゃー　うんっじゃ　っさん　ひとぅ　やいば　かいんな　なうゆまい　いだはだうり（彼は恩義を知らない人だから彼には何もやるな）。んなまー　かいんかい　うんっじゅ　かっづぁほぅーき（今は彼に恩を着せておけ）。かいんかいぬ　うんっじゃ　いつがみまい　かいはいん（彼にうけた恩はいつまでも返せない）。

うんそぅく [unsuku]【副詞】沢山、何回も、頻繁に。【例】わいてぃ　あっそぅ、うんそぅくとぅんまだら（しっかり頑張れ、それくらいはやらないと（いけない））。あみぬ　っふぃぬあとぅんどぅ　はるんなー　うんそぅく　うい（雨降りの後にカタツムリは沢山いる）。かでぃふつゆらん　ないてぃがー　あうそぅんぬどぅ　うんそぅく　とぅびーふー（台風時期になるとトンボがたくさん飛んでくる）。うぬきゃが　とぅずぶとぅー　ばかかいきゃー　うんそぅく　やどぅゆんぬまいひーうたい（その夫婦は若い頃はいつ

もよくケンカしていた)。まさいや　みがうどぅ　うんそぅく　かなす　かい(マサイはミガをとても愛している)。まうきゃーいん　さじゅー　ひつてぃがー　うんそぅく　さいぬ　とらいたい(大浦湾で小網を引いたらたくさんエビがとれた)。

うんた [unta] 【名詞】［C］カエル。【例】なびーうんた（殿様ガエル)。さみうんた（ヒキガエル)。

うんつ [untsɨ]【動詞】[k 語幹]［A］(釘、柱等を）打つ、打ち込む。 【例】かにふっじゅ　うんき（釘を打ち込め)。かにふっじゅ　うんかっでぃー　ひーはっじゃきー　げんのーひー　うながうゆびゅー　っつきーにゃーん（釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった)。［変異］うんふ。

うんふ [unfu]【動詞】[k 語幹]［A］(釘、柱等を）打つ、打ち込む。 ［変異］うんつ。

え

えー [eː] 【感動詞】〖応答詞〗うん［対等か目下の人に対する応答。目上に対しては「おー」という］。【例】A:　べー　っぞぅ　ふぁい　B: えー　ふぁーでぃ（A: ほら、魚を食べろ B: うん、食べる）。［類］んーでぃ。

えいば [eiba] 【成句】～だから［コピュラの条件形「やいば」の変化した形］。【例】うい　えいばどぅ　あやほぅー（彼だからそうしている［悪い意味にもいい意味にも使える］）。まさいたがまゆ　えいばどぅ　あやほぅー、ひとぬ　まゆ　やいてぃがー　あいや　むぬーぎゃー　ぬそぅまん（マサイんちの猫だから（こそ）そうしているんだ、よその猫だったらそういうふうに食べ物を盗まない）。［変異］やいばどぅ。

えげ [ege] 【感動詞】（不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する）しまった。【例】えげ　あいぬたまうどぅ　ちゅーびゃー（びっくり、そんな球を投げるのか）。えげー　まゆぬどぅ　はいりー　っちゅーい、っぞぅ　ふぁーいがまた（しまった。猫が入ってきた。魚を食べられるぞ）。えげくるまぬ　めんきょ　やーん　ばっしー　ってぃにゃーん（しまった。車の免許を家に忘れてきた）。　えげ　しまい、やらびゃー　ひんがひーにゃーん（しまった、子供を逃がしてしまった）。［変異］えげー、えっげー。

えてぃがー [etigaː] 【接続詞】だったら、じゃあ「やいてぃがー」の変異形。【例】A：あちゃー　かでぃふつちゃ。　B：えてぃがー　あちゃーいきまー　いかいん（A：明日は台風だってさ。B：だったら明日は池間は行けない）。［変異］あいやいてぃがー、あいえてぃがー、あいやてぃがー、やいてぃがー、やてぃがー。

えへーい [eheːi] 【感動詞】相手の言っていることが信じられずに、小ばかにした風に言うときの感動詞。【例】えへーい　かに（お前何言っているんだ、カニ）。

お

おー [o:] 【感動詞】〖応答詞〗はい（年長者に対する返事）。

おーか [o:ka] 【感動詞】相手の能力が低く、思ったほどできない場合に発する感動詞、なんだ。【例】おーか、っうぁんな　うらーとぅんま　ひらいんな（なんだ、お前にはそんなこともできないのか）。［類］おーこ。

おーかん [o:kan] 【助動詞】「節＋がおーかん」あるいは「名詞＋がおーかん」の形を取って、現在の観察状況や伝聞状況から～と推論できるということを表す、～らしい、～ようだ。【例】あいが　おーかん（そうらしい）。くるまぬ　にゃーん　むぬー　みーてぃがー　からー　やーんな　うらんが　おーかん（車がないのをみると彼はいないようだ）。かまぬ　みどぅんっうぁー　だいがくー　いでぃーだーが　おーかん（あそこの娘は大学を出ているらしい）。てぃんぬ　みーてぃがー　あみふー　わーつつが　おーかん（空をみると雨がふる空模様かもしれない）。かりゃー　でぃんむちゃが　おーかん（あの人は金持ちらしい）。［変異］やうかん。

おーこ [o:ko] 【感動詞】相手の能力が低く、思ったほどできない場合に発する感動詞、なんだ。［類］おーか。

おーたにわたり [o:taniwatari] 【名詞】〖植〗樹上や岩肌に着生する常緑のシダ類、おーたにわたり。

おーっさり [o:ssari] 【感動詞】〖応答詞〗年配者への返事に使う応答詞［「おー」より丁寧］。【例】A: かにー、がんじゅーな？　B: おーっさり（A: カニ、元気かい？B: 元気でございます）。

おい [oi] 【感動詞】（呼びかけ）おい。【例】おい　かなす、うりゅー　とぅいふぃーる（おいカナス、それを取ってくれ）。

おごえ [ogoe] 【感動詞】びっくりしたときに発する言葉。【例】おごえ　んめ（ぎゃー大変だ）。おごえ　ばー　まずむぬー　みー　かぱたまがいや　ひーにゃーん（ぎゃ、私は幽霊を見て度肝を抜かれた）。［変異］おごい。［類］あがい。

おしいり [oɕiiri] 【名詞】押入れ。

おぶ [obu] 【名詞】［C］〖幼児語〗水。　　［変異］うぶ。

か

が [ga] ①【助詞】〖格助詞〗共通語「の」に当たる。代名詞、人を表す固有名詞について所有格を表す、普通名詞に付く場合は「ぬ」を用いる。人を表す名詞に付ける場合は、「が」「ぬ」のどちらも可能な場合がある。 【例】うりゃー ばが むぬ（これは私の物）。ばが うむいや かい（私の考えはこうだ）。ならが ぬーま（自分の馬）。っざが みがに（お父さんの水中メガネ）。［類］ぬ。②【助詞】〖格助詞〗共通語「が」に当たる。代名詞、人を表す名詞について主格（動作、状態の主体）を表す。 普通名詞の場合は「ぬ」を使う。人を表す名詞に付ける場合は、「が」「ぬ」のどちらも可能な場合がある。【例】ばが いかでぃ（私が行こう）。ばが っちゃーっぞぅ（私が釣った魚）。かいがどぅんながーな かーかんかい（彼が一番ケチだ）。かぬきゃがどぅうぬふにゅーんだいたいちゃ（あのひとたちが このふねをこわしたんだって）。［類］ぬ。

が [ga]【接尾辞】動詞語幹について動作の目的を表す接尾辞、 ～に（行く、来る、帰るなど）。 【例】どぅすんかい いじゃうが いつ（友達に会いに行く）。じょ、いんかい うーずが（さあ、海に泳ぎに（行こう））。やーんかい ばっしゃー むぬー とぅいが（家に忘れ物を取りに（行く））。でぃんぬ とぅいが くー（金を取りに来い）。

が [ga]【助詞】〖終助詞〗疑問詞疑問文につく終助詞、「動詞」、「述語として使われた名詞」、「名詞＋助詞」につくことができる。 【例】っぅぁ いつどぅ かなだんかい はいがまたが（君はいつカナダに帰るんですか）。うらー なうが（これはなんだい）。からー たるが（あいつは誰だ）。んじゃんかいが（どこに行くのか［＜どこにか］）。たるが いつがどぅ ますが（誰が行くのがいいんだい）。

が [ga]【助詞】〖接続助詞〗節について間接疑問詞節を作る接続助詞、共通語と異なり「～がてぃ（かと）」のように引用の「てぃー（と）」を伴うことも多い。 【例】はらう んじゃん うっつが にだん（柱をどこに置くか決める）。まさいや んなま んじゃん うるーがてぃ にじゃみーふぃーる （マサ

イがいまどこに住んでいるかしらべてくれ)。

かー [ka:]【名詞】[B] 井戸、水の湧き出ている所。【例】すまぬ　いーなぎんな　ひだがーてぃぬ　ばきみずぬ　いじゅー　かーぬどぅ　あい（村の西のほうにはヒダガーという湧き水がでる泉がある)。　かーゆ　ほぅい（井戸を掘る)。

がー [ga:]【名詞】[C] 口論、話。【例】がーや　ひらいん（(あなたには）何を言っても無駄だ)。がーや　ならん（(あなたには）何を言っても無駄だ)。

がー [ga:]【名詞】[C] 我（をはる)。【例】がーゆ　はい（我を張る)。がーゆ　あす（我を張る)。がーじゅー（我が強い)。まーぬ　がーみつな（余りガーガーと意地を張るな)。

かーい [ka:i]【動詞】[r/rr 語幹] [A] 代わる、交代する；取り替える。【例】ばー　だりゅーば　すかまう　かーいー　ふぃーる（疲れたから仕事を代わってくれ)。みーきかいんかい　かーらし（新しい機械に取り替える)。くまん　くるまう　かーらはでぃ（ここで車を替えよう)。じょ　まっちゃー　かーりー　かまんきー　ぬまでぃ（店を変えてそこで飲もう[＜さあ、店をかわって])。ひーちゃがま　むらにゅー　かーり（ちょっと子守りを変わって)。

かーい [ka:i]【名詞】[A] 代わり、代理。【例】ばー　かいが　かーいや　ひどぅ　ったい　（私は彼の代わりで来た)。ばー　かいが　かーい（私は彼の代わりだ)。

かーい [ka:i]【動詞】[r/rr 語幹] [A]（服、髪、土地など、濡れたものが）乾く。【例】んなーぎゃー　つんな　かーらん（まだ服が乾いてない[＜乾かない])。あかー　んめ　かーりーどぅー（髪はもう乾いている)。あみゃー　っふぁんば　はいや　かーりーどぅー（雨が降らないので畑は乾いている)。

かーい [ka:i]【名詞】[C] 乾くこと。【例】つんな　なまがーいやいば　んなーぎゃー　っちゃっでぃ　ほぅばんまい　っちゃいん（服はまだ十分に乾いていないので、まだ着ようとしても着られない)。

がーい [ga:i] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C] おしゃれをする。【例】ばー　きゅーや　がーりー　っさらんかい　いきーくーでぃ（私は今日はおしゃれして平良に行って来よう)。②【名詞】[C] おしゃれ。【例】かぬ　みどぅんな　やぐみ　がーいびとぅ（あの女性はとてもおしゃれだ)。やぐみ　がーいゆ　あす（とてもおしゃれをする)。

がーい [ga:i]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 気分がよい、晴れ晴れとしている、満足した気持ちでいる。【例】んまがー　すぐりーゆーば　ばー　がーりーどぅー（孫がえらくなっているのでうれしい)。ばー　がーりー　うとぅいば　なうゆ

まい　ほぅでぃ（私は気分がいいからなんでもやろう）。

がーい [ga:i]【動詞】［r/rr 語幹］［C］自慢する。【例】ならがどぅ　うむくとぅ　あいてぃー　まーぬ　がーらだうり（自分が優秀だとあまり自慢するな）。からー　いつまい　うなが　っふぁぬ　くとぅー　がーい（あいつはいつも自分のこどものことを自慢する）。

がーい [ga:i]【動詞】［r/rr 語幹］［C］勝つ。【例】いーじゃとぅー　んˀなひつん　がーいたい（西里は綱引きに勝った）。っぅぁんかいや　なうまい　がーらいん（お前にはなんにも勝てない）。とぅすんかいや　がーらいん（年には勝てぬ）。

かーいばい [ka:ibai]【名詞】代わり映え。【例】かーいばいや　にゃーん（代わり映えがしない）。

かーいばな [ka:ibana]【名詞】交替してすぐ、変わりばな。【例】かにゃー　かーいばなん　ほーむらんな　うちゃいーにゃーん（カニは変わった矢先にホームランを打たれてしまった）。

かーうり [ka:uri]【名詞】井戸に水汲みに行くこと［昔は西原ではヒダガーに水汲みに行くことを意味した］。

かーかす [ka:kasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（干物をつくるために）乾かす、（乾かすために服を）干す。【例】たくー　かーかす（タコを乾かす）。きゅーや　じゃう　わーつつ　やいば　つんな　あらいー　かーかはでぃ（今日は天気がいいから服を洗って乾かそう）。

かーかに [ka:kani]【名詞】缶。【例】あにゃ　かーかにがまぬどぅ　でぃんない（そんな缶が金になる）。やりがーかに（古い缶）。

かーかん [ka:kan]【形容詞】ケチだ。【例】からー　かーかんんまり（彼はケチな奴）。あいぬ　かーかん　くとーぎゃー　ほぅん（そんなしみったれたことをしてはいけない）。かいがどぅんながーな　かーかんかい（彼が一番ケチだ）。［類］がず、ほぅーらーす。

かーき [ka:ki]【動詞】［母音語幹］［C］（喉が）渇く。【例】ばー　ぬどぅー　かーきーどぅーば　みっじゅ　ぬまひーふぃーる（私は喉が渇いているので水を飲ませてくれ）。やーっさがーき（ひもじさ）。みずがーき（水が飲みたいこと）。［類］かーつ。

かーぎ [ka:gi]【名詞】［C］顔だち。【例】あぱらぎ　かーぎ（美しい顔だち）。ずみぎ　かーぎ（立派な顔だち）。じゃう　かーぎ（良い顔かたち）。やな　かーぎ（不器量）。くぬ　まゆがまぬ　かーぎゃー　じゃうかい（このねこの顔立ちは素晴らしい）。

かーきだく [ka:kidaku]【名詞】燻製のタコ。【例】かーきだくー　ぐむぬんまりゃーひー　ひつにかいばならん

（燻製のタコはゴムのように硬くてしかたない）。

かーじゃい [ka:ʑai]【名詞】フナ虫［海岸の岩場、浜辺の舟に見られる］。

かーす [ka:si]【名詞】［C］菓子。【例】かーっさ　あずまむぬ（お菓子は甘い）。

かーつ [ka:tsi]【動詞】［k 語幹］［C］渇く。【例】ぬどぅぬ　かーつてぃがー　くぬ　ちゃーゆ　ぬみ（喉が渇いたらこの茶を飲め）。ばー　なうちゅんま　ぬどぅー　かーきや　うらん（私は全然喉は渇いていない）。［変異］かーふ。［類］かーき。

がーな [ga:na]【名詞】［C］アヒル。【例】がーなう　うっつ　（アヒルを追いかける）。

かーはぎゃ [ka:hagja]【名詞】〖魚〗カワハギ。

かーま [ka:ma]①【名詞】［A］遠く。【例】かりゃー　かーまんかい　はりーにゃーん（彼は遠くに行ってしまった）。かーままーい　あす（遠回りをする）。かーまばい（遠方の畑）。ぶらー　かーま（保良は遠くだ）。②【形容詞】［C］遠い。【例】むいとぅ　ゆー　かーま（とても遠い）。かまどぅ　んながーな　かーまかい（あそこが一番遠い）。

がーまーす [ga:ma:si]【接尾辞】期間を表す名詞を取ってその期間ずっとという意味を表す、～中。【例】ひとぅいがーまーす（一日中）。ふたいがーまーす（二日中）。なつがーまーす（夏中）。ひとぅてぃがーまーす（一年中）。

かーら [ka:ra]【名詞】［C］瓦。【例】あかがーら　やー（赤い瓦の家）。かーらんな　びきがーらとぅ　みーがーらぬどぅ　あい（瓦には雄瓦と雌瓦がある）。

がーら [ga:ra]【名詞】［B］水流。【例】みずがーら（激流）。

がーら [ga:ra]【名詞】［B］〖魚〗ヒラアジ。

がーらい [ga:rai]【動詞】［母音語幹］（～に）負ける［「がーい（勝つ」の受身形］、～次第。【例】なうまい　でぃんどぅ　がーらい（なんでも金次第だ）。くぬ　ゆーや　がっこーうむくとぅんどぅ　がーらい（この世は学校で学ぶ知識次第だ［＞学歴次第だ］）。

かーらきー [ka:raki:]【名詞】〖遊〗瓦蹴り。【例】じょ、かーらきー　ほぅでぃ（さあ、瓦蹴りをしよう）。だいしゃーひー　けんけんぱーや　ひー　かーらー　きりー　あそぅー（片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ）。

かーらす [ka:rasi]【動詞】［s/h 語幹］（人を）交替させる、変える、変化させる。【例】うぬ　やくいんな　なっちゃかんかいば　かーらし（この役員は怠け者だから交替させろ）。うながどぅー

ゆ　かーらはい　むぬぬどぅ　いつがみまい　ぬくいてぃぬ　むぬちゃ（自分自身を変えられるものが残るのだ）。くるまう　かーらひー　ふぃーる（車を取り替えてくれ）。

かーらす [ka:rasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（濡れた衣類などを）乾かす。【例】つんな　かーらひゅー（服を乾かしている）。あーゆ　かーらす（粟を乾かす）。

かーらずみゃ [ka:razɨmja]【名詞】〖昆〗クマゼミ　［「っさずみゃ、なまだんずみゃ」の次に現れる大型のセミ］。

かーらつ [ka:ratsɨ]【動詞】［k 語幹］（濡れた衣類などが）乾く。【例】んなーぎゃー　つんな　かーらかん（まだ服は乾いていない）。あかう　かーらかし（髪の毛を乾かせ）。［変異］かーらふ。

がーらみつ [ga:ramitsɨ]【動詞】［k 語幹］どっと、ごうごう［大量のものが押し寄せる様子］。【例】はーさぬ　ひとぅぬどぅ　がーらみつきゃー　なうまい　ひらいん（たくさんの人が押し寄せるのでなにもできない）。みずぬどぅ　がーらみきー　ながりゅー。（水がゴーゴーと流れている）。［変異］がーらみふ。

かーん [ka:n] ①【名詞】［C］十分だ。【例】ばが　っじ　だまー　うさきひー　あてぃ　かーん（私の分け前はこれぐらいで十分すぎる）。うすきぬ　でぃんがまひーや　かーんな　あらっだん（これくらいのはした金では十分ではなかった）。うさきぬ　さきがまうぎゃー　たうかーひー　あてぃ　かーん　ぬんどぅす（それくらい酒だったら十分一人で飲める）。②【形容詞】［B］十分だ。【例】うさきひーや　かーんっふぁにゃーん（それだけでは十分ではない）。ばがたまー　むいとぅ　かーんかたい（私の取り分は十分だった）。

かい [kai] ①【指示詞】［A］〖指示名詞〗遠くにあるものを指す指示詞、あれ［提題形は「からー」、目的形は「かるー」または「かりゅー」。【例】からー　なう　やいば（あれはなに）。かりゅー　くまんかい　むちーくー（あれをここに持ってこい）。②【指示詞】〖指示副詞〗そのように、そう；そうだ。③【代名詞】［A］あの人、彼、彼女［男女の区別はない。提題形は「からー」、目的格形は「かるー」または「かりゅー」］。【例】かいが　みどぅん（彼の妻）。かいが　びきどぅん（彼女の夫）。からー　たる　やいば（あいつは誰だ）。かるー　くまんかい　さーりーくー（あいつをここに連れてこい）。

かい [kai]【副詞】こう、このように、こんなに。【例】あいかいぬ　くとぅーひどぅ　かぬきゃが　ふたーい　とぅずぶとぅん　なりゅーい（あれやこれやで彼ら二人は夫婦になった）。ばが　うむいや　かい（私の考えはこうだ）。ばが　みーたい　むぬー　かいぬ　むぬ　あたい（私が見たのはこんなものだ

った)。かいぬ　んまっふぁにゃーん　むぬー　ふぁーいん（こんなまずいものは食べられない)。かいぬ　んまむぬーぎゃー　ふぁいや　みーん（こんなにおいしいものは食べたことがない)。

かい [kai]【動詞】[r/rr 語幹][A] 借りる。【例】でぃんぬ　かい（金を借りる)。

かい [kai]【動詞】[r/rr 語幹][A]（草などを）刈る。【例】あちゃー　っさまい　かいが　いかだかーならん（明日は草なども刈りにいかなければならない)。

かい [kai]【名詞】[C] 甲斐。【例】きゅーや　うまんかい　っちゃー　かいや　ありーどぅー（今日はここに来た甲斐がある)。

かい [kai]【接尾辞】性質を表す形容詞性語幹について形容詞を作る接辞。【例】はーかい（速い)。ほぅいかい（大きい)。あぱらぎかい（美しい)。

かい [kai]【動詞】[母音語幹][A]（別のものに）変える、（別のものと）交換する；（店などを別のところに）移る。【例】うるー　くいんかい　かいー　ふぃーさまてぃ（それをこれに変えて下さい)。みー　きかいんかい　かいる（新しい機械に取り替えろ)。きぶんぬかいー（気分を変える)。まっちゃうかいでぃ（店を変えよう)。[類] かーい。

がい [gai]【名詞】[C] 害、言いがかり、迷惑。【例】がいにん（人に意地悪する人)。ひとぅんかいや　がいゆぎゃー　ほぅん（人には言いがかりをつけないものだ)。ばぬんかい　がいゆ　かきーな（私に迷惑をかけるな)。

かいー [kai:]【動詞】[r/rr 語幹][C] 転ぶ。【例】やらびゃー　かいりーにゃーん（子供は転んだ)。かいりー　てぃーや　ぶりーにゃーん（転んで手を骨折した)。うまん　かいーてぃがー　やぐみぐとぅ（ここで転んだら大変だ)。うまん　かいらだうり（ここで転ばないでくれ)。

かいえてぃがー [kaietiga:]【接続詞】そうだったら、それじゃあ。【例】A：あちゃー　かでぃふつちゃ。　B：かいえてぃがー　あちゃー　いきまー　いかいん（A：明日は台風だってさ。B：だったら明日は池間は行けない)。あいえてぃがー　ばー　いかじゃーん（そうだったら私は行かない)。[変異] あいやいてぃがー、あいえてぃがー、あいやてぃがー、やいてぃがー、やてぃがー、えてぃがー。

かいくん [kaikun]【動詞】[m 語幹] 心配してない、（勝つ、できる）自信がある。【例】ばー　ういがまんな　まきんてぃどぅ　かいくみゅー（俺はそんなやつには負けない自信がある)。かいくんばらい（自信満々に笑うこと)。

かいしうす [kaiɕiusɨ]【名詞】台風の

吹き返しの風。 【例】かじゃー　かいしうすぬどぅ　まさりー　ちゅーかい（風は吹き返しの風が更に強い）。［変異］かいしうつ、かいしふつ、かいすうす、かいすうつ、かいすふつ。

かいしうつ [kaiçiutsɨ]【名詞】台風の吹き返しの風。 ［変異］かいしうす、かいしふつ、かいすうす、かいすうつ、かいすふつ。

かいしき [kaiçiki]【名詞】食べ物を盛る器。

かいしふつ [kaiçifutsɨ]【名詞】台風の吹き返しの風。 ［変異］かいしうす、かいしうつ、かいすうす、かいすうつ、かいすふつ。

かいす [kaisɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（手などを）返す；（借りたものを）返却する。 【例】てぃーゆ　かいす（（踊りなどの所作で）手を返す）。かいんかいぬ　うんっじゃ　いつがみまい　かいはいん（彼への恩義はいつまでも返せない）。

がいず [gaizɨ]【副詞】とても、非常に。 【例】かぬ　みどぅんな　がいず　しゃしんばい　ひとぅ（あの女性はとても写真写りがいい）。うらー　がいず　そぅぎゃうや　あい　ひとぅ（彼はとても格好の良い人）。

がいず [gaizɨ]【名詞】［C］駄々をこねること、わがまま、めいわく。 【例】んまんかいや　がいっじゅ　あすな（［お母さんがこどもにさとし聞かせている状況］母さんには駄々こねないで）。くぬ　やらびゃー　いつまい　んまんかい　がいっじゅ　あす（この子はいつも母親に駄々をこねる）。ひとぅーぎゃー　がいっじゅぎゃー　ほぅん（人を邪魔しない［＞してはいけない］）。がいずびとぅ（邪魔ばかりする人）。

かいすうす [kaisɨusɨ]【名詞】台風の吹き返しの風。 ［変異］かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かいすうつ、かいすふつ。

かいすうつ [kaisɨutsɨ]【名詞】台風の吹き返しの風。 【例】かでぃぬかいすうつんなかじゃーにゃーん（風は吹き返すとき無風状態になる［台風の目に入り風が逆向きに吹き返すその直前いったん無風状態になること］。［変異］かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かいすうす、かいすふつ。

かいすふつ [kaisɨfutsɨ]【名詞】台風の吹き返しの風。 ［変異］かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かいすうす、かいすうつ。

かいな [kaina]【名詞】［B］腕（かいな）。 【例】やぐみ　かいな（大きな（立派な）腕）。ずみぎ　かいな（逞しそうな見事な腕）。

がいにん [gainin]【名詞】変人、へそ曲がり。 ［類］がいずびとぅ、がいずんまり。

かいぬ [kainu]【連体詞】こんな。【例】かいぬ　むぬ（こんなもの）。かいぬ　んまむぬーぎゃー　ふぁいや　みーん（こんなにおいしいものは食べたことがない）。かいぬ　んまっふぁにゃーん　むぬー　ふぁーいん（こんなまずいものは食べられない）。

かいまたさなず [kaimatasanazɨ]【名詞】クラゲ。

かいやてぃがー [kaijatiga:]【接続詞】そうだったら、それじゃあ。【例】A：あちゃー　かでぃふつちゃ。　B：かいやてぃがー　あちゃー　いきまー　いかいん（A：明日は台風だってさ。B：だったら明日は池間は行けない）。あいえてぃがー　ばー　いかじゃーん（そうだったら私は行かない）。［変異］あいやいてぃがー、あいえてぃがー、あいやてぃがー、やいてぃがー、やてぃがー、えてぃがー。

かいらく [kairaku]【名詞】態度、動作などが定まっていない様子、体がふらつく様子。【例】まーぬ　かいらくー　あすな（どっちつかずの態度を取るな）。びゅーいびとぅぬ　かいらくんなりー　あいきー　まーりゅー（酔っぱらいがふらつきながら歩き回っている）。

かいらす [kairasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（ものを）ひっくり返す、（人を）転ばす。【例】いっそぅ　かいらす（石をひっくり返す）。やらびゅー　はっじゃ　とぅいー　かいらすたい（子供を足を引っかけて転ばした［「とぅい（取る）」は足でひっかけることも意味する］）。

かう [kau]【動詞】［w 語幹］［A］買う。【例】まいゆ　かう（コメを買う）。たかからばんまい　やすからばんまい　なうやらばんまい　かーでぃ（（値段が）高かろうが安かろうが何でも良いから買います）。ひとぅぬ　やどぅゆんぬぎゃー　かーん（他人のけんかは買わない）。くまなぎぬ　とぅくぬー　たかかいば　かーいん（ここらへんの土地は高くて私には買えない）。

かう [kau]【名詞】［B］線香。【例】かんにがいんな　かうゆどぅ　たつ（祈願には線香を焚く）。

かう [kau]【形容詞】［B］痒い。【例】さみ　かうしゃーや　いでぃー　かうかいば　ならん（疥癬が出て痒くてならない）。かうからばんまい　かかだうり（かゆくても掻くな）。かうかい　とぅくまう　かつ（痒い所を掻く）。

がう [gau]【副詞】物を噛むときの様子を表す擬態語、がぶり。【例】べーばが　ほぅーゆびゅー　がうてぃーかみ（さー私の親指をがぶりと噛め）。［類］がうがう。

がう [gau]【助数詞】米や酒などを測る単位、１合は１８０ cc。【例】いつがう（１合）。まいゆ　さんがう　かいーくー（コメを３合買ってこい）。

がう [gau]【名詞】[C] 量、計量。【例】がうや　たらーん（(計量の間違いで)量が不足している)。

かうー [kau:] ①【動詞】[vv 語幹幹] [C]（布団を自分に）かける、(帽子を）かぶる、(眼鏡を）かける。【例】やりずんぬ　かっづぃー　にゅー（古着をかけて寝る)。ぼーしゅー　かうー（帽子をかぶる)。みがにゅー　かうー（眼鏡をかける)。[類] かっづぃ。②【動詞】[vv 語幹幹] [C]（水を）被る。【例】ひぐる　みっじゅ　あみかうー（冷たい水を頭からあびる)。[類] かっづぃ。③【動詞】[vv 語幹幹] [C]（借金を）被る、(罰を）受ける、(恩義を）受ける。【例】っづぁー　かいが　うっかう　かっづぃ（お前は彼の借金を被れ)。ひとぅー　すてぃじゃん　あすてぃがー　ういが　ばっちゅどぅ　かうー（人をないがしろにしたらその罰を受ける)。うんっじゅ　かうー（恩義を受ける)。[類] かっづぃ。

がうい [gaui] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C] 参る、降参する、負ける。【例】ばーみどぅんかいや　がうりーどぅー（私は妻には参っている)。うぬきゃうぎゃー　がういきゃたーひー　あっじーならーし（彼らをもう降参だというまで教え諭しなさい)。[類] がーい。②【動詞】[r/rr 語幹] [C]（基本形について)～し飽きる、参る。【例】みーがうりーどぅー（見飽きている)。わーゆぎゃー　ふぁうがうりーどぅー（豚肉はもう食べ飽きた)。[類] がうり。

がうがう [gaugau]【副詞】擬態語、食事を元気よく食べるときの動作や音を表す、がぶがぶ、がつがつ。【例】がうがうてぃー　ふぁい（元気よく食べなさい)。

かうがま [kaugama]【名詞】臆病、引込思案、臆病な人。【例】かうがまやらび（引込思案の子供)。からー　むいとぅぬ　かうがま（あいつはとても臆病だ)。かうがまんな　なうまい　ひらいん（臆病者者には何もできない)。

かうき [kauki]【形容詞】[B] 食べ物を欲しがる、食いしん坊（であること)。【例】かりゃー　いつまい　かうき（あいつはいつも食べ物を欲しがる)。かりゃー　かうきびとぅ（あいつは食べ物を欲しがる食べ物を欲しがる人だ)。くぬ　やらびゃー　むいとぅ　かうき（この子はとても食いしん坊だ)。

かうきゃ [kaukja]【名詞】[C] 食べ物を欲しがる人、食いしん坊。【例】かりゃー　かうきゃ（彼は食べ物を欲しがる食べ物を欲しがる人だ)。

かうさだい [kausadai]【形容詞】(頭髪が）ばさばさで不潔な。【例】かうさだい　やらび（頭髪がばさばさで不潔な子供)。からー　いつまい　かうさだい（あいつはいつも頭髪がばさばさで不潔だ)。

かうさだり [kausadari]【形容詞】(疥癬などできて）掻いた後肌がひどく荒れること。 【例】かりゃー むいとぅの かうさだりびとぅ。

かうさだりゃ [kausadarja]【名詞】(頭髪が）ばさばさで不潔な人。 【例】あかうまい あらーん かうさだりゃ(髪も洗わない不潔な奴)。

かうしゃー [kauɕa:]【名詞】疥癬（かいせん)。 【例】かうしゃーん ないてぃがー かうかいば ならん（疥癬になると痒くてしかたがない)。かうしゃーや ひー どぅーや さみんなりゅー（疥癬で身体はサメ肌になっている)。

かうす [kausɨ]【名詞】[C] 女性が頭に物を乗せて運ぶ時に使う、茅でできた輪っかのクッション。 【例】ゆーくいんな ぱーたー かうっさ かっづぃー よーんてーるてぃ あいっちゃーん すまう あいきーまーい（ユークイにはおばあさんたちは世を豊かにして下さいと言いながら集落を歩き回る)。

かうず [kauzɨ]【名詞】[B] 麹（こうじ)。 【例】かうっじゃ ちゅっふぃーからどぅ んそぅーぎゃー つきー(麹を作った後に味噌を漬ける)。かうっじゃ んめ たてぃーどぅー（麹はもうカビが発生している)。

かうすばら [kausɨbara]【名詞】粟収穫時に「かうす」でできたマメ。

かうつつ [kautsɨtsɨ]【名詞】線香を入れる竹製の筒。 【例】んきゃーんぬななむいぬ ぱーたー かうや かうつつんかい いりどぅ うたきんかい いきゅーたい（昔のナナムイのおばあさん達は線香を竹筒に入れて御嶽に行っていた)。

がうみつ [gaumitsɨ]【動詞】[k 語幹] がつがつと食べる。 【例】むぬーぎゃー がうがうてぃー がうみきー ふぁい（飯を元気よく食べなさい)。[変異] がうみふ。

がうら [gaura]【名詞】[C]〖果物・野菜〗ニガウリ。 【例】がうらー んぎゃ（ニガウリは苦い)。

がうり [gauri]【動詞】[母音語幹] [C] 飽きる、参る。 [類] がうい。

かうる [kauru]【名詞】[C] 香炉。【例】うたきんな かうるぬどぅ あい（ウタキには香炉がある)。

かかい [kakai]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 接触する、関わる。 【例】うぬ まかいんかいや かかいな（このお椀には触るな)。やなびとぅんかいや かかいな（悪い人には関わるな)。

かかい [kakai]【名詞】[C] 障害。【例】なうぬ かかいてぃや にゃーん（何の障害もない)。

かかいっじゃんふ [kakaiʑʑanfu]【形容詞】(こどもが）まとわりつく；(木などが）引っかかる；(子供などがまと

わりついて）イライラする；（木などに引っかかって）引っかかってイライラする。 【例】やらびゃー　かかいっじゃんふかいば　すかままい　いかいん（こどもがまとわりついて仕事にも行けない）。さるかぎーや　かかいっじゃんふかいばならん（サルカケミカンの木（の刺）は引っかかってイライラしてならない）。

かかっず [kakazzɨ] 【動詞】［zz/dd 語幹］引っ掻く、引っかかる、掻き集める。 【例】まゆん　かかっじゃいたい　とぅくまぬ　ほぅがさん　なるー（猫に引っかかれたところが化膿している）。さるかん　かかっじゃいにゃーん（サルカに引っかかった［サルカは棘のある木］）。あーさう　かかっじー　とぅい（アオサを掻き集めて取れ）。

かかみきゃ [kakamikja] 【名詞】慌て者。 ［類］ちゃーふきゃ、とぅとぅっふや、とぅっふや。

ががら [gagara]【接尾辞】「なうががら（何か）」、「いつががら（いつか）」、「んじゃががら（どこか）」などのように、疑問詞の後について不定名詞を作る。「～がら」でもよい。 【例】かまんどぅ　なうがからぬ　あい（あそこになにかある）。いつがから　じょ　いじゃーでぃ（いつか一度会いましょう）。なうやひーがから　うまん　でぃんぬ　あるー（なぜかここにお金がある）。

ががら [gagara] 【接尾辞】節のあとについて疑問詞節を作る、～か、～のか。 【例】やーぬ　かぎゃー　んじゃんかい　うきゃーがから　むいとぅ　とぅみらいん（家の鍵はどこに置いたのか全然見つからない）。ばぬんな　うらー　なうばいどぅ　ちゅっふゃーがから　っさいん（私にはそれはどうやって作ったのかわからない）。かりゃー　うっかぬ　はーさ　あたいがから　ふっでぃー　すにーにゃーん（彼は借金が沢山あったのか首をくくって死んでしまった）。いじゃどぅ　いじゃがから　さだかーひらい（どこかどこかわからない）。かりゃー　なうゆどぅ　かんがいゆーがから　っさいん（あいつは何を考えているかわからない）。

かがん [kagan]【名詞】［B］鏡。 【例】っづぁが　ぬどぅぬ　すかたいゆ　かがんひー　みーみーる（あなたの首の皺を鏡で見てみなさい）。

かき [kaki]【動詞】［母音語幹］［C］（秤で）計量する。 【例】さたう　はかいひー　かきー　かう（黒糖を秤で計量して買う）。

かき [kaki]【動詞】［母音語幹］［C］（声を）掛ける、ものを（何かに）掛ける、。 【例】からー　みんぐ　やいば　やぐいゆ　かきる（彼は耳が遠いから大声を掛けろ）。びらふー　うまんかい　かきる（カゴをそこに掛けろ）。

かぎ [kagi]【名詞】［C］陰、影。 【例】てぃだー　あたらん　きーぬ　かぎ（太

陽の当たらない木の陰)。うまー　あつかいば　かぎがまん　いきー　すなー　かがま　びじゅーき（そこは暑いから陰に行って静かに座ってなさい)。

かぎ [kagi]【形容詞】[B]（見た目が）美しい；（心が）きれいだ；（日取りなどが）良い、めでたい。【例】あやばさー　かぎむぬがま（蝶は美しいものだ)。かぎ　ずっちゅ（綺麗な月　[＞満月]）。つむかぎ（親切な人)。かりゃー　あら　かぎ　なか　やり　やいば　かいがつむぬ　なかー　ゆまいん（彼は外面はいいが彼の心の中は読めない)。きゅーや　かぎ　みゃーくずっちゃ　んかいさまい　おめでとーございます（今日は麗しいみゃーくずつを迎えられておめでとうございます)。

かぎさ [kagisa]【名詞】[C]（見た目が）美しいこと、（心が）きれいなこと；（日取りなどが）良い、めでたいこと。【例】そぅるいどぅ　かぎさ（集まることがめでたい)。

かぎそぅがい [kagisugai]【成句】盛装、おしゃれして着飾ること。【例】ささぎゆーいんかいや　かぎそぅがいや　ひー　いかでぃ（結婚式には盛装して行こう)。

かぎでぃー [kagidi:]【名詞】（仕事ぶりが）きちんとしている。【例】かぎでぃー　じゃやふ（腕のいい大工)。[類]くまでぃー。

かきら [kakira]【名詞】[B]欠片（かけら)。【例】かーらぬ　ひとぅかきら（瓦の一かけら)。

かきらいん [kakirain]【動詞】[母音語幹]言うことを聞かない[＜「かき（掛ける）の可能否定「かけられない」]。【例】かきらいん　やらび（言うことを聞かないどうしようもない子供)。ぎっじゃ　ひらいん　かきらいん　ぎずぎゃうな（言うことを聞かすことのできない、手に負えない腕白坊主)。

がぐ [gagu]【名詞】[C]縮れ毛；縮れ毛の人。【例】かぬ　みどぅんがまー　がぐがま（あの娘は縮れ毛だ)。

かくまらす [kakumarasi]【動詞】[s/h語幹]縮めさせる。【例】うとぅるすかいば　どぅーゆ　かくまらし（怖いので身体を縮めさせろ)。

かくん [kakun]【動詞】[m 語幹][C]囲む。【例】っぞぅー　あんひー　かくん（魚を網で囲む)。

かくん [kakun]【動詞】[m 語幹][C]（身体の一部を）折る、屈める。【例】あてぃ　っしかいば　どぅーゆ　かくみゅー（余りにも寒いので身を屈めている)。うとぅるすかいば　どぅーゆ　かくん（怖いので身体を縮める)。[変異]がぐん。

がぐん [gagun]【動詞】[m 語幹][C]（身体の一部を）折る、屈める。【例】はっじゅがぐん（足を折って座る[＞

正座、あぐらなどを指す]）。［変異］かくん。

かさ [kasa]【名詞】［B］麻疹（はしか）。【例】かさがまぬどぅ　はやりゅー（麻疹が流行っている）。ういびとぅ　なりーからぬ　かさ　いじゃー　やぐみぐとぅ（年取ってから麻疹になることは大変なことだ）。やらびゃー　かさーいでぃどぅ　ぬーっじゅー（子供は麻疹が出て唸っている）。

かさき [kasaki]【副詞】こんなに沢山。【例】でぃんな　かさき　あふりーどぅ（お金はたくさん溢れている）。

かさに [kasani]【動詞】［母音語幹］［A］重ねる。　［類］かさん（m 語幹）、かさみ。

かさび　かぎさ [kasabi kagisa]【成句】良いことが重なって素晴らしいこと。

かさます [kasamasɨ]【形容詞】悔しい；面白くない、イライラしている。【例】かいん　だまはいー　かさますかいば　ならん（彼に騙されて悔しくてしかたがない）。ばー　かさますかいば　ばたー　むぎゃっりーどぅーい（私はくやしくていきり立っている）。

かさみ [kasami]【動詞】［母音語幹］［A］重ねる。　［類］かさん（n 語幹）、かさに。

がさみ [gasami]【名詞】［C］《生物》マングローブガサミ。

かさみき [kasamiki]【動詞】［母音語幹］イライラする。　［類］かさみつ。

かさみき [kasamiki]【形容詞】落ち着きがない。　［類］かさみつ。

かさみつ [kasamitsɨ]【動詞】［k 語幹］苛立つ、イライラする。【例】つむー　かさみきーどぅー（イライラしている［＜心がイライラしている］）。きゅーや　かさますかいば　かさみきーどぅー（今日は面白くないので苛立っている）。かの　やらびゃー　いつまい　かさみきーどぅー（あの子どもはいつもいらいらして落ち着かない）。［変異］かさみふ。［類］かさみき（母音語幹）。

かさみつ [kasamitsɨ]【形容詞】落ち着きがない。【例】かの　やらびゃー　かさみつんまり（落ち着きがない人）。かさみつ　やらび（落ち着きのないこども）。［変異］かさみき。

かさみふ [kasamifu]【動詞】［k 語幹］苛立つ、イライラする。　［変異］かさみつ。［類］かさみき（母音語幹）。

かさん [kasan]【動詞】［n 語幹］［A］重ねる。　［類］かさん（m 語幹）、かさに、かさみ。

かさん [kasan]【動詞】［m 語幹］［A］重ねる。　［類］かさん（n 語幹）、かさに、かさみ。

かさん　ぶん [kasan bun]【成句】重ね盆、更なる祈願盆。

かし [kaʒi]【名詞】［B］織り糸。

かしー [kaɕi:]【名詞】［C］加勢、手伝い。【例】やーふつかしーゆ　あす（家づくりの手伝いをする）。ばーきゅーやまーやにゃーんばかしーやひらいん（今日は時間がないので手伝いはできない）。

かしぎ [kaɕigi]【名詞】［C］紡いだ糸を巻き取って糸の長さを測るH型やX型の道具。桛木（かせぎ）。

かじゃ [kaʑa]【名詞】［B］におい、かおり。【例】さきかじゃ（酒のにおい）。やまがらかじゃ（野生の生き物の臭い）。かじゃう　かん（臭いを嗅ぐ）。なんつつかじゃ（焦げ臭いにおい）。ぴーかじゃ（ニンニクの臭い）。がばかじゃ（加齢臭）。あしかじゃ（汗の臭い）。かばすかじゃ（香ばしいかおり）。

かじゃー [kaʑa:] ①【形容詞】［C］ずっと遠い。【例】ぶらー　かじゃー（保良はずっと遠い）。［類］ゆーかーま。②【名詞】［C］ずっと遠く。【例】からーかなだぬ　かじゃーからどぅ　っちゅー（あいつははるかカナダから来ている）。［類］ゆーかーま。

かじゃう [kaʑau]【形容詞】［B］風が強いこと。【例】きゅーや　かじゃうかいば　ならん（今日は風が強い）。

がじゃてぃ [gaʑati]【オノマトペ】（木、紙、髪などを切るようすを表す擬音を）バサッと、バッサと、ビリッと。【例】きーゆぎゃー　がじゃてぃ　きり（木をバッサと切れ）。がじゃてぃーかびーゆ　さつ（ビリッと紙を裂くさく）。あかう　かじゃてぃ　そぅい（髪をバサッと切る）。

かじゃまーい [kaʑama:i]【名詞】急激に風向きが変わること、急激に強風になること。【例】いーかじゃまーい（急激に北向きの強風になること）。いーかじゃまーいぬ　ふーぎかいば　じょー　はやまり　やーんかい　はらでぃ（北からの突風が来そうだから、さあ早く家に帰ろう）。［類］かでぃまーい。

かじゃまき [kaʑamaki]【名詞】（虫や植物で）皮膚がかぶれること。【例】やまんかい　はいりどぅ　かじゃまきゃー　ひーゆー（山に入ってむしかぶれしている）。かじゃまきぬ　とぅきゃんな　やりさばう　あっづゅーとぅい　うりゅー　かうかい　とぅくまんかい　あたらすきゃー　なういどぅす（藪のなかに入ってかゆくなった時には古い草履をあぶっておいて、それをかゆいところにあてると治る）。

がじゃみつ [gaʑamitsɨ]【動詞】［k語幹］（人で）混雑する、ががやがやとうるさい。【例】はーさぬ　ひとぅぬどう　がじゃみきゅー（多くの人々で混雑している）。やらびんみぬどぅ　がじゃみきゅー（子供達ががやがやとうるさい）。［変異］がじゃみふ。

がじゃみふ [gaʑamifu]【動詞】［k語幹］（人で）混雑する、ががやがやとうる

さい。［変異］がじゃみつ。

かじゃん [kaʑan]【名詞】［C］蚊。【例】かじゃんー　ささいー　っさんˀんぱずん　ないちゃ（蚊に刺されて象皮病になるんだって）。

かじゅーす [kaʑu:si]【動詞】［s/h 語幹］増やす。【例】やーふつ　にんじゅー　かじゅーし（家づくりの人員を増やせ）。ういんかいや　んめ　ひーちゃがま　かじゅーし（これにはもう少しだけ増量しなさい）。

かじゅい [kaʑui]【動詞】［母音語幹］［C］（人数やものの量が）増える、～より多い。【例】くとぅっさ　くじゅんつきゃー　やらびゃー　かじゅいーどぅー（今年は去年より子供の人数が増えた）。すまぬ　ひとぅんみゃー　かじゅいーはたい（村の人口は増えていった）。っうぁが　たまー　かいが　たまんつきゃー　かじゅいーどぅー（あなたの分け前は彼の分け前より多い）。

かす [kasi]【動詞】［s 語幹］［A］貸す。【例】でぃんぬ　かす（金を貸す）。

かす [kasi]【名詞】［B］糟、粕、滓、不要なもの。【例】っうぁ　むいとぅぬかす（お前は全くのカスだ）。

かず [kazi]【名詞】［B］舵、管理、仲良くやること、いうことを聞かすこと。【例】ふにぬ　かっじゅ　とぅい（船の舵をとる）。っうぁが　かっじゃ　とぅらいん（あなたの舵は取れない［＞あなたとは上手くやっていけない］）。やらびんみぬ　かっじゃ　とぅらいん（子供に言うことは聞かせられない）。ぶとぅぬ　かっじゃ　とぅらいん（旦那の管理はできない）。

がす [gasi]【オノマトペ】ごっそり、全て。【例】はーさぬ　むぬ　あたいそぅが　がすてぃー　ふぁーいーにゃーん（たくさんの食べ物だったが全て食べられてしまった）。

がず [gazi]【名詞】［B］物を吊り下げるもの、鉤（木製もある）。【例】びらふー　がずんかい　さぎー（籠を鉤に下げる）。

がず [gazi]【名詞】［B］お金やものを出し惜しみすること；けちな人、お金やものを出し惜しみする人。【例】がっじゃひー　ういてぃがー　うやきんな　ならいん（けちけちしていては金持ちにはなれない）。

がず [gazi]【形容詞】［B］けちだ、お金やものを出し惜しみする。【例】ほぅーらーす　がずんまり（見せびらかしのケチ）。がずんな　うやきん　ならいん（ケチは金持ちにはなれない）。

かすい [kasii]【動詞】［r/rr 語幹］［C］かする、かかる。【例】んなまぬ　かでぃふっちゃ　みゃーくんかいや　かすいや　とぅんま　ほぅん（今度の台風は宮古にはかすりもしない）。［類］かかい。

かすかう [kasɨkau] 【形容詞】むず痒い；(幽霊などがでそうで) ぞくぞくする。 【例】あだんぬ　ばっそぅ　ふぁうてぃがー　かすかうむぬ (アダンの身を食べたらむずかゆい)。うまー　まずむぬぬ　いでぃぎかいば　かすかうむぬ (そこは幽霊が出そうでぞくぞくする)。

かずつ [kazɨtsɨ] 【名詞】［C］〖生物〗〖食〗バフンウニ。 【例】かずっちゃうんかいばどぅ　うんかずつてぃーあっじゃいーゆーびゃーい (ウニは大食いだから大食いウニと呼ばれているのだろうか)。［変異］うんかずつ。

がずはなぎー [gazɨhanagi:] 【名詞】ガジュマルの木。 【例】はいぬ　かつんな　がずはなぎーぬどぅ　ういゆー (畑の垣根にガジュマルの木を植えている)。

かた [kata] 【名詞】［B］味方。 【例】せんきょぬ　とぅきゃんな　うなが　かたぬ　はーさからだかー　かちゃいん (選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。かりゃー　かまぬかた (彼は向こうの味方)。

かた [kata] 【名詞】［C］〖昆〗バッタ。 【例】はーかがた (タイワンツチイナゴ)。ぬーまぬ　ふらがた (クルマバッタ)。うななぎんな　かたぬどぅ　はーさうい (ここらへんにはバッタが多い)。はいぬ　むぬー　かたん　むいとぅふぁーいーゆー (作物がバッタの被害にあっている)。

かた [kata] 【形容詞】［A］(味などが) 濃い、(間が空いていない) 密な。 【例】かたちゃー (濃いお茶)。かたんっつー (濃厚な味噌汁)。くまー　あーぬ　たにぬ　あてぃ　かたまっちゃ　ひーゆーば　あとぅん　っさう　とぅらだかー　ならん (粟の種を密にまきすぎたのであとで間引きしないといけない)。

かたー [kata:] 【名詞】［B］体に障害のある人。 【例】かたー　むぬ (身体の不自由な人)。

かたーっうぁ [kata:vva] 【名詞】身体不自由な子供。 【例】かたーっうぁがまー　つんだらすむぬ (体の不自由なこどもはかわいそうだ)。

かたーむぬ [kata:munu] 【名詞】体に障害のある人。

かたあき [kataaki] 【名詞】役目、役割。 【例】んまーっざう　つかなうやっうぁが　かたあき (両親の介護はあなたの役目だ)。ぬーまぬ　っさかいや　やらびんみぬ　かたあき (馬の草刈りは子供たちの役目だ)。うぬ　すかーまー　っうぁが　かたあき (その仕事はお前の役目だ)。ひんじゃぬ　っさかいぬ　かたあきゅー　やらびんかいびす (山羊の草刈りの責任を子供に負わせる)。

かたい [katai]【名詞】[C] 親戚。【例】くらー　ばが　かたいぬ　むくどー（これは親戚関係の婿だ）。[類] はらうず、うとぅじゃ。

かたいしゃ [kataiça]【名詞】〖遊〗足の親指を捕まえてケンケンする子供の遊び。

かたうき [katauki]【動詞】[母音語幹] 傾く。【例】んみゃ　ひーちゃ　かたうきてぃがー　たういどぅすはず（もう少し傾いたら倒れるはずだ）。[変異] かたうつ。

かたうさ [katausa]【名詞】かさぶた。【例】かたうさ　いじゅーば　んめほぅがさー　なうりーどぅー（かさぶたができているからもうおできは治っている）。

かたうた [katauta]【名詞】片隅、（人の体の）横、となり。【例】うりゅーぎゃー　かたうたん　うっき（それは片隅に置け）。ばが　かたうたんかいくー（私の横に来なさい）。

かたうつ [katautsɨ]【動詞】[k 語幹] 傾く。【例】かたうきー　みーみーる（傾いて見てごらん）。ますぎたー　かたうきーどぅ（（その）石垣は傾いている）。[変異] かたうき。

かたうふ [kataufu]【動詞】[k 語幹] 傾く、傾ける。【例】かなまいゆ　かたうふ（頭を傾ける）。[変異] かたうつ。

かたか [kataka]【名詞】[C] 風、陽の当たらない所、物陰、さえぎるもの。【例】うまー　っしかいば　かたかがまん　いきー　すなーかがま　びじゅーき（そこは寒いので風の当たらないところに行ってじっとしていなさい）。やらびぬ　かたかん　ない（子供の遮蔽（しゃへい）になって子供を守る［＞身をもって子供を守る］）。うまーあつかいば　きーぬ　かたかがまんかい　いき（ここは暑いので木陰に行きなさい）。かでぃふつんな　かたかんかいや　かじゃー　まーぬ　あたらん（台風のときは物陰には風はあまり当たらない）。

かたかす [katakasɨ]【名詞】〖魚〗通称：オジサン、和名：オオセジヒメジ。

かたかなまい [katakanamai]【名詞】偏頭［「かたかなまいぬ　やん（偏頭痛がある）」の形で使われる］。【例】かたかなまいぬどぅ　やんかいばならん（偏頭痛で頭が痛い）。

かだき [kadaki]【副詞】こんなに、こんな高さ、こんなに沢山。【例】ばー　でぃんな　かだきあり（私はお金は沢山ある）。

かたぐー [katagu:]【形容詞】固い、水の量が少なくて粘度が多すぎる。【例】かたぐー　いす（固い石）。くぬ　かーっさ　かたぐーかいばならん（この菓子はかたくて仕方がない）。くぬ　みりきんぐーや　かたぐーかいば　みっじ

ゅ　んめ　ひーちゃがま　いりる（このメリケン粉は固めだから水をもう少し入れろ）。［類］くぱ。

かただり [katadari]【形容詞】こってりしている。【例】くぬ　んーだりゃー　やぐみ　かただりかい（このいもがゆはとてもこってりしている）。くぬ　んーだりゃー　かただりかいば　んめ　ひーちゃがま　みっじゅ　いりる（この芋かゆはこってりしているのでもう少し水を入れろ）。

かたてぃーむぬ [katati:munu]【名詞】独り者（男女とも）。【例】かりゃー　ぶとぅー　みーん　かたてぃーむぬ（彼女は夫のいない独り者だ）。［類］たうかーむぬ。

かたとぅき [katatuki]【名詞】片時、一瞬。【例】やらびゅーぎゃー　かたとぅきまい　みーゆぎゃー　はなすな（子供から片時も目を話すな［＜子供を］）。つゆがはな　かたとぅきよ（露の花一瞬よ［古謡「豆が花」から］）。

かたな [katana]【名詞】［C］包丁。

かたぶい [katabui]【名詞】片ぶり、一方で日が照って他方では雨が降ること。【例】かまー　てぃだー　いじゅーそぅがどぅ　くまー　かたぶいや　ひーゆー（向こうは日が照っているがここは片ぶりしている［＞こちら側は雨が降っている］）。

かたぶいあみ [katabuiami]【名詞】片ぶり雨。

かたふっじゃから [katafuzzakara]【副詞】片っ端から。【例】かたふっじゃから　んななない　ふぁい（片っ端から全部食べろ）。でぃんぬ　すてぃーにゃーん、じょー　かたふっじゃから　とぅみでぃ（お金を落としてしまった。くまなく探そう）。

かたまい [katamai]【動詞】［r/rr 語幹］固まる。【例】せめんな　かたまりーにゃーん（セメントは固まった）。

かたみ [katami]【動詞】［母音語幹］［C］担ぐ。【例】ぶーっじゅ　かたみる（サトウキビをかつげ）。

かたみ [katami]【名詞】［C］形見。【例】んまが　かたみ（母親の形見）。

かたみー [katami:]【名詞】片目。【例】かさがまんどぅ　にっちゃ　いでぃー　かたみーや　みーだ　んぎーにゃーん（麻疹で熱が出て片目は見えなくなった）。

かたむす [katamusɨ]【名詞】肩。【例】やらびあいきゃー　っざが　かたむすんかい　うんそぅく　ぬーいたい（子供の頃は父親の肩車に良く乗ったものだ）。やらびゃー　ひとぅいがーまーす　くんぎー　かたむすまい　ふくりーうたい（子供を一日中おんぶして肩もはれていた）。かぬ　みどぅんな　ばが

かたむす　だつ（あの女性は私の肩の高さだ）。

かたゆい [katajui]【動詞】［r/rr 語幹］片寄る。【例】ひだいんかいどぅ　かたゆりゅー（左に片寄っている）。

かたん [katan]【動詞】［m 語幹］［C］担ぐ。【例】ぶーっじゅ　かたみ（サトウキビをかつげ）。うらー　ばぬんな　んぶかいば　かたまいん（それは私には重くて担げない）。［類］かたみ。

かちゃ [katɕa]【名詞］[B] 蚊帳。【例】なつんな　ゆさらびん　ないてぃがー　かちゃう　はいたい（夏には夕方になると蚊帳を張った）。

かつ [katsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（かゆいところを）掻く。【例】かうからばんまい　かかだうり（かゆくても掻くな）。っさぶきゅー　かつ（フケを掻く）。［変異］かふ。

かつ [katsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］枯れた下葉、下枝等を取る；（石などについているアオサなどを）取る。【例】ぶーずぬ　はーゆ　かつ（サトウキビの枯れた下葉を取る）。ふらばまんきー　あうさ　かつが（大浦湾にあおさを取りに（行こう））。［変異］かふ。

かつ [katsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［C］勝る、勝つ。【例】すまう　とぅいてぃがー　っづぁんな　いつまい　かつどぅす（相撲を取るとお前にはいつでも勝つ）。せんきょぬ　とぅきゃんな　うなが　かたぬ　はーさからだかー　かちゃいん（選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない）。

かつ [katsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（汗を）かく。【例】にゅーあしゅー　かつ（寝汗をかく）。［変異］かふ。

かつ [katsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］組み立てる。【例】ぶだいゆ　かつ（舞台を組み立てる）。［変異］かふ。

かつ [katsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］書く。【例】きつぎ　ずーゆ　かつ（きれいな字を書く）。いーなずきんかい　てぃがみゅー　かつ（許嫁に手紙を書く）。かきーうっちゃす（書いて写す）。かつやっづぃ（書き損じ）。またがつ（書き直し［＜二度書き］）。［変異］かふ。

かつ [katsɨ]【名詞］[B] 垣根。【例】いすがつ（石垣）。はいぬかつ（畑の垣根）。やすつぬ　かつ（屋敷の垣根）。［類］かつに。

がっづぁ [gavva]【オノマトペ】（頭などを）ゴツン（と叩く）、（戸などを）ドンドンと叩く。【例】かなまいゆ　がっづぁ　ったつ（頭をゴツンと叩く）。やどぅー　がっづぁてぃ　ったつ（戸をドンドンと叩く）。

がっづぁみつ [gavvamitsɨ]【動詞】［k 語幹］たくさんいる。【例】っぞぅんな　はいぬどぅ　がっづぁみきー　たかりゅー（魚には蝿が沢山集っている）。［変異］かっうˇぁみふ。

がっづぁんなりー [gavvannari:] 【成句】ぶんぶんと羽音をたてる。【例】っさりっぞぅんな　はいぬどぅ　がっづぁんなりー　たかりゅー（腐った魚には蝿がぶんぶんと羽音をたてて集っている）。［類］ぐっづぁんなりー。

かっづぃ [kavvi] ①【動詞】［母音語幹］［C］（布団を自分に）かける、（帽子を）かぶる、（眼鏡を）かける。［類］かうー。②【動詞】［母音語幹］［C］（水を）被る。［類］かうー。③【動詞】［母音語幹］［C］（借金を）被る、（罰を）受ける、（恩義を）受ける。【例】っづぁーかいが　うっかう　かっづぃる（お前は彼の借金を被れ）。［類］かうー。

がっこー [gakko:]【名詞】学校。【例】がっこーぬ　なー（戸籍上の名前）。やーにゃー　うまん　がっこーぬ　ちゅっふぁいがまた（来年そこに学校ができる）。

がっこーうむくとぅ [gakko:u-mukutu]【名詞】（学校で習う）知識。【例】にんぎんな　がっこーうむくとぅたーなひや　なうまい　ならん（人間は知識だけではどうしようもない）。

かっじゃ [kaʑʑa]【名詞】［B］鍛冶屋、屋号。【例】かっじゃぬ　きじゃら（カッジャのキジャラ［キジャラは神様の名前、人名としても使われた］）。［類］かんじゃーやー。

がっじゅい [gaʑʑui]【動詞】［r/rr 語幹］奪う。【例】かいが　むちゅーむぬー　がっじゅりー　とぅい（あいつが持っているものを奪い取れ）。［類］ばかう。

かったつ [kattatsɨ]【動詞】［k 語幹］抱く。【例】うぬ　なつっじゃ　っふぁがまう　かったきゅーき（この泣き虫のこどもを抱いておけ）。んきゃーん　やらび　あいきゃー　ぱーん　かったかい　んふばーりうたい（昔、こどものときは　おばあさんに抱かれてぬくもっていた）。みどぅん　びきどぅん　かったつ（男女が抱き合う）。［変異］かったふ。

かったふ [kattafu]【動詞】［k 語幹］抱く。［変異］かったつ。

かっちゅ [kattɕu]【名詞】［B］〖魚〗カツオ。【例】かっちゅぬ　がばーゆどぅ　だいばんてぃー　あい（カツオの大型の物をダイバンと言う）。

がっつり [gattsɨri]【副詞】まったく（そっくり）［似ていることの強調］。【例】うぬ　っざっふぁー　がっつりんーしーどぅー（その父子はほんとうによく似ている）。うぬきゃが　っざっふぁー　がっつり　ゆぬそぅい（その父子は全くそっくりだ）。

かつに [katsɨni]【名詞】［B］垣根。［類］かつ。

がつぬ [gatsɨnu]【名詞】［C］〖魚〗メアジ。【例】がつぬー　あんひー　が

にー（アジを網で囲み取る［＞囲み網でとる］）。

かっふ [kaffu]【動詞】［f 語幹］［C］隠れる。 【例】っづぁ　かまぬ　ほぅぎーぬ　てぃびん　かっふぃ（お前はあの大きな木の後ろに隠れろ）。［類］かっふぃ。

かっふぁす [kaffasɨ]【動詞】［s/h 語幹］隠す。 【例】でぃんぬぎゃー　かっふぁし（金を隠せ）。

かつみ [katsɨmi]【動詞】［母音語幹］［A］捕まえる。 【例】ぬそぅどぅー　かつみる（泥棒を捕まえろ）。んでぃんでぃ　っづぁが　てぃーゆ　かつみーみーみーでぃ（どれどれあなたの手を摑まえて（触って）みよう［＜触ってみてみよう］）。ぬそぅどぅー　かつみらいにゃーん（泥棒は捕まった）。

かっら [karra]【名詞】［C］居眠りして、こっくりする動作。 【例】ゆびゆーかひー　ににゅーや　かっらんなりゅー（昨晩、夜更かしして居眠りコックリしている）。

かっらみきー [karramiki:]【副詞】フラフラと。 【例】びゅーい　びとぅー　かっらみきー　あいきーまーるー（酔っぱらいはフラフラと歩き回っている）。

かつん [katsɨn]【動詞】［m 語幹］［A］捕まえる、握る、つかむ。 【例】ぬそぅどぅー　かつん（泥棒を捕まえる）。みどぅんぬ　てぃーゆ　かつん（妻の手を握る）。んまが　つんぬ　まいちゃう　かつん（母親の着物の裾をつかむ）。ぬそぅどぅー　かつまいーにゃーん（泥棒は捕まった）。

かてぃ [kati]【動詞】［母音語幹］［C］（おかずとご飯を）ちょっとずつ合わせて。 【例】まいゆ　っぞぅとぅ　かてぃー　ふぁい（ご飯に魚をおかずとして食べなさい）。おかっじゃ　はーさにゃーんば　かてぃがまひー　ふぁい（おかずは多くはないので少しずつ節約して食べなさい）。

かでぃ [kadi]【動詞】［母音語幹］［C］耕す、掘る。 【例】んーぬ　かでぃー（芋を掘る）。はいゆ　かでぃー（畑を耕す）。

かでぃ [kadi]【名詞】［B］風。 【例】あがいかでぃ（東風）。いーかでぃ（西風）。はいかでぃ（南風）。んすかでぃ（北風）。かでぃふつ（台風）。ゆぶすかでぃ（つむじ風）。かでぃまーい（風向きが変わること）。いーかでぃまーい（西風回り［＞前線の通過で西風が北風に変わること］）。きーぬ　はなんどぅ　かじゃー　ふつ（木の上の部分に風が吹く［＞上位のものが苦情などを受ける］）。

がでぃ [gadi]【動詞】［母音語幹］［C］（縄をなうなどのために）交差させる。 【例】みーつぬ　んˀなう　がでぃー　うぶ　んˀなう　なう（3 本の綱を交差させて碇綱を綯う）。

かでぃうす [kadiusɨ]【名詞】時化（しけ）。【例】きゅーや　かでぃうす　やいば　いんな　うりらいん（今日は時化だから漁には出られない）。［変異］かでぃうつ。

かてぃぬ [katinu]【連体詞】より以上の。【例】ぶとぅー　がず　やいそぅが　とぅっじゃ　うりゃー　かてぃぬ　がず（旦那はケチだが奥さんはそれ以上のケチ）。

かでぃぬ　かいすふつ [kadinu kaisɨfutsɨ]【成句】台風の目。【例】かでぃぬ　かいすふつんかい　はいーてぃがー　なうちゅんま　かじゃー　にゃーん（台風の目に入ったら全然風はない）。

かでぃふつ [kadifutsɨ]【名詞】台風。【例】ちゅー　かでぃふつ（強い台風）。んなまぬ　かでぃふっちゃ　みゃーくんかいや　かすいや　とぅんま　ほぅん（今度の台風は宮古にはかすりもしない）。

かでぃふつあみ [kadifutsɨami]【名詞】台風の前兆の雨。

かでぃまーい [kadima:i]【名詞】突風。【例】いーかでぃまーい（北からの突風）。［類］かじゃまーい。

かてぃむぬ [katimunu]【名詞】おかず。

がでぃらく [gadiraku]【名詞】（糸等が）絡むこと、もつれること、（人に）絡むこと。【例】いとぅー　がでぃらくんなりどぅ　なうちゅんま　はなはいん（糸がからまって全然離れない）。ばぬんかい　まーぬ　がでぃらく　あすな（あまり俺に絡むな）。

かどぅ [kadu]【名詞】［B］角。【例】かまぬ　かどぅ（向こうの角）。

かどぅ　かどぅ [kadu kadu]【名詞】この角あの角、あちらこちら。【例】みどぅんんみぬどぅ　かどぅ　かどぅん　むぬー　ゆみゅーたい（女性達があちらこちらでお喋りしていた）。

がどぅい [gadui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］奪い取る。【例】ぬそぅどぅんがどぅらいーにゃーん（盗人に奪い取られた）。かいが　でぃんぬ　がどぅり（あいつの金を奪え）。［類］ばかい。

かな [kana]【名詞】［B］下ろし金、鉋。【例】ほぅにゃう　かなひー　うらし（大根を下ろし金でおろせ）。きーゆ　かなひー　きっず（木を鉋で削る）。

かなーい [kana:i] ①【名詞】遠方。【例】ぶらー　むいとぅ　かなーいんあい（保良はずっと遠方にある）。［変異］かない。［類］ゆーかーま、かじゃー。②【名詞】昔、ずっと以前。【例】かなーいや　みどぅんまい　びきどぅんまい　からっじゅぎゃー　ゆっづぃどぅ　うたい（昔は女性も男性も髪を結っていた）。かなーいんな　うまー　はいどぅ　あたい（以前はそこは畑だっ

た)。[変異]かない。[類]ゆーかーま、んきゃーん。

かない [kanai] ①【名詞】[C]遠方。[変異]かなーい。[類]ゆーかーま、かじゃー。②【名詞】[C]昔、ずっと以前。[変異]かなーい。[類]ゆーかーま、んきゃーん。

かない [kanai]【形容詞】[A]仕事の良くできる。【例】かりゃー　いんかないびとぅ(彼は腕のいい漁師だ)。かいがどぅ　かないかいば　かいんかい　たぬみ(あの人の方が仕事の良くできるのであの人に頼みなさい)。

かなう [kanau]【動詞】[w 語幹][C](仕事などを)頑張る。【例】がんじゅーや　ひー　ゆー　かないーゆーんな?(元気でよく頑張っているか)。うなが　たまうぎゃー　かないーどぅー(自分なりに頑張っている)。うたきぬ　うだいゆぎゃー　わいてぃー　かなーでぃ(御嶽の役割はしっかり果たそう)。

かなう [kanau]【動詞】[w 語幹][C]叶う;気に入る。【例】うむいや　かなう(思いは叶う)。かぬ　みどぅんなばが　つむんな　かなーっだん(あの女性は私の気持ちにはそわなかった)。

かなぎ [kanagi]【名詞】[C]これくらいの(長い)長さ。【例】ぶーずぬながさー　かなぎ　ありーどぅー(サトウキビの長さはこんなに長い)。

かなさ [kanasa]【名詞】[C]〖人名〗[男女ともに使う]。【例】あぱらぎ　かなさがま(可愛いカナサちゃん)。

かなす [kanasɨ] ①【動詞】[s/h 語幹][A]好きだ、愛している、大切にしている。【例】ばー　とぅっじゅぎゃー　かなはん(私は妻を愛していない)。ぶとぅー　かなす(夫が好き)。②【形容詞】[A]好き、愛おしい。【例】かなす　みどぅん(愛おしい妻)。ばー　みどぅんぬぎゃー　かなすかいば　ならん(私は妻が愛おしくてならない)。

かなす [kanasɨ]【名詞】[C]〖人名〗[男女ともに使う];(神様につける)接尾辞。【例】てぃだがなす(太陽神)。かんがなす(神様)。

かなすぎ [kanasɨgi]【形容詞】親しそうな、愛おしそうな。【例】うぬきゃが　とぅずぶとぅー　いつまい　かなすぎ(その夫婦はいつも仲がよさそうだ)。

かなた [kanata] ①【名詞】[A]遠く、彼方。【例】かまぬ　かなたんどぅ　いみずまがまぬ　あい(ずっと遠方に小さい島がある)。やまぬ　かなた(山のかなた)。[類]かーま。②【形容詞】[A]遠い。【例】かまぬどぅ　かなたかい(あっちの方が遠い)。ぶらぬどぅっさらんつきゃー　かなたかい(保良の方が平良より遠い)。[類]かーま。

かなっさ [kanassa]【名詞】かわいが

ること。 【例】とぅず かなっさ びとぅ（奥さんを大切にする人）。

かなっさ あす [kanassa asɨ]【成句】［不規則動詞］（人、生き物を）可愛がる。 【例】まゆがまう かなっさ あす（猫を可愛がる）。んまがうぎゃー なんみや はってぃ はってぃ かなっさ あす（孫を大切に大切に愛する）。ばー とぅっじゅぎゃー かなっさ ひーうたい（私は妻を愛していた）。っふぁ かなっさ びとぅ（子煩悩）。

かなまい [kanamai]【名詞】頭；考える力。 【例】きーから うてぃー かなまいや ぴーきーにゃーん（木から落ちて頭に穴があいた）。ずーじゅー かなまいや うむくとぅー にゃーん（頑固な人は知恵がない）。ういが かなまいや うぬしゅくだー（彼の考える力はその程度しかない）。

かなまりゃ [kanamarja]【名詞】間違った考えの人；人をけなすときの呼びかけ語、馬鹿野郎。 【例】ゆがかなまりゃ（間違った考えの人）。くぬ かなまりゃ（この馬鹿やろう）。かりゃー ひとぅぬ はなっそぅぎゃー つかん ゆがかなまりゃ（彼は人の話に耳を傾けない協調性にない人だ）。

かなみ [kanami]【名詞】［A］かなめ。【例】あうずぬ かなみ（扇のかなめ）。

かに [kani]【名詞】［B］鉄、金属、強いこと。 【例】かにふず（鉄の釘）。かりゃー ふっちゃ かに えいば かいんな ばー うゆばん（彼が口が強いから彼には私には勝てない［＞あまり強く主張するので言い返せない］）。

かに [kani]【名詞】［B］鐘。 【例】かにぬ がーん がーんてぃ ない（鐘がガーン ガーンと鳴る）。

かに [kani]【名詞】［C］〖人名〗カニ、農業の神様。

かに [kani]【補助動詞】［母音語幹］（動詞基本形について、その動作が困難であることを表す）～しかねる、～できかねる、～することが難しい。 【例】はっじゃ ぶりー あいつかにゅー（足を骨折してなかなか歩けない）。ばたーんてぃー んめ ふぁうかにゅー（腹がいっぱいでもう食べられない）。やらびゃー にゅーかにゅー（子供はなかなか眠れない［＜眠りかねている］）。にゅーかに ふがましゃ（中々寝つかないうるさいやつ［＜寝かねるうるさい子］）。

がに [gani]【動詞】［母音語幹］［C］捻じ曲げる。 【例】はりがにゅー がにー（針金を捻じ曲げる）。

がに [gani]【動詞】［母音語幹］［C］（人を）集める、（網を束ねて）引き上げる、（足などを）引っ張る。 【例】いん にんじゅー がにー（漁に行く人数をかき集める）。あんな がにー っぞぅ とぅらでぃ（網を束ねて魚を取ろう［そ

ぅでぃあん（袖網）という網を使った漁では網の両端を交差させて中に入った魚を取る］）。あんかい　っぞぅーがにる（網に魚を束ねろ［＞網の両端を交差させて中に魚を入れる］）。

かにふず [kanifuzɨ]【名詞】釘。

かにゃい [kanjai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］駄目な状態である。【例】まさいや　すかまー　ほぅだ　かにゃりーうたい（マサイは仕事をしないで駄目だ）。［変異］かない。

かにゃり [kanjari] ①【形容詞】［C］駄目な状態である。【例】まさいや　すかまー　ほぅん　かにゃりんまり（マサイは仕事をしないで駄目なやつだ）。［変異］かない。②【名詞】［C］駄目な状態である人。【例】まさいや　すかまー　ほぅん　かにゃり　あたい（マサイは仕事をしないで駄目なやつだった）。［変異］かない。

かにゅーんーた [kanju:n:ta]【名詞】山ブドウ。【例】やまんきー　かにゅーんーたう　とぅいが（山に行って山ブドウを取りに（いく））。

かぬ [kanu]【指示詞】〖指示形容詞〗あの。

かぬいー [kanui:]【感動詞】〖フィラー〗あのねー。

かぬきゃ [kanukja]【名詞】［C］あの人たち。【例】かぬきゃが　ふたーいや　いつまい　ひとぅみ（あの二人はいつも一緒だ）。かぬきゃが　まいんどぅ　んまむぬぬ　あい（あの人たちの所にご馳走がある）。［類］かぬきゃた。

かぬきゃた [kanukjata]【名詞】あの人たち。［類］かぬきゃ。

かぬちゃ [kanutɕa]【名詞】［C］向こう側。【例】うままい　あらん、くまい　あらん、かぬちゃ（そこでもない、ここでもない、向こう側だ）。かぬちゃうぎゃー　みーだ　くぬちゃうみーる（向こう側を見ないでこちら側を見なさい）。やまぬ　かぬちゃ（山の向こう側）。うまの　はいぬ　かぬちゃ（そこの畑の向こう）。

かぬゆー [kanuju:]【名詞】あの世。【例】ぱーや　すにー　かぬゆーんかい　はりーにゃーん（おばーさんは亡くなってあの世に行った）。［類］かんぬゆー、かまぬゆー。

かぱ [kapa]【オノマトペ】急に、いきなり、ビックリする時に発する言葉。【例】かいん　かぱてぃー　うどぅるかはいーにゃーん（彼に急に驚かされた）。しーしーん　かぱてぃー　まーまーふぁーはいーにゃーん（先生に急にげんこつを食らわされた）。

がば [gaba]【形容詞】［C］（人や動物が）年取った、（食べ物などが）古い。【例】がばういびとぅ（年取った老人）。がばかじゃ（加齢臭）。がばぬーま（老

馬)。くらー　がばかいば　ふぁーいん（これは古いから食べられない)。

がばー [gaba:]【形容詞】[C] 大きい、広い。【例】ばー　ほぅいかいむぬ　がばーかい　むぬー　とぅらっじゃー　っぅぁー　いみかい　むぬー　とぅい（私は大きい方を取るからあなたは小さい方を取れ)。がばー　っぞぅ（大きい魚)。がばー　まっちゃ（大きい店)。がばー　やー（大きい家)。ういがどぅ　がばーかい（これが大きい)。くじゃひつぬどぅ　んながーな　がばーかい（客間が一番広いです)。

がばういびと [gabauibito]【名詞】老人。【例】くすまがい　がばういびとぅ（腰の曲がった年寄り)。

かばす [kabasɨ]【形容詞】[A] 香ばしい；喜ばしい。【例】ふにゅーや　かばす（ミカンは香ばしい)。かばす　かじゃ（香ばしいかおり)。かばす　はなす（喜ばしい話)。

かばすぐい [kabasɨgui]【名詞】吉報。

かぱたまがい [kapatamagai]【名詞】突然の出来事に驚くこと。【例】おごえ　ばー　まずむぬー　みー　かぱたまがいや　ひーにゃーん（ぎゃー、私は幽霊を見てビックリしてしまった)。

がばみかす [gabamikasɨ]【動詞】[s/h 語幹] ゴツンと叩く、ドンドンと叩く。【例】やどぅー　かばみかひー　ったつ（戸をドンドンと叩く)。[類] どんみかす。

かびー [kabi:]【名詞】[B] 紙 [複合語では「かび」となることもある]。【例】っそぅ　かびー（白い紙)。かびとぅい（凧)。

かびーぎー [kabi:gi:]【名詞】〖植〗楮（こうぞ）[紙を作る材料になる木で。宮古では紙はつくらないが、以前は内地の業者が買い取りにきていた。いまではあまりみられない]。

かびとぅい [kabitui]【名詞】凧。【例】かびとぅいゆ　まーす（凧をあげる)。かびとぅいぬ　んˀなう　たっづぃ（凧の紐を手繰れ)。

がびゃう [gabjau] ①【形容詞】[B] 病弱だ。【例】ういびとぅ　なりどぅ　がびゃうふ　なりーうい（年取って病弱になっている)。②【名詞】[B] 病弱なこと、病気がちの人。【例】かりゃー　がびゃう　ひつにん（彼は病気がちで何もできない人だ)。がびゃう　びとぅ（病気がちの人)。がびゃうゆ　みー　むぬー　くーむぬ（病気がちの人を看病するのは疲れる)。

がふ [gafu]【オノマトペ】ものとものとがぴったり合うさまを表す。【例】がふてぃー　あいにゃーん（かっちり合った)。あなんかい　がふてぃー　はまりーにゃーん（穴にピッタリとはまった)。

かふー [kafu:]【動詞】［f 語幹］［C］隠れる。 ［類］かっふぃ。

かふー [kafu:]【名詞】［B］屋敷内の畑。 【例】かふーん そぅーゆ いびー（屋敷内の畑に野菜を植える）。かふーん なびゃーらぬ なりゅー（家庭菜園にヘチマがなっている）。

がぶがぶ [gabugabu]【オノマトペ】飲み物を飲むときの音、ゴクリゴクリ。 【例】さきゅーぎゃー がぶがぶてぃー ぬみ（酒はガブガブと飲め）。

かま [kama]【名詞】［C］（話し手、聞き手から離れた場所を指す）あそこ、向こう。 【例】かまう みーる（あそこを見なさい）。かまんかい はりーにゃーん（向こうに行った）。かまんどぅ がっこーや あい（あそこに学校はある）。かまからどぅ あみぬ いりゅー、やどぅー っふぃ（あそこから雨が入ってる。戸を閉めろ）。

がま [gama]【名詞】［B］洞窟。 【例】ほぅがま（大きな洞窟）。［類］あぶ。

がま [gama]【接尾辞】小さいものや動作、かわいく感じるものや動作に着く指小辞。名詞、形容詞、動詞の連用形につくことができる。 【例】みどぅんがま（女の子）。ぱーがま（おばーちゃん）。いみむぬがま（小さいもの）。やらびゃー ばらいがま あす（子供がすこし笑う）。

かまい [kamai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（人が）嫌いになる、（動詞基本形について、その動作をすることに）飽きる。【例】ばー かりゅーぎゃー かまりーどぅー（私は彼のことを嫌になった）。ふぁうがまい（食べ飽きる）。わーや あてぃ ふぁうや ひー みーがまいまい ひーどぅー（豚肉は食べ過ぎて、見飽きもしている）。ばー うるーぎゃー んぎゃがまい（私はそれにはうんざりしている）。むいがまい（嫌なほどうんざりすること）。［類］がうい。

かまい [kamai]【名詞】［C］賄賂、貢ぎ物。 【例】かまいひー すぐい（貢ぎ物で偉くなる）。［類］わいる。

かまかた [kamakata]【名詞】向こう側、向こうの方。【例】かまかたうぎゃー みーだ くまかたう みーる（向こうの方を見ないでこちらの方を見なさい）。

がまく [gamaku]【名詞】［C］お尻の大きい骨のある部分。 【例】がまくぶに（お尻の両側の大きな骨）。

かまさー [kamasa:]【名詞】〖魚〗カマス。 【例】あうきゃー かまさーとぅどぅ ひとぅみ うい（アウキャはカマスと一緒にいる）。［類］かます。

かます [kamasɨ]【名詞】［C］〖魚〗カマス。 ［類］かまさー。

かます [kamasɨ]【名詞】［C］麻であんだ袋。 ［類］かますぐー。

かますぐー [kamasiguː]【名詞】麻であんだ袋。【例】かますぐーんかい　ぶーずぬ　さにゅー　いりー（カマスにサトウキビの苗を入れる）。［類］かます。

がまた [gamata]【接尾辞】動詞基本形について、すでに決まっている未来の事態を表す、はずだ；（あるべき）未来の行為を表す、べきだ。【例】うまんどぅ　やーに　がっこーゆ　ちゅっふがまた（ここに来年学校を作る（ことになっている））。いつどぅ　やまとぅんかい　はいがまたが（いつ本土にかえるんだ）。うぬ　あつないゆ　あすてぃがー　まーんてぃ　まうきがまた（この商売をしたらかならず儲かるはずだ）。くぬ　すかまー　いつがみ　あすがまたが（この仕事はいつまでやるんですか）。てれびゃー　くまんどぅ　うっつがまた（テレビはここに置くべきだ）。しーとぅんみゃー　べんきょー　あすがまた（生徒たちは勉強すべきだ）。

かまつ [kamatsi]【名詞】［B］顎（のえらの部分）からほほにかけての部位。【例】かいが　かまっちゅ　だみる（彼の顎を殴れ）。はーや　やみどぅ　かまっちゃ　ふくりゅー（歯痛で頬が腫れている）。

かまどぅ [kamadu]【名詞】［B］竈（かまど）。【例】かまどぅんかい　なびゅー　うっつ（カマドに鍋を置く）。［類］うかま。

かまぬゆー [kamanujuː]【名詞】死後の世界。【例】ぱーや　かまぬゆーんかい　はりーにゃーん（おばあさんは向こうの世界に逝ってしまった）。［類］かぬゆー、かんぬゆー。

かまばく [kamabaku]【名詞】カマボコ。

かまらす [kamarasi]【形容詞】悲しい。【例】ばー　かまらすかいば　つむー　やすまらん（私は悲しくて心は休まらない）。あいぬ　くー　かまらす　ゆーゆぎゃー　ふぁーん（こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない）。

かまんた [kamanta]【名詞】〖魚〗エイ。【例】かまんたー　とぅいぬ　んまりゃーひどぅ　うーず（エイは鳥のように泳ぐ）。［類］いー。

かみ [kami]【動詞】［母音語幹］［C］荷を頭に乗せる；祈る。【例】たむぬー　かみー（薪を頭にのせる）。てぃーゆ　かみー（両手を開いたまま頭の高さまで上げて祈願する）。

かみ [kami]【名詞】［C］瓶（かめ）。【例】んそぅがみ（味噌瓶）。みずがみ（水瓶）。いっとがみ（一斗瓶）。

がみ [gami]【格助詞】（目的地）まで；（ある時間）まで　［「がみ」と「たーひー」は重ねて使うことができる。～がみたーひー、～たーひーがみ］。【例】ぶらがみまい　いきったい（保良まで行

ってきた)。さんじがみ　うまん　まち（三時までここで待て)。[類］たーひー。

かみぬ　くー [kaminu ku:] 【成句】亀の甲。 【例】かみぬ　くーんつきゃー　とぅすぬ　くー（亀の甲より年の功)。

かむー [kamu:] 【動詞】[w 語幹］[C］出向いてくる、訪問してくる、訪ねてくる。 【例】うりゃー　うとぅじゃうぎゃー　かむーん（彼は親戚を見向きもしない)。かりゃー　くまんかいや　かむいや　くーん（あいつはここには訪ねて来ない)。[類］かむい。

かむー [kamu:] 【動詞】[w 語幹］[C］（人に）かまう、かかわる；必要だ、要る。 【例】やらびんかいや　かむーな((その）子にかまうな)。いすがすかいば　っづぁんかいや　かむーいん（忙しいのでお前にはかまっていられない)。ばー　うりゅーぎゃー　かむーん（私は、それは必要ない)。いつとぅー　かむーん（行く必要ない)。[類］かむい。

かむい [kamui] 【名詞】[C］鴨居（かもい)。

かむい [kamui]【動詞］[母音語幹］[C］（人に）かまう、かかわる；必要だ、要る。 ［類］かむー。

かむい [kamui]【動詞］[母音語幹］[C］出向いてくる、訪問してくる、訪ねてくる。 【例】うりゃー　うとぅじゃうぎゃー　かむいん（彼は親戚を見向きもしない)。[類］かむー。

かや [kaja]【名詞】[B］〖植〗茅。 【例】かややー（茅葺の家［実際にはすすきで作られていた])。

かや [kaja] 【名詞】[B］若い時の過労等が原因で年取ってから起きる神経痛。 【例】ういびとぅ　ないてぃがー　かやぬどぅ　うんそぅく　やん（年を取ると神経痛が余りにも痛む)。

かや [kaja] 【感動詞】〖間投詞〗期待と違ったときに発する間投詞、あれ。 【例】かや、　っづぁが　とぅみゅー　むぬー　かまん　あいさ（あれ、あなたが探しているのは向こうにあるだろう)。[類］かやはい。

がやーす [gaja:si] 【動詞】[s/h 語幹］（馬などに載せるために）一対の束ねた草等を交差させる。 【例】っさー　がやーひー　ぬーまんかい　ぬーす（草を交差させて馬にのせる)。

かやはい [kajahai] 【感動詞】〖間投詞〗期待と違ったときに発する間投詞、あれ。 【例】かやはい、　っづぁが　とぅみゅー　むぬー　かまん　あいさ（あれ、あなたが探しているのは向こうにあるだろう)。[類］かや。

かやばた [kajabata] 【名詞】〖昆〗蜂の一種、チビアシナガバチ。

かややー [kajaja:] 【名詞】茅葺の家。 【例】かややーや　かでぃふつんな

っちゅい　やすむぬ（茅葺の家は台風には壊れやすい）。かややーゆぎゃーぎすつひどぅ　ちゅっふ（茅葺家はススキで作る）。

がやんちゅ [gajantɕu]【名詞】雲雀（ヒバリ）。【例】がやんちゅがまーちゅんちゅんてぃー　なつ（雲雀はちゅんちゅんと鳴く）。［類］ちゅんちゅん、ちゅんくら。

かゆー [kaju:]【動詞】［w 語幹］［A］通う。【例】みどぅんぬ　まいんかいかゆー（妻のところに通う）。

から [kara] ①【名詞】［B］（貝の）殻。【例】にぐーぬ　から（シャコガイの殻）。②【名詞】［B］（穀物の）殻。【例】まいがら（籾を脱穀したときの殻）。

から [kara]【名詞】［B］茎、幹。【例】ぶーずがら（サトウキビの茎）。きーがら（木の幹）。

から [kara]【形容詞】［B］辛い。【例】くーそぅー　からむぬ（唐辛子は辛い）。

から [kara]【助詞】〖格助詞〗（名詞について）出発地点をあらわす、「から」；（名詞や動詞連用形に付いて）動作の始まりの時点をあらわす、「から」；始点、経由、手段をあらわす、「で」。【例】くまから　いんぬ　そぅくたーひーいだきばかーい　あり（ここから海底までどれくらいの深さがありますか）。っざから　つきゃー　はなす（父親から聞いた話）。あちゃからー　あみちゃ（明日からは雨だって）。つむー　やすまひーから　ばが　はなっそぅ　つき（心を落ち着けてから、私の話を聞きなさい）。うぬ　にゅーっさ　てれびから　みーたい（そのニュースはテレビで見た）。

がら [gara]【名詞】［C］柄。【例】がらずん（柄のある着物）。

がら [gara]【助詞】〖接続助詞〗動詞に基本形について疑念を表す節を作る、～か（もしれない）、～のか。【例】あいぬがらまい　っさいん（そうかも知れない）。うぬ　ほぅんな　ゆみゃーむがらまい　っさいん（その本は読んだことがあるかもしれない）。あみぬ　っふゅーたんががら　ずーや　すとぅりーどぅー（雨が降ったのか地面がぬれていた）。［類］ががら。

がら [gara]【接尾辞】疑問詞について不定名詞を作る。【例】なうがら　ふぁうむぬー　むちーくー（なにか食べ物をもってこい）。うまんな　たるがらぬ　うるーたんが　おーかん（ここには誰かいたらしい）。いじゃがらん　あいはずやいそぅが　いじゃがら　っさいん（どこかにあるはずだが、どこかわからない）。いつがら　かまんかい　いつたい（いつかあそこに行った（はずだ）［「いつたいはず」と言ってもよいが「はず」はなくてもよい］）。［類］ががら。

がら [gara]【オノマトペ】簡単に、あっさり。【例】やきゅーや　すぐ　がら

てぃー　まきーにゃーん（野球はすぐに簡単に負けた）。まかいや　がらてぃー　ばりー　はりーにゃーん（お椀は簡単に割れてしまった）。ぬそぅどぅー　がらてぃー　ひんぎー　はりーにゃーん（泥棒はするりと逃げて行った）。

からー [kara:]【助詞】形容詞接辞「かい」の提題形、名詞について「としては」、「のなかでは」の意味を表す；形容詞語幹について「〜からといって」の意味を表す。［変異］かりゃー。［類］やりゃー。

からい [karai]【名詞】［A］髪。【例】からいゆ　ゆー（髪を結上げる）。［類］からず。

からいばい [karaibai]【名詞】空威張り。【例】まーぬ　からいばい　あすな（余り空威張りするな）。

からがい [karagai] ①【動詞】［母音語幹］世話をする、子守りをする；（畑などを）手入れする。【例】ばー　いつまい　ういびとぅー　からがいゆー（私はいつも年寄りを世話している）。ばが　はいんかい　いきゅーきゃ　っうぁー　やらびゅー　からがいる（私が畑に行っている間、子供の面倒を見ろ）。［類］からがう。②【動詞】［母音語幹］修繕する。【例】きゅーまい　やっうぃ　くるまう　からがい（今日も壊れた車を直す）。［類］からがう。

からがい [karagai]【名詞】（人の）世話；（畑などの）手入れ；（お金などの）管理。【例】ういびとぅ　からがいや　やぐみぐとぅ（年寄りの世話は大変なことだ）。ばー　ういびとぅ　ふたーいぬ　からがいゆどぅ　ひーゆー（私は年寄り二人の面倒を見ている）。はいぬ　ぶーずぬ　からがい（畑のサトウキビの手入れ）。でぃんぬ　からがいゆぎゃー　みどぅんぬどぅ　ひーゆー（お金を管理を奥さんがしている）。

がらかいー [garakai:]【動詞】［r/rr語幹］ごろりと倒れる。【例】みっふぁまーいや　ひどぅ　がらかいらっじゃうたい（立ち眩みして急に倒れそうになった）。［類］ぶらかいー。

からがう [karagau] ①【動詞】［w 語幹］世話をする、子守りをする；（畑などを）手入れする。【例】ういびとぅー　からがう（老人の世話をする）。ばぬんな　はいぬ　やそぅるー　からがーいん（私は畑の一反は世話できない）。［類］からがい。②【動詞】［w 語幹］修繕する。【例】うぬ　やぶりやどぅー　からがいみーる（この壊れた戸を修理してくれ）。［類］からがい。

がらがらてぃー [garagarati:]【オノマトペ】（戸を）ガラガラと開けるさま。【例】やどぅぬ　がらがらてぃー　ない（戸ががらがらと鳴る）。［類］がらてぃ。

からぎ [karagi]【動詞】［母音語幹］［C］絡げる。【例】つんぬ　からぎー　まーい（着物を絡げて行く）。

からぐぴん [karagupin]【名詞】空瓶。【例】うらー　さきゃー　はいりや　うらん　からぐぴん（それは酒の入っていない空瓶だ）。

がらさ [garasa]【名詞】[C] カラス。【例】はいぬ　がらさ（畑のカラス）。

がらさない [garasanai]【名詞】足の指の痙攣。【例】がらさないや　ひどぅはずぬ　うゆびぬ　まがりゅー（痙攣して足の指が曲がっている）。

がらさばう [garasabau]【名詞】〖生物〗ヒメヘビ（小型のヘビ）。

からす [karasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [A] 貸す。【例】でぃんぬ　からす（金を貸す）。

からず [karazɨ]【名詞】[B] 髪。【例】かなーいや　みどぅんまい　びきどぅんまい　からっじゅぎゃー　ゆっづぃどぅ　うたい（昔は女性も男性も髪を結っていた）。[類] からい。

からずー [karazɨ:]【名詞】地べた。【例】からずーん　うやたー　びー（地べたにおじいさんたちは座る）。

からた [karata]【名詞】[B] 体、体格。【例】やぐみからた（立派な体格）。

がらてぃー [garati:]【オノマトペ】（建物が）ガラガラと倒れるさま；（人が）くずれるように倒れるさま；戸が開く音。【例】がらてぃー　たうりー　はりーにゃーん。[類] がらがらてぃー。

からぱい [karapai]【名詞】灰。【例】からぱい　まゆがま（灰だらけの子猫）。うかまぬ　からぱい（釜の灰）。

からぱず [karapazɨ]【名詞】裸足。【例】んきゃーんな　くつまい　にゃーんば　からぱずひー　あいきー　うたい（昔は靴もないので裸足で歩いていた）。[変異] からはず。

からまつ [karamatsɨ]【動詞】[k 語幹] 絡巻く、巻きつける。[変異] からまふ。

からまふ [karamafu]【動詞】[k 語幹] 絡巻く、巻きつける。【例】んˬなう　からまき（綱を巻きつけろ）。[変異] からまつ。

がらみつ [garamitsɨ]【動詞】[k 語幹] がらがらと音を立てる；内部に何もなく空いている。【例】がらみきー　みずぬ　ながりゅー（ガラガラと音を立てて水が流れている）。まーぬ　がらみつな（余り音を立てるな）。うまぬ　やーや　がらみきー　たるまい　みーん（ここの家は空っぽで誰もいない）。[変異] がらみふ。

からゆか [karajuka]【名詞】（何も引いていない）床。【例】なつん　からゆかん　にゅーてぃがー　すみゃーすむぬ（夏になにも引いてない床に眠ったら心地良い）。

かり [kari]【動詞】[母音語幹] [A] 嗄（か）れる。【例】あてぃ　むぬいやひ

ー　くいまい　かりーにゃーん（余りにも喋り過ぎて声も嗄れてしまった）。

かりー [kari:] 【形容詞】［C］大事な、嘉例の。　【例】かりーな　むぬ（大切なもの）。

かりうす [kariusɨ] 【名詞】航海安全、安全。【例】かりうっさひー　いき（安全で行け）。［変異］かりうし、かりゅーし、かりゆし、かりゆす。

かりゃー [karja:] 【助詞】形容詞接辞「かい」の提題形、名詞について「としては」、「のなかでは」の意味を表す；形容詞語幹について「〜からといって」の意味を表す。　【例】みどぅんかりゃー　たかびとぅ（女の人の中では背が高い）。たかかりゃー　じゃうかいてぃぬ　くとぅー　にゃーん（値段が高いからといって（品物が）良いとは言えない）。［変異］からー。［類］やりゃー。

かりゅーし [karju:ʨi] 【名詞】航海安全、安全。　［変異］かりうし、かりうす、かりゆし、かりゆす。

かりゆし [karijuʨi] 【名詞】航海安全、安全。　【例】かりゆしぬ　たびゅー　ひーくー（航海安全の旅をしてきなさい［＞道中お気をつけて］）。かりゆしぬ　たびゅー　ひーったい（無事に帰ってきた）。［変異］かりうし、かりうす、かりゅーす、かりゆす。

かりゆす [karijusɨ] 【名詞】航海安全、安全。　【例】うつなーんかい　かりゆっさひー　いき（沖縄に航海安全で行きなさい）。［変異］かりうし、かりうす、かりゅーす、かりゆし。

がる [garu] 【形容詞】［A］軽い。【例】うぬきゃが　ふたーつからー　ういがどぅ　がるかい（この２つではこっちの方が軽い）。

がるいす [garuisɨ] 【名詞】軽石。【例】がるいすぬ　ゆりっちゅー（軽石が流れてきている）。

かん [kan] 【動詞】［m 語幹］［A］嗅ぐ。　【例】かじゃう　かん（臭いを嗅ぐ）。

かん [kan] 【動詞】［m 語幹］［C］噛む。　【例】あーゆ　かみー　んっちゅ　たい（粟を噛んで神酒を作る）。むぬーぎゃー　かみー　ふぁい（飯は噛んで食べなさい）。

かん [kan] 【名詞】［B］カニ。【例】すでぃ　がん（脱皮したばかりの蟹（かに））。ばたらがん（食用の中型の蟹（かに））。ん゜ぬがん（食用の渡り蟹（かに））。っさかん（食用の小型の蟹（かに））。いびがんぬ　んまさあいむぬー　にゃーん（伊勢海老ほど美味しいものはない）。

かん [kan] 【名詞】［C］理解力。　【例】かんな　にゃーんんまり（理解力が悪い奴）。からー　すーがくぬ　かんな　にゃーん（あいつは数学の理解力がない）。

かん [kan]【名詞】［B］神。 【例】かんかい てぃーゆ かみー（神に祈る）。［類］かんがなす。

かんがい [kaŋgai] ①【動詞】［母音語幹］考える。 【例】まさぎん かんがいる（ちゃんと考えよ）。 ②【名詞】考え。【例】まさぐぬ かんがいゆ むち（正しい考えを持て）。ゆがかんがいゆぎゃーむちゃん（間違った考えをもたない［＞持つな」）。

かんがなす [kaŋganasɨ]【名詞】神様。 【例】かんがなすんかいや てぃーゆ かみだかー ならん（神様には手を合わせないといけない［両手を開いて上に向け、頭の上まで上げる］）。

かんぎ [kaŋgi]【名詞】［B］とさか、たてがみ。 【例】とぅいぬ かんぎ（鶏のとさか）。ぬーまぬ かんぎ（馬のたてがみ）。

かんきり [kaŋkiri]【名詞】〖遊〗缶蹴り。

がんく [gaŋku]【形容詞】［B］頑固だ、頑固な。 【例】むぬいゆぎゃー つかん がんくんまり（（人の）言うことを聞かない頑固な奴）。

かんじゃーやー [kanʑa:ja:]【名詞】鍛冶屋。 ［類］かっじゃ。

がんじゅー [ganʑu:]【形容詞】健康。 【例】がんじゅーさー いつばん、つむかぎさまい いつばん、うむくとぅまい いつばん（健康は一番、心情も一番、知恵も一番［西原老人会の標語］）。がんじゅーや ひー ゆー かないーゆーんな（元気でよく頑張っているか）。

かんすとぅばかーい [kansɨ-tubaka:i]【成句】（人が）神となって人でなくなる、死ぬ。［＜「かん ひとぅ ばきゃーい（神と人が別れる）」昔ユタが唱えるときに使った］。

かんだか [kandaka]【形容詞】霊力が高い、霊力が強い。 【例】かんだか みどぅん（霊力の強い女性）。

かんだっちゃる [kandattɕaru] ①【連体詞】こんな。 【例】かんだっちゃる むぬ（こんなもの）。 ②【連体詞】〖歌語〗このような（素晴らしい）。【例】きゅーぬ ゆーいや かんだっちゃる むぬ、 くまぬ くがにが ゆーいだらよー（今日の祝いは素晴らしいものだ、ここの子供のお祝いだよ［［歌語］「きゅーぬほぅからしゃ」というお祝いの歌の一部に囃子として付け加える］）。

かんだな [kandana]【名詞】神棚。

かんつ ぱだ [kantsɨ pada]【名詞】ユークイのときに着る白い着物［これを着ることで神になるとされ、死ぬときに一緒に持って行く］。

がんな [ganna]【名詞】［C］〖植〗メイシバ。

かんな にゃーん つつ [kanna nja:n tsɨtsɨ]【成句】7月の別称、

不浄の月［御嶽では一年を春（びーずん）、神不在の 7 月（かんな　にゃーん　つつ）、秋（っさんし）の 3 つに分ける］。

かんない [kannai]【名詞】雷。【例】いなびかいぬ　あとぅんどぅ　かんないや　ない（稲光の後に雷は鳴る）。

がんない [gannai]【動詞】［r/rr 語幹］（子供などが）駄々を捏ねる。【例】んまんかい　すがりんきー　がんない（母親にすがりついて駄々をこねる）。やらびゃー　んまぬ　あらんかい　いでぃでぃー　あすてぃがー　いつまいがんない（子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる）。うぬやらびぬ　がんなりー　からー　たるが　むぬいゆまい　つかん（この子が駄々をこねたら誰の言うことも聞かない）。

かんないあみ [kannaiami]【名詞】雷雨。

かんにがい [kannigai]【名詞】〖祭礼〗祈願、神への祈願。【例】かんにがい　あーぐ（祈願する時の歌［御嶽では歌を歌うことも祈願の一つである］）。［類］にがい。

かんぬゆー [kannuju:]【名詞】あの世。［類］かまぬゆー、かぬゆー。

かんぱな [kampana]【名詞】神様の一番上（になること）。【例】かんぱな　とぅゆまさ（ここの神様をもっと地位をあげよう［ウタキで歌う神歌の歌詞の一部：現代語なら「とぅゆまはでぃ」］）。

かんびゅーい [kambju:i]【名詞】〖祭礼〗神事の名前、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる、「ほぅびゅーい」と同じ。［類］ほぅっびゅーい。

かんびょー [kambjo:]【名詞】看病。【例】ういびとぅぬ　かんびょー　あす（年寄りの看病をする）。

かんぴょー [kampjo:]【名詞】干瓢。【例】かんぴょーじゅー（（おかずとしての）干瓢）。

かんふ [kanfu]【名詞】［B］岩。【例】あみぬ　ふーてぃがー　かんふんどぅ　あみがっふぃ　あす（雨が降ったら岩（の穴）で雨宿りをする）。

かんぶり [kamburi]【名詞】神のことで病むこと。【例】かんぶり　びとぅー　まうゆ　あきばどぅ　なうい（神のことで病んでいる人は自分自身の守護神を持てば治る）。

がんま [gamma]【オノマトペ】ゴツン。【例】まーまう　がんまてぃー　ふぁーす（げんこつでゴツンとくらわす）。

がんみつ [gammitsɨ]【動詞】［k 語幹］大声を出して騒ぐ；（頭が痛くて）ガンガンする様子。【例】まーぬ　がんみつな（あまり大声出して騒ぐな）。やど

ぅー　がんみかひー　ったつ（戸をドンドンと叩く）。かなまいぬどぅ　がんみきー　やみゅー（頭がガンガン痛む）。

［変異］がんみふ。

かんる [kanru]【名詞】［C］寒露（サシバの飛んでくる季節、10 月ごろ）。

き

き [ki] 【助数詞】斤（重さの単位、600ｇ）、１０より下は「きん」であらわす。【例】ずき（10 斤）。にずき（20 斤）。さずき（30 斤）。しずき（40 斤）。ぐずき（50 斤）。ろくずき（60 斤）。ななずき（70 斤）。はちずき（80 斤）。くずき（90 斤）。ひゃっき（100 斤）。しぇんぎ（1000 斤）。

ぎ [gi] 【接尾辞】形容詞の語幹について、そういう様子を持つという意味を表す､～そうだ､～そうな；動詞基本形について、そうなりそうだという意味を表す､～そうだ、そうな。【例】がばーぎ（大きそうな）。ずみぎ（立派そうな）。かぬ　みどぅんな　んなま　なつぎかい（あの女はいまにも泣きそうだ）。やらびゃー　んめ　あいつぎふだ（こどもはもう歩きそうだ）。あみぬ　んなま　ふーぎむぬ（雨がいまにも降りそうだ）。

きー [ki:]【名詞】[B] 木。【例】ふにゅーぎーや　ゆだー　たかりーどぅ（(その）ミカンの木は枝が繁茂している）。きーから　うりー（木から下りる）。きーんかい　ぬーい（木に登る）。

きー [ki:]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 切る；（使ったり、売れたりして）切れる、なくなる。【例】きーゆ　きー（木を切る）。っざらひー　うゆびゃー　きりどぅ　あかっちゃ　いだひーにゃーん（鎌で指を切って血を出してしまった）。たばくー　きりーにゃーんば　まっちゃんきー　かいくー（タバコが切れたのでお店に行って買ってこい）。

きー [ki:]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 蹴る。【例】はずひー　ぼーるー　きり（足で蹴れ）。っさうきー（蹲く［＜足を蹴る］）。

きー [ki:]【名詞】[B] 毛。【例】まゆぬ　きー（猫の毛）。っふぎ（陰毛）。ばっだぎ（脇毛）。

ぎー [gi:]【名詞】[C] びり、最下位。【例】うんどーかいぬ　はーさにゃーんな　いつまい　ぎー（運動会のかけっこにはいつも最下位だ）。

きーがら [ki:gara]【名詞】毛深いこと。【例】きーがらびと（毛深い人）。

きーつきひだ [ki:tsikihida]【名詞】海辺で木を浸けて置いておくところ。

【例】んきゃーんな　きーつきひだん　きーや　つきーからどぅ　やーゆぎゃー　ふきゅーたい（昔は木浸けひだに木を浸けてから家の家を建てた）。

きーどぅるん [ki:durun]【名詞】鳥肌。【例】うとぅるすかいば　きーどぅるんまい　ひーどぅー（怖いので鳥肌も立っている）。

きーぬそぅら [ki:nusura]【名詞】木の天辺。【例】かじゃー　きーぬ　そぅらんどぅ　ふつ（風は木の天辺に吹く［> リーダーに庶民は文句を言う］）。

きーぬない [ki:nunai]【名詞】果実、木の実。

きーぬにー [ki:nuni:]【名詞】木の根、木の根元。［類］きーぬ　ほぅむと。

きーぬみー [ki:numi:]【名詞】木々の中。

きーぬみん [ki:numin]【名詞】茸（きのこ）。

きーはず [ki:hazɨ]【名詞】〖遊〗竹馬。【例】ふゆん　ないてぃがー　やらびんみゃー　きーぱずん　ぬーりー　あそぅびー　うたい（冬になると子供達は竹馬に乗って遊んでいた）。［変異］きーぱず。

きーふか [ki:fuka]【形容詞】毛深い。【例】きーふかびとぅ（毛深い人）。［類］きーがら。

きーむす [ki:musɨ]【名詞】毛虫。

ききゃーす [kikja:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］かき回す、掻き乱す。【例】うまぬ　みっじゅ　ききゃーし（ここの水をかき回しなさい）。うむくとぅ　にゃーん　ほぅりむぬぬ　うぐなーいんかい　はいりってぃ　うまぬ　うぐなーいや　ききゃーはいにゃーん（思慮分別のない馬鹿者が集会に入ってきてそこの集会は掻き乱された）。［変異］きぎゃーす。

きぎゃーす [kigja:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］かき回す、掻き乱す。［変異］ききゃーす。

ききゃーらす [kikja:rasɨ]【動詞】［s/h 語幹］かき回す、掻き乱す。【例】うまぬ　みっじゅ　ききゃーらし（ここの水をかき回しなさい）。［類］ききゃーす。

きさ [kisa]【名詞】［C］先ほど、すでに、さっき、とうに。【例】ばー　あしゃー　きさ　ふぁいにゃーん（私は朝ご飯はもう食べた）。きさ　やらびゃー　がっこうんかい　はりーにゃーん（さっき子供は学校に行った）。［類］きさから。

きさから [kisakara]【副詞】先ほど、すでに、さっき、とうに［副詞としても使われる］。【例】むぬー　きさから　ふぁいーにゃん（飯はとっくに食った）。［類］きさ。

ぎしぐや [giɕiguja]【名詞】〖貝〗紫貝（ムラサキガイ）。【例】っしんˀんな　ひー　ぎしぐやまい　とぅいったい（潮干狩りで紫貝も取って来た）。

きじゃ [kiʑa]【名詞】[C] 精霊、神様；〖人名〗男性の名前の一つ。【例】さきぬ　はなー　きじゃが　たま（酒（容器、ビン）の上部は精霊の分）。[類] きじゃら。

きじゃい [kiʑai]【名詞】[B]〖祭礼〗祭事日、精霊の日。【例】きじゃいんな　むとぅやーんきー　そぅーかうあす（祭事には本家に行って焼香する）。きじゃいんな　うたきん　うぐなーい（祭日には御嶽で集まる）。きじゃいんな　んまむぬぬどぅ　いでぃー（祭事には美味しいものがでる）。

きじゃら [kiʑara]【名詞】[C] 精霊、神様；〖人名〗男性の名前の一つ。【例】かっじゃぬ　きじゃら（鍛冶屋のキジャラ）。[類] きじゃ。

きじゃん [kiʑan]【動詞】[m 語幹] [C] 刻む。【例】きじゃんたばく（刻みタバコ）。[変異] きざん。

きじゅる [kiʑuru]【名詞】[C] 魚などの獲物が集まるところ。【例】きじゅるん　あんぬ　はい（魚の集まるところに網を張る）。じょー　かまぬ　きじゅるんきー　たくー　とぅらでぃ（さあ　向こうの獲物の多くとれる所に行ってタコをとろう）。

きす [kisɨ]【名詞】[B] 海岸の岩陰。【例】かんないぬ　なりゅーば　きすぬ　すたん　かっふぁでぃ（雷がなっているので岩陰に隠れよう）。

ぎず [gizɨ]【名詞】[C] 管理すること、言い聞かすこと。【例】やらびゅー　ぎずあす（子供に言うことを聞かせる［＜子供を言い聞かせる］）。ぎっじゃひらいん　ぎずぎゃうな　やらび（手に負えない腕白坊主）。

ぎずぎゃうな [gizɨgjauna] ①【名詞】やんちゃ、やんちゃな人。【例】ぎずぎゃうなーひー　そぅじゃん　みんたっづぁー　ったかいたい（やんちゃして　兄にびんたを張られた）。[類] ふしびゃ。②【連体詞】言うことを聞かない。【例】ぎずぎゃうな　ならっしゃう　やらび（言うことを聞かないどうしようもない子供）。

ぎすぐや [gisɨguja]【名詞】〖貝〗アコヤガイ、真珠貝とも言う。

ぎすつ [gisɨtsɨ]【名詞】[C]〖植〗ススキ。【例】かややーぬ　くびゃー　ぎすつぬ　すずひどぅ　ちゅっふぁいゆー（茅葺家の外壁はススキの茎で作られている）。ぎすつだむぬ（枯れたススキの薪）。

きた [kita]【名詞】[B] 家の桁、柱と柱を繋いだ横材。【例】うやきゃー　きた　とぅどぅみ（裕福は桁に留め置く）。やーぬ　きた（家の桁）。

きたあん [kitaan] 【名詞】〖道具〗袖網［漁網の両わきに、さらに補助的に取り付ける網］。 ［類］そぅでぃあん。

きたてぃ [kitati] ①【副詞】とても、特別に。 【例】きたてぃ ゆながい（とても長い間）。きたてぃ はーさ（とてもたくさん）。きたてぃ うむくとぅあい ひとぅ（非常に頭の良い人）。きたてぃ あぱらぎ みどぅん（際立った美人）。つんだらさ、かりゃー きたてぃ やんな たばりー すにーにゃーん（かわいそうに、あいつは悪い病気にかかってしんでしまった）。②【形容詞】［A］際立った、変わった。【例】からー むいとぅ きたてぃかい（あいつはとても変わっている）。きたてぃんまり（変わった奴）。きたてぃむぬい（（自分達の言葉とは）変わった言葉））。かいが ふっちゃ きたてぃふつ（彼は何を言い出すかわからない）。

きたてぃ [kitati] 【動詞】［母音語幹］［A］他と区別する、取り立てる。 【例】うりゅーぎゃー きたてぃる（それは別にとっておきなさい）。

きだむぬ [kidamunu] 【名詞】木の枝や幹の薪。 【例】きだむぬー むーし（薪を燃やせ）。

きちゅい [kitɕui] 【形容詞】［A］脂身が多く食べ難いこと。 【例】わーぬ あっづぁー きちゅいかいば ならん（豚の脂身が多く食べ難い）。きちゅい むぬー はーさー ふぁーいん（脂っこいたべものはたくさんは食べられない）。

きちゅみ [kitɕumi] 【動詞】［母音語幹］［A］決めつけて厳しくすること、しめつける。 【例】あいや ひとぅーぎゃー きちゅみん（そんなふうに人を決めつけない［＞決めつけてはいけない］）。［変異］きつみ。

きつぎ [kitsɨgi] 【形容詞】［B］綺麗な、美しい。 【例】きつぎ みどぅん（美しい女性）。

きつきぎー [kitsɨkigi:] 【名詞】〖植〗シャリンバイ。

ぎっさ [gissa] 【名詞】［C］シラミの卵。 【例】っさんぬ とぅぬかうぎゃー ぎっさてぃどぅ あい（シラミの卵のことをギッサと言う）。ぎっさー あかぬ にーんどぅ あい（シラミの卵は髪の根元にある）。

ぎっじゃ ひらいん [giʑʑa hirain] 【成句】管理・言い聞かすことはできない、手に負えない。

きっず [kizzɨ] 【動詞】［zz/dd 語幹］［A］（櫛で髪を）とく、（カンナなどで木を）削る。 【例】ふすひー あかう きっず（櫛で髪をすく）。きーゆ かなひー きっず（木を鉋で削る）。

ぎったー [gitta:] 【名詞】能力のない者、下の者。 【例】すかまー ひらいん ぎったー（仕事のできない無能者）。［変異］げったー。

ぎっふぁにゃーん [giffanja:n]【接尾辞】(動詞基本形について)～しそうにない。 【例】まくがんな　ちゅーかいば　とぅらいぎっふぁにゃーん（ヤシガニは力が強いので捕れそうにない)。ばた　んてぃー　んめ　ふぁーいぎっふぁにゃーん（お腹がいっぱいでもう食べられそうにない)。あみゃー　ふーぎっふぁにゃーん（雨は降りそうにない)。

きつみ [kitsɨmi]【動詞】[母音語幹][A]決めつけて厳しくすること、しめつける。 [変異]きちゅみ。

きつみ [kitsɨmi]【形容詞】[B]厳格な、難しい。 【例】やぐみ　きつみ　ひとぅ（大変厳格な人)。

きな [kina]【名詞】[C]しゃもじ。

きない [kinai]【名詞】[B]所帯、世帯、家庭、家内。【例】うやき　きない（裕福な家庭)。かぬ　みどぅんな　きない　むつじゃうず（あの女性は家庭持ち上手[＞あの女性はやりくり上手])。

きないかず [kinaikazɨ]【名詞】各家。【例】きゅーや　やーかず　きないかず　うぐなーりー　ふぃーさまてぃ（今日は各戸、各家お集まりください)。ふた　きない（二世帯)。

きないむつじゃうず [kinaimut-siʑauzɨ]【名詞】家庭経営が上手（な人)。

きばす [kibasɨ]①【名詞】[A]貧乏なこと。 [類]きばん。②【形容詞】[A]貧乏な、貧乏だ。[類]きばん。

きばすがい [kibasɨgai]【形容詞】貧乏で頼りにならない。 【例】かりゃー　きばすがいかいば　なうまいひらいん（彼は貧乏で頼りなく何もできない)。くぬ　きばすがいぎんまり（この貧相野郎め)。

きばすがりゃ [kibasɨgarja]【名詞】貧乏で頼りにならない奴。 【例】かりゃー　きばすがりゃ　やいば　なうまいひらいん（彼は貧乏で頼りならない奴だから何もできない)。

きばすぎ [kibasɨgi]【形容詞】頼りなさそうな、貧乏そうな。

きばん [kiban]①【名詞】[A]貧乏、貧乏なこと。【例】きばん　きない（貧乏な家庭)。ばんちゃー　やらびあいきゃー　きばんどぅ　あたい（私達は子供だった頃は貧乏だった)。[類]きばす。②【形容詞】[A]貧乏な、貧乏だ。【例】きばんかいば　っふぁんみゃー　うむくとぅまい　あいそぅが　がっこうまい　いだはいん（貧乏だから子供たちは頭も良いが学校も出せない)。[類]きばす。

きばんさだます [kibansadamasɨ]【成句】貧乏性。 【例】みどぅんっづぁー　きばんさだまっさ　ひー　むとぅやーから　ひつん　むぬー　とぅいは

い（娘は貧乏性で実家からいつも食べ物を持っていく）。かりゃー　きばんさだますんまり（あいつは貧乏性だ）。

きばんすまがま [kibansɨmagama] 【名詞】貧乏な村。

きふなず [kifunazɨ] 【名詞】〖魚〗岩穴の中にいる白いウナギ。 【例】きふなずっじゃ　なんとぅが　とぅみらいん（岩穴の中にいる白いウナギは中々見つけられない）。

きみつき [kimitsɨki] 【動詞】［母音語幹］他人のことを先入観を持って決めつける。 ［類］きみつつ。

きみつつ [kimitsɨtsɨ] 【動詞】［k 語幹］他人のことを先入観を持って決めつける。 【例】あいや　ひとぅーぎゃー　きみつかん（そんなに人を先入観を持って見てはいけない）。［変異］きみつふ。［類］きみつき。

きゃ [kja] 【接尾辞】動詞基本形についてその動作をする時間を表す、（～し）たら、(～する）とき、(～の）ころ。【例】ゆながい　うーぎー　みーきゃー　みずぶくい　ひーゆー（長時間泳いでいたら水でふやけた）。くぬ　きかいや　くまう　うすきゃー　すぐ　むゆつどぅす（この機械はここを押すとすぐ動く）。ばー　やらびあいきゃー　きばんどぅ　あたい（私はこどものころ貧乏だった）。ばたぶにぬ　ぶいきゃたーひー　ばらいーにゃーん（お腹の骨が折れるくらい笑った）。みーや　にゃーんきゃ　ばらいーにゃーん（沢山笑った［＜目がなくなるほど沢山笑った］）。やらびぬ　にっづゅーきゃん　んーぬかでぃー　くーでぃ（子供の寝ている間に芋を掘って来よう）。

ぎゃー [gja:] 【助詞】（目的格について）提題を表す。 【例】ばー　うりゅーぎゃー　っしーどぅ（私はそれを知っている）。

ぎゃー [gja:] 【接尾辞】時間を表す名詞について概数を表す､～位､程。【例】くぬ　てれびゃー　ほぅだ　いっかねんぎゃー　なりーどぅ（このテレビは約一ヶ年位はなっている）。

ぎゃー [gja:] 【助詞】提題助詞「あ」の同義語 ［述語につける場合「べんりぎゃー　べんりぎゃー　やいそぅが」のように繰り返して使われるが、繰り返さなくてもよい。また、二番目の「ぎゃー」はなくてもよい。主題につける場合は繰り返さない］。【例】かにゃー　うむくとぅぎゃー　うむくとぅぎゃー　やいそぅが　むいとぅ　やなくんじゃう（かには賢いことは賢いが、とても性格（根性）がわるい）。くぬせんたっきゃーじゃうとーぎゃーじゃうとーやいそぅがいみやーがまんなうっかいん（この洗濯機は上等だが小さい家には置けない）。かぬ　ひとぅぎゃー　ばがどぅすだら（あの人は私の友だちです）。［類］あ。

きゃーい [kja:i]【動詞】[r/rr 語幹][A] 消える。【例】うまっちゃ　きゃーりーにゃーん（火は消えた）。

きゃーぎ [kja:gi]【名詞】[A]〖植〗イヌマキ。【例】きゃーぎぬ　ないや　ふぁーいどぅす（イヌマキの実は食べられる）。

きゃーす [kja:sɨ]【動詞】[s/h 語幹][A] 消す。【例】うまっちゅ　きゃーす（火を消す）。

きゃーん [kja:n]【名詞】[C]〖植〗蔓（カズラ）[ビラフ（籠）、綱引き大会用の綱、およびユークイの時ウーンマたちが「よーんてる・ゆーんてぃる」と唱えながら、ナナムイの御嶽を回って祈願する時に顔を覆うためにかぶる鬘（かつら）の材料]。【例】きゃーんひーん゜なう　なう（蔓草で綱を綯う）。

きゃうだい [kjaudai]【名詞】兄弟、姉妹。【例】ばぬんな　きゃうだいや　にゃーん（私にはきょうだいはない[兄弟、姉妹どちらも指す]）。ばぬんなびきどぅんきゃうだいや　ふたーいみどぅんきゃうだいや　みちゃーいうり（私には男のきょうだいが二人、女のきょうだいが三人いる）。

きゅー [kju:]【助数詞】家を数える助数詞、軒。【例】ひとぅ　きゅー（一軒）。ふた　きゅー（二軒）。

きゅー [kju:]【名詞】[B] 今日。【例】きゅーや　とぅんでぃさうがつ（今日は冬至正月だ[冬至正月は正月は１２月２０日ごろ行われる冬至の祝い、現在は干支を同じくする人たちの同期会のようになっている]）。きゅーがーまーす（今日一日中）。きゅーや　きゅー　あちゃー　あちゃ　やいば　きゅー　あすがまたぬ　くとぅーぎゃー　きゅーひー　ひつなすばどぅ　じゃうかい（今日は今日、明日は明日だから今日やるべきことは今日で片付けた方が良い）。きゅーどぅ　きゅー　んなまどぅ　んなまだら（今こそやるべき時だ、今すぐに実行しよう）。

きゅー [kju:]【形容詞】[B] 煙たい。[類] きゅーす。

きゅーす [kju:sɨ] ①【名詞】[B] 煙。【例】かうぬ　きゅーす（線香の煙）。②【形容詞】[A] 煙たい。【例】たばくー　ふきゅー　ひとぅぬ　ういば　きゅーすかいば　ならん（タバコを吸っている人がいるので煙たくてしかたない）。[類] きゅー。

きらす [kirasɨ]【動詞】[s/h 語幹][C]（品物などの買い置きを）なくす。【例】たばくー　きらひーにゃーん（煙草を切らした）。

ぎり [giri]【名詞】[B] 義理。【例】ぎりじゅー　びとぅ（義理堅い人）。

きん [kin]【助数詞】斤（重さの単位、600 g）、１０以上は[ずき（１０斤）、「ひゃっき（１００斤）」のように「き」

で表す]。 【例】いっきん（1斤）。ぐきん（5斤）。ろっきん（6斤）。ななきん（7斤）。はっきん（８斤）。っくぬきん（９斤）。[類] き。

きんだてぃ [kindati]【名詞】安全祈願 [建築着工時に糸を張り柱等の位置を定める]。【例】きんだちゃーひーやーぬ ほぅいさ、 はらう んじゃん うっつが にだます（糸を張って家の大きさ、柱をどこに置くか決める）。

きんちゃく [kintçaku]【名詞】袋状の財布で上を縛る、巾着。

ぎんとぅどぅ [gintudu]【副詞】本当に、もしも。 【例】ぎんとぅどぅっづぁが うるー ひーやーてぃがー っづぁうぎゃー んがーはん（もしもあなたがそれをやったとしたらあなたを逃さない［＞許さない]）。

きんぴ [kimpi]【名詞】[C] 化学肥料。【例】ほぅっづぁいぬどぅ きんぴんつきゃー じゃうかい（馬小屋、牛小屋等から出た肥料の方が化学肥料より良い）。ぶーずんかい きんぴゅー ふぃー（サトウキビに化学肥料を蒔く）。

きんみ [kimmi]【名詞】[B] 目方、重さ。 【例】うぬ っぞぅぬ きんみゅー はかりーみーる（その魚の重さを測ってみなさい）。

く

くー [ku:]【助数詞】ものを数える助数詞、個。【例】ひとぅ　くー（一個）。ふた　くー（二個）。

くー [ku:]【動詞】［w 語幹］［C］乞う。【例】むぬー　くいー　ふぁう（飯をめぐんでもらって食べる）。むぬ　にゃーんば　むぬ　くいが（食べ物がないので食べ物を乞いにいく）。

くー [ku:]【名詞】［B］腰　［普通「くーまがい」「くーぶい」などと使い、腰を単独で指す場合は「くす」を使う］。【例】くーぶい　ういびとぅ（腰の折れた年寄り）。ういびとぅ　ないてぃがー　くーや　まがりー　んじゃうなむぬ（年寄りになったら腰が曲がって残念だ）。［類］くす。

くー [ku:]【名詞】［B］粉。【例】めりけんぐー（メリケン粉）。かまぬ　くーゆ　むちーくー（あそこの（メリケン）粉をもってこい）。

くー [ku:]【名詞】［C］昆布。【例】くーじゅー（おかずとしての昆布）。

くー [ku:]【名詞】［C］着物などの破れたところを繕うこと、植え直すこと。【例】つんぬ　くー　あす（衣類の穴のあいているところを修繕する）。くーずん（継ぎ接ぎした着物）。ぶーずぬ　くー　あす（サトウキビの生えていないところに植え直す）。なうぬ　くーががら　っさいん（何を繕ったか分からない［＞何のことだか分からない］）。

くー [ku:]【形容詞】［B］苦しい。【例】ばー　やまだっちゃひー　くーかいばならん（私は下痢して苦しくてならない）。あいぬ　くー　かまらす　ゆーゆぎゃー　ふぁーん（こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない［＜生きない］）。

ぐー [gu:]【名詞】［C］囲碁。【例】ひとぅむてぃから　ぐーゆ　あす（朝から囲碁をする）。

ぐー [gu:]【名詞】［C］仲良し、似た者同士。【例】うぬきゃが　ふたーいや　いつまい　ぐー（その二人はいつも仲良しだ）。

ぐー [gu:]【名詞】［C］固い岩。【例】ぷかぐーゆ　ばい（固い岩を割る）。

くーい [ku:i]【動詞】［r/rr 語幹］［C］

（木の枝などが）十分成長する、（人が）大人びる。 【例】ぶっーじゃ　んめ　くーりー　ぶい　ずぶん　なりーどぅ（サトウキビはもう熟して収穫する時期にきている）。きーや　くーらだかー　ないや　いでぃん（木は成熟しないと実はでない）。くーいびゃー　やらび（成長の速い子）。うぬ　みどぅんやらびゃー　くーりーどぅー（あの女の子はもう大人びてきた）。

くーい [ku:i]【名詞】［C］小さな物置（＜くり）。 【例】うつばらぬ　くーい（奥の小部屋の物置）。

くーさ [ku:sa]【名詞】［C］苦しさ、困窮。

くーさぬ　だい [ku:sanu dai]【成句】苦しさの代償。 【例】てぃまーぬ　あてぃ　やすだいかいば　くーさぬ　だいや　にゃーん（手間賃が余りにも安いので疲れの代償にならない）。

くーす [ku:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］（大きな木の根や石などを）掘り起こす。 【例】ながうちゃひー　いっそぅ　くーす（つるはしで石を掘り出す）。うぬ　きーぬ　にーゆ　くーはでぃな（この木の根を掘り起こすよ［「一緒に掘り起こそうか、お前は掘り起こそうとしているのか」の解釈も可］）。

くーすきゃ [ku:sɨkja]【名詞】〖魚〗メガネクロハギ、ナミダクロハギ。 【例】くーすきゃー　あうさり　むぬ（メガネクロハギは　生臭い）。

くーすみゃ [ku:sɨmja]【名詞】〖生物〗〖食〗甲イカ、こぶじめ。 ［変異］くぶすみゃ。

くーずん [ku:zɨn]【名詞】破れた箇所を繕った着物。

くーそぅ [ku:su]【名詞】［B］唐辛子。 【例】やぐみ　からぐーそぅ（とても辛い唐辛子）。［変異］くーす。

くーそぅふぁや [ku:sufaja]【名詞】〖生物〗木登りトカゲ。 【例】ばなひー　くーそぅふぁやう　ふんず（罠で木登りトカゲを捕まえる［＜縛る］）。［変異］くーすふぁや。

くーた [ku:ta]【名詞】［C］〖魚〗箱フグ。 【例】くーたがまー　ふぁーいどぅー（箱ふぐは食べられる）。くーたがまー　だみやすむぬ（ハコフグは突きやすい）。

くーた [ku:ta]【形容詞】［C］（味が）とても濃い。 【例】くらー　あず　くーたかいば　ふぁーいん（これは味が濃すぎて食べられない）。うらー　あずくーたひー　んまい（これは味が濃くておいしい）。うぬ　わーにむんな　まーぬ　くーたっふぁにゃーだ　んまい（この豚肉の煮物はあまり味が濃くなくてうまい）。

ぐーにゃ [gu:nja]【名詞】［C］蛾の一種、沖縄クロホージャク（スズメ蛾科）［外敵に見つからないようにホバーリングしながら花の蜜を吸う大型の蛾］。

【例】まずむぬぬ　ぐーにゃん　なりー　ひがっりー　っちゅーい（幽霊が蛾になって化けてでてきた）。ぐーにゃぬ　とぅびー　うい（蛾が飛んでいる）。［類］あんぐーにゃ。

ぐーはん [gu:han]【名詞】左右反対。【例】うぬ　やらびぬ　くつぬ　んˀんかたー　ぐーはん（その子の靴の履き方は左右反対だ）。

くーぶに [ku:buni]【名詞】腰骨。【例】ういびとぅ　なりどぅ　くーぶにまい　まがりーゆー（年取って腰骨も曲がっている）。

ぐーみつ [gu:mitsɨ]【動詞】［k 語幹］つまらないことを言う。【例】まーぬ　ぐーみつな（あまり馬鹿なことを言うな）。［変異］ぐーみふ。

くーむや [ku:muja]【名詞】室内にいる小さいクモ。【例】くーむやぬ　すー（クモの巣）。［類］んˀむ。

くーる [ku:ru]【名詞】［C］〖遊〗独楽（こま）、手製の独楽。

くーわー [ku:wa:]【名詞】昆布。［類］くー。

くい [kui]【動詞】［母音語幹］［C］（ものを）乞う。［類］くー。

くい [kui]【指示詞】［A］〖指示名詞〗近くにあるもの、人を指す、これ、この人、こいつ；それ、その人、そいつ［提題形は「くらー」「くりゃー」、目的格形は「くりゅー」、「くるー」］。【例】ういとぅ　くい（それとこれ）。［類］うい。

くい [kui]【名詞】［C］声。【例】がばー　ぐいゆ　いだし（大きな声を出せ）。くいばーき（声を限りに）。ほぅぐい（大声）。やぐい（大声）。いみぐいがま（小声）。ぱーが　いがんぐいゆ　つふ（おばあさんの遺言を聞く）。かりぐい（かれた声）。なつぐい（泣き声）。

くい [kui]【動詞】［母音語幹］［A］（溝などを）超える、年末から年始になること（年越し）。【例】うまぬ　ふぐんぬ　またぎー　くいる（ここの溝をまたいで越えろ）。とぅっそぅ　くい（年を越す）。

くいがーい [kuiga:i]【名詞】声変わり。【例】やらびゃー　くいがーいや　ひーどぅー（子供は変声している）。

くいちゃー [kuitɕa:]【名詞】宮古の伝統踊り。

くがい [kugai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（思い）焦がれる、疲れる。【例】うむいくがい（思い焦がれる）。きゅーやだり　くがりーどぅー（今日は疲労困憊だ）。

くがい [kugai]【名詞】［C］焦がれること。【例】つむくがい（心が焦がれること）。みどぅんぬ　くとぅー　あてぃ　うむいくがりゃー　ひーゆー（彼女のことを思い焦がれている）。

くがに [kugani]【名詞】[A] 黄金、(大切なものとしての) 子供。

くぐとぅ [kugutu]【名詞】[A] 小言。【例】まーぬ　くぐとぅがまー　あいな (あまり小言を言うな)。

くさーん [kusa:n]【副詞】(裏表) 逆に、裏返しに。【例】つんぬ　くさーん　つー (着物を裏返しに着る)。

くさか [kusaka]【名詞】[C] これだけ。[変異] ふさか。[類] くさき。

くさき [kusaki]【名詞】[C] これだけ。【例】たやー　くさきてぃー　いりー (力をこれだけと入れる [＞思い切り入れる])。っぅぁが　たまー　くさき (あなたの取り分はこれだけだ)。[変異] ふさき。[類] くさか。

くさんみ [kusammi]【名詞】背中。

ぐしゃ [guça]【オノマトペ】砂や土を掘る音。【例】んぷらひー　ぐしゃぐしゃてぃー　しなう　つふ (芋掘り棒でグシャグシャと貝をつく [＞取る])。

くじゃしつ [kuʒaçitsi]【名詞】一番座 (床の間、客間)。【例】しーしーゆぎゃー　くじゃしつんかい　とぅむーし (先生を一番座にお通ししなさい)。[変異] くじゃひつ。

くしゃん [kuçan]【名詞】[A] くしゃみ。【例】かじゃー　ひきどぅ　くしゃんぬ　ひーゆー (風邪引いてくしゃみしている)。

ぐしゃん [guçan]【名詞】[C] 杖。【例】ういびとぅー　ぐしゃんな　つきー　んっちゅ　あいつ (老人は杖をついて道を歩く)。うーんまー　さつんなりー　ぐしゃんな　ぐしゃぐしゃてぃー　つふっちゃーん　あいきゅー (ウーンマは先頭になって杖をグシャグシャとつきながら歩いていた)。[類] でぃー。

くじゅ [kuʒu]【名詞】[B] 去年。【例】うらー　くじゅぬ　はなす (それは去年の話)。

くす [kusi]【動詞】[s 語幹] [A] こす、ろ過する。【例】んーくっじゅ　くす (芋くずをこす)。

くす [kusi]【名詞】[B] 腰、後押し。【例】ういびとぅ　ないてぃがー　くっさ　まがりー　んじゃうなむぬ (年を取ると腰は曲がって残念だ)。くすぶい　ういびとぅ (腰の曲がった年寄り)。にんぎんな　くすぬ　あいばどぅ　じゃうかい (人間は後押しがあった方が良い)。にんぎんぬ　すぐいや　くすまいどぅ　あい (人間が出世するのは後押しもある)。[類] くー。

くず [kuzi]【名詞】[C] 余計なもの、あまりもの；ものが散らかっている様子。【例】うまぬ　くっじゅ　とぅい (そこの余分なものを取れ)。

くず [kuzi]【動詞】[g 語幹] [C] 漕ぐ；生活する。【例】ふにゅー　くず (舟を漕ぐ)。うまぬ　きないや　やっとぅ

がまどぅ　くぎゅーはず（その家庭はやっとのことで生活しているはずだ）。

くず [kuzɨ]【名詞】［C］水際に生える藻。　【例】みずんなかんういゆーくっじゃなびーやいば　まさがんみーあいき（水の中にはえている藻はすべりやすいからよく見て歩け）。

ぐず [guzɨ]【名詞】［C］垢。　【例】どぅーぬぐっじゅあらい（体の垢を洗え）。［類］なば。

くずあに [kuzɨani]【名詞】子守姉。［類］むらに。

くすぐー [kusɨgu:]【名詞】腰。　［類］くす。

くすぶに [kusɨbuni]【名詞】腰骨。

ぐずら [guzɨra]【名詞】［C］酒席等で中々席を立たない人、ぐずぐずして世話のやける人。　［類］びだく、だらくげった。

くたんでぃ [kutandi]【名詞】苦しんでいること。【例】さきくたんでぃ（二日酔い）。かりゃー　ゆび　あてぃ　さきぬんな　ひどぅ　さきくたんじゃー　ひどぅ　くたんじゅーい（彼は昨晩酒飲み過ぎて二日酔いして苦しんでいる）。

くつ [kutsɨ]【名詞】［C］（死人の）骨、お骨。　【例】くつあらい（洗骨）。くつあぎ（お骨上げ）。

くっづぁ [kuvva]【名詞】［B］ふくらはぎ、こむら。　【例】くっづぁ　あがいや　ひどぅ　くっづぁー　いちゃかいば　ならん（こむらがえりしてふくらはぎが痛くてしかたがない）。ばかむぬぬ　くっづぁ　ぱずみーどぅーい（若者のふくらはぎは膨らんでいる）。

くっづぁ　あがい [kuvva agai]【成句】［r/rr 語幹］こむら返りする。【例】ゆび　にっづゅーきゃー　くっづぁ　あがりー　いちゃかいば　んびゃーいっだん（夕べ寝ていたら、こむら返りして痛くてたまらなかった）。

くっづぁがい [kuvvagai]【名詞】ふくらはぎの痙攣、こむら返り。【例】くっづぁがいや　いちゃむぬ（こむら返りは痛い）。

ぐっづぁんなりー [guvvannari:]【成句】ぶんぶんと羽音をたてる。【例】っさりっぞぅんな　はいぬどぅ　ぐっづぁんなりー　たかりゅー（腐った魚には蝿がぶんぶんと羽音をたてて集っている）。［類］がっづぁん　なりー。

くっじゃす [kuʒʒasɨ]【動詞】［s/h 語幹］苦労させる、難儀させる。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　くっじゃはん（そんなには人を苦労させない［＞苦労させてはいけない］）。

くっず [kuzzɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［C］苦労する、難儀する。　【例】ばー　でぃんな　すてぃー　むいとぅ　くっじ

ーにゃーん（私はお金を落としてとても難儀した）。［類］くっでぃ。

くっそぅ　たでぃー [kussu tadi:]【成句】楽な姿勢を取るために柱などに腰を当てて寄っかかる。　【例】ばーくすぬ　いちゃかいば　うまん　くっさ　たでぃー　びじゃでぃ（私は腰が痛いのでそこに腰を当てて寄りかかって座ろう）。くっそぅ　はらんかい　たでぃー（腰を家の柱に当てる）。

くっでぃ [kuddi]【動詞】［母音語幹］［C］苦労する、難儀する。［類］くっず。

くでぃ [kudi]【名詞】［C］黒ずんでいること。　【例】ばが　てぃーや　あてぃ　すかまー　ひーどぅ　くでぃんなりゅー（私の手は仕事をやり過ぎて黒ずんでいる）。

ぐでぃんぶー [gudimbu:]【名詞】御前風（お祝いの時に歌う歌）。

くとぅ [kutu]【名詞】［C］《形式名詞》こと。　【例】なうぐとぅまい　にゃーん（何事もない）。きょーとんかいやいきゃーくとぅー　にゃーん（京都にはいったことはない）。あいぬ　くとぅぎゃー　ばー　っさん　（そんなことはわたしは知らない）。

くとぅす [kutusɨ]【名詞】［A］今年。　【例】くとっさ　ゆがほぅー（今年は豊年だ）。

ぐどぅん [gudun]【名詞】［B］愚鈍、バカ。

ぐな [guna]【接尾辞】～担当、～役割。【例】つつぐな（聞き役）。むぬいぐな（話役）。っぞとぅいぐな（魚とり役）。いんぐな（海に行って魚をとる係り）。むぬにーぐな（食事を炊く係り）。

くなす [kunasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］仕事を処理する、こなす。　【例】すかまう　くなす（仕事をこなす）。

ぐに [guni]【動詞】［母音語幹］［C］文句を並べ立てる、ごねる；（駄々を）こねる。　【例】すかまー　ひらいん　なっちゃかんんまりゃー　んばてぃどぐにゅー（仕事のできない奴は嫌だとごねている）。あいや　ぐにーな（そんなに文句を言うな）。［類］ぐにゃい。

ぐにゃい [gunjai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］文句を並べ立てる、ごねる；（駄々を）こねる。【例】くぬ　やらびぬ　んまんかい　ぐにゃいきゃー　ぎっじゃ　ひらいん（この子が母親に駄々をこねると手が付けられない）。［類］ぐに。

くぬ [kunu]【指示詞】《指示形容詞》その；この［「うぬ」と「くぬ」は基本的に区別なく使われるが、文脈指示は「くぬ」でなく、「うぬ」が使われる］。

くぬい [kunui]【名詞】［C］最近。【例】くぬいや　っづぁー　まーぬ　みーらいっだん　いー（最近はあなた余り会えなかったねぇー）。くぬいや　みーや　むーっでぃー　しんぶんまい　ゆまいん（最近は目がかすんで新聞も読めない）。

くぬぎ [kunugi]【名詞】[C] これくらいの（短い）長さ。 [変異] くなぎ。

くぬきゃ [kunukja]【名詞】[C] この人たち。 【例】くぬきゃー やぐみ うむくとぅ あい ひとぅんみ（この人たちはとても頭がいい人たちです）。[類] くぬきゃた。

くぬきゃた [kunukjata]【名詞】この人たち。 【例】くぬきゃたー ひとぅーぎゃー まつぎぬ すたからどぅみー（この人たちは他人をまつ毛の下から見る [＞見下している]）。[類] くぬきゃ。

くぬちゃ [kunutɕa]【名詞】[C] こちら側。 【例】かぬちゃうぎゃー みーだ くぬちゃう みーる（向こう側を見ないでこちら側を見なさい）。

くば [kuba]【名詞】[B]〖植〗クバ、檳榔（ビロウ）。 【例】くばずー（クバで作った釣瓶）。くばがさ（クバ傘）。くばぎー（クバの木）。

くぱ [kupa]【形容詞】[B] 固い。 【例】くぱ いす（固い石）。くぬ かーっさ くぱかいば かまいん（この菓子はかたいから噛めない）。

くばい [kubai]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 配る。 【例】かーっそぅ くばい（菓子を配る）。

くぱい [kupai]【動詞】[r/rr 語幹] [C]（寒さなどで体が）硬くなる。 【例】どぅーや くぱりーどぅー（身体が硬くなっている）。っしかいば てぃーまい くぱりーどぅー（寒いので手も凍えている）。

くばずー [kubazɨ:]【名詞】釣瓶（つるべ）。 【例】うぬ くばずーぬ んˀなー まるかいば みっじゃ んˀまいん（この釣瓶の縄は短いので水が汲めない）。くばずーひー みっじゅ んˀん（釣瓶で水を汲む）。

くぱん [kupan]【名詞】[C]〖祭礼〗御嶽で使われる言葉で「塩」を意味する。

くび [kubi]【名詞】[B] 壁。 【例】かややーぬ くび（茅葺家の壁）。

くび [kubi]【動詞】[母音語幹] [A] 縊（くび）る、しばる。 【例】ひんじゃぬ はっじゅ んˀなひー くびー（ヤギの足を綱でしばる）。

くぴ [kupi]【名詞】[B] 小さいゴミ。【例】ふとんぬ くぴ（布団から出るゴミ）。

くぴん [kupin]【名詞】[C] 瓶。 【例】さきくぴん（酒瓶）。

くぶー [kubu:]【名詞】[B] 締め切ること、また締め切られたところ。【例】うまぬ やどぅー くぶーあっそぅ（この戸を閉め切りなさい）。ぶじゃがまー いつまい うつばらぬ くぶーがまんどぅ にっづぃーうい（おじさんはいつも締め切られた奥の小さな部屋に寝ている）。

くぶすみゃ [kubusimja]【名詞】〖生物〗〖食〗甲イカ、こぶじめ。【例】くぶすみゃう　つふ（甲イカを突く）。くぶすみゃー　ふゆんどぅ　ゆー　とぅらいー（甲イカは冬に良くとれる）。［変異］くーすみゃ。

くま [kuma]【名詞】［C］ここ。【例】うま　くま（あちこち）。かま　くま（あちこち）。あま　くま（あちこち）。くまんかい　ってぃ　びじ（ここにきて座れ）。

くま [kuma]【形容詞】［B］（石や砂などが）細かい、（織が）細かい；（お金が）細かい；（仕事が）丁寧だ、丁寧な。【例】っづぁー　くまかい　むぬー　とぅい（お前は小さいほうを取れ）。かいがどぅ　くまかい（これが小さい）。くぬ　いちまんえんぬ　くまふ　あっそぅ（この2万円をくずしてくれ）。みゃーく　じょうふー　くま　ぬぬ（宮古上布は織りの細かい布）。くまでぃん（小銭）。うぬ　さやふぬ　すかまー　やぐみ　くま　すかま（あの大工の仕事はとても丁寧だ）。［変異］ぐま。

ぐま [guma]【形容詞】［B］（石や砂などが）細かい、（織が）細かい；（お金が）細かい。［変異］くま。

くまい [kumai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］籠る、閉じこもる。【例】まーぬ　やーぬ　なかん　くまいな（あまり家の中に閉じこもるな）。やーぐまい（家に閉じこもる）。ゆーぐまい（夜籠り［＞ウタキで夜を過ごすこと］）。

くまい [kumai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（紐などが間を）通る。【例】ばなぬ　くまい　まどぅない　にゃーん（罠の通る隙間もない）。

くまかた [kumakata]【名詞】こちら側、こちらの方。【例】かまかたうぎゃー　みーだ　くまかたう　みーる（向こうの方を見ないでこちらの方を見なさい）。

ぐまずー [gumazi:]【名詞】細かく切ること、細切れ、たたきにすること。【例】っぞぅーぎゃー　ぐまずー　あっそぅ（魚を細かく切りなさい）。

ぐまたん [gumatan]【副詞】細かく、小さく。［類］ぐまみん。

くまづかい [kumazikai]【名詞】お使い。【例】やらびゅー　くまづかい　あすみ（子供をお使いさせる）。

くまでぃー [kumadi:]【名詞】大工仕事等で手が細かい人、技術力のある人。【例】くまでぃー　じゃう　さやふ（腕のいい大工）。［類］ぐまでぃー。

ぐまみ [gumami]【名詞】［B］粉々。【例】いっさ　ばりー　ぐまみん　なす（石を割って粉々にする）。

ぐまみん [gumamin]【副詞】細かく、小さく。【例】ぐまみん　なしる（こなごなにしなさい）。［類］ぐまたん。

くまやき [kumajaki]【形容詞】倹約な、几帳面な。【例】かりゃー　くまやき　みどぅん　やいば　きない　むつじゃうず（彼女は倹約な女性だから家計をみるのが上手）。くまやき　びとぅ（倹約な人）。

くまらす [kumarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（紐などの間を）通す。【例】ゆだとぅ　ゆだぬ　なかう　ばなー　くまらす（枝と枝の間を罠を通す）。

くみ [kumi]【動詞】［母音語幹］［C］入れる、込める。【例】あなんかい　きーゆ　くみー（穴に木を押し込める）。ばふ　うっさ　つーび　とぅきゃんな　ばふてぃー　まらう　くみー（種牛は交尾するときにはずぼっとマラを入れる）。

くみ [kumi]【名詞】［B］米。【例】くみだーら（米俵）。［類］まい。

ぐむ [gumu]【名詞】［B］ゴム。【例】かーきだくー　ぐむぬ　んまりゃーひー　ひつにかいば　ならん（燻製のタコはゴムのようにかたくてしかたがない）。

くむい [kumui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］籠る。［変異］くまい。

くむい [kumui]【名詞】［C］籠ること。【例】うたきんぬ　ゆーぐむいぬ　かんにがい（御嶽での夜籠りの祈願）。［変異］くまい。

ぐむかん [gumukan]【名詞】〖遊〗ぱちんこ（子供のおもちゃの一つ）。【例】ぐむかんひー　っふぁどぅりゃう　あてぃー（パチンコで雀を当てる）。

くや [kuja]【感動詞】ほら。【例】くや　くや（ほら、ほら）。

くゆび [kujubi]【名詞】［C］小指。

くゆん [kujun]【名詞】［B］暦。

くらす [kurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］殺す；懲らしめる。【例】さうがつわーゆ　くらす（正月用の豚を屠る）。むぬいゆぎゃー　つかんやらびゅーぎゃー　くらし（言うことを聞かない子供は懲らしめなさい）。んぬつぬ　ふかっでぃー　あすきゃ、　いつぬ　にーぬ　ふかっでぃー　あすきゃ　くらはいたい（命がなくなるほど、息の根が止まるほど懲らしめられた）。

くり [kuri]【動詞】［母音語幹］［A］（お金を）両替する。【例】でぃんぐり（両替）。でぃんな　くりー　つかーでぃ（お金を両替して使おう）。でぃんな　くりー　やらびんみんかい　おとしだま　ふぃーでぃ（お金を両替して子供達にお年玉をあげよう）。

ぐり [guri]【接尾辞】（動詞基本形について）「～しにくい」、「～しがたい」という形容詞語幹を作る。【例】くぬ　きかいや　あつかいぐり（この機械は扱い難い）。あいぐりむぬ（言いにくい）。

ふぁうぐりかいばならん（食べにくくて仕方がない）。

ぐりす [gurisɨ]【名詞】［C］（1センチから2センチぐらいまでの）小石。【例】はいぬ　ぐりっそぅ　っそぅいー　すてぃでぃ（畑の小石を拾って捨てよう）。［変異］ぐりし。

ぐる [guru]【名詞】［C］粟、高黍（コーリャン）等の枯れた茎、枯れた芋蔓。【例】ほぅぎゃんぐる（高黍の枯れた茎）。んーぎーぐる（芋蔓の枯れたもの）。ぶーずぐる（枯れたサトウキビの茎）。

くるきゃ [kurukja]【名詞】［C］《魚》ヒレナガスズメダイ。

ぐるくん [gurukun]【名詞】《魚》グルクン、タカサゴ。［類］ぶるくん。

くるず [kuruzɨ]【名詞】［C］鍋の底にこびりついた食べ物。

ぐるったー [gurutta:]【名詞】ごろつき、ならず者。【例】かりゃー　ひとぅだます　ぐるったー（あいつは人をだますごろつきだ）。

くるぶす [kurubusɨ]【名詞】踝（くるぶし）。

くるまう　むつ [kurumau mutsɨ]【動詞成句】［c/t 語幹］車を運転する；車を所有すること。【例】ばー　きゅーや　くるまー　むてぃー　っさらんかい（私は今日は車を運転して平良に（行く））。からー　んなーぎゃー　くるまー　むちゃー　うらん（彼はまだ車を持っていない）。

ぐるみつ [gurumitsɨ]【動詞】［k 語幹］目が回る。【例】みーぬどぅ　ぐるみきー　まーりゅー（目がグルグルと回っている）。［変異］ぐるみふ。

くろんぼー [kurombo:]【名詞】《蔑称》黒人。

くん [kun]【動詞】［m 語幹］［C］夜ごもりする。【例】うたきんな　ゆーや　くみー　かんぬ　にがう（ウタキでは夜ごもりして神に祈る［＜夜を籠って神を願う］）。

ぐん [gun]【名詞】［C］《魚》ムッル（ムロアジ）が大きくなったもの。【例】ぐんぬどぅ　ほぅんみん　なりー　っちゅーい（むろあじが大群で来ている）。

くんきゃ [kuŋkja]【名詞】［C］《蔑称》ライ病患者。［類］くんちゃー、あいたー。

くんじゃう [kunʑau]【名詞】（悪い）性格。【例】かりゃー　くんじゃうや　あたらん（あいつは性格がよくない）。やなくんじゃうひとぅ（性格の悪い人）。

くんず [kunzɨ]【動詞】［g 語幹］［C］背負う。【例】っふぁう　くんず（子供を背負う）。

くんつ [kuntsɨ]【名詞】［B］根気、元気。【例】くんっちゃ　にゃーんんまり（元気のない奴）。んまむぬー　ふぁいー　くんっちゃ　つきーどぅーい

（美味しいものを食べて体力がついている）。くんつじゅー　びとぅ（根気強い人）。くんつまき（根負け）。

くんつき [kuntsiki] ①【動詞】［母音語幹］（人や動物を）押さえつける。【例】ひんじゃう　くんつきる（山羊を押さえつけろ）。②【動詞】［母音語幹］（子供などが）しがみつく。【例】やらびゃー　くんつきー　はなりん（子供はしがみついて離れない）。

くんぱい [kumpai]【動詞】［r/rr 語幹］（後ろに下がったり、前に引っ張られないように）踏ん張る；（仕事や作業などを）頑張る。【例】んˀなひつんな　わいてぃー　くんぱい（綱引きでは一生懸命に踏ん張る）。あてぃ　くんぱりゃー　ひー　むいだり（頑張りすぎて疲れた）。くんぱりー　ぶーっじゅ　かたん（頑張ってサトウキビを担ぐ）。

ぐんばう [gumbau]【名詞】ごぼう。

くんぱにー [kumpani:]【名詞】とても親しい友人。【例】かにとぅ　まさいや　くんぱにー（カニとマサイはとても親しい友人だ）。

くんぱらす [kumparasi]【動詞】［s/h 語幹］（後ろに下がったり、前に引っ張られないように）踏ん張らせる；頑張らせる。【例】あちゃぬ　んˀなひつんな　んーなう　わいてぃー　くんぱらし（明日の綱引きではみんなをしっかり踏ん張らせろ）。

け

けー [keː]【名詞】[B]おびえること。【例】やらびゃー　んめ　うどぅるきー　けーん　なりーどぅー（子供はもう驚いておびえている）。

けーさん [keːsan]【名詞】計算。【例】からー　けーさんじゅー（あいつは計算高い）。けーさんばっぱい　あす（計算間違いをする）。

けーひ [keːhi]【名詞】[C]経費。【例】やーふっちゃ　けーひじゅー（家を作るのは経費がかかり過ぎる）。

げったー [getaː]【名詞】能力のない者、下の者。［変異］ぎったー。

けんけんぱー [keŋkempaː]【名詞】〖遊〗片足飛びの遊び。【例】だいしゃーひー　けんけんぱーや　ひー　かーらー　きりー　あそぅー（片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ）。

げんのー [gennoː]【名詞】金槌。【例】かにふっじゅ　うんかっでぃー　ひー　はっじゃきー　げんのーひー　うながうゆびゅー　っつきーにゃーん（釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった）。

こ

こーたい [ko:tai]【名詞】交代、交替。【例】じょ　すかまう　こーたい　ほぅでぃ（仕事を交替しよう）。

こーどぅい [ko:dui]【名詞】フクロウ。【例】ゆなか　こーどぅいぬ　こーこーてぃ　なつ（夜中フクロウがコーコーと鳴く）。

ごん [gon]【オノマトペ】ごつん。【例】かなまいゆ　ごんてぃー　ふぁーす（頭をゴツンと叩く）。

さ

さ [sa]【接尾辞】形容詞語幹について名詞化する接尾辞、「～さ」。 【例】くぬ　まんごーぬ　んぶさー　いかっさばかーい（このマンゴーの重さはどれくらいだ)。ほぅいさう　はかい（大きさを測る)。いみさ　みー（小ささを見る[＞馬鹿にする])。くぬ　みどぅんぬ　あばらぎさー　みゃーくいち（この女性の美しさは宮古一だ)。くとぅすぬ　ぼーなすぬ　さかふさん　うどぅるつたい（今年のボーナスの少なさに驚いた)。

さ [sa]【助詞】〖終助詞〗よ、だよ、だろう。 【例】っづぁが　とぅみゅー　むぬー　かまん　あいさ（君が探しているものはあそこにあるだろう)。

さー [sa:]【名詞】[C] 差。 【例】やぐみ　さーや　あり（大変な差がある)。

さー　やい [sa: jai]【成句】「ーかい、ーむぬ」のように形容詞語幹について述語化する機能をもつ。「のだ」、「のだよ」。【例】からー　いつまい　いばいさー　やい、がずさーやい　ひーゆー（彼はいつもいばったり、ものをけちったりする)。ばー　っづぁうぎゃー　いつまい　すーじゃさー　やい（おれはいつもお前がうらやましい)。ばが　むちゅー　っぞぅぬどぅ　ほぅいさー　やい（私が持っている魚の方が大きいのだ)。くいがどぅ　いみさー　やいだら（こっちの方が小さいのよ)。

さーい [sa:i] ①【動詞】[r/rr 語幹] [A] 連れる。 【例】うやう　さーりーくー（おじいさんを連れて来なさい)。やらびんみゃー　さーりー　っさらんかい　いつ（子供たちを連れて平良に行く)。ぱーや　ばぬー　さーりー　ぶらぬ　むぬすーぬ　まいたーひー　いきゅーたい（おばあさんは私を連れて保良のユタのところまで行った)。②【動詞】[r/rr 語幹] [A] 子守する。【例】っふぁう　さーい（子守する)。きゅーや　っふぁ　さーい（今は子守だ)。

さーい [sa:i]【動詞】[r/rr 語幹] [A] 触れる、さわる。 【例】くぬ　かみがまんかいや　なんとぅが　さーいな（このツボには絶対さわるな)。あつやかんかい　さーりーみーてぃがー　てぃーや　っさらはいにゃーん（あついやかんに触ったら手をやけどした)。[類] さ

ーい（母音語幹）。

さーい [sa:i]【動詞】［母音語幹］［A］触れる、さわる。［類］さーい（r/rr 語幹）。

ざーざーてぃー [za:za:ti:]【オノマトペ】（雨の降る様子）ザーザーと。【例】あみぬどぅ　ざーざーてぃー　っふゅーたい（雨がザーザーと降っていた）。［変異］じゃーじゃーてぃー。

さーるかもーたー [sa:rukamo:ta:]【名詞】カマキリ。【例】さーるかもーたーん　かかっじゃいにゃーん（カマキリにひっかかれた）。

さい [sai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］（植物が）枯れる；（魚が）ひからびる；（着物が）乾く。【例】ひむーひー　ぶーっじゃ　さりー　はりーにゃーん（旱魃でサトウキビは枯れてしまった）。さりっぞう（きびなごの干物）。っぞぅー　さらす（魚を干す）。いすぬ　あーぎん　さるまたう　さらす（石の上でパンツを乾かす）。あかう　さらす（髪を乾かす）。あかー　さりーにゃーん（髪が乾いた）。［類］さり。②【動詞】［r/rr 語幹］［A］（土地などが）干上る。【例】っしゃー　っしどぅ　さりーゆー（礁は潮が引いて干上がっている）。［類］さり。

さい [sai]【名詞】［C］悪だくみ、考え、計画、。【例】かいが　さいや　んがいーにゃーん（彼の悪だくみがばれた）。かいが　さいや　ばぬんな　っさいん（彼の考えは私にはわからない）。

さい [sai]【名詞】［C］エビ　［いびがん（伊勢海老）以外のエビは「さい」という］。【例】さでぃあんな　ひきー　さいゆ　とぅい（手網を引いてエビを取る）。まうきゃーいん　さじゅー　ひつてぃがー　うんそぅく　さいぬ　とらいたい（大浦湾で小網を引いたらたくさんエビがとれた）。

さいじゅー [saiʒu:]【形容詞】計算高い。【例】からー　さいじゅーかいば　かいんな　だまはいだうり（彼は計算高いので彼にはだまされるな）。

さいぬは [sainuha]【名詞】酉（西）の方。

さいぬはでぃー [sainuhadi:]【名詞】西支部［西原は東西南北の 4 つの支部に分かれており、その西支部のこと］。

ざいばん [zaiban]【名詞】在番［人頭税時代の宮古の最も偉い人で首里王府から派遣された役人］。

ざいんみ [zaimmi]【名詞】ずぶ濡れ。【例】あみん　ったかいー　ざいんみん　ないたい（雨に叩かれてずぶ濡れになった）。［変異］じゃいんみ。

さう [sau]【名詞】［C］思慮、分別。【例】かりゃー　さうや　にゃーん　つっとぅい　ぱぎんまり（彼は分別がないやつだ）。かりゃー　さうや　ありゅーんががらどぅ　まさがん　むぬーぎゃー　ふぁいゆー（あの子は分別があ

るのか、ちゃんと食事をしている)。やらびゃー　ほぅりみつっじゃひどぅ　みーんな　さうやにゃーん（子供は右往左往して目には落ち着きがない)。さう　ぱぎ　んまり（分別がないやつ)。みーんな　さうや　にゃーだ　ほぅりみつず（目には落ち着きがなく視点が定まらない)。

さう [sau]【名詞】[B] 竿。【例】むぬほぅすじゃう（物干し竿)。つんほぅすじゃう（物干し竿)。

さうー [sau:]【動詞】[vv 語幹幹][A] 刀等で突き刺す、突き刺す。【例】ひんじゃぬ　ぬどぅー　さっづぃ（山羊の首を突き刺せ)。ひとぅー　さっづぃや　ならん（人を突き刺してはいけない)。

さうか [sauka]【名詞】[C]〖食〗ショウガ。

さうがつ [saugatsɨ]【名詞】正月。【例】さうがつんな　なうばいぬ　むぬーどぅ　ふぁうが（正月にはどんなものを食べますか)。くとぅすぬ　さうがっちゃ　やぐみじゃう　わーつつどぅ　あたい（今年の正月はとてもいい天気だった)。

さうがつわー [saugatsɨwa:]【名詞】正月に食べるために飼ってきた豚。

さうき [sauki]【名詞】[C] 竹籠［1メートルくらいの平たい底の浅いかごで天井からぶらさげる」。【例】かぬ　さうきんな　なうぬどぅ　はいりゅーば（あの竹籠には何が入っていますか)。

さうきぶに [saukibuni]【名詞】あばら骨。【例】びきどぅんな　さうきぶにぬどぅ　ってぃつ　たらーんば　うむくとぅー　にゃーん（男性はあばら骨が一つ足りないから頭が悪い)。[類]やかたぶに。

さうず [sauzɨ] ①【名詞】[C] 掃除。【例】みなかぬ　さうず（庭の掃除)。②【名詞】[C] お祓い、お清め。【例】うまんな　やなむぬぬどぅ　ういば　まーそぅさうず　あっそぅ（そこには悪霊がいるから塩でお清めをする)。とぅか　さうずばり（出産後、10 日目頃のお祓い)。

さうずがら [sauzɨgara]【名詞】塵、芥。【例】さうずがらう　とぅい　すてぃる（塵を取ってしまいなさい)。[類]あふた。

さうずばり [sauzɨbari]【名詞】〖祭礼〗出産後約１０日（トゥカンティ）に行うお祓い。【例】とぅかんてぃんな　さうずばりゃー　ひどぅ　あかっづぁん　てぃだがなっそぅ　うがます（出産祝いにはお祓いをして赤ちゃんに太陽神をおがませる)。やらびゅーぎゃー　さうずばりゃー　ひーからどぅ　てぃだうぎゃー　うがます（赤ちゃんをお祓いをしてから外に出して太陽を礼拝させる)。

さうだん [saudan] 【名詞】相談、談合。【例】かいんかいや　さうだんなひらいん（彼には相談できない）。［類］だんがー。

さうみ [saumi] 【名詞】［C］〖蔑称〗斜視。

さうみん [saumin] 【名詞】素麺。【例】さうみん　ぶっとぅら（茹でた素麺を炒めたもの）。

さかー [saka:] 【名詞】［C］さかさま、逆、裏返し。【例】っづぁが　つんぬ　つーかたー　さかー（あなたの服の着け方は表裏が逆だ）。［類］さかさ、さかさー。

さかい [sakai] 【名詞】［B］境、境界。【例】やーぬ　さかい（家の境界）。くまぬどぅ　やすつぬ　さかい（ここが屋敷の境）。

さがい [sagai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］（実などが木から）下がる、（人がものにつかまって）ぶらさがる。【例】ばさぬ　ないぬどぅ　さがりゅー（バナナの実がぶら下がっている）。かたてぃーひー　きーから　さがらいどぅすな（片手で木からぶら下がれるかい）。

さがい [sagai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］つけで物を買うこと。【例】まっちゃんきー　たばくー　さがりーったい（店に行ってタバコをつけで買ってして来た）。むぬー　さがりー　かう（物をつけで買う）。

さかさ [sakasa] 【名詞】［C］さかさま、逆、裏返し。【例】つんぬぎゃー　さかさんな　っちゃん（着物を裏返しでは着ない）。［変異］さかさー。［類］さかー。

さかずき [sakaziki] 【名詞】杯、盃。

さかなやー [sakanaja:] 【名詞】料亭、遊郭。【例】さかなやーんいきー　じゅりゅー　かう（料亭に行って遊女を買う）。さかなやーん　じゅりとぅ　あそぅー（料亭で遊女と遊ぶ）。とぅいしゃう　ほぅりむぬー　きゅーまい　さかなやーんかい（助平な馬鹿者は今日も料亭に（行く））。［変異］さかぬやー。

さかぬやー [sakanuja:] 【名詞】料亭、遊郭。［変異］さかなやー。

さかふ [sakafu] 【形容詞】［C］少ない。【例】ばが　っぞぅだまー　っづぁが　むぬんつきゃー　さかふだー（私の魚の取り分はお前のものより少ない）。

さかま [sakama] 【名詞】［B］坂、坂道。【例】さかまう　あいつ（坂を歩く）。［類］さかまんつ。

さかまんつ [sakamantsɨ] 【名詞】坂、坂道。【例】さかまんっちゅ　あいつ（坂を歩く）。［類］さかま。

さき [saki] 【名詞】［B］酒。【例】さきゅー　かーぬ　みずひー　ばいー　くー（酒を井戸水で割って来い）。さきん　ぬまいー　すん（酒に呑まれて死ぬ）。

さぎ [sagi] ①【動詞】［母音語幹］［C］下げる、ぶら下げる。 【例】さぐなうぎゃー きーん さぎどぅ みーゆぎゃー いだす（ほら貝を木に下げて中身を出す）。うまぬ がずん いんからぬ びらふー さぎる（そこの鉤に海からのカゴを下げろ）。［変異］さず。②【動詞】［母音語幹］［C］下痢をする。【例】ばー さぎー っしぬ ばん（私は下痢してトイレの番［＞トイレからでられないこと］）。きゅーや さぎー やまだっちゃ ひーゆー（今日は下痢が止まらない）。わーぬ あっうぁう はーさ ふぁうてぃがー さずどぅす（ブタの脂をたくさん食べると下痢する）。［変異］さず。

さきくたんでぃ [sakikutandi]【名詞】二日酔い、またその人。 【例】んぬ あてぃ さきぬんな ひどぅ きゅーや さきくたんじゃー ひーゆー（昨日飲みすぎて今日は二日酔いだ）。さきくたんじゃー ひー くーかいばならん（二日酔いで苦しくてならない）。あがい んめ きゅーまい さきくたんでぃ（ああ もう大変だ、今日も二日酔いだ、今日も二日酔いだ）。［類］さきぬっち。

さきじゃう [sakiʑau]【名詞】大酒飲み。 【例】ひとぅむてぃからぬ さきぬん さきじゃう（朝からの酒飲み大酒飲み）。［類］さけじゃうぐ、さきぬみゃ、さきふぁや。

さきじゃうぐ [sakiʑaugu]【名詞】大酒飲み。 【例】さきぬん さきじゃうぐ（酒飲み、大酒飲み）。［類］さきぬみゃ、さきふぁや。

さきじゅーばりがみ [sakiʑu:barigami]【名詞】酒豪、割れ瓶。 【例】さきゃー いかっさ ぬまばんまい びゅーいん さきじゅー ばりがみ（酒をいくら飲んでも酔わない酒豪だ）。

さきそぅるー [sakisuru:]【動詞】［w語幹］咲き揃う。 【例】ひまわりぬ さきそぅるいゆー（ひまわりが咲きそろっている）。つゆが はなー さきそぅるいーどぅー（露の花は咲き揃っている［古謡「豆が花」から］）。

さきたりやー [sakitarja:]【名詞】酒屋。 【例】さきたりやーんきー たりかっそぅ かいくー（酒屋に行って酒かすを買ってこい）。

さきぬっち [sakinuttɕi]【名詞】二日酔い。 ［類］さきくたんでぃ。

さきぬみゃ [sakinumja]【名詞】酒飲み。 【例】うぬ さきぬみゃー びゅーいどぅ ぶいたがぶいたてぃー ぶいたみきゅーい（この酒飲みは酔っぱらったらいろいろと愚痴をこぼす）。いっちゃーっさん さきぬみゃ（加減を知らない酒飲み）。かりゃー むいとぅぬ さきぬみゃ（彼はとても酒飲みだ［＜とてもの酒飲みだ］）。［類］さきふぁや、さきじゃうぐ。

さきぬん [sakinun] 【名詞】酒を飲むこと。 【例】さきぬんまい だうりぬどぅ あいむぬ。(酒飲むことにも道理があるものだ)。

さきぬんあぐ [sakinunagu] 【名詞】酒飲み友達。 ［類］さきぬんどぅす。

さきぬんどぅくま [sakinundukuma] 【名詞】酒の席、酒座。 【例】からー いつまい さきぬん どぅくまう とぅみーまーい(彼はいつもどこか酒の席を探しまわっている)。

さきぬんどぅす [sakinundusɨ] 【名詞】酒飲み友達。 ［類］さきぬんあぐ。

さきふぁや [sakifaja] 【名詞】酒飲み。 ［類］さきぬみゃ。

さきやー [sakija:] 【名詞】酒屋。

さぐ [sagu] 【名詞】［C］その人の独特な身振り、歌い方等。 【例】かりゃー さぐー いりー あーぐー あっじゅー(彼は独特の歌い方で歌をうたっている)。

さぐな [saguna] 【名詞】［C］ホラ貝。 【例】さかさん さぐなう さぎー うっきゅーふばどぅ ういが みーや たりー うてぃーふー(逆さまにほら貝を下げておいておけば身が垂れて落ちてくる［＜それの身は］)。

ささぎ [sasagi] 【名詞】［C］結婚すること。

ささぎゆーい [sasagju:i] 【名詞】結婚式。 【例】きゅーや うぬきゃが ささぎゆーいちゃ(今日はかれらの結婚祝だってさ)。

さし [saʂi] 【名詞】［C］柄杓。 【例】みっじゅ さしひー ぬん(水を柄杓で飲む)。

さす [sasɨ] ①【動詞】［s 語幹］［C］(指や手でものを)指す、指し示す。 【例】ばが さす とくまう みーる(私が指すところをみなさい)。 ②【動詞】［s 語幹］［C］(液体を入れ物に)注ぐ。【例】ちゃーゆ ちゃばんかい さす(お茶を湯呑に注ぐ)。 ③【動詞】［s 語幹］［C］(針やキリなどの細いものを)刺す;(ものをものの間に)差す;(傘を)さす。【例】はいゆ さしー んーくー いだす(針を刺して膿をだす)。んーぷらう んなぐんかい さしー しなう とぅい(芋掘り棒を砂に刺して二枚貝を取る)。まーたー ゆっづぃー うまん さし(マータを結んでそこにさしなさい［「マータ」はススキを結んだ魔除け］)。さなう さす(傘をさす)。 ④【動詞】［s 語幹］［C］(蚊や鉢などの虫が肌を)刺す。【例】かじゃんぬ さしどぅ っさんˀんぱずん ないちゃ(蚊が刺して象皮病になるんだって)。かじゃん ささいーにゃーん(蚊に刺された)。あいっぞぅぬ つーずんな ささいな(アイゴの刺には刺されるな)。かたなひー ひとぅー さす(包丁で人を刺す)。ばー ばかかいきゃー たう

んまばすん　ささいーにゃーん（私は若いころスズメバチに刺された）。かじゃんー　ささいー　っさ　ん゜んぱずん　ないちゃ（蚊に刺されて象皮病になるんだって）。⑤【動詞】［s 語幹］［C］（寒さが肌を）さす。【例】きゅーや　ひぐるかいば　みずまい　さしーどぅーい（今日は寒いので水は刺すように冷たい）。⑥【動詞】［s 語幹］［C］魚肉等が腐って、食べようとしたら唇等に痛みを感じる。【例】っさり　っぞぅ　ふぁうてぃがー　すばう　さすどぅす（腐った魚を食べると唇を痛いほど刺激する）。［類］そっづぃ。

さず [sazɨ] ①【動詞】［g 語幹］［C］下げる、ぶら下げる。［類］さぎ。②【動詞】［g 語幹］［C］下痢する。【例】わーぬ　あっづぁう　はーさ　ふぁうてぃがー　さずどぅす（ブタの脂をたくさん食べると下痢する）。［類］さぎ。

さず [sazɨ]【名詞】［C］佐司（昔の役人の役職の一つ）。【例】さずばい（佐司の畑）。

さず [sazɨ]【名詞】［C］タオル。【例】さっじゅ　かなまいん　まつ（タオルを頭に巻く）。べー　っづぁが　っふすー　みはなう　さずひー　ぬぐい（ほら、お前の汚れた顔をタオルでぬぐえ）。

さた [sata]【名詞】［C］砂糖。【例】っふじゃた（黒糖）。さたうぎゃー　ぶーずからどぅ　ちゅっふ（砂糖をサトウキビから作る）。

さだい [sadai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］先導する。【例】ばが　まうきゃーゆ　さだりー　あいき（私の前を先に歩け）。

さだいあに [sadaiani]【名詞】（人生の）先導役のお姉さん。

さだいそぅじゃ [sadaisuʒa]【名詞】（人生の）先導役のお兄さん。

さだか [sadaka]【名詞】［C］理解すること、定めること、確認すること。【例】うりゃー　あたりゅーむ　なうむ　ばぬんな　さだかー　ひらいん（それはあっているのかどうか私には確認できない）。みーまーいや　ひー　いじゃどぅ　いじゃがから　さだかーひらいん（目がくらんでどこがどこだか分からない）。っづぁー　なうてぃー　あっじゅーがから　ばぬんな　さだかー　ひらいん（あなたが何と言ったのか分からない）。ばぬんな　うらー　さだかー　ひらいん（私にはそれは分からない）。

さたてぃんぷら [satatimpura]【名詞】穴の開いてない沖縄風ドーナツ、。

さだり [sadari]【名詞】［B］海岸の角のない丸くなった小石、さざれ石。【例】はまぬ　さだり（浜のさざれ石）。

さつ [satsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］咲く。【例】はなぬ　さつ（花が咲く）。［変異］さふ。

さつ [satsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（紙や布などを）手で二つにする、裂く；（仲

を）裂く。 【例】ほぅんぬ さふ（本を裂く）。かびーゆ ふたーつん さつ（紙を二枚に割く）。うぬきゃが ふたーいが なかー さかいーにゃーん（彼ら二人の仲は引き裂かれてしまった）。［変異］さふ。

さつ [satsɨ]【名詞】［A］先。 【例】ばー さつん はらでぃ（私は先に失礼します）。さつん なり（先になれ［＞先に行け］）。にんぎんぬ っふぁーばうぬ さつんどぅ そぅだつ（人間の子は棒の先に育つ［＞愛の鞭で育つ、可愛い子には旅をさせよ］）。

さっづぃ [savvi]【動詞】［母音語幹］［A］突き刺す。 【例】ひんじゃぬ ぬどぅぐらう さっづぃ（山羊の喉を突き刺せ）。［変異］さうー。

さつばい [satsɨbai]【名詞】先頭、先導役、指導役。 【例】んきゃーんな みどぅんな いっさぬ さつばいどぅ あたいちゃ（昔は女性は戦争の先頭に立ったそうだ）。さだいそぅじゃー っふぁがまぬ さつばい（サダイスジャは赤ちゃんの先導役）。ばが さつばいん ならでぃ（私が先頭にたとう）。

さでぃ [sadi]【名詞】［B］小網、掬い網の一つ、またその漁、又手（さで）網。 【例】さじゃー ひきー っぞぅ とぅらでぃ（又手網を引いて魚をとろう）。まうきゃーいん さじゅー ひつてぃがー うんそぅく さいぬ とらいたい（大浦湾で小網を引いたらたくさんエビがとれた）。［類］さでぃあん。

さでぃあん [sadian]【名詞】小網、掬い網の一つ、またその漁、又手（さで）網。 ［類］さでぃ。

さでぃふ [sadifu]【名詞】［C］〖植〗浜木綿、ハマオモト。 【例】さでぃふひー はらんぬ ちゅっふ（ハマオモトで風船を作る）。

さどぅい [sadui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］手探りする。 【例】っふぁどぅくまう さどぅりー あいつ（暗いところを手探りで歩く）。いすぬ みーぬ かんぬ さどぅりー とぅい（石の中の蟹（かに）を手探りでとる）。

さとぅびと [satubito]【名詞】隣人。 【例】ゆーかーま うとぅじゃんつきゃー さとぅびとぅ（遠くの親戚より隣人だ）。

さとぅやー [satuja:]【名詞】隣の家。 【例】かりゃー さとぅやーや まーりーどぅ むぬー くい ふぁいゆー（彼は隣近所を回り、飯を乞うて食べている）。

さな [sana]【名詞】［C］傘、笠。 【例】さなう さす（傘を差す）。きゅーや あみぬ ふーぎかいば さなう むちーはり（今日は雨が降りそうだから傘を持って行け）。あみふーんな さなう かうー（雨の日には笠をかぶる）。

さなか [sanaka]【名詞】[C] 日中、9 時から 10 時の間で（暑くなる前）。【例】なつぬ　さなかー　あつかいば　ならん（夏の日中は暑くてならない）。

さなず [sanazɨ]【名詞】[C] ふんどし。【例】さなっじゅ　つー（ふんどしをつける）。

さに [sani] ①【名詞】[C] サトウキビの種［芽が出る茎を切ったものを植える］；オスの精子。【例】ぶーずぬ　さに（サトウキビの種）。さにんま（種馬）。［類］たに。②【名詞】[C] 血筋、親戚。【例】ながんぬつ　さに（長生き系統）。うぬきゃが　さにゃー　うむくとぅ　あい　さに（この人たちの系統は頭の良い系統だ）。にんぎんな　さにんどぅ　がーらいー（人間の出来不出来は血筋による）。

さにがーい [saniga:i]【名詞】変種、親と出来の違う子がうまれること、またその子。【例】からー　さにがーいや　ひー　ぶんかーりー　うむくとぅ　あいかい（彼は親、祖父母とは違って頭が良い）。［類］たにがーい。

さにつ [sanitsɨ]【名詞】[B] 旧暦の 3 月 3 日の大潮の日。【例】さにつんな　っしん　いきー　っしん゜ん　あす（旧暦 3 月 3 日には礁（リーフ）で潮干狩りする）。

さにん [sanin]【名詞】[B]〖植〗月桃。【例】さにんな　かばすむぬ（月桃は香ばしい）。

さにんま [sanimma]【名詞】種馬。【例】さにんまー　ほっかいどーからぬ　ばんばどぅ　あたい（種馬は北海道からのばん馬だった）。

さば [saba]【名詞】[C] 草履。【例】あだんば　さば（アダンの葉で作られた草履）。さばぬ　にゃーん（草履がない）。［類］ふだみ。

さば [saba]【名詞】[B] 鮫（サメ）。【例】さばう　つー（サメを釣る）。

さぱーす [sapa:sɨ]【動詞】[s/h 語幹] そそのかす、おだてる。【例】うらー　すかまうぎゃー　ほぅん　なっちゃかんむぬ　やいば　さぱーひー　あすみる（彼は仕事をしない怠け者だからおだてて、（仕事を）やらせなさい）。かるーぎゃー　さぱーひー　ぶどぅらひーみーる（彼をおだてておどらせろ）。

さばに [sabani]【名詞】[C] くりぶね、小舟。［類］そぅーに。

さばふ [sabafu] ①【動詞】[k 語幹] [C] 問いただす。【例】ひとぅー　さばふ（人を問いただす）。ぬそぅどぅ　さばふ（泥棒を問い質す）。かりゅーまい　さばきーみーる（あいつにも聞いてみろ）。［変異］さばつ。②【動詞】[k 語幹] [C]（魚などを）捌（さば）く。【例】っぞぅー　さばふ（魚を捌く）。［変異］さばつ。

さびー [sabi:]【動詞】[r/rr 語幹] [A] 没落する。【例】かまぬ　やーや　さ

びりー　はりーにゃーん（向こうの家は貧乏になってしまった）。

さびーてぃー [sabi:ti:]【副詞】物静かに。【例】かりゃー　さびーてぃー　びじゅーたい（彼は物静かに座っていた）。

さびす [sabisɨ]【形容詞】［A］寂しい。【例】やーにんじゅぬ　みーだかー　さびすかいば　ならん（家族がいないと寂しくてならない）。たうかー　ういてぃがー　さびすかいば　ならん（一人でいると寂しくてならない）。

さふ [safu]【動詞】［k 語幹］［C］（紙や布などを）手で二つにする、裂く；（仲を）裂く。［変異］さつ。

さぷん [sapun]【名詞】［C］石鹸。【例】さぷんひー　みはなう　あらう（石鹸で顔を洗う）。

さまい [samai]【接尾辞】［母音語幹］尊敬の接尾辞　母音語幹の動詞に付く。子音語幹に付く場合は「まい」、未然形につく。

さまい [samai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（熱いものが）冷める。【例】あつむぬ　やいば　さまいきゃたーひー　まちーから　ふぁーでぃ（熱いので冷めるまで待ってたべよう）。

さまらす [samarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（熱いものを）冷ます。【例】あつむぬーぎゃー　さまらひーから　ふぁい（熱いものは冷ましてから食べなさい）。

さみ [sami]【名詞】［B］疥癬（かいせん）肌。【例】うなが　さみゃー　かぎさみ（あばたもえくぼ［> 自分の疥癬は綺麗な疥癬だ］）。さみ　かうしゃーや　いでぃー　かうかいば　ならん（疥癬が出て痒くてならない）。かうしゃーやひー　どぅーや　さみん　なりゅー（疥癬で身体はざらざら肌になっている）。

さみうんた [samiunta]【名詞】ヒキガエル。［類］さみっふなた。

さみっふなた [samiffunata]【名詞】ヒキガエル；侮辱的な呼びかけ。【例】おい　さみっふなた（おい　ヒキガエル［＞他人を侮辱するときに使う］）。［類］さみうんた。

さむい [samui]【接尾辞】形容詞の語幹について形容詞語幹を作る接尾辞～に弱い、～がり。【例】あつさむい（暑がり）。っしさむい（寒がり）。ひぎゃうさむい（くすぐったがり）。うとぅるっさむい（怖がり［「うとぅるすさむい」もあり］）。

さむい [samui]【名詞】［C］〖遊〗数字遊び（数字を出し合って遊ぶ）二人で同時に指を出し、相手の指の数と合計した数字を言った方が勝ち、両方正解か、両方間違ったら引き分け。両者の前に箸を数本置き、勝者は箸を一本とり、箸が無くなれば終わり。

さや [saja] 【名詞】［B］（豆の）莢（さや）。 【例】まみぬ　さや（豆の莢）。

さやふ [sajafu] 【名詞】［B］大工。【例】てぃーぬん　じゃやふぬ　すかまー　みーらいん（下手な大工の仕事は見られたものではない）。

さやふだうー [sajafudau:] 【名詞】大工道具。 【例】さやふだうーゆぎゃー　あたらっさ　ひー　つかい（大工道具は大切に使いなさい）。

さゆい [sajui] 【名詞】［C］〖魚〗サヨリ。【例】さゆいや　っそぅっぞぅ（サヨリは白い魚）。

さら [sara] ①【名詞】［B］皿 ［連濁するときは「じゃら」になる］。 【例】ほぅじゃら（大皿）。なかじゃら（中皿）。いみじゃらがま（小皿）。むぬー　ふぁいや　うなが　さらう　あらい（ご飯をたべたら自分の皿を洗え）。②【名詞】［B］仕事［「皿」からの比喩］。【例】ばーきゅーや　むぬ　ふぁうじゃらう　とぅみが（私は今日は仕事をさがしにいく）。

さらう [sarau] 【動詞】［w 語幹］［A］浚（さら）う、井戸の底に溜まった泥を浚う。 【例】かーぬ　どぅるー　さらい（井戸の泥をさらえ）。

さらす [sarasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［A］空気に晒す、干す；人に見せる；人に見せびらかす。 【例】どぅーゆ　さらす（体を干す）。つんぬ　さらす（着物を干す）。まーぬ　でぃんぬぎゃー　ひとぅんかい　さらすな（あんまり金を人に見せびらかすな）。

さらたみ [saratami] 【副詞】わざと、わざわざ。 【例】みどりかいぬ　あいば　さらたみ　ったい（みどり会があるのでわざわざ来た）。さらたみてぃー　あいぬ　くとぅーぎゃー　ほぅん（わざとそんなことはしない［＞してはいけない］）。ほぅだ　うらばんまい　くとぅー　さらたみてぃー　あす（やらなくても（良い）ことをわざとやる［＜していなくてもことを］）。さらたみてぃー　やどぅ　ばい（（怒って）わざと雨戸を割る）。かまんかいや　いつたっふぁ　にゃーっだんそぅが　さらたみてぃー　いきゅーたい（向こうには行きたくなかったが仕方なく行った）。

さらに [sarani] 【名詞】［A］再来年。

さらばんず [sarabanzɨ] 【名詞】（人生の）最高の盛り。 【例】うぬ　ばかむぬー　んなまどぅ　さらばんず（この若者はいまが人生の最高潮）。［類］さい。

さり [sari] ①【動詞】［母音語幹］［A］（植物が）枯れる。 【例】ひゃーいなぶーずまい　さりどぅす（旱魃にはサトウキビも枯れる）。ゆながい　あみゃー　っふぁんば　ぶーずまい　さりーにゃーん（長い間雨は降らないのでサトウキビも枯れてしまった）。［類］さい。②【動詞】［母音語幹］［A］（土地などが）干上る。【例】っしゃー　っしど

ぅ　さりーゆー（礁は潮が引いて干上がっている）。

さりっぞう [sarizzu]【名詞】きびなごの乾燥したもの。

さる [saru]【名詞】［C］猿、顔を洗わずに不格好な人のこと。【例】おいやまじゃる　っづぁー　んじゃんかいが（おい、山猿、お前はどこに（行くの）か）。

さるか [saruka]【名詞】［C］《植》サルカケミカン［刺がある］。【例】さるかぬ　とぅず（サルカケミカンの刺）。さるかんな　つーずぬ　あい（サルカケミカンの木には刺がある）。さるかひー　みどぅんぬ　つんぬ　からぎー（サルカケミカンで女性の着物を絡げる）。

さるつ [sarutsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］仲間外れにする。【例】うりゅーぎゃー　さるきーんなし（そいつを仲間外れにしてしまえ）。［変異］さるふ。

さるまた [sarumata]【名詞】猿股、股引、パンツ。【例】やり　さるまた（古いパンツ）。

さん [san]【名詞】［B］高い岩山。【例】まじゃぬ　さん（真謝の岩山）。

さん [san]【名詞】［B］魚のエラ。【例】っぞぅぬ　さん。（魚のエラ）。

さんぎ [saŋgi]【名詞】［C］鳥肌。【例】さんぎぬどぅ　たちゅーい（鳥肌が立っている）。

さんじゃい [sanʑai]【動詞】［r/rr 語幹］（高いところから）落ちる。【例】きーぬ　はなから　さんじゃりー　うてぃーにゃーん（木の上から落ちた）。［変異］しゃんじゃい。

さんじゅつ [sanʑutsɨ]【名詞】算術、算数、数学。

さんしん [sanɕin]【名詞】三線。【例】さんしんぬ　ちる（三線の弦）。さんしんぬ　ちんだみ（三線の調弦）。

さんしんばなり [sanɕimbanari]【名詞】大浦湾の沖にある三線の形をした岩礁。

さんだん [sandan]【名詞】（ますむいの）会計をすること、（ますむいの）会計係。【例】ますむいぬ　くとぅー　さんだんあす（ますむいのことを算段する）。からー　ますむいぬ　さんだんちゃ（彼はますむいの算段役だって）。［類］さんとぅりゃ。

さんとぅら [santura]【名詞】《祭礼》ナナムイの役の名前（その年に生まれた子供の数を数えて記録し、みゃーくずつの時に発表する役）。

さんぱつやー [sampatsija:]【名詞】床屋、散髪屋。［類］あかそぅいやー。

さんまい　すなーにゃーん [sammai sɨna:nja:n]【成句】（形容詞語幹について）～でどうしようもない。【例】んずぎさんまい　すなーにゃーん（醜くくてどうしようもない）。あぱら

ぎさんまい　すなーにゃーん（美人でどうしようもない「＞とても美人だ]）。がずさんまい　すなーにゃーん（ケチでどうしようもない）。

さんみん [sammin]【名詞】考えを巡らすこと、計算、予測、予定。【例】あいぬ　さんみんまい　かいぬさんみんまいどぅ　ひーゆーや　あら（あれやこれやと考えていたのではないか）。ばぬんな　うらー　さんみんな　ひらいん（私にはそれは理解できない）。あちゃー　うつなーんかい　いつ　さんみん（明日は沖縄に行く予定）。

し

しー [ɕi:]【感動詞】赤ちゃんにおしっこを促すときに発する言葉。 【例】すばいゆ　しーってぃ　っし（小便を「シー」としなさい）。

しー [ɕi:]【名詞】[B] 岩。【例】しーぬ　みーゆ　あまんぬ　とぅみーまーい（岩の中をヤドカリを探して回る）。[類] かんふ。

じー [ʑi:]【名詞】[B] 痔。 【例】じーぬどぅ　やんかい（痔が悪い）。じーぬ　しゅじゅっちゅ　あすたい（痔の手術をした）。

しーぐ [ɕi:gu]【名詞】[C] 小刀。【例】かぬやらびゃー　しーぐひー　えんぴっちゅ　きっじゅーい（あの子は　小刀で鉛筆を削っている）。しーぐー　んじゃん　うっきゃーがてぃー　ばっしーにゃーん（小刀をどこに置いたか忘れた）。

しーしー [ɕi:ɕi:]【名詞】先生。 【例】しーしーが　とぅず（先生の奥さん）。くらー　いぬ　しーしーが　かばんが（これはどの先生のカバンですか）。くぬ　がっこーんな　しーしーや　にじゅーめーばかーいどぅ　うい（この学校には先生が２０人くらいいる）。びきっづぁー　ちゅーがっこーぬ　しーしーん　ないたい（むすこは　中学校の先生になった）。

しーたう [ɕi:tau]【名詞】製糖。【例】しーたうやー（製糖工場）。

しーとぅ [ɕi:tu]【名詞】[C] 生徒。【例】しーとぅやらびんみ（生徒たち）。くぬしーとぅぬ　んまぬどぅ　んˀぬがっこーんかい　っちゅーたい（この生徒の　お母さんが　昨日学校に来ていた）。びきどぅんしーとぅんみゃーばうずがなまいどぅ　あたい（男子生徒たちは坊主頭だった）。みどぅんしーとぅんみゃー　あうすかーとぅー　っちゅーたい（女子生徒は青いスカートをはいている）。

しーとぅやらび [ɕi:tujarabi]【名詞】生徒。【例】がっこうんな　しーとぅやらびんみぬ　うい（学校には生徒たちがいる）。んなま　しーとぅやらびんみゃー　うんどーじょーん　うぐなーりゅー（いま生徒たちが運動場に集まっています）。しーとぅやらびんみ

ぬ　なーゆ　んーな　うぶいどぅーな（生徒たちの名前を皆覚えていますか）。

しーなう [ɕi:nau]【名詞】〖道具〗篩（ふるい）。【例】しーなうひー　みりくんぐーゆ　ゆい（篩でメリケン粉をよる）。

しーぶ [ɕi:bu]【名詞】［C］〖祭礼〗年末の男性の祭事、歳暮。

しーる [ɕi:ru]【名詞】［C］トイレの汚水。

しおから [ɕiokara]【名詞】〖食〗塩辛、カツオの腸の塩漬け。

しがかい [ɕigakai]【名詞】釣り針が海底の石などに引っかかること、根掛かり。【例】つーぬどぅ　しがかいやひーゆー（釣り針が石に引っかかっている）。

しちぐつ [ɕitɕigutsɨ]【名詞】旧暦７月のお盆。【例】んすむらんな　しちぐっちゃ　にゃーっだん（西原にはお盆はなかった）。［変異］しつぐつ。

しつ [ɕitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（寝具を）敷く。【例】ふとんぬ　しき（布団を敷きなさい）。［変異］しふ。

しつ [ɕitsɨ]【名詞】［C］物入れ箱、タンスの引き出し。【例】しつんかいつんぬ　いりー（物入れ箱に着物をいれる）。

しつき [ɕitsɨki]【動詞】［母音語幹］［A］虐待する、厳しくしつける。【例】ばが　ぶとぅ　あたいひとぅ　ばぬーあてぃくとぅ　しつきゅーたいばどぅ　とぅずぶとぅ　ばきゃーい　あすたい（私の夫だった人は私をとても虐待したので離婚した）。やらびゅーぎゃー　しつきー　ならーし（子供を厳しく教えろ）。

しつぐつ [ɕitsɨgutsɨ]【名詞】旧暦７月のお盆。【例】んすむらんな　しつぐっちゅぎゃー　ほぅだどぅ　みゃーくづっちゅ　あす（西原ではお盆はしないで宮古節をやる）。［変異］しちぐつ。

しどぅ [ɕidu]【名詞】［C］船頭、船長。［類］しんどぅ。

しな [ɕina]【名詞】［C］ハマグリなどの二枚貝。【例】しなとぅい（二枚貝取り）。ほぅらばまんな　しなぬどぅ　むいとぅ　うたい（大浦湾にはハマグリが沢山いた）。んーぷらひー　しなうとぅい（芋掘り棒でハマグリをとる）。

しば [ɕiba] ①【名詞】［C］心配。【例】いんかい　はりーにゃーん　ぶとぅぬくとぅー　むいとぅ　しばよ（海に行った夫のことがとても心配だ）。ばが　みーぬ　っふかいきゃー　とぅずっふぁんみゅーぎゃー　むぬふぁいぬ　しばうぎゃー　あすみん（私の目の黒いうちは妻子には食べ物の心配はさせない）。んなまが　っさー　しばーにゃーん（今のところ心配はない）。しばあすな（心配するな）。っふぁー　ゆららひー　むいとぅ　しば（子供を迷

子にさせてしまってとても心配だ)。やらびゃー　たうかーひー　うつなーんかい　はらひー　しば（子供を一人で沖縄に行かせて心配だ)。[変異]しわ。②【形容詞】[C]心配だ。【例】ばー　しばかいば　ならん（私は心配でならない)。[変異]しわ。

しば [ɕiba]【形容詞】[C]狭い。【例】うまー　しばかいば　びー　まーやにゃーん（ここは狭いから座るところがない)。

しばな [ɕibana]【名詞】[B]海岸の崖の上。【例】いんぬ　しばな（海岸の崖の上)。

しび [ɕibi]【名詞】[B]マグロ。【例】しびの　っぞぅ　なます　（マグロの刺身)。しびぬ　はいなー（マグロの延縄)。[変異]しゅび。

しびら [ɕibira]【名詞】[C]背中。

しびらぶに [ɕibirabuni]【名詞】肩甲骨。【例】さうがつんな　わーぬ　しびらぶにゅーどぅ　さだいそぅじゃが　まいんかいや　むちーいきゅーたい（正月には豚の肩甲骨を先導役のお兄さんに前には持って行った)。

しぶに [ɕibuni]【名詞】[B]背骨。【例】しぶにゅー　んばす（背骨をのばす)。

しまい [ɕimai]【感動詞】しまった。【例】しまい。むいとぅ　うどぅきーにゃーん（しまった。大損してしまった)。

しまな [ɕimana]【名詞】[B]〖果物・野菜〗〖食〗島菜。

しみ [ɕimi]①【動詞】[母音語幹][C]（縄などで）締める。【例】ぶーずぬ　にーゆ　ちゅーく　しみる（サトウキビの荷を強く締めろ)。②【動詞】[母音語幹][C]催促する。【例】うっかう　しみー　とぅい（借金を催促して取る)。③【動詞】[母音語幹][C]狭める、追い込む。【例】っづぁが　まいから　っぞぅー　しみーくー（あなたの所から魚を追い込んで来い)。④【動詞】[母音語幹][C]責める。【例】いつまい　むぬいぎゃー　つかん　やらびん　くるまう　かい　ふぃーるてぃ　しみらいゆー（いつも言うことを聞かない子供に車を買ってくれと責められている)。

しみ [ɕimi]【動詞】[母音語幹][C]閉める。【例】やどぅー　しみー（戸を閉める)。

じゃー [ʑa:]【感動詞】目上の人に何か差し出す時の言葉。【例】じゃー　うりゅー　みゃらまてぃ（どうぞ　これを召し上がって下さい)。

じゃー [ʑa:]【名詞】[C]（村の）広場、集会場。【例】じゃーがまん　うぐなーい（(村の）広場に集まる)。

しゃーい [ɕa:i]【動詞】[r/rr 語幹][A]（心が）逸（はや）る、心がいきり立つ、意地を張る。【例】まーぬ　しゃーいな（余り焦るな、意地を張るな)。[類]しゃーがい。

しゃーか [ɕa:ka]【名詞】［A］早朝、未明。 【例】しゃーかん　うきー　ひとぅむてぃんないば　あしゅー　ふぁうたい（未明に起きて朝になったので朝食を食べた)。しゃーかん　うきー　っさかいが　いつたい（未明に起きて草刈りに行った)。っざたー　しゃーかんどう　いんかいや　いつ（父親たちは朝早く漁に行く)。

しゃーがい [ɕa:gai]【動詞】［r/rr 語幹］（心が）はやる、意気込む；あれこれ駄々をこねる。 【例】からー　なうちゃーにゃー　つむでぃー　しゃーがりゅーたい（彼は理由もなく怒って意地を通そうとしていた)。かにゃー　まさいとぅ　すまとぅらでぃー　しゃーがりゅーたい（カニはマサイと相撲をとろうと意気込んでいる)。まーぬ　なうちゃーにゃー　しゃーがいな（あまりあれこれ文句を言うな)。［類］しゃーい。

じゃーにゃー [ʑa:nja:]【接尾辞】(お互いに)～同士。 【例】うぬきゃー　んまじゃーにゃー　きょーだい（その人達は母親同士が兄弟)。

しゃーみつ [ɕa:mitsɨ]【動詞】［k 語幹］焦る、意地をはる。 【例】まーぬ　しゃーみかだうり（あまり焦るな、意地をはるな)。［変異］しゃーみふ。［類］しゃーがい。

じゃーん [ʑa:n]【接尾辞】動詞未然形について意思否定を表す「～しない」、「～するつもりはない。 【例】ばー　いかじゃーん（私は行かない)。ばー　ふぁーじゃーん（私は食べない)。ばー　ほぅじゃーん（私はしない)。ばー　あっじゃじゃーん（私は言わない/歌わない)。っづぁが　いかじゃーだかー　ばんまい　いかじゃーん（あなたがいかないのなら私も行かない)。

じゃーん　あすてぃがー [ʑa:n asɨtiga:]【成句】動詞基本形について「～さえしたら（十分だ、ほかは必要ない)」ことを表す。 【例】ふぁうじゃーん　あすてぃがー　ばー　っさん（自分さえ食べたら私は（ほかの人のこと）知らない)。いつじゃーん　あすてぃがー　んめ　じゃうぶん（行きさえしたらそれで十分だ)。

しゃう [ɕau]【名詞】［C］知恵。 【例】むぬ　かんがいや　にゃーん　しゃうやにゃーん　んまり（浅薄で馬鹿な奴)。［変異］さう。

じゃう [ʑau]【形容詞】［B］良い。 【例】ういがどぅ　じゃうかい（これが良い)。

じゃう [ʑau]【接尾辞】～が上手な人、上戸 ;～が好きな人。 【例】さきじゃう（酒上戸)。わーじゃう（豚肉の好きな人)。

じゃう [ʑau]【名詞】［C］門。 【例】やーぬ　じゃう（家の門)。

じゃうかいがにゃーん [ʑaukaiganja:n]【成句】（あなたが）良いように（しろ）。【例】じゃうかいがにゃーん　あっそぅ（良いようにしなさい）。

じゃうじゃ [ʑauʑa]【形容詞】[C]上手。［類］じゃうず。

じゃうず [ʑauzɨ]【形容詞】[C]上手、(動作について)～名人、名手。【例】かりゃー　なうゆ　あすんまい　じゃうず（彼は何をしても上手）。あすじゃうず（やるのが上手）。うんてんじゃうず（運転上手）。かいがどぅ　んながーな　じゃうずかい（彼が一番上手い）。[類]じゃうじゃ。

じゃうそぅく [ʑausuku]【名詞】天井、天井壁。【例】たか　じゃうそぅく（高い天井）。じゃうそぅくー　にゃーん　やー（天井のない家）。

じゃうとぅー [ʑautu:]【形容詞】上等だ。【例】ういがどぅ　じゃうとぅーかいば　うるー　とぅい（これが一番上等だからそれにしろ）。

じゃうどぅきゃ [ʑaudukja]【名詞】良い天気、良い日、良い時。【例】きゅーや　じゃうどぅきゃひどぅ　とぅりーゆー（今日は晴れている）。きゅーや　じゃうどぅきゃがま（今日は良い天気だ）。[類]じゃうどぅり。

じゃうなう [ʑaunau]【名詞】税金。【例】じゃうなうゆ　うさみー（税を納める）。

じゃうひかず [ʑauhikazɨ]【名詞】良い日取り。［類］じゃうひゅーい。

じゃうひゅーい [ʑauçu:i]【名詞】良い日取り。［類］じゃうひかず。

じゃうぶん [ʑaubun]【名詞】十分。【例】ばが　たまー　うさきひー　じゃうぶん（私の分はそれだけで十分だ）。

じゃか [ʑaka]【名詞】[C]モグラ。【例】じゃかー　ゆなかどぅ　いでぃー　まーい（モグラは夜、出て回る）。

じゃかひとぅ [ʑakahitu]【名詞】イルカ。【例】じゃかひとぅー　うむくとぅ　あい　いつむす（イルカは頭がいい生き物だ）。

しゃく [ɕaku] ①【名詞】[C]人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みたいな。［変異］そぅく。[類]しゅく。②【名詞】[C]ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。[変異]そぅく。[類]しゅく。

じゃぐ [ʑagu]【名詞】[B]カツオを釣るときの餌にする小魚（＜雑魚）。【例】じゃぐがま（カツオの餌）。

しゃし [ɕaɕi]【名詞】[C] 水差（みずさし）。

しゃしんばい [ɕaɕimbai]【形容詞】写真写りが綺麗な、写真映えのする。【例】かぬ　みどぅんな　やぐみ　しゃしんばい　ひとぅ（あの女性はとても写真写りのいい人だ）。くいがどぅ　んながーな　しゃしんばいかい（これが一番写真写りがいい）。

じゃってぃー [ʑatti:]【オノマトペ】さっさと。【例】じょ、すかまうぎゃー　じゃってぃー　ひーすてぃでぃ（さあ、仕事はさっさとやってしまおう）。

じゃまーにゃーだ [ʑama:nja:da]【成句】これ以上（以下）はないくらい、とても、非常に。【例】っざたー　じゃまーにゃーだ　はーさ　っぞぅ　とぃっちゃーい（お父さんたちはとてもたくさん魚を取ってきた）。じゃまーにゃーだ　ひーちゃがまぬ　っぞぅ（とても少ない魚）。

じゃまーにゃーん [ʑama:nja:n]【成句】これ以上（以下）はないくらいの、とても。【例】じゃまーにゃーん　はーさぬ　っぞぅ（これ以上はない位の大量の魚）。じゃまーにゃーん　あぱらぎ　みどぅん（とても美しい女性）。じゃまーにゃーん　んずぎ　みどぅん（とても不美人）。

じゃらてぃー [ʑarati:] ①【副詞】突然に、不意に。【例】どぅすん　じゃらてぃー　いじゃうたい（友達に思いがけず出会った）。②【オノマトペ】ものを叩いたり割ったりする時の音、がちゃんと；藁やサトウキビなどを切り倒す時の音、バサっと。【例】さらう　じゃらてぃー　ばい（皿をガチャンと割る）。じゃらてぃー　ふぁーし（がつんと食らわせろ）。っざらひー　じゃらてぃー　なぎー　たうし（鎌でバサッとなぎたおせ）。

しゃり [ɕari]【形容詞】[A] おしゃれな。【例】しゃりびとぅ（おしゃれな人）。かいがどぅ　んながーな　しゃりかい（彼女/彼が一番おしゃれだ）。

じゃり [ʑari]【動詞】[母音語幹] [A] 戯れる、ふざける。【例】やらびんみぬどぅ　じゃりんきー　あそぅびゅー（子供たちがじゃれ合って遊んでいる）。

じゃり [ʑari]【名詞】[C] 砂利。

じゃん [ʑan]【名詞】[B] ジュゴン。【例】いんぬ　いつむすかりゃー　じゃんぬどぅ　んながーんな　んまかたいちゃ（海の生き物の中ではジュゴンが一番おいしかったって）。

じゃんぬ　ひぎ [ʑannu higi]【名詞】ジュゴンの食べる海藻。【例】じゃんぬ　ふぁう　っさうどぅ　じゃんぬ　ひぎてぃー　あい（ジュゴンが食べる海藻をジュゴンのひげという）。

しゅー [ɕu:]【名詞】[C] 役人、主。

じゅー [ʑu:] ①【接尾辞】（名詞について）～が強い人。【例】みーじゅー（よく見える人）。どぅーじゅー（体の強い人、健康な人）。ばたじゅー（お腹の強い人）。さき　じゅー　びとぅ（酒の強い人）。うんじゅー　びとぅ（強運の持ち主）。②【接尾辞】（動詞について）よく～する人。【例】なつじゅー　やらび（よく泣く子）。ばらいじゅー　やらび（よく笑う子供）。ふぁうじゅー（よく食べる人）。

じゅー [ʑu:]【名詞】［B］尻尾、しっぽ。【例】わーぬ　じゅー（豚の尻尾）。ぬーまぬ　じゅー（馬の尻尾）。

じゅーぐや [ʑu:guja]【名詞】十五夜。

じゅーさ [ʑu:sa]【名詞】［C］〖食〗雑炊。【例】たか　じゅーさ（鷹（サシバ）の具の入った雑炊）。

じゅーばく [ʑu:baku]【名詞】重箱。

しゅく [ɕuku] ①【名詞】［C］人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みたいな。【例】かぬ　しゅくーぎゃー　ゆらはん（あいつのことは許さない）。ういが　しゅくがまんな　でぃんぬぎゃー　かしん（そんなやつにはお金は貸さない）。かいが　しゅくがまうぎゃー　ばらいー　すてぃる（あいつのことは笑ってしまえ）。っづぁが　しゅくがまんな　なうまい　ひらいん（お前みたいなやつにはなにもできない）。かぬきゃが　しゅくがまんな　まきん（あいつらなんかには負けない）。［変異］そぅく。［類］しゃく。②【名詞】［C］ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。【例】ういが　すかまー　いつまい　うぬ　しゅく　だら（彼の仕事はいつもその程度だ）。ばが　たまー　うん　しゅくな（私の取り分はこれくらいか）。［変異］そぅく。［類］しゃく。

しゅく [ɕuku]【名詞】［C］悪い習慣にはまって抜けられないこと、悪い癖、またその人のこと［動詞基本形＋提題助詞＋しゅく　＝　ある行為、行動をくりかえすこと。それから抜け出せないこと。悪い意味で使う］。【例】からー　さきぬんな　しゅく（彼は酒にはまってぬけられない［アルコール依存症だ］）。かりゃー　いつまい　でぃんかいや　しゅく（彼はいつも金に対する奴隷［ばくちなどにはまってお金を浪費する人」）。

しゅく [ɕuku]【名詞】［C］仕事。【例】ばー　きゅーや　しゅく　とぅみが（私は今日は仕事探しに（行く））。

しゅくとぅら [ɕukutura]【名詞】公務員、会社員などの給料取り、サラリ

ーマン。 【例】しゅくとぅらたがどぅ みゃーすかい（給料取りが生活は楽だ）。

しゅしゃー [ɕuɕa:]【名詞】[C] 緊張状態。 【例】うらー いつまい みどぅんぬ みーきゃー しゅしゃーん なりゅー（彼はいつも女性を見たら緊張する）。

しゅび [ɕubi]【名詞】[B] マグロ。【例】しゅびの っぞぅ なます（マグロの刺身）。[変異] しび。

じゅふぎ [ʑufugi]【名詞】[C]《植》デイゴ。 [変異] じゅふず。

じゅふず [ʑufuzi]【名詞】[C]《植》デイゴ。 【例】じゅふずぎー（でいごの木）。[変異] じゅふぎ。

じゅり [ʑuri]【名詞】[B]（遊郭の）遊女。 【例】さかぬ やーんいきー じゅりゅー かう（料亭に行って遊女を買う）。

じゅるん [ʑurun]【動詞】[m 語幹] [C] 騙す、騙し取る。 [変異] じるん。

じゅんてぃー [ʑunti:]【副詞】ちゃんと、はっきりと。 【例】やんな じゅんてぃー なうりーどぅ（病気はちゃんと直っている）。ばー うりゅーぎゃー じゅんてぃー っしーどぅ（私はそれがはっきりと分かる）。

じょ [ʑo]【感動詞】《間投詞》動作を誘うときにいう、さあ。 【例】じょ いかでぃ（さあ 行こう）。じょ ふぁーでぃ（さあ 食べよう）。ゆくいにゃーんば じょー すかまう すきゃきでぃ（休んだから、（さあ）仕事を始めよう）。[変異] じょー。[類] じょーはい。

しょーじき [ɕo:ʑiki]【形容詞】正直。

じょーはい [ʑo:hai]【感動詞】《間投詞》動作を誘うときにいう、さあ。【例】じょーはい いかでぃ（さあー行こう）。[類] じょ。

しょじょ [ɕoʑo]【名詞】[C] 若い独身女性（15 歳位から 20 歳位）。

しら [ɕira]【形容詞】[C] お産したての。 【例】しらぬーま（お産したての馬）。しらいん（お産したての犬）。しらどぅい（しら鳥）。しら わー（お産したての豚）。しらばう（お産したてのヘビ）。

しらやー [ɕiraja:]【名詞】お産したての家。 【例】しらやーんかいや みどぅんんまたが ってぃ んまっふぁう みばかい（出産直後の家には女性たちが来て母子を見守る）。

しらゆー [ɕiraju:]【名詞】お産して間もない頃に親戚、近隣に配るお粥。【例】っふぁぬ んまいてぃがー しらゆーゆ うとぅじゃんみんかい むちー まーい（子供が生まれたらお産のお粥を配って回る）。

しる [ɕiru]【名詞】[C] 精液。 【例】て

ぃんまらーひー　しるー　いだす（自慰行為で精液を出す）。

じるん [ʑirun]【動詞】［m 語幹］［C］騙す、騙し取る。　【例】ばー　やなびとぅん　でぃんな　じるまいにゃーん（私は悪人にお金を騙し取られた）。でぃんぬ　じるん（金を騙し取る）。かいが　でぃんぬぎゃー　じるみ　すてぃる（彼の金を騙し取れ）。［変異］じゅるん。

しわ [ɕiwa] ①【名詞】［C］心配。　［変異］しば。②【形容詞】［C］心配だ。［変異］しば。

しんか [ɕiŋka]【名詞】［C］仕事仲間、（船の）乗組員、メンバー、遊び友達。【例】ばんてぃが　ふにぬ　しんかーんなない　かないむぬ（私たちの船乗り仲間はみんなよく仕事ができる）。さきぬんしんか（酒飲みの仲間）。

しんき [ɕiŋki]【名詞】［C］フィラリア、フィラリアの震え。　【例】しんきぬ　うくりゅー（フィラリアの震えが起こっている）。

しんぎり [ɕiŋgiri]【名詞】切り干し大根。

しんどぅ [ɕindu]【名詞】［C］船頭、船長。　［類］しんどぅ。

す

すー [siː] ①【動詞】[s/ss 語幹][A]（腹が）減る。 【例】ばたぬ　すー（お腹が減る）。②【動詞】[s/ss 語幹][A]（潮が）引く。【例】むいとぅ　そぅーぬ　すーてぃがー　さんしんばなりたーひーまい　あいきー　いかいどぅす（大潮になるとサンシンバナリまで歩いて行ける）。そぅーぬ　っしーから　っしん゜ん　かい　いかでぃ（潮が引いてから潮干狩りに行こう）。そぅーゆ　っさし、そぅーぬ　っさだかー　っしんかい　うりらいん（潮が引くまで待て、潮が引かないと岩礁には行けない［＜潮を引かせろ］）。

すー [siː]【形容詞】[B] 酸っぱい。［変異］そぅー。

すー [siː]【動詞】[s/ss 語幹][A] 小便をする。 【例】すばいゆ　すー（おしっこをする）。

すー [siː]【動詞】[s/ss 語幹][A] 擦って擦り傷を作る。 【例】すまー　とぅい　うとぅい　てぃっづぁいー　うじゃー　すーたい（相撲を取っていて、投げられて腕を擦りむいた）。ぎひつぬ　はーひ　どぅーぬ　かーゆ　っさいたい（ススキの葉で皮を擦って擦り傷を受けた）。

すー [siː]【動詞】[s/ss 語幹][A] 知る；分かる。 【例】かいが　なーゆぎゃー　っしーどぅーな（あいつの名前をしってるかい）。ばー　っさん（私は｛知らない／分からない｝）。かりゃー　なうゆまい　すーじゃうず（彼は何でもよく知っている）。ばー　っしゅーね（おれが知っているかよ［＞私が知ってるわけないでしょ］）。っづぁー　かぬ　みどぅんぬぎゃー　っしゅーだら（お前、あの女の人のこと知ってるだろう）。たるまい　すーんまー（誰も知らないんだよ［＜誰でもしってるかよ（反語）］）。ばー　うりゅーぎゃー　じゅんてぃー　っし（私はそれを明確に知っている）。っづぁー　うぬ　すーがくぬ　もんだいゆぎゃー　すーどぅすな（あなたはこの数学の問題が分かりますか）。つぎぬ　ばっさー　なんじんどぅ　ふーてぃー　っしな（次のバスは何時に来るかわかりますか）。

すー [siː]【名詞】[C] 巣；（噂などの）発信源、またその人。 【例】とぅいぬ

すー（鳥の巣）。うぬきゃが　ふたー　いや　いつまい　ひとぅっじゃぬ　すー（彼女たち二人はいつも人の噂の発信源だ）。

すー [siː]【名詞】[B] 汁。【例】んー　にー　すーゆ　すたん（芋の煮汁をこぼす）。

すー [siː]【名詞】[C] 酢。【例】すーや　そぅーむぬ（酢は酸っぱい）。

すー [siː]【名詞】[B] 水分、水気、汗。【例】すーや　たいたいてぃー　たらほぅー（水滴をぽたぽたと垂らしている）。

ずー [zɨː]【名詞】[B] 文字；勉強。【例】ばぬんな　いみぐま　ずーがまー　かかいん（私には小さい字は書けない）。ずーゆ　ならーす（勉強を教える）。

ずー [zɨː]【名詞】[C] 頭。【例】ずーや　っふぁっつひー　ったかいー　ばりーにゃーん（頭を鍬でなぐられてケガした）。かにが　ずーや　ほぅがなまい（カニの頭は大頭だ）。[類] かなまい。

ずー [zɨː]【名詞】[C] 考え。【例】うなが　ずー　ずーやひー　なうまい　きみらいん（各人の意見が意見なのでなにも決められない [＞各人の意見が違っていて]）。かりゃー　うなが　ずーや　ずーひぬ　ひとぅやいば　なんとぅが　ぶりん（彼は自分の意見が意見の人なので全然折れない [＜自分の意見だけが正しいと思っている人だから]）。[類] かなまい。

ずー [zɨː]【名詞】[B] 土地、地面。【例】やーだま　ずー（長男が引継ぐ先祖代々の土地）。がば　ういびとぅー　ずーや　っふぃー　どぅーい（古老は腰が曲がって頭は地面に着くほどだ（古老は地面に噛みついている））。んす　ずー（肥沃な土地）。いさら　ずー（石ころだらけの土地）。

ずー [zɨː]【名詞】[C] ススキ。【例】ずーんˀなひー　ぶーっじゅ　すまい（すすきの葉でできた綱でサトウキビを縛る）。[類] ぎひつ、ぎすつ。

ずーくまりゃ [zɨːkumarja]【名詞】〖古語〗芋 [＜土に籠っているもの]。[類] んー。

すーじゅー [sɨːʑuː]【名詞】物知り、知恵のある人。【例】ばんてぃが　っざー　なうゆまい　すーじゅー（うちのお父さんはなんでも知っている）。からー　すーがくーぎゃー　すーじゅー（彼は数学をよく知っている）。すーじゅーびとぅ（物知りで頭脳明晰な人）。

ずーじゅー [zɨːʑuː]【形容詞】頑固だ、意地っ張りだ。【例】ずーじゅーびとぅ（意地を張る人）。かりゃー　ずーじゅーかいば　ならーはいん（彼は頑固なので言うことを聞かない）。

すーす [siːsi]【動詞】[s/h 語幹] [C] 擦り傷をつける。【例】ぎひつぬ　はー

ひ　どぅーぬ　かーゆ　すーはいたい（ススキの葉で皮を擦って擦り傷を受けた）。

すーす [sɨːsɨ]【名詞】[B] 赤肉。【例】わーぬ　すーす（豚の赤肉）。

すーつー [sɨːtsɨː]【動詞】[cc/tt 語幹]（魚、肉を）切る。【例】あっちゃぬ　ぶーや　すーっちゅーば　なうはだかーならん（下駄の鼻緒が切れているので直さないといけない）。っざらひー　ぶぅーっじゅ　すーってぃ（鎌でサトウキビを切れ）。っざらひー　てぃーゆ　すーつーたい（鎌で手を切った）。やらびゃー　いとぅー　すーってぃーはりーにゃーん（こどもは糸を切ってしまった）。[変異] すーっつ。

すーっつ [sɨːttsɨ] ①【動詞】[cc/tt 語幹]（ものや糸が）切れる。[変異] すーつー。

すーとぅず [sɨːtuzɨ]【動詞】[g 語幹]（使いすぎて）擦り切る。【例】ずぼんな　すーとぅがいー　あなー　あきーにゃーん（ズボンは擦り切れて穴が開いた）。

ずーぱ [zɨːpa]【名詞】[C] 簪（かんざし）。【例】ぱーや　ずーぱう　さす（おばあさんは簪を差す）。

すーはがい [sɨːhagai]【動詞】[母音語幹]（手や足などを）擦りむく、（車などが）すって傷がつく；（皮膚が）擦り剝ける。【例】たうりー　はっじゃすーはがいーにゃーん（倒れて足をすりむいてしまった）。ぎすつぬ　はーん　すーはがいんやうんてぃ　まないん　あいき（すすきの葉ですりむかないように気を付けて歩きなさい）。んつん　たうりー　みはなー　すーはがいーにゃーん（道に転んで顔を擦り切った）。すまー　とぅいー　うでぃぬ　かーや　すーはがいーにゃーん（相撲を取って腕の皮が擦り剝いた）。[変異] すーぱがい。[類] すーはず、すーぱぎ。

すーぱがい [sɨːpagai]【動詞】[母音語幹]（手や足などを）擦りむく、（車などが）すって傷がつく；（皮膚が）擦り剝ける。[変異] すーはがい。[類] すーはず、すーぱぎ。

すーぱぎ [sɨːpagi]【動詞】[母音語幹]（手や足などを）擦りむく、（車などが）すって傷がつく；（皮膚が）擦り剝ける。[変異] すーはぎ、すーぱず、すーはず。[類] すーはず、すーはがい。

すーぱぎ　んだい [sɨːpagi ndai]【名詞】擦り傷。【例】すーぱぎんだいんかい　っそぅいゆ　ぬい（かすり傷に薬を塗る）。

すーはず [sɨːhazɨ]【動詞】[g 語幹]（手や足などを）擦りむく、（車などが）すって傷がつく；（皮膚が）擦り剝ける。[変異] すーはず、すーはがい、すーぱがい。[類] すーぱぎ、すーはがい。

すーまん [sɨːman]【名詞】小満　[太

陽暦で５月２１日ごろ、旧暦で４月の中頃。２４節気のひとつ]。

すーや　にゃーん [sɨ:ja nja:n]【成句】隙間なく密集している。【例】ふにゅーや　すーや　にゃーだ　すだりんきーどぅ（みかんが隙間なく鈴なりになっている)。

すーん　ない [sɨ:n nai]【成句】水泡（水滴）のように消え失せる。【例】うぬきゃが　うやきゃー　んななない　すーんなりー　にゃーん（この人たちの富は水の泡となって消えていった)。

すいひ [sɨihi]【名詞】[C] 肥溜めの水肥。

すいひだみ [sɨihidami]【名詞】肥溜め。

すがい [sɨgai]【動詞】[r/rr 語幹] [A] 痩せ衰える、苦しみやつれる。【例】つむー　やみどぅ　すがりゅー（心を痛めて痩せ衰えている)。

すがい [sɨgai]【動詞】[r/rr 語幹] [A] (人に）縋（すが）りつく。【例】んまんかい　すがりんきー　がんない（母親に縋り付いて駄々を捏ねる)。あいや　ひとぅんかいや　すがらん（そんなには人にすがりつかない［すがりついてはいけない]）。[類] すがり。

すかかい [sɨkakai]【動詞】[r/rr 語幹] 混み合う。【例】きゅーや　まっちゃんな　ひとぅぬどぅ　すかかいゆ（今日は店には人が混み合っている)。きゅーぬ　ばっさ　すかからっだん（今日のバスは混んでいなかった)。きゅーや　ひとぅー　みーんば　まっちゃー　すかかいんはず（今日はひとがいないので店は混んでいないはずだ)。[変異] すきゃかい、しかかい、っさかい。[類] すかかい（母音語幹)。

すかかい [sɨkakai]【動詞】[母音語幹] 混み合う。[類] すかかい（r/rr 語幹)。

すかす [sɨkasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [A] 鋤で耕す。【例】はいゆ　すきひー　すかす（畑を鋤で耕す)。[類] かでぃ。

すかす [sɨkasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [C] 騙（だま）す。【例】かりゃー　やなじゃい　やいば　かいんな　すかはいな（彼はうそつきなので彼に騙されるな)。あいや　ひとぅーぎゃー　すかはん（そんなに人を騙さない［＞騙してはいけない]）。

すがた [sɨgata] ①【名詞】[B] 姿、恰好。【例】ぱーが　すがたぬどぅ　ゆみん　みーらいうたい。（おばあさんの姿が夢に見られた)。②【名詞】[B] 本性、態度、振る舞い、言動。【例】かいが　すがたうぎゃー　きゅーどぅ　みー（彼の本性を今日こそ見る)。かいが　すがたー　みーにゃーんば　んめかいが　まいんかいや　いかじゃーん（彼の（私に対する）態度、振る舞いを見たからもう彼の所には行かない)。

すかたい [sɨkatai] ①【動詞】［r/rr 語幹］（皮膚の皮が老齢などで）垂れ下がる。 【例】ういびとぅ　ないてぃがー　かーや　すかたりーどぅー（年取ったら皮膚の皮は垂れ下がっている）。 ②【名詞】（顔、体の皮等が）垂れ下がること、皺、皺くちゃの様子。【例】かーぬ　すかたい（皮膚の皺）。っうぁが　ぬどぅぬ　すかたいゆ　かがんひー　みーみーる（あなたの首の皺くちゃのようすを鏡で見てみなさい）。かいが　みはなんな　すかたいや　なうぬ　ひてぃつまい　にゃーん（彼女の顔には皺がぜんぜんない）。うぬ　っそぅいひー　かーすかたいや　なういどぅす（この薬で皮膚のしわくちゃが治る）。

すかま [sɨkama] 【名詞】［C］仕事。【例】すかまー　にゃーん（仕事はない）。くりゃー　てぃーくぱぬ　すかま（これは不器用な人の仕事）。

すかま [sɨkama] 【名詞】［C］昼間。【例】ばー　きゅーや　すかまー　にゃーんば　すかまん　ってぃ　あそぅび（私は、今日は仕事がないので昼間に来て遊びなさい）。［類］ひーま。

すかみ [sɨkami]【動詞】［母音語幹］［C］（顔を）しかめる、（威張った感じで）鼻をツンとする 「すかん」を参照。【例】はな　すかみゃ（ツンとした仕草）。じょー　すかまう　すきゃきでぃ（さー　仕事を始めよう）。［類］すかん。

すがり [sɨgari]【動詞】［母音語幹］［A］（人に）縋（すが）りつく。【例】まーぬ　ひとぅんかい　すがりー　まーいな（余り他人に縋りつくな）。［類］すがい。

すかん [sɨkan] 【動詞】［m 語幹］［C］（顔を）顰（しか）める、（威張った感じで）鼻をツンとする。 【例】みはなう　すかみ（顔をしかめる）。［類］すかみ。

すき [sɨki] 【動詞】［母音語幹］［A］供える。 【例】うほぅずんみんかい　むぬー　すきる（先祖神に物を供えなさい）。

すき [sɨki] 【名詞】［C］〖道具〗鋤（すき）（農機具）。

すきじゅー [sɨkiʑu:] 【名詞】供え物。【例】かんにがいんな　すきじゅーゆ　すきだかー　ならん（祈願には供え物を供えないといけない）。［類］すきむぬ。

すきなふ [sɨkinafu] 【名詞】家づくりの無料奉仕、相互扶助の手伝い。 【例】ほぅかでぃふつん　やーや　っちゅらはいにゃーんば　あちゃー　やー　ふかっじゃー　すきなふー　ひー　ふぃーさまてぃ（台風に家を壊されてしまったので明日家を建てるから手伝いをしてください）。やーふつ　すきなっふ　たぬん（家づくりの奉仕を頼む）。やーふつ　すきなふー　あす（家づくりの相互扶助の手伝いをする）。

すきむぬ [sɨkimunu] 【名詞】供物。［変異］すきじゅー。

すきゃーい [sikja:i] ①【動詞】［r/rr 語幹］無駄遣いする。【例】うぬきゃー　でぃんな　すきゃーりーや　むぬー　ふぁーいん（彼は金を使いすぎて、飯が食えない）。［変異］すかーらす。②【動詞】［r/rr 語幹］（家の中が）取り散らかっている、（ものが）散乱する。【例】うまぬ　やーや　すきゃーりーどぅーい（ここの家は（物が）散乱しているよ）。うまぬ　まっちゃぬ　むぬー　すきゃーりーどぅー（ここの店の商品は散乱している）。

すきゃーらす [sikja:rasi] ①【動詞】［s/h 語幹］無駄遣いする。【例】うぬきゃー　でぃんな　すきゃーらひーや　むぬー　ふぁーいん（彼は金を使いすぎて、飯が食えない）。［類］すきゃーい。②【動詞】［s/h 語幹］（家の中を）取り散らかす、（ものを）散乱させる。【例】むぬー　すきゃーらす（ものを散乱させる）。うまぬ　くぴんぬぎゃー　ばりー　すきゃーらひーすてぃる（（ストレス解消に）ここの瓶を割ってこなごなにしてしまえ）。むぬーぎゃー　すきゃーらはん（ものは散らかさない）。［類］すきゃーい。

すきゃーり [sikja:ri]【形容詞】取り散らかった、整理されていない、。【例】うまー　すきゃーり　まっちゃ（ここは整理整頓されていない店）。［変異］すきゃーい。

すきゃかす [sikjakasi]【動詞】［s/h 語幹］急がせる、せかす。【例】まーぬ　すきゃかすな（余りせかすな）。

すきゃき [sikjaki]【動詞】［母音語幹］［A］始める。【例】みどぅんみぬ　ゆがたいゆ　すきゃきてぃがー　んめ　ゆさらびたーひー　なまらん（女たちが話を始めたらもう夕方まで終わらない）。ゆくいにゃーんば　じょー　すかまう　すきゃきでぃ（休んだから、（さあ）仕事を始めよう）。あらはなー　っづぁから　すきゃきる（まずはあなたから始めなさい）。

すきゃき [sikjaki]【名詞】［A］やり方、具合。【例】ぶばがまが　すきゃきゃー　かいだら（おばちゃんのやり方はこうだ）。かいが　すかまー　なうばいぬ　すきゃきが？（あの人の仕事（ぶり）はどんな具合なの？）。

すく [siku]【動詞】［k 語幹］［C］空く。［変異］すふ、そぅつ、ふふ。

すぐ [sigu]【副詞】直ぐ、直ぐに。【例】かりゃー　ひゃーすてぃがー　すぐ　ぶどぅいどぅす（彼ははやし立てたら直ぐに踊る）。

すぐ　てぃびから [sigu tibikara]【成句】直ぐ後から、即座に。【例】ういびとぅ　なりー　ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　すぐ　てぃびから　ばっしーどぅーい（年取って人の話したことを即座に忘れてしまう）。

すぐい [sigui]【動詞】[r/rr 語幹][A] 出世する。【例】にんぎんな　くすぬ　にゃーだかー　すぐらいん（人は後押しがないと出世できない）。

すぐす [sigusi]【名詞】[A] ひざ。【例】すぐすからまい　なだぬ　いでぃばかーい　ほぅからすむぬ（膝から涙が出るほどうれしい（すごくうれしい））。ういびとぅ　ないてぃがー　すぐすぬどぅ　うんそぅく　やん（年を取ると足の関節が良く痛む）。すぐすぬどぅ　やみゅー（膝が病んでいる）。

ずくず [zikuzi]【形容詞】[C]〖蔑称〗（人が体が）小さい；能力が低い。［変異］ずふず。

ずくにゃ [zikunja]【名詞】[C]〖蔑称〗（人が体が）小さい、また小さい人、能力が低い人。

すぐりびとぅ [siguribitu]【名詞】優れた人、偉い人。【例】やぐみ　すぐり　びとぅ（凄く優れた人）。

すす [sisi]【名詞】[B] 煤（すす）。【例】すすぬ　あい　やーんな　っさいや　つかん（すすのある家には白蟻はつかない）。［類］っふすー。

すず [sizi]【助数詞】サトウキビ、芋等を数える単位。【例】んーぬ　ひとぅ　すず　ふぁうたい（芋を 1 個食べた）。［類］うず。

すず [sizi]【名詞】[C]（サトウキビや芋などの）茎；薪の束。【例】ぶーずぬ　すず（サトウキビの茎）。たむぬすず（薪）。ぶーっじゅ　にじゅーすずひー　ひとぅたいゆ　まるき（サトウキビを２０本で一束をくくれ［＞２０本で一束にしろ］）。かややーぬ　くびゃー　ぎすつぬ　すずひどぅ　ちゅっふぁいゆー（茅葺家の外壁はススキの茎で作られている）。

すず [sizi]【名詞】[C] 家筋、よいこと。【例】まんちゅーや　まん　やいば　にんぎんぬ　やーぬ　すたん　ういてぃがー　すずうす　あすちゃ（パパイヤは「万」なので人の軒下に生えたら家系が絶えるそうだ［パパイヤを軒下に植えるのは家系が絶えるので縁起が悪いというたとえ］）。

すず [sizi]【名詞】[C] 粒。【例】ほぅすずあみ（大粒の雨）。ほぅすずまみ（大粒の豆）。

すず　うそぅー [sizi usu:]【成句】家の繁栄を阻む。【例】んつきぬ　すたぬ　まんちゅーぎーや　すず　うそぅー　むぬ　やいば　っちゅひー　すてぃる（軒下のパパイヤの木は家の繁栄を阻むものだから切りすててしまえ）。［変異］すずうす、すずずすー、すずうそぅ。

すずうそぅい [siziusui]【名詞】精神的に抑えられること。【例】びきどぅんな　みどぅん　すずうそぅいや　ひらいどぅ　はーひーん　すにーにゃ

ーん（夫は妻に精神的に抑圧されて早死した)。

すすず [sisizi]【動詞】[g 語幹]［A］濯ぐ（すすぐ)。 【例】つんぬ すすず（着物を濯ぐ)。つんな あらいぬ あとぅんな すすぎ（着物は洗った後には濯げ)。

すずだむぬ [sizidamunu]【名詞】枯れたススキの茎の薪。 ［変異］すっだむぬ。

すずみ [sizimi] ①【動詞】［母音語幹］［A］沈む。 ［類］すずん、つずん。②【動詞】［母音語幹］［C］しまう、整頓する。［類］すずん、つずん。

すずん [sizin] ①【動詞】［m 語幹］［A］沈む。 【例】ふにゃー すずみー はりーにゃーん（船は沈んでいった)。あたくまん ふにゃー すずみーにゃーん（あっという間に船は沈んでしまった)。［類］すずみ、つずん。②【動詞】［m 語幹］［C］しまう、整頓する。【例】まかいゆぎゃー すずみ うき（お椀をしまっておきなさい)。むぬふぁうだうーゆぎゃー すずみる（食器は片付けなさい)。やーゆ すずみる（(散らかっている）家を片付けろ)。［類］すずみ、つずん。

すたい [sitai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］廃れる。 【例】かまぬ きないや うんそぅく うやきゃー ひー そぅるきゅーたいそぅが んめ きばんふなりー すたりー はりーにゃーん（あそこの家はとても金持ちで、がんばっていたが貧乏になってすたれてしまった)。［類］すたり。

すだい [sidai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］鈴なりになる。 【例】ふにゅーや すーや にゃーだ すだりんきーどぅー（ミカンは密集してすずなりになっている)。

すだき [sidaki]【動詞】［母音語幹］［A］育つ、巣立つ。 ［変異］すだつ、そぅだつ、そぅだき。

ずだき [zidaki]【名詞】［C］織物を織る際に模様をだすこと。

すたさ [sitasa]【名詞】［C］舅（しゅうと)、夫または妻の父。【例】すたさうまい すとぅまうまい わいてぃー たかさ あっそぅ（舅も姑もちゃんと大切にしなさい)。

すだす [sidasi]【形容詞】［B］涼しい。【例】すだす かでぃがま（そよ風)。きーぬ かぎゃー すだすむぬ（木の下は涼しい)。なつんな きーぬ したーら すだす（夏には木の下辺りは涼しい)。

すだす [sidasi]【動詞】［s/h 語幹］［C］抱卵する。 【例】とぅぬかう すだほぅー とぅいんな むすぬどぅ つふ（抱卵中の鶏には虫がつく)。

すたすた [sitasita]【オノマトペ】さっさと。 ［類］すたすたてぃー。

すたすたてぃー [sitasitati:]【オノマトペ】さっさと。【例】すたすたてぃー　あっそぅ（サッサとしなさい）。あかいゆぎゃー　ゆまだ　すたすたてぃー　あいき（アリを数えずにさっさと歩け［＞止まらずに早く歩けという意味］）。むぬーぎゃー　すたすたてぃー　ふぁい（さっさと食べろ）。［類］すたすた。

すだすない [sidasinai]【名詞】涼しくなること。【例】すだすないがまひーゆー（（ちょっと）涼しくなっている）。

すだつ [sidatsi]【動詞】［k 語幹］［C］育つ、巣立つ。【例】んまー　みーだ　うらんまい　っふぁー　すだつどぅす（母親はいなくても子供は育つ［＜見ていなくても］）。とぅいぬ　すだつ（鳥が巣立つ）。［変異］すだふ、そぅだつ、そぅだふ。［類］すだき。

すたっさ [sitassa]【名詞】後輩。［変異］うっとっそぅ。

すだてぃ [sidati]①【動詞】［母音語幹］［A］育てる。【例】たうかーっうぁー　すだてぃぐりむぬ（一人っ子はそだてにくい）。うやどぅいぬ　っふぁうどぅいがまう　すだてぃー（親鳥がひなをそだてる）。［変異］そぅだてぃ。

すたてぃー [sitati:]【オノマトペ】さっさと。［類］すたすたてぃー。

すたばー [sitaba:]【名詞】下葉。【例】ぶーずぬ　すたばーゆ　かつ（サトウキビの下葉をむしり取る）。

すたばらい [sitabarai]【名詞】嘲笑、小ばかにした笑い、見下した笑い。【例】うぬひとぅー　っうぁんな　うらー　ひらいんてぃ　すたばらい　ひー　うたい（その人はお前にはそれはできないと小ばかにしていた）。ばー　っうぁうぎゃー　すたばらいや　ひーどぅー（私はお前を見下し笑いしている［＞お前なんかに負けないぞという気持ちを表す］）。

すたばらう [sitabarau]【動詞】［w 語幹］馬鹿にして笑う。

すだふ [sidafu]【動詞】［k 語幹］［C］育つ、巣立つ。［変異］すだつ、そぅだつ、そぅだふ。［類］すだき。

すだま [sidama]【名詞】［C］じゅずだま（植物名）、イネ科の多年草。【例】すだますずぬ　みぬい（じゅずだまが実る）。

すたみ [sitami]【動詞】［母音語幹］［C］炊いた芋汁、塩煮などをを鍋蓋を当てて捨てる。［変異］すたん。

すたみー [sitami:]【名詞】見下すこと。【例】ひとぅーぎゃー　すたみー　ゆぎゃー　ほぅん（ひとを見下さない）。すたみー　ひらいてぃがー　にんぎんな　うむっしっふぁにゃーん（上から目線で見られたら人間は面白くない）。

すたらしゃ [sɨtaraça]【名詞】評判を下げる人。【例】なー　すたらしゃ（名前を廃らす者）。

すたらす [sɨtarasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］評判を下げる、悪く言う。【例】うとぅじゃう　すたらす　ひとぅ（親戚中の評判を下げる人）。かりゃー　ひとぅっじゃぬ　すー　やいば　いつまい　ひとぅー　すたらす（彼女は人の噂の巣窟だからいつも人を悪く言いふらす）。②【動詞】［s/h 語幹］蔑（さげす）む；惨めな思いをさせる。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　すたらはん（そんなに人を蔑むな）。あいや　とぅずっふぁんみゅーぎゃー　すたらはん（そんなに妻子に惨めな思いをさせるな）。

すたん [sɨtan]【動詞】［m 語幹］［C］炊いた芋汁、塩煮などをを鍋蓋を当てて捨てる。【例】んーにーずーゆ　すたん（芋の煮汁をこぼす）。［変異］すたみ。

すつ [sɨtsɨ]【接尾辞】～好き。【例】あそぅーずつ（遊び好き、また、その人）。［変異］すふ。

すつ [sɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］好きだ。【例】まさいや　みがうどぅ　すつ（マサイはミガが好きだ）。［変異］すふ。

すつ [sɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］鋤く。【例】はいゆ　すきひー　すつ（畑を鋤ですく）。［変異］すふ。［類］すかす。

すつ [sɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］敷く。【例】なうさうどぅ　んつんかい　すつ（石子を道路に敷く）。むっそぅーすき（筵を敷け）。［変異］すふ。

すつ [sɨtsɨ]【名詞】［B］時季。【例】ぶーず　いび　すつ（サトウキビを植える時季）。

すっかかう [sɨkkakau]【動詞】［w 語幹］引っかかる。【例】さるかぎーぬんずん　すっかかいーにゃーん（サルカケミカンの木の刺に引っかかった）。

すったーうー [sɨtta:u:]【動詞】［vv 語幹幹］（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。［変異］すったうー。［類］すったーっうぁす、すったーす、すっていっうぁーす、すっていぃ。

すったーす [sɨtta:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。【例】うりゅぎゃー　すったーし（彼を引き離せ）。かいんな　ばぬー　すったっうぁーはいん（（仕事や徒競争などで）彼には私を追い抜けない）。［類］すったーう、すったーっうぁす、すっていっうぁーす、すっていぃ。

すったーっうぁす [sɨtta:vvasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。【例】んみゃ　ひーちゃがま　あすきゃー　からー　ばぬー　すったーっうぁすどぅす（もうちょっとしたら彼は私を追い越すだろ

う)。ばー　かいん　すったっうぁーはいにゃーん（彼に追い越された)。[類]すったーうー、すったーす、すっていっうぁーす、すっていぃ。

すっだき [siddaki]【名詞】枯れたススキの茎。

すっだきだむぬ [siddakidamunu]【名詞】枯れたススキの茎の薪（たきぎ)。

すっだむぬ [siddamunu]【名詞】枯れたススキの茎の薪。　[変異]すずだむぬ。

すったらす [sittarasi]【動詞】[s/h 語幹]（鼻などを）垂らす；(ふんどしのひも、ずぼんのベルトなどが緩んで）ずり落ちる、。【例】やらびゃー　ぱんだいや　すったらひー　まーりゅー（子供は鼻を垂らしながら歩き回っている)。ずぼんぬぎゃー　すったらはだ　まーり（ズボンをずらしたまま歩き回るな[＜ずらさずに歩き回れ)。

すっていぃ [sitti]【動詞】[母音語幹][A]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；(追い越して）差をつける。【例】んみゃ　ひーちゃがま　あすきゃー　からー　ばぬー　すっていどぅす（もうちょっとしたら彼は私を追いぬくだろう)。かいん　たるーゆ　すっていっさし（彼に太郎を追い抜かせよう)。[類]すていー、すったーう、すったーづぁす、すったーす、すっていっうぁーす。

すっでぃ [siddi]【動詞】[母音語幹][C]（骨の髄などを）吸い取る；(人のお金などを）吸い取る。【例】ほぅにぬずーゆ　すっでぃる（骨の髄を穿れ(吸引しなさい))。ひとぅーぎゃー　まーぬ　すっでぃだうり（他人をあまり搾取するな)。かりゅーぎゃー　すっでぃー　うどぅかし（彼を（金、財産を）吸い取れ)。ばー　ぱちんこんきー　すっでらいにゃーん（私はパチンコに行ってたくさんすった)。

すっていっうぁーす [sittivva:si]【動詞】[s/h 語幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；(追い越して）差をつける。　[類]すったーう、すったーっうぁす、すったーす、すっていぃ。

すつなす [sitsinasi]【動詞】[s/h 語幹]終わらせる。【例】さんじたーひー　くぬすかまう　すつなひー　ふぃーさまていぃ（3 時までにこの仕事を済ませてください。　)。[変異]すていぃなす。

すてぃ [siti] ①【動詞】[母音語幹][A]捨てる；なくす。【例】ばー　やりずんぬぎゃー　すていぃにゃーん（私は古い着物を捨てた)。でぃんぬどぅ　すていぃーにゃーん（金を無くした)。すていぃ　じゃん　ひらい（粗末にされる)。②【補助動詞】[母音語幹]（動詞連用形について)～てしまう。【例】ふぁいーすている（食べてしまえ)。ばらいー　すている（笑ってしまえ)。うるーぎゃー

あてぃ　いばいかいば　ばらいーすてぃる（彼は余りにも威張るので笑ってしまえ）。っぞぅ　なまっそぅぎゃー　ふぁいーすてぃる（刺身は食べてしまいなさい）。ふぁいーすてぃーにゃーん（食べてしまった）。ふぁいーすてぃーたい（食べてしまった）

すでぃ [sɨdi]【動詞】［母音語幹］［C］脱皮する、生まれる、生まれ変わる、再生する。【例】すでぃがん（脱皮した直後の蟹（かに）［殻が軟らかい］）。すでぃばう（脱皮したばかりのヘビ）。すでぃみず（人間の子供を生まれ変わらせる水）。すでぃみずがー（人間を生まれ変わらせる水のある井戸）。

すてぃー [sɨtiː]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く；（追い抜いて）差をつける。［類］すってぃ、すったーう、すったーっづぁす、すったーす、すってぃっづぁーす。

すてぃーうー [sɨtiːuː]【動詞】［vv 語幹幹］（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く；（追い抜いて）差をつける。【例】うりゅぎゃー　すてぃーっづぃ（彼を引き離せ）。［変異］すてぃーうー。［類］すってぃ、すったーう、すったーっづぁす、すったーす、すってぃっづぁーす。

すでぃがほー [sɨdigahoː]【感動詞】ありがとう。【例】やぐみ　すでぃがほー（大変ありがとうございます）。

すでぃがら [sɨdigara]【名詞】脱け殻（ぬけがら）。【例】かんぬ　すでぃがら（蟹（かに）の脱け殻）。はうぬ　すでぃがら（ヘビの脱け殻）。つみゃぬ　すでぃがら（セミの脱け殻）。［変異］すでぃぐる。

すでぃぐる [sɨdiguru]【名詞】脱け殻（ぬけがら）。［変異］すでぃがら。

すてぃじゃん [sɨtiʑan]【成句】ないがしろにすること、大切にしないこと、存外に、粗末にあつかうすること、ほったらかしすること。【例】むぬーぎゃー　すてぃじゃんぬぎゃー　ほぅん（ものを粗末にしない）。すてぃじゃん　やらび（ほったらかされている子供）。ひとぅー　すてぃじゃん　あすてぃがー　ういが　ばっちゅどぅ　かうー（人をないがしろにしたらその罰を受ける）。うぬ　っふぁー　すてぃじゃんなひー　そぅだてぃらいたい（その子供はほったらかしにして育てられた）。

すてぃらす [sɨtirasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く；追い抜いて差をつける。【例】むいとぅ　すてぃらーはいどぅー（差をつけられすぎた）。［変異］すてぃらーす。［類］すってぃ、すったーう、すったーづぁす、すったーす、すってぃづぁーす。

すとぅい [sɨtui]【形容詞】［B］湿っぽい。【例】あみふーぬ　とぅきゃん

な　すとぅいむぬ（雨降りの時には湿っぽい）。［変異］すぷたい。

すとぅい [sɨtui]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 湿る。　【例】あみゃー　っふぃどぅ　はいや　すとぅりーゆー（雨が降って畑が潤っている）。

すとぅま [sɨtuma]【名詞】[C] 姑（しゅうとめ）、義理の母。　【例】すとぅまー　いつまい　んまがう　かなっさあす（姑はいつも孫をかわいがる）。［変異］すとぅまんま。

すとぅまうや [sɨtumauja]【名詞】義理の父。　［変異］すとぅまっざ。

すとぅまっざ [sɨtumazza]【名詞】義理の父。　【例】ばー　すとぅまっざ　うぎゃー　うとぅるす（私は義理の父が怖い）。［変異］すとぅまうや、すたさ。

すとぅまんま [sɨtumamma]【名詞】姑（しゅうとめ）、義理の母。　［変異］すとぅま。

すとぅむてぃ [sɨtumuti]【名詞】朝。　【例】すとぅむてぃ　うきーてぃがー　すぐ　ぬーまぬ　っさ　かいが（朝起きたら直ぐに馬の草刈りに（行く））。［変異］ひとぅむてぃ。

すな [sɨna]【名詞】[C] 品、品格、品位、風格。　【例】すなかぎ　ぶどぅい（品のある踊り）。すなかぎ　みどぅん（上品な女性）。すなーにゃーんんまり（品性のない奴［＞どうしようもない奴］）。

すなーか [sɨna:ka]【副詞】静かに、音を立てずに。　【例】やらびぬ　にっぅゅーば　はずならうぎゃー　いだはだ　すなーかがま　あいき（子供が寝ているから足音は立てずに静かに歩け）。

すなーす [sɨna:sɨ]【動詞】[s/h 語幹] 合わせる。　【例】やそぅる　ぱずんかいや　くっちゃ　すなーはいん（大きい足には靴は合わすことはできない）。

すなう [sɨnau]【動詞】[w 語幹] [C]（靴、服等サイズが）合う、（心が）合う。　【例】くっちゃ　すないー　どぅー（靴のサイズは合っている）。やそぅる　ぱずん　すなう　くっちゃ　にゃーん（大きい足に合う靴はない）[「やそぅる」＝一反（３００坪）のこと]。うぬ　ふくー　いみかいば　すなーん（この服はサイズが小さいので合わない）。しゅーが　つむん　すなう（主（あるじ）の心に合う）。

すなす [sɨnasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [A] 亡くす、死なせる。　【例】ぱーや　っづぁが　んまー　すなひー　つむー　やまひー　うたい（おばあさんはおまえのお母さんを死なせて心を痛めていた）。

ずなら [zɨnara]【名詞】[C] 地響き。

ずなり [zɨnari]【名詞】[C] 地鳴り、地響き。　【例】みゃーくずつんな　うやたがどぅ　ずなり　あすっちゃーん　あいつ（ミャークズツにはおじいさん

達が地響きさせながら歩く)。[変異]ずない。

すぬい [sɨnui]【名詞】[C]〖食〗モズク。【例】すぬいや　なびーむぬ　(モズクはすべすべしている)。[変異]そぅぬい。

すば [sɨba]【名詞】[B]唇。【例】かりゃー　すばー　だりー　つむいでぃー　うたい(彼は下唇を垂らして怒っていた)。あつちゃーん　すばー　っさらはいにゃーん(熱いお茶に唇は曝された[＞熱いお茶に唇が当たった])。ほぅすば(厚い唇)。すたすば(下唇)。あーぎすば(上唇)。

すばい [sɨbai]【名詞】[C]〖昆〗コバエ(小さなハエ)。【例】なつん　ないてぃがー　すばいがまぬどぅ　ゆーいでぃーふー(夏になるとコバエがよく発生する)。すばいがまぬどぅ　いじゅー(コバエが発生している)。

すばい [sɨbai]【名詞】[C]小便。【例】すばいゆ　すー(小便をする)。すばいゆ　ふかす(小便を漏らす、失禁する)。すばい　かじゃ(小便の臭い)。

すばいづつん [sɨbaizɨtsɨn]【名詞】膀胱。【例】すばい　すーたかいば　すばいづつんぬ　ぱずきーはらっじゃう(小便をしたくて膀胱が破裂しそうだ)。

ずばた [zɨbata]【名詞】[C]地機(じばた)手織り機の一種、地面に座って織るもの。【例】んきゃーんな　ずばたひどぅ　つんぬぎゃー　うりゅーたいちゃ(昔は地機で着物を織っていた)。

すばだら [sɨbadara]【名詞】下唇の垂れていること(人)。

すばな [sɨbana]【名詞】[B]山や海で絶壁になっているところ。

すばびー [sɨbabi:]【名詞】口笛。【例】すばびーゆ　ふつ(口笛を吹く)。ゆなかー　すばびーゆぎゃー　ふかん(夜は口笛は吹かない[＞吹いてはいけない])。

すびー [sɨbi:]【名詞】[B]〖貝〗子安貝、宝貝。【例】まうきゃーいんどぅ　すびーがまー　うんそぅく　とぅらいー(大浦湾で小さい宝貝はたくさんとれる)。

すぴに [sɨpini]①【形容詞】[B](噛みきれなくて)固い。【例】くぬ　わーや　なまにーわー　やいば　すぴにかいば　かまいん(この豚は生煮えの豚だから固くてかめない)。②【形容詞】[B]粘り腰のある。【例】たかのはなー　やぐみ　すぴに　すまとぅら(貴乃花は粘り腰のある関取だ)。

すびゃー [sɨbja:]【形容詞】[B]素早い。【例】なうゆ　あすみんまい　すびゃー　びとぅ(何をさせても素早い人だ)。やぐみ　すびゃー　びとぅ(とても動きの早い人だ)。かりゃー　すか

ま　すびゃー　びとぅ（彼は仕事が素早い人だ）。

すふ [sɨfu]【動詞】［k 語幹］［C］空く。［変異］すつ、そぅつ、そぅふ。

すふ [sɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］敷く。【例】むっそぅー　すふ（筵を敷く）。［変異］すつ。

すふ [sɨfu]【動詞】［k 語幹］［C］好きだ。［変異］すつ。

すふ [sɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］鋤く。［変異］すつ。［類］すかす。

すふ [sɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］敷く。【例】なうさうどぅ　んつんかい　すつ（石子を道路に敷く）。むっそぅー　すき（筵を敷け）。［変異］すつ。

すぶい [sɨbui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］搾る。【例】うすぬ　つーゆ　すぶい（牛の乳を搾る）。

ずふず [zɨfuzɨ] ①【名詞】［C］〖蔑称〗（人が体が）小さい人、チビ；能力が低い人。【例】かいがどぅ　あぐたが　なかんな　んながーな　ずふずかい（彼が同級生のうちで一番小さい）。かりゃー　ずふず　ずまるがま（彼は小さい背の低い人）。っうぁー　すかまー　ひらいん　ずふず（お前は仕事のできないくずだ）。［変異］ずくず。［類］ずまず、ずまる。

すぷたい [sɨputai] ①【形容詞】不潔な。【例】すぷたい　びとぅ（不潔な人）。②【形容詞】（天気が）湿っぽい。【例】きゅーや　あみゃー　っふぃぬ　あとぅ　やいば　すぷたいむぬ（今日は雨の後だから湿っぽい）。［類］すとぅい。

すぷたら [sɨputara]【名詞】不潔野郎。【例】おい　すぷたら　うぬ　すぷたい　つんぬぎゃー　はっでぃ（おい、この不潔野郎め、その汚れた服を脱ぎなさい）。

ずふにゃ [zɨfunja] ①【名詞】［C］〖蔑称〗（人が体が）小さい、また小さい人、チビ、能力が低い人。【例】ずふにゃがま（小さいもの（人））。［変異］ずくにゃ。［類］ずまず、ずふず、ずまる。

ずぶる [zɨburu]【名詞】［C］頭。【例】ほぅずぶる（大きな頭）。［類］かなまい。

すぶん [sɨbun]【動詞】［m 語幹］［C］（植物が）萎える、しぼむ。【例】そぅーや　すぶみーにゃーん（野菜は（ふるくなって）しなっとなってしまった）。きつぎんてぃー　さきゅーたい　はなー　すぶみーにゃーん（きれいに咲いていた花はしぼんでしまった）。

ずぶん [zɨbun]【名詞】［B］時分、頃、時期。【例】くぬ　まんごーや　ふぁう　ずぶんなりーどぅー（このマンゴーは食べ頃になっている）。いつ　ずぶん（行く時分）。ぶとぅ　むつ　ずぶん（結婚適齢期）。ゆい　ふぁい　ずぶん（夕食を食べる時分）。んぬつ　あいむぬ

ー　すん　ずぶんな　すなだかー　ならん（命あるものは死ぬ時期には死ななければならない）。かりゃー　ふーずぶん　なりーどぅ（彼は来る時分になっている）。ぶーずまい　いび　ずぶん　なりーどぅ（サトウキビも植える時期になっている）。

すま [sima]【名詞】［C］故郷、村、集落、島。【例】どぅーぬ　すま　ひとぅ（同郷の人）。くまー　ばが　んまりずま（ここは私の生まれた村（故郷））。びつずま（別の集落）。すまぬ　そぅじゃっそぅー　いらう（村の役員を選ぶ）。

すま [sima]【名詞】［B］相撲。【例】すまとぅりゃ（相撲取り）。すまう　とぅらでぃ（相撲をとろう）。

すま　ならす [sima narasi]【成句】地面を鳴らす（ぐらい踊る）。【例】みゃーくずっちゃ　すまー　ならし　んみゃいばよ（みゃーくづつは地面を鳴らしながらおいでくださいませ　［みゃーくずつ歌詞　今なら「すまーならひー」となる）。

すまーす [sima:si]【名詞】島端、島裾、島が海と接して所。【例】いらうぬ　すまーすからどぅ　ふにがまぬみーらいゆー（伊良部の島端から小舟が見えている）。

すまーた [sima:ta]【名詞】ウエスト、腰回りの細くくびれている部分。【例】しょじょがまぬ　すまーたがま（若い女性のお腹のくびれ）。

すまい [simai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］括（くく）る、たばねる、縛る。【例】ひんじゃう　くらはっじゃー　ういが　はっじゅ　すまり（ヤギをつぶすので足を縛れ）。ぬーまぬ　んˀなう　ぎすつん　すまい（馬の綱をススキに縛る）。っさう　すまい（草を束ねる）。

すまいふつ [simaifutsi]【名詞】結び目。

すまうさら [simausara]【名詞】村の厄払い祈願の一つ。［変異］すまうさら。

すまうつ [simautsi]【名詞】方言。【例】くぬいぬ　ばかむぬんみゃー　すまうっちゅぎゃー　まーぬー　っさん（最近の若者たちは方言をあまり知らない）。［変異］すまふつ。

すまうてぃあみ [simautiami]【名詞】（海で漁をしている時などに降る）大雨　（島が落ちて見えなくなるという意味）。【例】すまうてぃあみぬ　っふぃー　すまー　みーらいん。（大雨が降って、島が見えない）。

すます [simasi]【動詞】［s/h 語幹］［C］（水などを）汚れを沈殿させてきれいにする、澄ます。【例】ゆぐい　みっじゅ　すます（汚れた水をきれいにする）。みっじゅぎゃー　どぅるー　すまひーから　ぬみ（水は泥を澄ませてから飲め）。

すまずーほぅっびじ [si-mazɨ:hubbiʑi] 【名詞】〖地名〗礁、リーフの名前［島尻の近くに位置する］。

すまだてぃ [sɨmadati] 【名詞】村立て、集落の始まり。

すまばき [sɨmabaki] 【名詞】島分け。【例】んすむらー　いきまとぅ　さらはまから　すまばき　ひらいたい（西原は池間、佐良浜から島分けされた）。

すまばす [sɨmabasɨ] 【名詞】島と島との間（の海峡）。【例】いらうとぅ　いきまぬ　すまばっさ　ゆーかーま（伊良部と池間の島と島との間はとても遠い）。

すまふさら [sɨmafusara] 【名詞】〖祭礼〗悪霊払いの祭事で、村の入口にナガミツジを張る。【例】すまふさらんな　ながみつっじゅどぅ　すまぬ　はいーふつん　はい（スマフサラには村に病気等の悪霊が入らないように村の入口にナガミツジを張る）。

すまふつ [sɨmafutsɨ] 【名詞】方言。［変異］すまうつ。

ずまみ [ʑɨmami] 【名詞】［C］落花生。【例】ずまみゅー　ふぁうてぃがー　なまらいん（落花生を食べたら止められない）。

ずまる [ʑɨmaru] 【形容詞】［C］〖蔑称〗（人が体が）小さい。【例】うまぬ　すまんな　ずまるー　みーん（ここの村には小さい人はいない）。［類］ずふにゃ、ずふず、ずくにゃ。

ずまる [ʑɨmaru] 【名詞】［C］〖蔑称〗（人が体が）小さい人、能力が低い人。【例】うまぬ　すまんな　ずまるー　みーん（ここの村には小さい人はいない）。［類］ずふにゃ、ずふず、ずくにゃ。

すみ [sɨmi] 【動詞】［母音語幹］［C］（顔、手を）洗う。【例】{みはなう／てぃーゆ／どぅーゆ／はっじゅ} すみー　くー（{顔を／手を／身体を／足を} 洗って来い）。ひとぅむてぃ　うきや　みはなう　すみー（朝起きたら顔を洗う［＜起きては］）。

すみ [sɨmi] 【動詞】［母音語幹］［A］澄む。［類］すん。

ずみ [ʑɨmi] 【形容詞】［C］快適である、最高、最高の、格好良い、素晴らしい。【例】くまー　ずみ（ここは快適だ）。やぐみ　ずみぎ　やー（とても素晴らしい家）。

ずみ [ʑɨmi] 【接尾辞】（動詞基本形について）～心地がよい。【例】つつずみ（聞き心地が良い）。ぬーいずみ（乗り心地が良い）。ういずみ（居心地が良い）。

ずみぎ [ʑɨmigi] 【形容詞】［A］心地良さそうな、見事な、見た目がきれいな、心地よさそうだ、見事だ、見た目がきれいだ。【例】ずみぎ　みどぅん（壮麗で見事な女性）。きゅーぬ　ぼくしんぐぬ

しあいや　ずみぎどぅ　あたい（今日のボクシングの試合は最高だった）。

ずみぎ [zɨmigi]【形容詞】［A］かっこいい、かっこよく見える。

ずみじゃ [zɨmiʑa]【名詞】［C］あばた、おできのあともいう、あばたを馬鹿にしていう場合もある。【例】くぬいや　ずみじゃ　やらびゃー　みーらいん（最近はあばたのあるの子供は見られない）。ずみじゃー　ほぅがさぬ　あとぅ（ズミジャはおできの跡）。ほぅりむぬ、くぬ　ずみじゃ（馬鹿野郎）。

ずみず [zɨmizɨ]【名詞】［C］ミミズ。【例】ずみっじゅ　とぅいぬ　ふぁう（ミミズを鳥が食べる）。

ずみゃー　にゃーん [zɨmja:nja:n]【成句】気持ち悪い、（雰囲気が悪くて）面白くない。【例】みんきゃー　はーばすんかい　っふぁまらひー　ずみゃー　にゃーん（するめが歯の間にはさまって気持ち悪い）。んˀぬぬ　うぐなーいや　ずみゃー　にゃーっだん（昨日の集まりは面白くなかった）。

すみゃーす [sɨmja:sɨ]【形容詞】心地良い、気持ち良い、爽快な、爽やかな。【例】なつん　からゆかん　にゅーてぃがー　すみゃーすむぬ（夏に床に直接に眠ったら心地良い）。きゅーぬ　かじゃー　すみゃーす　かでぃがま（今日の風は爽やかな風だ）。っそぅいや　ぬみー　ばたー　すみゃーすふ　なりーどぅーい（薬を飲んでお腹の調子は良くなっている）。

すむい [sɨmui]【名詞】［C］巣守、孵化しないで巣の中に残っている卵、巣籠。【例】すむい　どぅぬか（孵化しないで巣の中に残っている卵）。

すむずま [sɨmuzɨma]【名詞】〖地名〗下島、多良間・八重山諸島。

すん [sɨn]【形容詞】［B］しみて痛い。【例】うぬ　っそぅいや　すんかいばならん　（この薬はしみて痛い）。

すん [sɨn]【動詞】［m 語幹］［A］（水などが）澄む。【例】ひだがーぬ　みっじゃ　すみーどぅー（ヒダガーの水は澄んでいる）。［類］すみ。

すん [sɨn]【動詞】［n 語幹］［A］死ぬ。【例】くぬ　みゃーくー　あてぃ　くーかいば　すんばどぅ　んぎゃーらい（現世は余りにも苦しいので死ぬことで逃れられる）。っづぁが　くとぅー　あてぃ　うむいやひどぅ　すなっじゃうたい（あなたのことを思いすぎて死にそうだ）。ほぅりむぬー　すなだかー　なうらん（バカは死なないと治らない）。

すん [sɨn]【名詞】［B］墨。【例】すんひー　かきゃー　ずーや　きゃーらん（墨で書いた文字は消えない）。すんしどぅ　ばが　ずしどぅ　しゅー　ないたいよ（文字で学問で主になったよ［＜

墨で、自分の字で、四つのしまの主になった［古謡「ゆすまの主」から］]）。

すんがた [siŋgata]【名詞】死期の近いこと。【例】ういびとぅー　すんがた　なりーどぅ（老人は死期が近くなっている）。［類］すんばた。

すんつ [sintsi]【補助動詞】[k 語幹]［A］（形容詞語幹、動詞基本形、動詞連用形について、そのような状態になる　）～ている［形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん（に）」、「ん（に）」などを付けて結果状態を示すのが原則］。【例】やーゆ　ちゅふ　たみん　ずーや　っさたらー　すんきー　あい（家を作るために　土地を平らにしてある）。やらびゃー　んまー　みーんば　なす　すんつ　（子供はお母さんがいないのでないている［＜泣く状態になっている）］。たかたん　なりー　すんきー　うい（高くなっている）。まゆー　まーくん　なりー　すんきー　うい（猫は丸くなっている）。かりゃー　ひとぅんつきゃー　ぬどぅから　あーぎゃー　いでぃー　すんきゅー（彼はひとより（高いので）首から上は出ている状態だ）。［変異］すんふ、つんふ。

すんどぅ　んがーい [sinduŋgaːi]【成句】（あまりにもつらくて）死ぬことが逃れること、死んだ方がまし［「すんぬどぅ　んがーい」とも言う］。【例】あいぬ　くー　とぅくまん　うりや　んめ　すんどぅ　んがーい。（こんなに苦しいところにいるよりは死んだほうがましだ）。

すんばた [simbata]【名詞】死期の近いこと。［類］すんがた。

すんぱっじゃき [simpaʐʐaki]【名詞】死に損ない。【例】すんぱっじゃきんまり（死に損ない）。

すんぱてぃ [simpati]【名詞】死に物狂い。【例】すんぱちゃー　ひー　すかまひー　まうきたい（死に物狂いで仕事して稼いだ）。

ずんびゃう [zimbjau]【名詞】淋病。

すんふ [sinfu]【補助動詞】[k 語幹]［A］（形容詞語幹、動詞基本形、動詞連用形について、そのような状態になる）～ている［形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん（に）」、「ん（に）」などを付けて結果状態を示すのが原則］。［変異］すんつ、つんつ。

すんぶり [simburi] ①【名詞】死ぬほどに惚れていること、またその状態。【例】ばー　っぅぁんかい　すんぶりゃー　ひーゆー（私はあなたに死ぬほど惚れている）。②【形容詞】べたぼれだ、べたぼれな。【例】からー　むいとぅぬみどぅんかい　すんぶりむぬ（彼は奥さんにべたぼれだ）。

ずんみ [zimmi]【名詞】［B］話し合い、議論。【例】ゆびゃー　ゆながいたー

ひー　うぐなーいぬ　くとぅー　ずんみ　あすたい（昨日は夜遅くまで集会のことを議論した）。

ずんみじゃー [zɨmmiʑa:]【名詞】集会所、公民館。　【例】んきゃーんな　ずんみじゃーん　うぐなーりどぅ　すまー　なうばい　あすばどぅ　じゃうふ　ないがてぃー　はなっそぅ　ひーうたいちゃ（昔は集会所に集まって、村をどうすればよくなるかと話をしたそうだ）。

せ

せ [se] 【助数詞】畝（一反（300 坪）の　　10 分の 1)。 【例】いっせ（1 畝)。

そ

そーしき [soːɕiki] 【名詞】葬式。

そぅー [suː] ①【名詞】［B］おかず。【例】ゆいぬ　そぅー（夕食のおかず）。まうきゃー　いんきー　ゆいが　そぅー　とぅいが（前の海（大浦湾）に行って夕食のおかずを取りに（行く））。②【名詞】［B］野菜。【例】そぅーゆ　いびー（野菜を植える）。くとぅっさ　はいぬ　そぅーや　むいとぅ　でぃきーどぅー（今年の畑の野菜は豊作だ）。

そぅー [suː] 【動詞】［vv 語幹幹］［A］（苧麻の木の皮を繊維を取るために）削ぎとる、（カンナで木の皮を）削る、（穀類を）脱穀する。【例】あーびぬ　からひーどぅ　ぶーゆぎゃー　そぅー（アワビの殻で苧麻の皮を削ぐ）。かなひー　きーゆ　そぅっづぃ（カンナで木を削れ）。まいぬ　ほぅーや　てぃーひーや　そぅっづぁいん（稲の穂は手ではすけない［＞脱穀できない］）。

そぅー [suː] 【動詞】［vv 語幹幹］［A］腐る。［類］そぅっづぃ。

そぅー [suː] 【形容詞】［B］酸っぱい。【例】そぅー　ふにゅーや　ふぁいー　はーや　びづぁっづぃー　どぅーい（酸っぱいミカンを食べて歯にしみている）。［変異］すー。

そぅー [suː] 【動詞】［vv 語幹幹］［C］走る。【例】わいてぃー　そぅっづぃ（一生懸命に走れ）。おい　ほぅりむぬ、まーぬ　そぅーな（おい　バカ者、余り走るな）。ぶーっじゃ　ぬそぅみや　ちゃー　そぅー（サトウキビを盗んだら一目散に走る）。

そぅー [suː] 【名詞】［C］冬瓜（トーガン）。【例】そぅーや　がばー　（冬瓜は大きい）。

そぅー [suː] 【名詞】［C］潮、潮流。【例】なまそぅ（小潮［干満の差が小さいものを言う］）。そぅーつ（大潮　［干満の差が大きいものを言う］）。さがいじゅー（引き潮）。んてぃじゅー（満ち潮）。そぅーや　ひきーどぅー（潮は引いている）。そぅーや　んてぃーどぅー（潮は満ちている）。そぅーじゅー　むぬ（潮流が速い）。

そぅー [suː] 【名詞】［B］〖形式名詞〗節を名詞化する形式名詞、「の」「こと」；

節を取って逆接を表す、「そぅが」と同じ；引用をする際に用いる、「(～いう)のには」。【例】やらびぬ　ほぅいふ　ないそぅー　やぐみ　はーむぬ（こどもの大きくなるのはとてもはやい)。かいが　やりぐるまん　ぬーいたいそぅー　ずみゃー　にゃーっだん（あいつのおんぼろ車にのったが乗り心地が悪かった)。しーしーたが　あいそぅー　あいや　あらんちゃ（先生がいうにはそうじゃないって)。ばが　つふたいそぅー　かい　あたい（私が聞いたのはこうだった)。　［類］とぅー、そぅが。

そぅー　やい　うい [su: jai ui]【成句】動詞基本形についてそれぞれ別の動作をしている複数の人がいることを表す。「うい（いる)」は「あい（ある)」でもよい。【例】ふぁうそぅー　やい、ぬんそぅー　やい　うたい（食べている人も、飲んでいる人もいた)。ひんずそぅー　やい、ひんがんそぅー　やい　あたい（逃げる人も、逃げない人もいた)。

そぅー　やい　ひーうい [su: jai hi:ui]【成句】動詞基本形について複数の人がそれぞれ別の動作をしていることを列挙する。「うい（いる)」は「あい（ある)」でもよい。一人の人の動作を列挙する場合は、「ばらいまい　あす、なつまい　あす」のように言う。【例】やらびんみゃー　ばらうそぅー　やい、なつそぅー　やい　ひーうたい（子供たちは笑ったり、泣いたりしていた)。いつそぅー　やい、ぬくいそぅー　やい　ひーうい（行く人もいれば、残るもいた)。

そぅー　んつ [su: ntsɨ]【成句】［c/t語幹］潮が満ちる。【例】んなーぎゃー　そぅーや　んたん（まだ潮は満ちていない)。

そぅーうつ [su:utsɨ]【名詞】旧暦の1日、15日頃の干満差が最も大きい時期。一年で潮の干満差が最も大きいのは新暦４～５月。旧暦３月３日は節句の行事になっている。【例】そぅーうつんな　っしんˀんかい　いつ（旧暦３月頃の干潮時にはリーフで潮干狩りする)。［変異］そぅーつ。

そぅーかう [su:kau]【名詞】〖祭礼〗（正月や「きじゃい」（祭事）などに実家などに行って）ものを供えること、焼香、法事。【例】むとぅ　やーんきー　そぅーかう　あすが　（本家に行ってお供え物をする)。そぅーかう　でぃん　（香典)。

そぅーかうやー [su:kauja:]【名詞】（ものを供えに行く）実家、親戚の家。【例】きゅーや　さうがつ　やいば　そぅーかうやーんきー　むぬー　すきーくーでぃ（今日は正月なので実家に行ってものをそなえてこよう)。ばー　そぅーかうんかい（私は法事に（行く))。

そぅーじゃ [su:ʒa]【形容詞】［A］羨ましい。【例】っづぁー　じゃうぶと

ぅー　むちー　そぅーじゃ（あなたは立派な旦那を持って羨ましい）。ばーっづぁうぎゃー　そぅーじゃかいばならん（私はあなたが羨ましくてならない）。

そぅーずがま [su:zigama]【名詞】小道。　【例】はいんかい　そぅーずがまう　あいきー　いつ（畑に小道を通って行く）。

そぅーつ [su:tsi]【名詞】[C] 旧暦の 1 日、15 日頃の干満差が最も大きい時期　一年で潮の干満差が最も大きいのは新暦４～５月。旧暦３月３日は節句の行事になっている。　[変異] そぅーうつ。

そぅーで [su:de]【助詞】〖終助詞〗自分の推論をのべる、とくに根拠がなくてもいい。「～なんだよ」「だよね」。　【例】あいそぅーで（そうなんだよ）。ういがすかまー　いつまい　うぬ　しゅくそぅーで（彼の仕事はいつもその程度なんだよ）。あいぬ　やなつむっちゃむちや　だみそぅーで（そんな悪い根性ではいけないんだよ）。ぶばがまがすきゃきゃー　かいそぅーで（おばちゃんのやり方はこうだ）。っづぁまいいつたいそぅーでい（お前も行ったよね）。

そぅーてぃ [su:ti]【名詞】[A] 潮流。　【例】かまぬ　そぅーちゅーぎゃーまないん　うーぎ（向こうの潮流は気を付けて泳ぎなさい）。[変異] そぅーでぃ。

そぅーでぃ [su:di]【名詞】[A] 潮流。　【例】そぅーでぃぬ　あい　とぅくま（潮流のあるところ）。[変異] そぅーてぃ。

そぅーに [su:ni]【名詞】[C] 瘤（こぶ）。

そぅーに [su:ni]【名詞】[C] 小舟。　【例】そぅーにん　ぬーりー　たくとぅいが（小舟に乗ってタコ取りに（行く））。[類] さばに。

そぅーひー [su:hi:]【名詞】干潮。　【例】そぅーや　っしー　そぅーひーなりーどぅー（潮が引いて干潮になっている）。そぅーひーんどぅ　っしんˀんかいや　いつ（干潮時に潮干狩りに行く）。そぅーひーんどぅ　しなうぎゃー　とぅい（干潮にハマグリをとる）。

そぅーます [su:masi]【動詞】[s/h 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。　【例】たかだいぐるまう　ひとぅんかい　みしー　そぅーます（高価な車を見せて自慢する）。

そぅーみや [su:mja]【名詞】[C] うらやましく思っている対象の人。　【例】っづぁー　そぅーみゃ（あなたのことが羨ましい）。

そぅーん [su:n]【動詞】[m 語幹] [C] うらやましがる。　【例】あいや　ひとぅー　そぅーまん（そんなに人のことをうらやましがらないものだ）。ひとぅんかい　むぬーぎゃー　そぅーまはん

（人にものを見せびらかさない［見せびらかしてはいけない］）。

そぅーんつ [su:ntsɨ]【名詞】満潮。【例】きゅーぬ　じゅーにっじゃ　そぅーんつ（今日の 12 時は満潮）。んなまー　そぅーんつ（今は満潮だ）。そぅーんつん　うーず（満潮に泳ぐ）。［変異］そぅーうつ、そぅーつ。

そぅい [sui]【動詞】［母音語幹］［C］連れる；（に）比例して。【例】うつなーんかい　やらびゃー　そぅいー　いつ（沖縄に子供を連れて行く）。うむくとぅん　そぅいどぅ　なうまい　ひらいー（能力次第で何でもできる）。

そぅい [sui]【名詞】［C］一緒にいること。【例】うぬきゃが　ふたーいや　いつまい　そぅい（彼等二人はいつも一緒だ）。

そぅい [sui]【名詞】［C］同じもの、同じようなもの、そっくり。【例】うぬ　ふたーっちゃ　そぅいぬ　むぬ（その二つは同じもの）。うぬきゃが　っざっ　ふぁー　むいとぅ　そぅい（あの父子はそっくりだ）。そぅい　ふたーい（似た二人）。

そぅい [sui]【動詞】［母音語幹］［A］加える、添える。【例】うるー　ういんかい　そぅいる（これをそれに加えなさい）。かいが　たまー　ひーちゃかいば　っぞぅー　みから　そぅいる（あいつの取り分は少ないので魚を三匹付け足せ）。

そぅい [sui]【動詞】［母音語幹］［A］沿う、従う。【例】ぶとぅとぅん　そぅいー　ひとぅみ　まーり（夫に従って一緒に行動しなさい）。

そぅい [sui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（髪、草、紙）を（はさみ、鎌などで）切る；（ひげをカミソリなどで）剃る［「（木を）切る」は「きー」を使う］。【例】あかう　そぅい（髪を切る）。かやう　そぅい（茅を切る）。ひぎゅー　そぅい（髭を剃る）。あかうぎゃー　にーから　そぅり（丸坊主にしてくれ［＜髪を根から剃れ］）。

そぅいなうい [suinaui]【動詞】［r/rr 語幹］一緒になって実を結ぶ（成功する）。【例】かぬ　びきりゃとぅ　そぅいなうり（あの青年と一緒になって成功しろ）。

そぅが [suga]【助詞】〈接続助詞〉節をとって逆接を表す、「～が」、「～けれど」［動詞の文終止の形につく］。【例】やーぬ　かぎゃー　みーがま　くーがま　とぅみたいそぅが　なうちゅんま　とぅみらいん（家の鍵は隈なく探したが全く見つからない）。ゆながい　まちゅーそぅが　かりゃー　いつがみまい　くーん（長い間まっているが彼はいつまでも来ない）。さうがつ　やいそぅが　どぅすまい　やらびんみ　てぃっじゅまい　くーん（正月だが友達も子供たちでさえも来ない）。まちゅーそぅが（待っているが）。ふぁいゆーそぅ

が（食べているが）。ばらいーゆーそぅが（笑っているが）。あいきーゆーそぅが（歩いているが）。うーぎーゆーそぅが（泳いでいるが）。

そぅがい [sugai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］装う、着飾る。 【例】ぱーたーかぎそぅがいやひー いでぃー はたい（おばあたちは着飾ってでかけていった）。［類］そぅがい（母音語幹）。②【名詞】［C］準備、支度、装い。【例】いんかいぬ そぅがい（海への支度）。かぎ そぅがい（きれいな装い［＞出かけるまえにきれいに着飾ること］）。やぐみ そぅがい（すごいお洒落）。ひゃー そぅがい（速い支度）。しゃり そぅがい（お洒落な身仕度）。かぎずんなっちー かぎそぅがいやひー ゆーいんかい いかでぃ（きれいな着物を着て着飾ってお祝いにいこう）。［類］そぅぎゃう。③【形容詞】［B］（いつも）着飾るのに時間がかかる。【例】みどぅんみゃー あてぃ そぅがいかいば まちゃいん（女性たちは余りにも着飾るので待てない）。

そぅがい [sugai] 【動詞】［母音語幹］［C］装う、着飾る。［類］そぅがい（r/rr 語幹）。

そぅから [sukara] 【形容詞】［B］塩辛い。 【例】そぅから んっつー（塩辛い味噌汁）。んっつーや そぅからかいば ぬまいん（味噌汁は塩辛いので飲めない）。

そぅから [sukara]【名詞】［C］脛（すね）。

そぅからぶに [sukarabuni] 【名詞】脛骨。 【例】そぅからぶにゃー ぼーるん ふぁーはいー いちゃかいばんびゃーいん（脛骨をボールをぶつけられて痛くて我慢できない［＜ボールに］）。

そぅぎゃう [sugjau]【名詞】［B］姿、見かけ、恰好、踊る姿・歩く姿等の立ち居振る舞い。 【例】やぐみ じゃうそぅぎゃう（とても良い恰好だ）。かいが ぶどぅいや やぐみ そぅぎゃう かぎむぬ（彼女の踊りはとても品がある）。

そぅく [suku] ①【名詞】［C］人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みたいな。【例】かぬ そぅくーぎゃー ゆらはん（あいつのことは許さない）。ういが そぅくがまんな でぃんぬぎゃー かしん（そんなやつにはお金は貸さない）。かいが そぅくがまうぎゃー ばらいー すてぃる（あいつのことは笑ってしまえ）。っぅぁが そぅくがまんな なうまい ひらいん（お前みたいなやつにはなにもできない）。かぬきゃが そぅくがまんな まきん（あいつらなんかには負けない）。［類］そぅく、しゃく。②【名詞】［C］ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度

くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす､～ぐらい､～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す､～ころ。【例】うんそぅく　あすたー　んめ　じゃうぶん　あらんな（これくらいで十分じゃないかい)。すかまんかい　んなまが　そぅく　ふーぬが（今頃仕事に来るのか)。ういが　すかまー　いつまい　うぬ　そぅく　だら（彼の仕事はいつもその程度だ)。ばが　たまー　うん　そぅくな（私の取り分はこれくらいか)。［類］そぅく、しゃく。

そぅく [suku]【名詞】［A］底、低い場所。【例】いんぬ　そぅく（海の底)。そぅくずー（低いところにある土地)。そぅくにゃー（＜そぅくぬ　やー、周りよりも低いところにある家)。

そぅく [suku]【名詞】［C］〖魚〗アイゴの稚魚。【例】そぅくぬどぅ　ゆりーっちゅーい（アイゴの稚魚が海流に乗って寄ってきている)。

そぅぐ [sugu]【副詞】すぐに。【例】そぅぐ　くー（直ぐに来い)。

そぅくー [suku:]【名詞】［B］帯。【例】つんぬぎゃー　そぅくーひどぅすまい（きものを帯で結ぶ)。かーそぅくー（皮のベルト)。

そぅくい [sukui] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］ずれる。【例】っぅぁが　ずぼんな　そぅくりーはりーにゃーん（お前のズボンはずり落ちかけてる)。②【動詞】［r/rr 語幹］［A］滑る。【例】うるー　うまんかい　そぅくらし（それをそこに滑らせろ)。なびー　どぅくまん　そぅくりーにゃーん（すべすべした所で滑ってしまった)。やらびゃー　なびー　どぅくまん　がらてぃー　そぅくりーはりーにゃーん（子供はすべすべした所で滑ってしまった)。③【形容詞】［A］滑りやすい。【例】うまー　なびーかいば　そぅくいかいば　ならん（ここはすべすべしてよく滑ってしまう)。

そぅくがらす [sukugarasi]【名詞】〖食〗アイゴの稚魚の塩漬け。【例】そぅくがらっさ　そぅからむぬ（アイゴの稚魚の塩漬けは塩辛い)。そぅくがらっさ　ろくがつぬ　かんないと　ひとぅみ　うてぃーふー（アイゴの稚魚は月の雷と一緒に落ちてくる)。［変異］そぅくがらそぅ。

そぅくがらそぅ [sukugarasu]【名詞】〖食〗アイゴの稚魚の塩漬け。［変異］そぅくがらす。

そぅくつ [sukutsi] ①【形容詞】［B］粗雑な人、根性が悪い。【例】かいがどぅ　んながーな　そぅくつかい（彼が一番粗雑だ)。［変異］すくつ。②【名詞】［C］粗雑な人；粗末にすること。【例】あいぬ　そぅくつや　つかーいん（あんな粗雑なやつは雇えない)。かりゃー　そぅくつ　びとぅ　やいば　なうゆどぅ　かんがいゆーがら　っさいん

（あいつは粗雑なやつだから何を考えているかわからない）。［変異］すくつ。③【副詞】粗雑に（扱う）、乱暴に（扱う）。【例】むぬーぎゃー　そぅくつ　あすな（物を粗末に扱うな）。［変異］すくつ。

そぅくつな [sukutsɨna] ①【形容詞】粗雑だ、粗雑な、根性が悪い。　［変異］すくつな。［類］そぅくつ。②【名詞】粗雑な人；粗末にすること。【例】むぬーぎゃー　そぅくつなうぎゃー　ほぅだ　あたらっさひー　つかい（物を粗末にしないで大切に使いなさい）。［変異］すくつな。［類］そぅくつ。③【副詞】粗雑に（扱う）、乱暴に（扱う）；（粗末に）する。［変異］すくつな。［類］そぅくつ。

そぅくびー [sukubi:]【名詞】底冷え。［類］そぅくひぐい、そくひぐる。

そぅくひぐい [sukuhigui]【名詞】底冷え。　【例】きゅーや　そぅくひぐいやひー　っしかいば　ならん（今日は底冷えして寒くてならない）。ふゆ　ないてぃがー　そぅくひぐい　あす（冬になると底冷えする）。［類］そぅくびー、そぅくひぐる。

そぅくひぐる [sukuhiguru]【名詞】底冷え。［類］そぅくびー、そくひぐい。

そぅじゃ [suʐa]【名詞】［C］兄。【例】あに　そぅじゃぬ　むぬいゆぎゃー　うっとぅんみゃー　わいてぃー　つきーならい（姉・兄の忠告は弟・妹たちはしっかり聞いて身に付けなさい）。そぅじゃが　むぬいゆぎゃー　つき（兄の言うことには従え）。

そぅじゃっそう [suʐassu]【名詞】先輩たち、村の役員、男の年長者。【例】うたきんな　そぅじゃっそぅんみぬ　むぬいゆぎゃー　まさぐんてぃー　つき（御嶽では先輩たちの話はちゃんと聞け）。すまぬ　そぅじゃっそぅー　いらう（村の役員を選ぶ）。そぅじゃっそぅんみゅーぎゃー　たかさ　ほぅだかーならん（年長者は大切にしないといけない）。うっとぅっそぅんみゃー　そぅじゃっそぅんみぬ　むぬいゆ　つかだかー　ならん（後輩たちは先輩たちにいうことに従わないとならない）。さきゅー　そぅじゃっそぅんかい　つづ（酒を先輩に注ぐ）。

そぅだつ [sudatsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（作物などが）育つ；（子供が）大きくなる、育つ。【例】くぬはなー　かぎんな　そぅだかん（この花は日陰では育たない）。くとぅっさ　はーさぬ　まんごーぬどぅ　そぅだきゅー（今年はたくさんマンゴーが育っている）。［変異］そぅだふ。［類］そぅだつ（c/t 語幹）。

そぅだつ [sudatsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［A］（作物などが）育てる；（子供を）育てる。　【例】くぬはなー　かぎんな　そぅだたん（この花は日陰では育たない）。くとぅっさ　はーさぬ　まんごーぬどぅ　そぅだちゅー（今年はたくさんマンゴーが育っている）。んまー　み

ーだ　うらんまい　っふぁー　そぅだつどぅす（母親はいなくても子供は育つ［＜見ていなくても］）。［変異］すだつ。［類］そぅだつ（k 語幹）。

そぅだてぃ [sudati]【動詞】［母音語幹］［A］（作物などが）育つ；（子供が）大きくなる、育つ。　【例】っふぁうぎゃー　まながん　そぅだてぃる（子供はちゃんと育てろ）。［変異］すだてぃ。

そぅだふ [sudafu]【動詞】［k 語幹］［A］（作物などが）育つ；（子供が）大きくなる、育つ。　［変異］そぅだつ（k 語幹）。［類］そぅだつ（c/t 語幹）。

そぅつ [sutsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］空く。　［変異］すつ、すふ、そぅふ。

そぅっづぁす [suvvasɨ]【副詞】［s/h 語幹］走る。

そぅっづぃ [suvvi] ①【動詞】［母音語幹］［C］（炊いたコメ等が）腐る、腐りかける。　【例】まいや　そぅっづぃー　どぅーい（ご飯は腐っている）。 ②【動詞】［母音語幹］［C］魚肉等が腐って、食べようとしたら唇等に痛みを感じる。【例】っぞぅー　そぅっづぃー　すばうまい　さしーどぅー（魚は腐っていて唇を刺すように刺激する）。うぬ　っぞぅー　んめ　そぅっづぃーどぅ（その魚はもう腐りかけている）。［類］さす。

そぅっづぃ [suvvi]【動詞】［母音語幹］［C］勢いよく走る。【例】たやん　そぅっづぃる（力を入れて走れ）。［類］そぅー。

そぅっふぃ [suffi]【動詞】［母音語幹］［C］掬（すく）う；こそぐ。　【例】だいだまぬ　っぞぅー　だぶひー　そぅっふぃー　とぅい（ダイナマイトでの密漁の魚を網カゴで掬ってとる）。［類］そぅふー。

そぅでぃ [sudi]【名詞】［B］袖。【例】つんぬ　そぅでぃ（着物の袖）。

そぅでぃあん [sudian]【名詞】〖道具〗袖網［漁網の両わきに、さらに補助的に取り付ける網］。　［類］きたあん。

そぅに [suni]【名詞】［C］〖歌語〗海の向こうの岩のような小さな島、漁師が魚を取る場所でもある。　【例】みゃーくぬ　あやぐー　そぅにーずま（宮古の歌は沖の離れ小島までも（届くように）［古謡「とうがにあやぐ」三番より］）。

そぅぬい [sunui]【名詞】［C］〖食〗モズク。　【例】そぅぬいや　なびーむぬ（モズクはぬるぬるしている）。［変異］すぬい。

そぅば [suba]【名詞】［B］（正面ではない方向）側。　【例】そぅばみー　あすな（よそ見するな）。ばが　そぅばんかい　くー（私の側にこい）。

そぅば [suba]【名詞】［B］〖食〗宮古ソバ（そば粉でなくメリケン粉ででき

た麺)。【例】じょ　っさらんきー　そぅば　ふぁうが（平良に行って宮古そばをたべよう)。

そぅふ [sufu]【動詞】[f/ff 語幹][C] 空く。【例】むぬー　にゃーだ　んぎー　まっちゃー　そぅっふぃー　どぅー（商品は減って店は空っぽの状態である)。[変異] すつ、すふ、そぅつ。

そぅふ [sufu]【動詞】[k 語幹][C] 空く。[変異] すつ、すふ、そぅつ。

そぅふー [sufu:]【動詞】[f/ff 語幹][C] 掬（すく）う；こそぐ。【例】なびぬ　すーゆ　そぅっふぃ　いだす（鍋の汁を掬ってだす)。なびぬ　そぅくー　そぅっふぃ　いだす（鍋の底（のおこげを）をこそげてだす)。[類] そぅっふぃ。

そぅまい [sumai]【動詞】[r/rr 語幹][A] 染まる；においがつく。【例】っづぁー　かじゃー　そぅまりー　ふさかいば　ならん（お前は臭いがついて臭くてしかたがない)。っそぅ　かじゃぬどぅ　そぅまりゅー（糞の臭がついている)。

そぅまりゃ [sumarja]【名詞】[C] 見染めた人、好きな人。【例】くりゃー　ばがとぅず、ばが　そぅまりゃ（これは私の妻です。見染めた人です)。[変異] そぅみゃりゃ。[類] そぅみゃー。

そぅみ [sumi]【動詞】[母音語幹][A] 染める。【例】あいひー　つんぬ　そぅみー（藍で着物を染める)。

そぅみむぬ [sumimunu]【名詞】染物。【例】みゃーく　じょうふー　あいひぬ　そぅみむぬ（宮古上布は藍での染物)。

そぅみゃー [sumja:]【名詞】[C] 見染めた人、好きな人。【例】くりゃー　ばがとぅず、ばが　そぅみゃー（これは私の妻です。最愛の人です)。[類] そぅまりゃ　(＜そぅまい（染まる))。

そぅむつ [sumutsi]【動詞】[k 語幹][A] 背く。【例】あいや　ひとぅんかいや　そぅむかん（あまりひとに背かない［背くな])。[変異] そぅむふ。[類] そぅむき。

そぅむふ [sumufu]【動詞】[k 語幹][A] 背く。[変異] そぅむつ。[類] そぅむき。

そぅら [sura]【名詞】[C] 先の方、先端部分。【例】きーぬ　そぅら（木のてっぺん)。そぅら　っそぅがい（末広がり)。きーぬ　そぅらんどぅ　かじゃー　ふつ（木の先端に風は吹く［＞上に立つものに波風は立つ])。ぶーずぬ　そぅらう　きー（サトウキビの先端を切る)。

そぅりんだい [surindai]【名詞】切り傷。【例】くまー　ぎすつひぬ　そぅりんだいどー（ここはすすきで切った切り傷だよ)。

そぅるー [suru:]【動詞】[w 語幹][C] 揃う。【例】やーじゃー　んーな　そ

ぅるいーどぅ（家族は皆揃っている）。

そぅるいどぅ　かぎさ [suruidu kagisa]【成句】（家族皆が）揃う事が一番良い。　【例】きゅーまい　そぅるいどぅ　かぎさどー、やびとぅーんな（きょうもみな一同に集まりすばらしいぞ、みなさん）。

そぅるかす [surukasɨ]【動詞】（座を）盛り上げて賑やかにさせる。　【例】そぅるつ　びとぅから　ぶどぅりー　んーなう　そぅるかし（盛り上げる人から踊ってみんなを引き入れて賑やかにさせなさい）。

そぅるき [suruki]【形容詞】［B］（人がものごとに参加することに）積極的な、躍動的な、動的な、賑やかな、元気な；（場所が）賑やか。　【例】からーむいとぅぬ　そぅるきびとぅ（彼はとっても（物事に参加することに）積極的だ）。そぅるき　ぶどぅい（動的な踊り）。くまんつきゃー　かまぬどぅ　そぅるきかい（ここよりむこうのほうが賑やかだ）。［類］そぅるつ。

そぅるき [suruki]【動詞】［母音語幹］［C］元気よく頑張る、躍動する、そぅるきー・そぅるきん・そぅるきる。　【例】じょー　やびとぅーんーな　わいてぃー　そぅるきーみーでぃ（さあ、みんな元気よく頑張ろう［＜頑張ってみよう］）。［類］そぅるつ。

そぅるつ [surutsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］積極的に参加する。　【例】からー　ぶどぅいとぅきゃんな　ならからどぅ　いつまい　そぅるきー　ぶどぅい（彼はいつも踊りの時は自分から積極的に参加する）。［変異］そぅるふ。［類］そぅるき。

そぅるふ [surufu]【動詞】［k 語幹］［C］積極的に参加する。　［変異］そぅるつ。［類］そぅるき。

そぅるみつ [surumitsɨ]【形容詞】清潔な。　【例】くまぬやーや　そぅるみつ　やー（ここの家は清潔な家）。［類］そぅるき。

そぅん [sun]【動詞】［m 語幹］［A］染める；染まる。　【例】ぶーずんぬぎゃー　あいひどぅ　そぅみー（宮古上布は藍で染める）。

そぅん [sun]【名詞】［C］損。　【例】んˀぬー　ばくちゃーひー　そぅんなひーにゃーん（昨日博打で損をした）。

そぅんうー [sunu:]【動詞】［b 語幹］（植物や生き物などが）成長する、（体が）のびる、（道などが）のびる；（曲がったものを）のばす；（道を）延長する。　【例】やらびゃー　どぅーや　そぅんび　んきー　なきゅーたい（子供は身動き一つせず泣いていた）。［類］そぅんばす。

そぅんがん [suŋgan]【名詞】家にある最も大きなお椀。　［類］そぅんがんまかい。

そぅんがんまかい [suŋgammakai] 【名詞】家にある最も大きなお椀。【例】うやんかいや　そぅんがんまかいんかい　むぬーぎゃー　いりー　みゃらし（おじーさんには一番大きなお椀に食事をいれて差し上げなさい）。［類］そぅんがん。

そぅんつきゃー [suntsɨkja:] 【接尾辞】（動詞基本形に付いて）のよりも［そぅ（の、もの）＋んつきゃー（よりは）］。【例】にんぎんな　っじそぅんつきゃー　ふぃーばどぅ　ほぅからすかい（人間は貰うのより与える方が嬉しい）。

そぅんばす [sumbasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（体を）真っ直ぐにする；（釘など曲がったものを）のばす；（道などを）のばす。【例】くっそぅ　そぅんばす（腰を伸ばす）。かにふっじゅ　そぅんばす（釘をのばす）。くまぬ　んっちゅっさらたーひ　そぅんばし（ここの道を平良まで伸ばせ）。

そろばん [soroban] 【名詞】算盤。

た

だ [da]【接尾辞】動詞否定形「ん」の連用形。動詞未然形について、「〜しないで、〜せずに」を表す。【例】くるまぬ　ういかだ　んぎーにゃーん（自動車が動かなくなった）。ゆみんかい　いかだ　やーん　うたい（嫁に行かずに家にいた）。ばっしだ　ういきゃ　なうゆまい　ほぅだかー　ならん（何事も忘れないうちになんでもやらないといけない）。

だ [da]【助詞】〖終助詞〗提題形について「〜はどう?」という意味を表す。【例】っうぁーだ（あなたはどうなの?）。

だー [da:]【助詞】〖終助詞〗述語として使われる名詞について、「その程度だ」という意味を表す;「名詞＋ん（に）」について、「〜次第だ」を表す。【例】ういが　かなまいや　うぬしゅくだー（彼の考える力はその程度しかない）。ばー　でぃんな　うさきだー（私はお金はこれだけだ）。っうぁんだー（あなた次第だ）。うぬ　みどぅんぬ　とぅっじゅあす　むぬー　っうぁんだー（その女の人を妻にするかどうかはお前次第だ）。びきどぅんぬ　すぐりーむぬーみどぅんだー（男の出世は妻次第だ［みどぅんだー＝みどぅん＋ん＋だー］）。

たーい [ta:i]【動詞】［r/rr 語幹］［A］熟睡している、眠りこけている;（酔っぱらうなどして）正体不明である。【例】やらびゃー　たーいてぃがー　んめうきん（子供は熟睡したら起きない）。びゅーいー　たーりーどぅー（酔っぱらって眠りこけている）。にゅーたーりびとぅ（眠りこんだ人）。びゅーいたーりーどぅー（ぐでんぐでんに酔っぱらっている）

たーう [ta:u]【動詞】［vv 語幹幹］［C］めまいがする、ふらふらする。【例】わーぬ　あっうぁー　ふぁいー　たーっうぃーどぅー（豚のあぶら肉を食べてくらくらしている）。さきゅー　ぬみー　たーっうぃどぅー（酒を飲んでふらふらする）。

たーがみ [ta:gami]【名詞】タガメ、カメムシ、水生昆虫。【例】くぬいや　たーまい　にゃーんば　たーがみまい　みーらいん（最近は田もないので、タガメもいない）。［類］たーぬかみ。

たーす [ta:sɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［C］無駄遣いする。 【例】まーぬ　でぃんぬぎゃー　たーすな（あんまり金を無駄遣いするな）。みっじゅぎゃー　まーぬ　たーはだうり（水を無駄使いするな）。

たーっづぃ [ta:vvi] 【動詞】［母音語幹］めまいがする、ふらふらする。［類］たーう。

たーっぞぅ [ta:zzu] 【名詞】鮒（フナ）。 【例】たーっぞぅ　とぅい　うやがま（鮒を取るおじいさん［昔は鮒を取って薬にするために売っていた］）。［類］たーぬっぞぅ。

たーどぅ [ta:du] 【名詞】［A］人を表す疑問代名詞、「たる」（誰）の複数形。【例】たーどぅがどぅ　った（誰［複数］がきたのだ?）。うらー　たーどぅが　ぬーま（これは誰［複数］の馬だ?）。うぬやらびんみゃー　たーどぅが（この子供たちは　誰［複数］のこどもですか）。［変異］たーる。

たーな [ta:na] 【助詞】（名詞のあと、格助詞のあとについて）それ以外はない、～しないことを表す、～だけ。 【例】じゃう　はなっそぅたーな　あっそぅ（いい話だけしなさい）。てぃびゅーぎゃー　みーだ　まいゆたーな　みー　あいき（後ろを見ずに前だけを見て歩け）。まいたーな　ふぁーだ　っぞぅまい　ふぁい（ご飯だけでなく魚も食べろ）。やらびんみたーな　っちゅーたい（子供だけが来た）。っさらんかいたーな　いつたい（平良にだけ行った）。［変異］たーん。

たーぬかみ [ta:nukami] 【名詞】〖昆〗タガメ。 【例】くぬいや　たーぬかみまい　みーらいん（最近はタガメも見えない）。［類］たーがみ。

たーぬっぞぅ [ta:nuzzu] 【名詞】鮒（フナ）。 ［類］たーっぞぅ。

たーぬぴー [ta:nupi:] 【名詞】蛭（ヒル）。 【例】たーぬぴーん　あかっちゃ　ゆばいーにゃーん（蛭に血をすわれた）。

たーひー [ta:hi:] 【助詞】場所を表す名詞についてその場所まで（移動することを）を表す、まで；時を表す名詞についてその時間まで動作を継続することを表す；時を表す名詞についてその時間に動作を終えることを表す、までに　［時間を表す動詞につくときは、「～きゃ（時）」をつける］。 【例】ばんちゃー　うじゃーなーぬ　ぶらたーひー　いきゅーたい（私達はずっと遠くの保良まで行っていた）。みどぅんみぬ　ゆがたいゆ　すきゃきてぃがーんめ　ゆさらびたーひー（女性たちがおしゃべりを始めたらなんと夕方まで（終わらない））。さんじたーひー　にゅー（三時まで寝る）。ばが　ふーきゃたーひー　まちゅーとぅい　ふぃーさまてぃ（私が来るまで待っていてください）。さんじたーひー　くぬ　すかまう

とぅどぅみ　ふぃーさまてぃ（3時までにこの仕事を済ませてください）。

たーまーら [ta:ma:ra]【名詞】〖昆〗タイワンウチワヤンマ　［子供のころマーニの葉の芯で作った輪っかをススキの茎にむすんで引っかけて取っていた］。

たーまい [ta:mai]【名詞】水稲。

たーら [ta:ra]【名詞】［A］俵。　【例】あーだーら（粟俵）。くみだーら（米俵）。まいだーら（米俵）。

たーらぐー [ta:ragu:]【名詞】〖祭礼〗御嶽で使われる言葉、お供え物を載せるため木の葉などをお盆の代わりにしたもの。葉の大きい「ゆなぎーぬはー」（ゆうなの木の葉）（「やらうぎーぬはー」（テリハボクの葉）「ばさぬはー」（芭蕉の葉）などが使われた。［「たーら」は「俵」からか］）。

たーらん [ta:ran]【成句】ありえない（話）。　【例】からー　いつまい　たーらんくとぅー　ずまん　あす（彼はいつもありえないほら話を自慢する）。

たーる [ta:ru]【名詞】［A］人を表す疑問代名詞、「たる」（誰）の複数形。［変異］たーどぅ。

たーんˀん　はず [ta:n̩n hazɨ]【成句】大きな足［＜田を踏む足］（稲を植える前に田んぼを踏みこむが、大きい足はより効果的なので、その時に有利な大きな足のことを言う）。【例】たーんˀん　はずひー　たーゆ　んˀん（大足で田んぼを踏む）。たーんˀん　はずびとぅ（とても足の大きい人）。［変異］たーんˀん　ぱず。

たい [tai]【接尾辞】動詞基本形について過去を表す接尾辞［名詞述語の過去「名詞＋だった」は「名詞＋あたい」、形容詞述語の過去形は「形容詞語幹＋かたい」で表す。　【例】きゅーや　はちじん　うきたい（今日は８時におきた）。ひとぅむてぃ　てぃびぬ　んっちゅ　あいつたい（今朝、裏の通りを歩いた）。くじゅー　やぐみ　はーさ　すかまう　あすたい（去年とてもたくさん仕事をした）。［変異］たー。

たい [tai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（酒を粟を口で噛んで）作る。　【例】あーゆ　かみー　んっちゅ　たい（粟を噛んで神酒を作る）。

たい [tai]【動詞】［母音語幹］［C］腹を立てる；（（配偶者などに対し）やきもちを焼く；（配偶者などの愛人に）嫉妬する。　【例】とぅっじゃ　ぶぅとぅぬ　すかまー　ほぅんばどぅ　たいゆー（奥さんは旦那が仕事をしないので腹を立てている）。ばが　みどぅんな　いつまい　ばぬんかい　たいーどぅー（私の妻はいつもわたしにやきもちをやいている）。やーぬ　とぅっじゃ　にごーんかいどぅ　うんそぅく　たいゆー（家の妻が（旦那の）愛人にとても嫉妬

している)。

たい [tai]【動詞】[r/rr 語幹][C]「またう　たい」の形で、(幼児や酔っ払いが)足元がふらつきながら歩く[「たい」単独では使わない]　「またたい」を参照。

たい [tai]【名詞】[C]態度、考え。【例】うぬきゃが　ふたーいや　ゆぬたい(その二人は同じような考えや態度をしている)。

だい [dai]【形容詞】[B]なまけもの;だるい。【例】まさいや　むいとぅぬ　だいむぬ(マサイはとても怠け者だ)。ばー　きゅーや　だいかいば　すまうぎゃー　ほぅじゃーん(私は今日はだるいので仕事はしない)。

たいがいじゃんみん [taigaiʑam-min]【名詞】適当なやり方、いい加減なやりかた[＜たいがい＋さんみん]。【例】たいがいじゃんみんぬぎゃー　ほぅだ　まさぐん　すかまうぎゃー　あっそぅ(適当なやり方をせず、ちゃんと仕事をしなさい)。

だいぎし [daigiɕi]【名詞】怠け者、鼻持ちならない人[＜代議士]。【例】すかまーひらいん　なまだん　だいぎし(仕事のできない怠け者)。

だいきゃ [daikja]【成句】疲れるまで、時間が大分経過していること。【例】すかまー　だいきゃ　ひーにゃーん(仕事は疲れる程たくさんやった)。かいがはりーからー　だいきゃ　なりーどぅ(彼が帰ってからは大分時間は経過している)。

だいさ [daisa]【名詞】[C]なまけ癖。【例】かいが　だいさー　たるんまいならーはいん(あいつのなまけ癖はだれにもなおせない)。

だいしゃ [daiɕa]【名詞】[C]〖遊〗ケンケンする(遊びの一つ:一つの足を反対の手でもって片足でけんけんする)。【例】じょ、んーなひー　だいしゃう　ほぅでぃ(みんなでケンケン遊びをしよう)。だいしゃーひー　けんけんぱーや　ひー　かーらー　きりー　あそぅー(片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ)。

だいずがだいず [daiʑigadaiʑi]【成句】まさか、そんなことがあるのか。

たいたい [taitai]【擬態語】(よっぱらいや幼児が)足元がふらつきながら歩く様子を表す、ふらふら、よちよち。【例】やらびゃー　たいたいてぃ　あいつ(こどもがよちよちと歩く)。

だいだま [daidama]【名詞】ダイナマイト。【例】だいだまー　ぱずきーにゃーん(ダイナマイトは破裂した)。だいだままーい(ダイナマイトでの密漁)。

だいだままーい [daidamama:i]【名詞】ダイナマイトでの密漁。【例】だいだままーいや　んぬつ　ふぁう(ダイナマイトでの密漁は命を奪う)。

たいつき [taitsiki]【動詞】［母音語幹］（相撲等でうわ手投げで人を）投げる、（ものを）たたきつける。【例】まさいや　かにん　たいつきらいーにゃーん（マサイはカニに投げられてしまった）。くぬ　なうぬ　みーんな　ならん　ばりまかいゆぎゃー　たいつきーすてぃる（この役立たずの割れ茶碗を叩きつけてしまえ）。

たいてぃー [taiti:]【副詞】ピタッと（くっつける）。【例】たいてぃー　むったーらし（ピタッとくっつけろ）。

だいばん [daiban]【名詞】〖魚〗大型のカツオ。

たいみつ [taimitsi]【動詞】［k 語幹］口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。［変異］たいみふ。［類］だいみつ、ぶいみつ。

だいみつ [daimitsi]【動詞】［k 語幹］口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。［変異］だいみふ。［類］たいみつ、ぶいみつ。

たいみふ [taimifu]【動詞】［k 語幹］口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。［変異］たいみつ。［類］だいみつ、ぶいみつ。

だいみふ [daimifu]【動詞】［k 語幹］口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。［変異］だいみつ。［類］たいみつ、ぶいみつ。

だいむぬ [daimunu]【名詞】怠け者。【例】かりゃー　すかまー　ひらいん　だいむぬ（彼は仕事のできない怠け者だ）。

たいわんなーずつ [taiwanna:zitsi]【名詞】〖植〗紫カタバミ、四葉のクローバー。【例】たいわんなーずっちゃ　なんとぅが　うさはいん（四つ葉のクローバーはなかなか除草できない）。

たいわんばるんな [taiwambarunna]【名詞】〖生物〗アフリカマイマイ。【例】たいわんばるんなー　がばー　はるんな（アフリカマイマイは大きなカタツムリだ）。

だう [dau]【形容詞】［C］沢山ある。【例】うまんな　なうまい　だう（ここには何でも沢山ある）。かいがどぅ　んながーな　でぃんな　だうかい（彼が一番お金を沢山持っている）。

たうー [tau:]【動詞】［vv 語幹幹］［C］（網や綱を）手繰る、引き寄せる。【例】あんぬ　たうー（網を手繰り寄せる）。あんぬ　たっづぃ（網を手繰りよせろ）。ん゜なう　たっづぃ（綱を引き寄せろ）。うりゅーぎゃー　たっづぃ　すてぃる（彼を追い抜いてしまえ）。

だうー [dau:]【名詞】［C］道具。【例】だいだまー　やなだうー　やいば　うりゅーぎゃー　つかーだうり（ダイナマイトは危険な道具なのでそれを使うな）。かんにがいだうー（祭具）。さや

ふだうー（大工道具）。ふなだうー（船具）。まかいだうー（食器）。あそぅーだうー（遊び道具）。

たうい [taui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］倒れる。【例】まさいや　かにん　うさいー　たうりーにゃーん（マサイはカニに押し倒された）。がらてぃー　たうりー　はりーにゃーん（崩れるように倒れた）。かでぃふつんな　きーぬ　たうい（台風には木が倒れる）。たちゃっでぃ　あすきゃー　みっふぁまーいや　ひー、たういぎかたい（立とうとしたらめまいがして倒れそうになった）。

たうかー [tauka:]【名詞】一人、独り。【例】うまんな　ばん　たうかーどぅ　うたい（そこには私一人だけがいた）。きゅーや　たうかーや　っさらんかい　んめ　たうかーや　うるかんかいちゃ（今日は一人は平良に、もう一人はウルカ（砂川）に（行くん）だってさ）。［変異］たうきゃー。

たうかーなー [tauka:na:]【成句】1人ずつ。【例】たうかーなー　たうかーなー　ならーす（一人ずつ教える）。

たうかーぬくらだ [tauka:nukurada]【成句】ひとり残らず。【例】やらび　ういびとぅ　たるーまい　たうかーぬくらだ　ゆーいんかいや　とぅむーし（子供も年寄りも一人残らずお祝いの席に招待しなさい）。［変異］たうかーぬからだ。

たうかーびとぅ [tauka:bitu]【名詞】独り者。［類］たうかーむぬ。

たうかーむぬ [tauka:munu]【名詞】独り者。【例】うりゃー　とぅっじゃ　みーん　たうかーむぬ（彼は奥さんがいない独り者だ）。［類］たうかーびとぅ。

たうかーむぬい [tauka:munui]【成句】独り言。【例】かりゃー　いつまい　たうかーむぬいゆどぅ　あす（彼はいつも独り言を言う）。［類］たうかーむぬゆん。

たうかーむぬゆん [tauka:munujun]【成句】独り言。［類］たうかーむぬい。

たうがに [taugani]【名詞】宮古民謡の一つ［「とうがに」とも発音する］。

たうきゃー [taukja:]【名詞】一人、独り。［変異］たうかー。

たうしんがー [tauɕiŋga:]【名詞】南京袋、麻袋。【例】たうしんがーゆ　かっづぃー　にゅー（南京袋をかぶって寝る）。たうしんがーぶくる（南京袋）。

たうしんばい [tauɕimbai]【名詞】おたふく風邪。【例】たうしんばいや　いでぃどぅ　かまっちゃ　ふくりゅー（おたふく風邪が出て頬は腫れている）。たうしんばいや　ひどぅ　みはなー　ふくりゅー（おたふく風邪で顔が腫れている）。

たうす [tausɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［C］倒す、(サトウキビを) 収穫する。【例】ゆつひー　きーゆ　たうす（斧で木を倒す)。ぶーっじゅ　たうす（サトウキビを収穫する)。

たうに [tauni] 【名詞】［C］豚に餌を与える容器。【例】わーぬ　ふぁうむぬー　たうにんかい　いりー（豚の食べ物を容器に入れる)。

たうふ [taufu] 【名詞】［C］豆腐　［提題形（～は）は、「たうふー」、「たうっふぁ」のどちらでもよい。目的格形（～を）も、「たうふー」、「たうっふ」のどちらでもよい]。【例】あぎだうふ（揚げ豆腐)。たうふゆー（ゆし豆腐)。

たうふがす [taufugasɨ] 【名詞】オカラ［＜たうふ＋かす]。

たうふゆー [taufuju:] 【名詞】〖食〗ゆし豆腐。

たうみつ [taumitsɨ] 【動詞】［k 語幹］しなる。【例】っぞぅ　つー　さうや　たうみきーどぅ（釣り竿はしなっている)。［変異］たうみふ。

だうり [dauri] 【名詞】［B］道理、理由。【例】だうりぬ　あい　むぬいゆ　あっそぅ（理屈の通った話をしろ)。

だうり [dauri] 【成句】動詞の未然形について禁止を表す［動詞否定形「ん」の連用形「だ」＋「うい（いる)」の命令形「うり」]、～するな、～しないでいろ。【例】ふぁーだうり（食べるな)。なかだうり（泣くな)。あいかだうり（歩くな)。たちゃだうり（立つな)。

たうんぎ [tauŋgi] 【名詞】〖生物〗オニヒトデ。【例】たうんぎゅー　んˀんてぃがー　やなむぬ（オニヒトデを踏んづけたら大変なことになる)。たうんぎぬ　つーづんな　どくぬどぅ　あい（オニヒトデの刺には毒がある)。

たうんまばす [taummabasɨ] 【名詞】〖昆〗蜂の一種、ハラナガスズメバチ。【例】ばー　ばかかいきゃ　たうんまばすん　とぅーいつからん　ささいたい（私は若い頃スズメバチ 15 匹に刺された)。たうんまばすぬ　すーゆ　っざらひー　ったきー　みーてぃがー　んまばっさ　うぐっりー　にゃーん（スズメバチの巣を鎌で叩いてみたら蜂は攻撃態勢に入った)。

たか [taka] 【名詞】［B］〖鳥〗サシバ。【例】たかぬどぅ　やぐみ　はーさ　まいゆー（サシバがとてもたくさん舞っている)。うんどうかいぬ　ずぶんどぅ　たかー　とぅびーふー（運動会の時期にサシバは飛来する)。

たか [taka] 【名詞】［C］高さ。【例】てぃんぬ　たか（天の高さ)。やーぬ　たか（家の高さ)。ばー　かまぬ　やまぬ　たかうぎゃー　っさん（私はあの山の高さを知らない)。っぅぁー　たかー　いっかっさ（あなたの身長はどれくらいなの)。

たか [taka]【形容詞】［B］（値段が、身長が、地上からの高さが）高い、。【例】たかだい（高価な）。たかびとぅ（身長の高い人）。たかやま（高い山）。うだか（この高さ/この値段［「くだか」ともいう］）。

だかー [daka:]【接続助詞】（未然形について）否定の条件を表す（～しないと）。【例】なうががらんかい　どぅーゆ　うからはだかー　ばぬんな　たちや　うらいん（何かに身体を支えられていないと私には立っていられない［＜なにかに体をもたれさせないと私には立っていられない］）。いかだかー　ならん（行かないといけない）。っづぁが　いかじゃーだかー　ばんまい　いかじゃーん（お前が行かないなら僕も行かない）。

たかい [takai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］集る、まとわりつく、病気にかかる。【例】ふにゅーぎーや　ゆだー　たかりーどぅ（ミカンの木は枝が繁茂している）。ほぅに　たかい　っぞぅ（小骨の多い魚）。さたんな　あうばいぬどぅ　たかりゅー（砂糖には銀蝿がたかっている）。まーぬ　ばぬんかいや　たかいな（余り私に纏わりつくな）。やなやんな　たかりーにゃーん（悪い病気にかかった）。

たかさ [takasa]【名詞】［C］尊敬、崇拝。【例】ういびとぅーぎゃー　たかさ　ほぅだかーならん（お年寄りは尊敬しなければならない）。

たかだい [takadai]【形容詞】高価、高価な。【例】たかだい　むぬ（高価な物）。たかだい　ぐるま（高価な車）。かまぬ　まっちゃー　くまんつきゃーまい　たかだい（あそこの店はここより高い）。くまぬ　まんごーぬどぅ　んながーな　たかだいかい（ここのマンゴーが一番高い）。

たかっじゃー [takaʐʐa:]【名詞】屋号、高鍛冶屋。【例】たかっじゃーぬしどぅ（タカッジャーの船長［＞ある人のあだ名］）。

たかはずばい [takahazıbai]【名詞】赤ちゃんの四つ足歩き。【例】やらびゃー　たかはずばいゆ　ひーゆー（子供は四つ足立ててハイハイしている）。

たかはずびー [takahazıbi:]【名詞】立ち座り［＞しゃがんだ姿勢］。【例】たかはずびーや　くーさぬ　だいや　にゃーん（立ち座りは苦しさの代償はない［＞いいことはなく疲れるだけ］）。

たかび [takabi]【動詞】［母音語幹］［A］崇める、尊敬する、敬う。【例】ういびとぅーぎゃー　たかびだかー　ならん（年寄りは敬わないといけない）。

たかま [takama]【名詞】［C］〖魚〗トビハゼ。【例】たかま　とぅぬず（ジャンプしながら進む）。たかまー　いすぬ　はなん　とぅぬーぎー　みーらい

（トビハゼは岩の上に跳んでいるのが見られる）。

たかんな [takanna]【名詞】〖貝〗高瀬貝［かつては高級ボタンの材料だった、身は硬い］。【例】んきゃーんな　たかんなひどぅ　たかだい　ぼたんぬ　ちゅっふぃたい（昔は高瀬貝で高価なボタンを作っていた）。

たき [taki]【名詞】［B］身長；身分；程度；限度。【例】っづぁが　たきゃー　いかっさ（あなたの身長はどれくらいなの）。たきゃー　たらいーどぅ（十分に成長している）。あいぬ　たんちゃーゆぎゃー　たきゅーぎゃー　ほぅだうり（そんな短気者は相手にするな）。っづぁー　あてぃ　すぐりかいば、ばが　っふぁー　っづぁとぅや　たきゃー　あらん（君はとても優秀なので僕の子は君の相手にはならない）。んまつまーゆぎゃー　たきゅーぎゃー　ほぅん（バカは相手にしない）。かりゃー　うながたきゅーぎゃー　っさん　ほぅりむぬ（彼は自分の程度を知らない馬鹿者だ）。ほぅりむぬと　ゆぬ　たきん　ないな（馬鹿と同程度になるな）。ばんちゃー　くーかいが　たきゃー　ありどぅ　くーかい（私達は苦しさの限界にあるので生活が苦しい。）［類］たかー。

だき [daki]【助詞】だけ。【例】やらびゃー　なつだき　なきや　にっづぃーにゃーん（子供は泣くだけ泣いて眠った）。

だきーまーい [daki:ma:i]【動詞】［r/rr 語幹］一周する。【例】んっちゃすまー　だきーまーりゅー（道は島を一周している）。

たきだき [takidaki]【名詞】（身分、富貴などで）差別をすること。【例】ひとぅーぎゃー　たきだきゅーぎゃーほぅん（人を差別するな）。

たきたらい [takitarai]【動詞】［母音語幹］成長する（「丈が足りる」から）。【例】ういが　たきたらいきゃー　みばかり（彼が大きくなるまで面倒を見ろ）。

たきぬふす [takinufusɨ]【名詞】竹の節。

たきほぅどぅ　うい [takihuduui]【成句】それなりの年齢に成長していること。【例】やらびゃー　んめたきほぅどぅ　ういーどぅー（子供はそれなりの年齢になり成長している）。

たきゃーならん [takja:naran]【成句】相手にならない、相手にしない。

だきゃう [dakjau]【名詞】［C］ラッキョウ。【例】だきゃうぬ　つきなう　っちゅっふぁっじゃー　だきゃうゆ　っちゅっふいる（ラッキョウの漬物を作るのでラッキョウのひげ根などを切って下ごしらえをしろ）。

たく [taku]【名詞】［B］タコ。 【例】たくぬ てぃー（タコの足）。たくー いふから とぅいだー（タコは何匹とったの?）。かーきだく（タコの燻製）。ぐっとぅーっとぅとぅ たくぬてぃーや っとぅてぃー（ぐっとぅーっとぅとぅタコの足は一足［鳩の鳴き声をまねして数を数えながら遊ぶ歌、10 まで数える］）。

たぐ [tagu]【名詞】［C］〖道具〗箱メガネ、海の底の様子を見るための大きなメガネ、円筒形。 【例】たぐひー いんぬ そぅくぬ たくー とぅみー（大メガネで海の底のタコをさがす）。たぐひー いんぬ なかう ぬさきーみー（タグで水中を覗いてみる）。たぐんかい みっじゅ いりー いんぬ そぅくー みーやすふ あす（箱メガネ（の内側に）水を入れて、海の底をみやすくする）。

たくー [taku:]【動詞】［b 語幹］［A］（布団、毛布等の寝具、着物）を片付ける。 【例】ふとんぬ たくび（布団を片付けなさい）。［類］たくび。

たぐい [tagui]【名詞】［C］役割；類（たぐい）、種類。 【例】うらー なうぬ たぐいまいにゃーん（これは何の使い道もない）。うらー なうぬ たぐい やいば（それは何の類なのか）。

たくっづぁ [takuvva]【名詞】足が不自由で立って歩けない人。

たくび [takubi]【動詞】［母音語幹］［A］（布団、毛布等の寝具、着物）を片付ける。 ［類］たくー。

たくみ [takumi]【動詞】［母音語幹］［C］騙す、陥れる、台無しになる。【例】かいが でぃんぬぎゃー たくみーすてぃる（彼の金を騙し取ってしまえ）。かいん でぃんまい やーまい なうまい んななない たくみらいーにゃーん（彼に金も家も何もかも全て騙し取られた）。［類］たくん。

たくみーふぁう [takumi:fau]【成句】［w 語幹］騙して食い物にする。【例】かまぬ うやきやーや かいん たくみーふぁーいーにゃーん（向こうの裕福な家はかれに騙されてくいものにされた）。

たくん [takun]【動詞】［m 語幹］［C］企む、悪事を企てる、陥れる、謀る。【例】かりゅーぎゃー たくみーすてぃる（彼を騙してしまえ）。かなっさ ゆぬすん たくまいー うどぅきーにゃーん（カナスはユヌスに騙されて損をした）。かいん たくまいー うっかー あみかっづぃーにゃーん（彼に騙されて借金をたくさん被った）。かいん たくまいー すまー っづぃー ふぁーいーにゃーん（彼の策略にかかって集落の共有地を売って取られてしまった）。

たす [tasi]【動詞】［s 語幹］［C］加える。 【例】うぬ さきゃー ちゅーか

いば　んめ　ひーちゃがま　みっじゅ　たし（その酒は強いからもう少し水を加えろ）。

たず [tazɨ]【名詞】[C]〖植〗ソクズ［庭などに自生し、乾燥させてお茶のようにして飲むと便秘薬として効果があるとされる］。

たすき [tasɨki]【動詞】[母音語幹] [C] 助ける。　［類］たすつ。

たすつ [tasɨtsɨ]【動詞】[k 語幹] [C] 助ける。　【例】かいん　たすかいー　なんとぅが　んぬっちゃ　ぶいらいどぅー（彼に助けられて何とか命はもらったようなものだ）。［変異］たすふ。［類］たすき。

たずな [tazɨna]【名詞】[C] 手綱（たづな）。【例】ぬーまん　ぬーい　とぅきゃんな　たずなうぎゃー　はなはん（馬に乗るときには手綱は離さない）。

たすふ [tasɨfu]【動詞】[k 語幹] [C] 助ける。　［変異］たすつ。［類］たすき。

ただつ [tadatsɨ]【動詞】[k 語幹] [C] 訪ねる、付き合う。　【例】かりゃー　ゆーどぅ　うとぅじゃうぎゃー　ただつ（彼は親戚とよく付き合いをする）。かりゃー　ひとぅーぎゃー　ただかん（彼は人とは親交しない）。かりゃー　きゅーまい　かじゃーなーから　ただきーっちゅーい（彼は今日も遠くから訪ねてきている）。［変異］ただふ。

だだてぃー [dadatiː]【オノマトペ】水、物等がこぼれる様子、ジャー。【例】みっじゅ　だだてぃー　いたつ（水をジャーとこぼす）。［変異］ただーてぃー。

ただふ [tadafu]【動詞】[k 語幹] [C] 訪ねる、付き合う。　［変異］ただつ。

たたん [tatan]【動詞】[m 語幹] [C]（衣類・寝具を）畳む。　【例】もーふー　たたん（毛布を畳む）。

たたん [tatan]【名詞】[B] 畳。

だちゃー [datɕaː]【接尾辞】（動詞基本形について）ほど、～くらい。【例】あてぃ　くーかいば　すんだちゃー　あたい（とても苦しくて死にそうだった）。あいかいんだちゃー　だりゅーい（歩けないほど疲れた）。［類］だちゃーい。

だちゃーい [datɕaːi]【接尾辞】（動詞基本形について）ほど、～くらい。［類］だちゃー。

たちゃす [tatɕasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [C]（物を）立てる、（人を）立たせる。　【例】うまん　はらう　たちゃし（ここに柱を立てろ）。しーとぅやらび　あいきゃー　しーしーん　ばっちゃ　ひらいー　たちゃはいたい（学童だった頃先生に罰せられて立たされた）。

たつ [tatsɨ]【名詞】[C] 歩いて行くこと。【例】たつからどぅ　ったい（（馬、馬車等を利用することなく）歩いてきた）。

たつ [tatsɨ]【動詞】[k 語幹] [A] 焚く。【例】かんにがいんな　かうゆどぅ　たつ（祈願には線香を焚く)。[変異] たふ。

たつ [tatsɨ]【動詞】[c/t 語幹] [C]（座った状態から）立つ、立ち上がる。【例】やらびゃー　たちー　あいきーどぅーい（子供は立って歩けるようになっている)。たちゃっでぃ　あすきゃー　みーや　まーるーたい（立とうとしたら目が回った)。うまん　たつてぃがーんめどー（そこに立つとあぶないよ)。

たつ [tatsɨ]【動詞】[c/t 語幹] [C] 発つ、出かける、場を離れる。【例】からー　っさらんかい　たちー　はりーにゃーん（彼は平良に出かけてしまった)。まーぬ　うむっしっふぁにゃーんばかまぬ　うぐなーいから　たちったい（あまり面白くないので、その会議から抜けてきた)。

たつ [tatsɨ]【名詞】[C]（馬の）小屋。【例】ぬーまぬたつ（馬小屋)。

だつ [datsɨ]【動詞】[k 語幹] [A] 抱く。【例】やらびゅー　だつ（子供を抱く)。[類] かったつ。

たっづぁみつ [tavvamitsɨ]【動詞】[k 語幹] 揺れる、ふらつく、（態度が）ぐらつく；落ち着かない。【例】かでぃぬ　ちゅーかいば　きーや　たっづぁみきーどぅー（風が強いので木がゆれている)。さきゅー　ぬみー　たっづぁみきーどぅー（酒を飲んでふらついている)。[変異] たっう゛ぁみふ。

たっづぁみふ [tavvamifu]【動詞】[k 語幹] 揺れる、ふらつく、（態度が）ぐらつく；落ち着かない。[変異] たっう゛ぁみつ。

たっづぃ [tavvi]【動詞】[C]（網や綱を）手繰る、引き寄せる。[類] たうー。

たっづや [tavvja]【名詞】[C] 蛍（ホタル)。【例】たっづゃー　ゆなかどぅとぅー（蛍は夜中に飛ぶ)。

たっかーす [takka:sɨ]【動詞】[s/h 語幹]（サービスとして品物を）加える。【例】っぞぅー　んめ　ひとぅから　たっかーし（魚をもう一匹おまけにつけなさい)。

たつき [tatsɨki]【動詞】[母音語幹] [A] 火をつける。【例】うまっちゅ　たつきでぃ（火をおこそう)。たむぬんかい　うまっちゅ　たつきる（薪に火をつけろ)。きだむぬー　たつきる（まきに火をつけろ)。

たっじゃす [taʑʑasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（冷めたものを）温める、炊く、煮る。【例】さまりゅー　わーにむんぬぎゃー　たっじゃし（冷めたブタの煮物を温めなさい)。

たっず [tazzɨ]【動詞】[zz/dd 語幹] [A] 煮える。【例】んっつーや　たっでぃーどぅー（味噌汁は煮えている)。どろどろてぃーどぅ　たっじゅー（ぐつぐつと煮えている)。んーな　たっでぃ

ぬ　あとぅんな　んぶすばどぅ　んまかい（芋は煮えたあとの後に蒸したらうまい）。

たった [tatta]【副詞】更に、いっそう。【例】うぬ　しょじょー　たった　あぱらぎふ　なりーどぅー（その娘はいっそうきれいになった）。

たっつ [tattsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［A］（他人の提案、申し入れなどを）断る、聞き入れない。【例】かいが　あっじゅー　くとぅー　たっちーすてぃる（彼が言っていることを聞き入れるな）。

だつっづぁ [datsɨvva]【名詞】赤ちゃん。【例】だつっづぁぬ　んま（赤ちゃんの母親）。［類］あかっづぁ、ばかっづぁ。

たつびー [tatsɨbi:]【名詞】膝を曲げて座ること。【例】たつびー　あす（中腰で膝を曲げて座る）。

たてぃ [tati]【助数詞】種類の数え方［１から１０までの種類の数え方：ひとぅたてぃ、ふたたてぃ、みたてぃ、ゆたてぃ、いつたてぃ、んたてぃ、ななたてぃ、やたてぃ、っくぬたてぃ、とぅたてぃ］。

たてぃたてぃ [tatitati]【副詞】色々、様々、「たてぃたてぃぬ」で名詞修飾。【例】きゅーぬ　ゆーいんなたてぃたてぃぬ　うさいぬどぅ　いじゅー（今日のお祝いにはいろいろな料理が出ている）。たてぃたてぃぬ　んまむぬ（色々なご馳走）。たてぃたてぃんどぅ　とぅゆみゅーい（色々なことに名をはせている［古謡「まいぐむいまうや」より］）。

たとぅい [tatui]【動詞】［母音語幹］［C］たとえる。【例】たとぅいてぃがー　うらー　なうぬんまり（例えたらなにに似てるのか）。

たない [tanai]【名詞】［C］（仕事ぶりなどが）頼りになること。【例】びきっづぁんみゃー　なうぬ　たないまい　にゃーん。（男の子はなんの助けにもならない）。っづぁがどぅ　ばが　たない（お前のことを頼りにしている）。うりゃー　たないや　にゃーん　なっちゃかん　んまり（彼は頼りにならない遊び人だ）。かりゃー　たないや　ありどぅ　すかまうぎゃー　ひーゆー（彼は手際よく仕事している）。すかまぬたない　あい　ひとぅ（仕事の手際良い人）。いんたない（漁が上手い人）。はいたない（畑仕事が上手な人）。すかまたない（仕事が上手な人）。

たなっら [tanarra]【名詞】〖魚〗スズメダイ。【例】たなっらう　つーがいつ（スズメダイを釣りに行く）。

たに [tani]【名詞】［C］陰嚢（ふぐり）、ヤドカリのお腹。【例】わーぬ　たにとぅい（豚の去勢［＜豚の陰嚢取り］）。ひんじゃぬ　たにゅー　あっづぃ　やきー　ふぁう（山羊の睾丸を炙って焼いて食べる）。［類］さに。

たに [tani] 【名詞】［C］種。 【例】むぬだに（穀物等の種）。ひとぅだに（人間の血統）。そぅーだにゅー まつ（野菜の種を蒔く）。むぬだにゅーぎゃーいらうどぅす、ひとぅだにゅーまいいらうどぅす（物種は選ぶもの。結婚相手も選ぶもの）。［類］さに。

だに [dani] 【動詞】［母音語幹］［C］捩（ねじ）る；（足首などを）くじく。【例】んˀなうぎゃー だにどぅ なう（綱をねじって綯（な）う）。はっじゅ だにーにゃーん（足を挫いた）。

だに [dani] 【名詞】［C］リンパ腺。【例】いんまら だにぬ いじゅー（股間のリンパ腺が腫れている）。ばっだだに（わきのリンパ腺）。

たにがーい [taniga:i] 【名詞】変種、親と出来の違う子がうまれること、またその子。 ［類］さにがーい。

たにく [taniku] 【名詞】［C］入り乱れていること、塊になっていること。【例】まっちゃんな はーさぬ ひとぅぬどぅ たにくん なりーうい（店には多くの人が入り乱れている）。かまんな ひとぅぬどぅ たにくんなりーんちゅー（向こうには人が塊になってたくさんいる）。たくぬどぅ いふからまい たにくん なりー うたい（タコが何匹も塊になっていた）。

たにず [tanizɨ] 【名詞】［C］（夫のせいで）子供ができないこと。【例】かまぬやーや たにっじゃ ひーゆい（あそこの家は後継ぎができないでいる）。

たぬん [tanun] 【動詞】［m 語幹］［C］頼む。 【例】むぬー たぬみー むちゃす（ものを頼んで持たす）。やーふつすきなふー たぬん（家づくりの奉仕を頼む）。からー ひとぅんな たぬまいん（彼は人には頼めない）。

たばい [tabai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］（人が人に、ものが服などに）くっつく；ケンカする。 【例】やらびゃー ういびとぅん たばりー うたい（子供はお年寄りにくっついていた）。まずむぬぬみーつつうさぬ とぅずぬどぅ ふくんかい うんそぅく たばりゅー（シロバナセンダングサの刺が服に沢山くっ付いている）。かぬきゃが ふたーや きゅーまい また たばりーにゃーん。（あの二人は今日もまた喧嘩を始めた）。

たばい [tabai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］（病気に）かかる、（悪霊に）とりつかれる。 【例】かりゃー やなやんな たばりー すにーにゃーん（彼は悪い病気にかかって死んでしまった）。

たばく [tabaku] 【名詞】［C］煙草。【例】たばくー ってぃーひー ふつ（煙草をキセルで吸う）。んきゃーんぬ たばくふつ ひとぅんみゃー ふじゃうから きざみたばくー とぅいー うるー ってぃーんかい いりー ふきーうたい（昔の煙草を吸う人達は煙草

入れから刻み煙草を取ってそれをキセルに入れて吸っていた)。たばくの　ふつぐる（タバコの吸い殻)。

たび [tabi]【名詞］[A］旅。　【例】たびんかい　いでぃ（旅に出る)。

たふ [tafu]【動詞］[k 語幹］[A］焚く。　［変異］たつ。

たぶ [tabu]【名詞］[B］〖道具〗たも網、水中の魚類をすくうのに用いる。　【例】たぶひー　っぞぅー　っそぅー（たも網で魚をすくう)。

だふ [dafu]【動詞］[k 語幹］[A］抱く。　【例】っふぁう　だふ（子供を抱く)。［変異］だつ。

だふ [dafu]【オノマトペ】ドスン（と落ちる)、ズボッ（と入って抜けない)。【例】あなんかい　だふてぃー　うてぃーにゃーん（穴にドスンと落ちた)。うゆびゃー　くぴんかい　だふてぃ　はまりー、なんとぅが　んがいん（指が瓶にすぽっとはまってなかなか抜けない)。やーぬ　きたー　はらぬ　あなんかい　だふてぃー　はまりーにゃーん（家の梁は穴にスポッと填まった)。

たま [tama]【名詞］[B］分け前。　【例】んーなんかい　っぞぅだまう　なかーり（皆に魚の分け前を分けろ)。うらー　ばが　ふぁうぬ　たまー　にゃーん（それは私の食べる分はない)。うらー　っづぁが　っじだま（それはあなたのもらう分け前)。っぞぅだまう　ばきー（魚の分け前を分ける)。ばきだま（分け前)。っじだま（貰う分、分け前)。たまうつ（分配)。［類］ばきだま、っじだま、とぅいまい。

だま [dama]【名詞］[B］ダマ、（衣類の小さい糸など）が絡まって玉状に固まったもの。　【例】いんぬきーや　だまん　なりーどぅ（犬の毛はダマになっている)。いとぅがまぬどぅ　だまん　なりゅー（小さい糸が玉になっている)。

たまーつつ [tama:tsɨtsɨ]【動詞］[k 語幹］癪癇の発作を起こす。[「たまうつきたい」でもいいが「たま」だけでは使わない)。　【例】たまーつきたい（癪癇をおこした)。たまーつきーどぅー（癪癇の発作を起こしている)。［変異］たまーつふ。

たまーつふ [tama:tsɨfu]【動詞］[k 語幹］癪癇の発作を起こす。[「たまうつきたい」でもいいが「たま」だけでは使わない)。　［変異］たまーつつ。

たまい [tamai]【動詞］[r/rr 語幹］[A］溜まる。　【例】てぃびほぅぎばーきんな　みっじゃ　たまらん（竹籠には水は溜まらない)。

たまう　うつ [tamau utsɨ]【成句】均等に配分する。

たまがい [tamagai] ①【動詞］[r/rr 語幹］驚く、怖がる、びっくりする。【例】からー　なうゆ　ほぅんまい　たまが

らん（彼は何をしても驚かない）。からー　あうみー　やいば　かぱてぃー　たまがらし（彼は臆病だからわっと驚かしてやれ）。［類］だまがい。②【名詞】驚くこと、怖がること。【例】ばー　まずむぬー　みー　かぱ　たまがいや　ひーにゃーん（私は幽霊を見てぎょっとたまげた）。［類］だまがい。

だまがい [damagai] ①【動詞］［r/rr 語幹］驚く、怖がる、びっくりする。［類］たまがい。②【名詞】驚くこと、怖がること。［類］たまがい。

たまがらす [tamagarasɨ]【動詞］［s/h 語幹］びっくりさせる。【例】かいん　たまがらはいーにゃーん（彼にビックリさせられた）。［類］だまがらす。

たまぐつ [tamagutsɨ]【動詞］［c/t 語幹］分配する。【例】じょー　いんからぬ　っぞぅー　たまぐちゃでぃ（さあ漁からの魚を分配しよう）。

たまじゃり [tamaʑari]【名詞】玉砂利。

たます [tamasɨ]【名詞］［C］魂。【例】あてぃ　うどぅるっちゃーひー　まずむぬん　たまっさ　とぅらいーにゃーん（余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた）。

だます [damasɨ]【動詞］［s/h 語幹］［C］騙す。【例】ひとぅーぎゃー　だまはん（人は騙さない［＞だましてはいけない］）。みどぅんんみぬ　なつむぬいん　だまはいな（女達の泣き落としに騙されるな）。ばー　やなびきどぅん　だまはいにゃーん（私は悪い男に騙された）。

たまっさにゃーん [tamassanja:n]【成句】魂がない、落ち着きのない。【例】たまっさにゃーんんまり、　まーぬ　あわてぃだうり（落ち着きのない奴だ、余り慌てるな）。

たまつつ [tamatsɨtsɨ]【動詞］［k 語幹］癪癇の発作を起こす。［変異］たまつふ。

たまつつやん [tamatsɨtsɨjan]【名詞】癪癇。［類］つっづぃやん。

たまつふ [tamatsɨfu]【動詞］［k 語幹］癪癇の発作を起こす。［変異］たまつつ。

たまな [tamana]【名詞］［B］キャベツ。【例】たまなう　ふぁう（キャベツを食べる）。

たまびーぎー [tamabi:gi:]【名詞】〖植〗蓮葉桐（ハスノハギリ）［中心部はかたく水が沁み込まないため、これで水中眼鏡をつくった］。【例】たまびーぎーひー　みがにゅー　ちゅっふ（蓮葉桐で水中メガネを作る）。

たみ [tami]【動詞］［母音語幹］［A］溜める、留める、心穏やかにする。【例】つむたみびとぅ（冷静な人、心穏やか人）。つむでぃだ　つむー　たみる（怒らないで心穏やかにしなさい）。かんな

にがいー　んぬっちゅ　たみー（祈願して命を留める）。

たみ [tami]【動詞】［母音語幹］［A］（狙いを）さだめる、（銃や銛などで）ねらう；（三線を）調弦する；向かう、目指す。【例】っぞぅー　うぎんひー　たみー　つふ（魚を銛でねらって突く）。はいぬ　みーゆ　たみー（（糸を通すため）針の目をねらう）。っぞぅーぎゃー　たみゅーとぅい　つき（魚は狙いを定めて突け）。うまぬ　まとぅんかい　たみーみーる（この的に狙いを定めてみろ）。うぎんぬ　っぞぅんかい　たみー　つき（銛を魚に狙いを定めて突け）。まうきゃーんかい　たみー　ふにゅーぎゃー　はらし（前に向かって舟を走らせろ）。さんしんぬ　ちるー　たみー（三線の調弦をする）。ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　みんな　たみー　つき（人の話は耳に全神経を集中して聞け）。からー　いつまい　うまー　たみどぅ　ってぃ　むぬー　ふぁい　はい（彼は毎日ここに来て飯を食べて帰る）。

たみ [tami]【動詞】［母音語幹］［A］貯める。【例】でぃんぬぎゃー　まーぬ　ふぁーだ　ひーちゃうぎゃー　たみる（金は余り無駄遣いしないで少しは貯蓄しなさい）。ばー　でぃんな　たみー　はわいりょこーんかい　いかでぃ（私はお金をためてハワイ旅行に行こう）。

たみ [tami]【名詞】［C］（主に不倫で）～との間にできた子。【例】うぬっふぁー　っうぁが　たみ（この子はあなたの子供だ）。くぬっふぁー　かいがたみ（この子は彼との間にできた子）。

たみ [tami]【名詞】［C］抑制、抑制すること。【例】つむたみ（自制心）。つむたみ　じゅー（自制心が強い）。

たみ [tami]【名詞】［C］目的、ため；理由節を作る。【例】くらー　っうぁが　たみん　ひーやー　くとぅ　だら（これはあなたのためにしたことだ）。だいがくん　ごーかくあす　たみんな　んめひ　わいてぃ　べんきょー　ほぅだかー　ならん（大学に合格するためにはもっと勉強しないといけない）。かいが　うくりっちゃー　たみん　ひこーきんな　ぬーらいっだん（彼が遅れてきたために飛行機に乗れなかった）。

だみ [dami]【動詞】［母音語幹］［A］（ものや人などを強く）（銛で）突く；（こぶしで）殴る、叩く。【例】うぎんひー　っぞぅー　だみー（銛で魚を突く）。くぬ　くるまぬ　がらっさ　っうぁが　なうばい　だみたんてぃー　ばりん（この車のガラスはお前がいくら叩いても割れない）。なうばい　つむでぃたんてぃー　ひとぅー　だみや　ならん（どんなに腹が立っても他人を殴ってはいけない）。

だみ [dami]【名詞】［A］駄目だ（述語として使う）。【例】うらー　だみ（それは駄目だ）。からー　むいとぅぬ　だみな　んまり（彼はとてもダメな奴

だ)。つんぬ　んみてぃがー　だみ　やいば　つんぬ　すそーぎゃー　むたぎる（着物が濡れたらだめなので着物の裾を持ち上げろ)。

たみーたみー [tami:tami:]【副詞】落ち着いて、慎重に。　【例】むぬーぎゃー　たみーたみー　あっそぅ（物事は落ち着いてやりなさい)。たみーたみー　ふぁい（慌てずにたべなさい)。[変異]たみーたみ。

たみす [tamisɨ]【動詞】[s/h 語幹][C]予測する。　【例】くぬ　やらびゃー　ほぅいふないてぃがー　なうばいぬ　にんぎんてぃ　ないがてぃ　たみひーゆー（この子はおおきくなったら　どんな人間になるだろうかと予測している)。たからくっじゃ　あたりゅーむ　なうむ　たみひーみーでぃ（宝くじが当たるか否か予測してみよう)。

たむぬ [tamunu]【名詞】[C]薪（たきぎ）の総称（ススキ・木の葉、木の枝等を使う)。　【例】たむぬんかい　うまっちゅ　たつきる（たきぎに火を起こせ)。ぎすつだむぬ（枯れたススキの薪)。すっだき　だむぬ（枯れたススキの茎の薪)。まつぎーだむぬ（松の木の薪)。

たむぬぶー [tamunubu:]【名詞】薪（たきぎ）や農具をしまう小屋。

たや [taja]【名詞】[C]力、体力、力持ち。　【例】やぐみ　たやあい　ばかむぬ（凄く体力のある若者)。かりゃー　たや（彼は力持ちだ)。たやー　くさきてぃー　いりー　んぶむぬー　むつ（力はこれくらいあるぞと　重いものを持つ[＞力の限りをふりしぼって重いものを持つ])。たやびゃーき　なっじゅり（力いっぱい殴れ)。

たやびゃーき [tajabja:ki]【成句】力いっぱい。

たやん [tajan]【副詞】力を入れて、力いっぱい、たくさん。　【例】むぬー　たやん　ふぁうたい（飯をたくさん食べた)。むぬーぎゃー　たやん　ふぁい（飯をたくさん食べなさい)。たやん　そぅっづぃ（一生懸命走れ)。かまぬ　びょういんな　っそぅいゆどぅ　たやん　むちゃす（向こうの病院は薬をたくさん持たせる)。

だら [dara]【助詞】〖終助詞〗（形容詞、名詞、動詞基本形などについて）相手が知らない情報を言うときに付ける、～なんだ、～だよ；〖終助詞〗自分が推論した内容を自分、あるいは聞き手に示す、～だろう。　【例】うらー　がばー　だら（それは大きんだよ)。あぱらぎ　だら（きれいだよ)。からー　なうふや　だら（彼は格好をつける人なんだ)。ぶばがまが　すきゃきゃー　かいだら（おばちゃんのやり方はこうだ)。あいだら（そうだ)。んーでぃだら（そうだよ)。

たらーす [tara:sɨ]【動詞】[s/h 語幹]不足を補う。　【例】やーふつ　にんじ

ゅー　たらーす（家づくりの人数の不足を補う）。

たらう [tarau]【動詞】［w 語幹］［A］足りる。　【例】つん　かーでぃ　やいそぅがどぅ　でぃんな　たらーん（洋服を買いたいがお金が足りない）。びきどぅんな　さうきぶにぬどぅ　ってぃつ　たらーんば　うむくとぅー　にゃーん（男性はあばら骨が一つ足りないから頭が悪い）。きゅーぬ　いんにんじゅー　たらいーどぅー（今日の漁員数は足りている）。かーっさ　んーながたまー　たらーん（お菓子は皆の分は足りない）。びーるー　はーさ　かいやーば　んーなが　たまー　たらいどぅー（ビールはたくさん買ってあるからみんなの分足りてるよ）。

だらか [daraka]【名詞］［C］ウソ［大浦の方言からの借用、西原では「ゆくす、ゆくし」と言う］。

たらき [taraki]【名詞］［C］親戚一族。　【例】うぬきゃが　たらきゃー　やぐみ　すぐり　たらき（この親族一同はとても優れた親族だ）。うむくとぅあいたらき（優秀な家系）。

だらく [daraku] ①【名詞］［C］なまけもの。　【例】からー　むいとぅぬ　だらく（彼はとても怠け者）。②【形容詞］［C］なまけものだ。【例】まさいがどぅだらくかい（マサイが怠け者だ）。

だらくげった [darakugetta] ①【名詞】なまけもの（「だらく」よりも程度がひどい）。【例】かりゃー　すかまー　ひらいん　だらくげった（彼は仕事のできない怠け者だ）。②【形容詞】なまけものだ。【例】まさいがどぅ　だらくげったかい（マサイが怠け者だ）。

だらす [darasɨ]【動詞］［s/h 語幹］［C］困らす、疲れさせる。　【例】あいやひとぅーぎゃー　だらはん（そんなに人を困らてはいけない）。ばー　かいん　だらはいーにゃーん（私は彼に疲れさせられた）。

たらま [tarama]【名詞］［C］《地名》多良間島；遠いことのたとえにつかう。　【例】ぶとぅぬ　はたらっちゅぎゃー　ばらいどぅ　ふぁう、っふぁぬ　はたらっちゅぎゃー　なきどぅ　ふぁう、んまがぬ　はたらっちゃ　たらまどぅー（夫の稼ぎは笑って食べる、子供の稼ぎは泣いて食べる、孫の稼ぎははるかかなた［池間の格言］）。

たらみつ [taramitsɨ]【動詞］［k 語幹］だらだらとした様子でなにかをする。【例】まーぬ　たらみかだうり（あんまりだらだらするな［＞場面によっては「文句を言うな」のような意味にもなる］）。まーぬ　たらみきー　あいつな（あまりだらだら歩くな）。［変異］たらみふ。

たらみふ [taramifu]【動詞］［k 語幹］だらだらとした様子でなにかをする。［変異］たらみつ。

たり [tari]【動詞］［母音語幹］［C］（酒や神酒を）造る。　【例】まいひー　さ

きゅーぎゃー　たりー（米でさけをつくる）。

たり [tari]【動詞】［母音語幹］［C］垂らす；（男性器、女性器、乳房などを）露・顕（あらわ）にする。【例】んきゃーんな　つんぬ　そぅくーゆ　たりー　まーりゅー　やらびまい　うたい（昔は着物の帯紐を垂らして歩き回る子どももいた）。

たり [tari]【動詞】［母音語幹］［C］垂れる。【例】さかさん　さぐなう　さぎー　うっきゅーふばどぅ　ういがみーや　たりー　うてぃー　ふー（逆さまにほら貝を下げておいておけばそれの身は垂れて落ちてくる）。

だり [dari] ①【動詞】［母音語幹］［C］疲れる。【例】きゅーや　すかまー　ひー　だりーどぅー（今日は仕事をして疲れた）。だりーてぃがー　うぬー　っふじゃたう　ふぁい（疲れたらこの黒糖をたべなさい）。ん゜ぬ　あてぃ　だりー　きゅーや　ぶがりかいば　ならん（昨日余りにも疲れたので今日は疲労感が残っている）。きゅーや　むいだり（今日は非常に疲れている）。はっじゃ　だりーにゃーん（足が疲れた）。だりー　ににゅーや　かっらん　なりゅーたい（疲れて居眠りコックリコックリしていた）。だりー　ぬどぅふずまい　たりーどぅー（疲れて首筋までも垂れている）。ういびとぅー　みばかりー　だりーどぅ（年寄りを介護して疲れている）。ばー　んなーぎゃー　だりやうらん（私はまだ疲れてはいない）。②【形容詞】［B］疲れている。【例】きゅーや　だりかいばならん（今日はとても疲れた）。③【名詞】［C］疲れ。【例】きゅーや　だりんかい　つふ　やちゅーゆどぅ　ひーったい（今日は疲れに効く灸をしてきた）。さきゅー　ぬみー　やなだりゅー　とぅい（酒を飲んでひどい疲れを取る）。

だり [dari]【接尾辞】［名詞について形容詞を作る接尾辞］～まみれだ。【例】あしだり（あせまみれ）。あかつだり（血だらけ）。きゅーや　あつかいば　あしだりかいば　ならん（今日は暑いから汗をかいて仕方がない）。

たりかす [tarikasi]【名詞】泡盛を作った後に出る酒かす。

たりかす [tarikasi]【名詞】〖鳥〗サシバの幼鳥。

たる [taru]【名詞】［A］人を表す疑問代名詞、誰　［複数は「たーどぅ」。【例】っづぁー　たる（君はだれだ?）。ばがほぅだかー　たるがどぅ　あすがまた（お前がしなかったら誰がするのか）。っづぁ　うりゃー　たるがどぅ　ちゅっふゃーがてぃ　っしな（君は、これを誰がつくったかわかりますか［＜誰が作ったかと］）。

たる [taru]【名詞】［C］樽。【例】さた　だる（砂糖樽）。

だるー [daru:]【形容詞】[C] ダラダラしていること。【例】すかまー　ひらいん　だるーんまり（仕事のできない怠け者）。からー　むいとぅぬ　だるーんまり（あいつはとても怠け者だ）。

たるがから [tarugagara]【名詞】誰か。【例】ばー　かりゃー　たるがから　っさん（私はあいつが誰なのかわからない）。

だん [dan]【名詞】[B] ダニ。【例】やまだん（山ダニ）。だん　ささいてぃが　むいとぅ　かいかいばならん（ダニに刺されるととてもかゆい）。

だんがー [daŋga:]【名詞】相談。【例】じょ、まうきだんがーう　ほぅでぃ（さー、儲かる話をしよう）。

たんかーばい [taŋka:bai]【名詞】酒と水を半々に割ること。【例】さきゅー　たんかーばい　ひーくー（酒を水と半々で割って来い）。

たんかーゆーい [taŋka:ju:i]【名詞】〖祭礼〗数え年 3 歳の祝　[ノート、お金等を子供に取らせて将来を占う]。

だんかーりー [daŋka:ri:]【副詞】特別に、際立って。【例】かいが　かなまいや　だんかーりどぅ　ちゅーかい（彼は際立って頭脳明晰だ）。

たんた [tanta]【名詞】[C]〖鳥〗鶚（ミサゴ）。【例】たんたー　いんぬ　はなから　っぞぅ　とぅみー　ますたんかい　とぅびー　っぞぅー　とぅい（鶚は海の上空から魚を探して直滑降で海に飛び込み魚を取る）。

だんだん [dandan]【副詞】段々に、次第次第に。

たんちゃー [tantça:]【名詞】短気者。【例】あいぬ　たんちゃーゆぎゃー　たきゅーぎゃー　ほぅだうり（そんな短気者は相手にするな）。[変異] たんちゃー。[類] たんちゃ。

たんつ [tantsɨ]【形容詞】[B] 短気だ。【例】かりゃー　うなが　つむーぎゃー　むちゃん　たんつんまり（彼は自分の気持ちを制御できない怒りん坊だ）。たんつ　ずむびとぅ（短気な人）。

たんでぃ [tandi]【副詞】どうか、お願いだから。【例】たんでぃ　いきー　ふぃーる（どうか行ってくれ）。

たんでぃやらー [tandijara:]【副詞】どうか、お願いだから。[変異] たんでぃやりゃー。

たんでぃやりゃー [tandijarja:]【副詞】どうか、お願いだから。【例】ばー　んめ　ふたかいまてぃや　あいぬ　くとぅーぎゃー　ほぅじゃーんば　たんでぃやりゃー　ゆらひー　ふぃーさまてぃ（私はもう二度とそんなことはしないのでお願いですから許してください）。[変異] たんでぃやらー。

だんどぅい [dandui]【名詞】段取り。【例】すかまうぎゃー　だんどぅいや

とぅいー　あっそぅ（仕事は段取りを取ってやりなさい）。

だんびー [dambi:]【名詞】太って大柄な人。【例】すまとぅらたー　だんびー（相撲取りは体格が大きい）。

だんま [damma]【オノマトペ】どん。【例】つくいゆ　だんまてぃー　ったつ（机をどんと叩く）。［類］どぅんま。

だんまくらす [dammakurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］騙される。【例】ばー　かぬ　ゆがががなまいん　ずみく　だんまくらはいーにゃーん（私はあの馬鹿野郎にきれいに騙されてしまった）。

だんまみつ [dammamitsɨ]【動詞】［k 語幹］どたんという音を出す。【例】かでぃ　ふつんな　やどぅぬどぅ　だんまみきー　なりゅーたい（台風には戸がどたんどたんと鳴っていた）。［変異］だんまみふ。

だんまみふ [dammamifu]【動詞】［k 語幹］どたんという音を出す。［変異］だんまみつ。

ち

ちーぬん [tɕi:nun]【名詞】お尻の穴；お尻。［類］ちびるん、ちびぬん、ちーるん、てぃびるん、てぃびぬん、てぃーるん、てぃーぬん。

ちーるん [tɕi:run]【名詞】お尻の穴；お尻。［類］ちびるん、ちびぬん、ちーぬん、てぃびるん、てぃびぬん、てぃーるん、てぃーぬん。

ちかみ [tɕikami]【名詞】［C］近眼。

ちから [tɕikara]【形容詞】［B］力が強い。【例】まくがんな　ちからかいば　かつみらいん（ヤシガニは力が強いのでつかまえられない）。

ちびぬん [tɕibinun]【名詞】お尻の穴；お尻。［類］ちびるん、ちーるん、ちーぬん、てぃびるん、てぃびぬん、てぃーるん、てぃーぬん。

ちびるん [tɕibirun]【名詞】お尻の穴；お尻。［類］ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、てぃびるん、てぃびぬん、てぃーるん、てぃーぬん。

ちゃ [tɕa]【終助詞】名詞、動詞の終止の形について伝聞を表す、って、そうだ。【例】いつむっさ　ちゅーかいむぬぬ　ぬくいてぃぬ　むぬーあらんちゃ（生き物は強いものが残るとは限らないそうだ）。かまぬ　んまがー　だいがくんかいどぅ　ごーがくひーゆーちゃ（あそこの孫は大学に合格したんだって）。んきゃーんどぅ　くまぬ　すまんな　やぐみ　あぱらぎ　みどぅんぬ　うたいちゃ（昔ここの村にはとても美しい女の人がすんでいたそうです）。からー　すかまー　なまりどぅ　すまん　むどぅりー　っちゅーちゃ（彼は仕事をやめて村に帰ってきたそうだ）。かまぬ　んまがー　うむくとぅあいちゃ（あそこの孫は賢いんだって）。A：あちゃー　かでぃふつちゃ B：あいえてぃがー　あちゃー　いきまー　いかいん（明日は台風だってさ。そうだったら明日は池間はいけない）。みがー　だいがくせいちゃ（ミガは大学生だって）。［類］てぃんどー。

ちゃー [tɕa:]【副詞】いつも、しょっちゅう。【例】かりゃー　いつまいちゃー　ほぅりむぬゆん（彼はいつもいつも馬鹿な事を言う）。まさいや　ち

ゃー　すかまんかい　うくりー　ふー（マサイはしょっちゅう仕事に遅れてくる）。

ちゃーい [tɕa:i]【動詞】[r/rr 語幹][C] ぶつかる、衝突する。【例】くるまぬ　ちゃーい（車がぶつかる）。おーとばいぬ　ばすんかい　ちゃーりーにゃーん（オートバイがバスに衝突した）。くるまー　ちゃーらひー　やっづゃひーにゃーん（車をぶつけて壊してしまった）。

ちゃーす [tɕa:sɨ]【形容詞】[B] 簡単だ、容易だ。【例】うい　あっさ　ちゃーすむぬがま（それをやることは簡単なことだ）。

ちゃーっづぃ [tɕa:vvi]【形容詞】行動に落ち着きのない。【例】ちゃーっづぃ　っざ（行動に落ち着きのないお父さん「＞浮気者]）。

ちゃーふきゃ [tɕa:fukja]【名詞】慌て者。［類］かかみきゃ、とぅとぅっふゃ、とぅっふゃ。

ちゃう [tɕau]【名詞】[C]《祭礼》新しく生まれた子供の名前を記録する神様の帳面。【例】っふぁぬ　んまいてぃがー　ちゃうんかい　あぎー（子供が生まれたら（神様の）帳面に上げる）。［類］うちゃう。

ちゃうき [tɕauki]【名詞】[C] お茶うけ。【例】ちゃーぬ　ちゃうきゃー　きゅーまい　んそぅがま（お茶のお茶請けは今日も味噌だ）。

ちゃうぬぬす [tɕaununusɨ]【名詞】《祭礼》御帳の主、新しく生まれた子供の名前を報告する神様の名前。

ちゃばん [tɕaban]【名詞】[C] 湯呑。【例】んなまから　ばが　ほぅちゃばんじゃきゅー　まーはっじゃ　んまいてぃ　みゃりー　ふぃーさまてぃ（いまからおとーりの湯飲みのお酒を回しますので、うまいといって召し上がってください）。

ちゃら [tɕara] ①【オノマトペ】割れる音、バリ。【例】こっぷー　ちゃらてぃー　ばりーにゃーん（コップはバリと音を立てて割れた）。②【オノマトペ】よく似ている様子。【例】っざ　っふぁー　かーぎゃー　ちゃらてぃー　ばりーどぅー（父子の顔かたちはそっくりだ）。

ちゃん [tɕan]【名詞】[C]（時間を表す名詞＋の、動詞基本形について）～うちに、間に、隙に。【例】あちゃぬ　ちゃん（明日中に）。んなまぬ　ちゃん（今のうちに）。ゆなかぬ　ちゃん　ぬそぅどぅん　はいらい　にゃーん（夜中の間に泥棒に入られた）。あたばかーいぬ　ちゃん　みどぅんな　ひんぎーはりーにゃーん（ちょっとの間に妻は逃げて行った）。にっづゅーちゃんやぐみあみぬっふゅーたい（寝ている間に、大雨が降っていた）。

ちゃんくら [tɕaŋkura]【名詞】小さいもの、小さい人。【例】ちゃんくら

がま（小さいもの）。［類］ちゃんくる。

ちゃんくる [tɕaŋkuru]【名詞】小さいもの、小さい人。［類］ちゃんくら。

ちゅー [tɕu:]【動詞】［vv 語幹幹］［C］（渡すために）投げる、（すてるために）放る［語幹は tiv であり、基本形は「ちゅー」になる。［否定形［＋あん］］てぃっづぁん、［ている形［＋うい］］　てぃっづぃーうい、てぃっづゅー、［過去形［＋たい］］　ちゅーたい。【例】あいぬ　とぅくまん　いっそぅぎゃー　ちゅーな（こんなところで石を投げてはいけない）。いっそぅ　あんち　ちゅーてぃがー　だみ（石をそんなに放ったらいけない）。むぬー　ちゅーとぅきゃんな　ひとぅー　みーから　てぃっづぃ（ものを投げるときはまわりに人がいるかどうかを確認してから投げろ）。うまんかい　うぶん゜なう　てぃっづぃ（そこに錨綱を投げろ）。うまんかい　ひらう　てぃっづぃ（こっちにへらを放れ）。うにゃー　ふぁーいんば　いんかい　てぃっづぃすてぃる（ウニは食べられないから海に放ってしまえ）。いっそぅ　うまんかい　てぃっづぁっじゃ　かまんかい　ゆっでぃ（石をそっちに投げるからあっちに寄れ）。でぃんぬぎゃー　てぃっづぁだうり（お金を投げちゃいけません）。［類］てぃっづぃ。

ちゅー [tɕu:]【名詞】［C］露、朝露。【例】ちゅーぬ　うりーゆー（朝露が降りている）。

ちゅー [tɕu:]【形容詞】［B］強い。【例】ちゅー　びとぅ（力の強い人）。ちゅーくん　ひき（強く引け）。まくがんな　ちゅーかいば　とぅらいぎっふぁにゃーん（ヤシガニは力が強いのでつかまえられそうにない）。

ちゅーい [tɕu:i]【動詞】［r/rr 語幹］［C］強くなる、成長する。【例】やらびゃー　ちゅーりどぅ　あいきゅー（子供は強くなって歩ける）。やらびゃー　ちゅーりーどぅーい（子供は成長している）。

ちゅーか [tɕu:ka]【名詞】［C］急須。【例】ちゅーかぬ　ちゃーゆ　ぬん（急須のお茶を飲む）。

ちゅーぎ [tɕu:gi]【形容詞】［B］強そうな。【例】かりゃー　じゃうからたなうがから　ちゅーぎ　びとぅ（彼は立派な体格で何となく強そうな人だ）。ちゅーぎ　ふい（力が強そうな振り）。

ちゅーく [tɕu:ku]【副詞】強く。【例】ちゅーく　たやう　いりー　ん゜なうぎゃー　ひき（強く力を入れて綱を引け）。

ちゅーずむびとぅ [tɕu:zɨmubitu]【成句】心の強い人。

ちゅーばー [tɕu:ba:]【名詞】自分の考えを曲げない人、有能な人、やり手（「がーじゅー」とは違い、良い意味にも使う）。【例】からー　やぐみ　ちゅーばーやひー　うむくとぅ　あいびとぅ

（彼はとても考えがしっかりして賢い人だ）。ちゅうばー　かないびとぅ（有能でよく働く人）。

ちゅーばん [tɕu:ban]【名詞】〖魚〗中型のカツオ。

ちゅきゃー [tɕukja:]【副詞】すでに、すぐに、あっという間に。【例】うりゃー　ちゅきゃー　いでぃー　はりーにゃーん（彼はすでに出ていった）。かいが　やーや　ちゅきゃー　とぅみらいどぅ　うたい（彼の家はすぐに探せた）。うらー　ちゅきゃーぬ　はなす（それはあっという間の話だ）。やらびゃー　ちゅきゃーん　ほぅどぅいどぅす（子供はあっと言う間に大きくなる）。かりゃー　ちゅきゃーん　みーだんぎーにゃーん（あいつはあっという間にいなくなった）。

ちゅっふ [tɕuffu]【動詞】[f 語幹] [C]（ものを）作る；（作物を）栽培する。【例】んきゃーんな　あーひどぅ　んっちゅぎゃー　ちゅっふゅーたい（昔は粟で神酒を作っていた）。さんしんぬ　ちゅっふ（三線を作る）。はいん　そぅーゆ　ちゅっふ（畑で野菜を作る）。[変異] ちゅふー。[類] ちゅふー。

ちゅっふい [tɕuffui]【動詞】[母音語幹] 野菜の泥や毛根を取ってきれいにする；布や網を繕う、。【例】{そぅーゆ／んーぬ／だきゃうゆ} ちゅっふいる（野菜／芋／ラッキョウの泥、毛根をきれいに取りなさい）。あんぬ　ちゅっふいる（網を繕え）。

ちゅっふぃかい [tɕuffikai]【名詞】造り替え。【例】やーぬ　ちゅっふぃかい（家の改造）。

ちゅふー [tɕufu:]【動詞】[f 語幹] [C]（ものを）作る；（作物を）栽培する。[変異] ちゅっふ。[類] ちゅっふぃ。

ちゅんくら [tɕuŋkura]【名詞】〖鳥〗雲雀（ヒバリ）。【例】ちゅんくらがまー　ちゅんくら　ちゅんくらてぃー　なつ（ひばりはチュンクラ　チュンクラと鳴く）。[類] ちゅんちゅん。

ちゅんちゅん [tɕuntɕun]【名詞】〖鳥〗雲雀（ヒバリ）。【例】ちゅんちゅんがまぬ　ちゅんちゅんてぃー　なつ（雲雀がチュンチュンと鳴く）。[類] ちゅんくら。

ちゅんな [tɕunna]【副詞】～さえも、も。[類] ちゅんま。

ちゅんま [tɕumma]【副詞】～さえも、も。【例】ういびとぅ　なりー　んまがんみぬ　なーや　ちゅんま　うぶいらいん（年取って孫たちの名前さえも覚えられない）。うまぬ　いんな　っぞぅまい　たくまい　なうちゅんま　みーん（ここの海には魚もタコも全然いない）。[類] ちゅんな。

ちょーず [tɕo:zi]【名詞】[C] 手水、手を洗うこと、簡便な手洗い器。【例】

がっこうの　しーしーたー　ちょーずひー　てぃーゆあらう（学校の先生達は簡便な手洗い器で手を洗う）。

ちょろ [tɕoro]【副詞】簡単に。【例】うりゅーぎゃー　ちょろ　あすどぅす（これは簡単にできる）。

ちりぐい [tɕirigui]【名詞】甲高く響きのある声。

ちる [tɕiru]【名詞】[C]（三線の）弦。

ちるだい [tɕirudai]【名詞】三線の弦が緩んでいる；疲れ気味、体がだるい。【例】きゅーや　ちるだいや　ひーどぅ（今日は疲れ気味だ）。

ちるだみ [tɕirudami]【名詞】（三線の）調弦。【例】さんしんぬ　ちるだみ　あす（三線の調弦をする）。さんしんぬ　ちるだみゃー　むずかすむぬ（三線の調弦は難しい）。[類]ちんだみ。

ちんくるがた [tɕiŋkurugata]【名詞】〖昆〗精霊バッタ、キリギリス。

ちんだみ [tɕindami]【名詞】（三線の）調弦。　[類]ちるだみ。

つ

つー [tsiː]【動詞】［b 語幹］［A］交尾する。 【例】いんぬどぅ　つーびゅー（犬が交尾している）。［類］つーび。

つー [tsiː]【動詞】［c/cc 語幹］［A］釣る。 【例】うつみっちゅ　つー（まるひらあじを釣る）。っぞぅ　つー　が（魚釣りに（行こう））。んˀぬ　つーたい　っぞぅ（昨日釣った魚）。

つー [tsiː]【動詞】［c/cc 語幹］［A］着る。 【例】つんぬ　っち（着物を着れ）。きつぎつんな　っちぃー　っさらんかい　いつ（きれいに着飾って平良に行く）。きつぎつんぬ　っちゅーい　みどぅん（きれいな着物を着た女性）。

つー [tsiː]【動詞】［vv 語幹幹］［A］（目を）つぶる。【例】みーゆ　つーてぃがー　なうまい　みーらいん（目をつぶるとなにも見えない）。［類］つっづぃ。

つー [tsiː]【動詞】［vv 語幹幹］［A］癲癇の発作を起こす。 【例】つっづぃすにーにゃーん（癲癇などの病気で死ぬ）。つっづぃー　ぶらかいりーにゃーん（癲癇で気を失ってひっくり返った）。つっづぃやん（癲癇）。［類］つっづぃ。

つー [tsiː]【名詞】［B］乳；乳房。【例】つー　ふぃー（母乳を飲ませる）。つーや　にゃーん（母乳はでない）。つーふぁい　っづぁ（乳飲み子）。やらびゃー　つーゆ　ぬん（子供は乳を飲む）。てぃびぬ　つーふぁや（末っ子。子豚達の中で一番後ろの乳を飲む一番小さい子豚）。ほぅずー（巨乳）。

つー [tsiː]【名詞】［B］血、血の気［体外に出たものは「あかつ」というのが普通］。【例】かいが　みはなんな　つーや　にゃーん（彼の顔には血の気がない）。かりゃー　つーや　ひきーどぅー。つーんつ（血管）。

つー [tsiː]【名詞】［B］釣り針。 【例】っぞぅぬ　つーゆ　っふぃーゆー（魚が釣り針を食っている）。つーんかいびじゅー　つきー（釣り針に餌をつける）。っぞぅ　つー　つー（魚を釣る釣針）。

つー [tsiː]【名詞】［B］気、気力、気持ち。 【例】つー　あい　びとぅ（元気な人）。つーや　にゃーんんまり（元気がない人）。つーゆ　いだし（元気を出せ）。

つー [tsiː]【形容詞】[B] よく切れる、切れ味の良い。【例】つー　がたな（よく切れる刀）。つー　っざら（切れ味の良い鎌）。くぬ　かたなー　つーむぬ（この包丁はよく切れる）。

つー [tsiː]【補助動詞】[c/cc 語幹]（動詞連用形について）徹底してやる。【例】からー　うむくとぅ　にゃーんば　あいっちー　ならーし（あいつは頭が悪いから、強く言って教えろ）。ふぁいっちーにゃーん（洗いざらいみんな食べた）。むぬーぎゃー　まーぬ　ふぁいっちゃだうり（食べ物をそんなに食べるな）。まさいや　さきゅー　ぬんっちーにゃーん（マサイは酒を全部飲み干した）。まさいや　さきゅー　ぬんっつたい（マサイは酒を全部飲み干した）。

つーき [tsiːki]【名詞】[C] 雨季。【例】んめ　つーき　なりーどぅー（もう雨期になっている）。つーきゃーひどぅ　うんそぅく　あみぬ　っふゅー（雨季で雨が良く降っている）。

つーきゃ [tsiːkja]【名詞】[C]（皮膚病ではなく）小さく突起している皮膚。【例】みんどぅ　つーきゃがまぬ　あい（耳に小さなこぶがある）。

つーず [tsiːzɨ]【名詞】[B]（魚の）刺、（草木の）とげ。【例】あいっぞぅぬ　つーずんな　ささいな（アイゴの刺には刺されるな）。あだんぎーぬ　つーず（アダンの木の刺）。

つーだり [tsiːdari]【形容詞】元気がない、やる気がでない。【例】つーだりんまり（元気のない奴）。きゅーや　あみゃー　っふぃー　なうががら　つーだりかいば　ならん（今日は雨が降ってなんとなく元気がでない）。

つーつ [tsiːtsɨ]【動詞】[k 語幹] [C]（魚を）鰓（えら）から口にススキで通す。［変異］つーふ。[類] つーっつ。

つーっつ [tsiːttsɨ]【動詞】[k 語幹]（魚を）鰓（えら）から口にススキで通す。【例】っぞぅー　ぎすつひー　つーっき（魚をススキで鰓から口に通せ）。[変異] つーっふ。[類] つーつ。

つーっふ [tsiːffu]【動詞】[k 語幹]（魚を）鰓（えら）から口にススキで通す。［変異］つーっつ。[類] つーつ。

つーにゃ [tsiːnja]【名詞】[C] 乳の出ない女性。【例】つーにゃんまぬっふぁー　いつまい　やーっさがーき（乳の出ない母親の子供はいつもひもじい思いをしている）。

つーぬ　つぶんがま [tsiːnu tsɨbuŋgama]【名詞】乳首。［類］つーぬ　ふつ。

つーぬ　ふつ [tsiːnu futsɨ]【名詞】乳首。［類］つーぬ　つぶんがま。

つーばー [tsiːbaː]【名詞】上前歯の後ろの一対の歯、牙、犬歯。

つーび [tsiːbi]【動詞】[母音語幹] [C] 交尾する。［類］つー。

つーふ [tsi:fu]【動詞】[k 語幹][C]（魚を）鰓（えら）から口にススキで通す。［変異］つーつ。［類］つーっつ。

つーふつ [tsi:futsi]【名詞】切り口。

っづぁ [vva]【代名詞】［A］あなた、お前。【例】っづぁー　んじゃぬ　っふぁ（お前はどこの子供だ）。っづぁが　とぅい（お前が取れ）。っづぁう　とぅずあす　ぶすむぬ（お前をめとりたい）。っづぁんかい　くるー　ふぃーでぃ（お前にこれをやろう）。

っづぁーす [vva:si]【形容詞】細い（糸）；細い（人）。【例】っづぁーすいとぅがま（細い糸）。っづぁーす　ひとぅがま（痩せて細身の人）。

っづぁどぅ [vvadu]【代名詞】［C］っづぁ（お前）の複数形、お前たち。［変異］っづぁる。

っづぁる [vvaru]【代名詞】［C］っづぁ（お前）の複数形、お前たち。［変異］っづぁどぅ。

っづぁん [vvan]【動詞】[vv 語幹幹][A]「うー（売る）」の否定形。

っづぃ [vvi]【動詞】[vv 語幹幹][A]「うー（売る）」の連用形。

っづゅー [vvju:]【動詞】[A]売っている［(売る）の連用形「っづぃ（売って)」＋「ういる)」＝「っづぃーうい（売っている)」の変異形］。

っづゅー [vvju:]【動詞】[vv 語幹幹][A]（酸っぱさが歯に）しみる。【例】そぅー　ふにゅーや　ふぁいどぅ　はーや　っづぃっづゅー（酸っぱいミカンを食べて歯が沁みている)。［類］っづぃっづぃ。

つが [tsiga]【名詞】[C]上面と底面は正方形の形で穀物の量を量る枡、木製の度量衡器の 1 つ、5 合・1 升がある。【例】いっしょ　つが（1 升枡)。まみゅー　つがひー　はかい（豆を枡ではかる)。

つかい [tsikai]【動詞】[母音語幹][A]聞こえる、聞ける、理解できる；信用できる。【例】いんぬ　なつぐいぬ　つかい（犬の鳴き声が聞こえる)。からー　ほぅむぬゆみゃ　やいば　とぅーぬなか　ひてぃっちゃとぅんま　つかいん（彼は大ぼら吹きだから 10 の中 1 つも信用できない)。くぬいぬ　ばかむぬんみゃー　むぬいや　つかいそぅが　むぬっじゃいん（最近の若者たちは方言は聞けるが話せない)。うらー　ひとぅんな　つかいん　むぬい（それは人には信用されない話だ)。

つかい [tsikai]【名詞】[A]使うこと、使い。【例】やらび　つかいや　どぅー　つかい（子供使いは自分使い［＞知恵の足りないものを使うと自分の身に降りかかってくる］)。

つがい [tsigai] ①【動詞】[母音語幹][A]着替える。【例】つがいゆ　むち

ゅーてぃがー　つがいる（着替えを持っていたら着替えろ）。②【名詞】［A］着替え。

つかいでぃ [tsɨkaidi]【名詞】使い勝手。　【例】あいぬ　いみむぬがまー　つかいでぃーや　にゃーん（こんな小さいものは使い勝手が悪い）。

つかいはー [tsɨkaiha:]【名詞】使途、用途、使い道。【例】うらー　なうぬ　つかいはーまい　にゃーん（それは何の使い道もない）。つかいはーや　っさいん　でぃん（使途の分からない金）。

つかう [tsɨkau]【動詞】［w 語幹］［A］使う。【例】でぃんぬ　つかう（お金を使う）。ひとぅー　つかう（人を使う）。くぬ　すかまんかいや　まーぬ　じかんぬぎゃー　つかうな（この仕事にはあまり時間を使うな）。くらー　かなまいゆ　つかう　すかまー　あらん（これは頭を使う仕事ではない）。

つがき [tsɨgaki]【名詞】［B］（ミカン、アダンの実の中の）小袋、またその実。【例】あだんぬ　つがきゃー　まーぬ　あずまっふぁにゃーん（アダンの実はあんまり甘くない）。

つかさやー [tsɨkasaja:]【名詞】漲水神社。

つかす [tsɨkasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］聞かせる。　【例】はなっそぅ　つかす（話を聞かせる）。きゅーや　うむっそぅ　はなっさ　つかひーふぃーさまいー　やぐみ　すでぃがほー（今日は面白い話を聞かせていただいて大変ありがとうございます）。

つかなう [tsɨkanau]【動詞】［w 語幹］（家畜、動物を）飼う、育てる、（妻子を）養う、年寄の世話をする。【例】いつむすがまう　つかなう（家畜を飼う）。ういびとぅー　つかなう（年寄りの面倒を見る）。っふぁう　つかなう（子供を養育する）。うなが　はだんな　わいてぃー　かないー　とぅず　っふぁうぎゃー　つかなーだかーならん（自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない）。［類］みばかい。

つかん [tsɨkan]①【動詞】［m 語幹］［C］つかむ。　【例】っぞぅー　てぃーひー　つかみ（魚を手で掴め）。②【名詞】［C］つかむこと。【例】ほぅずかん　あす（たくさん掴み取る）。

つかんふい [tsɨkanfui]【名詞】聞かないふり。【例】かりゃー　ふつあじゃーなびとぅ　やいば　ういが　むぬいゆぎゃー　つかんふい　あっそぅ（彼は言いたい放題ものをいう人だから彼の話には耳を傾けるな）。

つき [tsɨki]【動詞】［母音語幹］［A］漬ける、塩漬けにする。　【例】んきゃーんな　きーつきひだん　きーや　つきーからどぅ　やーゆぎゃー　ふきゅーたい（昔は木つけ浜に木を浸けてから家を建てた）。そぅーゆ　つきー　つき

なう　ちゅっふ（野菜を漬けて漬菜をつくる）。かうっじゃ　ちゅっふぃーからどぅ　んそぅーぎゃー　つきー（麹を作った後に味噌を漬ける）。

つぎ [tsɨgi]【動詞】［母音語幹］［A］付ける。【例】っざらぬ　ゆるー　ぶりーにゃーんば　ういが　ゆるー　つぎる（鎌の取っ手が折れたのでその取っ手を付けろ）。

つきだき [tsɨkidaki]【名詞】マッチ。【例】つきだきぬ　にゃーだかー　むぬー　にーらいん（マッチがなければ飯は炊けない）。

つきな [tsɨkina]【名詞】［B］〖食〗塩漬けした野菜。

つぎゃーい [tsɨgja:i]【動詞】［r/rr 語幹］繋がる。【例】くまぬ　んっちゃかまぬ　んつんかどぅ　つぎゃーりゅー（ここの道は向こうの道に繋がっている）。

つぎゃーらす [tsɨgja:rasɨ]【動詞】［s/h 語幹］つなげる。【例】くまぬ　んつとぅ　かまぬ　んっちゅ　つぎゃーらし（ここの道と向こうの道を繋がらせろ）。

つきゃがい [tsɨkjagai]【動詞】［r/rr 語幹］思い上がる、つけあがる。【例】まーぬ　つきゃがいな（あまり思い上がるな）。

つきゃがい [tsɨkjagai]【動詞】［r/rr 語幹］（感情が）こみあげる。【例】かりゃー　むいとぅどぅ　つきゃぎゃりゅー（彼はとても押えきれない感情がこみあげている）。

つきゃふ [tsɨkjafu]【名詞】［A］海猫；不美人（女性を貶したりする時に使う）。【例】つきゃふがまぬどぅ　すでぃーゆー（海猫の雛が卵から生まれている）。

つぐい [tsɨgui]【名詞】［C］瓢箪（ひょうたん）。【例】つぐいぬどぅ　なりゅー（ひょうたんが　なっている）。きつぎ　つぐいがま（形の綺麗な瓢箪）。

つくつ [tsɨkutsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］重ねる。【例】ふゆんな　やりずんぬ　つくきー　かうー（冬には古い着物を重ねて被る）。［変異］つくふ。

っくつぎー [kkutsɨgi:]【名詞】〖植〗福木。【例】っくつぎーや　やーぬかつんどぅ　ない（福木は家の垣になる）。

っくぬか [kkunuka]【名詞】〖数詞〗九日。

っくぬつ [kkunutsɨ]【名詞】〖数詞〗九つ。

っくぬぬひとぅ [kkununuhitu]【名詞】〖数詞〗九人。

つくふ [tsɨkufu]【動詞】［k 語幹］［A］重ねる。［変異］つくつ。

っさ [ssa]【名詞】［B］噂、悪口。【例】ひとぅぬ　っさ　あっさ　どぅーぬっさ　あす（人の悪口を言う事は自分

の悪口を言うようなもの［＞全て自分に返ってくる］)。ひとぅぬ　っさ（人の噂)。かりゃー　ひとぅっじゃぬ　すー　やいば　いつまい　ひとぬ　っさう　ゆみーまーい（彼女は人の噂の発信源だからいつも人の噂を言いふらす)。［類］ふさ（fsa)。

っさ [ssa]【名詞］[B］草。【例】ぬーまぬ　っさかいや　やらびんみぬ　すかま（馬の草刈りは子供達の仕事)。ぬーまー　っさう　ふぁう（馬は草を食べる)。みなかぬ　っさう　ひつ（庭の草を引く)。

っさ [ssa]【名詞］[B］足のくるぶしより下の部分、足の甲、足首。【例】っさう　きー（蹲く)。っさー　んﾟまん（足が地につかない)。［類］っさびじゃ。

っさ [ssa]【名詞］[B］低い。【例】っさびとぅがま（身長の低い人)。

っさ [ssa]【名詞］[B］痺れ。【例】くぬ　てぃーぬ　っさー　とぅらいん（この手のしびれは取れない)。

っさ [ssa]【形容詞］[B］臭い。【例】あがいー　っづぁが　ぴーや　あてぃくとぅ　っさかいば　んびゃーいん（あれ、お前の屁はあんまり臭くて我慢できん)。なうばいぬ　っさ　びーが（なんて臭いおならなんだ)。

っざ [zza]【名詞］[C］父親、お父さん。【例】っざー　いつまい　わいてぃー　すかまう　かないーゆー（お父さんはいつも一生懸命働いている)。っざ、はやまり　くー（お父さん早く来て)。

っさ　んﾟん [ssa n̥n]【成句】［m 語幹］神経が麻痺して痺れる、足が痺れる。【例】あがい　はずぬどぅ　っさー　んﾟみー　あいかいん（あーもー足が痺れて歩けない)。ばー　てぃーまい　はずまい　っさー　んﾟみーどぅー（私は手も足も痺れている)。

っさい [ssai]【動詞］[r/rr 語幹］[C］熱い物に触れる。【例】あつむぬんかいや　っさいな（熱いものには触るな)。んーぬ　すーや　すたまっじゃいきー　っさりーにゃーん（芋の煮汁をこぼそうとしてそれに触れてしまった)。うまつん　っさらはいにゃーん（火に触れてしまった［＜触らされてしまった］)。うまつん　っさりーにゃーん（火に触れてしまった)。

っさい [ssai]【動詞］[r/rr 語幹］[C］腐る、腐った。【例】っさりー　ふぁーいん（腐って食べられない)。っさいむぬ（腐った物)。

っさい [ssai]【動詞］[r/rr 語幹］[C］「言う、伝える」の謙譲語。【例】かまの　ういびとぅんかいどぅ　とぅっじゃ　とぅみたいてぃー　っさりったい（あそこの長老に結婚したとお伝えしてきた)。［変異］ふさい。［類］っさい（母音語幹)。

っさい [ssai]【名詞］[B］白蟻。【例】ばんてぃが　やーや　っさいん　たく

まいーにゃーん（私たちの家はシロアリにやられてしまった）。

っさい [ssai]【名詞】［A］〖鳥〗メジロ。

っさい [ssai]【動詞】[r/rr 語幹]［C］発情する。 【例】わーぬどぅ　っさりゅー（豚が発情している）。いつむすまい　にんぎんまい　っさいてぃがー　なうちゅんま　ぎっじゃ　ひらいん（動物も人間も発情するとどうしようもない）。

っさい [ssai]【動詞】［母音語幹］［A］「言う、伝える」の謙譲語。 ［類］っさい（r/rr 語幹）。

っさうちゃ [ssautɕa]【名詞】〖貝〗高瀬貝に似た貝、身は軟らかい。

っさうつ [ssautsɨ]【名詞】口の形容、唇があまりでてない、のっぺりした口をしていること。 【例】からー　っさうつびとぅ（彼は口が平たい）。

っざがー [zzaga:]【名詞】〖地名〗西原の裏手にある大きな洞窟、この洞窟の中には川が流れていて、ンスヌカーに通じていると言われている。

っさかい [ssakai]【名詞】草刈り。

っさかい [ssakai]【動詞】[r/rr 語幹]混み合う。 ［変異］すかかい。

っさがい [ssagai]【動詞】[r/rr 語幹]（道を）ふさぐ、（人を）とうせんぼする、（目を）つぶる。 【例】んっちゅ　っさがいな（道をふさぐな）。みーゆぎゃー　っさがらだうり（目を閉じるな）。

っさがい [ssagai]【動詞】[r/rr 語幹]（木などに）ぶら下がる。 【例】きーん　っさがい（木からぶら下がる）。くぬやらびゃー　んまが　すかまんかいいかっでぃ　あすきゃー　なきー　っさがい（この子はお母さんが仕事に行こうとすると泣いて（お母さんの腕に）ぶら下がる）。

っさかう [ssakau]【動詞】鳥肌が立つ様な変な気持ちになる、不気味な変な気持ちになる、（怖くて）足が竦（すく）む。 【例】かまー　うとぅるす　っさかう　とぅくま（向こうは怖くて鳥肌が立つようなところ）。んきゃーん　ばかぬ　まいゆ　あいつてぃがー　っさかうむぬ（昔の墓の前を歩くと足が竦む）。

っさかす [ssakasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（怒って皿などを）滅茶苦茶に割る。 【例】さらう　っさかす（皿を滅茶苦茶に割る）。

っさからす [ssakarasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（怒って皿などを）滅茶苦茶に割る。 【例】さらう　っさからす（皿を滅茶苦茶に割る）。

っさがりや　むちゃい　むちゃい [ssagarija mutɕai mutɕai]【成句】ぶら下がったり抱かれたりするこ

と。【例】くぬやらびゃー　いつまい　っさがりや　むちゃい　むちゃいどー（この子はいつも、駄々をこねて抱っこ抱っこ言うんだよ）。

っさかん [ssakan]【名詞】〖生物〗バタラに似た小さなカニ。

っさき [ssaki]【動詞】［母音語幹］［C］割れる。【例】あかばたういや　っさきーにゃーん（スイカは割れてしまった）。

っさぎ [ssagi]【名詞】［C］白髪。【例】ういびとぅ　なりどぅ　っさぎ　がなまいん　なりゅー（年取って白髪頭になっている）。

っざく [zzaku]【名詞】［B］櫂（かい）。【例】っざくひー　ふにゅー　くず（櫂で舟を漕ぐ）。

っさぐい [ssagui]【名詞】濁（だみ）声。【例】かいが　っさぐいや　つつずみ（彼の濁声は聞きやすい）。

っざくぎー [zzakugi:]【名詞】〖植〗櫂を作る木　［＞チーク、チーク材］。【例】んきゃーんな　っざくぎー　ひどぅ　っざくーぎゃー　ちゅふゅーたい（昔はチーク材で櫂は作っていた）。

っさす [ssasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］知らせる、教える。【例】かいが　くとぅー　ばぬんかいまい　っさし（（彼がどんな人か、彼がいまどうしてるのか）私にも教えてくれ）。かいんな　っさはだうり（彼には知らせるな）。かいが　がんじゅーや　ひーゆーむ　なうむ　っさし（彼が元気でいるのかどうか教えてくれ）。かいんかい　っさすたい（彼に知らせた）。

っさずみゃがま [ssazɨmjagama]【名詞】〖昆〗草ゼミ［季節の最初に現れるセミで小型］）。

っさだ　ういきゃ [ssada uikja]【成句】いつの間にか、しらないうちに。【例】やらびゃー　っさだ　ういきゃ　ほぅいふ　なりーどぅー（子供はいつの間にか大きくなっている）。

っさたら [ssatara]【形容詞】平べったい。【例】っさたら　かなまい（頭の後ろが平べったい人）。っさたら　うっそぅ（後頭部が平べったい人）。っさたら　どぅくま（平べったい所）。

っさたらす [ssatarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］平たくする。【例】うまう　っさたらし（そこを平たくしろ）。

っさつ [ssatsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］割く、裂く。【例】たきゅー　っさつ（竹を割る）。［変異］っさふ。

っさでぃ [ssadi]【名詞】［C］芋のひげ根。［類］っさでぃら、つさに。

っさでぃら [ssadira]【名詞】芋のひげ根。【例】かいが　まいんな　でぃんな　っさでぃん　なりー　んちゅーんだら（彼のところはお金が芋のひげ

根のようにたくさんあるだろう)。っさでぃらんーな　っさに（ひげ根芋は芋のひげ根)。[類]っさでぃ、つさに。

っさに [ssani]【名詞】[B]（小さい芋などが付いた、主根になりかけている）根。【例】んーぬ　っさにゅー　とぅい（芋のひげ根を取る)。[変異]ふさに。[類]っさでぃら、さでぃ。

っさぱず [ssapazɨ]【名詞】裸足（はだし)。【例】なうや　ん゜まん　っさぱずひー　やまんかい　はいりー　いつたい（何も履かない裸足で山に入っていった)。

っさばな [ssabana]【名詞】低い鼻。【例】っさばな　やらび（低い鼻の子供)。

っさぱや [ssapaja]【名詞】白癬。

っさび [ssabi]【名詞】[C]楔（くさび)。【例】っさびゅー　っふぁし（楔を噛ませろ)。っさびゅー　かまし（楔を噛ませろ)。

っさび [ssabi]【名詞】[C]しゃっくり。【例】っさびぬどぅ　ひとぅむてぃから　なまらだ　いじゅーい（しゃっくりが朝から止まらず出る)。っさびぬどぅ　なまらはいん（しゃっくりが止められない)。

っさび [ssabi]【動詞】[母音語幹][C]（土地の）草、塵などをとって綺麗にする、（土地を）整備する；苧麻木の葉を取る、脱穀する。【例】やーゆ　っさび（家を整備する)。

っさびじゃ [ssabiʑa]【名詞】足首から下の部分、足の甲。【例】っうぁが　っさびじゃー　やそぅる　っさびじゃ（お前の足は一反足のデカ足)。たーん゜ん　がばー　っさびじゃ（田を踏む大足)。[類]っさ。

っさびつ [ssabitsɨ]【動詞】[k 語幹]引きずる。【例】うるー　っさびきー　かまんかい　ゆっじゃし（これを引きずって、向こうに寄せろ)。[変異]っさびふ。

っさひつにん [ssahitsɨnin]【名詞】「ひつにん」の強調形。[類]ひつにん。

っさびふ [ssabifu]【動詞】[k 語幹]引きずる。[変異]っさびつ。

っさふ [ssafu]【動詞】[k 語幹][A]割く、裂く。[変異]っさつ。

っさぶき [ssabuki]【名詞】フケ。【例】っさぶきゅー　かつ（フケを掻く)。

っさやん [ssajan]【名詞】フィラリア虫による象皮病。【例】んきゃーんな　っさやん　ひとぅぬどぅ　うたいそぅが　んなまー　みーん（昔は象皮病の人がいたが今はいない)。っさやんなひー　ほぅーりゅーたい（象皮病の発作で震えていた)。

っさら [ssara]【名詞】[A]〖地名〗平良。【例】んきゃーんな　っさらたーひー　あいきー　いちじかんばかーい

かかいたい（昔は平良まであるいて１時間ぐらいかかった）。

っざら [zzara]【名詞】［C］〖道具〗鎌。【例】つー　っざら（切れ味の良い鎌）。たうんまばすぬ　すーゆ　っざらひー　ったきー　みーてぃがー　んまばっさ　うぐっりー　にゃーん（スズメバチの巣を鎌で叩いてみたら蜂は攻撃態勢に入った）。

っさらす [ssarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］熱い物で火傷する。【例】はっじゃあつみずん　っさらはいにゃーん（足を熱い水でやけどした）。あつなびん　っさらはい　にゃーん（暑い鍋に当たってやけどした［＜さらされて］）。

っさり [ssari]【動詞】［母音語幹］［C］腐る。【例】うぬ　っぞー　っさりー　ふさかいば　ならん（その魚は腐っていて臭くてならない）。っさり　っぞぅー　さすどぅす（腐れた魚を食べると唇が痛くなる）。［類］ふさり、っさい。

っさり [ssari]【動詞】［母音語幹］［C］発情する。【例】ぬーまー　っさりー　どぅー（馬は発情している）。ばんてぃが　わーや　っさりゃー　ひどぅ　わーぬ　っしから　ひんぎー　まーりゅー（うちのブタは発情して豚小屋から逃げ回っている）。［類］っさい。

っさり [ssari]【接尾辞】様、敬意を表す接辞。【例】っざ　っさり（お父様）。んま　っさり（お母様）。やびとぅーんーなっさり（皆様）。

っさん [ssan]【名詞】［C］シラミ。【例】っさんぬ　とぅぬかー　あかぬにーんどぅ　あい（シラミの卵は髪の毛の根っこにある）。かなまいん　っさんぬ　うりー　かうかいば　ならん（頭にシラミがいて痒くてならない）。っさんぬ　とぅぬかうぎゃー　ぎっさてぃどぅ　あい（シラミの卵のことをギッサと言う）。

っさんす [ssansɨ]【名詞】旧暦１０月、１１月ころ。【例】っさんすぬ　ふたゆぐむい　（（ウタキでミャークズツの後）秋に二晩夜ごもりをすること）。

っさんすぎー [ssansɨgi:]【名詞】〖植〗チークの木、櫂を作る木。［類］っざくぎー。

っさんふい [ssanfui]【成句】しらないふり、こっそりと。【例】からー　いつまい　ばぬん　いじゃうてぃが　っさんふいゆ　ひーゆ（あいつは私にあったら、いつも知らないふりをしている）。っさんふいや　ひー　いかっさまい　ふぁう　ひとぅ（こっそりといくらでも食べる人だ）。

っさん゜んぱず [ssam̥mpazɨ]【成句】象皮病（フィラリア症）で太くなった足。【例】かじゃんー　ささいー　っさん゜んぱずん　ないちゃ（蚊に刺されて象皮病になるんだって）。

っし [ɕɕi]【名詞】［C］リーフ　［＜ひし（干瀬）　複合語では「すまずーほぅっびじ（島尻大干瀬）」のように「ひし」

が使われる]。【例】さにつんな　っしぬ　いでぃー（旧暦の 3 月 3 日にはサンゴ礁が現れる）。

っし [ɕɕi]【名詞】[C] トイレ。【例】わーぬ　っし（豚小屋［昔は豚小屋で用便をしていたから]）。

っし [ɕɕi]【形容詞】[B] 寒い。【例】っし　どぅきゃん　あつ　んっつーゆぬんてぃがー　どぅーぬどぅ　んふばーい（寒いときは暑い汁を飲んだら体が温まる）。ひーふんな　っしかいば　んびゃーいん（寒波のときは寒くてしかたがない）。っしさぐぱい（寒さで震え上がる）。っしびーふんな　いんきー　っぞぅー　っそぅー（寒波のときには海に行って魚を拾う）。

っじ [ʑʑi]【動詞】[母音語幹] [C] 受け取る、もらう［共通語の「もらう」と違い、話し手から聞き手が受けとる場合も使う。「～てもらう」のような補助動詞用法はない]。【例】かいから　っぞぅー　っじー　ふぁうたい（彼から魚をもらって食べた）。っじ　ぶすかいてぃがー　くー（貰いたければ来なさい）。べー　うるー　っじる（ほら、これを受け取りなさい［＞これあげるよ]）。うりゅー　っじる（これを受け取りなさい）。にんぎんな　っじそぅんつきゃー　ふぃーばどぅ　ふからすかい（人間は貰うよりも与える方が嬉しい）。

っしがい [ɕɕigai]【動詞】[r/rr 語幹]（大勢の人で）ごった返している。【例】うんどーかいんな　ひとぅぬ　っしがりゅーたい（運動会には多くの人でごった返していた）。

っしさ [ɕɕisa]【名詞】[C] 寒さ。【例】きゅーや　っしさぬ　ちゅーかい（今日は寒さが厳しい）。

っしさぶかい [ɕɕisabukai]【名詞】寒さで凍えること。【例】やまとぅー　あてぃくとぅ　っしかいば　っしさぶかいや　ひーうたい（内地は余りにも寒いので寒さで凍えていました）。きゅーや　とぅりひぐいや　ひー　っしさぶかい（今日は底冷えで、寒さに凍えている）。

っしさむい [ɕɕisamui]【形容詞】寒がりだ。【例】ういびとぅ　なりどぅ　っしさむいふ　なりゅー（年取って寒がりになっている）。［類］っしさむや。

っしさむや [ɕɕisamuja]【名詞】寒がりや。［類］っしさむい。

っじだま [ʑʑidama]【名詞】取り分、分け前。【例】ばが　っじだまー　くさき（私の取り分はこれだけだ）。うらー　っづぁが　っじだま（それはあなたが受け取る分だ）。［類］たま、ばきだま、とぅいまい。

っしばら [ɕɕibara]【名詞】裏手、後方、後ろ隣。【例】っしばらたが　やー（後ろ隣の家）。

っじゃ [ʑʑa]【接尾辞】～ぽい、～らしい。【例】やらびっじゃんまり（こど

もみたいなやつ)。ういびとぅっじゃーにゃーん（老人らしくない)。

っじゃー [ʐʑa:]【接尾辞】(動詞未然形について）次に続く動作の理由を表す､～するから､～しようと思うから。【例】ばんまい　いかっじゃー　っづぁまい　いきーふぃーる（私も行くのでお前も行ってくれ)。いっそぅ　うまんかい　てぃっづぁっじゃ　かまんかい　ゆっでぃ（石をそっちに投げるからあっちに寄れ)。

っじゃーきゃー [ʐʑa:kja:]【接尾辞】(動詞未然形について)～しようとしていたら。［変異］っじゃうかー､っじゃうきー､っじゃいきー､っじゃんきー､っじゃーんきー。

っじゃーにゃーん [ʐʑa:nja:n]【成句】(年寄）らしくない、分別がない。【例】かりゃー　っじゃにゃーん　ういびとぅ（彼は老人らしくない老人だ［=元気だ、分別がない])。からー　っじゃーにゃーんまり（あいつは分別がないやつだ)。

っじゃーんきー [ʐʑa:ŋki:]【接尾辞】(動詞未然形について）動作の最中に次に続く出来事があったことを表す､～しようとしていたら。［変異］っじゃうかー､っじゃうきー､っじゃーきゃー､っじゃいきー､っじゃーんきー。

っじゃいきー [ʐʑaiki:]【接尾辞】(動詞未然形について）動作の最中に次に続く出来事があったことを表す､～しようとしていたら。【例】さかなやーんかい　いかっじゃいきー　とぅずんんみかいー　いかっだん（遊郭に行こうとしたが、妻に叱られて行かなかった)。すてぃっじゃいきー　あたらかてぃー　ほぅっだん（捨てようとしたがもったいなくてやめた)。むぬー　とらっじゃいきー、とぅいはっじゃきーにゃーん（ものを取ろうとして取り損ねた)。［変異］っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきゃー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

っしゃう [ɕɕau]【接尾辞】［w 語幹］(動詞基本形について）その動作ができなかったことをあらわす､～しそこねる。【例】すかまぬ　ありーみーきゃー　うつなーんかい　いつっしゃうたい（仕事があったので沖縄に行きそこねた)。じかんな　ばっしどぅ　かいんいじゃうっしゃうたい（時間を忘れて彼に会いそこねた)。んっちゃ　あてぃ　くるまぬ　うりどぅ　ひこーきんぬーいっしゃいーにゃーん（道はとても車が多く、飛行機に乗りそこねた)。っぞぅー　とぅいっしゃいーにゃーん（魚を取りにがした)。

っじゃうかー [ʐʑauka:]【接尾辞】(動詞未然形について）動作の最中に次に続く出来事があったことを表す､～しようとしていたら。［変異］っじゃうきー､っじゃーきゃー､っじゃいきー､っじゃんきー､っじゃーんきー。

っしゃな [ɕɕana]【形容詞】[B] 汚い、不潔な、汚れた。【例】かりゃー　うーっじゅまい　ほぅん　っしゃな　んまり（彼は水浴びもしない汚い奴）。っしゃな　みず（汚れた水）。っしゃな　むぬいゆぎゃー　ほぅん（汚い言葉づかいはしない）。

っじゆ [ʑʑu]【名詞】[C] 火鉢（そこに穴の空いた鍋を使うことも多かった）、〖祭礼〗ウタキでお茶を沸かすところ。【例】んきゃーんな　っじゅん　うまっちゃ　たつきー　んふみゅーたい（昔は火鉢で火を熾して暖を取っていた）。っじゅん　ちゃーゆ　あっちゃす（御嶽の囲炉裏でお茶を沸かす）。

っしゅーつ [ɕɕu:tsi]【動詞】[k 語幹]（人や動物の）相手をせずにおく、構わずにおく。【例】かりゅーぎゃー　っしゅーき（あいつのことは構うな）。[変異] っしゅーふ。

っしゅーとぅい [ɕɕu:tui]【成句】知っていながら（（こどもなどのやることを）干渉せずに自由にやらせておく）[っしゅー＋うとぅい]。【例】やらびゃー　なうゆどぅ　あすがてぃー　っしゅーとぅい　みーんふい　あっそぅ（子供が何をやろうとしても（干渉せずに）見ないふりをしなさい）。

っしゅーふ [ɕɕu:fu]【動詞】[k 語幹]（人や動物の）相手をせずにおく、構わずにおく。[変異] っしゅーつ。

っしん゜ん [ɕɕiɲn]【名詞】潮干狩り　[＜リーフを踏む]。【例】さにつんな　っしん　いきー　っしん゜ん　あす（旧暦 3 月 3 日には礁（リーフ）で潮干狩りする）。

つず [tsiʑi]【副詞】更に。【例】かいまい　ばいかいそぅが　っうぁー　つず（彼も悪いがお前は更に悪い）。かりゃー　むいとぅぬ　がず　やいそぅが、とっじゃ　つず（彼はケチだが、奥さんはもっと（ケチ）だ）。

つず [tsiʑi]【動詞】[g 語幹] [A] 継ぐ。【例】くまぬ　やーや　さんなんぬどぅ　つずちゃ（この家は三男が継ぐらしい）。

つず [tsiʑi]【動詞】[g 語幹] [A] 注ぐ、（酒、水等）を注ぐ。【例】さきゅー　どぅすぬ　ちゃばんかい　つず（酒を友達の茶碗に注ぐ）。んめ　とーとー、さきゅーぎゃー　んめ　つがだうり（もう十分だ。酒はもう注ぐな）。

つず [tsiʑi]【名詞】[B] 唾（つば）。【例】つっじゅ　とぅぱってぃー　とぅぱつ（唾をぺっと吐く）。

つず [tsiʑi]【名詞】[A] 頂上。【例】やーぬ　つずんかい　ぬーいたい（屋根のてっぺんにのぼった）。やまぬ　つず（山の頂上）。

つずん [tsiʑin]【動詞】[m 語幹] [C]（開いた手のひらを）閉じる。【例】っうぁが　てぃーんかい　でぃんぬ　う

っかっじゃー　てぃーゆ　つづみ（あなたの手にお金を置くから手を握ってとじろ）。

つずん [tsɨzɨn]【動詞】［m 語幹］［C］しまう、整理する。【例】つんぬ　たんすんかい　つずん（着物をタンスにしまう）。［変異］すずん、すずみ。

っそう [ssu]【名詞】［B］糞。【例】っしんきー　っそぅー　まい（トイレに行って糞をする）。っそぅまたむぬ（糞をしたい）。っそうまたふ　なりーにゃーん（糞がしたくなった）。［類］ふそぅ。

っそう [ssu]【形容詞】［B］白い。【例】っそぅびとぅ（色白の人）。

っそう [ssu]【形容詞】［B］細い。【例】っそぅびとぅがま（細い人）。

っぞう [zzu]【名詞】［B］魚。【例】っぞぅ　つー（魚釣り）。っぞぅー　あんひー　がにー　とぅい（魚を網で巻き取る）。まーっぞぅ（近海魚）。びゅーいっぞぅ（それを食べると中毒をおこす魚）。

っぞぅ　すん　びーふ [zzu sɨn bi:fu]【成句】魚が凍死する寒さ［「ひーふ」＝寒波］。

っそうー [ssu:]【動詞】［w 語幹］［A］拾う；掬（すく）う。【例】うまんうちゅー　かーっそぅ　っそぅい（そこに落ちているお菓子を拾え）。たぶひー　っぞぅー　っそぅー（たも網でさかなをすくう）。

っそういー [ssui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］拭く。【例】ゆかう　っそぅり（床を拭け）。

っそういー [ssui]【名詞】［C］薬、農薬。【例】っそぅいや　んぎゃむぬ（薬は苦い）。っそぅいまき（薬負け）。っそぅいゆ　はうい（農薬を撒く）。［類］ふすい。

っそぅい　あす [ssui asɨ]【成句】一緒に行きたがる。【例】やらびゃー　んまんかい　っそぅいー　ひー　なつ（子供は母親と一緒に行きたがって泣く）。

っそぅがー [ssuga:]【形容詞】薄い。【例】ぶーぬぬー　っそぅがー　むぬ（苧麻布は薄い）。

っそぅがい [ssugai]【動詞】［r/rr 語幹］（手や足などを）広げる；うわさや伝染病などが広がる；子孫などが増えて行く。【例】たくぬどぅ　はっじゅ　っそぅがりゅー（タコの足が広げている）。ころなー　あたくまん　っそぅがりーにゃーん（コロナはあっというまに広がった）。っふぁんまがー　っそぅがりーどぅー（孫や子が多い［＜（家系図的に）広がっている］）。

っそうがい [ssugai]【動詞】［母音語幹］（手や足などを）広げる；うわさや伝染病などが広がる；子孫などが増えて行く。

っそぅぎ [ssugi]【動詞】［母音語幹］［A］（手や足などを）広げる；うわさや伝染病などが広がる；子孫などが増えて行く。 ［類］っそぅず。

っそぅず [ssuzɨ]【動詞】［g 語幹］［A］（空間的に）広げる、（商売などを）広げる、（自分のものを人に）分け与える。【例】ふにぬ　ほぅーゆ　っそぅず（船の帆を広げる）。うつつーゆ　っそぅず（風呂敷を広げる）。かまぬ　やーゆ　はいんかい　っそぅぎ（あの家を南にひろげろ）。てぃーゆ　っそぅずばどぅ　まさりーまい　うやきふ　ない（手を広げれば益々裕福になる［＞自分のものを皆に分け与えればより裕福になる］）。［類］っそぅぎ。

っそぅすー [ssusi:]【名詞】よだれ。【例】っそぅすーびーた　やらび（よだれまみれの子供）。やらびゃー　っそぅすーや　たらすっちゃーん　ういびとぅぬ　はなっそぅ　むいとぅ　たみー　つきゅーたい（子供はよだれを垂らしながら年寄りの話を夢中になって聞いていた）。

っそぅすばい [ssusɨbai]【名詞】大小便。【例】っそぅすばいや　むつ（大小便の世話をする）。ういびと　なりー　っそぅすばいや　むちゃいー、かまらすかいば　ならん（年取って下の世話になり悲しくてならない）。

っぞぅだま [zzudama]【名詞】（漁での）魚の取り分。 【例】んーなんかい　っぞぅだまう　なかーり（皆に魚の取り分をを分けろ）。

っそぅっさぎ [ssussagi]【名詞】白髪。 【例】っそぅさぎ　がなまい（白髪だらけの頭）。っそぅっさぎぬ　ういゆー（白髪が生えている）。

っぞぅぬみー [zzunumi:]【名詞】魚の目［手、足の皮膚病の一種］。 【例】うゆびんどぅ　っぞぅぬみーぬ　いじゅー（指に魚の目ができている）。

っぞぅぬみー [zzunumi:]【名詞】イソギンチャク。 【例】あっづぁみーがまー　っぞぅぬみーとぅどぅ　ひとぅみ　うい（クマノミはイソギンチャクと一緒にいる）。

っそぅひだ [ssuhida]【名詞】サザエの蓋。【例】っそぅひだう　はずき（サザエの蓋を弾け［昔はサザエの蓋をおはじきにして遊んだ］）。

っそぅひだぶに [ssuhidabuni]【名詞】半月板［膝関節の間にあってクッションの役割をする軟骨組織］。 【例】たうりー　っそぅひだぶにゃー　ばりーにゃーん（転んで半月板が割れてしまった）。

っそぅます [ssumasɨ]【動詞】［s/h 語幹］白くする。 【例】おしろいや　つきー　みはなう　っそぅます（白粉をつけて顔を白くする）。

っそぅまた [ssumata]【形容詞】便意をもようす。 【例】っそぅまたかい

ば　んびゃーいん（糞したくて我慢できない）。

っそぅん [ssun]【動詞】［m 語幹］［A］白くなる、白む、明け方になる。【例】てぃんぬ　っそぅん（空が白む）。てぃだーあがりー　てぃんな　っそぅみー　っちゅー（日が昇って空は白んできている）。

った [tta]【名詞】［B］舌。【例】やらび　あいきゃー　やーら　やっづぃじゃたう　ったひー　なんたい（こどもの時はやわらかい質の悪い黒糖を舌で舐めた（ものだ））。

った [tta]【名詞】［B］高瀬貝、ほら貝、水字貝などのエナメル状の蓋　［サザエの蓋は「っそぅひだ」という］。

ったー [tta:]【接尾辞】〖接続助詞〗「てぃがー」の縮約形、節を取って仮定条件を表す、「たら」、「れば」、「なら」。［変異］てぃがー。

ったい [ttai]【動詞】［C］動詞「くー」（来る）の過去形。【例】たるがどぅったいが（誰が来たのか）。かいがどぅ　ったい（彼が来た）。

ったつ [ttatsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］叩く、殴る。【例】ひとぅー　ったきやならん（人を叩いていけない）。やらびゅーぎゃー　ったかだ　ならーし（子供は叩かないで教えろ）。がぱてぃー　ったつ（ゴツンと叩く）。ぎずぎゃうなーひー　そぅじゃん　みんたっづぁー　ったかいたい（やんちゃして、兄にびんたを張られた）。かまぬ　ぎずぎゃうなうぎゃー　ったきー　ならーし（向こうの腕白坊主は叩いて教えなさい）。［変異］ったふ。

ったてぃー [ttati:]【副詞】さっさっと。【例】ったてぃー　ふぁい（さっさっと食べろ）。

つだに [tsɨdani]【名詞】［A］お産直後、乳が固くなっていること。【例】つだにゅー　ばい（お産直後、固くなっている乳をやわらかくすること）。

ったふ [ttafu]【動詞】［k 語幹］［C］叩く、殴る。［変異］ったつ。

っだん [ddan]【接尾辞】動詞未然形について過去の否定を表す。【例】ゆまっだん（読まなかった）。つかっだん（聞かなかった）。ほぅっだん（しなかった）。っづぁっだん（売らなかった）。っちゃっだん（着なかった、釣らなかったなど［「つー」の否定過去］）。くーっだん（来なかった）。

っちゃー [ttɕa:]【接尾辞】（動詞基本形について）方法、～方（の基本を知っている）［「知る、知らない」だけがあとに続く］。【例】ふぁうっちゃー　っさん（ちゃんとした食べ方を知らない）。くぬ　やらびゃー　んなーぎゃー　あいつっちゃー　っさん（この子供はまだ歩けない）。ならーすっちゃー　っしーどぅー（（一応の）教えかたを知っている）。ばらうっちゃー　っさん　ゆが

ばらい（笑い方を知らない不自然な笑い）。

っちゃー [ttɕa:]【接続詞】それでは。【例】じょ　っちゃー　すかまう　すぅきゃきぃでぃ（さあ　それでは仕事を始めよう）。っちゃー　ばんちゃー　やーんかい　はらでぃ（それでは私達は家に帰ります）。

っちゃーん [ttɕa:n]【接尾辞】（動詞基本形について）～しながら。【例】ふぁうっちゃーん　あっそぅ（食べながらやりなさい）。かぬ　やらびゃー　なつっちゃーん　あいきー　ったい（あの子は泣きながら歩いて帰ってきた）。

っちゃす [ttɕasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］（直接相手に）着せる、（相手に言って他の人に）着させる。【例】うっとぅんかい　つんぬ　っちゃし（弟に着物を着せろ、弟に着物を着させろ）。かいん　っちゃす　つんな　にゃーん（あいつに着せる着物がない）。

っちゃすみ [ttɕasɨmi]【動詞】［母音語幹］（相手に言って他の人に）着させる。【例】うっとぅんかい　つんぬ　っちゃすみる（弟に着物を着させろ［母親が姉に命令して、その結果弟が服を着る場合などに使う］）。

っちゃまい [ttɕamai]【動詞】［r/rr 語幹］（人が）成熟する、大人っぽくなる。【例】うぬ　みどぅんがまー　っちゃまりゅーががら　みっりーどぅー（その女の子は成熟しているのか、女性っぽくなっている）。みどぅんっうぁー　っちゃまりどぅ　ぶとむつ　はだんなりーうい（女の子は成熟して結婚する頃になった［＜夫を持つ］）。うぬ　びきどぅんやらびゃー　っちゃまりどぅ　みっりーゆー（その男の子は成熟して男らしくなっている）。

っちゃまいびゃー [ttɕamaibja:]【形容詞】（人が）成熟が早い、早熟だ。【例】かぬ　やらびゃー　っちゃまいびゃー　やらび（あの子供は早熟だ）。

っちゃんつ [ttɕantsɨ]【動詞】［k 語幹］（針の）目を通す；（運ぶために魚のエラの方から口の方に、ススキを）通す。【例】はいぬ　みーゆ　っちゃんつ（針の穴から糸を通す）。はいんかい　いとぅー　っちゃんつ（針に糸を通す）。ぎすつひー　っぞぅー　っちゃんつ（ススキを魚の鰓（えら）から口に通す）。［変異］っちゃんふ。

っちゃんふ [ttɕanfu]【動詞】［k 語幹］（針の）目を通す；（運ぶために魚のエラの方から口の方に、ススキを）通す。［変異］っちゃんつ。

っちゃんふ [ttɕanfu]【形容詞】くやしい。【例】っちゃんふむぬ（くやしい）。

っちゅい [ttɕui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］壊れる、倒れる。【例】やーや　かでぃふつん　っちゅりー　はりーにゃーん（家は風で壊れてしまった）。

っちゅす [ttɕusɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］破壊する、壊す、倒す。【例】やりやーゆ　っちゅす（古い家を壊す）。ますぎたう　っちゅす（石垣を壊す）。んつきぬ　すたぬ　まんちゅーぎーゆぎゃー　っちゅひー　すてぃる（軒下のパパイヤの木を倒してしまえ）。ほぅかでぃふつん　やーや　っちゅらはいにゃーん（大風で家が壊されてしまった）。

つつ [tsɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（銛で）突く、（杖を）突く、（まりを）つく、（杵で）搗（つ）く。【例】っぞぅー　うぎんひー　つつ（魚を銛で突く）。うすひー　まいゆ　つつ（臼で米を搗く）。［変異］つふ。

つつ [tsɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］聞く；聞き従う；尋ねる、質問する；（言葉を聞いて）理解する。【例】むぬいゆ　つつ（話を聞く）。ぱーが　いがんぐいゆ　つつ（おばあさんの遺言を聞く）。からー　ほぅむぬ　ゆみゃ　やいば　とぅーぬ　なか　ひてぃっちゃとぅんま　つかいん（彼は大ぼら吹きだから 10 の中 1 つも聞けない［＞信用できない］）。むぬーぎゃー　つきどぅ　ならう（ものを聞いて学ぶ）。ゆーかーまん　ひんじゃぬ　なきゅーむぬぬ　つかいたい（遠くでヤギのなくのが聞こえた）。そぅじゃが　むぬいゆぎゃー　つき（兄の言うことには従え）。なーゆ　つふ（名前を聞く）。くぬいぬ　ばかむぬんみゃー　すまぬ　むぬいゆぎゃー　つつそぅが　むぬっじゃいん（最近の若い人たちは、方言を理解することはできるけど話すことはできない）。［変異］つふ。

つつ [tsɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（薬などが）効く。【例】うぬ　っそぅぃや　やんかいや　つかっだん（その薬は病気には効かなかった）。つつ　っそぅい（利く薬）。つかん　っそぅい（きかない薬）。［変異］つふ。

つつ [tsɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］着く、到着する；（岸などに）接岸する。【例】うつなーんかい　つきーどぅーな（沖縄本島に着いたか）。［変異］つふ。

つつ [tsɨtsɨ]【名詞】［B］月（暦）、月（天体）。【例】つつぬ　ゆーんな　てぃんぬ　ほぅっそぅ　みー（月夜には天の星を眺める）。ひとぅつつ、ふたつつ（一月（ひとつき）、二月（ふたつき））。くぬいや　ふたつつひー　やーや　ちゅっふぁいどぅす（最近は二か月で家はできる）。

つつー [tsɨtsɨ:]【動詞】［cc/tt 語幹］［C］切る。【例】わーゆ　つっちー　にーふぁう（豚肉を切ってたいて食べる）。いとぅーぎゃー　つっちゃだうり（糸を切るな）。

つつー [tsɨtsɨ:]【名詞】［C］ナマコ。【例】つつーや　なびー　むぬ（ナマコはつるつるしている）。ぬーまぬはなずつー（黒ナマコ）。

つっづぃ [tsivvi]【動詞】［母音語幹］［C］（目を）つぶる。 ［類］つー。

つっづぃ [tsivvi]【動詞】［母音語幹］［C］癪癇の発作を起こす。 【例】つっづぃ すにーにゃーん（癪癇などの病気で死ぬ）。つっづぃー ぶらかいりーにゃーん。（癪癇で気を失ってひっくり返った）。［類］つー。

つっづぃやん [tsivvijan]【名詞】癪癇。 ［類］たまつつやん。

つつぐたい [tsitsigutai]【名詞】聞きごたえ。

つつじゃうず [tsitsiʑauzi]【名詞】聞き上手。 【例】つつじゃうっじゃ ひー ふぃーさまてぃ（よく聞いてください）。

つっず [tsizzi]【動詞】［zz/dd 語幹］［A］妨害する；塞ぎとめる。 【例】ぎずぎゃうぬやらびぬどぅ あぐー あいかはじゃんてぃー んっちゅ つっじゅー（腕白坊主が友達をあるかせないと道をふさいでいる［＞通さないと］）。ひとぬ とぅーい んちゅぎゃー つっじゃん（人の通る道は遮らない）。っぞぅー ひんがはん やうん うまう つっでぃ（魚を逃がさないようにそこを塞き止めろ）。

つっちゃす [tsittɕasi]【動詞】［s/h 語幹］切らす。 【例】まいや つっちゃひーにゃーん（米を切らした）。

つっちゅ [tsittɕu]【名詞】［A］月（天体）、月夜。 【例】つっちゅ ぬどぅ いでぃーうい（月が出ている）。つっちゅぬ ゆーんな てぃんぬ ほぅっそぅ みー（月夜には天の星を眺める）。［類］つつ。

つっちゅい [tsittɕui]【動詞】［r/rr 語幹］拳で殴る。 【例】かいが かまっちゅ つっちゅり（彼の頬を殴れ）。

っつつ [ttsitsi]【動詞】［k 語幹］［C］（金槌等で）叩く；（棒などで）つつく。 ［変異］っつふ、つつつ。［類］つつふ、つつつ。

つっつ [tsittsi]【動詞】［cc/tt 語幹］［C］（糸などを）切る；切れる。 【例】やらびゃー いとぅー つってぃー はりーにゃーん（こどもは糸を切って行ってしまった）。あっちゃぬ ぶーや つっちゅーば なうはだかーならん（下駄の鼻緒が切れたので直さないといけない）。まーにぬ んˀなー なんとぅが つっちゃいん（黒ツグのひもはちょっとやそっとでは切れない）。［類］つつー。

つつつ [tsitsitsi]【動詞】［k 語幹］［C］（金槌等で）叩く；（棒などで）つつく。【例】かにふっじゅ うんかっでぃーひー はっじゃきー げんのーひー うなが うゆびゅー つつきーにゃーん（釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった）。んまばすぬ すーゆ つつきー みーてぃがー

んまばっさ　うぐっりーにゃーん（蜂の巣をつついたら蜂は一瞬に飛び出し攻撃にでた）。［変異］つつふ。［類］つつふ、っつつ。

つつっふ [tsɨtsɨffu]【動詞】［f/ff 語幹］慌てふためく、パニックを起こす。【例】うぬやらびゃー　んまー　とぅみかにー　つつっふぃー　まーりゅーい（この子はお母さんをみつけられずパニック状態になって歩き回っている）。［変異］つつんつ。

つってぃ [tsɨtti]【動詞】［母音語幹］［C］切る、切れる。【例】あがい、あっちゃぬ　ぶーや　つってぃーにゃーん（あっ、下駄の緒が切れちゃった）。［類］つつー、つっつ。

つっとぅい [tsɨttui]【名詞】思慮、分別、判断、反応。【例】うるー　つっとぅいや　ひーみーる（それをよく検討してみなさい）。

つっとぅいぱぎ [tsɨttuipagi]【名詞】思慮分別にかけている人、間抜け。【例】つっとぅいぱぎゃー　たきゃー　ひらいん（間抜けは相手にできない）。かりゃー　さうや　にゃーん　つっとぅいぱぎんまり（彼は思慮がない、無分別な奴だ）。［類］つっとういぱぎゃ。

つっとぅいぱぎゃ [tsɨttuipagja]【名詞】思慮の足りない奴。［類］つっとぅいぱぎ。

つつふ [tsɨtsɨfu]【動詞】［k 語幹］［C］（金槌等で）叩く；（棒などで）つつく。［類］つつつ、っつつ。

っつふ [ttsɨfu]【動詞】［k 語幹］［C］（金槌等で）叩く；（棒などで）つつく。［変異］っつつ、っつつ。［類］つつふ、つつつ。

つつふい [tsɨtsɨfui]【成句】聞くふり。【例】むぬいゆぎゃー　つつふい　あす（話を聞くふりをする）。

つつぶり [tsɨtsɨburi]【名詞】聞きほれること。【例】かいが　あーぐんかい　つつぶりゃー　ひーにゃーん（あいつの歌に聞きほれてしまった）。

つつむどぅい [tsɨtsɨmudui]【名詞】とんぼ返り、着いたらどどまらず、取って返すこと（着き＋戻り）。【例】つつむどぅい　あっそぅ（とんぼ返りしろ）。

つつむらす [tsɨtsɨmurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］聞き洩らす。

つつやう [tsɨtsɨjau]【成句】聞きよう、聞き方次第。【例】むぬー　つつやう（ものは聞きようだ）。

つつんく [tsɨtsɨŋku]【名詞】慌てふためくこと、パニックを起こすこと、落ち着きなく動き回ること。【例】まーぬ　ほぅりぎなりー　つつんく　あすな（そんなに落ち着きなく動き回るな）。［変異］つつんつ、つつんふ。［類］つつんつ、つつんふ、。

つつんつ [tsɨtsɨntsɨ] ①【動詞】［k 語幹］慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。 【例】やらびゃー んまー とぅみかにー つつんきー まーりゅー（この子はお母さんをみつけられずパニック状態になって歩き回っている)。［変異］つつんふ、つつんく。［類］つとぅっふ。

つつんふ [tsɨtsɨnfu] 【動詞】［k 語幹］慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。 ［変異］つつんつ、つつんく。［類］つとぅっふ。

ってぃー [tti:] 【名詞】［B］キセル。 【例】たばくー ってぃーひー ふつ（煙草をキセルで吸う)。んきゃーんなきざみたばくー ってぃーんかい いりー ふきゅーたい（昔は刻み煙草をキセルに入れて吸っていた)。

っでぃー [ddi:] 【成句】でぃてぃー（意志の接尾辞「でぃ（よう)」＋引用助詞「てぃー（と)」）の省略形、「ようと」。 【例】たちゃっでぃ あすきゃー みーや まーるーたい（立とうとしたら、目が回った)。［類］あてぃがー。

ってぃつ [ttitsɨ] 【名詞】［C］一つ。 【例】たうかーひー ってぃつなー とぅい（一人で一つずつ取れ)。んななゆーいぬ うさいや ってぃつ むっちゃひー はりーにゃーん（全員お祝いの料理をそれぞれひとつずつ持ち帰らせた)。［類］ひてぃつ。

つとぅ [tsɨtu] 【名詞】［C］お土産。 【例】うぬ たんかんな うつなーからぬ つとぅ（このみかんは沖縄からのお土産だ)。くりゃー やまと からぬ つとぅがま（これは内地からのお土産です)。

つとぅっふ [tsɨtuffu] 【動詞】［f 語幹］慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。 ［変異］つとぅふー。［類］つつんつ、つつんふ、つつんく。

つとぅふー [tsɨtufu:]【動詞】[f 語幹]慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。 ［変異］つとぅっふ。

つなず [tsɨnazɨ] 【動詞】［g 語幹］［A］繋ぐ。 【例】んˀなう つなず（綱を繋ぐ)。

つば [tsɨba] 【名詞】［B］アダンの実の外の方の実。 【例】あだんな ばすまい つばまい ふぁーいどぅす（アダンは中の実も外の実も食べられる)。

つばい [tsɨbai] 【名詞】［A］柱等に強度を持たせるための斜めの梁、筋交い。 【例】つばいや いりー はらう ちゅーふ なす（筋交いを入れて柱の強度を強くする)。

つふ [ffu] 【形容詞】［B］黒、黒い。 【例】っふあか（黒髪)。っふじゃた（黒糖)。っふつ（黒い血)。っふがー（黒い肌の人)。っふびかい（黒光り)。っふ

あじゃ（黒いあざ）。うまぬ　んたーっふ（そこの土は黒い）。ばが　みはなぬどぅ　っづぁんつきゃー　っふかい（俺の顔の方がお前より黒い）。

つふ [tsɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］（銛で）突く、（杖を）突く；（まりを）つく；（杵で）搗（つ）く。【例】うぎんぬ　っぞぅんかい　たみー　つき（銛を魚に狙いを定めて突け）。ういびとぅ　ないてぃがー　でぃーや　つきーまーい（年を取ると杖を突いて歩く）。まーいゆ　つふ（まりをつく）。うすひー　まいゆ　つつ（臼で米を搗く）。［変異］つつ。

つふ [tsɨfu]【動詞】［k 語幹］［C］着く、到着する；（岸などに）接岸する。【例】ばっさ　んなーぎゃー　つかん（バスはまだ到着しない）。ふにゅーぎゃー　うまんかい　つかし（舟をそこに着けろ）。［変異］つつ。

つふ [tsɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］聞く；聞き従う；尋ねる、質問する；理解する。【例】からー　ほぅむぬゆみゃやいば　かいが　むぬいや　とぅーん　ひてぃっちゃ　つかいん（彼は大ぼら吹きだから彼の言うことは 10 の中 1 つも聞くことができない［＞信用できない］）。ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　みんな　たみー　つき（人の話は耳を傾けて聞け）。［変異］つつ。

つふ [tsɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］（薬などが）効く。【例】うぬ　っそぅいや　やんかいや　つかっだん（その薬は病気には効かなかった）。つふ　っそぅい（利く薬）。［変異］つつ。

つぶ [tsɨbu]【名詞】［B］つぼ、灸所；話の要点。【例】つぶー　やちゅーさ　ひー　やつ（ツボをもぐさで焼く）。はなすぬ　つぶ（話のつぼ［＞話の大事な所］）。

つぶ [tsɨbu]【名詞】［B］壺。【例】っしん　ばらじゃんぬ　あす　とぅきゃんな　みじゅきぬ　つぶん　あんな　はりゅーとぅいどぅ　っぞぅーぎゃー　がにー　とぅい（リーフで追い込み漁をするとき瀬と瀬の間の深みの壺に網を張っていてそこに魚を追い込み巻き込んでとる）。

つふぁ [ffa]【名詞】［A］子供。【例】かまぬ　やーんな　びきどぅんっづぁ　いつぬひと　みどぅんっづぁー　むゆぬひとぅ　うりーどぅ（向こうの家には男の子は 5 人、女の子は 6 人いる）。っふぁだに（子種）。っづぁが　っふぁう　ばぬん　ふぃーる（あなたの娘を私にくれ）。

つふぁ [ffa]【形容詞】［A］暗い。【例】っふぁゆー（暗い夜）。っふぁふ　ない（暗くなる）。うまー　っふぁかいば　ならん（ここは暗くてならない）。

つふぁーす [ffaːsɨ]【動詞】［s/h 語幹］穴を埋める、（失敗などの）穴埋めをする。［類］っふぁす。

っふぁい [ffai]【動詞】[母音語幹][C] 太る、太った。 【例】っふぁいびとぅ（肥満の人)。かりゃー くぬいや っふぁいーどぅー（彼は最近は太っている)。まどぅづぁい あすてぃがー っふぁいどぅす（間食すると太る)。

っふぁい [ffai]【名詞】[B] 肥料。【例】っふぁいゆ はいんかい いりー（肥料を畑に入れる)。ぬーまぬ たつから っふぁいゆ いだす（馬小屋から堆肥を出す)。

っふぁさーい [ffasa:i]【名詞】子守すること、また子守する人。

っふぁす [ffasɨ]【動詞】[s/h 語幹][C] 穴を埋める；（楔などを）噛ます；（失敗などの）穴埋めをする；げんこつなどを食らわせる。 【例】うまぬ あなう っふぁし（そこの穴を埋めろ)。っさびゅー っふぁし（楔を噛ませろ)。ういが みーや っふぁはいん（彼の失敗は取り戻せない)。あどぅぐるー っふぁし（踵で叩け)。[類]っふぁーす。

っふぁつ [ffatsɨ]【名詞】[B]〖道具〗鍬（くわ)、農具。 【例】っふぁつひー んーぬ かでぃー（鍬（くわ）で芋を掘る)。

っふぁどぅい [ffadui]【名詞】スズメ。[類]っふぁどぅりゃ、ふぁどぅら。

っふぁどぅら [ffadura]【名詞】スズメ。 [変異]っふぁどぅりゃ。[類]っふぁどぅりゃ、ふぁどぅい。

っふぁどぅりゃ [ffadurja]【名詞】スズメ。 【例】うさき うたい っふぁどぅらまい くぬいや まーぬ みーらいん（あんなに沢山いたスズメも最近は余りみかけない)。[変異]っふぁどぅら。[類]っふぁどぅら、ふぁどぅい。

っふぁなす [ffanasɨ]【動詞】[s 語幹] 子供を産む、お産する。 【例】うぬみどぅんな んなまどぅ っふぁなす はだ（この女性は今が子供を産みそだてる年ごろだ)。

っふぁまい [ffamai]【動詞】[r/rr 語幹] 隙間がない位密集する、窮屈である；隙間なくはまる。 【例】やーんな うとぅじゃんみぬどぅ っふぁまりゅー（家には親戚達が沢山集まっている)。っふぁまりー びじ（くっついて座れ)。くさびゃー ずみく っふぁまりー どぅ（楔はきちんとはまっている)。

っふぁまい [ffamai]【形容詞】狭い、隙間がない位密集している、窮屈である、隙間なくはまる。 【例】うまー っふぁまいかいば たるが びー まどぅまい にゃーん（ここは狭いので誰の座る場所もない)。

っふぁまらす [ffamarasɨ]【動詞】[s/h 語幹] きつくする、窮屈な状態にする。 【例】くさびゅー っふぁまらし（楔を噛まして動かないようにしろ)。あな

んかい　うりゅー　っふぁまらし（穴にそれをはめろ）。

っふぁみつ [ffamitsɨ]【動詞】［k 語幹］息をハーハーする、息切れする。［変異］っふぁみふ。［類］はーみつ。

っふぁみふ [ffamifu]【動詞】［k 語幹］息をハーハーする、息切れする。［変異］っふぁみつ。［類］はーみつ。

っふぁむい [ffamui]【名詞】子守すること、また子守する人。【例】っふぁむいや　くーむぬ（子守りは大変だ）。

っふぁむつ [ffamutsɨ]【名詞】子育て。　【例】んなーぎゃー　っふぁむつばな（まだ子育ての真っ最中）。

っふぁむつじゃうず [ffamutsɨʑauzɨ] ①【名詞】子育て上手。　【例】っふぁむつじゃうっじゃ　あらん（子育て上手ではない）。②【形容詞】子育て上手な。【例】っふぁむつじゃうずっふぁにゃーん（子育て上手ではない）。

っふぁむつばな [ffamutsɨbana]【名詞】子育て真っ最中。　［類］っふぁむつばんず。

っふぁむつばんず [ffamutsɨbanzɨ]【名詞】子育て真っ最中。　［類］っふぁむつばな。

っふぁむらがん [ffamuragan]【名詞】〖生物〗蟹（かに）の一種、ソデガラッパ。　【例】っふぁむらがんな　ふぁうとぅくまー　にゃーん（ソデガラッパには食べるところがない）。

っふぁんまが [ffammaga]【名詞】子と孫、子孫代々。　【例】ばいさう　あすてぃがー　っふぁんまがたーひーまい　とぅがまいどぅす（悪事を働いたら子孫代々まで非難される）。っふぁんまがー　いふたーい　うり（子と孫は何人いますか）。

っふぁんみ [ffammi]【名詞】「っふぁ（こども）」の複数形、子供たち。【例】あちゃ　あめりかから　っふぁんみぬ　んまがー　さーりー　むどぅりーふー（あしたアメリカから子供たちが孫を連れて帰ってきます）。っふぁんみぬ　まいんきや　むぬーぎゃー　びびききゃ　ふぁうだら（子供たちのところにいったら食べ物は吐き出すまで食るんだよ［＞親が成人した子供の家に行ったらたくさんごちそうになったほうがいい］）。

っふぃ [ffi]【名詞】［B］（習字に使う）墨、（タコやイカの）墨。　【例】たくぬ　っふぃ（タコの墨）。

っふぃま [ffima]【名詞】［B］〖地名〗来間島。

っふがー [ffuga:]【名詞】色黒の人。

っふぎ [ffugi]【名詞】［C］陰毛。【例】っふぎぬどぅ　ういゆー（陰毛が生えている）。

っふすー [ffusi:] 【形容詞】汚い、汚れた、黒くなった。【例】っふすーみず（黒く汚れた水）。っふすーみはな（汚れた顔）。っふすー　つんぬぎゃー　みずん　つきーから　あらい（汚れた服は水につけてから洗え）。

っふた [ffuta] 【名詞】［C］〖蔑称〗馬鹿野郎。

っふたん [ffutan]【副詞】黒く（なる）。【例】なつぬ　ひーてぃー　じゃりゃー　ひどぅ　どぅーや　っふたん　なりゅーい（夏の日太陽にさらされて体が黒くなっている）。

っふなず [ffunazɨ] 【名詞】〖魚〗フエフキダイ。【例】っふなっじゅ　つーたい（フエフキダイを釣った）。

っふなた [ffunata] 【名詞】ヒキガエル；相手を馬鹿にする言葉、この野郎。【例】くぬ　っふなた（この馬鹿野郎）。

つふはんず [tsɨfuhanzɨ]【動詞】[zz/dd 語幹］突きそこなう。【例】っぞぅー　つふはんじーにゃーん（魚を突きそこなった）。

っふます [ffumasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］黒くする。

っふみ [ffumi] 【動詞】［母音語幹］［C］黒くなる。［類］っふん。

つぶや [tsɨbuja] 【名詞】［B］瓦窯を持つ瓦屋［＜壺屋］。

っふん [ffun]【動詞】［m 語幹］［C］黒くなる。【例】てぃんぬ　っふん（空が雨雲で暗くなる）。［類］っふみ。

っふん [ffun]【動詞】［m 語幹］［C］（口に）含む。【例】やらびゃー　あみじゃたう　ふつん　っふみゅー（こどもは飴を口に含んでいる）。みっじゅ　っふみ（水を口に含め）。

つぶん [tsɨbun] 【名詞】［B］蕾（つぼみ）；乳首；皮膚等の尖がったもの。【例】はなぬつぶん（花の蕾）。［類］つーぬふつ。

つまい [tsɨmai] 【名詞】［A］血便、鼻たれみたいな便（液状になった便）。

つみ [tsɨmi] 【名詞】［B］爪。【例】っぅぁが　つみゃー　んびゅーば　きり（お前の爪は伸びているから切れ）。

つみぐる [tsɨmiguru] 【名詞】糸を巻く竹の筒［宮古上布を折るとき、横糸を巻く竹のこと。ヤマ（糸車）で整形してから、カシギにかけて長さを測り、バフに巻いてから、ツミグルに移して使う］。

つみゃ [tsɨmja] 【名詞】［C］〖昆〗セミ。【例】つみゃぬ　すでぃぐる（セミの脱け殻）。

つみゃー [tsɨmja:] 【名詞】［C］せい、原因。【例】ほぅかでぃふつぬ　つみゃーん　やーや　っちゅりー　にゃーん（台風のせいで家は壊れてしまった）。

つむ [tsɨmu]【名詞】[B] 心、肝、気、気持ち。 【例】からー　ほぅずむびとぅ（彼は心の大きな人だ［＞こころの広い人だ］）。からー　いみずむびとぅ（彼は心の小さな人だ［＞心の狭い人だ］）。つむまい　んみまい　やすまらん（心も胸も休まらない）。つむぬ　そぅくから　みどぅんぬ　くとぅー　うむー（心の底から妻のことを思う）。つむー　ほうがはいー　にゃーん（心は満足させられた）。うなが　つむーぎゃー　むちゃん　ひとぅ（短気で直ぐに怒る人）。かりゃー　たるんかいまい　つむ　つかう　ひとぅ（彼は誰にも気配りの人）。っうぁが　つむー　とぅらいん（あなたの心は理解できない［＞あなたとは上手くやっていけない］）。すかまうぎゃー　つむー　ひてぃつん　なりー　あす（仕事は心を一つになってやる）。にんぎんな　つむぬ　またぎす（人間関係は心次第［＞人間は心の良い人には共感する］）。

つむ　かさみつ [tsɨmu kasamitsɨ]【成句】[k 語幹] 心が煮えくり返る。【例】かさますかいば　つむー　かさみきーどぅー（悔しくて心は煮えくりかえっている）。[変異] つむー　かさみふ。

つむ　かさみふ [tsɨmu kasamifu]【成句】[k 語幹] 心が煮えくり返る。[変異] つむー　かさみつ。

つむー　いだす [tsɨmu: idasɨ]【成句】[s/h 語幹]（誰かに対して）怒る；（誰かを）怒らせる。 【例】あいや　つむーぎゃー　いだすな（そんなに怒るな）。やぐみ　つむ　いだす　ひとぅいー（とても｛怒る/人を怒らせる｝人なんだね）。

つむー　だり [tsɨmu: dari]【成句】[母音語幹] 気落ちする。 【例】ぬーまん　ひんがい　つむー　だりーどぅ（馬に逃げられて気落ちしている）。

つむー　なうす [tsɨmu: nausɨ]【成句】[s/h 語幹] 機嫌を直す、機嫌がなおる。 【例】やらびゃー　なきゅーたいそぅがどぅ　つむー　なうひー　ばらいーゆー（子供は泣いていたが機嫌が直って笑っている）。

つむー　にゃーん [tsɨmu: nja:n]【成句】思いやりがない、薄情な。 【例】かりゃー　うとぅじゃうまい　ただかん　つむーにゃーん　ひとぅ（彼は親戚も世話をしない薄情な奴だ）。

つむー　ぷず [tsɨmu: puzɨ]【成句】[g 語幹] 満足する。 [変異] つむーほぅず。

つむー　ほぅず [tsɨmu: huzɨ]【成句】[g 語幹] 満足する。 【例】すかまー　まさぐん　ひらいー　つむー　ほぅがはいーにゃーん（仕事は成就出来て満足した（＜満足させられた））。[変異] つむー　ぷず。

つむー　やます [tsɨmu: jamasɨ]【成句】[s/h 語幹] 心を痛める、（人の）心

を苦しめる。【例】ぱーや　っうぁが　んまー　すなひー　つむー　やまひー　うたい（おばあさんは　あなたの母親を亡くして心を痛めていた）。

つむー　やん [tsɨmu: jan]【成句】悩む。【例】つむー　やんむぬ（心が痛む）。

つむー　ゆるつ [tsɨmu: jurutsɨ]【成句】［k 語幹］人を信用して心を許す。【例】しーとぅんみゃー　しーしんかい　つむー　ゆるきー　なうゆまい　あい（生徒たちは先生に心を許して、なんでも打ち明ける）。［変異］つむー　ゆるふ。

つむー　ゆるふ [tsɨmu: jurufu]【成句】［k 語幹］人を信用して心を許す。［変異］つむー　ゆるつ。

つむあいひとぅ [tsɨmuaihitu]【名詞】情のある人、やさしい人。【例】からー　つむあいひとぅ　やいば、ひとぅーぎゃー　みっふぁさ　ほぅん（彼は優しい人なので、他人を嫌うことはない）。［変異］つむあいびとぅ。

つむいでぃ [tsɨmuidi]【動詞】［母音語幹］怒る。［変異］つむでぃ。［類］つむいだす。

つむうつ [tsɨmuutsɨ]【名詞】みぞおち。【例】つむうつぬ　ったかいてぃがー　いちゃかいば　ならん（みぞおちを叩かれて痛くてならない）。

つむがーい　あす [tsɨmuga:i asɨ]【成句】心を入れ替える、改心する、心変わりする。【例】やらびあいきゃー　ぎずぎゃうな　あたいそぅがどぅたきゃー　たらいーみーてぃが　つむがーいや　ひー　うとぅなすふ　なりーうい（子供の頃は腕白だったが年齢相応になったら心を入れ替えて、大人しくなっている）。うぬ　みどぅんな　つむがーいや　ひー　ゆそぅぬ　びきどぅんぬ　まいんかい　はりーにゃーん（その女は心変わりをして、別の男のところに行ってしまった）。

つむかぎ [tsɨmukagi]【形容詞】心が良い、情け深い；気前がいい。【例】つむかぎかいばどぅ　うやきんな　ならいー（心が良いので金持ちになれる）。がんじゅーさー　いつばん、つむかぎさまい　いつばん、うむくとぅまい　いつばん（健康は一番、心根の良さも一番、知恵も一番［「みどり会（西原老人会）の標語］）。

つむかさみつ [tsɨmukasamitsɨ]【形容詞】イライラする。【例】かさますかいば　つむかさみつむぬ　（うるさいのでイライラする）。［類］かさみつ。

つむがま [tsɨmugama]【名詞】短気、短気な。【例】かりゃー　つむがまえいば　すぐ　つむでぃー（彼は短気だから直ぐに怒る）。

つむじゃ [tsɨmuʒa]【名詞】［C］よく怒る人。

つむだす [tsɨmudasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（誰かを）怒らせる。【例】つむだすんまり（人を怒らせる奴）。かりゃー　やぐみ　ひとぅ　つむだす　ひとぅいー（あいつはとても人を怒らせる人だ）。［類］つむいだす。

つむたみ [tsɨmutami] ①【名詞】冷静（な人）、心穏やか（な人）。【例】からー　つむたみ　やいば　つむでぃてぃぬくとぅー　にゃーん（彼は冷静な人だから怒るということはない）。つむたみゃー　あらん（冷静でない）。②【形容詞】冷静だ、心穏やかだ。【例】つむたみっふぁにゃーん（冷静でない）。つむたみびとぅ（冷静な人）。

つむたみゃ [tsɨmutamja]【名詞】冷静な人、心穏やかな人。［類］つむたみ。

つむちゃー [tsɨmutɕa:]【名詞】互いに心が通いあう関係にあること、持ちつ持たれつの関係にあること。【例】にんぎんな　つむちゃー（人間はおたがいに持ちつ持たれつだ）。［類］つむちゃい。

つむちゃい [tsɨmutɕai]【名詞】互いに心が通いあう関係にあること、持ちつ持たれつの関係にあること。【例】にんぎんな　つむちゃい　やいば　いつまい　まさぐん　あすばどぅ　じゃうかい（人間はもちつもたれつなのだから、正直にしている方がいい）。

つむつ [tsɨmutsɨ]【名詞】［B］気立て、性質。【例】つむつ　かぎびとぅ（気立てのいい人）。じゃうつむつみどぅん（気立てのいい女性）。

つむつかうひとぅ [tsɨmutsɨkauhitu]【名詞】気をつかう人。【例】かりゃー　たるんかいまい　つむつかう　ひとぅ（彼は誰にも気配りをする人だ）。［変異］つむつかうびとぅ。

つむでぃ [tsɨmudi]【動詞】［母音語幹］［C］怒る。【例】かいが　つむでぃーからー　まいゆぎゃー　みーん（あいつが怒ったら前を見ない［＞あいつは怒ると分別がなくなる］）。かりゃー　すばー　だりー　つむでぃー　うたい（彼は下唇を垂らして怒っていた［＞むっとして］）。まーぬ　つむでぃな（余り怒るな）。たるんかいどぅ　つむでぃーが（誰に対して怒っているのか）。つむでぃだ　つむー　たみる（怒らないで、心を静めなさい）。［変異］つむいでぃ。［類］つむいだす。

つむぬなか [tsɨmununaka]【名詞】心の中。

つむひぐりゃ [tsɨmuhigurja]【成句】薄情なひと。【例】かりゃー　ほぅーらーす　つむひぐりゃ（彼はケチで薄情な人だ）。

つむひぐる [tsɨmuhiguru] ①【名詞】薄情な人。【例】からー　つむひぐる　やいば　でぃんぬぎゃー　かしゃー　ふぃーんよ（彼は薄情者だから金は貸してくれないよ）。②【形容詞】薄情だ。【例】からー　つむひぐるかいば　でぃ

んぬぎゃー　かしゃーふぃーんよ（彼は薄情だから金は貸してくれないよ）。

つむびゃー [tsɨmubja:]【名詞】急に怒り出す人。

つむやん [tsɨmujan]【成句】［m 語幹］心が痛む、心が苦しい。【例】みどぅんぬ　くとぅーひどぅ　つむー　やみゅーい（彼女のことで心が苦しい（恋煩い））。

つむん　かなう [tsɨmun kanau]【動詞】［w 語幹］意に適う、心が寄り添う。［類］つむん　すなう。

つむん　すなう [tsɨmun sɨnau]【動詞】［w 語幹］意に適う、心が寄り添う。【例】うらー　ばが　つむんな　すなーん（それは私の意に適わない）。うぬきゃが　とぅずぶとぅー　つむー　すないーどぅー（その夫婦は心が寄り添っている）。［類］つむん　かなう。

つむんな　かなーん [tsɨmunna kana:n]【成句】心にかなわない、気に入らない。【例】うらー　ばが　つむんな　かなーん（これは私の気にいらない）。

つん [tsɨn]【動詞】［m 語幹］［A］（糸を）紡ぐ。【例】いとぅー　つん（糸を紡ぐ）。ぶーや　つみー　いとぅんなしる（苧麻を紡いで糸にしなさい）。

つん [tsɨn]【動詞】［m 語幹］［A］つねる。【例】ちゅーく　つんな（強くつねるな）。［類］つんみ、つんむい。

つん [tsɨn]【名詞】［B］着物。【例】つんぬ　つー（着物を着る［「つんゆ　つー」ともいう］）。ふたいずん（二重の着物）。ぶーずん（宮古上布）。

つん [tsɨn]【名詞】［B］稗（ヒエ）。【例】ばー　つんぬぎゃー　ふぁいやみーん（私は稗を食べたことはない）。

つん [tsɨn]【名詞】［B］〖魚〗黒鯛。

つん [tsɨn]【動詞】［m 語幹］［A］積む。【例】ぶーずぬ　にーゆ　とらっくんかい　つん（サトウキビの荷をトラックに積む）。

つんかー [tsɨŋka:]【名詞】衣類。【例】きばんかいば　つんかーまい　にゃーん（貧乏だから衣類もない）。つんかーゆ　ほぅす（衣類を干す）。

つんだみ [tsɨndami]【名詞】（三線の）調弦。

つんだらさ [tsɨndarasa] ①【名詞】可哀想な人。【例】うぬ　っふぁがまー　んまー　にゃーん　つんだらさがま　（その子は母親のない可哀想な子どもです）。②【形容詞】可哀想だ。③【感動詞】可哀想に。【例】つんだらさ、かりゃー　きたてぃやんな　たばりー　すにーにゃーん（可哀想に、彼は悪い病気にかかって亡くなってしまった）。

つんだらすぎ [tsɨndarasɨgi]【形容詞】可哀想な。【例】つんだらさ　つんだらすぎ　やらび（可哀想　可哀想な子供）。

つんつき [tsɨntsɨki]【動詞】[母音語幹] 積み重ねる。 【例】ぶーずぬ　にーゆとらっくんかい　つんつきる（サトウキビの荷をトラックに積み重ねる）。[変異] つんつふ。

つんつつ [tsɨntsɨtsɨ]【動詞】[k 語幹] 積み重ねる。 [変異] つんつふ。[類] つんつき。

つんつふ [tsɨntsɨfu]【動詞】[k 語幹] 積み重ねる。 [変異] つんつつ。[類] つんつき。

つんぬっそぅ [tsɨnnussu]【名詞】着物の裾。 【例】ばー　やらびあいきゃー　いつまい　ぱーが　つんぬっそぅー　かつみーまーりゅーたい（私は子供の頃、いつも祖母の着物の裾を捕まえていた）。

つんぬふず [tsɨnnufuzɨ]【名詞】着物の襟。 【例】あかー　つんぬふずたーひー　ぬびゅーたい（髪は着物の襟まで伸びていた）。

つんま [tsɨmma]【名詞】[A] ネギ。【例】つんまー　かばすむぬ（ねぎは香ばしい）。

つんみー [tsɨmmi:]【名詞】〖鳥〗サシバの成鳥。

つんむい [tsɨmmui]【動詞】[r/rr 語幹] つねる。 【例】ちゅーく　つんむらだうり（つよくつねるな）。[類] つん、つんみ、つんむい（母音語幹）。

つんむい [tsɨmmui]【動詞】[母音語幹] つねる。 【例】ちゅーく　つんむいな（強くつねるな）。[類] つん、つんみ、つんむい（r/rr 語幹）。

て

てー [te:] 【名詞】［C］数を数えるときの言い方、1［「てー（てぃーも可）、たー、みー、ゆー、いつ、むゆ、なな、やー、くぬ、とぅー」と数える］。［変異］てぃー。

てーち [te:tɕi] 【名詞】［C］数を数えるときの言い方、一つ　［「てーち［てぃーち　も可）、たーち（つ）、みーち（つ）、ゆーつ、いつつ、んーつ、ななつ、やーつ、っくぬつ、とぅー」と数える］。［変異］てぃーち。

でぃ [di] 【接尾辞】動詞未然形について自分の意志をあらわす。疑問文では聞き手の意志、相手に対する勧誘が可。２人称、３人称も「～しようとしている」の意味で可。【例】ばが　いかでぃ（私が行こう）。うぬ　きーぬ　にーゆ　くーはでぃな（この木の根をほりおこすのか）。まさいが　あーぐ　あっじゃでぃな（マサイが歌を歌うのか）。

てぃー [ti:] ①【名詞】［B］手。【例】んすでぃー（利き手、右手）。ひだいてぃー（左手）。てぃーゆ　あぎー（手をあげる）。②【名詞】［B］空手。【例】かいが　てぃーや　やぐみ（彼の空手は凄い）。③【接尾辞】［B］西原の４つの支部の土地名に使う接尾辞。【例】とぅらぬはでぃー（東支部）。さいぬはでぃー（西支部）。んまぬはでぃー（南支部）。にぬはでぃー（北支部）。

てぃー [ti:] 【助詞】〖接続助詞〗名詞や節に付いて引用を表す、「と」；動作の資格を表す「～として」。【例】ばが　なーゆぎゃー　まさいてぃどぅ　あい（私の名前はマサイといいます）。あいや　あたらんてぃー　あい（それは間違っていると言う）。こーちょーてぃー　はなす　あすたい（校長として話をした）。あざちょーてぃー　うぐなーいんかい　いでぃたい（村長として集まりに出席した）。かっちゅぬ　びじゅてぃー　いすだう　とぅい（カツオの餌としてイシダを取る）。［変異］てぃ。

てぃー [ti:] 【接尾辞】名詞について副詞を作る接尾辞、に。【例】まさがんてぃー（ちゃんと）。［変異］てぃ。

でぃー [di:] 【名詞】［C］杖。【例】ういびとぅ　なりーどぅ　でぃーや　つきー　まーりゅー（年取って杖ついてまわっている）。［類］ぐしゃん。

てぃー　ばっじゃーしゃ [ti:bazʑa:ɕa]【名詞】手であちこち触る人、べたべたする人、（冗談で）触り魔。【例】ばぬんかい　かかいな、てぃー　ばっじゃーしゃ（私に触るな、触り魔め）。

てぃー　ばっじゃーす [ti:bazʑa:sɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］手であちこち触る、べたべたする。【例】くぬ　やらびゃー　んまんかい　いつまい　てぃーばっじゃーす（この子供はお母さんにいつもべたべたしている）。てぃーばっじゃーすんまり、まーぬ　ばぬんかい　かかいな（この触り魔、そんなに私にさわるな）。②【形容詞】いたずらな。【例】かぬ　ぎずぎゃうな　やらびゃー　いつまい　てぃーばっじゃーすかいばならん（あの腕白坊主はいつも落ち着きなく、いたずらでしょうがない）。

てぃーくぱ [ti:kupa] ①【名詞】不器用な人。【例】くりゃー　てぃーくぱぬ　すかま（これは不器用な人の仕事だ）。②【形容詞】不器用だ。【例】かいがどぅ　んながーんな　てぃーくぱかい（あいつが一番不器用だ）。

てぃーたーり [ti:ta:ri]【形容詞】手間のかかる、面倒な。【例】うぬ　すかまー　てぃーたーりむぬ（その仕事は面倒だ）。てぃーたーり　すかまーうぎゃー　あすたっふぁにゃーん（面倒な仕事はやりたくない）。

てぃーっそぅぎびとぅ [ti:s-sugibitu]【名詞】行動範囲の広い人、付き合いの広い人。

てぃーぬん [ti:nun]【名詞】お尻の穴；お尻。【例】てぃーぬんぬ　ふかでぃ（お尻を拭こう）。がばー　てぃーぬん（おおきなおしり）。［類］ちびるん、ちびぬん、ちーぬん、てぃびるん、てぃびぬん、てぃーるん。

てぃーぬん　じゃやふ [ti:nun ʑajafu]【名詞】下手な大工（てぃーぬん＋さやふ）。【例】てぃーぬん　じゃやふぬ　すかまー　みーらいん（下手な大工の仕事は見られたものではない）。

てぃーはず [ti:haziɨ]【名詞】手足。【例】てぃー　はっじゅぎゃー　むゆかひー　すかまうぎゃー　あっそぅ（手足をちゃんと動かして仕事をしてください）。［変異］てぃーぱず。

てぃーぱず [ti:paziɨ]【名詞】手足。［変異］てぃーはず。

てぃーはず　かないびとぅ [ti:haziɨ kanaibitu]【成句】行動的な人、仕事のよくできる人。【例】かりゃー　てぃーはず　かないびとぅ　やいばなうゆまい　あすどぅす（彼は行動的な人だから何にでも挑戦する）。

てぃーばっじゃーす [ti:bazʑa:sɨ]【名詞】いたずら。【例】おい　ぎずぎゃうな、まーぬ　てぃーばっじゃーす

あすな（おい　やんちゃ坊主、あまりいたずらするな)。

てぃーふず [ti:fuzi]【名詞】手首。【例】んˀぬ　てぃーっふじゃ　ないらひー　みーてぃがー　まがらすまい　ひらいん（昨日手首を痛めてしまったので曲げることもできない)。ぶどぅいゆ　ぶどぅい　とぅきゃんな　てぃーふっじゅ　まさぐんてぃー　つかうばどぅ　じゃうずんない（踊りを踊るときには手の関節を上手く使えば上手になる)。からー　てぃーふずぬ　ほぅいかいば　くぬ　とけいや　はいらはいん（あいつは手首が太いのでこの時計は入らない)。［変異］てぃふず。

てぃーや [ti:ja]【成句】とは、というものは、などというものは［＜てぃー（と）＋や（は)］。【例】なうぬ　かかいてぃーや　にゃーん（なんの障害もない［＜障害とは］)。びきどぅん　みどぅんてぃーや　むまだ　かないかい　ひとぅー　いらび（男女を問わず仕事のできる人を選べ)。

てぃーゆ　かみ [ti:ju kami]【成句】［母音語幹］祈りを捧げる、祈願する［西原では祈願するときは、両手の平を上にして開いたまま、頭の高さまで持ち上げる］。【例】うぷずんかいや　てぃーゆ　かみだかー　ならん（先祖には祈願しないといけない)。［類］てぃーゆ　かん。

てぃーゆ　かん [ti:ju kan]【成句】［m 語幹］祈りを捧げる、祈願する。［類］てぃーゆ　かみ。

てぃーゆ　とうい [ti:ju tui]【成句】［r/rr 語幹］手をとる、協力する。【例】っづぁとぅや　てぃーゆぎゃー　とぅらじゃーん（あなたとは協力しない)。

てぃーるん [ti:run]【名詞】お尻の穴；お尻。［類］ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、てぃびるん、てぃびぬん、てぃーぬん。

てぃうさ [tiusa]【名詞】［C］《祭礼》ユークイの時に人を見ないために両手にそれぞれ持つ草、手草［ユークイのパーたちに見られた人は死ぬと信じられていた］。【例】ひとぅー　みーん　たみん　てぃうさー　ふたてぃーひー　むちー　みーゆ　うーい（一般の人々を見ないために手草を両手で持ち目を覆う)。てぃうさひどぅ　みはなー　かっふぁひー　よーんてーるてぃ　あっじー　すまう　まーい（手草で顔を隠してヨーンテール（世を満たせ）と言って御嶽から御嶽に行進する)。

てぃがー [tiga:]【助詞】《接続助詞》節を取って条件を表す。「(実際に)～てみたら、～すると」のような事実条件と「もし、～たら、なら」のような仮定条件のどちらにも使える、「と」、「たら」、「れば」、「なら」。【例】すとぅむてぃ　うきーてぃがー　すぐ　ぬーまぬ　っさかいが（朝起きたら直ぐに馬の草刈

りに（行く））。なつん　ないてぃがー　すばいがまぬどぅ　ゆー　いでぃーふー（夏になるとコバエがよく発生する）。ぱちんこんかい　いつてぃがー　でぃんぬ　たにゃー　にゃーん（パチンコに行くと直ぐにお金がなくなる）。［類］とぅー、ったー。

でぃかす [dikasi] 【動詞】［s/h 語幹］［C］大漁になる；（植物などを）大きくする、成長させる。 【例】きゅーや　ぐんな　ごひゃっき　でぃかひー　ったい（今日はムロアジを５００斤という大漁だった［＜大漁してきた］）。っふぁいや　はーさ　いりー　ぶーっじゅ　でぃかひーみーでぃ（肥料をたくさん入れてサトウキビをたくさん収穫できるようにしてみよう［＜豊作させてみよう］）。

てぃがに [tigani] 【名詞】［C］指輪。【例】てぃがにゅー　かうが　いつ（指輪を買いに行く）。てぃがにゃー　たかだいむぬ（指輪は高価だ）。

でぃき [diki] 【接頭辞】質の良い。【例】でぃきまい（良く実った米）。でぃきぶーず（良くできたサトウキビ）。

でぃき [diki] 【動詞】［母音語幹］［C］（作物などが）できる。

でぃきぶつ [dikibutsi] 【名詞】優秀な人、勉強が良くできる人。 【例】んながーんな　でぃきぶつ（一番良く勉強ができる人）。

てぃぐすい [tigusii] 【名詞】ナイロン製の釣り糸、てぐす。

てぃぐすに [tigusini] 【名詞】十分に準備して待ち構える、手ぐすねを引く。 【例】てぃぐすにゅー　ひつ（手ぐすねを引く）。

てぃぐすにゃ [tigusinja] 【名詞】手ぐすねを引く人。

てぃじゃーかー [tiʑa:ka:] ①【形容詞】雑な、粗い、手抜き。 【例】かいが　すかまー　いつまい　てぃじゃーかーかいばならん（彼の仕事はいつもいいかげんだ）。かいが　すかまー　いつまい　てぃじゃーかー　すかま。②【名詞】雑なこと、大雑把なこと、またそのような人。【例】まーぬ　てぃじゃーかー　あすな（余りいい加減なことをするな）。

てぃじゅー [tiʑu:] 【形容詞】［B］経済力のある（家）。 【例】かまぬ　やーや　やぐみ　てぃじゅー　きない（向こうの家は非常に経済力のある家だ）。

てぃだ [tida] 【名詞】［C］太陽。 【例】てぃだぬ　ぬーい（日が昇る）。てぃだぬ　あがい（日が昇る）。てぃだぬ　いーん（日がしずんでいない）。てぃだいーりー　っふぁふ　なりにゃーん（太陽が沈んで暗くなった）。にんぎんな　てぃだやぐみぬ　まか（人の一生はお天道様の思し召し次第だ）。あがい　てぃだがなす（お天道様［＞池間の

主]）。んま　てぃだがなす（お月様［＞池間の主の奥さん］）。

てぃだい [tidai]【動詞】［母音語幹］［C］（人に食事などを）奢る、物をあげる、賄賂を与える。　【例】まーぬ　ひとぅんかいや　むぬーぎゃー　てぃだいな（あまり人に物をあげるな）。んきゃーんな　しーしーんたんかいどぅ　うんそぅく　むぬー　てぃだいー　うたい（昔は先生によく付け届けをしていた）。

てぃだい [tidai]【名詞】［C］贈り物、賄賂。　【例】たんにんぬ　しーしーんかい　てぃだい　あす（担任の先生に賄賂をする）。

てぃだいびとぅ [tidaibitu]【名詞】気前がいいひと。　【例】からー　やぐみ　てぃだいびとぅ（彼はとても気前がいい）。

てぃだななつ [tidananatsɨ]【名詞】〖祭礼〗御嶽に行く時間帯（午後４時ごろ）。　【例】じょー　てぃだななつ　なりゅーば　うたきんかい（4 時頃だから御嶽に行こう）。てぃだななつん　ないてぃがー　ぱーたー　うたきん　そぅるい　うたい（午後 4 時ごろになると、おばあさんたちは御嶽にそろっていた）。

てぃっづぁん [tivvan]【動詞活用形】動詞「ちゅー」の否定形。［類］てぃっづぃん。

てぃっづぃ [tivvi]【動詞】［母音語幹］［C］（渡すために）投げる、（すてるために）放る。　【例】うまんかい　ひらう　てぃっづぃる（こっちにへらを放れ）。［類］ちゅー。

てぃっづぃ [tivvi]【動詞活用形】動詞「ちゅー（投げる、放る）」の連用形および命令形。　［類］てぃっづぃる。

てぃっづゃーがらーす [tivv-ja:gara:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］放り投げる、すてる。　［変異］てぃっづゃーがらす、てぃっづゃがらーす、てぃっづゃがらす。［類］てぃっづぃーすてぃ。

てぃっづゃーがらす [tivv-ja:garasɨ]【動詞】［s/h 語幹］放り投げる、すてる。　［変異］てぃっづゃーがらーす、てぃっづゃがらーす、てぃっづゃがらす。［類］てぃっづぃーすてぃ。

てぃっづゃがらーす [tivv-jagara:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］放り投げる、すてる。　［変異］てぃっづゃーがらーす、てぃっづゃーがらす、てぃっづゃがらす。［類］てぃっづぃーすてぃ。

てぃっづゃがらす [tivvjagarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］放り投げる、すてる。　［変異］てぃっづゃーがらーす、てぃっづゃーがらす、てぃっづゃがらーす。［類］てぃっづぃーすてぃ。

てぃなー [tina:]【名詞】［C］魚の一本釣り、手縄。　【例】てぃなーや　ひ

ー　っぞぅー　つー（一本釣りで魚を釣る）。

てぃぬ [tinu]【助詞】〖接続助詞〗引用表現を名詞修飾表現にする、「との」、「という」[「てぃー＋ぬ」であるが通常「てぃー」は「てぃ」と発音される]；「～としての」。【例】なうてぃぬ　ばーが（どういうことだ）。からー　つむたみやいば　つむでぃてぃぬ　くとぅーにゃーん（彼は冷静な人だから怒るということはない）。やーまんな　おもとだけてぃぬ　たかやまぬどぅ　あい（八重山には於茂登岳という高い山がある）。あてぃがー　っづぁー　いかいんてぃぬ　ばーな（じゃあ、お前はいけないというのか）。まさいや　くとぅすんな　そつぎょー　あすがまたてぃぬ　くとぅな（マサイは今年には卒業するということですか）。こーちょーてぃぬ　はなっそぅ　あすたい（校長としての話をした［＜挨拶した］）。あざちょーてぃぬ　くとぅーひー　うぐなーいんかい　いでぃたい（字長として集会に参加した［＜字長ということで］）。

てぃび [tibi] ①【名詞】［A］お尻。【例】やーんな　てぃびゃー　つかん（家には尻をつかない［＞落ち着きなくいつも外に出歩く］）。②【名詞】［A］後ろ;（家の）裏、後ろ、後方、（鍋の）底。【例】てぃび　にー（積み荷が後ろの方が重くバランスが良くないこと）。てぃびんかいぬ　ふつ（後ろ向き）。つんぬ　てぃびゃー　まいや　ひー　つー（服を後ろを前にして着る）。てぃびんかいどぅ　はーかい（一歩前進二歩後退）。てぃびゅーぎゃー　みーだ　まいゆたーな　みー　あいき（うしろは見ないで前だけ見て歩きなさい）。やーぬ　てぃびんどぅ　かふーぬ　あい（家の裏に家庭菜園がある）。なびぬ　てぃびぬんーぬ　とぅい　ふぁう（鍋の底の芋を取って食べる）。

てぃび　ふっず [tibi fuzzɨ]【成句】［zz/dd 語幹］他人の気に障ることを言ったり、したりする。【例】からー　むいとぅぬ　てぃび　ふっずんまり（あいつやたらと悪さをするやつだ）。っづぁー　なうばいぬ　ひとぅぬ　てぃび　ふっじゃが（お前は何でそんなに人の気に障ることを言うのか［＜どんな、ひとの気に障る人なのか］）。［類］てぃび　ふっでぃ、ばた　ふっず。

てぃび　ふっでぃ [tibi fuddi]【成句】［母音語幹］他人の気に障ることを言ったり、したりする。［類］てぃび　ふっず、ばた　ふっず。

てぃびがる [tibigaru] ①【名詞】腰の落ち着かない人、尻軽。【例】てぃびがる　みどぅん（尻軽女）。②【形容詞】腰の落ち着かない。【例】くぬ　みどぅんがどぅ　てぃびがるかい（この女の方が尻軽だ）。

てぃびぐー [tibigu:]【名詞】お尻。【例】かぬ　みどぅんぬ　ほぅてぃびぐ

ーゆ　みーみーる（あの女の人の大きなお尻を見てみなさい）。

てぃびぐーぶに [tibigu:buni]【名詞】坐骨。　【例】てぃびぐーぶにゃーぶりーにゃーん（座骨を折った）。

てぃびたい [tibitai]【名詞】臀部、お尻からっ太ももの部分。　【例】ほぅてぃびたい（大きなお尻）。

てぃびぬ　つーふぁやがま [tibinu tsi:fajagama]【成句】末っ子［豚の子で一番小さい子（末っ子）は一番後ろの乳を飲むため。人間でも末っ子が最後の母乳を飲むことから末っ子のこともさす］。【例】てぃびぬ　つーふぁやがまー　あまいふだー（末っ子はよく甘える）。

てぃびぬん [tibinun]【名詞】お尻の穴：お尻。　［類］ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、てぃびるん、てぃーるん、てぃーぬん。

てぃびふっでぃむぬ [tibifud-dimunu]【名詞】（鍋の底に）へばりついた食べ物。　【例】なびぬ　そぅくぬてぃびふっでぃむぬーぎゃー　くるずてぃどぅ　あい（鍋の底の残り物のことをクルズと言う）。

てぃびほぅぎばーき [tibi-hugiba:ki]【成句】後ろの穴の開いた竹籠　［稼ぎはするが浪費が強いことのたとえに使う］。【例】てぃびほぅぎばーきんな　みっじゃ　たまらん（竹籠には水は溜まらない）。うぬきゃがっざー　てぃびほぅぎばーき　やいば　なんとぅが　うやきんな　ならいん（彼らの父親は稼ぐが浪費癖があるので全然裕福にはなれない）。

てぃびほぅきゃ [tibihukja]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。　［変異］てぃびふきゃ。［類］てぃびほぅぎゃ、てぃびほぅちゃ。

てぃびほぅぎゃ [tibihugja]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。　［変異］てぃびふぎゃ。［類］てぃびほぅちゃ、てぃびほぅきゃ。

てぃびほぅちゃ [tibihutɕa]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。【例】うりゃー　てぃびほぅちゃ　やいば　いつがみまい　うむくとぅー　いでぃん（彼は前にやったことを学習しないからいつまでたっても知恵がつかない）。［変異］てぃびふちゃ。［類］てぃびほぅぎゃ、てぃびほぅきゃ。

てぃびゃー　つかん [tibja:tsikan]【成句】居座らない、落ち着いていない。　【例】いそぅがすかいががら　うぬ　みどぅんな　やーんな　てぃびゃー　つかん（忙しいのかその女性は家には落ち着いていない）。

てぃびゃーい [tibja:i]【名詞】後ろから、一緒に。　【例】やらびゃー　い

つまい　んまぬ　てぃびゃーい　まーい（子供はいつも母親の後ろについてまわる）。［変異］てぃびゃーうい。

てぃびゃーうい [tibja:ui]【名詞】後ろから、一緒に。　［変異］てぃびゃーい。

てぃびゃーまい [tibja:mai]【成句】後ろにあるべきものが前に来ていること、後ろ前。　【例】っづぁが　つんぬ　つーかたー　てぃびゃーまい（あなたの服の着方は後ろ前だ）。

てぃびゅー　ほぅがす [tibju: hugasɨ]【成句】秘密をばらす、秘密がばれる。【例】まーぬ　てぃびゅーぎゃー　ほぅがすな（そんなすぐばれる嘘を言うな［＞見え透いた嘘をつくな］）。っづぁが　てぃびゃー　いつまい　ほぅがはいどぅーい（お前の嘘は見え透いている）。

てぃびら [tibira]【名詞】［C］手のひら。

てぃびるん [tibirun]【名詞】お尻の穴；お尻。　［類］ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、てぃびぬん、てぃーるん、てぃーぬん。

てぃふず [tifuzɨ]【名詞】［C］手首。　［変異］てぃーふず。

てぃまー [tima:]【名詞】［C］手間賃。　【例】ひでぃまー（日当）。ひでぃまーびとぅ（日当で働く人）。たかだい　でぃまー（高い賃金）。

てぃまーぶい [tima:bui]【名詞】手間賃での稼ぎ。

てぃまさり [timasari]【名詞】器用（な人）。　［類］てぃまさりゃ。

てぃまさりゃ [timasarja]【名詞】器用（な人）。　【例】むぬちゅふー　じゃうず　てぃまさりゃ（物を作るのが上手なひと、器用な人、あるいはそのこと）。［類］てぃまさり。

てぃむちゃー [timutɕa:]【名詞】てきぱき仕事ができない人、仕事が遅い人。　【例】かりゃー　てぃむちゃーやいば　すかまー　ぬーがらん（彼は仕事が遅いから仕事がはかどらない）。

てぃらじゃ [tiraʑa]【名詞】［C］〖貝〗巻貝の一種。　【例】てぃらじゃぬ　みーゆ　とぅい（巻貝の身を取る）。

てぃん [tin]【名詞】［A］天。　【例】てぃんぬ　んˀむまい　きーぬ　んˀむまい　ゆぬ　んˀむ（天の雲も木の蜘蛛も同じ「くも」だ）。てぃんぬ　あかぶす（金星）。

でぃん [din]【名詞】［B］お金。　【例】ばー　でぃんな　にゃーん（私はお金がない）。でぃんぬ　まうきが（金を稼ぎに（行こう））。でぃんふぁや（金のかかる人）。かりゃー　ばくちゃーひー　でぃんな　はーさ　うどぅきーにゃーん（彼はばくちで大金をなくした）。ばくちゃー　ひー　でぃんぬ　まうきかたう　ならーひー　ふぃーさまてぃ（ばく

ちでお金を儲ける方法を教えてください)。

てぃんくーとぅんま [tiŋkuː-tumma]【副詞】全然。【例】でぃんな　てぃんくーとぅんま　むちゃん（お金は全然持っていない)。

でぃんぐり [diŋguri]【名詞】両替すること、金回りが厳しいこと。【例】ぎんこーんきー　でぃんぐり　ほぅでぃ（銀行に行って両替しよう)。

てぃんじゃう [tinʑau]【名詞】天井。【例】てぃんじゃうゆ　みーる（天井をみなさい)。んきゃーんな　てぃんじゃうから　さぐなう　さぎー　みっじゃ　ばかほぅーたい（むかしは　天井からほら貝を下げて水を沸かしていた)。

てぃんたうがなす [tintauganasi]【名詞】天の神様。【例】にんぎんぬんぬっちゅ　てぃんたうがなすぬ　まか（人間の命は天の神様のみぞ知る［＜神様しだいだ])。

てぃんどー [tindoː]【接尾辞】動詞基本形について伝聞を表す、～そうだ、～らしい　［動詞は省略することができる]。【例】かりゃー　きゅーや　うつなーんかい　てぃんどー（彼は、今日は沖縄に行くらしい)。［変異］てぃんど。［類］ちゃ。

でぃんぬ　たにゃー　にゃーん [dinnu tanjaː njaːn]【成句】お金は直ぐになくなる　［＜お金の種はない]。【例】ぱちんこんかい　いつてぃがー　でぃんぬ　たにゃー　にゃーん（パチンコに行くと直ぐにお金がなくなる)。

てぃんぬたか [tinnutaka]【名詞】天の高さ。【例】でぃんな　てぃんぬたか　ありーどぅー（お金は天の高さほどある（＞たくさんある))。

てぃんばう [timbau]【名詞】虹。【例】あみがまぬ　っふぃー　てぃんばうぬ　いじゅー（小雨が降って降って虹が出ている)。

てぃんぱな [timpana] ①【名詞】おてんば。【例】かぬ　てぃんぱなー　むぬいかいばならん（あのおてんばはよくしゃべる)。②【形容詞】おてんばな、おてんばだ。【例】かぬ　てぃんぱな　みどぅんな　いばいかいば　ならん（あのおてんば女はよく威張る)。

てぃんびー [timbiː]【名詞】女性の自慰行為。

でぃんびつ [dimbitsɨ]【名詞】博打。【例】でぃんびっちゅぎゃー　ほぅん（博打はしない)。

てぃんぷら [timpura]【名詞】天ぷら。昔は天ぷらの衣だけをあげていたが、最近は魚の天ぷらなども指す。

てぃんまら [timmara]【名詞】自慰行為。【例】てぃんまらーひー　しるー　いだす（自慰行為で精液を出す)。

テント [テント]【名詞】[C] ビニールシート［キャンプなどで使うものではない。米軍からの払い下げのテントを地面に敷くビニールのようにして使った。「あーったつばう」を使って粟の殻などを取るときに使う］。

と

とー [to:] 【感動詞】終わり、十分という掛け声。 【例】んめ　とーとー、さきゅーぎゃー　んめ　つがだうり（もう十分、酒をもう注がないでくれ）。

どー [do:] 【終助詞】相手が知らないと思えることを述べる終助詞、「よ」、「だよ」。 【例】うらー、あらんどー（それは違ってるよ）。ばが　はなっさ　うさきひー　うわいどー（私の話はこれで終わりだよ）。ひとぅんかい　てぃーゆぎゃー　にゃーらんどー（人に手を出して（叩いて）はいけないよ）。

とう [tu] 【助詞】〖格助詞〗共同格を表す、「と」。 【例】ういとぅ　くいとぅー　ゆぬむぬ（それとこれとは同じだ）。うぬきゃが　ふたーいや　いつまいいんとぅ　まゆ（彼ら二人はいつも犬猿の仲だ）。

どう [du] 【助詞】〖焦点助詞〗（名詞＋助詞、動詞連用形、形容詞語幹、形容詞＋フ、副詞、述語としての名詞について）焦点や強調を示す。【例】ういがどぅ　んながーんな　じゃうかい（それが一番いい）。ばー　ういびとぅ　ふたーいぬ　からがいゆどぅ　ひーゆー（私は年寄り二人の面倒を見ている）。ういまいどぅ　じゃうかい（それもいい）。からー　んなま　すかまう　ひーどぅー　［＜　ひーどぅ　うい］（彼は今しごとをしている）。ばが　とぅっじゃ　ばかかいきゃー　あぱらぎどぅ　あたい（私の妻は昔はきれいだった）。ばが　ばきだまー　んーなんつきゃー　はーさふだー（私の分け前はほかの人より多い［はーさふだー　＜はーさふどぅあい］）。A：かまんな　たるがどぅ　うい？　B：かにがどぅ　うい（A：向こうには誰がいるの？　B：カニ（人名）がいる）。はやまりどぅ　いかだかーならん（早めに行かないといけない）。ばが　っざー　いんしゃーどぅ　あたい（私の父親は漁師だった）。んまむぬまいだーい［＜　んまむぬまい＋どぅ＋あい］（うまくもぞある　＞　うまいなあ）。

どう [du] 【成句】「どぅー（焦点助詞「どぅ」＋「うい」）」の変異形、前に付く動詞連用形が長音になるときは「どぅー」でなく、「どぅ」になることも多い。 【例】ぬーまん　ひんがい　つむー

だりーどぅ（馬に逃げられて気落ちしている［＜つむー　だりーどぅー］）。

とぅー [tu:]【名詞】［A］〖数詞〗十。

とぅー [tu:]【動詞】［b 語幹］［A］飛ぶ。　【例】たっづゃー　ゆなかどぅ　とぅー（蛍は夜中に飛ぶ）。とぅいぬ　とぅー（鳥が飛ぶ）。

とぅー [tu:]【名詞】［C］海洋、大海原。　【例】ふにゃー　とぅー　ほぅとぅーんかい　いでぃたい（船は大海原に出た）。［類］とぅなか。

とぅー [tu:]【助詞】〖接続助詞〗節を取って条件節を作る、「と」、「たら」、「れば」、「なら」［事実条件「～てみると」も、仮定条件も可能、「もし～たら；節を取って名詞節を作る、「～の」。【例】んみゃひー　でぃんぬ　あいとぅー　みゃーっさひー　うらいたいはず（もっとお金があったら楽に暮らせたはずだ）。かまぬ　かどぅー　まがいとぅー　まっちゃぬ　あいば　かうゆ　かいー　んみゃてぃ（あそこの角をまがったら店がありますから、お香を買ってきてください）。すとぅむてぃ　うきとぅー　すぐ　ぬーまぬ　っさ　かいが（朝起きたら直ぐに馬の草刈りに（行く））。ばが　つふとぅー　かいどぅ　あたい（私が聞いたのはこうだった）。しーしーたが　あいとぅー　あいや　あらんちゃ（先生たちが言うにはそうじゃないって）。［類］てぃがー、そぅー。

どぅー [du:]【代名詞】［C］自分［コンテクストにより話者（単数、複数）、相手（単数、複数）をさすことができる。他の代名詞と異なり、属格、主格は「ぬ」を取る］通常聞き手も含む。聞き手を含まないときは「ばんてぃ、ばんた」が使われる。　【例】どぅーぬ　すま（我々の村［聞き手も含む］）。どぅーぬ　やー（私たちの家［家族同士で話すとき］）。どぅーぬ　ほぅだかー　たるがどぅ　あすがまた。（我々がやらなければ誰がやるのか）。やらび　つかいや　どぅー　つかい（子供使いは自分使い［＜能力のない物に仕事を任せると責任は自分に回ってくる］）。

どぅー [du:]【名詞】［C］体格、体。【例】ほぅどぅー（大きな体格）。ういびとぅなりー　どぅーや　かなーん（年取って身体は思うように動かない）。きゅーや　あみゃー　っふぃー　どぅー　ぶがりむぬ（今日は雨が降って体がだるい）。どぅーや　むつじゃうず　あっそう（体の管理はしっかりしなさい）。

どぅー [du:]【接尾辞】（ほかの土地との）距離、間。【例】いらうどぅー（池間と伊良部との間）。たらまどぅー（自分たちの村と多良間との間［遠いことの比喩に使う］）。っさらどぅーゆ　かゆー（西原と平良の間を通う）。ぶとぅぬ　はたらっちゅぎゃー　ばらいどぅ　ふぁう、っふぁぬ　はたらっちゅぎゃー　なきどぅ　ふぁう、んまがぬ

はたらっちゃ　たらまどぅー（旦那の働きは笑って食べる。息子の働きは泣いて食べる。孫の働きは多良間との距離［＞遠い未来のことであてにならない］）。

とぅーい [tu:i]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（道を）通る。【例】ひとぬ　とぅーい　んっちゅぎゃー　つっじゃん（人の通る道はさえぎらない）。かまらすかいば　なうばいぬ　んまむぬまい　ぬどぅー　とぅーらん（かなしくて、どんなおいしいものも喉を通らない）。

とぅーい [tu:i]【名詞】［C］燈火、ランプ。【例】とぅーいぬ　さうず（ランプの掃除）。

とぅーかす [tu:kasɨ]【動詞】貫通させる、貫く。【例】いーひー　いちゃう　とぅーかす（錐で板を貫通させる）。やまー　とぅーかひー　とんねるー　ちゅっふ（山を貫通させてトンネルをつくる）。［類］とぅーつ、とぅーす。

どぅーかつ [du:katsɨ]【名詞】自分自身の垣、自分自身を守るもの。【例】でぃんな　にんぎんぬ　どぅーかつ（お金は人間を守るものだ）。

とぅーきみん [tu:kimin]【成句】良く聞こえる耳（の人）、地獄耳。【例】かぬ　ういびとぅぬ　みんな　やぐみ　とぅーきみん　やいば　なうばいぬ　みそぅか　むぬいがまうまい　つふどぅす（あの年寄りの耳はよく聞こえるのでどんなひそひそ話でも聞きとる）。

どぅーぐり [du:guri]【形容詞】気まずい。【例】うるー　つふむぬー　どぅーぐりかいばならん（それを聞くことは気まずくてならない）。かりゃー　どぅーぐりんまり（彼はやり難い奴だ）。かいんかいや　どぅーぐりかいば　むぬっじゃいん（彼には気まずい思いがあるので喋り難い）。

どぅーじゅー [du:ʑu:]【形容詞】体が丈夫な、体が丈夫だ、体力がある。【例】かりゃー　やぐみ　たや　どぅーじゅー　びとぅ（彼は力の強い強健な身体の持ち主だ）。

とぅーす [tu:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（穴を）あけて貫通させる（穴に糸などを）通す。【例】うまん　あなう　あきー　とぅーす（ここに穴を開けて貫通させる）。はいぬ　みーんかい　いとぅー　とぅーす（針の穴に糸を通す）。［類］とぅーつ、とぅーかす。

とぅーずき [tu:ʑɨki]【動詞】［母音語幹］届ける、（願いなどが）届く、伝わる。［変異］とぅーずふ、とぅーずつ。

どぅーすたい [du:sɨtai]【形容詞】気だるい。【例】きゅーや　どぅーすたいかいば　ならん（今日は気だるくてしかたがない）。

とぅーずつ [tu:ʑɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］届ける、（願いなどが）届く、伝わる。【例】くるー　ばが　っふぁんかい　とぅーずきー　ふぃーさまてぃ（これを私の子供に届けて下さい）。きゅーぬ

にがいや　かんがなすんかい　とぅーずきーどぅー（今日の祈願は神様に届いている）。［変異］とぅーずふ。［類］とぅーずき。

とぅーずふ [tu:zɨfu]【動詞】[k 語幹] 届ける、（願いなどが）届く、伝わる。［変異］とぅーずつ。［類］とぅーずき。

とぅーずん [tu:zɨn]【名詞】石油ランプの芯、（ダイナマイトの）信管。【例】だいだまぬ　とぅーずんかい　うまっちゅ　つきー（ダイナマイトの信管に火をつける）。

とぅーつ [tu:tsɨ]【動詞】[k 語幹] [C]（穴を）あけて貫通させる；（穴に糸などを）通す。［変異］とぅーふ。［類］とぅーす、とぅーかす。

とぅーふ [tu:fu]【動詞】[k 語幹] [C]（穴を）あけて貫通させる；（穴に糸などを）通す。［変異］とぅーつ。［類］とぅーす、とぅーかす。

どぅーむつ [du:mutsɨ]【名詞】自己管理能力。【例】どぅーむつ　じゃうず　びぃとぅ（自己管理が上手な人、世渡り上手）。どぅーむつ　っちゃー　っさん（体の管理の仕方を知らない［「っちゃー」は「方法」を意味する接尾辞］）。かりゃー　いつまい　さきゃー　ぬみー　どぅーむつっちゃー　っさん（彼はいつも酒を飲んで自己管理の仕方を知らない）。

どぅーやす [du:jasɨ]【形容詞】安易な、容易な；身軽な。【例】うい　あっさ　どぅーやすむぬ（それをやることは簡単なことだ）。どぅーやす　びとぅ（すぐ機敏に動く人）。どぅーやす　すかま（簡単な仕事）。

とぅい [tui]【動詞】[r/rr 語幹] [C]（連用形は「とぅい」または「とぅり」）、（ものを）取る、（他人のものを）盗む、（魚や貝を）採る、（席を）とる。【例】うるー　とぅらでぃ（それを取ろう）。うりゅーぎゃー　かまんかい　とぅいー　ゆっじゃし（これは向こうに取って寄せろ）。なまっそぅ　とぅいー　ふぁい（刺身を取って食べなさい）。たかう　とぅい（鷹を捕獲する）。つくえぬあーぎぬ　むぬー　とぅいくー（机の上のものを取ってこい）。ひとぅぬ　むぬー　とぅいや　ならん（人のものを盗ってはいけない）。しな　とぅいが　まうきゃーいんかい　いかでぃ（はまぐりを取りに前の海（大浦湾）に行こう）。ばが　たまうまい　びーどぅくまう　とぅい　うっきゅーき（私の分も席を取っておけ）。

とぅい [tui]【動詞】[r/rr 語幹] [C]（連用形は「とぅい」または「とぅり」）（写真を）撮る。【例】しゃしんぬ　とぅい（写真を撮る）。あてぃ　うどぅるっちゃーひー　まずむぬん　たまっさ　とぅらいーにゃーん（余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた）。

とぅい [tui]【名詞】[B] 干支。 【例】くとぅすぬ　とぅいや　なうどぅ　あた（今年の干支は何だった）。

とぅい [tui]【名詞】[B] 鳥。 【例】びきどぅい（雄鶏）。みーどぅい（雌鶏）。にぶいどぅい（寝ぼけた鶏［＞間違って時を告げる鶏］）。とぅいぬ　はにがい（鳥の翼）。とぅいぬ　すー　やーがま（鳥の巣の様な小さな家）。

とぅいかいす [tuikaisɨ]【動詞】[s/h 語幹] 取り返す。 【例】ばかーいーやー　むぬー　とぅいかいす（奪われたものを取り返す）。

とぅいがますだしゃ [tuigamasɨ-daça]【名詞】〖貝〗タイラギ貝。

とぅいしゃう [tuiçau]【名詞】スケベな人。

とぅいたいつき [tuitaitsɨki]【動詞】[母音語幹]（人、動物や物を）取って投げる。 【例】ばー　べんきょーや　あすっふぁにゃーんば　ほぅんぬぎゃー　とぅいたいつきすてぃる（俺は勉強なんかしたくないから本なんか放りすててくれ）。

とぅいてぃっづぃ [tuitivvi]【動詞】取って投げる。 【例】はくほーや　ことしょーぎくー　とぅいてぃっづぃー　すてぃーにゃーん（白鵬は琴奨菊を取って投げた）。

とぅいどぅくま [tuidukuma]【名詞】取り柄。 【例】かりゃー　とぅいどぅくまー　にゃーん（彼は取り柄がない）。

とぅいはっじゃつ [tuihaʑʑatsɨ]【動詞】[k 語幹] 取り損なう。 【例】とぅいはっじゃきーにゃーん（取りそこなった）。[変異] とぅいはっじゃふ。

とぅいはっじゃふ [tuihaʑʑafu]【動詞】[k 語幹] 取り損なう。 [変異] とぅいはっじゃつ。

とぅいまい [tuimai]【名詞】取り分、分け前。 【例】ばが　とぅいまいやにゃーん（私の取り分はない）。[類] たま、ばきだま、っじだま。

とぅいまつ [tuimatsɨ]【名詞】鳥の舞う群れ。 【例】とぅいまつぬ　すたんどぅ　かっちゅー　うい（鳥の舞う群れの下にカツオはいる）。

とぅいまやーす [tuimaja:sɨ]【動詞】取って（宙に浮かせて）投げる。 【例】はくほーや　ことしょうぎくー　とぅいまやーひーにゃーん（白鵬は琴奨菊を取って投げた）。とぅいまやーはいにゃーん（取って投げられた）。

とぅいみ [tuimi]【名詞】[A] 鳥目、夜盲症、夜盲症の人。 【例】とぅいみゃー　ひー　ゆなかー　むぬー　みーらいん（夜盲症で夜中はものが見えない）。とぅいみんな　ゆなかー　むぬー　みーらいんちゃ（夜盲症には夜中には物が見えないんだって）。

とぅいむす [tuimusɨ]【名詞】抱卵中の鶏につく小さな虫。 【例】とぅぬかう すだほぅー とぅいんな とぅいむすぬどぅ つふ（卵を抱いている鶏には虫がつく）。

とぅか [tuka] ①【名詞】［B］（名詞の）決めた通り、やる通り、次第；「動詞基本形＋ぬ/が（どぅ）＋とぅか」の形で、～の方がいい。 【例】かんぬ とぅかどぅ ひらいー（神様の決めた通りにやる）。うらー っづぁが とぅか（それは あなた次第）。ふにひー いつんつきゃー ひこーきひー いつがどぅ とぅか（船で行くより飛行機で行く方がいい）。 ②【名詞】［A］「とぅか」の前に「動詞否定形＋「が」または「ぬ」」がついて「～ない方がいい」という意味を表す［「が」「ぬ」は省略も可。さらに「がどぅ とぅか」、「ぬどぅ とぅか」でもよい。］。【例】あいぬ くとぅーぎゃー っさんが とぅか（そんなことは知らぬ方がいい）。ふぁーんが とぅか（食べない方がいい）。

とぅか [tuka]【名詞】［A］〖数詞〗十日。 ［変異］とぅーか。

とぅが [tuga]【名詞】［C］咎、罪。【例】かりゅーぎゃー んみつな、かいんな なうぬ とぅがまい にゃーん（彼を叱るな、彼には何の罪もない）。

とぅがい [tugai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］尖がる。 ［類］とぅんず、とぅんでぃ。

とぅがい [tugai] ①【動詞】［母音語幹］［C］尖がる。 ［類］とぅんず、とぅんでぃ。②【動詞】［r/rr 語幹］［C］（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。［類］とぅんず、とぅんでぃ。②【動詞】［母音語幹］［C］（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。［類］とぅんず、とぅんでぃ。

とぅがい [tugai]【名詞】［C］岬、土地の先端部分。 【例】かまぬ とぅがいん っぞぅー つーたい（向こうの岬で魚を釣った）。んなー っしぬ とぅがいんどぅ はーさ ういー（サザエはリーフの先端にたくさんいる）。

とぅかきん [tukakin]【名詞】〖魚〗イソマグロ。 【例】んˀぬ とぅかきんぬ っちゃいー うたい（昨日、イソマグロが釣れた）。きたてぃ がばー とぅかきん（とても大きな磯マグロ）。

とぅかさうずばり [tukasauzɨbari]【名詞】〖祭礼〗生後 10 日頃の魔除、出産祝い。 ［類］さうずばり。

とぅがん [tugan]【動詞】［m 語幹］［C］咎める、非難する。 【例】ひとぅーぎゃー まーぬ とぅがまん（他人をあまり非難してはならない）。ばいさう あすてぃがー っふぁんまがたーひーまい とぅがまいどぅす（悪事を働いたら子孫代々まで非難される）。

とぅかんてぃ [tukanti]【名詞】〖祭礼〗出産祝（出産後 10 日目頃に行う）。

とぅきゃ [tukja]【名詞】［C］時。【例】なんあらとぅきゃんな　いんかいや　いかん（波の荒いときには海には行かない）。あみふーどぅきゃ（雨降りの時）。いつとぅきゃ（行く時）。すんとぅきゃ（死ぬとき）。やらびぬ　なつたい　とぅつんな　ぎっじゃ　ひらいん（子供が泣いた時にはどうしようもない）。［類］とぅつ。

どぅきゃ [dukja]【名詞】［C］生まれつき皮膚の白い人、アルビノ。【例】どぅきゃびとぅー　っそぅびとぅ（アルビノの人は白い）。

とぅくっとぅ [tukuttu]【名詞】静かにしていること、おとなしくしていること。【例】うぬびき　やらびゃー　とぅくっとぅぎゃー　ほぅん（この男の子はおとなしくしていられない）。とぅくっとぅーひー　びじー　うり（静かに座っておけ）。

とぅくぬ [tukunu]【名詞】［B］土地、敷地。【例】やーふつどぅくぬ（家を建てる土地）。

とぅくぬだみ　にがい [tukunudami nigai]【名詞】〖祭礼〗家屋敷を繁盛させるための祈願。

とぅす [tusɨ]【名詞】［B］砥石。【例】いすぬまらー　とぅすんまい　ないどぅす（土が硬くなり石になったものは砥石にもなる）。とぅすひー　っざらう　とぅず（砥石で鎌を砥ぐ）。

とぅす [tusɨ]【名詞】［B］年齢、年。【例】とぅっさ　いふつ（年齢はいくつか）。とっそぅ　くい（年を超える）。とぅすかず　はだかず（年年歳歳）。とぅっさ　とぅいー　ういびとぅ　なりーどぅー（年を取って年寄りになっている）。

とぅず [tuzɨ]【名詞】［A］妻。【例】さつぬ　とぅず（先妻）。とぅっじゅ　とぅみー（妻を探す＞結婚する）。ばー　とぅっじゃ　みーん（私は妻はいない＞独身です）。とぅずとぅみゃー　ひー　うい（結婚相手を探している）。

とぅず [tuzɨ]【動詞】［g 語幹］［C］研ぐ。【例】っざらう　とぅすひー　とぅず（鎌を砥石で研ぐ）。

とぅず [tuzɨ]【名詞】［C］刺。【例】さるかぬ　とぅず（サルカの刺）。

どぅす [dusɨ]【名詞】［C］友達。【例】んˀぬ　すーたい　どぅっそぅ　やーんかい　さーりったい（昨日知り合った友達を家に連れてきた）。どぅす　びらい（友達にいろいろな送りものをすること）。

どぅす [dusɨ]【助動詞】動詞基本形に付いて述語に焦点を当てる表現、「だよ」［「どぅ（焦点助詞）＋あす（する）」の縮約形］。

とぅずあす [tuziasɨ]【動詞】妻にする。【例】まさいや　かなっそぅ　と

ぅずあすたい（マサイはカナスを妻にした）。

とぅすかず　はだかず [tusikazi hadakazi]【成句】毎年毎年、年年歳歳。【例】とぅすかず　はだかず　がんじゅーや　ひー　うらまてぃ（いつもいつもお元気でいらっしゃって下さい）。

とぅずっふぁ [tuziffa]【名詞】妻子。【例】ばー　とぅずっふぁうぎゃー　やぐみ　かなす（私は妻子をとても愛おしく思っている）。

とぅすぬ　くー [tusinu ku:]【成句】年の功。【例】かみぬ　くーんつきゃー　とぅすぬ　くー（亀の甲より年の功）。

どぅすぬ　はな [dusinu hana]【成句】友達の中の一番。【例】びきどぅん　やらばん　みどぅん　やらばん　あぐぬはな　どぅすぬ　はなひー　とぅゆまだかーならん（男性であろうが女性であろうが同級生達、友達の花として頑張らないとならない）。

とぅすびー [tusibi:]【名詞】生まれた干支の年。【例】くとぅっさ　どぅーぬ　とぅすびー（今年は私たちの生まれた干支の年だ）。

とぅずぶとぅ [tuzibutu]【名詞】夫婦。【例】かぬきゃが　ふたーいや　とぅずぶとぅん　ないがまたちゃ（あの二人は夫婦になるんだって）。

とぅずぶとぅばかーい [tuzibutubaka:i]【成句】離婚（夫婦別れ）。［変異］とぅずぶとぅばきゃーい。

とぅずぶとぅばきゃーい [tuzibutubakja:i]【名詞】離婚（夫婦別れ）。【例】とぅずぶとぅばきゃーいや　ひー　まーいかたー　にゃーん（離婚して八方ふさがりだ）。　ばがぶとぅ　あたいひとぅ　ばぬー　あてぃくとぅ　しつきゅーたいばどぅ　とぅずぶとぅばきゃーい　あすたい（私の夫だった人はあまりにも私を怒ったので離婚した）。［変異］とぅずぶとぅばかーい。

とぅずます [tuzimasi]【動詞】［s/h 語幹］終了する、完成する。【例】くまぬ　すかまうぎゃー　きゅーぬちゃん　とぅずまはだかー　ならん（ここの仕事は今日中に終えないとならない）。［類］とぅどぅます、とぅずみ、とぅどぅみ、とぅずん、とぅどぅん。

とぅずみ [tuzimi]【動詞】［母音語幹］［C］終了する、完成する。【例】くまぬ　すかまうぎゃー　きゅーぬちゃん　とぅずみでぃ（ここの仕事は今日中に終えよう）。［類］とぅずます、とぅどぅます、とぅどぅみ、とぅずん、とぅどぅん。

とぅずん [tuzin]【動詞】［m 語幹］［C］終了する、完成する。【例】やーふっちゃ　きゅーんな　とぅずまいん（家づくりは今日には終了できない）。［類］

とぅずます、とぅどぅます、とぅずみ、とぅどぅみ、とぅどぅん。

とぅつ [tutsɨ]【名詞】[C] 時。 [類] ときゃ。

とぅっふや [tuffja]【名詞】[C] 慌て者。 [類] ちゃーふきゃ、かかみきゃ、とぅとぅっふや。

とぅどぅか [tuduka]【形容詞】[B] (人が) おとなしい、静かな、(海などが) 静かな。 【例】とぅどぅか やらび (おとなしい子供)。きゅーぬ いんな とぅどぅか いん (今日の海は静かな海だ)。

とぅとぅっふぁす [tutuffasɨ]【動詞】[s/h 語幹] はやし立てて何かやらせる。 【例】かいん ぶどぅいや とぅとぅっふぁはいー だりどぅ うたい (あいつに踊りを (しろと) 囃子立てられて疲れた)。

とぅとぅっふぃ [tutuffi]【副詞】一目散に。 【例】ぶーっじゅ ぬすまっじゃうたい やらびんみゃー はいぬ ぬすん みちきらいー とぅとぅっふぃ ひんずたい (サトウキビを盗もうとしていた子供達は、畑の持ち主に見つかり一目散に逃げだした)。

とぅとぅっふや [tutuffja]【名詞】慌て者。 [類] ちゃーふきゃ、かかみきゃ、とぅっふや。

とぅどぅまい [tudumai]【動詞】(風などが) 一か所に留まる、止まる；終わる。 【例】かじゃー とぅどぅまりーどぅー (風は留まっている)。くまぬ すかまうぎゃー きゅーじゅーん とどぅまらはでぃ (この仕事は今日中に終わらせよう)。くるまう とぅどぅまらし (車をとめろ)。

とぅどぅます [tudumasɨ]【動詞】[s/h 語幹] 終了する、完成する。 【例】くまぬ すかまー きゅーひや とぅどぅまらはいんはず (ここの仕事は今日で終えることができないはずだ)。[変異] とぅずます。[類] とぅずみ、とぅどぅみ、とぅずん、とぅどぅん。

とぅどぅみ [tudumi]【動詞】[母音語幹] [C] 終了する、完成する。 【例】うやきゃー きた とぅどぅみ (裕福は桁に留め置く [家の富は桁のように家のなかに留めろということわざ])。[変異] とぅずみ。[類] とぅずます、とぅどぅます、とぅずん、とぅどぅん。

とぅどぅん [tudun]【動詞】[m 語幹] [C] 終了する、完成する。 [変異] とぅずん。[類] とぅずます、とぅどぅます、とぅずみ、とぅどぅみ。

とぅなか [tunaka]【名詞】[C] 海洋、大海原。 【例】ふにゃー とぅなかんかい いでぃー はりーにゃーん (船は大海原に出帆していった)。[類] とぅー。

とぅなみ [tunami]【動詞】[A] (数を) ならす；(土地を) 平らにする。 【例】

うまん　うるー　ひとぅんみぬ　とぅっそぅ　とぅなみてぃがー　にじゅーばかーい（そのにいる人の年を平均すると 20 ぐらいだ）。うまうぎゃー　とぅなみー　んなし（ここをなだらかにしなさい）。

とぅなみ [tunami]【名詞】［A］平均；平らなこと、またその様子。　【例】しーとぅぬ　せーせきぬ　とぅなみゃーさん（生徒の成績の平均は 3 だ）。うまー　とぅなみ　どくまびゃーい（ここは平らな土地かなー）。

とぅなら [tunara]【名詞】［C］〖植〗アキノノゲシ。　【例】とぅならー　んぎゃむぬ（秋ののげしは苦い）。

とぅぬか [tunuka]【名詞】［C］卵。　【例】うっじゃぬ　とぅぬか（うずらの卵）。すむいどぅぬか（巣籠の卵　［＞雛の孵らない卵］）。

とぅぬがなす [tunuganasɨ]【名詞】お殿様。

とぅぬかぬ　あかみー [tunukanu akami:]【成句】卵黄。

とぅぬぎ [tunugi]【動詞】［母音語幹］［A］飛び上がる、ジャンプする。　［類］とぅぬず（g 語幹）。

とぅぬず [tunuzɨ]【動詞】［g 語幹］［A］飛び上がる、ジャンプする；飛び越える。　【例】うまぬ　ばだうぎゃー　とぅぬぎー　ばたり（ここの溝はジャンプして渡れ）。たかま　とぅぬず（ジャンプするように走る）。うまう　とぅぬぎ（ここを飛び越える）。［類］とぅぬぎ（母音語幹）。

とぅぱ [tupa]【オノマトペ】（唾を吐くときの音）ペッ。　【例】つっじゅぎゃー　とぅぱてぃー　とぅぱつな（唾をペッと吐くな）。

とぅばす [tubasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］走る、疾走する。　【例】とぅばひー　まうきゃーぬ　ひとぅー　んがし（疾走して前の人を追い越せ）。

とぅぱつ [tupatsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（唾を）吐く。　【例】つっじゅぎゃー　とぅぱつな（唾を吐くな）。んじゃんまい　つっじゅぎゃー　とぅぱかん（どこにも唾を吐かない）。あかっちゅ　とぅぱちゅー（血を吐いている）。［変異］とぅぱふ、とぅぴゃつ、とぅぴゃふ。

とぅぱふ [tupafu]【動詞】［k 語幹］［C］（唾を）吐く。　［変異］とぅぱつ、とぅぴゃつ、とぅぴゃふ。

とぅびゃがい [tubjagai]【動詞】［r/rr 語幹］飛び上がる。　［変異］とぅびゃぎゃい。

とぅびゃぎゃい [tubjagjai]【動詞】［r/rr 語幹］飛び上がる。　【例】かりゅー　とぅびゃがりー　とぅい（あれを飛び上がって取れ）。［変異］とぅびゃがい。

どぅま [duma]【名詞】［B］土間。

とぅまい [tumai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］泊まる、宿泊する；（船が）停泊する。【例】ほてるんな　とぅまらだどぅすぬ　まいん　とぅまいたい（ホテルに泊まらずに友達のところに泊まった）。んなとぅんどぅ　ふにゃー　とぅまい（港に船は泊まる）。［類］とぅまい（母音語幹）。

とぅまい [tumai]【動詞】［母音語幹］［A］泊まる、宿泊する。［類］とぅまい（r/rr 語幹。

とぅまい [tumai]【名詞】［A］泊まり、泊まり込むこと。【例】うたきぬ　とぅまいがんにがい（御嶽における泊まり込みの願い）。

とぅまいいん [tumaiin]【名詞】泊まり込み漁［昔はフディ岩礁（大神島の 1 キロほど北東ある岩礁）まで行って泊まり込みで漁をしたという。そこには頑丈に積まれたた石垣の宿泊用屋敷跡があった。フディ岩礁までは手漕ぎのサバニで行くと一日かかる］。

どぅまっづぃ [dumavvi]【動詞】［母音語幹］戸惑う、迷う。【例】ばー　いじゅー　いらばでぃががら　どぅまっづぃーどぅー（私はどれを選ぼうか迷っている）。どぅまっづぃんまり（戸惑っている奴）。ばー　なうばい　ほぅでぃががら　どぅまっづぃー　さだかまい　ひらいん（私はどうするか迷っていて分からない）。ばー　どぅまっづぃどぅ　っづぁー　たるががら　っさいん（私は混乱してあなたが誰なのか分からない）。おい　どぅまっづぃんまり　っづぁー　なうゆどぅ　かんがいゆー（おい、うすらとんかち、お前は何を考えているんだ）。

とぅみ [tumi]【動詞】［母音語幹］［C］探す、捜す；見つける。【例】ぶとぅぬさきふぁやう　とみが　いつ（酒飲みの旦那を探しに行く）。ひとぅぬ　あらうぎゃー　とぅみん（他人の欠点は探さない）。とぅっじゅ　とぅみる（嫁になる人を探せ）。なうゆどぅ　とぅみーゆーが（何を探しているの）。すかまうぎゃー　はかうっちゃ　とぅみーあすばどぅ　ぬーがい（仕事を段取りを探してやれば捗る［＜段取りを考えて］）。ばー　うまん　たからむぬー　とぅみたい（わたしはそこで宝物を見つけた）。

とぅむ [tumu]【名詞】［C］船尾。【例】ふにぬ　とぅむ（船尾）。

とぅむ [tumu]【名詞】［C］〖祭礼〗とも　［うたきの用語、ウーンマに 1 人、アーグスンマに 1 人に付く、ナカバイにはつかない。］。【例】うーんまが　とぅむ（ウーンマのお供）。

とぅむーす [tumu:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］一緒に連れてくる、招待する；お供する。【例】ぶじゃう　とぅむーす（おじさんを一緒に連れてくる）。うやう

ゆーいんかい　とぅむーはでぃ（おじいさんをお祝いに招待する）。ういびとぅー　とぅむーひー　くー（お年寄りをお連れして来なさい）。［変異］とぅむす。

とぅやーす [tuja:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］問い合わす。【例】なうばい　なるーがてぃ　とぅやーひーみーる（どうなっているか問い合わせてみなさい）。

とぅゆみや [tujumja]【名詞】［C］〖人名〗仲宗根豊見親（なかそね　とぅゆみゃ）（西暦 1500 年に八重山に侵攻した）；優れ者。【例】とぅゆみゃー　ゆなうす　あす（豊見親は世直しする［＞指導者はいい世の中を作る（べきだ）］）。

とぅゆん [tujun]【動詞】［m 語幹］［C］響（とよ）む、鳴り響く、名高くなる。【例】どぅすぬ　はな　あぐぬ　はな　とぅゆみ（友達のなかの一番、同級生のなかの一番として成功しろ）。

とぅらす [turasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］［C］（借金などを）返す；渡す。【例】かいんかい　うっかう　とぅらす（彼に借金を返す）。かいん　いんかい　むぐらひー　っぞぅー　とぅらし（あいつに海に潜らせて魚をとらせろ［＞あいつを］）。かいん　くぬ　っぞぅー　むちーきー　とぅらし（彼にこの魚をもっていってわたせ）。②【補助動詞】［s/h 語幹］（動詞連用形について）～てやる。【例】くぬひゃーゆぎゃー　ひつきーとぅらし（この野郎を躾けてやりなさい）。

とぅらぬい [turanui]【名詞】寅の日。【例】きゅーや　とぅらぬい（今日は寅の日だ）。

とぅらぬは [turanuha]【名詞】寅（東）の方。

とぅらぬはでぃー [turanuhadi:]【名詞】東支部（西原東部）。

とぅり [turi] ①【動詞】［母音語幹］［A］風がなくて天気がおだやかになる、風や波がなくなる。【例】きゅーや　じゃう　なぎ、かじゃー　とぅりーどぅーい（今日は海が穏やかで、風は凪いでいる）。きゅーぬ　いんな　とぅりーどぅー（今日の海は穏やかだ）。あちゃー　とぅりん　はず（明日は天気が悪くなるはず）。あちゃー　とぅりてぃがー　みがにまーい　あすが（明日晴れたら素潜り漁に（行こう））。［類］とぅりー。②【名詞】［A］凪いでいること。【例】きゅーぬ　いんな　じゃうどぅりがま（今日の海は良い凪だ）。③【名詞】［A］天気がいいこと。【例】きゅーや　じゃうどぅり（今日は良い天気だ）。［類］とぅりー。

とぅりばい [turibai]【動詞】［r/rr 語幹］集中できずものが考えられない、仕事ができない、ぼんやりする。【例】ばー　みどぅんぬ　くとぅー　うむいどぅ　とぅりばりー　うたい（私は妻の

ことを思ってぼんやりしていた)。おい　とぅりばらだ　はやまり　すかまあっそぅ（おい　ぼんやりしないで早く仕事しなさい)。

とぅりばら [turibara]【名詞】ぼんやりしている者。【例】おい　とぅりばら　っづぁー　なうゆどぅ　ほぅー（このぼんやり者、お前は何をしているんだ)。

とぅりひぐい [turihigui]【名詞】冬の晴れた日に寒気がおそうこと、放射冷却。【例】きゅーや　とぅりひぐいや　ひー　っしかいばならん（今日は放射冷却で寒くてならない)。ふゆんな　とぅりひぐいぬどぅ　あい（冬には放射冷却がある)。きゅーや　とぅりひぐいや　ひーゆーば　いんぬ　っぞぅまい　すにゅー　はず　やいば　っそぅいが　いかでぃ（今日は底冷えしているから、海の魚も死んでいるはずだから拾いに行こう)。

どぅる [duru]【名詞】［B］泥、奴。【例】ふたてぃ　どぅる（馬鹿な奴)。

どぅるだり [durudari]【名詞】泥まみれ。【例】ぎずぎゃうな　やらびゃー　きゅーまい　どぅるだり（いたずら小僧は今日も泥だらけだ)。［類］どぅるびーた。

とぅるな [turuna]【名詞】［C］〖植〗アキノノゲシ。【例】とぅるなー　んぎゃむぬ（アキノノゲシは苦い)。

どぅるびーた [durubi:ta]【名詞】泥まみれ。［類］どぅるだり。

どぅるんた [durunta]【名詞】泥土。

とぅん [tun]【副詞】ぐるっと、即座に。【例】うまう　とぅん　まーり（ここをぐるっと回れ)。っさらん　いきー　とぅん　むどぅい（平良に行って直ぐに引き帰す)。

とぅんから [tuŋkara]【名詞】まだ結婚していない若者達が（男女別々に中学生くらいから）一緒に寝泊りすること。「とぅんからあぐ」は一生の友達となる。【例】とぅんからあぐ（一緒に寝泊りする友達)。とぅんから　やー（友達同士一緒に寝泊りする家)。

とぅんぎ [tuŋgi]【動詞】［母音語幹］［A］（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。

どぅんぎゃ [duŋgja]【名詞】［C］大きなマグロの群。【例】どぅんぎゃう　みーみーぶすむぬ（マグロの大群を見てみたい)。

とぅんくい [tuŋkui]【動詞】［母音語幹］飛び越える。【例】うまぬ　ばだうぎゃー　とぅんくいる（そこの溝を飛び越えろ)。

とぅんず [tunzɨ]【動詞】［g 語幹］［A］尖がる；（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）

外に出る。 【例】とぅんがらす（尖がらす）。［類］とぅがい。

とぅんず [tunzɨ] 【動詞】［zz/dd 語幹］［A］尖がる；（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。 【例】かいが ながうっそぅー とぅんじゅーい（あいつの後頭部は尖がっている）。かにふずぬどぅ とぅんじゅー（釘が突き出ている）。かいが てぃびるんな とぅんでぃーどぅー（あいつのお尻は突き出ている）。［類］とぅがい。

とぅんでぃ [tundi] 【動詞】［母音語幹］［A］尖がる；（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。［類］とぅがい、とぅんず。

とぅんでぃ [tundi] 【名詞】［A］冬至。

とぅんでぃさうがつ [tundis-augatsɨ] 【名詞】冬至正月、小正月［冬至正月は正月は１２月２０日ごろ行われる冬至の祝い、現在は干支を同じくする人たちの同期会のようになっている］）。 【例】とぅんでぃさうがつんな どーそーかいゆ あす（冬至には同期会をやる）。

とぅんびゃん [tumbjan] 【名詞】〖植〗竜舌蘭（リュウゼツラン）。 【例】とぅんびゃんな とぅずくぬどぅ あい（竜舌蘭には刺がある）。

とぅんま [tumma] 【助詞】〖副助詞〗～も、さえも。 【例】うりゃーとぅんまっさんな（それさえも知らないのか）。うらーとぅんま ひらいんな（それさえもできないか）。んなーぎゃー すかまー なからーとぅんま くーん（今のところ仕事は半分も来ていない）。っづぁんな とぅずどぅんま とぅみらいんな（お前には結婚もできないのか）。［類］どぅんま、とぅんな、ちゅんま、ちゅんな。

とぅんま [tumma] 【副詞】少しも変化しないこと強調する、（微動）さえ、だに（しない）。 【例】いんな むぬー ふぃーきゃたーひーや びーないや とぅんま ほぅだ むゆかん（犬は餌を与えるまでは微動だにせず動かない）。うまぬ やーや ないんまい びーないや とぅんま ほぅん（ここの家は地震でもびくともさえしない）。

どぅんま [dumma] 【オノマトペ】ドンと。 【例】うまん どぅんまてぃーうっき（そこにドンと置け）。

どきょー [dokjo:] 【名詞】［B］度胸。 【例】どきょーや にゃーんんまり（度胸のない奴）。

とっづぁずー [tovvazɨ:] 【名詞】〖地名〗真謝の北東辺り、船で１０分から１５分くらいのところにあるリーフの名前。

どんない [donnai] 【オノマトペ】どんどん。 【例】みっじゅぎゃー どん

ない　いりる（水はどんどん入れなさい）。どんない　ふぁい（どんどん食べなさい）。

どんま　どんま [domma domma]

【オノマトペ】どたんどたん。

な

な [na] 【助詞】〖終助詞〗動詞基本形について禁止の意味を表す。 【例】ふぁうとぅきゃんな　ふつならう　いだすな（食べるときにはくちゃくちゃ音をだすな）。うまん　なまいな（そこに止まるな）。

な [na] 【助詞】〖終助詞〗動詞基本形について、真偽疑問文を作る。【例】っうぁ　きゃうだいや　うりな（兄弟はいますか）。ういひー　じゃうぶんな（これで足りますか）。うらー　っうぁがむぬな（これはあなたのですか）。きょーとんかいや　いきゃー　くとぅ　ありどぅ　うらまいな（京都にいったことがありますか）。うぬ　まんごーやんまいどぅ　あたいな（このマンゴーはうまかったですか）。っうぁまい　いかでぃな（お前も行くのか）。

なー [na:] 【名詞】［B］名前。 【例】ばが　なーや　かに（私の名前はカニです）。ばが　なーゆぎゃー　まさいてぃどぅ　あい（私の名前はマサイと言います）。なーゆ　ならーひー　ふぃーさまてぃ（名前を教えてください）。

なー [na:] 【感動詞】〖応答詞〗聞き返すときに使う、なに、えっ。 【例】なー、なうてぃー（え、何だって）。なー、っうぁー　んなま　なうてぃどぅ　あいたー（え、君いまなんて言ったの）。

なー [na:] 【名詞】［B］縄。 【例】なーゆ　なう（縄をなう）。［類］んˀな。

なー [na:] 【接尾辞】名詞について、量を同じだけ割り当てることを表す、ずつ、だけ、ごと。 【例】たうかーなー　たうかーなー　ならーす（一人ずつ教える）。たうかーひー　ってぃつなー　とぅい（一人で一つずつ取れ）。ふたーつが　ゆいなーや　ひぬ　ゆたーいぬ　きょーだい（二つおきの４人の兄弟）。

なーぎ [na:gi] 【動詞】［母音語幹］［A］敬う。 【例】かんぬ　なーぎでぃ（神様を敬おう）。［類］なーず。

なーぎ　むぬい [na:gi munui] 【名詞】敬語。 【例】そぅじゃっそぅんかいや　なーぎ　むぬいゆ　あい（先輩には敬語を使う）。

なーす [na:si] 【動詞】［C］（太陽に芋を）晒す。 【例】んーぬ　なーす（太

陽に芋を晒す)。

なーず [na:zi] 【動詞】［g 語幹］［C］（人、神を）尊敬する、褒めたたえる。【例】とゆみゃー　たるからまい　なーがいどぅー（豊見親は皆から尊敬されている)。かんがなっそぅ　なーぎーうい（神様をたたえている)。［類］なーぎ。

なーすたらしゃ [na:sitaraça] 【名詞】名を下げる人、一家の恥。

なーどぅ [na:du] 【代名詞】［C］〖再帰代名詞〗「なら」の複数形、自分たち［主語が 1 人称なら「私たち」、主語が二人称なら「お前たち」、主語が三人称なら「彼ら、彼女ら」を指す］。【例】おい　まさいた、うらー　なーどぅが　むぬてぃー　いばいな（おい、マサイ、お前たち、それは自分たちのものだと自慢するな［＜マサイたち］)。うぬ　っふぁっちゃ　っづぁるが　むぬー　あらだ、うらー　なーどぅが　むぬ（おい　その鍬はお前たちのものではなくて、それは私たちのものだ)。うぬ　さきゃー　んˀぬぬ　ばんてぃが　ぬん　ぬくい　やいば　うらー　なーどぅが　むぬ（この酒は昨日の私達の飲み残りだから、それは私たちのもの)。かぬきゃー　なーどぅが　むちっちゃー　むぬー　つくえぬ　はなんかい　ならびゅーたい（あいつらは自分たちが持ってきた品物を机の上にならべた)。［変異］なーる。［類］ならどぅ。

なーどぅが　かた [na:duga kata] 【名詞】自分たちの味方；自分たちの親戚。

ない [nai] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］（A が B に）変化する；形容詞を取る場合は、形容詞語幹に「ふ」を付けて「～ふ　ない」と言う；節を取る場合は「～やうん　ない（ようになる)」と言う。【例】とぅずぶとぅん　ない（夫婦に成る)。ながみんふ　なりーにゃーん（耳が遠くなった)。ばー　ういびとぅ　なりどぅ　ひとぅぬ　むぬいや　つかいだ　んぎゅー（私は年取って人の話が聞こえなくなっている)。

ない [nai] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］（実などが）実る。【例】ふにゅーぬどぅ　なりゅー（みかんがなっている)。みなかぬ　ばさぬ　ないや　んなーぎゃー　なりや　うらん（庭のバナナの実はまだなってない)。

ない [nai] 【名詞】［B］実。【例】きーぬ　ない（木の実)。ばさない（バナナ［＜芭蕉の実］)。

ない [nai]【名詞】［B］地震。【例】ほぅないや　やぐみ　うとぅるすむぬ（大地震はほんとうにこわい)。ないや　ひー　やーや　かたうきーにゃーん（地震で家は傾いた)。こんくりやーや　がばー　ないんまい　びーないや　とぅんま　ほぅん（コンクリートの家は大地震でもびくともしない)。

ない [nai] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］太陽

にさらして甘くなる。 【例】ない　んー（太陽に晒した甘い芋）。

ない [nai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］鳴る。 【例】ないぬ　とぅきゃんなずーぬどぅ　ない（地震のときには地響きする［＜地面が鳴る］）。かんないぬ　ない（雷が鳴る）。

ない [nai]【名詞】［B］苗。 【例】んーぎーぬ　ない（芋の苗）。ぶーずぬない（サトウキビの苗）。んーぎーぬない（芋づるの苗）。

ない [nai]【動詞】［母音語幹］［C］萎える、枯れる。 ［類］ない（r/rr 語幹）、ないー（r/rr 語幹）。

ない [nai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］萎える、枯れる。 【例】そぅーや　ないーどぅ（野菜は枯れている）。［類］ない（母音語幹）、ないー（r/rr 語幹）。

ない [nai]【動詞】［母音語幹］［C］捻挫する、痛める。 ［類］ない（r/rr 語幹）、ないー（r/rr 語幹）。

ない [nai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］捻挫する、痛める。 ［類］ない（母音語幹）、ないー（r/rr 語幹）。

ないー [nai:]【動詞】［r/rr 語幹］［C］萎える、枯れる。 ［類］ない（母音語幹）、ない（r/rr 語幹）。

ないー [nai:]【動詞】［r/rr 語幹］［C］捻挫する、痛める。 【例】はっじゅ　ないらす（足を捻挫する）。［類］ない（母音語幹）、ない（r/rr 語幹）。

ないがた [naigata]【成句】～になりそうである。 【例】かいまい　ういびとぅ　ないがた（あの人も年寄りになりそうだ）。

ないかに [naikani]【名詞】神名、御帳主。 ［類］うちゃうぬす。

ないぎゃ [naigja]【名詞】［C］足の不自由なひと。 ［類］ないず　びとぅ。

ないくっじゃ [naikuʐʐa]【名詞】成長の良くないもの。 【例】ないくっじゃがまー　いみふだー（成長の良くないものは小さい）。ないくっじゃ　やらびがま（生育の悪い子供）。ないくっじゃがまー　やらびあいきゃどぅ　やみーうたいちゃ（成長の良くない人は子供の頃に病気していたんだって）。

ないず [naiʑi]【動詞】［g 語幹］［C］びっこを引く。 【例】はっじゃ　ぶりー　ないぎーどぅー（骨折してびっこを引いている）。

ないず [naiʑi]【名詞】［C］びっこの人、足の不自由な人。 【例】ないず　びとぅ（びっこの人）。

ないてぃがー [naitiga:]【副詞】できたら、なるべく。 【例】ばー　ないてぃがー　いふたっふぁにゃーん（私はできたら行きたくない）。

ないらす [nairasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（足や手を）捻挫する、（自分を）捻挫させる。【例】いすぐーん　はっじゃとぅらいー　はっじゃ　ないらひーにゃーん（石ころに足を取られて、捻挫した）。はっじゃ　ないらはいにゃーん（足は捻挫した）。

なう [nau]【動詞】[w 語幹] [C] 綯（な）う。【例】ぶーず　たうすぬ　んˀなう　なう（サトウキビ収穫用の縄を綯（な）う）。んˀなう　だにー　なう（綱をねじって綯（な）う）。んˀなうぎゃー　だにどぅ　なう（綱はねじらせて綯（な）う）。みーつぬ　んˀなう　ゆいー　がばー　んˀなう　なう（三本の縄をなって太い縄をなう）。

なう [nau]【名詞】[C]〖疑問詞〗何、どれ（ぐらい）、なん（の）。【例】うらー　なう（それは何）。なうんまい　ならん（何の役にも立たない）。かりゃーなうばかーいぬ　ほぅりむぬ（彼はどれ位のバカ者）。うりゅーぎゃー　なうてぃどぅ　あい（これはなんというか）。なうぬ　くとぅが（何の事だ）。

なう　あすかたー　にゃーん [nau asɨkata: nja:n]【成句】退屈、何をすることもない。【例】きゅーや　なう　あすかたー　にゃーん（今日は退屈だ（何もすることもない））。

なう　ほぅっでぃ [nau huddi]【成句】なにをしに、なんのために。【例】っづぁー　なうほぅっでぃどぅうまんかい　った（お前はなにをしにここに来たのか）。

なう　やらばんまい [nau jarabammai]【成句】何でも、何であっても。【例】なう　やらばんまい　ゆぬむぬ　やいば　ばぬんな　うるー　ふぃーる　（なんでもおんなじだから俺にはこれをくれ）。

なうい [naui]【動詞】[r/rr 語幹]［C］（穀物などが）実る；（地域などが）豊かになる；添い遂げる。【例】くとぅっさ　あーぬ　ゆー　なうりゅー（今年は粟が良く実っている）。なうい　まい（実った稲）。ゆーや　なうりーどぅ（村は豊かになっている）。なぐかでぃぬ　なうらす（穏やかな風が実らす）。かぬ　びきりゃとぅ　そぅいなうり（あの男と添い遂げろ）。なうい　ゆー（豊かな世）。

なうい [naui]【動詞】[r/rr 語幹]［C］（病気が）治る。【例】ほぅりむぬー　すなだかー　なうらん（バカは死なないと治らない）。ほぅがさー　なうりーどぅ（おできは治っている）。

なうがぐら [naugagara]【代名詞】〖不定代名詞〗なにか。【例】うまんな　なうがぐらぬどぅ　うい（そこに何かいるよ）。なうがぐらんかい　どぅーゆ　うからはだかー　ばぬんな　たちや　うらいん（何かに身体を支えられていないと私は立っていられない［＜

何かに体をもたれさせないと私には立っていられない]）。［類］なうがら。

なうがから [naugagara]【副詞】なぜか原因はわからないが、何となく；見るからに、いかにも。 【例】きゅーや　なうがから　かなまいぬ　やみゅー（今日はなんとなく頭が痛い）。かりゃー　じゃうからた　なうがから　ちゅーぎ　びとぅ（あの人は立派な体格でいかにも強そうな人だ）。

なうがから [naugagara]【成句】何か、何であるか。 【例】うらー　なうがから　っさいん（これが何だか分からない）。かぬ　とぅきゃん　っづぁが　かうたい　むぬー　なうがからてぃー　うぶいどぅー（あの時君が買ったのはなんだか覚えてるかい）。

なうがからむぬ [naugagaramunu]【成句】変だな、どうしたんだろう。【例】なうがからむぬ、うぬ　やらびゃー　うまん　あそぅびゅーたいそぅがどぅ　とぅみらいん（変だな、その子はそこで遊んでたはずだけど、いなくなった）。

なうがら [naugara]【感動詞】〖フィラー〗えーと、何というか、あのー。

なうさ [nausa]【名詞】［B］石子、小石、サンゴの化石で道路の舗装に使った。 【例】なうさうどぅ　んつんかい　すつ（石子を道路に敷く）。

なうじゃん [nauʒan]【名詞】〖疑問詞〗理由、目的を尋ねる疑問詞、なんで、どういうわけで。 【例】っづぁー　きゅーや　なうじゃんぬ　ばーが（お前は今日は何しに来たの）。んˀぬー　なうじゃんな　ひどぅ　からー　くーっだんが（昨日はなんで彼は来なかったの）。［類］なうばい。

なうす [nausɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（壊れたものを）直す；（病気などを）直す：（人の仲を）修復する。 【例】あっちゃぬ　ぶーや　つっちゅーば　なうはだかーならん（げたの鼻緒が切れたから、直さなければならない）。きかいゆ　なうす（機械を直す）。から　いしゃんな　なうはいん　やな　やん　なりゅー（彼は医者には直せない難病にかかっている）。

なうす　ふぁーっでぃ [nausɨ fa:ddi]【成句】どういうつもりで、なんのために。 【例】っづぁー　なうす　ふぁーっでぃどぅ　うまんかい　った（お前は何しにここに来た）。

なうすたる [nausɨtaru]【成句】（相手を非難して）どうなっているんだ。【例】っづぁが　すかまー　なうすたるむぬ　やいば（お前の仕事はなんだ［＞ダメじゃないか、もう一回やり直せ］）。

なうすなうす [nausɨnausɨ]【副詞】（機械や人間の仲を）直し直し、直しながら［「なうす」の反復形］。 【例】やり　きかいゆぎゃー　なうすなうす

つかいゆー（古い機械を直しながら使っている）。うぬきゃ　とぅずぶとぅー　いつまい　やどぅゆんな　ひや　なうすなうす　ひーゆー（その夫婦はいつも喧嘩をしては仲直りする）。

なうちゃーにゃー [nautɕa:nja:] 【成句】無意識的に；［否定を伴って］なんでも（いいわけではない）；（「すぐ」をあとにつけて）いきなり、突然に。【例】かりゃー　なうちゃーにゃー　すばー　っふぃどぅ　つむでぃーうたい（あいつは無意識に唇を噛んで怒っていた）。かりゃー　むぬがま　やいば　なうちゃーにゃーや　ふぁーん（彼は小食だからなんでも食べるわけではない）。かりゃー　あたずむ　やいば　なうちゃーにゃー　つむでぃー（彼は短気だから何にでも腹を立てる）。なうちゃーにゃーや　ふぁーいん（何でもかんでも食べられる訳はない）。なうちゃーなー　すぐ　っづぁん　うどぅるかはい　にゃーん（いきなり、お前にびっくりさせられてしまった［＞いきなりじゃないか、びっくりしたぞ］）。［変異］なうちゃーなー。

なうちゅん [nautɕun] 【副詞】何も、全然、主題形の「な（ま）」を伴うことがある。【例】かりゃー　くぬいや　なうちゅん　みーらいん（彼は最近全然見かけない）。［類］なうとぅん。

なうちゅんま [nautɕumma] 【副詞】何も、全然。【例】っづぁが　むぬいや　なうちゅんま　あたらん（お前の言っていることは全然的外れだ）。っづぁが　すかまー　なうちゅんま　ぬーがらん（あなたの仕事は全然捗らない）。なうちゅんま　あいや　あらん（全然そうではない）。ばぬんな　うらー　なうちゅんま　っさいん（私にはそれは全然分からない）。［変異］なうちゅんな、なうとぅんま、なうとぅんな。

なうっしゃー [nauɕɕa:] 【成句】何のために。［類］なうほぅっじゃ、なうっしゃーなー。

なうっしゃーなー [nauɕɕa:na:] 【成句】何のために。【例】なうっしゃーなー　なうやひー　っづぁー　うまんかい　いつたいが（何のために、なぜ君はそこに行ったのか）。［類］なうほぅっじゃ、なうっしゃー。

なうてぃー [nauti:] 【感動詞】〖応答詞〗聞き返すときにつかう、何だって、まさか。【例】なうてぃー、かりゃー　すにーにゃーん（何だって　彼は亡くなったのか）。

なうてぃどぅ　あい [nautidu ai] 【成句】〖フィラー〗言いよどむときに使う、えーっと、何というか。

なうてぃぬ　ばーが [nautinu ba:ga] 【成句】どうしたんだろう。【例】なうてぃぬ　ばーが、　やどぅー　あかん（どうしたんだろう。戸が開かない）。

なうでぃんね [naudinne]【成句】大したことはない。［類］なうでぃんまー。

なうでぃんまー [naudimma:]【成句】大したことはない。【例】なうでぃんまー　なうまいあらん（大したことはない。大丈夫だよ）。［類］なうでぃんね。

なうとぅが [nautuga]【副詞】どうしても～ない、全然～ない。【例】なうとぅが　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかん（どうしても人の言うことを聞かない）。［変異］なんとぅが。

なうとぅん [nautun]【副詞】何も、全然。

なうとぅんな [nautunna]【副詞】何も、全然。［変異］なうちゅんま、なうちゅんな、なうとぅんま、。

なうとぅんま [nautumma]【副詞】何も、全然。【例】ばー　すまぬ　くとぅーぎゃー　なうとぅんま　っさん（私は村のことは何も知らない）。［変異］なうちゅんま、なうちゅんな、なうとぅんな。

なうぬ　くとぅまい　にゃーん [naunu kutumai nja:n]【成句】何の連絡もない、何の便りもない。【例】かいが　あめりかんかい　はりーからー　みーてぃないそぅが　なうぬ　くとぅ　まいにゃーん（彼がアメリカに行ってから 3 年だが何の便りもない）。

なうぬ　みーんな　ならん [naunu mi:nna naran]【成句】何の役にも立たない。【例】やっづぃ　ぐるまー　なうぬ　みーんまい　ならん（故障した車は何の役にも立たない）。

なうばい [naubai]【名詞】「ぬ」を付けて、性質を聞く疑問詞、どういう、どんな。【例】なうばいぬ　むぬ（どういうもの）。なうばいぬ　ひとぅ（どんな人）。なうばいぬ　くとぅ（どんなこと）。なうばいぬ　ばーが（どうしたわけだ）。［類］いんしー。

なうばい [naubai]【副詞】〖疑問詞〗どんなに、どうやって。【例】なうばいどぅ　くまんかい　った（どうしてここに来たの）。なうばい　ふぁーんまい　ふぁうはてぃらいん（どんなに食べても食い尽くせない）。なうばい　あすばどぅ　じゃうかい（どうすればよいのか）。なうばいちゃーにゃー　ひとぅーぎゃー　んみかん（何となしに人を叱らない［＞叱ってはいけない］）。なうばい　あすかたまい　にゃーん（どうしようもない）。でぃんまい　にゃーん、なうばい　ほぅでぃ（金もない。どうしよう）。

なうばいが [naubaiga]【感動詞】〖応答詞〗知り合いに会ったときにする挨拶、どうだい、うまくいっているか。

なうばいてぃー [naubaiti:]【感動詞】〖応答詞〗相手の言ったことを聞き

返すときに使う。え、何だって。［類］なー、なうてぃー。

なうふぁーっでぃー [naufa:ddi:]【成句】何をしに、なんのために　「なうす　ふぁーっでぃ」と同じ。【例】っづぁー　なうふぁーっでぃどう　うまんかい　った（お前は何しにここに来た）。

なうふい [naufui]【形容詞】格好をつける。【例】なうふいんまり（格好をつける奴、目立ちたがり屋、自惚れの強い奴）。

なうふや [naufuja]【名詞】格好をつける人。【例】からー　なうふや　だら（彼は格好をつける人なんだ）。

なうまい [naumai]【副詞】何も。【例】ばー　すまぬ　くとぅーぎゃー　なうまい　っさん（私は村のことは何も知らない）。

なうまい　んなない [naumai nnanai]【成句】何もかも全て。【例】かりゃー　あいくとぅ　にゃーん　くとぅー　なうまい　んなない　むぬっじゅーたい（彼はあることないこと何もかも全て話した）。かいん　でぃんまい　やーまい　なうまい　んなない　たくまいーにゃーん（彼に金も家も何もかも全て騙し取られた）。

なうまいあらん [naumaiaran]【成句】何でもない、大丈夫。【例】なうでぃんまー　なうまいあらん（大したことはない。大丈夫だよ）。

なうや　あすかたーにゃーん [nauja asɨkata:nja:n]【成句】どうしようもない、途方に暮れる。【例】ばーうっかー　あみかっづぃー　なうや　あすかたーにゃーっだん（借金をたくさん負ってどうしようもなかった）。

なうやあらん [naujaaran]【成句】そんなことはない、そうではない、ちがう。

なうやひー [naujahi:]【副詞】理由を聞く疑問の副詞　なぜ、どうして　反問としても使える。【例】なうやひー　あい　ないたー（どうしてそうなったの）。なうやひーどぅ　うまんかい　った（なぜそこにいったの）。なうやひー　ふぁーじゃーん（なぜ食べない）。なうやひー　かるー　とぅず　あすたい（何故彼女を妻にしたか）。なうやひー　ゆびゃー　さきぬんが　くーっだんが（何で昨晩は酒飲みに来なかったか）。

なうやらばん [naujaraban]【成句】何でも良いから、何でも。［類］なうやらばんまい、なうやらん、なうやらんまい。

なうやらばんまい [naujarabam-mai]【成句】何でも良いから、何でも。【例】たかからばんまい　やすからばんまい　なうやらばんまい　かーでぃ

（（値段が）高かろうが安かろうが何でも良いから買います）。やーすかいば　なうやらばんまい　ふぁーでぃ（おなかがすいているから何でも食べます）。［類］なうやらばん、なうやらん、なうやらんまい。

なうやらん [naujaran]【成句】何でも良いから、何でも。［類］なうやらばん、なうやらばんまい、なうやらん。

なうやらんまい [naujarammai]【成句】何でも良いから、何でも。［類］なうやらばん、なうやらばんばんまい、なうやらんまい。

なうらす [naurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］成長させる、実らせる。【例】あぐぬ　はな　どぅすぬ　はなひー　なうらはだかーならん（同級生、友達の出世頭として成功させないとならない）。くぬ　あみゃー　はいぬ　ぶーっじゅまい、んーぎーゆまい　なうらすがまた（この雨は畑のサトウキビや芋を成長させるだろう）。

なうんだい [naundai]【感動詞】〖応答詞〗命令されたことを拒否するときに使う、何でだ、いやだ。【例】なうんだい、ばー　うりゅーぎゃー　ほぅん（なんでだ、おれはそんなことしない）。

なか [naka]【名詞】［C］中、中身；（外面に対し）内面；（木と木などの）間。【例】かりゃー　あら　かぎ　なか　っさり　やいば　かいが　つむぬ　なかー　ゆまいん（彼は外面はきれいだが中は汚いので、彼の心の中は読めない）。ばなぬ　とぅーい　なかまい　にゃーん（罠の通る隙間もない）。

なか [naka]【名詞】［C］次男。

なが [naga]【形容詞】［B］長い。【例】なが　んˀな（長い綱）。ながたび（長旅）。ながみはな（面長）。ばー　ういびとぅ　なりー　ながみんふ　なりー　ひとぅぬ　むぬいや　むいとぅ　つかいだ　んぎゅー（私は年取って耳が遠くなって全然人の話し声が聞こえなくなっている）。

なが　うっそぅ [naga ussu]【名詞】後頭部のとがった人。

なかーい [naka:i]【動詞】［r/rr 語幹］分ける。【例】たまう　なかーい（分け前を分ける）。いんからぬ　っぞぅー　なかーい（漁の魚を分ける［＜海からの］）。じょー　っぞぅー　なかーらでぃ（さー、魚を分けよう）。

なかーに [naka:ni]【名詞】次女。【例】ばー　なかあにゅーど　むいとぅ　ぬずみゅー（私はおたくの二番目の娘さんを愛しています）。

ながーみ [naga:mi]【名詞】梅雨。【例】ながーみんかい　なりーにゃーん（梅雨入りした）。ながーみゃー　あきーにゃーん（梅雨が明けた）。

ながーみふー [naga:mifu:]【名詞】長くつづく雨。【例】くぬいや　みーか

まい　ながーみふーや　ひーゆー（このごろは３日も雨が続いている）。

ながあーぐ [nagaa:gu]【名詞】長綾語（長い歌）。

ながい [nagai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］流れる。【例】んすぬかーぬ　みっじゃがーらみどぅ　ながりゅー（ンスヌカーの水はゴーゴーと流れている［ンスヌカーは西原の北にある地下からの湧水の取水場］）。

ながうちゃ [nagautɕa]【名詞】〖道具〗鶴嘴（つるはし）。【例】ながうちゃひー　いっそぅ　くーす（つるはしで石を掘り出す）。

ながさ [nagasa]【名詞】［C］長さ、長いもの。【例】ゆぬ　ながさ（同じ長さ）。ながさー　ます（長い方が良い）。

なかじゃ [nakaʑa]【名詞】［C］台所。

ながす [nagasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］流す。【例】みずんかい　ながす（水に流す）。

なかずむ [nakazɨmu]【名詞】心の中の思い、優しさ。【例】じゃう　なかずむ（良い内心）。まーぬ　むぬい　ひとぅー　なかずむー　にゃーん（余りにも喋る人は心の中の思い［＝優しさ］がない）。［類］なかち。

なかたがい [nakatagai]【名詞】仲違い。【例】うぬきゃが　ふたーいや　なかたがいや　ひーどぅ（その二人は仲違いしている）。

なかち [nakatɕi]【名詞】［B］女性の陰核。【例】なかつがま（女性の陰核）。［変異］なかつ。

なかつ [nakatsɨ]【名詞】［B］女性の陰核。［変異］なかち。

ながつず [nagatsɨʑɨ]【名詞】長い行列、長く繋がること。【例】かまぬまっちゃんな　ひとぅぬどぅ　ながつっじゃ　ひーゆー（向こうの店には人々が長い行列をつくっている）。

ながてぃび [nagatibi]【名詞】中々離席しない人。【例】うりゃー　ながてぃび　びーったー（彼は最後まで離席しない）。

ながに [nagani]【名詞】［B］背中。［類］くさんみ。

なかまーい [nakama:i]【名詞】自分の懐に公金等入れること、競争等で走る距離の嘘をつくこと。【例】でぃんぬ　なかまーい　あす（公金等を自分の懐に入れる）。

ながみーだつ [nagami:datsɨ]【名詞】年増の独身女性。

ながみつず [nagamitsɨʑɨ]【名詞】〖祭礼〗祭事「すまふさら」に使う悪霊払いの綱でそれに肉片、骨を途中、途中に入れる。【例】すまふさらんな　ながみつっじゅどぅ　すまぬ　はいーふつんはい（スマフサラには村に病気等の

悪霊が入らないように村の入口にナガミツジを張る)。

ながみん [nagamin] ①【形容詞】耳が遠いこと。【例】ながみん　ういびとぅ（耳の遠い年寄り)。ばー　ういびとぅ　なりー　ながみんふ　なりー　ひとぅぬ　むぬいや　むいとぅ　つかいだ　んぎゅー（私は年取って耳が遠くなって全然人の話し声が聞こえなくなっている)。かぬ　ういびとぅー　ながみんかいば　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかん（あの年寄りは耳が遠いので人の話し声は聞かない)。[類] みんぐ。②【名詞】耳が遠い人。[類] みんぐ。

ながやーじゃう [nagaja:ʑau]【名詞】年取って弱くなりこもりきりになること；長い間病気で養生していること。【例】うやー　ながやーじゃうや　ひーゆー（おじいさんは年取ってこもりきりになっている)。まさいや　はずぬ　ふにゅー　ぶりー　ながやーじゃうゆ　ほぅーたい（マサイは足の骨を折って長い間養生している)。[変異] ながやうじゃう。

ながゆ [nagaju]【名詞】[A]《魚》ボラ。【例】だーながゆ（大型のボラ)。

なから [nakara]【名詞】[C]（入れ物の）半分（の量)。【例】さきゃー　くぴんぬ　なから　あり（酒はビンの半分ある)。んなーぎゃー　すかまー　なからーとぅんま　くーん（今のところ仕事は半分も来ていない)。

なからぐぴん [nakaragupin]【成句】思慮の足りない人［＜中身が半分しか入っていない瓶]。【例】かりゃー　うむくとぅー　にゃーん　なからぐぴん（彼は思慮の足りない人だ)。

ながんぬつ [nagannutsɨ]【名詞】長命。【例】ながんぬつ　ういびとぅ（長命のお年寄り)。

ながんぶ　だーい [nagambu da:i]【成句】[r/rr 語幹]（疲れを取るために）横になる、寝そべる。【例】ながんぶ　だーりー　ゆくー（横になって休む)。

なぎ [nagi] ①【動詞】[母音語幹][C] 殴る。[類] なず。②【動詞】[g 語幹][C]（鉈（なた）や鎌でサトウキビを）薙ぎ倒す。[類] なず。

なぎ [nagi]【名詞】[B] 凪。【例】とぅりどぅ　なぎゃー　ひーゆー（晴れて凪になっている)。きゅーや　なぎゃーひー　かじゃーにゃーん（今日は凪で風がない)。

なぎ [nagi]【接尾辞】[B]（名詞について）周辺を表す、～辺、～近く、～あたり。【例】うまなぎ（そこら辺)。かまなぎ（向こうら辺)。かーまなぎ（遠くの方)。っさらなぎ（平良辺り)。くまなぎ（ここら辺)。んじゃなぎ（どこら辺)。あがいなぎ（東の方辺り)。

なぐい [nagui]【名詞】[B] 波や風のうねり、余波。【例】きゅーぬ　いんなやぐみ　なぐい（今日の海は大変な

うねりだ)。かでぃふつぬ　あとぅんな　なぐいぬどぅ　あい（台風の後には余波がある)。きゅーまい　いんな　かでぃふつぬ　なぐいぬどぅ　あい（今日も海には台風の余波がある)。

なぐかでぃ [nagukadi]【名詞】和やかな風、そよ風。　【例】きゅーぬ　かじゃー　なぐかでぃがま（今日の風はそよ風だ)。なぐかでぃぬ　なゆらしばよ（和風が実らすからよ［古謡「豆が花」より]）。

なさがい [nasagai]【動詞】[r/rr 語幹]高齢で子を産めなくなる。　【例】っふぁー　なさがりゅー　わーゆどぅ　あぴゃーてぃー　あい（年を取って子を産めなくなった豚をアピャーと言う)。ばんてぃが　ぶばー　っふぁー　なさがりーどぅー（私の叔母はもう子供が産めなくなった)。[変異]なすあがい。

なさがい [nasagai]【名詞】高齢で子供が産めなくなること。　【例】かぬみどぅんな　んめ　なさがいん　なりーどぅー（あの女性はもう年を取って子どもを産めなくなっている)。あぴゃーわーや　なさがい　わー（子供の産めない豚は出産能力のない豚だ)。[変異]なすあがい。

なさんっうぁ [nasanvva]【名詞】妻か夫の連れ子。　【例】うらー　ばがなさんっうぁ（それは私の｛妻/夫｝の連れ子だ)。[変異]なさんっふぁ。

なさんっふぁ [nasanffa]【名詞】妻か夫の連れ子。　[変異]なさんっうぁ。

なす [nasi]【動詞】[s 語幹][C]（子供を）産む、出産する。　【例】わーぬどぅ　っふぁがまう　なしゅー（豚が子供を産んでいる)。わいてぃー　んくまだかー　っふぁー　なさいん（うんと力まないと子供は産めない)。びきどぅん　っうぁう　なす（男の子を産む)。

なす [nasi]【動詞】[s 語幹][C] A を B に変化させる、変える。　【例】いっさ　ばりー　ぐまみん　なす（石を割って粉々にする)。

なず [nazi] ①【動詞】[g 語幹][C]なぐる。　【例】ぎずぎゃうぬ　やらびゅー　なず（いたずらな子供をなぐる)。②【動詞】[g 語幹][C]（鉈（なた）や鎌でサトウキビを）刈る。【例】ぶーっじゅ　っざらひー　なず（サトウキビを鎌で刈る)。

なず [nazi]【名詞】[B]ヘビ。【例】あうなず（青大将)。

なすあがい [nasiagai]【動詞】[r/rr 語幹]（年を取って）出産能力がなくなる。　[変異]なさがい。

なずき [naziki]【名詞】[C]〖形式名詞〗（動詞基本形について）～のが原因で；口実。　【例】くらはい　なずきん　ほぅにゃー　ぶりーにゃーん（殴られたのが原因で骨が折れてしまった)。うにゃー　ふぁうたい　なずきん　す

にーにゃーん（フグを食べたのが原因で死んでしまった）。うぬ　みどぅんな　っふぁなす　なずきん　すにー　はりーにゃーん（その女性は出産が原因で亡くなった）。かりゃー　ういなずきん　ひんぎー　はりーにゃーん（彼はそれを口実に逃げて行ってしまった）。

なすずつ [nasizitsi]【名詞】産む月、臨月。【例】ばが　みどぅんな　っふぁなすずつ　なりーどぅーい（私の妻は臨月になっている）。

なすっちゃ [nasittɕa]【名詞】末っ子。

なすっふぁ [nasiffa]【名詞】実子。［変異］なすっうぁ。

なずばい [nazibai]【名詞】薙ぎ切ること。【例】っさう　なずばい　あす（草を薙ぎ切る）。

なすんま [nasimma]【名詞】実母、産みの親。【例】ばが　なすんまー　つむかぎ　あたい（私の生母は優しかった）。

なそぅー [nasu:]【名詞】［C］なすび。【例】くとぅっさ　なそぅーゆ　いびでぃ（今年は茄を植える）。なそぅーぎーぬ　すたぬ　ばう　まーしゃがま（茄子の木の下で棒を振り回す者［小さい人の形容］）。

なだ [nada]【名詞】［B］涙。【例】ふからっさー　なだとぅ　ひとぅみ（よろこびは涙と共に）。

なだつ [nadatsi]【名詞】［C］〖植〗ハイキビ　［根が深く作物の成長を阻害する］。

なだやす [nadajasi] ①【名詞】涙もろい人、涙もろいこと。【例】なだやっさ　かんこくどらまう　みーきゃー　すぐ　なつどぅす（涙もろい人は韓国ドラマを見るとすぐ泣く）。くぬいや　ういびとぅん　なりー　むいとぅ　なだやすん　なりーどぅー（最近は年寄になってとてもなみだもろくなった）。②【形容詞】涙もろい。【例】ばー　むいとぅぬ　なだやすびとぅ（私はとても涙もろい人）。くぬいや　ういびとぅん　なりー　むいとぅ　なだやすふ　なりーどぅー（最近は年寄になってとてもなみだもろくなった）。

なだら [nadara]【形容詞】［B］平坦な。【例】なだら　ずー（平坦な土地）。なだら　んつ（平坦な道）。

なだらかす [nadarakasi]【動詞】［s/h 語幹］平らにする。［類］なだき、なだつ。

なだらき [nadaraki]【動詞】［母音語幹］平らにする、なだらかにする。【例】うまう　なだらきる（そこを平らにしろ）。［類］なだらかす、なだらつ。

なだらつ [nadaratsi]【動詞】［k 語幹］平らにする、なだらかにする。【例】うまう　なだらき（そこを平らにしろ）。［変異］なだらふ。［類］なだらき、なだらかす。

なだらふ [nadarafu]【動詞】[k 語幹] 平らにする、なだらかにする。 [変異] なだらつ。[類] なだらき、なだらかす。

なちゃーら [natɕaːra]【名詞】海神草。 【例】なちゃーらう ぬんてぃがー ばたむすぬどぅ うりふー（海神草を飲んだらお腹の虫が下り出る)。

なちゃみ [natɕami]【名詞】[C] 梅雨。

なつ [natsɨ]【動詞】[k 語幹] [A]（人が）泣く、（動物が）鳴く。 【例】あかっづぁぬ んぎゃーてぃー なつ（赤ちゃんがおぎゃーと泣く)。ういびとぅー なうちゃーにゃー かまらすかいががら いーいーてぃー なきゅー（年寄りがなにか悲しいのかしくしくと泣いている)。あがいよーてぃー なつ（アガイヨーと泣く)。まゆぬどぅ みゃーみゃーてぃ なきゅー（猫がニャーニャーと鳴いている)。いつばんどぅいぬ なきゅー（一番鳥が鳴いている)。[変異] なふ。

なつ [natsɨ]【名詞】[A] 夏。 【例】なつん なりー あつふ なりーにゃーん（夏になって暑くなった)。

なっじゅい [naʑʑui]【動詞】[r/rr 語幹] 殴る、打つ。 【例】たやびゃーき なっじゅり（力いっぱい殴れ)。ぼーるー ばっとひー なっじゅり（ボールをバットで打て)。

なっちゃい [nattɕai]【動詞】[r/rr 語幹]（仕事などが）終わる；（仕事などを）終える；（仕事などを）やめる。 【例】くぬ すかまー きゅーひーや なっちゃらいん（この仕事は今日中には終わらない)。きゅーぬ うぐなーいや ういひー なっちゃらでぃ（今日の集まりはこれで終わろう)。やくばぬ すかまー んめ なっちゃいたい（役所の仕事はもうやめた)。

なっちゃかん [nattɕakan] ①【形容詞】無能だ、怠け者だ；（病気で）仕事ができない。 【例】うまんな たるがどぅ んながーな なっちゃかんかい(ここで一番仕事ができないやつはだれだ)。うりゃー たないや にゃーん なっちゃかんんまり（彼は頼りにならない怠け者だ)。すかまーひらいん なっちゃかん ひつにんな やーんきー にっづゅーき（仕事のできない無能な奴は家に帰って寝ておけ)。がびゃうかいば なっちゃかん（病弱で余り仕事ができない)。からー はっじゃ ぶりーからどぅ なっちゃかんふ なりゅー（彼は足を骨折してから仕事が効率よくできなくなった)。[類] なっちゃらん。②【名詞】仕事のできない人、無能な人、怠け者。【例】なっちゃかんな やーんかい はり（怠け者は家に帰れ)。[類] なっちゃらん。

なつっじゃ [natsɨʑʑa]【名詞】泣き虫。 【例】なつっじゃ やらび（泣き虫の子供)。なつっじゃ っふぁう あ

じゃんつ（泣き虫の子をあやす）。みーが　かず　いつまい　なきゅー　なつっじゃ（見る度にいつも泣いている泣き虫）。

なつぬ　あみ [natsɨnu ami]【名詞】夏の雨、スコール。

なつむぬい [natsɨmunui]【名詞】泣き言、泣落し。【例】みどぅんんみぬ　なつむぬいん　だまはいな（女達の泣き落としに騙されるな）。

なでぃ [nadi]【動詞】［母音語幹］［C］撫でる。【例】やらびぬ　かなまいゆ　なでぃー（子供の頭を撫でる）。

なな [nana]【接頭辞】〖数詞〗七。

ななうさい [nanausai]【名詞】〖祭礼〗神に供える七つの料理、七盆。［類］ななぶん。

ななつ [nanatsɨ]【名詞】［C］〖数詞〗七つ。

ななぬひとぅ [nananuhitu]【名詞】〖数詞〗七人。

ななぶん [nanabun]【名詞】〖祭礼〗神に供える七つの料理、七盆。【例】ななむいぬ　うたきん　うーんまたが　かんかい　すきー　ななぶんぬ　むぬんな　にーから　ばかすたーひー　ありーどぅーい（ななむいの御嶽にウーンマが神にささげる七盆の食べ物は煮物からさしみまである）。［類］ななうさい。

ななむい [nanamui]【名詞】〖祭礼〗七杜　西原地区の祭事にかかわる集団。メンバーはくじで選ばれる。現在は男性７年、女性は１０年務める。【例】ななむいぬ　うやた（七杜のおじいさん達）。

ななむいぬ　つかさ [nanamuinu tsɨkasa]【名詞】〖祭礼〗七杜（御嶽）の司［うーんま（大按母）、うーんまぬとぅむ（大按母のお供）、なかばい（供え物の端を取り神に捧げる）、あーぐしゃ（祈願役）、あーぐしゃぬ　とぅむ（祈願役のお供）からなる］。

なぬか [nanuka]【名詞】［A］〖数詞〗七日。

なば [naba]【名詞】［C］汚れ、垢。【例】かみぬ　なばう　うたす（水瓶の汚れを落とす）。［変異］ぐず。

なば [naba]【名詞】［C］藻。【例】あうなば（水中に生えた藻）。

なび [nabi]【名詞】［C］鍋。【例】なびゅー　んーす（鍋を載せる）。

なびー [nabi:]【形容詞】［B］滑らかな、すべすべした、ツルツルした。【例】うなっじゃ　なびーむぬ（鰻は滑々している）。うまー　なびーかいば　そぅくいかいば　ならん（ここはすべすべしてよく滑ってしまう）。なびー　どぅくまんな　まさぐん　あいき（滑る所ではちゃんと歩け）。

なびーうんた [nabi:unta]【名詞】〖生物〗トノサマガエル。 【例】なびーうんたー なびーむぬ（トノサマガエルはすべすべしている）。

なびつ [nabitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］なびく。 【例】ぎひつぬどぅ かでぃん なびきゅー（ススキが風になびいている）。［変異］なびふ。

なびぬ くー [nabinu ku:]【名詞】鍋の鋳掛屋。 【例】なびゃー むりゅーば なびぬ くーゆ ゆらび（鍋が漏れているから鋳掛屋を呼べ）。

なびゃーら [nabja:ra]【名詞】〖果物・野菜〗ヘチマ。【例】なびゃーらぬ なりゅーたい（ヘチマが実っていた）。かふーん なびゃーらぬ なりゅー（家庭菜園にヘチマがなっている）。

なふ [nafu]【動詞】［A］（人が）泣く、（動物が）鳴く。 【例】くぬ なつっじゃ、なふな（この泣き虫、泣くな）。［変異］なつ。

なま [nama]【接頭辞】少し、ちょっと、何となく。 【例】なまあつむぬ（生温かい）。なまひんなむぬ（ちょっと不思議だ）。なまひぐるむぬ（ちょっと冷たい）。なまにゅー（眠り足りない）。なまひぐるむぬ（ちょっと冷たい）。なまぶりむぬ（少しバカな奴）。なまひんな（ちょっと変な）。

なま [nama]【接頭辞】生、十分に～していない。 【例】なまにー（十分に炊かれていない）。なまむぬ（なまもの）。なまみず（生水）。なまにー（生煮え）。

なま [nama]【副詞】すこし、ちょっと。 【例】なま いびがんぬ んまりむぬ（ちょっと伊勢海老みたいなものだ）。なま あいぬむぬ（ちょっとそんなかんじだ）。なま ばばんぎむぬ（ちょっとおおざっぱだ、ちょっと気前がいい）。

なまい [namai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］止まる；やめる。【例】うまん なまり（ここに止まれ）。なまいな（止まるな）。っさびぬどぅ なまらん（しゃっくりが止まらない）。すかまうぎゃー なまりー ゆくい（仕事をやめて休みなさい）。くるまうぎゃー なまらし（車を止めろ）。すかまう なまい（仕事を辞める）。ずまみゅー ふぁうてぃがー なまらいん（落花生を食べたら止められない）。みどぅんんみぬ むぬーゆみーからー なまらん（女性達がお喋りすると止まらない）。

なまうぶい [namaubui]【名詞】うろ覚え。

なまじゃーか [namaʑa:ka]【名詞】もうすぐ朝になる時間、「しゃーか（未明）」より少しあと。 【例】なまじゃーか なりー どぅーい（もうすぐ朝になる時間になっている）。

なます [namasɨ]【名詞】［B］刺身。【例】っぞぅ なます（魚の刺身）。ぶーた なます（芋ずるの葉っぱの膾［ブ

ダイなどの高級魚の代用にした]）。[類] なまだん。

なまずー [namazɨ:] 【形容詞】やる気のない、怠惰だ。【例】かいがどぅ　んながーな　なまずーかい（あいつが一番怠惰だ）。[類] なまずん、なまだん。

なまずー [namazɨ:] 【名詞】やる気のない者、怠け者。　【例】なまずーや　すかまうぎゃー　ほぅだ　やーんかい　はり（やる気のないやつは仕事をやめて家に帰れ）。[類] なまずん、なまだん。

なまずん [namazɨn] 【名詞】半殺し。　【例】ばー　なまずん　あすきゃ　しーしーん　くらはいたい（私は半殺しにされるまで先生に殴られた）。

なまずん [namazɨn] 【形容詞】怠惰な、仕事をしようとしない。　【例】かりゃー　すかまうまい　ほぅん　なまずんんまり（あいつは仕事をしない怠け者だ）。[類] なまずー、なまだん。

なまずん [namazɨn] 【名詞】仕事を怠けること；なまけもの。　【例】ばー　なまずんな　ひー　しーしーん　くらはいたい（私は半殺しにされるまで先生に殴られた）。　[類] なまずー、なまだん。

なまそう [namasu] 【名詞】[C] 小潮 [潮の干満差が最も小さくなる潮回りのこと]。

なまだん [namadan] 【名詞】やる気がない者、怠惰な人、仕事をしようとしない人。　【例】なまだんな　すかまうぎゃー　ほぅだ　やーんかい　はり（やる気のないやつは仕事をやめて家に帰れ）。なまだんな　あそぅーどぅ　すかま（怠け者は遊びが仕事）。[類] なまずー、なまずん。

なまだん [namadan] 【形容詞】やる気がない、怠惰な、仕事をしようとしない。　【例】うまんな　たるがどぅ　んながーな　なまだんかい（そこではだれが一番仕事をしないのか）。かりゃー　すかまー　ひらいん　なまだんむぬ（彼は仕事のできない怠け者だ）。[類] なまずー、なまずん。

なまだんずみゃ [namadanzɨmja] 【名詞】〖昆〗「っさずみゃ」の次にに現れる中型のセミ。

なまだんむす [namadammusɨ] 【名詞】〖生〗オキナワヤスデ。

なまちゃ [namatɕa] 【名詞】[C] 怠け者。　【例】すかまー　ひらいん　なまちゃ（仕事のできない怠け者）。すかまうぎゃー　まさぐん　あっそぅ　なまちゃ（仕事はちゃんとやれ、怠け者め）。

なまちゃー [namatɕa:] 【名詞】生意気な奴。　【例】くぬひゃーや　むいとぅぬ　なまちゃー（こいつはとっても生意気な奴だ）。

なまっじゃ [namaʑʑa]【名詞】生半端。［類］なまはんか、なまはんぱ。

なまにー [namani:]【名詞】生煮え。【例】なまにー　むぬー　んまっふぁにゃーん（生煮えのものは美味しくない）。

なまにー [namani:]【名詞】寝不足気味。【例】ゆびゃー　なまにーやひー　にゅーたかいば　ならん（昨夜は寝不足気味で眠たくて仕方がない）。［類］なまにゅー。

なまにー [namani:]【形容詞】生煮えだ。【例】ういんつきゃー　かいがどぅ　なまにーかい（これよりあれが生煮えだ）。

なまにゅー [namanju:]【名詞】寝不足気味。【例】きゅーや　なまにゅーやひー　にゅーたかいば　ならん（今日は中途半端な眠りで眠くてならない）。［類］なまにー。

なまはんか [namahaŋka]【名詞】いい加減だ。【例】なまはんかぬ　すかまうぎゃー　ほぅん（中途半端な仕事はしない）。［類］なまっじゃ、なまはんぱ。

なまはんぱ [namahampa]【名詞】いい加減だ。【例】すかまー　まさぐんな　ひらいん　なまはんぱむぬ（仕事はまともにできない生半端者）。なまはんぱんまり（いい加減な奴）。［類］なまっじゃ、なまはんぱ。

なまひぐる [namahiguru]【形容詞】肌寒い。【例】きゅーや　なまひぐるむぬ（今日はちょっと肌寒い）。

なまみず [namamiʑi]【名詞】生水。【例】なまみっじゅ　ぬん（生水を飲む）。

なまむぬ [namamunu]【名詞】生もの。【例】なまむぬーぎゃー　にーどぅ　ふぁう（生ものは煮て食べる）。

なみ [nami]【動詞】［A］並べる；比較する。【例】うりゅーぎゃー　うまんなみる（これをそこにならべろ）。ういとぅ　くいとぅー　なみーみーる（これとそれを比べてみろ）。

なみじゅるい [namiʑurui]【名詞】多くの人が集まること。【例】きゅーぬ　うぐなーいんかいや　やびとぅーんな　なみじゅるいひー　ふぃーさまいー　やぐみすでぃがほー（今日の集会には多くの皆様が集まって頂きありがとうございます）。

なら [nara]【名詞】［B］音。【例】うぬ　さんしんな　ならー　いでぃん（この三線は音が出ない）。はずなら（足音）。みんなら（耳鳴り）。むぬー　ふぁうとぅきゃんな　ふつならうぎゃー　いだすな（食事をするときにはくちゃくちゃ音を出すな）。

なら [nara]【代名詞】［B］〈再帰代名詞〉自分。【例】ならが　ほぅでぃ（自分がしよう）。ならが　あっそぅ（お前がやれ）。からー　ならが　つむーぎゃ

ー　むちゃん（あいつは自制心がない）。ならが　ほぅだかー　たるが　ほぅでぃ、ならが　ほぅだかー　ならん（自分がやらないなら誰がやるのか、自分がやらないといけない［「なら」は話し手、聞き手どちらにもとれる］）。［類］どぅー、うな。

ならーす [nara:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］教える。　【例】ずーゆ　ならーす（勉強を教える）。やらびんかいや　あっじー　つかひー　ならーし（子供には言い聞かせて教えなさい）。うらー　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかんば　ならーはいん（彼は人の話を聞かないから教えられない）。にんぎんぬ　っふぁー　んみきー　ならーすんつきゃー　ほぅみー　ならーすばどぅ　じゃうかい（人間の子供は叱って教えるよりも褒めて教えた方が良い）。

ならーす [nara:sɨ]【名詞】教えること、教え導くこと。　【例】ゆがならーす（間違った教え）。やびとぅんーんな　ひー　ならーす　じゃうっじゃひー　ふぃーさまてぃ（みなさま指導ご鞭撻をお願いいたします）。

ならーっしゃう [nara:ɕɕau]【形容詞】行儀悪い、どうしようもない、躾がなっていない。　【例】ぎずぎゃうな　ならーっしゃう　やらび（言うことを聞かない躾がなっていない子供）。

ならい [narai]【名詞】［C］習い、教え、教育。　【例】やー　ならいや　ほぅか　ならい（「家庭での躾けは大切［＜家の教育は外の教育だ］）。

ならう [narau]【動詞】［b 語幹］［C］（人が）並ぶ、整列する；（品物などが）並ぶ、陳列される。　【例】うまん　ならび（そこに並べ）。まっちゃんどぅ　むぬぬ　はーさ　ならびーゆーい（店には商品がたくさんならんでいる）。まっちゃんきー　ますく　かーっでぃ　ならうたい（お店に行ってマスクを買おうと並んだ）。

ならう [narau]【動詞】［w 語幹］［C］学ぶ、習う。　【例】しーしーから　ずーゆ　ならう（先生から勉強を習う）。ならーす　じゃうっじゃひー　ふぃーさまてぃ（ご指導の程よろしくお願いします［挨拶するときの決まり文句］）。すかまー　なりむぬ、すかまうぎゃー　すかまぬどぅ　ならーす（仕事は慣れていくもの、仕事が仕事を教える）。

ならういむぬ [narauimunu]【名詞】自生植物［＜自分で生えるるもの］。【例】ならういむぬー　ちゅーむぬ（自生植物は強い）。

ならす [narasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］鳴らす。【例】すばびーゆ　ならし（口笛を吹け）。

ならす [narasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］平定する、統治する。　【例】とぅゆみゃー　すまー　ならひどぅ　とぅゆみーうたい（豊見親は島を平定して有名になっていた）。

ならす [narasɨ]【動詞】[s/h 語幹][A]（土地を）平らにする。【例】ずーゆ　ならす（土地を平らにする）。

ならす [narasɨ]【動詞】[A] 飼いならす。【例】ぬーまう　ならす（馬を飼いならす）。

ならっしゃう [naraççau]【形容詞】躾けの悪い。【例】ならっしゃう　やらび（躾けの悪い子供）。

ならどぅ [naradu]【代名詞】[C]〖再帰代名詞〗「なら」の複数形。［変異］ならる。[類]なーどぅ。

ならん [naran]【成句】「ない」の否定形、ならぬ、ダメだ。【例】うらー　あいひや　ならん（それはそうしては駄目だ）。あいや　ならん（そうはならぬ）。

ならん [naran]【成句】「（形容詞語幹の活用　かいば（～なので）に付いて程度のはなはだしいことをあらわす、～くてならない；動詞否定条件形「～だかー（なければ）」について、義務をあらわす。【例】うぬ　っぞぅー　っさりー　ふさかいば　ならん（その魚は腐っていてくさくてしかたがない）。いかだかー　ならん（行かないといけない）。

なり [nari]【名詞】[C] 習慣、普段のやり方。【例】ばんてぃが　やーんな　あいぬ　なり（うちではそういう習慣だ［そういうやり方をしている］）。あいぬ　あすかたー　ばが　なり（これが私の普段のやり方だ）。

なり [nari]【動詞】[母音語幹][C]（動物が人に）馴れる。【例】いんがまー　やーにんじゅん　なりゅー（犬は家族に馴れている）。

なり [nari]【動詞】[母音語幹][C] 慣れる。【例】すかまー　んめ　なりーどぅ（仕事はもう慣れている）。すかまー　なりーにゃーん（仕事は慣れた）。

なりむぬ [narimunu]【名詞】（仕事や痛みなどに）慣れるもの。【例】やらびんみゃー　なりむぬ（子供は慣れるものだ）。すかまー　なりむぬ（仕事は慣れるものだ）。

なん [nan]【名詞】[B] 波。【例】きゅーや　なんぶりかいばなん（今日は波が立ってどうしようもない）。なんぬ　ぶりーゆー（波が立っている）。

なんー [nan:]【動詞】[mm 語幹][C] 舐める。【例】あみじゃたう　なんー（飴を舐める）。んなまー　みーつむぬーぎゃー　なんまん（今は目のごみはなめて取らない）。いんかい　なんまいにゃーん（犬に舐められた）。[類]なんみ。

なんく [naŋku]【名詞】[C]〖果物・野菜〗〖食〗カボチャ。【例】なんくー　みゃーむぬ（カボチャはホクホクしている）。

なんざ [nanza]【名詞】[C] 銀。

なんず [nanzɨ]【名詞】[C] 難儀。【例】くぬ　すかまー　なんず（この仕事は難儀だ）。

なんつつ [nantsɨtsɨ]【形容詞】焦げた。【例】なんつつ　んー（焦げた芋）。

なんつつまい [nantsɨtsɨmai]【名詞】〖食〗お焦げご飯。

なんとぅが [nantuga] ①【副詞】どうしても、全然、なかなか。【例】うぬきゃが　ふたーいや　なうゆ　ほぅばんまい　なんとぅが　はなはいん（彼ら二人はどうやってもまったく別れない）。いちゃー　っふぃーゆーば　なんとぅが　んがいん（板はかみ合っていてどうしても取り外せない）。ばー　かいんかいや　なんとぅが　まみっふぁん（私は彼には全然及びもつかない）。からりゃー　ばんちゅーぎゃー　なんとぅが　みゃーぎん（彼は私達を全然振り向かない）。②【副詞】何とか。【例】かいん　たすきらいー　なんとぅがんぬっちゃ　ぶいらいどぅー（彼に助けられて何とか命はもらったようなものだ）。しばうぎゃー　ほぅだうり、なんとぅが　ないどぅす（心配するな、何とかなる）。[変異] なうとぅが。[類] なうとぅんま、なうとぅんな。

なんみ [nammi]【動詞】[母音語幹] [C] 舐める。【例】みーんかいどぅ　みーつむぬぬ　はいりーにゃーんば　なんみーふぃーる（目にごみがはいったのでなめて（とって）ください [昔は目に入ったごみはなめて取ったり、乳をかけて取った]）。べー　あみだまう　なんみー　ふつぬ　ばん　あすみゅーき（ほら、飴玉をなめて口の番をさせておけ）。いん　なんみらいーにゃーん（犬に舐められた）。[類] なんー。

に

にー [ni:]【名詞】[B] 荷。 【例】ばしゃんかい　にーゆ　つん（馬車に荷を積む)。

にー [ni:]【名詞】[B] 音［音楽用語として使われる]。【例】いちゅぬ　にー（細い絹糸を引いたような高い音、宮古島の音楽)。

にー [ni:]【名詞】[C] 根、根元 ［複合語では「に」となる]。【例】きーぬ　にー（木の根)。にむとぅ（根元)。にーにゃー（屋号「にーぬやー」と同じ)。にーぬやー（屋号［根元の家])。

にー [ni:]【動詞】[母音語幹] [A] 煮る、飯を炊く；煮える。 【例】ゆいが　そぅーゆ　にー（夕食のおかずを煮る)。むぬー　にー（食事をつくる)。んーな　んめ　にーどぅー（芋がもう煮えている)。

にー [ni:]【動詞】[母音語幹] [A]（太陽に皮膚を）焼く。 【例】なつぬ　あつびーてぃーん　にーらいーにゃーん（夏の熱い日照りに焼き付けられた)。

にーか [ni:ka]【名詞】[C] 夜の遅い時間。 【例】んめ　にーか　なりー　どぅーば　やーんかい　はらでぃ（もうおそくなったから家に帰ろう)。にーかたーひー　うきー　べんきょーゆ　あすたい（夜遅くまで起きて勉強した)。

にーから　ばかすがみ [ni:kara bakasɨgami]【成句】煮物から生もの（さしみ）まで。 ［類］にーからばかすたーひー。

にーから　ばかすたーひー [ni:kara bakasɨta:hi:]【成句】煮物から生もの（さしみ）まで。【例】ななむいぬ　うたきん　うーんまたが　かんかい　うさぎ　ななぶんな　にーから　ばかすたーひー　ありーどぅーい（ななむいの御嶽にウーンマが捧げる七盆は煮物からさしみまである)。［類］にーから　ばかすがみ。

にーだす [ni:dasɨ]【名詞】根絶すること。 ［変異］にーだーつ、にーだす、にーだーす。

にーだつ [ni:datsɨ]【名詞】根絶すること。 【例】かやー　にーだっちゃひらいん（茅は根絶できない)。［変異］にーだつ、にーだーつ、にーだーす。

にーつ [ni:tsɨ]【名詞】[C] 寝息。【例】にーっちゅ　たてぃー(寝息をたてる)。

にーまい　そぅらまい　にゃーん [ni:mai suramai nja:n]【成句】根も葉もない、何の根拠もない、にー＝根、そぅら＝木の天辺。【例】っづぁが　あっじゅー　くとぅー　にーまい　そぅらまい　にゃーん　ほぅりむぬい(お前が言っていることは何の根拠もないバカな話)。

にーむぬ [ni:munu]【名詞】煮物。【例】ゆーいぬ　にーむぬ(お祝いの煮物)。[変異]にむぬ。

にーら [ni:ra]【名詞】[C] だだ(をこねる)。【例】にーらうぎゃー　ほぅだうり(駄々をこねるな)。[変異]にーだ。

にーら　くず [ni:ra kuzɨ] ①【成句】[g 語幹]だだをこねる。【例】んめ　っづぁー　ほぅいふ　なりゅーば　まーぬ　にーら　くがだうり(もう大きいんだからそんなに駄々をこねないの)。[変異]にーだ　くず。②【名詞】だだをこねること(「くず」は「こぐ」)。【例】うぬ　やらびゃー　んまが　すかまんかい　いかっでぃ　あすてぃがー　いつまい　にーら　くっじゃ　ひー　なつ　(その子供は母親が仕事に行こうとするといつも駄々をこねて泣く)。[変異]にーだ　くず。

にあし [niaʑi]【名詞】[C] 寝汗。【例】にあしゅー　かつ(寝汗をかく)。[類]にゅーあし。

にうち [niutɕi]【名詞】[C] 値打ち。【例】うらー　にうちゃー　にゃーん(それは値打ちはない)。

にがい [nigai]【名詞】[C]《祭礼》祈願、神への祈願。【例】かぎにがいぬぶんびしぶどぅぃ(ありがたい願いのためのお盆を備えた後の踊り)。んぬつだみにがい(命乞いの祈願)。っふぁだみにがい(子供を授かる祈願)。にがいまにゃーん　うむきまにゃーん　ほぅやぐみゃー　たすきー　ふぃーさまい(祈願した通りに、思った通りに神様は助けて下さる)。[変異]かんにがい。

にがやたー [nigajata:]【名詞】祈願のおばーさんたち。[類]にがいんまた。

にがら [nigara]【名詞】[C] 早起き。【例】かりゃー　にがらびとぅ(彼は早起きだ)。

にぐー [nigu:]【名詞】[C]《貝》シャコガイ。【例】にぐーぬ　からう　あずくやてぃー　あい(シャコガイの殻をアズクヤと言う)。

にごー [nigo:]【名詞】[C] めかけ。

にし [niɕi]【名詞】[B] 背負い投げ。[変異]んし。

にしゃい [niɕai]【名詞】[C] 青年。【例】じゃうぎ　にしゃい(好青年)。[類]ばかむぬ。

にじゃま [niʑama]【名詞】[C] 起き抜けでまだ寝ぼけている状態、寝入り

端（あるいは起き抜け）。【例】やらびゅーぎゃー　にじゃまんな　うかはん（子供を寝入り端には起こさない［＞起こしてはいけない］）。［類］にじゃみ、みじゃみ。

にじゃまうつ [niʑamautsɨ]【名詞】起き抜けでまだ寝ぼけている状態。【例】やらびゃー　にじゃまうっちゃひどぅ　にゅーたぎ　なりゅーたい（子供は寝起きなので眠そうだった）。

にだまい [nidamai]【動詞】［r/rr 語幹］（仕事が）さだまる。【例】すかまー　にだまらん　（仕事が定まらない）。

にだん [nidan]【動詞】［m 語幹］［A］確定する、定める。【例】じょ、なうがら　ゆーいぬ　ひかっじゅ　にだみーみーでぃ（さあ、お祝いの日取りを決めよう）。きんだっちゃーひー　はらう　んじゃん　うっつが　にだます（糸を張って柱をどこにたてるかを決めさせる）。ささぎゆーいぬ　ひかっじゃにだまいゆーな（結婚式の日取りは決まったか）。

につ [nitsɨ]【名詞】［C］熱。【例】かじゃー　ひきどぅ　にっちゃ　いじゅー（風邪引いて熱が出ている）。かじゃー　ひきー　にっちゃ　いでぃー　どぅーや　ほぅみきゅー（風邪引いて熱が出て体は熱くなっている）。

にっづぃ [nivvi]【動詞】［母音語幹］［A］寝る。

にっづぃばな [nivvibana]【名詞】寝入りばな。

にっづぃや　うきうき [nivvija ukiuki]【成句】（仕事をせず）食っちゃ寝、食っちゃねしていること；（何もせず）寝たり起きたりすること。【例】まいやーまいにち　すかまー　にゃーんば　にっづぃや　うきうき　ひーゆー（毎日毎日仕事がないので、食っちゃ寝、食っちゃ寝の生活をしている）。かでぃふつんな　にっづぃや　うきうき（台風の時にはには寝たり起きたりしている［＞なにもせず家でごろごろしている］）。

ににゅー [ninju:]【名詞】［B］居眠り。【例】だりー　ににゅーや　ほぅーたい（疲れて居眠りしていた）。ににゅーや　たっづぁみきーどぅ（こっくりこっくりと居眠りしている）。やらびゃー　つーゆ　ぬんきゃー　ににゅーやかっら（赤ちゃんは乳を飲むとこっくりこっくり（眠った））。すみゃーすみゃー　ふぁいぬ　あとぅんな　ににゅーゆどぅ　あす（昼食後は居眠りする）。

にぬは [ninuha]【名詞】［C］子の方、北の方角。

にぬはでぃー [ninuhadi:]【名詞】北支部。

にばら [nibara]【名詞】［C］〖魚〗マダラハタ［ハタの一種］。【例】にばらう　つー（ハタを釣る）。ほぅーつ　にばら（口の大きいハタ）。にばらー　ほ

ぅーうつ　むぬ（マダラハタは口が大きい）。

にぶい [nibui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］寝ぼける。【例】やらびゃー　にぶりーどぅー（子供は寝ぼけている）。［類］にぶり。

にぶいどぅい [nibuidui]【名詞】寝ぼけて時を告げる鳥。［類］にぶりどぅい。

にぶり [niburi]【動詞】［母音語幹］［A］寝ぼける。［類］にぶい。

にぶりどぅい [niburidui]【名詞】寝ぼけて時を告げる鳥。［類］にぶいどぅい。

にまい [nimai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］染み込む。【例】うまー　すばい　かじゃぬどぅ　にまりゅー（ここは小便臭が染み込んでいる）。

にむとぅ [nimutu]【名詞】［B］根本。【例】ぎすつぬ　にむとぅ（ススキの根本）。

にむぬ [nimunu]【名詞】［C］煮物。【例】ゆーいぬ　にむぬ（お祝いの煮物）。［変異］にーむぬ。

にむぬい [nimunui]【名詞】寝言。【例】いみゃー　みー　にむぬい　あす（夢を見て寝言する）。にむぬや（よく寝言を言う人）。

にゃー [nja:]【接尾辞】（名詞、動詞基本形について）競い合い、競い合う。【例】はーさにゃー（かけっこ［「はーすにゃー」ともいう）。うーずにゃー（水泳の競争）。なつにゃー（泣き合い）。ばらうにゃー（笑い合い）。だますにゃー（騙し合い）。あすにゃー（やり合い）。んみつにゃー（叱り合い）。ばかいにゃー（奪い合い）。ったつにゃー（殴り合い）。すまとぅい　にゃー（相撲取り勝負）。きゅーぬ　はーりゃー　くずしょーぶにゃー（今日のハーリーは漕ぎ勝負だ）。んまむぬぬ　いでぃっちゅーたいばどぅ　ふぁうにゃーや　ほぅーたい（ごちそうが出てきたので我先にと食べた）。たるがなーが　ばかすむぬいゆ　あっじゅーたいばどぅ　ばらうにゃーや　ほぅーたい（誰かが冗談を言ったのでみなで大笑いをした）。

にゃーい [nja:i] ①【動詞】［r/rr 語幹］（相手にものを渡すために）手を前に出す；手を差し伸べる、助ける；（物を）あげる。【例】うるー　っじさまてぃてぃー　ういびとぅんかい　てぃーゆ　にゃーいたい（これを受け取ってくださいと言ってお年寄りに手を差しだした）。んーぬ　ふぃーっじゃー　てぃーゆ　にゃーり（芋をやるから手を出せ）。きばんむぬんかい　てぃーゆ　にゃーい（貧乏な人に手を差しのべる）。かいが　とぅっじゃ　がずかいば　むぬーぎゃー　にゃーらん（彼の妻はケチなので人にものはあげない）。［類］にゃーい（母音語幹）。②【動詞】［r/rr 語幹］（相手に）手をあげる、手を出す、叩

く。【例】ひとぅんかい　てぃーゆぎゃー　にゃーらんどー（人に手を出して（叩いて）はいけないよ）。［類］にゃーい（母音語幹）。

にゃーい [nja:i] ①【動詞】［母音語幹］（うけとるために）手を前に出す；（わたすためにまたは助けるために）手を差し伸べる。【例】くらー　ばが　にゃーいん　でぃんがま（これは私の僅かしかない金［＞あげられないお金］）。［類］にゃーい（r/rr 語幹）。②【動詞】［母音語幹］（相手をたたくために）手をあげる、叩く。［類］にゃーい（r/rr 語幹）。

にゃーす [nja:si] 【動詞】［s/h 語幹］［C］失くす。【例】でぃんな　にゃーひーにゃーん（お金をなくしてしまった）。からー　うんかいば　むぬーぎゃー　ふぁいー　にゃーはん（彼は大食いだだから食べ物を食い尽くしてしまう）。

にゃーだ　んず [nja:da nzi] 【成句】［g 語幹］なくなる（「にゃーん」の連用形「にゃーだ」＋「んず」）。【例】やーや　むいー　やーや　にゃーだんぎーにゃーん（家は火事になって家はなくなってしまった）。やーぬ　かぎゃー　にゃーだんずてぃがー　うらー　なんとぅが　とぅみらいん（家の鍵は無くしたら（それは）全然見つけられない）。

にゃーだかー [nja:daka:] 【成句】なくてはならない。【例】にゃーだかー　ならんむぬ（なくてはならないもの）。［変異］あらだかーならんむぬ。

にゃーん [nja:n] 【助動詞】［不規則］動詞連用形について意図しない動作の完了の意味を付け加える、～てしまった［過去形は、「～にゃーっだん（てしまった）」］。【例】むぬー　んめ　ふぁいにゃーん（食べ物はもう食べてしまった）。いきーにゃーん（行っちゃった）。なうちゃーにゃー　ばらいーにゃーん（思わず笑ってしまった）。

にゃーん [nja:n] 【動詞】［不規則］［C］（無生物が）ない［生物の非存在は「みーん」を使う。；持っていない［（生物には～が）ない、（無生物には～が）ない］。【例】ばー　とぅっじゃ　にゃーん（私は妻がない［＞結婚していない］）。でぃんな　にゃーん（金がない）。じかんな　にゃーん（時間がない）。ばぬんな　むぬ　ふぁう　まどぅーまい　にゃーん（私には食事をする時間もない）。くぬ　すかまー　みくんな　にゃーん（この仕事は将来性がない）。［類］みーん。

にゃーん [nja:n] 【接尾辞】「動詞基本形＋が」について様態を表す、ように。【例】かいが　ならーすがにゃーん　あっそぅ（あの人が教えるようにやりなさい）。からー　っぞぅぬ　うーずがにゃーん　うーず（あいつは魚がおよぐように泳ぐ）。ばが　あすがにゃーん　あっそぅ（私がやるようにやりなさ

い)。みーたいがにゃーん　かき（見たように書きなさい)。

にゃーんひー [nja:nhi:]【副詞】無いように、無く。　【例】うるーぎゃー　にゃーんひーんなし（それは無くしてしまえ)。

にゅー [nju:]【動詞】[vv 語幹幹][A]眠る[否定形：にっづぁん、連用形：にっづぃ]。　【例】んめ　にっづぁでぃ（もう　眠る)。やらびゃー　にっづぃーどぅ（子供は寝ている)。ばー　にっづゅーらでぃ（私は寝ておく)。ばー　いつまい　はーひーん　にゅー（私はいつも早い時間に眠る)。ばー　んめ　にゅーたかいば　にっづゅーらでぃ（私はもう眠いから寝ていよう)。やらびゃー　にっづぃーどぅーば　はずならうぎゃー　いだはだ　やーらきふがまあいき（子供が寝ているから足音をださずに静かに歩け)。

にゅー [nju:]【形容詞】[B]遅い。【例】かりゃー　なうゆ　あすみんまい　にゅー（彼は何をさせても遅い)。かりゃー　いつまい　にゅー（彼女はいつもおそい（遅れてくる))。からー　はずにゅー　ひとぅ（彼は足の遅い人)。

にゅーあし [nju:aʂi]【名詞】寝汗。【例】にゅーあしゅー　かつ（寝汗をかく)。[類]にあし。

にゅーあじゃーな [nju:aʐa:na]【形容詞】寝相が悪い。　【例】にゅーあじゃーなんまり（寝相の悪い奴)。

にゅーぐり [nju:guri]【形容詞】寝苦しい。　【例】ゆびゃー　あつかいば　にゅーぐりかいば　ならっだん（昨晩は暑くて寝苦しかった)。

にゅーさい [nju:sai]【動詞】[r/rr 語幹]腐りかけている。　【例】んーなにゅーさりーどぅ（芋は腐りかけている)。うぬ　まいや　にゅーさりー　どぅ（この米は腐れかかっている)。にゅーさりむぬーぎゃー　ふぁーん（腐れかかったものは食べない)。

にゅーずみ [nju:ʑimi]【名詞】寝心地が良いこと。

にゅーた [nju:ta]【形容詞】[A]眠い。　【例】にゅーたぎ　ひとぅ（眠そうな人)。くいが　はなっそぅ　つふてぃがー　いつまい　にゅーたふ　ないどぅす（あいつの話を聞いたらいつも眠くなる)。

にゅーたら [nju:tara]【名詞】良く眠るもの（人、家畜)、眠たがり、寝坊助。　【例】かりゃー　やぐみ　にゅーたら（彼はよく眠る人だ)。にゅーたら、　うきー　ひんじゃぬ　っさー　かりーくー（眠たがりめ、起きてヤギの草刈りて来い)。にゅーたら、はやまり　うきる（寝坊助、早く起きろ)。

にゅーたらーん [nju:tara:n]【成句】寝足りない、寝不足だ。　【例】ばーきゅーや　にゅーたらーん（私は今日は寝足りない)。

にゅーたらぎー [nju:taragi:]【名詞】〖植〗ねむの木。

にゅーどぅくな [nju:dukuna]【名詞】寝るところ。［類］にゅーどぅくま。

にゅーどぅくま [nju:dukuma]【名詞】寝るところ。【例】にゅーたふ　ないてぃがー　にゅーどぅくまう　とぅみー（眠くなったら寝所を探す）。［類］にゅーどぅくな。

にゅーぱぎ [nju:pagi]【名詞】床ずれ。　【例】ぶじゃが　にゅーぱぎゃー　いちゃぎむぬ（おじさんの床ずれは痛そうだ）。

にゅーふい [nju:fui]【名詞】寝たふり。【例】にゅーふいゆぎゃー　ほぅだ　はやまり　すかまんかい　はり（寝たふりをしてないで早く仕事に行け）。

にゅーふがます [nju:fugamasɨ] ①【形容詞】ぐずって中々寝かせられない子供。　【例】にゅーふがます　やらび（寝るときにぐずる子供）。②【名詞】ぐずって中々寝かせられない子供。

にゅーふたら [nju:futara]【名詞】足の遅い人。　【例】っぅぁー　なうばいぬ　にゅーふたらが（あなたは何でそんなに足が遅いのか）。

にゅーやっぅい [nju:javvi]【名詞】寝違い。　【例】にゅうやっぅゃー　ひー　ぬどぅー　まーらん（寝違えて首が回らない）。

にんぎん [niŋgin]【名詞】（まともな）人間。【例】ういんな　にんぎんな　ひらいん　（あいつには人間はできない［＞あいつの行動は人間らしくない］）。かりゃー　にんぎんな　あらん（あいつは人間ではない［＞彼は信用できない］）。

にんじゅ [ninʑu]【名詞】［C］仕事仲間、（船などの）乗組員。　【例】ふなにんじゅ（船の乗組員）。

にんそぅー [ninsu:]【名詞】人相。【例】やな　にんそぅー（見かけがわるいこと、またその人）。

ぬ

ぬ [nu] 【助詞】〖格助詞〗属格　普通名詞について所有を表す［代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある］;「名詞＋格助詞」「述語」などに付いて次の名詞を修飾する機能を持つ、「の」［代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある］。【例】しーしーぬ　ほぅんぬ　かりったい（先生の本を借りてきた）。ひんじゃぬ　っさー　かりーくー（ヤギの草を刈ってこい）。はーさぬ　ひとぅ（たくさんの人）。いつぬ　ひとぅ（五人［＜５の人］）。かなだからぬ　てぃがみ（カナダからの手紙）。いふがまたぬ　ひとぅ（行く予定の人）。また　あいてぃぬ　ばー（そういうことなのだ［＜またそうだとのこと］）。［類］が。

ぬ [nu] 【助詞】〖格助詞〗主格　普通名詞について動作、状態の主体を表す、「が」［代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある］。【例】っぞぅぬどぅびじゅー　っふぃーうい（魚が餌を食っている）。ほぅらだつん　まずむぬぬ　ういてぃんどー（大浦口に幽霊がいるそうだよ）。うまん　がっこーぬどぅ　あい（そこに学校がある）。っづぁじかんぬ　あるーんな（お前時間があるかい）。［類］が。

ぬー [nu:] 【動詞】［b 語幹］［C］（体が）延びる、（ゴムなどが）延びる、（道などが）延びる。　［類］ぬび。

ぬー [nu:] 【動詞】［C］縫う。【例】つんぬ　ぬー（着物を縫う）。

ぬー [nu:] 【名詞】［B］野、野原、在野。【例】ぬーぬ　みー（野原の中）。うまぬ　はいや　っさー　ういどぅ　ぬーん　なりーゆー（あの畑は草が生えて野原になってしまった）。ぬーからどぅ　ぶっさ　いでぃー（在野から偉人は生まれる）。

ぬーい [nu:i] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］（乗り物などに）乗る、（木などに）登る、（家などに）上がる。【例】くるまんかい　ぬーい（車に乗る）。あわてぃる、　んめ　ふにん　ぬーいうくいがまた（急げ、もう船に乗り遅れるぞ）。きー

んかい　ぬーい（木に登る）。かりゃー　あずまうつ　びとぅ　やいば　かいが　ふつぐるまんな　ぬーいな（彼は甘言な人だから彼の口車には乗るな）。かいだんぬ　うりや　ぬーい　ぬーい　あす（階段を降りたり上がったりする）。やーんかい　ぬーりー　んみゃてぃ（家に上がっていらっしゃい）。うまんかい　ぬーりー　くー（ここに上がって来なさい）。

ぬーがい [nu:gai] ①【動詞】[r/rr 語幹] はかどる。【例】きゅーや　すかまー　ぬーがらん（今日は仕事は捗らない）。[類] ぬびゃがい。②【形容詞】よくはかどること。【例】きゅーや　すかまー　やぐみ　ぬーがいむぬ（今日は、仕事は良くはかどる）。ぬーがい　すかま（捗る仕事）。[類] ぬびゃがい。

ぬーす [nu:sɨ]【動詞】[s/h 語幹] [A]（ものや人を乗り物に）乗せる；（機械などに）セットする。【例】ぶーっじゅばしゃんかい　ぬーし（サトウキビを馬車に乗せろ）。まいや　すいはんきんかい　ぬーひーだー（ごはんを炊飯器にセットした）。

ぬーず [nu:zɨ]【動詞】[zz/dd 語幹] [A]（高熱、病気等で）唸（うな）る。【例】ぱーや　かなまいや　やみー　くーかんががら　ぬーじゅー（おばあさんは頭痛で苦しいのかうなっている）。[変異] ぬーでぃ。[類] ぬーっず、ぬーっでぃ、ぬーでぃ。

ぬーっず [nu:zzɨ]【動詞】[zz/dd 語幹]（高熱、病気等で）唸（うな）る。【例】ばんてぃが　ぱーや　やんとぅきゃんな　いつまい　ぬーっじゅーい（私の祖母は病気の時はいつもうなっている）。[類] ぬーず、ぬーっでぃ、ぬーでぃ。

ぬーっでぃ [nu:ddi]【動詞】[母音語幹]（高熱、病気等で）唸（うな）る。【例】ぬーっでぃ　ういびとぅ（（高熱等で）うなってる年寄り）。ぱーや　かなまいや　やみー　くーかんががら　ぬーっでぃーどぅー（おばあさんは頭が痛くて苦しいのかうんうんうなっている）。[変異] ぬーでぃ。[類] ぬーず、ぬーっず、ぬーでぃ。

ぬーっでぃ [nu:ddi]【動詞】（病気、苦痛で）唸る。【例】かなまいや　やみどぅ　ぬーっでぃー　うい（頭痛で唸っている）。

ぬーでぃ [nu:di]【動詞】[母音語幹] [A]（高熱、病気等で）唸（うな）る。[変異] ぬーっでぃ。[類] ぬーず、ぬーっず、ぬーっでぃ。

ぬーま [nu:ma] ①【名詞】[B] 馬。【例】んまぬーま（親（母）馬）。びきぬーま（雄馬）。みーぬーま（雌馬）。ふしびゃぬーま（言うことをきかない暴れ馬 [人間にも使う]）。②【名詞】[B] 三線の駒。

ぬーまじゅー [nu:mazu:]【名詞】馬肉。【例】うぬ　ぬーまじゅーや　ひ

つにかいば　かまいん（この馬肉はかたくてかめない）。

ぬーまぬ　かんぎ [nu:manu kaŋgi]【名詞】馬のたてがみ。

ぬーまぬ　ふらがた [nu:manu furagata]【名詞】〖昆〗クルマバッタ。

ぬい [nui]【名詞】[B] 糊（のり）、ペンキ。【例】ぬいひー　かびーゆ　はい（糊で紙を貼る）。

ぬい [nui]【名詞】[r/rr 語幹] [B]（ペンキなどを）塗る。【例】ぺんきゅーぬい（ペンキを塗る）。

ぬい [nui]【名詞】[B] おにぎり。【例】まいぬい（（米の）おにぎり）。あーぬい（粟のおにぎり）。んーぬい（芋のおにぎり）。

ぬい [nui]【名詞】[B] 海苔、藻。【例】すぬい（モズク）。

ぬい [nui]【名詞】[B]（屋根などの）漆喰。【例】やーぬ　ぬい（瓦の漆喰）。

ぬいじゅー [nuiʑu:]【名詞】〖植〗念珠藻（ネンジュモ）[ラン藻の一種]。

ぬいみ [nuimi]【名詞】[B]（着物などの）縫い目。【例】ぬんな　つんぬ　ぬいみんどぅ　うい（ノミは着物の縫い目にいる）。

ぬか [nuka]【名詞】[B] 糠（ぬか）。【例】まいぬか（米糠）。

ぬがい [nugai]【動詞】[r 語幹] [C] 抜かれる。［変異］んがい。

ぬかす [nukasɨ]【動詞】[s/h 語幹] [C] 残す。【例】ふぁいぬかす　むぬ（食べ残し）。［変異］ぬくす。

ぬかす [nukasɨ]【名詞】[C]（食べたり、飲んだりした）残り。【例】からー　ひとぅぬ　ふぁいぬかっそぅぎゃー　ふぁーん（彼は人の食べ残しは食べない）。［変異］ぬくす。

ぬくい [nukui]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 残る。【例】かぬきゃが　はだぬ　ひとぅんみゃー　たうかー　ぬくらだまみっじゃにゃーだ　せんそーん　すにー　はりーにゃーん（彼等の年頃の人達は一人残らず誰もかれも戦争で亡くなって行ってしまった）。

ぬくい [nukui]【名詞】[C] 残り。【例】ふぁいぬくい（食べ残り）。うーぬくい（売り残り）。

ぬぐい [nugui]【動詞】[母音語幹] [C]（手ぬぐいなどで）ふく、ふいてきれいにする。

ぬぐう [nuguu]【動詞】[w 語幹] [C]（手ぬぐいなどで）ふく、ふいてきれいにする。【例】べー　さずひー　っうぁが　っふすー　みはなう　ぬぐい（ほら、タオルでお前の汚れた顔を拭え）。むぬー　ふぁいぬ　あとぅんな　ふっちゅ　ぬぐい（食後は口を拭え）。ぬすみー　ふぁいやー　くとぅーぎゃー

ふっちゃ　ぬぐいー　うき（盗み食いしたときは口を拭え［＞悪いことをしたときは証拠を隠せ］）。

ぬくす [nukusɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］残す。【例】むぬーぎゃー　ぬかはだふぁい（食べ物は残さないで食べなさい）。［変異］ぬかす。

ぬくずー [nukuzi:]【名詞】のこぎり。【例】ぬくずーひー　きーゆ　きー（鋸で木をきる）。

ぬさき [nusaki]【動詞】［母音語幹］［A］覗く。［変異］ぬすき、ぬそぅき。［類］ぬさつ、ぬすつ、ぬそぅつ。

ぬさつ [nusatsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］覗く。【例】たぶひー　いんぬ　なかう　ぬさきーみー（タグで水中を覗いてみる）。ひとぅぬ　きないゆぎゃー　ぬさつな（他人の家庭は覗くな）。［変異］ぬさふ、ぬすつ、ぬすふ、ぬそぅつ、ぬそぅふ。［類］ぬさき、ぬすき、ぬそぅき。

ぬさふ [nusafu]【動詞】［k 語幹］［A］覗く。［変異］ぬさつ、ぬすつ、ぬそぅつ、ぬそぅつ、ぬそぅふ。［類］ぬさき、ぬすき、ぬそぅき。

ぬす [nusɨ]【名詞】［C］持ち主。【例】やーぬす（家主）。はいぬ　ぬす（畑の主）。

ぬず [nuzɨ] ①【動詞】［g 語幹］［C］追い抜く。【例】まうきゃーぬ　ひとぅー　ぬぎ（前の人を追い抜け）。［変異］んず。②【動詞】［g 語幹］［C］先回りする、気持ちを読む。【例】まいかいんっちゃ　とぅーりー　んーなう　ぬずたい（近道を通ってみんなの先回りをした）。まいや　ぬぎー　あい（前を先回りして話す［＞相手の気持ちを読んで話をする］）。［変異］んず。

ぬすつ [nusɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］覗く。［変異］ぬすふ、ぬさつ、ぬさふ、ぬそぅつ、ぬそぅふ。［類］ぬすき、ぬさき、ぬそぅき。

ぬすふ [nusɨfu]【動詞】［k 語幹］［A］覗く。［変異］ぬすつ、ぬさつ、ぬさふ、ぬそぅつ、ぬそぅふ。［類］ぬすき、ぬさき、ぬそぅき。

ぬずん [nuzɨn]【動詞】［m 語幹］［A］好きだ、（結婚相手として）望む。【例】ばー　っづぁう　ぬずみゅー（私はあなたを望む［＞あなたがすきだ、あなたと結婚したい］）。ばー　なかーにゅーどぅ　ぬずん（私は（あの家の）次女が好きだ、（あの家の）次女と結婚したい）。ばー　かりゅーどぅ　ぬぞぅみゅー（私はあの人が好きだ、あの人と結婚したい）。

ぬずん [nuzɨn]【名詞】［A］希望すること、望むこと。【例】ぬずんどぅ　あつない（のぞむことが商い［＜希望するからこそ何事も成立する］）。

ぬそぅき [nusuki]【動詞】［母音語幹］［A］覗く。【例】あらう　ぬそぅきー

みーみーる（戸外を覗いて見てごらん）。［変異］ぬさき、ぬすき。［類］ぬさつ、ぬすつ、ぬそぅつ。

ぬそぅどぅ [nusudu]【名詞】［B］泥棒。 【例】ぶーず ぬそぅどぅ（サトウキビ泥棒）。ぬそぅどぅー かつみらいーにゃーん（泥棒は捕まえられた）。

ぬそぅん [nusun]【動詞】［m 語幹］［C］盗む。 【例】ぶーっじゅ ぬそぅみー ふぁう（サトウキビを盗んで食べる）。

ぬだつ [nudatsɨ]【名詞】［C］〖地名〗久松集落。

ぬっちー [nuttɕi:]【形容詞】動作が緩慢な。 【例】ぬっちーんまり はやまり あいき（のろまめ、早く歩け）。

ぬっちーやらび [nuttɕi:jarabi]【名詞】動作の鈍い子。

ぬっちゃー [nuttɕa:]【名詞】動作の鈍い子。

ぬどぅ [nudu]【名詞】［C］首筋、喉、首。 【例】ながぬどぅびとぅ（首の長い人）。ぬどぅー ながたんなりどぅっづぁう まっちゅーたい（首を長くしてお前を待っていた）。かじゃー ひきどぅ ぬどぅぬ やみゅー（風邪をひいてのどが痛い）。っぞぅぬ ほぅにうぬ ぬどぅん かかるー（魚の骨がのどに引っかかっている）。［変異］ぬぶい。

ぬどぅぐら [nudugura]【名詞】のどぼとけ。 【例】んきゃーんな ひんじゃぬ ぬどぅぐらまい ふぁいどぅーたい（昔はヤギののどぼとけも食べていた）。うぬ びきやらびゃー ぬどぅぐらー んなーぎゃー いでぃや うらん（この男の子はまだのどぼとけは出ていない）。

ぬどぅだつ [nududatsɨ]【名詞】首の高さ。 【例】からー ばが ぬどぅだつ（彼は私の首までの高さだ）。うぬぷーるぬ ふかさー ばが ぬどぅだつ（このプールの深さは私の首まである）。

ぬどぅふず [nudufuzɨ]【名詞】首（がすわる）；首すじ。 【例】ぬどぅふっじゃ むちーどぅ（首が座っている）。にゅーやっづゃーひー ぬどぅふずぬやみゅー（寝違えて首筋が痛い）。

ぬどぅぶに [nudubuni]【名詞】首の骨。

ぬどぅむぬ [nudumunu]【名詞】無口な人。【例】うぬ ぬどぅむぬー いつまい まむぬいや にゃーん（あの無口な人はいつもまともに話さない）。

ぬぬ [nunu]【名詞】［B］布。 【例】ぬぬー んます（布を湿らす）。ぬぬふぁや（布を食う人［＞長身の人、長身の人は多くの布を必要とする］）。

ぬぬずん [nunuzɨn]【名詞】「ぬぬずん ますぎた」と同じ。きれいに積まれ

た石垣。

ぬぬずんますぎた [nunuzɨm-masɨgita] 【名詞】きれいに積まれた石垣。

ぬぬばた [nunubata] 【名詞】織機。

ぬび [nubi] 【動詞】［母音語幹］［C］（体が）延びる、（ゴムなどが）延びる、（道などが）延びる。 【例】だりー　どぅーや　ぬびーどぅ（疲れて胴体はのびている［＞曲がった腰が寝たために伸びたから］）。うぬ　ぐむー　やりふなりー　ぬびん（このゴムは古くなって延びない）。くぬ　んっちゃ　っさらたーひー　ぬびーどぅー（この道は平良まで延びている）。

ぬびー [nubi:] 【名詞】［C］〖植〗〖食〗野蒜（ノビル）。 【例】きゅーや　ぬびー　とぅいが（今日は野蒜取りに（行こう））。

ぬびゃがい [nubjagai] ①【動詞】［r/rr 語幹］伸びあがる；（人が）出世する；（会社が）業績が伸びる。 【例】かんち　てぃーゆ　あぎー　どぅーゆ　ぬびゃがらし（こういう風に手を上げて、体をのばしなさい）。から　ぬびゃがりーどぅ　しゃちょーん　なりーにゃーん（あいつは出世して社長になった）。かまぬ　かいしゃー　ぬびゃがりどぅ　がばーん　なりーにゃーん（あそこの会社は成長して大きくなった）。②【動詞】［r/rr 語幹］はかどる。【例】すかまー　ぬびゃがらん（仕事は捗らない）。［類］ぬーがい。

ぬぶい [nubui] 【名詞】［C］首筋、喉、首。 【例】ながぬぶいびどぅ（首の長い人）。ひんじゃぬ　ぬぶい（ヤギの首）。［類］ぬどぅ。

ぬぶす [nubusɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［A］（頭が）のぼせる。 【例】かなまいや　ぬぶひーどぅー（頭はのぼせている）。

ぬるー [nuru:] 【動詞】［w 語幹］［A］呪う。 【例】いっだまーひー　ぬるー（生き霊で呪う）。ひとぅーぎゃー　ぬるーん（人を呪わない［呪ってはいけない］）。

ぬるい [nurui] 【名詞】［A］呪い、呪うこと。 【例】ひとぅーぎゃー　ぬるいゆぎゃー　ほぅん（人を呪わない［呪ってはいけない］）。［変異］ぬるー。

ぬん [nun] 【名詞】［C］蚤（ノミ）。 【例】つんから　ぬんぬ　とぅい（着物からノミを取る）。

ぬん [nun] 【名詞】［B］〖道具〗ノミ、大工道具。 【例】ぬんひー　あなう　あきー（ノミで穴を開ける）。

ぬん [nun] 【動詞】［m 語幹］［C］飲む；（要求を）飲む。 【例】さきゅー　ぬん（酒を飲む）。みっじゅ　ぬん（水を飲む）。じょー　さきゅー　ぬまでぃ（さあ　酒を飲もう）。しゃちょーや　しんかぬ　あっじゅーくとぅ　ぬんたい（社長は社員のいうことを飲んだ）。

ぬんくん [nuŋkun] 【動詞】［m 語幹］飲み込む。 【例】ぬどぅん　っぞぅぬ　ほぅにぬ　かかいてぃがー　んーぬ　ふつぬ　ひてぃつ　かまだ　ぬんくみ（食道に魚の骨が引っかかったら芋を口いっぱい噛まないで飲み込め）。

ね

ね [ne] 【助詞】〖終助詞〗基本形について突き放した態度、反語的な態度を示す［「ん」をともなうことも多い］、〜かよ。 【例】ばー　っしゅーんね（俺が知ってるかよ）。

は

ば [ba] ①【助詞】〖終助詞〗動詞命令形に付いて、「～たらどうだ」と命令口調を弱めたり、勧誘的な口調を加える。【例】みーるば（見なさいよ）。くーば（来なさいよ）。②【助詞】〖終助詞〗動詞基本形について疑問詞疑問を表す。説明を求める場合に多く用いられる。【例】うらー　なうやいば（これはなんなの）。っうぁ　んなま　んじゃんどぅ　うるーば（お前今どこにいるの）。

ば [ba]【接尾辞】動詞基本形、形容詞に付いて理由節を作る、焦点助詞「どぅ」が付くことが多い、文末に来て理由を述べる場合もある、「から」「ので」「からね」「なんだよ」；動詞基本形に付いて条件節を作る質問を説明を加える「;動詞未然形について仮定条件を表す。【例】とぅいぬ　むっじゅ　ほぅしゃー　とぅくまんかい　っちゅーば　うるー　うっち（鳥が麦を干してある所に来ているからそれを追い返せ）。ばーぬどぅー　かーきーどぅーば　みっじゅ　ぬまひーふぃーる（私は喉が渇いているので水を飲ませてくれ）。あみゃー　っふぁんば　あまぐい　ほぅだかー　ならん（雨が降らないので雨乞いしないとならない）。あつかいば　あうずひー　あうず（暑いので扇で扇ぐ）。でぃんな　あたらかかいば　まさぐん　つかい（お金は大切なものだから正しく使いなさい）。

はー [ha:]【名詞】［B］歯。【例】ふとぅてぃばー（虫歯）。まいばー（前歯）。つーばー（犬歯）。はーぬ　いちゃかいば　んびゃーいん（歯が痛いので我慢できない）。うすばー（臼歯）。はーゆぎーつぎーつ　ならす（歯をぎりぎりならす［＞歯ぎしりをする］）。

はー [ha:]【名詞】［B］刃。【例】かたなぬ　はー（包丁の刃）。っざらぬ　はーや　つーむぬ（鎌の刃はよく切れる）。

はー [ha:]【名詞】［B］葉。【例】きーぬ　はー（木の葉）。んーぎーぬ　はーや　んまい（芋の葉っぱはおいしい）。

はー [ha:]【形容詞】［B］速い、早い。【例】はーさにゃーや　ばがどぅ　かいんつきゃー　はーかい（競争は私が彼より速い）。かいが　すかまー　てぃび

んかいどぅ　はーかい（彼の仕事は仕事は一向に前に進まない［＜後ろの方に早い］）。［類］ひゃー。

はー [ha:]【接頭辞】［B］大きい、年長であることを表す。　【例】はーな（大きい穴）。はーぶ（大きな洞窟［＜はー＋あーぶ］）。はーに（長女、年齢が上の親しい女性、お姉さん）。

はー [ha:]【感動詞】〖応答詞〗目上の人に対しての承諾のことば、「はは」「さようでございます」。　【例】んまーさんかいや　いつまい　はーてぃ　うがまだかー　ならん（両親にはいつも「さようでございます」と頭を下げないといけない）。

ばー [ba:]【代名詞】［C］一人称単数代名詞主題形　私、ぼく　［複数形は「ばんちゃー」（「私たちは（聞き手を含まない）」］。　【例】ばー　あちゃ　うつなーんかい（私は明日沖縄に（行く））。ばー　くまぬ　すまんどぅ　んまりたい（私はこの島で生まれた）。［類］ばん、ばが、ばぬー、ばぬんかい。

ばー [ba:]【名詞】［C］わけ、状況。　【例】あいぬ　ばー（そんなわけだ）。また　あいぬ　ばー（そうなんですか）。なうてぃぬ　ばーが（どういうわけだ）。ばー　いかでぃばー（俺はいくのだ）。あてぃがー　っうぁー　いかじゃーんてぃぬ　ばー（じゃ、お前は行かないのか）。っうぁー　でぃんぬぎゃー　かしや　ふぃーじゃーんてぃぬ　ばー（あんたは金を貸してはくれないということなのか）。

ぱー [pa:]【名詞】［C］おばあさん。　［変異］はー。

はーうつ [ha:utsɨ]【名詞】早口。【例】はーうつ　びとぅ（早口の人）。［類］はーらうつ。

はーえー [ha:e:]【感動詞】あー　そうだ。

はーか [ha:ka] ①【形容詞】［A］真っ赤、真っ赤な。　【例】はーか　てぃだ（真っ赤な太陽）。はーか　あか（潮で焼けた髪）。②【名詞】［C 特殊］赤毛の人。

はーかがた [ha:kagata]【名詞】〖昆〗タイワンツチイナゴ。

はーからういうさ [ha:karauiusa]【名詞】〖植〗セイロンベンケイソウ、マザーリーフ。　【例】はーからういうさー　はーからどぅ　みーや　いでぃー（セイロンベンケイソウは葉っぱから新芽が出る）。

ばーき [ba:ki]【名詞】［C］（竹でできた）ざる。　【例】てぃび　ほぅぎ　ばーきんな　みっじゃ　たまらん（（お尻に穴が開いている）竹籠には水は溜まらない［＜お金が貯められない人の形容］）。

はーさ [ha:sa]【名詞】［C］速さ、早さ。　【例】ひかいぬ　はーさー　はからいどぅすちゃ（光の速さは測れるんだっ

て)。ばぬんな　かいが　すかまぬ　はーさんな　かちゃいん（私には彼の仕事の早さには勝てない)。［変異］ひゃーさ。

はーさ [ha:sa]【形容詞】［A］多い。【例】っうぁが　っじだまどぅ　はーさかい（お前の取り前がより多い)。せんきょぬ　とぅきゃんな　うなが　かたぬ　はーさからだかー　かちゃいん（選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。

はーさにゃー [ha:sanja:]【名詞】競争、かけっこ。［変異］ひゃーさにゃー。［類］きゃーさにゃー。

はーす [ha:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］這わせる、ハイハイさせる。【例】やらびゅー　はーす（赤ちゃんをハイハイさせる)。やらびゅー　はーすにゃー　あすみる（赤ちゃんにハイハイ競争をさせる［＜あかちゃんを］)。

はーだ [ha:da]【形容詞】［A］(眠りなどが) 中途半端な、(やり方、仕事が) 雑だ。【例】はーだ　ゆん（不正確な数え方)。はーだ　ふぁう（雑な食べ方)。はーだ　にゅー（中途半端な眠り)。はーだ　あす（雑なやり方)。かいが　すかまー　はーだかいば　ならん（彼の仕事は雑だ)。はーだ　びとぅ（仕事が雑な人)。

ばーってぃー [ba:tti:]【オノマトペ】ザッと、ひととおり。【例】かまう　ばーってぃー　みーみーみーる（向こうをざっーと見てみてごらん)。

ぱーとぅ　うや [pa:tu uja]【成句】祖父母。【例】ばんてぃが　ぱーとぅ　うやー　んなーぎゃー　がんじゅー（私達の祖父母はまだ元気だ)。

はーどぅい [ha:dui]【動詞】［r/rr 語幹］這う。【例】やらびゃー　はーどぅりー　どぅー（子供はハイハイしている)。［類］はい。

はーな [ha:na]【名詞】［C 特殊］大きい穴、洞窟。【例】はーなんかい　はいー（洞窟に入る)。

はーに [ha:ni]【名詞】［C］長女。

はーばす [ha:basɨ]【名詞】歯と歯の間。【例】みんきゃー　はーばすんかい　っふぁまらひー　ずみゃー　にゃーん（するめを歯の間にはさまらせていらいらする)。

はーひー [ha:hi:]【副詞】(朝) はやくに、とうに、さっき、早い時分。【例】ひとぅむてぃ　はーひー（早朝)。ばー　はーひーから　ってぃーどぅ（私は早い時分から来ている)。［変異］ひゃーひー。［類］しゃーか。

はーぶ [ha:bu]【名詞】［C 特殊］大きな洞窟。［類］あーぶ。

ばーふー [ba:fu:]【動詞】［f/ff 語幹］冗談を言ってからかう、悪口を言っていじめる、ばかにする、相手にしない。

【例】ばー　っづぁが　なうてぃ　あっじゃばんまい　ばー　っづぁうぎゃー　ばーっふぃーどぅーだら（私はお前が何といっても私はおまえなんか相手にしない）。あいや　ひとぅーぎゃー　ばーっふぁん（そんなに人をからかってはいけない）。うぬ　みどぅんがまう　ばーっふぃ　なかし（あの女の子をからかって泣かそう））。［類］ばーっふぃ。

はーみつ [ha:mitsɨ]【動詞】［k 語幹］息はハーハーしている。【例】ばーあてぃ　うだいやひどぅ　ひとまたあいつきゃー　いっちゃ　はーみきーどぅー（私はとても太っているので一歩歩くと息が切れる）。［変異］はーみふ。［類］っふぁみつ。

はーみふ [ha:mifu]【動詞】［k 語幹］息はハーハーしている。［変異］はーみつ。［類］っふぁみつ。

はーもー [ha:mo:]【名詞】歯のない人。【例】はーもー　ういびとぅ（歯のない年寄り）。

はーらー [ha:ra:]【助詞】（節を取って伝聞や伝聞に基づく推論を表す）～そうだ、（～言った）らしい［引用の「てぃー」を付けてもよい］。【例】しーしーがどぅ　うぬ　くとぅーぎゃー　っさすなてぃー　はーらーい（そんなことを知らせるなと言ったらしい）。しーしーが　うるー　むちいきてぃ　はーらー（先生がそれを持って行けと言ったそうだ）。あい　はーらー（そう言ったらしい）。いつたい　はーらー（行ったらしい）。なつたい　はーらー（泣いたらしい）。

はーらうつ [ha:rautsɨ]【名詞】早口。【例】はーらうつびとぅ（早口の人）。はーらうつひー　むぬい（早口でしゃべる）。［類］はーうつ。

はーり [ha:ri]【名詞】［C］爬龍船（はりゅうせん）競争、船漕ぎ競争の祭事、ハーリー［旧暦の５月４日に行われる船漕ぎ競争］。【例】はーりん　ふにゅー　くず（ハーリーに船を漕ぐ）。

はーりくず [ha:rikuzɨ]【名詞】爬龍船（はりゅうせん）競争、船漕ぎ競争の祭事、ハーリー［旧暦の５月５日に行われる船漕ぎ競争　＜はー（早）＋くず（漕ぎ）］。［類］はーり。

はい [hai]【動詞】［母音語幹］［C］這（は）う。【例】やらびゃー　はいどぅー（赤ちゃんは這っている）。［類］はーどぅい、はう。

はい [hai]【動詞】［母音語幹］［C］映える、美しい。【例】かぬ　しょじょぬかーぎゃー　はいどぅーい（あの若い女性の顔は美しい）。うぬ　みどぅんな　しゃしんな　ばりどぅ　はいゆー（その女性はとても写真写りがよくてきれいだ）。［変異］ばい。

はい [hai]【接尾辞】（写真などで）映えること、美しいこと。【例】しゃし

んばいひとぅ（写真写りが良い人）。

はい [hai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］行く、帰る、（連用形について）～てしまう。 【例】っうぁー　かまんかい　はり（お前は向こうに行け）。かりゃー　やーんかい　はりーにゃーん（彼は家に帰った（行った））。かぬきゃー　ばんちゅーぎゃー　すてぃーはりーにゃーん（彼らは私達をおいてきぼりにしていった）。かまんかい　はりーにゃーん（向こうに行った）。うつなーんかい　はりーにゃーん（沖縄に行った）。かりゃー　いんかい　はりーにゃーん（彼は海に行った）。んなない　ゆーいぬ　うさいや　ってぃつ　むっちゃひー　はりーにゃーん（全員お祝いの料理をそれぞれ持ち帰った）。やーんかい　はらでぃ（家に帰る）。じょ、やーんかい　はら（さあ、家に帰ろう）。すにー　はりーにゃーん（死んでしまった）。

はい [hai]【動詞】［A］貼る。 【例】ぬいひー　かびーゆ　はい（糊で紙を貼る）。

はい [hai]【動詞】［母音語幹］［C］（家が）栄える。 【例】かまぬ　きないや　むいとぅ　はいーどぅ（向こうの家はとても栄えている）。

はい [hai]【名詞】［B］ハエ。 【例】はいまい　やーでぃ（蝿も家族）。

はい [hai]【名詞】［C］畑。 【例】はいぬ　あっじゃう　あいつ（畑の端を歩く）。いすぐー　ばい（石ころだらけの畑）。きゅーや　あみゃー　っふぃぬ　あとぅ　やいば　はいや　すとぅりー　どぅーい（今日は雨降った後だから畑は湿っぽい）。はいゆ　あきー（開墾する）。［類］はる、だーず、だやず。

はい [hai]【名詞】［C］針。 【例】はいぬ　ふつ（針先）。はいぬ　みーゆたみー（（糸を通すため）針の目をねらう）。はいぬ　みーゆ　っちゃんつ（針の目を通す）。ういが　つむー　はいぬ　ふつぬ　ほぅいまい　にゃーん（あいつの心は針先の大きさもない）。

はい [hai]【名詞】［B］南。 【例】っうぁが　とぅみゅーむぬー　はいなぎんどぅ　あい（お前が探しているものは南にある）。

はい [hai]【感動詞】〖応答詞〗そう、そうだ。 【例】はい、あいだら（そう、そのとおりだね）。

ばい [bai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］似ている。 【例】っざ　っふぁぬ　かーぎゃー　ばりー　どぅーい（父子の顔かたちはよく似ている）。

ばい [bai]【形容詞】［B］悪い。 【例】ばがどぅ　ばいかたい（私が悪かった）。むぬいばどぅ　ばいかい（何かものを言うと悪いことがある［＞物言えば唇寒し］）。

はいー [hai:]【動詞】［r/rr 語幹］［C］入る。【例】はいふつから　はいり（入口

から入れ)。うまから　はいらいん（ここから入れない)。

ばい [bai] ①【動詞】[母音語幹][C] 映える、美しい。 ②【動詞】[r/rr 語幹][A] 映える、美しい。[類] はい。

ばい [bai] ①【動詞】[r/rr 語幹][A]（瓦、石などを）割る。【例】かーらう　ばい（瓦を割る)。やーゆ　ばい（家を壊す)。まかいゆ　ばい（お椀を割る)。 ②【名詞】[A] 割れたもの、破片。【例】かーらぬ　ばい（瓦の破片)。 ③【動詞】[母音語幹][A] 割る。【例】さきゅー　みずひー　ばいー　くー（酒を水で割って来い)。

はいがさ [haigasa]【名詞】主に子供がかかっていた脱毛病、禿頭病。 【例】んきゃーんぬ　やらびんみゃー　すぷたいかたいばどぅ　うんそぅく　はいがさまい　いじゅーたい（昔の子供は不潔だったからたくさん脱毛症状がでていた)。

はいかでぃ [haikadi]【名詞】南風。【例】はいかでぃがまぬどぅ　ふきどぅ　すだすないがま　ひーゆー（今日は南風が吹いて涼しい［＜ちょっとすずしくなっている]）。はいかでぃぬ　はやらしばよー（南風が生い茂らすからよ)。

はいから [haikara]【名詞】ハイカラな人。

ばいくみ [baikumi]【動詞】[母音語幹] 大声で叱る、説得する、どなりこむ。【例】ぬそぅどぅー　はいぬ　ぬすん　ばいくみらいにゃーん（泥棒は畑の主に言い込められた)。[類] ばいくん。

ばいくん [baikun]【動詞】[m 語幹] 大声で叱る、説得する、どなりこむ。【例】ひとぅーぎゃー　ばいくまん（人を怒鳴らない［＞怒鳴ってはいけない]）。やらびぬ　くとぅーひー　がっこうんかい　ばいくん（子供のことで学校に抗議する)。[類] ばいくみ。

ばいさ [baisa]【名詞】[C] 悪事。【例】ばいさう　あすてぃがー　っふぁんまがたーひーまい　とぅがまいどぅす（悪事を働いたら子孫代々まで非難される)。

はいすーばだ [haisi:bada]【名詞】排水溝。 【例】あみゃー　っふぃどぅ　はいすーばだんな　みずぬ　たまりゅーたい（雨が降って排水溝は水がたまっていた)。

はいつー [haitsi:]【名詞】腱、靭帯、血管。 【例】ぬーまぬ　はいつーや　ひつにかいば　かまいん（馬の筋はかたくて噛み切れない)。っうぁが　てぃーぬ　はいつーや　みーらいんば　あかっちゃ　とぅらいん（あなたの手の血管は見えないので血が取れない)。

はいつー [haitsi:]【形容詞】ねばりづよい、筋力が強い。 【例】やぐみ　は

いつー　すまとぅら（とても土俵際で粘りづよい相撲取り）。［類］はいつーじゅー。

はいつつ [haitsɨtsɨ]【名詞】刺青。【例】ばんてぃが　ぱーが　てぃーんな　はいつつぬ　あたい（私の祖母の手には入れ墨があった）。はいつつ　あす（入れ墨を入れる）。［類］はずつ。

はいでぃー [haidi:]【動詞】［母音語幹］（家が）栄える。【例】かまぬ　やーや　はいでぃーどぅー（あそこの家は栄えている）。はいでぃー　やー（栄えている家）。

ばいでぃん [baidin]【名詞】村の各家族への割り当て金。【例】すまぬ　ばいでぃんぬ　うぐないる（村の割り当て金を集めなさい）。

ばいど [baido]【名詞】［C］サトウキビの根元に土を盛ること、培土。【例】ぶーずぬ　ばいどぅ（サトウキビの根元に盛った土）。

はいどー [haido:]【感動詞】相手の言うことに同意するときに使う、「そうだ」。【例】A:（ものを渡しながら）っぅぁが　むぬ　ういな。B:　はいどー、ういどぅ　あたい（A:　あなたのはこれですか。そうです。B:　それです［<それでした］）。

ばいどく [baidoku]【名詞】梅毒。

はいばら [haibara]【名詞】南の辺り。

ばいふ [baifu]【副詞】悪く（言う、思う、なる）。【例】ひとぅーぎゃー　ばいふ　あっじゃん（人のことは悪くは言わない）。ばいふ　うむーだうり（悪く思うな）。かいが　やなやんな　ばいふ　なりーどぅー（彼の病気は悪くなっている）。

はいふつ [haifutsɨ]【名詞】入口。【例】ひとぅぬどぅ　やーぬ　はいふつんかい　っちゅーい（人が家の入り口に来ている）。はいふつから　はいり（入口から入れ）。［変異］はいーふつ。

はいまい　とぅばん [haimai tuban]【成句】蝿も飛ばない　［＞人の出入りがない状態］。【例】せんきょん　まきーみーてぃがー　かまぬ　やーんな　はいまい　とぅばん（選挙に負けるとあそこの家にはハエも飛ばない［＞誰も寄ってこない］）。

はいまがん [haimagan]【名詞】〖生物〗スナガニ科メナガオサガニ［砂浜にいる白っぽく足の速い蟹（かに）］。

ばいみつ [baimitsɨ]【動詞】［k 語幹］色々と不平不満を言う。【例】いっじゃ　いでぃー　ばいみき（いくらでも不平不満を言え）。［変異］ばいみふ。

ばいみふ [baimifu]【動詞】［k 語幹］色々と不平不満を言う。［変異］ばいみつ。

はいゆはい [haijuhai]【感動詞】（自分に気が付いてない相手に呼びかける

ときに使う）あのちょっと、おい君。【例】はいゆはい、マサイ、っうぁ　んじゃんかいが（おい、マサイ、お前はどこに行くんだ［＜どこにか］）。はいゆはい　まいざとぅぬ　うやっざよ（あのちょっと前里の親父さんよ）。

ばいんき [baiŋki] ①【動詞】［母音語幹］喋る；文句を言う、怒鳴りこむ、事を荒立てる。［類］ばいんふ、ばいんつ。②【動詞】［母音語幹］詰め込む、押しこむように食べる。［類］ばいんふ、ばいんつ。

ばいんふ [bainfu] ①【動詞】［k 語幹］文句を言う、喋る、怒鳴りこむ、事を荒立てる。【例】おい　ゆがががなまいまーぬ　ばいんふな（おい、馬鹿野郎、がたがたさわぐな）。ばー　ぶーっじゃぬすみー　ふぁーっでぃー　ひーむいとぅ　ばいんかいーにゃーっだん（私はサトウキビを盗んでたべようとしてひどく叱られた）。まーぬ　ばいんかだうり（あまり事を荒立てるな）。［変異］ばいんつ。②【動詞】［k 語幹］詰め込む、押しこむように食べる。【例】かばんかい　つんぬ　ばいんきー　いりる（カバンに衣類を詰め込め）。やーらふ　ないがまた　やいば　まーぬ　ばいんかだうり（やわらかくなるのであまり押し込むな）。　むぬー　ばいんきー　ふぁう（飯を押し込むように食べる）。［変異］ばいんつ。

はう [hau]【動詞】［w 語幹］［C］這う。【例】やらびゃー　んめ　はいーどぅー（子供はもうハイハイすることができる）。はうぬどぅ　はいーゆー（ヘビが這っている）。［類］はい。

はう [hau]【名詞】［B］ヘビ。【例】はうぬ　すでぃがら（ヘビの脱け殻）。［変異］ぱう。

ばう [bau]【名詞】［C］棒。【例】なそぅーぎーぬ　すたぬ　ばう　まーしゃがま（茄の木の下で棒を回す人［＞小さい人の比喩的表現］）。

はうい [haui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（水、種などを）まく。【例】っふぁいゆ　はうり（肥料をまけ）。みなかんかい　みっじゅ　はうり（庭に水をまけ）。はいん　むっじゅ　はうい（畑に麦をまく）。［類］はうり。

はうか [hauka] ①【名詞】［C］有能な人、やり手。【例】うまぬ　すかまんかいや　はうかう　いらび（そこの仕事にはやり手を選べ）。②【形容詞】［C］有能な；有能だ。【例】ばが　にんじゅから　かにがどぅ　んながーな　はうかかい（私の部下のうちでカニが一番有能だ）。

ばうず [bauzɨ]【名詞】［C］坊主。【例】てらぬ　ばうず（寺の坊主）。

ばうちら [bautɕira]【名詞】腕白坊主、暴力的な人。【例】ぎっじゃ　ひらいん　ばうちら　やらび（手に負えない腕白坊主）。くぬ　ぎずぎゃうな　ばう

ちらー　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　なうちゅんま　つかん（このわんぱく坊主、人の話をぜんぜん聞かない）。

はうつ [hautsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］掃く。【例】うまぬ　ぷきゅー　はうつひー　はうき（ここの細かいゴミを箒で掃け）。［変異］はうふ。

はうつ [hautsɨ]【名詞】［C］ほうき。【例】うまぬ　ぷきゅー　はうつひー　はうき（ここの細かいゴミを箒で掃け）。

ばうばう [baubau]【オノマトペ】ワンワン、犬の鳴き声を示す擬声語。【例】いんぬ　ばうばうてぃー　ぶいーゆー（犬がワンワンと吠えている）。

はうふ [haufu]【動詞】［k 語幹］［C］掃く。［変異］はうつ。

はうり [hauri]【動詞】［母音語幹］［A］（水、種などを）まく。［類］はうい。

はか [haka]【名詞】［B］墓。【例】はかぬ　まいゆ　あいつてぃがー　ひぎゃうむぬ（墓の前を通ったら鳥肌が立つ）。［類］むとぅ。

ばか [baka]【形容詞】［A］（人が）若い；（植物、果物が）育ってない、熟してない。【例】ばかむぬ（若者）。ばー　んめ　ばかっふぁにゃーん（私はもう若くない）。ばかあかほぅにゃー　すぐふぁーいどぅす（若いニンジンはそのまま食べられる）。くまんな　んめ　ばかかい　まんじゅーゆ　おかっじゃひー　ふぁう（ここではまだ熟していないパパイヤをおかずにして食べる）。

ばが [baga]【代名詞】一人称単数代名詞所有格形、「私の」、「ぼくの」［複数形は「ばんてぃが」（「私たちの（聞き手を含まない）」］。【例】うらー　ばが　とぅず（これは私の妻だ）。［類］ばん、ばぬー、ばー、ばぬんかい。

ばが [baga]【代名詞】一人称単数代名詞主格形、「私が」、「ぼくが」［複数形は「ばんてぃが」（「私たちが、私たちの（聞き手を含まない）」］。【例】ばが　ほぅだかー　たるがどぅ　あすがまた（私がやらないならだれがやるんだ）。［類］ばん、ばぬー、ばー、ばぬんかい。

ばが　そぅみやー [baga sumja:]【名詞】私の愛おしい人。

ばかーい [baka:i] ①【動詞】別れる。【例】うぬきゃが　ふたーいや　ばかーりーにゃーん（その二人は別れた）。とぅずとぅ　ばかーい（妻と離婚する）。うぬきゃうぎゃー　ばかーらし（彼らを別れさせろ）。［変異］ばきゃーい。②【名詞】別れ。【例】かんすぅとぅばかーい（（人が）神となって人々と別れること［＞死ぬこと］）。とぅずぶとぅばかーい（夫婦別れ、離婚）。ばが　ぶとぅあたいひとぅ　ばぬー　あてぃくとぅ　しつきゅーたいばどぅ　とぅずぶとぅ　ばかーい　あすたい（私の夫だっ

た人は私をとてもも虐待したので、離婚した)。[変異]ばきゃーい。

ばかーい [baka:i] ①【接尾辞】くらい。【例】うるー　みーつばかーい　ふぃーる（それを三つぐらいくれ)。ひこーきひー　とーきょーたーひーや　さんじかんばかーい　かかいどぅす（飛行機で東京まで三時間ぐらいかかる)。ぶーっじゃ　ふたひるばかーい　あり（サトウキビは２尋［＝約 3.6 メートル］ぐらいある)。くまぬ　はいや　にたんばかーい　あり（ここの畑は 2 反ぐらいある)。いさきばかーい（どれ位)。いだきばかーい（どれくらいの高さ（深さ）位)。いじゃーばかーい（どれ位の長さ（距離))。いかっさばかーい（値段はどれ位)。いほぅぎばかーい（どれ位の大きさ)。いなぎばかーい（どれ位の長さ)。んじゃばかーい（どこら辺)。[類]だちゃー。②【助詞】節を取って概数を表す､～するくらい。【例】ゆーいんな　んまむぬー　ふぁーいんばかーい　あたい（お祝いにはごちそうが食べられないぐらいあった)。すぐすからまい　なだぬ　いでぃばかーい　ほぅからすむぬ　（膝から涙が出るほどうれしい［＜とてもうれしいときの形容])。

はかい [hakai]【動詞】[r/rr 語幹][C] 測る。【例】まみゅー　つがひー　はかい（豆を枡ではかる)。

はかい [hakai]【名詞】[C] 秤。【例】じてんしゃー　はかいむぬ（自転車はバランスもの)。さたう　はかいひー　かきー　かう（黒糖を秤で計量して買う)。

ばかい [bakai]【動詞】[母音語幹][C]（人のものを）奪う、(取られたものを）取り返す。［類］ばかう。

はかいむぬ [hakaimunu]【名詞】自転車、オートバイ等（バランスを取る乗り物)。【例】はかいむぬん　ぬーい　とぅきゃんな　まさぐん　ぬーり（自転車などに乗るときは気を付けて乗れ)。

ばかう [bakau]【動詞】[w 語幹][C]（人のものを）奪う、(取られたものを）取り返す。【例】ひとぅぬ　むぬーぎゃー　ばかーん（人の物は奪わない)。ばかいにゃー（奪い合い)。ばかーいーやー　むぬー　とぅいかいす（奪われたものを取り返す)。とぅらいたい　むぬー　ばかい（取られたものを奪い返せ)。[類]ばかい。

はかうつ [hakautsɨ]【名詞】(仕事の）やり方、順番、段取り。【例】すかまうぎゃー　はかうっちゃ　ちゅっふぃ　あっそぅ（仕事を段取りを（ちゃんと）してやれ)。かいが　すかまぬ　はかうっちゃ　じゃうっふぁにゃーんば、かいが　すかまー　ぬーがらん（彼の仕事の段取りはよくないので、彼の仕事ははかどらない)。すかまぬ　はかうっちゅ　あきる（仕事の段取りをうま

くやれ)。はかうっちゅ　つきー　あっそぅ（段取りをつけて仕事をする)。

ばかさう [bakasau] ①【名詞】見かけが実際より若く見える人。　【例】ばー　ばかさうゆ　ぬずん（私は若く見える人がいいです)。[変異]ばかしゃう。②【形容詞】見かけが実際より若く見える。【例】どぅすんみぬ　なかから　かいがどぅ　んながーんな　ばかさうかい（彼が一番若く見える)。[変異]ばかしゃう。

ばかす [bakasɨ] ①【形容詞】[B]恥ずかしい。　【例】ばー　あいぬ　かんじがままい　っさいだ　ばかすかいば　ならん（私はこんな漢字も知らなくて恥ずかしくてならない)。②【形容詞】[B]面白おかしい。【例】あてぃ　ばかすかいば　ばたぶにぬ　ぶいきゃ　ばらいーにゃーん（余りにも面白いのでお腹の骨が折れるまで笑った)。かいが　はなっさ　あか　ばかすかいば　ならん（彼の話は可笑しくてならない)。あいぬ　ばかす　むぬいゆぎゃー　ほぅん（そんな可笑しな話はしない[>するな])。

ばかす [bakasɨ]【動詞】[C]沸かす。【例】みっじゅ　ばかす（水を沸かす)。

ばかす [bakasɨ]【名詞】[B]（普通は一升用の）酒を入れる壺。

ばかっづぁ [bakavva]【名詞】赤ちゃん。　【例】ばかっづぁぬ　んま（赤ちゃんの母親)。[類]あかっづぁ、だつっづぁ。

ばかてぃ [bakati]【擬態語】〖オノマトペ〗ぱんと、ばちんと　[手などで叩く音]。

ぱかてぃ [pakati]【擬態語】〖オノマトペ〗ぱんと、ばちんと　[手などで叩く音]。【例】ひとぅから　ぱかてぃ　うたひー　かつんたい　とぅきゃぬ　あたい（一匹バチンと叩き落してつかまえたときがあった[＞タカをつかまえたときの話])。

はかどぅい [hakadui]【動詞】[r/rr語幹]捗（はかど）る。　【例】すかまー　はかどぅりーどぅー（仕事は捗っている)。

ばかばい [bakabai] ①【動詞】[r/rr 語幹]植物が青々と再生して繁る、芽吹く。　【例】あみゃー　っふぃーみーてぃがー　んーぎーや　ばかばいーどぅーい（雨が降ったあとで、芋ずるは青々と芽吹いている)。②【動詞】[r/rr 語幹]吹き出物が広がる。【例】ふがさー　ばかばいーどぅー（おできは広がっている)。

ばかばいむぬ [bakabaimunu]【名詞】（食べると）吹き出物を悪化させる食べ物。【例】あいっぞぅー　ばかばいむぬ（アイゴは食べると吹き出物がわくるなる)。ほぅがさぬ　あいとぅきゃんな　ばかばいむぬーぎゃー　ふぁー

ん（おできのあるときは吹き出物を悪化させる食べ物を食べたらいけない）。

ばかばう [bakabau]【名詞】神様の名前、命の神様。

はがみ [hagami]【動詞】［母音語幹］［C］ニコニコ笑う。 ［類］はがん。

はがみつ [hagamitsɨ]【動詞】［k 語幹］ニコニコ笑う。［変異］はがみふ。［類］はがみんつ。

はがみふ [hagamifu]【動詞】［k 語幹］ニコニコ笑う。［変異］はがみつ。［類］はがみんつ。

はがみんつ [hagamintsɨ]【動詞】［k 語幹］ニコニコ笑う。 ［変異］はがみんふ。［類］はがみつ。

はがみんふ [hagaminfu]【動詞】［k 語幹］ニコニコ笑う。 ［変異］はがみんつ。［類］はがみつ。

ばかむぬ [bakamunu]【名詞】若者。［類］にしゃい。

はかり [hakari]【動詞】［母音語幹］［C］（量を）測る。 【例】っぞぅぬ んぶさー いっかっさ ありがてぃー はかりたい（魚の重さはいくらあるのか測った）。［類］はかい。

はがん [hagan]【動詞】［m 語幹］［C］ニコニコ笑う。 【例】やらびゃー ほぅからすかいががら はがみーどぅー（子供は嬉しいのかニコニコ笑っている）。［類］はがみ。

ばかんまり [bakammari]【名詞】1 月から 3 月に生まれた子、早生まれ。【例】くぬ っふぁ ばかんまり やいば ひてぃつが すじゃんみとぅ がっこーん いじゅー（この子は早生まれなので、一つ年上の子たちと学校に行っている）。

はぎ [hagi]【動詞】［母音語幹］［C］（髪の毛が）はげる、（色が）あせる。【例】ばー んなーぎゃー はぎや うらん（私はまだはげてない）。うぬ しゃしんぬ いるー はぎーどぅー（この写真の色はあせている）。

はぎ [hagi]【名詞】［C］はげ。 【例】はぎがなまい（剥げ頭）。

ばき [baki] ①【動詞】［母音語幹］［A］湧き出る。 ［類］ばつ。②【動詞】［母音語幹］［A］沸騰する、沸く。［類］ばつ。③【動詞】［母音語幹］［A］発酵する。【例】んつがまー みーかばかーいひー ばきどぅす（お神酒は三日ぐらいで発酵する）。［類］ばつ。

ばき [baki]【動詞】［母音語幹］［C］分ける、分配する。 【例】っぞぅだまう ばきー（魚の取り分を分ける）。

ばきがみ [bakigami]【名詞】髪の毛を分けること、また、髪の毛を分けた人。 【例】からー ばきがみ ひーゆー（彼は髪を分けている）。ばんてぃが

ぱーや　んきゃどぅらぬ　ばきがみん　とぅなかう　ばかーいたい（うちの祖母は荷川取の分け髪男に卵をとられた［「荷川取の分け髪男」は 100 年ほど前の実在の人物」）。

ばきだま [bakidama]【名詞】分け前。【例】ばが　ばきだまー　くさき（私の分け前はこれだけだ）。くまぬ　はいや　ばが　ばきだま（あそこの畑は私の取り分だ）。［類］たま、っじだま、とぅいまい。

はぎゃう [hagjau] ①【形容詞】［B］（場所、人、もの、話などが）鳥肌が立つ様な変な気持ちにさせる、嫌な気持ちにさせる。【例】かまー　はぎゃう　とぅくま（あそこは不気味なところだ）。からー　はぎゃうんまり（あいつは気味がわるいやつだ）。ういびとぅから　はぎゃうはなっそぅ　つふたい（お年寄りから気味悪い話を聞いた）。かいが　はなっさ　はぎゃうむぬ　あたい（彼の話は気味が悪かった）。②【形容詞】［B］嫌な気持ちになる。【例】かるー　みーてぃがー　はぎゃうさぬ（あいつを見ると気持ちが悪くなる）。

はく [haku]【名詞】［C］箱。【例】じゅーばくぬ　にゃーんば　くぬ　はくん　むつーゆ　つみる（重箱がないので、この箱にもちをつめろ）。

はぐい [hagui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（仕事などの）機会を失う、（仕事に）あぶれる、（人と）はぐれる。【例】かりゃー　うむくとぅあい　かないびとぅ　やいば　すかままい　なうまい　はぐらん（彼は頭がいい、まじめな人だからしごとにはあぶれない）。やらびゃー　んまから　はぐりーはりー　とぅみらいっだんぎーにゃーん（子供はお母さんからはぐれてしまって（探しても）みつからなくなった）。［類］はぐり。

ばくらう [bakurau] ①【名詞】馬を売買・周旋する人、馬喰。【例】まうきゃーぬ　っざー　ばくらうどぅ　あたい（向かいの家の父親は博労だった）。②【名詞】嘘つき。【例】からー　むいとぅぬ　ばくらう（彼はとっても嘘つきだ）。あいや　ひとぅんかいや　ばくらうゆぎゃー　ほぅん（そんなに人にうそをつくな）。かいが　むぬいや　いつまい　ばくらう（彼の言うことはいつも嘘だ）。

はぐらかす [hagurakasɨ]【動詞】［s/h 語幹］はぐらかす、ごまかす。【例】あいや　ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　はぐらかはん（そういうふうに人の話ははぐらかしてはいけない）。［類］はぐらす。

はぐらす [hagurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］はぐらかす、ごまかす。【例】あいや　ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　はぐらはん（そういうふうに人の話をぐらかしてはいけない）。［類］はぐらかす。

はぐり [haguri]【動詞】［母音語幹］［A］（仕事）機会を失う、（仕事に）はぐれる。

［類］はぐい。

ばさ [basa]【名詞】［C］芭蕉、バナナ。【例】ばさない（バナナの実）。ばさずん（芭蕉布の着物）。

ばさぎー [basagi:]【名詞】バナナの木。

ばさない [basanai]【名詞】バナナの果実。

はさん [hasan]【動詞】［m 語幹］［C］挟む。【例】うますひー　むぬー　はさみー　ふぁう（お箸で食べ物を挟んで食べる）。

はさん [hasan]【名詞】［C］ハサミ。【例】はさんひー　ぬぬー　きー（ハサミで布を切る）。

ばし [baʂi]【名詞】［C］（家や島などの）間、すき間、（雨戸などの）通り道、桟。［類］ばす。

ばしゃ [baʂa]【名詞】［B］馬車。【例】ばしゃんかい　にーゆ　つん（馬車に荷を積む）。ばしゃむちゃ（御者）。

ばじゃう [baʐau]【動詞】［vv 語幹幹］［A］くすぐる。［類］ばじゅー。

ばじゃかい [baʐakai]【動詞】［r/rr 語幹］（自分の指、肢、四肢を）広げる。【例】たくぬどぅ　ばじゃかりゅーい（タコが足を広げている）。ばじゃかりー　にゅー（大の字になって寝る）。［変異］ばだかい。［類］ばだからす、ばだかす。

ばじゃかす [baʐakasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（自分の四肢を）広げる、（他人の四肢を）広げさせる。［変異］ばだかす。［類］ばじゃかい、ばじゃからす、ばだからす、ばだかす。

ばじゃからす [baʐakarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（自分の四肢を）広げる、（他人の四肢を）広げさせる。［変異］ばだからす。［類］ばじゃかい、ばじゃかす、ばだからす、ばだかす。

ばじゃばじゃてぃー [baʐabaʐati:]【オノマトペ】さっさと。【例】すかまうぎゃー　ばじゃばじゃてぃー　あっそう（仕事をさっさとやれ）。

ばじゅー [baʐu:]【動詞】［vv 語幹幹］［A］くすぐる。【例】からー　ばぬー　ばじゅーたい（彼は私をくすぐった）。かいん　ばじゅっづぁいー　ひぎゃうかいば　ならっだん（彼に擽られてくすぐったくてしかたなかった）。っざー　なうちゃーにゃー　やらびゅー　ばじゅっづぃーにゃーん（お父さんはなんとなく子供をくすぐってしまった）。［類］ばじゃう。

ぱじゅら [paʐura] ①【名詞】［C］人を軽蔑して言う言葉、奴。【例】んじゃうなぱじゅら（どうしようもない奴）。ほぅりぱじゅら（バカな奴）。っそぅだ

すからん　ぱじゅら（どうしようもない奴）。みーちゃぎぱじゅら（見苦しい奴）。②【名詞】［C］おしゃべりで落ち着きがない人。【例】からー　むぬいや　つっちゃん　ぱじゅら（彼は話が切れないおしゃべりだ）。むぬゆん　ぱじゅら（おしゃべり）。

はす [hasɨ]【名詞】［C］箸。　［類］うます。

はず [hazɨ]【動詞】［g 語幹］［C］（皮などを）はぐ、（うろこ）を取る。　【例】ぬーまぬ　かーゆ　はず（馬の皮をはぐ）。っぞぅぬ　いーっちゅ　はぎ（魚の鱗を取る）。

はず [hazɨ]【動詞】［g 語幹］［C］剝がす。　【例】はだらぬ　いーきゃー　かたかいば　はずぐり（やくしまイワシの鱗は硬くて剝がしにくい）。

はず [hazɨ]【動詞】［g 語幹］［C］（船を）つくる。　【例】ふにゅー　はず（造船する）。

はず [hazɨ]【名詞】［C］足［接尾辞的に使う場合は「ぱず」になることが多い］。【例】ながぱず（長い足）。まるぱず（短い足）。ほぅっぱず（大きい足）。たーん゜んぱず（大きい足、田んぼ作業に向いた足）。まずむぬんな　はっじゃ　にゃーんちゃ（幽霊には足がないんだって）。ひとぅぬ　はずとぅいゆぎゃー　ほぅん（人の足を引っ張ることをしない）。

ばす [basɨ]【名詞】［B］（家や島などの）間、（雨戸などの）通り道、桟。　【例】んきゃーんな　やーばっさ　しばっふぁ　にゃーっだん（昔は家と家の間は狭くはなかった）。いらうとぅ　いきまぬ　ばす（伊良部と池間の間）。やらびゃー　あみぬ　ばすがまうどぅ　とばす（子供は雨と雨の隙間を走る）。やどぅ　ばす（雨戸のさん）。［類］ばし。

ばす [basɨ]【名詞】［B］アダンの実の中の芯。

ばすー [basɨ:]【動詞】［s/ss 語幹］［A］忘れる　［基本形の形はあまり使わない］。【例】ばぬんな　ぱーぬくとぅー　ばっさいん（私には祖母のことが忘れられない）。［類］ばっし。

はすか [hasɨka]【形容詞】［B］（こどもが）しっかりした、動きの良い。　【例】やぐみ　てぃーや　かからん　はすかやらび（全然手のかからないしっかりした子供）。からー　やらびあいきゃー　はすかむぬどぅ　あたい（あいつは子供の時はしっかり者だった）。

はずかないやらび [hazɨkanai-jarabi]【名詞】小さいときに歩けるようになった子供。

はずき [hazɨki]【動詞】［母音語幹］［C］（爆弾などが）爆発する、（風船、膀胱などが）破裂する。　［変異］ぱずき。［類］はずつ。

はずじゅー [haziʑu:]【形容詞】健脚。【例】はずじゅーびとぅ（健脚の人）。からー　はずじゅーかいば　ぶらたー　ひーや　あいかいどぅす（あの人は健脚なので、保良までは歩いて行ける）。

はずつ [hazitsi] ①【動詞】[k 語幹][C]（爆弾などが）爆発する、（風船、膀胱などが）破裂する。【例】だいだまー　はずきーにゃーん（ダイナマイトは破裂した）。すばいずつんな　はずかってぃどぅ　ほぅー（膀胱が破裂しそうだ）。[変異]はずふ、ぱずつ、ぱずふ。[類]はずき。②【動詞】[k 語幹][C]（手で何かを）弾く。【例】っそぅひだう　はずき（サザエの蓋を弾け［サザエの蓋をおはじきとして使っていた］）。[変異]はずつ、ぱずつ、ぱずふ。[類]はずき。

はずつ [hazitsi]【名詞】[C] 唇の端、口角。【例】はずつぬ　つってぃ　いちゃかいばならん（唇の端が切れて、痛くて仕方がない）。

はずつ [hazitsi]【名詞】[C] 刺青。【例】ばが　やらびあいきゃー　みどぅん　ういびとぅんみゃー　はずつぬどぅ　あたい（私が子供の頃、女性の年寄り達には刺青があった）。[類]はいつつ。

はずなら [hazinara]【名詞】足音。【例】やらびぬ　にっぅゅーば　はずならうぎゃー　いだはだ　すなーかがま　あいき（子供が寝ているから足音は立てずに静かに歩け）。ういが　ふーふっちゃ　はずならひー　っさいどぅす（彼がかえってくることは足音でわかる）。

はずふ [hazifu] ①【動詞】[k 語幹][C]（爆弾などが）爆発する、（風船、膀胱などが）破裂する。［変異］ぱずふ、はずつ、はずふ。[類]はずき。②【動詞】[k 語幹][C]（手で何かを）弾く。[変異]ぱずつ、はずつ、はずふ。[類]はずき。

はずふず [hazifuzi]【名詞】足首。【例】はずふっじゅどぅ　ないらひーにゃーん（足首をねん挫した）。

はずん [hazin]【動詞】[m 語幹][A] 膨らむ、（筋肉が）盛り上がっている。【例】くーきゅー　いりばんまい　たいやーや　はずまん（空気を入れたのにタイヤが膨まない）。ばかむぬぬ　くっづぁ　はずみーどぅーい（若者のふくらはぎは筋肉が盛り上がっている）。ふーせんぬ　はずまし（風船を膨らませろ）。[変異]ぱずん。

はた [hata]【動詞】[C]「はい」の過去形「はたい」の省略形。【例】かりゃー　くるまひー　はた（彼は車で帰った）。

はた [hata]【名詞】[B] 織り機、はた。

はた [hata]【名詞】[B]（建物、土地、場所などの）境界、端、縁、浜；（皿、鍋、お椀などの）縁。【例】やすつぬ　はた（屋敷の境界）。はいぬ　はたぬ　っさう　とぅい（畑の端の草を取る）。い

んぬ　はたう　あいきーまーい（浜を歩き回る）。まかいぬ　はたー　ばりーにゃーん（お椀の縁が割れた）。

ばた [bata]【名詞】[B] 腹。【例】ばたー　んてぃーどぅー（満腹している）。ばた　やん（腹痛）。ばたぶ（出っ腹の人）。ばたぐーむぬ（おなかが苦しい）。ばた　ずみゃー　にゃーん（お腹の調子が悪い）。

ばだ [bada]【名詞】[B] 溝。【例】うまぬ　ばだー　ふかかいば　ばたらいん（そこの溝は深いから渡れない）。うまぬ　ばだん　っふぁいや　いりー、ぶーっじゅ　いび（そこの溝にたい肥を入れてサトウキビを植えろ）。

ばた　ふさい [bata fusai]【成句】[r/rr 語幹] 腹が立つ。【例】ばー　っうぁが　なうてぃ　あっじゃばんまい　ばたー　ふさらん（私は君が何と言っても腹は立たない）。かるーぎゃー　ばたふさらし（彼を怒らせろ）。

ばた　ふっでぃんまり [bata fuddimmari]【成句】人に意地悪する奴。【例】ばたふっでぃんまりとぅや　うぐなーらん（人に意地悪する人とは同席しない）。

ばたー　にゃーん [bata: nja:n]【成句】度胸がない［< 腹がない、腹が座っていない］。【例】ばたー　にゃーんんまり（度胸のない奴）。

ばたー　むぎゃっりー [bata: mugjarri:]【成句】酷く腹を立てる、はらわたが煮えくりかえる。【例】ばー　かさますかいば　ばたー　むぎゃっりーどぅーい（私はくやしくてはらわたが煮えくりかえっている）。

はだ [hada] ①【名詞】[B] 年頃、（そのことに適切な）時期、適齢期。【例】ゆぬはだ（同じ年頃）。はだ　なりーどぅーい（その時期になっている［種まき、き、結婚、学校に行くなど］）。うながはだんな　わいてぃー　かないー　とぅず　っふぁうぎゃー　つかなーだかーならん（自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない）。ぶとぅ　むつ　はだ（夫を持つ年頃［女性の結婚適齢期］）。とぅず　とぅみ　はだ（妻を探す年頃［男性の結婚適齢期］）。がっこう　いつ　はだん　なりーどぅー（学校に上がる年齢になっている）。っふぁ　なす　はだ（出産可能な年齢）。②【名詞】[B] 直前、間近　［連濁して「ばた」になるのが原則］。【例】ねんきんぬ　いでぃばたん　なりーどぅー（もうすぐ年金が出る頃だ）。っふぁ　なす　ばた（出産間近）。

はだ [hada] ①【名詞】[B]（年寄りや若者が）年齢相応でないこと。【例】はだーにゃーんんまり（年齢相応でない奴［若作りの年寄り、年寄りっぽい若者）。②【形容詞】[B]（子供が）しっかりしている、（子供が）手がかからない。【例】はだやらび（（幼い子が）年齢

にしてはしっかりしている)。うぬ　やらびゃー　やぐみ　はだむぬ（その子はとてもしっかりしている)。

はだ [hada] ①【名詞】[B]（人の）肌。【例】きつぎ　はだ（綺麗な肌)。っそぅはだびとぅ（色白の人)。はだーにゃーんんまり（不健康そうな顔色の悪い奴)。ういが　はだー　ぴたーてぃどぅ　ほぅー（彼女の肌は滑らかだ)。②【名詞】[B] 相性。【例】かいとぅや　はだー　あーん（彼とは肌が合わない)。

ばたい [batai]【動詞】[r/rr 語幹][A]（向こう側に）渡る。【例】ふにひー　すまう　ばたい（舟で島を渡る)。

はだかす [hadakasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（服を）脱がす、（人が人に指示して服を）脱がせる。【例】やらびぬ　つんぬ　はだかす（子供の服を脱がす)。うまん　やらびんみん　つんぬ　はだかし（ここで子供たちに服を脱がせなさい)。[変異] はっだかす。

ばだかす [badakasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（手、扇、股などたたんであるものを）開く、広げる。[変異] ばじゃかす。[類] ばだつ、ばじゃからす。

はだかんま [hadakamma]【名詞】馬具を着けていない馬、裸馬。【例】はだかんまん　ぬーいてぃがー　てぃーぬんぬ　やん（馬具を着けていない馬に乗るとお尻が痛くなる)。

はたきまい [hatakimai]【名詞】〖植〗陸稲。

ばだく [badaku]【名詞】[C] 溝。【例】ばだくー　ばたり（溝を渡れ)。[類] ばだ。

ばたずみ [batazɨmi]【名詞】お腹の調子[「ばたずみゃー　にゃーん」形で否定的に用いられる]。【例】わーぬ　あっづぁー　ふぁいどぅ　ばたずみゃー　にゃーん（豚の脂肉を食べてお腹の調子が良くない)。

はだたつ [hadatatsɨ]【形容詞】憎らしい、イライラする。【例】かいがむぬいゆ　つふてぃがー　はだたつむぬ（彼の話を聞くとイライラする)。

はだつ [hadatsɨ]【動詞】[k 語幹][C]（服を）脱ぐ。【例】つんぬ　はっだき（服を脱げ)。[変異] はだふ。[類] はっだつ。

ばだつ [badatsɨ]【動詞】[k 語幹][C]（手、扇、股などたたんであるものを）開く、広げる。【例】てぃーはっじゃばだきー　にっづゅーい（手足を開いて大の字で寝ている)。[変異] ばだふ。[類] ばだかす。

はだっさり [hadassari] ①【形容詞】気さくな、人見知りしない；よく成長している、年相応に成長している。【例】はだっさりびとぅ（気さくな人)。はだっさりやらび（人見知りしない、元気で手のかからない子)。②【形容詞】（病

気などで）顔色が悪い、気分がすぐれない。【例】からー　やんぬ　あとぅー　ひどぅ　はだっさり（彼は病気の後で顔色が悪い）。きゅーや　ぱちんこー　まきー　むいとぅ　はだっさりむぬ（今日はパチンコで負けておもしろくない）。

ぱたてぃー [patati:]【オノマトペ】パタッと。【例】ういびとぅー　んつん　ぱたてぃー　たうりーにゃーん（老人は道でパタッと転んだ）。［変異］ばたてぃー。

はだふ [hadafu]【動詞】［k 語幹］［C］（服を）脱ぐ。［変異］はだつ。

ばだふ [badafu]【動詞】［k 語幹］［C］（手、扇、股などたたんであるものを）開く、広げる。［変異］ばだつ。［類］ばだかす。

ばたふくる [batafukuru]【名詞】（お金やたばこなどを入れる）キンチャク袋。【例】ばたふくるんかい　でぃんぬ　いりー（財布に金を入れる）。

ばたふさい [batafusai]【動詞】［r/rr 語幹］腹を立てさせる。【例】かいん　ばたふさらはいにゃーん（彼に腹を立てさせられた［＞彼の言動で腹が立った］）。［変異］ばたっさい。

ばたふさい [batafusai]【形容詞】腹立たしい。【例】ばたふさいかいばならん（腹立たしくてならない）。［変異］ばたっさい。

ばたふっじゃ [batafuzza]【名詞】他人の感情を逆撫でする人、人をイライラさせる人。【例】かりゃー　むいとぅぬ　ばたふっじゃ　やいば　かいが　やかたんな　びじゃだうり（彼はとても他人の感情を逆なでする人だから彼のとなりに座るな）。

ばたふっず [batafuzzi]【動詞】［zz/dd 語幹］他人の気分を害する、他人をイライラさせる。【例】まーぬ　ひとぅー　ぎゃー　ばたふっずな（あまり人をイライラさせるな）。［類］ばたふっでぃ。

ばたふっでぃ [batafuddi]【動詞】［母音語幹］他人の気分を害する、他人をイライラさせる。【例】からー　ばたふっでぃんまり　やいば　うりゅー　ぎゃー　たきゅーぎゃー　ほぅだうり（あいつは他人の神経を逆なでする奴だから彼を相手にするな）。［類］ばたふっず。

ばたぶに [batabuni]【名詞】お腹の骨［おなかに骨はないが、大笑いするときの比喩に使われる］。【例】あてぃ　ばかすかいば　ばたぶにぬ　ぶいきゃ　ばらいーにゃーん（余りにも面白いのでお腹の骨が折れるまで笑った）。

はだやらび [hadajarabi]【名詞】手のかからない子供。

はだら [hadara]【名詞】［C］〖魚〗ヤクシマイワシ、トウゴロウイワシ［浜辺に群れを作って泳ぐ鱗のかたい小魚］。【例】はだらぬ　いーきゃー　かたかい

ば　はずぐり（やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい）。

ばたら [batara]【名詞】[C]《生物》ワタリガニ科イシガニ。　【例】ばたらん　うゆびゃー　かんむらいーにゃーん（バタラに指を噛まれてしまった）。

はたらつ [hataratsɨ] ①【動詞】[k 語幹] 働く。【例】てぃーん　はらぬ　いでぃきゃ　はたらつ（手にマメができるまで働く）。[変異] はたらふ。②【名詞】働き、稼ぎ。

ばたらみつ [bataramitsɨ]【動詞】[k 語幹]（足を）バタバタさせる。　【例】やらびゃー　がんなりー　はっじゅ　ばたらみきゅーたい（子供は駄々をこねて足をバタバタしていた）。[変異] ばららみふ。

ばたらみふ [bataramifu]【動詞】[k 語幹]（足を）バタバタさせる。[変異] ばたらみつ。

ばたんつ [batantsɨ]【動詞】[k 語幹] 満腹になる。　【例】ばたんちゅーばんめ　ふぁーいん（おなかがいっぱいでもう食べられない）。っふぁんみぬまいんきや　むぬーぎゃー　ばたんつきゃ　びびききゃ　ふぁうだら（子供たちのところに行くと食事をお腹いっぱいになるまで、口からあふれるほど食べる）。[変異] ばたんふ。

ばたんふ [batanfu]【動詞】[k 語幹] 満腹になる。　[変異] ばたんつ。

ばちゃみ [batçami] ①【動詞】[母音語幹] [C] 大事にしまう、隠す。【例】ばが　ばちゃみー　あたい　さきぬどぅ　ひなりゅー（私が大事に取って置いた酒が減っている）。でぃんぬぎゃー　まさがんてぃー　ばちゃみゅーき（お金をちゃんとしまっておけ）。②【動詞】[母音語幹] [C]（食器等を）片付ける。【例】ちゃばんぬ　あらいー　ばちゃみる（湯呑を洗って片付けなさい）。まかいゆぎゃー　ばちゃみーんなし（お椀を片付けてしまいなさい）。まかいやばちゃみらいどぅー（お椀は片付けられている）。[類] ばちゃん。

ばちゃん [batçan] ①【動詞】[m 語幹] [C] 大事にしまう、隠す。　[類] ばちゃみ。②【動詞】[m 語幹] [C]（食器等を）片付ける、しまう、隠す。[類] ばちゃみ。③【名詞】[C] 片付けること、しまうこと。【例】ぺんな　ふかばちゃんひー　とぅみらいん（ペンを奥深くしまって見つけられない）。

はつ [hatsɨ]【動詞】[c/t 語幹] [C]（動詞基本形について）動作が尽きる、終わる。　【例】なうばい　ふぁーんまい　ふぁうはたいん（どんなに食べても食べきれない）。[類] はてぃ。

ばつ [batsɨ] ①【動詞】[k 語幹] [A] 湧（わ）く。　【例】みずぬ　いすぬ　ばすからどぅ　ばきーゆー（水が石の間からわきでている）。[変異] ばふ。[類] ばき。②【動詞】[k 語幹] [A]（お湯が）

沸（わ）く。【例】なびぬ　みっじゃばきー　どぅー（鍋のお湯は沸いている）。［変異］ばふ。［類］ばき。③【動詞】［k 語幹］［A］発酵する。［変異］ばふ。［類］ばき。

ばつ [batsɨ] 【動詞】［k 語幹］［C］（鋸で木を）切る。 【例】ぬくずーひーきーゆ　ばつ（鋸で木をきる）。［変異］ばふ。

ばつ [batsɨ] 【名詞】［B］ばち（があたる）、罰（を受ける）。 【例】かりゃー　やなばっちゃ　あたりー　すにーにゃーん（彼は悪い罰を受けて死んでしまった）。きゅーや　がっこーん　ばっちゃ　ひらいたい（今日は学校で罰を受けた）。

ばっし [baʨʥi] 【動詞】［母音語幹］［A］忘れる。 【例】くぬいや　むいとぅむぬー　ばっしー　ならん（最近はよくものを忘れて仕方がない）。ういびとぅ　なりー　ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　すぐ　てぃびから　ばっしーどぅーい（年取って人の話したことを即座に忘れてしまう）。みどぅんぬ　くとぅーぎゃー　ばっしる（女の事は忘れろ）。べんとーゆぎゃー　ちゅっふぃやーば　むちーいつ　むぬーぎゃー　ばっしーな（弁当を作ってあるので持っていくのを忘れるな）。かぎゅー　かばん　いりゅーたい　くとぅー　ばっしーにゃーん（鍵をかばんに入れていたことを忘れていた）。

ばっじゃい [baʐʑai] 【動詞】［母音語幹］（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。【例】っぞぅー　ばっじゃいる（魚をさばく）。［類］ばっず、ばっじゃう。

ばっじゃう [baʐʑau] 【動詞】［w 語幹］（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。【例】っぞぅー　ばっじゃう（魚を調理用に鱗を剥いだり、内臓を取り出したり、肉を切ったりする）。わーゆ　ばっじゃう（豚を調理用に内臓を出したり、毛を剥いだり、肉を切ったりする）。［類］ばっず、ばっじゃい。

はっじゃき [haʐʑaki] ①【動詞】［母音語幹］（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。 ［変異］ぱっじゃき。［類］はっじゃつ、はっじゃす。②【動詞】［母音語幹］（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。

はっじゃす [haʐʑasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。 【例】かにふっじゅ　うんかっでぃーひーはっじゃひー　げんのーひー　うながうゆびゅー　っつきーにゃーん（釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった）。［変異］ぱっじゃす。［類］はっじゃつ、はっじゃき、はっじゃす。②【動詞】［s/h 語幹］（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗

する、～そこなう、～そびれる。

ばっじゃす [baʐʐasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］捌（さば）く。 【例】っぞぅー　ばっじゃす（魚を捌く）。［類］ばっじゃい、ばっじゃう、ばっず。

はっじゃつ [haʐʐatsɨ] ①【動詞】［k 語幹］（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。 【例】まとぅ　はっじゃきー　うーつつひー　うなが　はっじゅ　ったきーにゃーん（的を外して大ハンマーで自分の足を叩いてしまった）。［変異］はっじゃふ。［類］はっじゃき。②【動詞】［k 語幹］（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。【例】いつはっじゃき（行きそびれる）。ふぁうはっじゃき（食べそびれる）。すかまー　あすぱっじゃきーにゃーん（仕事をやり損ねた；ちゃんとできなかった）。やーや　ふつはっじゃきーにゃーん（家を作りそこなった［「作る機会がなかった」と「ダメな家を作った」の両方の意味がある］）。［変異］はっじゃふ。［類］はっじゃき。

はっじゃふ [haʐʐafu] ①【動詞】［k 語幹］（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。 【例】まとぅ　はっじゃきー　うーつつひー　うなが　はっじゅ　ったきーにゃーん（的を外して大ハンマーで自分の足を叩いてしまった）。［変異］はっじゃつ。［類］はっじゃき。②【動詞】［k 語幹］（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。［変異］はっじゃつ。［類］はっじゃき。

はっず [hazzɨ] ①【動詞】［zz/dd 語幹］［C］（服を）脱ぐ。 【例】あいぬ　とぅくまん　つんぬぎゃー　はっじゃん（そんなところで服を脱ぐな）。［類］はだつ、はっだつ、はっでぃ。②【動詞】［zz/dd 語幹］［C］（仲間から）外れる。

ばっず [bazzɨ] 【動詞】［zz/dd 語幹］［A］（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。 【例】ひんじゃう　ばっじ（ヤギをさばけ）。［類］ばっじゃい、ばっじゃう。

ばっだ [badda] 【名詞】［C］脇。 【例】ばっだー　ばっだかじゃぬどぅ　あす（脇は腋臭がする）。

ばっだかじゃ [baddakaʐa] 【名詞】腋臭。

はっだかす [haddakasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（服を）脱がす、（人が人に指示して服を）脱がせる。 ［類］はだかす。

はっだかす [haddakasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（服を）脱がせる。 【例】つんぬ　はっだかし（服を脱がせろ）。［変異］はだかす。

はっだき [haddaki] 【動詞】［母音語幹］（服を）脱ぐ。 【例】っうぁが　っふすーつんぬ　はっだきーみーる（お

前の汚い服を脱いでみろ)。[変異]はだき。[類]はっだつ、はだす、はだす。

ばっだぎー [baddagi:] 【名詞】脇毛。

ばっだだき [baddadaki] 【名詞】脇までの高さ、深さ。 [類]ばっだだつ。

ばっだだつ [baddadatsɨ] 【名詞】脇までの高さ、深さ。 【例】かりゃーばが ばっだだつ(彼は私の脇までしかない)。うまぬ いんな ばが ばっだだつ((海の)あそこのあたりは脇ぐらいの深さだ)。[類]ばっだだき。

ばっだだに [baddadani] 【名詞】脇のリンパ腺。【例】ばっだだにぬどぅふくりゅー(脇のリンパ腺が腫れた)。

はっだつ [haddatsɨ] 【動詞】[k 語幹](服を)脱ぐ。 【例】ふくー はっだきー うーっじゅ あっそぅ(服を脱いで水浴びしなさい)。[変異]はっだふ、はだつ、はだふ。[類]はっだき。

はっだふ [haddafu] 【動詞】[k 語幹](服を)脱ぐ。 [変異]はっだつ、はだつ、はだふ。[類]はっだき。

はっでぃ [haddi] ①【動詞】[母音語幹][C](服を)脱ぐ。 【例】おい すぷたら、うぬ すぷたい つんぬぎゃー はっでぃる(おい、この不潔野郎、その不潔な服を脱げ)。[類]はだつ、はっだつ、はっず。②【動詞】[母音語幹][C](仲間から)外れる。【例】やなどぅすんみから はっでぃー はりーにゃーん(悪い友達グループから抜けた)。

はっどー [haddo:] 【成句】はず(はずだ)+どー(終助詞)の縮約形、～はずだよ。 【例】あいはっどー(そのはずだよ)。なつはっどー(なくはずだよ)。いつはっどー(行くはずだよ)。にゅーはっどー(眠るはずだよ)。なうがらはっどー(何かあるはずだよ)。

ばっぱい [bappai] ①【動詞】[母音語幹]間違える。 【例】えげ、んっちゅ ばっぱいーにゃーん(しまった、道を間違えた)。かにゅー まさいてぃー ばっぱいーにゃーん(カニをマサイだと見間違えた)。けーさんぬぎゃー ばっぱいな(計算を間違えるな)。②【名詞】勘違い、間違い。【例】つつばっぱい(聞き間違い)。みーばっぱい(見間違い)。きゅーまい けいさんばっぱいや ひーにゃーん(今日も計算間違いをしてしまった)。

はてぃ [hati] 【名詞】[B]はるか遠く、1 番はしの所。 【例】かまぬ はてぃ(ずっと向こうの方)。かまぬ ぶらはてぃたーひー いきゅーたい(あの遠くにある保良まで行った)。

はてぃ [hati] 【動詞】[母音語幹][A](動詞基本形について)動作が尽きる、終わる。 【例】なうばい ふぁーんまい ふぁうはてぃらいん(どんなに食べても食べきれない)。あてぃ かーまやいば いつ はてぃらいん(とて

も遠いので行き着くことはできない)。かいが　あぱらぎさー　あいはてぃらいん（彼女の美しさは言い尽くせない)。きゅーんな　うぬ　ほぅんな　ゆんはてぃらいん（今日中にはその本は読み切れない)。[類]はつ。

はてぃ [hati]【形容詞】[A]果敢な、向こう見ずな。【例】はてぃみどぅん（失敗を恐れない果敢な女性)。

はてぃびとぅ [hatibitu]【名詞】(失敗を恐れない）果敢な人、向こう見ずな人。【例】かりゃー　なうゆまい　いっづぃん　はてぃびとぅ（彼・彼女は何をも恐れない強い人だ)。[類]はてぃむぬ。

はてぃみどぅん [hatimidun]【名詞】勇敢で、怖さを恐れない女性。【例】うぬ　はてぃみどぅんな　あつないや　ひどぅ　うやきん　なりーにゃーん（その失敗を恐れない女性は商売をして裕福になった)。

はてぃむぬ [hatimunu]【名詞】怖さを知らない人。[類]はてぃびとぅ。

はとぅ [hatu]【名詞】[B]山鳩。

はな [hana]①【名詞】[B]（家、机、モノの）上、上の方、(階級などの）一番上。【例】やーぬ　はなんかい　かーらう　ぬーす（家の上[＝屋根]に瓦をのせる)。つくいぬ　はなんかい　ぬーいな（机の上に乗るな)。やーぬ　はなんどぅ　つっちゅぬ　いじゅー（家の上に月が出ている)。どぅすぬ　はな　あぐぬ　はな　とぅゆまし（友達の上（一番）として同級生の上としてえらくなりなさい[古謡：[ますむいぬ歌]から)。②【名詞】[B]供え物の上または端のごく一部分。【例】かんかい　はなう　うさぎ（供え物の上または端のごく一部を神に供える[供え物を用意して、神にお祈りをして、それから供え物の一部をトゥムたちがとって神に供える])。

はな [hana]【名詞】[B]花。【例】はなぬ　つぶん（花のつぼみ)。はなー　さきーどぅー（花が咲いている)。

はな [hana]【名詞】[B]鼻。【例】びだばな（低い鼻)。たかばな（高い鼻)。はなぬ　あーぎん　ほぅがさぬ　いでぃー　いちゃかいば　ならん（鼻の上の方におできができて痛くてしかたがない)。からー　あてぃ　いばいかいば　かいが　はなー　ぶらだかー　ならん（あいつは威張りすぎてるので、あいつの鼻をへし折ってやらないといけない)。

ばな [bana]①【名詞】[B]頃、時期、時分。【例】てだぬ　ぬーい　ばな（太陽がのぼる頃)。すかま　あすばな（仕事を始める頃)。たかー　ふー　ばな　なりーどぅー（サシバが飛来する時期になっている)。んめ　っさらんかい　つふばな（もう平良に着く時分だ)。ロサンゼルっさ　んなまずぶんな　んめ

ゆい　ふぁうばな（ロスアンジェルスはいまごろはもう晩御飯を食べる時分だ）。②【名詞】［B］（あることをする）年頃、適齢期。【例】ぶとぅとぅみ　ばな（夫を探す年頃［＞女性が結婚する年頃］）。とぅずとぅみ　ばな（妻を探す年頃［＞男性が結婚する年頃］）。んまがー　んめ　がっこー　いでぃ　ばな　なりーどぅー（孫は学校に入学する年頃になっている）。

ばな [bana]【名詞】［B］紐などを輪の形にして獲物を捕るためのもの、罠。【例】ばなひー　たかう　ふんず（紐を輪にしたワナで鷹を引っ掛ける）。

はない [hanai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（場所から）離れる、（人から）別離する。【例】ふにゃー　んなとぅから　はなりーはい（船は浜から離れて行く）。みどぅんな　ばんから　はなりー　はりーにゃーん（妻は私から離れて行ってしまった）。［類］はない（母音語幹）。

はない [hanai]【動詞】［母音語幹］［C］離れる。

はなう　ならす [hanau narasɨ]【成句】［s/h 語幹］いびきをかく。【例】ぶじゃー　はなー　ならひー　にっづゅー（おじさんはいびきをかきながら寝ている）。

はなう　ひつ [hanau hitsɨ]【成句】［k 語幹］風邪をひく、くしゃみをする。【例】やらびゃー　はなー　ひきどぅ　にっちゃ　いだひー　にっづゅー（子供は風邪をひいて熱を出して寝ている）。はなひつ　とぅきゃんな　ひとぅんかい　つっじゅぎゃー　とぅばすな（くしゃみをするときには唾を飛ばすな）。なうがから　はなひつ　びとぅ（何かしらよくクシャミする人）。［変異］はなう　ひふ。

はなう　ひふ [hanau hifu]【成句】［k 語幹］風邪をひく、くしゃみをする。［変異］はなう　ひつ。

ばなかん [banakan]【名詞】〖形式名詞〗（動詞基本形について）～している間に。【例】やらびぬ　にっづゅー　ばなかん　つんぬ　あらーでぃ（子供が寝ている間に洗濯しよう）。ささぎゆーいぬ　ばなかん　びきどぅんな　ほぅからっさひー　なきーたーな　うたい（結婚式の間、新郎はうれしくてずっと泣いていた）。

はながんふ [hanaganfu]【名詞】（浜からみて）上にある岩。【例】はながんふぬ　あーぎんな　とぅいがまぬ　うたい（岩の上に小鳥がいた）。

はなぎー [hanagiː]【名詞】〖植〗ブッソウゲ、ハイビスカス。

はなす [hanasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］［C］（人や物を人や物から）離す、離れたところに連れていく、（部品を本体）外す。【例】んまー　いすがすかいば　うぬ　なつっじゃうぎゃー　はなひー　う

き（お母さんは忙しいのでその泣き虫を離しておきなさい）。っざらう　ゆるから　はなす（鎌の刃を柄からはずす）。みがにゅー　はなひーみーる（メガネを取ってみろ）。ぬーまん　ぬーいとぅきゃんな　たづなうぎゃー　はなはん（馬に乗るときには手綱は離さない）。②【動詞］［s/h 語幹］［C］（絡まったものを）ほどく。【例】いとぅー　がでぃらくんなりどぅ　なうちゅんま　はなはいん（糸がからまってぜんぜんほどけない）。

はなす [hanasɨ]【名詞】［B］話、相談、お話し。【例】うたきんな　じゃう　はなっそぅたーな　あっそぅ（ウタキではいい話だけしなさい）。っづぁとぅ　はなすぬどぅ　あい（お前と話がある）。あいぬ　はなっそぅぎゃー　つきゃー　みーん（そんな話は聞いたことがない）。

はなず [hanazɨ]【名詞】［A］（船などの）先頭部分、（動物などの）鼻先。【例】ふにぬ　はなず（船の船首）。ぬーまぬ　はなず（馬の鼻先）。［変異］はなでぃ。

はなた [hanata]【名詞】［A］崖、絶壁。【例】いんぬ　はなた（岸壁）。やまぬ　はなた（山の崖になっているところ）。

はなでぃ [hanadi]【名詞】［A］（船などの）先頭部分、（動物などの）鼻先。【例】ふにぬ　はなでぃ（船の先端）。［変異］はなず。

はなならす [hananarasɨ]【名詞】いびき。【例】かまぬ　っざが　はなならっさ　んじゃたーひーまい　つかいどぅす（あそこのお父さんのいびきはどこまでも聞こえる）。

はなぬぱー [hananupa:]【名詞】〖祭礼〗七杜の上位五人の司　［ウーンマ、アーグシャ、ナカバイ、アーグシャヌトゥム、ウーンマヌ　トゥムからなる」。［類］はなぬんま。

はなぬんま [hananumma]【名詞】〖祭礼〗七杜の上位五人の司　［ウーンマ、アーグシャ、ナカバイ、アーグシャヌトゥム、ウーンマヌ　トゥムからなる」。［類］はなぬぱー。

はなひつ [hanahitsɨ]【名詞】風邪、くしゃみ。【例】からー　いつまい　ゆーどぅ　はなひつ　あす（彼はいつもくよくしゃみをする）。

はなぶー [hanabu:]【名詞】下駄などの緒の先の部分、鼻緒。【例】あっちゃぬ　はなぶーぬ　つってぃーにゃーん（下駄の鼻緒が切れた）。

はなみず [hanamizɨ]【名詞】鼻水。

はなむつ [hanamutsɨ]【名詞】（海岸の）切り立っているところ、崖。【例】いんぬ　はなむつ（海岸べりの崖）。

ばなむぬ [banamunu]【名詞】分担金や分担品（村の祭事、台風等で各戸に割り当てられる）。【例】かでぃふつ

ぬ　あとぅんな　ばなむぬー　いだす（台風の後には割り当てを出す）。ばなむぬー　たるまい　いだはだかー　ならんむぬ（割り当て金は誰もがみな出さなければならないものだ）。

はなり [hanari]【名詞】[C] 離れ小島。【例】さんしんばなり（三線離れ小島）。[変異] ぱなり。

はに [hani]【名詞】[B] 羽根、翼。【例】とぅいぬ　はに（鳥の羽根）。[類] はにがい。

はにがい [hanigai]【名詞】翼。[類] はに。

はにぐい [hanigui]【動詞】[r/rr 語幹] 跳ね返る。【例】やきゅーぬ　ぼーるー　はにぐりー　ばぬんかい　うちゃーりーにゃーん　（野球のボールは跳ね返って、ぼくに当たった）。んきゃーんぬ　っしゃー　っそぅー　まいきゃー　しーるぬ　はにぐりっちゅーたい（昔のトイレは糞をすると水肥が跳ね返った）。

ばぬー [banu:]【代名詞】[C] 一人称単数代名詞目的格形　私を、ぼくを [複数形は「ばんちゅー」(「私たちを、僕たちを（聞き手を含まない）」]。【例】ばぬー　みーる（私を見てください）。ばぬーぎゃー　まさいてぃどぅ　あい（私はマサイと言います［自分の名前を言う時の言い方］）。[類] ばん、ばが、ばぬんかい。

ばぬんかい [banuŋkai]【代名詞】一人称単数代名詞与格　私に、ぼくに [複数形は「ばんてぃんかい（「私たちに」聞き手を含まない）」]。【例】ばぬんかいまい　っさひー　ふぃーる（私にも知らせてください）。[類] ばん、ばが、ばぬー、ばぬんかい。

はばす [habasɨ]【名詞】[C] 歯茎、歯間。【例】はばすぬどぅ　ふくりゅー（歯茎が腫れている）。

はばつ [habatsɨ]【動詞】[k 語幹] [C]（職などを）探す、（必要なものを）調達する、工面する。【例】すかまう　はばきーくーでぃ（仕事を探してくる）。からー　むぬ　はばつ　じゅー（彼は物資を調達するのが上手い）。[変異] はばふ。

はばふ [habafu]【動詞】[k 語幹] [C]（職などを）探す、（必要なものを）調達する、工面する。[変異] はばつ。

ばばん [baban] ①【形容詞】[B] とても気前の良い；ものにこだわらない；（仕事が）おおざっぱだ。【例】かりゃー　ばばんんまり（彼は気前よしだ、ものにこだわらない）。かいが　すかまー　ばばんかいばならん（彼の仕事はおおざっぱだ）。②【名詞】[A] 気前の良くふるまうこと。【例】なうゆまい　すぐ　ばばんな　ひー　ひとぅん　ばきー　ふぃー　うながたまー　にゃーん（なんでもすぐきまえよく分けて、自分の取り分がない）。

ばふ [bafu] ①【動詞】［k 語幹］［A］湧（わ）く。 ［変異］ばつ。［類］ばき。②【動詞】［k 語幹］［A］（お湯が）沸（わ）く。［変異］ばつ。［類］ばき。③【動詞】［k 語幹］［A］発酵する。［変異］ばつ。［類］ばき。

ばふ [bafu] 【名詞】［C］宮古上布の糸をヤマで整形して、それからカシギにかけて長さを測り、そのあとでバフに巻き、それからツミグルに巻いて織る。ツミグルより大きい糸巻。

ばふ [bafu] 【動詞】［k 語幹］［C］（鋸で木を）切る。 ［変異］ばつ。

ばふうす [bafuusɨ] 【名詞】大きいおすの牛、雄牛。 【例】ばふうすんながばー ん゜ぬぬどぅ あい（牡牛には大きな角がある）。

はま [hama] 【名詞】［C］浜、海岸（主として砂浜、海岸の付近で魚や貝がとれるところ）。 【例】じょ、はまんきっぞぅ とぅいが（さあ、浜に魚を取りに（行こう））。じょー はまうりが（さあ漁に出よう）。［変異］ひだ。

はまい [hamai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］（ものが穴に）はまる。 【例】っさびゃー あなんかい ずみく はまりーにゃーん（楔は穴に見事にはまった）。

はまうり [hamauri] 【名詞】漁に出ること。 【例】きゅーや かじゃー ふきー はまうりゃー ひらいん（今日は風があって漁に出られない）。

はまぐんばう [hamagumbau] 【名詞】〖植〗アザミ。

はまだてぃ [hamadati] 【名詞】浜沿い。 【例】はまだてぃん あいきーいき（浜に沿って歩いて行け）。

はまふつ [hamafutsɨ] 【名詞】浜辺。【例】はまふつがまんな なんがまぬぶりーうい（浜のほうにさざ波が押し寄せている）。はまうつんな はいまがんがまぬ ういい（浜辺には足の速い蟹（かに）がいる）。［変異］はまうつ。

ばみつ [bamitsɨ] ①【動詞】［k 語幹］［A］大声を出して騒ぐ、大声を出す、喚く。 【例】あいや ほぅりぎなりや ばみかん（そんなに馬鹿みたいに喚かない）。っづぁがどぅ ばいかい。まーぬ ばみかだうり（お前が悪い。大声で騒ぐな）。［変異］ばみふ。②【名詞】［A］大声を出して騒ぐこと。【例】ほぅりばみつ（バカ騒ぎ）。

ばみふ [bamifu] 【動詞】［k 語幹］［A］大声を出して騒ぐ、大声を出す、喚く。 ［変異］ばみつ。

はむぬ [hamunu] 【名詞】［A］刃物。

はやーす [haja:sɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（植物のつる、雑草などを）繁らせる、繁茂させる。 【例】びーずん なるーば っふぁいや いりー んーぎーゆはやーす（春先になったので肥料を入れて芋づるを成長させる）。あっじゃきゃー ばっしー っさー はやーひー

にゃーん（畑の端の草刈りを忘れて、雑草を繁茂させてしまった）。［類］はやらす。

はやい [hajai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（植物が）生い繁る。【例】んーぎーや　あうたんなりー　ういー　はやいーどぅーい（芋の木（蔓）は青々と生えて蔓は伸び繁っている）。

はやい [hajai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（疫病、ファッションなどが）流行る。【例】かさがまぬどぅ　はやりゅー（麻疹が流行っている）。くぬえーがー　んなまどぅ　むいとぅ　はやりゅー（この映画は今とてもはやっている）。

はやまり [hajamari]【副詞】さっさと、早く、急いで。【例】はやまりふぁい（さっさっと食べろ）。

はやらす [hajarasi]【動詞】［s/h 語幹］（植物のつる、雑草などを）繁らせる、繁茂させる。【例】はいかでぃぬ　はやらしばよー（南風が生い茂らすからだよ［古謡「豆が花」から］）。［類］はやーす。

はら [hara]【助数詞】「村」を数えるため助数詞［歌語］。【例】すまんーなぬ　みそぅばらぬ　そぅじゃがまた（島全体の 30 の集落の先輩たち［民謡「漲水のクイチャー」から］）。

はら [hara]【名詞】［C］柱。【例】うずんばら　やー（柱を地面に埋め込んだ小屋）。ぶとぅー　やーぬ　んなかばら（夫は家の大黒柱だ）。くっそぅ　はらんかい　たでぃー（腰を家の柱に当てる）。

はら [hara]【名詞】［C］（肉体労働等で手などにできた）肉刺（まめ）。【例】はらぬ　いでぃきゃ　はたらつ（マメが出るまで働く）。

ばら [bara]【名詞】［B］藁。【例】ばらんな（藁綱）。

ばらい [barai]【名詞】［A］笑い。【例】ゆがばらい（作り笑い）。ばーっふぃばらい（冷やかし笑い）。なつばらい（泣き笑い）。ちゅっふぃばらい（作り笑い）。すたばらい（見下した笑い）。はがみばらい（照れ笑い）。ふからすぎばらい（嬉し笑い）。ほぅりっじゃばらい（節操のない笑い）。ほぅりぎばらい（バカ笑い）。はなすかみばらい（鼻をしかめる笑い）。かいくんばらい（大丈夫だと言う笑い）。

はらいっぱい [haraippai]【成句】腹一杯。【例】ばー　はらいっぱいてぃ　あっじー　あとぅん　っさん　ふいや　ひー　いかっさまい　ふぁう　ひとぅーどぅ　ふぁーん　ふい　ななまかいてぃー　あい（私はお腹一杯と言って後でこっそりといくらでも食べる人を「食べない振り七お椀」と言う）。

はらう [harau]【動詞】［w 語幹］［C］（ゴミやほこりを）はらって取る、取り除く。【例】てれびぬ　はなぬ　ぷき

ゅー　ういひー　はらい（テレビの上のゴミをこれで取り除け）。

はらう [harau]【動詞】［w 語幹］［C］（代金、手間賃、給料などを）払う。【例】てぃまーゆ　はらう（手間賃を払う）。

ばらう [barau]【動詞】［w 語幹］［A］笑う。　【例】みーや　にゃーんきゃ　ばらいーにゃーん（沢山笑った［< 目がなくなるまで笑った］）。わいてぃー　ばらい（うんと笑え）。からー　ばらうっちゃー　っさん（彼は笑い方を知らない、彼は冗談を理解しない）。

はらうず [harauzɨ]【名詞】親戚［血縁のみを含む］。　【例】はらうず　うぐなーい（親戚の集まり）。[「はらうず」は近親関係。「うとぅじゃ」は義理の関係も含んだ広い意味]。「かたい」は姻戚を表す。はらうっじゃ　かなすむぬ（親戚は愛おしい）。［類］うとぅじゃ、かたい。

ばらじゃん [baraʑan]【名詞】リーフでの追込み漁の一種。　【例】っしん　ばらじゃんぬ　あす　とぅきゃんな　みじゅきぬ　つぶん　あんな　はりゅーとぅいどぅ　っぞぅーぎゃー　がにー　とぅい（リーフで追い込み漁をするときは、瀬と瀬の間の深みに網を張っていてそこに魚を追い込み、（網を）引っ張ってとる）。

はらす [harasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］［C］（人を家に）帰す。　【例】やらびゅーぎゃー　やーんかい　はらす（子供を家に帰す）。②【動詞】［s/h 語幹］［C］（船を）航行させる。【例】ふにゅー　はらす（船を走らせる）。

はらふにゃ [harafunja]【名詞】野にできる野生の大根。　【例】くぬいや　はらふにゃまい　みーらいん（最近は野大根も見えない）。はらふにゃー　んぎゃむぬ（野大根は苦い［辛味があるものも苦いという］）。

はらふにゃ [harafunja]【名詞】〖魚〗アミアイゴ。

はらます [haramasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（女性を）妊娠させる、（子供を）受胎させる。　【例】みどぅんぬ　はらます（女をはらます）。みどぅん　っふぁう　はらます（女に子をはらます）。

はらん [haran]【動詞】［m 語幹］［C］（子）を妊娠する。　【例】みどぅんっぅぁー　はらみーどぅー（娘ははらんでいる）。

はらん [haran]【名詞】［B］魚卵、白子。　【例】っぞぅぬ　はらん（魚の体内のタマゴ）。びきばらん（白子）。みーばらん（魚卵）。

はり [hari]【名詞】［B］屋根を支える木材、梁（はり）。　【例】やーぬ　はり（家の梁）。

ばり [bari]【名詞】［A］破片。【例】かーらぬ　ばり（瓦の破片）。

はる [haru]【名詞】［A］春。 【例】はるんなりー　んふふ　なりーにゃーん（春になって温くなった）。

はる [haru]【名詞】［B］畑。 【例】きゅーや　はるんきー　んーぎーゆ　いびでぃ（今日は畑に行って芋ずるを植えます）。

はるばんやー [harubanja:]【名詞】畑の番屋。 【例】ひーまゆくいんな　はるばんやーん　ゆくー（昼の休みには番屋で休む）。［類］はいばんやー。

はるやー [haruja:]【名詞】専業農家。 【例】はるやーたー　いんぬ　すかまうぎゃー　ほぅん（専業農家の人たちは漁業はしない）。

ばるん [barun]【名詞】［B］ススキやサトウキビの穂のふくらみ。 【例】ぶーずぬ　ばるん（サトウキビの穂のふくらみ［成長しきると膨らみができる］）。

はるんな [harunna]【名詞】〖生物〗カタツムリ。 【例】あみぬ　っふぃぬ　あとぅんどぅ　はるんなー　うんそぅく　うい（雨降りの後にカタツムリが沢山いる）。

はん [han]【名詞】［B］印鑑。 【例】はんぬ　うす（押印する）。

ばん [ban] ①【名詞】［B］順番、担当；監視をすること。 【例】くとぅっさ　はんちょーん　ない　ばん（今年は支部長になる順番だ［自治会の 4 つの支部の長を班長という］）。はまばん（浜に行ってカツオの餌になる小魚を取る係り）。きゅーや　やーばん（今日は留守番）。うるー　ばんな　ひーうき（これを番しておけ）。 ②【名詞】［B］いること、滞在すること。【例】やらびあいきゃー　ひとぅいぎゃーみゃーす　いんぬ　ばんあたい（子供の頃は一日中海にいた）。

ばん [ban]【代名詞】［C］一人称単数代名詞の単独形　私、ぼく　［複数形は「ばんてぃ」（「私たち（聞き手を含まない）」］。 【例】ばんから　ほぅでぃ（私からやろう）。ばんとぅ　ひとぅみ　いかでぃ（私と一緒に行こう）。ばんまい　っさっだん（私も知らなかった）。うぬ　しゃしんー　うっちゅー　むぬー　ばん（この写真に写ってるのは僕だ）。ばんつきゃー　かいがどぅ　たかかい（私より彼の方が背が高い）。うるーぎゃー　ばんかい　ふぃーる（それを私にくれ）。［類］ばが、ばぬー、ばー。

はんき [haŋki]【名詞】［B］亀頭。【例】はんきまら（亀頭の出た陰茎）。［変異］ぱんき。

ぱんきまら [paŋkimara]【名詞】陰茎、ちんぽこ。 ［変異］はんきまら。

ぱんきまらんーた [paŋkimaran:ta]【名詞】〖植〗イチゴ。 ［類］ぱんきぬそぅらんーた。

はんし [hanʨi]【動詞】［母音語幹］［A］完遂する、（難しい仕事を）やり遂げる、

（借金を）完済する、（登山などに）挑戦しやり切る。【例】んめ　うぬ　すかまー　はんしーだー（もうその仕事はやってある）。うっかうぎゃー　こんげつひー　はんしらいどぅす（借金をこんげつで完済できる）。きゅーや　ふじさんぬ　はなんかい　はんしーみーでぃ（今日は富士山の頂上に登ってみるぞ）。

はんじゃう [hanʑau]【名詞】繁盛、繁栄。【例】かまぬ　きないや　はんじゃうや　ひどぅ　うやきゃー　ほぅー（あそこの家庭は繁栄していて、裕福だ）。

はんじゃつ [hanʑatsɨ]【動詞】［k 語幹］（的を）はずす、失敗する。【例】かにふっじゅ　げんのーひー　うちゃっじゃいきー　はんじゃきーにゃーん（釘を金づちで打とうとして、はずしてしまった）。［変異］はんじゃふ。［類］はっじゃつ。

はんじゃふ [hanʑafu]【動詞】［k 語幹］（的を）はずす、失敗する。［変異］はんじゃつ。［類］はっじゃつ。

ばんじゅーがに [banʑu:gani]【名詞】直角に曲がった金属製の物差し、大工道具の一つ。指金、曲尺（かねじゃく）。

はんず [hanzɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［A］（的を）はずす、（ひもなどを）切り離す、（動詞連用形について）～するのに失敗する、～損じる。【例】かにふっじゅ　げんのーひー　うっちゃっじゃいき　はんじーにゃーん（釘を金づちで打とうとしてはずしてしまった）。んˀなう　かたなひー　はんず（縄を包丁で切り離す）。むぬー　ふぁいはんじーにゃーん（飯を食い損じた）。んˀなう　かたなひー　つーはんず（縄を包丁で切り離す）。［類］はんじゃつ、はんす。

ばんず [banzɨ]【名詞】［A］人生の最盛期、（子育てなどの）忙しい時期、真っ最中。【例】かぬ　ばかむぬー　んなまどぅ　ばんず（あの若者はいまが最盛期だ）。さらばんず（人生の盛り）。っふぁむつ　ばんず（子育だての真っ最中）。ひーまぬ　ばんず（真っ昼間）。

はんた [hanta]【形容詞】［A］繁多、忙しい。【例】きゅーや　はんたかいばならん（今日は忙しくてならない）。［変異］ぱんた。

ばんた [banta]【代名詞】［C］一人称複数形、私たち。［類］ばんてぃ。

はんだい [handai]【名詞】鼻をたらすこと、また、鼻水；鼻たれ小僧。【例】はんだいやらび（鼻たれ小僧）。［変異］ぱんだい。［類］はんだら。

ぱんだい [pandai]【名詞】鼻をたらすこと、鼻水；鼻たれ小僧。［変異］はんだい。

はんだま [handama]【名詞】〖果物・野菜〗〖食〗水前寺菜［春菊ににた野菜］。

はんだら [handara]【名詞】鼻たれ小僧。［変異］ぱんだら。

はんちまー [hantɕima:]【名詞】いい加減な奴。［変異］はんつまー。

ばんちゅー [bantɕu:]【代名詞】一人称複数代名詞「ばんてぃ」の目的格形、「私たちを、僕たちを（聞き手を含まない）［単数形は「ばぬー」。

ばんちゅくら [bantɕukura]【名詞】グアバ。【例】やらびあいきゃー　ばんちゅくらう　ゆー　ふぁうたい（子供の頃はよくグアバを食べた）。ばんちゅくらー　んみーどぅ（グアバは熟している）。ばんちゅくらう　むい（グアバを捥ぎ取る）。［変異］ばんちくら。

はんつ [hantsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［C］（的を）はずす、（動詞連用形について）～するのに失敗する、～損じる。［類］はんず、はんじゃつ、はんでぃ。

はんつ [hantsɨ]【動詞】［cc/tt 語幹］［C］かじる。［変異］はんっつ、はんつー。［類］はんっつ、はんっち。

ばんつぎー [bantsɨgi:]【名詞】桑の木。【例】ばんつぎーぬ　んーたー　んみーどぅーい（桑の実は熟している）。

ばんつぎーぬない [bantsɨgi:nunai]【名詞】桑の実。【例】ばんつぎーぬないや　んめ　んみー　どぅ（桑の実はもう熟している）。［類］ばんつぎーぬみー。

ばんつぎーぬみー [bantsɨgi:numi:]【名詞】桑の実。［類］ばんつぎーぬない。

はんっつ [hanttsɨ]【動詞】［cc/tt 語幹］かじる。【例】っぞぅー　はんっちー　ふぁい（魚を（生のまま）かじって食べろ）。うぬ　ひんじゃー　なまにー　やいば　はんちゃいん（このヤギは生煮えなのでかみ切れない）。［変異］はんつ、はんつー。［類］はんち、はんっち。

はんっつ [hanttsɨ]【名詞】かじること。【例】っぞぅー　なまばんっつ　あす（魚を（調理しないで）生のままかじって食べる）。［変異］はんつ、はんつー。［類］はんち、はんっち。

はんでぃ [handi]【動詞】［母音語幹］［A］（的を）はずす、（動詞連用形について）～するのに失敗する、～損じる。［変異］はんじ、はんし。［類］はんじゃつ、はんす、はんでぃ。

はんでぃ [handi]【動詞】［母音語幹］［A］はみ出る。【例】からー　たかかいば　もーふから　はっじゃ　はんでぃーどぅー（彼は身長が高いので毛布から足がはみ出ている）。

ばんてぃ [banti]【代名詞】［C］一人称複数形、私たち。［類］ばんた。

はんぱむぬ [hampamunu]【名詞】半

端もの。 【例】すかまー ひらいん はんぱむぬ（仕事のできない半端者）。

はんまい [hammai]【名詞】食糧、食べる物。 【例】きばんかいば きゅーぬ はんまいまい にゃーん（貧乏だから今日の食糧もない）。

ばんまい [bammai]【接尾辞】動詞未然形や形容詞について譲歩を表す、「～ても」。 【例】くーきゅー いりばんまい たいやーや はずまん（空気を入れたのにタイヤが膨まない）。さきゃー いかっさ ぬまばんまい びゅーいん さきじゅー ばりがみ（酒をいくら飲んでも酔わない酒豪だ）。たかからばんまい やすからばんまい なうやらばんまい かーでぃ（（値段が）高かろうが安かろうが何でも良いから買います）。［類］んまい。

ばんや [banja]【名詞】［B］番屋、番小屋。 【例】ばんやんかい やまばん あすが いかでぃ（番屋に山番しに行こう）。

ひ

ひー [hi:]【助詞】〖格助詞〗手段、道具を表す格助詞、「で」。【例】うぎんひー　っぞぅー　つふ（銛で魚を突く）。うますひー　むぬー　はさみー　ふぁう（お箸で食べ物を挟んで食べる）。

ひー [hi:]【助詞】〖接続助詞〗「やひー」の形で、コピュラの連用中止法を表す、「で」「なので」。【例】やぐいやひー　やどぅゆん　あす（大声でケンカする）。やびとぅーんーな　がんじゅーやひー　うらまいんなー（皆さんお元気でいらっしゃいますか）。とぅずぶとぅばきゃーいやひー　まーいかたー　にゃーん（離婚してどうしようもない）。

ひー [hi:]【名詞】［B］日より、日取り。【例】きゅーぬ　ひーや　やぐみ　じゃうどぅりがま（今日はとてもいい天気だ）。きゅーぬ　ひーや　やぐみ　じゃう　ひゅーい（今日はとてもいい日取りだ）。

ひー [hi:]【名詞】［B］おなら。【例】っさ　びー（臭いおなら）。ひーゆ　ひつ（おならをする）。［変異］ぴー。

ひー [hi:]【名詞】［B］女性器。【例】ひーゆ　まず（性交する）。ひーぬ　うい（女性の陰部が興奮して大きくなる）。［変異］ぴー。

ひー [hi:]【名詞】［B］ニンニク。［変異］ぴー。

びー [bi:]【動詞】［z 語幹］［A］座る。【例】うまん　びじ（ここに座れ）。うまー　びーまーや　あきーどぅー（ここは座るところは空いている）。

びー [bi:]【接尾辞】（～を主に引き受けて行う）人、（稼ぎ）手、（働き）手。【例】ばんてぃが　やーんな　まうきびーや　たうかーどぅーい（私たちの家では稼ぎ手は一人しかいない）。つかなうびー（働き手）。しんどぅー　ふにはらす　びー（船長は船を走らせる人だ）。

ひーき [hi:ki]【名詞】［A］（戸、壁などで）あいていて向こうが見える穴。【例】やどぅぬ　ひーき（戸の穴）。［変異］ぴーき。

びーぐじゃ [bi:guʑa]【名詞】座ったまま中々立とうとしない人（尻の重い人）。【例】からー　んめ　ふーてぃが

ー　やーんかい　はらっでぃや　ほぅん　むいとぅぬ　びだく　びーぐじゃ（彼はもうきたらもう家にはかえろうとしない尻の重い人だ）。［類］びーぐず。

びーぐず [bi:guzɨ]【名詞】座ったまま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながっちり。【例】まーぬ　びーぐず　あすな、とぅずぬ　まいんかい　はり（そんなにながっちりせずに、奥さんところに帰りな）。［類］びーぐじゃ。

ひーさ [hi:sa]【名詞】［C］寒さ。【例】っぞぅ　すん　びーさ（魚が凍え死にそうな寒さ）。［変異］ぴーさ。［類］っしさ、びーふ。

びーずん [bi:zin]【名詞】春先。【例】びーずん　なりー　っさまい　むいとぅ　ういどぅー（春先になって草もとても青々として来ている）。

ひーそぅー [hi:su:]【名詞】引き潮。【例】ひーそぅーんな　っしん゜ん　あすが　いつ（引き潮にはリーフに漁をしに行く）。

びーた [bi:ta] ①【形容詞】［C］（人や場所などが）じめじめして不潔だ。【例】うまー　びーたかいば　ならん（ここはとてもじめじめして不潔だ）。びーた　やらび（水洟まみれで汚い子）。あみ　ふーぬ　はいや　びーたかいば　はいらいん（雨降りの畑は水でどろどろで入れない）。［類］すぷたい。②【形容詞】［C］～まみれだ、～だらけだ、（太陽、虫など）あふれている。【例】あしゃー　びーた（汗がびっしょりだ）。っづぁ　どぅるー　びーたかいば　かーんきー　あらいくー（お前は泥で汚いから井戸で洗って来い）。てぃだー　びーた（日がカンカン照りだ）。あっづぁー　びーた（脂だらけだ）。っしゃなさー　びーた（とても不潔だ）。っそぅ　びーた（糞でまみれている）。っそぅそぅー　びーたやらび（よだれを垂らした子供）。③【名詞】［C］～まみれ、～だらけ、（太陽、虫など）あふれていること［意味は形容詞に準じる。形容詞用法と違い、程度を問題にしない］。【例】うまー　びーた　やいば　ばー　びじゃじゃーん（ここはじめじめして不潔なので座らない）。

びーた [bi:ta]【名詞】［C］酒座等でいつまでも居座る人、尻が重い人。【例】かりゃー　びーた　やいば　さきゅー　ぬんきゃー　やーんかいや　はらっでぃや　ほぅん（彼は尻が重いから酒を飲んだら家には帰ろうとしない）。［類］びだく。

ひーだき [hi:daki]【名詞】笛、口笛。【例】ぴーだきゅー　ぴーてぃー　ふつ（口笛をぴーと吹く）。きーぬ　はー　ひーだき（木の葉の笛（＝草笛））。［変異］ぴーだき。［類］すばびー。

ひーちゃ [hi:tɕa] ①【形容詞】［A］少ない。【例】っづぁー　ひーちゃかい

むぬー　とぅい（おまえは少ない方をとれ）。ひーちゃがま（少しだけ）。ひーちゃかい　でぃん（少ない方のお金）。［変異］ぴーちゃ。［類］ひっちゃ、ぴっちゃ。②【名詞】［A］少量、すこし。【例】ひーちゃぬ　でぃん（僅かのお金）。ひーちゃまい　にゃーん（少しもない）。［変異］ぴーちゃ。［類］ひっちゃ、ぴっちゃ。

ひーちゃー [hi:tɕa:]【名詞】女性器同士を合わすこと。［変異］ぴーちゃー。

ひーつ [hi:tsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（きりなど尖った物で）穴をあける。【例】いーがまひー　かびーゆ　ひーつ（千枚通しで紙に穴をあける）。［変異］ぴーつ、ひーふ、ぴーふ。

ひーてぃー [hi:ti:]【名詞】太陽光線、（強い）陽ざし。【例】なつぬ　ひーてぃー（夏の陽射し）。

ひーてぃーあみ [hi:ti:ami]【名詞】日が照っているときに降る雨、日照り雨、天気雨。【例】ひーてぃーあみぬどぅ　っふゅー（日照り雨が降っている）。

ひーてぃーじゃり [hi:ti:ʑari]【名詞】日焼け、太陽光線をまともに受けること。【例】なつぬ　ひーてぃーじゃりゃー　ひどぅ　どぅーや　っふたん　なりゅーい（夏の日差しにさらされて、日焼けした）。

びーない [bi:nai]【副詞】（否定を伴って）微動だに（～ない）。【例】くぬ　いんな　むぬー　ふぃーきゃたーひーや　びーないや　とぅんま　ほぅん（この犬はエサを与えるまでは微動だにしない）。うまん　びーないや　ほぅだ　びじうき（そこにじっとすわっていろ）。［類］ぶーない。

ひーふ [hi:fu]【名詞】［A］寒波。【例】っしびーふんな　いんきー　っぞぅー　っそぅー（寒波のときには海に行って魚を拾う）。っぞぅ　すん　びーふ（魚が凍え死ぬような寒波）。［変異］ぴーふ。［類］っしさ、びーさ。

ひーふ [hi:fu]【動詞】［k 語幹］［C］（きりなど尖った物で）穴をあける。［変異］ぴーつ、ひーつ、ぴーふ。

ひーま [hi:ma]【名詞】［A］昼、昼間。【例】ひーまむぬ（昼食）。ひーまぬんなか（真昼間）。ひーまゆくい（昼休み）。

ひーまあとぅ [hi:maatu]【名詞】午後 1 時から 3 時ぐらいまで、昼過ぎ。【例】ひーまあとぅん　ひーに　ほぅでぃ（昼過ぎに昼寝をしよう）。

ひーまばかっじゃ [hi:mabakaʑʑa]【名詞】《生物》岸の上トカゲ［赤っぽくて大きい］。【例】んーぬ　かじゅーきゃーどぅ　ひーまばかっじゃぬ　いでぃっちゅーたい（芋を掘っていたら岸の上トカゲが出てきた）。

ひーまむぬ [hi:mamunu]【名詞】昼食。［類］すみゃーすむぬ。

ひーまら [hi:mara]【名詞】中性（男でも女でもない、オスでもメスでもない）の人や動物。［変異］ぴーまら。

ひーまらひんじゃ [hi:marahinʑa]【名詞】生殖器のない中性の山羊。【例】ひーまらひんじゃんな　つーびまい　ひらいんば　っふぁー　なさはいん（中性のヤギには交尾もできないので、子供はできない）。［変異］ぴーまらひんじゃ。

びーや [bi:ja]【名詞】［C］ゴキブリ。［類］くーむや。

ひかい [hikai] ①【名詞】［A］光、輝き、明かり。【例】かまぬ　てぃんぬ　あかびかいゆ　みーる（あそこの空の赤い光を見ろ）。いなびかい（稲光）。ちゅーびかい（強い光）。だいあもんどぬ　ひかい（ダイヤの光）。［類］あかい。②【形容詞】［B］まぶしい。【例】まなつぬ　てぃだー　ひかいかいばならん（真夏の太陽はまぶしくてならない）。

ひかい [hikai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］光る、輝く、明るくなる。【例】かまん　ひかるー　ほぅっそぅぎゃー　なうてぃどぅ　あいが（あそこに光っている星はなんていうの）。かまー　っふぁかいば　かまう　ひからし（あそこは暗いからあそこを照らせ）。［類］あかい。

ひがい [higai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］変化する、化ける、。【例】はうや　かんぬ　ひがい　むぬ（ヘビは神の化けたもの）。まずむぬぬ　ぐーにゃん　なりー　ひがりー　っちゅーい（幽霊が昆虫になって化けて来ている）。［類］ひがいー（r/rr 語幹）、ひがっり（r/rr 語幹）。②【動詞】［r/rr 語幹］［C］破産する、夜逃げする。【例】かまぬ　やーや　ひがいりー　はりーにゃーん（あそこの家は破産してしまった）。かまぬ　きないや　ひがっりー　はりーにゃーん（向こうの家は消え失せてしまった）。

びかい [bikai]【動詞】［母音語幹］［A］賭けにまけて取られる。【例】でぃんな　びかいーにゃーん（金は賭けで取られた）。かにふっじゅ　びかいーにゃーん（（子供の遊びで）釘を賭けで取られる）。

ひかず [hikazɨ]【名詞】［A］日数、日取り。【例】かんにがいぬ　ひかっじゅ　とぅい（祈願の日取りをとる）。

ひがん [higan]【動詞】［m 語幹］［C］うらやましがる、ねたむ。【例】あい　ひがんたんてぃ　なうぬ　たみんまい　ならん（そんなにうらやましがってもどうにもならない）。ひとぅぬ　くとぅー　ひがんな（他人のことをねたむな）。

ひがん [higan]【名詞】［C］彼岸。

ひぎ [higi]【名詞】［B］髭。【例】ひぎゃー　ぬびゅーば　さんぱつやーんき

ー　ひぎゅー　そぅらだかー　ならん（ひげがのびたので、散髪屋に行って髭を剃らないといけない）。ひぎゅー　うーす（ひげを　はやす）。

びき [biki]【接頭辞】（動物）雄、男性。【例】びきひんじゃ（雄の山羊）。びきゆむぬ（オスのネズミ）。びきずみゃぬどぅ　なつ（オスのセミがなくのだ）。

びきうす [bikiusɨ]【名詞】雄牛（おうし）。

びきだつ [bikidatsɨ]【名詞】独身男性、男やもめ。【例】ながびきだつ（ずっと独身の男）。びきだつせーねん（（結婚適齢期をすこしすぎた）独身男性）。

びきどぅい [bikidui]【名詞】雄鶏。

びきどぅん [bikidun] ①【名詞】男。【例】みどりかいぬ　うぐなーいんないつまい　びきどぅんぬどぅ　ひーちゃかい（みどり会の集会にはいつも男性がすくない［「みどり会」は西原地区の老人会の名前］）。びきどぅんういびとぅ（老人）。かまぬ　やーんな　びきどぅんっづぁ　いつぬひと　みどぅんっづぁー　むゆぬひとぅ　うりーどぅ（向こうの家には男の子は５名、女の子は６名いる）。②【名詞】夫。【例】ばが　びきどぅんな　すかまんかい　はりーにゃーん（私の夫は仕事に行った）。

びきどぅんびー [bikidumbi:]【名詞】あぐら。【例】びきどぅんびーあす（あぐらをかく）。

びきぬーま [bikinu:ma]【名詞】雄馬。

ひきゃう [hikjau]【動詞】［w 語幹］［A］引っ張る。【例】んˀなう　ひきゃい（綱を引っ張れ）。

ひぎゃう [higjau] ①【形容詞】くすぐったい。【例】かいん　ばじゅっづぁいー　ひぎゃうかいば　ならっだん（彼にくすぐられてくすぐったくて仕方がなかった）。ひぎゃうかいば　ばじゅっづぁだうり（くすぐったいからくすぐるな）。②【形容詞】（こわいので）鳥肌が立つ。【例】はかぬ　まいゆ　あいつてぃがー　ひぎゃうむぬ（墓の前を通ったら鳥肌が立つ）。

ひぎゃう [higjau] ①【動詞】［vv 語幹］（すっぱいものを食べたりしたときに）歯にしみる。【例】やまとぅぬ　ひとぅー　そぅーむぬー　ふぁーばんまい　はーや　ひぎゃっづぁんちゃ（やまとの人はすっぱいものを食べても歯にしみないそうだ）。［変異］びぎゃう、ぴぎゃう。②【形容詞】（すっぱいものを食べたりしたときに）歯にしみる。【例】そぅーむぬー　ふぁいー　はーぬ　ひぎゃうかいばならん（すっぱいものを食べて歯がしみて仕方がない）。［変異］びぎゃう、ぴぎゃう。

びきやどぅむら [bikijadumura]【名詞】〖貝〗水字貝［門や軒先などに下げて魔除けに使う。角が魔物、幽霊の目を突いて追い払うと言われる］。

びきりゃ [bikirja]【名詞】［C］若い男性。【例】かぬ　びきりゃとぅ　とぅずぶとぅん　なり（あの若者と結婚しろ）。

びく [biku]【名詞】［C］《歌語》男の子。【例】びくが　はな　とぅゆませ（男の子の出世頭になれ［古謡「マスムイのあーぐ」から］）。

ひぐい [higui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（体が）冷える、（液体、個体、食べ物などが）冷える、（空間が）冷える。【例】やらびゃー　ひぐりーにゃーん（子供は体が冷えた）。みっじゃ　ひぐりー　さしーどぅー（水は冷えて、肌にしみる）。あらー　ひぐりーどぅーい（外はとても寒い）。いんぬ　みっじゃ　ひぐりーどぅー（海の水は冷えている）。

ひぐい [higui]【名詞】［C］寒さ、冷たさ、寒気。【例】ひぐいや　いりーどぅっしふなりゅー（（冬の）寒気が入って寒くなっている）。ひぐいつー（冷気）。きゅーぬ　ひぐいや　やぐみ　ひぐい（今日の冷たさは大変な冷たさだ）。

ひぐい [higui]【形容詞】［B］寒い；冷たい。【例】あうひぐい（肌寒い）。きゅーぬ　みっじゃ　ひぐいかいば　ならん（水が冷たくてしかたがない）。

ひぐらす [higurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］冷やす。【例】みっじゅ　ひぐらし（水を冷やせ）。

ひぐる [higuru]①【形容詞】［B］（気候が）寒い、（物が）冷たい；（人が）薄情だ、冷たい。【例】きゅーや　ひぐる（今日は寒い）。きゅーぬ　かじゃー　ひぐる（今日の風は冷たい）。ひぐる　みず（冷たい水）。からー　ひぐるっふぁにゃーん（彼は冷たくない）。②【名詞】［A］薄情な人。【例】からー　ひぐるやいば　でぃんぬぎゃー　かしゃーふぃーんよ（彼は薄情者だから金は貸してくれないよ）。

ひぐるつー [higurutsi:]【名詞】冷気。【例】ひぐるつーぬどぅ　あい（冷気がある）。

ひさ [hisa]【名詞】［B］足のくるぶしより下の部分、足の甲、足首。【例】ひさう　きー（つまづく）。ひさひー　ぼーる　きー（足の甲でボールを蹴る）。はずぬ　ひさう　かつん（足首をつかむ）。［変異］っさ。［類］っさびじゃ。

ひさだつ [hisadatsɨ]【名詞】（深さ、高さが）足首までの深さ、高さ。【例】そぅーや　ひきー　ひさだつ　なりゅー（潮が引いて足首ほどの浅さになっている）。ぐらんど　ごるふじょーぬしばふー　ひさだつん　なるーば　じょ　そぅらでぃ（グランドゴルフ場の芝生が足首くらいになったので、刈ろう）。［変異］っさだつ。

びし [biʂi]【動詞】［母音語幹］［A］置く、設置する。【例】くまん　やーゆびしる（ここに家を建てなさい）。か

んだなん　かうるー　びしる（神棚に香炉を置け）。

びじーまい　たちーまい　うらいん [biʑi:mai tatɕi:mai urain]【成句】居ても立っても居られない。【例】んまがぬ　くとぅー　しば　やいば　ばぬんな　びじーまい　たちーまい　うらいん（孫のことが心配で、私は居ても立っても居られない）。

びじゃい [biʑai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（人や動物、雨雲などが）長く居座る、その場所を離れずとどまる。【例】かいが　びじゃりーきゃー　やーんかいや　はらん（彼が居座ったら家には帰らない）。うまん　びじゃり（そこに座ってろ）。たくぬどぅ　あでぃふん　びじゃりーうたい（タコがタコの巣にデンと座っていた）。びじゃらだ　たち（ぐずぐずせずに立て）。

びじゃら [biʑara]【名詞】［C］（酒席などで）居座り続ける人。［類］びだく、ぐずら。

びじゅ [biʑu] ①【名詞】［C］（魚を釣る）餌。【例】っぞぅぬどぅ　びじゅー　っふぃーゆーい（魚が餌にくいついている）。②【名詞】［C］こどもをあやすための遊び道具。【例】うぬ　やらびんな　まーいゆ　びじゅ　あすみー　んたばほぅーき（この子供にはボールを遊び道具としてもたして遊ばしておけ）。

ひず [hizɨ]【動詞】［B］肘（ひじ）。【例】ひっじゅぎゃー　つかだ　むぬーぎゃー　ふぁい（ひじをつかずに食事をしろ）。

ひず [hizɨ]【名詞】［g 語幹］［C］（おろし金などで）薄く削る、（やすりや砥石などで木の大きさを調整するために）削る。【例】んーな　かなひー　ひぎー　んーくっじゅ　とぅい（芋を下ろし金で薄く削って芋の澱粉を取る）。きーゆ　ひず（木を削る）。

びす [bisɨ]【動詞】［s 語幹］［A］置く、設置する。［類］びし。

びす [bisɨ]【動詞】［s 語幹］［A］役割を与える、担当させる。【例】ひんじゃぬ　っさかいぬ　かたあきゅー　やらびんかい　びす（山羊の草刈りの担当を子供に任せる）。うまぬ　たーやかいんかい　びさはいたい（そこの田んぼは彼にまかせられた）。

ひずー [hizɨ:]【形容詞】［C］切れない。【例】ひずーがたな（切れない刀）。

ひだ [hida]【名詞】［C］（海岸べりで）湧き水が海水と交わり、浜、海岸の付近で魚や貝がとれるところ）。【例】じょ、ひだんき　いきー　ぬーまう　あらーでぃ（さあ、淡水のある海岸べりに行って馬を洗おう）。［類］はま。

びだ [bida]【形容詞】［A］（仕事ができなくて、役に立たなくて）だめなやつだ、（病気で）つらい。【例】からー

すかまー　ひらいん　びだむぬ（彼は仕事をしない怠け者だ）。かぬ　ひとぅー　やみゅーそぅがんまらーひどぅびだびだてぃー　ひーゆーい（あの人は病気のようでつらそうにしている）。

びだ [bida]【形容詞】［A］（山などが）低い；（人の背が）低い。【例】かまぬやまー　びだがま（あそこの山は低い）。かぬ　ひとぅー　びだひとぅがま（あの人は背が低い）。うぬ　くしかきゃー　ばぬんな　あてぃどぅ　びだかい（この腰掛は私には低すぎる）。［類］っさ。

ぴたー [pita:]【オノマトペ】（肌など、表面が）すべすべだ（擬態語）。【例】かいが　はだー　ぴたーてぃどぅ　ひーゆー（彼の肌はスベスベしている）。

ひだい [hidai]【名詞】［A］左。【例】ひだらー　ひだいでぃーひー　ずーゆかつ（左利きは左手で字を書く）。

ひだいん゜な [hidaiɲna]【名詞】〖祭礼〗魔除用の左綯（な）いの祭事用の綱。

ひだがー [hidaga:]【名詞】〖地名〗ヒダガー、西原の北西にある湧水の出る場所、集落から２００ｍ位離れたところにある。【例】いきまから　ってぃや　ひだがーぬ　みっじゅどぅ　ぬみゅーたいちゃ（池間から来た当時はヒダガーの水を飲んでいたそうだ）。

びだく [bidaku] ①【名詞】［C］座ったまま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながっちり。【例】からーんめ　ふーてぃがー　んめ　やーんかいや　はらっでぃやほぅん　むいとぅぬ　びだく　びーぐじゃ（あいつはもう来るともう家に帰ろうとしない大変なながっちりだ）。②【形容詞】［C］座ったまま中々立とうとしない、尻の重い、ながっちりである。【例】かりゃーいつまい　さきゅー　ぬん　とぅきゃんな　びだく（彼はいつも酒を飲むときはながっちりだ）。

びだくげった [bidakugetta]【名詞】座ったまま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながっちり。［類］びだく、ぐずら。

ひだたす [hidatasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（二つのもの、二人）の間をあける。【例】うぬきゃが　ふたっちゅぎゃーひだたひーうっき（これらの二つは隔てて置け）。やらびんみゅーぎゃー　ひだたひー　びじゃし（子供たちを間をあけて座らせなさい）。

ひだつ [hidatsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［A］（人や物の）間を置く、（人や物から）人や物の間をあける、（ほかの人やものに）差をつける、格別よい。［類］ひだてぃ。

びだっふぃ [bidaffi] ①【形容詞】（仕事ができなくて、役に立たなくて）だめなやつだ、（病気で）つらい、（機械や物が）使い物にならない。［類］びだ

ふー。②【動詞】（仕事をせず）ぶらぶらしている、（病気で）つらくなる、（機械や物が）使い物にならなくなる。［類］びだふー。

びだっふゃ [bidaffja]【名詞】（仕事をしない）ダメな人、なまけもの。【例】うりゃー　びだっふゃ　やいば　うりゅーぎゃー　たきゅーぎゃー　ほぅだうり（彼は信用できないだめな奴だから、あいてにするな）。

ひだてぃ [hidati]【動詞】［母音語幹］［A］（人や物の）間を置く、（人や物から）人や物の間をあける；（ほかの人と）差をつける；（人を）差別する。【例】うぬきゃが　ふたーいゆぎゃー　ひだてぃー　びじゃし（この二人は離して座らせろ）。うまつからー　むい　むぬーぎゃー　ひだてぃる（火からは燃えるものを遠ざけなさい）。かりゃー　ひだてぃどぅ　うむくとぅ　あいかい（彼は特別に頭が良い）。ひとぅーぎゃー　あいや　ひだてぃん（人をそんなには差別するな）。［類］ひだつ。

ひだばん [hidaban]【名詞】カツオ船を浜で待っている人；カツオの餌である雑魚を確保して、カツオ船に知らせる役目の人；浜番。［類］はまばん。

びだふー [bidafu:] ①【動詞】（仕事をせず）ぶらぶらしている、（病気で）つらい、（機械や物が）使用不可能になる。【例】かりゃー　きゅーや　すかまうぎゃー　ほぅだ　びだっふぃーどぅー　い（彼は今日は仕事をせずにぶらぶらしている）。うぬ　くるまー　やりー　びだっふぃー　んめ　ぬーらいん（この車は古くなって使い物にならなくなってもう乗れない）。うぬ　うまっさじゃうぎーひー　ちゅっふぁいゆーば、　なうちゅんま　びだっふぁいん（この箸は上等の木で作られているので折れない）。［類］びだっふぃ。②【形容詞】（仕事ができなくて、役に立たなくて）だめなやつだ、（病気で）つらい、（機械や物が）使い物にならない。【例】かりゃー　すかまうぎゃー　ほぅんびだっふぃんまり（彼は仕事をしない怠け者だ）。びだふー　むぬ（壊れて使えない物）。［類］びだっふぃ。

びだふくり [bidafukuri]【名詞】（仕事をせず）ぶらぶらしている（人、もの）、（病気で）つらくしている（人）、（機械や物が）使い物にならない、またその機械やもの。【例】うりゃー　びだふくりんまり　やいば　うりゅーぎゃー　たきゅーぎゃー　ほぅだうり（あいつはろくでなしだからあいつを相手にするな）。くぬ　けいたいや　むいとぅぬ　びだふくり（この携帯はまったく使い物にならない）。［類］びだふくる、びだふくりゃ。

びだふくる [bidafukuru]【名詞】（仕事をせず）ぶらぶらしている（人、もの）、（病気で）つらくしている（人）、（機械や物が）使い物にならない、またその機械やもの。【例】うらー　びだふ

くる　むぬ（それはダメなもの）。［類］びだふくり。

ひだます [hidamasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］低くする、へこませる。［変異］びだます。

ひだまらす [hidamarasɨ] 【動詞】低くする、へこませる。 【例】うまうぎゃー　んめ　ひーちゃがま　びだまらし（そこをもう少しだけ低くしなさい）。［変異］びだまらす。

ぴたみつ [pitamitsɨ] 【動詞】［k 語幹］（肌など、表面が）すべすべだ。［変異］ぴたみふ。

ぴたみふ [pitamifu] 【動詞】［k 語幹］（肌など、表面が）すべすべだ。［変異］ぴたみつ。

ひだら [hidara] 【名詞】［C］左利きの人。

ひだん [hidan] 【動詞】［m 語幹］［A］へこむ、（花や風船が）しぼむ。 【例】くるまぬ　たいやー　ぱんくーひー　ひだみーにゃーん（車のタイヤはパンクしてぺちゃんこになった）。［変異］びだん。［類］ひだみ、びだみ。

びちゃ [bitɕa] ①【形容詞】［C］（人が仕事が）下手だ、（仕事のできが）水準に達していない、（ものが）粗悪だ。【例】かりゃー　なうゆ　あすみんまい　びちゃ（彼は何をさせても下手だ）。ういが　すかまー　いつまい　びちゃかいば　ならん（あいつの仕事はいつも出来が悪い）。あいぬ　びちゃむぬーぎゃー　かーだうり（そんな粗悪なものは買うな）。②【名詞】［C］仕事が下手な人、水準に達していない仕事、粗悪なもの。【例】からー　なっちゃかん　びちゃ　やいば　かるーぎゃーつかーだうり（あいつはろくでもない仕事下手なのであいつは使うな）。　かいが　すかまー　んながーんな　びちゃ　あたい（あいつの仕事は一番ダメだった）。あいぬ　びちゃうぎゃー　てぃっづぃすてぃる（そんな粗悪なものは捨ててしまえ）。

ひつ [hitsɨ] ①【動詞】［k 語幹］［A］（ものを手前に）引く、引っ張る；（草などを）引き抜く；（くじを）引く。 【例】やらびぬ　てぃーゆ　ひつ（子どもの手を引く）。んˀなう　ひつ（綱を引く）。みなかぬ　っさう　ひつ（庭の草を引きぬく）。ふっじゅ　ひつ（くじを引く）。［変異］ひふ。②【動詞】［k 語幹］［A］（食べた後の食器などを）引く、（食べものの恵みを）減らす［神事のことば］。【例】まかいだうゆ　ひつ（食器をかたづける）。じゃうっふぁにゃーん　きない　やいば　ふつかたう　ひかはでぃ（よくない家庭だから幸せ運を減らそう［＞神様が不和家庭の戒めをする際の文句］）。［変異］ひふ。③【動詞】［k 語幹］［A］（潮が）引く。【例】そぅーや　ひきーどぅー（潮は引いている）。そぅーぬ　ひつきゃたーひー　っしんかい

うり　むぬーぎゃー　まてぃ（潮が引くまでリーフに行くのは待ちなさい）。［変異］ひふ。

ひつ [hitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（楽器を）弾く、（風邪を）ひく、（最盛期が）すぎる。　【例】さんしんぬ　ひつ（三線を弾く）。はなう　ひつ（風邪をひく）。かりゃー　つーや　ひきーどぅー（彼は盛りをすぎて、元気がなくなっている）。にっちゃ　ひきーにゃーん（熱が引いた）。［変異］ひふ。

ひつ [hitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（むしろや布団を）敷く。　【例】むっそぅー　ひつ（むしろを敷く）。ふとんぬ　ひつ（布団を敷く）。［変異］ひふ。

ひつ [hitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（屁を）ひる。　【例】ひーゆ　ひつ（屁をひる）。［変異］ひふ。

ひつ [hitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（食事の量などが）減る。　【例】ういびとぅ　なりゅーそぅが　むぬー　ひかん（年取っているが食事の量は減らない）。［変異］ひふ。

ひつ [hitsɨ]【名詞】［C］着物を入れる箱。【例】ひつん　つんぬ　いりー（櫃（ひつ）に着物を入れる）。

ひつ [hitsɨ]【名詞】［C］特別に目をかけて便宜をはかること、味方、引き。【例】うりゃー　せんきょんな　かまぬ　ひき（彼は選挙には向こう側に付いている）。

ひつ [hitsi]【名詞】［B］〖魚〗スズメダイ（小さい魚でサンゴ礁でよくとれる、塩漬けして冬場に食べる）。【例】あんつかいたがどぅ　ひつがまうぎゃー　とぅい（追い込み漁師達がスズメダイをとる）。

ひつ [hitsɨ]【名詞】［A］（選挙などで同じ候補を応援している）仲間。　【例】かぬきゃー　ばんてぃが　ひつ（あいつらは私たちの応援仲間だ）。

びつ [bitsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］賭けに勝って相手のかけたものを取る。　【例】でぃんぬ　びつ（金を賭けで取る）。でぃんぬ　びつにゃー（賭博での金の賭け合い）。かにふっじゅ　びつ（（子供の遊びで）釘を賭けで取り合う）。ばぬんな　はなふだひや　でぃんな　びかいっだん（私は花札では賭けに勝てなかった）。

ひっがい [higgai]【動詞】［r/rr 語幹］（人とか家が）なくなる、破滅する。【例】かまぬ　やーや　ひがっりー　はりにゃーん（あそこの家はつぶれて一家離散した）。

ひつき [hitsiki]【動詞】［母音語幹］［A］躾（しつ）ける。　【例】やらびゅーぎゃー　あいや　ひつきん（子供をあんなにはしつけない［＞そんなに厳しくしつけをするな］）。くぬひゃーゆぎゃー　ひつきー　とぅらし（この野郎を躾けてやりなさい）。［類］ひつつ。

ひっくす [hikkusɨ]【動詞】[s 語幹] 引っ越す。

ひったうー [hittau:]【動詞】[vv 語幹]（嫌がっている人を）引っ張り出す。【例】かりゅー　ひったっづぃー　くいちゃーゆ　ぶどぅらし（あいつを引っ張り出してクイチャーを踊らせろ）。ぶどぅいんかい　かにゅー　ひったうーそぅが　んばてぃ　たちゃっだん（踊りにカニを引っ張ったが嫌と言って立たなかった）。[類] ひったっづぃ。

ひったっづぃ [hittavvi]【動詞】[母音語幹]（嫌がっている人を）引っ張り出すこと。 [類] ひったうー。

ひったんぐー [hittaŋgu:]【名詞】(嫌がっている人を）引っ張り出す。【例】みがう　ぴーてぃーえーぬ　やくいんかい　ひったんぐー　あす（ミガを PTA の役員に引っ張り出す）。

ひっちゃつ [hittɕatsɨ]【動詞】[k 語幹]（紙や布などを）引き裂く、(人と人の仲を）裂く。【例】かびーゆ　ひっちゃき（紙を引き裂け）。ばが　つんな　うまぬ　ひっちゃかいー　ぴーきゅーば　うまう　くーやひー　ふぃーる（私の着物はそこが破れて穴が開いているので、繕ってくれ）。うぬきゃが　ふたーいゆぎゃー　ひっちゃきーすてぃる（彼ら二人（の仲）を引き裂いてしまえ）。[変異] ひっちゃふ。

ひつつ [hitsɨtsɨ]【動詞】[k 語幹] [C] 躾（しつ）ける、いじめる。 [変異] ひつふ。[類] ひつき。

ひつなす [hitsɨnasɨ]【動詞】[s/h 語幹] 仕上げる、やってしまう。【例】くまぬ　すかまうぎゃー　きゅーぬちゃん　ひつなはでぃ（ここの仕事を今日のうちにやってしまおう）。きゅーや　きゅー　あちゃー　あちゃ　やいば　きゅー　あすがまたぬ　くとぅーぎゃー　きゅーひー　ひつなすばどぅ　じゃうかい（今日は今日、明日は明日だから今日やるべきことは今日で片付けた方が良い）。

ひつに [hitsɨni] ①【形容詞】[B] 硬くて噛みきれない、（相撲などが）粘っこい。【例】うぬ　ぬーまじゅーや　ひつにかいば　かまいん（この馬肉は硬くて噛みきれない）。かーきだくー　ぐむぬ　んまりゃーひー　ひつにかいば　ならん（燻製のタコはゴムのようにすごく硬くてかみ切れない）。かぬ　すまとぅりゃが　すまー　やぐみ　ひつに（あの相撲とりの相撲はねばりっこい）。②【名詞】[B] 筋肉、硬くて噛めない筋肉。【例】ぬーまぬ　ひつにゃー　ひつにむぬ（馬の筋肉は硬くて噛みきれない）。

ひつにん [hitsɨnin]【名詞】昔納税を免れた障碍（がい）者、転じて、仕事のあまりできない人。【例】かりゃー　すかまー　ひらいん　ひつにん（彼は仕事のできない障がいをもった人だ）。

すかまー　ひらいん　ひつにんな　やーんきー　にっづゅーき（仕事のできない奴は家に帰って寝とけ）。

びっぴーまちゃ [bippi:matça]【名詞】〖鳥〗ヒヨドリ。【例】びっぴーまちゃー　んきゃーんな　みーらいっだん（ヒヨドリは昔は見られなかった）。

ひつふ [hitsɨfu]【動詞】［k 語幹］［C］躾（しつ）ける、いじめる。［変異］ひつつ。［類］ひつき。

ひつむどぅい [hitsɨmudui] ①【動詞】［r/rr 語幹］引き戻る、引き返す；（嫁に行った人が離婚して）実家に戻る。【例】っさらん　いきー　すぐ　ひつむどぅい（平良に行って直ぐに引き返す）。かぬ　みどぅんな　やなびきどぅん　あたりどぅ　ひつむどぅりーっちゅー（あの女の人は悪い男に当たって出戻ってきた）。②【名詞】引き返すこと。【例】はい　いきー　そぅぐ　ひつむどぅい　あすたい（畑に行って直ぐに引っ返した）。かぬ　みどぅんな　やなびきどぅん　あたりどぅ　ひつむどぅい　あすたい（あの女の人は悪い男に当たって出戻ってきた）。

ひつん [hitsɨn]【副詞】頻繁に、いつも、常に、ひっきりなしに。【例】かりゃー　ひつん　つむでぃーどぅー（彼は常に怒っている）。くぬいや　ひつん　あみぬ　っふゅー（最近はいつも雨が降っている）。うまぬ　んつからー　ひつん　くるまぬ　とぅーい（この道はひっきりなしに車が通る）。

ひでぃー [hidi:]【名詞】［B］傷跡、おできの治った痕、火傷の痕。【例】かなまいぬ　ひでぃー（頭の傷痕）。ほぅがさぬ　なうりぬ　あとぅぬ　んずぎ　ひでぃー（おできが治った後の醜い傷痕）。

ひでぃー [hidi:]【名詞】［B］ひでり、旱魃（かんばつ）。【例】くとぅっさ　ひでぃーや　ひー　ぶーずまい　さりー　はりーにゃーん（今年は日照りでサトウキビも枯れてしまった）。

ひてぃつ [hititsɨ]【名詞】［C］ひとつ［ものの数量を表す］、一歳［年齢を表す］。【例】ばぬんまい　にぐーゆぎゃー　ひてぃっちゅぎゃー　ばきー　ふぃーる（私にもシャコガイを一つ分けてくれ）。やらびゃー　ひてぃつ　なりーどぅー（子供は 1 歳になった）。うまんな　つかーい　まかいや　ひてぃつまい　にゃーん（ここには使えるお椀は一つもない）。かんにがいぬ　ひてぃっちゃ　んぬっちゅぎゃー　ぶいどぅす（一回の祈願で命を（神から）頂くことができる［＞神に一回祈ることで健康になれる］）。［類］ってぃつ。

ひてぃつがゆい [hititsɨgajui]【名詞】1 つ違い。【例】うぬきゃが　きょーだいや　ひてぃつがゆいや　ひー　いつぬひとぅ　うり（この人たちの兄弟は一つ違いで 5 人いる）。

ひとう [hitu]【名詞】[A] 人、他人。【例】ひとぅー　うまんな　いふたーいうり（人はそこに何人いるの）。ひとぅだすきゃー　どぅー　だすき（人を助けることは自分を助けることだ（情けは人の為ならず））。ひとぅづかいぬ　あらびとぅ（人使いが荒い人）。ひとぅー　すかす（人をだます）。

ひとぅー　ひとう　どぅー　や　どぅー [hitu: hitu du:ja du:]【成句】他人は他人、自分は自分。【例】ひとぅー　ひとぅ　どうーや　どぅー　やいば　うなが　うむいが　にゃーん　あっそぅ（自分は自分他人は他人なので自分が思う通りにしなさい）。

ひとぅあん [hituan]【名詞】追込み漁でのひと網。【例】あうきゃー　ひとぅあんな　ふたから　みからがまどぅ　とぅらい（あおりいかは一網で二三尾だけとれる）。[類] ひとぅふん。

ひとうい [hitui]【名詞】[B] 一日；ある日。【例】うまぬ　すかまー　ひとぅいんな　ひらいん（ここの仕事は一日ではできない）。ひとぅいんな　どぅすぬ　まいんかい　いきゅーきゃー　からー　さきゅー　ぬみゅーたい（ある日、友だちのところに行ったら、彼は酒を飲んでいた）。

びとうい [bitui]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 満腹になる。【例】ばー　んめ　びとぅりーどぅーば、んみゃひや　ふぁーいん（私はもう満腹でもうこれ以上食べられない）。

びどうい [bidui]【名詞】[C] 亥（いのしし）年。【例】ばー　びどぅいんまり（私は亥年生まれだ）。

ひとぅいぎゃーみゃーす [hituigja:mja:sɨ]【成句】一日中。【例】やらびあいきゃー　ひとぅいぎゃーみゃーす　いんぬ　ばんあたい（子供の頃は一日中海であそんでいた）。かぬ　むぬゆみゃー　ひとぅいぎゃーみゃーすまい　むぬー　ゆみーどぅーい（あのおしゃべりは一日中でもおしゃべりしている）。きゅーや　ひとぅいぎゃーみゃーす　むぬー　ふぁーんば　やーすかいば　ならん（今日は一日中食事はしていないのでひもじい）。[変異] ひとぅいがーまーす。

ひとぅいつ [hituitsɨ]【名詞】一気、一息、すごく近い。【例】んみゃ　ひとぅいつひー　くぬ　にぐーや　とぅらいどぅす（あと一息でこのシャコガイは取れる）。さきゅーぎゃー　ひとぅいつん　ぬみ（酒は一気に飲め）。っさらたーひや　ひとぅいつ（平良まではあっという間だ）。

ひとぅいっづぃ [hituivvi]【名詞】人見知り。【例】くぬ　やらびゃー　ひとぅいっづゅーがー　ほぅん（この子は人見知りしない）。

ひとぅいひゃうす [hituiçausɨ]【名詞】ある時、ある日（副詞としても使え

る)。【例】ひとぅいひゃうす　っしん゜んかい　いきゅーきゃー　がばー　たくー　とぅいたい（ある日サンゴ礁での潮干狩りに行ったら、大きなタコがとれた)。

ひとぅかき [hitukaki]【名詞】一房の中の一かけら。［類］ひとぅつがき。

ひとぅかた [hitukata]【名詞】人形。【例】みどぅんやらびがまー　ひとぅかたー　むちー　あそぅびゅーたい（(その)女の子は人形をもって遊んでいた)。

ひとぅきゅーやー [hitukju:ja:]【名詞】一軒家。【例】かまんどぅ　ひとぅきゅーやーぬ　あい（向こうに一軒家がある)。

ひとぅだかーい [hitudaka:i]【名詞】人がたくさん集まっている。【例】かまんな　ひとぅだかーいや　ひどぅ　ひとぅぬ　っふぁまりゅー（あそこには人がたくさん集まって混雑している)。うんどうかいや　ひとぅだかーい　あたい（運動会は人がたくさん集まっていた)。［類］ひとぅだかい。

ひとぅだかい [hitudakai]【名詞】ひとだかり。［類］ひとぅだかーい。

ひとぅっづぁまい [hituvvamai]【名詞】（動けないほどの）人の混雑。【例】みゃーくずつんな　じゃーがまんな　ひとぅっづぁまいや　ほぅー（ミャークヅツは広場は人で混んでいる)。

ひとぅつがき [hitutsɨgaki]【名詞】一房の中の一かけら。【例】ぴーぬ　ひとぅつがき（ニンニクの一房の中の一かけら)。［類］ひとぅかき。

ひとぅっさ [hitussa]【名詞】人の噂。【例】ひとぅっさ　あす（人の噂をする)。ひとぅっさう　またつつ　あす（他人の噂をまた聞きする)。［変異］ひとぅっじゃ。

ひとぅっじゃ [hituʑʑa]【名詞】人の噂。

ひとぅっじゃぬ　すー [hituʑʑanu si:]【名詞】他人を噂をよくする人、うわさの発信源。【例】あいや　ひとぅっじゃぬ　すーゆ　ぎゃーほぅん（そんなに人のことを言いふらすな)。

ひとぅっでぃ [hituddi]【名詞】おなじ干支の人、同年生。【例】ひとぅっじゃー　かなす（同じ学年の友達は愛おしい)。ばんちゃー　ひとぅっでぃ（私達は同じ学年だ)。［類］あぐ。

ひとぅてぃ [hituti]【名詞】［B］ある年、一年間。【例】ひとぅてぃんな　やぐみ　ほぅーつぬ　ありどぅ　はーさぬ　ひとぅぬ　すんたいちゃ（ある年にははやり病があって、たくさんの人が死んだそうだ)。くぬ　すかまー　ひとぅてぃんな　ほぅだかー　ならん（この仕事は一年でしないといけない)。［変異］ひとぅてぃー。［類］ひとぅてぃない。

ひとぅでぃー [hitudi:] ①【名詞】(人の）労働力、ひとで（がたりない)。【例】ひとぅでぃーぬ　たらーんば　くまぬ　すかまー　きゅーんな　ひらいん（人手が足りないのでここの仕事は今日中にはできない)。②【名詞】他人の所有、ひとで（にわたる)。【例】かまぬ　やーや　ひとぅでぃーんかい　ばたりーにゃーん（あそこの家は人手に渡った)。

ひとぅてぃない [hitutinai]【名詞】ある年、一年間。［変異］ひとぅてぃーない。［類］ひとぅてぃ。

ひとぅに [hituni]【名詞】［C］朝まで起きることもなく眠ること（熟睡すること)。【例】あちゃがみゃー　ひとぅに（あした（の朝）まで熟睡する)。［変異］ひとぅにー。

ひとぅぬ　くとぅ　あす [hitunu kutu asɨ]【成句】［不規則］他人の（世話、面倒）を見る。【例】ひとぅぬ　くとぅ　あっさ　どぅーぬ　くとぅ　あす（人のことをやる事は自分の事をやるのも同然だ［＞良いことをすると自分に返ってくる］)。まーぬ　ひとぅぬ　くとぅーぎゃー　あすな（あまり他人のことをするな［＞自分の（家庭の）ことをちゃんとしろ］)。

ひとぅぬ　っさ　あす [hitunu ssa asɨ]【成句】［不規則］人のうわさ話をする。【例】ひとぅぬ　っさ　あっさ　どぅーぬ　っさ　あす（人の悪口を言う事は自分の悪口を言うようなものだ［＞全て自分に返ってくる］)。［類］ひとぅっさ。

ひとぅぬ　ばたう　ふっず [hitunu batau fuzzɨ]【成句】［zz/dd 語幹］人の気に触ることを言う。

ひとぅばた [hitubata]【名詞】時々、たま　［「ん（に)」をつけて副詞として使う］。【例】ひとぅばたぬ　ゆくい（たまの休み)。ひとぅばたんな　くまんかいまい　まーりーくー（たまにはここにも寄って来い)。ひとぅばたんな　あそぅーがまい　いつ（たまには遊びにも行く)。

ひとぅばたなー [hitubatana:]【名詞】時々、たま　［「ん（に)」をつけて副詞として使う］。［類］ひとぅばた。

ひとぅはな [hituhana]【名詞】一輪の花。【例】かまぬ　やーぬ　みなかぬ　はなう　ひとぅはな　とぅいくー（あそこの家の庭の花を一輪取ってこい)。まみがはな　ひとぅはなよ（豆の花一輪よ［古謡「豆が花」］より)。

ひとぅひゃーい [hituça:i]【名詞】一食分。【例】うさきがまひや　やーにんじゅぬ　ひとぅひゃーいぬ　たままい　にゃーん（これだけでは家族の一食分もない)。

ひとぅひゃーい [hituça:i]【名詞】たま、ときどき、ひところ。【例】ひとぅひゃーいんな　っぞぅ　つーがま

い　いつぶすむぬ（たまには魚釣りにも行ってみたい）。ひとぅひゃーいんな　でぃんぬ　まうきたい（ひところは金を儲けた）。

ひとぅひゃうす [hituçausɨ]【名詞】ある時、ある日［副詞としても使える］。【例】かりゃー　ひとぅひゃうす　うーっふぃー　すなっじゃうたい（彼はおぼれて死にそうになったことがある）。［類］ひとぅいひゃうす、ひゃうす、ひゃうな、ひとぅひゃうな。

ひとぅひゃうな [hituçauna]【名詞】ある時、ある日（副詞としても使える）。

ひとぅびゅーい [hitubjuːi]【名詞】人が多くて気分が悪くなること、人酔い。【例】とーきょーんな　あてぃ　ひとぅぬ　ういかいば　ひとぅびゅーい　あす（東京には人が多すぎて人酔いする）。

ひとぅふぁや [hitufaja]【名詞】他人にたかって生きる人。【例】かりゃー　すかまうぎゃー　ほぅん　むいとぅぬ　ひとぅふぁや（彼は仕事をしないで人にたかって生きているやつだ）。

ひとぅふい [hitufui] ①【名詞】偉ぶること、実際より自分をえらく見せること。【例】ひとぅふいんまり（格好をつけるやつ）。まーぬ　ひとぅふいゆぎゃー　あすな（あんまり格好つけるな）。②【形容詞】偉ぶる、実際より自分をえらく見せる。【例】からー　むいとぅぬ　ひとぅふい　にんぎん（彼はとても虚勢をはるやつだ）。からー　ばかかいきゃー　むいとぅ　ひとぅふいかたい（彼は若いときは格好ばかり付けていた）。

ひとぅふりや [hitufurja]【名詞】偉ぶること、実際より自分をえらく見せること。

ひとぅまた [hitumata]【名詞】ごく近く、一跨ぎ。【例】っさらー　ひとぅまた（平良はすぐ近くだ）。はわいたーひや　ひこーきひや　ひとぅまた（ハワイまでは飛行機で一跨ぎだ）。

ひとぅみ [hitumi]【副詞】一緒に。【例】じょー　っさらんかい　ひとぅみ　いかでぃ（さあ、平良に一緒に行こう）。ほぅからっさー　なだとぅ　ひとぅみ（嬉しさは涙と一緒に）。うぬきゃが　ふたーいや　いつまい　ひとぅみ（この二人はいつも一緒だ）。むぬーぎゃー　やーにんじゅー　ひとぅみ　ふぁい（食事は、家族は一緒に食べなさい）。

ひとぅむつき [hitumutsɨki]【名詞】僅かの間。【例】うまぬ　すかまうぎゃー　ひとぅむつきんな　あすどぅす（ここの仕事はわずかの間にやってしまえる）。

ひとぅむてぃ [hitumuti]【名詞】朝。【例】ひとぅむてぃむぬ（朝ご飯）。［変異］すつむてぃ。

ひとぅむてぃ [hitumuti]【名詞】朝、早朝。 【例】ひとぅむてぃぬ まみがはな（朝の豆の花［古謡「豆が花」より］）。

ひとぅむてぃ ゆさらび [hitumuti jusarabi]【成句】朝夕。 【例】くまなぎゃー ひとぅむてぃ ゆさらびゃー すだすむぬ（ここらへんは朝夕はすずしい）。ひとぅむてぃ ゆさらび いんぬ はまう あいきーまーい（朝夕海浜を歩き回る）。

ひとぅむとぅ [hitumutu]【名詞】一株。 【例】ぎすっちゃ ひとむとぅからどぅ うさきなー うやいーゆーい（ススキは一株だけからこんなに増えているんです）。

ひとぅん [hitun]【副詞】一度、一回。 【例】かりゃー みーかん ひとぅん くまんかい あそぅーが ふー（彼は3日に一度ここに遊びに来る）。

ひとぬふさ [hitonufusa]【名詞】人の噂。 【例】ひとぅぬふさう あすてぃがー うながどぅーんかいどぅ まーりーふー（人の悪い噂をすると自分自身にはねかえってくる）。ひとぅぬ ふさうぎゃー つかだうり（人の噂は聞くな）。ひとぅぬ ふさうぎゃー ほぅん（人の噂はしない）。［変異］ひとぅぬっさ。

ひない [hinai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（物、生き物、人の数が）減る、（腹が）減る。 【例】ばが ばちゃみー あたい さきぬどぅ ひなりゅー（私が大事に取って置いた酒が減っている）。くぬいや みどりかいんかい ふー ひとぅー ひなりーどぅー（最近はみどりかいに来る人が減っている）。ばたー ひなりー やーすかいば ならん（腹が減ってしかたがない）。

ひなかい [hinakai]【動詞】［r/rr 語幹］（足を取られて、おされて）倒れる、（驚いて）ひっくり返る。 【例】っさーきりー ひなかいたい（つまづいてこけた）。あてぃ うどぅるっちゃーひー ひなかいりーにゃーん（余りにもびっくりしてひっくり返った）。［変異］ひなかいー。

ひなじゃ [hinaʒa]【名詞】［C］へなへなした人、馬鹿な奴、仕事能力のあまりない人、差別的な使い方。 【例】おい すかまー ひらいん ひなじゃ（おい 仕事のできない奴）。

ひにー [hini:]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（首、足首、手首などを）ひねる、（抜くために木の根などを）ねじる、（瓶のフタなどを取るために）ねじる。【例】ばー ん゜ぬ はっじゃ ひにりー ないぎーどぅーば いかいん（私は足をひねってびっこをひいているので行けない）。きーぬ にーゆ ひにりー、 うるー んず（木の根をねじって、それを抜く）。くぴんぬ ふたー ひにりー はなす（瓶のフタをねじって開ける）。

びばくーす [bibaku:sɨ]【形容詞】吐き気がする。【例】っさりむぬー　ふぁいー　びばくーすむぬ（腐った物を食べて吐き気がする）。びばくーすかいばならん（吐気がしてならない）。

びばつ [bibatsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（物を食べ過ぎて）吐く、戻す。【例】っさん　さきぬんな　ひー　びばきーにゃー（分からないほど酒を飲んで戻した）。むぬーぎゃー　びばつきゃたーひー　ふぁい（食べ物を吐くまで食べろ）。［変異］びばふ。

びびゃう [bibjau]【動詞】［vv 語幹幹］［C］酸っぱくて歯に浸みる。【例】そぅー　ふにゅーや　ふぁいー　はーや　びびゃっづぃーどぅーい（酸っぱいミカンを食べて歯に浸みている）。［類］ひぎゃう。

ひふ [hifu]①【動詞】［k 語幹］［A］（ものを手前に）引く、引っ張る；（草などを）引き抜く；（くじを）引く。［変異］ひつ。②【動詞】［k 語幹］［A］（食べた後の食器などを）引く、（食べものの恵みを）減らす［神事のことば］。［変異］ひつ。③【動詞】［k 語幹］［A］（潮が）引く。［変異］ひつ。

ひふ [hifu]【動詞】［k 語幹］［A］（楽器を）弾く、（風邪を）ひく、（最盛期が）すぎる。［変異］ひつ。

ひふ [hifu]【動詞】［k 語幹］［A］（むしろや布団を）敷く。［変異］ひつ。

ひふ [hifu]【動詞】［k 語幹］［A］（屁を）ひる。［変異］ひつ。

ひふ [hifu]【動詞】［k 語幹］［A］（食事の量などが）減る。［変異］ひつ。

びふ [bifu]【動詞】［k 語幹］［A］賭け、遊びで相手の物品等をせしめる。【例】でぃんぬ　びふ（金をせしめる）。かにふっじゅ　びふ（釘をせしめる）。めんこー　びふ（メンコをせしめる）。［変異］びつ。

びふっじゃ [bifuʑʑa]【名詞】人の気に触ることを言う人。【例】かりゃーむいとぅぬ　びふっじゃ　やいば、かいが　ふーてぃがー　いつまい　あうやー（彼は人の気に触ることを言うので、彼が来るといつも喧嘩だ）。

ひむ [himu]【名詞】［A］干ばつ。【例】くじゅぬ　ひむんな　んななない　むいとぅ　やーっさ　あすたい（去年の干ばつではみんなとても飢えに苦しんだ）。ひむーひー　ぶーっじゃ　さりー　はりーにゃーん（旱魃でサトウキビは枯れてしまった）。［類］ひゃーい。

ひゃー [ça:]①【形容詞】［B］速い、早い。【例】ひゃーにゃーんな　かいがどぅ　んながーな　ひゃーかい（かけっこでは彼が一番早い）。ひゃー　ぶじゃがま（競争の速いおじさん）。みんびゃー（早耳）。［類］はー。②【副詞】速く、早く；すでに、早々と。［類］ひゃーひー、はーひー。

ひゃー [ça:] 【名詞】［C］〖蔑称〗「人」の卑称、野郎。 【例】くぬ　ひゃーゆ　ぎゃー　ゆらはん（こいつは許せない）。かぬ　ひゃーや　ひんぎー　はりーにゃーん（あいつは逃げちゃった）。くぬ　びきどぅんひゃーたー　なうまい　ひらいん（この男連中はなにもできない）。

ひゃー [ça:]【名詞】［C］昔、以前。【例】ひゃーぬ　はなす（もう済んだ話）。

びゃー [bja:] 【助詞】〖終助詞〗文について話者の疑念を表す、「かな」「かしら」；名詞について様々な場合に当てはまることをを表す、「～でも～でも」。【例】あいびゃー（そうかしら）。あいびゃー、いー（そうなんですかねえ）。［類］びゃーい、びゃーん。

ひゃーい [ça:i] 【名詞】［A］干ばつ。 【例】くとぅっさ　あみまい　っふぁん　ひゃーいたーな　やいば　やーそぅんどぅ　ないぎかい（今年は雨も降らない日照りばかりで、飢饉になりそうだ）。ひゃーいな　ぶーずまい　さりどぅす（旱魃にはサトウキビも枯れる）。なつぬ　ひゃーい（夏の旱魃）。［類］ひむ。

ひゃーい [ça:i] 【接尾辞】助数詞、数詞について食を数えるのに使う。 【例】ひとぅ　ひゃーいが　たま（一食分）。っづぁから　かうたい　わーや　いふひゃーいまい　ふぁーいどぅ　うたい（あなたから買った豚は何食でも食べられる）。

びゃーい [bja:i] 【助詞】〖終助詞〗文について話者の疑念を表す、「かな」「かしら」；名詞について様々な場合に当てはまることをを表す、「～でも～でも」。【例】あいびゃーい（そうかしら）。［類］びゃー、びゃーん。

びゃーき [bja:ki] 【名詞】［A］（ちから）いっぱい。思い切り。 【例】たやびゃーき　なっじゅり（力いっぱい殴れ）。

ひゃーくいち [ça:kuitɕi] 【名詞】百に一つしか本当のことを言わない人、ほら吹き。

ひゃーさにゃー [ça:sanja:] 【名詞】かけっこ、徒競走。 【例】ひゃーさにゃーゆ　あす（かけっこをする）。［変異］はーさにゃー。

ひゃーす [ça:si]【動詞】［s/h 語幹］［C］はやしたてる、おだてる。 【例】ひゃーひー　ぶどぅらし（おだてて踊らせろ）。ぶどぅりてぃー　ひゃーす（踊れとせかす）。［変異］ぴゃーす。

ひゃーひー [ça:hi:] 【副詞】（朝）はやくに、とうに、さっき、早い時分。【例】ひゃーひー　ったんまー（早く来たら（良かったのに））。ひとぅむてぃ　ひゃーひー　くー（朝早く来い）。

ひゃーひー [ça:hi:]【名詞】早朝、速く、以前。 【例】てぃだぬ　いでぃだ

ういきゃ　ひゃーひーん　いんかいや　いかでぃ（太陽が出ない中、朝早く海に行こう）。むぬーぎゃー　ひゃーひーん　ふぁい（飯は急いで食べなさい）。からー　あいぬ　くとぅー　ひゃーひーから　あっじゅーたい（彼はそんなことを以前から言っていた）。［変異］はーひー。［類］ひゃー、はー。

ひゃーまい [ça:mai]【動詞】［r/rr 語幹］（日取りなどが）早まる。【例】こんげつぬ　みどりかいや　とぅか　ひゃーまいたい（今月のみどり会は 10 日早まった）。すかまうぎゃー　んめひー　ひゃーまらし（仕事はもっと早まらせ）。ひゃーまり　ふぁい（早く食べろ）。

ひゃーん [ça:n]【副詞】すでに、早々と。【例】からー　ひゃーん　っさらんかい　はりーにゃーん（彼はもう平良に行った）。［変異］はー。

びゃーん [bja:n]【助詞】〖終助詞〗文について話者の疑念を表す、「かな」「かしら」；名詞について様々な場合に当てはまることをを表す、「～でも～でも」。【例】あいびゃーん（そうかしら）。あいびゃーん、いー（そうなんですかねえ）。［類］びゃー、びゃーい。

ひゃーんつ [ça:ntsɨ]【名詞】下り坂［＜ひゃー（早い）＋んつ（道）］。

ひゃうす [çausɨ]【名詞】［C］たま、［「～ん（に）」を伴って副詞として用いられる、たまに、ときどき］。【例】きゅーや　ひゃうすぬ　ゆくい　やいばよーんな　にっづぃ　うらでぃ（今日はたまの休みなので、ゆっくり寝ていよう）。ひゃうすんな　んまむぬーまい　ふぁう（たまにはご馳走もする）。ひゃうすんな　うつなーゆまい　いきーみーだかーならん（たまには沖縄本島も行ってみないとならない）。ひゃうすんな　ばがまいんかいまい　まーりってぃ　あすび（たまにはうちにも来て遊べ）。ひゃうすんな　えいがうまいみーが　いつ（たまには映画も観に行く）。

ひゃうな [çauna]【名詞】［C］たま、［「～ん（に）」を伴って副詞として用いられる、たまに、ときどき］。［類］ひゃうす。

ひゃうな [çauna]【名詞】［C］海の深いところ、外海。【例】ぶらぬ　あらひゃうな（保良の東平安名崎の波の荒い外海）。きゅーや　かまぬ　ひゃうなんきー　っぞぅー　っちーくーでぃ（今日は例の外海に行って魚を釣りに行ってこよう）。

ひゃっき [çakki]【名詞】［C］100 斤（60 キログラム）。【例】っぞぅー　ひゃっき　がにどぅったい（魚を 100 斤網で取ってきた）。

ひゅーい [çu:i]【名詞】［B］祭日（御嶽の祭事、正月等）、（陰暦の）日取りを計算すること。【例】くとぅすぬ　みゃ

ーくずつぬ　ひゅーいゆ　とぅい（今年のミャークズツの日取りを決める）。

びゅーい [bju:i] ①【動詞】［母音語幹］［C］酔っぱらう。【例】びゅーいーまーっさ　んˀまだ　あいきゅー（酔ってふらついて歩いている）。さきゃー　あてぃ　ぬんなひどぅ　びゅーいーにゃーん（酒を飲み過ぎて酔っぱらってしまった）。たーくん　なりー　びゅーい（ぐでんぐでんに酔う）。ばー　んなーぎゃー　びゅーいや　うらん（私はまだ酔っぱらってはいない）。びゅーいびゃー　びとぅ（酔いの早い人）。びゅーいやす　ひとぅ（酔いやすい人）。②【動詞】［母音語幹］［C］（腐った魚や肉で）食あたりを起こす。【例】あかいらうっちゃ　ふぁいどぅ　びゅーいーゆー（ビブダイを食べて食あたりしている）。③【名詞】［C］酔うこと。【例】さきびゅーい（酒に酔うこと）。ひとぅびゅーい（人混みに酔うこと）。なまびゅーい（ほろ酔い）。びゅーい　びとぅ（酔っぱらい）。

びゅーいがっさ [bju:igassa]【名詞】〖植〗クワズイモ。【例】びゅーいがっさー　ふぁーいん（クワズイモは食えない）。［類］びびーがっさ。

ひゅーいとぅいんま [çu:itu-imma]【名詞】〖祭礼〗祭事の日取りとるおばあさん。

ひら [hira]【名詞】［C］〖道具〗芋等を植える農機具、篦（へら）。【例】ひらひー　んーぬ　いびー（ヘラで芋を植える）。

ひらい [hirai]【動詞】［母音語幹］［C］あす（する）の可能形、できる。【例】ほぅりむぬんな　ほぅりむぬぬ　まーびゃー　ひらいん（馬鹿は馬鹿のまねはできない）。っづぁとぅや　ひとぅみ　ひらいどぅす（お前とは一緒に（仕事が）できる）。ぎっじゃ　ひらいんぎずぎゃうな　やらび（手に負えない腕白坊主）。

ひらい [hirai]【名詞】［C］交際のための贈り物、つけとどけ。【例】やくにんかいや　まーぬ　ひらい　あすな（役人にはあまり付け届けをするな）。ひとぅびらい（知り合いに贈り物をすること）。どぅすびらい（ともだちとの贈り物の交換）。ういびらい（上司などへの贈り物）。どぅすびらいや　ひどぅ　どぅすんかい　さきゃー　むちいきーぬますたい（友達との交際のために酒を持って行って飲ませた）。［類］てぃだい。

ひらいがにゃーん [hiraiganja:n]【成句】できる限り、（無理をせず）できる範囲内で。【例】ひらいがにゃーんどぅ　あす（できる範囲内でやる）。

びらう [birau]【動詞】［w 語幹］［C］お世辞を言う、へつらう；（わいろを）わたす。【例】からー　いつまい　しーしーんかい　びらう（あいつはいつも先生にお世辞を言う）。せいじかんかい

びらいゆ　びらいー　きーひつん　かつみらいにゃーん（政治家にわいろを渡して警察につかまってしまった）。

びらかす [birakasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを）開く、広げる、開ける。【例】うゆびゅー　びらかし（指を開け）。たろーが　じろーんかい　っぞぅぬ　ばたう　びらかすたい（太郎が次郎に魚のはらわたを取らせた）。[変異]びだかす。[類]あうばだかす、びらつ。

びらつ [biratsɨ]【動詞】[k 語幹][A]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを）開く、広げる、開ける。（本、箱など閉じてあるものを）開ける。【例】ほぅんぬ　びらき（本を開け）。はくー　びらきー　なかう　みーみーる（箱を開けてなかをみろ）。にぐーや　ふっちゃ　びらきーどぅー（シャコガイが口を開けている）。[変異]びらふ、びだつ、びだふ。[類]びらかす。

びらふ [birafu]【名詞】[C]（キャーンと言う蔓草（つるくさ）の芯で作られた）籠（かご）。【例】びらふー　うまんかい　かきる（ビラフ籠をそこに掛けろ）。いんかい　むちーいつ　びらふーぎゃー　うきゃんひどぅ　ちゅっふぃー　うたい（海に持って行くビラフ籠をウキャンで作っていた）。

びらふ [birafu]【動詞】[k 語幹][A]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを）開く、広げる、開ける。（本、箱など閉じてあるものを）開ける。［変異］びらふ、びだつ、びだふ。［類］びらかす。

びり [biri]【名詞】[C] 最下位、ビリ、ビリの人。【例】っづぁんな　びりどぅんびゃう（お前は最下位しかできない）。びりゃー　くまんかい　くー（ビリはここに来い）。

ひるます [hirumasɨ]【形容詞】変だ、不思議だ、（人に関して）変わった。【例】ゆびゃー　みーや　みーん　ひるます　ゆみゅー　みーたい（昨夜は見たこともない不思議な夢を見た）。ひるますむぬ、　でぃんぬ　にゃーんふないびゃーさぬ（不思議だなあ、すぐにお金がなくなる）。ひるますむぬ、すまほぬ　とぅみらいん（変だな、スマホが見つからない）。やーにんじゅぬ　なかんな　くいがどぅ　んながーんなひるますかい（家族の中では彼が一番変人だ）。

ひるます [hirumasɨ]【形容詞】ありがたい、欲しい、大切だ。【例】かぬとぅきゃん　っづぁが　でぃんぬ　かしーふぃー　あたいば、やぐみ　ひるますほぅからすむぬ　あたい（あの時は、あなたがお金を貸してくれたので、とてもありがたくて、うれしかった）。ういが　なうばい　たかだいむぬ　やらばんまい　ばー　ひるますっふぁにゃーん（これがどんなに高いものだとし

ても、私は何とも思わない)。

ひろし [hiroʑi]【名詞】[A]〖魚〗ナポレオンフィシュ。 【例】ひろしっぞぅ(ひろし)。

ひんぎ [hiŋgi]【動詞】[母音語幹][C]逃げる。 [類]ひんず。

ひんじゃ [hinʑa]【名詞】[C]やぎ。【例】ひんじゃぬ やー(山羊小屋)。

ひんず [hinzɨ]【動詞】[g 語幹][C]逃げる。 【例】うぬ ぎずぎゃうな やらびゅー ひんぎや はらん やうんてぃー んつみゅーき(この言うことを聞かない子供を逃げていかないようにおさえておけ)。ぶーっじゃ ぬすみー ひんず(サトウキビを盗んで逃げる)。ぬーまー ひんがひーにゃーん(馬を逃がしてしまった)。[類]ひんぎ。

ひんそぅー [hinsuː]【形容詞】貧乏だ、貧相だ。【例】ひんそぅーかいばっふぁんみゃー うむくとぅまい あいそぅが がっこうまい いだはいん(貧乏だから子供たちは頭も良いが学校も行かせられない)。かりゃー ひんそぅーないぎ ほぅーそぅが やぐみうやきびどぅ(彼は貧乏そうに見えるが、(本当は)とても金持ちだ)。[類]きばん。

ひんた [hinta]【形容詞】[C]役に立たない(もの、ひと)。 【例】ひんた びきどぅん(なんの役にも立たない男)。ひんた むぬがま(何の役にも立たない物)。ひんた かんがい(役に立たない考え)。からー むいとぅぬ ひんた(あいつは全く役に立たないやつだ)。[類]ひんだぐー。

ひんたぐー [hintaguː]【形容詞】役に立たない(もの、ひと)。 [類]ひんた。

ひんたら [hintara]【形容詞】駄目な。【例】ひんたらむぬーぎゃー てっぅゃがらーひー すてぃる(駄目なものは捨てなさい)。

びんだらい [bindarai]【形容詞】洗面器。 【例】びんだらいんかい みっじゃ いりー みはなう すみー(洗面器に水を入れて顔を洗う)。

ひんな [hinna]【形容詞】[A]変な、不思議な。 【例】うらー まーだー ひんなむぬ(それはちょっと変なもの)。なま ひんな(ちょっと変だ)。ひんなむぬ うぬ やらびゃー うまん あすびー うたいそぅがどぅ とぅみらいん(へんだなあ、あの子はそこで遊んでいたけど、見つからない)。

ぴんふ [pinfu]【名詞】[B]〖地名〗西原の北東にある山。

ふ

ふー [fu:] 【動詞】［不規則］［C］来る、（聞き手のところに）行く［否定形：「くーん」、連用形：「ってぃ、っち」、過去形：「ったい」命令形：「くー」。 【例】かいがどぅ　うつなーから　ふー（彼が沖縄から来る）。ばー　んなまから　っづぁがまいんかい　くーでぃ（僕はお前のところに行くよ［＜来るよ］）。はやまり　ばがまいんかい　あそぅーが　くー（早くうちに遊びに来い）。んなまどぅ　ったい（（私は）帰ったよ［＝ただいま」）。みどぅんぬ　ふー　むぬー　まつ（妻が帰るのを待つ）。

ふー [fu:] 【補助動詞】（動詞連用形について、話し手や視点のある方に動作が向かう；本来の場所に戻ることを示す）～てくる。 【例】あまいなうぬいんかい　うりー　ふー（竜巻が海におりてくる）。あみぬ　ふぃー　ったい（雨が降ってきた）。むどっり　ったい（戻ってきた）。いきー　くーでぃ（行ってくるよ）。

ふー [fu:] 【動詞】［f/ff 語幹］［C］（雨が）降る。 【例】あちゃー　あみぬどぅ　ふーはず（明日は雨が降るだろう）。ゆびゃー　あみぬ　ふーたいちゃ（昨夜は雨がふったって）。ひーまから　あみぬ　ふーぶすぎむぬ（昼から雨が降りそうだ）。やぐみ　ほぅすず　あみぬ　っふゅー（とても大粒の雨が降っている）。

ふー [fu:] 【動詞】［f/ff 語幹］［A］（窓、ドア、箱などを）閉める、（窓、ドア、箱などが）閉まる、（栓、フタなどを）する、（栓、フタなどが）閉まる。 【例】やどぅー　ふー（戸、窓を閉める）。はくー　ふー（箱を閉める）。くぬ　くぴんぬ　ふたー　ばぬんな　っふぁいん（この瓶の栓は私には閉められない）。みーつむぬー　はいりー　みーや　っふぁいん（目にゴミが入って目が閉じられない）。

ふー [fu:] 【動詞】［f/ff 語幹］［C］（人や動物が歯で）噛む、（魚がエサに）食いつく；（蚊や蜂が）さす。 【例】かりゃー　なうちゃーにゃー　すばー　っふぃどぅ　つむでぃーうたい（彼は突然理由もなく唇をかんでおこっていた）。ひとぅー　ふー　いん　（人をかむ犬）。がばういびとぅー　ずーや　っ

ふぃーどぅーい（古老は腰が曲がって頭は地面に着くほどだ［＜古老は地面に噛みついている］）。っぞぅぬどぅびじゅー　っふぃーうい（魚が餌を食っている）。っぞぅぬどぅ　つーゆ　っふゅー（魚が釣り針を食っている）。かじゃん　っふぁいーにゃーん（蚊に刺されてしまった）。［類］かん。

ふー [fu:]【名詞】［C］運。　【例】やぐみ　ふー　あい　ひとぅ（とても運の良い人）。やらびゃー　ふーや　にゃーだ　すにーはりーにゃーん（子供は運がなく死んで行ってしまった）。きゅーや　ふーや　にゃーだんががら　いすぱぎ　あたい（今日は運がなかったのか不漁だった）。

ぶー [bu:]【名詞】［C］隅。　【例】っしぬ　ぶー（リーフのはしのところ）。たむぬー　なかじゃぬ　ぶーん　うっき（薪は台所の隅に置きなさい）。じゃーぬ　ぶー（広場のはし）。かふーぬ　ぶー（家庭菜園［家の後ろにある畑］のはし）。

ぶー [bu:]【名詞】［B］〖植〗苧麻（ちょま）［宮古上布の糸の材料］。　【例】ぶーずん（苧麻でできた着物）。ぶーずんぬ　つー（宮古上布の着物を着る）。ぶー　んˀん（苧麻の糸を紡ぐ）。［類］ぶばい。

ぶー [bu:]【名詞】［C］（下駄の）緒、紐、ロープ。　【例】あっちゃぬ　ぶー（鼻緒）。くばずーぬ　ぶー（釣瓶の綱）。あんかーぬ　ぶー（イカリのロープ）。

ぶーうー [bu:u:]【動詞】［vv 語幹幹］揺さぶる、振り回す。　【例】やらびあいきゃ　ぬーまん　っふぁいー　ぶーっづぁいたい（こどものころ馬に噛まれて振り回された）。

ふーき [fu:ki]【形容詞】［B］大げさだ。　【例】ふーき　んまり（大げさな奴）。かりゃー　いつまい　ふーきかいばかいが　むぬいゆぎゃー　つかだうり（あいつはいつも大げさだからあいつの言うことは聞くな）。

ぶーず [bu:zɨ]【名詞】［C］サトウキビ。　【例】あずま　ぶーず（甘いサトウキビ）。ほぅすず　ぶーず（太い茎のサトウキビ）。ながすず　ぶーず（長い茎のサトウキビ）。ぶーっじゅ　ゆつひー　ぶりー　たうす（サトウキビを手斧で切り倒して収穫する）。ぶーずぬからがいゆ　ほぅだかーならん（サトウキビの手入れをしないといけない）。

ぶーずがら [bu:zɨgara]【名詞】サトウキビの収穫後の枯れた葉っぱや茎など。　【例】きゅーや　ぶーずがら　むーはでぃ（今日はサトウキビの枯葉を燃やします）。

ふーずき [fu:zɨki]【名詞】ほおずき。［類］ふーずきばらん。

ふーずきばらん [fu:zɨkibaran]【名詞】ほおずき。【例】ふーずきばらんぬ

んたう（ほおずきをいじくる）。［類］ふーずき。

ぶーずぐる [bu:ziguru]【名詞】サトウキビの茎。 【例】ぶーずぬ さりぐる（サトウキビの枯れた茎）。

ぶーずすず [bu:zisizi]【名詞】さとうきびの茎。

ぶーずたうす [bu:zitausi]【名詞】サトウキビ収穫。 【例】ぶーずたうすぬ んˀなう なう（サトウキビ収穫用の縄をなう）。［類］ぶーずぶい。

ぶーずなか [bu:zinaka]【名詞】サトウキビ畑の中。 【例】ぶーずなかんどぅ はうぬ うたい（サトウキビ畑にヘビがいた）。

ぶーずぬ さに [bu:zinu sani]【成句】サトウキビの茎を植えるために切ったもの。 【例】ぶーずぬ さに とぅい（サトウキビの種取り（サトウキビの茎を植用に 25 ㎝に切ること））。

ぶーずぬ はーがら [bu:zinu ha:gara]【成句】サトウキビの枯れた葉。 【例】っづぁー ぶーずぬ はーがらとぅ ぐー（お前はサトウキビの枯れた葉と同じようなものだ［＞お前は何の役にも立たない奴だ］）。

ぶーずぬすどぅ [bu:zinusidu]【名詞】サトウキビ泥棒。

ぶーずぶい [bu:zibui]【名詞】サトウキビ収穫。 ［類］ぶーずたうす。

ぶーずん [bu:zin]【名詞】宮古上布。 【例】ぶーずんな っづぁんかいや はいどぅす（宮古上布の着物はあなたには似合う）。

ぶーた [bu:ta]【名詞】［C］〖魚〗アオブダイの一種、大型の高級魚。【例】ぶーたなます（ぶーたのさし身［御嶽の女性たちが芋の葉のあえものを「ぶーたなます」といって食べた］）。

ふーたい [fu:tai]【名詞】計量するときの本体以外の容器、袋など（の重さ）のこと、サトウキビなら葉や土の部分、体重なら服などの重さ。 【例】はかりゃー んぶさから ふーたいゆ ひつ（測った重さから容器などの重さを引く）。ばが んぶっさー ふーたいゆ ひきー 90 キロ（私の体重は服などを引いて 90 キロだ）。っづぁどぅが ぶーずぬ ふーたいや いかっさばかーい あた（お前たちのサトウキビの風袋（全体から不要部分として引かれた部分）はどれくらいだった）。

ぶーつ [bu:tsi]【動詞】［k 語幹］［A］すすぐ。 【例】つんぬ ぶーつ（着物をすすぐ）。［変異］ぶーふ。

ぶーっづぁす [bu:vvasi]【動詞】［s/h 語幹］（木などを）揺さぶる、（言うことを聞かせるため、正気にもどすため人を）揺する。 【例】きーぬ ないゆ ぶーっづぁひー うたし（木の実を揺さぶって落とせ）。あいや あらんてぃー やらびゅー ぶーっづぁひー む

ぬいゆ　つかす（そうじゃないと子供（のからだ）を揺すって言うことを聞かせる）。

ぶーとぅい [bu:tui]【名詞】〖祭礼〗五穀豊穣の祈願、ミャークヅツの二日目、ナナムイのおじーたちが旗に神様からの果報を持ってきて、一般の人が旗を触って神様から果報をいただくこと。【例】ないかにから　ぶーとぅいゆ　あす（ナイカニ神（農業の神様）から五穀豊穣の果報を頂く）。

ぶーない [bu:nai]【名詞】（否定を伴って）微動（だに～ない）。【例】こんくりやーや　がばー　ないんまい　ぶーないや　とぅんま　ほぅん（コンクリートの家は大地震でもびくともしない）。［類］びーない。

ふーふつ [fu:futsɨ]【名詞】（人が近づく）気配、（足音などでわかる）帰ってきた気配。【例】からー　はずならー　にゃーんば　かいが　ふーふっちゃっさいん（彼は足音を立てないので彼が帰ってきたかどうかわからない）。ういが　ふーふっちゃ　はずならひーっさいどぅす（彼が来るときは足音でわかる）。

ぶーや　とぅい [bu:ja tui]【成句】奥の小部屋に閉じこもること。【例】ぱーや　ういびとぅ　なりー　ぶーや　とぅい　うたい（おばあさんは年取って（病弱になり）奥の小部屋に閉じこもっていた）。［類］ぶーゆとぅい。

ぶーりゃ [bu:rja]【名詞】［C］年の近いもの。【例】ぶーりゃたが　うぐなーい（年の近い者同士の集まり）。［変異］ぶーら。

ふぁーす [fa:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］（手で）殴る、（かかとを）ぶつける、（石などを）ぶつける。【例】みんたっうぁう　じゃらてぃ　ふぁーし（耳の周囲を（平手で）ばしっと叩け）。まーまう　がんまてぃー　ふぁーす（げんこつをガッチンとくらわす）。あどぅぐるー　ふぁーす（かかと落としを食らわせる）。うーつつひー　いっそぅ　ふぁーし（ハンマーで石を叩け）。

ふぁーす [fa:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］穴を埋める、（失敗などの）穴埋めをする。［類］っふぁす。

ふぁーず [fa:zɨ]【動詞】［g 語幹］［A］（他人の悪口を）言って回る。【例】ひとぅー　ふぁーず（人の悪口をいいふらす）。［変異］ふぁやず。

ふぁーんふい　ななまかい [fa:nfui nanamakai]【成句】食べない振りして沢山食べる人。【例】ばー　はらいっぱいてぃ　あっじー　あとぅんっさん　ふいやひー　いかっさまいふぁう　ひとぅーうどぅ　ふぁーんふい　なな　まかいてぃー　あい（私はお腹一杯と言って後でこっそりといくらでも食べる人を「食べない振り七お椀」と言う）。からー　むいとぅぬ

ふぁーんふい　ななまかい（彼は食べてないふりをして大食らいする）。

ふぁいでぃむぬ [faidimunu]【名詞】食べでがあること。

ふぁいぱなつ [faipanatsɨ]【動詞】食う［「ふぁい」より下品な言い方］。

ふぁう [fau] ①【動詞】［w 語幹］［A］食べる。【例】あしゅー　ふぁう（朝ご飯を食べる）。んなーぎゃー　ひーまむぬ　ふぁーん（まだ昼飯は食べていない）。まくがんぬぎゃー　ふぁいや　みーん（ヤシガニは食べたことがない）。うっじゅぎゃー　ふぁいみーみーだ（ウツボは食べたことあるかい）。うらー　ばが　ふぁうぬ　むちゃー　にゃーん（それは私の食べる分はない［私の取り分はない］、それは私の食べる分としては十分ではない［私が全部食べたい］）。ふぁうがまい（食べ飽きる）。ふぁうあまらす（食べ残す）。ふぁうはっじゃつ（食べ損ねる）。ふぁいでぃむぬ（食いでがある）。わーや　あてぃ　ふぁうや　ひー　みーがまいまい　ひーどぅー（豚肉は食べ過ぎて、見飽きもしている）。②【動詞】［w 語幹］［A］生活する、生きる、食っていく。【例】きゅーまい　すかまー　ひー　ふぁーだかー　ならん（今日も仕事して生きないとならない）。あいぬ　くー　かまらす　ゆーゆぎゃー　ふぁーん（こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない）。あいや　ふぁーいん（そんなふうには生きていけない）。③【動詞】［w 語幹］［A］する、やる。【例】なうす　ふぁーっでぃどぅ　あいぬ　くとぅ　ほぅー（何のためにそんなことをするのか）。なうす　ふぁーっじゃーにゃーだ　あいぬ　いたらーん　くとぅーぎゃー　ほぅん（何のつもりなのかあんなつまらないことはしない）。④【動詞】［w 語幹］［A］（人を）だます。【例】かいん　ふぁーいーにゃーん（かれにだまされた）。⑤【動詞】［w 語幹］［A］浪費する。【例】あいてぃがー　あいだき　ふぁうどぅす（あったらあったで浪費する）。⑥【補助動詞】［w 語幹］（動詞連用形について、完了の強調を表す、失敗等のニュアンスが濃いが、必ずそうとは限らない。）～てしまう［無意志の自動詞には使えないか不自然、その場合は「ふぁーいーにゃーん」を使う］。【例】やーゆ　っづぃ　ふぁいにゃーん（家を売ってしまった）。ったつきゃー　なきー　ふぁいにゃーん（叩いたら泣いてしまった）。やーや　っちゅりー　ふぁーいにゃーん（家は壊れてしまった）。やーゆ　っちゅらひー　ふぁいにゃーん（家を壊してしまった）。からー　ぬどぅー　ふっでぃー　すにー　ふぁーいにゃーん（彼は首をくくって死んでしまった）。

ふぁうがしー [faugaɕi:]【成句】（家の修理の時などに）本当に手伝うのではなく、食事に参加し手伝っているのだとすること（あるいは言うこと）。

ふぁうふー [faufu:]【名詞】食事中

や、宴会などに出会って食事をもらうこと、食べ福、食事運。

ふぁうふつ [faufutsɨ]【名詞】食べる口（食うに困らないこと）、仕事。【例】きゅーまい　ふぁうふっちゃ　にゃーん（今日も仕事はない）。にんぎんぬっふぁー　ふぁうふっちゃ　ありどぅんまりーふー（人間の子供は食うことに困らないように生まれてくる［＞人間は助けあって生きていく］）。［類］ふぁいふつ。

ふぁうむぬ [faumunu]【名詞】食べ物。【例】きゅーまい　ふぁうむぬーにゃーん（今日も食べ物がない）。

ふぁや [faja]【名詞】［C］（接尾辞的に）～を食うひとやもの、～を消費するひとやもの。【例】くぬ　くるまー　やぐみ　あっづぁふぁや（この車は燃費が悪い）。びきどぅん　ふぁや（男を駄目にする女）。ひとふぁや（詐欺師）。でぃんふぁや（お金を浪費する人、（維持や所有に）お金がかかるもの）。やー　ふぁや（家を食潰す人）。

ふぁやず [fajazɨ]【動詞】［g 語幹］［A］（他人の悪口を）言って回る。［変異］ふぁーず。［類］ふやず。

ふい [fui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］振る。【例】んばてぃー　かなまいゆ　ふりーにゃーん（いやだと首を振った）。はたう　ふり（旗を振れ）。てぃーゆ　ふい（手を振る）。

ふい [fui]【接尾辞】動詞の基本形について、その動作をするふりをする、～ふり。【例】にゅうふい（眠っているふり）。なつふい（うそなき）。うむくとぅ　あい　ふい（頭の良さそうなふり）。でぃん　あいぎ　ふい（お金がありそうなふり）。かりゅーぎゃー　っさん　ふい　あっそぅ（彼のことは知らないふりをしなさい）。うむっしふぁにゃーん　はなす　あたいそぅが　ばー　ばらうふい　ほぅーたい（面白くない話だったが私は笑うふりをした）。ばー　すかまんかい　いつふい　あすたいそぅが　いかっだん（私は仕事に行くようなふりをしたが行かなかった）。

ふぃー [fi:] ①【動詞】［母音語幹］［A］（動植物に餌、水などを）与える；（話者が聞き手や第三者にものを）やる、あげる；（聞き手や第三者が話し手およびその身内にものを）くれる。【例】がうらんかい　みずまい　ふぃー　っふぁいまい　ふぃー（ニガウリに水もまき、肥料も入れる）。ひんじゃん　っさう　ふぃー（山羊に草をやる）。うるーぎゃー　っづぁん　ふぃーでぃ（これをお前にやろう）。うるーぎゃー　ばぬんかい　ふぃーさまてぃ（これを私に下さい）。かいがどぅ　ばぬん　でぃんぬ　ふぃーたい（彼が私にお金をくれた）。そぅるいどぅ　かぎさ　やいば　むぬーぎゃー　ひとぅみ　ふぃーる（みんなで集まる方が楽しいから食事は一緒に食べるようにさせてくれ）。②【動

詞】［母音語幹］［A］（父親などが聞き手や第三者に娘を）嫁にやる、（父親などが話し手およびその身内に娘を）嫁にくれる。【例】ばが　みどぅんっづぁうぎゃー　っづぁがまんかいや　ふぃーじゃーん（私の娘はお前なんかにはやらない）。っづぁが　っふぁう　ばぬん　ふぃーる（あなたの娘を私にくれ）。③【補助動詞】［母音語幹］［A］（動詞連用形について、話者が聞き手や第三者に）～てやる、～てあげる；（動詞連用形について、聞き手が、第三者や話し手およびその身内に）～てくれる。【例】ぶじゃー　ばぬん　でぃんぬ　かしーふぃーたい（おじさんは私にお金をかしてくれた）。やらびん　っぞぅぬ　ほぅにゃー　とぅい　ふぃー（子供に魚の骨を取ってあげる）。

ぶい [bui] ①【動詞】［母音語幹］［C］（犬などが）吠える。【例】いんぬ　ぶいーゆー（犬が吠えている）。②【動詞】［母音語幹］［C］口うるさく言う。【例】まーぬ　ぶいな（あんまり文句を言うな）。

ぶい [bui] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］（木の枝などをわざと）折る；（事故などで足などを）折ってしまう；（釘や針金を）折り曲げる；（立っている木や植物をなたなどで）切り倒す、またそのようにして（サトウキビなどを）収穫する。【例】まつぎーぬ　ゆだう　ぶいてぃがー　だみ（松の木の枝を折ったらだめだ）。はずぬ　ほぅにゅー　ぶりーにゃーん（足の骨を折ってしまった）。かにふっじゅ　ぶい（釘を曲げる）。ぶーっじゅ　ゆつひー　ぶい（サトウキビを手斧で切り倒す）。［類］ぶり（母音語幹）。②【動詞】［r/rr 語幹］［C］（骨が）折れる、（紙が）折れる、（釘や針金が）折り曲がる、（腰が）曲がる。【例】はずぬ　ほぅにぬ　ぶりーにゃーん（足の骨が折れた）。かでぃふつん　ぶーっじゃ　ぶりーにゃーん（台風でサトウキビが折れた）。くーぶり　ういびとぅ（腰の曲がった年寄り）。［類］ぶり（母音語幹）。③【動詞】［r/rr 語幹］［C］（着物などを）折りたたむ、（紙を）折る。【例】つんぬ　きつぎんてぃ　ぶい（着物をきれいに折りたたむ）。かびーゆ　ぶりー　つるー　ちゅふー（紙を折ってつるを作る）。［類］ぶり（母音語幹）。

ぶい [bui] ①【動詞】［母音語幹］［C］（神から）もらう、奉（うけたまわ）る、頂く（敬語形）、（給金などを）もらう、（命を）助けられる。【例】きゅーや　あみゃー　ぶいー　ぶーずまい　ういなうい　あすどぅす（今日は（めぐみの）雨を得て、サトウキビもまたちゃんとそだつだろう）。ばー　すかまんきー　でぃんぬ　ぶいくーでぃ（私は仕事に行って、お金をかせいで来よう）。かんがなすから　くがにゅー　ぶいたい（神様から子供をさずかった）。かいが　うぶき　んぬっちゅ　ぶいたい（彼のおかげで命を救われた）。［類］ぶい（r/rr 語幹）。②【動詞】［r/rr 語幹］［C］（神か

ら）もらう、奉（うけたまわ）る、頂く（敬語形）。

ぶい [bui]【名詞】[C] 着物の幾何学模様。

ぶいたが　ぶいた [buitaga buita]【副詞】ぶつぶつと（文句をいう）。【例】うぬ　さきぬみゃー　びゅーいどぅ　ぶいたがぶいたてぃー　ぶいたみきゅーい（その酒飲みは酔っぱらって、ぶつくさ文句を言っていた）。

ぶいたみつ [buitamitsɨ]【動詞】[k 語幹] ぶつぶつ文句をいう。 [変異] ぶいたみふ。[類] ぶいみつ、たいみつ、だいみつ。

ぶいたみふ [buitamifu]【動詞】[k 語幹] ぶつぶつ文句をいう。 [変異] ぶいたみつ。[類] ぶいみつ、たいみつ、だいみつ。

ぶいない [buinai]【副詞】微動だに（にしない）。 【例】ほぅいっさ　ぶいないや　とぅんまほぅん（この大石は微動だにしない）。[変異] ぶーない。

ぶいみきゃ [buimikja]【名詞】口うるさい人、文句を言う人。 【例】ふがます　ぶいみきゃー　いつまい　ぶいみきーどぅ（口うるさい人は　いつもブツブツと文句を言う）。

ぶいみつ [buimitsɨ]【動詞】[k 語幹] 口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。 【例】かまぬ　っざー　ぶいみつんまり（あそこのお父さんはブツブツ文句を言う奴だ）。かいが　みどぅんな　ぶとぅぬ　なうゆ　あすんまい　いつまい　ぶいみきーどぅー（彼の奥さんは旦那がなにをしてもいつも文句を言っている）。やらびあいきゃー　ばー　いつまい　っざから　ぶいみかいうたい（こどものころ私はいつも父親から小言を言われていた）。[変異] ぶいみふ。[類] ぶいたみつ、たいみつ、だいみつ。

ぶいみふ [buimifu]【動詞】[k 語幹] 口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。 [変異] ぶいみつ。[類] ぶいたみつ、たいみつ、だいみつ。

ぶいむぬ [buimunu]【名詞】奉り物、祭事、祝いからの頂き物、お祝いで頂くご馳走、神様に供えたものを下げた飲食物、おさがり。【例】やらびゃー　ゆーいぬ　ぶいむぬー　とぅいが　いつ（子供はお祝いのご馳走を取りに行く）。

ふか [fuka]【形容詞】[B]（水深が）深い。【例】ふか　あうそぅ（深い海）。ふか　いん（深い海）。くまなぎゃー　ふかかいば　はっじゃ　いんぬ　そぅくんかいや　つかん（ここら辺は深いので、足が海の底につかない）。うまー　ふかかいば　まさぐん　うーぎ　（ここは深いのでちゃんと泳げ）。

ぷか [puka]【形容詞】[B]（ものや地面が）固い、（体が）固い。 【例】ぷかぐーゆ　ばい（固い岩を割る）。くぬ　か

ーっさ　ぷかかいば　かまいん（この菓子は硬くて噛めない）。ゆながい　ひむーひー　ずーや　ぷかかいば　かでぃらいん（長い間干ばつで地面が固いので耕せない）。ういびとぅん　なりー　ばかかいんつきゃー　どぅーや　ぷかふ　なりーどぅー（年を取って若い時より体がかたくなっている）。［変異］ふか。

ふがい [fugai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］不平、不満を言う。【例】まーぬ　ふがいな（そんなに不平を言うな）。からー　いつまい　たるんかいまい　ふがいりゅー（彼はいつも誰に対しても不満を言っている）。［類］ふがいり。②【形容詞】［C］愚痴っぽい。【例】やぐみ　ふがいびとぅ（とても文句を言う人）。

ぶがい [bugai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］疲れる。【例】きゅーや　あみゃー　っふぃー　どぅーや　ぶがっりゅー（今日は雨が降って体がだるい）。②【名詞】［A］疲れ。【例】ぶーずぶいぶがい（サトウキビの収穫疲れ）。

ぷかい [pukai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］固くなる。【例】っしかいば　てぃーまい　ぷかりーどぅーい（寒いので手もかじかんでいる）。［変異］ほぅかい。

ふかいぬみー [fukainumi:]【名詞】（取れないぐらい）深いところ、（探せないほど）奥まったところ。【例】たくー　ふかいぬみーんどぅ　うるーば　とぅらいん（（その）タコは奥深いところにいるので取れない）。でぃんな　むいとぅ　ふかいぬ　みーん　ばちゃみー　あたいそぅがどぅ　ぬそぅまいーにゃーん（金はとても奥まったところに隠してあったが、盗まれてしまった）。

ふがいり [fugairi]【動詞】［r/rr 語幹］不平、不満を言う。【例】ふがますんまりゃー　きゅーまい　ふがいりーどぅ（うるさい奴は今日も口うるさくブツブツものを言っている）。［類］ふがい。

ふがいり [fugairi]【動詞】［r/rr 語幹］（ものが）消えてなくなる、（家庭が）一家離散する。【例】かまぬ　やーや　ふがっりー　はりーにゃーん（向こうの家は一家離散してしまった）。［類］ふがい。

ふかす [fukasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］（大、小便を）漏らす。【例】すばいゆ　ふかす（小便を漏らす）。っそぅー　ふかす（大便を漏らす）。

ぶがなす [buganasɨ]【動詞】［s/h 語幹］〖歌語〗分相応な振る舞いをする。【例】ぶがなしば　ぶがどぅ　ない（その地位になればその地位にふさわしくなる［古謡「豆の花」から］）。

ふがましゃ [fugamaça]【名詞】口うるさい人。【例】かぬ　ういびとぅー　やぐみ　ふがましゃ（あの老人はとても口うるさい人だ）。

ふがます [fugamasɨ] ①【形容詞】口うるさい、よく文句を言う。【例】ふが

ます　ういびとぅ（口うるさい老人）。ういびとぅん　ないてぃがー　たるまい　ふがますふ　ない（老人になるとだれもが口うるさくなる）。②【形容詞】（子供が）だだをこねる、（動詞基本形について）～するさいに文句を言う。【例】やらびゃー　んまんかい　っそぅいやひー　ふがますふ　ない（その子は母親についていこうとしてぐずる）。にゅーふがます　やらび（寝るときにぐずる子供）。うらー　いつまい　ふぁうふがます　やいば　ういんな　むぬーぎゃー　ふぃーだうり（あいつはいつも食べるものに文句を言うのであいつに食べ物をやるな）。③【名詞】文句を言うこと、またはそのような人、だだをこねること、またはそのような人。【例】まーぬ　ふがます　あすな（あんまり口うるさく言うな）。

ふかみー [fukami:]【名詞】奥目。【例】ふかみー　みどぅん（奥目の女性）。

ふからす [fukarasɨ]【形容詞】嬉しい、楽しい、幸せだ。【例】にんぎんな　っじすんつきゃー　ふぃーばどぅ　ふからすかい（人間は貰うよりも与える方が嬉しい）。ばー　っづぁん　いじゃうてぃがー　いつまい　ふからす（私はあなたに出会ったらいつも嬉しい）。ふからっさー　なだとぅ　ひとぅみ（嬉しさは涙とともに（ある））。［変異］ほぅからす。

ふからっさむい [fukarassamui]【形容詞】嬉しがりな、嬉しがりだ。【例】ふからっさむい　ひとぅー　いつまい　ばらい　ばらいてぃー　あす（嬉しがりの人はいつもニコニコしている）。

ぶがり [bugari]【形容詞】［C］気だるい。【例】きゅーや　あみゃー　っふぃー　ぶがりかいば　ならん（今日は雨が降って気だるくてしかたがない）。

ふき [fuki] ①【動詞】［母音語幹］［A］口をすぼめて息を出す、（笛を、ほらを）吹く、（煙草を）吸う。【例】あつむぬーぎゃー　ふーふーてぃ　ふきー　ふぁい（熱い食べ物はふーふーと吹いて食べろ）。からー　いつまい　ぶらう　ふきーまーい（彼はいつもほらを吹いて回ってる）。すばびーゆ　ふきる（口笛を吹け）。［類］ふつ。②【動詞】［母音語幹］［A］（風が）吹く。【例】かでぃぬ　ふき（風が吹く）。［類］ふつ。③【動詞】［母音語幹］［A］（中から液体、気体が）吹きだす。【例】ほーっさ　ぱずきー　みっじゃ　ふきーにゃーん（ホースが破裂して水が吹きだした）。すばいぬどぅ　ふきぎかい（小便が漏れそうだ）。ぴーぬどぅ　ふきぎかい（おならが漏れそうだ）。［類］ふつ。④【動詞】［母音語幹］［A］（水が）沸騰する、（鍋、やかんなどが）噴（ふ）く。【例】みっじゃ　ふきー　どぅーい（水は沸騰している）。なびぬ　んっつーや　ふきーどぅー（鍋のおつゆが沸騰している）。［類］ふつ。⑤【動詞】［母音語幹］［A］（息、命が）途絶える。【例】んぬつぬ

ふきーきゃ（命が途絶えるまで）。［類］ふつ。

ふき [fuki]【動詞】［母音語幹］［A］（家と家の間などを）通り抜ける。【例】うまぬ　やーばっさ　ふきらいん（ここの家と家との間は通り抜けられない）。［類］ふつ。

ぷき [puki] ①【名詞】［B］細かいゴミ、ほこり。【例】うまぬ　ぷきゅー　はうつひー　はうき（ここの細かいゴミを箒で掃け）。てれびぬ　はなぬ　ぷきゅー　ういひー　はらい（テレビの上の細かいゴミをこれで取り除け）。［変異］ほぅき。②【名詞】［B］フケ。［変異］ほぅき。

ふきゃかす [fukjakasɨ]【動詞】［s/h 語幹］疾走する；（皿などを）投げて割る。【例】ふきゃかひー　まいぬ　ひとぅー　んぎ（疾走して前の人を追い越せ）。

ふきゃぎ [fukjagi]【名詞】［C］〖食〗十五夜に食べる米の団子（小豆と一緒に煮る）。［平良と西原ではふきゃぎのつくりかたがちがう。平良ではもち米の粉で団子をたいて、そのだんごに塩味のするあずきをつける。西原では団子と小豆を一緒にたく］。【例】ふきゃぎゃー　ぷかかいば　んぶひー　ふぁーでぃ（この米の団子は固いので蒸して食べよう）。まみそぅい　ふきゃぎ（小豆が表にのった団子）。

ふきゃつ [fukjatsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］突進する。［変異］ふきゃふ。

ふきゃふ [fukjafu]【動詞】［k 語幹］［C］突進する。［変異］ふきゃつ。

ふく [fuku]【名詞】［C］〖食〗（食用としての動物の）肺臓。【例】わーぬ　ふくー　んまかいむぬ　あらん（ブタの肺はうまいものではない）。

ふくい [fukui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］腫（は）れる、膨（ふく）れる。【例】やらびゃー　ひとぅいがーまーす　くんぎー　かたむすまい　ふくりーうたい（子供を一日中おんぶして肩もはれていた）。たうしんばいや　ひどぅ　みはなー　ふくりゅー（おたふく風邪で顔が腫れている）。

ふぐい [fugui]【名詞】［C］陰嚢（ふぐり）、蟹・ヤドカリ等のお腹の卵。【例】あらがんぬ　ふぐいゆ　あらう（オカガニが産卵する）。

ふぐん [fugun]【動詞】［m 語幹］［A］くぼむ、へこむ。【例】かまぬ　んっちゃ　ふぐみゅーば　まさがん　うんてんあっそぅ（あそこの道はくぼんでるから注意して運転しろ）。くるまぬ　ばんぱーや　ふぐみーどぅー（車のバンパーがへこんでいる）。

ふぐん [fugun]【名詞】［A］くぼみ、溝。【例】うまぬ　ふぐんぬ　またぎー　くいる（ここの溝をまたいで越えろ）。ふぐんー　はっじゃ　とぅらいー

にゃーん（くぼみに足をとられた）。はいぬ　ばだぬ　ふぐんぬぎゃー　まさぐん　あいき（畑の溝の窪みはちゃんと歩け）。［変異］ふぐみ。

ふさ [fusa] ①【名詞】［B］数量、量。【例】くるまんかいや　はいー　ふさどぅ　はいー（車には入るだけしか入らない）。かいが　ふさ　ばぬんまい　ふぃーさまてぃ（彼と同じ量を私にも下さい）。②【助数詞】（数詞を伴って）～倍。【例】ふたふさ（２倍）。からー　むぬーぎゃー　ばが　ふたふさ　ふぁうどぅす（彼は食べ物を私の２倍食べる）。からー　ばぬんつきゃー　いふふさまい　はーふだー（彼はわたしより何倍も速い）。

ふさ [fusa]【名詞】［B］草。【例】ぬーまぬ　っさかいや　やらびんみぬ　すかま（馬の草刈りは子供達の仕事）。んつふさうぎゃー　ふぁーだ　はやまり　あいき（道草を食ってないで早く歩け）。［変異］っさ。

ふさ [fusa]【名詞】［C］噂、噂話。【例】あいや　ひとぅぬ　っさうぎゃー　ほぅん（そんなに人の噂話はしない）。［変異］っさ。

ふさ [fusa]【形容詞】［B］臭い。【例】うぬ　っぞぅー　っさりー　ふさかいば　ならん（その魚は腐っていてくさくてしかたがない）。ふさ　びー（臭い屁）。ふさ　いつ（臭い息）。

ふさい [fusai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］腐る、腐った。【例】ふさい　むぬーぎゃー　ふぁーん（腐ったものは食べない）。っぞぅー　ふさりや　うらん（魚は腐っていない）。ふさい　んー（腐った芋）。［変異］っさい。［類］ふさり。

ふさがい [fusagai] ①【動詞】［r/rr 語幹］（道を）ふさぐ、（穴を）埋める。【例】うまー　んーなが　あいつ　んつ　やいば　うまうぎゃー　ふさがいな（そこはみんなの通り道だからそこをふさぐな）。うまぬ　あなうぎゃー　ふさがい（ここの穴を塞ぐ）。［類］ふさず、ふさがい（母音語幹）。②【動詞】［r/rr 語幹］（障害物で道が）ふさがる、通れなくなる；（穴が）埋まる。【例】うまぬ　んっちゃ　みっじゃ　たまりー　ふさがりゅーば　かまう　あいき（この道は水が溜まって通れなくなっているからあっちを歩け）。かまぬ　あなー　んなまー　ふさがりーどぅー（あそこの穴はもう埋まっている）。③【動詞】［母音語幹］（道を）ふさぐ、（穴を）埋める。［類］ふさず、ふさがい。④【名詞】（通り道を）ふさいでいるもの、また、通り道をふさぐこと；（表情が）暗いこと。【例】うまぬ　ふさがいゆ　とぅいすてぃる（そこの（通り道を）ふさいでるものをどかせ）。うまん　たちー　あいや　ふさがいや　ほぅん（そこに立って道をふさぐな）。うむてぃ　ふさがい（顔の表情が暗い人）。

ふさき [fusaki]【名詞】［C］これだけ。

［変異］くさき。

ふさず [fusazɨ]【動詞】［g 語幹］［A］（道を）ふさぐ、（穴を）埋める。［類］ふさがい（母音語幹、子音語幹）。

ふさに [fusani]【名詞】［A］（小さい芋などが付いた、主根になりかけている）根。【例】いみすず　んーがまうどぅ　ふさに　んーがまてぃー　あい（小さい芋を「ふさに　んーがま」という）。［変異］っさに。

ふさり [fusari]【動詞】［母音語幹］［C］腐る。【例】まいや　ふさりーどぅー（米は腐っている）。ふさりまい（腐った米）。［類］っさい、っさり。

ふしびゃ [fuɕibja]【名詞】［C］言うことを聞かない暴ん坊、管理が難しい人や馬。【例】ふしびゃ　ぬーま（言うことをきかない暴れ馬（皮肉で人間にも使う））。ふしびゃ　んまり（人の言うことを聞かない奴）。ふしびゃ　やらび（腕白坊主）。［類］ぎずぎゃうな。

ぶじゃ [buʑa]【名詞】［C］おじさん（父方、母方、父親、母親より上か下かは問わない）親族でなくとも近所の中年以上の男性を指すこともできる。名称、呼称ともに使える。【例】かいがどぅ　はーぶじゃ（彼が足の速いおじさんだ）。

ぶじゃがま [buʑagama]【名詞】おじさんの中で一番年齢が若い人。

ぶじゅぶじゅ [buʑubuʑu]【オノマトペ】ニョロニョロ。

ぶじゅみふ [buʑumifu]【動詞】［k 語幹］（ヘビなどの動作が）ニョロニョロする；（虫などが集まって）動く。【例】はうぬどぅ　ぶーずぬ　はーがらぬすたから　ぶじゅぶじゅてぃー　ぶじゅみきー　いでぃっちゅー（ヘビがサトウキビの葉っぱの下からニョロニョロと這い出てきた）。むいとぅ　はーさぬ　むすぬどぅ　きーぬ　すたん　ぶじゅみきゅーたい（とてもたくさんの虫が木の下にうじゃうじゃうごめいていた）。［変異］ぶじゅみつ。

ふす [fusɨ]【名詞】［C］癖、性癖。【例】やな　ふす（悪い癖）。っづぁが　やなふしゅーぎゃー　なうし（お前の悪い癖を直せ）。［変異］ふし。

ふす [fusɨ]【名詞】［B］（竹や木などの）節（ふし）。【例】たきぬ　ふす（竹の節）。きーぬ　ふす（木の節）。ふすあな（節穴）。

ふす [fusɨ]【名詞】［B］櫛（くし）。【例】ふすひー　あかう　きっず（櫛で髪をすく）。

ふず [fuzɨ]【名詞】［B］くじびき、またくじびきに用いる紙片など。【例】ふっじゅ　ひつ（くじを引く）。ふっずぬ　あたい（くじがあたる）。はーにゃー　ふずん　あたりー　うーんまん　ないたい（一番上のお姉さんはくじにあたって、ウーンマになった）。

ふず [fuzɨ]【名詞】[B]（手、足、体の）首、襟足。 【例】てぃーふず（手首）。はずふず（足首）。ぬどぅふず（首）。やらびゃー ふっじゃ むちーどぅーい（（この）子供は首が座っている）。

ふず [fuzɨ]【名詞】[B] 釘。 【例】かにふず（鉄の釘）。きーふず（木の釘）。ふっじゅ うつ（釘をうつ）。ふっじゅ んず（釘を抜く）。くぬ ふっじゃ まがりーどぅー（この釘は曲がっている）。

ぶす [busɨ]【名詞】[A] 偉人 [＜武士]。【例】みどんぶす（女傑）。ぬーからどぅ ぶっさ いでぃー（在野から偉人は生まれる）。

ふずー [fuzɨ:]【形容詞】[C] 身支度が遅い。 【例】みどぅんな ふずーかいば ならん（女性は身支度が遅くてならない）。

ふずー [fuzɨ:]【形容詞】[C] もたもたすること、準備に時間がかかること。【例】みどぅんみゃー ふずーかいば まちゃいん（女性たちは準備に時間がかかって待ってられない）。ふずー みどぅん（準備に時間のかかる女）。

ふすい [fusɨi]【名詞】[C] 薬。 【例】ふすいゆ ぬん（薬を服用する）。ほぅがさんかい ふすいゆ まみー（おできに薬を塗る）。[変異] っそぅい。

ふずくぱ [fuzɨkupa]【名詞】くじ運の悪い人。

ふずつ [fuzɨtsɨ]【名詞】[A]（家の周りの）敷石、家の縁石。 [類] ふずついす。

ふずついす [fuzɨtsɨisɨ]【名詞】（家の周りの）敷石、家の縁石。[類] ふずつ。

ふすぶす [fusɨbusɨ]【名詞】（関節などの）節々。 【例】ふすぶす やんかいば いちゃかいば あいかいん（節々が痛むから痛くて歩けない）。

ふずやぱ [fuzɨjapa]【名詞】くじ運の良い人。【例】からー ふずやぱびとぅ やいば たからふっじゅぎゃー かいん かーし（あいつはくじ運の良い人だから宝クジはあいつに買わせろ）。

ふずんみ [fuzɨmmi]【名詞】〖地名〗西原の後方にある丘。

ふそう [fusu]【名詞】[B] 糞。 【例】ふそぅー まい（大便をする）。えっげー ふそぅー んˀみーにゃーん（しまった、糞をふんでしまった）。ふそぅんな はいぬどぅ むいとぅ たかりゅー（糞にはハエが集っている）。ふそぅだすからんんまり（どうしようもない奴）。[変異] っそぅ。

ふそうい [fusui]【名詞】[C] 薬。 [変異] っそぅい。

ふそぅすばい [fususɨbai]【名詞】糞尿。 【例】つんだらさ ういびとぅなりどぅ ふそぅすばいや むちゃいーゆー（可哀想に年取って下の世話をしてもらっている）。

ふそぅだすからん [fusudasikaran] 【成句】仕事をしない、(障がいなどがあって）仕事ができない。 【例】すかまーひらいん ふそぅだすからん んまり（仕事のできない能のない奴)。

ふそぅみず [fusumizi] 【名詞】海水。【例】ふそぅみっじゅ ん゜ん（海水を汲む)。うーふぁっじゃいきー ふそぅみっじゃ はーさ ぬみーにゃーん（溺れそうになって海水をたくさん飲んでしまった)。[変異] ふすみず、ほぅすみず。

ぶた [buta] ①【形容詞】[A]（見かけより中身が）多い。 【例】ういがどぅ ぶたかいはず やいば うるー とぅい（こちらが中身が多そうだからこっちを取れ)。くぬ はくぬどぅ ぶたかい（この箱の方が中身が多いよ)。かまぬ っぞぅぬどぅ ぶたかいどー（あっちの魚の方が中身が多いよ)。②【接尾辞】(見かけより内容物が）多い、(嬉しさなどが）満ち溢れている。【例】いそぅぶた（とても幸運な人)。ばー ほぅからすかいば みはなぶたむぬどぅ あたい（私は嬉しくて満面の笑みだった)。うだまぶた（神様からのたくさんの果報)。うぬ っぞぅー みーぶたむぬ（その魚は見かけより中身が多い)。からー やぐみ いずぶた（あの人はとても元気がいい)。

ふだー [fuda:] 【接尾辞】形容詞の語幹について、「～んだよ」「～だな」という強調の意味を表す語尾。 【例】いみふだー（小さいんだ)。ほぅいふだー（大きいんだ)。きつぎふだー（きれいなんだ)。んずぎふだー（見にくいんだ)。いからふだー（少ないんだ)。ひーちゃふだー（少ないんだ)。

ふたーい [futa:i] 【名詞】〖数詞〗二人。

ふたーつ [futa:tsi] 【名詞】〖数詞〗二つ。

ふたい [futai] 【名詞】[B] 額（ひたい)、おでこ。 【例】うむくとぅ あいぎ ふたい（頭の良さそうな額)。なが ふたい（突き出たおでこ（をした人))。

ぶだい [budai] 【名詞】[B] 舞台。【例】ぶだいんかい ぬーり（舞台にあがれ)。ぶだいから うりる（舞台から降りろ)。

ふたか [futaka] 【名詞】[A] 双子。【例】ふたかー むいとぅ んーしーどぅ（(この）双子はとっても似ている)。

ふたかいまてぃや [futakaimatija] 【成句】（否定をとって）二度とは～ない。【例】ばー ふたかいまてぃや あいぬ くとぅーぎゃー ほぅじゃーん（私は二度とそんなことはしません)。

ふたきな [futakina] 【助詞】〖接続助詞〗(動詞連用形（＋や)、動詞基本形＋きゃー（時）について）「～やいなや」、「～と同時に」の意味を表す接続助詞。

【例】あいきゃー　ふたきな（言うやいなや）。からー　ぬーまじゃき　やいば　ぬんきゃー　ふたきな　ぎっじゃひらいん（あいつは酒癖が悪いので飲んだらすぐに手が付けられなくなる）。やーゆ　いでぃや　ふたきな　あみぬ　っふぃったい（家を出たらすぐに雨が降ってきた）。

ふたっとぅい [futattui]【動詞】[r/rr 語幹] ぼんやりする、迷う、ためらう。【例】ふたっとりー　たちゃだうり（ぼんやり立っているな）。やらびゃー　さんすーぬ　もんだいや　っさいんば　ふたっとぅりーうたい（その子供は算数の問題が分からないので困っていた）。っづぁ　なうゆどぅ　ふたっとぅりゅー（お前は何を迷っているんだ）。ふたっとぅらだ　すぐ　きみる（迷わないですぐ決めろ）。[類] ふたっとり。

ふたっとぅらす [futatturasɨ]【動詞】[s/h 語幹] 立ち往生させる、戸惑わす。【例】むずかす　しつもんな　ひー　やらびゅーぎゃー　ふたっとぅらすな（難しい質問をして子供を困らせるな）。

ふたっとぅり [futatturi] ①【動詞】[母音語幹] ぼんやりする、戸惑う。【例】ふたっとぅりだ　すぐ　きみる（迷わないですぐ決めろ）。ばー　なうばい　ほぅでぃがてぃー　ふたっとぅりーうい（私はどうしようか戸惑っている）。すかまー　なまりー　なうや　あすかたー　にゃーだ　いつまい　ふたっとぅりー　うい（仕事をやめて、なにもすることがなくていつもぼんやりしている）。[類] ふたっとぅい。②【名詞】立ち往生すること、困惑すること、ぼんやりすること、また、その人。【例】おい　ふたっとぅり　とぅりばりんまり（おい、（この）ぼんやりの、うすらとんかち）。

ふたっとら [futattora]【名詞】ぼんやりした人。

ふたてぃあとぅ [futatiatu]【名詞】一年後、来年 [池間は数えで年を数えるので、今年が 1 年となるため、来年は文字通りには「2 年後」となる]。 [類] やーに。

ふたてぃない [futatinai]【名詞】一年前、去年 [池間は数えで年を数えるので、今年が 1 年となるため、昨年は文字通りには「2 年前」となる]。【例】ふたてぃないや　あみぬどぅ　むいとぅ　うんそぅく　あたい（去年は雨がとても多かった）。ふたてぃないぬ　まうきゃー　ひゃくまんえんどぅ　あたい（去年のもうけは 100 万円だった）。[類] くじゅ。

ぶだひつまーい [budahitsima:i]【名詞】（急激に東寄りの風が北向きの強風になること。

ふだみ [fudami]【名詞】[A] 草鞋（わらじ）。【例】っしん゜んかいや　ふだ

みゅー　ん゜みー　いつ（リーフでの潮干狩りには草履を履いて行く）。

ふたんてぃや [futantija]【成句】（否定をとって）二度とは～ない。【例】かまぬ　まっちゃんかいや　ふたんてぃや　いかん（あそこの商店には二度と行かない）。［類］ふたかいまてぃや。

ふちゃ [futɕa]【名詞】［C］お喋りの人、口数の多い人。【例】かりゃー　むいとぅぬ　ふちゃ（あいつはとてもおしゃべりだ）。からー　ふちゃ　やいば　むぬいゆぎゃー　つっちゃん（彼はお喋りなので話をやめない）。

ぶちゃうな [butɕauna]【形容詞】（子供が、体の）成長が遅い、年齢相応に成長していない。［類］ぶちゅーな、ぶちゅーい。

ふちゃんた [futɕanta]【名詞】粘土。

ぶちゅーい [butɕu:i]【形容詞】（子供が、体の）成長が遅い、年齢相応に成長していない。［類］ぶちゃうな、ぶちゅーな。

ぶちゅーな [butɕu:na]【形容詞】成長が遅い、年齢相応に成長していない。【例】ぶちゅーな　やらび（年齢相応に成長していない子供）。［類］ぶちゅーい、ぶちゃうな。

ぶちゅーながま [butɕu:nagama]【名詞】成長が遅い、年齢相応に成長していない子供。

ふつ [futsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（風が）吹く。【例】きゅーや　かでぃがまぬ　ふきー　すだすむぬ（今日はすこし風があって涼しい）。かじゃー　きーぬ　あーぎんどぅ　ふつ（風は木の上に吹く［＞一番責任のあるものには風当たりが強いという意味］）。かいすかでぃぬ　ふつ（台風の返し風が吹く）。［変異］ふふ。［類］ふき。

ふつ [futsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（家を）建てる。【例】やーゆ　ふつ（家を建てる）。［変異］ふふ。

ふつ [futsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（ものの表面を）拭く、拭いて（汚れなどを）取る。【例】だいゆ　ふつ（台を拭く）。てれびぬ　はなぬ　ぷきゅー　ういひー　ふき（テレビの上のほこりをこれで拭け）。さずひー　みはなう　ふき（タオルで顔を拭け）。［変異］ふふ。

ふつ [futsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］通り抜ける。【例】ひとぅぬ　やーや　ふきー　んつんかい　いでぃー（人の家屋敷を通り抜けて道に出る）。うまぬやーばっさ　ふかいん（ここの家と家との間は通り抜けられない）。［変異］ふふ。［類］ふき。

ふつ [futsɨ]【名詞】［B］仕事口。【例】ふっちゃ　にゃーん（仕事はない）。きゅーや　すかまふつ　とぅみが（今日は仕事口探しに）。ばー　すかまー　にゃーんば　ふぁうふつ　とぅみが（私

は仕事がないので、仕事口を探しに（行く））。［変異］うつ［母音間］。

ふつ [futsɨ]【名詞】［B］頃、時間；（少しの）間、すき。【例】ばー　ゆびゃー　みどぅんぬ　やーんかい　ふー　ふっちゅぎゃー　っさっだん（私は昨晩の妻の帰宅時間は知らなかった）。やらびぬ　にっづゅー　ふつん　つんぬ　あらーでぃ（子供が寝ている間に洗濯しよう）。

ふつ [futsɨ]【名詞】［B］（包丁や鎌などの）刃。【例】かたなぬ　ふつ（包丁の刃）。っざらぬ　ふっちゅ　とぅず（鎌の刃を研ぐ）。

ふつ [futsɨ]【名詞】［B］サンゴ礁などの終わりのところ、縁（ふち）。【例】っしぬ　うてぃふつ（礁の外側のへり）。

ふつ　あす [futsɨ asɨ]【成句】［不規則］（ある方向を）向く。【例】くまんかい　ふっちゅ　あっそぅ（こちらを向け）。かまぬやーや　はいんかいどぅ　ふっちゃ　ひーゆー（向うの家は南に向いている）。

ふつ　くぱら [futsɨ kupara]【成句】口下手。

ふつ [futsɨ] ①【名詞】［B］口、口中。【例】ひとぅふつ（一口）。いみふつがま（小さい口）。ふつん　っふん（口に含む）。あにゃ　うさきがまぬ　むぬー　ふつんな　さーらん（そんなすこしの食べ物では少なすぎて足りない）。あつちゃーやぬみーふつぬなかーっさらひーにゃーん（熱いお茶を飲んで口の中をやけどした）。［変異］うつ［母音間］。②【名詞】［B］（瓶などの）口、入り口。【例】うぬ　くぴんぬ　ふっちゃ　いみかいば　じょーぐぬ　にゃーだかー　さきゃー　いりらいん（この瓶の口は小さいので、じょうごがないと酒は入れられない）。すまぬ　ふつんな　んなとぅぬどぅ　あい（島の入り口には港がある）。かでぃぬ　かいす　ふつんな　かじゃー　にゃーん（台風の目に入ったら風はない）。［変異］うつ［母音間］。

ふつ [futsɨ] ①【名詞】［B］話すこと、話しぶり。【例】ふっちゅ　あーす（口裏を合わす）。ふつかた　びとぅ（口の堅い人）。ふつがる　びとぅ（口の軽い人）。ふつくぱい　ひとぅ（口下手な人、吃りがちな人）。うぬ　あばさが　ふっちゅぎゃー　ったきー　ならーし（そのお喋りの口は叩きなおせ）。ふつあじゃーな　びとぅ（口の悪い人）。ふつぱぎんまり（口の悪い奴）。あらふつ（歯に衣着せぬ人）。あっづぁふつ（誉め言葉を並べる人）。ひゃーふつ　びとぅ（早口の人）。ふつたーなぬ　にんぎん（口（口先）だけの人間）。うなが　ふつん　ふぁーいーにゃーん（自分の口に食われた［＞口は禍の元］）。ふつかない　びとぅ（雄弁な人）。［変異］うつ［母音間］。②【接尾辞】ことば、普通接尾辞的に使って「～語」を表す。「うつ」と発

音される場合も多い。単独でことばを表すときは「むぬい」を使う。【例】すまふつ（故郷のことば）。みゃーくふつ（宮古語［普通、平良のことばをさす］）。やーまふっちゃ　っさいぐりむぬ（八重山語は分かりにくい）。やまとぅふっちゃ　むぬっじゃいん（共通語は話せない）。［変異］うつ［母音間］。

ふつ [futsɨ] ①【動詞】［k 語幹］［A］（水が）沸騰する、（鍋、やかんなどが）噴（ふ）く。【例】みっじゃ　ふきー　どぅーい（水は沸騰している）。なびぬんっつーや　ふきーどぅー（鍋のおつゆが沸騰している）。［変異］ふふ。［類］ふき。②【動詞】［k 語幹］［A］口をすぼめて息を出す、（笛を、ほらを）吹く、（煙草を）吸う。【例】あつむぬーぎゃー　ふーふーてぃ　ふきー　ふぁい（熱い食べ物はふーふーと吹いて食べろ）。からー　いつまい　ぶらう　ふきーまーい（彼はいつもほらを吹いて回ってる）。すばびーゆ　ふつ（口笛を吹く）。はーもにかーゆ　ふつ（ハーモニカを吹く）。たばくー　ふつ（煙草を吸う）。［変異］ふふ。［類］ふき。③【動詞】［k 語幹］［A］（中から液体、気体が）吹きだす。【例】ほーっさ　ぱずきー　みっじゃ　ふきーにゃーん（ホースが破裂して水が吹きだした）。すばいぬどぅ　ふつぎかい（小便が漏れそうだ）。ぴーぬどぅ　ふつぎかい（おならが漏れそうだ）。［変異］ふふ。［類］ふき。④【動詞】［k 語幹］［A］（息、命が）途絶える。【例】んぬつぬ　ふきーきゃ（命が途絶えるまで）。いつぬにーゆ　ふつ（息の根を止める［＜息の根を吹く］）。［変異］ふふ。［類］ふき。

ふつあじゃーな [futsɨaʒa:na]【形容詞】言いたい放題、言うべきことを判断できない。【例】かりゃー　ふつあじゃーなかいばならん（彼は言いたい放題だ）。

ふつあまーす [futsɨama:sɨ]【形容詞】話し方が乱暴で失礼だ。【例】からー　ふつあまーすびとぅ　やいばういが　むぬいゆぎゃー　つかだうり（彼は口が悪いので彼の言うことは気にするな）。

ふついでぃ [futsɨidi]【成句】口出し。

ぶっづぁみつ [buvvamitsɨ]【動詞】［k 語幹］（大きな声で）騒ぐ；（蜂やハエなどがたくさん集まって）ワンワンと音をだす。【例】たうんばばすぬぶっづぁみきゅーたい（スズメバチがワンワンと音をだしていた）。［変異］ぶっうゞぁみふ。［類］ばみつ。

ぶっづぁみふ [buvvamifu]【動詞】［k 語幹］（大きな声で）騒ぐ；（蜂やハエなどがたくさん集まって）ワンワンと音をだす。［変異］ぶっうゞぁみつ。［類］ばみつ。

ふつか [futsɨka]【名詞】［A］〖数詞〗二日。

ふつがーい [futsɨga:i]【成句】自慢すること。

ふつかじゃ [futsɨkaʑa]【名詞】口臭。【例】っづぁが　ふつかじゃー　っさかいば　ならん（お前の口臭は臭くてならない）。

ふつかた [futsɨkata]【名詞】幸せ運。［類］ゆー。

ふつかない [futsɨkanai]【形容詞】口が上手い（人、ほめ上手、うまいことを言ってだます）。【例】かりゃー　ふつかない　むいとぅぬ　あっづぁうつ（彼は口がうまい、ゴマすりだ）。

ふつぐたい [futsɨgutai]【名詞】反論、口答え。【例】まーぬ　ふつぐたい　あすな（あまり口答え）。

ふつぐるま [futsɨguruma]【名詞】口車。【例】かいが　ふつぐるまんかいや　ぬーいな（彼の口車には乗るな）。

ふっじゃ [fuʑʑa]【名詞】［A］クジラ。【例】うまなぎんな　ふっじゃー　みーん（ここら辺にくじらはいない）。

ふつすー [futsɨsɨ:]【名詞】よだれ。【例】うぬ　やらびゃー　ふつすー　たらしゃ（その子は良く涎を垂らす子）。［類］っそぅすー。

ふっず [fuzzɨ] ①【動詞】［zz/dd 語幹］（穴などを）ほじくる、ほじくって取る；（神経を）逆なでする。【例】みんぬ　ふっじー　みんぬ　っそぅー　とぅい（耳をほじくって耳垢を取る）。わーぬ　ほぅにぬ　ずーゆ　ふっでぃ（豚の骨の髄をほじくって取る）。ばた　ふっず（怒らせる）。からー　ひとぅぬ　ばた　ふっずんまり（彼は人の神経を逆なでするやつだ）。［類］ふっでぃ。②【動詞】［zz/dd 語幹］（ものを見つけるために、引き出し、カバンなどを）探す。【例】ひきだしぬ　みーゆ　ふっでぃー　かぎゅー　とぅみたい（引き出しの中を探ってカギを探した）。［類］ふっでぃ。

ふっず [fuzzɨ] ①【動詞】［zz/dd 語幹］（縄やはりがねなどで）引っ掛けてとる。【例】たかう　ばなひー　ふっでぃー　とぅい（鷹をわなでひっかけてとる）。［類］ふっでぃ。②【動詞】［zz/dd 語幹］（首などを）くくる。【例】ぬどぅー　ふっでぃー　すにーにゃーん（首を吊って死んだ）。［類］ふっでぃ。

ぶったーらす [butta:rasɨ]【動詞】［s/h 語幹］揺り動かす。【例】うぬ　くるまう　ぶったーらし（その車を揺り動かせ）。

ふつだま [futsɨdama]【名詞】主張した分だけ分け前があること。【例】ふつかない　びとぅんな　ふつだまぬどぅ　あい（よく主張できる人には主張した分だけの分け前がある）。

ふっちゃ　はまい [futtɕa hamai]【成句】［r/rr 語幹］能力があると自慢する。【例】うらー　ふっちゃ　はまり

んきゅーそぅが　ういんな　なうまい　ひらいん（口ではできると威張っているが彼には何もできない）。

ふっでぃ [fuddi]【動詞】［母音語幹］［C］（鍋の底に焦げ付いた食べ物を）こそげとる。

ふっでぃ [fuddi]①【動詞】［母音語幹］（穴などを）ほじくる、ほじくって取る、（神経を）逆なでする。［類］ふっず。②【動詞】［母音語幹］（ものを見つけるために、引き出し、カバンなどを）探す。［類］ふっず。

ふっでぃ [fuddi]①【動詞】［母音語幹］（縄やはりがねなどで）引っ掛けてとる。［類］ふっず。②【動詞】［母音語幹］（首などを）くくる。［類］ふっず。

ふっとぅらー [futtura:]【名詞】トラブルメーカー。【例】からー　ふっとぅらーぬ　すーびとぅ（彼はトラブルを起こす人だ）。

ぶっとぅる [butturu]【名詞】皮膚に生まれつき出ている小さいこぶ、突起物。【例】みんばにぬ　ぶっとぅるがま（耳のちいさなこぶ）。

ふつな [futsina]【名詞】［A］〖植〗ハルノノゲシ［春の野野菜、食用にする］。［変異］ふつにゃ。

ふつなず [futsinazi]【名詞】〖魚〗海のウナギの一種。【例】きゅーや　ふつなっじゅ　とぅいったい（今日はウナギを取ってきた）。

ふつなら [futsinara]【名詞】（ご飯を食べるときに出る）音。【例】むぬー　ふぁうとぅきゃんな　ふつならうぎゃー　ほぅだうり（ものを食べるときには口から音をだすな）。

ふつにゃ [futsinja]【名詞】［A］〖植〗ハルノノゲシ［春の野野菜、食用にする］。［変異］ふつな。

ふつぬそぅら [futsinusura]【名詞】口先（ことばだけ）。【例】うらー　ふつぬ　そぅらばかーいひー　あっじゅー（彼は口先だけでしゃべっている）。

ふつばらいにがい [futsibarainigai]【名詞】〖祭礼〗神願いの一種、人の悪口を払い捨てて元気になるための願い。

ふつひぎ [futsihigi]【名詞】口髭。【例】ふつひぎゅー　うーす（口ひげを生やす）。

ふつびゃ [futsibja]【名詞】［C］皮膚病の一種で突起してイボの様なもの。【例】うゆびんどぅ　ふつびゃぬ　いじゅー（指に皮膚病のイボができている）。

ふつむとぅ [futsimutu]【名詞】舟が出入りする場所。【例】まじゃぬ　ふつむとぅ（［リーフを割って作った］真謝の舟の出入り口）。

ふつむとぅにがい [futsimutunigai]【名詞】〖祭礼〗漁船の出入りの安全祈願［旧暦2月（3月から4月ごろ）

に安全に出入りできるようにと祈願した]。

ふつんきゃー [futsiŋkja:]【名詞】接吻、キス。 【例】かなす ふたーいや ふつんきゃーゆ ひーうたい（愛し合う二人はキスしていた）。みどぅんとぅ ふつんきゃー あす（女の人と接吻する）。

ふつんつ [futsintsi]【動詞】［k 語幹］向かい合う；キスする。 【例】んなまー ころな やいば ふつんかだ むぬっじゃだかー ならん（今はコロナだから向かい合わないで話さないといけない）。うぬきゃが ふたーいや ふつんきゅーたい（彼等二人は向かい合っていた）。［変異］ふつんふ。

ふつんふ [futsinfu]【動詞】［k 語幹］向かい合う；キスする。 ［変異］ふつんつ。

ふでぃ [fudi]【名詞】［A］《地名》大神島の後方岩礁。 【例】うがんぐすんどぅ ふじゃー あい（大神島の後方にフディ岩礁はある）。

ふてぃてぃばー [futitiba:]【名詞】虫歯。 【例】ふてぃてぃばーぬどぅ やみゅー（虫歯が痛んでいる）。［類］ふとぅてぃばー。

ぶとう [butu]【名詞】［A］夫。 【例】ぶとぅー むつ（（女性が）結婚する）。うぬ みどぅんな ぶとぅぬ からがいゆぎゃー ほぅん（この女性は夫の面倒を見ない）。

ぶどぅい [budui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］踊る。【例】ぶどぅいゆ ぶどぅいとぅきゃんな てぃーぬ ふっじゅまさぐんてぃー つかうばどぅ じゃうずん ない（踊りを踊るときには手の関節を上手く使えば上手になる）。ばー ぶどぅいたっふぁにゃーん（私は踊りたくない）。

ぶどぅい [budui]【名詞】［A］踊り。【例】すなかぎ ぶどぅい（品のある踊り）。うぬきゃが ぶどぅいや むいとぅ たないや にゃーん（あの人たちの踊りはとても不器用だ）。

ふとぅくる [futukuru]【名詞】懐（ふところ）。【例】うぬ でぃんぬぎゃー っづぁが ふとぅくるんかい いりーうき（このお金をお前のふところに入れておけ）。ふゆんな ぱーが ふとぅくるん かったかいー にっづぃー うたい（冬にはおばあちゃんに抱かれてねていた）。［類］ふちゅくる。

ふとぅた [fututa]【名詞】［C］ダメな奴、バカなやつ。 【例】かりゃー ふとぅちゃ（彼はダメな奴だ）。［類］ふとぅちゃ。

ふとぅつ [fututsi]【動詞】［cc/tt 語幹］［C］（木などが）朽ちる、（芋などに虫が入って）食べられなくなる。 【例】くぬ きーや ふとぅちゅー（この木は腐っている）。［類］ふとぅてぃ。

ふどぅつ [fudutsɨ] 【動詞】［k 語幹］［C］（異性を）口説く、説得する。 【例】うぬ　あぱらぎ　みどぅんな　ふどきー　とぅずあっそぅ（そのきれいな女性を口説いてお嫁さんにしなさい）。うらー　ふどぅきー　だいがいくいんかい　いかし（彼を説得して大学院に行かせろ）。［変異］ふどぅふ。

ふとぅてぃ [fututi] 【動詞】［母音語幹］［C］木などが）朽ちる、（芋などに虫が入って）食べられなくなる。 ［類］ふとぅつ。

ふとぅてい [fututi] 【形容詞】［B］朽ちた（木など）、虫の入った（芋など）、おろかな（人）。 【例】ふとぅてぃ　んー（虫の入った芋）。ふとぅてぃんまり（馬鹿な奴）。うぬ　はーぬどぅ　んながーんな　ふとぅてぃかい（この歯が一番虫歯が進んでいる）。

ふとぅてぃばー [fututiba:] 【名詞】虫歯。 【例】ふとぅてぃばーゆぎゃー　んがだかー　ならん（虫歯を抜かないといけない）。うすばーや　ふとぅてぃーばー（奥歯は虫歯だ）。

ふとぅてぃんー [fututin:] 【名詞】虫のはいったいも。 【例】んきゃーんな　ふとぅてぃんーなぎ　ひどぅ　んーくっじゅ　ちゅっふゅーたい（昔は虫の入ったいもなどでいもくずをつくっていた）。

ふどぅふ [fudufu] 【動詞】［k 語幹］［C］（異性を）口説く、説得する。 ［変異］ふどぅつ。

ぷとぅぷとぅ [putuputu] 【オノマトペ】ぶるぶる。【例】っしかいば　ぷとぅぷとぅてぃー　ほぅーりー　うたい（寒いのでぶるぶると震えていた）。

ぷとぅみつ [putumitsɨ] 【動詞】［k 語幹］（怖くて、うれしくて）ドキドキする。 【例】まずむぬー　みー　つむぬどぅ　ぷとぅみきゅー（幽霊を見て、（怖くて）胸がドキドキした）。あぱらぎ　みどぅん　いじゃいー　つむー　ぷとぅみきゅーたい（きれいな女性に出会って胸がドキドキした）。［変異］ぷとぅみふ。

ぷとぅみふ [putumifu] 【動詞】［k 語幹］（怖くて、うれしくて）ドキドキする。 ［変異］ぷとぅみつ。

ぷとぅらん [puturan] 【擬態語】〖オノマトペ〗（寒くて、怖くて）ブルブル（震える）。 ［類］ぷとぅぷとぅ。

ふない [funai] 【名詞】［C］船酔い。【例】ばー　ふにん　ぬーいきゃー　ふたきな　ふない　あす（私は船に乗ったらすぐに船酔いする）。

ふなうさぎ [funausagi] 【名詞】旅に出る船を見送ること。 【例】じょ、たろーゆ　ふなうさぎ　あすが（さー、太郎を見送りに（行こう））。

ふなず [funazɨ] ①【動詞】［g 語幹］［C］交接の動作をする。 【例】ぴーゆぎゃ

ー　ふなずっちゃーん　まず（上下の動きをしながら女陰器と交合する）。②【名詞】[C] 交接の時の上下の動き。【例】ぴーゆ　まず　とぅきゃんな　ふなず　あす（セックスするときは（腰の）上下運動をする）。

ふなつき [funatsiki]【名詞】舟着き場。【例】かまぬ　ふなつきんかい　ふにゅー　とぅみる（あそこの船着き場に舟を泊めろ）。

ふなばんやー [funabanja:]【名詞】舟を置くための掘立小屋。

ぶなりゃ [bunarja]【名詞】[C] 女性（普通は若くて品のある女性を言うときに使う）。【例】かぬ　あぱらぎ　ぶなりゃう　とぅずほぅでぃ（あのきれいな女性を妻にしよう）。

ふに [funi]【名詞】[C] 船、舟。【例】ふにぬ　とぅむ（船尾）。ふにぬ　うやかた（船主）。ふにぬ　しんどぅ（船長）。ふにぬ　しんか（船員）。ふにゅー　はず（船を作る）。んきゃーんな　ふにから　うつなーたーひー　いきゅーたい（昔は船で沖縄まで行っていた）。

ふにぬとぅむ [funinutumu]【名詞】船尾、とも。【例】ばー　ふにぬ　とぅむん　びじー　かっじゅ　とぅらでぃ（私は舟のともに座って舵をとろう）。

ふにぬはなず [funinuhanazi]【名詞】船首。【例】っづぁー　ふにぬ　はなずん　たちー　かっちゅー　っち（お前は船首に立ってカツオを釣れ）。

ふにゅー [funju:]【名詞】[C] 柑橘類の総称、みかん。【例】そぅー　ふにゅー（すっぱいみかん）。

ふにゅーぎー [funju:gi:]【名詞】ミカンの木。【例】ふにゅーぎーや　ゆだー　たかりーどぅー（そのミカンの木は枝が繁茂している）。

ぶば [buba]【名詞】[C] おばさん［自分の父親、母親の姉、妹］、親族でなくとも近所の中年以上の女性を指すこともできる。名称、呼称ともに使える。【例】かいがどぅ　かないぶば（彼女が仕事の良くできるおばさんだ）。［類］ぶばま、ぶばんま。

ぶばい [bubai]【名詞】[B]〖植〗苧麻（ちょま）［宮古上布の糸の材料］。【例】ぶばいぎー（苧麻の木）。［類］ぶー。

ぶばがま [bubagama]【名詞】おばさん［自分の父親、母親の一番下の妹］、親族でない大人の女性を親しみを込めて指す。名称、呼称ともに使える。【例】ぶばがまー　みゅーいんつきゃーまい　うっとぅ（（その）末のおばさんは、おい（めい）よりも年下だ）。

ぶばな [bubana]【名詞】[C] 穂。【例】ぎすつぬ　ぶばな（ススキの穂花）。ぶーずぬ　ぶばなぬどぅ　いじゅーい（砂糖キビの穂花がでた）。

ぶばま [bubama]【名詞】[C] おばさん［自分の父親、母親の姉、妹］、名称、呼称両方に使える。親族のみに使う。［類］ぶば、ぶばんま。

ぶばんま [bubamma]【名詞】おばさん［自分の父親、母親の姉、妹］、名称、呼称両方に使える。親族のみに使う。［類］ぶば、ぶばま。

ふふ [fufu]【動詞】[k 語幹] [C]（風が）吹く。［変異］ふつ。［類］ふき。

ふふ [fufu]【動詞】[k 語幹] [A]（家を）建てる。［変異］ふつ。

ふふ [fufu]【動詞】[k 語幹] [A]（ものの表面を）拭く、拭いて（汚れなどを）取る。［変異］ふつ。

ふふ [fufu]【動詞】[k 語幹] [A] 通り抜ける。［変異］ふつ。［類］ふき。

ぶぶーい [bubu:i]【動詞】[r/rr 語幹]（服などに付いたごみ、ほこりを）払ったり、振ったりして落とす。【例】もーふぬ　くぴゅー　ぶぶいりー　うたす（毛布のゴミをふるって落とす)。[変異］ぶぶい。

ふふ [fufu] ①【動詞】[k 語幹] [A]（水が）沸騰する、（鍋、やかんなどが）噴（ふ）く。［変異］ふつ。［類］ふき。②【動詞】[k 語幹] [A] 口をすぼめて息を出す、（笛を、ほらを）吹く、（煙草を）吸う。[変異］ふつ。［類］ふき。③【動詞】[k 語幹] [A]（中から液体、気体が）吹きだす。[変異］ふつ。［類］ふき。④【動詞】[k 語幹] [A]（息、命が）途絶える。[変異］ふつ。［類］ふき。

ふや [fuja]【名詞】[C] 知ったかぶりをするひと。【例】からー　むいとぅぬ　ふやがま（あいつは知ったかぶりをするやつだ)。

ふやず [fujazɨ]【動詞】[g 語幹] [C]（他人を）悪く言う。【例】あいや　ひとぅーぎゃー　ふやがん（そんなに他人の悪口を言うな)。からー　いつまいうなが　んまーさぬ　くとぅーどぅ　ふやぎーまーるー（彼はいつも自分の両親の悪口を言ってまわっている)。［類］ふぁやず。

ふゆ [fuju]【名詞】[A] 冬。【例】ふゆん　なりー　っしふ　なりーにゃーん（冬になって寒くなった)。

ふゆー [fuju:]【名詞】[A] 怠け者、骨惜しみ。【例】からー　むいとぅぬ　ふゆー（あいつはとっても怠け者だ)。まーぬ　ふゆー　あすな（骨惜しみせずにちゃんとやれ)。

ふゆー [fuju:]【形容詞】[B]（いいわけをして）仕事をしない。【例】かりゃー　いつまい　ふゆーかいばならん（彼はいつも（あれこれと理由をつけて）怠けてばかりいる)。からー　すかまー　ひらいん　ふゆーんまり（彼は仕事をしない怠け者だ)。

ふら [fura]【名詞】[B]（馬の）くら。【例】ぬーまぬ　ふら（馬のくら）。

ぶら [bura]【名詞】[A]〖地名〗保良（ぼら）。【例】ぱーや　ばぬー　さーりー　ぶらぬ　むぬすーぬ　まいたーひー　いきゅーたい（おばあさんは私を連れて保良のユタのところまで行った）。

ぶらう [burau]【動詞】[w 語幹][C] 風が吹く、（扇風機やせんすの）風が当たる；（風が旗などを）はためかせる。【例】きゅーや　ちゅーかでぃぬどぅ　ぶらいゆー（今日は風が強い）。あうずひー　くまんかい　かじゅー　ぶらーし（扇子でこっちに風を送れ）。[変異] ぶりゃう。

ぶらかいー [burakai:]【動詞】[r/rr 語幹] 転倒する、ひっくり返る。【例】んˀぬ　うまん　ぶらかいーたい（昨日、ここで転んだ）。ういびとぅ　ないてぃがー　はっじゃ　ゆーりー　でぃーゆ　つかだかー　ぶらかいーがまた（年取ったら足が弱って杖を突かないとひっくり返る）。みっふぁまーいや　ひどぅ　ぶらかいらっじゃうたい（立ち眩みして急に倒れそうになった）。[類] ぶらかいり。

ぶらかいす [burakaisɨ]【動詞】[s/h 語幹] ひっくり返す。【例】いっさ　ぶらかいひー　かんぬ　とぅい（大きな石をひっくり返して蟹（かに）を取る）。

ぶらかいり [burakairi]【動詞】[母音語幹] 転倒する、ひっくり返る。[類] ぶらかいー。

ぶらふきゃ [burafukja]【名詞】嘘つき、ほら吹き。【例】かりゃー　ぶらふきゃ　やいば　かいが　むぬいゆぎゃー　まさぐんな　つかだうり（彼はほら吹きだから彼の話はまともには聞くな）。うりゃー　ぶらふきゃ　やいば　ういが　むぬいや　まとぅー　ひらいん（彼はほら吹きだから彼の言うことは当てにできない）。

ぶり [buri] ①【動詞】[母音語幹][C]（木の枝などをわざと）折る；（事故などで足などを）折ってしまう；（釘や針金を）折り曲げる；（立っている木や植物をなたなどで）切り倒す、またそのようにして（サトウキビなどを）収穫する。[類] ぶい（r/rr 語幹）。②【動詞】[母音語幹][C]（骨が）折れる、（紙が）折れる、（釘や針金が）折り曲がる、（腰が）曲がる。[類] ぶい（r/rr 語幹）。③【動詞】[母音語幹][C]（着物などを）折りたたむ、（紙を）折る。[類] ぶい（r/rr 語幹）。

ぶりー [buri:]【名詞】[C] 失礼、無礼。【例】ばー　んˀぬー　っづぁんかい　いたらーん　くとぅー　あっじー　やぐみ　ぶりー　あたい（私は昨日あんたに対して思慮の欠けたことを言って大変申し訳なかった）。

ぶりなん [burinan]【名詞】リーフや岸辺に打ち寄せる波。【例】うがんぐ

す　ふでぃ　ならび　ぶりなんがまぬよ　いちゅんな　なりー　かしんなりー（大神の後方にフデ岩が並んでいて、（それに）当たる白波が　糸になり、かし糸になり［古謡「漲水のクイチャー5番、6番」より］）。

ぶりゃーい [burja:i]【動詞】［母音語幹］（風に）煽（あお）られる。【例】かでぃん　ぶりゃーいーにゃーん（風に煽られた）。［変異］ぶらーい。

ぶりゃう [burjau]【動詞】［w語幹］［C］（風が旗などを）はためかせる。【例】かでぃぬ　はたう　ぶりゃいゆー（風が旗をはためかせている）。［変異］ぶらう。②【動詞】［k語幹］（家とか石垣などがいっぺんに）崩れ落ちる。【例】やりやーや　ないん　ぶりんきー　たうりーにゃーん（古家が地震でどっと崩れ落ちた）。［変異］ぶりんふ。②【動詞】［k語幹］（家とか石垣などがいっぺんに）崩れ落ちる。［変異］ぶりんつ。

ぶるくん [burukun]【名詞】〖魚〗タカサゴ。【例】ぶるくんつーや　うむっし（タカサゴを釣ることは面白い）。［類］ぐるくん。

ふん [fun]【名詞】［C］（学校などの）組、味方。【例】くまぬ　ふんな　でぃきふん（こっちの組は頭のいい組だ）。ばんてぃが　ふん（味方側）。

ぶん [bun]【名詞】［C］盆（配膳のために食器や食べ物をのせる平たい器）。【例】かんにがいぬ　ぶん（祈願の盆）。

ぶんかいり [buŋkairi]【副詞】特別に、非常に。【例】からー　ぶんかいりどぅ　うむくとぅ　あいかい（彼は非常に頭が良い）。かりゃー　ぶんかいりどぅ　かないかい（彼は特別に仕事ができる）。［変異］ぶんかっり、ぶんかりー。

ふんず [funzɨ]【動詞】［zz/dd語幹］［A］わなで引っ掛ける；縄で縛る；（契約、条件などが行動を）制約する。【例】ばなひー　たかう　ふんず（ワナで鷹を引っ掛ける）。ひんじゃう　ふんず（ヤギを縄で縛る）。でぃんぬ　かいてぃがー　ういんどぅ　ふんじゃらい（お金を借りたらそれに縛られる）。

ぶんびし [bumbiɕi]【名詞】〖祭礼〗祈願のお膳を供えること、そのお盆の置き方。【例】ぶんぶしゅーぎゃー　まさがん　あっそぅ（お盆の置き方をちゃんとしなさい）。

ぶんびしぶどぅい [bumbiɕibudui]【名詞】〖祭礼〗お膳を供えて祈願が神様に通じるように願う踊り。【例】かぎにがいぬぶんびしぶどぅい（ありがたい願いのためのお盆を備えた後の踊り）［祈願をするために香炉を設置し、それができたとき喜び勇んで踊ること。カンダカビトゥ（霊感の強い人）は燃えるお香の煙の中に神様やその他の霊を見ることができその神様や霊たちに色々と祈願する。ナナムイの修業年限10年の間に多くの人達は神様や霊達が見

えるようになるとされている]。

ぶんみかす [bummikasɨ]【動詞】[s/h語幹]一目散に走る。 【例】ぶんみかひー とぅばし（一目散に走れ)。

ぶんみゃー [bummja:]【名詞】昔女性たちが上布を作ったところ、村番所（現在の旧公民館)。 【例】んきゃーんな みどんみゃー ぶんみゃーん うぐなーらはいどぅ ぶーずんぬ うらはい うたいちゃ（昔は女性たちがぶんみゃーに集められて苧麻を織らされたそうだ)。

へ

べー [be:]【感動詞】〖間投詞〗命令、依頼の前に使う、「ほら」［同年以下に使う。年上には「じゃー」を使う］。【例】べー　っづぁが　っふすー　みはなう　くぬ　さずひー　ぬぐい（ほら、お前の汚れた顔をこの手拭いで拭け）。べー　ふぁい（ほら、食べなさい）。

ほ

ぼーしゅー [bo:ɕu:]【名詞】24 節気の一つ。太陽の黄径が 75 度のときをいう。陰暦 5 月の節で、陽暦の 6 月 6 日頃に当たる。稲、麦など芒（のぎ）をもつ穀物の種をまく時期とされていた。芒種。 【例】ぼーしゅー　なりゅーばまいまい　むずまい　いびだかーならん（芒種になっているので米も麦も植えないとならない）。

ほーらいまい [ho:raimai]【名詞】それまで主流だったタイ米に代わって、台湾で品種改良されて作られたジャポニカ米の一種、おいしいコメの代名詞だった。 【例】ほーらいまいや　んまい（蓬莱米は美味い）。

ほぅ [hu]【動詞】不規則動詞「あす（する）」の未然形。否定形（－ん）、意志形（－でぃ）、否定条件（－だかー）を取るときに使われる。 【例】ばが　ほぅだかー　たるが　ほぅでぃ（私がやらないと誰がやるのだ）。

ほぅ [hu]【接頭辞】大きい、最年長を表す。 【例】ほぅやー（大きい家）。ほぅなん（大波）。ほぅみどうん（大きい体格の女性）。ほぅがばー（とても大きい）。ほぅーに（大きな船）。ほぅっびとぅ（大人、偉い人）。ほぅじなん（二男を力強く呼ぶ言い方）。

ほぅー [hu:]【名詞】［B］帆。 【例】ふにぬ　ほぅー（舟の帆）。

ほぅーい [hu:i] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］欲しい、欲しがる。 【例】いんぬどぅ　っぞっー　ほぅーりー　ゆー（犬がさかなをほしがっている）。がずむぬー　いつまい　でぃんぬ　ほぅーりーゆー（ケチな人はいつもお金を欲しがる）。［類］ほぅーい（母音語幹）。②【動詞】［母音語幹］［A］欲しい、欲しがる。［類］ほぅーい（r 語幹）。

ほぅーい [hu:i]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（体が）震える；（怖くて、寒くて、緊張して）震える。 【例】あてぃ　っしかいば　ほぅりーどぅ（余りにも寒いので震えている）。うとぅるすかいば　ほぅーりゅーたい（怖くて震えていた）。っし　かいば　ほぅーりーどぅー（寒いので震えている）。ひとぅぬ　まいん　はなす　あすてぃがー　ほぅーいど

ぅす（人の前で話をすると緊張して震える）。［類］ほぅーり。

ほぅーき [hu:ki] ①【動詞】［母音語幹］［C］実際より誇張して話す、大げさに言う。 【例】まーぬ　ほぅーきだうり（余り大げさにものを言うな）。②【形容詞】［B］（話が実際より）誇張されている、大げさだ。【例】からー　いつまい　ほぅーきかいば　ならん（彼はいつも話が大げさだ）。ほぅーきんまり（大げさな奴）。

ほぅーぐる [hu:guru] 【名詞】おばけ、魔物。 【例】ほぅーぐるぬ　ふーば　なかだうり（お化けが来るから泣くな）。やらびゃー　ほぅーぐる　いっづぃ　あす（子供はお化けを怖がる）。［変異］うーぐる。

ほぅーぐる [hu:guru]【形容詞】とても怖い、恐ろしい。 【例】ほぅーぐるまずむぬ（怖いおばけ）。ほぅーぐるあす（怖がる）。

ほぅーぐるうー [hu:guruu:] 【成句】［vv 語幹幹］（お化けなどを）とても怖がる。 【例】やらびゃー　まずむぬー　ほぅーぐるいっづぃ（子供はお化けをとても怖がっている）。しーとぅんみゃー　うぬ　しーしーゆ　ふーぐるいっづゃー　ほぅー（生徒たちはその先生をとても怖がる）。

ほぅーたい [hu:tai] 【名詞】広い額（ひたい）。【例】ほぅーたいびとぅ（額の広い人）。

ほぅーちゃ [hu:tɕa]【名詞】［C 特殊］大口をたたく人。 【例】からー　むいとぅぬ　ほぅうつ（あいつは大口たたきだ）。

ほぅーつ [hu:tsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］実際より誇張して話す、大げさに言う。 【例】まーぬ　ほぅーかだうり（余り大げさにものを言うな）。［変異］ほぅーふ。

ほぅーつ [hu:tsɨ]【名詞】［C 特殊］コレラなどの伝染病のこと；〖祭礼〗またそれを防ぐための無病息災の祈願、ウチャナクを供えて祈願する。ジャウヌカニソゥジャウヤが１００年ほどまえに始めた。【例】ほぅーつにがい（疫病予防の祈願）。

ほぅーでぃや [hu:dija]【副詞】大体において。 【例】っづぁが　たまぬどぅ　ほぅーでぃや　はーさかい（あなたの分け前が大体において多いです）。

ほぅーでぃや　にゃーん [hu:dija nja:n] 【成句】年齢相応でない。 【例】かりゃー　ほぅーっじゃにゃーん　ういびとぅ（彼は年相応の分別がない年寄りだ）。［変異］ほぅーじゃにゃーん、ほぅーっじゃにゃーん。

ほぅーふ [hu:fu]【動詞】［k 語幹］［C］実際より誇張して話す、大げさに言う。 ［変異］ほぅーつ。

ほぅーます [hu:masɨ]【動詞】［s/h 語幹］見せびらかす、欲しがらす。 【例】

やらびんかい　おもちゃう　ほぅーます（子供におもちゃを見せびらかす）。

ほぅーみつ [hu:mitsɨ]【動詞】［k 語幹］（興奮して）声を荒立てる。【例】まーぬ　ほぅーみつな（そんなに声を荒立てるな）。［変異］ほぅーみふ。

ほぅーみふ [hu:mifu]【動詞】［k 語幹］（興奮して）声を荒立てる。［変異］ほぅーみつ。

ほぅーや [hu:ja]【名詞】［C］長男。

ほぅーらーしゃ [hu:ra:ɕa]【名詞】見せびらかすだけでくれない人、ケチ。【例】かりゃー　むいとぅぬ　ほぅらーしゃ（彼はとてもケチだ）。からー　いつまい　むぬー　むぬー　ほぅーらかひーぬ　ほぅーらーしゃ（彼はいつもものをみせびらかすケチだ）。［変異］ほぅーらしゃ。

ほぅーらーす [hu:ra:sɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］見せびらかす、欲しがらす。【例】まーぬ　ひとぅんかい　でぃんぬぎゃー　ほぅーらーすな（あまり人に金を見せびらかすな）。ほぅーらーす　がずんまり（見せびらかしのケチ）。［変異］ほぅーらす。［類］ほぅーらかす。②【形容詞】見せびらかすだけでくれない、ケチでしみったれている。【例】からー　ほぅーらーすんまり（あいつはケチだ）。あいぬ　ほぅーらーす　くとーぎゃー　ほぅん（そんなしみったれたことをしない［＞してはいけない］）。［類］かーかん、がず。

ほぅーらかす [hu:rakasɨ]【動詞】［s/h 語幹］見せびらかす、欲しがらす。

ほぅーり [hu:ri]【動詞】［母音語幹］［A］（体が）震える。［類］ほうーい。

ほぅーん [hu:n]【動詞】［m 語幹］［C］欲しがる。【例】ばが　っざー　さきゅーぎゃー　ぬまんば　さきゅー　ほぅーんてぃぬ　くとぅー　にゃーん（私の父は酒は飲まないので酒を欲しがることはない）。

ほぅーんみ [hu:mmi]【名詞】（魚の）大群。【例】ぐんぬどぅ　ほぅーんみん　なりー　ゆりっちゅーば　じょあんぬ　はらでぃ（むろあじが大群になって押し寄せてきているから網を張ろう）。

ほぅい [hui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（穴を）掘る、周りを掘る、掘って取る。【例】かーゆ　ほぅい（井戸を掘る）。きーぬ　にーゆ　ほぅい（木の根を掘る）。んーぷらひー　んーぬ　ほぅい（芋掘り棒で芋を掘る）。

ほぅい [hui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］惚れる、（恋愛の対象として）好きになる。【例】ばー　あぱらぎ　なかーにんかい　ほぅいたい（私はきれいな次女を好きになった）。［類］ほぅり。

ほぅい [hui]【形容詞】［B］大きい。【例】ほぅいかい　っぞぅー　とぅいー　っじる（大きい魚を取って自分の分にしなさい）。ほぅいふ　ない（大きく

なる)。うぬ　にぐーや　まーぬ　ほぅいっふぁにゃーんば　とぅいや　だみ(このシャコガイはあまり大きくないから取っちゃだめだ)。じゅーがつぬ　かでぃふつぬどぅ　ほぅいかたい(10 月の台風の方が大きかった)。

ほぅいさ [huisa]【名詞】[C] 大きさ、おおきいこと。【例】ほぅいさう　はかい(大きさを測る)。っぞぅー　ほぅいさー　ます(魚は大きいのがいい)。てぃんぬ　ほぅいさー　っさいん(空の大きさは分からない)。

ほぅいさー　ます [huisa: masi]【成句】大きい方が良い、大は小を兼ねる。【例】ほぅいさー　ます(大きい方が良い)。

ほぅいつ [huitsi]【名詞】[C](驚いたときに出る)声にもならない声;(失望した時に出る)ため息。【例】かりゃー　うどぅるきどぅ　ほぅいっちゃすんきー　うたい(彼は驚いて声にもならない声を上げていた)。やきゅーゆ　みーっちゃーん　ほぃいつ　あす(野球を見ながらため息をつく)。

ほぅか [huka]【名詞】[C](自分の家でない)よそ、～以外、外側。【例】やらびんみゃー　ほぅかんかい　あそぅーが　はりーにゃーん(子供たちは他所(よそ)に遊びに行ってしまった)。やらびんみぬ　ほぅかんな　うまんなたるまい　みーん(子供たちのほかにはそこには誰もいない)。あんぬ　ほぅかぬ　うにゃ(網の外のフグ[＞役立たず、仲間外れ])。

ほぅか [huka]【名詞】[C] 外海、リーフの外側の海。【例】きゅーや　ほぅかんきー　いきー　っぞー　とぅらでぃ(今日は外海に行って魚を取ろう)。

ほぅか [huka]【名詞】[C] 以外。【例】てれびゃー　やぶりゅーば　かいふー　ほぅかー　にゃーん(テレビは壊れているので買ってくる以外にない)。

ほぅがさ [hugasa]【名詞】[B] おでき、外傷が膿んだもの。【例】ほぅがさー　んみーどぅ(おできが膿んだ)。いちゃ　ほぅがさー　いでぃー　やんかいば　ならん(痛いおできが出て痛くてならない)。[類] ふがさ。

ほぅがさー [hugasa:]【名詞】裏がえし、さかさ。【例】つんぬ　ほぅがさーん　つー(服を裏返しに着る)。[類] さかさー。

ほぅがす [hugasi] ①【動詞】[s/h 語幹][A] 穴をあける、(穴を)あける　[「穴」は「ほぅがす」の意味に入っているため、無くてもよいが、明示してもよい]。【例】がばーちゃ　ほぅがし(大きな穴をあけろ)。くまう　ほぅがひーみーる(そこに穴をあけろ)。いーがまひー　かびーゆ　ほぅがす(千枚通しで紙に穴をあける)。みーゆ　ほぅがす(体に穴をあける[＞だます])。②【動詞】[s/h 語幹][A](心に)穴をあける[=

気落ちさせる]。【例】ばー　きゅーや　かいん　あてぃくとぅ　あっじゃーい　つむー　ほぅがはいにゃーん（私は今日は彼にあまりにも（あれこれ）いわれて気が滅入った)。

ほぅがす [hugasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［A］（穴を）開ける。 【例】いいひー　あなう　ほぅがし（錐で穴を開けろ)。

ほぅがなまい [huganamai] 【名詞】頭の大きい人、偉い人（比喩的表現)。 【例】からー　ほぅがなまい　やいばくぬ　ぼーしゃー　いみふだー（彼は頭が大きいからこの帽子は小さすぎる)。ほぅがなまいたが　むぬいゆぎゃー　つかだかー　ならん（偉い人達の話は聞かないといけない)。

ほぅかびじ [hukabiʑi] 【名詞】〖地名〗保良の北側にあるリーフの名前。

ほぅがら [hugara]【形容詞】[C 特殊]大柄な、大柄だ。 【例】ほぅがら　びとぅ（大柄な人)。

ほぅからす [hukarasɨ] 【形容詞】嬉しい、楽しい、幸せだ。 【例】きゅーや　やびとぅーんなん　いじゃーい　やぐみ　ほぅからすむぬ（今日はみなさんにお目にかかれてとてもうれしいです)。んまがぬ　すぐいてぃがー　ほぅからす（孫が出世してくれたら嬉しい)。［変異］ふからす。

ほぅからっさ [hukarassa]【名詞】楽しいこと、うれしいこと。 【例】ゆーいんな　ほぅからっさ　あす（お祝いで楽しくすごす)。ほぅからっさー　なだとぅ　ひとぅみ（うれしさはなみだとともに［＞うれしいときは涙もでるものだ])。

ほぅぎ [hugi] 【動詞】［母音語幹］［A］（心が）満ち足りる、満足する。 【例】んまむぬー　ふぁいー　つむまい　ほぅぎーどぅー（おいしいものを食べて心も満ち足りた)。［変異］ぷぎ。［類］ほぅず。

ほぅぎ [hugi] 【動詞】［母音語幹］［A］穴があく、穴をあける。 ［類］ほぅず。

ほぅぎゃん [hugjan] 【名詞】［C 特殊］〖食〗高粱（コウリャン)。 【例】ほぅぎゃんぬ　ほぅーぐる（高粱の茎)。

ほぅじゃう [huʑau] 【名詞】［C］煙草入れ（革製)。 【例】んきゃーんぬ　ひとぅんみゃー　ほぅじゃうん　きざみ　たばくー　いるーたい（昔の人達は煙草入れに刻み煙草を入れていた)。

ほぅす [husɨ] ①【動詞】［s 語幹］［A］欲しがる/ほしい。 【例】いんぬどぅみっじゅ　ほぅしゅーい（いぬが水をほしがる）[「どぅ」は語調の整え、なくてもよい])。 ②【形容詞】［B］欲しがる/ほしい。【例】ばー　ういがどぅ　ほぅすかい（私はそれが欲しい)。ばー　きばんかいば　でぃんぬ　ほぅすかいばならん（私は貧しいから金が欲しくてならない)。 ③【形容詞】［B］動詞基

本形について､～したがる/したい　［通常　連濁して「ぶす」となる、聞き手に～してほしいという場合は､「動詞連用形＋ふぃーぶす」を使う、三人称に～してほしいという場合は使えず、その場合は､「～てぃがー　じゃうかい（～たらいいのに)､「～ふぃーばー　いー(～てくれたらいいのに）を使う」。【例】からー　うぬっぞぅー　みーぶすむぬちゃ（彼はその魚を見たがっているんだって)。っづぁー　なうゆどぅ　ふぁうぶすかいが（あなたは何をたべたいですか)。んまっぞぅー　ふぁうぶすかい（おいしい魚を食べたい)。っづぁが　っふぁー　んじゃんかいどぅ　いつぶすかいが　いー（君の息子はどこに行きたいのかね)。っづぁが　っさらんかい　いきーふぃーぶすむぬ（君が平良に行ってほしい)。ばー　っづぁんうるー　けんきゅーや　ひーふぃーぶすむぬ（君にこれを研究してほしい)。［変異］ぶす。

ほぅす [husɨ]【動詞】[s 語幹]［C］(着物などを）干す。【例】つんぬ　ほぅす（着物を干す)。つんほぅすじゃう（物干し竿)。すまんな　っぞぅーぎゃー　ほぅしや　ふぁーっだん（村では魚を干して食べなかった)。

ほぅす [husɨ]【動詞】[s 語幹]［C］(乾かすために）干す。　【例】つんぬ　ほぅす（着物を干す)。

ほぅす [husɨ]【名詞】［A］星。　【例】つっちゅな　てぃんぬ　ほぅっそぅみー（月夜には天の星を眺める)。［類］ふす。

ほぅず [huzɨ]【動詞】[g 語幹]［A］(心を）満たす。【例】つむー　ほぅずきゃたーひー　んまむぬ　ふぁうたい（心ゆくまでごちそうを食べた)。んまがぬ　だいがくんかい　ごーかくー　ひー　つむー　ほぅがはいにゃーん（孫が大学に合格してうれしかった［＜心が満たされた]）。［変異］ぷず。［類］ほぅぎ。

ほぅず [huzɨ]【動詞】[zz/dd 語幹]［A］穴があく、穴をあける。　【例】っづぁが　ずぼんぬ　てぃびゃー　ほぅぎーどぅー（お前のズボンのお尻は穴があいている)。［類］ほぅぎ。

ほぅずむ [huzɨmu]【名詞】[C 特殊]広い心、また、心の広い人。　【例】からー　つむかぎ　ほぅずむびとぅ（彼は心がきれいで、優しい人だ)。［変異］ほぅっずむ。

ほぅすん [husɨn]【動詞】[m 語幹]［C］欲しがる/ほしい。　【例】やらびぬどぅ　みっじゅ　ほぅすみゅー（こどもが水を欲しがっている)。ひとぅぬ　むぬーぎゃー　ほぅすまん（人の物を欲しがるな)。

ほぅそぅー [husuː]【名詞】［C］海水、潮。　【例】ほぅそぅーゆ　ん゜んがいかでぃ（海水を汲みに行こう)。［変

異］ほぅっそぅー、ほぅっそぅ。［類］ほぅそぅみず。

ほぅそぅみず [husumizɨ]【名詞】海水、潮。 ［類］ほぅそぅー。

ほぅだ [huda]【副詞】量を表す表現の前に来て概数を表す、大体、およそ。【例】くぬ てれびゃー ほぅだ いっかねんぎゃー なりーどぅ（このテレビは（買ってから）約一年くらいになる）。くまぬ はいや ほぅだ やそぅる（ここの畑は約 1 反だ）。うつなーたーひー ひこうきひー ほぅだ いちじかん かかい（沖縄まで飛行機で約 1 時間かかる）。

ほぅだに [hudani]【名詞】［C 特殊］大きな睾丸、また象皮病が原因で睾丸が大きくなること、またその睾丸、またその人。 【例】んきゃーんな かじゃん っふぁいー っさやんな ひー ほぅだにんまい ないたいちゃ（昔は蚊に刺されて象皮病になって、大きな睾丸になったりしたそうだ）。

ほぅっづぁい [huvvai]【名詞】牛・馬等によってできた肥料、堆肥［化学肥料は「きんぴ」という］。【例】ほぅっづぁいや むぬ でぃかす むぬ（堆肥は植物の成長に良い）。

ほぅっさ あす [hussa asɨ] ①【動詞】［不規則］ほしがる、ほしい（と思う）。【例】ばー んなま とぅず ほぅっさ ひーうい（私は嫁が欲しいと思っている）。からー ばかかいきゃー むいとぅ でぃんほぅっさ あすたい（彼は若いときはとてもお金を欲しがった）。さきゅー ほぅっさ ひーうい（酒を飲みたがっている）。②【接尾辞】［不規則］（動詞の基本形について）たがる、たい。【例】ばが っざー いつまい さきゅー ぬんぶっさ ひーうい（私の父はいつも酒をのみたがっている）。とぅずとぅみぶっさ ひーうい（嫁を貰いたがっている）。

ほぅっばば [hubbaba] ①【形容詞】幅が広い、大股だ。 【例】ほぅっばばんつ（幅の広い道）。ほぅっばば やすつ（大きな敷地）。②【名詞】幅が広いこと、大股。【例】ほぅっばばひー あいつ（大股で歩く）。

ほぅっばんまい [hubbammai]【名詞】主食。 【例】んきゃーんぬ ほぅっばんまいや んー あたい（昔の主食は芋だった）。［変異］ほぅばんまい。

ほぅっびとぅ [hubbitu]【名詞】偉い人。 【例】かぬ だいがくぬ しーしーや やぐみ ほぅっびとぅ（あの大学の先生はとても偉い人だ）。ほぅっびとぅ ふいゆ あす ひとぅ（偉そうなふりをする人）。ほぅっびとぅ ふや（えらくないのに偉そうにする人）。ほぅっびとぅふいんまり（偉そうにして鼻持ちならない奴）。

ほぅっびゅーい [hubbju:i]【名詞】〖祭礼〗神事の名前、仲間御嶽で行われる

収穫感謝祭で神酒が振舞われる。【例】ほぅっびゅーいんな　あーんっちゅぬん（大日取りには粟の神酒を仲間御嶽で飲む）。

ほぅっぶに [hubbuni]【名詞】大きな骨、大きい骨格。【例】からー　ほぅっぶに　びとぅ　やいばどぅ　んぶかい（彼は骨太なので体重が重い）。ほぅっぶにゅーぎゃー　っづぁが　ふぁい（大きな骨はお前が食べろ）。［変異］ほぅぶに。

ほぅっぶらふきゃ [hubburafukja]【名詞】大ぼら吹き。

ほぅてぃー [huti:]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（体を温めるために火、たき火などに）あたる。【例】うまつん　ほぅてぃー　んふばーい（火にあたって温まる）。［変異］ほぅてぃ。

ほぅでぃー [hudi:]【名詞】［C］手が大きい（人）、気前がよい（人）。【例】ばんてぃが　ぱーや　つむかぎ　ほぅでぃー　あたい（私のおばあさんは心優しくて、気前の良い人だった）。

ほぅとぅー [hutu:]【名詞】［C 特殊］大海、大海原。【例】ふにゃー　ほぅとぅーんかい　いでぃたい（船は遠くの大海原に出た）。［類］うほぅとぅー、うほぅとぅ。

ほぅどぅー [hudu:]【名詞】［C 特殊］立派な体格。【例】まさいや　たやぎ　ほぅどぅーびとぅ（マサイはとても立派な体格で力がありそうだ）。

ほぅどぅー [hudu:]【名詞】［C 特殊］八重干瀬の中にあるひとつリーフの名前。

ほぅどぅい [hudui]【動詞】［母音語幹］［A］（こどもが）成長する。【例】やらびゃー　あたくまん　ほぅどぅいどぅす（子供はあっと言う間に大きくなる）。

ほぅどぅつ [hudutsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（結んだ帯、糸、もつれた糸などを）ほどく。【例】そぅくーゆ　ほぅどぅつ（帯を解く）。まつっだりゅーいとぅー　ほぅどぅき（絡み合っている糸を解きなさい）。［変異］ほぅどぅふ。

ほぅどぅふ [hudufu]【動詞】［k 語幹］［A］（結んだ帯、糸、もつれた糸などを）ほどく。［変異］ほぅどぅつ。

ほぅなん [hunan]【名詞】［B 特殊］大波。【例】きゅーや　ほぅなんぬ　たちゅーば　っぞぅとぅいが　いかじゃーん（今日は大波が立っているから魚を取りに行かない）。

ほぅに [huni]【名詞】［C］骨；魚の小骨。【例】ほぅに　たかい　っぞぅ（小骨の多い魚）。っぞぅぬ　ほぅにぬどぅぬどぅん　かかりゅー（魚の骨が喉にひっかかっている）。

ほぅにずー [hunizi:]【名詞】（食べやすくするために）魚を骨ごと切ること。 【例】いみかい　っぞぅぎゃー　ほぅにずー　あっそぅ（小さい魚は骨ごと切りなさい）。

ほぅにぶかい [hunibukai]【形容詞】骨身にこたえる（寒さ、つらさ）。【例】きゅーや　やぐみ　ほぅにぶかい　っしさ（今日は骨身にこたえる寒さだ）。

ほぅにゃ [hunja]【名詞】［C］大根。【例】ほぅにゃー　ふゆんどぅ　やすだいかい（大根は冬がやすい）。［変異］うほぅにゃ。［類］だいほぅにゃ。

ほぅばんまい [hubammai]【名詞】主食。 ［変異］ほぅっばんまい。

ほぅみ [humi]【動詞】［母音語幹］［C］ほめる。 【例】やらびゅーぎゃー　んみかだ　ほぅみる（子供は叱らないで褒めて使え）。

ほぅみたーっづぁす [humita:v-vasi]【動詞】［s/h 語幹］ほめちぎる。【例】うりゃー　ほぅみばやー　やいば　ほぅみたーっづぁし（彼は褒められるとその気になる奴だから褒めちぎれ）。

ほぅみつ [humitsi]①【動詞】［k 語幹］［A］（風邪などで体が）熱くなる、火照る。 【例】かんぼーや　ひどぅ　っづぁが　どぅーや　ほぅみきーどぅ（あなたの身体は熱っぽい）。［変異］ほぅみふ。②【動詞】［k 語幹］［A］興奮する、熱くなる、騒ぎ立てる。【例】まーぬいたらーんくとぅんかい　ほぅみつな（余りつまらないことに騒ぎ立てるな）。［変異］ほぅみふ。③【形容詞】［A］（火の近くにいるために）熱い、（熱で体が）熱い。【例】うまつぬ　やかたー　ほぅみつかいばならんば　ひーちゃがまはなりる（火の側は熱いから少し離れなさい）。にっちゃ　いでぃー　みはなー　むいとぅ　ほぅみつむぬ（熱が出て顔はとても火照っている）。

ほぅみつ [humitsi]【動詞】［k 語幹］［A］（体に）熱がある。 【例】かじゃー　ひきどぅ　どぅーや　ほぅみきーゆー（風邪をひいて熱がある）。［変異］ほぅみふ。

ほぅみばやー [humibaja:]【名詞】ほめられとすぐその気になる人、おだてにのりやすい。 【例】かりゃー　むいとぅぬ　ほぅみばやー（彼はほぅめられるとすぐその気になる人だ）。うりゃー　ほぅみばやー　やいば　ほぅみー　つかい（彼はほめられたらその気になる人だからほめて使いなさい）。

ほぅみふ [humifu]①【動詞】［k 語幹］［A］（風邪などで体が）熱くなる、火照る。 ［変異］ほぅみつ。②【動詞】［k 語幹］［A］興奮する、熱くなる、騒ぎ立てる。［変異］ほぅみつ。

ほぅみふ [humifu]【動詞】［k 語幹］［A］（体に）熱がある。 ［変異］ほぅみつ。

ほぅむず [humuzɨ] 【名詞】［C 特殊］大麦。 【例】んっそぅ ちゅふ とぅきゃんな ほぅむずひーどぅ かうっじゅ ちゅっふ（味噌を作るときには大麦で麹を作る）。

ほぅむぬい [humunui] 【名詞】大げさにものを言うこと。 【例】たくー ひとぅから とぅいってぃまい とぅから とぃったいてぃー ほぅむぬいゆ あす（タコを一匹取って来ても 10 匹取って来たと大げさにものを言う）。［変異］ほぅむぬゆい。

ほぅむぬゆみゃ [humunujumja] 【名詞】大げさにものを言う人、大ぼら吹き。 【例】からー ほぅむぬゆみゃ やいば かいが むぬいや とぅーん ひてぃっちゃ つかいん（彼は大ぼら吹きだから彼の言うことは 10 の中 1 つも信用できない）。

ほぅらだつ [huradatsɨ] 【名詞】〖地名〗ホゥラダツ（大浦集落の入口）。【例】ほぅらだつんな まずむぬぬ うい（ホゥラダツには幽霊がいる）。

ほぅらつ [huratsɨ] 【動詞】［k 語幹］［A］（目や本を閉じられた状態から）開ける［「ふー（閉じる）」の反対語］。【例】あてぃ ばかすかいば みーや ほぅらかだ ばらうたい（あんまりおかしかったので目を開けないで笑った［あまりの嬉しさで笑うこと］）。ほぅんぬ ほぅらきーみーる（本をあけなさい）。［変異］ほぅらふ。

ほぅらな [hurana] 【名詞】［C］（水をためるために掘った）ため池［馬などを洗うために掘った］。 【例】みっじゃ たまらん ほぅらな（水の溜らない掘り穴）。んきゃーん やらびんみゃー ほぅらなぬ みっじゅまい ぬみゅーたい（昔のこどもたちはため池の水まで飲んでいた）。がっこうぬ てぃびぬ ほぅらな（学校後方の池）。

ほぅらふ [hurafu] 【動詞】［k 語幹］［A］（目や本を閉じられた状態から）開ける［「ふー（閉じる）」の反対語］。［変異］ほぅらつ。

ほぅらふきゃ [hurafukja] 【名詞】ほら吹き。 【例】うりゃー ぶらふきゃ やいば ういが むぬいや まとぅー ひらいん（彼はほら吹きだから彼の言うことは当てにできない）。［類］ぶらふきゃ。

ほぅらふつ [hurafutsɨ] 【名詞】ほらを吹くこと。 【例】ほぅらふっちゃ じゃうかいむぬ あらん（ほらを吹くことはいいことではない）。

ほぅり [huri] 【動詞】［母音語幹］［A］惚れる。 【例】ばー っづぁがまんかいや ほぅりん（俺はおまえなんかには惚れない）。［類］ほぅい。

ほぅり [huri] 【名詞】［A］惚れること、自分をわすれるほど夢中になること［連濁して「ぶり」となる］。 【例】みどぅんぶり（女に夢中になること）。びきぶり（男に夢中になること）。かり

ゃー　どぅすぶりゃーひどぅ　すかまい　ほぅだ　どぅすぬ　まいんかい　あそぅーが　はりーにゃーん（彼は友達づきあいがよくて、今日も仕事もせず友達のところに遊びに行った）。

ほぅりぎちくら [hurigitɕikura]【名詞】バカな奴。【例】むいとぅぬ　ほぅりぎちくら（とてもバカな奴）。

ほぅりちくや [huritɕikuja]【名詞】馬鹿な奴。［類］ほぅりちくら、ほぅりぎちくら、ほぅりぎちくや。

ほぅりちくら [huritɕikura]【名詞】馬鹿な奴。［類］ほぅりちくや、ほぅりぎちくら、ほぅりぎちくや。

ほぅりっふぁい [huriffai]【名詞】非常に太っていること、またそのような人。【例】からー　あてぃ　うんかいばどぅ　ほぅりっふぁいや　ひーゆー（彼はとても大食いなので太っている）。

ほぅりふい [hurifui]【形容詞】バカげた、冗談の。【例】ほぅりふい　むぬい　あす（馬鹿なことを言う）。ほぅりふいんまり（冗談をよくいう奴）。

ほぅりみつず [hurimitsɨzɨ]【名詞】右往左往、落ち着かない様子、ショックなどでどうしていいかわからない状態。【例】みーんな　さうや　にゃーだ　ほぅりみつず　あす（目には落ち着きがなく視点が定まらないようすだ）。

ほぅりむぬ [hurimunu]【名詞】バカ者。【例】かりゃー　うむくとぅー　にゃーん　まーんてぃぬ　ほぅりむぬ（彼は考えの浅い本当の愚か者だ）。ほぅりむぬぬ　ほぅりむぬふぁう（バカの大食い）。ほぅりむぬぬ　ほぅりさきぬん（バカの大酒飲み）。かりゃー　ばぬーぎゃー　いつまい　ほぅりむぬ　みー（彼は私のことをいつも馬鹿扱いする）。ほぅりむぬんな　ほぅりむぬぬ　まーびゃー　ひらいん（馬鹿は馬鹿のまねはできない）。

ほぅりむぬみー [hurimunumi:]【名詞】見下すこと、馬鹿扱い。【例】ほぅりむぬみー　あす（馬鹿扱いする）。

ほぅりむぬゆん [hurimunujun]【名詞】馬鹿なこと、くだらないこと。【例】まーぬ　ほぅりむぬゆんぬぎゃー　あすな（余り馬鹿なことを言うな）。

ほぅん [hun]【動詞】［m 語幹］［A］ほめる。【例】やらびゅーぎゃー　んみかだ　ほぅみー　つかい（子供は叱らずに褒めて使え）。うながどぅーゆぎゃー　ほぅまん（自分をほめない）。

ほぅん [hun]【名詞】［B］本。【例】ほぅんぬ　ゆん（本を読む）。ほぅんぬ　っふぃみーみーる（本を閉じなさい）。ほぅんぬ　かふ（本を書く）。ほぅんな　うむくとぅ　いだす　むぬ（本は知識を与えてくれるもの）。

ほぅんだい [hundai]【名詞】我がまま、自分勝手、またその対象。【例】な

らほぅんだい　やらびがま（自分勝手な子供）。ばー　っづぁが　ほぅんだいや　あらん（私はお前の我がままの相手じゃない）。まーぬ　ほぅんだい　あすな（あんまりわがまま言うな）。うぬ　みどぅん　やらびがまー　むいとぅぬ　ほぅんだいがま（この女の子はとても自分勝手だ）。

ほぅんつ [huntsɨ]【名詞】［B 特殊］大通り。　【例】がっこーんかい　いつとぅきゃんな　ほぅんっちゅ　あいきー　いき（学校に行くときには大通りを歩いていけ）。

ぼろぼろ [boroboro]【オノマトペ】ぐつぐつ、ぐらぐら。　【例】なびぬ　んっつーや　ぼろぼろてぃどぅ　ふきゅー（鍋のおつゆがぐらぐらと沸騰している）。［類］ふき。

ま

ま [ma] 【助詞】〖終助詞〗基本形について突き放した態度、反語的な態度を示す［「ん」をともなうことも多い］、〜かよ。 【例】ばー　すーんま（俺が知るかよ）。

まー [ma:] 【名詞】［C］空間的余裕、空き間、すき間；時間的余裕、暇。 【例】うまー　しばかいば　びー　まーや　にゃーん（ここは狭いから座る余裕がない）。うまー　っづぁが　びーまーや　あきーどぅー（ここは君の座るところがある）。まーや　ありー　びじ（間隔をおいて座れ）。ばー　きゅーや　まーや　にゃーんば　かしーや　ひらいん（今日は時間がないので手伝いはできない）。きゅーや　いすがすかたいば　むぬー　ふぁう　まーまい　にゃーっだん（今日は忙しかったので食事をする時間もなかった）。

まー [ma:] 【名詞】［C］足跡、手の形、痕跡。 【例】ひとぅぬ　はずぬ　まー（人の足跡）。ぬそぅどぅぬ　はいらーまーぬどぅ　あるー（泥棒の入った跡がある［「はいらー」＜「はいりゃー」＜「はいりー＋あい」（入って＋ある）］）。

まーい [ma:i] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］歩いて訪ねる；遠回りをする。【例】すまう　まーい（集落を歩き回る）。かまから　まーりー　くー（向こうから回って来い）。 ②【接尾辞】（名詞について）歩き回ること、訪問すること。【例】はらうずまーい（親戚回り）。すままーい（集落を歩き回ること）。 ③【動詞】［r/rr 語幹］［A］（動詞の連用形についてその動作をしながら何か所かに連続して）移動する。【例】あいきーまーい（歩き回る）。んすぬ　いんぬ　うーぎーまーい（真謝の海を泳ぎ回る）。とぅびーまーい（走って回る）。ぶーっじゃ　ぬすみー　ひんぎーまーいたい（サトウキビを盗んで逃げまわった）。やーばっそぅ　ふきーまーい（家と家の間を通り抜けて近道をする）。とぅみーまーい（探し回る）。なきーまーい（泣きながら歩き回る）。ばらいーまーい（（人の悪口を言いながら友達のところなどをたずねて）馬鹿にして回る）。かっふぃーまーい（隠れて逃げまわる）。 ④【接尾辞】動詞基本形について名詞を作る接尾辞、（その動作をしながら）歩き回る。【例】さきぬんまーい（集落を酒を飲む

ために歩き回ること)。かにゃー　ういびとぅん　なりー　くぬいや　むぬゆんまーいゆぎゃー　ほぅん（カニは年を取って最近はおしゃべりして回ることはしない)。

まーい [ma:i]【動詞】[r/rr 語幹][A]（ものや身体が）回転する；(回転して、忙しくて目が）回る；(否定をともなって、借金で首が）回らない。【例】ぐるたん　なりー　まーるーきゃー　みーぬどぅ　まーるーたい（ぐるぐる回ってたら目が回った)。きゅーや　いすがすかたいば　みーぬ　まーりゅーたい（今日は忙しかったので目が回った)。うっかぬ　はーさ　ありー　ぬどぅまい　まーらん（負債が沢山あって首も回らない)。

まーい [ma:i]【名詞】[A]（ものや人の）周り、周囲；交際範囲。【例】やーぬ　まーい（家の周囲)。ばたぬ　まーいゆ　はかい（腹の周りを測る)。かいが　まーいんな　ひとぅぬどぅ　うんそぅく　うぐなーりゅー（彼の周りには人がたくさん集まっている)。

まーい [ma:i]【名詞】[A] 順番。【例】ばが　まーいぬどぅ　っちゅー（私の順番がきている)。[類]まーる。

まーい [ma:i]【名詞】[C] ボール、まり。【例】まーいゆ　つふ（まりをつく)。みどぅんやらびんみゃー　まーいひー　あそぅー（女の子供達はまりで遊ぶ)。まーいゆ　きー（ボールを蹴る)。

まーい [ma:i]【接尾辞】名詞について漁の種類を表す接尾辞。【例】いんまーい（漁に出ること)。みがにまーい（素潜り漁[＜水中メガネ漁])。だいだままーい（ダイナマイト漁[終戦直後、不発弾の火薬を抜き取りそれを使って多くの人が密漁していた])。あんつかいまーい（網を使った追込み漁)。たくとぅいまーい（タコとり漁)。っぞぅつーまーい（魚釣り[＜魚釣り回り])。

まーいうむくとぅ [ma:iumukutu]【名詞】社会性；人付き合いがちゃんとできること、また、そのための知恵。【例】うらー　がっこー　うむくとぅー　あいそぅが　ばぬんつきゃー　まーいうむくとぅー　にゃーん（彼は勉強はできるが、私より社会性はない)。

まーいかたー　にゃーん [ma:ikata: nja:n]【成句】(感情的に、金銭的に解決の方法がなくて）どうしようもない、八方ふさがりだ。【例】とぅずぶとぅ　ばきゃーいや　ひー　さびすかいば　まーいかたー　にゃーん（離婚してさびしいのでどうしようもない)。うっかー　あみかっづぃー　まーいかたー　にゃーん（借金をみんなひきうけてしまってどうしようもない)。からー　まーいかたー　にゃーんんまり（彼は使いものにならないどうしようもない奴だ)。

まーく [ma:ku] 【名詞】［C］背が低い人。 【例】まーくがま（背の低い人）。からー まーくがま やいそぅが たやー っづぁんつきゃー あり（彼は背は低いけれど、力はお前よりある）。［類］まーしゃがま。

まーく [ma:ku] 【形容詞】［C］（人の）体が小さい；（ものが）小さい。 【例】ばー いみかいきゃー あぐたが なかんな んながーんな まーくかたい（私は幼い時は同級生のなかで一番背が低かった）。うぬ んながーんな まーくかい えんぴっちゅぎゃー すてぃる（この一番短い鉛筆を捨てろ）。［類］いみ。

まーくん ない [ma:kun nai] 【成句】［r/rr 語幹］体を丸くする、身を屈（かが）める。 【例】っしかいば どぅーや まーくん なりゅーたい（寒くて体が丸くなった）。まーくん ならだかー うまから とぅーらいん（身をかがめないとそこを通れない）。

まーしゃ [ma:ɕa] 【名詞】［C］（何かを）回す人。 【例】なそぅーぎーぬ すたぬ ばう まーしゃがま（茄の木の下で棒を回す人 ［この比喩から「背が低い人」という意味に使われる］）。

まーじゅん [ma:ʑun] ①【副詞】ほかの人と同じことを、同じように；一緒に。 【例】んーなとぅ まーじゅん あっそう（皆と同じようにやりなさい）。じょ まーじゅん ふぁーでぃ（さあ、一緒に食べよう）。 ②【形容詞】同じ。【例】ういとぅ かいとぅー まーじゅんむぬ（これとあれはおなじようなものだ）。

まーす [ma:sɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］［A］回転させる；（別の人に）回す。 【例】くまう まーす（コマを回す）。まーすがにゅー まーひー あそぅー（鉄の輪っかを回して遊ぶ）。うぬ んまじゃきゅー ばぬんかいまい まーひーふぃーる（そのおいしい酒を私のところにも回してくれ）。 ②【動詞】［s/h 語幹］［A］（凧を）あげる。【例】かびとぅいゆ まーす（凧をあげる）。［類］あぎー。

まーそぅ [ma:su] 【名詞】［C］塩。【例】まーそぅー なんー（塩をなめる）。まーそぅー かきー（塩をふる）。

まーそぅさうず [ma:susauzɨ] 【名詞】〖祭礼〗（魔よけのため）塩で清めること。 【例】うまんな やなむぬぬどぅ ういば まーそぅさうず あっそぅ（ここは悪いものがいるので塩できよめろ）。

まーそぅにー [ma:suni:] 【名詞】塩だけで煮る魚の料理法、塩ゆで。 【例】あいっぞぅぬ まーそぅにーや むいとぅ んまい（アイゴの塩ゆではとても美味しい）。

まーた [ma:ta] 【名詞】［C］〖祭礼〗魔除けの目印［ススキの葉で輪っかを作り、それを作物を植えた直ぐの畑や、持

って行かれたくない物に刺して魔除けとした。人が亡くなったときにはマータを両門におき、入り口には棒をおいて魔除けとした]。 【例】まーたうゆー（魔除けを結う)。まーたー ゆっづぃー うまんさすてぃがー まずむぬまい ひとぅまい とぃや はらん（マータを結ってここにさしたら魔物も人も（これを）とってはいかない)。

まーだぎゃー [ma:dagja:]【副詞】まあまあ、ある程度。 【例】まーだぎゃー がばー っぞぅ あたい（まあまあ大きな魚だった)。

まーっさ [ma:ssa] 【名詞】（ふらついたりしない）まともな歩き方。【例】まーっさ ん゜ん（ふらつかずにちゃんと歩く)。やらびぬ まーっさう ん゜みゅーば みーみーる（赤ちゃんがちゃんと歩いているので見てみて)。びゅーいびとぅぬ まーっさ ん゜まだ あいきゅー（酔っ払いがふらついて歩いている)。[類]っさ。

まーっぞう [ma:zzu] 【名詞】（追い込み漁でとるようなアイゴやブダイなどの）近海魚。 【例】かっちゅんつきゃー まーっぞぅどぅ んまかい（カツオより近海魚が美味しい)。

まーに [ma:ni] 【名詞】[C]〖植〗黒つぐ、皮を紐として使う植物。 【例】まぐー かやとぅ まーにぬ かーひどぅ ちゅっふぁい（糸入れかごは茅と黒つぐの皮で作られる)。くーすふぁやう まーにぬ ばなひー ふっでぃー あそぅびゅーたい（木登りトカゲを黒つぐの罠で括って遊んでいた)。

まーにんぎん [ma:niŋgin] 【名詞】普通の人、正常な人、真人間。 【例】かりゃー ほぅりむぬー あらん、まーにんぎん（彼は馬鹿者ではなくまともな人だ)。

まーぬ [ma:nu]【副詞】動詞、形容詞を修飾して程度が大きいことを表す、あまり［否定を表す表現と呼応して程度が大きくないことを表す。共通語の「あまり」と違って理由節では使えない。共通語の理由節に当たる表現では、「あてぃ はーさ ふぁいみーてぃがー ばたぬどぅ やみゅーたい（あんまりたくさん食べたら、おなかを壊した)」のように事実条件節を使い、「あてぃ（とても)」を使う]。 【例】おい ゆがかなまい まーぬ ばいんつな（おい、あんまりぶつくさ言うな)。うらー まーぬ じゃうっふぁにゃーん（それは余り良くない)。ばが っちゃー っぞぅー まーぬ ほぅいっふぁ にゃーっだん （私の釣った魚はあまり大きくなかった)。まーぬ むぬー ふぁうてぃがー ばたぬどぅ やんがまた（あんまりたくさんたべるとおなかを壊すよ)。

まーび [ma:bi]【名詞】[A] 真似。【例】ひとぅぬ まーびゅーぎゃー あすな（人の真似はするな)。

まーぶ [ma:bu] 【感動詞】子馬が離れかけたときに離れないようにこちらにもどれと呼ぶときに使う呼びかけ。

まーぷい [ma:pui] ①【動詞】［r/rr 語幹］（暗いところから明るいところにでて目が）くらむ；（太陽などをみて）まぶしくて目がくらむ。【例】えいがかんから　いでぃー　みーや　まーぷりー　あいつぐりむぬ　あたい（映画館からでて目がくらんで歩きにくかった）。てぃだー　みー　みーや　まーぷりゅーたい（太陽を見て目がくらんだ）。②【動詞】［r/rr 語幹］目まいがする、目が回る、フラフラする。【例】みーや　まーぷりーどぅー（目まいがしている）。［類］まぐい。

まーぷら [ma:pura] 【名詞】めまい。【例】まーぷら　ひーどぅー（目が回っている）。

まーま [ma:ma] 【名詞】［C］後妻、継母。【例】やなくんじゃう　まーま（意地が悪い継母）。［類］まーまんま。

まーま [ma:ma] 【名詞】［C］げんこつ。【例】まーまう　ちゃらてぃー　ふぁーす（げんこつをがちんとくらわす）。

まーまんま [ma:mamma] 【名詞】後妻、継母。［類］まーま。

まーゆ [ma:ju] 【名詞】［A］〖魚〗フエフキダイ。

まーゆ [ma:ju] 【名詞】［A］ヤシ油。【例】まーゆひー　さたてぃんぷらう　やつ（ヤシ油で沖縄風ドーナツを揚げる）。

まーらす [ma:rasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］回す、回らす。【例】まーすがにゅー　まーらす（鉄の輪っかを回す［遊びの一種］）。［類］まーす。

まーる [ma:ru] 【名詞】［A］順番、順序が回ってくること。【例】んなーまー　ばが　まーる（今は私の順番）。ぶどぅい　まーる（踊りの順番）。［類］まーい。

まーんぐとぅ [ma:ŋgutu] 【名詞】真実、本当のこと。【例】うらー　まーんぐとぅな（それは本当ですか）。あがいー　あがいー　ぶとぅー　すにーはりーにゃーんよー、うらー　まーんぐとぅよー（あー、旦那は死んでしまった、本当なんだ（信じられない））。

まーんてぃー [ma:nti:] ①【名詞】（嘘でなく）本当のこと、（偽物でなく）本当のもの。【例】っぅぁが　あっじゅーくとぅー　まーんてぃーや　あらん（お前の言っていることは間違っている）。っぅぁが　さんすーぬ　くたいや　まーんてぃーや　あらん（お前の算数の答えは正しくない）。くぬ　だいやー　まーんてぃーぬ　むぬ（このダイヤは本物だ）。②【副詞】本当に。【例】きゅーや　まーんてぃー　あつかいばならん（今日は本当に暑くて仕方がない）。くぬいぬ　わーつっちゃ　まーんてぃー　さだかー　ひらいん（最近のお天

気は本当に予測できない)。からー　まーんてぃー　うむくとぅあい　ひとぅ(彼は本当に頭がいい人だ)。③【感動詞】なるほど、なるほどだよ、本当、本当だよ。【例】まーんてぃーだら（なるほどね)。

まい [mai]【接尾辞】尊敬の動詞接辞
子音語幹動詞の未然形に付く。母音語幹動詞では、「さまい」。

まい [mai]【名詞】[C]（空間的に、人、もの、場所などの）前；(時間的に）前。【例】っぅぁー　ばが　まいん　たち(君は僕の前にたちなさい)。やーぬ　まいん　ばすぬ　ていりゅーじょぬ　あい（家の前にバス停がある)。かいが　みーゆー　まいんどぅ　ばー　たういたいが　おーかん（彼が見ている前で私は倒れたらしい)。あしぬ　まいん　うぬ　っそぅいゆ　ぬみ（朝ごはんの前にこの薬を飲みなさい)。まいや　んぎー　あい（相手が何か言う前に先を読んで言う)。しーしーたが　んみゃいー　まいん　さきゅー　いだほぅーき(先生方がいらっしゃる前に酒を出しておきなさい)。

まい [mai]【動詞】[r/rr 語幹][C] 大便をする。【例】っしんきー　っそぅーまい（トイレに行って大便をする)。っそぅ　まりや　てぃーゆ　あらい（大便をした後は手を洗え)。

まい [mai]【動詞】[母音語幹][C]（鷹のような大きな鳥などが上空を）ゆっくり舞うように飛ぶ。　[類]まう。

まい [mai]【名詞】[B] 米。　【例】まいぬい（(米の）おにぎり)。まいだーら（米俵)。[類]くみ。

まい [mai] ①【名詞】[C] 近く、近所；時間的に近く。　【例】しょーがっこーや　ばんてぃが　やーぬ　まいんどぅ　あい（小学校は我が家の近くにある)。まっちゃー　まいがまん　あい（店はすぐ近くにある)。いんな　すぐ　まい(海はすぐ近くだ)。きゅーりょーびゃー　んめ　まいん　なりーどぅー（給料日が間近になっている)。②【形容詞】[C] 空間的に近い；時間的に近い。【例】んながーんな　まいかい　まっちゃー　んじゃんどぅ　あい（一番近い店はどこにあるの)。くまからー　っさらぬどぅ　ぶらんつきゃー　まいかい（ここからだったら平良のほうが保良より近い)。とぅんでぃさうがつとぅ　くりすますとぅ　いでぃがどぅ　まいかい(冬至の集まりとクリスマスとどっちが時期的に近いですか)。

まい [mai] ①【助詞】〖副助詞〗「も」[(名詞や、名詞＋格助詞について）ほかの人、もの、ことに加えてそれもという累加の意味を加える]。　【例】ばんまい　いかっじゃー　っぅぁまい　いきーふぃーる（私も行くのでお前も行ってくれ)。きゅーまい　まうきじゅくー　にゃーん（今日も仕事はない)。うぬ　んまじゃきゅー　ばぬんかいまい

まーひーふぃーる（そのおいしい酒を私のところにも回してくれ）。②【助詞】〖副助詞〗「も」[（疑問詞や数詞、疑問詞や数詞＋格助詞について）否定とともに使われて、「だれも、なにも、どこも、いくらも、いつも、（３人）も～ない」という全部否定の意味を加える]。【例】うぐなーいんかい　いきーみーてぃがー　たるまい　みーっだん（集まりに行ってみたらだれもいなかった）。ふにゃー　みゃーてぃぬ　にゃーだかー　んじゃまい　いかいん（舟は目的地がないとどこにも行けない）。ばー　かいんかいや　んめ　みっふぁさまい　なうまい　にゃーん（わたしは彼女には憎しみもなにもない）。ふぁうむぬーぎゃー　なうゆまい　むまん（食べ物はどんなものでも好き嫌いがない）。いじゅーまい　ふぁーっだん（どちらもたべなかった）。③【助詞】〖副助詞〗「でも」[（疑問詞、疑問詞＋格助詞について）それらすべてという意味を加える]。【例】ばー　なうまい　んち（私は何でも沢山ある）。からー　なうまい　っしーどぅー（あの人はなんでも知っている）。やらびゃー　たるんかいまい　あまいあまいてぃー　ひーゆー（子供はだれにでも愛嬌をふりまく）。なうまい　ゆぬむぬ（どれでも同じだ）。いつまい　にゅーたぎむぬ（いつも眠そうだ）。みゃーくずつんな　んじゃからまい　はーさぬ　ひとぅぬ　すまー　ならひー　んみゃい（ミャークズツにはそこらじゅうから多くの人々がどっと押し寄せて来る［＜どこからも村をどよめかせていらっしゃる]）。でぃんぬ　あいてぃがー　なうまい　かーいどぅす（金があればなんでも買える）。いかっさまい　ふぁうたいそぅが、んめひー　ふぁうぶすむぬ　あたい（たくさん食べたが、もっと食べたかった［＜いくらでもたべたが]）。④【助詞】〖副助詞〗「～も、～まで」[（名詞（特に数詞）や、名詞（特に数詞）＋格助詞について）程度が極端なこと、（予測より）多いことあるいは少ないことを表す]。【例】うほぅがぬ　いみやーがまんまい　ひとぅぬ　うい（こんなちいさな家にも人が住んでいる）。ばいさう　あすてぃがー　っふぁ　んまがたーひーまい　とぅがまいどぅす（悪事を働いたら子孫代々まで非難される）。あかうまい　あらーん　かうさだりゃ（髪も洗わない不潔な奴）。ん゜ぬ　あぐたが　みちゃーいまい　っちゅーたい（昨日友達が３人も来た）。みどぅんな　いちじかんまい　まつたいそぅが　くーっだん（妻を一時間も待ったがこなかった）。ささぎゆーいんかいや　ごじゅーめいまい　ゆらばっだん（結婚式には５０人も呼ばなかった）。ひとぅむてぃから　むぬまい　ふぁーんば　やーすかいば　ならん（朝から食事もしてないので腹が減って仕方がない）。っうぁー　にじゅーまんえんまい　むちーどぅー（お前は 20 万円も持っているのか）。からー　ふらんすごーまい　あっじゃいどぅすちゃ（あいつはフランス語も話せ

るんだって)。⑤【助詞】〖副助詞〗「も」[(量を表す名詞について)概数を表す]。【例】にしぇんえんまい　あいてぃがー　たらうどぅす(二千円もあれば足りるだろう)。

まいがーす [maiga:sɨ]【名詞】ポン菓子。

まいかき [maikaki]【名詞】〖道具〗前掛[馬の首に掛け、馬と鋤(すき)と繋ぐ馬具]。[変異]まいがき。

まいだつ [maidatsɨ]【名詞】(馬などが)両前足を上げること。【例】びきぬーまぬどぅ　まいだっちゃ　ひーゆー(雄馬が両前足を上げている)。

まいちゃ [maitɕa]【名詞】[C]着物の裾。【例】んまが　つんぬ　まいちゃう　かつん(母親の着物の裾をつかむ)。

まいつ [maitsɨ]【名詞】[A]手斧、薪割用の斧。【例】まいつひー　たむぬー　ばい(斧で薪を割る)。

まいぬ　あらいずー [mainu araizɨ:]【名詞】米のとぎ汁。【例】まいぬ　あらいずーゆ　いたきーすてぃー(米のとぎ汁をすてる)。

まいぬい [mainui]【名詞】米のおにぎり[普通なにも味を付けず、球状に握る]。

まいふが [maifuga]【形容詞】かしこい、お利口さんだ[こどもをほめるときに使う]。【例】まいふが　やらび(お利口さん)。かいがどぅ　んながーんな　まいふがかい(彼が一番おりこうさんだ)。[類]まうふが。

まいやー　まいにつ [maija: mainitsɨ]【成句】日ごと夜ごと、寝ても覚めても、いつも。【例】まいやーまいにつ　かなす　みどぅんぬ　くとぅー　うむいーゆー(いつも好きな彼女のことを思っている)。

まう [mau]【動詞】[w 語幹][C](鷹のような大きな鳥などが上空を)ゆっくり舞うように飛ぶ。【例】たかぬどぅ　やぐみ　はーさ　まいゆー(鷹がとてもたくさん飛んでいる)。[類]まい。

まう [mau]【名詞】[C]〖祭礼〗自分自身の守り神、先祖神。【例】うなが　まうや　うなが　やーんどぅ　あい(自分自身の守り神は自分自身の家にある)。[類]まうかん。

まうかん [maukan]【名詞】〖祭礼〗個人の守り神、先祖神。【例】とぅかんてぃんな　んまぬ　まうかんかいどぅ　てぃーゆ　かみー(トゥカンティには母親の守り神に手を合わす)。まうかんかい　むぬー　すきー(守り神にお供えをする)。[類]まう。

まうき [mauki]①【動詞】[母音語幹][C](仕事などについて)儲かる;(お金を)儲ける、稼ぐ。【例】くぬ　すかまー　まうきどぅす(この仕事は儲か

る)。でぃんな　まうきー　ふぁう（金を稼いで生活する)。でぃん　まうきが（金を稼ぎに（行こう))。[類] まうつ。②【名詞】[C] 稼ぎ、儲け。【例】きゅーぬ　まうきゃー　やぐみ　はーさ（今日の稼ぎはとても多い)。きゅーぬ　まうきゃー　うさきがま（今日の稼ぎはたったこれだけしかない)。きゅーやなうぬ　まうきまい　にゃーん（きょうは何の稼ぎもない)。

まうきじゅく [maukiʒuku] 【名詞】儲ける手段、稼げる仕事、飯のたね；仕事。 【例】まうきじゅくー　とぅみーくーでぃ（稼げる仕事を探してくる)。きゅーまい　まうきじゅくー　にゃーん（今日も仕事はない)。

まうきゃー [maukja:] ①【名詞】南側にある隣家　[西原は絶対方位を使用しているので南側が「前」になる]。【例】まうきゃーた（南側の家の人たち)。②【名詞】何かを基準としてその前方；物の前方部。【例】まうきゃーん　たち（(私の）前に立て)。きーぬ　まうきゃーん　はうぬ　うい（木の前にヘビがいる［ヘビは木と話し手の間にいる]）。くるまぬ　まうきゃーぬ　やぶりーにゃーん（車の前方部が壊れた)。っづぁが　まうきゃーゆ　とぅみる（あなたの前の方を探せ)。

まうつ [mautsɨ] 【動詞】[k 語幹] [C] 儲かる、儲ける、稼ぐ。 [変異] まうふ。[類] まうき。

まうとう [mautu] 【名詞】[C] 直進したところ、（よそ見せず）真っ直ぐの方向（へ進む)。 【例】しやくしょーうまぬ　まうとぅんどぅ　あい（市役所はここをまっすぐ行ったところにある)。まうとぅー　みー　あいき（真っ直ぐ前を見て歩け)。まうとぅー　たみー　あいき（(よそ見せず）真っ直ぐ歩け)。

まうふ [maufu] 【動詞】[k 語幹] [C] 儲かる、儲ける、稼ぐ。 [変異] まうつ。[類] まうき。

まうゆ　あき [mauju aki] 【成句】[母音語幹]〖祭礼〗自分自身の守護神を持つこと。 【例】かんぶり　びとぅー　まうゆ　あきばどぅ　なうい（神のことで病んでいる人は自分自身の守護神を持てば治る)。[類] まうゆ　あぎ。

まうゆ　あぎ [mauju agi] 【成句】[母音語幹]〖祭礼〗自分自身の守護神を持つこと。 [類] まうゆ　あき。

まか [maka] 【名詞】[C] ～次第だ；～による；～の意志による［「名詞＋が/ぬ」の後に付ける]。【例】あすむ　ほぅんむー　っづぁが　まか（やる、やらないはお前次第だ)。うるー　きみー　くとぅー　ひゅーいぬ　まか（それをやるのは日取りによる)。にんぎんぬ　んぬっちゃ　てぃだやぐみぬ　まか（人の命は畏れ多い神様の思し召しのままだ)。

まかい [makai]【名詞】[C] お椀、お茶碗。 【例】んっつーゆ　いり　まかいゆ　むちーくー（おつゆを入れるお椀をもってこい）。まいゆ　まかいん　いりー　ふぁう（ごはんをお茶碗に入れて食べる）。まかいだうー（お茶碗、皿、湯呑等の食器）。んまー　ゆいや　ふぁいぬ　あとぅんな　まかいだうーゆあらう（お母さんは夕食後食器を洗う）。ってぃつ　あい　まかいや　ばいやすむぬ（一つしかないお椀は割れやすい[＞一人っ子は死ぬとなにも残らないということのたとえ]）。

まがい [magai]【動詞】[r/rr 語幹] [A]（ものが）まがる；（道を）まがる。【例】くぬ　かにふっじゃ　まがるーば、まうとぅーぬ　むぬー　むちーくー（この釘は曲がっているのでまっすぐなのをもってこい）。かまぬ　ゆまたう　んすんかい　まがりー　いき（あそこの十字路を右に曲がっていけ）。

まがい [magai]【名詞】[A] 角；横道（誘惑）。 【例】かまぬ　まがいからいき（あそこの角を曲がれ）。なうぬまがいてぃー　にゃーだ　わいてぃーかない（横道にそれずにがんばれ）。

まかない [makanai]【名詞】料理を作ること；料理を作る人。 【例】やーふつ　ゆーいぬ　まかないゆ　あす（新築祝いの料理を担当する）。ばー　むぬにー　まかないどぅ　あたい（私はものを煮る係りだった）。

まかや [makaja]【名詞】[B] 茅。【例】まぐー　まかやとぅ　まーにぬ　かーひどぅ　ちゅっふぁいーゆー（マグ（かごの一種）は茅と黒つぐの皮（で作った紐）で作られている）。[類] かや。

まき [maki] ①【動詞】[母音語幹] [A] 負ける。 【例】きゅーぬ　うんどーかいんな　ばんちゃー　まきーにゃーん（今日の運動会で私達は負けた）。②【名詞】[A] 負け。【例】っぅぁー　まき（あなたは負けだ）。

まきならい [makinarai] ①【形容詞】（相手に対して）いつも負けている人、負け癖がついている人、（勝負における）カモ。 【例】かにゃー　ばぬんな　いつまい　まきならいがま（カニは私のカモだ）。からー　かにんな　まきならい　ひとぅ　やいば　きゅーまい　かちゃいん　はず（彼はカニにはいつも負けている人なので今日も勝てないだろう）。 ②【名詞】（相手に対して）いつも負けている、負け癖がついている、（勝負における）カモである。【例】きゅーまい　まきならいがまぬ　っちゅー（今日もカモが来た）。

まきゃーい [makja:i] ①【動詞】[r/rr 語幹]（家や部屋が）散らかった、整理整頓されていない。 【例】まきゃーい　まっちゃぬ　むぬー　むいとぅ　とぅみらいん（整理整頓されていない店の商品は全然探せない）。やーゆ　まきゃーらすな（家を散らかすな）。くじゃ

ひっちゃ　まきゃーるーば　まさぐん　あっそぅ（客間がちらかっているので整理しろ［「くじゃひつ」は寝室でもあった］）。②【動詞】［母音語幹］（家や部屋が）散らかった、整理整頓されていない。

まきゃーす [makja:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］（ものをこわして）散乱させる、（部屋などを）とり散らす、（風などがものを）飛び散らかす。　【例】まかいゆばりー　まきゃーす（お椀を割って散乱させる）。かでぃん　かびーや　まきゃーはいにゃーん（風に紙が飛び散らかされた）。

まきゃーらす [makja:rasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（ものをこわして）散乱させる、（部屋などを）とり散らす、（風などがものを）飛び散らかす。

まぐ [magu]【名詞】［C］〖道具〗丸めた茅を黒つぐの紐で縛って作ったカゴ。苧麻を紡いだ糸を入れたりする。　【例】まぐんかい　ぶーや　ん゜みー　うるー　いりー（カゴに苧麻を糸に紡いだ糸を入れる）。

まぐい [magui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］目がくらくらする、混乱する。【例】ばー　うきー　ふたきな　やいば　みーや　まぐりーどぅー（私は起きてすぐだから目がくらくらしている）。まぐりんまり（バカな奴）。［類］まーぷい。

まくがん [makugan]【名詞】〖生物〗ヤシガニ。【例】まくがんな　ちゅーかいば　とぅらいぎっふぁにゃーん（ヤシガニは力が強いので捕れそうにない）。

まくぶ [makubu]【名詞】［C］〖魚〗シロクラベラ；ブダイの一種で大きなこぶがある。

まくぶなます [makubunamasɨ]【名詞】〖祭礼〗御嶽で使われる言葉で「芋の葉の和え物」を意味する。文字通りにはマクブ（ブダイの一種）の刺身で、芋の葉をマクブの刺身にみたてる。

まぐみん [magumin]【名詞】全体的に丸まった耳　［「まぐ」は宮古上布の糸を入れるかご］。

まさい [masai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（他人と比べて）能力、容姿が優れている。　【例】ひとぅんつきゃー　まさり（人より優れた人間になれ）。かぬ　みどぅんぬどぅ　つむかぎさー　まさりゅー（あの女性のほうが心がきれいだ）。

まさが [masaga]【名詞】［C］正しいこと、ちゃんとしていること。　【例】まさがー　にゃーんんまり（どうしようもない奴）。かりゃー　ぶらふきゃ　やいば　かいが　むぬいゆぎゃー　まさがんな　つかだうり（彼はほら吹きだから彼の話はまともには聞くな）。［類］まなが、まさぐ、まさぎ。

まさがぬ [masaganu]【連体詞】（人に関して）真面目な；（仕事に関して）丁寧な、ちゃんとした；（仕事に関して）まともな正業である。　【例】ぶとぅー

ぎゃー　まさがぬ　びぎどぅんぬ　とぅみる（旦那には真面目な男性を探せ）。やーゆぎゃー　まさがぬ　さやふんたぬみー　まさがぬ　やーゆ　ちゅっふぃ（家はちゃんとした大工に頼んでちゃんとした家を建てろ）。んなまぬすかまー　なまりー　まさがぬ　すかまう　あっそぅ（今の仕事をやめてまともな仕事をしろ）。[類]まさぎぬ、まさぐぬ、まながぬ。

まさがん [masagan]【副詞】ちゃんと、きちんと、しっかりと、気を付けて、正確に　[副詞化の接尾辞「てぃー」を伴うことも多い]。【例】ゆまたうぎゃー　まさがん　あいき（十字路は気を付けて歩け）。でぃんぬぎゃー　まちがいや　にゃーん　やうん　まさがんてぃー　ゆみ（お金は間違いのないようにちゃんと正確に数えろ）。まさがんみーる（ちゃんと見なさい）。まさがんてぃー　かんがいる（ちゃんと考えよ）。むぬーぎゃー　まさがんてぃー　ふぁい（ご飯はちゃんと食べなさい）。まさがんてぃー　びじ（ちゃんと座れ）。やらびゅーぎゃー　まさがんてぃー　みーる（子供はちゃんと管理しなさい）。[類]まながん、まさぐん、まさぎん。

まさりー [masari:]【副詞】比較するためにつける副詞、（ほかの人、ものと比べて）よりもっと。【例】くぬ　ひとぅぬどぅ　かいんつきゃー　まさりー　うむくとぅ　あいかい（この人のほうが彼よりもっと賢い）。くぬ　くるまぬどぅ　かぬ　くるまんつきゃー　まさりー　あっづぁうぎゃー　ふぁーん（この車のほうがあの車より燃費がいい）。まさりーまい　ういがどぅ　ばいかい（かえって彼がもっと悪い［＞彼のほうがもっとわるい］）。

まさりーまい [masari:mai]【成句】どういたしまして、こちらこそ。【例】「すでぃがほー」てぃー　あっじゃいてぃがー　「まさりーまい」てぃ　かいすばどぅ　じゃうかい（「すでぃがほー」といわれたら「まさりーまい」と返事するのがいい）。

まじゃ [maʑa]【名詞】[A]〖地名〗真謝［西原の北東の海岸でそこから漁に出る］。【例】すまぬ　ひとぅんみゃー　まじゃから　ふにゅー　いだす（西原の人は真謝港から船を出す）。でぃんがにゃー　むぬゆんぱじゅら　やいば　まじゃん　いつきゃたーひーまいむぬいゆぎゃー　つっちゃはん（ディンガニはおしゃべりだから真謝につくまで話は途切れさせない）。

ましん [maɕin]【副詞】多めに。【例】ばぬんな　ましんがま　ふぃーる（私にはちょっと多めにくれ）。

ます [masɨ]【助数詞】畑の助数詞［四角の形が升に似ているため］。【例】っづぁー　はいや　いふます　あり　やいば（あなたは畑はいくつあるか）。ななます　あきゅーとぅい、やそぅます　あきゅーとぅい（七つの畑を開墾し

ていて、八つの畑を開墾していて［古謡「うほぅらだつ」から］)。

ます [masɨ]【名詞】［A］～の方がよい。［述語としてしか使えない］。【例】くいとぅ　くいとぅー　いでぃがどぅ　ます（これとこれとはどっちがいい)。っぞぅんつきゃー　わーぬどぅ　ますやいば　わーゆ　かいくー（魚より豚肉がいいので、豚肉を買ってこい)。うまどぅ　ます（そこがよい)。ほぃさー　ます（大きいほうがいい)。

まず [mazɨ]【副詞】先ず、先ずは。【例】まず　っづぁから　あっそぅ（まずお前からやれ)。まずてぃー　ひーみーみーる（先ずやってみなさい)。［類］まずがー。

まず [mazɨ]【動詞】［g 語幹］［A］（女性器に）男性器を挿入する、交接する、まぐわう、セックスする「目的格をとる］。【例】ひーゆ　まず（性交する)。ぴーゆぎゃー　ふなずっちゃーん　まず（女性器に男性器を挿入し、上下の動きをしながら交接する)。

まずがー [mazɨga:]【副詞】先ず、先ずは。【例】まずがーてぃー　ひーみーみーる（先ずはやってみなさい)。［類］まず。

ますぎた [masɨgita]【名詞】石垣。【例】ないんどぅ　ますぎたー　っちゅりーにゃーん（地震で石垣が倒壊した)。ぬぬずん　ますぎた（きれいに積まれた石垣)。

ますむい [masɨmui]【名詞】〖祭礼〗ミャークズツの祭事の一つで、枡に酒を盛って新生児の健康祈願をすること。【例】ますむいんな　うぬ　とぅすんんまいたい　っふぁがまんみう　すまぬ　たから　ほぅでぃ　すまぬ　んーなひー　あーぐ　あいっちゃーん　かんにがい　あす（マスムイにはその年に生まれた新生児たちを村の宝にしようと村人全員で歌を歌いながら祈願する)。

まずむぬ [mazɨmunu]①【名詞】幽霊、魔物、化け物。【例】まずむぬー　うとぅるすむぬ（幽霊は怖い)。うまんな　まずむぬぬ　うい（そこには幽霊がいる)。かりゃー　まずむんつきゃー　むいとぅぬ　まずむぬ（彼は幽霊よりも更に怖い化け物だ)。［変異］まずむん。②【名詞】人を軽蔑していうののしりことば、やつ。【例】んずぎ　まずむぬ（醜い奴［皮肉で身だしなみの悪い人に使う］)。くぬ　まずむぬ（この野郎)。ほぅりまずむぬ（馬鹿なやつ)。うむくとぅー　にゃーん　まずむぬ（学のないやつ)。でぃんな　にゃーん、でぃんぐ　まずむぬんみ（金のない、金に恵まれない貧乏人達)。ぬそぅどぅまずむぬ（盗人)。［変異］まずむん。

まずむぬぬ　あかばたうい [mazɨmununu akabataui]【名詞】〖植〗ウリ科の一年草のツル植物、オキナワスズメウリ。

まずむぬぬぬーま [mazɨmu-nununu:ma] 【名詞】〖昆〗ナナフシ。

まずむぬぬみーつつうさ [mazɨmununumi:tsɨtsɨusa] 【名詞】〖植〗シロバナセンダングサ［＜化け物の目を突く草］。【例】やまう　あいつてぃがー　まずむぬぬみーつつうさぬ　とぅずぬどぅ　うんそぅく　たばい（野山を歩いたらシロバナセンダングサの刺が沢山くっつく）。

まずむぬん　んつみらい [mazɨmunun ntsɨmirai] 【成句】金縛りにあう。【例】まずむぬん　んつみらいーにゃーん（金縛りにあった）。

まずむん [mazɨmun] ①【名詞】幽霊、魔物、化け物。［変異］まずむぬ。②【名詞】人を軽蔑していうののしりことば、やつ。［変異］まずむぬ。

まずん [mazɨn] 【動詞】［m 語幹］［A］沢山の物を積みあげる。［類］まずんー、まずんみ。

まずんー [mazɨn:] 【動詞】［mm 語幹］沢山の物を積みあげる。【例】かやう　まずんー（茅をたくさん積みあげる）。ほぅんぬ　まずんみ（本をつみあげろ）。あいや　ぶーっじゅぎゃー　まずんまん（サトウキビはそんなふうに積むもんじゃない）。［類］まずん、まずんみ。

まずんみ [mazɨmmi] 【動詞】［母音語幹］沢山の物を積みあげる。［類］まずんー、まずん。

まそぅー [masu:] ①【名詞】［A］正面、まっすぐ。【例】まそぅーん　やどぅふつぬ　あい（正面に入り口がある）。うまぬ　んっちゅ　まそぅーん　あいき（この道をまっすぐ歩きなさい）。［類］まうとぅ。②【名詞】［A］回りくどくなくて、率直な物言い；率直なこと。【例】むぬいゆぎゃー　まそぅーから　あい（ものは（回りくどくいわず）はっきりと言え）。からー　やぐみ　まそぅーびとぅ（彼はとても率直な人だ）。

また [mata] ①【名詞】［B］股。【例】はずぬ　また（足のまたぐら）。またぬどぅ　かうかいば　ならん（股がかゆくてしかたがない）。またうぎゃー　ひらかだうり（股を開くな）。ながまたびとぅ（足が長い人）。［類］またばい。②【名詞】［B］歩幅、歩数の数えかた、～歩。【例】ほぅまたびとぅ（歩幅の大きい人）。いみまたがまひー　あいつ（小さい歩幅で歩く）。かまたーひーや　とぅまたひーや　いかいどぅす（あそこまでは 10 歩でいける）。ながまたひー　あいつ（長い歩幅で歩く）。っさらたーひーや　ひとぅまた（平良までは一股だ［＞とても近い］）。

また [mata] 【副詞】もう一度繰り返すさま、また、再度。【例】じょ　また　さき　ぬまでぃ（また酒を飲もう）。からー　また　きゅーまい　っちゅーい（彼は今日もまた来た）。また　あそぅー

が　んみゃてぃ（また、遊びにいらっしゃい）。がっこーん　ほぅんな　ばっしにゃーんば　また　いつたい（学校に本を忘れたのでまた行った）。

また [mata]【名詞】［B］一つから二つ（以上に）別れているもの；木のまた（Y字になっている部分、木が枝分かれしている部分）。【例】かまんかい　いつふっちゃ　ふたまたん　なりゅー（あっち側に行く入り口は二股になっている）。きーぬ　またひー　ぐむかんぬ　ちゅっふ（木のまたでパチンコ［＝スリングショット］を作る）。また　なゆり　なりゅー　さやよー（木のまたに実っている豆のさやよ［古謡「豆が花」から］）。

また [mata]【形容詞】［B］大便をしたい。【例】っそぅまたむぬ（糞をしたい）。っそぅまたかいば　んびゃーいん（ウンコがしたくて我慢できない）。

また [mata]【接頭辞】（動詞基本形の前につき）二度～をすること。【例】またにゅー（二度寝）。またばい（二度食い［食べた後におなかがすいてまたすぐ食べること］）。またいつぬ　なんっじゅぎゃー　ほぅん（二度行くという面倒なことはするな［＞仕事は一回行って済ませろ］）。

また [mata]【間投詞】〖フィラー〗（つなぎの言葉として口癖的に使う）。

またぎす [matagisi]【名詞】部下、下のもの、奴隷、召使い、（比ゆ的に）奴隷のように従ってしまうこと。【例】またぎっそぅ　まーぬ　しつきな（下の者をあまり酷使するな）。にんぎんな　うむくとぅ　あいひとぅぬ　またぎす（人間は（どうしても）学のある人の言うことを聞いてしまうものだ）。にんぎんな　つむぬ　またぎす（人間は心の良い人には共感する［＜従ってしまう］）。にんぎんな　でぃんぬ　またぎす（人は金の奴隷だ）。

またぐい [matagui]【動詞】［r/rr 語幹］（またを開いてなにかの上を）超える、またぐ。【例】うまう　またぐりー　くー（そこをまたいで来い）。ひとぅーぎゃー　またぐらん（人をまたいではいけない）。びだ　かつがまう　またぐらっじゃーきー　たうりー　てぃーや　ぶりーにゃーん（低い垣根をまたごうとして転んで手を骨折した）。うまぬ　ふぐんぬ　またぎー　くいる（ここの溝をまたいで越えろ）。［類］またず。

またず [matazɨ]【動詞】［g 語幹］［C］（またを開いてなにかの上を）超える、またぐ。【例】うまう　またぎー　くー（そこをまたいで来い）。うまぬ　ばだー　ふかかいば　うまうぎゃー　またがん（ここの溝は深いからここはまたがない）。［類］またぐい。

またたい [matatai] ①【動詞】［r/rr 語幹］（幼児、病人などが）膝を伸ばしたままで、不安定な歩き方をする、たどたどしく歩き始める；飛び越える。【例】

やらびゃー　んめ　またたりーどぅー（赤ちゃんはもう歩き始めている）。うまう　またたりーくー（そこを飛び越えて来い）。［変異］またーたい、またたーい。②【名詞】（赤ん坊の）よちよち歩き、（病人の）ふらふら歩く様子。【例】ぱーや　やっとぅがま　やんな　なうりどぅ　がいとぅがいとぅ　またたいゆ　ひーゆー（おばあちゃんなんとか病気が治ってふらふらあるいている）。

またたいあいつ [matataiaitsɨ]【名詞】よちよち歩き。【例】やらびゃー　またたいあいっちゃ　ひーどぅー（赤ちゃんはよちよち歩きしている）。

またつつ [matatsɨtsɨ]【名詞】また聞き。【例】ひとぅっじゃう　またつつあす（他人の噂をまた聞きする）。くらー　またつつ　やいば　なうてぃまい　あっじゃいん（これはまた聞きなのでなんとも言えない）。［変異］またずつ。

またにゅー [matanju:]【名詞】二度寝、起きて直ぐにまた眠ること。【例】またにゅーゆぎゃー　ほぅん（二度寝はしない）。きゅーや　またにゅーやひー　にゅーたかいば　ならん（今日は二度寝して眠くてならない）。

またばい [matabai]【名詞】またぐら、股間。【例】またばいぬ　かうかいばならん（またぐらがかゆくてしかたがない）。［類］また。

またま [matama]【名詞】［C］分け前。【例】っうぁが　またまー　うさき（お前の分け前はこれだけだ）。［変異］まだま。

またまぶた [matamabuta]【名詞】想像以上に多い分け前。【例】きゅーぬばが　ばきだまー　またまぶた（今日の私の分け前は想像以上に多い）。［変異］まだまぶた。

またんまが [matammaga]【名詞】ひ孫。【例】またんまがー　かなすかいばならん（ひ孫は可愛くてしかたがない）。

まつ [matsɨ] ①【動詞】［c/t 語幹］［C］時間が来るまで場所を動かずにいる、時間が来るのを待つ、（人を）待つ。【例】んなまー　ひーちゃがま　まてぃ（ちょっと待てよ［言葉を思い出すときなどに言う］）。うまん　まちうき（ここで待っていろ）。さんじたーひー　まつたい（三時まで待った）。ばぬーぎゃー　まちゃだ　さつん　いき（私を待たないで先に行ってください）。ゆながいまちゅーそぅが　かりゃー　いつがみまい　くーん（長い間まっているが彼はいつまでも来ない）。っうぁー　いつまでぃまい　まちゃいん（お前のことをいつまでも待てない［＞（私は）お前のことをいつまでも待ってはいられない）。ばっそぅ　まつ（バスを待つ）。かいが　ふーきゃたーひー　まちゃでぃ（彼が来るまで待とう）。②【動詞】［c/t

語幹］［C］（動詞基本形＋「むぬー」について「～するのを」）待つ。【例】みどぅんぬ　ふーむぬー　まつはてぃらいん（妻が来るのを待ちあぐねる）。かりゃー　あみぬ　やんむぬー　まちゃだ　いでぃーはりーにゃーん（彼は雨が止むのを待たずに出かけた）。かいが　むぬいゆ　あいむぬー　まつ（彼がものを言うのを待つ）。

まつ [matsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（水を）まく；（植物に）水をやる；（穀物等の種を）まく。【例】みなかんかい　みっじゅ　まつ（庭に水をまく）。みなかぬ　きーんかい　みっじゅ　まき（庭の木に水をやれ）。むぬだにゅー　まつ（穀物の種を蒔く）。［変異］まふ。

まつ [matsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（網などを）巻き取る；（ひもなどを）ねじり合わせて編む；（ねじなどを）巻く。【例】あんぬ　まき（網を巻きとれ）。うぶんˀなう　まつ（錨の綱をよって作る）。［変異］まふ。

まつー [matsɨ:]【動詞】［vv 語幹幹］［A］（糸などが）絡みあう、もつれる。［類］まつっづぃ、まつっだい。

まつぎ [matsɨgi]【名詞】［C］まつ毛。【例】ながまつぎ（長いまつ毛）。ひとぅーぎゃー　まつぎぬ　すたからー　みーん（人を見下すな　［＜　人をまつ毛の下から見るな」）。かいが　まつぎんな　つまよーじまい　ぬーいどぅす（彼のまつ毛には爪楊枝も乗る）。

まつぎー [matsɨgi:]【名詞】松の木。【例】まつぎーたむぬ（松の木の薪）。んきゃーんな　まつぎーひーどぅ　やーぬ　ゆかう　ちゅっふゅーたい（昔は松の木で家の床を作っていた）。

まっこー [makko:]【名詞】〖植〗ハリツルマサキ、鑑賞用の低木。【例】きつぎ　まっこーぎーゆ　みなかん　いびー（きれいなハリツルマサキを庭に植える）。まっこーうや（まっこーを取ってきて売って歩く人）。［類］まっこーぎー。

まっこー [makko:]【名詞】面と向かってはっきりということ、直接。【例】まっこーから　あいや　あたらんてぃー　あい（面と向かってそれは間違っていると言う）。あいや　みそぅかむぬいや　ほぅだ　まっこーん　あっじ（そんなふうにひそひそと話をせずに、直接言ってやれ）。

まっさーら [massa:ra] ①【名詞】真っ白。【例】かびーや　むいとぅ　まっさーら（紙はとても真っ白だ）。②【形容詞】真っ白だ、真っ白な。【例】ういがどぅ　まっさーらかい（こっちのほうが真っ白だ）。

まっず [mazzɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［C］混ぜる。【例】とぅぬかとぅ　みりきんくーゆ　まっでぃる（卵とメリケン粉を混ぜろ）。［類］まっでぃ、まんき、まんつ。

まっちゃ [mattɕa] 【名詞】［B］商店。【例】まっちゃー　まいがまん　あい（店はすぐ近くにある）。すきゃーりまっちゃ（ごちゃごちゃした商店）。

まつっづい [matsɨvvi] 【動詞】［母音語幹］（糸などが）絡みあう、もつれる。【例】いとぅー　まつっづぃーにゃーん（糸は絡んでしまった）。てぃぐすいぬ　まつっづゅーば　はなひー　ふぃーる（釣り糸が絡まったからほどいてくれ）。［類］まつー、まつっだい。

まつっだい [matsɨddai] 【動詞】［r/rr語幹］（糸などが）絡みあう、もつれる。［類］まつー、まつっづい。

まっでぃ [maddi] 【動詞】［母音語幹］［C］混ぜる。【例】さきんかい　ぶーどぅるー　まっでぃー　みるくじゃきゅー　ちゅっふぃ（酒に練乳を混ぜてミルク酒を作れ）。［類］まんき、まんつ、まっず。

まつぬみん [matsɨnumin] 【名詞】松茸（マツタケ）。【例】まつぬみん　とぅいが　ぬーだんかい　いつ（松茸を取りにヌーダに行く［ヌーダは地名。ヌー（野）タ（田）の意味］）。

まっふぁ [maffa] 【名詞】［B］枕。【例】たかまっふぁ（高い枕）。んきゃーんな　まっふぁー　にゃーっだん（昔は枕はなかった）。

まてぃ [mati] 【接尾辞】尊敬の動詞接辞「まい」の依頼形。子音語幹動詞の未然形に付く。母音語幹動詞では、「さまてぃ」。【例】みゃらまてぃ（お召し上がりください）。うまん　びじゃまてぃ（ここお座りください）。

まとぅ [matu] ①【名詞】［C］的、目当て。【例】んじゃんかい　いつかたー　にゃーだ　まとぅー　にゃーだ　ふにゅー　いだす（どこにいくあてもなく船を出す［＜いく場所もなく、目当てもなく］）。うまぬ　まとぅんかい　たみーみーる（この的にあててみろ）。②【名詞】［C］頼り。【例】ばー　っづぁうどぅ　まとぅー　ほぅー（私はあなたを頼りにしている）。っふぁんみぬどぅ　ばが　まとぅ（子供たちが私の頼りだ）。んまがぬ　はたらっちゃ　まとぅー　ひらいん（孫の働きは期待できない）。

まどぅ [madu] 【名詞】［C］（なにかをするための）時間；（することがなくて）暇だ。【例】きゅーや　なうちゅんま　まどぅー　にゃーん（今日はぜんぜん暇はない）。きゅーや　あみゃー　っふぃー　まどぅ（今日は雨が降って暇だ）。

まどぅ [madu] 【名詞】［C］普段。【例】かりゃー　まどぅからどぅ　やなくんじゃう（彼は普段から根性がわるい）。まどぅんな　はいぬ　すかまうどぅあす（普段は畑仕事をする）。

まどぅづぁい [maduvai] 【名詞】間食、間食すること。【例】まどぅづぁ

いゆ　とぅい（間食を摂る）。まどぅづぁい　あすてぃがー　っふぁいどぅす（間食すると太る）。まどぅづぁいむぬ（間食）。［変異］まどぅばい。

まどぅばんまい [madubammai]【名詞】間食。

まとぅんかでぃ [matuŋkadi]【名詞】順風、追い風。　【例】ふにゃー　まとぅんかじゃー　うきー　やぐみ　はーむぬ（舟は順風を受けてとても速い）。

まない [manai]【形容詞】［C］おとなしい、優しい。【例】かいが　ぶとぅー　やぐみ　まない　じゃうびとぅ（彼女の旦那はおとなしくていい人だ）。っざー　ういびとぅん　なりー　ひっちゃがま　まないふ　なりーゆー（父は年をとって、すこし優しくなった）。

まないん [manain]【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に［「まないんてぃー」も可］。【例】まないん　とぅず　っふぁうぎゃー　みばからだかー（ちゃんと　妻子は養わないと（いけない））。まないんてぃー　かたなうぎゃー　つかい（気をつけて包丁を使いなさい）。っさー　きらはんやうんてぃー　やらびゅーぎゃー　まないんてぃー　みーる（つまづかないように［つまづかせないように］子供は注意してみなさい）。

まながぬ [managanu]【形容詞】真面目な、ちゃんとした。【例】ぶとぅーぎゃー　まながぬ　びぎどぅんぬ　とぅみる（夫にはちゃんとした男性を探せ）。［類］まさがぬ、まさぎぬ、まさぐぬ。

まながん [managan]【副詞】ちゃんと、きちんと、しっかりと、気を付けて、正確に［「まながんてぃー」も可］。【例】うぬ　まかいゆぎゃー　まながん　ゆすぎ（このお椀はちゃんとゆすぎなさい）。むぬーぎゃー　まながん　ふぁい（食事はきちんと食べなさい）。［類］まさがん、まさぐん、まさぎん。

まなぎん [managin]【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に［「まなぎんてぃー」も可］。【例】すかまうぎゃー　まなぎん　あっそぅ（仕事はちゃんとやりなさい）。［類］まさがん、まさぎん、まさぐん、まながん、まなぎん、まなぐん。

まなぐん [managun]【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に［「まなぐんてぃー」も可］。【例】むぬーぎゃー　まなぐんてぃー　ふぁい（ご飯はちゃんと行儀よく食べなさい）。まなぐん　びじ（ちゃんと座れ）。［類］まさがんてぃー、まさぎんてぃー、まさぐんてぃー、まながんてぃー、まなぎんてぃー。

まなちゃ [manatɕa]【名詞】［B］まな板。　【例】まなちゃうぎゃー　つかうてぃがー　あらい（まな板は使ったら洗え）。

まなや [manaja]【名詞】［C］可愛い子供；おばあさんなどが孫に声をかける

ときの呼びかけのことば。【例】まなや、ぱーが　まいんかい　くー（いいこちゃん、おばあちゃんのところにおいで）。

まに [mani]【名詞】[B] 畝（うね）。【例】ぶーっじゅぎゃー　まにゃー　あぎどぅ　いびー（サトウキビは畝をあげて植える）。

まびつ [mabitsɨ] ①【動詞】[k 語幹] [C]（密生した作物を）間引く。【例】きゅーや　あかふにゅー　まびかだかー　ならん（今日はニンジンを間引かないといけない）。[変異] まびふ。②【名詞】[C] 間引くこと。【例】あーゆ　まびつ　あす（（密生した）粟を間引きする）。[変異] まびふ。

まびとぅ [mabitu]【名詞】[C] 3 歳以上のこども［昔は 3 歳までに死ぬ子供が多かった］。【例】やらびゃー　んめ　まびとぅん　なりーにゃーん（子供はやっと（生き延びて）三歳以上になった）。[類] まーにんぎん。

まふ [mafu]【動詞】[k 語幹] [A]（煙などが）立ち込める、充満する。【例】うまんな　たばくぬ　きゅーすぬどぅ　まきゅー（ここには　たばこの煙が充満している）。[変異] まつ。

まふ [mafu]【動詞】[k 語幹] [A]（網などを）巻き取る；（ひもなどを）ねじり合わせて編む；（ねじなどを）巻く。【例】あんぬ　まき（網を巻きとれ）。とけーぬ　にじゅー　まつ（時計のねじを巻く）。[変異] まつ。

まぶゆ [mabuju]【名詞】[B]〖魚〗テングハギ。【例】まぶゆぬ　っぞぅなます（てんぐはぎの刺身）。

ままーい [mama:i]【名詞】周辺、近い人間関係。【例】うまぬ　ままーいゆ　とぅみる（そこの周辺を探せ）。まーにゃー　なかまうたきぬ　ままーいんどぅ　あい（黒つぐは仲間御嶽の周りにある）。ばが　やーぬ　ままーいんな　びょーいんな　にゃーん（私の家の近くには病院はない）。ばが　ままーいんな　いしゃー　みーん（私の知り合いには医者はいない）。

ままさ [mamasa]【名詞】[C] 継父。【例】ままさうぎゃー　みっふぁかいば　みーたっふぁにゃーん（継父は嫌いだから見たくない）。[類] ままさっざ。

ままさっざ [mamasazza]【名詞】継父。［類］ままさ。

ままみ [mamami]【名詞】[A] 枝豆の一種。

まみ [mami]【動詞】[母音語幹] [A]（薬を）塗る。【例】ふがさんかい　っそぅいゆ　まみる（おできに薬を塗れ）。ぱーや　あかんかい　わーぬ　あっうぁう　まみー（おばあさんは髪に豚の油をつける［豚の油を整髪料として使うこともあった］）。

まみ [mami]【名詞】[B] 腎臓。 【例】ひんじゃぬ　まみ（ヤギの腎臓）。

まみ [mami]【名詞】[B] 豆、特にあずき、大豆のことを言う。 【例】だいずまみ（大豆）。まみゅー　ひきー　たうふー　ちゅふー（大豆をひいて豆腐を作る）。まみそぅいまい（あずきご飯のおにぎり）。

まみく [mamiku]【名詞】[C] きなこ[大豆を煎って焦がし臼でひいて粉にしたもの。これに砂糖を入れて食べる。菓子の材料としても用いる]。【例】まみゃー　いーきー　まみくー　ちゅふー（大豆を煎ってきなこをつくる）。[変異] まみぐ。

まみそぅいまい [mamisuimai]【名詞】小豆ご飯、赤飯、普通おにぎりにして食べる。 【例】さうがつんな　まみそぅいまいゆ　ふぁう（正月には赤飯のおにぎりを食べる）。

まみっじゃにゃーだ [mamiʑʑan-ja:da]【成句】どれもこれも、誰もかれも；区別ができないで。 【例】うまんいだはいゆー　むぬーぎゃー　まみっじゃにゃーだ　ふぁい（ここにだされているたべものをどれもこれもみんな食べなさい）。かぬきゃが　はだぬひとぅんみゃー　たうかー　ぬくらだまみっじゃにゃーだ　せんそーんすにー　はりーにゃーん（彼等の年頃の人たちは一人残らず誰もかれも戦争で亡くなってしまった）。うるーまいかるーまい　まみっじゃにゃーだ　っじる（それもこれもみんな貰いなさい）。いらばだ　まみっじゃにゃーだ　とぅい（選ばないで全て取れ）。やまとぅぬ　にんぎんみゃー　っぞぬ　なーゆぎゃー　まみっじゃにゃーだ　っさん（県外の人間は魚の名前は区別がつかない）。

まみっじゃにゃーん [mamiʑʑan-ja:n] ①【成句】（どれもこれも、誰もかれも）区別ができない。 【例】くぬいぬ　かしゅんみゃー　たるがたるがから　まみっじゃにゃーん（最近の歌手たちは誰が誰やら区別がつかない）。ういまい　くいまい　まみじゃにゃーんばかーい　じゃうとぅー　やいば　ふぁい（これもそれも　どれも（区別ができないくらい）おいしいから　食べなさい）。②【成句】（人や場面に合わせて）加減できない。【例】まみっじゃにゃーんんまり（手加減を知らない奴）。

まみな [mamina]【名詞】[C] モヤシ。 【例】まみなう　ふぁう（もやしを食べる）。

まみふー [mamifu:]【動詞】[f/ff 語幹] 勝負する、勝つ、かなう　[「全然かなわない」という意味で否定形で使われることが多い]。【例】ばぬんかい　まみっふぃーみーる（俺に挑戦してみろ）。ばー　はーさにゃーや　かいんな　まみっふぁん（私は、競走は彼には全然かなわない）。っづぁー　ばぬんかいや

まみっふぁん（あなたは私にはかなわないよ）。［類］まみっふぃ。

まみまーらしゃ [mamima:raça]【名詞】〖鳥〗ツバメ。【例】まみまーらしゃぬ　みーらいゆーば　まみまいとぅい　ずぶん（ツバメが渡ってくる頃なので小豆を収穫する時分になっている［秋の初め、十五夜のころ］）。

まむちゃ [mamutça]【名詞】［C］きれいにたたむこと。【例】つんな　はっでぃー　まむちゃー　ひー　うっきゅーたい（着物を脱いできちんとたたんで置いていた）。

まゆ [maju]【名詞】［B］猫。【例】まゆー　ゆむぬーどぅ　とぅい（猫は鼠をとる）。まゆー　つかなう（猫を飼う）。からぱいまゆがま（灰のついた猫　［古謡「池間ぬ主」から］）。

まゆ [maju]【名詞】［B］眉毛。［類］まゆぎー。

まゆぎー [majugi:]【名詞】眉毛。【例】ういびとぅ　なりー　まゆぎーまい　っそぅふ　なりーどぅ（年取って眉毛も白くなっている）。［類］まゆ。

まゆずきゃふ [majuzikjafu]①【名詞】〖鳥〗カモメ。［類］つきゃふ。②【名詞】不美人。【例】かぬ　みどぅんなむいとぅぬ　まゆずきゃふ（あの女はとても不美人だ）。［類］んずぎ。

まら [mara]【名詞】［B］男根、おちんちん。【例】まらぬどぅ　ういゆー（男根がかたくなっている）。あさまら（朝の勃起した男根）。

まらういかびっちゃ [marauik-abittça]【名詞】〖魚〗ツノダシ。【例】まらういかびっちゃー　きつぎむぬがま（ツノダシはとてもきれいだ）。

まらちゃー [maratça:]【名詞】男根を合わすこと、仲のいい男同士の友達の形容。【例】かにとぅ　まさいや　まらちゃーあぐ（カニとマサイはとても仲が良い子供の時からの親友だ）。

まり [mari]【名詞】［A］稀（まれ）。【例】うらー　まりんどぅ　あい（それは稀にある）。

まる [maru]【形容詞】［A］（ものの長さが）短い；（時間が）短い。【例】まるんぬつ（短い命）。うぬ　くばずーぬん゜なー　まるかいば　みっじゃ　ん゜まいん（この釣瓶の縄は短いので水が汲めない）。くぬいぬ　しょーがっこーぬ　やすみじかんな　まるかいば　あそぅばいん（最近の小学校の休み時間は短いので遊べない）。

まるた [maruta]【名詞】［A］丸太。【例】まるたひー　やーゆ　ふつ（丸太で家を建てる）。

まるふ [marufu]【動詞】［k 語幹］［A］（縄で）縛る、まとめる、丸める、（網の口を）とじる。【例】っぅぁうぎゃーむぬいゆ　つかだかー　まるかっどー（お前は言うことを聞かないと縛り

あげるぞ)。ぐんな　せんぎばかーい　はいりゅーば、じょ　あんな　たっうぃー　まるかでぃ（むろあじは千斤くらいはいったので、網を引きよせて（網の）口を閉じよう［１斤＝６００グラム、「グン」は「ムッル」の成魚になったもの］)。ひんじゃう　まるき（ヤギの（足を）しばれ)。ひんじゃぬ　はっじゅ　まるふ（山羊の足を縛る)。ぶーっじゅ　まるふ（サトウキビを束ねる)。［変異］まるつ。［類］すまい。

まるん [marun]【動詞】［m 語幹］［A］（ものを）丸める；（髪を）丸く結う；（人を）丸め込む。　【例】かびーゆ　まるみー　すてぃたい（紙を丸めて捨てた)。あかう　まるん（髪を丸く結う)。ひとぅーぎゃー　まるまん（人を丸め込まない［＞丸め込んではいけない］)。

まるんぬつ [marunnutsɨ]【形容詞】短命だ。【例】さきぬん　たばくふつ　ひとぅんみゃー　まるんぬつむぬ（酒飲みで喫煙者は短命だ)。

まんき [maŋki]【動詞】［母音語幹］［C］混ぜる。　【例】うぬきゃが　ふたーっちゅ　まんきる（その二つを混ぜなさい)。［類］まんつ、まっでぃ、まっず。

まんず [manzɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［A］（物が表面に）飛び出る、（ものが収まりきらずに）はみでる。　【例】やいー　ほぅにゃー　まんでぃー　どぅーい（痩せて骨が飛び出ている)。［変異］まんっず。［類］まんでぃ、とぅんでぃ。

まんちゃー [mantça:]【名詞】ごったまぜ；異なる系統（人種など）の両親を持つ子供。　【例】まいゆまい　おかっじゅまい　まんちゃーや　ひー　ふぁい（ご飯もおかずもごったまぜして食べなさい)。

まんちゃー　かんちゃー [mantça: kantça:]【名詞】ごちゃまぜにすること。　［類］まんちゃー　くんちゃー。

まんちゃー　くんちゃー [mantça: kuntça:]【名詞】ごちゃまぜにすること。　［類］まんちゃー　かんちゃー。

まんちゅー [mantçu:]【名詞】パパイヤ、パパイヤの実。【例】うまんな　んみまいぬ　まんちゅーゆ　ふぁう（ここでは熟れる前のパパイヤを（野菜として）食べる)。まんちゅーや　まんやいば　んつきぬ　すたん　ういてぃがー　すずうす　あすちゃ（パパイヤは万だから［＞パパイヤは万の力があるから］、軒下に植えると家系が絶えるんだって［昔は家の近くには木を植えないほうがいいという生活の知恵があったようである。さらに「まんちゅー」の「まん」と「まんやいば」の「まん」との掛詞、「んつき」が「軒下」と「おさえつける」という意味上の掛詞、また「すず」「うす」「あす」で脚韻をふんでいる］)。［変異］まんじゅー。

まんちゅーぎー [mantçu:gi:]【名詞】パパイヤの木。　【例】んつきぬ　すたぬ　まんちゅーぎーゆぎゃー　っ

ちゅひー　すてぃる（軒下のパパイヤの木は倒してしまえ）。［変異］まんじゅーぎー。

まんつ [mantsɨ]【動詞】［A］混ぜる。［類］まんき、まっでぃ、まっず。

まんっず [manzzɨ]【動詞】（物が表面に）飛び出る、（ものが収まりきらずに）はみでる。［変異］まんず。［類］まんでぃ、とぅんでぃ。

まんでぃ [mandi]【動詞】［母音語幹］［A］（物が表面に）飛び出る、（ものが収まりきらずに）はみでる。【例】やどぅから　かにふずぬどぅ　まんじゅー（戸から釘が突きでている）。はいぬんなかんな　ほぅいすぬどぅ　まんでぃーゆー（畑の真ん中には大岩が飛び出ている）。っうぁが　わいしゃっちゃ　まんじゅーば　なかんかい　いりる（ワイシャツがはみ出てるので中に入れろ）。ぶーっじゅぎゃー　とらっくんかいや　まんじゃはだ　つみ（サトウキビは、はみださないようにトラックに積め）。［類］まんず、とぅんでぃ。

み

みー [mi:] ①【動詞】[母音語幹] [C]（目で）見る。 【例】からー　いつまいてぃんぬ　ほぅっそぅ　みー（彼はいつも空の星を見る）。かいが　すかまー　みーちゃぎかいば　みーらいん（彼の仕事はなってないので見るに耐えない）。かりゃー　つむでぃてぃがー　まいゆぎゃー　みーん（彼はいったん怒ったら手が付けられない［＜前を見ない］）。ふにゃー　みーらいだ　んぎーにゃーん（船は見えなくなった）。ぶーっじゃ　ぬそぅみー　てぃびゅーぎゃー　まーりや　みーだ　ちゃー　ひんず（サトウキビを盗んで後ろを振り返ることなく一目散に逃げる）。②【動詞】[母音語幹] [C]（子供や老人などを）世話する、見守る。【例】ういびとぅー　みー（老人の面倒を見る）。[類] みばかい。③【動詞】[母音語幹] [C]（否定の形で、生き物が）いない；所有していない　[「うらん」と同義]。【例】んきゃーんな　うまなぎんな　まゆー　みーっだん（むかしはここらへんには猫はいなかった）。ばー　みどぅんな　みーん（私は妻はいない）。ばが　ままーいんな　いしゃー　みーん（私の知り合いには医者はいない）。

みー [mi:] 【補助動詞】（動詞連用形について）～てみる　[～みーみー（～てみてみる）のように重ねて使うこともある]。【例】どぅんびゃう　みーみーぶすむぬ（マグロの大群を見てみたい）。うぐなーいんかい　いきーみーてぃがー　たるまい　みーっだん（集まりに行ってみたらだれもいなかった）。うるー　ふぁいみーみーる（これを食べてみろ）。くぬ　むぬいゆ　あっじーみーみーる（この単語を言ってみてくれ）。あーぐー　あっじーみーみーる（歌を歌ってみろ）。ひとぅかいま　いじゃいみーみーでぃ（一度会ってみようか）。

みー [mi:] 【名詞】[B]（貝などの）身。【例】さぐなぬ　みーや　まーぬ　んまっふぁにゃーん（ほら貝の身はあまりおいしくない）。やいがんな　みーや　にゃーん（やせた蟹（かに）には中身はない）。

みー [mi:] 【名詞】[B]（失敗の）穴埋め、（欠損の）穴埋め。 【例】ういがみーや　っふぁはいん（その穴埋めはできない）。

みー [mi:]【名詞】［B］目。【例】ほぅみー（大きな目）。みーや　ほぅらかだばらう（目は開けないで笑う［＞あまりの嬉しさで笑うこと］）。みーや　にゃーんきゃ　ばらいーにゃーん（目がなくなるほど笑った［＞沢山笑った］）。

みー [mi:]【名詞】［B］使い物（にならない）。【例】うらー　なうぬ　みーんな　ならん（それは何の役にも立たない）。っうぁが　でぃんぬ　はーさ　あいたんてぃー　うらー　ばぬんな　なうぬ　みーんまい　ならん（あなたがお金が沢山あったとしてもしても私にとっては何の役にも立たない）。

みー [mi:]【形容詞】［B］新しい。【例】みーやー（新築の家）。みーぐるま（新車）。みーずん（新しい着物）。くいがどぅ　んながーんな　みーかい（これが一番新しい）。

みー [mi:]【接頭辞】メスの。【例】みーうす（牝牛）。みーどぅい（めんどり）。みーぬーま（雌（めす）馬）。みーひんじゃ（雌（めす）山羊）。

みー　つつんく [mi: tsɨtsɨŋku]【成句】落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること　［「みーや/みーぬ　つつんく」なども可］。【例】やらびゃー　みーや　つつんくん　なりー　んまう　とぅみーまーりゅー（子供は右往左往して母親を探し回っている）。［変異］みーつつんつ、みーつつんふ。

みーい [mi:i]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（女性らしく）成熟する、女らしい体つきになっている。　［類］みっり。

みーか [mi:ka]【名詞】［A］〖数詞〗三日。

みーかいす [mi:kaisɨ]【動詞】［s/h 語幹］見返す。【例】うやきんなりーかりゅーぎゃー　みーかいはでぃ（金持ちになって彼を見返してやる）。［変異］みかいす。

みーがしー [mi:gaɕi:]【成句】（家の修理の時などに）本当に手伝うのではなく、見ているだけで手伝っているのだとすること（あるいは言うこと）。

みーかない [mi:kanai]【名詞】おととい、一昨日　［「今日」から数えると三日前なので、「みー」になる］。

みーかない [mi:kanai]【名詞】目のいい人。

みーがまくーがま [mi:ga-maku:gama]【副詞】くまなく。【例】やーぬかぎゃー　みーがまくーがまとぅみたいそぅが　なうちゅんま　とぅみらいん（家の鍵はくまなく探したが全く見つからない）。［類］いーがまくーがま。

みーさみー [mi:sami:]【名詞】見下すこと。【例】きばんてぃー　みーさみー　あすな（貧乏だと言って見下すな）。［類］いみさみー。

みーそぅい [mi:sui]【成句】［r/rr 語幹］眼光鋭い　［「みーや　そぅい/みーぬ　そぅい」も可］。【例】じゅーどーぬ　せんしゅー　いつまい　みーや　そぅりーどぅーい（柔道の選手はいつも眼光が鋭い）。

みーたう [mi:tau]【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。［類］みーとぅ、みーはー。

みーだつ [mi:datsɨ]【名詞】独身女性　［独身男性は「びきだつ」と言う］。【例】ながみーだつ（年齢の高い独身女性）。

みーちゃぎ [mi:tɕagi]【形容詞】（顔かたち、服装などの）見た目が悪い、（仕事などの）見栄えが悪い、（食べ物などの）見た目が悪い；（言葉が）適切でない。【例】からー　いつまい　やりずんな　っちー　みーちゃぎかいば　ならん（彼はいつもぼろ服を着ていて、とても見苦しい）。かいが　すかまー　みーちゃぎかいば　みーらいん（彼の仕事は見るに耐えない）。うぬ　むぬー　みーちゃぎあたいそぅがどぅ　ふぁうてぃがー　んまい　あたい（その食べ物は見た目は悪かったけれど食べたらうまかった）。かりゃー　いつまい　ひとぅんかい　うっさひー　ひんぎーはい　みーちゃぎんまり（彼はいつも人のせいにしてにげていく卑怯者だ）。あいぬ　みーちゃぎ　むぬいゆぎゃーほぅん（そんな下品な言い方をしてはいけない）。

みーつ [mi:tsɨ]【名詞】［A］〖数詞〗三つ。

みーつき [mi:tsɨki]【動詞】［母音語幹］（人が別の人に）目をつける、（人やものを）凝視する、（けんか相手などを）にらみつけ、（恋人が相手を）見つめる。【例】っざー　っふぁう　みーつきー　んみきゅー（お父さんは子供をにらみつけて叱っている）。［類］みーつふ、みーつつ。

みーつつ [mi:tsɨtsɨ]【動詞】［k 語幹］（人が別の人に）目をつける、（人やものを）凝視する、（けんか相手などを）にらみつけ、（恋人が相手を）見つめる。【例】むぬいゆぎゃー　つかん　やらびゅー　みーつきー　うたい（言うことを聞かな子供をにらみつけていた）。みどぅんな　ならが　かなす　ぶとぅー　みーつきーうたい（妻は自分のいとおしい夫を見つめていた）。［変異］みーつふ。［類］みーつき。

みーつない　やらび [mi:tsɨnai jarabi]【成句】若輩者、仕事のできない大人［＜3 歳になる子供］。【例】ばー　んなーぎゃー　なうや　っさん　みーつない　やらび（私はまだまだ何も知らない未熟者だ）。

みーつふ [mi:tsɨfu]【動詞】［k 語幹］（人が別の人に）目をつける、（人やものを）凝視する、にらむ、（人を）見つ

める。 【例】ぎずぎゃうなー しーしーん みーつかいーにゃーん（腕白坊主は先生に目をつけられた）。あいや ひとぅーぎゃー みーつかん（そんなに人をにらみつけない）。ばー きーぬ はなぬ たかう みーつきゅーたい（私は木の上のサシバを凝視した）。っづぁー みがうどぅ むいとぅ みーつきゅーたいだら（お前はミガをじっと見つめてただろう）。［変異］みーつつ。［類］みーつき。

みーつむぬ [mi:tsɨmunu]【名詞】目に入ったゴミ。 【例】みーんかいどぅ みーつむぬぬ はいりー にゃーんば なんみーふぃーる（目にゴミがはいってしまってなめて（とって）ください）。

みーてぃない [mi:tinai]【名詞】おととし、一昨年、2 年前［「今年」から数えると三年前なので、「みー」になる］。

みーとぅ [mi:tu]【名詞】［C］外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。 【例】かりゃー いつまい やりずんな っちー みーとぅんな にゃーん （彼はいつも古い服を着て見た目が悪い）。かいが ぶどぅいや みーとぅー にゃーん（彼・彼女の踊りはさまになっていない）。［変異］みーとぅー。［類］みーたう、みーはー。

みーな [mi:na]【名詞】［A］韮（にら）。 【例】みーなとぅ まみなう いたみー（にらをもやしと炒める）。みーなう いびー（ニラを植える）。

みーぬ すたみー [mi:nu sɨtami:]【成句】見下すこと、蔑視、軽視。 【例】ひとぅーぎゃー みーぬ すたみーゆぎゃー ほぅん（人を見下してはいけない）。

みーぬっふぁ [mi:nuffa]【名詞】瞳。 【例】っづぁが みーぬっふぁんかい うんそぅく ほぅりーゆー（君の瞳にとても魅了された）。っづぁ みーぬっふぁう いつまい みーみーぶすむぬ（君の瞳をいつも見つめていたい）。みーぬっふぁぬ っふかいきゃー わいてぃー かなーだかー ならん（瞳が黒い間は頑張って働かないといけない）。

みーはー [mi:ha:]【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。 【例】あてぃ ばかすかいば みーはーや にゃーん（とても恥かしくてあわせる顔がない）。うぬ つんな みーはーや にゃーんば うりゅーぎゃー っちゃだうり（この服は見た目が悪いから着るな）。ひとぅぬ みーはーまい にゃーん（世間体が悪い）。［類］みーたう、みーとぅ。

みーばらーしゃ [mi:bara:ɕa]【名詞】目元が涼しくて笑顔がきれいな人。 【例】からー いつまい みーばらーしゃがま（彼・彼女はいつも笑顔がきれいだ）。

みーはん　かーはん [mi:han ka:han]【副詞】何でもかんでも、めくらめっぽう、手当たり次第、何でもかんでも。【例】みーはん　かーはん　まかいゆ　ばい（手当たり次第に茶碗を割る）。［類］みっふぁかっふぁ。

みーぷかい [mi:pukai]【形容詞】（光などが）まぶしい。【例】っふぁ　あなから　いでぃってぃ　みーてぃがー　みー　ぷかいかいば　ならん（暗い穴からでてきたものだからまぶしくてしかたない）。［類］みーぷたい。

みーぶた [mi:buta]【形容詞】見た目より中身が多いこと。【例】うぬ　っぞぅー　いみむぬがま　やいそぅが　みーぶたむぬ（この魚は小さいけれど中身は多い）。やまー　にゃーん　すまー　みーぶたすま（山のない島はなかみが多い［＞畑がたくさん作れる］）。

みーぷたい [mi:putai]【形容詞】（光などが）まぶしい。【例】きゅーぬ　てぃだー　みーぷたいかいば　ならん（今日の太陽はまぶしくてならない）。［類］みーぷかい。

みーまーい [mi:ma:i]【動詞】［r/rr 語幹］見て回る。【例】かでぃふつぬ　あとぅぬ　はいぬ　ぶーっじゅ　みーまーい（台風の後の畑のサトウキビを見て回る）。

みーまーい [mi:ma:i]【名詞】目が回ること、目がくらむこと。【例】っざん　ぐるみきまーはい　みーまーい　ひーうたい（お父さんにぐるぐる回されて目が回った）。みーまーいや　ひー　いじゃどぅ　いじゃががら　さだかーひらいん（目がくらんでどこがどこだか分からない）。

みーや　にゃーん [mi:ja nja:n]【成句】目がなくなる［笑い顔を誇張した言い方］。【例】みーや　にゃーんきゃ　ばらいーにゃーん（沢山笑った［＜目がなくなるほど沢山笑った］）。

みーや　ほぅらかんばかーい [mi:ja hurakambaka:i]【成句】目が開かないくらい、程度がはなはだしい様子をあらわす。【例】みーや　ほぅらかん　ばかーい　がーりー　まーりー　うたい（まぶしいくらいきれいに［（あるいは）目も当てられないくらいはでに］着飾って歩き回っていた）。みーや　ほぅらかんばかーい　ばらいーにゃーん（目が開かなくなるほど笑った［これ以上笑えないほど笑った］）。

みか [mika]【名詞】［C］こめかみ。【例】やいぬーまー　みかぬどぅ　ふぐみゅー（痩せた馬はこめかみがへっこんでいる）。

みが [miga]【名詞】［C］女性のこと、女性の名前によくつかわれる　［ミガガマ、ユヌスミガ、カナスミガ、カニミガ、ジャンミガ、ウツミガ、などがある］。

みがー [miga:]【名詞】［B］瞼（まぶた）。【例】かやばたん　みがーや　さ

さいーにゃーん（小さい蜂にまぶたを刺された）。

みがに [migani]【名詞】［C］眼鏡、水中メガネ。 【例】みがにゃー みーんな あーんば みーむぬー かーでぃ（眼鏡があってないので新しいのを買おう）。みがにまーいゆ いなうん あす（素潜り漁を内海でする）。

みがにまーい [miganima꞉i]【名詞】素潜り漁。【例】きゅーや みがにまーいや ひー たくとぅらでぃ（今日は素潜り漁でタコを取ろう）。みがにまーいや ひー っぞぅー つかでぃ（素潜りで魚を突こう）。

みがふ [migafu]【動詞】［k 語幹］［C］磨く。【例】くっちゅ みがかでぃ（靴を磨こう）。はーゆ みがふ（歯を磨く）。［変異］みがつ。

みくん [mikun]①【名詞】［C］計画、将来性。 【例】すかまうぎゃー みくんな たてぃー あっそぅ（仕事は計画を立ててやりなさい）。っうぁが んなまぬ すかまー なうぬ みくんな にゃーん（あなたのいまの仕事は何の将来性もない）。［類］みくんさー。②【形容詞】［C］計画性がある、見通しがある、先を読む力がある［先を読みすぎて投機的だという悪い意味になることもある］。【例】からー みくんかい びとぅ（彼は見通しのある人だ）。っうぁー かいが みくんさーや にゃーん（あなたは彼のような先見の明がない）。

みくんさ [mikunsa]【名詞】計画性、先見の明。 ［変異］みくんさー。［類］みくん。

みくんじゅー [mikunʑu꞉]①【名詞】計画性、先を読む力；先見の明があること。 【例】からー みくんじゅー やいば かぶー ほぅんまい うどぅつてぃぬ くとぅー にゃーん（彼は先を読む力があるので、株をやっても損することはない）。からー やぐみ みくんじゅー（彼は先を読む力がある）。②【形容詞】計画性がある、先を読む力がある；先見の明がある。【例】かいがどぅ ばぬんつきゃー みくんじゅーかい（彼のほうが私より先が読める）。

みざし [mizaʑi]【名詞】［C］琉球王朝時代の下級官僚、「池間の主」の下の地位。 【例】みざししゅーとぅや たきゃーあらん（目差主とは身分が違う［古謡「豆が花」から］）。

みさだみ [misadami]【名詞】見定め、目算。 【例】わーや なんきん あいがてぃー みさだみ あっそぅ（豚は何斤あるか見さだめなさい）。

みし [miʑi]【動詞】［母音語幹］［C］見せる。【例】しゃしんぬ みしー（写真を見せる）。っうぁが うぬ てぃがみゅー みしる（お前のその手紙を見せろ）。からー くぬいや みはなうぎゃー みしん（彼は最近顔を見せない）。

みじゃふ [miʑafu]【動詞】［k 語幹］

［C］目が覚める、起きる。 ［変異］みじゃつ。［類］みじゃん、みそぅい。

みじゃみ [miʑami] 【名詞】［A］目覚め、寝起き。 【例】くぬ やらびぬ みじゃみゃー いつまい にゅーたぎむぬ（この子の寝起きはいつも眠たそう）。［類］みそぅい。

みじゃん [miʑan] 【動詞】［m 語幹］［C］目が覚める、起きる。【例】やらびゃー みじゃみー どぅー（子供はもう起きている）。ばー きゅーや しゃーかぬ さんじんどぅ みじゃんたい（私は今日は夜中の３時に起きた）。［類］みじゃふ、みそぅい。

みじゅき [miʑuki] 【名詞】［C］魚の多い漁場 ［リーフとリーフの間の深み、魚の通り道でもある］。【例】っしん ばらじゃんぬ あす とぅきゃんな みじゅきぬ つぶん あんな はりゅーとぅいどぅ っぞぅーぎゃーがにー とぅい（リーフで追い込み漁をするとき瀬と瀬の間の深みの壺に網を張っていてそこに魚を追い込み巻き込んでとる）。じょー、きゅーや かまぬ みじゅきんきー、あんぬ はらでぃ（さあ、今日はあの漁場に行って網を張ろう）。

みじゅぬ [miʑunu] 【名詞】［C］〖魚〗イワシ。 【例】みじゅぬー あんかいがにー（イワシを網に追いこむ）。みじゅぬー いみ ほぅにがま たかいむぬ（イワシは小骨がたくさんある）。

みじゅら [miʑura] 【名詞】［C］〖魚〗浜辺にいる小魚、和名不明。【例】みじゅらー あながまー ほぅりー うい（ミジュラは小穴を掘ってそこにいる）。

みず [mizɨ] 【名詞】［B］水 ［お湯のこともさす］。【例】ひだがーぬ みっじゅ ぬん（ヒダガーの水を飲む）。みっじゅ んˀん（水を汲む）。はいんかい みっじゅ まつ（畑に水をまく）。ほぅにゃんかい みっじゅ ふぃー（大根に水をやる）。みっじゅ あっちゃす（お湯を沸かす）。うらー あつみず やいば まないんてぃー むち（それはお湯なので気を付けて持て）。あまみず（淡水）。ほぅそぅみず（海水）。

みずがーら [mizɨga:ra] 【名詞】大きな水流。 【例】あみゃー っふぃぬ あとぅぬ みずがーら（雨の後の大きな水流）。

みずがさ [mizɨgasa] 【名詞】水疱瘡、水痘。【例】やらびんどぅ みずがさぬ いじゅー（子供に水痘が出ている）。

みすかす [misɨkasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（隠された意図、嘘などを）見透かす。【例】っづぁが あっじゅー くとぅー みすかはいどぅー（あなたが言っていることは見透かされている）。

みずかに [mizɨkani] 【名詞】ガラス。【例】くぴんな みずかに（瓶はガラス（でできている））。

みすてぃ [misiti]【動詞】［母音語幹］［C］見捨てる。【例】うらー つむー にゃーんんまり やいば みすてぃる（彼は心のない奴だから見捨てろ）。

みずぬっぞぅ [mizɨnuzzu]【名詞】〖魚〗フナ。【例】みずぬっぞぅ とぅい うやがま（フナ取り専業のおじいさん）。［類］たーぬぞぅ。

みずばな [mizɨbana]【名詞】鼻水。【例】かじゃー ひきどぅ みずばなぬいじゅー（風邪ひいて鼻水が出ている）。［類］みずぱんだい。

みずぱんだい [mizɨpandai]【名詞】鼻水。［類］みずばな。

みずぶくい [mizɨbukui]【名詞】水でふやけていること；（水に浸かって）皮膚がふやけること。【例】みずぶくい ひーゆー まみひー たうふー ちゅっふ（水につけてふくれた豆で豆腐を作る）。ゆながい うーぎー みーきゃー みずぶくい ひーゆー（長時間泳いだので水でふやけた）。

みそぅ [misu]【名詞】［C］〖古語〗舟。【例】ふにがま、みそぅがま（小舟、小舟［古謡「唐人渡来」から］）。

みそぅい [misui]①【動詞】［r/rr 語幹］［C］目覚める、起きる。【例】んめ やらびゃー みそぅりーどぅーい（子供はもう目覚めている）。ばー はーひーから みそぅりーどぅー（私は早いうちから目覚めている）。やらびぬ みそぅりーや すぐ なつどぅす（（この）子は目が覚めたらすぐ泣くよ）。［類］みじゃん、みじゃふ。②【名詞】［C］目覚め、寝起き。【例】みそぅいじゃう やらび（寝起きのいい子）。みそぅいばい やらび（寝起きの悪い子）。

みそぅかむぬい [misukamunui]【名詞】ひそひそ話、秘密の話。【例】みどぅんみぬ みそぅかむぬいゆ ほぅー（女性達がひそひそ話をしている）。［変異］みすかむぬい。

みたまい [mitamai]【名詞】目が見えない人、盲人；もの探しのへたな人。【例】からー やみどぅ みたまいん なりーにゃーん（彼は病気で目が見えなくなってしまった）。みたまいんな にぐーや とぅみらいん（探し物下手にはシャコガイは見つけられない）。［類］みたまら、みっふぁ。

みたまら [mitamara]【名詞】目が見えない人、盲人；もの探しのへたな人。【例】おい みたまら、っづぁが とぅみゅー むぬー すぐ うまん あいさ（この物探しのへたっぴー、お前の探しているものはすぐそこにあるぞ）。［類］みたまい、みっふぁ。

みちゃーい [mitɕaːi]【名詞】〖数詞〗三人。

みっづぁい [mivvai]【名詞】家庭的で面倒見が良いこと。【例】ほぅゆがーぬ なかーにゃー やぐみ みっづ

ぁい　あい　みどぅん（ホゥユガーの次女はとても面倒見のよい女性だ）。

みつき [mitsiki]【動詞】[母音語幹][C] 睨む。【例】やらびゅー　たやん　みつきー（子供を強く睨む）。[類] みつつ。

みつず [mitsizi]【名詞】[A] 探すのが下手な人。【例】むいとぅぬ　みつずんまり（ほんとうに探すのがへたな奴だ）。[類] みたまい。

みつつ [mitsitsi]【動詞】[k 語幹][C] 睨む。[変異] みつふ。[類] みつき。

みつふ [mitsifu]【動詞】[k 語幹][C] 睨む。[変異] みつつ。[類] みつき。

みっふぁ [miffa]【名詞】[B] 盲目の人。【例】みっふぁんま（盲目のお母さん）。[類] みたまい、みたまら。

みっふぁ [miffa]【形容詞】[B]（人などが）嫌いだ、憎い、（他人を）差別をする。

みっふぁ　かっふぁ [miffa kaffa]【副詞】えり好みせず；めくらめっぽう、手当たり次第。【例】むぬぎゃー　いらばだ　みっふぁかっふぁ　ふぁい（食べ物はえり好みせず、何でも食べなさい）。あい　みっふぁかっふぁ　いっそぅ　てぃっづぁんまい　まとぅんかいや　あたらん（そんな風に手あたり次第石を投げても的には当たらない）。[類] みーはん　かーはん。

みっふぁさ [miffasa]【名詞】（人を）嫌うこと　[ペットなどにも使える]、憎しみ。【例】うぬ　みどぅんな　ひとぅー　みっふぁさ　あす　うむくとぅー　にゃーん　ひとぅ（この女性は人を嫌うことを知らない人）。たるーまい　みっふぁさ　ひーや　ならん（だれもきらってはいけない）。ばー　まさいゆーぎゃー　みっふぁさ（私はマサイは嫌いだ）。ばー　かいんかいや　んめ　みっふぁさまい　なうまい　にゃーん（わたしは彼女には憎しみもなにもない）。

みっふぁまーい [miffama:i]【名詞】立ち眩み。【例】みっふぁまーいぬ　ひーゆー（立ち眩みがしている）。みっふぁまーいやひー　がらてぃー　たうりーにゃーん（立眩みしてばたっと倒れた）。ばー　きゅーや　たちゃっでぃー　あすきゃー　みっふぁまーいや　ひーたういぎかたい（私は今日は立ち上がろうとしたらたちくらみがして、倒れそうになった）。

みっり [mirri]【動詞】[母音語幹][A]（女性らしく）成熟する、女らしい体つきになっている。【例】うぬ　みどぅんがまー　っちゃまりゅーががら　みっりーどぅー（その女の子は成熟してきているのか女らしい体つきになっている）。[類] みーい。

みとぅーす [mitu:si]【動詞】[s/h 語幹]（景色などを）見渡す；（人の性格

などを）見通す；（人や会社などの将来性を）見通す。【例】ゆーかーまたーひー　みとぅーはいどぅーい（遠くまで見渡せる）。っづぁが　つむぬ　なかぬ　わるだくみゃー　みとぅーはいどぅー（お前の心の中の悪だくみはお見通しだ）。かいが　かいしゃぬ　じゅーねんあとぅぬ　くとぅー　みとぅーはいん（彼の会社の１０年あとのことは見通せない）。

みどぅん [midun] ①【名詞】［B］（成人、未成人を問わず）女、女性。【例】かぬ　みどぅんな　つむかぎ（あの女の人は性格がいい）。みどぅん　きょーだい（姉妹）。②【名詞】［B］妻。【例】からー　やぐみ　みどぅんかなっさびとぅ（彼はとても愛妻家だ）。ばー　みどぅんな　みーん（私は妻はいない）。みっづぁいあい　みどぅんぬ　とぅみぶすむぬ（家庭のやりくりのうまい奥さんを見つけたい）。［類］とぅず。

みどぅんそぅがい [midunsugai] 【名詞】男性が女性の格好をすること、女装。

みどぅんっづぁ [midunvva] 【名詞】娘。【例】あたらかぬ　みどぅんっづぁうぎゃー　っづぁんかいや　ふぃーん（大切な娘はお前にはやらない）。ばー　みどぅんづぁぬどぅ　みちゃーい　うい（私は娘が三人いる）。

みどぅんぶす [midumbusi] 【名詞】社会的に活躍していて影響力のある女性　［＜みどぅん＝女、ぶす＝武士］。【例】からー　うむくとぅあい　みどぅんぶす（彼女は賢くて優秀な女性だ）。

みなか [minaka] 【名詞】［C］前庭［家の後ろは家庭菜園（かふー）にするのが普通］。【例】みなかぬ　っさう　ひつ（庭の草を引きぬく）。

みばかい [mibakai] ①【動詞】［r/rr 語幹］（田んぼ、畑、家などを）手入れする、（組織、建物など全般を）管理する。【例】かまぬ　はいぬ　ぬっさ　はいゆぎゃー　みばからんば　はいや　ずみく　っさー　ういー　あばりゅーい（あそこの畑の主は畑の手入れしないので畑は荒れ果てている）。かんちょーてぃー　こーみんかんぬ　みばかいたい（館長として公民館を管理した）。［類］みー、みばつ。②【動詞】［r/rr 語幹］（家族、年寄、病人などの）世話をする。【例】みがー　うっとぅがまう　わいてぃー　みばかいたい（ミガは弟をよく世話した）。っづぁが　わいてぃー　みばきゅーば、っづぁが　とぅっじゃ　みゃーす　はず（あなたが一生懸命面倒を見ているので、あなたの妻は楽なはず）。まないん　とぅず　っふぁうぎゃー　みばからだかー（ちゃんと　妻子は見守らないと（いけないよ））。ういびとぅぬ　っそぅすばい　みばかいゆ　あす（老人の排便・排尿の世話をする）。やんびとぅーぎゃー　みばかい（病人の世話をする）。［類］みー、みばつ。③【動詞】［r/rr 語幹］（人を）監視する、（人

を）見張る。【例】うぬ　ぎずぎゃうなう　みばかりゅーき（この腕白小僧を見張っておけ）。［類］みー、みばつ。

みはぎ [mihagi] ①【名詞】［C］（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。【例】んきゃーんな　みはぎゃー　ひー　むぬー　みーらいっだ　んぎたい　ひとぅまい　うたいちゃ（昔は赤目でものが見えなくなる人もいたそうだ）。［変異］みぱぎ、みーはぎ、みーぱぎ。［類］みはぎゃ。②【名詞】［C］（一時的に充血して）目が赤くなること；（一時的に充血して）目が赤くなった人。【例】みはぎみー（（充血して）赤くなった目）。みはぎびとぅ（赤目の人）。［変異］みぱぎ、みーはぎ、みーぱぎ。［類］みはぎゃ。③【名詞】［C］物探しが下手な人。【例】ばー　みはぎ　やいばにぐーや　とぅみらいん（私はもの探しが下手でシャコガイは見つけられない）。［変異］みぱぎ、みーはぎ、みーぱぎ。［類］みはぎゃ。

みはぎゃ [mihagja] ①【名詞】［C］（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。［類］みはぎ。②【名詞】［C］目が赤くなること；目が（一時的に）赤くなった人；赤目の人。［類］みはぎ。③【名詞】［C］もの探しのへたな人。［類］みはぎ。

みはず [mihazɨ]【動詞】［g 語幹］［C］目が赤くなる、充血する。【例】まずむぬー　みーたんががら、みーや　みはぎーどぅ（幽霊を見たのか目が赤くなっている）。

みばつ [mibatsɨ] ①【動詞】［k 語幹］［C］（田んぼ、畑、家などを）手入れする、（組織、建物など全般を）管理する。［変異］みばふ。［類］みばかい。②【動詞】［k 語幹］［C］（家族、年寄、病人などの）世話をする。［変異］みばふ。［類］みばかい。③【動詞】［k 語幹］［C］みはる。［変異］みばふ。［類］みばかい。

みはな [mihana]【名詞】［C］顔、顔色。【例】うどぅるきー　みはなんな　いるー　にゃーん（びっくりして顔に血色がない）。がんじゅーぎ　みはな（元気そうな顔）。かいが　はなっさ　うむっしかいば　んななない　みはなー　にゃーんきゃ　ばらうたい（彼の話は面白いのでみんな顔をくしゃくしゃにして笑いこけた）。

みはなー　にゃーん [mihana: nja:n]【成句】恥かしい、面目がない。【例】ばかすかいば　みはなーにゃーん（恥ずかしくて人に合わせる顔がない）。［変異］みーはなー　にゃーん。

みはなー　ほぅらかんばかーい [mihana: hurakambaka:i]【成句】合わせる顔がないくらい。【例】みはなー　ほぅらかいんばかーい　ばかすかいばならっだん（合わせる顔がないぐらい恥ずかしかった）。

みはながーゆ　んつ [mihanaga:ju ntsɨ]【成句】（他人の恥ず

かしいことを）ばらす、（真実の姿を明らかにして）化けの皮をはがす。【例】んーなが　まいん　みはながーや　んかいーにゃーん（皆の前で恥ずかしいことをばらされた）。

みはなぶた [mihanabuta]【形容詞】（家族などが偉くなったりして）自慢だ、（自分が成功したりして）得意満面だ。【例】んまがー　しーしーんまい　なりー　やぐみ　みはなぶたむぬ（孫が教師になってとても自慢だ）。からー　りゅーだいんかい　ごーかくー　ひー　みはなぶたむぬ　はず（彼は琉球大に合格して得意満面だろう）。

みばふ [mibafu] ①【動詞】［k 語幹］［C］（田んぼ、畑、家などを）手入れする、（組織、建物など全般を）管理する。［変異］みばつ。［類］みばかい。②【動詞】［k 語幹］［C］（家族、年寄、病人などの）世話をする。［変異］みばつ。［類］みばかい。③【動詞】［k 語幹］［C］みはる。［変異］みばつ。［類］みばかい。

みまーい [mima:i]【動詞】［r/rr 語幹］見回る。【例】ぶーっじゃ　ういゆーんむてぃー　はいゆ　みまーい（サトウキビの芽が出ているかどうか畑を見まわる）。

みまた [mimata]【名詞】［A］三叉路。

みみじゃー [mimiʑa:]【名詞】〖魚〗ヒメフエダイ。【例】みみじゃーや　やぐみ　んまっぞぅ（ヒメフエダイはとても美味しい魚だ）。

みゃー [mja:]【形容詞】［A］（芋やお菓子が）ほくほくしている。【例】みゃーんー　（ほくほくしたイモ）。くぬ　んーな　みゃーむぬーひー　んまい（この芋はほくほくしてうまい）。

みゃーか [mja:ka]【名詞】［A］昔の大きな墓。【例】んきゃーんぬ　とぅゆみゃぬ　みゃーか（昔の豊見親の墓）。

みゃーぎ [mja:gi] ①【動詞】［母音語幹］［C］（上を）見上げる。【例】かまぬ　やまぬ　はなう　みゃーぎーみーる（あそこの山の上を見てみろ）。てぃんぬ　ほぅっそ　みゃーぎーみーる（空の星を見上げてみなさい）。②【動詞】［母音語幹］［C］（後ろを）振り向く；訪問する；相手にする；挨拶する。【例】ひゃうすんな　かぬきゃうまい　みゃーぎーみーる（たまには彼らの家にも行ってあげなさい）。からー　くまうぎゃー　なんとぅが　みゃーぎーまい　みーん（彼はここをまったく訪ねて来ることもない）。かりゃー　ばんちゅーぎゃー　なんとぅが　みゃーぎん（彼は私達のことをちっともかまってくれない）。かりゃー　ばぬんかい　いじゃーばんまい　みゃーぎゃーとぅんま　みーん（彼は私にあっても挨拶さえもしない）。から　あてぃ　えらいふなりー　ばんてぃんな　みゃーぎらいん（彼はあんまりえらくなって我々には近寄りがたい）。

みゃーく [mja:ku] ①【名詞】［A］治

世、現世、時代、。【例】なかそね　とぅゆみゃが　みゃーく（仲宗根豊見親の治世）。んなまー　かいが　みゃーく（今は彼の時代だ）。くーみゃーく（苦しい現世）。くーさぬ　みゃーくからー　すんな　んがーい（苦しいこの世から逃れるためには死ぬしかない　［＝死ぬのが逃れることだ］）。んなまー　ばが　みゃーくー　あらん（今は私の時代ではない）。②【名詞】［A］故郷、都。【例】くまー　ばが　みゃーく（ここは私の故郷だ）。んなまー　とーきょーぬどぅ　ばが　みゃーく（今は東京は私の都だ［住めば都］）。

みゃーく [mja:ku]【名詞】［A］宮古。【例】くまー　みゃーくずま（ここは宮古島です）。

みゃーくじょーふ [mja:kuʒo:fu]【名詞】宮古上布　［「宮古上布は」の対応形は「みゃーくじょーっふぁ」「みゃーくじょーふー」のどちらでもよい。「宮古上布を」の対応形は「みゃーくじょーっふ」「みゃーくじょーふー」のどちらでもよい］。【例】みゃーくじょーふー　ぶーずん（宮古上布は苧麻でできた着物だ）。

みゃーくずつ [mja:kuzɨtsɨ]【名詞】〖祭礼〗お盆から約 60 日後の甲午の日に行われる池間系の人の一年で最大の祭事。【例】みゃーくずつんな　んじゃからまい　はーさぬ　ひとぅぬ　すまー　ならひー　んみゃい（ミャークズツにはそこらじゅうから多くの方々が地面をどんどんと響かせて押し寄せる）。みゃーくずつんな　ますむい　ぶーとぅいぬ　あい（ミャークズツにはマスムイ、ブートゥイがある）。

みゃーくなぎ [mja:kunagi]【副詞】永久に、永遠に。【例】ばんてぃが　うやきゃー　みゃーくなぎ　ふぁーいん（私たちの富は永久に食い尽くせない）。

みゃーす [mja:sɨ] ①【形容詞】［A］（病気が治って）体調がいい。【例】やんな　なうりー　みゃーすふ　なりーどぅー（病気が治って体調がよい）。②【形容詞】［A］生活に余裕がある、（生活が）楽である、裕福な；（仕事などが）楽だ。【例】ふぁう　みゃーす（（食べるのに事欠かない）楽な生活）。かまぬ　きないや　みゃーす　きない（向こうの家は裕福だ）。くぬいや　てぃまーまい　あがりー　みゃーすふ　なりーどぅ（最近は給与も上がって生活が楽になった）。みゃーす　すかまてぃや　にゃーん（楽な仕事（というもの）はない）。

みゃーす [mja:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（違いを調べるために見たり、持ったりして）比べる。【例】うぬ　ふたーっちゅ　みゃーひーみーる（この２つを比べてみなさい）。くぬ　さきとぅ　うぬ　さきゅー　ぬみー　みゃーひーみーる（この酒とその酒を飲んで比べてみなさい）。

みゃーてぃ [mja:ti]【名詞】［C］目

的地、生きがい。 【例】くぬ ひこーきゃー んじゃんかいぬ みゃーてぃ（この飛行機はどこが目的地なんだ）。ふにゃー みゃーてぃぬ にゃーだかー んじゃまい いかいん（舟は目的地がないとどこにも行けない）。っふぁんまがぬどぅ ばが みゃーてぃ（子や孫が私の生きがい）。［類］まとぅ。

みゃーなか [mja:naka] 【名詞】〖祭礼〗御嶽の建物の外側にある神事を行う場所。

みゃーらび [mja:rabi] 【名詞】浮気っぽい女性。 【例】みゃーらび みどぅん（みだらな女）。

みゃい [mjai] 【動詞】［r 語幹］［C］ふぁう（食べる）の尊敬語形。

みやらび [mijarabi] 【名詞】〖歌語〗一七、八の若い女性。 【例】みやらび かぎさ（若い女性の美しさ）。

みゃらまてぃ [mjaramati] 【成句】食べてください（「ふぁう（食べる）の敬語形 「みゃい」の依頼形）。 【例】てぃーや いかーひー かーっそぅ とぅい みゃらまてぃ（手を伸ばしてお菓子を取って食べてください）。なまっそぅ みゃらまてぃ（刺身をお召し上がり下さい）。

みゅーい [mju:i] 【名詞】［C］（男女を問わず）両親の兄弟のこども、甥（おい）、姪（めい）。 【例】ぶばがまー みゅーいんつきゃーまい うっとぅ（末っ子のおばさんは甥（姪）よりも年下だ）。みゅーいっふぁんみ（甥っ子たち（姪っ子たち））。みちゃーいぬ みゅーい（三名の甥（姪））。

みゅーとぅ [mju:tu] 【名詞】［A］夫婦。 【例】かなすぎ みゅーとぅ（仲がよさそうな夫婦）。うぬきゃが ふたーいや みゅーとぅん なりーどぅー（彼ら二人は夫婦になった）。［類］とぅずぶとぅ。

みゅーぶき [mju:buki] 【名詞】（神様の）おかげ、おかげで。 【例】くぬくとぅー やぐみぬ みゅーぶき（このことは神様のおかげだ）。やぐみぬ みゅーぶき たすきらいたい（畏れ多い神様のおかげで）。［類］うぶき。

みりきんくー [mirikiŋku:] 【名詞】メリケン粉。 ［変異］みりきんぐー。［類］みるくんぐー、みるくんくー。

みりきんぐー [mirikiŋgu:] 【名詞】メリケン粉。 【例】みりきんぐーひー てんぷらう やつ（メリケン粉で天ぷらを揚げる）。［変異］みりきんくー。［類］みるくんぐー、みるくんくー。

みるくじゃき [mirukuʒaki] 【名詞】ミルク酒［泡盛に練乳を混ぜてつくる飲み物］。 【例】さきんかい ぶーどぅるー まっでぃー みるくじゃきゅー ちゅっふぃ（酒に練乳を混ぜてミルク酒を作れ）。

みるくんくー [mirukuŋku:]【名詞】メリケン粉。［変異］みるくんぐー。［類］みりきんくー、みりきんぐー。

みるくんぐー [mirukuŋgu:]【名詞】メリケン粉。［変異］みるくんくー。［類］みりきんくー、みりきんぐー。

みん [min]【名詞】［B］耳　［聴覚機能ではなく体外に出ている耳の部分は「みんばに」という］。【例】みん　とぅーき　ういびと（小さい音でもよく聞こえる老人）。ういびとぅん　なりー　みんな　つかいんふ　なりゅー（年寄りになって耳が遠くなった）。みんぬ　ひっぱい（耳を引っ張る）。みんぬ　かうかいば　ならん（耳がかゆくてしかたない）。

みんがくむん [miŋgakumun]【名詞】耳学問。

みんがみ [miŋgami]【名詞】取っ手のついた甕（かめ）。【例】んそぅがみゃー　みんがみ（味噌がめは取っ手のついたかめだ）。

みんきゃ [miŋkja]【名詞】［C］するめイカ。【例】みんきゃー　ひつにむぬ（スルメは硬い）。みんきゃー　はーばすんかい　っふぁまりーにゃーん（スルメイカが歯の間にはさまった）。

みんぐ [miŋgu]【名詞】［C］耳の遠い人。【例】みがにまーいびとぅんみゃー　みんぐむぬ（素潜り漁をするひとたちは耳が遠い）。［類］みんぴちゃら、ながみん。

みんだい [mindai]【名詞】耳だれ、耳漏。【例】やみどぅ　みんだいぬ　いじゅー（病気して耳垂れが出ている）。

みんたっづぁ [mintavva]【名詞】顔面平手打ち、びんた。【例】みんたっづぁう　ったつ（ビンタを張る）。みんたっづぁう　ふぁーす（ビンタを張る）。ばいさーひー　しーしーん　みんたっづぁー　ったかいにゃーん（悪さをして先生に平手打ちされた）。

みんたま [mintama]【名詞】目ん玉、目玉。【例】っぞぅぬ　みんたまう　ふぁう（魚の目ん玉を食べる）。

みんとぅーきゃ [mintu:kja]【名詞】耳のいい人、耳ざとい人。【例】かりゃー　みんとぅーきゃ（彼は耳ざとい人だ）。［類］みんぴーきゃ。

みんながはな [minnagahana]【名詞】（主に女性が）旧暦三月三日の大潮のときに浜に行き、触って清める潮。【例】さにつんな　みんながはなう　うがんが　いんかい　いつ（旧暦の 3 月 3 日には海水を祈願に行く［＞海水で身を清めるため］）。

みんぬっそう [minnussu]【名詞】耳垢。【例】みんぬ　っそぅー　とぅい（耳垢を取る）。

みんばに [mimbani]【名詞】耳、耳の外に出ている部分（耳殻、耳翼）。【例】

っざん　みんばにゅー　ちゅーく　かつみらいたい（父親につよく耳を引っ張られた）。

みんぴーき [mimpi:ki]【名詞】（皮がはがれるような激しい）床ずれ。【例】うぬ　ういびとぅぬ　みんぴーきゃー　やぐみ　やなむぬどぅ　あたい（この年寄りの床ずれはとてもひどい）。

みんぴーきゃ [mimpi:kja]【名詞】耳の良く聞こえる人。［類］みんとぅーきゃ。

みんぴちゃら [mimpitɕara]【名詞】耳の遠い人、難聴の人。【例】ながいつびとぅんみゃー　みんぴちゃらぬどぅ　んち（すもぐりで深く潜れる人は難聴が多い）。［変異］みんひつら、みんぴつら。［類］みんぐ、ながみん。

みんぴつら [mimpitsɨra]【名詞】耳の遠い人、難聴の人。【例】からー　みんぴつら　やいば　みんな　つかん（彼は難聴だからよく耳は（あまり）聴こえない）。［変異］みんひつら、みんぴちゃら。

みんぶーら [mimbu:ra]【名詞】（脂っこくて食べにくいため）身震いすること（脂っこい豚専用のことば）。【例】わーぬ　あっづぁう　みんぶーらーひー　ふぁう（豚の脂肉を身震いして食べる）。わーぬ　あっづぁう　ふぁうてぃがー　みんぶーら　あす（豚のあぶら肉を食べると身震いする）。みんぶーら　あすっちゃーん　わーぬ　あっづぁう　ふぁう（身震いしながら豚の脂肉を食べる）。

む

むー [mu:] 【名詞】［B］藻。 【例】いんぬ　むー（海の藻）。むーや　なびーむぬ（藻はすべりやすい）。うまなぎんな　むーぬどぅ　ういゆー（ここら辺は藻が生えている）。

むーす [mu:si] 【動詞】［s/h 語幹］［A］燃やす。【例】うまっちゅ　むーす（火を燃やす）。くぬ　きーや　むーはっでぃ　ほぅばんまい　むいん（この木は燃やそうとしても燃えない）。

むーっず [mu:zzi] 【動詞】［zz/dd 語幹］（老眼で目が）ぼやける、（老化で目が）見えにくくなる。 【例】くぬいや　ういびとぅ　なりーどぅ　みーや　むーっじゅー（最近年を取って目がぼやけている）。みーや　むーっでぃどぅ　いみずーがまー　みーらいん（目がぼやけて小さい字は見えない）。とぅっさ　とぅいどぅ　みーぬ　むーっでぃっちゅー（年取って老眼になっている）。むーっでぃ　みー（老眼化してぼやけた目）。［類］むーっでぃ。

むーっでぃ [mu:ddi] 【動詞】［母音語幹］（老眼で目が）ぼやける、（老化で目が）見えにくくなる。 ［類］むーっず。

むい [mui] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］（こどもの）守をする、子守をする。 【例】っふぁう　むい（子供の守をする）。 ②【名詞】［C］子守、子守をすること。【例】っふぁむい（子守り）。

むい [mui] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］（酒やご飯などを器に）盛る、（上の方に）捧げる。 【例】まかいんかい　まいゆはーさ　むい（ちゃわんにご飯をたくさんもる）。みゃーくずつんな　ちゃばんかい　さきゃー　いりどぅ　うるー　むい（ミャークズツには茶碗に酒を入れそれを上方にささげる）。

むい [mui] 【動詞】［母音語幹］［A］燃える。 【例】うまっちゃ　むいーどぅー（火は燃えている）。んみぎーや　なんとぅが　むいん（湿った木はなかなか燃えない）。

むい [mui] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］（人や動物などが）群れる、（植物などが）群生する、（魚が）群れる。 【例】みゃーくずつんな　じゃーがまん　ひとぅ

ぬ　はーさ　むいゆー（ミャークズツにはジャーガマに人がたくさん集まっている）。ぎすつぬどぅ　いーぶーん　むいとぅ　むいゆー（ススキが北支部にたくさん群生しているている）[「いーぶー」は西原集落の東西南北区画の中の北の区画をさす]。むっるー　むいゆー（ムロアジが群れている）。

むい [mui]【動詞】[r/rr 語幹][A]（果物などを）もぎ取る、摘み取る。【例】んーたう　むい（木の実をもぎ取る）。ばんちゅくらう　むい（グアバを捥ぎ取る）。

むい [mui]【動詞】[r/rr 語幹][A]（ブランコ、ゆりかご、などを）揺する、子守のためにブランコを揺するように子供を揺する。【例】やらびゅー　ぶらんこんかい　ぬーひー　むい（こどもをブランコにのせて揺する）。なつっじゃやらびゅー　むい（泣いている子を揺する）。

むい [mui]【動詞】[r/rr 語幹][A]（液体が外に）漏れる。【例】みずぬどぅ　むりゅーい（水が漏れている）。すばいぬどぅ　むいぎかい（小便が漏れそうだ）。

むい [mui]【名詞】[B]〖祭礼〗御嶽のあるところ、杜（もり）、「ななむい」としてしか使わず、単独では使わない。

むい [mui]【接頭辞】形容詞について程度がはなはだしいことを表す　[限られた単語にのみ用いられる]。【例】ばー　かりゅーぎゃー　むいみっふぁ（私は彼のことが大嫌いだ）。きゅーや　むいひぐる（今日はとても寒い）。からー　むいとぅぬ　むいほぅりむぬ（彼は大バカ者だ）。

むいあに [muiani]【名詞】子守姉。【例】ばが　むいあにゃー　ほぅゆがーぬ　はーに（私の子守姉はホゥユガーの長女お姉ちゃんだ）。っうぁー　まさいが　むいあに　やいば　わいてぃかないら（お前はマサイの子守なので、がんばってね）。

むいがーい [muiga:i]【名詞】（周りの様子などが）全体的に変わること、（人の様子、雰囲気などが）全体的に変わること。【例】かまー　んきゃーんとぅや　むいがーい（向こうは昔とはすっかり変わった）。あがいにゃーぬ　みががまー　ほぅいふ　なりー　むいとぅ　あぱらぎふ　なりー　むいがーいや　ひーどぅー（東隣のミガちゃんは大きくなって、とてもきれいになって雰囲気が変わった）。

むいじゃうき [muiʒauki]【名詞】〖道具〗箕（み）[米などの穀物の脱穀の際に殻や塵を取り除くための農具]。【例】むいじゃうきひー　ぷきゅー　とぅばす（箕で小さなゴミを飛ばす）。

むいた [muita]【名詞】[C]（木の葉などが風で吹きだまった）集まり、（魚などの）群。【例】かまぬ　むいたう

とぅみーみーる（向こうの木の葉の集まっているところを探してみなさい）。むいたがまんな　きーぬはーなぎぬどぅ　あい（風の吹き溜まりには木の葉などがある）。っぞぅー　ひとぅむいたひー　ひゃっき　あぎらいどぅ　うたい（魚は（一網で）一群れ百斤あげることができた）。

むいだり [muidari]【形容詞】とてもつかれている、過労状態だ。【例】きゅーや　んめ　むいだり（今日はもうひどく疲れている）。きゅーや　くーすかまー　ひー　むいだりかいば　ならん（今日はきついしごとをしてだるくて仕方がない）。

むいつき [muitsɨki]【副詞】（ものを）みんなまとめて、合計で。【例】うまぬ　みーっちゃ　むいつきー　いかっさが（ここの 3 つはまとめていくらですか）。

むいとぅ [muitu] ①【副詞】程度の大きいことを表す、とても、たいへん；（後ろに否定を伴って）「全然、決して」（〜しない）[「むいとぅどぅ」のように「どぅ」を伴うこともある」]。【例】むいとぅ　はーさぬ　ひとぅぬどぅ　うぐなーりゅー（とてもたくさんの人が集まっている）。むいとぅどぅ　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかん（全然人の言うことに従わない）。②【副詞】動詞を修飾して程度がはなはだしいことを表す副詞、とても、（能力的に）とても（できない）、ほとんど（しない）。【例】ばー　みががまうどぅ　むいとぅ　ぬずみゅー（私はミガをとても愛している）。ういとぅ　くいとぅや　むいとぅ　んーしーどぅー（それとこれとはよく似ている）。すーがくのもんだいや　むずかすかいば　ばぬんな　むいとぅ　っさいん（数学の問題は難しすぎて私にはとてもわからない）。くぬいや　むいとぅ　あいきや　うらん（最近はほとんど歩いてない）。

むいぶい [muibui]【動詞】[r/rr 語幹]（年取って）ぼける；（異性に）凄く惚れている、夢中になっている。［類］むいぶり。

むいぶり [muiburi] ①【動詞】[母音語幹]（年取って）ぼける；（異性に）凄く惚れている、夢中になっている。【例】ばー　っうぁんかいや　むいぶり（私はあなたには凄く惚れている）。からー　みがんかい　むいとぅ　むいぶりゃー　ひーどぅー（彼はミガにすっかりむちゅうだ）。ばー　ういびとぅん　なりー　むいぶりゃー　ひー　なうゆまい　っさん（私は年取ってぼけてしまってなにも分からない）。[類] むいぶい。②【形容詞】ばかもの。【例】かりゃー　むいとぅぬ　むいぶりむぬ（彼はとても大変なばかだよ）。

むいんとぅー [muintuː]【名詞】（体が）ずぶ濡れになること。【例】あみん　っふぁいー　むいんとぅーや　ひー

うたい（雨に降られてずぶ濡れになった）。きゅーや　ほぅすず　あみん　っふぁいー　むいんとぅー　あたい（今日は大粒の雨に降られてずぶ濡れだった）。［変異］むいんとぅー。［類］むいんみ。

むいんみ [muimmi]【名詞】（体が）ずぶ濡れになること。　【例】あみん　っふぁいー　むいんみゃー　ひーうたい（雨に降られてずぶ濡れになった）。きゅーや　ほぅすず　あみん　っふぁいー　むいんみ　あたい（今日は大粒の雨に降られてずぶ濡れだった）。［変異］むいんみー。［類］むいんとぅ。

むがく [mugaku]【名詞】［A］無学、学校教育を受けていない人。　【例】ばー　むがく　やいば　ずーや　ゆまいん（私は無学だから字は読めない）。

むき [muki]【名詞】［C］向き、得意分野　「むきむき」と重ねて使うことが多い。　【例】うなが　むきむきぬ　すかまう　とぅみ　あっそぅ（自分の向いている仕事を探せ）。

むぎゃ [mugja]【名詞】［C］〖魚〗キンメダイもどき、鰹釣り用の餌の一つ。【例】しゃーかん　あんな　はりー　むぎゃう　とぅい（未明に網を張ってキンメダイもどきを取る）。

むぎゃい [mugjai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］お腹の中が（食あたりなどで）ゴロゴロすること。【例】っさり　むぬー　ふぁいー　ばたー　むぎゃりーどぅー（腐ったものを食べてお腹の中がゴロゴロなっている）。ひんじゃー　ふぁいみーてぃがー　ばたー　むぎゃっらはいにゃーん（やぎを食べたらお腹の調子が悪くなってしまった）。［変異］むがい。［類］むがっり、むぎゃっり。②【動詞】［r/rr 語幹］［A］（怒りで）はらわたが煮えくり返ること。【例】かさますかいば　ばたぬ　なかー　むぎゃっりーどぅー（いらいらしてお腹の中は煮えたぎっている）。［変異］むがい。［類］むがっり、むぎゃっり。③【動詞】［r/rr 語幹］［A］（水などが）濁る。【例】うまぬ　みっじゃ　むぎゃっりーどぅー（そこの水は濁っている）。［変異］むがい。［類］むがっり、むぎゃっり。

むきゃう [mukjau]【名詞】［A］〖植〗グミ。

むきゃうんーた [mukjaun:ta]【名詞】グミの実。

むぎゃっり [mugjarri] ①【動詞】［母音語幹］お腹の中が（食あたりなどで）ゴロゴロすること。［類］むぎゃい、んぎゃい。②【動詞】［母音語幹］（怒りで）はらわたが煮えくり返ること。［類］むぎゃい、んぎゃい。③【動詞】［母音語幹］（水などが）濁る。［類］むぎゃい、んぎゃい。

むぎゃらす [mugjarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（液体を）掻き回す；（まとまりなどを）掻き乱す。　【例】んっちゅ

むぎゃらし（みきをかきまぜろ）［んつ＝粟や米を噛んで発酵させたもの、御酒（みき）］。うむくとぅ　にゃーん　ほぅりむぬぬ　うぐなーいんかい　はいりってぃ　うまぬ　うぐなーいや　むがらーはいにゃーん（思慮分別のない馬鹿者が集会に入ってきてそこの集会は掻き乱された）。［変異］むがらす、むがっらす、むぎゃっらす、んがらす、んがっらす、んぎゃっらす、。

むく [muku]【名詞】［C］婿；入り婿［家から見た言い方、女性本人から見た夫は「ぶとぅ」と言う］。【例】ばんてぃが　むくー　やぐみ　かないびとぅ（うちの婿はとてもはたらきものだ）。かまぬ　やーや　みどぅんっづぁ　たーな　やいば　むくー　とぅらだかー　ならん（向こうの家は娘だけだから入り婿を取らないといけない）。

むぐい [mugui]【動詞】［r/rr 語幹］［A］潜る。【例】うまんかい　むぐりー　くぶすみゃう　とぅい（そこに潜って甲イカをとれ）。

むす [musɨ]【名詞】［B］虫。【例】みどぅんな　んーむっそぅどぅ　うんそぅく　いっづぃー（女の人は芋虫をとても怖がる）。いっそぅ　かいすきゃー　むすぬ　はーさ　いでぃっちゅーたい（石をひっくりかえしたら虫がたくさん出てきた）。ばたむす（お腹の寄生虫）。

むず [muzɨ]【名詞】［B］麦。【例】とぅいぬ　むっじゅ　ほぅしゃー　とぅくまんかい　っちゅーば　うるー　うっち（鳥が麦を干してある所に来ているからそれを追い返せ）。

むずうはつ [muzɨuhatsɨ]【名詞】〖祭礼〗初物の麦　［麦の初穂の祭り］。【例】むずうぱつぬ　にがい（麦の初穂の祈願）。［変異］むずうぱつ。

むずかす [muzɨkasɨ]【形容詞】（問題などが）難しい；（人が）付き合い方がむずかしい。【例】すーがくー　むずかすかいば　っさいん（数学は難しくて分からない）。からー　むずかす　ひとぅ　やいば　むぬいばどぅ　ばいかい（彼は難しい人だから、（彼に）しゃべっていいことはない）。［変異］むつかす。

むずく [muzɨku]【名詞】［C］〖食〗はったい粉［麦を煎って焦がし、臼でひいて粉にしたもの。これに砂糖を入れて食べる。菓子の材料としても用いる］。

むずぐる [muzɨguru]【名詞】麦の茎。【例】むずぐるー　たむぬー　むーす（麦の茎を薪として燃やす）。

むずたっじゃ [muzɨtaʒʒa]【名詞】初収穫の麦を炊いたもの。【例】きゅーや　うーんまが　やーん　むずたっじゃう　ふぁう（今日はウーンマの家で初収穫の麦を炊いたものを食べる［「ウーンマ」はナナムイの長のこと］）。

むずなか [muzɨnaka]【名詞】麦畑。【例】ばんてぃが　むずなかー　ふずん

みなぎんどぅ　あい（うちの麦畑はフズンミあたりにある）。

むずぬうぱつにがい [muzɨnuupatsɨnigai]【名詞】〖祭礼〗麦の初収穫の祈願［「むずうはつ」参照］。

むすぬぬん [musɨnunun]【名詞】〖祭礼〗虫払いの願い　［舟のようなものを木で作り、それに害虫等を載せて流す。害虫駆除のための祈願］。［類］むすぬぬんばらい、むすぬぬんばらいにがい。

むすぬぬんばらい [musɨnunumbarai]【名詞】〖祭礼〗　虫払いの願い。［類］むすぬぬん、むすぬぬんばらいにがい。

むすぬぬんばらいにがい [musɨnunumbarainigai]【名詞】〖祭礼〗　虫払いの願い。［類］むすぬぬん、むすぬぬんばらい。

むたぎ [mutagi]【動詞】［母音語幹］［C］持ち上げる。　［類］むたず。

むたず [mutazɨ]【動詞】［g 語幹］［C］持ち上げる。【例】うるー　むたぎーふぃーる（それを持ち上げてくれ）。あきんさうひー　いっそぅ　むたず（金棒で（てこの原理で）石を持ち上げる）。［類］むたぎ。

むだす [mudasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（元の状態に）戻す；（元の持ちぬしに）返却する。　【例】っづぁが　かいっちゃー　むぬー　やぶりーゆーば　うりゅーぎゃー　むだし（あなたが買ってきたものは壊れているからそれは返品しなさい）。［変異］むどぅす。

むちゃい [mutɕai] ①【動詞】［母音語幹］［C］寄りかかる。　【例】ばぬんかい　むちゃいる（私（の体）によりかかれ）。②【動詞】［r/rr 語幹］［C］寄りかかる。

むつー [mutsɨ:]【名詞】［B］餅。【例】むつーゆ　ふぁう（餅を食べる）。むつーゆ　つふ（餅をつく）。

むつ [mutsɨ] ①【動詞】［c/t 語幹］［C］（ものを手に）持つ、（ものを）所有する。　【例】んなない　ゆーいぬ　うさいや　ってぃつ　むっちゃひー　はりーにゃーん（全員お祝いの料理をそれぞれ持ち帰った）。っざらう　むちってぃ　っさう　かり（鎌を持ってきて草を刈れ）。うつなーんかいぬ　むぬーかいんかい　あっちゃいーむたすたい（沖縄への物を彼に頼んで（預けて）持たした）。ばー　くるまう　むちや　うらん（私は車を持ってない）。はいゆむつ（畑をもつ）。②【動詞】［c/t 語幹］［C］（夫、妻を）持つ、（家庭を）持つ；（仕事を）持つ。【例】なかーにゃー　ぶとぅー　むちゃだ　やーん　うい（次女は結婚しないで家にいる）。きないゆ　むつ（家庭を持つ、家庭内をうまく世話する）。すかまう　むつ（仕事を持つ）。③【動詞】［c/t 語幹］［C］（子を）そだてる、教育を受けさせる；（家庭内

のいろんなことの）世話をする、（村のいろんなことの）面倒を見る　「すまう　むつ」などの形で（代表として村のもろもろのことを）する。【例】っふぁう　じゃうずん　むつ（子供を立派に育てる）。っふぁう　だいがくんかい　むつ（子供を大学にやる）。ばー　んなーぎゃー　っふぁー　むちゃー　うらんば、っふぁぬ　むつかたー　っさん（わたしはまだ子供がいないので子供の育て方はわからない）。そーむん　なりー　すまう　むつ（自治会長になって村の世話をする）。

むつ [mutsɨ]【動詞】[c/t 語幹][C] 連用形で移動手段を表す、（車、自転車、舟を）運転して、操って。　【例】くるまー　むちー　っさらんかい　いつ（車を運転して平良に行く）。ぬーまう　むちー　はいんかい　いつ（馬を駆（か）って畑に行く）。

むつ [mutsɨ]【動詞】[k 語幹][A]（みかんの皮などを）むく、（サトウキビの皮などを）はぎとる。　【例】ぶーっじゅ　むきー　ふぁう（サトウキビ（の皮）をむいて食べる）。ふにゅーぬ　かーゆ　むつ（ミカンの皮をむく）。みはながーゆ　むきゅーだら（顔の皮をむく［＞面子を潰す］）。

むつ [mutsɨ]【形容詞】[A] もちもちしている、ねばねばしている。【例】むつーや　むつむぬ（餅はもちもちしているものだ）。んˀむぬ　いとぅー　むつむぬ（クモの糸はねばねばしている）。

むつかす [mutsɨkasɨ]【形容詞】（問題などが）難しい；（人が）付き合い方がむずかしい。　【例】かいが　つむー　むずかすかいば　っさいん（彼女の心は難しくて分からない）。かいが　なーや　むずかすかいば　かかいん（彼の名前は難しくて書けない）。［変異］むずかす。

むっしーとぅい [muççi:tui]【動詞】［r/rr 語幹］（貼られたものを）はがす；（かさぶたなどをむりに）取る。　【例】ぽすたーゆ　むっしーとぅい（ポスターをはがせ）。ほぅがさぬ　かたうさう　むっしとぅいや　だみ（おできのかさぶたをとってはいけない）。

むっそう [mussu]【名詞】[B] 筵（むしろ）。　【例】むっそぅー　すき（筵を敷け）。むっそぅー　たくび（筵を片付けよ）。

むったーい [mutta:i]【動詞】[r/rr 語幹]（ものとものとが）くっ付く、（人に）くっついて回る。　【例】かびーゆ　ぬいひー　むったーらし（紙を糊でくっ付けろ）。かーらう　やーぬいひー　むったーらし（瓦を漆喰でくっつけろ）。うぬきゃが　ふたーいや　いつまい　むったーりーどぅー（その二人はいつもくっ付いてまわっている）。［類］むったーう、むったーっづぃ。

むったーう [mutta:u]【動詞】[vv 語幹幹]（ものとものとが）くっ付く、（人

に）くっついて回る。［類］むったーい、むったーづぃ。

むったーっづぁす [mutta:vvasɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］（ものとものとを）くっ付ける、（人を）くっつかせる。［類］むったーらす。②【動詞】［s/h 語幹］（木などを抜くために）ゆりうごかす。【例】うぬ　きーゆぎゃー　むったーづぁひー　んぎ（この木を揺りうごかして抜け）。

むったーっづぃ [mutta:vvi]【動詞】［母音語幹］（ものとものとが）くっ付く、（人に）くっついて回る。［類］むったーう。

むったーらす [mutta:rasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（ものとものとを）くっ付ける、（人を）くっつかせる。【例】ばか　みどぅんとぅ　びきどぅんぬ　むったーらす（若い男女を結びつける）。［類］むったーっづぁす。

むつみ [mutsɨmi]【名詞】［A］餅のように粘りけのあること。【例】むつーや　むつみぬどぅ　あい（餅は粘りけがある）。

むっる [murru]【名詞】［A］〖魚〗　ムロアジ［ムロアジがおおきくなるとグンと呼ばれる］。【例】むっるー　むいゆー（ムロアジが群れている／ムロアジはむれるものだ）。むっるぬ　がばーむぬーどぅ　ぐんてぃー　あい（ムロアジの大きいものをグンと言う）。

むてぃ [muti]【名詞】［C］（私の、あなたなどの）分、分け前。【例】つーや　やらびぬ　むてぃ（母乳は赤ちゃんの分だ）。うさきひーや　ばが　ふぁうぬ　むちゃまい　にゃーん（これくらいでは私の食べる分もない［「たま（分）」は、「ふぁう　たま」を使い、「ふぁうぬ　たま」とは言えない。「むちゃ」は「ふぁうぬ　むちゃ、ふぁう　むちゃ」両方とも言える］）。［変異］むつ。［類］たま。

むとぅ [mutu]【名詞】［C］墓。【例】くまー　ばんてぃが　むとぅ（ここは私達の墓だ）。たかっじゃーむとぅ（タカッジャーの墓　［タカッジャーは家の名前］）。あくまがまうぎゃー　むとぅんかいや　いりん（生後間もなく亡くなった子供は墓には入れない）。［類］はか。

むとぅ [mutu]【名詞】［C］本、元、基、当て、頼り。【例】っふぁう　むとぅん　あす（子供を（家の）基にする［＜子供を大切にする］）。

むとぅー　だき [mutu: daki]【成句】［母音語幹］働いた分に見合った報酬をもらう。【例】ばー　っじだまーういひー　むとぅー　だきーどぅ（自分の配当分はこれで十分だ）。

むどぅい [mudui]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（元の状態に）戻る；（元の位置に）帰る；ボケる。【例】うぬ　ぶりーにゃーん　ほぅにゃー　むとぅんかいや　むどぅらん（この折った骨はもとに

はもどらない)。かまんかい　むどぅりー　はりーにゃーん（向こうに戻って行った)。んなまどぅ　すかまから　むどぅりー　ったい（今、仕事から戻ってきた)。ういびとぅー　んめ　むどぅりーどぅー（老人はもうボケている)。ういびとぅなりどぅ　むどぅりゅー（年取って呆けている)。

むどぅす [mudusɨ] ①【動詞】［s/h 語幹］[C]（元の状態に）戻す；(元の持ちぬしに）返却する。【例】っづぁが　むゆかひーやー　むぬーぎゃー　むとぅんかい　むどぅし（お前が動かしたものをもとに戻せ)。うらー　だみな　むぬ　やいば　まっちゃんかい　むどぅし（それは不良品だから、店に返品しなさい)。[変異]むだす。②【動詞】[C]食べ物を戻す（吐く)。【例】むぬー　むどぅす（食べ物を吐く)。[類]あぎー。

むとぅやー [mutuja:]【名詞】本家。【例】あがいにゃーや　むとぅやー　かーばた（東隣は本家のカーバタだ)。きじゃいんな　むとぅやーんきー　そぅーかう　あす（祭事には本家に行って焼香する)。

むない [munai]【名詞】[C]他人の動作を無意識にまねてしまうこと。【例】っさだ　ういきゃー　すまとぅらぬ　むないゆ　あす（無意識のうちに相撲取りの動作をする)。すまう　みーとぅきゃんな　むないゆ　あす（相撲を観戦するとき関取の動作を無意識のうちに真似る)。

むぬ [munu] ①【名詞】[B]物質、物；人、者［この意味では敬意を表す人には使えない]；前に出た名詞を繰り返さないための代用形、もの、の。【例】っふぁかいば　むぬー　とぅみらいん（暗くてものが探せない)。かまんどぅ　みーや　みーん　ひんな　むぬぬ　あい（あそこに見たことのない変なものがある)。うまんな　みーむぬー　にゃーん（そこには新しいものはない)。っづぁー　んじゃぬ　むぬが（お前はどこの村の者だい)。うぬ　あかくっちゃ　ばがむぬ　（その赤い靴は、私のだ)。くりゃー　っざが　くつ。ばが　むぬーかい（これは、お父さんの靴だ。私のはあれだ)。あかりんごぬ　さらぬ　はなん　あい　むぬー　とぅい　ふぁうたい（赤いリンゴが皿の上にあるのを取って食べた)。②【名詞】[B]食事、食べ物；餌。【例】むぬー　ふぁう（食事する)。いんな　むぬー　ふぃーきゃたーひーや　びーないや　とぅんまほぅだ　むゆかん（犬は食餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。③【名詞】[B]節を取って動作の対象を表す。【例】たなかさんな　くじゅから　しんぶんな　ゆんむぬー　なまりーにゃーん（田中さんは去年から新聞を読むのをやめた)。とぅないぬ　とぅずぬ　ばが　とぅずんかい　はなす　ほぅー　むぬー　つふたい（隣の奥さんがうちのに話しているのを聞いた)。④【名詞】

［B］分裂文の主題部分につく、「節＋のは、なになにだ」の「の」の位置に使われる。【例】びきどぅんっづぁぬ　ぬーりったい　むぬー　くぬ　くるま（息子が乗ってきたのは、この車だ）。かぬっふぁぬ　なきゅー　むぬー　やーすかいばどぅ　なきゅー（あの子が泣いているのは、腹がへっているからだ［「なきゅー（泣いている）は繰り返した方がよい］）。⑤【接尾辞】形容詞の語幹について名詞化をする接尾辞。述語として使われ、活用させるときは繋辞（コピュラ）をつける。【例】あいつぐりむぬ（歩きにくい）。っそぅまたむぬ（大便がしたい）。やぐみ　うとぅるすむぬ　あたい（とても恐ろしかった）。

むぬー　あかす [munu: akasɨ]【成句】［s/h 語幹］（過去・未来のことを）占う。【例】むぬすーぬ　むぬー　あかす（ユタが過去・未来のことを占う）。

むぬー　ゆん [munu: jun] ①【成句】［m 語幹］お喋りする。【例】まーぬ　むぬー　ゆんな（余りお喋りするな）。かぬ　むぬゆみゃー　いつまい　むぬー　ゆみーうい（あのお喋りはいつもお喋りっぱなしだ）。むぬゆんあぐ（お喋り友達）。②【成句】［m 語幹］駄々をこねる。【例】やらびゃー　むぬー　ゆみんきー　ぎっじゃひらいん（子供は駄々をこねていうことがきかせられない）。

むぬい [munui] ①【名詞】［B］お喋り、話し、言うこと、言葉。【例】むぬいゆ　ゆん（お喋りをする）。むぬいゆぎゃー　つっちゃはん（おしゃべりを途切れさせない）。っづぁー　まーぬ　むぬいゆぎゃー　むぬっじゃだうり（お前はあんまりしゃべるな）。いたらーん　むぬいゆぎゃー　あっじゃすな（バカな言動はさせるな）。②【名詞】［B］言葉、言語、方言。【例】すまぬ　むぬい（故郷の言葉）。きたてぃむぬい（ほかの地域の言葉）。いきまぬ　むぬい（池間のことば）。くぬいぬ　ばかむぬんみゃー　むぬいや　つつそぅが　むぬっじゃいん（最近の若者たちは村のことばは聞けるが、聞きとれても話せない）。［類］ふつ、うつ。

むぬいっづぃ [munuivvi]【名詞】こわがること、ものおじ。【例】やらびゃー　むぬいっづゅーぎゃー　ほぅん（子供というのはものおじじしないものだ）。

むぬいぶっさ [munuibussa]【名詞】話したがること；そのような人。【例】かりゃー　むぬいぶっさ、ふっちゃなまらん　ひとぅ（彼ははなしたがりで、くちがとまらないひとだ）。

むぬうぶい [munuubui]【名詞】物覚え。【例】ういびとぅ　なりーどぅ　むぬうぶいや　ひらいん（年取って物覚えがわるい）。

むぬがま [munugama]【名詞】小食の人；食が細いこと。【例】むぬがまー

むぬーぎゃー　いかっさー　ふぁーん（小食の人は食事はいくらも食べない）。かりゃー　むぬがまびとぅ　やいば　まーぬ　むぬーぎゃー　ふぁーん（彼は食が細いから余り飯を食べない）。［類］むぬがみゃ、むぬがみゃびとぅ。

むぬがみゃ [munugamja]【名詞】小食の人、食の細い人。［類］むぬがま、むぬがみびとぅ。

むぬかんがい [munukaŋgai]【名詞】思案、ものを考えること。【例】ばぬんな　かなまいや　やみー　むぬかんがいや　ひらいん（私は頭が痛くて、ものをかんがえられない）。

むぬくや [munukuja]【名詞】乞食、他人の所に行って食べ物をもらって食べる人。【例】むぬくやー　ひとぅぬやーや　あいきーまーりー　むぬ　っじー　ふぁう（物乞いは人の家を歩き回って飯をもらって食べる）。

むぬすー [munusiː]【名詞】霊能力を持ち、ものを言い当てる人、祈祷師、ユタ。【例】かりゃー　じゃうむぬすー　やいば　ゆーどぅ　あたらす（彼女は非常に強い霊力がある人なのでよく言い当てる）。むぬすーぬ　なうやひー　んまー　すにーはりにゃーんがてぃー　あかす（祈祷師がどうして母親はなくなったかという）。びきむぬすーぬ　むぬー　あかす（男性の祈祷師が吉凶を占う）。

むぬだに [munudani]【名詞】穀物の種。【例】むぬだにゅーぎゃー　いらうどぅす、ひとぅだにゅーまい　いらうどぅす（穀物の種は選ぶもの、人の血統も選ぶもの［「結婚相手は家柄を選べ」と言う格言］）。

むぬっしゃう [munuɕɕau]【名詞】事をしそんじること。【例】ますぎたう　ばらっでぃ　あすきゃー　むぬっしゃうや　ひー　うじゃー　ぶりーふぁいーにゃーん（石垣を割ろうとしたら、失敗して腕を折ってしまった）。

むぬっじゃんぐとぅ [munuʑʑaŋgutu]【成句】何も聞かないで、何も言わないで、無断で。【例】かりゃー　んめ　あてぃくとぅ　がずかいば　ひとぅぬ　やー　ってぃーや　むぬっじゃんぐとぅ　なうゆまい　んめ　むちーはい（彼はあまりにもけちなので人の家に来ては何も聞かないで何でももうもっていく）。

むぬにー [mununiː]【名詞】食事を準備すること。【例】きゅーや　むぬにー　ぐな（今日は食事を準備する係りだ）。

むぬばっし [munubaɕɕi]①【名詞】物忘れ。【例】きゅーや　むぬばっしゃー　ひー　でぃんまい　やーん　ばっしってぃにゃーん（今日はいろいろ忘れてお金も家に忘れてきてしまった）。②【形容詞】物忘れ。【例】ういびとぅ

なりーどぅ　むぬばっしかいばならん（年取って物忘れがひどい）。

むぬふぁいじゃら [munufaiʑara]【名詞】食事用の皿；仕事［「物を食べる皿」からの比喩］。［類］むぬふぁうじゃら。

むぬふぁう　はかうつ [munufau hakautsɨ]【成句】生活の糧、仕事。【例】きゅーまい　あちゃまい　むぬふぁう　はかうっちゃ　にゃーん、んみゃ　とぅず　っふぁんみんな　なうゆ　ふぃーでぃが（きょうもあしたも仕事がない、妻子に何を食べさせようか）。

むぬふぁうじゃら [munufauʑara]【名詞】食事用の皿；仕事［「物を食べる皿」からの比喩］。【例】やーんな　むぬふぁうじゃらまい　にゃーん（家には食事用の皿もない）。むぬふぁうじゃらまい　にゃーんば　むぬまい　ふぁーいん（仕事もないので食事にもありつけない）。きゅーまい　むぬふぁうじゃらー　にゃーん（今日も仕事がない）。ばー　すかまー　にゃーだ　んぎーにゃーんば　むぬふぁうじゃらー　とぅみーくーでぃ（私は仕事がなくなったので仕事を探しに行って行こう）。［類］むぬふぁいじゃら。

むぬふぁうふつ [munufaufutsɨ]【名詞】仕事、仕事口。【例】むぬふぁうふつまい　にゃーんば　むぬまい　ふぁーいん（仕事もないので食事にもありつけない）。

むぬゆみや [munujumja]【名詞】よく喋る人、おしゃべり、お喋りの人、口数の多い人。【例】かぬ　むぬゆみゃー　ひとぅいがーまーすまい　むぬーゆみーどぅーい（あのおしゃべりは一日中話をしている）。かりゃー　むいとぅぬ　ふちゃ　むぬゆみゃ（彼女はとてもおしゃべり　口数が多い）。おい　むぬゆみゃ、まーぬ　むぬーぎゃーゆまだうり（おい　お喋り、余り喋るな）。［類］むぬゆんぱじゅら。

むぬゆんぱじゅら [munujumpaʑura]【名詞】おしゃべり。【例】でぃんがにゃー　むぬゆんぱじゅらやいば　まじゃん　つききゃたーひーまい　むぬいゆぎゃー　つっちゃはん（ディンガニはおしゃべりなので真謝につくまで話を切らさない）。［類］むぬゆみゃ。

むふ [mufu]【動詞】［k 語幹］［A］（ミカンの皮などを）むく、（サトウキビの皮などを）はぎとる。【例】ふにゅーぬ　かーゆ　むふ（ミカンの皮をむく）。ぶーっじゅ　むきー　ふぁう（サトウキビ（の皮）をむいて食べる）。［変異］むつ。［類］むき。

むふ [mufu]【動詞】［k 語幹］［A］（仕事などが）向いている。【例】ばぬんなやーぬ　なかぬ　すかまんつきゃーあらぬ　すかまぬどぅ　むふ（私に

は屋内の仕事より屋外の仕事の方が向いている)。っうぁんかいや　ひゃくめーとるんつきゃー　せんごひゃくめーとるぬどぅ　むふ（お前には100ｍよりも1500ｍのほうが向いている)。うぬ　すかまー　っうぁんかいや　むきや　うらん（この仕事はお前にはむいていない)。[変異]むつ。

むむ [mumu]【名詞】[B]もも、ふともも。【例】くぬ　とぅいぬ　むむー　がばー　やいば　やぐみ　あいでぃむぬ（この鶏のももは大きくて、食べでがある)。[類]むむに。

むむくーら [mumuku:ra]【名詞】胃袋。【例】ひんじゃぬ　むむくーらう　うまつん　あっうぃー　やきー　ふぁう（山羊の胃袋を火にあぶって焼いて食べる)。

むむに [mumuni]【名詞】[B]ふともも。【例】がばー　むむに（大きなふともも)。[類]むむ。

むむはい [mumuhai]【名詞】〖祭礼〗百回の祈願[祈願の最後に繰り返す言葉の一部]。【例】ひとぅはいや　むむはい　ふたはいや　しぇんはい（一回の祈願は百回の祈願と同じで、二回の祈願は千回の祈願と同じだ)。

むやい [mujai]①【名詞】[A]もやい[頼母子講　何名かのメンバーが月に一回位の割で集まって定額のお金を出し合い、それを順番かクジでメンバーの誰かが受け取る仕組みで、メンバーの親睦にもなっている]；また、そこで集まったお金。【例】じょ　むやいゆすきゃきっじゃ　っうぁまい　はいりー　ふぃーる（もやいを始めるのでお前も入ってくれ)。ばー　むやいゆぎゃー　んなま　なまらっじゃー　あとぅぬ　ぶんたーひー　はらいーうかでぃ（私はもやいを今回でやめようと思うので後の分まで払っておこう)。きゅーや　むやいぬ　あいば　すかまうぎゃー　はーひー　とぅどぅみでぃ（今日はもやいがあるので仕事を早めに終わろう)。きゅーや　むやいゆ　とぅらでぃ（今日は、もやいで集まったお金をもらおう)。②【名詞】[A]集まっている人。【例】かまぬ　むやいや　なうゆどぅほぅーがい（向こうの集団はなにをしているのかな)。[類]うぐなーい。

むやがい [mujagai]【動詞】[r/rr語幹]脹（ふく）れる；(土地などが）盛り上がる。【例】むつーや　やつきゃ　むやがりーにゃーん（餅を焼いたら脹れた)。かまー　むやがりどぅ　ままーいんつきゃー　たかかい（あそこは盛り上がっていて周囲より高い)。

むやがらす [mujagarasɨ]【動詞】[s/h語幹]（食べ物を入れ物に）山盛りにする、(荷台などにものを）山盛りに積む。【例】ういが　たまうぎゃー　びらふんかい　っぞぅーぎゃー　むやがらし（彼の分け前をびくに魚を山盛りにしなさい)。さらんかい　おかっじゅぎゃー

むやがらひー　ふぁーでぃ（皿におかずをたくさん盛って食べよう）。ばしゃんかい　っさう　むやがらす（馬車に草を山盛りに積む）。

むゆか [mujuka]【名詞】［A］〖数詞〗六日。

むゆつ [mujutsɨ]【動詞】［k 語幹］［C］（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。［変異］むゆふ、うゆふ、ういふ、ういつ、うゆつ。

むゆぬひとぅ [mujunuhitu]【名詞】〖数詞〗六人。

むゆふ [mujufu]【動詞】［k 語幹］［C］（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。【例】うぬ　くるまー　やぶりどぅ　むゆかん（この車は壊れて動かない）。くぬやーや　ないんまい　むゆかん（この家は地震でも動かない）。ばが　みどぅんやらびゃー　ほぅんやーんかい　いつてぃがー　ひとぅとぅくまから　むゆふてぃぬ　くとぅー　にゃーっだん（私の娘は本屋に行くと一か所から動くことはなかった）。うまうぎゃー　むゆふな（そこを動くな）。やらびゃー　いつまい　むいきーまーりゅーば　まさがん　みーうき（（この）子はいつも動き回るのでちゃんと見ておきなさい）。すまとぅらー　なうばい　うさばんまい　むいつてぃぬ　くとぅー　にゃーん（相撲取りはどんなに押しても動くということはない）。かいが　てぃびたいや　ずーん　むったーりー　なんとぅが　むゆかん（彼のお尻は地面にくっ付いていて全然動かない［＞尻が重くて働かない］）。いんな　むぬー　ふぃーきゃたーひーや　びーないや　とぅんま　ほぅだ　むゆかん（犬は食餌を与えるまでは微動だにせず動かない）。くぬ　きかいや　くまう　うすきゃー　すぐ　むゆつどぅす（この機械はここを押すとすぐ動く）。くぬ　ほぅいっさ　なうばい　うさばんまい　むゆかん（この大石はどんなに押しても動かない）。むゆかん　やうんてぃー　ぶりゅー　てぃーんかい　ぎぶっそぅ　あす（動かないように折れた手にギブスをする）。なうばいぬ　あぱらぎ　みどぅんぬ　みーたんてぃー　ばが　つむー　むゆかん（どんなにきれいな女性を見ても私の心は動かない）。［変異］むいふ、むいつ、むゆつ、ういふ、ういつ、うゆつ、うゆふ。

むらがい [muragai]【動詞】［r/rr 語幹］群になる。【例】っぞぅぬどぅ　はーさ　むらがりゅー（魚が沢山群れになっている）。

むらだてぃ [muradati]【名詞】村立て［村を新しく開拓すること］。【例】んすむらむらだてぃ（西原村立て）。［類］

すまだてぃ。

むらだみにがい [muradaminigai] 【名詞】〖祭礼〗村の鎮守祈願、旧暦 10 月頃。

むらに [murani]【名詞】[C] 子守すること、また子守する人。 【例】なつっじゃやらびぬ　むらに（泣き虫の子の守り）。

むりゃがい [murjagai] 【動詞】[r/rr 語幹]（湧き水が）湧き出る、（土などが）盛り上がる。 【例】ばきみずぬどぅ　そぅくから　むりゃがりゅー（湧き水が（水の）底から湧き出ている）。んたう　むりゃがらし（土を盛れ）。

むるす [murusɨ] 【名詞】[A] 小石。 【例】いすぐーばいぬ　むるっそぅ　っそぅい（石が混ざった畑の石をとりのぞけ）。

むん [mun] 【動詞】[m 語幹] [A]（食べ物、事柄、人などを）えり好みする；（人などを）差別する；（人を）気に入らない（という）。 【例】ふぁうむぬーぎゃー　なうゆまい　むまん（食べ物はどんなものでも好き嫌いがない）。びきどぅん　みどぅんてぃーや　むまだかないかい　ひとぅー　いらび（男女を問わず仕事のできる人を選べ）。きばんびとぅやんてぃー　あいや　ひとぅーぎゃー　むまん（貧乏人だと言ってそんなふうに人を差別してはいけない）。くぬ　やらびゃー　ひとぅーぎゃー　むまん。 （人見知りをしない）。うぬ　みどぅんな　うぬ　びきどぅんぬぎゃー　むみどぅ　うたい（この女性はこの男性を気に入らないと言っていた）。

むん [mun] 【動詞】[m 語幹] [A]（体をほぐすために）もむ。 【例】はっじゅ　むん（足をもむ）。かたむっそぅむみー　ふぃーる（肩をもんでくれ）。

むんたうー [muntau:] 【動詞】[vv 語幹幹] よくあえる；（紙などを）くしゃくしゃにする。 【例】あいじゅーゆぎゃー　むんたっづぃ（和え物はよくあえなさい）。かびーゆ　むんたっづぃーまーくん　なす（紙をくしゃくしゃにして丸める）。

も

もーふ [mo:fu] 【名詞】［C］毛布。

もくもー [mokumo:] 【名詞】〖植〗木麻黄（もくもう）。 【例】もくもーぎー（木麻黄の木）。

や

や [ja] 【助詞】(提題助詞「あ」の変異形：長母音、二重母音で終わる名詞の後に付く。 【例】きゅーや（今日は)。はうや（ヘビは)。[変異] あ。

や [ja] 【助詞】(第二目的格助詞「あ」の変異形：長母音、二重母音で終わる名詞の後に付く。 【例】まいや　すいはんきんかい　んしーだー（米を炊飯器にかけた［＞米を入れてスイッチを入れた])。[変異] あ。[類] ゆ。

やー [ja:] 【名詞】[C] 家；(家の中という意味で）部屋。 【例】やりやー（古い家)。やーゆ　ふつ（家を建てる［＜家を葺く])。やーゆ　いだす（家を建てる/建増しする)。うほぅがぬ　やーんまい　ひとぅー　みーん（こんな大きな家にも人は住んでいない)。やーからー　むぬー　いでぃや　ふぁーいん（家からは何も出てこないので食べられない　［＞家そのものは金を生まない])。

やーかず [ja:kazɨ] 【名詞】各家、それぞれの家。 【例】やーかっじゃ　まーりー　ばいでぃんぬ　っじ（各戸を回って、分担金をもらう)。んじゃぬ　やーんまい　やーかずぬ　かず　まうかんぬ　うらまい（どこの家にもそれぞれご先祖神がいらっしゃる)。

やーがま [ja:gama] 【名詞】(小さい）家、小屋。 【例】ばんてぃが　やーがまぬどぅ　んじゃぬ　やーんつきゃーまい　じゃうかい（自分の家がどこの家よりもいい)。

やーがま　くーがま [ja:gama ku:gama] 【成句】一軒一軒。 【例】やらびゅー　やーがま　くーがま　いじゃどぅーす　とぅみー　まーい（子供を一軒一軒、一軒残さずすべて探し回る)。

やーから　すーから　いでぃん [ja:kara sɨ:kara idin] 【成句】全然外出しない　[「まい」を付けることもある]。 【例】からー　いつまい　やーから　すーから　いでぃん（彼はいつも家の中に閉じこもって外に出ない)。びき　ういびとぅんみゃー　やーからまい　すーからまい　いでぃん(男の年寄たちは全然外出しない)。[変異] やーから　しーからー　いでぃん。

やーき [ja:ki] 【名詞】[C] 家族。 【例】

やーきゃー　ななぬ　ひとぅ（家族は７名です）。［類］やーでぃ、やーにんじゅ。

やーぐまい [ja:gumai] ①【動詞】［r/rr語幹］病気等で家に籠る、巣ごもりする。【例】くぬいや　ころなー　ひー　やーぐまりゅー（最近はコロナで巣ごもりしている）。ばんてぃが　ういびとぅー　やーぐまりゃーひー　っそぅすばいや　ゆみん　むちゃいゆー（うちの年寄りは家で寝たきりで、しもの世話を嫁にしてもらっている）。②【名詞】病気等で家に籠ること、巣ごもり。【例】かりゃー　はっじゃ　ぶりどぅ　やーぐまいや　ひーうい（彼女は足を折って家にこもっている）。ゆながいや　やーぐまいゆぎゃー　あすたっふぁにゃーん（ながいこと巣ごもりはしたくない）。［変異］やぐまい。

やーじゃう [ja:ʒau]【名詞】治療；老人が老齢で寝たきりになって世話を受けること。【例】みーぬ　やーじゃうや　ひどぅ　にゅーいんな　ひーうたい（目の治療で入院していた）。ばんてぃが　ぱーや　ういびとぅん　なりー　ながやーじゃうや　ほぅー（うちの祖母は年を取って家でずっと寝たきりでいる）。

やーす [ja:sɨ]【形容詞】［B］ひもじい、腹が減っている。【例】ひとぅむてぃから　むぬまい　ふぁーんば　やーすかいば　ならん（朝から食事もできないのでお腹が減って仕方がない）。やーすかいば　まいまい　みーらいん（ひもじくて前も見えない［＞腹が減ってどうしようもない］）。

やーずみゃ [ja:zɨmja]【名詞】ヤモリ。【例】やーずみゃぬ　っけっけっけてぃー　なきゅー（ヤモリがけっけっけと鳴いている）。てぃんじゃうん　やーずみゃぬ　はーどぅるー（天井にヤモリが這っている）。

やーだまずー [ja:damazɨ:]【名詞】長男が引き継ぐ畑［条件が一番いい畑は長男が引き継ぐ］。【例】やーだまずーゆぎゃー　うっとぅんみんかいや　ふぃーん（やーだまずーは弟たちにはやらない）。

やーたり [ja:tari]【形容詞】（おかゆやスープなどが）トロトロして軟らかい；（天ぷら粉などを溶いたもの、ごはんなどが）水分が多すぎて、柔らかすぎる；（土などが）ドロドロして（歩きにくい）。【例】しらゆーや　やーたりむぬ（出産のときに配るお粥はトロトロして軟らかい）。あみゃー　っふぃぬ　あとぅぬ　はいぬ　んたー　やーたりかいばならん（雨が降ったあとの畑の土はどろどろしててしかたがない）。

やーつ [ja:tsɨ]【名詞】［A］〖数詞〗八つ。

やーっさがーき [ja:ssaga:ki]【名詞】飢え、ひもじさ、空腹。【例】き

ゅーや　ひとぅむてぃから　むぬー　ふぁーだ　やーっさがーきゃー　ひーうたい（今日は朝から食事していないので腹が減っていた）。つーにゃんまぬ　っふぁー　いつまい　やーっさがーき（乳の出ない母親の子供はいつも空腹だ）。

やーっさばた [ja:ssabata]【名詞】（食事から時間がたって）腹が減る時間。【例】んめ　じゅーにじ　なるーば　やらびんみゃー　やーっさばた（もう１２時になるのでこどもたちはお腹がすく時分だ）。［類］やーっさばな。

やーっそぅ [ja:ssu]【名詞】飢饉。【例】くとぅっさ　あみまい　っふぁん　ひゃーいたーな　やいば　やーっそぅんどぅ　ないぎかい（今年は雨も降らない干ばつばかりだから飢饉になりそうだ）。くじゅー　ひむひー　やぐみ　やーっそぅ　あたい（去年は干ばつで大変な飢饉だった）。

やーでぃ [ja:di]【名詞】［C］家族。［類］やーにんじゅ、やーき。

やーなか [ja:naka]【名詞】家の中。【例】あみぬ　っふぃーふーば　やーなかんかい　はいり（雨が降ってきたので家の中にはいりなさい）。まさい、やーなかんたーな　うらだ　あら　ってぃー　あそぅび（マサイ、家の中にばかりいないで、外に来て遊べよ）。

やーならいや　ほぅかならい [ja:naraija hukanarai]【成句】家庭での教育が外でも生かされる。【例】やーならいや　ほぅかならい　やいば　やらびゅーぎゃー　やーん　やーでぃ　わいてぃー　ならーはだかー　ならん（家庭教育は社会教育なので子供たちを家族でしっかりと教育しなければならない）。

やーに [ja:ni]【名詞】［C］来年［＝今年の次の年］；次の年［＝ある年の次の年］。【例】やーにゃー　みゃーくんかい　んみゃいーふぃーさまてぃ（来年は宮古に来てください）。ばんてぃがんまがー　やーにからー　しょーがっこー（うちの孫は来年からは小学校だ）。やーにたーひーや　さきゃー　ぬまいん（来年までは酒は飲めない）。うんぬ　やーに（その次の年［＜その時の次の年］）。

やーにんじゅ [ja:ninʑu]【名詞】家族。［類］やーでぃ、やーき。

やーぬい [ja:nui]【名詞】家の瓦に塗る漆喰。【例】かーらんかい　やーぬいゆ　ぬい（瓦に漆喰を塗る）。［類］やーむつー。

やーぬくび [ja:nukubi]【名詞】かやぶきの家のススキの茎で編んだ壁。【例】やーぬくびゅー　ぎすつぬ　すずひー　あん（家の壁をススキの茎で編む）。

やーばす [ja:basɨ]【名詞】家と家との間。【例】うまぬ　やーばっさ　ふき

らいん（ここの家と家との間は通り抜けられない）。うまぬやーばっそぅぎゃーふきん（ここの家と家との間は通り抜けるな）。うまぬやーばっそぅふきる（ここの家と家との間を通り抜けろ）。

やーばん [ja:ban]【名詞】留守番。【例】やーばんぬ　あす（留守番をする）。かにんかい　やーばんぬ　たぬん（カニに留守番を頼む）。

やーふつかしー [ja:futsɨkaɕi:]【名詞】家づくりの手伝い。【例】やーふつかしーゆ　あす（家づくりの手伝いをする）。きゅーや　かーばったが　やーんかい　やーふつかしーんかい　いつがまた（今日はカワバタの家に家づくりの手伝いに行くことになっている）。っざが　やーふつかしーんかい　いきゅー　とぅくまんかい　いきー　むぬー　っじーふぁう（父親が家づくりの手伝いに行っているところに行って食べ物をもらって食べる）。［類］やーふつすきなふ。

やーふつすきなふ [ja:futsɨsɨki-nafu]【名詞】家づくりの加勢（手伝い）。［類］やーふつかしー。

やーま [ja:ma]【名詞】［A］〖地名〗八重山。【例】やーまんな　おもとだけてぃぬ　たかやまぬどぅ　あい（八重山には於茂登岳という高い山がある）。

やーむつー [ja:mutsi:]【名詞】家の瓦に塗る漆喰。［類］やーぬい。

やーら [ja:ra]【形容詞】［A］やわらかい。【例】んそぅなー　やーらむぬ（みそ菜はやわらかい）。やーら　むつー（やわらかい餅）。やーら　んた（やわらかい土）。

やーらあみ [ja:raami]【名詞】細かい雨、やわらかい雨。【例】やーらあみがまぬ　っふゅー（霧雨が降っている）。

やーんな　てぃびゃー　つかん [ja:nna tibja: tsɨkan]【成句】家にじっとしていられないこと。【例】うぬ　みどぅんな　いつまい　やーんな　てぃびゃー　つかん（その女性はいつも家にじっとしていられない）。

やーんまが [ja:mmaga]【名詞】内孫。【例】やーんまがぬどぅ　かなすかい（内孫の方が可愛い）。

やい [jai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］コピュラ　「あい」の変異形、文末では通常使わない。[「やいば（だから）」、「やいそぅが（だけれど）」、「やらばんまい（であっても）」など、「～ば」、「～そぅが」、「動詞未然形＋ばんまい」などの接続形式を伴って使われる。否定形、過去形、過去否定形は「あい」を使い、それぞれ「あらん」、「あたい」、「あらっだん」となる]。【例】くぬ　とぅいぬ　むむー　がばー　やいば　やぐみ　あいでぃむぬ（この鶏のももは大きくて、食べでがある）。きゅーや　さうがつ　やいば　そぅーかうやーんきー　むぬー　すき

ーくーでぃ（今日は正月なので実家に行ってものをそなえてこよう）。たかからばんまい　やすからばんまい　なうやらばんまい　かーでぃ（（値段が）高かろうが安かろうが何でも良いから買います）。［変異］えい。［類］あい。

やい [jai]【動詞】［母音語幹］［A］痩せる。　【例】かにゃー　くじゅんつきゃ　むいとぅ　やいーどぅーい（カニは去年よりかなり痩せているね）。むぬーぎゃー　ふぁーだ　やいる（飯は食わないで痩せなさい）。

やい [jai]【形容詞】［B］痩せた。　【例】やい　ひんじゃ（痩せた山羊）。やいびとぅ（痩せた人）。んながーな　やいかい　ひんじゃー　くいた（一番痩せているヤギはこれだ）。

やいぐら [jaigura]【名詞】非常に痩せている人や生き物。　【例】やいぐらぬーま（非常に痩せた馬）。［類］やいさぎ。

やいさぎ [jaisagi]【名詞】非常に痩せている人や生き物。　［類］やいぐら。

やいっつ [jaittsɨ]【動詞】［c/cc 語幹］やせる。　【例】かにゃー　くじゅんつきゃー　むいとぅ　やいっちーどぅー（カニは去年よりかなりやせている）。［変異］やいっち。

やいば [jaiba]【接続詞】～だから［コピュラ「あい」の変異形「やい」に理由を表す「～ば」が付いたもの］。［変異］えいば。

やいん [jain]【動詞】［m 語幹］［A］（水中に）飛び込む；潜る。　【例】うまんかい　やいみーみーる（ここに飛び込んでごらん）。［変異］やうん。［類］やうんつ、やいんつ。

やいんつ [jaintsɨ]【動詞】［k 語幹］（水中に）飛び込む;　潜る。　【例】うまんどぅ　たくぬ　ういば　やいんき（そこにタコがいるから飛び込め）。［変異］やいんふ、やうんつ、やうんふ。［類］やうん、やいん、やぐん。

やいんふ [jainfu]【動詞】［k 語幹］（水中に）飛び込む; 潜る。　［変異］やりんつ、やうんつ、やうんふ。［類］やうん、やいん、やぐん。

やうか [jauka]【名詞】［A］〖数詞〗八日。

やうたい [jautai]【名詞】姿、形、格好、様子、見かけ。　【例】じゃうぎ　やうたい（良さそうな姿）。かりゃー　やうたいや　にゃーん　んまり（彼は不格好な奴だ）。やうたいや　にゃーん　つん　つーかた（格好の良くない着物の着け方）。

やうん [jaun]【接尾辞】動詞基本形について動作の目的や結果を表す、ように（～する）、ように（なる）。【例】やきゅーぬ　ぼーるぬ　とぅびーふーば　あたらんやうん　うそぅんたい（野球

のボールが飛んできたのであたらないようにしゃがんだ)。［類］やうんてぃ。

やうんてぃー [jaunti:]【接尾辞】動詞基本形について動作の目的や結果を表す、ように（～する)、ように（なる）[「やうん」のように「てぃー」を省略することもできる]。 【例】とぅいぬ ふーやうんてぃー くまんかい むぬー うっきーうき（鳥が来るようにここにえさをおいておけ)。ばが っふぁー うーがいやうんてぃーなりゅーい（うち子は泳げるようになったよ)。［類］やうん。

やかーら [jaka:ra]【名詞】（人やものの）傍ら、そば；（建物などの）となり。［類］やかた。

やかた [jakata] ①【名詞】［B］胴体の両側。 ②【名詞】［B］（人やものの）傍ら、そば；（建物などの）となり。【例】ばが やかたん びじ（私の傍に座れ)。かにが ふにぬ やかたんどぅ っざくー あい（カニの舟のすぐそばに櫂（かい）がある)。ばんてぃが やかたんな まさいたが やーぬどぅ あい（うちの隣にはマサイの家がある)。

やかたばた [jakatabata]【名詞】横腹、脇腹。 【例】やかたばたぬ やみゅー（わき腹が痛い)。

やかたぶに [jakatabuni]【名詞】肋骨、あばら骨。 ［類］さうきぶに。

やがます [jagamasi]【形容詞】やかましい、うるさい。 【例】やがますんまりんみ（うるさい奴ども)。っうぁー やがますかいば むぬいな（お前はうるさいから喋るな)。［類］んがます。

やから [jakara] ①【名詞】［A］怖い人、すぐ暴力をふるう人。 【例】やからびとぅ（怖い人)。からー むいとぅぬ やから やいば かいが まいんかい いふな（あいつはとっても怖い人なので彼の近くによるな)。②【名詞】［A］人に対する蔑称、やつ。【例】あうみー やから（虚勢を張っている奴)。かぬ やからー やからびとぅ やいば うるーぎゃー たきゅーぎゃー ほぅだうり（あいつは怖い奴だから、（あいつの）相手をするな)。 ③【形容詞】［A］怖い、すぐ暴力をふるう。【例】まさいや やからかいば うとぅるすかいば ならん（マサイはすぐ暴力をふるうので怖くて仕方がない)。

やぐい [jagui]【名詞】［B］大声、怒鳴り声。 【例】やぐいやひー やどぅゆん あす（大声でケンカする)。うまんな やぐいゆぎゃー いだはだうり（ここでは大声を出さないでおけ)。あいや やぐいゆぎゃー かきん（そんなに大声を出すな)。からー みんぐ やいば やぐいゆ かきる（彼は耳が遠いから大声で話しかけなさい)。やぐいや かきー いっうぁす（大声（怒鳴り声）をかけて脅す)。

やぐみ [jagumi] ①【形容詞】［A］大変な；(程度が) ひどい。【例】やぐみぐとぅ (大変なこと［いいことにも悪いことにも使える］)。くぬいや　やぐみあみぬどぅ　っふゅー (最近はひどい大雨が降っている)。かんな　やぐみむぬ (神様は畏れ多い)。②【副詞】とても、非常に。【例】やぐみ　うとぅるす　びとぅ (とても怖い人)。やぐみあぱらぎ　みどぅん (とても美しい女性)。やぐみ　うむくとぅ　あいひとぅ (大変頭の良い人)。やぐみ　ふちゃ　みどぅん (とても口数の多い女性)。

やぐみ [jagumi]【名詞】［A］畏れ多い神様。【例】やぐみぬ　みゅーぶき　たすきー　ふぃーさまてぃ (畏れ多い神様の御慈悲で助けて下さい)。にんぎんな　てぃだやぐみぬ　まか (人の一生は畏れ多いお天道様次第だ)。にがいまにゃーん　うむきまにゃーん　ほぅやぐみゃー　たすきー　ふぃーさまい (祈願した通りに、思った通りに神様は助けて下さる)。

やぐみ　あみ [jagumi ami]【名詞】大変な雨、大雨。

やぐん [jagun]【動詞】［m 語幹］［A］飛び込む；潜る。【例】うまんかいやぐみ (ここに飛び込め)。からー　たくー　とぅらっでぃ　うぎんな　むちー　やぐみゅー (彼はタコをとるために銛 (もり) を持って潜っている)。［類］やいん、やうん、やうんつ。

やすー [jasi:]【名詞】［A］ヤスリ。【例】やすーひー　とぅぎ (ヤスリで研げ)。

やすだい [jasidai]【形容詞】安い、安価な。【例】やすだい　ぐるま (安価な車)。くぬ　やーぬ　んながーんなやすだいかい (この家が一番安い)。

やすつ [jasitsi]【名詞】［C］敷地［家屋の意味ではない］。【例】がばー　やすつ (大きい敷地)。

やすまい [jasimai]【動詞】［r/rr 語幹］(心が) 穏やかになる、休まる。【例】つむー　んみゃー　やすまりーどぅー (心はもう穏やかになっている)。くぬあーぐー　つふてぃがー　つむまいやすまいどぅす (この歌を聞くと心も落ち着く)。

やずまい [jazimai]【動詞】［r/rr 語幹］子供が産めなくなる。【例】ばが　みどぅんな　んめ　やずまりーどぅー (私の妻は子供が産めなくなった)。くぬうっさ　とぅっさ　とぅいー　やずまりーどぅー (この牛は年を取って子が産めなくなった)。

やずまい [jazimai]【名詞】子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。【例】かぬ　ぬーまー　やずまいん　なりーにゃーん (あの馬は子が産めなくなった)。［変異］やずまり。［類］やずまら。

やすます [jasimasi]【動詞】［s/h 語幹］(心を) 落ち着ける、(体を) 休ませる、。

【例】つむー　やすまひーから　ばが　はなっそぅ　つき（心を落ち着けてから、私の話を聞きなさい）。からー　くーかいはず　やいば　ひーちゃがま　やすまし（彼は疲れているはずだから、すこし休ませなさい）。

やずまら [jazɨmara]【名詞】子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。［類］やずまい、やずまり。

やすん [jasɨn]【動詞】［m 語幹］［C］（心が）穏やかになる、休まる、（気持ちが）鎮まる；（仕事などの手を止めて）休む。【例】ばー　かまらすかいば　つむー　やすまらん（私は悲しくて心が休まらない）。すかまうぎゃー　やすん　やすん　あっそぅ（仕事は休みながらやれ）。ばー　くーかいば　ひっちゃがま　やすまでぃ（私は疲れたのですこしやすもう）。

やそぅる [jasuru]【名詞】［A］一反、300 坪。【例】やそぅるばい（一反の畑）。ばんてぃが　やすっちゃ　やそぅる　あり（うちの敷地は３００坪ある）。

やそぅるぱず [jasurupazɨ]【名詞】一反足、足の裏が大きい足。【例】あいぬ　やそぅるぱずんかいや　くっちゃ　すなーはいん（こんな大きい足には靴は合わすことはできない）。

やちゅ [jatɕu]【名詞】［C］お灸。【例】やちゅー　あす（お灸をすえる）。やちゅー　ひーゆー（お灸をしている）。

やちゅーさ [jatɕu:sa]【名詞】〖植〗ヨモギ、モグサ　［お灸に使う］。【例】やちゅーさう　ひんじゃじるんかい　いりー（ヨモギを山羊汁に入れる）。はずぬ　つぶー　やちゅーさひー　やつ（足のつぼをもぐさで焼く［＞足のつぼにお灸をすえる］）。

やつ [jatsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］（残り火の灰のなかで）料理する、（豚やヤギなどを）火であぶる；油で揚げる；（家を誤って）火事にする。【例】んきゃーんな　っぞぅーぎゃー　からぱいんかい　いりどぅ　やきゅーたい（昔は魚を残り火の灰に入れて焼いた）。ひんじゃう　やつ（山羊を屠殺して（毛を取るために）焼く）。っぞぅー　あっうぁひー　やつ（魚を油で揚げる）。さたてぃんぷらう　やつ（沖縄風ドーナツを油で揚げる）。にゅーっちゃーん　たばくー　ふつてぃがー　やーゆぎゃー　やきどぅ　ふぁう（寝ながらたばこを吸うと家を燃やしてしまう）。［変異］やふ。

やっうぁす [javvasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（機械類を）故障させる、壊す；（人間関係などを）壊す。【例】くるまー　ちゃーらひー　やっうぁひーにゃーん（車をぶつけて壊してしまった）。あうやーや　ひー　どぅす　やっうぁーひーにゃーん（けんかをして友達関係を壊してしまった）。［変異］やっうゃす。

やっうぃ [javvi]【動詞】［母音語幹］

［C］失敗する、故障する、ダメになる。【例】とぅずとぅみ　やっづぃーにゃーん（奥さんを選びそこなって結婚が破綻してしまった)。ぶとぅむつ　やっづぃーにゃーん（夫を選びそこなって、結婚が破綻してしまった)。くるまー　やっづぃー　にゃーん（車が故障した)。

やっづぃぐるま [javviguruma]【名詞】故障した車。

やっづぃじゃた [javvizʲata]【名詞】等外の黒糖　［黒糖には等級があり、上位から特等、一等、二等、等外となっていた］。

やっづぃずん [javvizʲin]【名詞】ぼろ着物。

やっづゃ [javvja] ①【名詞】［C］怖い人、良く叱る人、性格の荒い動物。【例】やっづゃっざ（怖いお父さん［＞叱ったり怒ったりするお父さん］)。②【形容詞】［C］性格の荒い（人、動物)。【例】まさいが　っざぬどぅ　んながーんな　やっづゃかい（マサイのお父さんが一番怖い)。

やっかいな [jakkaina]【連体詞】煩わしい、厄介な。【例】うらー　んめ　やっかいな　くとぅ（それはもう煩わしいことだ)。

やつっぞう [jatsʲizzu]【名詞】焼き魚　［残り火の灰で焼いた魚］。

やっとう [jattu] ①【名詞】［A］やっとのこと、ぎりぎり　［「ん」をつけて、副詞としても使う］。【例】やっとぅぬ　くとぅがま　うらー　ひらいたい（やっとのことでそれができた)。やらびゃー　やっとぅん　にっづぃーにゃーん（子供がやっと寝た)。②【副詞】やっと、何とか、辛うじて、やっとのことで。【例】あかやっとぅがまどぅ　ひらいたい（なんとかやっとのことできた)。だいがくんかいや　やっとぅがまどぅ　ごーかくあすたい（大学には辛うじて合格した)。じゅーじぬ　かいぎんかい　やっとぅがま　まにあうたい（10時の会議にやっとまにあった)。ういびとぅー　やっとぅがまどぅ　あいきゅー（年寄りはやっとのことで歩いている)。

やつんー [jatsiɴ:]【名詞】焼き芋　［残り火の灰で焼いたサツマイモ］。

やてぃがー [jatiga:]【接続詞】だったら、じゃあ「やいてぃがー」の変異形。【例】A：あちゃー　かでぃふつちゃ。　B：やてぃがー　あちゃー　いきまー　いかいん（A：明日は台風だってさ。B：だったら明日は池間は行けない)。［変異］あいえてぃがー、あいやてぃがー、やいてぃがー、えてぃがー。

やどぅ [jadu]【名詞】［B］戸、雨戸、ドア。【例】やどぅー　しみる（戸を閉めろ)。やどぅー　あきる（戸を開けろ)。かまからどぅ　あみぬ　いりゅーば　やどぅー　っふぃ（あそこから雨がはいっているから、戸を閉めろ)。

やどぅばす [jadubasɨ]【名詞】戸の通り道、敷居。【例】やどぅばすん　いすがまぬ　っふぃー　やどぅー　なんとぅが　あきらいん（敷居に小石がはさまって、戸がどうしても開けられない）。やどぅばすがまや　うとぅだか　かりゃーよー　ならん　やどぅ　さぎまちゅーりよ（敷居は音が出るので、ならない戸（むしろなど）を下げてまっておいてくれ）［古謡　「伊良部トウガニ」から［一部改変］］。

やどぅふつ [jadufutsɨ]【名詞】玄関先、戸口。【例】やどぅふつんな　たちゃだ　なかんかい　はいりーんみゃてぃ（玄関に立っていないで、中にお入りください）。

やどぅむら [jadumura]【名詞】〖貝〗水字貝　［魔除けのために玄関先や門に下げる］。

やどぅゆん [jadujun]【名詞】戸口での罵り合い、他人に聞いてもらうためにするののしり合い。【例】うぬ　とぅずぶとぅー　やどぅゆんな　ひどぅ　ばみきゅーたい（その夫婦は（玄関先で）口喧嘩をしてののしり合っていた）。やぐいやひー　やどぅゆん　あす（大声でケンカする）。やどぅゆんぬぎゃー　ほぅん（ケンカはしない）。うぬきゃが　とぅずぶとぅー　ばかかいきゃー　うんそぅく　やどぅゆんぬまい　ひーうたい（その夫婦は若い頃はいつもよくケンカしていた）。くーさぬ　やどぅゆん（生活の苦しさゆえにおこるどなりあい/いいあい/喧嘩）。

やどぅゆんぬ　すー [jadujunnu siː]【名詞】良くもめ事を起こす人。【例】かりゃー　いつまい　やどぅゆんぬ　すー（彼女はいつもトラブルメーカーだ）。

やな [jana]【接頭辞】名詞/形容詞について駄目なこと、悪いことを表す接頭辞。

やなうむくとぅ [janaumukutu]【名詞】悪知恵。【例】からー　やなうむくとぅびとぅ（彼は悪知恵の働くやつだ）。やなうむくとくぅーひー　ひとぅー　だまひー　でぃんぬ　まうきたい（悪知恵を働かせて、他人をだまして、金をもうけた）。

やなくんじゃう [janakunʑau]【名詞】根性の悪いこと、またそのような人。［類］やなつむつ。

やなじゃい [janaʑai]①【名詞】嘘つき、ずるい人、信用できない人。【例】かりゃー　やなじゃい　やいば　かいんな　すかはいな（彼はうそつきなので彼にだまされるな）。②【形容詞】嘘をつく、ずるい、信用できない。【例】かりゃー　やなじゃいかいば　ならん（彼はとてもずるい）。やなじゃいんまり（嘘つき野郎）。

やなづむ [janazɨmu]①【名詞】意地悪な行為；またそのような人。【例】た

るんかいまい　やなずむー　ひーやならん（誰に対しても意地悪をしてはいけない）。かりゃー　やなづむんまり（彼は性格が悪い奴だ）。②【形容詞】性格が悪い。【例】やらびあいきゃ　んながーんな　やなずむかい　ぬーまんっふぁいにゃーんっだん（こどものころ一番性格が悪い馬に噛まれたことがある）。かにんつきゃー　まさいがどぅ　やなずむかい（カニよりマサイの方が性格が悪い）。［類］やなばた。

やなつむつ [janatsɨmutsɨ]【名詞】根性が悪いこと、またその人。【例】あいぬ　やなつむっちゃ　むちや　だみだら（そんな悪い根性ではいけない）。かりゃー　やなつむつんまり（彼は根性の悪い奴だ）。まさいや　やなつむぬやいば　うるーぎゃー　たきゃー　ほぅだうり（マサイは意地が悪い奴だから相手にするな）。

やなばた [janabata]【名詞】性格が悪い。　【例】かりゃー　やなばたかいばならん（彼はとても性格が悪い）。やなばたんまり（性格が悪い奴）。［類］やなづむ。

やなばた [janabata]【名詞】小型の蜂；すぐに怒り出す人。　【例】んなまがたがま　っさー　かりゅーとぅいやなばたがまん　っふぁいーにゃーん（さっき草を刈っているとき小さい蜂に刺されてしまった）。からー　やなばたがま　やいば　すぐ　つむでぃどぅす（彼は短気だからすぐに怒りだす）。かりゃー　いつまい　つむでぃぬ　やなばた（彼はいつも怒っている根性の悪い奴だ）。［類］かやばた。

やなふつ [janafutsɨ]【名詞】悪口。【例】ひとぅぬ　やなふっちゅぎゃーほぅん（人の悪口を言ってはいけない）。やなふっちゃ　うながどぅーんかいどぅ　まーりーふー（悪口は自分自身に回ってくる）。やなふつういびとぅ（口の悪い年寄り）。［変異］やなうつ。

やなむぬ [janamunu]【名詞】幽霊、悪霊。　【例】やなむぬぬ　うい（幽霊がいる）。やなむぬ　はらす　にがい（ネズミや、害虫などをはらう祈願）。［類］まずむぬ。

やなやん [janajan]【名詞】（死に至るような）重い病気。　【例】うやー　やなやんなひー　すにーにゃーん（おじいさんは重い病気で亡くなった）。ばかむぬんかい　やなやんな　たばりー　すにーはりーにゃーん（若者に悪い病気がついてなくなってしまった）。

やなわざ [janawaza]【名詞】嫌な仕事、大変な仕事。　【例】くまぬ　すかまー　やぐみ　やなわざ（ここの仕事は大変嫌な仕事だ）。

やなんじゃ [jananʒa]【名詞】無能なやつ；悪いやつ、ひどい奴。【例】すかまー　ひらいん　やなんじゃ（仕事ができないでくの坊）。からー　やなんじ

ゃ　やいば　かいん　だまはいな（彼は悪い奴だから彼にだまされるな）。

やぱ [japa]【形容詞】［B］（竹などが）柔軟性がある；（人柄が）穏やかな。【例】っぞぅつー　やぱ　さうがま（魚釣り用の柔軟な竿）。からー　つむかぎ　やぱびとぅ（彼は心の良い穏やかな人だ）。

やぱあみ [japaami]【名詞】細かい雨。【例】ゆびゃー　やぱあみがまぬどぅっふゅーたい（昨晩は細かい雨が降っていた）。

やびじ [jabiʑi]【名詞】［A］〖地名〗八重干瀬、池間の北方のリーフ、礁（しょう）。

やびとぅ [jabitu]【名詞】［C］ままごと。［類］やびとぅがま、やびとぅがんが、やびとぅがんがー。

やびとぅがま [jabitugama]【名詞】ままごと。［類］やびとぅ、やびとぅがんが、やびとぅがんがー。

やびとぅがんが [jabituganga]【名詞】ままごと。［類］やびとぅ、やびとぅがま、やびとぅがんがー。

やびとぅがんがー [jabituganga:]【名詞】ままごと。【例】やびとぅがんがーひー　あそぅー（ままごとして遊ぶ）。［類］やびとぅ、やびとぅがま、やびとぅがんが。

やびとぅんーな [jabitun:na]【名詞】皆さん、家族みんな。【例】やびとぅんーなひー　くぬ　すかまうぎゃー　かなーでぃ（皆でこの仕事をがんばろう）。やびとぅんーな　がんじゅーやひー　うらまいんな（みなさんお元気ですか）。みゃーくずつんな　すまぬ　やびとぅんーなひー　ぶどぅい（みゃーくずつでは村をあげてみなで踊ります）。

やふ [jafu]【動詞】［k 語幹］［A］（残り火の灰のなかで）料理する、（豚やヤギなどを）火であぶる；油で揚げる；（家を誤って）火事にする。［変異］やつ。

やふ [jafu]【名詞】［A］厄、厄年。【例】やふ　ずぶんな　うながどぅーゆぎゃー　うながどぅーひー　わいてぃー　みばからだかー　ならん（厄年には自分で自分の体調をちゃんと管理しなければならない）。にんぎんぬ　やふどぅっさ　ななじゅーにさんよ（人の厄年は 72、3 歳だよ）。

やぶいしゃ [jabuiʂa]【名詞】医師の資格なしで医療行為を行う人、もぐりの医者（日本語の「やぶ医者」と異なり、医師免許は持っていない）。【例】かなまいぬ　やみゅーば　やぶいしゃぬ　まいんかい　いつたい（頭が痛いのでやぶ医者の所に行った）。

やふず [jafuzi]【名詞】［C］（家の中であちこち）探し回ること；出かける準備に時間がかかること。【例】っづぁ

ー　なうゆどぅ　やふっじゃ　ほぅー（あなたは何を探し回っている）。やふずんまり（出かける準備に時間がかかる人）。

やふどぅす [jafudusɨ]【名詞】厄年。［類］やふばな。

やふばな [jafubana]【名詞】厄年。［類］やふどぅす。

やふびとぅ [jafubitu]【名詞】厄の人；（厄と関係なく）病気がちのひと。［類］がびゃう。

やま [jama]【名詞】［B］〖道具〗鋤（すき）、畑を浅く耕すための農機具。【例】やまひー　ずーゆ　ひつ（鋤で畑を耕す）。

やま [jama]【名詞】［B］山。【例】みゃーくんな　たかやまー　にゃーん（宮古には高い山はない）。やまぬ　はぎーてぃがー　たうかー　つつぬ　ゆー、やまぬ　あうんてぃがー　ふぁうぬ　ゆー　ぬんぬ　ゆー（山が禿げたら、ひとりひとり突く世の中、山が青くなったら食べる世の中、飲む世の中だ［＞山が禿げたらお互い殺し合いの世、山が青くなったらちゃんと飲み食いできる豊かな世の中だ］）。

やまあす [jamaasɨ]【名詞】山のふもと。

やまいん [jamain]【名詞】野良犬；不美人。

やまがらかじゃ [jamagarakaʑa]【名詞】野生の生き物の臭い。【例】はうや　やまがらかじゃぬどぅ　あす（ヘビは野生の匂いがする）。

やまぐ [jamagu]【名詞】［C］すぐ怒り出す人、短気な人。【例】からー　やまぐ　やいば　かいんかいや　なうちゃーにゃー　むぬいな（あいつは短気なので気をつけてものを言え）。

やまざる [jamazaru]【名詞】山猿；不美人；親しい人への呼びかけ語。【例】おい　やまじゃる　っうぁー　んじゃんかいが（おい、山猿、お前はどこに（行くの）か）。［変異］やまじゃる。

やます [jamasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］（体の一部を）くじく、痛める。【例】はっじゅ　やます（足をくじく）。

やまずん [jamazɨn]【名詞】山積み。【例】ぶーっじゅ　やまづん　あす（サトウキビを山積みする）。

やまだつ [jamadatsɨ]【名詞】下痢。【例】やまだっちゅ　ふかす（下痢してもらす）。やらびゃー　やまだっちゃひどぅ　ちびるんな　っそぅだりゃーひー　まーりゅー（子供は下痢してお尻は糞がついて歩きまわっている）。ばー　やまだっちゃひー　くーかいばならん（私は下痢して苦しくてならない）。やらびあいきゃ　わーぬ　あっうぁー　はーさ　ふぁいー　やまだっちゃほぅーたい（子供の頃は豚の脂肉を食べ過ぎて下痢していた）。

やまだん [jamadan]【名詞】ヤマダニ。【例】やまんな　やまだんぬ　うい（山にはヤマダニがいる）。

やまとぅ [jamatu]【名詞】[B] 日本本土。【例】やまとぅんかい　いつ（日本本土に行く）。やまとぅびとぅ（日本本土の人）。

やままゆ [jamamaju]【名詞】野良猫；不美人の形容；親しい人への呼びかけとしても使う。

やらー [jara:]【助詞】コピュラ「やい」の提題形、「の中では」「としては」。[変異] やりゃー。[類] かりゃー。

やらう [jarau]【名詞】[A]〖植〗テリハボク。

やらうぎー [jaraugi:]【名詞】〖植〗テリハボク。【例】やらうぎーぬ　ない（てりはぼくの実）。[類] やらうだにぎー。

やらうだに [jaraudani]【名詞】〖植〗テリハボクの実。

やらうだにぎー [jaraudanigi:]【名詞】〖植〗テリハボク。[類] やらうぎー。

やらし [jaraʂi]【感動詞】けんかや勝負をけしかけるときの呼びかけ語、頑張れ。【例】やらし、　わいてぃー　あっそぅ（さあ行け　頑張れ）。

やらばん [jaraban]【助詞】〖接続助詞〗（名詞について）譲歩を表す、～でも、～であろうが。【例】なうやらばん　ばー　うつなーんかい　いかでぃ（どうしても私は沖縄に行く）。ういびとぅやらばん、ばかむぬやらばん、やらびやらばん、すまぬ　うんどーかいんな　んななない　いでぃだかー　ならん（老人でも、若者でも、子供でも、村の運動会には出なければならない）。

やらばんまい [jarabammai]【助詞】〖接続助詞〗（名詞について）譲歩を表す、～でも、～であろうが。

やらび [jarabi]【名詞】[C] 子供。【例】やらび　あいきゃ（子供の頃）。やらびっじゃんまり（子供っぽい奴）。やらびんみゃー　かまんきー　あそぅび（子供たちはあっちに行って遊べ）。やらびつかいや　どぅーつかい（能力のない者を使うと責任は自分自身に回ってくる）。

やらびなー [jarabina:]【名詞】幼名［かつては戸籍に登録した名前以外に村独特の幼名があった］。【例】ばがやらびなーや　まさい、がっこーぬなーや　ひろゆき（私の幼名はマサイで、戸籍上の名は博之です）。

やらん [jaran]【助詞】〖接続助詞〗（名詞について）譲歩を表す、～でも、～であろうが。

やらんまい [jarammai]【助詞】〖接続助詞〗（名詞について）譲歩を表す、～でも、～であろうが。

やり [jari] ①【形容詞】[B]（ものが）使い古された；（ものや動物、人が）ダメな、使い物にならない［接頭辞的に使うことが多い］。【例】やりぐるま（おんぼろ車）。やりさなず（古いふんどし）。やりやーゆ　っちゅす（古い家を壊す）。やり　づんぬ　つくきー　つー（古い着物を（何枚も）重ねて着ける）。くぬ　つんな　やりふ　なりー　んめ　っちゃいん（この服は古くなってもう着られない）。②【名詞】[B] 使い古したもの；ダメな、使い物にならない動物や人。【例】うらー　やり　やいば　うるーぎゃー　つかーだうり（これは使い物にならないのでこれは使うな）。くじゅ　っづぁから　かうたい　ぬーまー　やり　あたい（去年おまえから買った馬は使い物にならなかった）。

やりがい [jarigai]【形容詞】（ものが）使い古された；（ものや動物、人が）ダメな、使い物にならない。【例】うぬ　つんな　やりがいむぬ（この着物は古い）。

やりがい [jarigai]【名詞】使い古されたもの；ダメなものや動物、人、使い物にならないものや動物、人。

やりがに [jarigani]【名詞】スクラップ（鉄、真鍮等の廃品）。【例】やりがにやー（廃品回収業者）。

やりずん [jarizɨn]【名詞】古い着物。【例】ふゆんな　やりずんぬ　つくきー　つーまい　あす　かうーまい　あす　たい（冬には古い着物を重ねて着たり、（夜寝るときに布団がわり）かけたりもした）。

やりっしゅーつ [jariɕɕu:tsɨ]【動詞】[k 語幹]（動作やものを）そのまま放置しておく。【例】なつっじゃ　やらびゅーぎゃー　やりっしゅーき（泣き虫はそのまま泣かして置け）。うまぬ　あふたうぎゃー　やりっしゅーき（そこのごみはそのままほうっておけ）。れいぞーこんかい　いりだ　やりっしゅーてぃがー　っぞぅー　っさりーにゃーん（冷蔵庫に入れずにほっといたら魚は腐ってしまった）。［変異］やりっしゅーふ。

やりっしゅーふ [jariɕɕu:fu]【動詞】[k 語幹]（動作やものを）そのまま放置しておく。［変異］やりっしゅーつ。

やりゃー [jarja:]【助詞】コピュラ「あい」の変異形「やい」の提題形、「の中では」「としては」。【例】んすむらぬ　ひとぅやりゃー　うとぅなす（西原の人の中ではおとなしい）。みどぅんやりゃー　たかびとぅ（女の人の中では背が高い）。［変異］やらー。［類］かりゃー。

やん [jan]【動詞】[m 語幹][C]（体の部位が）痛む；病気だ。【例】んじゃぬどぅ　やみゅー（どこが痛いか）。かなまいぬどぅ　やみゅー（頭が痛い）。からー　ばたぬどぅ　やみゅーが　おーかん（彼は胃腸がわるいらしい）。

やん [jan]【名詞】[C] 病気；痛いこと。【例】やんびとぅ（病人）。いしゃーやんぬ　ゆふなす（医者は病気を治す）。かなまいぬ　やん（頭の病［「頭が痛い」という意味にもなる］）。すんやん（命にかかわる病気）。

やん [jan]【形容詞】[C] 痛い。【例】とぅっさ　とぅいどぅ　くすまい　やんかいば　ならん（年取って腰も痛くてならない）。いちゃ　ふがさー　いでぃー　やんかいば　ならん（痛いおできが出て痛くてならない）。

やんふい [janfui]【名詞】仮病；病気をしているふりをする人。

やんふや [janfuja]【名詞】病気をしているふりをする人。

ゆ

ゆ [ju]【助詞】〖格助詞〗目的格助詞「う」の変異形、「を」：長母音、二重母音、uで終わる名詞の後に付く。 【例】はうゆ　かつん（ヘビをつかまえる）。みーゆ　っさがい（目を閉じる）。［変異］う。［類］や。

ゆー [juː]【動詞】［vv 語幹幹］［A］（縄を）結（ゆ）う［村では自前でロープを作るために 3 本の縄を 3 名でねじって回す］；（髪を）結上げる。 【例】まーたう　ゆー（魔除けの輪を作る）。んˀなう　ゆー（綱をねじってよる）。うぶんˀなう　ゆっづぃー　ちゅっふ（錨の綱をよって作る）。かなーいや　みどぅんまい　びきどぅんまい　からっじゅぎゃー　ゆっづぃどぅ　うたい（昔は女性も男性も髪を結っていた）。きゅーや　ぶどぅいぬ　あいば　からっじゃ　ゆっづぃーから　いかでぃ（今日は踊りがあるので髪を結い上げてから行こう）。ぶーいとぅー　っそぅかいば　ばぬんな　ゆっづぁいん（この苧麻糸は細いので私にはよって糸にできない［苧麻の繊維は２本をよって糸にする］）。［類］ゆい、ゆーい、ゆっづぃ。

ゆー [juː]【名詞】［B］世、世の中、時代、時世。 【例】なうい　ゆー（豊かな世）。いっさゆー（戦の世）。

ゆー [juː]【名詞】［B］裕福、幸運、豊穣。 【例】ゆーあい　ひとぅ（幸運の人）。ゆーむつ　ひとぅ（幸運に恵まれた人）。

ゆー [juː]【動詞】［vv 語幹幹］［A］吸う、しゃぶる；吸い取る。【例】うなが　ほぅーゆびゅー　ゆー　やらび（自分の親指をしゃぶる子供）。

ゆー [juː]【名詞】［B］お粥。 【例】ゆーゆ　ふぁう（おかゆを食べる［「人の成功を祝う」と言う意味でも使う］）。

ゆー [juː]【名詞】［B］晩、夜。【例】きゅーが　ゆー（今晩［「きゅーぬ　ゆー」とも言う］）。つつぬ　ゆー（月の夜）。

ゆー [juː]【形容詞】［B］（体が）弱い、（勝負などに）弱い。 【例】からーがびゃうかいば　どぅーぬ　ゆーかい（あいつは病気がちで体が弱い）。かりゃー　すまう　とぅらばんまい　なうゆ　ほぅばんまい　むいとぅ　ゆーむぬ

（彼は相撲をとっても何をしてもとても弱い）。ほぅゆー（勝負にとても弱い）。

ゆーい [ju:i]【動詞】［母音語幹］［A］（縄を）結（ゆ）う［村では自前でロープを作るために 3 本の縄を 3 名でねじって回す］;（髪を）結上げる。 ［類］ゆい、ゆー、ゆっづぃ。

ゆーい [ju:i]【動詞】［r/rr 語幹］［A］（人や動物が）弱る、衰える ;（食用動物や魚などが）腐って食べられなくなる。【例】ういびとぅ ないてぃがー はっじゃ ゆーりー でぃーゆ つかだかー ぶらかいーがまた（年取ったら足が弱って杖を突かないとひっくり返る）。ういびとぅ なりどぅ はずまい くすまい ゆーりゅー（年取って足も腰も弱っている）。とぅす とぅいがなか ゆーりーはい（年を取るにつれて弱っていく）。っぞぅー ゆーりーどぅ（この魚は腐っている）。

ゆーい [ju:i]【名詞】［A］〖祭礼〗お祝い ; 1 月 1 5 日の後生（ぐそう）の正月 ［家族や親族が集まって家族や子孫の健康・発展を祈願する。西原では 1 5 日に行われ、平良では 1 6 日に行われる。これは昔平良の役人たちの家族に供するために魚を取ってくるために 1 日前にやったことによる］。【例】ささぎゆーい（結婚祝）。やーふつゆーい（新築祝）。やーぬ ゆーい（新築祝い、改築祝いなどを含む家の祝い）。っふぁぬ ゆーい（出産祝い）。んまがぬ ゆーい（孫の出産祝い）。ゆーいぬ うさいや んなない んまがたが うながたまたま ってぃつ むっちゃひー はりーにゃーん（お祝いの料理はみんな孫がそれぞれひとつずつ持たされて帰った）。

ゆーいでぃん [ju:idin]【名詞】お祝いとして渡すお金、祝儀。 【例】ゆーいでぃんぬ さんぜんえん とぅらすたい（祝儀を 3 千円渡した）。

ゆーか [ju:ka]【名詞】［C］夜更かし。【例】きゅーまい ゆーか（今日も夜更かしだ）。ゆび ゆーかー ひー ににゅーや かっらんに なりゅー（昨晩、夜更かをして、眠くてこっくりこっくりしている）。ん゜ぬが ゆーや ゆーか あすたい（昨晩は夜更かしした）。ん゜ぬー ゆーか あたい（昨晩は夜更かしだった）。

ゆーか [ju:ka]【名詞】［A］4 日。【例】くまぬ すかまー ゆーか かかいどぅす（この仕事は 4 日かかる）。

ゆーがー [ju:ga:]【形容詞】（体や精神が）弱い。 【例】からー ゆーがー（彼は弱い）。ゆーがーずむびとぅ（気の弱い人）。［類］ゆー。

ゆーがーい [ju:ga:i]【名詞】時代が変わること、世がわり。 【例】ゆーがーいや ひー みゃーすふ なりーどぅー（世がわりして生活は楽になっている）。あめりかゆーから やまとぅゆ

ーんかい　ゆーがーい（アメリカの世から日本の世に世変わり［アメリカ占領時代から日本に返還されたこと］）。

ゆーかーま [ju:ka:ma]【名詞】遠いところ。【例】ゆーかーまぬ　いん（遠くの海）。うじゃーぬ　ゆーかーまから　んみゃいーふぃーさまい　やぐみすでぃがほー（はるか遠方からいらしてくださって大変感謝いたします）。

ゆーかない [ju:kanai]【名詞】3日前　［文字通りには４日前。数えで数えるので４日前は３日前になる］。

ゆーくい [ju:kui]【名詞】〖祭礼〗ななむい（7杜）の女性たちの神様への裕福の祈願、無病息災、五穀豊穣の祈願　［「ユークイ」と「ミャークズツ」は西原の二大祭事］。【例】ゆーくいんな　ぱーたー　よーんてぃるてぃ　あいっちゃーん　すまう　あいきーまーい（ユークイにはおばあさん達は世を豊かにして下さいと言いながら集落を歩き回る）。

ゆーぐむい [ju:gumui]【名詞】〖祭礼〗夜籠り。【例】うたきんぬ　ゆーぐむいぬ　かんにがい（御嶽での夜籠りの祈願）。うたきん　ゆーぐむいあす（御嶽で夜籠りする）。［変異］ゆぐむい。

ゆーさ [ju:sa]【名詞】［C］〖鳥〗鷺（サギ）。【例】ながぬどぅ　ゆーさ（首の長い鷺）［首が長い人のあだ名としても使われる］。

ゆーず [ju:zɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［C］茹でる。【例】わーゆ　ゆーでぃ（豚肉を茹でなさい）。［変異］ゆーっず。［類］ゆーでぃ。

ゆーだみにがい [ju:daminigai]【名詞】〖祭礼〗世鎮めの祈願。

ゆーつ [ju:tsɨ]【名詞】［A］〖数詞〗四つ。

ゆーてぃ [ju:ti]【名詞】［A］〖数詞〗四年。

ゆーでぃ [ju:di]【動詞】［母音語幹］［C］茹でる。【例】わーゆ　ゆーでぃる（豚肉を茹でなさい）。［類］ゆーず。

ゆーてぃあとぅ [ju:tiatu]【名詞】3年後　［文字通りには４年あとであるが、数えで数えるので３年あとになる］。

ゆーてぃない [ju:tinai]【名詞】3年前　［文字通りには４年前であるが、数えで数えるので３年前になる］。

ゆーなぎー [ju:nagi:]【名詞】〖植〗オオハマボウ　アオイ科の常緑高木。【例】ゆーなぎーぬ　はーひー　まいぬいゆ　んない（オオハマボウの葉でおにぎりをにぎる）。［類］ゆなぎー。

ゆーふらがん [ju:furagan]【名詞】〖生物〗ソデカラッポガニ。【例】ゆーふらがんな　なうぬ　ふぁう　どぅくまい　にゃーん（ソデカラッポガニには何の食べるところもない）。

ゆーらす [ju:rasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］（縛ったものなどを）緩める。 【例】うぬ　なーゆ　ひーちゃがま　ゆーらし（この縄を少しだけ緩めろ）。

ゆーんている [ju:ntiru] 【成句】〖祭礼〗「裕福を満たせ」という意味の祈願の言葉。【例】ゆーくいんな　ななむいぬ　ぱーたー　うきゃんひー　かなまいや　うそぅいどぅ　ゆーんてぃる　ゆーんてぃるてぃー　ななむいや　まーりー　かんな　にがいーうたい（ユークイにはナナムイのおばあさんたちは、つる草で頭を覆って、世を裕福で満たせ、裕福で満たせとナナムイを回って祈願していた）。［変異］よーんてぃる。

ゆい [jui] ①【動詞】［r/rr 語幹］［A］（風などで）揺れる；揺らす；（篩（ふるい）などに）かけてより分ける。【例】かでぃふつんな　きーぬ　ゆりゅー（台風で木が揺れている）。ぶらんこー　ゆい（ブランコを揺らす）。しーなうひー　みりくんぐーゆ　ゆい（ふるいでメリケン粉をよりわける）。②【動詞】［r/rr 語幹］［A］揺り動かす　［赤ちゃんの名前を付けるために、まず最初にお盆に神様、先祖神の名前を書いた紙を小さく丸めて乗せて、お盆を揺り動かす。3回連続して落ちたものがその子の名前となる］。【例】っふぁぬ　なーゆ　ゆい（赤ちゃんの名前の候補を揺り動かす）。

ゆい [jui] 【動詞】［r/rr 語幹］［A］（場所に）たち寄る；（船などが）流れ着く、（魚の群れが）おしよせる。 【例】むとぅやーんかい　ゆい（実家に寄る）。ゆーかーまから　やりふにぬどぅ　ゆりっちゅー（遠くからぼろ船が漂着した）。むっるぬどぅ　まじゃんかい　ゆりーっちゅーい（ムロアジが真謝におし寄せてきている）。

ゆい [jui] 【動詞】［母音語幹］［A］（縄を）結（ゆ）う［村では自前でロープを作るために 3 本の縄を 3 名でねじって回す］；（髪を）結上げる。 【例】からっじゅ　ゆいー（髪を結上げる）。［類］ゆー、ゆっづぃ、ゆーい。

ゆい [jui] 【名詞】［A］（農作業などを）お互いに助け合うこと。 【例】きゅーや　かにたが　ぶーずたうすぬ　ゆいんかい　いかだかー　ならん（今日はカニのうちのサトウキビの収穫の手伝いに行かないといけない）。［類］ゆいまーる。

ゆい [jui] 【名詞】［C］夕食。 【例】ゆいゆ　ふぁう（夕食を食べる）。ゆいが　そぅー（夕食のおかず）［「ゆいぬ　そぅー」とも言う］。ゆいや　ふぁいから　にっづぃ（夕食食べてから眠ろ）。ゆいぬ　そぅがいゆ　ほぅだかー　ならん（夕食の支度をしないといけない）。

ゆい [jui] 【名詞】［B］（年齢の）間隔、間。 【例】うぬきゃー　ふたーつがゆいや　ひぬ　きゃうだいどぅ　あた

い（彼らは２歳ちがいのきょうだいだった）。

ゆいまーる [juima:ru]【名詞】相互扶助。【例】きゅーや　やーふつ　すきなふぬ　ゆいまーる（今日は家づくりの相互扶助だ）。［類］ゆい。

ゆいまい　ひーまい [juimai hi:-mai]【成句】昼も夜も。【例】ゆいまい　ひーまい　みどぅんぬ　くとぅーうむー（昼も夜も妻のことを思う）。

ゆか [juka]【名詞】［B］床。【例】んきゃーんな　まつぎーひーどぅ　やーぬ　ゆかう　ちゅっふゅーたい（昔は松の木で家の床を作っていた）。なかゆか（食事をする部屋）。

ゆが [juga]【形容詞】［A］（釘や腰など）曲がった；（心が）曲がった。【例】ゆがかにふっじゅ　すんばし（曲がった釘をのばせ）。ゆがんつ（曲がりくねった道）。ゆながい　びじゅーてぃがー　くっさ　ゆがふなりー　にゅーぐりむぬ（ながく座っていると腰が曲がって眠りにくい）。ゆがうむくとぅ（悪知恵）。ゆがががなまい（常識に外れたことを言う人）。

ゆかい [jukai]【動詞】［r/rr 語幹］［C］（精神的に）豊かになる、金持ちになる。【例】んまがー　だいがくんかい　ごーかくー　ひー　ゆかりーにゃーん（孫が大学に合格してうれしい）。でぃんぬ　はーさ　まうきー　ゆからでぃ（お金をたくさんもうけて裕福になろう）。ばんちゃー　ゆかりー　ふぁいゆー（私たちはゆたかに生活している）。

ゆかい　ういびとぅ [jukai uibitu]【成句】それなりに年を取っている人。【例】かいまい　んめ　ゆかい　ういびとぅ　なりーどぅ（彼もそれなりに年を取っている）。

ゆがいな [jugaina]【形容詞】面白い、愉快な、滑稽な、剽軽（ひょうきん）な。【例】かりゃー　ゆがいなびとぅ（彼は面白い人だ）。かにゃー　ゆがいながま（カニは滑稽な人だ）。ゆがいなんまり（面白い奴）。ゆがいな　はなす（面白い話）。

ゆかいびとぅ [jukaibitu]【名詞】金持ち；身分の高い人、えらい人。【例】くぬ　すまん　んながーんな　ゆかいびとぅー　たる（この村で一番裕福な人は誰ですか）。［類］ゆかいむぬ。

ゆかいむぬ [jukaimunu]【名詞】金持ち；身分の高い人、えらい人。［類］ゆかいびとぅ。

ゆがうむくとぅ [jugaumukutu]【名詞】悪知恵、よこしまな考え。【例】ゆがうむくとぅ　むちや　ならん（悪い考えを持ってはいけない）。

ゆがががなまい [jugaganamai]【名詞】頭の格好が悪い人；ずるい奴、バカな奴、バカなことを言う（考える）人、へそ曲がり、話の的を射ていない人。

【例】ばー　かぬ　ゆがががなまいん　ずみく　だまくらはいーにゃーん（私はあのバカな奴に見事に騙されてしまったた）。かりゃー　ゆがががなまい　えいば　ひとぅぬ　むぬいゆぎゃー　つかん（彼はへそ曲がりなので人の言う事を聞かない）。［類］ゆがががなまりゃ。

ゆがががなまりゃ [jugaganamarja] 【名詞】頭の格好が悪い人；ずるい奴、バカな奴、バカなことを言う（考える）人、へそ曲がり、話の的を射ていない人。【例】かりゃー　ひとぅぬ　はなっそぅぎゃー　つかん　ゆがががなまりゃ（彼は人の話に耳を傾けない協調性にない人だ）。［類］ゆがががなまい。

ゆかす [jukasɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［C］だます。　【例】あいや　ひとぅーぎゃー　ゆかはだうり（そんなに人をだますな）。［変異］ゆくす。

ゆがずー [jugazɨ:] 【名詞】理屈っぽいこと。　【例】ゆがずーびとぅ（理屈っぽい人）。

ゆがたい [jugatai] 【名詞】世間話、おしゃべり。　【例】みどぅんんみぬ　ゆがたいゆ　すきゃきてぃがー　んめ　ゆさらびたーひー　なまらん（女性たちがおしゃべりを始めるともう夕方まで止まらない）。ういびとぅんみぬ　ゆがたい（年寄りたちの世間話）。ゆがたい　あぐ（お喋り友達）。かなすぎないやひー　ゆがたいがま　あす（愛おしそうにお喋りする）。

ゆかどぅ [jukadu] 【名詞】［A］四つ角；十字路。　【例】やーぬ　ゆかどぅんかい　まーそぅー　はうい（家の四つの角に（魔除けの）塩をまく）。やーぬ　ゆかどぅんな　かんぬどぅ　うい（家の４つの角には神がいる）。ゆかどぅーぎゃー　まさぐん　あいき（十字路は気を付けて歩け）。［類］ゆまた。

ゆがはず [jugahazɨ] 【名詞】がに股。　【例】ぬーまん　ぬーいてぃがー　ゆがはずんどぅ　ないちゃ（馬に乗るとがに股になるそうだ）。

ゆがばらい [jugabarai] 【名詞】（相手を）馬鹿にして笑うこと。

ゆがほぅー [jugahu:] 【名詞】豊年、豊作。　【例】くとぅっさ　ゆがほぅー　やーにゃー　がんじゅー（今年は豊作、来年は健康）。

ゆがほぅーあみ [jugahu:ami] 【名詞】恵みの雨。

ゆがまーい [jugama:i] 【動詞】［r/rr 語幹］これといった目的なく歩き回る。　【例】っぅぁー　んじゃんかい　いきどぅ　ゆがまーいったいが（あなたはどこをほっつき歩いてきたの）。

ゆかりゃ [jukarja] 【名詞】［C］豊かな人、幸せ者。　【例】かいがどぅ　んながーんな　ゆかりゃ（彼が一番金持ちだ）。

ゆがん [jugan] ①【動詞】［m 語幹］［A］（釘、体が）曲がる、（戸などが）歪む、

（考えなどが）歪む。【例】くぬ　かにふっじゃ　ゆがみーどぅー（この釘は曲がっている）。くすぬ　ゆがん（腰が曲がる）。くぬ　やどぅー　ゆがみゅーば　まうとぅん　なうし（この戸は歪んでるからまっすぐに直せ）。②【名詞】[B] 身体の歪み；心の歪み、間違え。【例】くすぬ　ゆがんぬ　なうし（腰のゆがみを直しなさい）。やらびゅーぎゃー　かんがなすぬ　みゅーぶき　ゆがんてぃや　にゃーだ　すぐらひー　ふぃーさまてぃ（子供たちが神様のおかげを持って間違いを起こすことなく立派になれ［祈願の文句］）。

ゆぎゃー [jugja:]【助詞】（格助詞＋提題）「うぎゃー」の変異形、目的格形に提題を付けた形、「をば」に当たる。【例】うぬ　まかいゆぎゃー　まながんてぃー　ゆすぎ（このお椀をちゃんとゆすげ）。ゆそぅみーゆぎゃー　ほぅだうり（よそ見をするな）。くまぬ　だいゆぎゃー　かまんかい　ゆっじゃし（ここのテーブルを向こうに寄せろ）。やーぬ　んつきんな　まんじゅーゆぎゃー　いびん（家の軒下にはパパイヤの木は植えない）。［変異］うぎゃー。

ゆく [juku]【名詞】[C] 欲。【例】ゆくじゅー（欲深い）。ゆくじゅーんまり（欲深い奴）。ゆくじゅーびとぅ（貪欲な人）。うなが　ゆくん　ふぁーいー　うどぅきー　はりーにゃーん（自分自身の欲に負けて損をした）。

ゆくー [juku:]【動詞】［w 語幹］[C] 憩う、休む。【例】じょー　ゆくーでぃ（さあ　休もう）。うや、ゆくーまてぃ（おじいさん、おやすみなさい）。［類］ゆくい。

ゆくい [jukui] ①【動詞】［母音語幹］[C] 休む。【例】じょー　ゆくいでぃ（さあ休もう）。うまん　ゆくいる（そこで休みなさい）。［類］ゆくー。②【名詞】[C] 休憩。【例】さんじゆくい（三時の休憩）。くまん　ひーまゆくい　ほぅでぃ（ここで昼休みをしよう/ここで昼ごはん食べよう）。

ゆくす [jukusɨ]【名詞】[C] 嘘、でたらめ。【例】まーぬ　ゆくす　むぬいゆぎゃー　あすな（あんまりでたらめを言うな）。ういが　はなっさ　ゆくすむぬいどぅ　はーさかい（彼の話は嘘の話が多い）。［変異］ゆくし。

ゆくたーい [jukuta:i]【動詞】［r 語幹］（疲れて）横になる、横たわる。【例】すかまー　だりってぃ　ゆくたーりゅー（仕事で疲れてきて横になっている）。まうきゃーいんな　さんしんばなりぬどぅ　ゆくたーりゅー（大浦湾にはサンシンバナリが横たわってる）。

ゆくぬどぅ [jukunudu]【名詞】気管支。【例】むぬーどぅ　ゆくぬどぅんかい　かからひーにゃーん（食べ物を気管支に入れてしまった）。

ゆくん [jukun]【動詞】［m 語幹］[A] いきむ、りきむ、力を入れる。【例】

まぱい　っふぁー　んなま　いでぃー　くーっじゃうば　わいてぃー　んくみ（マパイ、子供は今産道から出て来ようとしているからしっかりと力め）。［類］んくん。

ゆさらび [jusarabi]【名詞】夕方。【例】ゆさらび　なりどぅ　やらびゃー　ふがますふ　なりゅー（夕方になって子供がうるさくなっている）。ゆさらび　ないてぃがー　やらびゃー　んまうどぅ　とぅみー（夕暮れになると子供は母親を探す）。

ゆさらびがた [jusarabigata]【名詞】夕方ごろ。

ゆす [jusɨ]【形容詞】［B］（農地が）肥えた、豊かな、肥沃な。【例】くぬ　はいや　ゆすばい（この畑は土地が肥えている）。ゆすかいずーどぅ　むぬー　でぃきー（肥沃な土地に作物ができる）。

ゆずー [juzɨ:]【名詞】［C］夜釣り。【例】ゆずーんかい　いつ（夜釣りに行く）。

ゆすず [jusɨzɨ]【動詞】［g 語幹］［A］（食器などを）ゆすぐ、すすぐ；（口を）すすぐ、うがいする。【例】うぬ　まかいゆぎゃー　まながんてぃー　ゆすぎ（このお椀をちゃんとゆすげ）。むぬー　ふぁいぬ　あとぅんな　ふっちゅ　ゆすず（食後は口をすすぐ）。つんぬ　ゆすず（着物を濯ぐ）。

ゆすばい [jusɨbai]【名詞】寝小便。【例】ゆすばいや　っしー　んまん　んみかいにゃーん（寝小便をしてお母さんに叱られた）。やらびゃー　きゅーまい　また　ゆすばい（子供は今日も又寝小便だ）。

ゆすばいふかしゃ [jusɨbaifukaɕa]【名詞】寝小便をする人。【例】くぬ　ゆすばいふかしゃ、きゅーまい　また　ゆすばい（この寝小便たれ、今日もまた寝小便か）。

ゆそう [jusu]【名詞】［C］（本来あるところとは）別のところ、よそ。【例】いつまい　ゆそぅんかいや　いかだどぅ　やーん　うい（いつも外出しないで家にいる）。ゆそぅみーゆぎゃー　ほぅだうり（よそ見をするな）。

ゆそぅずま [jusuzɨma]【名詞】他の集落。【例】ばぬんな　ゆそぅずまむぬいや　つかいん（私にはよその村の言葉は聞き取れない）。

ゆそぅでぃー [jusudi:]【名詞】利き手でないほうの手。【例】ちゅーしゃうぎゃー　ゆそぅでぃーん　うつばどぅ　じゃうかい（注射は利き手でない方に打つのがいい）。

ゆだ [juda]【名詞】［B］枝。【例】かでぃふつん　きーぬ　ゆだー　ぶりーにゃーん（台風で木の枝が折れた）。ゆだなゆり　なりゅー　まみよー（枝にたわわに実っている豆よ［古謡「豆が花」から）。

ゆたーい [juta:i]【名詞】〖数詞〗四人。

ゆだい [judai]【名詞】［B］よだれ。【例】ゆだいゆ　たらす（よだれを垂らす）。くぬ　ゆだら、っうぁが　ゆだいゆ　ふき（このよだれたらし、お前のよだれをふけ）。

ゆだだかい [judadakai]【動詞】［r/rr 語幹］木に枝が密集していること。【例】ふにゅーぎーや　ゆだー　たかりーどぅー（ミカンの木は枝が集っている）。［変異］ゆだたかーい。

ゆたみつ [jutamitsɨ]【動詞】［k 語幹］ふらつく。【例】ゆたみきー　あいつ（よたよたと歩く）。［変異］ゆだみふ。

ゆたみふ [jutamifu]【動詞】［k 語幹］ふらつく。［変異］ゆたみつ。

ゆたゆたてぃー [jutajutati:]【オノマトペ】よたよたと。【例】びゅーい　びとぅー　ゆた　ゆたてぃー　あいきー　まーりゅー（酔っぱらいはよたよたと歩き回っている）。

ゆだら [judara]【名詞】［C］よだれを垂らしている人。【例】ほぅりゆだら（馬鹿な奴）。

ゆちり [jutɕiri]【名詞】［C］役にたつこと、使い道。【例】うりゃー　ゆちりゃー　にゃーんば　てぃっうぃ　すてぃる（それは役に立たないので捨てろ）。うりゃー　なうぬ　ゆちりゃー　あいどぅすな（それは何の役に立つのか）。っうぁー　すかまー　ひらいん　ゆちりゃーにゃーんんまり（お前は仕事のできないどうしようもない奴だ）。［変異］よちり。

ゆつ [jutsɨ]【名詞】［B］斧。【例】ゆつひー　きーゆ　なず（斧で木をたたき切る）。

ゆっうぁす [juvvasɨ]【動詞】［s/h 語幹］「ゆー（怖がる、恐れる）」の使役形、「怖がらせる」。［変異］いっうぁす。

ゆっうぃ [juvvi]【動詞】［母音語幹］［A］（縄を）結（ゆ）う［村では自前でロープを作るために 3 本の縄を 3 名でねじって回す］;（髪を）結上げる。［類］ゆい、ゆー、ゆーい。

ゆっじゃす [juʑʑasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（別の位置に）移動させる、寄せる。【例】くまぬ　だいゆぎゃー　かまんかい　ゆっじゃし（ここのテーブルを向こうに寄せろ）。

ゆっず [juzzɨ]【動詞】［zz/dd 語幹］［A］ある地点に近づく；ある地点から離れて別の地点に近づく。【例】ばが　かまんかい　ゆっじゃでぃ（私があっちに行きましょう）。ばが　まいんかい　ゆっでぃー　くー（私の近くに寄れ）。

ゆったーうぁす [jutta:vasɨ]【動詞】［s/h 語幹］揺さぶる。【例】きーゆ　ゆったーうぁす（木を揺り動かす）。

ゆっだき [juddaki]【名詞】四つ竹［幅４センチ、長さ１０センチ位の竹でできたカスタネットのような打楽器。二枚で一組、これを両手に持ち（計四枚）踊りに合わせて音を出す］。【例】ゆっだきゅー　ったきー　ぶどぅい（四竹を叩いて踊る）。

ゆっでぃ [juddi]【動詞】［母音語幹］［A］ある地点に近づく；ある地点から離れて別の地点に近づく。【例】くまんかい　ゆっでぃー　くー（ここに近づいて来い）。かまんかい　ゆっでぃる（あっちに寄れ）。

ゆどぅます [judumasɨ]【動詞】［s/h語幹］淀ませる；（人、車などを）ある場所にとどまらせる；ものを炊くときに弱火にしておく、また、火を止めておいて一定時間おいて、味をしみさせたり、さましたりする。【例】ころないるっそぅぎゃー　やーぬ　なかんな　ゆどぅまはだ　あらんかい　ながすばどぅ　じゃうかい（コロナウイルスは部屋の中にとどめずに外に流すのがいい）。うぬきゃが　ふたーいゆぎゃー　うまん　ゆどぅまほぅーき（彼ら二人をそこにとどめておけ）。んーなびゅー　ゆどぅます（芋鍋を（味をしみさせるため）弱火にしておく）。やきぬ　ふたきなぬ　てぃんぷらー　あつかいば　ひーちゃがま　ゆどぅまひーから　ふぁい（揚げたばかりの沖縄風ドーナツは熱いのですこしさましてから食べなさい）。

ゆどぅん [judun]①【動詞】［m語幹］［A］（水などが）淀む、（人、車などが）一か所にとどまる。【例】みっじゃ　ゆどぅみーどぅーい（水は淀んでいる）。かでぃふっちゃ　ゆぬとぅくまんどぅ　ゆどぅみゅーがおーかん（台風は同じ所に居座っているようだ）。②【名詞】［B］よどみ、止まること。【例】っぞぅー　みずぬ　ゆどぅんどぅ　ういー（魚は水のよどみにいる）。なうぬ　ゆどぅんてぃーまい　にゃーだ、　かかいてぃーまい　にゃーだ　かなーすみー　ふぃーさまてぃ（（子供たちが）何の淀みもなく、障害もなく、頑張らせてくださいませ［＞（子供たちが）立ち止まることもなく、障害にもまけず、がんばるようお導きください］［祈願の文句］）。

ゆなうす [junausɨ]【名詞】世直し。【例】とぅゆみゃー　ゆなうす　あす（豊見親は世直しする［＞指導者はいい世の中を作る（べきだ）］）。

ゆなか [junaka]【名詞】［B］夜中。【例】んきゃーんな　ゆなかん　うきゅー　ひとぅー　まーぬ　みーっだん（昔は夜中に起きている人はあまりいなかった）。

ゆながい [junagai]【名詞】長い期間；長い間［副詞としても使われる］。【例】ゆながいぬ　ゆくい（長い間の休み）。きたてぃ　ゆながい（とても長い間）。ゆながい　まちゅーそぅが　かりゃー　いつがみまい　くーん（長い間まっ

ているが彼はいつまでも来ない)。やらびゃー　ゆながい　とぅみたいそぅがどぅ　とぅみらいっだん（子供を長時間探したが見つからなかった)。ばーかりゅーぎゃー　ゆながい　みーや　みーっだん（私は彼を長い間見たことなかった)。

ゆなかばい [junakabai]【名詞】畑仕事で帰りが遅くなること、仕事で帰りが遅いこと、帰りが遅くなること。【例】きゅーや　ゆなかばい（今日は帰りが遅くなる)。んまー　きゅーまい　ゆなかばい（お母さんは今日も仕事で帰りが遅い)。

ゆなぎー [junagi:]【名詞】〖植〗オオハマボウ　アオイ科の常緑高木。【例】んきゃーんな　ゆなぎーぬ　はーひどぅ　まいぬいゆ　んなりゅーたい（昔はオオハマボウの葉っぱでおにぎりを握っていた［炊き立てのご飯は熱いのでオオハマボウの葉にご飯を載せて包んで握った])。［類］ゆーなぎー。

ゆなつ [junatsɨ]【名詞】［C］夜泣き。【例】ゆなつ　あす　やらび（夜泣きする子供)。

ゆに [juni]【名詞】［B］粟。【例】あーぬ　くとぅーどぅ　ゆにてぃーまい　あい（粟のことをユニとも言う)。［類］あー。

ゆぬ [junu]【形容詞】［B］同じ、同じだ；似ている。【例】ゆぬ　ぶーりゃ（同じ年ごろ)。ゆぬ　とぅす（同じ年齢)。ゆぬ　たうかーちゃう　やいてぃがー　みどぅんっうぁどぅ　じゃうかい（同じひとりだったら女の子の方が良い)。ゆぬ　だい（同じ値段)。ゆぬ　ほぅりむぬ（同じようなバカ)。ゆぬ　すま（同郷)。ゆぬ　ひとぅっでぃ（同じ干支の人)。ゆぬ　たらき（同じ家系)。ゆぬ　うむい（同じ思い)。ゆぬ　ほぅい（同じ大きさ)。ゆぬ　たかさ（同じ高さ)。ゆぬ　どぅきゃ（同じ時間)。ゆぬ　たき（同程度)。ゆぬ　たま（同じ分け前)。ういとぅ　くいとぅー　ゆぬ（それとこれとは同じだ)。くいとぅ　ゆぬかい　むぬー　いだし（これと同じものを出せ)。ういがどぅ　くいとぅんながーんな　ゆぬかい（それがこれと一番似ている)。ばんまい　ゆぬ　むぬー　いらばでぃ（私も同じものにしよう)。

ゆぬーい [junu:i]【名詞】一年の同じ時期、一周年、一周忌、満一年、一年後の同じ季節・時期・折。【例】くつすまい　まみまつ　ゆぬーいぬどぅ　っちゅー（今年も豆を蒔く季節がきた)。［変異］ゆぬい。

ゆぬす [junusɨ]【名詞】［C］神様の名前。人名にも使われる。【例】ゆぬっさ　あぱらぎ（ユヌスはきれいだ)。

ゆぬそぅい [junusui] ①【名詞】似ているもの、同じもの。【例】ふたかー　ゆぬそぅい（双子は似ている)。うぬき

ゃが　ふたーっちゃ　ゆぬそぅい（この二つは似ている）。っづぁまい　ばんとぅ　ゆぬそぅいゆ　いらび（君も僕と同じものを選べ）。［類］ゆぬむぬ。②【形容詞】似ている、同じ。【例】ういがどぅ　かいとぅ　ゆぬそぅいかい（それがあれと同じだ）。

ゆぬむぬ [junumunu]【名詞】同じもの、同じだ；(「動詞未然形・＋（ば）んまい　ゆぬむぬ」の形で)～てもいい。【例】ういとぅ　くいとぅー　ゆぬむぬ（それとこれとは同じだ）。まさいが　みがん　ふぃーやー　むぬ　かにが　むぬとぅ　ゆぬむぬ　あたい（マサイがミガにやったものはカニが持っているものと同じだった）。っづぁが　ほぅすかいてぃがー　ふぃーんまい　ゆぬむぬ（君が欲しいなら上げてもいいよ）。ばんまい　っづぁとぅ　ひとぅみ　いかばんまい　ゆぬむぬ（私も君と一緒に行ってもいいよ）。

ゆぬりゃ [junurja]【名詞】［C］（作物を植える）折、時節、季節。【例】ゆぬりゃ　なりーどぅーば　ぶーずまい　いびだかーならん（時節になっているからサトウキビも植え付けないとならない）。［類］ゆぬい。

ゆばい [jubai]【名詞】［B］夜這い。【例】ほぅりむぬー　ゆばいほぅっじゃ　いきー　かつみらいーにゃーん（馬鹿者は夜這いしようとして捕まった）。

ゆび [jubi]【名詞】［C］昨晩。【例】ばー　ゆびの　くとぅーぎゃー　うぶいや　うらん（私は昨晩のことは覚えていない）。ゆびゃー　ゆながいたーひー　うきゅーたいば　ににゅーや　ひーどぅー（昨晩は長いこと起きていたので居眠りをしていた）。ゆびゃー　あみぬ　っふゅーたい（昨夜は雨が降っていた）。

ゆびだー [jubida:]【名詞】足が深くまでめり込む田んぼ。

ゆぶそぅ [jubusu]【名詞】［C］つむじ。【例】かぬ　やらびんな　ゆぶそぅぬどぅ　みーつまい　ゆーつまい　ありゅー（あの子にはつむじが三つも四つもある）。

ゆぶそぅかでぃ [jubusukadi]【名詞】つむじ風。【例】うんどうじょーんな　ゆぶすかでぃがまぬどぅ　ふきゅー（運動場にはつむじ風が吹いている）。ゆぶそぅ　かでぃぬどぅ　ふきゃぎゃりゅー（つむじ風が舞い上がっている）。

ゆふない [jufunai]【動詞】［r/rr 語幹］（病気などが）良くなる　［成績などが良くなる場合は、「じゃうふない」を使う］。【例】かなまいやんな　ゆふなりーどぅ（頭痛は良くなっている）。

ゆふなうらす [jufunaurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（病気などを）直す、（機械などを）修理する。【例】くるまー　ゆふなうらはい　どぅー（車は直った）。

ゆふなし [jufunaɕi] 【動詞】［母音語幹］（病気などを）直す、（機械などを）修理する。 ［類］ゆふなす。

ゆふなす [jufunasi] 【動詞】［s 語幹］（病気などを）直す、（機械などを）修理する。 【例】いしゃー　やんぬ　ゆふなす（医者は病気を治す）。くるまう　ゆふなし（この車を修理しろ）。［類］ゆふなし。

ゆまた [jumata] 【名詞】［B］十字路。 【例】ゆまたうぎゃー　まさぐん　あいき（十字路は気を付けて歩け）。［類］ゆかどぅ。

ゆみ [jumi] 【名詞】［A］嫁。 【例】つむかぎ　あぱらぎ　ゆみ（きだてが良くて美人の嫁）。ゆみんかい　いだす（嫁に出す）。ゆみゅー　っじ（嫁をもらう）。かーばったが　みどぅんっづぁう　ゆみんかい　っじたい（カワバタの娘を嫁にもらった）。

ゆみ [jumi] 【名詞】［B］夢。 ［変異］いみ。

ゆみーまーい [jumiːmaːi] 【動詞】［r/rr 語幹］（噂話を）言いふらす。 【例】かりゃー　ひとぅっじゃぬ　すー　やいば　いつまい　ひとぅぬ　くとぅー　ゆみーまーい（彼は噂話の発信源だからいつも人のことをいいふらす）。

ゆむじゃ [jumuʑa] 【名詞】［C］年を取ってできるしみ、老斑。 【例】ういびとぅ　ないてぃがー　ゆむじゃぬどぅ　いでぃーふー（年を取るとしみが出てくる）。

ゆむぬ [jumunu] 【名詞】［C］ネズミ；無能な人を軽蔑して指す罵声語、やつ。 【例】まゆー　ゆむぬーどぅ　とぅい（猫は鼠をとる）。くぬ　なうや　ひらいん　ゆむぬ（この何もできない奴）。くぬ　ほぅりゆむぬ（この馬鹿野郎）。

ゆむぬ　だすからん [jumunu dasikaran] 【成句】頼りにならない。 【例】ゆむぬ　だすからん　んまり（頼りにならないどうしようもないやつ）。

ゆら [jura] 【名詞】［C］〖魚〗小さい魚の名前。

ゆら [jura] 【名詞】［C］（農作業の）時期、（台風などの）季節。 【例】んみゆら（熟する時期）。かいゆら（刈り取る時期）。ぶーずぶいゆら　ってぃーどぅー（サトウキビ収穫の時期がきている）。かでぃふつゆらん　ないてぃがー　あうそぅんぬどぅ　うんそぅく　とぅびーふー（台風の季節にあるとトンボがたくさん飛んでくる）。

ゆら [jura] 【名詞】［C］クラゲ、毒クラゲ。 【例】ながでぃーゆら（毒クラゲ）。

ゆらい [jurai] 【動詞】［r/rr 語幹］［C］放浪する、迷子になる。 【例】かりゃー　やまとぅん　ゆらりー　まーりゅーたい（彼は内地に放浪していた）。うぬ　っふぁー　ゆらりどぅ　んまー　と

ぅみかにー　なきーうたい（その子供は迷子になって、母親が見つけられなくて泣いていた）。やらびゃー　ゆらりー　ほぅりみつっじゃ　ひーうい（子供は迷子になってパニックになっている）。

ゆらう [jurau]【動詞】［b 語幹］［A］（名前を）呼ぶ、来いという；（会などに人を）招待する。【例】ひとぅぬ　なーゆ　ゆらう（人の名前を呼ぶ）。んまがどぅ　っづぁう　ゆらびゅー（お母さんがお前を呼んでいる）。ゆーいんかい　ひとぅー　ゆらう（お祝いに人を招く）。

ゆらがす [juragasɨ]【動詞】［s/h 語幹］（風などが木などを）ゆらす。［変異］ゆるがす。

ゆらぎ [juragi]【動詞】［母音語幹］［A］ゆれる、ゆらぐ。［変異］ゆるぎ。［類］ゆりず、ゆりぎ、ゆらず。

ゆらす [jurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］許す。【例】ぬそぅどぅーぎゃー　ゆらはん（泥棒を許さない）。［変異］ゆるす。［類］ゆるがす。

ゆらす [jurasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］揺らす。【例】かでぃぬどぅ　きーぬ　はーゆ　ゆらほぅーたい（風が木の葉を揺らしていた）。まんじゅーぎーゆ　ゆらひー　まんじゅーゆ　うたし（パパイヤの木を揺らしてパパイヤの実を落とせ）。［類］ゆい。

ゆらず [jurazɨ]【動詞】［g 語幹］［A］ゆれる、ゆらぐ。［変異］ゆるず。［類］ゆりず、ゆりぎ、ゆらぎ。

ゆらつ [juratsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］譲る。［変異］ゆらふ、ゆるつ、ゆるふ。［類］ゆるき。

ゆらふ [jurafu]【動詞】［k 語幹］［A］譲る。［変異］ゆらつ、ゆるつ、ゆるふ。［類］ゆるき。

ゆらら [jurara]【名詞】［C］放浪者、流れ者。【例】やまとぅゆらら（内地からの放浪者）。

ゆららす [jurarasɨ]【動詞】［s/h 語幹］行方不明にさせる、迷子にさせる。【例】っふぁー　ゆららひー　むいとぅ　しば（子供を迷子にさせてしまってとても心配だ）。

ゆらりむぬ [jurarimunu]【名詞】あちこち落ち着きなく移動する人、流れ者。【例】やまとぅゆらりむぬ（内地からの浮浪者）。

ゆらりんまり [jurarimmari]【名詞】流れ者。

ゆりぎ [jurigi]【動詞】［母音語幹］［A］ゆれる、ゆらぐ。［類］ゆりず、ゆらず、ゆらぎ、ゆるず。

ゆりぎ [jurigi]【名詞】［A］流木。【例】うきぬ　ゆりぎぬ　すたんな　かっちゅぬ　うい（沖の流木の下にはカツオがいる）。

ゆりず [jurizɨ]【動詞】[g 語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。 [類] ゆりぎ、ゆらず、ゆらぎ、ゆるず。

ゆる [juru]【名詞】[C]（農具等の）取っ手、柄。 【例】っざらぬ　ゆる（鎌の取っ手)。っふぁつぬ　ゆる（鍬の取っ手)。

ゆるがす [jurugasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（風などが木などを）ゆらす。 【例】かでぃぬどぅ　きーぬ　はーゆ　ゆるがほぅーたい（風が木の葉を揺らしていた)。まんじゅーぎー　ゆるがひー　まんじゅーゆ　うたし（パパイヤの木を揺らしてパパイヤの実を落とせ)。[変異] ゆらがす。[類] ゆらす。

ゆるき [juruki]【動詞】[母音語幹][C] 譲る。 【例】ゆまん　ほぅんぬ　いちゅふんかい　ゆるきたい（読まなくなった本をいとこに譲った)。[変異] ゆらき。[類] ゆるつ、ゆらつ。

ゆるぎ [jurugi]【動詞】[母音語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。 [変異] ゆらぎ。[類] ゆるず、ゆらず、ゆらぎ、ゆりず。

ゆるす [jurusɨ]【動詞】[s/h 語幹][C] 許す。 【例】うりゅーぎゃー　ゆるすな（そいつを許すな)。[変異] ゆらす。

ゆるず [juruzɨ]【動詞】[g 語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。 【例】かでぃふつんな　きーぬ　ゆるず（台風には木がゆれる)。[変異] ゆりず。[類] ゆるぎ、ゆらぎ、ゆりぎ、ゆりず。

ゆるつ [jurutsɨ]【動詞】[k 語幹][C] ゆれる、ゆらぐ。 【例】うらー　ゆるつてぃぬ　くとぅー　にゃーん（それが揺れ動くということはない)。[変異] ゆるふ。

ゆるつ [jurutsɨ]【動詞】[k 語幹][C]（緊張を）ゆるめる。 【例】つむー　ゆるつ（心を緩める［リラックスする])。[変異] ゆるふ。

ゆるふ [jurufu]【動詞】[k 語幹][C] ゆれる、ゆらぐ。 【例】ゆるす [変異] ゆるつ。

ゆるふ [jurufu]【動詞】[k 語幹][C]（緊張を）ゆるめる。 [変異] ゆるつ。

ゆるみ [jurumi] ①【動詞】[母音語幹][C]（精神や糸などの緊張が）ゆるむ。[類] ゆるん。②【動詞】[母音語幹][C]（精神や、帯状のものの緊張を）ゆるめる。[類] ゆるん、ゆるます。

ゆるん [jurun] ①【動詞】[m 語幹][C]（精神や糸などの緊張が）ゆるむ。 【例】つむー　ゆるん（心が緩む)。[類] ゆるみ。②【動詞】[m 語幹][C]（精神や、帯状のものの緊張を）ゆるめる。【例】ばー　そぅくーゆ　ゆるまでぃ（私は帯紐をゆるめよう)。さんしんぬ　ちるー　ひーちゃがま　ゆるみ（三線の弦をすこし緩めろ)。[類] ゆるみ、ゆるます。

ゆん [jun] ①【動詞】[m 語幹][C]（本や文字を）読む。 【例】ほぅんぬ　ゆん（本を読む)。ばぬんな　うぬ　ずー

や　ゆまいん（私にはその字は読めません）。②【動詞】[m 語幹] [C]（いくつあるか）数える；（数を）数える。【例】でぃんぬ　ゆん（お金を数える）。かうー　ゆん（線香を数える）。っぞぅー　いふから　あいがてぃー　ゆみ（魚が何匹あるか数えろ）。とぅーたーひー　ゆみ（10 まで数えろ）。③【動詞】[m 語幹] [C]（話を）する、（おしゃべりを）する。【例】むぬー　ゆん（おしゃべりする）。むぬいゆ　ゆん（おしゃべりをする）。ひとぅから　つきゃー　はなっそぅぎゃー　ゆんな（人から聞いた話をするな）。くぬいや　んきゃーんばなっそぅ　ゆん　ひとぅー　みーん（近頃は昔話をする人がいない）。④【動詞】[m 語幹] [C] 駄々をこねる　[「むぬー　ゆん」の形で現れるのが普通]。【例】まーぬ　むぬーぎゃー　ゆまだうり（あまりだだをこねるな）。んまがはいんかいてぃ　あすきゃー　やらびゃー　むぬー　ゆみんきゅー（お母さんが畑に行こうとすると子供は（行くなと）駄々をこねている）。なかさん　うとぅがま　ゆまさん　うとぅがま（弟よ、泣かさないよ、駄々をこねさせないよ［「ちゃんとお守りをするので泣いちゃだめ、駄々こねちゃダメ」という意味の子守歌［古謡「東里真中（あがいじゃとぅんなか）」から］）。⑤【動詞】[m 語幹] [C]（願いを）唱える、祈願する。【例】ふつゆん（口で唱えながら祈願する）。かんかいぬ　にがいゆ　ゆん（神への祈願を唱える）。

ゆん [jun]【名詞】[B] 弓。　【例】ゆんぬ　ひつ（弓を引く）。

ゆんぶに [jumbuni]【名詞】あばら骨（弓の様になっている骨）。　［類］あばらぶに。

よ

よーんなー [joːnnaː]【副詞】ゆっくりと、音を立てずしずかに。 【例】むぬーぎゃー　よーんなー　ふぁい（食事はゆっくりと食べなさい)。やらびゃー　にっうゅーば　よーんなー　あいき（子供が寝ているからしずかに歩け)。［類］よーんなーなー。

よーんなーなー [joːnnaːnaː]【副詞】ゆっくりと、音を立てずしずかに。［類］よーんなー。

ら

らく [raku] 【名詞】［B］楽。 【例】ら　　く　ほぅでぃ（楽をしよう）。

り

りす [risɨ]【名詞】［B］金利。【例】で　　ぃんぬ　りっさ　たかかいば　ならん（金利が高すぎる）。

ろ

ろくまく [rokumaku]【名詞】肋膜炎。　【例】ろくまくーひー　すんたい（肋膜炎で亡くなった）。

わ

わー [wa:]【名詞】[C] 豚。 【例】ばんてぃが　やーんな　わーゆ　つかない　うたい（我が家では豚を飼っていた）。

わーかう [wa:kau]【形容詞】不気味で怖い；危険だ。 【例】かまー　わーかう　どぅくま（向こうは怖いところだ）。うまー　わーかうかいば　うまんかい　いかだうり（そこは危ないからそこにはいくな）。

わーくらしゃ [wa:kuraça]【名詞】豚の屠殺人。 ［類］わーしゃー。

わーくらすかんにがい [wa:kurasikannigai]【名詞】〖祭礼〗人の身代わりに豚の命を神に捧げる祈願。 【例】いーがまん　わーくらす　かんにがい　あすたい（イーガマで豚を命の身代わりとする祈願をした［イーガマはヒダガーの西側］）。［変異］わーくらすがんにがい。

わーしゃー [wa:ça:]【名詞】豚の屠殺人。 ［類］わーくらしゃ。

わーじゃう [wa:ʑau]【名詞】豚肉の好きな人。

わーつつ [wa:tsɨtsɨ]【名詞】天気。 【例】きゅーや　じゃう　わーつつ（今日は良い天気だ）。んˀぬー　やな　わーつつどぅ　あたい（きのうは悪い天気だった［天気が悪かった］）。きゅーや　ひとぅむてぃから　あみふー　わーつつ（今日は朝から雨降り天気だ）。

わーつな [wa:tsɨna]【形容詞】無礼な、傲慢な。 【例】からー　むいとぅぬ　わーつなんまり（あいつはとても無礼な奴だ）。

わーない [wa:nai]【名詞】くちげんか。 【例】うぬきゃが　とぅずぶとぅー　いつまい　わーない　あっさ　すかま（その夫婦はいつもけんかをすることは日常茶飯事だ）。［類］やどぅゆん、わーないやどぅゆん。

わーないやどぅゆん [wa:nai-jadujun]【名詞】くちげんか。 ［類］わーない。

わーにむん [wa:nimun]【名詞】豚の煮物。 【例】さうがつんな　わーにむんぬ　ふぁう（正月には豚の煮物を食べる）。

わーぬたうに [wa:nutauni] 【名詞】豚のエサ入れ。

わーぬっし [wa:nuççi] 【名詞】豚小屋。 ［類］わーぬやー。

わーぬやー [wa:nuja:] 【名詞】豚小屋。 ［類］わーぬっし。

わーぶり [wa:buri] 【形容詞】馬鹿だ、馬鹿な。 【例】あいぬ わーぶり むぬいゆぎゃー あいな（そんな馬鹿な話はするな）。わーぶりんまりゃー たきゃー ひらいん（バカな性分の奴は相手にできない）。

わーら [wa:ra] 【名詞】［A］上の方；上座。 【例】やーぬ わーらんどぅ たかぬ とぅびゅー（家の上の方にサシバが飛んでいる）。やまぬ わーらなぎゅー みーる（山の上のほうを見ろ）。そぅじゃたー わーらんかい いかまてぃ（先輩方は上座の方にいらしてください）。［類］あーぎ。

わいてぃー [waiti:] 【副詞】しっかりと、一生懸命に。 【例】うなが はだんな わいてぃー かないー とぅず っふぁうぎゃー つかなーだかーならん（自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない）。うたきぬ うだいゆぎゃー わいてぃー かなーでぃ（御嶽の役割はしっかり果たそう）。わいてぃー んびゃう（一生懸命に我慢する）。じょー やびとぅーんーな わいてぃー そぅるきーみーでぃ（さあ、みんな元気よく頑張ろう［＜頑張ってみよう］）。

わいる [wairu] 【名詞】［C］賄賂。 【例】わいるーひや ならん（賄賂をしては駄目だ）。［類］かまい。

わざしゃー [wazaça:] 【名詞】技巧派。 【例】かぬ すまとぅらー やぐみ わざしゃー（あの相撲取りは凄い技巧派だ）。

わだち [wadatçi] 【名詞】［C］轍（わだち）。

わちゃく [watçaku] 【名詞】［C］いたずら、悪さ、意地悪、邪魔。 【例】ひとぅんかいや がいっじゅまい わちゃくーまい ほぅん（他人には害もするな、悪さもするな）。あいや ひとぅーぎゃー わちゃくーぎゃー ほぅん（そんなには人に意地悪しない［＜人を］）。まーぬ ばぬんかい わちゃく あすな（あまり私に悪さをするな）。まーぬ ばぬー わちゃく あすな（あんまり私を邪魔するな）。

わちゃくんまり [watçakummari] 【名詞】いたずらもの。

ん

ん [n] 【助詞】〖格助詞〗（場所を表す名詞について）位置、目標を表す、「に」;（場所を表す名詞について）動作が行われる場所、イベントがある場所を表す、「で」;（時間を表す名詞について）時点を表す、「に」;（人を表す名詞について）与格を表す、「に」;（人を表す名詞について）受け身、使役の動作主を表す、「に」。 【例】くるーぎゃー　んじゃん　うっつばどぅ　じゃうかい（これはどこに置けばいいの）。うまん　まちゅーき（ここで待っていてくれ）。しがつん　みゃーくずまん　とらいあすろんぬ　あい（４月に宮古島でトライアスロン大会がある）。さんじん　さーりが　くーでぃ（３時に迎えに来るよ）。かいんな　ゆーてぃないん　いじゃいたい　くとぅぬ　あい（あの人には３年前にあったことがある［数えで数えるので「ゆーてぃない（４年前）」は共通語では３年前、「ん」はなくてもよい］）。かにゃー　ばいさー　ひー　んまん　んみかいたい（カニは悪いことをしてお母さんに叱られた）。うるーぎゃー　たるがなーん　あすみる（それは誰か他の人にやらせろ）。

ん [n] 【接尾辞】否定形をつくる。母音で終わる動詞の語幹について単純否定を表す［「みー（見る）＋ん＝みーん」、「いび（植える）＋ん＝いびん」］。語幹が子音で終わる動詞（例：かふ（書く））は、その未然形（例：かか）に「ん」を加える［「かか（書く）＋ん＝かかん］。意志否定は「ん」のかわりに「じゃーん」を付ける：例「みーじゃーん」「いびじゃーん」、「かかじゃーん」。

んー [n:] 【副詞】沢山。 【例】ばぬんたーな　まーぬ　んー　むちゃすな（私にだけ余り沢山持たすな）。

んー [n:] 【動詞】［mm 語幹］［C］（果物などが）熟する。 ［類］んみ。

んー [n:] 【動詞】［mm 語幹］［A］紡ぐ。 【例】ぶーゆ　んー（苧麻を紡ぐ）。［類］んみ。

んー [n:] 【動詞】［mm 語幹］［C］おできが中の膿が出せる程に化膿している、膿む。 【例】ふがさぬ　んー（おできが膿む）。［類］んみ。

んー [n:] 【動詞】［mm 語幹］［A］（雨などに）濡れる。 ［類］んみ。

んー [n:] 【名詞】［B］芋。 【例】んーぬ ふぁう（芋を食べる）。みゃーんー（ほくほくした芋）。んーな ふたうず あり（芋は 2 個ある）。

んーぎー [n:gi:] 【名詞】芋づる。【例】んーぎーや あうたんなりー ういー はやいー どぅーい（芋づるは青々と生い茂っている）。んーぎーぬ はー（芋づるの葉っぱ）。んーぎーゆ いび（芋づるを植える）。

んーぎーなます [n:gi:namasɨ] 【名詞】《祭礼》祭礼の時大型ブダイのかわりに使う芋の葉の和え物。 ［類］ぶーたなます。

んーく [n:ku] 【名詞】［B］濃。 【例】ほぅがさー んみーどぅーば んーくー あーし（おできは赤く化膿しているので濃を出せ）。

んーくず [n:kuzɨ] 【名詞】芋の澱粉［夏場の芋の沢山取れる時期に、芋を擦った物を布袋に入れて汁を絞り、沈殿させた物、夏にぜんざいを作る材料。【例】んーくずひー ぜんざいゆ ちゅっふ（芋くずでぜんざいをつくる）。んーな かなひー ひぎー んーくっじゅ とぅい（芋を下ろし金で薄く削って芋の澱粉を取る）。

んーさ [n:sa] 【形容詞】［C］似たような、同じような。 【例】うぬ ふたーっちゃ んーさむぬ（この二つは似たようなものだ）。うぬきゃが とぅずぶとぅー んーさむぬ（その夫婦は似た者同士だ）。

んーしぬ [n:ɕinu] 【連体詞】よく似た（もの、人）；似た者（夫婦）。 【例】んーしぬ やーぬどぅ ならびゅー（似たような家が並んでいる）。んーしぬっざっふぁ（よく似た父子）。んーしぬ とぅずぶとぅ（お似合いの夫婦）。

んーじゃに [n:ʑani] 【名詞】乾燥イモ、冬の食用に芋ををを 3 ミリ位の厚さに切って干したもの。 【例】ふゆんな なつん ちゅっふゃー んーじゃにゅー ふぁう（冬には夏に作っておいた乾燥芋を食べる）。

んーす [n:sɨ] 【動詞】［s 語幹］［A］似ている。 【例】ういとぅ くいとぅや むいとぅ んーしーどぅー（それとこれとはよく似ている）。うぬきゃがっざっふぁー ゆーどぅ んーしーゆー（その父子はよく似ている）。［類］んーす（s/h 語幹）。

んーす [n:sɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［A］似ている。 ［類］んーす（s 語幹）。

んーす [n:sɨ] 【動詞】［s/h 語幹］［A］のせる。 ［類］ぬーす（s 語幹）。

んーずん [n:zɨn] 【動詞】［m 語幹］山積みする。 【例】ばしゃんかい ぶーっじゅ んーずん あっそぅ（荷馬車にサトウキビを山積みする）。

んーた [n:ta] 【名詞】［C］木の実。【例】ばんつぎーぬ んーた（桑の実）。

むきゃうんーた（グミの実）。かにゅーんーた（山ブドウの実）。

んーだみにがい [n:daminigai]【名詞】〖祭礼〗イモがたくさんできるように行う祈願、五穀豊穣のねがい。

んーだり [n:dari]【名詞】芋のお粥。【例】くぬ　んーだりゃー　やぐみ　かただり（この芋のお粥はこってりしている）。んーな　むみー　んーだりゅー　ちゅっふぁでぃ（芋を手で練って芋粥をつくろう）。

んーつ [n:tsɨ]【名詞】［A］〖数詞〗六つ。

んーでぃ [n:di]【感動詞】〖応答詞〗（同年齢または年下に対する返事）うん、そうだ。【例】んーでぃだら（そうなんだよ）。んーでぃ　っづぁが　あいが　にゃーん（うん、おまえの言う通りだ）。A: うらー　とぅぬか?　B: んーでぃ（A: それは卵かい　B: うん、そう）。A: っづぁー　あちゃー　っさらんかい？　B: んーでぃ（A: 君は、明日平良に行くの　B：うん）。

んーてぃーまい　すんてぃーまい [n:ti:mai sɨnti:mai]【成句】うんともすんとも、音沙汰がない。【例】かいからー　んーてぃーまい　すんてぃーまい　なうてぃーまい　にゃーん（あいつからはうんともすんとも言ってこない）。

んーでぃだーら [n:dida:ra]【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。【例】うむくとぅーにゃーん　んーでぃだーら（自分の考えのないイエスマン）。からー　んでぃだーら　やいば　なうてぃー　あっじゃばんまい　んーでぃ、えー、おーてぃどぅ　あいたい（あいつはイエスマンだから、なんと言っても、はい、えー、そうですと言った）。うまぬ　かいしゃぬ　やくいんな　しゃちょうんかい　んーでぃだーら（ここの会社の役員たちは社長のイエスマン［＜社長にイエスマン］）。うりゃー　あいてぃー　あすてぃがー　あい、かいてぃー　あすてぃがー　かいてぃぬ　んーでぃだーら（あいつは、こうと言ったら、こう、ああと言ったら、ああというイエスマンだ）。［類］んーでぃだーり、んーでぃだーりゃ。

んーでぃだーり [n:dida:ri]【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。［類］んーでぃだーら、んーでぃだーりゃ。

んーでぃだーりゃ [n:dida:rja]【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。［類］んーでぃだーり、んーでぃだーら。

んーとぅ [n:tu]【オノマトペ】苦しくて唸るときの声、うんうん、うーん、うー。【例】かりゃー　かなまいや　やみどぅ　むいとぅ　んーとぅ　んなりゅーたい（彼は頭がいたくて、ひどく

「うんうん」うなっていた)。

んーな [n:na]【名詞】[C]みんな、全員、全部。【例】やびとぅーんーな　がんじゅーやひー　うらまいんなー(皆さんお元気でいらっしゃいますか)。んーなが　なかんな　んながーんな　ういがどぅ　じゃうかい(みんなのなかでこれが一番いい)。[類]んなない。

んーなか [n:naka]【名詞】芋畑。

んーにーなび [n:ni:nabi]【名詞】芋を炊く鍋。

んーぬ　かー [n:nu ka:]【名詞】芋の皮。

んーぬい [n:nui]【名詞】芋のおにぎり。　【例】んーぬいゆ　ふぁう(芋のおにぎりを食べる)。んーぬいゆ　んない(芋のおにぎりを握る)。

んーぱ [n:pa]【感動詞】〖応答詞〗いやだ。　【例】ばー　んーぱ、うまんかいや　いかじゃーん(私はいやだ。そこには行かない)。[類]んば、あかんば、あかふそぅ。

んーばとぅ [n:batu]【名詞】〖昆〗コガネムシの幼虫。

んーぶ [n:bu]【名詞】[C]へそ。【例】ながんーぶ(長いへそ)。

んーぷら [n:pura]【名詞】〖道具〗芋掘り用の棒、潮干狩りにも使う。　【例】んーぷらひー　しなう　とぅい(芋掘り棒でハマグリをとる)。

んーむつ [n:mutsɨ]【動詞】[c/t 語幹]背負い込む。　【例】たうかーひー　んーむつ(一人で背負い込む)。

んがーい [ŋga:i]【動詞】[母音語幹]逃れる、まぬがれる。【例】くー　すかまから　んがーい(きつい仕事から逃れる)。くーさぬ　みゃーくからー　すんな　んがーい(苦しい現世からは死ぬことが(苦から)逃れること)。[類]んがーい(r/rr 語幹)。

んがーい [ŋga:i]【動詞】[r/rr 語幹]逃れる、まぬがれる。　[類]んがーい(母音語幹)。

んがーす [ŋga:sɨ]【動詞】[s/h 語幹]逃す；ゆるす。　[変異]んがす、んがーらす。

んがーらす [ŋga:rasɨ]【動詞】[s/h 語幹]逃す、ゆるす。　【例】んがーらひー　ふぃーさまてぃ(ゆるして下さい)。ぎんとぅどぅ　っづぁが　うるー　ひーやーてぃがー　っづぁうぎゃー　んがーらはん(もしもあなたがそれをやったとしたらあなたを許さない)。[変異]んがす、んがーす。

んかい [ŋkai]【動詞】[母音語幹][A]迎える、案内する。【例】どぅっそぅんかいが(友達を迎えに(行く))。しーしーゆ　かまんかい　んかいる(先生

をあちらに案内して差し上げろ)。[類]んかう。

んかい [ŋkai]【名詞】[A] 迎え。【例】うくいとぅ　んかい（送りと迎え)。

んかい [ŋkai]【名詞】[A]（人の）向かい側、(家などの）向かい側。【例】ばが　んかいん　びじ（私の向かいに座れ)。ばが　やーや　くぬ　まっちゃぬ　んかいんどぅ　あい（私の家はこの店の向かい側にあります)。

んかい [ŋkai]【助詞】〖格助詞〗(場所を表す名詞について）位置、目標を表す、「に」;(人を表す名詞について）与格をあらわす、「に」。【例】あがいんかい（東に)。うつなーんかい（沖縄に)。やらびゃー　んまぬ　あらんかい　いでぃでぃー　あすてぃがー　いつまい　がんない（子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる)。きばんかいば　うむくとぅ　あらばんまい　あーぎぬ　がっこーんかいや　いかはいん（貧乏なので　学力があったとしても　上の学校には　行かせられない)。ばぬんかい　うるー　ふぃーさまてぃ（私にそれをください)。[類]ん。

んかいかでぃ [ŋkaikadi]【名詞】向かい風。

んかう [ŋkau]【動詞】[w 語幹]［A］迎える。［類］んかい。

んがます [ŋgamasi]【形容詞】やかましい、うるさい。【例】んがますんまり（うるさい奴)。[変異]んぎゃます。[類]やがます。

んぎ [ŋgi]【動詞】[母音語幹]［C］動詞の否定連用形「～だ」について、「～なくなる」を表す。【例】くぬいや　んめ　みんまい　つかいだ　んぎーにゃーん（最近はもう耳も聞こえなくなった)。ばー　くじゅから　さきゅー　ぬまだ　んぎにゃーん（私は去年から酒を飲まなくなった)。くぬいや　んめ　おとーりゃー　ほぅだ　んぎーなりーにゃーん（最近はもうオトーリはやらなくなってしまった)。[類]んず。

んぎ [ŋgi]【名詞】[B]〖植〗アダンの木。【例】んぎやまー　まーりどぅ　あだなっそぅ　とぅいったい（アダンの木の山を回って気根を取ってきた)。[類]あだんぎー。

んきー [ŋki:] ①【助詞】名詞について、「目的地に行って（～する)」を表す[「いきー」を伴うこともある]。【例】っづぁ　どぅるびーたかいば　かーんきー　あらいくー（お前は泥だらけだから井戸で洗って来い)。ばー　すかまんきー　でぃんぬ　ぶいくーでぃ（私は仕事に行って、お金をかせいで来よう)。っさらんきー　いきー　そぅばう　ふぁーでぃ（平良に行ってそばを食べよう)。②【助詞】動詞基本形について、その動作の程度が多いこと、あるいはその結果を表す、「～して（～する)」、「とても～していて」。【例】やらびゃー

むぬーゆみんきー　ぎっじゃひらいん（子供は駄々をこねていうことをきかすことができない）。んまんかい　すがりんきー　がんない（母親に縋り付いて駄々を捏ねる）。かばんかい　つんぬばいんきー　いりる（カバンに衣類を詰め込め）。③【接尾辞】（動詞基本形について相互動作、複数動作、連続動作を表す）～お互いに～し合う、みんなで～する、（一人が）ずっとする。【例】まさいとぅ　かにゃー　ったつんきーうたい（マサイとカニは殴りあっていた）。うぬきゃが　とぅずぶとぅー　かなすんきーうたい（その夫婦は愛し合っていた）。みーつきんきーうたい（にらみあっていた、みつめあっていた）。かりゃー　いつがみまい　なつんきーうたい（彼はずっと泣いていた）。んななない　ばらいんきー　うたい（みんな笑いあっていた）。すまとぅらたー　ちゃんこなびゅー　ふぁうんきー　うたい（相撲取りたちはちゃんこなべをたらふく食べていた）。［変異］んき。

んぎゃ [ŋgja]【形容詞】［B］苦い。【例】っそぅいや　んぎゃむぬ（薬は苦い）。がうらー　んぎゃ（ニガウリは苦い）。

んぎゃー [ŋgja:]【オノマトペ】赤ん坊の泣き声、おぎゃー。【例】あかっづぁぬ　んぎゃーてぃー　なつ（赤ちゃんがおぎゃーと泣く）。

んきゃーす [ŋkja:sɨ]【動詞】［s/h 語幹］（人を互いに）向かい合わせる。【例】すまう　とぅい　とぅきゃんな　ふたーいゆ　まず　んきゃーす（相撲を取るときには二人を先ずは向い合せる）。

んきゃーん [ŋkja:n]【名詞】昔。【例】んきゃーん　ばなす（昔話）。んきゃーんな　きばん　あたいそぅが　んなまー　うやき（昔は貧乏だったが今は金持ちだ）。ばんちゃー　んきゃーんなきばんかいば　ならっだん（私たちは昔はとても貧乏だった）。

んきゃーんあーぐ [ŋkja:na:gu]【名詞】古謡。

んきゃーんじゅく [ŋkja:nʑuku]【名詞】金言、格言、諺。【例】んきゃーんじゅくー　やぐみむぬ（格言は素晴らしい）。「やー　ならいや　ほぅか　ならい」、くらー　んきゃーんじゅく（「家庭での躾けは大切［＜家の教育は外の教育だ］」、これは諺だ）。

んぎゃい [ŋgjai]【名詞】［B］胆嚢（たんのう）。【例】ひんじゃぬ　んぎゃいや　んぎゃかいば　とぅい　すてぃる（ヤギの胆嚢は苦いので取って捨てなさい）。

んきゃう [ŋkjau]【動詞】［w 語幹］［A］（手を）差し出す、向う。【例】くまんかい　てぃーゆ　んきゃーし（ここに手を差しだしなさい）。ふにゃー　うつなーんかいどぅ　んきゃいーゆー（船は沖縄に向かっている）。［変異］んかう。

んきゃぎ [ŋkjagi]【動詞】[母音語幹][A] 召し上がる。 【例】なまっそぅ んきゃぎさまてぃ（刺身を召し上がって下さい）。

んきゃでぃ [ŋkjadi]【名詞】[B] ムカデ。 【例】んきゃでぃん かまいてぃがー いちゃむぬ（ムカデに噛まれたら痛い）。んきゃでぃん ささいーにゃーん（ムカデに刺された）。

んきゃふ [ŋkjafu]【名詞】[B]《食》海ブドウ。

んぎゃます [ŋgjamasɨ]【形容詞】やかましい、うるさい。 【例】んぎゃます やらびんみ（うるさい子供たち）。[変異]んがます。[類]やがます。

んぎゃらす [ŋgjarasɨ]【動詞】[s/h 語幹]（液体を）掻き回す；（まとまりなどを）掻き乱す。 [変異]むがらす。

んくん [ŋkun]【動詞】[m 語幹][A] 力む。 【例】わいてぃー んくまだかー っふぁー なさいん（うんと力まないと子供は産めない）。[類]ゆくん。

んげ [ŋge]【感動詞】しまった、困った。 [類]んげーしまい。

んげーしまい [ŋgeːɕimai]【感動詞】しまった、困った。 [類]んげー。

んさ [nsa]【形容詞】[B] 良い、構わない。 【例】ういがどぅ んさはず（それが良いはずだ）。うい やらばんまい んさ（それでもよい［＞構わない］）。たかからば んさてぃぬ くとぅーにゃーん（値段が高いからと言って良いと言うわけではない）。ういどぅ んさかい（それがいい）。[類]じゃう。

んさぐ [nsagu]【名詞】[C]《蔑称》乞食、身分の低い人［＜昔の役人の奴隷］。

んし [nɕi]【名詞】[B] 背負い投げ。 [変異]にし。

んし [nɕi]【動詞】[母音語幹][A]（鍋などをかまどなどに）かける；炊飯器のスイッチを入れる。 [類]んす。

んじゃ [nʑa]【名詞】[C]《蔑称》下司、奴隷、昔身分の低かった人、下男、下人、人を蔑む時に使う言葉の一つ。【例】やなんじゃ（駄目なやつ）。くぬんじゃ（このゲス野郎）。[類]またぎす。

んじゃ [nʑa]【名詞】[C]《疑問詞》場所を尋ねる疑問詞、どこ。 【例】んじゃなぎ（どこら辺）。っぅぁー んじゃんかいが（お前はどこに（いくの）か［出会ったときの挨拶］）。うらー んじゃんまい かーいどぅす（それはどこでも買えるよ）。んじゃう とぅみばんまい にゃーっだん（どこを探してもなかった）。[変異]いじゃ。

んじゃうな [nʑauna]【形容詞】残念な、残念だ；かわいそうな、かわいそうだ。 【例】ばー くじゅ ぶとぅー すなひー んじゃうなかいば ならっ

だん（私は去年夫を亡くして残念でならなかった）。ういびとぅ　なりー　くすまい　ぶりー　んじゃうなかいばならん（年取って腰も曲がって残念でならない）。くぬいぬ　ばかむぬんみゃー　すまぬ　むぬいゆまい　っさんば　んじゃうなむぬ（近頃の若者には方言がわからないから、かわいそうなものだ）。

んじゃどぅーす　かまどぅーす [nʑadu:si kamadu:si]【成句】あちこち、方々。【例】やらびゅー　んじゃどぅーす　かまどぅーす　とぅみー　まーいたい（子供をあちこち探し回った）。［変異］いじゃどぅーす　かまどぅーす。

んじゃとぅうたき [nʑatuutaki]【名詞】〖祭礼〗西原集落の北東にある御嶽。

んじゃみ [nʑami] ①【動詞】［母音語幹］［A］目が覚める。［類］んじゃん。②【名詞】［B］寝覚め。

んじゃん [nʑan]【動詞】［m 語幹］［A］目が覚める。【例】やらびゃー　んなーぎゃー　んじゃまん（子供はまだ寝覚めない）。［類］んじゃみ。

んじゅあん [nʑuan]【名詞】〖道具〗袋網。

んじゅかす [nʑukasi]【動詞】［s/h 語幹］見逃す、許す。【例】ぬそぅどぅぎゃー　んじゅかはん（泥棒は見逃さない）。

んす [nsi]【動詞】［s/h 語幹］［A］（鍋などをかまどなどに）かける；炊飯器のスイッチを入れる。【例】んーなびゅー　かまどぅんかい　んす（いも鍋をかまどにのせる）。まいや　すいはんきんかい　んしーだー（米を炊飯器にかけた［＞米を入れてスイッチを入れた］）。［類］んし。

んす [nsi]【名詞】［A］北、西原の後方（北）。【例】んすぬ　そぅく　ばい（北の低地にある畑）。

んす [nsi]【名詞】［A］右。【例】んすでぃー（右手）。んす　なぎ（右の方面）。

んす [nsi]【形容詞】［A］肥沃な。【例】んすばい（肥沃な畑）。くぬ　んすばいんな　むぬぬどぅ　ゆー　でぃきー（この肥沃な畑では作物がよくできる）。

んず [nzi] ①【動詞】［g 語幹］［C］追い抜く、追い越す。【例】かぬ　にゅーふたらー　んめ　んがいーにゃーん（あの足の遅いやつはもう追い抜かれた）。とぅばひー　まうきゃーぬ　ひとぅー　んがし（早く走って前の人を追い越せ）。［変異］ぬず。

んず [nzi]【動詞】［g 語幹］［C］動詞の否定連用形「～だ」について、「～なくなる」を表す。【例】ばー　ういびとぅ　なりどぅ　ひとぅぬ　むぬいや

つかいだ　んぎゅー（私は年取って人の話が聞こえなくなっている）。ふにゃー　みーらいだ　んぎーにゃーん（船は見えなくなった）。［変異］んぎ。

んず [nzi] 【動詞】［g 語幹］［C］脱ぐ。【例】っづぁが　っふすーつんぬ　んぎーみーる（お前の汚いきものをぬぎなさい）。

んず [nzɨ] 【動詞】［g 語幹］［C］（刺さっているものを）抜く；（歯を）抜く。【例】うぬ　かにふっじゅ　んぎ（この釘を抜け）。はーゆ　んぎ（歯を抜け）。べー　うりゅー　んぎーふぃーる（おい、それを抜いてくれ）。

んず [nzɨ] 【名詞】［C］刺。【例】んっじゅ　んず（刺を抜く）。んずぬどぅはずんかい　くまりーにゃん（刺が足に刺さった）。

んずーつん [nzi:tsin] 【動詞】［m 語幹］沢山積み込む。【例】にーゆ　ばしゃんかい　んずーつん（荷を馬車に沢山積み込む）。

んずぎ [nzɨgi] 【形容詞】［B］見苦しい、美しくない。【例】んずぎ　やままゆ（醜い山猫［不美人の比喩］）。

んずぎゃ [nzɨgja] 【名詞】［C］醜い奴、不美人。

んすでぃー [nsidi:] 【名詞】利き手、右手。

んすぬかー [nsɨnuka:] 【名詞】〖地名〗ンスヌカー、西原の北西にある大浦湾に流れ込む湧水のでるところで、以前は生活のための取水や洗濯などのために使われていた。ヒダガーから北に１００m位離れたところにある。【例】やらびゃー　んすぬかーん　うーっふいーにゃーん（子供はンスヌカーで溺れた）。

んすばい [nsɨbai] 【名詞】土の肥えた畑。【例】ゆきだき　ばいや　やぐみ　んすばい（横竹畑はとても土が肥えている）。

んすむら [nsɨmura] 【名詞】〖地名〗西原。

んそう [nsu] 【名詞】［B］味噌。【例】なまんそぅ（まだ熟成していない味噌）。んそぅだり（味噌煮込み）。

んそぅだりかずつ [nsudarikazɨtsɨ] 【名詞】味噌煮込み［味噌を水に溶かし、芋ずるの葉や刺身などを入れた煮込み汁。ウニの色に似ているのでこう呼ばれる］。

んそぅな [nsuna] 【名詞】［B］みそ菜。【例】んそぅなー　やーらむぬ（みそ菜はやわらかい）。

んた [nta] 【名詞】［B］土。【例】っふんた（黒土）。あかんた（赤土）。んたう　むりゃがりゃし（土を盛り上がらせろ）。

んだい [ndai] ①【動詞】［r/rr 語幹］［C］（傷が）化膿する。 【例】ほぅがさー　んだりーにゃーん（おできは化膿してしまった）。 ②【動詞】［r/rr 語幹］［C］（本などを）破る、（機械などを）壊す。【例】ほぅんぬ　んだい（本を破る）。くるまー　んだりー　どぅー（（その）車は壊れている）。つんな　んだりーにゃーん（着物は破れてしまった）。

んだい [ndai]【名詞】［C］化膿した傷。 【例】うぬ　ひでぃーや　っざらひー　ひーきー　んだいん　なりーにゃーんむぬ（このケロイド状の傷跡は鎌で切って化膿してできたものだ）。［類］ほぅがさ。

んだいむぬ [ndaimunu]【名詞】傷物。

んたう [ntau]【動詞】［b 語幹］［C］指先でもてあそぶ、いじくる；やっつける。 【例】ふーずきばらんぬ　んたう（ほおずきをいじくる）。やらびんな　おもちゃう　んたばし（子供にはおもちゃをいじらせろ）。まさいや　かにん　んたばい　にゃーん（マサイはカニにやっつけられた）。

んたす [ntasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］満たす。 【例】みずがみんかい　みっじゅ　んたし（水瓶に水を満たせ）。

んたつ [ntatsɨ]【動詞】［k 語幹］［A］背伸びする。 【例】かまう　んたきー　みーる（向うを背伸びして見なさい）。［変異］んたふ。

んたふ [ntafu]【動詞】［k 語幹］［A］背伸びする。 ［変異］んたつ。

んち [ntɕi]【動詞】［母音語幹］［C］沢山ある、大勢いる。【例】ばー　でぃんな　んち（私はお金は沢山ある）。ひとぅぬどぅ　んちゅー（人が大勢いる）。なうまい　かまぬ　やーんな　んちゅー（何でも向こうの家には沢山ある［＞向こうの家にはなんでもたくさんある］）。［変異］んてぃ。

んちゃ [ntɕa]【感動詞】〖応答詞〗そうだ。 【例】んちゃ　んちゃ　あいどぅ　あたい（そうだ、そうだ、そうだった）。

んちゃがい [ntɕagai]【動詞】［r/rr 語幹］潮が満ちる。

んちゃがい　じゅー [ntɕagai ʑuː]【名詞】満潮、上げ潮、満ち潮。【例】んちゃがいじゅーぬ　そぅーや　ひゃーむぬ（満ち潮の潮の流れは早い）。

んちゃみ [ntɕami]【動詞】［母音語幹］［A］収める、片づける；捕まえる。【例】まかいゆぎゃー　んちゃみる（お椀は片付けなさい）。うぬ　ぬそぅどぅー　んちゃみる（その泥棒を捕まえろ）。［類］んちゃん。

んちゃん [ntɕan]【動詞】［m 語幹］［A］収める、片づける；捕まえる。［類］んちゃみ。

んつ [ntsɨ]【動詞】［c/t 語幹］［C］（容器が）いっぱいになる；（おなかが）い

っぱいになる；（潮が）満ちる；たくさんある；おおぜいいる。 【例】ばたーんてぃーどぅー（腹いっぱいになっている）。んなまー そぅーんつ（今は満潮だ）。んなーぎゃー そぅーや んたん（まだ潮は満ちていない）。［類］んち、んてぃ。

んつ [ntsɨ]【名詞】［B］神酒（みき）。【例】んつがまー ばきーどぅー（お神酒が発酵している）。ほぅっびゅーいんな んっちゅ なかまうたきん ぬん（ホゥッビューイでは、お神酒を仲間御嶽で飲む［ホゥッビューイは豊作祈願の祭礼の一つ］）。

んつ [ntsɨ]【名詞】［C］道。 【例】んつばた（道端）。やまんつ（山道）。いすぐーんつ（石ころだらけの道）。どぅるんつ（泥道）。んつなか（途中）。んっちゅ ばっしーにゃーん（道を忘れた）。くぬ んっちゃ あたりゅーんむな（この道はあってるか）。

んつき [ntsɨki]【名詞】［B］（家の）軒。【例】やーぬ んつきんな まんじゅーゆぎゃー いびん（家の軒下にはパパイヤの木は植えない）。んつきぬ すたぬ まんちゅーぎーゆぎゃー っちゅひー すてぃる（軒下のパパイヤの木をとりのぞいてしまえ）。［変異］んつやっづぁしゃ。

んつきゃー [ntsɨkja:]【助詞】（「名詞、動詞基本形、動詞基本形＋（そぅ）」について）比較を表す、～より～の方が。【例】っぞぅんつきゃー わーぬどぅたかだいかい（魚より豚肉の方が値段が高い）。なうんつきゃーまい かいがどぅ じゃうかい（何よりもあれが良い）。にんぎんな っじんつきゃー ふぃーばどぅ ほぅからすかい（人間は貰うよりも与える方が嬉しい［「っじそぅんつきゃー」でもよい］）。かんがいんつきゃー ひとぅんかい つふばどぅ はーかい（考えるより人に聞いたほうがはやい）。みーんつきゃー あすばどぅ むずかすかい（みるよりやるほうがむずかしい）。

んつだてぃ [ntsɨdati]【成句】道に沿って。 【例】んつだてぃ あいき（道に沿って歩け）。

んっつー [nttsɨ:]【名詞】味噌汁、おつゆ。 【例】んなんっつー（具の何も入っていない味噌汁）。んっつー ちゅっふ（味噌汁を作る）。

んっつーきな [nttsɨ:kina]【名詞】おつゆ用しゃもじ。

んつっさ [ntsɨssa]【名詞】道草。【例】がっこーからー んつっさうぎゃー ほぅだ やーんかいや まうとぅんくー（学校からは道草しないで家には真っ直ぐ帰りなさい）。っづぁー んじゃんどぅ んつふさー ふぁいうた（お前はどこで道草食っていた）。［変異］んつふさ。

んつなか [ntsɨnaka]【名詞】道半ば、（道の）途中；（仕事などが）完成してい

ないこと。 【例】かりゃー っさらんかい はりーにゃーんそぅが んなーぎゃー んつなかはず（彼は平良に行ったがまだ途中のはずだ）。ひゃーくー んつなか（百歳は（まだ人生の）途中だ）。すかまー んなーぎゃー んつなかがま（仕事はまだ途中だ）。

んつみ [ntsimi]【動詞】［母音語幹］［A］（人を逃げないように）押さえる；押して出す。 【例】ひんじゃう んつみる（ヤギを押さえつけろ）。［類］んつん。

んつやっづゃしゃ [ntsijavvjaça]【名詞】ブルドーザー［＜んつ（道）＋やっづゃしゃ（壊すもの）］。 【例】くるまぬどぅ んつやっづゃしゃんかい うちゃーりーにゃーん（車がブルトーザーにぶつかった）。

んつん [ntsin]【動詞】［m 語幹］［A］（人を逃げないように）押さえる；押して出す。 【例】うぬ ぎずぎゃうな やらびゅー ひんぎや はらんやうんてぃー んつみゅーき（この腕白小僧を逃げないようにおさえておけ）。んつん つきる（押さえつけろ）。んつんぬ んつみー いだし（にきびを押してだせ）。［類］んつみ。

んつん [ntsin]【名詞】［B］ニキビ。【例】んつんぬ んつみー あーし（ニキビを押さえて潰せ）。

んてぃ [nti]【動詞】［母音語幹］［C］（容器が）いっぱいになる；（おなかが）いっぱいになる；（潮が）満ちる；たくさんある；おおぜいいる。 【例】まかいん んてぃきゃたーひー みっじゅ いりる（お椀に一杯になるまで水を入れろ）。そぅーや んてぃーどぅ（潮は満ちている）。そぅーや んなーぎゃー んてぃん（潮はまだ満ちていない）。ばたー んてぃー どぅー（お腹はいっぱいだ）。でぃんな んてぃーどぅーだら（金はたくさんある）。［変異］んち。［類］んつ。

んでぃ [ndi]【名詞】［A］〖疑問詞〗どれ、どっち［人でも物でも可］。 【例】ばが たまー んでぃ（私の分け前はどれだ）。［変異］いでぃ。

んどぅら [ndura]【名詞】［C］一番大切なところ、中心部。 【例】はいぬんどぅら（畑で作物がよくできるところ）。わーぬ んどぅら（豚肉で一番おいしいところ）。

んな [nna]【名詞】［B］サザエなどの巻貝の総称。 【例】かりゃー いすびとぅ やいば っしん゜んかい いつてぃがー たくから にぐーから んなから なうゆまい はーさ とぅいどぅす（彼は幸運な人だから潮干狩りに行くとタコからシャコガイからサザエから何でも沢山とれる）。っしん゜んなひー んな とぅいが（潮干狩りしてサザエ取りに（行こう））。っしん゜んきー んなう とぅい（潮干狩りに行ってサザエをとる）。

んな [nna]【名詞】[B] 何もないこと。【例】んなんっつー（具の何も入っていないみそ汁）。んなんっつーんな　んなぬどぅ　はいりゅー（具の入っていない味噌汁にはサザエが入っている［＜なにもない味噌汁にはなにもないものが入っている。[「んな（サザエ）」と「んな（何もないこと）」をかけた］ジョーク）。

ん゜な [n̥na]【名詞】[B] 綱、縄。【例】みーつぬ　ん゜なう　ゆいー　がばー　ん゜なう　なう（３本の縄を編んで太い縄をなう）。うぬ　くばずーぬ　ん゜なー　まるかいば　みっじゃ　ん゜まいん（この釣瓶の縄は短いので水は汲めない）。ぶーずたうすぬ　ん゜なう　なう（サトウキビ収穫用の縄をなう）。ぶーずたうすたーひんな　ん゜なー　ないうとぅい　つかーだかーならん（サトウキビの収穫までには綱をなっておいて使わないといけない）。

んなーき [nna:ki]【名詞】半分。【例】うりゅーぎゃー　ほぅいかいば　んなーきん　ばきる（それは大きいので半分に分けろ）。ういが　んなーき　っづぃー　ふぃーる（それの半分売ってくれ）。はいぬ　んなーきゃー　っづぁが　たま（畑の半分（の土地は）あなたの取り分だ）。ばぬんな　ういが　んなーき　ばきー　ふぃーさまてぃ（私にはそれの半分分けて下さい）。ばが　たまー　っづぁが　むぬぬ　んなーきが　ほぅい（私の分はあなたのものの半分だ）。

んなーぎゃー [nna:gja:]【副詞】動詞の否定形が後続して、まだ（～ない）。【例】んなーぎゃー　ふぁーん（まだ食べていない［＜食べない］）。からー　んなーぎゃー　くーん（彼はまだ来ていない［＜来ない］）。[類] んなまぎゃー。

んない [nnai]【動詞】[r/rr 語幹] [C]『古語』ある地点から離れて別の地点に移動する、（あっちに）寄る、（あっちに）行く；（自分の家に）帰る［命令形を使うのが普通］。【例】うまん　うらだ　かまんかい　んなり（ここにいないで向こうに行け）。やーんかい　んなり（家に帰れ）。

んない [nnai]【動詞】[母音語幹] [C]『古語』ある地点から離れて別の地点に移動する、（あっちに）寄る、（あっちに）行く；（自分の家に）帰る［命令形を使うのが普通］。［類］ゆっづ、んない（r/rr 語幹）。

んない [nnai]【動詞】[r/rr 語幹] [C]（おにぎりを）握る。【例】んーぬいゆ　んなり（芋のお握りを握れ）。ゆなぎーぬ　はーひー　まいぬいゆ　んない（ゆうなの木の葉でおにぎりを握る）。

んない [nnai]【動詞】[r/rr 語幹] [C] うなる。

んなう [nnau]【動詞】[w 語幹] [C] 合う、比較できる。【例】かいが　むぬい

とぅ　あすくとぅー　んなーん（彼の言うことと　やることは　合わない）。

んなか [nnaka]【名詞】[B] 真ん中。【例】んなかぬひー（ミャークズツの中日）。あがいじゃとぅ　んなか（東里真中［歌の題］）。

んながーんな [nnaga:nna]【副詞】一番。【例】んながーんな　まうきゃー（一番前）。んながーんな　てぃび（一番後ろ）。んながーんな　でぃきぶつ（一番良く勉強ができる人）。

んなかばら [nnakabara]【名詞】家の中心の柱（くじゃしつ（居間）となかゆか（ダイニング）の間にある柱）、大黒柱；家の主人。【例】んなかばらうたてぃー（大黒柱をたてる）。やーぬんなかばらん　いすがまう　うっつ（（落とした魂をもどすために）家の大黒柱に小石を置く）。っざー　やーぬ　んなかばら（お父さんは大黒柱だ）。［類］やーぬんなかばら。

んなぐ [nnagu]【名詞】[B] 砂。【例】んなぐばま（砂浜）。んなぐとぅ　せめんとぅじゃりゃー　まっでぃー　こんくりゅー　ちゅっふ（砂とセメントと砂利を混ぜてコンクリートを作る）。

んなくず [nnakuzi]【名詞】〖地名〗昔の西原の呼び名、西原の昔の集落。【例】あかうぎー　うたきゃー　んきゃーんぬ　んなくず　うたきちゃ（アカウギー御嶽は昔のンナクズ御嶽だってさ）。

んなす [nnasi] ①【動詞】[C]（ものを）別の場所に移動させる、どける。【例】うりゅーぎゃー　かまんかい　んなし（これは向こうに移動してしまえ）。うらー　んぶかいば　ばぬんな　たうかーひや　んなはいん（それは重いので一人では移動できない）。②【補助動詞】（動詞連用形に付いて、移動させて取り除くことを表す）～てしまう。【例】うりゅーぎゃー　かまんかい　むゆかひー　んなし（これを向こうに動かしてしまえ）。

んﾟなず [n̥nazi]【動詞】[g 語幹] 繋ぐ。【例】ぬーまう　ひんがんやうんてぃー　んﾟなず（馬を逃げないように繋ぐ）。くまぬ　ぎすつん　ぬーまぬ　んﾟなう　んﾟなぎゅーき（ここのススキに馬の綱を繋いでおけ）。

んなずつ [nnazitsi]【名詞】杵（きね）。【例】んなづつひー　まいゆ　つつ（杵で米をつく）。

んなとぅ [nnatu] ①【名詞】[A] 干瀬と島との間の内海。【例】んなとぅんどぅ　っぞぅまい　たくまい　なうまい　うい（内海に魚もタコも何でもいる）。②【名詞】[A] 港。【例】すまぬふつんな　んなとぅぬどぅ　あい（島の入り口には港がある）。んなとぅんどぅ　ふにゃー　とぅまい（港に船は泊まる）。ふにゃー　んなとぅんかいどぅ　つふ（船は港に着く）。

んなない [nnanai]【名詞】全て、全

部、全員、皆。 【例】んなない ふぁい（全部食べなさい）。んなないひー ふぁい（全員で食べなさい）。んなないが たま（全員分）。すまぬ やびとぅー んなない うぐなーらまてぃ（村の人々全員集まって下さい）。

んなぱぎ [nnapagi]【名詞】全くないこと。 【例】きゅーぬ いんな んなぱぎ あたい（今日の漁果は皆無だった）。

んなま [nnama]【名詞】[C] 今。【例】んなまが っさー しばー にゃーん（今のところ心配はない）。んなま そぅぐ うまんかい いき（今すぐそこに行け）。んなまがたがま（今し方）。

んなまがしゅく [nnamagaɕuku]【名詞】今のところ、今ごろ。 【例】いんびとぅんみ やーつふばなー んなまがしゅくー あらん（漁師たちが家につく時間はまだまだ先だ）。[変異] んなまがそぅく。[類] んなまがしゃく。

んなまがた [nnamagata]【名詞】今しがた。 【例】かりゃー んなまがたどぅ やーんかい はたい（彼はついさっき家に帰った）。

んなまぎゃー [nnamagja:]【副詞】まだ。【例】んなまぎゃー やらび（まだ子供だ）。[類] んなーぎゃー。

んなまどぅーら [nnamadu:ra]【名詞】今ごろ。 【例】っづぁー なうやひー んなまどぅーら ったいば（お前はなんでいまごろきたんだ）。んなまどぅーら なりーから ふーたんてぃ なうまい にゃーん（今ごろ来てもなにもないよ）。

んなまぬちゃん [nnamanutɕan]【副詞】今のうちに。 【例】んなま んなまぬちゃん うまぬ すかまうぎゃー ひーすてぃでぃ（今、今のうちにそこの仕事をやってしまおう）。

んならす [nnarasɨ]【動詞】[s/h 語幹] 移動させる。 【例】うりゅーぎゃー かまんかい んならし（これを向こうに移動させなさい）。

んぬ [nnu]【名詞】[B] 蓑（みの）。【例】んきゃーんな あみふーんな んぬー かっづゅーたい（昔は雨ふりには蓑を被っていた）。

んˬぬ [n̥nu]【名詞】[B] 角（つの）。

んˬぬ [n̥nu]【名詞】[C] 昨日。 【例】んˬぬ みゃーくん つふたい（昨日宮古に着いた）。っうˇぁー んˬぬ なうゆどぅ ほぅーたー（昨日は何をしていたの）。

んˬぬがん [n̥nugan]【名詞】《生物》ワタリガニ科タイワンガサミ、ノコギリガサミ。 【例】つーび んˬぬがんぬ とぅい（交尾しているガザミをとる）。いんぬ あいきゅーきゃー んˬぬがんぬ んˬん（海（の浅瀬を）を歩いていた時にノコギリガサミを踏んだ）。

んぬつ [nnutsɨ]【名詞】［C］命。【例】ながんぬつ（長命）。きゅーや　んぬつぶい　にがいほぅでぃ（今日はンヌツブイ願いをしよう［＞（漁などに出て）危険な目にあって、命が助かったので神様へのお礼を言う祈願をする］）。んぬっちゅぎゃー　あたらっさ　ほぅだかーならん（命は大切にしないとならない）。かんがなすから　んぬっちゅぶい（神様から命を頂く）。んぬっちゃ　むつぎっふぁにゃーん（命は持ちそうにない）。たるまい　んぬっちゃ　っとぅつ（誰もみな命はひとつだ）。んぬつぬ　ふかっでぃー　あすきゃ　くらはいたい（息の根がとまるぐらいなぐられた）。

んぬつじゅー [nnutsɨʑu:]【形容詞】強運だ、強運の。【例】んぬつじゅーびとぅ（運が強い人）。

んぬつすてぃ [nnutsɨsɨti]【名詞】危険な仕事、命を捨てる様なもの。【例】だいだままーいや　うなが　んぬつすてぃ（ダイナマイトでの密漁は命を捨てるようなもの）。［類］んぬつふぁう。

んぬつだみにがい [nnutsɨdaminigai]【名詞】〖祭礼〗健康祈願、健康長寿の祈願［＜命を取られないように命を留めさせるための祈願］。【例】わーや　くらひー　んぬつだみにがいゆ　あすたい（豚を殺して（生贄として）ンヌツダミの祈願をした）。むぬすーや　ゆらびー　んぬつだみにがいゆ　あすたい（ユタを呼んでンヌツダミの祈願をした）。

んぬつだみわー [nnutsɨdamiwa:]【名詞】〖祭礼〗ヌツダミ祈願のための生贄の豚。

んぬつぬ　はだ [nnutsɨnu hada]【成句】一生涯、生きている限り。【例】っづぁがくとぅー　んぬつぬ　はだばっしらいん（あなたのことは一生涯忘れられない）。

んぬつびゃー [nnutsɨbja:]【名詞】早死に。【例】んぬつびゃー　びとぅ（早死にの人）。

んぬつふぁう [nnutsɨfau]【名詞】危険な仕事、命を捨てる様なもの。［類］んぬつすてぃ。

んば [mba]【感動詞】〖応答詞〗いいえ、いやだ、「あかんば、あかふそぅ」はより強い否定になる。【例】ばー　んば（私はいやだ）。A：じょー　あちゃーいんかい　B: んば（A: さあー、明日は海に行こう　B: いやだ）。A：あれー　じょーはい　ひとぅみ　いかでぃ　B: んばよ（A: あれ、一緒に行こうよ　B: いやなんだよ）。［類］んーぱ、あかんば、あかふそぅ。

んぱい [mpai]【動詞】［r/rr 語幹］［A］踏ん張る、頑張る；頑張りすぎてぐったりする。【例】ぬーまうぎゃー　んぱらし（馬を踏ん張らせろ［ハーリーの後の余興で馬の力比べの勝負の時に

使われる表現］）。わいてぃー　んぱり（しっかり頑張れ）。あてぃ　んぱりゃー　ひー　むいだり（余りにも頑張ったので疲労困ぱいだ）。

んばす [mbasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［C］のばす。【例】どぅーゆ　んばす（胴体をのばす）。はりがにゅー　んばす（針金をのばす）。くっそぅ　んばす（腰を伸ばす）。

んばだら [mbadara]【感動詞】〖応答詞〗いや、いやだよ。【例】んばてぃー　あすてぃがー　んばだら、っうぁ　たうかー　はり（いやと言ったらいやだよ。お前一人で行け）。［類］んば。

んびゃい [mbjai]【動詞】［母音語幹］［C］我慢する、耐え忍ぶ。［類］んびゃう。

んびゃう [mbjau]【動詞】［w 語幹］［C］耐え忍ぶ、我慢する。【例】きばんかたいそぅが　わいてぃー　んびゃうたい（貧乏だったが一生懸命に耐え忍んだ）。っそぅまたかいば　んびゃーいん（糞したくて我慢できない）。かなすがまが　くとぅー　うむーてぃがー　ばぬんな　んびゃーいっだん（カナスちゃんのことを思ったら私は我慢ができなかった）。やらび　あいきゃー　ふゆんな　っしかいば　んびゃーいっだん（子供の頃は冬には寒くて我慢できなかった）。［類］んびゃい。

んふ [nfu]【形容詞】［B］（気候が）あたたかい、（空間が）あたたかい。【例】びーずん　なりー　んふふ　なりーどぅ（春になって温くなっている）。くまー　んふむぬ（ここはあたたかい）。

んぶ [mbu]【形容詞】［A］（ものの重量が）重い、（体調がわるく体が）重く感じる。【例】んぶ　やらびゅー　くんず（重い子供をおんぶする）。うらー　んぶかいば　むちゃいん（それは重くて持てない）。うーつっちゃ　んぶむぬ（大鎚は重い）。きゅーや　あみっふぁうじゃうむ　なうむ　どぅーぬ　んぶかいば　ならん（今日は雨が降るような気配で体が重くてならない［＜雨がふりそうなのかなにか］）。

んぶさ [mbusa]【名詞】［A］重さ。【例】くぬ　いすぬ　んぶさー　いかっさ　ばかーい（この石の重さはどれくらいだ）。

んぶす [mbusɨ]【動詞】［A］蒸す；水分を蒸発させるために弱火にする、蒸らす。【例】ふきゃぎゅー　んぶす（団子を蒸す）。んーな　たっでぃぬ　あとぅんな　んぶすばどぅ　んまかい（芋が煮えた後は、蒸らした方がうまい）。ふきゃぎゃー　ぷかかいば　んぶひー　ふぁーでぃ（団子は固いので蒸して食べよう）。んめ　んーな　にーゆーば　んーぬ　すーや　すたみー　んぶらはでぃ（もう芋は煮えて煮汁をこぼして水分を蒸発させよう）。［類］んぶらす。

んぶだーい [mbuda:i]【動詞】［r/rr 語幹］うつぶせになる、伏せる。【例】

うまん　んぶだーり（そこに伏せなさい）。

んふばーい [nfuba:i]【動詞】[r/rr 語幹]（火にあたって）温もる、（温かいものを飲んだりして）温まる。【例】うまつん　んふばーい（火に（当たって）温もる）。っし　どぅきゃん　あつ　んっつーゆ　ぬんてぃがー　どぅーぬどぅ　んふばーい（寒いときは熱いみそ汁を飲むと体が温まる）。

んぶらす [mburasɨ]【動詞】[s/h 語幹]蒸す；水分を蒸発させるために弱火にする。［類］んぶす。

んふん [nfun]【動詞】[m 語幹][C]暖を取る。【例】うまっちゅ　んふん（火に当たって暖を取る）。

んま [mma]【名詞】[C]お母さん。【例】みどぅんっづぁー　んまぬ　かーぎゃー　むちゃん（女の子は母親の顔より美しさは劣る）。

んま [mma]【形容詞】[B]美味い。【例】きじゃいんな　んまむぬぬどぅいでぃー（祭事には美味しいものがでる）。なまにー　むぬー　んまっふぁにゃーん（生煮えのものは美味しくない）。っぞぅぬ　んまさ　あい　むぬー　にゃーん（魚ほど美味しいものはない）。

んまーさ [mma:sa]【名詞】両親［＜んま（母）＋あさ（父）］。【例】ばんてぃが　んまーさー　がんじゅー（私たちの両親は元気だ）。んまーさーうぎゃー　たかさ　あっそぅ（両親を大切にしなさい）。んまーさー　すなひや　うむくとぅぬどぅ　いでぃー（両親を亡くすと知恵、思いやりもでるものだ）。

んまい [mmai]【動詞】[r/rr 語幹][A]生まれる。【例】ばが　っざー　しょーわ　にねんどぅ　んまいたい（私の父は昭和二年に生まれた）。くじゅ　ばぬん　びきっづぁぬ　んまいたい（去年私に男の子が生まれた）。

んまい [mmai]【接尾辞】動詞未然形や形容詞について譲歩を表す、「～ても」。【例】すまぬ　ばかむぬんみぬ　なかんな　すまぬ　むぬいや　つかいんまい　むぬっじゃいん　ひとぅまい　はーさ　ういどぅす（村の若者の中には村の言葉は聞けても話せない人もたくさんいますよ）。ばー　なうぬ　くとぅぬ　あらんまい　はらでぃ（俺は何があっても帰るのだ）。たかからんまい　やすからんまい　なうやらんまい　かーでぃ（（値段が）高かろうが安かろうが何でも良いから買います）。［類］ばんまい。

んまが [mmaga]【名詞】[C]孫。【例】んなーぎゃー　んまがー　みーん（まだ孫はいない）。んまがー　なうばいぬ　すかまうどぅ　ひーゆー（お孫さんはどんな仕事をされてますか）。ばー　んまがー　みちゃーい　うり（私は孫が三人いる）。

んまぎ [mmagi]【形容詞】[B]（食べ

物が）美味しそうな、（容姿などが）綺麗な。 【例】んまぎ むぬ（美味しそうなもの）。んまぎ あか（綺麗な髪）。

んます [mmasɨ]【動詞】［s/h 語幹］［A］湿らす、濡れさせる。 【例】ぬぬー んます（布を湿らす）。

んまちゃ [mmatɕa]【名詞】［C］バカなことを言う人、何をするかわからないやつ。 【例】おい んまちゃ（おい、バカ者）。［類］んまつまー。

んまつ [mmatsɨ] ①【形容詞】［A］バカな、横着な。 【例】かりゃー むいとぅぬ んまつむぬ（彼はとても横着な奴だ）。 ②【感動詞】〖応答詞〗予測できなこと、あり得ないことが起きたときに発することば、そんなばかな、まさか。【例】A：かぬきゃが ふたーいや とぅずぶとぅん ないがまたちゃ B: んまつ（A: あの二人は夫婦になるんだって B: まさか）。A:：かりゃー すにー にゃーんちゃ B: んまつ（A: 彼は死んだそうだ B: そんなばかな）。

んまっざ [mmazza]【名詞】両親［＜んま（母）＋っざ（父）］。 ［類］んまーさ。

んまつまー [mmatsɨma:]【名詞】バカなことを言う人、何をするかわからないやつ。 【例】かりゃー んまつまーんまり やいば きゅーや なうゆ あすががら っさいん（あいつはいきなり馬鹿なことをする奴だから、今日は何をするかわからない）。んまつまーゆぎゃー たきゅーぎゃー ほぅん（バカは相手にしない［＞相手にするな］）。かりゃー むいとぅぬ んまつまー ほぅりむぬ（彼はとてもバカな奴だ）。［類］んまちゃ。

んまてぃだ [mmatida]【名詞】〖歌語〗池間に来ていた役人の側室・愛人・現地妻。

んまぬ みはながま [mmanu mihanagama]【成句】お母さんそっくり［＜母親の顔］。

んまぬは [mmanuha]【名詞】南、午の方角。

んまぬはでぃー [mmanuhadi:]【名詞】〖地名〗南支部［西原の南の方の地域］。

んまは [mmaha]【感動詞】〖応答詞〗いやだ。 【例】A: うりゅー ひー ふぃーる B: んまは ばー んまは（A: これをやってくれ。 B: いや、私はいやだ）。［類］んば。

んまばす [mmabasɨ]【名詞】〖昆〗蜂の一種、ヤエヤマアシナガバチ。

んまむぬ [mmamunu]【名詞】ご馳走。 【例】かぬきゃが まいんどぅ んまむぬぬ あい（あの人たちの所にご馳走がある）。

んまゆい [mmajui]【名詞】〖祭礼〗ナナムイの神司を選ぶこと。

んまらーひー [mmara:hi:] 【成句】(「名詞＋属格」について）その名詞が持つ性質と同じように（する)。【例】からー　っぞぅぬ　んまらーひー　ひゃーたん　うーがいどぅす（あいつは魚のように早く泳げるよ)。ばが　ひーゆーが　んまらーひー　あっそぅ（私がやっているようにやってください)。やらびぬ　てぃーぬ　んまらーひー　いみでぃーがま（こどもの手のように小さい)。

んまり [mmari] ①【接尾辞】(形容詞について）そういう性質をもった人を表す、やつ。【例】っづぁんな　すかまい　ひらいんな、　みーちゃぎんまり（お前には仕事もできないのか、見苦しい奴だ)。うむくとぅーにゃーんんまり（バカなやつ［＜知恵がない奴］)。やなんまり（ダメなやつ)。②【接尾辞】(「名詞＋属格」について)～似ている；例示や比況をあらわす､～ように、まるで～ようだ。【例】ばが　っふぁー　ばがんまり（私の子供は私に似ている)。っづぁがんまりー　あぱらぎ　ひとぅー　みーや　みーん（あなたのようにきれいな人は見たことがありません)。

んまり [mmari]【名詞】［A］生まれ。【例】ばが　んまりゃー　んすむら（私の生まれは西原だ)。

んまりじゃう [mmariʒau] 【名詞】性分、性格。【例】やな　んまりじゃう（駄目な性分)。くぬ　うむくとぅー　にゃーん　んまりじゃう（この性悪野郎め)。んじゃうな　んまりじゃう（残念な性格)。

んまりなうす [mmarinausɨ]【動詞】［s/h 語幹］生まれかわる。【例】かぬ　やらびゃー　んまりなうひーどぅー（あの子は生まれかわった)。んまりなうしよー（立派になれよ［＜生まれかわれ］)。

んまりながーぬ [mmarinaga:nu] 【連体詞】生まれながらの。【例】からー　んまり　ながーぬ　うむくとぅあいひとぅ（彼は生まれながらの頭の良い人)。

んまりばん [mmariban]【名詞】蒙古斑。【例】んまりばんな　てぃびたいんどぅ　あい（蒙古斑はお尻にある)。

んまりやっづぃ [mmarijavvi]【名詞】成長するに従い可愛くなくなること、またそういう人。【例】うぬやらびゃー　やらびがまあいきゃー　むいとぅ　あぱらぎがまあたいそぅがどぅ　ほぅいふなりーみーてぃがー　んまりやっづゃーほぅー（この子は赤ちゃんの頃はとても可愛かったけれど、成長したらかわいくなくなっている)。

んまんなか [mmannaka]【名詞】〖祭礼〗祭礼　煙草（ウタキの言葉)。【例】んまんなかぬ　ゆーい（たばこ祝い［うたきでみなで煙草を回す祭礼の一部］)。

んみ [mmi]【動詞】[母音語幹][A]（雨などに）濡れる。【例】あみん　んみー（雨に濡れる）。ざいんきー　んみーにゃーん（ずぶ濡れになった）。[類]んー。

んみ [mmi]【動詞】[母音語幹][C]（果物などが）熟する。【例】ばんちゅくらー　んみーどぅーい（グアバは熟している）。ばさぬ　ないや　んなーぎゃー　んみや　うらん（バナナの実はまだ熟していない）。ふにゅーや　んみーどぅーい（ミカンは熟している）。ばんつぎーぬ　んーたー　んみーどぅーい（桑の実は熟している）。[類]んー。

んみ [mmi]【動詞】[C]おできが中の膿が出せる程に化膿している、膿む。【例】ふがさー　んみーどぅ（おできは膿んでいる）。[類]んー。

んみ [mmi]【名詞】[B]山の名前の後ろにつける接尾辞、みね。【例】ふずんみ（西原の後方の嶺）。

んみ [mmi]【名詞】[B]群れ[「っぞぅんみ（魚の群れ）」のように接尾辞的にも用いられる]。【例】ぶるくんぬ　んみ（グルクンの群れ）。っぞぅぬどぅやぐみ　んみん　なりゅー（魚が大群をなしている）。

んみ [mmi]【接尾辞】複数を示す接辞[人間を表す普通名詞に付く、指示詞、代名詞、家族名詞は「かいた、くいた、っざた「ーた」を用いる]。【例】しーしーんみ（先生たち）。やらびんみ（こどもたち）。

んみ [mmi]【名詞】[B]胸、心。【例】つむから　んみから　っづぁうぎゃー　むいとぅ　かなす（心からあなたの事は大好きだ[＜心から胸から]）。つむまい　んみまい　やすまらん（心が休まらない[＜心も胸も]）。[類]んみうつ。

んみうつ [mmiutsɨ]【名詞】胸。【例】んみうつぬ　やみゅー（胸が痛い[「心が痛む」という意味はない]）。やぐみ　じゃうぎ　んみうっちゃ　ひーどぅー（（運動選手などが）立派な胸をしている[「乳房が大きい」という意味はない]）。はとぅ　んみうつ（鳩胸）。[変異]んみゅーつ。[類]んみ。

んみかみばら [mmikamibara]【名詞】床柱。

んみつ [mmitsɨ]【動詞】[k 語幹][C]叱る。【例】ぎずぎゃうな　やらびゃー　きゅーまい　んみかい　うたい（いたずらな子は今日も怒られていた）。ひとぅぬ　っふぁうぎゃー　まーぬ　んみかん（他人のこどもをあんまり叱らない[＞叱ってはいけない]）。にんぎんぬ　っふぁー　んみきー　ならーすんつきゃー　ほぅみー　ならーすばどぅ　じゃうかい（人間の子供は叱って教えるよりも褒めて教えた方が良い）。んまん　んみかいにゃーん（母親に叱られた）。[変異]んみふ。

んみふ [mmifu]【動詞】[k 語幹][C]叱る。[変異]んみつ。

んみや [mmja] 【副詞】もう、すでに。［変異］んめ。

んみや [mmja] 【感動詞】大変だ、困った。［変異］んめ。

んみや [mmja] 【感動詞】〖フィラー〗もう、あの。［変異］んめ。

んみゃーす [mmja:sɨ] 【動詞】[s/h 語幹] 比べる。【例】ういとぅ　くりゅー　んみゃーし（それとこれを比べろ）。

んみゃーてぃ [mmja:ti] 【成句】「んみゃい」の命令形、いらっしゃいませ。［変異］んめてぃ、んみゃてぃ。

んみゃい [mmjai] 【動詞】[A]「いる、行く」の尊敬形、いらっしゃる。【例】んみゃてぃ（いらっしゃい）。きゅーや　しーしーがどぅ　かていほうもんな　ひー　んみゃい（今日は先生が家庭訪問でいらっしゃる）。しーしーがどぅ　んみゃい（先生がいらっしゃる）。

んみゃがま [mmjagama] 【感動詞】大変、大変だ、困った。【例】んみゃ、んみゃがま　やらびゃー　ひんがひー　にゃーん（大変、大変だ。子供を逃がしてしまった）。ばー　きゅーや　だりー　んみゃがまてぃどぅほぅー（私は今日はつかれて、大変だった）。んみゃ　んみゃ　んみゃよ、ぶとぅぬ　くとぅー　むいとぅ　しばよ（あーもう、夫のことがとても心配だ）。

んみやてぃ [mmjati] 【名詞】[A]〖植物〗ヒメクマヤナギ（直径４ミリ位の紫色の実をつける木）。［類］んみゃてぃんーたぎー。

んみゃてぃんーたぎー [mmjatɨn:tagi:] 【名詞】〖植物〗ヒメクマヤナギ（直径４ミリ位の紫色の実をつける木）。［類］んみゃてぃ。

んみゃひ [mmjahi] 【副詞】もっと、これ以上は。［変異］んめひ、んめひー、んみゃひー。

んみゃひー [mmjahi:] 【副詞】もっと、これ以上は。【例】かまんな　さきゃー　んみゃひー　あり（あそこには酒がもっとある）。ばぬんかい　んみゃひー　さきゅー　つぎ（私にもっと酒をつげ）。ういがどぅ　かいんつきゃー　んみゃひー　ばいふ　じゃうかい（これがあれよりも更に何倍も良い）。んみゃひー　ばいふ　あい（更にもっと悪く言う）。ばー　んめ　びとぅりーどぅー、んみゃひや　ふぁーいん（私はもうおなかがいっぱいでこれ以上は食べられない）。んみゃひー　ふぃーさまてぃ（もっと下さい）。［変異］んめひ、んめひー、んみゃひ。

んみゅーつ [mmju:tsɨ] 【名詞】胸。［変異］んみうつ。［類］んみ。

ん゜む [m̥mu] 【名詞】[B] 雲。【例】ん゜むぬ　いでぃっちゅー（雲がでてきた［＜出てきている］）。

ん゜む [m̥mu] 【名詞】[B] 蜘蛛（クモ）。【例】てぃんぬ　ん゜むまい　きーぬ

ん゜むまい　ゆぬ　ん゜む（天の雲も木の蜘蛛も同じ「くも」だ)。[類]くーむや。

んめ [mme]【副詞】もう、すでに。【例】んめ　よじ　なりーどぅーな（もう4時になったのか)。あわてぃる、　んめ　ふにん　ぬーいうくいがまた（急げ、もう船に乗り遅れるぞ)。[変異]んみゃ。

んめ　ばいふ [mme baifu]【成句】更に何倍も。【例】ういがどぅ　かいんつきゃー　んめばいふ　じゃうかい（これがあれよりも更に何倍も良い)。

んめ　んめよ [mme mmejo]【成句】もう　もう大変。【例】んめ　んめよ　ぶとぅー　すにーにゃーん。（ああ、もう大変だ、夫は死んでしまった)。

んめーら [mme:ra]【感動詞】〖フィラー〗えーとね、あのね［＜んめ＋いら]。

んめちゃう [mmetɕau]【動詞】[w語幹]大変なことになる、大変だ。【例】ばー　ん゜ぬ　うーっふぃー　んめちゃうたい（私は昨日溺れかけて大変だった［＜溺れて]）。

んめひー [mmehi:]【副詞】もっと、これ以上は。【例】かまんな　さきゃー　んめひー　あり（あそこには酒がもっとある)。ばぬんかい　んめひー　さきゅー　つぎ（私にもっと酒をつげ)。んめひー　ばいふ　あい（更にもっと悪く言う)。んめひー　わいてぃー　あっそぅ（もっと頑張れ)。んめひー　ふぁい（もっと食べなさい)。[変異]んみゃひー、んみゃひ、んめひ。

ん゜ん [n̥n]①【動詞】[m語幹][A]踏む；（踏んで）こねる。【例】っしん゜ん（潮干狩り［＜リーフを踏む])。ん゜んはっじゃき（踏み外す)。びゅーいびとぅぬ　まーっさ　ん゜まだ　あいきゅー（酔っ払いがふらついて歩いている)。んたう　ん゜ん（土をこねる)。②【動詞】[m語幹][A]履く。【例】くっちゅ　ん゜ん（靴を履く)。あっちゃう　ん゜ん（下駄を履く)。なうや　ん゜まん　っさぱずひー　やまんかい　はいりー　いつたい（何も履かない裸足で山に入っていった)。うぬ　やらびぬ　くつぬ　ん゜んかたー　ぐーはん（その子の靴の履き方は左右反対だ)。

ん゜ん [n̥n]【動詞】[m語幹][A]汲む。【例】ふにぬ　あかまう　ん゜み（船底に溜まった水を汲め)。くばずーひー　みっじゅ　ん゜ん（釣瓶で水を汲む)。みっじゅ　ん゜みー　くー（水を汲んで来い)。

ん゜んたー [n̥nta:]【名詞】滅茶苦茶に踏みつけること、（人を）非難してやっつけること。［類]ん゜んたーぐー、ん゜んたーぐーたー。

ん゜んたーぐー [n̥nta:gu:]【名詞】滅茶苦茶に踏みつけること、（人を）非難してやっつけること。【例】うりゅーぎゃー　ん゜んたーぐー　あっそぅ（それ

を踏みつぶせ)。いっちゃー　っさん　むぬいゆ　あい　ひとぅぎゃー　ん゜んたーぐーや　ひー　いちゃまし（筋の通らないことを言う人を責めてやっつけろ)。[類]ん゜んたー、ん゜んたーぐーたー。

ん゜んたーぐーたー [n̥nta:gu:ta:]【名詞】滅茶苦茶に踏みつけること、(人を）非難してやっつけること。　[類]ん゜んたー、ん゜んたーぐー。

ん゜んびき [m̥mbiki]【動詞】[母音語幹]踏んづける。　[類]ん゜んびつ、ん゜んびふ。

ん゜んびつ [m̥mbitsɨ]【動詞】[k 語幹]踏んづける。　【例】いんぬ　っそぅー　ん゜んびきーにゃーん（犬の糞を踏んづけてしまった)。くるまん　ん゜んびかいにゃーん（車にひかれた)。[変異]ん゜んびふ。[類]ん゜んびき。

ん゜んびふ [m̥mbifu]【動詞】[k 語幹]踏んづける。　[変異]ん゜んびつ。[類]ん゜んびき。

逆引き

ああざんねんだ/ああ残念だ...あがい、あがえ
ああしまった/ああしまった...あがい、あがえ
あい/藍.....あい
アイゴ/アイゴ.....あい、あいっぞぅ
アイゴのちぎょ/アイゴ（稚魚）.....そぅく
アイゴのちぎょのしおづけ/アイゴ（稚魚の塩漬け）.....そぅくがらす、そぅくがらそぅ
あいさつする/挨拶する.....うがん、みゃーぎ
あいしょう/相性.....はだ
あいする/愛する.....かなす、うむー
あいだ/間（すこしの）.....あたばかーい
あいだ/間（空間）.....ばし、ばす
あいだ/間（空間、時間）.....あいま
あいだ/間.....どぅー
あいだをあける/間をあける ひだたす、ひだつ、ひだてぃ、
あいつというやつは/あいつというやつは ういてぃっじゅまい
あいてにしない/相手にしない たきゃーならん
あいてにならない/相手にならない たきゃーならん
あいま/合間.....あいま
あう/会う.....あう、いじゃう
あう/合う.....すなう、んなう
あえる/和える.....あい、むんたうー
あお/青.....あう
あおぎみること/仰ぎ見ること...あぱなつみー
あおぐ/扇ぐ.....あうー、あうず
あおくなる/青くなる.....あうん、あうたん
あおさ/あおさ【食】.....あーさ
あおだいしょう/青大将（ヘビ）.....あうなず
アオブダイ/アオブダイ【魚】.....ぶーた
あおむけ/あおむけ.....あぱなつ
あおむけになる/仰向けになる あぱなつ、あぱなふ
あおられる/煽られる...ぶらーい、ぶりゃーい
あおる/煽る.....あうい
あか/垢.....なば、ぐず
あか/赤.....あか
あかい/赤い.....あか
あかいべん/赤い便.....あかふそぅ
アカイラウツ/アカイラウツ【魚】 あかいらうつ
あかく/赤く（__なる）.....あかたん
あかくする/赤くする.....あかます
あかくなる/赤くなる.....あかん
あかげ/赤毛.....あかぎー、あかばに
あかげのひと/赤毛の人.....はーか
アカショウビン/アカショウビン【鳥】 うつぐーかっづゃ
あかつち/赤土.....あかんた
あかにく/赤肉.....すーす
あかめ/赤目（目が見えない） みーはぎ、みーぱぎ、みはぎ、みぱぎ、みはぎゃ

あかメバル/赤メバル【魚】.....あかじん
あかり/明かり.....あかい、ひかい
あがる/上がる（雨が）.....あかい
あがる/上がる（太陽などが）.....あがい
あがる/上がる（舞台などに）.....ぬーい
あかるい/明るい.....あか
あかるくする/明るくする.....あからす
あかるくなる/明るくなる..あかたん、あかん、あき、あつ、あふ、ひかい
あかんぼう/赤ん坊..あかっづぁ、だつっづぁ、ばかっづぁ
あき/秋.....あき
あきない/商い.....あつない
アキノノゲシ/アキノノゲシ【植】..とぅなら、とぅるな
あきびん/空瓶.....からぐぴん
あきる/飽きる.....がうい、がうり、かまい
あく/空く（ガラガラに） がらみつ、がらみふ
あく/開く.....あーつ、あーふ
あく/空く.....あつ、あふ
あくじ/悪事.....ばいさ
あくび/あくび.....あふず
あぐら/あぐら.....びきどぅんびー
あくりょう/悪霊.....やなむぬ
あけがた/明け方.....あかつつ
あけたりしめたり/開けたり閉めたり あきやふー ふー
あける/開ける あーつ、あーふ、びだつ、びだふ、びらつ、びらふ、あき、ほぅらつ、ほぅらふ、びだかす、びらかす
あける/開ける（穴を）.....ほぅがす
あける/明ける.....あつ、あふ、あき
あげる/揚げる.....やつ、やふ
あげる/あげる（手をさしだして）...にゃーい
あげる/あげる（ものを）.....ふぃー
あげる/あげる（凧を）.....まーす
あご/あご.....うとぅがい、かまつ
アコヤガイ/アコヤガイ【貝】.....ぎすぐや
あさ/朝 すつむてぃ、すとぅむてぃ、ひとぅむてぃ
あさい/浅い.....あさ
あさって/明後日.....あさってぃ、あさてぃ
あさぶくろ/麻袋.....たうしんがー
アザミ/アザミ【植】.....はまぐんばう
あさゆう/朝夕.....ひとぅむてぃ　ゆさらび
あし/足.....はず
あし/足（足裏が大きい）.....やそぅるぱず
アジ/アジ（ムロアジ）【魚】.....むっる
アジ/アジ（ムロアジの成魚）.....ぐん
アジ/アジ（メアジ）.....がつぬ
あじ/味.....あず
あしあと/足跡.....まー
あしおと/足音.....はずなら
あじがうすい/味がうすい.....あま
あじかげん/味加減.....あんばい
あしがすくむ/足がすくむ.....っさかう
あしくび/足首.....っさ、ひさ、はずふず
あした/明日.....あちゃ
あしどり/足取り.....あす
あしのおそいひと/足の遅い人...にゅーふたら
あしのかこう/足の甲 っさ、ひさ、っさびじゃ
あしのふじゆうなひと/足の不自由なひと ないぎゃ、ないず
あずき/あずき.....まみ
あずける/預ける.....あずき、あずつ
あせ/汗.....あし、すー
あせも/あせも.....あしん
あせる/焦る.....しゃーみつ、しゃーみふ
あそこ/あそこ.....かま
あそび/遊び.....あそぅー
あそぶ/遊ぶ.....あそぅー
あたえる/与える（賄賂などを）.....てぃだい

あたたかい/あたたかい.....んふ
あたたまる/温まる .....んふばーい
あたためる/あたためる あったす、あっちゃす、たっじゃす
あたま/頭.....かなまい、ずー、ずぶる
あたまのよい/頭の良い .....うむくとぅあい
あたまをさげる/頭を下げる.....うがん
あだめい/あだ名.....あらなー
あたらしい/新しい.....みー
～あたり/～あたり .....なぎ
あたり/当たり .....あたい、あたり
あたりさわり/あたりさわり .....あたいさわい
あたる/当る.....あたい、あうー
あたる/当たる（火に）..あっづぃ、ほぅてぃ、ほぅてぃー
アダン/アダン .....あだん
アダンのき/アダンの木.....あだんぎー、んぎ
アダンのきこん/アダンの気根 .....あだなす
アダンのしん/アダンの芯 .....ばす
アダンのは/アダンの葉.....あだんば
あちこち/あちこち うまくま、あまかま、あまくま、いじゃまい　かままい、うまかま、いじゃどぅーす　かまどぅーす、んじゃどぅーす　かまどぅーす
あちこちふるひと/あちこち触る人 てぃー　ばっじゃーしゃ
あちら/あちら.....あま
あちらこちら/あちらこちら...かどぅ　かどぅ
あつい/熱い.....あつ
あつい/暑い.....あつ
あつい/熱い（体が）.....ほぅみつ
あつがり/暑がり.....あつさむい
あつくなる/熱くなる ほぅみつ、ほぅみふ、あっち、あっつ
あつさ/熱さ・暑さ.....あつさ
あっさり/あっさり .....がら
あった/あった（存在動詞過去形）.....あたい
あっというま/あっという間.....あたふず
あっというまに/あっという間に..あたくまん、あたふずん、ちゅきゃー
あつまらせる/集まらせる .....あらす
あつまり/集まり.....むいた、うぐなーい
あつまる/集まる（人が）.....うぐなーい
あつまる/集まる（人以外のものが）...たかい
あつまるところ/集まるところ（魚などが） きじゅる
あつめる/集める（お金を）.....うぐない
あつめる/集める（人を）.....がに
あて/当て.....あてぃ、むとぅ
あてる/当てる .....あうー、あっづぃ
あと/後 .....あとぅ
あとおし/後押し .....くす
あとざん/後産.....あとぅざん
あとしまつのわるいひと/後始末の悪い人 てぃびふきゃ、てぃびふぎゃ、てぃびふちゃ、てぃびほぅきゃ、てぃびほぅぎゃ、てぃびほぅちゃ
あとひといき/あと一息 あとぅ　ひとぅむちゃき
あな/穴 .....あーぶ、あな、ひーき、ぴーき
あなうめ/穴埋め .....みー
あながあく/穴があく.....ほぅぎ、ほぅず
あなた/あなた .....っづぁ
あなをあける/穴をあける ひーつ、ひーふ、ぴーつ、ぴーふ、ほぅがす、ほぅぎ、ほぅず
あなをうめる/穴を埋める.....っふぁす
あに/兄.....そぅじゃ
あにとあね/兄と姉 .....あにそぅじゃ
あね/姉.....あに
あの/あの（指示形容詞）.....かぬ
あの/あの（フィラー）.....んみゃ、んめ
あのー/あのー（フィラー）なうがら、あうぬー
あのちょっと/あのちょっと（掛け声） はいゆ

はい
あのね/あのね（注意喚起）……いら
あのねー/あのねー（フィラー） かぬいー、んめーら
あのひと/あの人……かい
あのひとたち/あの人たち かぬきゃ、かぬきゃた
あのよ/あの世..あぬゆ、あぬゆー、かぬゆー、かんぬゆー
あばた/あばた……ずみじゃ
あばらほね/あばら骨 あばらぶに、さうきぶに、やかたぶに、ゆんぶに
あばらや/あばら屋……あばらやー
あばれる/暴れる……あい、あり
あばれんぼう/暴ん坊.....ふしびゃ、ばうちら
アヒル/アヒル【鳥】……がーな
あびる/浴びる.....あみ、あみかうー、あん
アブ/アブ【昆】……あぶ
あぶら/脂・油……あっうぁ
あぶらっこい/脂っこい.....あっうぁびーた
あぶらまみれ/油まみれ.....あっうぁびーた
あぶらまみれ/油まみれ.....あっうぁびーた
アフリカマイマイ/アフリカマイマイ【生物】たいわんばるんな
あぶる/あぶる……あうー、あっうぃ
あふれている/あふれている……びーた
あふれる/溢れる……あふい
あぶれる/あぶれる……はぐい
あまあし/雨足……あみすず
あまい/甘い……あずま
あまえる/甘える……あまい
あまくなる/甘くなる（太陽にさらして） ない
あまごい/雨乞い……あまぐい
あまだれ/雨だれ……あまだい
あまつぶ/雨粒……あみすず
あまみず/雨水……あまみず
あまやかす/甘やかす……あまーす
あまやどり/雨宿り……あみがっふぃ
あまり/あまり（＋否定）……まーぬ
あまり/余り（__ので） あてぃ、あてぃくとぅ
あみ/網……あん
あみカゴ/編みカゴ……あんでぃら
あむ/編む……あん、まつ、まふ
あめ/雨……あみ
あめ/雨（恵みの）……ゆがほぅーあみ
あめ/雨（細かい）……やーらあみ
あめ/雨（細かい）……やぱあみ
あめ/雨（長く続く）……ながーみふー
あめ/飴……あみじゃた
あめふり/雨降り……あみふー
アメンボ/アメンボ【昆】.....あみっふぁしゃ
あや/綾（模様）……あや
あやかる/あやかる……あやかい
あやしい/怪しい……あやす
あやつる/操る（車などを）……むつ
あやふやだ/あやふやだ……あやすふ
あやまる/謝る……うがん
あらい/粗い（仕事が） てぃじゃーかー、あら
あらい/荒い（性格が）……やっうぁ
あらう/洗う（体、食器などを）.....あらう
あらう/洗う（顔や手を）……すみ
あらだてる/荒立てる ほぅーみつ、ほぅーみふ、ばいんつ、ばいんふ、ばいんき
あらまあ/あらまあ（おどろき）……あや
あり/蟻【昆】……あかい
ありえない/ありえない……たーらん
ありがたい/ありがたい……ひるます
ありがとう/ありがとう……すでぃがほー
ある/ある（存在動詞）……あい、あり
あるきはじめ/歩き始め……あいつびゃー
あるきはじめる/歩き始める（子供が） またーたい、またたーい、またたい

あるきまわる/歩き回る...まーい、ゆがまーい
あるく/歩く.....あいつ、あいふ
あるく/歩く（ふらつきながら）.....たい
あるくこと/歩くこと.....たつ
あるけないひと/歩けない人 いじゃい、いじゃら、たくっづぁ
あることないこと/あることないこと あいくとぅ　にゃーんくとぅ
あるていど/ある程度.....まーだぎゃー
あるとき/ある時 ひとぅいひゃうす、ひとぅひゃうな
あるとし/ある年..ひとぅてぃ、ひとぅてぃー、ひとぅてぃーない、ひとぅてぃない
あるにち/ある日 ひとぅい、ひとぅいひゃうす、ひとぅひゃうな
あれ/あれ（指示名詞）.....かい
あれ！/あれ！（軽い驚き）おごい、おごえ、あば、かや、かやはい
あれこれ/あれこれ.....あいかい
あれこれすること/あれこれすること あいあす　かいあす、あやす　かやす
あれもこれも/あれもこれも ういまい　かいまい
あれる/荒れる（田畑が）.....あばい
あわ/粟.....あー、ゆに、ぐる
あわせる/合わせる.....あーす、すなーす
あわせる/合わせる（ちょっとずつ）...かてぃ
あわてふためくこと/慌てふためくこと つつんく、つつんつ
あわてもの/慌て者 かかみきゃ、ちゃーふきゃ、とぅっふゃ、とぅとぅっふゃ
あわてる/慌てる あわてぃ、つつんつ、つつんふ、つとぅっつ、つとぅっふ、つつっとぅ、つつっふ、つとぅふー
あわのおにぎり/粟のおにぎり.....あーぬい
あわのはつもの/粟の初もの.....あーぬうはつ
あわばたけ/粟畑.....あーなか
アワビ/アワビ.....あーび
あんいな/安易な.....どぅーやす
あんしんだ/安心だ...うくっとぅ、うむいやす
あんぜんきがん/安全祈願.....きんだてぃ
あんな/あんな.....あいぬ
あんないする/案内する.....んかい
あんなことも/あんなことも...あいぬ　かいぬ
あんなもの/あんなもの あいぬむぬ　かいぬむぬ
あんなやつら/あんなやつら.....あうぬんみ
いい/言い（「あい」の連用形）.....あっじ
いいえ/いいえ.....んば
いいかい/いいかい（念押し）.....いら
いいかげん/いい加減 たいがいじゃんみん、なまはんか、なまはんぱ
いいかげんなやつ/いい加減な奴..はんちまー、はんつまー
いいきかすこと/言い聞かすこと.....ぎず
いいたいほうだい/言いたい放題 ふつあじゃーな
いいなづけ/いいなづけ.....いーなずき
いいふらす/言いふらす.....ゆみーまーい
いう/言う.....あい
いう（けんじょうご）/言う（謙譲語）　っさい
いう（つまらないことを）/言う（つまらないことを）.....ぐーみつ、ぐーみふ
いうことをきかない/言うことを聞かない かきらいん
いえ/家.....やー
いえ/言え（「あい」の命令形）.....あっじ
イエスマン/イエスマン んーでぃだーら、んーでぃだーり、んーでぃだーりゃ
いえのなか/家の中.....やーなか
イカ/イカ.....あうきゃ
いがい/以外.....ほぅか

いかけや/鋳掛屋（鍋を直す）...なびぬ　くー
いかにも/いかにも（＝見るからに） なうががら
いかめしくする/厳しくする きちゅみ、きつみ
いかりづな/錨綱.....うぶん゜な
いかる/怒る.....つむー　いだす
いき/息.....いつ
いきおい/勢い .....いつき
いきがい/生きがい .....あてぃ、みゃーてぃ
いきかえらせる/生き返らせる .....いっだす
いきができない/息ができない いつっふぃ、いつふー
いきぎれする/息切れする っふぁみつ、っふぁみふ、はーみつ、はーみふ
いきごみ/意気込み.....あらいず
いきごむ/意気込む .....しゃーがい
いきなり/いきなり かぱ、なうちゃーなー、なうちゃーにゃー
いきなれた/行きなれた道.....あいつんつ
いきのね/息の根.....いつぬにー
いきもの/生もの .....なまむぬ
いきる/生きる .....いっず、いっでぃ、ふぁうい
いく/行く.....いつ、いふ、はい
いく/行く（聞き手のところに）.....ふー
いく/行く（下の方の畑に）.....うり
いく/行く【尊敬語】 .....んみゃい
いく/行く（漁に）.....うり
いくさ/戦.....いっさ
いくつ/いくつ【疑問詞】 .....いふつ
いくら/いくら【疑問詞】 いさか、いさき、いかっさ
いくら/いくら.....いふ
いくらでも/いくらでも.....いかっさまい
いくらも/いくらも（否定＋）...いかっさまい
いご/囲碁 ..... ぐー
いし/石.....いす
いし/石（土がかたまったもの）...いすぬまら
いしうす/石臼 .....いすうす
いしがき/石垣 ますぎた、ぬぬずん、ぬぬずんますぎた
イシガニ/イシガニ【生物】 .....ばたら
いじくる/いじくる .....んたう
いしころ/石ころ（畑の中の）.....いさら
いしだらけ/石だらけ（畑）.....いさら
いしのまじったはたけ/石の混じった畑 いさらばい
いじめる/いじめる ..ひつつ、ひつふ、ひつき、ばーふー、いちゃます
いじわる/意地悪.....わちゃく
いじわるいひと/意地悪な人.....ばたふっじゃ
いじわるするやつ/意地悪する奴 ばた　ふっでぃんまり
いじわるなこうい・ひと/意地悪な行為・人 やなづむ
いじをはる/意地をはる しゃーみつ、しゃーみふ、しゃーい
いじん/偉人.....ぶす
いす/椅子 ..... いす
いすわる/居座る.....びじゃい
いすわるひと/居座る人.....ながてぃび
いせえび/伊勢海老【生物】 .....いびがん
いぜん/以前...はーひー、ひゃーひー、ひゃー
いそいで/急いで.....はやまり
いそがしい/忙しい いそぅがす、はんた、ぱんた
いそがしいじき/忙しい時期.....ばんず
いそがせる/急がせる いそぅがす、すきゃかす
イソギンチャク/イソギンチャク【生物】 っぞぅぬみー
いそぐ/急ぐ ..... あわてぃ
イソマグロ/イソマグロ【魚】 .....とぅかきん
いた/板 ..... いちゃ

いたい/痛い……いちゃ、すん、やん
いたい！/痛い！…あがー、あがい、あっがー
いたずら/いたずら てぃーばっじゃーす、わちゃく
いたずらもの/いたずらもの…わちゃくんまり
いただく/頂く……ぶい
いたみ/痛み……いちゃん
いたむ/痛むやん、さす、そぅっづぃ、いちゃん
いたむ/痛む（心が）……つむやん
いためる/痛める……やます、ない、ないー
いち/1（番号）……てー、てぃー
イチゴ/イチゴ……ぱんきまらんーた
いちど/一度……ひとぅん
いちにち/一日……ひとぅい
いちにちじゅう/一日中..ひとぅいがーまーす、ひとぅいぎゃーみゃーす
いちねんかん/一年間 ひとぅてぃ、ひとぅてぃー、ひとぅてぃーない、ひとぅてぃない
いちねんご/一年後……ふたてぃあとぅ
いちねんまえ/一年前……ふたてぃない
いちばん/一番（最上級）……んながーんな
いちもくさんに/一目散に……とぅとぅっふぃ
いちりんのはな/一輪の花……ひとぅはな
いつ/いつ【疑問詞】……いつ
いつか/五日……いつか
いっかい/一回……ひとぅん
いっかのはじ/一家の恥……なーすたらしゃ
いっき/一気……ひとぅいつ
いっけんいっけん/一軒一軒 やーがま くーがま
いっけんや/一軒家……ひとぅきゅーやー
いつごろ/いつ頃【疑問詞】……いつばかーい
いつごろか/いつ頃か……いつががら
いっさい/一歳……ひてぃつ
いっさく/一昨……みーかない
いっしゅうする/一周する……だきーまーい
いっしゅうねん/一周年……ゆぬーい、ゆぬい
いっしゅん/一瞬……かたとぅき
いっしょうがい/一生涯……んぬつぬ はだ
いっしょうけんめいに/一生懸命に わいてぃー
いっしょくふん/一食分……ひとぅひゃーい
いっしょに/一緒に てぃびゃーい、てぃびゃーうい
いっしょに/一緒に……ひとぅみ、まーじゅん
いっしょにいること/一緒にいること…そぅい
いっそう/いっそう……たった
いったん/一反（300 坪）……やそぅる
いっちする/一致する……あう
いつつ/五つ……いつつ
いっとき/一時……いっとぅつ
いつなんどき/いつ何時……いつなんどぅつ
いつのまにか/いつの間にか っさだ ういきゃ
いっぽんつり/一本釣り……てぃなー
いつまでも/いつまでも……いつがみまい
いつも/いつも いつまい、ちゃー、ひつん、まいやー まいにつ
いつもいつも/いつもいつも とぅすかず はだかず
いと/糸……いちゅ、いとぅ
いど/井戸……かー
いどうする/移動する……まーい
いとおしい/愛おしい……かなす、あたらす
いとこ/いとこ……いちふ、いちゅふ
いどし/亥年……びどぅい
いとまき/糸巻【道具】……ばふ
いない/いない（生き物が）……みー
いなくなる/いなくなる……うす
いにかなう/意に適う つむん かなう、すなう
いぬ/犬……いん
いぬとり/犬捕り……いんくらしゃ
イヌマキ/イヌマキ【植】……きゃーぎ
いねみつ/稲光……いなびかい

いねむり/居眠り.....ににゅー
いのち/命.....いつ、んぬつ
いのる/祈る.....かみ
いばる/威張る.....いばい
いばるひと/威張る人.....いばら
いびき/いびき.....はななら
すいびきをかく/いびきをかく...はなう　ならす
いぶくろ/胃袋.....むむくーら
イボ/イボ.....ふつびゃ
いま/今.....んなま
いまごろ/今ごろ んなまがしゅく、んなまがそぅく、んなまどぅーら
いましがた/今しがた.....んなまがた
いまのうちに/今のうちに.....んなまぬちゃん
いまのところ/今のところ んなまがしゅく、んなまがそぅく
いも/芋.....んー
いも/芋【古語】.....ずーくまりゃ
いも/芋（取り残しの）...あかうぎーぬ　んー
いもうと/妹.....うっとぅ
いもづる/芋づる.....んーぎー
いものおかゆ/芋のお粥.....んーだり
いものおにぎり/いものおにぎり.....んーぬい
いものでんぷん/芋の澱粉.....んーくず
いもばたけ/芋畑.....んーなか
いもほりぼう/芋掘り棒.....んーぷら
いもをたくなべ/芋を炊く鍋.....んーにーなび
いやだ/いやだ あかふそぅ、なうんだい、んば、んーぱ、んまは
いやだよ/いやだよ.....んばだら
イライラする/イライラする かさます、かかいっじゃんふ、つむかさみつ、はだたつ
いらだつ/苛立つ.....かさみつ、かさみふ
いらっしゃいませ/いらっしゃいませ んみゃーてぃ、んみゃてぃ、んめてぃ
いらない/要らない いらじゃーらん、いらじゃらーん、いらじゃらん、いらじゃい
いらべ/伊良部【地名】.....いらう
いりえ/入江.....いー
いりぐち/入り口 ふつ、はいーふつ、はいふつ
いりひたること/入り浸ること.....いりびたい
いる/煎る.....いーつ、いーふ
いる/いる（人、動物などが存在する）...うい
いる/要る..いり、いー、いらじゃい、かむー、かむい
いる/いる【尊敬語】.....んみゃい
いる/いる（たくさん） がっづぁみつ、がっづぁみふ
いるい/衣類..... つんかー
イルカ/イルカ.....じゃかひとぅ
いれずみ/刺青...いりずみ、はいつつ、はずつ
いれば/入れ歯.....いりばー
いれる/入れる.....いー、いり
いれる/入れる（組み込む）.....くみ
いれる/入れる（注ぎ込む）...あうぎ、あうず
いろいろ/色々.....たてぃたてぃ
いろぐろのひと/色黒の人.....っふがー
いわ/岩（リーフと島の間にある）..あかやー、かんふ、しー
いわ/岩（固い）..... ぐー
いわかげ/岩陰.....きす
イワシ/イワシ【魚】.....みじゅぬ
いんかく/陰核（クリトリス） なかち、なかつ
いんかん/印鑑.....はん
いんけい/陰茎.....はんきまら、ぱんきまら
いんのう/陰嚢.....ふぐい、たに
いんもう/陰毛..... っふぎ
いんれきごがつころ/陰暦５月ころ ぼーしゅー
ういざん/初産..... ういざん
ううう/うー（うめき声）.....んーとぅ
ううん/うーん（うめき声）.....んーとぅ
うえ/上 あーばん、わーばん、あーぎ、あーび、

わーび、はな、うい
うえ/飢え.....やーっさがーきうえあご/上あご.....あずがー、あずくウエスト/ウエスト.....すまーたうえにあるいわ/上にある岩.....はながんふうえのほう/上の方.....あーはな、わーらうえる/植える.....いびうかぶ/浮ぶ.....うきゃがいうき/雨季.....つーきうけこたえ/受け答え.....うきくたいうごかす/動かす.....ゆっじゃすうごく/動く ういつ、ういふ、うゆつ、うゆふ、むいつ、むいふ、むゆつ、むゆふ
うごく/動く（ヘビなどがニョロニョロと） ぶじゅみつ、ぶじゅみふ
うし/牛.....うすうし/牛（子供がうめなくなっている牝牛） やずまい、やずまら、やずまり
うしなう/失う.....はぐい、はぐりウジむし/ウジ虫.....うずむすうしろ/後ろ.....っしばら、てぃびうしろまえ/後ろ前.....てぃびゃーまいうす/臼.....うすうすい/薄い.....っそぅがーウズラ/ウズラ【鳥】.....うっじゃうそ/嘘.....ゆくし、ゆくすうそつき/嘘つき やなじゃい、ばくらう、ぶらふきゃ
うた/歌.....あーぐうたいかた/歌い方（その人独特の）.....さぐうたう/歌う.....あいうたがう/疑う.....うたがううたき/御嶽.....うたきうたきのなか/御嶽のなか.....うどぅぬうちうみ/内海.....いなう、んなとぅ
～うちに/～うちに（している__）.....ちゃんうちまご/内孫.....やーんまがうちわ/うちわ.....あうずうつ/打つ（打ち込む）.....うんつ、うんふうつ/打つ（ボールなどを）.....あったみうつくしい/美しい.....かぎ、きつぎ、んまぎうつくしいこと/美しいこと.....かぎさうつくしくない/美しくない.....んずぎうつす/移す.....うっちゃすうつす/写す.....うっちゃすうつふせ/うつ伏せ.....うすん、うそぅんうつふせになる/うつ伏せになる うすみ、うすん、うそぅみ、うそぅん、んぶだーい
ウツボ/ウツボ【魚】.....うずうつむく/うつむく うすんつ、うすんふ、うそぅんつ、うそぅんふ
うつる/移る.....うっつうつる/写る.....うっつうつわ/器.....かいしきうで/腕.....うでぃうでのいいりょうし/腕のいい漁師 いんかないびとぅ、いんじゃう
ウナギ/ウナギ【魚】.....うなず、きふなずうなる/唸る ぬーず、ぬーっず、ぬーでぃ、ぬーっでぃ、んない
ウニ/ウニ【生物】【食】.....うんうね/畝.....まにうね/畝（広さの単位）.....せうねり/うねり.....なぐいうばう/奪う ばかい、ばかう、がっじゅい、がどぅい
うま/馬.....ぬーまうまい/美味い.....んまうまごや/馬小屋.....たつうまのたてがみ/馬のたてがみ ぬーまぬ　かんぎ
うまれ/生まれ.....んまり

うまれそだち/生まれ育ち……ういだつ
うまれながらの/生まれながらの　んまりながーぬ
うまれる/生まれる……すでぃ、んまい
うみ/海……いん
うみ/濃……んーく
ウミウシ/ウミウシ【生物】……いんうす
うみどり/海鳥……いんどぅい
うみねこ/海猫……つきゃふ
うみのおや/産みの親……なすんま
うみのちかく/海のちかく……いんばた
うみのふかいところ/海の深いところ　あうそぅ
うみブドウ/海ブドウ……んきゃふ
ウミヘビ/ウミヘビ【海洋動物】……いんばう
うむ/膿む……んー、んみ
うむ/産む……なす
うめる/埋める……うずん、ふさがい、ふさず
うやまう/敬う……なーぎ
うら/裏……てぃび
うらがえし/裏がえし……ほぅがさー
うらがえし/裏返し　さかー、さかさ、さかさー
うらかえしに/裏返しに……くさーん
うらて/裏手……っしばら
うらなう/占う……あかす
うらなう/占う……むぬー　あかす
うらやましい/羨ましい……そぅーじゃ
うらやましがる/うらやましがる　そぅーん、ひがん
うり/瓜【果物・野菜】……あかうい
うりふたつ/瓜二つ…あーぬいや　ばりーどぅ
うる/売る……うー
うる/うる（海藻）……うる
うるう/潤う……うるー、うるい
うるうづき/閏月……あまいずつ、うるずつ
うるうどし/閏年..あまいどぅす、うるどぅす、うるーどぅす
うるおいのじき/潤いの時期（農業用語）　うりー
うるさい/うるさい..がじゃみつ、がじゃみふ、やがます、んがます、んぎゃます
うれしい/嬉しい……ふからす、ほぅからす
うれしいこと/うれしいこと……ほぅからっさ
うれしがりだ/嬉しがり……ふからっさむい
うろおぼえ/うろ覚え……なまうぶい
ウロコ/ウロコ……いーき、いーつ
うわきっぽいじょせい/浮気っぽい女性　みゃーらび
うわさ/噂　っさ、ふさ、ひとぅっさ、ひとぅっじゃ、ひとぅぬっさ、ひとぬふさ
うわさはなしをする/うわさ話をする　ひとぅぬっさ　あす
うわさをよくするひと/噂をよくする人　ひとぅっじゃぬ　すー
うん/運……うん、ふー
うん/うん（返事）……えー、んーでぃ
うんうん/うんうん（うめき声）……んーとぅ
うんがいい/運がいい……いす、いそぅ
うんがいいこと/運がいいこと……いす
うんてんする/運転する……くるまう　むつえ/え？（ききかえし）……なうばいてぃー
えーと/えーと（話始めの言い淀み）　いら、なうがら
えーと/えーと（フィラー）..また、んめーら、なうてぃどぅ　あい
エイ/エイ【生物】……いー、かまんた
えいえんに/永遠に……みゃーくなぎ
えがおがきれいなひと/笑顔がきれいな人　みーばらーしゃ
えさ/餌……びじゅ
えさにするこざかな/餌にする小魚……じゃぐ
えだ/枝……ゆだ
えたいのしれない/得体のしれない..いかがら、

いきゃがら
えだまめ/枝豆 ..... ままみ
えっ/えっ（聞き返し） ..... なー、あか
えと/干支 ..... とぅい
えと/干支（自分の生まれた） ..... とぅすびー
エビ/エビ ..... さい
エラ/エラ ..... いら、さん
えらいひと/偉い人 ほぅがなまい、ほぅっびとぅ、ゆかいびとぅ、ゆかいむぬ
えらびにえらんで/選びに選んで いらびってぃ
えらぶ/選ぶ ..... いらう
えらぶる/偉ぶる ..... ひとぅふい
えらぶること/偉ぶること ひとぅふい、ひとぅふりゃ
えり/襟 ..... つんぬふず
えりごのみする/えり好みする ..... むん
えんせき/縁石 ..... ふずつ、ふずついす
えんちょうする/延長する ..... そぅんうー
えんぽう/遠方 ... かじゃー、かなーい、かない
お/緒 ..... ぶー
おい/甥 ..... みゅーい
おい/おい（呼びかけ） ..... おい
おいかえす/追い返す うっつ、うーっつ、うったーす、うっちゃーす、うっちーはらす
おいかけさせる/追いかけさせる うっちゃらす
おいかける/追いかける うっつ、うーっつ、うったーす、うっちゃーす、うー、うーい
おいこす/追い越す すったーうー、すったうー、すったーす、すったーっうぁす、すってぃ、すってぃっうぁーす、すてぃー、すてぃーうー、すてぃうー、すてぃらーす、すてぃらす
おいこみりょう/追い込み漁 あんつかい、あんつかいまーい、ばらじゃん
おいこむ/追い込む ..... しみ
おいしげる/生い繁る ..... はやい、うやい
おいしそうな/美味しそうな ..... んまぎ
おいだす/追い出す うっつ、うーっつ、うったーす、うっちゃーす
おいぬく/追い抜く ..... ぬず、んず
おいのり/おいのり【祭礼】 ..... ういびらい
おいる/老いる ..... うい
おいわい/お祝い ..... ゆーい
おうぎ/扇 ..... あうず
おうし/雄牛 ..... びきうす
おうし/雄牛（体の大きい） ..... ばふうす
おうじる/応じる うーでぃ、うーっでぃ、うーず、うーっず
おうちゃくな/横着な ..... んまつ
おうふく/往復 ..... いつむどぅい
おえる/終える ..... あがい、あがいー
おおあめ/大雨 やぐみ　あみ、すまうてぃあみ
おおい/覆い ..... うそぅい
おおい/多い ..... はーさ、ぶた
おおう/覆う うー、うーい、うーう、うーっうぃ、うそぅー、うそぅい
おおうそ/大嘘 ..... うぷだらか
おおうなばら/大海原 とぅー、とぅなか、ほぅとぅー
おおがらだ/大柄だ ..... ほぅがら
おおがらなひと/大柄な人 ..... だんびー
おおきい/大きい ..... うほぅ、ほぅい、がばー
おおきい/大きい（＝年上） ..... はー、ほぅ
おおきいあな/大きい穴 ..... はーな
おおきいこっかく/大きい骨格 ほぅっぶに、ほぅぶに
おおきくする/大きくする ..... でぃかす
おおきさ/大きさ ..... ほぅいさ
おおきなおわん/大きなお椀 そぅんがん、そぅんがんまかい
おおきなハンママ/大きなハンマー ... うーつつ
おおぐい/大食い ..... うにゃ
おおぐいだ/大食いだ ..... うん

おおぐちをたたくひと/大口をたたく人 ほぅーちゃ
おおくのひとがあつまること/多くの人が集まること……なみじゅるい
おおげさ/大げさ……ふーき、ほぅーき
おおげさなやつ/大げさな奴……あばさ
おおげさにいう/大げさに言う ほぅーき、ほぅーつ
おおげさにいうこと/大げさに言うこと ほぅむぬい、ほぅむぬゆい
おおごえ/大声……やぐい
おおざっぱだ/おおざっぱだ……ばばん
おおしお/大潮（旧暦）……さにつ
オオセジヒメジ/オオセジヒメジ【魚】 かたかす
おおどおり/大通り……ほぅんつ
おおなみ/大波……ほぅなん
オオハマボウ/オオハマボウ【植】 ゆーなぎー、ゆなぎー
おおぼらふき/大ぼら吹き..ほぅっぶらふきゃ、ほぅむぬゆみゃ
おおまた/大股……ほぅっばば
おおまただ/大股だ……ほぅっばば
おおむぎ/大麦……ほぅむず
おおめに/多めに……ましん
おかあさん/お母さん……んま
オカガニ/オカガニ【生物】……あらがん
おかげ/お陰で……みゅーぶき、うぶき
おかず/おかず……かてぃむぬ、そぅー
おかず/おかず（食欲をそそる）……あいでぃ
おかずなしに/おかずなしに……あぱつな
おかゆ/お粥……ゆー、うぶゆー、しらゆー
オカラ/オカラ……たうふがす
おき/沖……うき
おきなわ/沖縄【地名】……うつなー
オキナワスズメウリ/オキナワスズメウリ【果物・野菜】……まずむぬぬ　あかばたうい
おきなわふうドーナツ/沖縄風ドーナツ さたてぃんぷら
オキナワヤスデ/オキナワヤスデ なまだんむす
おきび/熾火……うつー
おぎゃー/おぎゃー（赤ん坊の泣き声） んぎゃー
おきゅう/お灸……やちゅ
おきる/起きる うき、みじゃつ、みじゃふ、みじゃん、みそぅい
おきん/お金……でぃん
おく/置く……うっつ、うっふ、びし、びす
おく/奥……うつ
おくざしき/奥座敷……うらじゃ
おくさん/奥さん……うやんま
おくば/奥歯……うすばー
おくびょう/臆病……かうがま
おくびょうもの/臆病者 あうみー、あうみーやから
おくめ/奥目……ふかみー
おくりもの/贈り物……てぃだい
おくる/送る……うくい、いだす
おくること/送ること……うくい
おくれる/遅れる……うくい
おこげ/おこげ（鍋の底にへばりついた食べ物）くるず、てぃびふっでぃむぬ
おこげごはん/おこげご飯……なんつつまい
おこす/起こす……うかす、うくす
おこたる/怠る……うくたい
おこつ/お骨……くつ
おこらせる/怒らせる..つむだす、ばたっさい、ばたふさい
おこりっぽいひと/怒りっぽい人……つむじゃ
おこる/怒る……つむいでぃ、つむでぃ
おこる/起こる……うくい
おごる/奢る……てぃだい

おさえつける/押さえつける うさい、くんつき
おさえる/押さえる.....んつみ、んつん
おさないころ/幼いころ.....いみかいきゃ
おさまる/収まる.....いー、いり、うさまい
おさめる/収める.....んちゃみ、んちゃん
おさめる/納める.....うさみ、うさん
おさんしたての/お産したての.....しら
おさんしたてのいえ/お産したての家 しらやー
おしあい/押し合い.....うすあい
おじいさん/おじいさん.....うや
おしいれ/押入れ.....おしいり
おしえ/教え.....ならい
おしえる/教える.....ならーす、っさす
おしえること/教えること.....ならーす
おじさん/おじさん.....ぶじゃ、ぶじゃがま
おしたおす/押し倒す.....うすぶらす
おしだす/押しだす.....あーす
おしつける/押し付ける うす、うさす、うっさす
おしゃべり/おしゃべり.....ゆがたい
おしゃべりする/お喋りする.....むぬー　ゆん
おしゃべりなひと/おしゃべりな人 あばさ、ふちゃ、むぬゆみゃ、むぬゆんぱじゅら、
おしゃれ/おしゃれ.....がーい
おしゃれな/おしゃれな.....しゃり
おしゃれをする/おしゃれをする.....がーい
おしよせる/おしよせる がーらみつ、がーらみふ、ゆい
おしり/お尻 てぃび、てぃびぐー、てぃびたい
おしりのあな/お尻（の穴） ちーぬん、ちーるん、ちびぬん、ちびるん、てぃーぬん、てぃーるん、てぃびるん、てぃびぬん
おしろい/おしろい.....うしろい
おす/押す.....うす
おす/雄.....びき
おすうま/雄馬.....びきぬーま
おせじ/おせじ.....あずまうつ、あっづぁうつ
おせじをいう/お世辞を言う.....びらう
おぜん/お膳.....うすつ
おそい/遅い.....にゅー
おそろしい/恐ろしい.....ほぅーぐる
おだてにのりやすいひと/おだてに乗りやすい人.....ほぅみばやー
おだてる/おだてる うだつ、うだてぃ、さぱーす、ひゃーす、ぴゃーす
おたふくかぜ/おたふく風邪.....たうしんばい
おだやかな/穏やかな.....やぱ
おだやかになる/穏やかになる やすまい、やすん
おちついて/落ち着いて たみーたみ、たみーたみー
おちつかない/落ち着かない たっづぁみつ、たっづぁみふ、てぃびがる
おちつかないようす/落ち着かない様子 ほぅりみつず
おちつきがない/落ち着きがない かさみき、かさみつ、たまっさにゃーん
おちつきがないひと/落ち着きがない人 ぱじゅら、てぃびがる
おちつける/落ち着ける.....やすます
おちゃうけ/お茶うけ.....ちゃうき
おちる/落ちる（穴などに）ぶりんつ、ぶりんふ
おちる/落ちる うてぃ、さんじゃい、しゃんじゃい
おつかい/お使い.....くまづかい
おっくう/億劫.....うっくー
おっと/夫.....びきどぅん、ぶとぅ
おつゆ/おつゆ.....んっつー
おでき/おでき.....ほぅがさ
おでこ/おでこ.....ふたい
おてんばだ/おてんば.....てぃんぱな
おと/音.....なら

おと/音（音楽用語）.....にー
おと/音（食べる時に出る）.....ふつなら
おと/音（高い音調）.....いちゅに
おとうさん/お父さん.....っざ
おとうと/弟.....うっとぅ
おとこ/男.....びきどぅん
おとこどうしのともだち/男同士の友達 まらちゃー
おとこのこ/男の子【歌語】.....びく
おとさた/音沙汰.....うとぅさた
おとさたがない/音沙汰がない んーてぃーまい　すんてぃーまい
おとす/落とす.....うたす、うとぅす
おどす/脅す うどぅす、いっづぁす、ゆっづぁす
おとどい/おとどい.....みーかない
おととし/おととし.....みーてぃない
おとなしい/おとなしい うくっとぅ、うとぅなす、とぅどぅか、まない
おとなっぽくなる/大人っぽくなる っちゃまい
おとのさま/お殿様.....とぅぬがなす
おともする/お供する...とぅむーす、とぅむす
おどり/踊り.....ぶどぅい
おどる/踊る.....ぶどぅい
おとろえる/衰える.....すがい
おどろかす/驚かす うどぅるかす、いっづぁす、ゆっづぁす
おどろき/驚き.....うどぅるつ
おどろく/驚く うどぅるつ、うどぅるふ、たまがい、だまがい
おどろくこと/驚くこと..たまがい、だまがい、かぱたまがい
おとをだす/音を出す（ドタンと） だんまみつ、だんまみふ
おとをたてる/音を立てる（ガラガラと） がらみつ、がらみふ
おなかがゴロゴロなる/お腹がゴロゴロなる むがい、むぎゃい、むぎゃっり
おなかのちょうし/お腹の調子.....ばたずみ
おなじ/同じ...まーじゅん、ゆぬ、ゆぬそぅい
おなじもの/同じもの...ゆぬそぅい、ゆぬむぬ
おなじような/同じような.....んーさ
おなら/おなら.....ひー、ぴー
おならをする/おならをする.....ひつ、ひふ
おに/鬼.....うん
オニオコゼ/オニオコゼ【魚】.....あぱ
おにぎり/おにぎり.....ぬい
オニヒトデ/オニヒトデ【生物】.....たうんぎ
おの/斧.....ゆつ
おばあさん/おばあさん.....はー、ぱー
おばあさん/子供を外に出すおばあさん【祭礼】いだすぱー
おばけ/おばけ.....ほぅーぐる
おばさん/おばさん..ぶば、ぶばがま、ぶばま、ぶばんま
おはらい/お祓い【祭礼】.....さうずばり
おはらがへる/お腹が減る.....すー
おび/帯.....そぅくー
おびえること/おびえること.....けー
おぼえ/覚え.....うぶい
おぼえる/覚える.....うぶい
おぼれる/溺れる うーっふ、うーっふぃ、うーふ、うーふー
おぼん/お盆.....しちぐつ、しつぐつ
おまえ/お前.....っづぁ
おまえたち/お前たち...っづぁどぅ、っづぁる
おみやげ/お土産.....つとぅ
おもい/思い.....うむい
おもい/重い.....んぶ
おもいあがる/思い上がる.....つきゃがい
おもいこがれる/思い焦がれる...うむいくがい
おもいだす/思い出す.....うむいだす

おもいのまま/思いのまま うむいが　にゃーん
おもいやりがない/思いやりがない つむー　にゃーん
おもう/思う……うむー
おもがい/おもがい（馬具の一種）…うむがい
おもかじ/面舵……うむかじ
おもさ/重さ……んぶさ
おもさ/重さ（容器の）……ふーたい
おもしろい/面白い……うむっし、ゆがいな
おもしろおかしい/面白おかしい……ばかす
おもしろくない/面白くない かさます、ずみゃー　にゃーん
おやこ/親子……うやっふぁ
おゆ/お湯……みず
およぐ/泳ぐ……うーず
およそ/およそ（量名詞の後）……ほぅだ
およぶ/及ぶ..うーでぃ、うーっでぃ、うーず、うーっず
おりいと/織り糸……かし
おりくち/降り口……うりふつ
おりこうさん/お利口さん（誉め言葉） まいふが
おりる/降りる……うり
おる/折る（体の一部を）……かくん、がぐん
おる/織る……うい
おる/折る……ぶい、ぶり
おれる/折れる……ぶい、ぶり
おろかな/おろかな……ふとぅてぃ
おろしがね/下ろし金……かな
おろす/おろす（魚を）……うかす
おろす/下ろす……うらす、うるす
おわらせる/終わらせる すつなす、すてぃなす
おわり/終わり……うわい
おわり/終わり（話の最後のしめくくりのことば）……とー
おわる/終わる はつ、はてぃ、うわい、なっちゃい、とぅどぅまい
おわん/お椀……まかい
おんぎ/恩義……うんず
おんどり/雄鶏……びきどぅい
～か/～か……ががら
か/蚊……かじゃん
か/か（真偽疑問）……な
が/我（をはる）……がー
が/蛾【昆】……あんぐーにゃ
が/が（間接疑問）……が
が/が（疑問詞疑問）……が
が/が（疑問詞疑問）……そぅが
が/が（所有格助詞）……ぬ
が/が（主格所有格助詞）……ぬ、が
かい/櫂……っざく
かい/甲斐……かい
がい/害……がい
かいがん/海岸……はま
かいけい/会計……さんだん
がいけん/外見 みーたう、みーとぅ、みーとぅー、みーはー
かいこんする/開墾する……あき
がいしょう/外傷……ほぅがさ
かいしんする/改心する……つむがーい　あす
かいじんそう/海神草（薬草）……なちゃーら
かいすい/海水 ほぅそぅー、ほぅそぅみず、ほぅっそぅ、ほぅっそぅー、ふそぅみず
かいせん/疥癬……かうしゃー
かいせんはだ/疥癬肌……さみ
かいてき/快適……ずみ
かいな/腕……かいな
かいならす/飼いならす……ならす
かう/買う……かう
かう/飼う……つかなう
かう（つけで）/買う（つけで）……さがい
かえす/返す……かいす、とぅらす

かえす/帰す.....はらす
かえす/返す（金を）.....とぅらす
かえりがおそくなること/帰りが遅くなること ゆなかばい
かえる/帰る.....はい、むどぅい
かえる/変える.....かい、かーらす、なす
カエル/カエル.....うんた
かお/顔.....みはな
かおいろ/顔色.....みはな
かおいろがわるい/顔色が悪い.....はだっさり
かおだち/顔だち.....かーぎ
かがくひりょう/化学肥料.....きんぴ
かかと/かかと.....あどぅ
かがみ/鏡.....かがん
かがむこと/かがむこと.....うすん、うそぅん
かがめる/屈める（体の一部を）かくん、がぐん
かがやき/輝き.....ひかい
～がかり/～係り（名詞のあとにつく）...ぐな
かかる/かかる（病気に）.....たばい
かかわる/関わる.....かかい、かむー、かむい
かかんな/果敢な.....はてぃ
かき/牡蠣.....いすぬみー
かぎ/鉤（ものをつりさげるもの）.....がず
かきあつめる/掻き集める.....かかっず
かきね/垣根.....かつ、かつに
かきまわす/掻き回す.....むがっらす、むがらす、むぎゃっらす、むぎゃらす、んがっらす、んがらす、んぎゃっらす、んぎゃらす、ききゃーす、きぎゃーす、ききゃーらす
かきゅうかんりょう/下級官僚（歴史） みざし
かきゅうやくにん/下級役人（歴史）.....うや
かく/掻く.....かつ、かふ
かく/かく（汗を）.....かつ、かふ
かく/書く.....かつ、かふ
かぐ/嗅ぐ.....かん
かくいえ/各家.....きないかず、やーかず
かくじ/各自.....うながどぅーどぅー
かくす/隠す うー、うーい、うーう、うーっずぃ、かっふぁす、ばちゃみ、ばちゃん
かくれる/隠れる.....かっふ、かふー
かげ/影・陰.....かぎ
がけ/崖.....はなた、はなむつ
かけっこ/かけっこ はーさにゃー、ひゃーさにゃー
がけのうえ/崖の上（海岸ぞい）.....しばな
かけら/欠片.....かきら
かける/かける（水などを）..あみかっずぁす、あみかっずぃ、あみかっずぁらす
かける/かける（布団を）...かうー、かっずぃ
かける/かける（声を）.....かき
かける/かける（鍋などを火に）...んし、んす
かげんできない/加減できない まみっじゃにゃーん
カゴ/籠（苧麻糸などを入れる）.....まぐ
かご/籠（海で使う）.....びらふ
かこむ/囲む.....かくん
かさ/傘・笠.....さな
かさねる/重ねる つくつ、つくふ、かさん、かさに、かさみ、あーす
かさぶた/かさぶた.....かたうさ
かし/菓子.....かーす
かじ/舵.....かず
かしぎ/かしぎ（機織り道具）.....かしぎ
かしこい/かしこい.....まいふが
かじつ/果実.....きーぬない
かじや/鍛冶屋.....かっじゃ、かんじゃーやー
ガジュマルのき/ガジュマルの木 がずはなぎー
～かしら/～かしらびゃー、びゃーい、びゃーん
かじる/かじる.....はんち、はんつ、はんっつ
かじること/かじること.....はんつ、はんっつ
かす/貸す.....かす、からす
かす/かす（残り物）.....かす

カズラ/カズラ【植】 ..... きゃーん
かする/擦る ..... かすい
かすれこえ/かすれ声 ..... あやぐい
かぜ/風 ..... かでぃ
かぜ/風（春一番） ..... うだつまーい
かぜ/風邪 ..... はなひつ
かぜがつよいこと/風が強いこと ..... かじゃう
かせぎ/稼ぎ ..... はたらつ、まうき
かせぐ/稼ぐ ..... あらす、まうき
かぜをひく/風邪をひく ..... はなう　ひつ
かぞえる/数える ..... ゆん
かぞく/家族 やーき、やーでぃ、やーにんじゅ
かぞくみんな/家族みんな ..... やびとぅんーな
かた/肩 ..... かたむす
かたあしとび/片足飛び【遊戯】 けんけんぱー
かたい/固い（食べ物） ..... かたぐー
かたい/固い（固まっている）くぱ、ふか、ぷか
かたくなる/固くなる、硬くなる くぱい、ぷかい、ほぅかい
かたすみ/片隅 ..... かたうた
かたち/形 ..... やうたい
かたづける/片付ける たくー、たくび、ばちゃみ、ばちゃん、んちゃみ、んちゃん
かたづけること/片付けること ..... ばちゃん
かたっぱしから/片っ端から かたふっじゃから
カタツムリ/カタツムリ【生物】 ..... はるんな
かたぶりあめ/片ぶり雨 かたぶい、かたぶいあみ
かたほうのあたま/片方の頭 ..... かたかなまい
かたまりになっていること/塊になっていること ..... たにく
かたまる/固まる ..... かたまい
かたみ/形見 ..... かたみ
かたむく/傾く かたうつ、かたうふ、かたうき
かたむける/傾ける ..... かたうつ、かたうふ
かため/片目 ..... かたみー
かたよる/片寄る ..... かたゆい
かちく/家畜 ..... いつむす
がちゃんと/がちゃんと ..... じゃらてぃー
ガチャンと/ガチャンと（物を叩く、割る） じゃらてぃー、ちゃら
かつ/勝つ ... うゆー、かつ、まみふー、がーい
カツオ/カツオ（中型）【魚】 ..... ちゅーばん
カツオ/カツオ（大型）【魚】 ..... だいばん
カツオ/カツオ（近海にいる）【魚】うぶしゅー
カツオ/カツオ【魚】 ..... かっちゅ
カツオのしんぞう/カツオの心臓 ... うどぅるつ
がつがつ/がつがつ ..... がうがう
かつぐ/担ぐ ..... かたみ、かたん
かっこいい/かっこいい ..... ずみ、ずみぎ
かっこう/恰好 ..... すがた、やうたい
がっこう/学校 ..... がっこー
かっこうをつける/格好をつける なうふい、なうふや
かっこうをつけるひと/格好をつける人 なうふい、なうふや
かっちり/かっちり ..... がふ
～がつよいひと/～が強い人 ..... じゅー
かてい/家庭 ..... きない
かど/角 ..... かどぅ、まがい
～かな/～かな ... びゃー、びゃーい、びゃーん
かなう/叶う ..... かなう
かなしい/悲しい ..... かまらす
かなづち/金槌 ..... げんのー
かなぼう/金棒 ..... あきんさう
かなめ/かなめ ..... かなみ
カニ/カニ（ソデガラッパ）【生物】っふぁむらがん
カニ/カニ（小型）【生物】 ..... っさかん
カニ/カニ【生物】 ..... かん
がにまた/がに股 ..... ゆがはず
かね/鐘 ..... かに

かねじゃく/曲尺【道具】.....ばんじゅーがに
かねまわり/金回り.....でぃんぐり
かねもち/金持ち うやき、ゆかいびとぅ、ゆかいむぬ
かのうする/化膿する.....んだい
かのじょ/彼女（三人称代名詞）.....かい
がぶり/がぶり（勢いよく食べる）.....がう
かぶる/かぶる（借金を） いっかうー、いっかっづぁす、いっかっづぁらす
かぶる/かぶる（布団を）...かうー、かっづぃ
かべ/壁.....くび
カボチャ/カボチャ【果物・野菜】.....なんく
かま/鎌【道具】.....っざら
かまう/かまう.....かむー、かむい
カマキリ/カマキリ【昆】...さーるかもーたー
カマス/カマス【魚】.....かまさー、かます
かまど/かまど【道具】.....かまどぅ、うかま
カマボコ/カマボコ.....かまばく
かまわずにおく/構わずにおく っしゅーつ、っしゅーふ
がまんする/我慢する.....んびゃい、んびゃう
かみ/神様 かん、うい、かんがなす、てぃんたうがなす
かみ/紙.....かびー
かみ/髪.....あか
かみ/髪.....からい、からず
かみきれない/噛みきれない...ひつに、すぴに
かみさま/神様（命の神様）.....ばかばう
かみさま/神様（新生児記帳の） うちゃうぬす
かみさま/神様（最高位の）.....かんぱな
かみだな/神棚.....かんだな
かみなり/雷.....かんない
かむ/噛む.....かん、ふー
かめ/瓶.....かみ、くぴん、みんがみ
カメムシ/カメムシ【昆】.....たーがみ
カモ/カモ（＝簡単にだまされる人） まきなら
い
かもい/鴨居.....かむい
～かもしれない/～かもしれない.....がら
カモメ/カモメ.....まゆずきゃふ
かや/茅.....まかや
かや/蚊帳.....かちゃ
かやぶきのいえ /かやぶきの家.....かややー
かゆい/痒い.....かう
～かよ/～かよ（終助詞）.....ね、まかよう/通う.....かゆー、あいつ、あいふ
かよわせる/通わせる.....いだす
から/殻.....から
から/から（出発点）.....から
から/から（理由）.....ばがら/柄.....がら
からい/辛い.....から
からいばり/空威張り.....からいばい
からかう/からかう.....ばーふー
ガラガラと/ガラガラ（戸を開ける音） がらがらてぃー
ガラガラと/ガラガラ（倒れる様子） がらてぃー
からげる/絡げる.....からぎ
カラス/カラス.....がらさ
ガラス/ガラス.....みずかに
からだ/体.....からた、どぅー
からだがだるい/体がだるい.....ちるだい
からて/空手.....てぃー
からみ/絡み.....がでぃらく
～がり/～がり.....さむい
かりる/借りる.....かい
かる/刈る.....なず、かい
かるい/軽い.....がる
かるいし/軽石.....がるいす
かれ/彼（三人称代名詞）.....かい
かれら/彼ら.....うぬきゃ、うぬきゃた

かれる/枯れる.....さい、さり、ない、ないー
かれる（こえが）/かれる（声が）.....かり
かわいがる/可愛がる.....かなっさ　あす
かわいがること/かわいがること.....かなっさ
かわいくなくなる/可愛くなくなる ういやっづぃ
かわいくなる/可愛くなる.....ういなうす
かわいこども/可愛い子供 まなや、あぱらぎがま
かわいそうだ/可哀想だ んじゃうな、つんだらさ
かわいそうな/可哀想な.....つんだらすぎ
かわいそうなひと/可哀想な人.....つんだらさ
かわかす/乾かす.....かーかす、かーらす
かわく/渇く かーつ、かーふ、かーらつ、かーらふ、かーき
かわく/乾く.....かーい、かーき、さい、さり
かわくこと/乾くこと.....かーい
かわった/変わった.....きたてぃ、ひるます
カワハギ/カワハギ【魚】.....かーはぎゃ
かわら/瓦.....かーら
かわらげり/瓦蹴り【遊戯】.....かーらきー
かわらや/瓦屋.....つぶや
かわり/代わり.....かーい
かわりばえ/代わり映え.....かーいばい
かわりばな/変わりばな.....かーいばな
かわる/代わる.....かーい
かわる/変わる.....ない
かん/缶.....かーかに
かんがえ/考え...うむくとぅ、かんがい、ずー
かんがえる/考える.....かんがい
かんかく/間隔.....ゆい
かんけり/缶蹴り【遊戯】.....かんきり
がんこうするどい/眼光鋭い.....みーそぅい
がんこだ/頑固.....がんく、ずーじゅー
かんざし/かんざし.....ずーぱ
かんし/監視.....ばん
かんしする/監視する.....みばかい、みばつ
かんしょく/間食..まどぅうぁい、まどぅばい、まどぅばんまい
かんせいする/完成するとぅずます、とぅずみ、とぅずん、とぅどぅます、とぅどぅみ、とぅどぅん
かんそうイモ/乾燥イモ.....んーじゃに
かんだかいこえ/甲高い声.....ちりぐい
かんたん/簡単.....いちころ
かんたんだ/簡単.....ちゃーす
かんたんに/簡単に.....がら、ちょろ
かんちがい/勘違い.....ばっぱい
かんちょう/干潮.....そぅーひー
かんつうさせる/貫通させる.....とぅーす
かんな/鉋.....かな
かんぱ/寒波.....ひーふ、ぴーふ
かんばつ/干ばつ...ひでぃー、ひむ、ひゃーい
がんばらせる/頑張らせる.....くんぱらす
がんばる/頑張る..くんぱい、んぱい、かなう、そぅるき
がんばれ/頑張れ（激励の言葉）.....やらし
かんびょう/看病.....かんびょー
かんぴょう/干瓢.....かんぴょー
がんぺき/岸壁.....いんぬ　すばな
かんまんな/緩慢な.....ぬっちー
かんまんのさがおおきいじき/干満の差が大きい時期.....そぅーうつ、そぅーつ
かんり/管理.....かず、きず
かんりする/管理する.....みばかい、みばつ
かんろ/寒露（１０月ころ）.....かんるき/木.....きー
きえうせる/消え失せる ふがいり、すーん　ない
きえる/消える.....きゃーい
きおちさせる/気落ちさせる.....ほぅがす

きおちする/気落ちする.....つむー　だり
きがいをくわえる/危害を加える.....あやみ
きがえ/着替え.....つがい
きがえる/着替える.....つがい
きかざる/着飾る.....そぅがい
きかせる/聞かせる.....つかす
きがん/祈願.....かんにがい、にがい
きかんし/気管支.....ゆくぬどぅ
きがんする/祈願する うがん、ゆん、てぃーゆ
　かみ、てぃーゆ　かん
きがんのためのぶた/祈願のための豚 んぬつだみわー
ききごたえ/聞きごたえ.....つつぐたい
ききしたがう/聞き従う っふぁーす、ふぁーす
ききじょうず/聞き上手.....つつじゃうず
ききて/利き手.....んすでぃー
ききてでないほうのて/利き手でないほうの手 ゆそぅでぃー
きぎのなか/木々の中.....きーぬみー
ききほれること/聞きほれること.....つつぶり
ききもらす/聞き洩らす.....つつむらす
ききよう/聞きよう.....つつやう
ききん/飢饉.....やーっそぅ
きく/聞く.....つつ、つふ
きく/効く.....つつ、つふ
きくふり/聞くふり.....つつふい
きけん/危険.....わーかう
きげんがなおる/機嫌が直る...つむー　なうす
きけんなしごと/危険な仕事 んぬつすてぃ、んぬつふぁう
きげんをなおす/機嫌を直す...つむー　なうす
ぎこうは/技巧派.....わざしゃー
きこえる/聞こえる.....つかい
きさくな/気さくな.....はだっさり
きさせる/着させる.....っちゃす、っちゃすみ
きざむ/刻む.....きざん、きじゃん
ぎじゅつりょくのあるひと/技術力のある人 くまでぃー
キス/キス.....ふつんきゃー
きず/傷.....んだい
きずあと/傷跡.....ひでぃー
きずがつく/傷がつく すーはがい、すーぱがい、すーはぎ、すーぱぎ、すーはず、すーぱず
キスする/キスする.....ふつんつ、ふつんふ
きずもの/傷物.....んだいむぬ
きせつ/季節.....ゆら、ゆぬりゃ
きせる/着せる.....っちゃす
キセル/キセル.....ってぃー
きた/来た（「ふー」の過去形）.....ったい
きた/北.....んす、ういきたしぶ/北支部.....にぬはでぃー
きたない/汚い.....っしゃな、っふすー
きたのほうがく/北の方角.....にぬはきちょうめんな/几帳面な.....くまやき
きちんと/きちんと..じゅんてぃー、まさがん、まないん、まながん、まなぎん、まなぐん
きちんとしている/きちんとしている かぎでぃー
きつくする/きつくする.....っふぁまらす
きっぽう/吉報.....かばすぐいきとう/亀頭.....はんき、ぱんききとうし/祈祷師.....むぬすー
きなこ/きなこ.....まみく、まみぐ
きにいらない/気に入らない つむんな　かなーん
きにいる/気に入る.....かなうきね/杵.....んなずつきのう/昨日.....ん゜ぬきのこ/茸.....きーぬみんきのてっぺん/木のてっぺん.....きーぬそぅらきのね/木の根.....きーぬにーきば/牙.....つーばー

きばこ/木箱【道具】.....うだい
きびなご/きびなご【魚】.....さりっぞぅ
きぶんがわるい/気分が悪い（天気のせいで）あんまーす
きまえがいい/気前がいい...つむかぎ、ばばん
きまえがいいひと/気前がいいひと てぃだいびとぅ、ほぅでぃー
きまずい/気まずい.....どぅーぐり
きめつける/決め付ける きちゅみ、きつみ、きみつき、きみつつ
きも/肝.....つむ
きもち/気持ち.....つー、つむ
きもちよい/気持ち良い ずみ、ずみぎ、すみゃーす、がーい
きもちわるい/気持ち悪い ずみゃー　にゃーん
きもの/着物.....つん
きもの/着物（ユークイの時に着る） かんつぱだ
きもの/着物（繕いのある）.....くーずん
きもののきかがくもよう/着物の幾何学模様 ぶい
きもののすそ/着物の裾 つんぬっそぅ、まいちゃ
きものをいれるはこ/着物を入れる箱.....ひつ
ぎゃく/逆.....さかー、さかさ、さかさー
ぎゃくたいする/虐待する.....しつき
ぎゃくに/逆に.....あい　あらだ
きゃくま/客間.....くじゃしつ、くじゃひつ
キャベツ/キャベツ.....たまな
きゅうくつ/窮屈.....っふぁまい
きゅうけい/休憩.....ゆくい
きゅうす/急須.....ちゅーか
きゅうに/急に あたくまん、あたふずん、かぱ
きゅうにおこりだすひと/急に怒り出す人 つむびゃー
きゅうひと/九人.....っくぬぬひとぅ
きゅうり/うり【果物・野菜】.....うい
きゅうり/きゅうり.....うい
きゅうりょうとり/給料取り.....しゅくとぅら
きょう/今日.....きゅー
きょういく/教育.....ならい
きょううん/強運.....うんじゅー
きょううんだ/強運だ うんじゅー、んぬつじゅー
ぎょうぎのわるい/行儀の悪いならーっしゃう、ならっしゃう
きょうそう/競争.....はーさにゃー
きょうだい/兄弟.....きゃうだい
きようなひと/器用な人 てぃまさり、てぃまさりゃ
きょうふう/強風.....ぶだひつまーい
きょうりょくする/協力する てぃーゆ　とぅい
ぎょぐ/漁具.....いんだうー
ぎょじょう/漁場.....みじゅき
きょねん/去年.....くじゅ、ふたてぃない
きょり/距離.....いじゃー、どぅー
ぎょろうほうし/漁労奉仕【祭礼】...うやいん
きらいだ/嫌いだ.....みっふぁ
きらいになる/嫌いになる.....かまい
きらす/切らす（タバコなどを） きらす、つっちゃす
ぎり/義理.....ぎり
きりきず/切り傷.....そぅりんだい
キリギリス/キリギリス【昆】...ちんくるがた
きりくち/切り口.....つーふつ
きりさめ/霧雨.....いみすず　あみがま
ぎりのちち/義理の父..すたさ、すとぅまうや、すとぅまっざ、ままさ、ままさっざ
ぎりのはは/義理の母 すとぅま、すとぅまんま
きりぼしだいこん/切り干し大根.....しんぎり
きりょく/気力.....つー
きる/着る.....つー

きる/切る つつー、つっつ、すーつー、すーっつ、つってぃ、きー、
きる/切る（髪の毛を）……そぅいきる/切る（木を）……ばつ、ばふきれあじのよい/切れ味の良い……つーきれいだ/綺麗だ……かぎきれいな/綺麗な……きつぎ、んまぎきれいにする/きれいにする（土地を） っさびきれいにする/きれいにする…ぬぐい、ぬぐうきれない/切れない……ひずーきれる/切れる つつー、つっつ、すーつー、すーっつ、つってぃ、きー、
きわだった/際立った……きたてぃきわだって/際立って……だんかーりーきをつかうひと/気をつかう人 つむつかうひとぅ、つむつかうびとぅ
きをつけて/気を付けて…まさがん、まながんきん/斤（重さの単位）……き、きんぎん/銀……なんざきんかいぎょ/近海魚……まーっぞぅきんがん/近眼……ちかみきんせい/金星……あかぶすきんちゃく/巾着……きんちゃくキンチャクぶくろ/キンチャク袋…ばたふくるきんちょう/緊張……しゅしゃーきんにく/筋肉……ひつにぎんばえ/銀蝿……あうばいキンメダイもどき/キンメダイもどき【魚】 むぎゃ
グアバ/グアバ……ばんちくら、ばんちゅくらくいしんぼう/食いしん坊……かうきゃクイチャーおどり/クイチャー踊り くいちゃーくうひと/食う人（接辞的に使う）……ふぁやくうふく/空腹……やーす、やーっさがーきくき/茎……から、ぐる、すずくぎ/釘……かにふず、ふずくくる/括る（＝縛る）……すまいくくる/括る（首を）……ふっず、ふっでぃくさ/草……っさ、ふさくさい/臭い……っさ、ふさくさかり/草刈り……っさかいくさゼミ/草ゼミ【昆】……っさずみゃがまくさっている/腐っている……にゅーさいくさび/楔……っさびくさむしり/草むしり……あっじゃきくさる/腐る っさり、っさい、ふさり、ふさい、ゆーい、そぅっづぃ
くし/櫛……ふすくじうんのよいひと/くじ運の良い人 ふずやぱくじうんのわるいひと/くじ運の悪い人 ふずくぱ
くじく/くじく……だに、やますくじびき/くじびき……ふずくしゃみ/くしゃみ……くしゃん、はなひつくしゃみをする/くしゃみをする はなう　ひつクジラ/クジラ……ふっじゃくず/くず くず、あいだい、あいだり、あいだりくず、ありだい、ありだいくず、ありだりくすぐったい/くすぐったい……ひぎゃうくすぐる/くすぐる……ばじゃう、ばじゅーくすり/薬……っそぅい、ふすい、ふそぅいくずれおちる/崩れ落ちる ぶりんつ、ぶりんふくせ/癖……ふし、ふすくそ/糞……っそぅ、ふそぅくだりざか/下り坂……ひゃーんつくち/口……うつ、ふつくち/口（のっぺりした）……っさうつくちうるさい/口うるさい ふがます、やがます、んがます、んぎゃます
くちがうまい/口が上手い……ふつかないくちぐるま/口車……ふつぐるまくちげんか/口喧嘩 わーない、わーないやどぅ

ゆん
くちごたえ/口答え ..... ふつぐたい
くちさき/口先..... ふつぬそぅら
くちた/朽ちた ..... ふとぅてぃ
くちだし/口出し..... ふついでぃ
ぐちっぽい/愚痴っぽい ..... ふがい
くちひげ/口髭 ..... ふつひぎ
くちびる/唇 ..... すば
くちびるのはじ/唇の端 ..... はずつ
くちぶえ/口笛 すばびー、ひーだき、ぴーだき
くちべた/口下手 ..... ふつ　くぱら
くちる/朽ちる..... ふとぅつ、ふとぅてぃ
ぐつぐつ/ぐつぐつ（物が煮える様子） ぼろぼろ
クッション/クッション（頭に載せる） かうす
ぐったりする/ぐったりする ..... んぱい
くっつく/くっつく ..むったーい、むったーう、むったーっづぃ、たばい、くんつき
くっつける/くっつける むったーっづぁす、むったーらす
くっつける/ピタッと ..... たいてぃー
ぐでぃんぶー/御前風（お祝いの時の歌） ぐでぃんぶー
～くてはならない/～くてはならない ... ならん
くどく/口説く ..... ふどぅつ、ふどぅふ
クバ/クバ【植】 ..... くば
くばる/配る ..... くばい
くび/首 ..... ぬどぅ、ぬぶい、ふず
くびすじ/首すじ..... ぬどぅふず
くびのたかさ/首の高さ ..... ぬどぅだつ
くびのほね/首の骨 ..... ぬどぅぶに
くべつができない/区別ができない まみっじゃにゃーだ、まみっじゃにゃーん
くべつする/区別する ..... きたてぃ
くぼみ/くぼみ ..... ふぐみ、ふぐん
クマゼミ/クマゼミ【昆】 ..... かーらずみゃ
くまなく/くまなく ..... みーがまくーがま
クマノミ/クマノミ【魚】 ..... あっづぁみー
くみ/組（学校での） ..... ふん
グミ/グミ ..... むきゃう
くみたてる/組み立てる ..... かつ、かふ
くむ/汲む ..... ん゜ん
くも/蜘蛛 ..... ん゜む
くも/蜘蛛（室内にいる小型の） ..... くーむや
くも/雲 ..... ん゜む
くもつ/供物 ..... すきむぬ
くやしい/悔しい ..... っちゃんふ、かさます
くら/鞍【馬具】 ..... ふら
～くらい/～位（時間） ..... ぎゃー
～くらい/～くらい ..... だちゃー、だちゃーい
～くらい/～くらい..... ばかーい、あたい
～くらい/～くらい（その＿） しゃく、しゅく、そぅく
くらい/暗い..... っふぁ
くらいひょうじょう/暗い表情 うむてぃふさがい
ぐらぐら/ぐらぐら..... ぼろぼろ
くらくらする/くらくらする ..... まぐい
クラゲ/クラゲ..... ゆら、かいまたさなず
ぐらつく/ぐらつく たっづぁみつ、たっづぁみふ
くらべる/比べる ..... んみゃーす、みゃーす
くりぶね/くりぶね ..... さばに
くりましま/来間島【地名】 ..... っふぃまくる/来る ..... ふー
グルクン/グルクン【魚】 ..... ぐるくん
くるしい/苦しい ..... くー、つむやん
くるしさ/苦しさ ..... くーさ
くるしむ/苦しむ ..... いちゃん
くるしめる/苦しめる..... つむー　やます
くるしんでいること/苦しんでいること くたんでぃ

ぐるっと/ぐるっと……とぅん
くるぶし/踝……くるぶす
くるぶしのほね/くるぶしの骨……あまんぶに
クルマバッタ/クルマバッタ【昆】 ぬーまぬふらがた
くれる/くれる（物を）……ふぃー
くろい/黒い……っふ
くろう/苦労……あまたなんず
くろうさせる/苦労させる……くっじゃす
くろうする/苦労する……くっず、くっでぃ
くろくする/黒くする……っふます
くろくなった/黒くなった……っふすー
くろくなる/黒くなる……っふみ、っふん
くろずんでいること/黒ずんでいること くでぃ
くろだい/黒鯛【魚】……つん
くろつぐ/黒つぐ……まーに
クロホホジャク/クロホージャク（蛾の一種） ぐーにゃ
くわ/鍬【道具】……っふぁつ
くわえる/加える（サービスとして） たっかーす
くわえる/加える……たす、そぅい
クワズイモ/クワズイモ【植】 びゅーいがっさ
くわのき/桑の木……ばんつぎー
くわのみ/桑の実 ばんつぎーぬない、ばんつぎーぬみー
け/毛……きー
けいかく/計画……みくん
けいかくせい/計画性 みくん、みくんさ、みくんさー、みくんじゅー
けいご/敬語 うやまいむぬい、なーぎ むぬい
けいこつ/脛骨……そぅからぶに
けいざいりょく/経済力……てぃじゅー
けいさん/計算……けーさん、さんみん
けいさんだかい/計算高い……さいじゅー
けいし/軽視……みーぬ すたみー
けいひ/経費……けーひ
けいりょうする/計量する……かき
けいれん/痙攣……がらさない
けす/消す……きゃーす
けずる/削る……きっず、そぅー
げた/下駄……あっちゃ
げたのお/下駄の緒……あっちゃぬぶー
けだるい/気だるい……どぅーすたい、ぶがり
ケチ/ケチ がず、いみでぃーがま、ほぅーらーしゃ、ほぅーらしゃ
ケチだ/ケチだ……かーかん、がず
ケチな/ケチな……ほぅーらーす
けっかん/血管……はいつー
けっこん/結婚……ささぎ
けっこんしき/結婚式……ささぎゆーい
けっこんをもうしこむ/結婚を申し込む あらいだす
けっしょくがないこと/血色がないこと あうっどぅい
けっそん/欠損……あな
けってん/欠点……あら
げっとう/月桃……さにん
けつにょう/血尿……あかつすばい
けつべん/血便……つまい
げにん/下人……んじゃ
けはい/気配……ふーふつ
けびょう/仮病……やんふい
けびょう/仮病……やんふや
けぶかい/毛深い……きーふか
けぶかいこと/毛深いこと……きーがら
けむし/毛虫……きーむす
けむたい/煙たい……きゅー、きゅーす
けむり/煙……きゅーす
げり/下痢……やまだつ
げりをする/下痢をする……さぎ、さずける/蹴る……きー

けれど/けれど ..... そぅが
～けん/～軒 ..... きゅー
けん/腱 ..... はいつー
げん/弦（三線の） ..... ちる
げんいん/原因 ..... なずき、つみゃー
けんえんのなか/犬猿の仲 ..... いんとぅ　まゆ
けんお/嫌悪 ..... みっふぁさ
ケンカ/ケンカ ..... あうやー
げんかくな/厳格な ..... きつみ
ケンカする/ケンカする ..... たばい
げんき/元気 ..... いず、いずびゃーき、いずぶた
げんきがない/元気がない ..... つーだり
げんきだ/元気だ そぅるき、いずびゃーき、いずぶた
けんきゃくだ/健脚だ ..... はずじゅー
ケンケンあそび/ケンケン遊び【遊戯】 だいしゃ、かたいしゃ
けんこうこつ/肩甲骨 ..... しびらぶに
けんこうだ/健康だ ..... がんじゅー
げんこつ/げんこつ ..... まーま
けんし/犬歯 ..... つーばー
げんせんする/厳選する いらびーつー、いらびってぃ
げんちづま/現地妻【古語】 ..... んまてぃだ
げんど/限度 ..... たき
～こ/～個（芋の助数詞） ..... うず
～こ/～個 ..... くー
～こ/～個（サトウキビ、芋などの助数詞） すずこ/子と孫 ..... っふぁんまが
～ご/～語 ..... ふつ
こい/濃い ..... かた、くーた
こいし/小石 なうさ、あら、いすぐー、むるす、ぐりし、ぐりす、さだり
こいしだらけ/小石だらけ ..... いすぐー
こいつ/こいつ ..... くい
こいびと/恋人 ..... うむい
こう/乞う ..... くー、くい
こう/こう（指示副詞） ..... かい
～ごう/～合 ..... がう
ごう/合（180cc） ..... がう
こうイカ/甲イカ【生物】 くーすみゃ、くぶすみゃ
こううんなひと/幸運な人 いすびとぅ、いそぅびとぅ
こうかいあんぜん/航海安全 かりうし、かりうす、かりゅーし、かりゆし、かりゆす
こうかく/口角 ..... はずつ
こうかだ/高価だ ..... たかだい
こうがん/睾丸 ..... ほぅだに
こうかんする/交換する ..... かい
こうげきにでる/攻撃に出る ..... うぐい
こうささせる/交差させる ..... がでぃ、がやーす
こうじ/麹 ..... かうず
こうじつ/口実 ..... なずき
こうしゅう/口臭 ..... ふつかじゃ
こうぞ/楮【植】 ..... かびーぎー
こうたい/交替・交代 ..... こーたい
こうたいさせる/交代させる ..... かーらす
こうたいする/交代する ..... かーい
こうつごうだ/好都合だ ..... いーばー
こうとうぶ/後頭部 ..... うっそぅ
こうはい/後輩 ..... うっとっそぅ、すたっさ
こうばしい/香ばしい ..... かばす
こうびする/交尾する ..... つー、つーび
こうふんする/興奮する ..... ほぅみつ、ほぅみふ
ごうまん/傲慢 ..... わーつな
こうむいん/公務員 ..... しゅくとぅら
こうむる/被る ..... かうー、かっづぃ
こうりゃん/高粱【植】 ..... ほぅぎゃん、ぐる
こうろ/香炉 ..... かうる
こうろん/口論 ..... がー
こえ/声 ..... くい

こえ/声（甲高い）.....あかぐい
こえかわり/声変わり.....くいがーい
こえた/肥えた（土地が）.....ゆす、んす
こえだめ/肥溜め.....すいひだみ
こえる/超える.....くい
こがたな/小刀.....しーぐ
こがね/黄金.....くがに
コガネムシ/コガネムシ【昆】.....んーばとぅ
こがれる/焦がれる.....くがい
こがれること/焦がれること.....くがい
こかん/股間.....またばい
こかんせつリンパせん/股関節リンパ腺 いんまらだに
ゴキブリ/ゴキブリ.....びーや
こきょう/故郷.....すま
こぐ/漕ぐ.....くず
こくじん/黒人.....くろんぼー（卑語）
ごくちかく/ごく近く.....ひとぅまた
こくとう/黒糖（質の悪い）...やっぅぃじゃた
こくもつのたね/穀物の種.....むぬだに
こくもつをたたくぼう/穀物をたたく棒 あうく
ゴクリゴクリ/ゴクリゴクリ.....がぶがぶ
こげた/焦げた.....なんつつ
ここ/ここ.....うま、くま
ごご/午後.....ひーまあとぅ
こごえること/凍えること.....っしさぶかい
こごと/小言.....くぐとぅ
ここのか/九日.....っくぬか
ここのつ/九つ.....っくぬつ
ごごよじころ/午後４時ころ.....うりななつ
こころ/心.....つむ
こころおだやかだ/心穏やかだ.....つむたみ
こころおだやかにする/心穏やかにする...たみ
こころがかよいあうひと/心が通い合う人 つむちゃー、つむちゃい
こころかわりする/心変わりする つむがーい
あす
こころのつよいひと/心の強い人 ちゅーずむびとぅ
こころのなか/心の中.....つむぬなか
こころのひろいひと/心の広い人 ほぅずむ、ほぅっずむ
ごさい/後妻 あとぅがま、あとぅどぅみ、まーま、まーまんま
こざかな/小魚.....みじゅら
こさめ/小雨.....いみあみ
こし/腰.....くー、くす、くすぐー
こしお/小潮.....なまそぅ
こじき/乞食.....むぬくや、んさぐ
こしぼね/腰骨.....くーぶに、くすぶに
こじま/小島.....はなり、ぱなり
こしまき/腰巻.....いちゃん、うちゃん
こじゅうと/小姑 うやすとぅ、すたさうっとぅ
こしょうする/故障する.....やっぅぃ
こす/漉す.....くす
こそぐ/こそぐ.....そぅっふぃ、そぅふー
こそげとる/こそげとる.....ふっでぃ
こそだて/子育て.....っふぁむつ
こそだてじょうず/子育て上手 っふぁむつじゃうず
こそだてじょうずな/子育て上手な っふぁむつじゃうず
こそだてのさいちゅう/子育ての最中 っふぁむつばな、っふぁむつばんず
ごちそう/ご馳走.....んまむぬ
ごちゃまぜ/ごちゃまぜ まんちゃー　かんちゃー、まんちゃー　くんちゃー
こちょう/誇張.....ほぅーき
こちらがわ/こちら側.....くぬちゃ、くまかた
こちらこそ/こちらこそ.....まさりーまい
こっくりするどうさ/こっくりする動作 かっら
こっけいな/滑稽な.....ゆがいな

こっそりと/こっそりと.....っさんふい
ごったかえす/ごった返す.....っしがい
こってりしている/こってりしている かただり
ゴツン/ゴツン.....がんま、がっづぁ、ごん
こと/こと.....くとぅ
ごと/ごと（数詞の後）.....なー
ことば/言葉.....むぬい、うつ
こども/子供.....っふぁ、やらび
こども/子供（おもに私生児）.....たみ
こども/子供（三才以上）.....まびとぅ
こども/子供（亡くなった）.....あくまがま
こども/子供（寝つきの悪い） にゅーふがます
こども/子供（小さい時から歩ける） はずかないやらび
こども/子供（手のかからない）...はだやらび
こどもがうめなくなること/子供が産めなくなること.....なさがい、なすあがい
こどもができないこと/子供ができないこと たにず
こどもをうむ/子供を産む.....っふぁなす
ことわざ/諺.....んきゃーんじゅく
ことわる/断る.....たっつ
こな/粉.....くー
こなごな/粉々.....ぐまみ
こなごなにする/粉々にする っさかす、っさからす
こなす/こなす.....くなす
ごにん/五人.....いつぬひとぅ
こねる/こねる.....ぐに、ぐにゃい
この/この.....うぬ、くぬ
このたかさ/この高さ.....うだか、うだつ
このひと/この人.....うい、くい
このひとたち/この人たち くぬきゃ、くぬきゃた
このみ/木の実.....んーた、きーぬない
このように/このように.....かい
コバエ/コバエ.....すばい
こぶ/瘤.....そぅーに
こぶくろ/小袋（ミカンなどの）.....つがき
こぶね/小舟.....さばに、そぅーに
ごぼう/ごぼう.....ぐんばう
こぼす/こぼす.....いたき、いたつ
こま/こま（おもちゃ）.....くーる
こまかい/細かい くま、ぐま、っそぅ、っづぁーす
こまかいゴミ/細かいゴミ.....ぷき、ほぅき
こまかく/細かく.....ぐまたん、ぐまみん
ごまかす/ごまかす.....はぐらかす、はぐらす
こまぎれ/細切れ.....ぐまずー
こまった/困ったなあ あーき、んげ、んげーしまい、んみゃ、んみゃがま
こまらす/困らす.....だらす
こまること/こまること.....ふたっとぅり
ゴミ/ゴミ.....あふた
ゴミ/ゴミ（目に入った）.....みーつむぬ
こみあう/混み合う しかかい、すかかい、すきゃかい、っさかい
こみあげる/こみあげる.....つきゃがい
ごみくず/ごみくず くず、あいだい、あいだり、あいだりくず、ありだい、ありだいくず、ありだり
こみち/小道.....そぅーずがま
ゴム/ゴム.....ぐむ
こむら/こむら.....くっづぁ
こむらかえり/こむら返り.....くっづぁがい
こむらかえりする/こむら返りする くっづぁあがい
こめ/米.....くみ、まい
こめかみ/こめかみ.....みか
こめのおにぎり/米のおにぎり.....まいぬい
こめのとぎしる/米のとぎ汁 まいぬ　あらいずー

こもり/子守.....むい
こもりあね/子守姉.....くずあに、むいあに
こもりすること/子守すること・人 っふぁさーい、っふぁむい、むらに
こもりをする/子守をするからがい、からがう、むい、さーい
こもる/籠る.....くまい、くむい、やーぐまい
こもること/籠ること.....くまい、くむい
こや/小屋.....やーがま、うずんばらやー
こやすかい/子安貝.....すびー
こゆび/小指.....くゆび
こよう/古謡.....んきゃーんあーぐ
こよみ/暦.....くゆん
こら/こら（制止命令）.....あがい
こらしめる/懲らしめる.....くらす
こりごりだ/懲りごりだ.....うばいが　うばい
これ/これ.....うい、くい
これくらい/これくらい くなぎ、くぬぎ、かなぎ、うじゃー
これくらいのおおきさ/これくらいの大きさ
【指示副詞】.....うほぅが
これだけ/これだけ..うさか、うさき、くさか、くさき、ふさか、ふさき
ころ/ころ.....しゃく、しゅく、そぅく
ごろ/頃.....ふつ
ゴロゴロする/ゴロゴロする（おなかが） むがい、むぎゃい、むぎゃっり
ころす/殺す.....くらす
ごろつき/ごろつき.....ぐるったー
ころばす/転ばす.....かいらす
ころぶ/転ぶ.....かいー
こわい/怖い うとぅるす、ほぅーぐる、やから、わーかう
こわいばしょ/怖い場所.....あらどぅくま
こわいひと/怖い人.....やから、やっづゃ
こわがる/怖がる・恐がる..うー、うーっづぃ、ゆー、たまがい、だまがい、いっづぃ
こわがる/怖がる.....ほぅーぐるうー
こわがること/怖がること むぬいっづぃ、たまがい、だまがい
こわす/壊す やっづぁす、やっづゃす、っちゅす、んだい
こわれる/壊れる.....っちゅい
こんき/根気.....くんつ
こんきょのない/根拠のない にーまい　そぅらまい　にゃーん
こんざつ/混雑 ひとぅだかーい、ひとぅだかい、ひとぅっづぁまい
こんざつする/混雑する がじゃみつ、がじゃみふ、まぐい
こんじょうがわるい/根性が悪い すくつ、そぅくつ、すくつな、そぅくつな
こんじょうがわるいこと/根性が悪いこと やなつむつ
こんじょうのわるいこと・ひと/根性の悪いこと・人.....やなくんじゃう
こんぜつ/根絶 にーだーす、にーだーつ、にーだす、にーだつ
こんな/こんな あいぬ、かいぬ、かんだっちゃる
こんなたかさ/こんな高さ.....かだき
こんなに/こんなに.....かい、かだき
こんなにたくさん/こんなにたくさん うさきなー
こんねん/今年.....くとぅす
こんぶ/昆布.....くー、くーわー
こんやくしき/婚約式.....あらいだすゆーい
～さ/～さ（形容詞のあと）.....さ
さ/差.....さー
さー/さー（さそい）.....べー
ザーザーと/ザーザーと ざーざーてぃー、じゃーじゃーてぃー

さあ/さあ（掛け声）じょ、じょー、じょーはい
さいかい/最下位 ..... びり
さいきん/最近 ..... くぬい
さいこうだ/最高だ ずみ、ずみぎ、すみゃーす
さいし/妻子 ..... とぅずっふぁ
さいじ/祭事 ..... ぶいむぬ
さいじつ/祭日 ..... ひゅーい、きじゃい
さいしょ/最初 ..... あらはな
さいせいき/最盛期 ..... ばんず、さらばんず
さいそくする/催促する ..... しみ
さいど/再度 ..... また
さいばいする/栽培する ... ちゅっふ、ちゅふー
ざいばん/在番【歴史】 ..... ざいばん
さえ/さえ ..... とぅんま
～さえしたら/～さえしたら . じゃーん　あすて
ぃがー
～さえも/～さえも ..... ちゅんな、ちゅんま
さえも/さえも ..... とぅんま
さお/竿 ..... さう
さか/坂 ..... さかま、さかまんつ
さかい/境 ..... さかい
さかえる/栄える ..... はい、はいでぃー
さかさ/さかさ ..... ほぅがさー
さかさま/さかさま さかー、さかさ、さかさー
さがしまわること/探し回ること ..... やふず
さがしもとめる/捜し求める ..... あだつ
さがす/探す・捜す .. はばつ、はばふ、ふっず、
ふっでぃ、とぅみ
さかずき/盃 ..... さかずき
さがすのがへたなひと/探すのが下手な人 みつ
ず
さかな/魚 ..... っぞぅ
さかなのとりぶん/魚の取り分 ..... っぞぅだま
さかなのめ/魚の目（皮膚病） ... っぞぅぬみー
さかなをほねごときること/魚を骨ごと切るこ
と ..... ほぅにずー
さかや/酒屋 ..... さきたりやー、さきやー
さがる/下がる ..... さがい
さき/先 ..... さつ
さぎ/鷺 ..... ゆーさ
さきのほう/先の方 ..... そぅら
さきまわりする/先回りする ..... ぬず、んず
さく/咲く ..... さつ、さふ
さく/裂く っさつ、っさふ、さつ、さふ、ひっ
ちゃつ、ひっちゃふ
さくばん/昨晩 ..... ゆび
さけ/酒 ..... さき
さけかす/酒かす ..... たりかす
さげすむ/さげすむ ..... すたらす
さけのせき/酒の席 ..... さきぬんどぅくま
さけのみ/酒飲み .. さきじゃう、さきじゃうぐ、
さきぬみゃ、さきふぁや
さけのみずわり/酒の水割り ..... たんかーばい
さけのみともだち/酒飲み友達 .. さきぬんあぐ、
さきぬんどぅす
さげる/下げる ..... さぎ、さず
ざこつ/坐骨 ..... てぃびぐーぶに
サザエのふた/サザエの蓋 ..... っそぅひだ
ささげる/捧げる ..... むい、うさぎ、うさず
ささし/指さし ..... うゆびずつ
さじ/佐司（昔の役職の一つ）【歴史】 .... さず
さしこむ/差し込む うすんつ、うすんふ、うそ
ぅんつ、うそぅんふ
さししめす/指し示す ..... さす
さしだす/差し出す ..... んかう、んきゃう
サシバ/サシバ（成鳥）【鳥】 ..... つんみー
サシバ/サシバ【鳥】 ..... たか
サシバのようちょう/サシバ（幼鳥）【鳥】たり
かす
さしみ/刺身 ..... なます
さす/指す ..... さす
さす/刺す ..... さす

さす/差す……さす
さす/さす（寒さが肌を）……さす
させる/させる……あすみ
さだまる/さだまる……にだまい
さだめる/定める……にだん
ざつ/雑……てぃじゃーかー
さっき/さっき……きさ
さっき/さっき きさから、はーひー、ひゃーひー
さっさと/さっさとったてぃー、じゃってぃー、すたすた、すたすたてぃー、すたてぃー、ばじゃばじゃてぃー、はやまり
ざつだ/雑だ……はーだ
ザッと/ザッと……ばーってぃー
ざつな/雑な（仕事が）はーだ、てぃじゃーかー
さであみ/叉手網【道具】 さでぃ、さでぃあん
さとう/砂糖……さた
サトウキビ/サトウキビ……ぶーず
サトウキビしゅうかく/サトウキビ収穫 ぶーずたうす、ぶーずぶい
サトウキビのくき/サトウキビの茎 ぶーずぐる、ぶーずすず
サトウキビのくき/サトウキビの茎・葉 ぶーずがら
サトウキビのたね/サトウキビの種……さに
サトウキビはたけのなか/サトウキビ畑の中 ぶーずなか
さばく/捌く さばつ、さばふ、ばっじゃい、ばっじゃう、ばっず、ばっじゃす
さびしい/寂しい……さびす
さべつ/差別……たきだき
さべつする/差別する……むん、ひだてぃ
～さま/～様……っさり
さまざまの/様々の……たてぃたてぃぬ
さます/さます……さまらす
さむい/寒い……っし、ひぐい、ひぐる
さむがりだ/寒がりだ……っしさむい
さむがりや/寒がりや……っしさむや
さむけ/寒気……ひぐい
さむさ/寒さ……っしさ、ひーさ、ぴーさ
さむさ/寒さ っぞぅ すん びーふ、ほぅにぶかい
さめ/鮫……さば
さめる/冷める……さまい
さゆうはんたい/左右反対……ぐーはん
さようでございます/さようでございます はーサヨリ/サヨリ【魚】……さゆい
さら/皿 さら、むぬふぁいじゃら、むぬふぁうじゃら
さらいねん/再来年……さらに
さらう/浚う（泥などを）……さらう
さらす/晒す……なーす
さらに/更に……たった、つず
サラリリマン/サラリーマン……しゅくとぅら
さる/猿……さる
ざる/ざる……ばーき
サルカケミカン/サルカケミカン【植】 さるかさわぐ/騒ぐ……ばみつ、ばみふ、あかばみつ、あかばみふ、ほぅみつ、ほぅみふ、ぶっづぁみつ、ぶっづぁみふ、がんみつ、がんみふ
さわぐこと/騒ぐこと……ばみつ、あかばみつ
さわやかな/爽やかな……すみゃーす
さわる/触る……てぃー ばっじゃーす
さわる/触る（熱いものに）……っさい
さをつける/差をつける すったーうー、すったーす、すったーっづぁす、すったうー、すってぃ、すっていっづぁーす、すてぃー、すてぃーうー、すていうー、ひだつ、ひだてぃ
さんかする/参加する……そぅるつ、そぅるふ
サンゴ/サンゴ……うる、うるいす
さんさろ/三叉路……みまた
さんしん/三線……さんしん

さんしんのこま/三線の駒.....ぬーま
さんすう/算数.....さんじゅつ
さんにん/三人.....みちゃーい
さんねんご/3 年後.....ゆーてぃあとぅ
ざんねんだ/残念だ.....んじゃうな
さんねんまえ/3 年前.....ゆーてぃない
さんらんさせる/散乱させる.....すきゃーらす
さんらんする/散乱する.....すきゃーい
～しあう/～しあう.....んき、んきー
しあげる/仕上げる.....ひつなす
しあわせうん/幸せ運.....ふつかた
しあわせだ/幸せだ.....ふからす、ほぅからす
しあわせもの/幸せ者.....ゆかりゃ
しあん/思案.....むぬかんがい
じいこうい/自慰行為（女性の）...てぃんびー
じいこうい/自慰行為（男性の）...てぃんまら
しお/塩.....まーそぅ
しお/塩【祭礼】.....くぱん
しお/潮.....そぅー
しおがみちる/潮が満ちる.....んちゃがい
しおがみちる/潮が満ちる.....そぅー　んつ
しおから/塩辛.....しおから
しおからい/塩辛い.....そぅから
しおづけにする/塩漬けにする.....つき
しおひがり/潮干狩り.....っしん゜ん
しおゆで/塩ゆで.....まーそぅにー
しかし/しかし あいえいそぅが、あいやいそぅが、あいやそぅが、あっそぅが
しかたなく/しかたなく あなむぬー、あにゃむぬー
～しかねる/～しかねる.....かに
しがみつく/しがみつく.....くんつき
しかめる/しかめる（顔を）...すかん、すかみ
しかる/叱る あなみ、あなん、ばいくみ、ばいくん
しかる/叱る.....んみつ、んみふ
しかん/歯間.....はばす
じかんがかかること/時間がかかること やふず
じき/時季.....すつ、ゆぬりゃ
じき/時期.....ずぶん、ばな、ゆら
しきい/敷居.....やどぅばす
しきいし/敷石.....ふずつ、ふずついす
しきち/敷地.....とぅくぬ、やすつ
しきのちかいこと/死期の近いこと..すんがた、すんばた
しく/敷くしつ、しふ、ひつ、ひふ、すつ、すふ
しけ/時化.....かでぃうす、かでぃうつ
しげらせる/繁らせる.....はやーす、はやらす
しげる/繁る.....ばかばい
じこかんりのうりょく/自己管理能力 どぅーむつ
じごくみみ/地獄耳.....とぅーきみん
しごと/仕事..すかま、しゅく、まうきじゅく、ふぁうふつ、さら、むぬふぁいじゃら、むぬふぁうじゃら、むぬふぁうふつ
しごと/仕事（余計な）.....あまたすかま
しごと/仕事...すかま、むぬふぁう　はかうつ
しごとがおそいひと/仕事が遅い人 てぃむちゃー
しごとがざつなひと/仕事が雑な人 あらでぃーびとぅ
しごとができない/仕事ができない なっちゃかん、なっちゃらん、ふそぅだすからん
しごとがへたなひと/仕事が下手な人...びちゃ
しごとくち/仕事口.....ふつ
しごとなかま/仕事仲間.....しんか、にんじゅ
しごとのよくできる/仕事の良くできる かない
しごとをしない/仕事をしない（障害などで）ふそぅだすからん
しごとをなまけること/仕事を怠けること なまずん
しごのせかい/死後の世界.....かまぬゆー

しさいしゃ/司祭者（ナナムイ）.....うーんまじじょ/次女 ..... なかーにししょう/支障.....あたいさわいじしん/地震 ..... ないじしんがある/自信がある ..... かいくんじしんがない/自信がない ..... うかーすふじしんがないこと/自信がないこと うかーすふしずかだ/静かだ（人の性質） うくっとぅ、とぅどぅか
しずかに/静かに（音を立てずに） よーんなー、よーんなーなー、すなーか
しずかにしていること/静かにしていること とぅくっとぅ
しずまる/静まる ..... うさまいしずむ/沈む（太陽などが） ..... いー、いりーしずむ/沈む.....すずみ、すずんしせいじ/私生児 ..... あかさ、あかさっうぁじせいしょくぶつ/自生植物 ..... ならういむぬじせいしんがない/自制心がない うながつむーぎゃー　むちゃん
～しそうにない/～しそうにない.ぎっふぁにゃーん
～しそこねる/～しそこねる ..... っしゃうした/舌.....った
～したい/～したい ..... ぶす、ほぅすしだい/次第 ..... とぅか、まかじだい/時代 ..... ゆー
～しだいだ/～次第だ ..... だーしたがう/従う ..... そぅい
～したがる/～したがる ..... ぶす、ほぅすしたく/支度 ..... そぅがいしたしそうな/親しそうな ..... かなすぎしたば/下葉 ..... すたばー
～したら/～したら ..... きゃしち/七.....ななじっか/実家.....そぅーかうやーしっかりした/しっかりした ..... はすかしっかりと/しっかりと（＝一生懸命に） わいてぃー
しっくい/漆喰...ぬい、やーぬい、やーむつーしつける/躾ける ..... ひつき、ひつつ、しつきじっし/実子.....なすっうぁ、なすっふぁしっそうする/疾走する ..... ふきゃかすしったかぶり/知ったかぶり ..... ふやしっとする/嫉妬する ..... たいしっぱい/失敗.....むぬっしゃうしっぱいする/失敗する はんし、はんじ、はんつ、はんでぃ、はんじゃつ、はんず、はっじゃき、はっじゃす、はっじゃつ、やっうぃ
しっぽ/尻尾.....じゅーじつぼ/実母 ..... なすんましつもんする/質問する ..... つつ、つふしつれい/失礼.....ふつあまーす
～しておいて/～しておいて ..... うとぅい
～してほしい/～してほしい ..... ほぅすしどうやく/指導役.....さつばい
～しない/～しない.....じゃーん
～しないと/～しないと.....だかー
～しながら/～しながら ..... っちゃーんしなせる/死なせる ..... すなすしなる/撓る ..... たうみつ、たうみふ
～しにくい/～しにくい ..... ぐりしにそこない/死に損ない ..... すんぱっじゃきしにものぐるいい/死に物狂い ..... すんぱてぃしぬ/死ぬ ..... すんしぬほどすきなこと/死ぬほど好きなこと すんぶり
しはいする/支配する ..... うそぅー、うそぅいしばる/縛る まるつ、まるふ、すまい、ふんず、くび
じひびき/地響き ..... ずない、ずなり、ずならしびれ/痺れ ..... っさ

しびれる/痺れる（足などが）...っさ　ん゜ん
じぶん/自分.....うな
じぶん/自分.....どぅー、なら
じぶんじしん/自分自身.....うながどぅー
じぶんたち/自分たち なーどぅ、なーる、ならどぅ、ならる
じぶんのからだ/自分の体.....うながどぅー
じぶんのぶん/自分の分.....うながたま
じべた/地べた.....からずー
しぼむ/しぼむ.....すぶん、ひだん、びだん
しぼる/搾る.....すぶい
しま/島.....すま
しまい/姉妹.....きゃうだい
しまう/しまう すずみ、すずん、つずん、ばちゃみ、ばちゃん
しまった/しまった（失敗したとき発する声）えげ、えげー、えっげー、しまい、んげ、んげーしまい
しまとうみのせってん/島と海の接点 すまーす
しまとしまとのあいだ/島と島との間 すまばす
しまな/島菜【果物・野菜】.....しまな
しまる/閉まる.....ふー
しまわけ/島分け.....すまばき
じまん/自慢.....ふつがーい、みはなぶた
じまんする/自慢するいばい、がーい、’ふっちゃ　はまい
じまんすること/自慢すること いばい、いばいさー
じまんするひと/自慢する人.....いばいさー
しみこむ/染み込む.....にまい
しみる/しみる.....っうゅー
しみる/しみる（歯に）..びぎゃう、ぴぎゃう、ひぎゃう
しめきること/締め切ること.....くぶー
じめじめする/じめじめする.....びーた
しめつける/しめつける.....きちゅみ、きつみ
しめっぽい/湿っぽい.....すとぅい、すぷたい
しめらす/湿らす.....んます
しめる/閉める.....ふー、しみ
しめる/湿る.....すとぅい
しめる/締める.....しみ
じめん/地面.....ずー
ジャー/ジャー（水の流れる音）ただーてぃー、だだてぃー
じゃあ/じゃあ（別れ際のあいさつ） あてぃがー、っちゃー
じゃあ/じゃあ（接続助詞） えてぃがー、やてぃがー、やいてぃがー
しゃかいせい/社会性.....まーいうむくとぅ
しゃがむ/しゃがむ うすみ、うすん、うそぅみ、うそぅん
しゃがむこと/しゃがむこと うすん、うそぅん
じゃくはいもの/若輩者...みーつない　やらび
シャコガイ/シャコガイ.....にぐー
シャコガイのから/シャコガイの殻...あずくや
しゃし/斜視.....さうみ
しゃっきん/借金.....うっか
しゃっくり/しゃっくり.....っさび
～じゃないかな　/～じゃないかな　.....あら
しゃぶる/しゃぶる.....ゆー
しゃべる/喋る ばいんき、ばいんつ、ばいんふ
じゃま/邪魔.....わちゃく
しゃもじ/しゃもじ.....きな、んっつーきな
じゃり/砂利.....じゃり
じゃれつく/じゃれつく.....あい、あり
～じゅう/～中.....がーまーす
じゅう/十.....とぅー
しゅうい/周囲.....まーい
しゅうかいじょ/集会所.....ずんみじゃー
しゅうかくがない/収穫がない いすぱぎ、いそぅぱぎ
しゅうかくする/収穫する（サトウキビを） た

うす
しゅうかん/習慣 ..... なり
しゅうぎ/祝儀 ..... ゆーいでぃん
じゅうけつする/充血する（目が） ..... みはず
じゅうごや/十五夜 ..... じゅーぐや
じゅうじろ/十字路 ..... ゆまた
しゅうぜんする/修繕する からがい、からがう
しゅうと/舅（夫または妻の父） ..... すたさ
しゅうとめ/姑 ..... すとぅま、すとぅまんま
じゅうなんせいがある/柔軟性がある ..... やぱ
じゅうばこ/重箱 ..... じゅーばく
じゅうぶん/十分 ..... かーん、じゃうぶん
じゅうぶん/十分（＝「もう、けっこうです」） とー　とー
じゅうぶんだ/十分だ あまり　かまり、かーん
じゅうぶんに/十分に あてぃ、あてぃ　かーん
しゅうへん/周辺 ..... ままーい
じゅうまんする/充満する ..... まつ、まふ
しゅうりょうする/終了する とぅずます、とぅずみ、とぅずん、とぅどぅます、とぅどぅみ、とぅどぅん
じゅくしてない/熟してない ..... ばか
じゅくすい/熟睡 ..... ひとぅに、ひとぅにー
じゅくする/熟する ..... んー、んみ
しゅごう/酒豪 ..... さきじゅーばりがみ
ジュゴン/ジュゴン ..... じゃん
しゅしょく/主食 ほぅっばんまい、ほぅばんまい
しゅじん/主人 ..... んなかばら
じゅずだま/じゅずだま【植】 ..... すだま
しゅっさんりょくがなくなる/出産力がなくなる ..... なさがい、なすあがい
しゅっせする/出世する ... すぐい、ぬびゃがい
しゅり/首里【地名】 ..... うやぐに【歌語】
しゅるい/種類 ..... たぐい
じゅんばん/順番 ..... ばん、まーい
じゅんび/準備 ..... そぅがい
じゅんぷう/順風 ..... まとぅんかでぃ
じょいん/女陰 ..... うやんま
ショウガ/ショウガ ..... さうか
しょうがい/障害 ..... かかい
しょうがつ/正月 ..... さうがつ
じょうきょう/状況 ..... ばー
しょうきょくてきだ/消極的だ うすんつ、うそぅんつ
しょうこう/焼香 ..... そぅーかう
しょうじき/正直 ..... しょーじき
しょうしょくのひと/小食の人 むぬがま、むぬがみゃ、
じょうず/上手 ..... じゃうず
しょうたいする/招待する とぅむーす、とぅむす
しょうてん/商店 ..... まっちゃ
じょうとうだ/上等だ ..... じゃうとぅー
～しようとしていたら/～しようとしていたらっじゃーきゃー、っじゃーんきー、っじゃいきー、っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃんきー
しょうにん/商人 ..... あきゃうだ
じょうのあるひと/情のある人 つむあいひとぅ、つむあいびとぅ
じょうぶ/丈夫 ..... どぅーじゅー
しょうべん/小便 ..... すばい
しょうべんをする/小便をする ..... すー
しょうめん/正面 ..... まそぅー
しょうらいせい/将来性 ..... みくん
しょくあたりする/食あたりする ..... びゅーい
しょくじうん/食事運 ..... ふぁうふー
しょくじのじゅんび/食事の準備 ..... むぬにー
しょくべに/食紅 ..... あかぐー
じょせい/女性 ..... みどぅん、みが
じょせい/女性（乳の出ない） ..... つーにゃ

じょせい/女性（品のある）.....ぶなりゃ
じょせい/女性（子供がうめなくなっている）やずまい、やずまら、やずまり
じょせい/女性（年のいった独身の） ながみーだつ
じょせいうつわ/女性器.....ひー、ぴー
じょそう/女装.....みどぅんそぅがい
しょっちゅう/しょっちゅう.....ちゃー
しょにち/初日.....あらび
しょりする/処理する.....くなす
しらが/白髪.....っさぎ、っそぅっさぎ
しらせる/知らせる.....っさす
しらないふり/しらないふり.....っさんふい
シラミ/シラミ.....っさん
シラミのたまご/シラミの卵.....ぎっさ
しりのおもいこと/尻の重いこと びーぐず、びだく、びだくげった
しりのおもいひと/尻の重い人 びーた、びーぐじゃ、びじゃら
しりょ/思慮.....さう
しる/知る.....すー
しる/汁.....すー
しろあり/白蟻.....っさい
しろい/白い.....っそぅ
しろくする/白くする.....っそぅます
しろくなる/白くなる.....っそぅん
シロクラベラ/シロクラベラ【魚】.....まくぶ
シロバナセンダングサ/シロバナセンダングサ【植】.....まずむぬぬみーつつうさ
しわくちゃ/皺くちゃ.....すかたい
しんけいつう/神経痛.....かや
しんじつ/真実.....まーんぐとぅ
しんせいなばしょ/神聖な場所.....いび
しんせき/親戚 いつむん、うとぅじゃ、はらうず、かたい、なーどぅが かた
しんせきいちぞく/親戚一族.....たらき
しんせきのいえ/親戚の家.....そぅーかうやー
じんぞう/腎臓.....まみ
じんたい/靭帯.....はいつー
しんたいしょうがいじ/身体障碍児 かたーっうぁ
しんちょう/身長.....たき
しんちょうに/慎重に たみーたみ、たみーたみー
しんぱいだ/心配だ.....しば、しわ
しんゆう/親友.....くんぱにー
しんようする/信用する.....つむー ゆるつ
しんようできる/信用できる.....つかい
す/巣.....すー
す/酢.....すー
すいえい/水泳.....うーず
スイカ/スイカ.....あかばたうい
すいじかい/水字貝 やどぅむら、びきやどぅむら、うす
すいじゃく/衰弱 ながやーじゃう、ながやうじょう
すいぜんじな/水前寺菜【果物・野菜】はんだま
すいせんする/推薦する.....うす
すいとう/水稲.....たーまい
すいとる/吸い取る.....すっでぃ
すいひ/水肥.....すいひ
すいぶん/水分.....すー
すいりゅう/水流.....がーら、みずがーら
すう/吸う（タバコを）.....ふき、ふつ
すうじあそび/数字遊び【遊】.....さむい
すうはい/崇拝.....たかさ
すえっこ/末っ子.....なすっちゃ
すがた/姿.....そぅぎゃう、すがた
すがりつく/縋りつく.....すがい、すがり
すき/好き.....すつ、すふ、ぬずん、かなす
すき/鋤【道具】.....すき、やま
すきだ/好きだ.....かなす

すきなひと/好きな人 そぅまりゃ、そぅみゃー
すきま/すき間.....ばし、ばす、まー
すく/鋤く.....すつ、すふ
すく/空く そぅつ、そぅふ、すつ、すふ、すく
すぐ/直ぐ.....すぐ　てぃびから、とぅん
すくいあみ/すくい網【道具】 さでぃ、さでぃあん
すくう/掬う っそぅー、そぅっふぃ、そぅふー
すぐそこ/すぐそこ.....うまがま
すくない/少ない..いから、いからさ、さかふ、ひーちゃ、ぴーちゃ
すぐに/すぐに.....そぅぐ、すぐ、ちゅきゃー
スクラップ/スクラップ.....やりがに
すぐれる/優れる まさい、うーでぃ、うーっでぃ、うーず、うーっず
スケベなひと/スケベな人.....とぅいしゃう
スコール/スコール.....なつぬ　あみ
すこし/すこし.....ひーちゃ、ぴーちゃ
すこしして/すこしして.....あい　あり
すこしのりょう/少しの量・時間.....いひな
すごもり/巣ごもり.....やーぐまい、やぐまい
すす/煤.....すす
ススキ/ススキ.....ぎひつ、ぎすつ、ずー
ススキのくき/ススキの茎.....すっだき
ススキのたきぎ/ススキの薪 すずだむぬ、すっだむぬ
すすぐ/すすぐ.....すすず、ぶーつ、ぶーふ
すずしい/涼しい.....すだす
すずなりになる/鈴なりになる.....すだい
スズメ/スズメ..っふぁどぅい、っふぁどぅら、っふぁどぅりゃ、ちゅんくら、ちゅんちゅん
スズメダイ/スズメダイ【魚】 ひつ、たなっら
すだつ/巣立つ すだき、すだつ、そぅだき、そぅだつ
すたれる/廃れる.....すたい
～ずつ/ずつ.....なー
すっぱい/酸っぱい.....すー、そぅー
すでに/すでに.....きさ
すでに/すでに いつから、きさから、ちゅきゃー、はー、ひゃーん、ひゃー、んみゃ、んみゃ、んめ
すてる/捨てる.....すてぃ、すたみ、すたん
すてる/捨てる（＝水などをこぼす）..あうぎ、あうず
すな/砂.....んなぐ
すね/脛.....そぅから
ずばぬけている/ずば抜けている..あやたーい、あやたい、あやたーり、あやたーりー、あやたり、あやたりー
すばやい/素早い.....すびゃー
すばらしい/素晴らしい ずみ、かさび　かぎさ
ずぶぬれ/ずぶ濡れ ざいんみ、じゃいんみ、むいんとぅー、むいんみ、むいんみー
すべすべ/すべすべした.....ぴたー、なびー
すべすべする/すべすべする（肌などが） ぴたみつ、ぴたみふ
すべて/全て.....がす、なうまい　んなない
すべりやすい/滑りやすい.....そぅくい
すべる/滑る.....そぅくい
ズボッ/ズボッ.....だふ
すます/澄ます（水などを）.....すますすみ/墨.....すん、っふぃ
すみ/隅.....ぶー、あっじゃ
すみにくい/住みにくい.....ういぐり
すむ/住む.....うい
すむ/澄む.....すみ、すん
すもう/相撲.....すま
すもぐりりょう/素潜り漁.....みがにまーい
すりきず/擦り傷.....すーぱぎ　んだい
すりきる/擦り切る.....すーとぅず
すりむく/擦りむく..すーはがい、すーぱがい、すーはぎ、すーぱぎ、すーはず、すーぱず

する/擦る ..... すー、すーす
する/する ..... あす
ずるい/ずるい ..... やなじゃい
～するから/～するから ..... っじゃー
～するくらい/～するくらい ..... ばかーい
～することがむずかしい/～することが難しいかに
～するとき/～するとき ..... きゃ
～するな/～するな ..... だうり
～するはずだ/～するはずだ ..... がまた
するめイカ/するめイカ ..... みんきゃ
ずれる/ずれる ..... そぅくい
すわる/座る ..... びー
せいえき/精液 ..... しる
せいかい/正解 ..... あたい、あたり
せいかがない/成果がない いすぱぎ、いそぅぱぎ
せいかく/性格 ..... んまりじゃう、つむつ
せいかくがわるい/性格が悪い やなばた、やなづむ
せいかくに/正確に まさがん、まないん、まながん、まなぎん、まなぐん
せいかつする/生活する ..... くず、ふぁう
ぜいきん/税金 ..... じゃうなう
せいけつな/清潔な ..... そぅるみつ
せいこうする/成功する ..... そぅいなういい
せいざ/正座 ..... たつびー
せいじゅくする/成熟する みーい、みっり、っちゃまい
せいそう/盛装 ..... かぎそぅがい
せいちょうがおそい/成長が遅い .. ぶちゃうな、ぶちゅーい
せいちょうがおそいこども/成長が遅い子供 ぶちゅーながま
せいちょうさせる/成長させる でぃかす、なうらす
せいちょうしている/成長している はだっさり
せいちょうする/成長する（作物などが） あうん
せいちょうする/成長する くーい、そぅんうー、うい、たきたらい
せいちょうする/成長する（子供が） ほぅどぅい
せいちょうとともにかわいくなること・人/成長とともにかわいくなること・人 . んまりやっづぃ
せいちょうのよくないもの/成長の良くないもの ..... ないくっじゃ
せいと/生徒 ..... しーとぅ、しーとぅやらび
せいとう/製糖 ..... しーたう
せいねん/青年 ..... にしゃい
せいびする/整備する ..... っさび
せいり/生理 ..... あかぶか
せいりする/整理する ..... つずん
せいれい/精霊 ..... きじゃ、きじゃら
セイロンベンケイソウ/セイロンベンケイソウ【植】 ..... はーからういうさ
せおいこむ/背負い込む ..... んーむつ
せおいなげ/背負い投げ にし、んし、あーったつばう
せおう/背負う ..... あんぱつ、くんず
せかす/せかす ..... あぎまーす、すきゃかす
せがひくいひと/背が低い人 ..... まーく
せき/咳 ..... いさぐ、いっだい
せきはん/赤飯 ..... まみそぅいまい
せきゆランプ/石油ランプ (ウーンマが持つ) うーんま　とぅーい
せきゆランプのしん/石油ランプの芯 とぅーずん
せけんてい/世間体 みーたう、みーとぅ、みーとぅー、みーはー
せしめる/せしめる ..... びつ、びふ

～せずに/～せずに.....だ
せっかい/石灰.....いすばい
せっきょくてき/積極的.....そぅるき
セックスする/セックスする.....まず
せっけん/石鹸.....さぷん
せっこう/石工.....いすじゃやふ
せっしょくする/接触する.....かかい
せっとくする/説得する..ふどぅつ、ふどぅふ、ばいくみ、ばいくん
ぜっぺき/絶壁.....はなた、すばな
せつめいがつく/説明がつく.....あう
せなか/背中.....くさんみ、しびら、ながに
せのびする/背伸びする.....んたつ、んたふ
せぼね/背骨.....しぶに
せまい/狭い.....しば
セミ/セミ【昆】.....つみゃ、なまだんずみゃ
せめる/責める.....しみ
せわ/世話.....からがい
せわをする/世話をする みばかい、みばつ、からがい、からがう、つかなう、むつ、みー
ぜんいん/全員.....んーな
せんけんのめい/先見の明..みくん、みくんさ、みくんじゅー
せんこう/線香.....かう
せんこういれ/線香入れ.....かうつつ
せんしゅ/船首.....ふにぬはなず
せんせい/先生.....しーしー
ぜんぜん/全然.....てぃんくーとぅんま、なうちゅん、なうちゅんな、なうちゅんま、なうとぅん、なうとぅんな、なうとぅんま、なんとぅが、むいとぅ
ぜんぜん～ない/全然～ない.....なうとぅが
せんそう/戦争.....いっさ
せんぞしん/先祖神..まう、まうかん、うぷず、うほぅず
せんたん/先端.....そぅら
ぜんてい/前庭.....みなか
せんとう/先頭.....さつばい
せんどう/船頭.....しどぅ、しんどぅ
せんどうする/先導する.....さだい
せんとうぶぶん/先頭部分（船の） はなず、はなでぃ
せんぱいたち/先輩たち.....そぅじゃっそぅ
せんぱいやくのおにいさん/先輩役のお兄さん さだいそぅじゃ
せんぱいやくのおねえさん/先輩役のお姉さん さだいあに
せんび/船尾.....とぅむ
ぜんぶ/全部.....んなない、んーな
ぜんぽうぶ/前方部.....まうきゃー
せんまいとうし/千枚通し【道具】.....いー
せんめんき/洗面器.....びんだらい
そあく/粗悪.....びちゃ
そあくなもの/粗悪なもの.....びちゃ
そいつ/そいつ（指示名詞）.....うい、くい
そいとげる/添い遂げる.....なうい
～そう/～艘（船をかぞえる助数詞）.....うな
そう/沿う.....そぅい
そう/そう（指示副詞）あい、かい、あんし、あんしー、あんち、あんちー、あんてぃ、あんてぃー、はい
そういうことだ/そういうことだ あいてぃぬくとぅ、あいてぃぬ　むぬ
そういうわけだ/そう言うわけだ あいぬ　ばー
そうか/そうか（返事）.....あいな
そうかな/そうかな（疑い）.....あいびゃーん
そうかも/そうかも あんしーがら、あんしがら、あんちーがら、あんちがら
そうかもしれない/そうかもしれない あいてぃんぬがら、あいてぃんむがら
そうごふじょ/相互扶助.....ゆいまーる
そうじ/掃除.....さうず

そうしき/葬式 ..... そーしき
そうしたら/そうしたら ..... あやすてぃがー
そうしているうちに/そうしている中に あいほぅーきゃー、あやほぅーきゃー
そうしなさい/そうしなさい .. あい　あっそぅ、あいっそぅ、あやっそぅ
そうじゅくだ/早熟だ ..... っちゃまいびゃー
ぞうすい/雑炊 ..... じゅーさ
そうそうと/早々と ... はー、ひゃー、ひゃーん
～そうだ/～そうだ（様態） ..... ぎ
～そうだ/～そうだ（伝聞）ちゃ、てぃんど、てぃんどー、はーらー
そうだ/そうだ（返事） あいだーだら、あいだら、はい、んちゃ、んーでぃ
そうだ/そうだ（伝聞） ..... ちゃ
そうだから/そうだから あいほぅーば、あやほぅーば
そうだそうだ/そうだそうだ（肯定） あいてぃんどー
そうだったら/そうだったら ..... あいえてぃがー、あいやいてぃがー、あいやてぃがー、かいえてぃがー、かいやてぃがー
そうだって/そうだって（伝聞） ..... あいちゃ
そうだろう/そうだろう ..... あいはず
そうだん/相談 ..... さうだん、だんがー
そうちょう/早朝 ひとぅむてぃ、しゃーか、あきしゃる、はーひー、ひゃーひー
そうではない/そうではない ..... なうやあらん
そうではなくて/そうではなくて あい　あらだ
～そうな/～そうな ..... ぎ
そうなんだ/そうなんだ .. あいてぃー、あいば、あいびゃ
ぞうひびょう/象皮病 ..... っさやん
そうめん/素麺 ..... さうみん
そうらしい/そうらしい あいぎだうり、あいてぃんどー
ぞうり/草履 ..... さば
そえる/添える ..... そぅい
ソクズ/ソクズ【植】 ..... たず
ぞくぞくする/ぞくぞくする ..... かすかう
そこ/そこ ..... うま
そこ/底 ..... そぅく
そこなう/損なう ..... つふはんず
そこびえ/底冷え .. そぅくびー、そぅくひぐい、そぅくひぐる
そこらへん/そこら辺 ..... うまなぎ
そざつ/粗雑 すくつ、すくつな、そぅくつ、そぅくつな
そざつなひと/粗雑な人 ..... すくつ、そぅくつ
そして/そして ..... あいひー、あやひー
そそぐ/注ぐ ..... つず、さす
そそのかす/そそのかす ..... さぱーす
そだつ/育つ すだき、すだつ、そぅだき、そぅだつ、すだてぃ、そぅだつ、そぅだてぃ
そだてる/育てる すだてぃ、そぅだつ、そぅだてぃ、そぅだつ、むつ、つかなう
そっくり/そっくり ..... そぅい
そっちょく/率直 ..... まそぅー
そっちょくに/率直に ..... あらから
そで/袖 ..... そぅでぃ
そであみ/袖網【道具】きたあん、そぅでぃあん
ソデカラッポガニ/ソデカラッポガニ【生物】ゆーふらがん
そと/外 ..... あら
そとうみ/外海 ..... ひゃうな、ほぅか
そとがけ/外掛け（相撲用語） ..... あらまた
そとがわ/外側 ..... ほぅか
そとにでる/外に出る ..... とぅがい、とぅんぎ
そなえもの/供え物 ..... すきじゅー
そなえる/供える ..... うさぎ、うさず、すき
その/その（指示形容詞） ..... うぬ、くぬ
そのあとで/そのあとで ... あいひー、あやひー

そのていど/その程度 うぬしゅく、うんそぅく
そのていどだ/その程度だ……だー
そのはずだ/そのはずだ……あいはず
そのひと/その人……うい、くい
そのように/そのように..あい、あいや、あや、かい、はいどー
そば/そば（＝近く）やかーら、やかた、そぅば
そふぼ/祖父母……ぱーとぅうや
そまつ/粗末 すくつ、すくつな、そぅくつ、そぅくつな
そまつにあつかう/粗末にあつかう すてぃじゃん
そまる/染まる……そぅん、そぅまい
そむく/背く……そぅむつ、そぅむふ
そめもの/染物……そぅみむぬ
そめる/染める……そぅみ、そぅん
そよかぜ/そよ風……なぐかでぃ
そる/剃る……そぅい
それ/それ（指示名詞）……うい、くい
それじゃあ/それじゃあ……あいえてぃがー、あいやいてぃがー、あいやてぃがー、かいえてぃがー、かいやてぃがー
それぞれ/それぞれ……うながどぅーどぅー
それでは/それでは（別れ際のあいさつ）【応答詞】……あてぃがー、っちゃー
それら/それら……うぬきゃ、うぬきゃた
そろう/揃う……そぅるー
そろばん/算盤……そろばん
そん/損……そぅん
そんけい/尊敬……たかさ
そんけいする/尊敬する……なーず、たかび
そんしつがく/損失額……うどぅき
そんな/そんな あいぬ、あな、あなる、あにゃ、あにゃる、あんだっちゃる
そんなにはやく/そんなに早く ういが　はーさ
そんなばかな/そんなばかな……んまつ
そんりつて/村立て……むらだてぃ
そんをする/損をする……うどぅつ、うどぅふ
だ/だ（コピュラ）……あい
～たい/～たい……ほぅっさ　あす
たいかく/体格……からた、どぅー
たいきばんせい/大器晩成……あとぅなうい
だいく/大工……さやふ
だいく/大工（下手な） てぃーぬん　じゃやふ
たいくつだ/退屈だ なう　あすかたー　にゃーん
だいくどうぐ/大工道具……さやふだうー
たいぐん/大群……ほぅーんみ
だいこくばしら/大黒柱……んなかばら
だいこん/大根 うほぅにゃ、ほぅにゃ、はらふにゃ
だいじな/大事な……かりー
だいじょうぶ/大丈夫……なうまいあらん
だいしょうべん/大小便……っそぅすばい
だいじんしま/大神島【地名】……うがん
だいず/大豆……まみ
たいせつだ/大切だ あたらか、あたらき、あたらす、ひるます
たいせつな/大切な……あたらかぬ、あたらす
たいせつなもの/大切なもの・こと..あたらか、あたらき、くがに
たいせつにする/大切にする……かなす
だいたいこつぶぶん/大腿骨部分……がまく
たいだだ/怠惰だ……なまずー、なまだん
たいちょうがいい/体調がいい……みゃーす
たいど/態度……すがた、たい
だいどころ/台所……なかじゃ
だいどころのかみ/台所の神……うかまがん
だいなしになる/台無しになる……たくみ
ダイナマイト/ダイナマイト……だいだま
たいばん/胎盤……あとぅざん
たいふう/台風……かでぃふつ

たいへんだ！/大変だ！（叫び）んみゃ、んみゃがま、んめ　んめよ
たいへんな/大変な.....やぐみ、むいとぅ
たいへんなことになる/大変なことになる んめちゃう
だいべんをする/大便をする.....まい
たいよう/太陽.....てぃだ
タイラギかい/タイラギ貝 とぅいがますだしゃ
たいらなこと/平らなこと.....とぅなみ
たいらにする/平らにする なだらき、なだらつ、なだらかす、ならす、とぅなみ
たいりょう/大漁.....いそぅ、いす
たいりょうだ/大漁だ.....いす、いそぅ
たいりょうになる/大漁になる.....でぃかす
たいりょく/体力.....たや
たいりょくがある/体力がある...どぅーじゅー
タイワンウチワヤンマ/タイワンウチワヤンマ【昆】.....たーまーら
タイワンガサミ/タイワンガサミ【生物】..んぺぬがん
タイワンツチイナゴ/タイワンツチイナゴ【昆】はーかがた
たおす/倒す.....たうす、っちゅす、っちゅす
タオル/タオル.....さず、うつつー
たおれる/倒れる がらかいー、たうい、っちゅい、ひなかい
たかい/高い.....たか
たかさ/高さ.....たか
たかさ/高さ.....たか、っさだつ、ひさだつ
タカサゴ/タカサゴ【魚】 ぶるくん、ぐるくん
たかせかい/高瀬貝 った、たかんな、っさうちゃ
タガメ/タガメ【昆】...たーがみ、たーぬかみ
たがやす/耕す.....すかす、かでぃ
～だから/～だからえいば、やいば、やいばどぅ
たからがい/宝貝.....すびー
たかる/たかる（餌に）.....あり
～たがる/～たがる.....ほぅっさ　あす
たきぎ/薪.....たむぬ、きだむぬ
たきぎごや/薪小屋.....たむぬぶー
たきぎのたば/薪の束.....すず
たく/焚く（線香を）.....たつ、たふ
たく/炊く（温める）.....たっじゃす
たく/炊く.....にー
だく/抱く...かったつ、かったふ、だつ、だふ
たくさん/沢山.....うんそぅく、んー
たくさん/沢山（こんなに）...かさき、かだき
たくさんある/沢山ある.....んち
たくす/託す.....あっちゃい
たくらむ/企む.....たくん
たぐる/手繰る.....たうー、たっづぃ
～だけ/～だけ.....たーな、だき、なー
たけうま/竹馬.....きーはず、きーぱず
たけかご/竹籠.....さうき
たけのつつ/竹の筒【道具】.....つみぐる
たけのふし/竹の節.....たきぬふす
タコ/タコ【生物】.....たく
たこ/凧.....かびとぅい
タコのくんせい/タコの燻製.....かーきだく
タコのす/タコの巣.....あでぃふ
だす/出す.....いだす
たすけあい/助け合い.....ゆい
たすける/助ける...にゃーい、たすき、たすつ
たずねてくる/訪ねてくる.....かむー、かむい
たずねる/訪ねる.....ただつ、ただふ、まーい
～だそうだ/～だそうだ（伝聞）.....あいちゃ
だだ/だ（コピュラ）.....あい
たたきつける/たたきつける.....たいつき
たたく/叩く（人や物を）うちゃい、うちゃう、ったつ、ったふ
たたく/叩く（道具を使って）っつつ、っつふ、つつつ、つつふ

たたく/叩く（手をあげて）.....にゃーい
たたく/叩く（戸をドンドン）.....がばみかす
たたく/叩く（強く）.....だみ、あったみ
ただしい/正しい.....あたい
ただしいこと/正しいこと.....まさが
たたせる/立たせる.....たちゃす
たたみ/畳.....たたん
たたむ/畳む.....たたん
たたむこと/たたむこと.....まむちゃ
だだをこねる/駄々をこねる..ゆん、がんない、しゃーがい、にーら　くず、にーだ　くず、ふがます、むぬー　ゆん
だだをこねること/だだをこねること..にーだ、にーら、にーだ　くず、にーら　くず
～たち/～たち.....んみ
たちあがる/立ち上がる.....たつ
たちおうじょう/立ち往生.....ふたっとぅり
たちくらみ/立ち眩み.....みっふぁまーい
たちすわり/立ち座り.....たかはずびー
たちよる/たち寄る.....ゆい
たつ/立つ.....たつ
だっこくする/脱穀する.....そぅー、っさび
だった/だった（コピュラ過去形）.....あたい
だったら/だったら..えてぃがー、やてぃがー、やいてぃがー
だって/だって（伝聞）.....ちゃ
たづな/手綱.....たずな
タツノオトシゴ/タツノオトシゴ【生物】 いんぬーまがま
だっぴする/脱皮する.....すでぃ
たつまき/竜巻.....あまいなう
だつもうびょう/脱毛病.....はいがさ
たてがみ/たてがみ.....かんぎ
たてる/建てる.....ふつ、ふふ
たてる/立てる.....たちゃす
たとえる/たとえる.....たとぅい
～だな/～だな.....ふだー
ダニ/ダニ.....だん
たにん/他人.....ひとぅ
たね/種.....たに
たねうま/種馬.....さにんま
たのしい/楽しい.....ふからす、ほぅからす
たのしいこと/楽しいこと.....ほぅからっさ
たのむ/頼む.....たぬん、あっちゃい
たのもしこう/頼母子講.....むやい
たばこ/煙草（祭礼用）.....んまんなか
たばこ/煙草.....たばく
たばこいれ/煙草入れ ほぅじゃう、うやんまふくる
たばねる/束ねる.....すまい
たび/旅.....たび
たべがたい/食べ難い（脂っこくて） きちゅい
たべで/食べで.....ふぁいでぃむぬ
たべでがある/食べでがある.....あいでぃ
たべてください/食べてください（尊敬語） みゃらまてぃ
たべもの/食べ物 むぬ、ふぁうむぬ、はんまい、
たべもの/食べ物（吹き出物を誘発する） ばかばいむぬ
たべられなくなる/食べられなくなる ふとぅつ、ふとぅてぃ
たべる/食べる（がつがつと） がうみつ、がうみふ
たべる/食べる.....ふぁう
たべる/食べる（インフォーマル＝食う） ふぁいぱなつ
たべる/食べる（尊敬語＝召し上がる） みゃい
ダマ/ダマ（衣類にできるもの）.....だま
たまご/卵.....とぅぬか
たまご/卵（カニなどがおなかにはらむ） ふぐい
たまご/卵（孵化しないもの）.....すむい

たまご/卵（魚の）.....はらん
だまされる/騙される.....だんまくらす
たましい/魂.....たます
だましとる/騙し取る.....じゅるん、じるん
たまじゃり/玉砂利.....たまじゃり
だます/騙すだます、すかす、ゆかす、ゆくす、たくみ、ふぁう
たまに/たまに ひゃうす、ひゃうな、ひとぅばた、ひとぅばたなー、ひとぅひゃーい
たまる/溜まる.....たまい
だみごえ/濁声.....っさぐい
たむし/たむし（皮膚病）.....うさば
だめ/駄目.....だみ
だめ/駄目だ.....かにゃり、やな
ためいき/ため息.....ほぅいつ
ためいけ/ため池.....ほぅらな
だめだ/駄目だ.....かない、かにゃい、ならん
だめな/駄目な.....やり、やりがい、ひんたら
だめなやつ/駄目なやつ ふとぅた、びだ、びだっふぃ、びだふー
ためる/貯める.....たみ
たもあみ/たも網.....たぶ
～だよ/～だよ.....だら、さ、どぅす、どーだよね/だよね.....そぅーで
たより/頼り.....たない、まとぅ、むとぅ
たよりにならない/頼りにならない ゆむぬ　だすからん
たよりにならないやつ/頼りにならない奴 きばすがりゃ
～たら/～たら（仮定）ったー、てぃがー、とぅー
～だらけだ/～だらけだ（「泥__」）.....びーた
たらす/垂らす.....たり、すったらす
ダラダラ/だらだらする（活発でない） だるーだらだらする/だらだらする（何かをするときの様子）.....たらみつ、たらみふ
～たらどうだ/～たらどうだ.....ばたらましま/多良間島【地名】.....たらま
～たり～たりする/～たり～たりする.そぅーやい　うい、そぅー　やい　ひーうい
たりょうな/多量な（雨などが）...うとぅるす
たりる/足りる.....たらう
たる/樽.....たる
だるい/だるい.....だい、だり、むいだり
だれ/誰【疑問詞】...たる、たーどぅ、たーる
だれか/誰か.....たるがから
たれさがる/垂れ下がる.....すかたい
たれさがること/垂れ下がること.....すかたい
だれもかれも/誰もかれも まみっじゃにゃーだ、ういまい　かいまい
たれる/垂れる.....たり
～だろう/～だろう.....さ、だら
だろうか/だろうか.....あら
だろうね/だろうね.....あら
たわむれる/戯れる.....じゃり
たわら/俵.....たーら
たん/痰.....いっだい
たんき/短気.....つむがま
たんきだ/短気だ あたずむ、あちゃーな、あじゃーな、たんつ
たんきなひと/短気な人..やまぐ、たんちゃー、あらずむびとぅ
だんご/団子.....ふきゃぎ
だんこん/男根.....まら
だんこんをあわすこと/男根を合わすこと まらちゃー
たんすい/淡水.....あまみず
だんだんに/だんだん.....だんだん
たんとう/担当.....ばん
たんとうさせる/担当させる.....びす
たんとうしゃ/担当者.....いんぐな
だんどり/段取り.....だんどぅい、はかうつ

たんのう/胆嚢 ..... んぎゃい
たんぼ/田んぼ（足のもぐる） ..... ゆびだー
たんめいだ/短命だ ..... まるんぬつ
だんをとる/暖を取る ..... んふんち/血 ..... あかつ、つーぢ/痔 ..... じーチーク/チーク ..... っざくぎー、っさんすぎーちーさいいも/小さい芋 ... いみすず　んーがまちーさいこぶ/小さいこぶ ..... ぶっとぅるちーさいゴミ/小さいゴミ ..... くぴちーさいもの/小さいもの・人 ちゃんくら、ちゃんくる
ちいさい/小さい ..... いみ、まーくちいさい/小さい（蔑称） .. ずくず、ずくにゃ、ずふず、ずふにゃ、ずまる
ちいさいひと/小さい人 .. ずふにゃ、ずくにゃ、ずまる、ずくず、ずふず
ちいさく/小さく ..... ぐまたん、ぐまみんちいさなしま/小さな島 ..... そぅに【歌語】
ちいさなむし/小さな虫（抱卵中の鳥につく）とぅいむす
ちいさなものおき/小さな物置 ..... くーいちえ/知恵 うむくとぅ、あまいうむくとぅ、さう、しゃう
ちかい/近い ..... まいちがう/違う ..... あらんちがう/ちがう ..... なうやあらんちかく/近く ..... まい 1
ちかづく/近づく ..... うす、ゆっず、ゆっでぃちから/力 ..... たやちからいっぱい/力いっぱい びゃーき、たやびゃーき、たやん
ちからもち/力持ち ..... たやちくび/乳首 つぶん、つぶんがま、つーぬ、つーぬ　ふつ
ちしき/知識 ..... がっこーうむくとぅ
ちすじ/血筋 ..... さにちせい/治世 ..... みゃーくちち/乳 ..... つーちちおや/父親 ..... っざちぢめさせる/縮めさせる ..... かくまらすちぢれげ/縮れ毛 ..... がぐチビアシナガバチ/チビアシナガバチ【昆】 かやばた
ちぶさ/乳房 ..... つーちゃわん/茶碗 ..... まかい
～ちゃん/～ちゃん（指小辞） ..... がまちゃんと/ちゃんと .. じゅんてぃー、まさがん、まないん、まながん、まなぎん、まなぐん
ちゃんとした/ちゃんとした まさがぬ、まながぬ
ちゃんとしていない/ちゃんとしていない あじゃーな
ちゅうごく/中国 ..... とうちゅうしょく/昼食 ..... ひーまむぬ
ちゅうしんぶ/中心部 ..... んどぅらちゅうせい/中性 ..... ひーまら、ぴーまらちゅうとはんぱな/中途半端な ..... はーだちょう/蝶【昆】あやばさ、あやばに、あやぎたちょうげん/調弦 ちるだみ、ちんだみ、つんだみ
ちょうげんする/調弦する ..... たみちょうじょ/長女 ..... はーにちょうしょう/嘲笑 ..... すたばらいちょうじょう/頂上 ..... つずちょうしょく/朝食 ..... あしちょうなん/長男 ..... ほぅーやちょうめい/長命 ..... ながんぬつちょうり・ちょうりにん/調理・調理人 まかない
ちょうりゅう/潮流 そぅー、そぅーてぃ、そぅーでぃ

ちょっと/ちょっと……なまちょま/苧麻……ぶー、ぶばいちらかる/散らかる..すきゃーい、すきゃーり、まきゃーい
ちり/塵……さうずがらちりょう/治療……やーじゃうつえ/杖……ぐしゃん、でぃーつかい/使い……つかいつかいがって/使い勝手……つかいでぃつかいみち/使い道……つかいはーつかいものにならない/使い物にならないみー、びだっふぃ、びだふー、やり、やりがいつかいものにならないもの/使い物にならないもの……やり、やりがいつかう/使う……つかうつかえない/使えない（機械など）…びだふーつかまえる/捕まえる かつみ、かつん、んちゃみ、んちゃん
つかむ/つかむ……つかんつかれ/疲れ……だり、ぶがいつかれさせる/疲れさせる……だらすつかれている/疲れている だい、だり、むいだりつかれる/疲れる……だり、ぶがい、くがいつき/月……つつ、つっちゅつきあいのひろいひと/付き合いの広い人 てぃーっそぅぎびとぅつきあう/付き合う……ただつ、ただふつきさす/突き刺す……さうー、さっづぃつきでる/突き出る とぅんず、とぅんでぃ、とぅがい、とぅんぎ
つぎのねん/次の年……やーにつきまとう/付きまとう……あい、ありつきよ/月夜……つっちゅつきる/尽きる……はつ、はてぃつく/突く……つつ、つふ、だみつく/着く……つつ、つふつぐ/継ぐ……つずつく（きねで）/搗く（杵で）……つつ、つふつくりかえ/造り替え……ちゅっふぃかいつくる/作る……ちゅっふ、ちゅふーつくる/作る（船を）……はずつくる/作る（神酒を）……たり、たいつくろい/繕い……くーつくろう/繕う……ちゅっふいつけとどけ/つけとどけ……ひらいつける/漬ける……つきつける/付ける……つぎつける/つける（火を）……たつきつたえる/伝える……っさいつたわる/伝わる とぅーずき、とぅーずつ、とぅーずふ
つち/土……んたつつく/つつく っつつ、っつふ、つつつ、つつふ、
つな/綱……ん゜なつながる/繋がる……つぎゃーいつなぐ/繋ぐ……つなず、ん゜なずつなげる/つなげる……つぎゃーらすつねに/常に……ひつんつねる/つねる……つん、つんむいつの/角……ん゜ぬツノダシ/ツノダシ【魚】 まらういかびっちゃつのまた/つのまた……あかぐすなツノマタりょうり/ツノマタ料理…うるだうふつば/唾……つずつばさ/翼……はに、はにがいツバメ/ツバメ【鳥】……まみまーらしゃつぶ/粒……すずつぶる/つぶる（目を） つー、つっづぃ、っさがいつぼ/壺……つぶ

つぼ/壺（酒を入れる）……ばかす
つぼみ/蕾……つぶん
つま/妻……とぅず、みどぅん
つまにする/妻にする……とぅずあす
つまみ/つまみ……うさい
つまらない/つまらない……いたらーん
つみ/罪……とぅが
つみあげる/積みあげる まずん、まずんー、まずんみ
つみかさねる/積み重ねる つんつき、つんつふ
つみこむ/積み込む……んずーつん
つむ/積む……つん
つむぐ/紡ぐ……つん、んー
つむじ/つむじ……ゆぶそぅ
つむじかぜ/つむじ風……ゆぶそぅかでぃ
つめ/爪……つみ
つめこむ/詰め込む ばいんき、ばいんつ、ばいんふ
つめたい/冷たい……ひぐい、ひぐる
つゆ/梅雨……ながーみ、なちゃみ
つゆ/露……ちゅー
つよい/強い……ちゅー
つよく/強く……ちゅーく
つよくなる/強くなる……ちゅーい
つよそうな/強そうな……ちゅーぎ
つらい/つらい（病気で）..びだ、びだっふぃ、びだふー
つらぬく/貫く……とぅーかす
つりいと/釣り糸……てぃぐすい
つりはり/釣り針……つー
つる/釣る……つー
つるはし/鶴嘴【道具】……ながうちゃ
つるべ/釣瓶……くばずー
つれご/連れ子...なさんっづぁ、なさんっふぁ
つれる/連れる……さーい、そぅい
て/手……てぃー
て/手（稼ぎ＿）……びー
で/で（手段）……から
で/で（道具）……ひー
で/で（場所）……ん
で/で（格助詞、場所）……ん、んかい
であう/出会う……いじゃう
～てあげる/～てあげる……ふぃー
てあし/手足……てぃーはず、てぃーぱず
てあらいうつわ/手洗い器……ちょーず
～てある/～てある……あい
である/である（コピュラ）……あい
デイゴ/デイゴ【植】……じゅふぎ、じゅふず
ていど/程度……たき
ていねいだ/丁寧だ……くま
ていねいな/丁寧な……くま、まさがぬ
でいり/出入り……いでぃいー
でいりぐち/出入口……いでぃーはいーふつ、いでぃーはいふつ、いでぃはいーふつ、いでぃはいふつ
～ている/～ている……うい、すんつ、つんつ
ていれ/手入れ……からがい
ていれする/手入れする みばかい、みばつ、からがい、からがう
～ておく/～ておく……うっつ、うっふ
ておの/手斧……まいつ
ておりき/手織り機……ずばた
てがかからない/手がかからない……はだ
でかける/出かける……たつ
てがちーさいひと/手が小さい人 いみでぃーがま
てきせつでない/適切でない……みーちゃぎ
できたら/できたら……ないてぃがー
できない/とてもむいとぅ、がいず、やぐみ、きたてぃ、じゃまーにゃーだ、じゃまーにゃーん
できる/できる（作物が）……でぃき
できる/できる……ひらい

できるかぎり/できる限り...ひらいがにゃーん
てぐすねをひく/手ぐすね.....てぃぐすに
てくび/手首.....てぃーふず、てぃふず
～てくる/～てくる .....ふー
～てくれる/～てくれる.....ふぃー
てさぐりする/手探りする.....さどぅい
～てしまう/～てしまう すてぃ、ふぁう、はい、にゃーん
でそろう/出揃う いでぃそぅるー、いでそぅるい
てつ/鉄.....かに
てつだい/手伝い .....かしー
てつだい/手伝い（建築時の無料奉仕） すきなふ
てっていしてやる/徹底してやる.....つー
～でどうしようもない/～でどうしようもないさんまい　すなーにゃーん
てにおえない/手に負えない ぎっじゃ　ひらいん
てぬき/手抜き .....てぃじゃーかー
てのひら/手のひら.....てぃびら
～ではない/～ではない（コピュラ否定形）.あらん
てまちん/手間賃.....てぃまー
てまちんでのかせぎ/手間賃での稼ぎ てぃまーぶい
てまのかかる/手間のかかる .....てぃーたーり
～てみる/～てみる .....みー
～てみると/～てみると.....とぅー
でむいてくる/出向いてくる...かむー、かむい
～ても/～ても .....ばんまい、んまい
～でも/～でも（接続助詞）.やらばん、やらばんまい、やらん、やらんまい
でも/でも..あいえいそぅが、あいやいそぅが、あいやそぅが、あっそぅが
でも/でも（疑問詞＋__） .....まい
～てやる/～てやる.....とぅらす、ふぃー
テリハボク/テリハボク【植】 やらう、やらうだに、やらうぎー、やらうだにぎー
でる/出る（月などが） .....あがい
でる/出る .....いでぃ
てをだす/手を出す.....にゃーい
てをとじる/手を閉じる .....つずん
てん/天 .....てぃん
てんかん/癲癇...たまつつやん、つっづぃやん
てんかんのほっさをおこす/癲癇の発作をおこすたまーつつ、たまつつ、たまーつふ、たまつふ、つー、つっづぃ
てんき/天気 .....わーつつ
てんきあめ/天気雨.....ひーてぃーあみ
てんきがおだやかになる/天気がおだやかになる .....とぅり
テングハギ/テングハギ【魚】.....まぶゆ
てんじょう/天井 てぃんじゃう、じゃうそぅく
でんせんびょう/伝染病.....ほぅーつ
てんのたかさ/天の高さ.....てぃんぬたか
てんぷら/天ぷら.....てぃんぷら
と/戸.....やどぅ
と/と（引用）.....てぃー、てぃがー、とぅー
ドア/ドア .....やどぅ
といあわす/問い合わす.....とぅやーす
という/という（引用） .....てぃぬ
～というものは/～というものは .....てぃーや
といし/砥石.....とぅす
といただす/問いただす .....さばつ、さばふ
トイレ/トイレ.....っし
トイレおすい/トイレ汚水.....しーる
どう/銅.....あかがに
どう/どう（疑問詞） .....だ
どういう/どういう【疑問詞】 .....なうばい
どういうつもりで/どういうつもりで なうすふぁーっでぃ

どういたしまして/どういたしまして まさりーまい
とうか/十日 ..... とぅーか、とぅか
とうがらし/唐辛子..... くーす、くーそぅ
とうがん/冬瓜 ..... そぅー
どうきゅうせい/同級生..... あぐ
どうぐ/道具..... だうー
どうくつ/洞窟 .. あーぶ、あぶ、がま、はーな、はーぶ
トウゴロウイワシ/トウゴロウイワシ【魚】 はだら
とうじ/冬至 ..... とぅんでぃ
～どうし/～同士..... じゃーにゃー
とうじしょうがつ/冬至正月 とぅんでぃさうがつ
どうしたんだろう/どうしたんだろう なうががらむぬ、なうてぃぬ　ばーが
どうして/どうして（疑問詞） なうやひー、なんとぅが
とうしぶ/東支部..... とぅらぬはでぃー
どうしようもない/どうしようもない ..... なうや　あすかたーにゃーん、ならーっしゃう、まーいかたー　にゃーん
とうそうしん/闘争心 ..... あらいず
どうだい/どうだい（＝うまくやってるか）（あいさつ） ..... なうばいが
どうたいのりょうがわ/胴体の両側 ..... やかた
とうちする/統治する..... ならす
どうねんせい/同年生..... ひとぅっでぃ
とうふ/豆腐..... たうふ
どうぶつ/動物 ..... いつむす
どうやって/どうやって ..... なうばい
どうり/道理..... だうり
とおい/遠い..... かーま、かなた
とおい/遠い（ずっと__） ..... かじゃー
とおいこと/遠いこと ..... うじゃーなー
とおいところ/遠いところ..... ゆーかーまとおく/遠く ..... かーま、かなた
とおす/通す .. とぅーつ、とぅーふ、とぅーす、っちゃんつ、っちゃんふ、くまらす
とおす/通す（ススキを魚のエラに） .. つーつ、つーふ、つーっつ、つーっふ
とおまわりをする/遠回りをする ..... まーい
とおりぬける/通り抜ける ... ふつ、ふふ、ふき
とおる/通る ..... とぅーい、くまい
トカゲ/トカゲ くーすふぁや、くーそぅふぁや
トカゲ/トカゲ（岸の上に生息） ひーまばかっじゃ
とがめる/咎める ..... とぅがん
とがる/尖がる とぅんず、とぅんでぃ、とぅがい、とぅんぎ
とき/時..... とぅきゃ、とぅつ
ときどき/時々 .. ひとぅひゃーい、ひとぅばた、ひとぅばたなー
ドキドキする/ドキドキする ぷとぅみつ、ぷとぅみふ
どきょう/度胸 ..... どきょー
どきょうがない/度胸がない ばたー　にゃーん
ときょうそう/徒競走..... ひゃーさにゃー
とく/とく（髪を） ..... きっず
とぐ/研ぐ ..... とぅず
どくしんじょせい/独身女性 みーだつ、しょじょ
どくしんだんせい/独身男性..... びきだつ
とぐち/戸口 ... やどぅふつ、いでぃーはいーふつ、いでぃーはいふつ、いでぃはいーふつ、いでぃはいふつ
とくとうびょう/禿頭病 ..... はいがさ
とくべつに/特別に .. あやかーり、あやかりー、うったーてぃー、きたてぃ、だんかーりー、ぶんかいり、ぶんかっり、ぶんかりー
とげ/刺 ..... つーず、とぅず、んず

どける/どける ..... んなす
とこ/床 ..... からゆか
どこ/どこ【疑問詞】 ..... いじゃ、んじゃ
とこずれ/床ずれ ..... みんぴーき、にゅーぱぎ
とこのま/床の間 ..... くじゃしつ、くじゃひつ
とこばしら/床柱 ..... んみかみばら
どこも/どこもかしこも ... いーがま　くーがま
とこや/床屋 あかすやー、あかそぅいやー、さんぱつやー
とさか/とさか ..... かんぎ
とさつにん/屠殺人 わーくらしゃ、わーしゃー
とじこもる/閉じこもる ..... くまい
とじこもる/閉じこもる（奥の小部屋に） ぶーや　とぅい
としごろ/年頃 ..... はだ
としそうおうでないこと/年相応でないこと はだ
～として/～として（引用） ..... てぃー
～としての/～としての ..... てぃぬ
～としては/～としては ..... やらー、やりゃー
としとった/年取った ..... がば
としのこう/年の功 ..... とぅすぬ　くー
としのちかいもの/年の近いもの ぶーら、ぶーりゃ
としより/年寄り ... ういびとぅ、がばういびと
としよりくさい/年寄りくさい ういびとぅ　ふい
とじる/とじる ..... まるつ、まるふ
ドスン/ドスン ..... だふ
どたんどたん/どたんどたん ... どんま　どんまとち/土地 ..... ずー
とちゅう/途中 あいつんつ、いつんつ、んつなか
とっきしたひふ/突起した皮膚 ..... つーきゃ
とっくに/とっくに ..... いつから
とつぜんに/突然に あたふずん、じゃらてぃー、なうちゃーなー、なうちゃーにゃー
どっち/どっち【疑問詞】 ..... いでぃ、んでぃ
とって/取っ手 ..... ゆる
とっぴょうしもない/突拍子もない ... あーつな
とっぷう/突風 ..... かでぃまーい
～とどうじに/～と同時に ..... ふたきな
とどく/届く とぅーずき、とぅーずつ、とぅーずふ、いかう
とどける/届ける とぅーずき、とぅーずつ、とぅーずふ
とどまらせる/留まらせる ..... ゆどぅます
とどまる/留まる ゆどぅん、びじゃい、とぅどぅまい
とどめる/留める ..... たみ
となり/となり ..... やかーら、やかた
どなりこむ/怒鳴りこむ .. ばいんき、ばいんつ、ばいんふ
とにかく　/とにかく　 ..... あうぬー
との/との（引用） ..... てぃぬ
トノサマガエル/トノサマガエル【生物】 なびーうんた
～とは/～とは ..... てぃーや
とびあがる/飛び上がる .. とぅぬぎ、とぅぬず、とぅびゃがい、とぅびゃぎゃい
とびこえる/飛び越える またーたい、またたーい、またたい、とぅぬず、とぅんくい
とびこむ/飛び込む やいん、やうん、やいんつ、やうんつ、やぐん
とびでる/飛び出る まんず、まんっず、まんでぃ
トビハゼ/トビハゼ【魚】 ..... たかま
とぶ/飛ぶ ..... とぅー
とぶ/飛ぶ（鳥が） ..... まい、まう
とほうにくれる/途方に暮れる なうや　あすかたーにゃーん
どま/土間 ..... どぅま

とまどう/戸惑う ..... どぅまっづぃ
とまり/泊まり ..... とぅまい
とまりこみりょう/泊まり込み漁 とぅまいいん
とまる/泊まる ..... とぅまい
とまる/止まる ..... なまい
ともだち/友達 ..... どぅす
とらのひ/寅の日 ..... とぅらぬい
トラブルメーカー/トラブルメーカー ふっとぅらー
とられる/取られる ..... びかい
とり/鳥 ..... とぅい
とりえ/取り柄 ..... とぅいどぅくま
とりかえす/取り返す うかう、うかび、ばかい、ばかう、とぅいかいす
とりかえる/取り替える ..... かーい
とりそこなう/取り損なう .. とぅいはっじゃつ、とぅいはっじゃふ
とりつかれる/とりつかれる ..... たばい
とりのぞく/取り除く ..... はらう、うさす
とりのまうむれ/鳥の舞う群れ ..... とぅいまつ
とりはだ/鳥肌 ..... きーどぅるん、さんぎ
とりはだがたつ/鳥肌が立つ はぎゃう、ひぎゃう
とりぶん/取り分 ..... っじだま、とぅいまい
とりめ/鳥目 ..... とぅいみ
とる/取る ..... とぅい、かつ、かふ、はず、
とる/採る ..... とぅい
とる/撮る ..... とぅい
とる/取る（賭けで勝ったものを） びつ、びふ
とる/とる（席を） ..... とぅい
どれ/どれ【疑問詞】 ..... いでぃ、んでぃ
どれい/奴隷 ..... またぎす、んじゃ
どれくらい/どれくらい【疑問詞】 いさか、いさき、いかっさ、いだき、いなぎ、いぷぎ、いほぅぎ
どれもこれも/どれもこれも まみっじゃにゃーだ
どろ/泥 ..... どぅる
とろう/徒労 ..... あまたすかま
どろつち/泥土 ..... どぅるんた
ドロドロ/ドロドロ（溶けて柔らかい） やーたり
どろぼう/泥棒 ..... ぬそぅどぅ
どろまみれ/泥まみれ どぅるだり、どぅるびーた
どんと/どんと（叩く、何かを置く） .. だんま、どぅんま
ドンドン/ドンドン（__叩く） ..... がっづぁ
どんどん/どんどん（__食べる） ..... どんない
どんな/どんな【疑問詞】 ..... なうばい
トンボ/トンボ ..... あうそぅん、あきず
とんぼかえり/とんぼ返り（行ってすぐ戻ること） ..... つつむどぅい
な/な（禁止） ..... な
ない/無い ..... にゃーん
ないねつ/内熱 ..... うつにつ
なう/綯う（縄を） ..... なう
なえ/苗 ..... ない
なえる/萎える ..... すぶん、ない、ないー
なおす/直す なうす、ゆふなうらす、ゆふなし、ゆふなす
なおる/治る ..... なうい、ゆふない
なか/中 ..... なか
なか/中（内面） ..... なか
ながい/長い ..... なが
ながいあいだ/長い間 ..... うながい、ゆながい
ながいぎょうれつ/長い行列 ..... ながつず
ながいこと/長いこと ..... うじゃーなー
ながいもの/長いもの ..... ながさ
ながさ/長さ ..... ながさ
ながす/流す ..... ながす
なかたがい/仲違い ..... なかたがい

ながっちり/ながっちり びーぐず、びだく、びだくげった
なかなか/なかなか……なんとぅが
なかま/仲間……ひつ
なかまはずれにする/仲間外れにする..さるつ、さるふ
なかみ/中身……なか
なかよし/仲良し……ぐー
ながれつく/流れ着く……ゆい
ながれもの/流れ者 ゆらら、ゆらりむぬ、ゆらりんまり
ながれる/流れる（ゴーゴーと）..がーらみつ、がーらみふ
ながれる/流れる……ながい
なぎ/凪……なぎ、とぅり
なきおとし/泣落し……なつむぬい
なぎきること/薙ぎ切ること……なずばい
なきげん/泣き言……なつむぬい
なぎたおす/薙ぎ倒す……なぎ
なきむし/泣き虫……なつっじゃ
なく/泣く・鳴く……なつ、なふ
なく/無く……にゃーんひー
なくす/亡くす……すなす
なくす/失くす……にゃーす、すてぃ
なくてはならない/なくてはならない あらだかーならんむぬ、にゃーだかー
なくなる/なくなる うす、ひっがい、にゃーだんず
なぐる/殴る なっじゅい、なず、なぎ、ったつ、ったふ
なぐる/殴る（げんこつで） っふぁす、ふぁーす、つっちゅい
なぐる/殴る（強く）……だみ
なげあみ/投げ網……うちゃん
なげる/投げる たいつき、とぅいたいつき、とぅいてぃっづぃ、とぅいまやーす、ちゅー、てぃっづぃ
なさけぶかい/情け深い……つむかぎ
なさってください/なさってください...まてぃ
なさる/なさる（尊敬語接尾辞）……さまい
なすび/なすび【果物・野菜】……なそぅー
なぜ/なぜ……なうやひー
なだめる/なだめる...あじゃんつ、あじゃんふ
なつ/夏……なつ
なでる/撫でる……なでぃ
ななつ/七つ……ななつ
ナナフシ/ナナフシ【昆】...まずむぬぬぬーま
ナナムイ/ナナムイ【祭礼】……ゆーくい
なに/何【疑問詞】……なう
なに？/なに？（ききかえし）……なー
なにか/なにか……なうががら
なにくそ/なにくそ（自己激励） あやら、あやらがま、あらら、あららがま
なにも/何も なうちゅん、なうちゅんな、なうちゅんま、なうとぅん、なうとぅんな、なうとぅんま、なうまい
なにもないこと/何もないこと……んな
なにをいってるんだ/何を言ってるんだ あっはーいー、あっはーえー
なにをしに/何をしに……なうふぁーっでぃー
なのか/七日……なぬか
～なので/～なので……やひー
なびく/なびく……なびつ、なびふ
なべ/鍋……なび
ナポレオンフィシュ/ナポレオンフィシュ【魚】ひろし
なま/生……なま
なまいきなやつ/生意気な奴……なまちゃー
なまえ/名前……なー
なまぐさい/生臭い……あうさり
なまけくせ/怠け癖……だいさ
なまけもの/怠けもの..だらく、だらくげった、

びだっふゃ、なまずー、なまずん、なまだん、だいむぬ、なまちゃ、ふゆー、だいぎし
なまけものだ/怠け者だ なっちゃかん、なっちゃらん、だい、だらく、だらくげった、ふゆー
ナマコ/ナマコ ..... つつー
なまにえ/生煮え ..... なまにー
なまにえだ/生煮え ..... なまにー
なまはんぱ/生半端 ..... なまっじゃ
なまみず/生水 ..... なまみず
なみ/波 ..... なん、ぶりなん
なみうちきわ/波うち際 ..... あらは
なみだ/涙 ..... なだ
ナミダクロハギ/ナミダクロハギ【魚】 くーすきゃ
なみだもろい/涙もろい ..... なだやす
なみだもろいこと/涙もろいこと・人 なだやす
なめらかな/滑らかな ..... なびー
なめる/舐める ..... なんー、なんみ
なやむ/悩む ..... つむー　やん
～なら/～なら（仮定）ったー、てぃがー、とぅー
ならい/習い ..... ならい
ならう/習う ..... ならう
ならす/鳴らす ..... ならす
ならす/ならす（土地を） ..... とぅなみ
ならぶ/並ぶ ..... ならう
ならべる/並べる ..... なみ
なりひびく/鳴り響く ..... とぅゆん
なる/鳴る ..... ない
なるべく/なるべく ..... ないてぃがー
なるほど/なるほど ..... まーんてぃー
なれる/慣れる ..... なり
なわ/縄 ..... ん゜な、なー
なんかい/何回【疑問詞】 いふかいま、いふん
なんかいも/何回も ..... うんそぅく
なんぎ/難儀 ..... なんず
なんきんぶくろ/南京袋 ..... たうしんがー
なんきんむし/南京虫【昆】 ..... あやぬん
なんさい/何歳【疑問詞】 ..... いふつ
なんしぶ/南支部 ..... んまぬはでぃー
なんせき/何隻 ..... いふ
～なんだ/～なんだ ..... だら
なんだ/なんだ（軽蔑） ..... おーか、おーこ
なんだって？/何だって？ なうてぃー、なうばいてぃー、あか
～なんだよ/～なんだよ ..... そぅーで、ばなんちょうのひと/難聴の人 みんぴちゃら、みんひつら、みんぴつら
なんで/なんで【疑問詞】 ..... なうじゃん
なんであっても/何であっても なう　やらばんまい
なんでだよ/何でだよ ..... なうんだい
なんでも/何でも なうやらばん、なうやらばんまい、なうやらん、なうやらんまい
なんでもかんでも/何でもかんでも みーはんかーはん
なんでもない/何でもない ..... なうまいあらん
なんというか/何というか あうぬー、なうがら、なうてぃどぅ　あい
なんとか/何とか ..... なんとぅが、やっとぅ
なんとなく/何となく なうちゃーなー、なうちゃーにゃー、なうがから、なま
なんとまあ/何とまあ ..... あがい　たんでぃ
なんにち/何日【疑問詞】 ..... いふか
なんのために/何のために .. なう　ほぅっでぃ、なうす　ふぁーっでぃ、なうふぁーっでぃー、なうっしゃー、なうっしゃーなー
なんばいも/何倍も ..... んめ　ばいふ
なんびき/何匹・何頭【疑問詞】 ..... いふから
なんひと/何人【疑問詞】 ..... いふたーい
なんぼん/何本【疑問詞】 いふーず、いふすず
～に/～に（動作の目的） ..... が

に/荷.....にー
に/に（格助詞、目的地）.....ん、んかい
に/に（格助詞、時間）.....ん、んかい
に/に（与格）.....ん、んかい
に/に（受け身、使役動作主）.....ん、んかい
にあう/似あう.....あう
にえる/煮える.....たっず、にー
におい/におい.....かじゃ
においがつく/においがつく.....そぅまい
にがい/苦い.....んぎゃ
ニガウリ/ニガウリ【果物・野菜】.....がうら
にがす/逃がす んがーす、んがす、んがーらす
ニキビ/ニキビ.....んつん
にぎやかな/賑やかな.....そぅるき
にぎる/握る.....かつん、かつみ
にぎる/握る（おにぎりを）.....んない
にくい/憎い.....みっふぁ
にくしみ/憎しみ.....みっふぁさ
にくらしい/憎らしい.....はだたつ
にげる/逃げる.....ひんぎ、ひんず
ニコニコするようす　/ニコニコする様子　あまいあまい
にごる/濁る...むがい、むぎゃい、むぎゃっり
にし/西.....いー
にじ/虹.....てぃんばう
にししぶ/西支部.....さいぬはでぃー
にしどなり/西隣.....いーにゃー
にしのほう/西の方.....さいぬは
にしはら/西原【地名】.....んすむら
にしもひがしも/西も東も いーゆまい　あがいゆまい
にたもの/似た者.....んーしぬ、ゆぬそぅい
にたような/似たような.....んーさ
にっちゅう/日中.....さなか
にっぽんほんど/日本本土.....やまとぅ
にている/似ている.....んーす、ゆぬ
にているようす/似ている様子.....ちゃら
にどね/二度寝.....またにゅー
にぶいこ/鈍い子 ぬっちーやらび、ぬっちゃー
にまいがい/二枚貝.....しな
にもの/煮物.....にーむぬ、にむぬ
にものなべ/煮物鍋.....うーじゅるかき
ニョロニョロ/ニョロニョロ.....ぶじゅぶじゅ
にら/韮.....みーな
にらむ/にらむ..みーつつ、みーつふ、みつつ、みつふ、みつき、みーつき
にる/煮る.....にー、たっじゃす
にんぎょう/人形.....ひとぅかた
にんじん/人参.....あかほぅにゃ
にんしんさせる/妊娠させる.....はらます
にんしんする/妊娠する.....はらん
にんそう/人相.....にんそぅー
ニンニク/ニンニク.....ひー、ぴー
ぬいめ/縫い目.....ぬいみ
ぬう/縫う.....ぬー
ぬか/糠.....ぬか
ぬがす/脱がす.....はだかす、はっだかす
ぬかれる/抜かれる.....ぬがい、んがい
ぬく/抜く.....んず
ぬぐ/脱ぐ んず、はだき、はだつ、はっず、はっだき、はっだつ、はっでぃ
ぬけがら/脱け殻.....すでぃがら、すでぃぐる
ぬける/抜ける.....あぱい
ぬすむ/盗む.....ぬそぅん、とぅい
ぬの/布.....ぬぬ
ぬる/塗る.....まみ
ぬれる/濡れる.....んー、んみ
ね/根.....にー、っさに、ふさに
ね/ね（終助詞）.....いー
ね/ね（話初めの言い淀み）.....いら
ねあせ/寝汗.....にあし、にゅーあし
ねいき/寝息.....にーつ

ねいりばな/寝入りばな にっづぃばな、にじゃま
ねうち/値打ち .....にうち
ねおき/寝起き .....みじゃみ、みそぅい
ネギ/ネギ .....つんま
ねぐるしい/寝苦しい .....にゅーぐり
ねこ/猫.....まゆ
ねごこちがよいこと/寝心地が良いこと にゅーずみ
ねごと/寝言 .....にむぬい
ねざめめ/寝覚め .....んじゃみ
ねじまげる/捻じ曲げる.....がに
ねしょうべん/寝小便 .....ゆすばい
ねしょうべんをするひと/寝小便をする人 ゆすばいふかしゃ
ねじる/ねじる .....ひにー
ネズミ/ネズミ .....ゆむぬ
ねぞうがわるい/寝相が悪い にゅーあじゃーな
ねそべる/寝そべる.....ながんぶ　だーい
ねたふり/寝たふり .....にゅーふい
ねだる/ねだる .....あなみ、あなん
ねちがい/寝違い .....にゅーやっづぃ
ねつ/熱.....につ
ねつきのわるいこ/寝つきの悪い子 にゅーふがます
ねとまりす/寝泊り（少年たちの行動） とぅんから
ねばしょ/寝場所 にゅーどぅくな、にゅーどぅくま
ねばっこい/粘っこい.....ひつに
ねばねばしている/ねばねばしている.....むつ
ねばりけ/粘りけ .....むつみ
ねばりづよい/ねばりづよい.....はいつー
ねぶそく/寝不足 .....なまにー、なまにゅー
ねぶそくだ/寝不足だ.....にゅーたらーん
ねぼけ/寝ぼけ .....にじゃま、にじゃまうつ
ねぼけどり/寝ぼけ鳥 にぶいどぅい、にぶりどぅい
ねぼける/寝ぼける.....にぶい、にぶり
ねぼすけ/寝坊助.....にゅーたら
ねむい/眠い .....にゅーた
ねむのき/ねむの木【植】 .....にゅーたらぎー
ねむりこけている/眠りこけている.....たーい
ねむる/眠る .....にゅー、にっづぃ
ねもと/根本 .....にむとぅ
ねらう/ねらう .....たみ
ねる/寝る.....にゅー、にっづぃ
ねんざさせる/捻挫させる.....ないらす
ねんざする/捻挫する.....ない、ないー
ねんじゅも/念珠藻（バクテリアの一種） ぬいじゅー
ねんど/粘土 .....ふちゃんた
ねんれい/年齢 .....とぅす
の/の（格助詞、所有） .....ぬ、が
～のいうとおり/～の言うとおり.あいがにゃーん
のうか/農家 .....はるやー
のうぐ/農具.....あさぎ
のうりょくしだいで/能力次第で うむくとぅさーりどぅ
のうりょくのないもの/能力のない者 ぎったー、げったー
～のか/～のか（疑念）.....がら、ががら
のがす/逃す...んがーす、んがす、んがーらす
のがれる/逃れる .....んがーい
のこ/軒 .....んつき
のこぎり/のこぎり【道具】.....ぬくずー
ノコギリガサミ/ノコギリガサミ【生物】..んぺぬがん
のこす/残す .....ぬかす、ぬくす、あまらす
のこり/残り .....ぬくい
のこりかす/残りかす.....ぬかす

のこりび/残り火 ..... うつー
のこりもの/残りもの ..... あまい
のこりものにはふくがある/残り物には福がある ..... あとぅだま　うーだま
のこる/残る ..... ぬくい
～のころ/～のころ ..... きゃ
のせる/乗せるあーす、うーす、ぬーす、んーす
のせる/載せる（荷を頭に） ..... かみ
のぞく/覗くぬさき、ぬさつ、ぬすつ、ぬそぅき
のぞみ/望み ..... ぬずん
～のだ/～のだ ..... さー　やい
のちのよ/後の世 ..... あとぅぬゆー
～ので/～ので ..... ば
のど/喉 ..... ぬどぅ、ぬぶい
のどぼとけ/のどぼとけ ..... ぬどぅぐら
～のなかでは/～の中では ... やらー、やりゃー
ののしりあい/罵り合い ..... やどぅゆん
のばす/伸ばす んばす、いかーす、そぅんうー、そぅんばす
のはら/野原 ..... ぬー
のびあがる/伸びあがる ..... ぬびゃがい
のびる/延びる ..... ぬー、ぬび、そぅんうー
のびる/伸びる（業績が） ..... ぬびゃがい
のびる/野蒜【植】 ..... ぬびー
のぼせる/のぼせる ..... ぬぶす
のぼる/昇る（太陽などが） あかん、あき、あつ、あふ
のぼる/登る ..... ぬーい
ノミ/ノミ【道具】 ..... ぬん
のみ/蚤 ..... ぬん
のみこむ/飲み込む ..... ぬんくん
のむ/飲む ..... ぬん
のらいぬ/野良犬 ..... やまいん
のらねこ/野良猫 ..... やままゆ
のり/海苔 ..... ぬい
のり/糊 ..... ぬい
のりくみいん/乗組員 ..... しんか、にんじゅ
のる/乗る ..... ぬーい
のろい/呪い ..... いっだま、ぬるい
のろう/呪う ..... ぬるー
は/刃（包丁などの） ..... はー、ふつ
は/歯 ..... はー
は/葉 ..... はー
は/は（提題助詞） ..... あ
はい/灰 ..... からぱい
はい/はい（返事） ..... おー
はい/はい（ていねいな返事） ..... おーっさり
～ばい/～倍 ..... ふさ
ハイカラなひと/ハイカラな人 ..... はいから
ハイキビ/ハイキビ【植】 ..... なだつ
はいすいこう/排水溝 ..... はいすーばだ
はいぞう/肺臓 ..... ふく
ばいど/培土 ..... ばいど
ばいどく/梅毒 ..... ばいどく
ハイビスカス/ハイビスカス【植】 ... はなぎー
はいぶんする/映える ..... たまう　うつ
はいる/入る ..... いー、いり、はいー
はう/這う ..... はーどぅい、はう、はい
ハエ/ハエ【昆】 ..... はい
はえる/生える ..... うい
はえる/映える ..... はい、ばい
～ばえ/～映え ..... はい
はおとをたてる/羽音をたてる がっづぁんなりー、ぐっづぁんなりー
はか/墓 ..... はか、むとぅ、みゃーか
バカ/バカ ..... ぐどぅん
バカげた/バカげた ..... ほぅりふい
はがす/はがす（張り付いた物を） むっしーとぅい
はがす/はがす（うろこなどを） いーき、いーつ、はず
ばかだ/馬鹿だ いたらーん、わーぶり、むいぶ

り、んまつ
はかどる/捗る はかどぅい、ぬーがい、ぬびゃがい
ばかなこと/馬鹿なこと .....ほぅりむぬゆん
バカなことをいうひと/馬鹿なことを言う人 んまちゃ、んまつまー
バカなやつ/馬鹿者 ほぅりむぬ、ほぅりぎちくら、ほぅりぎちくや、ゆがががなまい、ゆがががなまりゃ、ひなじゃ
ばかにしてわらうこと/馬鹿にして笑うこと ゆがばらい
ばかにする/馬鹿にする ばーふー、すたばらう、うさい
ばかやろう/馬鹿野郎（罵声語）..かなまりゃ、っふた、っふなた
はかり/秤.....はかい
はかる/測る.....はかい、はかり
はきけがする/吐き気がする .....びばくーす
はく/吐く（唾を）.....とぅぱつ、とぅぱふ
はく/吐く（気分が悪くてものを） びばつ、びばふ、むどぅす
はく/掃く.....はうつ、はうふ
はく/履く.....ん゜ん
はぐ/はぐ（皮を）.....はず
はぐき/歯茎.....はばす
はくじょうだ/薄情だ.....ひぐる、つむひぐる
はくじょうな/薄情な つむー にゃーん、つむひぐりゃ
はくじょうなひと/薄情な人 つむひぐる、ひぐる
はくせん/白癬（みずむし、たむし） っさぱや
ばくち/博打 .....でぃんびつ
ばくはつする/爆発する はずき、はずつ、ぱずつ
はぐらかす/はぐらかす はぐらかす、はぐらす
はぐれる/はぐれる.....はぐい、はぐり
ばくろう/馬喰.....ばくらう
はげ/はげ（頭に髪の毛がないこと）.....はぎ
ばけもの/化け物.....まずむぬ、まずむん
はげる/はげる（頭が）.....はぎ
ばける/化ける...ひがい、ひがいー、ひがっり
はこ/箱.....はく
はこフグ/箱フグ【魚】 .....くーた
はこメガネ/箱メガネ（水中メガネ）.....たぐ
バサッと/バサッと（木を切る）..がじゃてぃ、じゃらてぃー
ハサミ/ハサミ .....はさん
はさむ/挟む.....はさん
はさんする/破産する .....うどぅき、ひがい
はし/端 .....はた、あっじゃ
はし/箸 .....うます、うみゃす、はす
はしか/麻疹.....かさ
はじめる/始める .....すきゃき
ばしゃ/馬車.....ばしゃ
ばしょう/芭蕉【植】 .....ばさ
はしら/柱 .....はら
はしらせる/走らせる（船を）.....はらす
はしる/走る そぅー、とぅばす、そぅっづぁす、あいつ、あいふ
はしる/走る（勢いよく）.....そぅっづぃ
はしる/走る（一目散に）.....ぶんみかす
はずかしい/恥ずかしい みーはなー にゃーん、みはなー にゃーん、ばかす
はずす/外す（物を）.....はなす
はずす/外す（的を） はんし、はんじ、はんつ、はんでぃ、はんじゃつ、はんず
～はずだよ/～はずだよ .....はっどー
ハスノハギリ/ハスノハギリ【植】 たまびーぎー
はずれる/外れる（仲間から）はっず、はっでぃ
はだ/肌.....はだ
はたおり/織機.....ぬぬばた

はたおりき/機織り機.....はた
はだかうま/裸馬.....はだかんま
はたけ/畑.....はい、かふー
はたけ/畑（土地の超えている）.....んすばい
はたけ/畑（長男が引き継ぐ）...やーだまずー
はたけのばんや/畑の番屋.....はるばんやー
はださむい/肌寒い..あうひぐる、あうぴぐる、なまひぐる
はだし/裸足...からはず、からぱず、っさぱず
パタッと/パタッと.....ぱたてぃー
バタバタさせる/バタバタさせる..ばたらみつ、ばたらみふ
はためかせる/はためかせる.....ぶりゃう
はたらき/働き.....はたらつ
はたらく/働く.....はたらつ、はたらふ
はち/蜂（小型）.....やなばた
ばち/ばち（があたる）.....ばつ
ぱちんこ/ぱちんこ（子供のおもちゃ） ぐむかん
ばちんと/ばちんと.....ぱかてぃ、ばかてぃ
ばつ/罰.....ばつ
はっきりと/はっきりと.....じゅんてぃー
はっきりものをいうひと/はっきりものを言う人.....あらうつびとぅ
はっこうする/発酵する.....ばき、ばつ
はつじょうする/発情する.....っさい、っさり
はっせいする/発生する.....いでぃ
バッタ/バッタ.....かた
はったいこな/はったい粉.....むずく
はて/はて（遠いところ）.....はてぃ
はとはのあいだ/歯と歯の間.....はーばす
はな/花.....はな
はな/鼻.....はな
はなお/鼻緒.....はなぶー
はなさき/鼻先（動物の）...はなず、はなでぃ
はなし/話.....はなす、むぬい
はなしあい/話し合い.....ずんみ
はなしあう/話し合う（集まって） うぐなーい
はなしたがること/話したがること・人 むぬいぶっさ
はなす/話す.....ゆん
はなす/離す.....はなす
ハナタカサゴ/ハナタカサゴ【魚】 あうぐるくん
はなたれこぞう/鼻たれ小僧 はんだら、ぱんだら
バナナ/バナナ.....ばさ、ばさない
バナナのき/バナナの木.....ばさぎー
はなはだしい/はなはだしい むい、みーや ほぅらかんばかーい
はなみず/鼻水 はなみず、みずばな、はんだい、みずぱんだい
はなれる/離れる.....はない
ばにく/馬肉.....ぬーまじゅー
はね/羽根.....はに
はねかえる/跳ね返る.....はにぐい
はのないひと/歯のない人.....はーもー
ははー/ははー（ていねいな返事）.....はー
パパイヤ/パパイヤ...まんじゅー、まんちゅー
パパイヤのき/パパイヤの木..まんじゅーぎー、まんちゅーぎー
はばがひろい/幅が広い.....ほぅっばば
バフンウニ/バフンウニ【生物】【食】うんかずつ、かずつ
はへん/破片.....ばい、ばり
はま/浜.....ひだ、はた、はま
ハマオモト/ハマオモト【植】.....さでぃふ
はまそい/浜沿い.....はまだてぃ
はまばん/浜番.....ひだばん
はまべ/浜辺.....はまうつ、はまふつ
はまゆう/浜木綿【植】.....さでぃふ
はまる/はまる.....はまい

はみでる/はみ出る まんず、まんっず、まんでぃ、はんでぃ
はめつする/破滅する……ひっがい
はもの/刃物……はむぬ
はやい/早い……はー、ひゃー
はやい/速い……はー、ひゃー
はやいこと/速いこと……あいつびゃー
はやいじぶん/早い時分 はーひー、ひゃーひー
はやうまれ/早生まれ……ばかんまり
はやおき/早起き……にがら
はやく/早く はやまり、ひゃー、はーひー、ひゃーひー
はやく/速く はやまり、ひゃー、はーひー、ひゃーひー
はやくち/早口……はーうつ、はーらうつ
はやさ/速さ……はーさ、ひゃーさ
はやじにに/早死に……んぬつびゃー
はやまる/早まる……ひゃーまい
はやる/流行る……はやい
はやる/はやる（心が）……しゃーがい
はら/腹……ばた
はらう/払う（ほこりなどを） ぶぶーい、ぶぶい、はらう
はらう/払う（金を）……はらう
はらがたつ/腹が立つ……ばた ふさい
はらがへるじかん/腹が減る時間 やーっさばた
ばらす/ばらす……あぱらす
ばらす/ばらす（秘密を） てぃびゅー ほぅがす、みはながーゆ んつ
はらだたしい/腹立たしい ばたっさい、ばたふさい
ハラナガスズメバチ/ハラナガスズメバチ【昆】 たうんまばす
はらのほね/腹の骨（大笑いの誇張） ばたぶに
はらをたてる/腹を立てる……たい
はり/梁……はり、つばい
はり/針……はい
ハリセンボン/ハリセンボン【魚】……あばさ
ハリツルマサキ/ハリツルマサキ【植】 まっこー
はる/貼る……はい
はる/春……はる
はるさき/春先……びーずん
はるのじゅんぷう/春の順風……うかずー
ハルノノゲシ/ハルノノゲシ【植】 ふつな、ふつにゃ
はれ/晴れ……とぅり
はれつする/破裂する はずき、はずつ、ぱずつ
はれる/腫れる……ふくい
ばれる/ばれる……てぃびゅー ほぅがす
はわせる/這わせる……はーす
ばん/晩……ゆー
はんえい/繁栄……はんじゃう
はんげつばん/半月板（軟骨組織） っそぅひだぶに
はんごろし/半殺し……なまずん
はんじょう/繁盛……はんじゃう
はんせいしん/反省心 うどぅるつ うむくとぅ
はんだん/判断……つっとぅい
パンツ/パンツ（下着）……さるまた
はんぱもの/半端もの……はんぱむぬ
はんぶん/半分……んなーき、なから
ばんや/番屋……ばんや
はんろん/反論……ふつぐたい
ひ/火……うまつ
ひあがる/干上る……さい、さり
ひえ/稗……つん
ひえる/冷える……ひぐい
ひかくする/比較する..うーでぃ、うーっでぃ、うーず、うーっず、なみ
ひがし/東……あがい
ひがしどなり/東隣……あがいにゃー

ひがしのほう/東の方.....とぅらぬは
ひかり/光.....ひかい
ひかる/光る.....ひかい
ひがん/彼岸.....ひがん
ひきあげる/引き上げる.....がに
ひきうける/引き受ける あみかうー、あみかっづぁす、あみかっづぃ
ひきかえす/引き返す.....ひつむどぅい
ひきかえすこと/引き返すこと...ひつむどぅい
ヒキガエル/ヒキガエル【生物】..さみうんた、っふなた、さみっふなた
ひきさく/引き裂く...ひっちゃつ、ひっちゃふ
ひきしお/引き潮.....ひーそぅー
ひきずる/引きずる.....っさびつ、っさびふ
ひきだし/引き出し.....しつ
ひきぬく/引き抜く.....ひつ、ひふ
ひく/引く.....ないず、ひつ、ひふ
ひく/弾く（楽器を）.....ひつ、ひふ
ひく/引く（潮が）.....すー、ひつ、ひふ
ひく/ひく（風邪を）.....ひつ、ひふ
ひくい/低い.....びだ
ひくいはな/低い鼻.....っさばな
ひくくする/低くする ひだます、びだます、ひだまらす、びだまらす
ひげ/髭.....ひぎ
ひげね/ひげ根.....っさでぃ、っさでぃら
ひごとよごと/日ごと夜ごと まいやー　まいにつ
ひざ/ひざ.....すぐす
ひざし/陽ざし.....ひーてぃー
ひさまつしゅうらく/久松集落【地名】 ぬだつ
ひじ/肘.....ひず
ひしゃく/柄杓.....さし
ひじょうに/非常に がいず、やぐみ、じゃまーにゃーだ、ぶんかいり、ぶんかっり、ぶんかりー
ひそひそはなし/ひそひそ話 みすかむぬい、みそぅかむぬい
ひたい/額.....ふたい
ひたい/額（広い）.....ほぅーたい
ひだり/左.....ひだい
ひだりききのひと/左利きの人.....ひだら
ひっかかる/引っかかる すっかかう、かかっず、かかいっじゃんふ
ひっかく/引っ掻く.....かかっず
ひっかける/引っかける.....ふんず
ひっくりかえす/ひっくり返す かいらす、ぶらかいす
ひっくりかえる/ひっくり返る ぶらかいー、ぶらかいり
びっくりさせる/びっくりさせる...たまがらす
ひっこす/引っ越す.....ひっくす
ひっぱりだす/引っ張り出す ひったうー、ひったっづぃ
ひっぱりだすこと/引っ張り出すこと ひったんぐー
ひっぱる/引っ張る.....ひきゃう、がに
ひつよう/必要.....いりよー
ひつようだ/必要だ..いー、いり、いらじゃい、かむー、かむい
ひつようのない/必要のない いたらーん、いらじゃーらん、いらじゃらーん、いらじゃらん、いらじゃい
ひでり/ひでり.....ひでぃー
ひと/人.....ひとぅ
ひとあみ/一網（追い込み漁で）...ひとぅあん
ひどい/ひどい.....やぐみ
ひといき/一息.....ひとぅいつ
びどう/微動.....ぶーない
ひとかけら/ひとかけら ひとぅかき、ひとぅつがき
ひとかぶ/一株.....ひとぅむとぅ

ひとつ/一つ ひてぃつ、ってぃつ、てーち、てぃーち
ひとつちがい/1 つ違い.....ひてぃつがゆい
ひととおり/ひととおり.....ばーってぃー
ひとのせいにする/人のせいにする うさす、うっさす
ひとみ/瞳.....みーぬっふぁ
ひとみしり/人見知り.....ひとぅいっづぃ
ひとみしりしない/人見知りしない はだっさり
ひとよい/人酔い.....ひとぅびゅーい
ひとり/一人.....たうかー、たうきゃー
ひどり/日取り...ひー、ひかず、あーびゅーい
ひとりごと/独り言 たうかーむぬい、たうかーむぬゆん
ひとりのこらず/ひとり残らず たうかーぬからだ、たうかーぬくらだ
ひとりもの/独り者.....かたてぃーむぬ
ひなんする/非難する あいつー、あいっち、あいっつ、あいってぃ、とぅがん
ビニールシート/ビニールシート.....テント
ひねる/ひねる.....ひにー
ひのかみ/火の神.....うぶく
ひばち/火鉢.....っじゅ
ひばり/ひばり【鳥】.....がやんちゅ
ひびく/響む.....とぅゆん
ひふがかぶれること/皮膚がかぶれること かじゃまき
ひふがふやけること/皮膚がふやけること みずぶくい
ひま/暇.....まー、まどぅ
ひまご/ひ孫.....またんまが
ヒメクマヤナギ/ヒメクマヤナギ【植】 んみゃてぃ、んみゃてぃんーたぎー、あーらうんーた
ヒメフエダイ/ヒメフエダイ【魚】 みみじゃー
ヒメヘビ/ヒメヘビ.....がらさばう
ひも/紐.....ぶー
ひもじい/ひもじい.....やーす
ひやけ/日焼け.....ひーてぃーじゃり
ひやす/冷やす.....ひぐらす
ひゃっきん/100 斤.....ひゃっき
びょうき/病気.....やん、やなやん
びょうきがちのひと/病気がちの人...がびゃう
びょうきにかかる/病気にかかる.....たかい
びょうきになる/病気になる.....やん
びょうきのようじょう/病気の養生 ながやーじゃう、ながやうじょう
ひょうきんな/剽軽な.....ゆがいな
びょうじゃくだ/病弱だ.....がびゃう
ひょうじょう/表情.....うむてぃ
ひょうじょう/表情（暗い）.....ふさがい
ひょうたん/瓢箪.....つぐい
ひょうばんをさげるひと/評判を下げる人 すたらしゃ
ひょうひ/表皮.....あらがー
ひょうめん/表面.....あーはな
ヒヨドリ/ヒヨドリ.....びっぴーまちゃ
ひより/日より.....ひー
ヒラアジ/ヒラアジ【魚】.....がーら
ひらく/開く.....あうばじゃかい、あうばだかい、あうばじゃかす、あうばじゃからす、あうばだかす、あうばだからす、びだつ、びだふ、びらつ、びらふ、ばだかす、ばだつ
ひらけっはなし/開けっ放し...あーきどぅーき
ひらたくする/平たくする.....っさたらす
ひらぺったい/平ぺったい.....っさたら
ひらら/平良【地名】.....っさら
びり/びり.....ぎー
ビリッと/ビリッと（紙を破る）..がじゃてぃ、じゃらてぃー
ひりょう/肥料.....っふぁい、ほぅっづぁい
ヒル/ヒル【生物】.....たーぬぴー
ひるすぎ/昼過ぎ.....ひーまあとぅ

ひるま/昼間.....ひーま、すかま
ひるもよるも/昼も夜も...ゆいまい　ひーまい
ヒレナガスズメダイ/ヒレナガスズメダイ【魚】 いしだ、くるきゃ
ひろい/広い.....がばー
ひろいこころ/広い心...ほぅずむ、ほぅっずむ
ひろう/拾う .....っそぅー
びろう/檳榔【植】 .....くば
ひろがる/広がる .....っそぅがい、っそぅぎ
ひろがる/広がる（植物が）.....うやい
ひろがる/広がる（吹き出物などが） ばかばい
ひろげさせる/広げさせる ばじゃかす、ばじゃからす、ばじゃかい
ひろげる/広げる びだつ、びだふ、びらつ、びらふ、ばだつ、ばじゃかい、あうばじゃかい、あうばだかい、びだかす、びらかす、ばだかす、ばじゃかす、ばじゃからす、あうばじゃかす、あうばじゃからす、あうばだかす、あうばだからす、っそぅず、っそぅがい、っそぅぎ
ひろげること/広げること あうばじゃかい、あうばだかい
ひろば/広場.....じゃー
ひんい/品位.....すな
ひんそう/貧相.....ひんそぅー
びんた/びんた.....みんたっづぁ
ひんば/牝馬（子供がうめなくなっている） やずまい、やずまら、やずまり
ひんぱんに/頻繁に .....ひつん、うんそぅく
びんぼうしょう/貧乏性 .....きばんさだます
びんぼうそうな/貧乏そうな.....きばすぎ
びんぼうだ/貧乏 きばす、きばん、きばすがい、ひんそぅー
ぶあつい/分厚い .....あつぐー
ふい/不意.....あたくま
ふいに/不意に.....じゃらてぃー
フィラリア/フィラリア .....しんき
ふうかく/風格.....すな
ふうふ/夫婦 .....とぅずぶとぅ、みゅーとぅ
ふえ/笛.....ひーだき、ぴーだき
フエフキダイ/フエフキダイ【魚】 ..っふなず、まーゆ
ふえる/増える .....かじゅい
ぶか/部下.....またぎす
ふかい/深い.....ふか
ふかいところ/深いところ .....ふかいぬみー
ふかさ/深さ .....っさだつ、ひさだつ
ふきかえしのかぜ/吹き返しの風 ..かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かいすうす、かいすうつ、かいすふつ
ぶきみだ/不気味だ.....わーかう
ぶきようだ/不器用だ .....てぃーくぱ
ぶきようなひと/不器用な人 .....てぃーくぱ
ふく/拭く .....ふつ、ふふ、っそぅい
ふく/吹く .....ふき、ふつ、ぶらう
フグ/フグ【魚】 .....うにゃ
ふくぎ/福木 .....っくつぎー
ふくむ/含む.....っふん
ふくらはぎ/ふくらはぎ .....くっづぁ
ふくれる/脹れる .....むやがい
ふくろ/袋 .....かます、かますぐー
ふくろあみ/袋網.....んじゅあん
フクロウ/フクロウ【鳥】 .....こーどぅい
フケ/フケ .....っさぶき、ぷき、ほぅき
ふけつだ/不潔だ .....びーた
ふけつな/不潔な（頭髪など） かうさだい、かうさだり
ふけつな/不潔な.....すぷたい、っしゃな
ふけつなひと/不潔な人 すぷたら、かうさだりゃ
ふける/更ける（夜が）.....いり
ふさい/負債 .....あんぱつ
ふさいでいるもの/ふさぐもの・こと ふさがい

ふさがる/ふさがる……ふさがい
ふさぐ/ふさぐ..ふさがい、ふさず、っさがい、つっず
ふざける/ふざける……じゃり
ふし/節……ふす
ふしぎだ/不思議だ……ひるます
ふしぎな/不思議な……ひんな
ふしぶし/節々……ふすぶす
ふせい/不正……なかまーい
ふせる/伏せる……んぶだーい
ふそくをおぎなう/不足を補う……たらーす
ぶた/豚……わー
ぶた/豚（子供の産めなくなったメス） あぴゃー、あぴゃーわー
ぶた/豚（正月に食べるために飼っている） さうがつわー
ぶたい/舞台……ぶだい
ブダイ/ブダイ【魚】……いらうつ
ふたご/双子……ふたか
ぶたこや/豚小屋……わーぬっし、わーぬやー
ふたつ/二つ……ふたーつ
ぶたにくのすきなひと/豚肉の好きな人 わーじゃう
ぶたのエサいれ/豚のエサ入れ...わーぬたうに
ぶたのにもの/豚の煮物……わーにむん
ふたり/二人……ふたーい
ふだん/普段……いつぐ、まどぅ
ふち/縁……ふつ
ブチアイゴ/ブチアイゴ【魚】……うきゃん
ふつか/二日……ふつか
ふつかよい/二日酔い さきぬっち、さきくたんでぃ
ぶつかる/ぶつかる うちゃい、うちゃう、うちゃーい、ちゃーい
ぶつける/ぶつける……うちゃーす、ふぁーす
ブッソウゲ/ブッソウゲ【植】……はなぎー
ふっとうする/沸騰する..ふき、ふつ、あっち、あっつ
ぶつぶつと/ぶつぶつと……ぶいたが　ぶいた
ふところ/懐……ふとぅくる
ふとっている/太っている……うだ
ふとっていること/太っていること ほぅりっふぁい
ふとる/太る……うだい、っふぁい
フナ/フナ【魚】..たーっぞぅ、たーぬっぞぅ、みずぬっぞぅ
ふなぞこにたまったみず/船底にたまった水 あかま
ふなつききば/舟着き場……ふなつき
フナむし/フナ虫……かーじゃい
ふなよい/船酔い……ふない
ふにんになる/不妊になる……やずまい
ふね/舟、船……ふに
ふね/舟【古語】……みそぅ
ふねしゅうのうごや/舟収納小屋 ふなばんやー
ふねのいかり/船の碇……うぶ
ふねのみおくり/舟の見送り……ふなうさぎ
ふびじん/不美人……つきゃふ
ふまんをいう/不満を言う...ふがい、ふがいり
ふみつけること/踏みつけること..ん゜んたー、ん゜んたーぐー、ん゜んたーぐーたー
ふむ/踏む……ん゜ん
ふもと/ふもと……あす
ふやす/増やす……かじゅーす
ふゆ/冬……ふゆ
ぶらさがる/ぶら下がる さがい、っさがい、さぎ、さず
ふらつく/ふらつく たっづぁみつ、たっづぁみふ、たーう、たーっづぃ、ゆたみつ、ゆたみふ
ふらつくようす/ふらつく様子……かいらく
ぶらぶらしているひと/ぶらぶらしている人 びだふくり、びだふくる

ぶらぶらする/ぶらぶらする びだっふぃ、びだふー
フラフラと/フラフラと かっらみきー、たいたい
～ふり/～ふり……ふいふりまわす/振り回す……ぶーうーふりむく/振り向く……みゃーぎふりんおんな/不倫女……いんばいふる/降る……ふーふる/振る……ふいふるい/ふるい【道具】……しーなうふるい/古い（食べ物が）……がばふるいきもの/古い着物……やりずんふるえる/震える……ほぅーい、ほぅーりブルドドザザ/ブルドーザー んつやっうゃしゃぶるぶる/ブルブル（震える）…ぷとぅぷとぅふるまうこと/ふるまい……ばばんぶれい/無礼……ぶりーぶれいな/無礼な……わーつなふろしき/風呂敷……うつつーぶんそうおうなふるまいをする/分相応な振る舞いをする……ぶがなすぶんたんきん/分担金..ばなむぬ、いでぃみー、いでぃみーはらいみー
ふんづける/踏んづけるんﾟんびき、んﾟんびつふんどし/ふんどし……さなずふんにょう/糞尿……ふそぅすばいぶんぱいする/分配する……たまぐつふんべつ/分別……つっとぅいふんべつのない/分別のない いっちゃー っさん
へー/へー（軽蔑的な驚き）……えへーいへいきん/平均……とぅなみへいたんな/平坦な……なだらへいていする/平定する……ならす～べきだ/～べきだ……がまたへこませる/へこませる..ひだます、びだます、ひだまらす、びだまらす
へこむ/へこむ……ふぐん, ひだん、びだんへそ/へそ……んーぶへた/下手……びちゃべたぼれ/べたぼれ……すんぶりへチマ/へチマ……なびゃーらペッ/ペッ（唾を吐くおと）……とぅぱべっし/蔑視……みーぬ　すたみーペット/ペット……いつむすへビ/へビ……なず、はう、ぱうへや/部屋……やーへや/部屋（奥にある小さい）……うつばらへや/部屋（奥座敷）……うらじゃへや/部屋（奥の小さな__）…うつぬ　くーいへら/へら（料理道具）……ひら、いびらベラ/ベラ【魚】……あかじゃらへらす/減らす……ひつ、ひふへり/縁……はたへる/減る……ひつ、ひふ、ひないへんか/変化……むいがーいへんかする/変化する ひがい、ひがいー、ひがっりペンキ/ペンキ……ぬいべんきょう/勉強……ずーへんしゅ/変種……さにがーい、たにがーいへんじん/変人……がいにんへんだ/変だ いかがら、いきゃがら、なうがががらむぬ、ひるますへんな/変な……ひんなへんなきもちになる/変な気持ちになる っさかうへんなひと・じょうきょう/変な人・状況 いかがら、いきゃがら
ほ/帆……ほぅーほ/穂……ぶばな

ボール/ボール ..... まーい
～ぽい/～ぽい..... っじゃ
ぼう/棒..... ばう
ぼう/棒（粟をたたく） ..... あーったつぼう
ぼうがいする/妨害する ..... つっず
ほうがよい/方がよい..... ます、とぅか
ほうき/ほうき ..... はうつ
ほうげん/方言..... すまうつ、すまふつ
ぼうこう/膀胱..... すばいづつん
ほうさく/豊作..... ゆがほぅー
ほうしゃれいきゃく/放射冷却... とぅりひぐい
ぼうず/坊主..... ばうず
ほうちする/放置する やりっしゅーつ、やりっしゅーふ
ほうちょう/包丁 ..... かたな
ほうほう/方法 ..... っちゃー
ほうぼう/方々 いじゃどぅーす　かまどぅーす、んじゃどぅーす　かまどぅーす
ほうもんする/訪問する ..... みゃーぎ
ほうらいまい/ほうらい米 ..... ほーらいまい
ほうらんする/抱卵する ..... すだす
ほうりなげる/放り投げる てぃっづゃーがらーす、てぃっづゃーがらす、てぃっづゃがらーす、てぃっづゃがらす
ぼうりょくをふるう/暴力をふるう ..... やから
ほうろうする/放浪する ..... ゆらい
ほえる/吠える..... ぶい
ほおずき/ほおずき ふーずき、ふーずきばらん
ほかのしゅうらく/他の集落 ..... ゆそぅずま
ぼく/ぼく ..... ばー、ばん
ぼくが/僕が..... ばが
ぼくたち/僕たち..... ばんてぃ
ぼくたちを/僕たちを ..... ばんちゅー
ぼくに/僕に ..... ばぬんかい
ぼくの/僕の..... ばが
ほくほくしている/ほくほくしている... みゃー
ホクロ/ホクロ ..... あじゃ
ぼくを/僕を..... ばぬー
ぼける/ぼける ..... むいぶい、むいぶり
ほこり/ほこり..... ぷき、ほぅき
ほし/星 ..... ほぅす
ほしい/欲しい .. ほぅす、ほぅすん、ほぅーい、ほぅーん、ほぅっさ　あす
ほしがる/欲しがる ほぅす、ほぅすん、ほぅーい、ほぅーん、ほぅっさ　あす
ほじくる/ほじくる..... ふっず、ふっでぃ
ほす/干す..... かーかす、さらす、ほぅす
ほたる/蛍【昆】 ..... たっづゃ
ぼっきする/勃起する ..... うい
ほっしがる/欲しがる..... ほぅす
ぼつらくする/没落する ..... さびー
ほてる/火照る ..... ほぅみつ、ほぅみふ
～ほど/～ほど..... だちゃー、だちゃーい
ほど/程（時間名詞の後） ..... ぎゃー
ほどく/ほどく ほぅどぅつ、ほぅどぅふ、はなす
ほね/骨 ..... ほぅに
ほねみにこたえる/骨身にこたえる（寒さなどが） ..... ほぅにぶかい
ほのふくらみ/穂のふくらみ..... ばるん
ほはば/歩幅 ..... あす、あす
ほめちぎる/ほめちぎる... ほぅみたーっづぁす
ほめる/ほめる ..... ほぅみ、ほぅん、なーず
ぼやける/ぼやける ..... むーっず、むーっでぃ
ボラ/ボラ【魚】 ..... ながゆ
ぼら/保良【地名】 ..... ぶら
ほら　ほら/ほら　ほら（注意喚起） くや　くや
ほらがい/ほら貝 ..... さぐな、った
ほらふき/ほら吹き ほぅらふきゃ、ぶらふきゃ、ひゃーくいち
ほらをふくこと/ほらを吹くこと... ほぅらふつ

ほりおこす/掘り起こす .....くーす
ほる/掘る .....ほぅい、かでぃ
ほれる/惚れる .....ほぅい、ほぅり
ぼろきもの/ぼろ着物.....やっづぃずん
～ほん/本（茎を数える助数詞）.....うず
ほん/本 .....ほぅん
ぼん/盆.....ぶん
ポンがし/ポン菓子 .....まいがーす
ほんけ/本家 .....むとぅやー
ほんしょう/本性 .....すがた
ほんとう/本当.....まーんてぃー
ほんとうに/本当に ..あやかーり、あやかりー、ぎんとぅどぅ、まーんてぃー
ほんとうのこと/本当のこと まーんぐとぅ、まーんてぃー
ほんとうのもの/本当のもの .....まーんてぃー
ぼんやりしたひと/ぼんやりした人 とぅりばら、ふたっとら
ぼんやりする/ぼんやりする ふたっとぅい、ふたっとぅり、とぅりばい
まあまあ/まあまあ .....まーだぎゃー
まいごにさせる/迷子にさせる .....ゆららす
まいごになる/迷子になる .....ゆらい
まいった　まいった/参った　参った うばいが　うばい
まいとしまいとし/毎年毎年 とぅすかず　はだかず
まいる/参る.....がうい、がうり
まえ/前.....まい
まえかけ/前掛（馬具）...まいかき、まいがき
まがった/曲がった .....ゆが
まがる/曲がる...ゆがん、まがい、ぶい、ぶり
まきえする/撒き餌する .....あらす
まきがい/巻貝.....んな
まきつける/巻きつける...からまつ、からまふ
まく/巻く .....まつ、まふ
まく/まく（水や種を）まつ、まふ、はうい、はうり
まく/まく（種を）.....うらす、うるす
まくら/枕.....まっふぁ
マグロ/マグロ【魚】.....しび、しゅび
マグロのむれ/マグロの群れ .....どぅんぎゃ
まけ/負け .....まき
まけぐせ/負け癖.....まきならい
まける/負ける .....がうい、がーらい、、まき
まご/孫 .....んまが
まさか/まさか あがいがあがい、だいずがだいず、なうてぃー、んまつ
まさる/勝る .....うゆー
まじか/間近 .....はだ
まじめな/真面目な .....まさがぬ、まながぬ
まじゃ/真謝【地名】.....まじゃ
ます/枡【道具】 ..... つが
まず/先ず .....まず、まずがー
まぜる/混ぜる まっず、まっでぃ、まんき、まんつ
また/股.....また
また/また（繰り返す）.....また
まだ/まだ（～ない）.....んなーぎゃー
まだ/まだ .....んなまぎゃー
またきき/また聞き .....またずつ、またつつ
またぐ/またぐ .....またぐい、またず
またとない/またとない .....ありや　みーん
マダラハタ/マダラハタ【魚】.....にばら
まちがい/間違い .....ばっぱい
まちがいだ/間違いだ.....あらん
まちがえる/間違える .....ばっぱい
まちがったかんがえのひと/間違った考えの人 かなまりゃ
まちがっている/まちがっている .....あたらん
まつ/待つ .....まつ
まっか/真っ赤 .....はーか

まつけ/まつ毛 ..... まつぎ
まっしろ/真っ白 ..... まっさーら
まっすぐ/真っ直ぐ ..... まうとぅ
まったくないこと/全くないこと ..... んなぱぎ
まつたけ/松茸 ..... まつぬみん
マッチ/マッチ ..... つきだき
まつのき/松の木 ..... まつぎー
まで/まで（目的地） ..... がみ、たーひー
まで/まで（程度） ..... まい
までに/まで（到達点） ..... たーひー
までに/までに（時間） ..... たーひー
まと/的 ..... まとぅ
まとめて/まとめて（全部で） ..... むいつき
まとめる/まとめる（縄などで）まるつ、まるふ
まともなあるきかた/まともな歩き方 まーっさ
まともなひとげん/まともな人間 ..... にんぎん
まとわりつく/まとわりつく ..... たかい
まないた/まな板 ..... まなちゃ
まなぶ/学ぶ ..... ならう
まぬがれる/まぬがれる ..... んがーい
まね/真似 ..... まーび
まね/真似（無意識でやる） ..... むない
まびく/間引く ..... まびつ、まびふ
まぶしい/まぶしい ひかい、みーぷかい、みーぷたい
まぶた/瞼 ..... みがー
ままごと/ままごと .. やびとぅ、やびとぅがま、やびとぅがんが、やびとぅがんがー
ままはは/継母 ..... まーま、まーまんま
まみれ/まみれ（どろまみれ） ..... びーた
～まみれだ/～まみれだ（名詞に後続） ... だりマメ/マメ（「あうく」を使って手にできた）あうくばら
まめ/まめ（手などにできる）はら、かうすばら
まめ/豆 ..... まみ
まめのさや/豆のさや ..... さや
まもの/魔物 ほぅーぐる、まずむぬ、まずむん
まもりがみ/守り神 ..... まう、まうかん
まゆげ/眉毛 ..... まゆ、まゆぎー
まよう/迷う ふたっとぅい、ふたっとぅり、どぅまっづぃ
まよわせる/迷わせる ..... ふたっとぅらす
まり/まり ..... まーい
まるくする/丸くする ..... まーくん　ない
まるくゆう/丸く結う（髪を） ..... まるん
まるた/丸太 ..... まるた
マルヒラアジ/マルヒラアジ【魚】 ... うつみつ
まるめこむ/丸め込む（人を） ..... まるん
まるめる/丸める ..... まるん
まれ/稀 ..... まり
まわす/回す ..... まーす、まーらす、まーい
マングロロブ/マングローブ【植】 あんつきぎー
マングロロブガサミ/マングローブガサミ【生物】 ..... がさみ
まんぞくする/満足する ぷぎ、ほぅぎ、つむー　ぷず、つむー　ほぅず、つむー　ほぅず
まんちょう/満潮 ..... そぅーんつ
まんなか/真ん中 ..... んなか
まんぷくになる/満腹になる ばたんつ、ばたんふ、びとぅい
み/実 ..... ない
み/実（アダンの外側の） ..... つば
み/箕（脱穀に使う農具） ..... むいじゃうき
み/身 ..... みー
みあげる/見上げる ..... みゃーぎ
みうち/身内 ..... うつない
みおくる/見送る ..... うさぎ、うさず
みかえす/見返す ..... みーかいす、みかいす
みがく/磨く ..... みがつ、みがふ
みかた/味方 ひつ、かた、ふん、なーどぅがかた

みかた/味方……ふん
みがるな/身軽な……どぅーやす
みかん/みかん……ふにゅー
みき/幹……から
みき/神酒……んつ
みぎ/右……んす
みぎて/右手……んすでぃー
みくだしてみること/見下して見る事 いみさみー
みくだすこと/見下すこと すたみー、みーさみー、ほぅりむぬみー
みぐるしい/見苦しい……んずぎ
みごとな/見事な……ずみぎ
みさき/岬……とぅがい
みさご/鶚【鳥】……たんた
みさだめ/見定め……みさだみ
みじかい/短い……まる
みず/水……みず
みず/水（船底にたまったもの）……あか
みず/水【幼児語】……うぶ、おぶ
みずあび/水浴び……うーず
みすかす/見透かす……みすかす
みずくみ/水汲み……かーうり
みずさし/水差……しゃし
みすてる/見捨てる……みすてぃ
みずぼうそう/水疱瘡……みずがさ
みせびらかす/見せびらかす そぅーます、ほぅーます、ほぅーらーす、ほぅーらかす、ほぅーらす、さらす、うじゅます
みせる/見せる……みし、さらす
みそ/味噌……んそぅ
みぞ/溝……ふぐみ、ふぐん、ばだ、ばだく
みぞおち/みぞおち……つむうつ
みそしる/味噌汁……んっつー
みそな/みそ菜……んそぅな
みそにこみみ/味噌煮込み…んそぅだりかずつ
みたいな/みたいな…しゃく、しゅく、そぅく
みたす/満たす……ぷず、ほぅず、んたす
みため/見た目 みーたう、みーとぅ、みーとぅー、みーはー
みためがわるい/見た目が悪い……みーちゃぎ
みち/道……んつ、あいつんつ
みちあふれている/満ち溢れている……ぶた
みちくさ/道草……んつっさ、んつふさ
みちしお/満ち潮……んちゃがい　じゅー
みちにそって/道に沿って……んつだてぃ
みちる/満ちる……んち、んつ、んてぃ
みっか/三日……みーか
みっかまえ/3 日前……ゆーかない
みつける/見つける……とぅみ
みっつ/三つ……みーつ
みつな/密な……かた
みつめる/見つめる みーつき、みーつつ、みーつふ
みつもる/見積もる……うさい
みとおす/見通す……みとぅーす
みな/皆……んなない
みなさん/皆さん……やびとぅんーな
みなと/港……んなとぅ、ふつむとぅ
みなみ/南……はい、んまぬは
みなみかぜ/南風……はいかでぃ
みなみのあたり/南の辺り……はいばら
みにくいやつ/醜い奴……んずぎゃ
みね/みね……んみ
みの/蓑……んぬ
ミノカサゴ/ミノカサゴ【鳥】……いんどぅい
みのがす/見逃す……んじゅかす
みのほど/身の程……うながたき
みのらせる/実らせる……なうらす
みのる/実る……ない、なうい
みはる/見張る……みばつ、みばふ、みばかい
みぶり/身振り（その人独特の）……さぐ

みぶるい/身震い（脂っこい豚を食べた後の）みんぶーら
みぶん/身分……たき
みまわる/見回る……みーまーい
みみ/耳……みん
みみ/耳（丸まった）……まぐみん
みみ/耳（外の部分）……みんばに
みみあか/耳垢……みんぬっそぅ
みみがくもん/耳学問……みんがくむん
みみがとおい/耳が遠い……ながみん
ミミズ/ミミズ……ずみず
みみだれ/耳だれ……みんだい
みみのいいひと/耳のいい人..みんとぅーきゃ、みんぴーきゃ
みみのとおいひと/耳の遠い人 みんぐ、ながみん
ミャークズツのさいしゅうび/ミャークズツの最終日……あとぅぬひー
みやこ/宮古……みゃーく
みやこ/都……みゃーく
みやこじょうふ/宮古上布 ぶーずん、みゃーくじょーふ
みやこソバ/宮古ソバ……そぅば
みる/見る……みー
ミルクざけ/ミルク酒……みるくじゃき
みわたす/見渡す……みとぅーす
みをかがめる/身を屈める……まーくん　ない
みんな/みんな……んーな、あるまずー
むいか/六日……むゆか
むかいあう/向かい合う...ふつんつ、ふつんふ
むかいあわせる/向かい合わせる...んきゃーす
むかいかぜ/向かい風……んかいかでぃ
むかいがわ/向かい側……んかい
むかう/向かう……たみ、んかう、んきゃう
むかえ/迎え……んかい
むかえる/迎える……んかい、んかう
むがく/無学……むがく
むかし/昔 ひゃー、んきゃーん、かなーい、かない
ムカデ/ムカデ……んきゃでぃ
むぎ/麦……むず
むぎのくき/麦の茎……むずぐる
むぎばたけ/麦畑……むずなか
むぎをたいたもの/麦を炊いたもの むずたっじゃ
むく/向く……むつ、むふ、ふつ　あす
むく/むく（皮を）……むつ、むふ
むくちなひと/無口な人……ぬどぅむぬ
むこ/婿……むく
むこうがわ/向こう側……かぬちゃ、かまかた
むし/無視……うぬっさかん
むし/虫……むす
むしのつくき/虫の付く木 うきゃん、うきゃんぎー
むしのはいったイモ/虫のはいったイモ ふとぅてぃんー
むしば/虫歯 ふてぃてぃばー、ふとぅてぃばー
むしりとる/むしりとる……むっしーとぅい
むしろ/筵……むっそぅ
むす/蒸す……んぶす、んぶらす
むずかしい/難しい きつみ、むずかす、むつかす
むずがゆい/むず痒い……かすかう
むすびめ/結び目……すまいふつ
むすめ/娘……みどぅんっづぁ
むだづかいする/無駄遣いする すかーらす、すきゃーい、すきゃーらす、たーす
むだな/無駄な……あまた
むだんで/無断で……むぬっじゃんぐとぅ
むちゅう/夢中……ほぅり
むちゅうになる/夢中になる むいぶい、むいぶり

むつ/六つ.....んーつ
むね/胸.....んみ、んみうつ、んみゅーつ
むのう/無能.....なっちゃかん、なっちゃらん
むのうなひと/無能な人 なっちゃかん、なっちゃらん
むら/村.....すま
ムラサキガイ/ムラサキガイ.....ぎしぐや
むらさきカタバミ/紫カタバミ たいわんなーずつ
むらだて/村立て.....すまだてぃ
むらばんしょ/村番所.....ぶんみゃー
むれ/群れ.....んみ、むいた
むれになる/群になる.....むらがい
むれる/群れる.....むい
め/目.....みー
め/茅.....かや
めあて/目当て.....まとぅ
めい/姪.....みゅーい
メイシバ/メイシバ【植】.....がんな
めいわく/めいわく.....がいず
めがくらむ/目がくらむ.....まーぷい
めかけ/めかけ.....にごー
めがさめる/目が覚める..んじゃみ、んじゃん、みそぅい
めかた/目方.....きんみ
めがね/眼鏡.....みがに
メガネクロハギ/メガネクロハギ【魚】 くーすきゃ
めがまわる/目が回る ぐるみつ、ぐるみふ、まーぷい
めくらめっぽう/めくらめっぽう みーはん　かーはん、みっふぁ　かっふぁ
めざめ/目覚め.....みじゃみ、みそぅい
めしあがる/召し上がる（「たべる」の尊敬語）んきゃぎ
メジロ/メジロ あうまちゃ、あうまっちゃ、っさい
めす/めす.....みー
めだま/目玉.....みんたま
めでたい/めでたい.....かぎ
メナガオサガニ/メナガオサガニ【生物】 はいまがん
めのいいひと/目のいい人.....みーかない
めまい/めまい.....みーまーい、まーぷら
めまいがする/目まいがする まーぷい、たーう、たーっづぃ
メリケンこ/メリケン粉 みりきんくー、みりきんぐー、みるくんくー、みるくんぐー
めをつける/目をつける..みーつき、みーつつ、みーつふ
めんどうな/面倒な.....てぃーたーり
めんどうみがいいこと・ひと/面倒見がいいこと・人.....みっづぁい
めんどうをみる/面倒を見る ひとぅぬ　くとぅ　あす
めんぼくがない/面目がない みーはなー　にゃーん、みはなー　にゃーん
～も/～も（数詞の後、程度が多い）.....まい
も/藻.....なば、むー、くず
も/も（副助詞）.....まい
もう/もう（フィラー）.....んみゃ、んめ
もう/もう.....んみゃ、んめ
もうかる/儲かる.....まうつ、まうふ、まうき
もうけ/儲け.....まうき
もうける/儲ける.....まうき、まうつ
もうこはん/蒙古斑.....んまりばん
もうじん/盲人 みたまい、みたまら、みっふぁ
もうたいへんだ/もう大変だ（驚いた時） あがい　んみゃ
もうふ/毛布.....もーふ
もえる/燃える.....むい
もぎとる/もぎ取る.....むい

モグサ/モグサ……やちゅーさ
モクズガニ/モクズガニ【生物】…いさうがん
もくてき/目的……たみ
もくてきち/目的地……みゃーてぃ
もくもう/木麻黄【植】……もくもー
モグラ/モグラ……じゃか
もぐりのいしゃ/もぐりの医者……やぶいしゃ
もぐる/潜る やいん、やうん、やぐん、むぐい
もじ/文字……ずー
もしも/もしも……ぎんとぅどぅ
モズク/モズク……すぬい、そぅぬい
もたもたする/もたもたする……ふずー
もち/餅……むつー
もちあげる/持ち上げる……むたぎ、むたず
もちぬし/持ち主……ぬす
もちもちしている/もちもちしている……むつ
もつ/持つ……むつ
もっこ/もっこ【道具】……あうだ
もっと/もっと んみゃひ、んみゃひー、んめひ、んめひー
もつれ/もつれ……がでぃらく
もつれる/もつれる まつー、まつっうぃ、まつっだい
もと/元……むとぅ
もどす/戻す……むだす、むどぅす
もとめる/求める……あだてぃ
もどる/戻る……むどぅい
もどる/戻る（実家に）……ひつむどぅい
もの/もの……むぬ
ものいればこ/物入れ箱……しつ
ものおきごや/物置小屋……あさぎ
ものおぼえ/物覚え……むぬうぶい
ものかげ/物陰……かたか
ものさがしがへたなひと/物探しが下手な人 みーはぎ、みーぱぎ、みはぎ、みぱぎ、みはぎゃ、みたまい、みたまら
ものしずかに/物静かに……さびーてぃー
ものしり/物知り……すーじゅー
ものにこだわらない/ものにこだわらない ばばん
ものわすれ/物忘れ……むぬばっし
もむ/もむ（肩などを）……むん
もも/もも……むむ、むむに
もやい/もやい……むやい
モヤシ/モヤシ……まみな
もやす/燃やす……むーす
もよう/模様（__をだすこと）……ずだき
もらう/もらう……っじ、ぶい
もらす/漏らす……ふかす
もり/銛【道具】……うぎん
もりあがる/盛り上がる むやがい、むりゃがい
もる/盛る……むい
もれる/漏れる……むい
もん/門……じゃう
もんく/文句……ふがます
もんくをいう/文句を言う ばいんつ、ばいんふ、ばいみつ、ばいみふ、ばいんき、ぶいたみつ、ぶいたみふ、たいみつ、たいみふ、だいみつ、だいみふ、ぶいみつ、ぶいみふ、がんない、ぐに、ぐにゃい
もんくをいうひと/文句を言う人 ふがます、ふがましゃ、ぶいみきゃ
やえやま/八重山【地名】……やーま
ヤエヤマアシナガバチ/ヤエヤマアシナガバチ【昆】……んまばす
やかましい/やかましい..ふがます、やがます、んがます、んぎゃます
やぎ/山羊……ひんじゃ
やぎ/山羊（中性の） ひーまらひんじゃ、ぴーまらひんじゃ
やきいも/焼き芋……やつんー
やきざかな/焼き魚……やつっぞぅ

やく/焼く ..... やつ、やふ
やく/焼く（皮膚を日に） ..... にー
やく/役（__にたつ）.....ゆちり、よちり
ヤクシマイワシ/ヤクシマイワシ【魚】 はだら
やくどうする/躍動する ..... そぅるき
やくどし/厄年...やふ、やふどぅす、やふばな
やくにたたない/役に立たない ひんた、ひんたぐー
やくにん/役人 ..... しゅー
やくのひと/厄の人 ..... やふびとぅ
やくわり/役割 ..... かたあき、たぐい
やくわり/役割【祭礼】 ..... うだい
やけどする/火傷する ..... っさらす
やさい/野菜（塩付けした） ..... つきな
やさしい/優しい ..... まない
やさしいひと/優しい人 つむあいひとぅ、つむあいびとぅ
やさしさ/優しさ ..... なかずむ、なかち
ヤシあぶら/ヤシ油 ..... まーゆ
ヤシガニ/ヤシガニ【生物】 .....まくがん
やしなう/養う ..... つかなう
やすい/安い ..... やすだい
やすませる/休ませる ..... やすます
やすまる/休まる ..... やすん、やすまい
やすみ/休み ..... いちゅま、いとぅま
やすむ/休む ..... やすん、ゆくー、、ゆくい
ヤスリ/ヤスリ【道具】 ..... やすー
やせせているひと・どうぶつ/痩せている人・動物.....やいぐら、やいさぎ
やせた/痩せた ..... やい
やせる/痩せる ..... やい、やいっち、やいっつ
やつ/奴 ..... やから
やつ/奴（接尾辞） ..... ～んまり
やっかいな/厄介な ..... やっかいな
やっつ/八つ ..... やーつ
やっつける/やっつける ..... んたう
やっと/やっと ..... やっとぅ
やっとのことで/やっとのことで あかやっとぅ、やっとぅ
やつれる/やつれる ..... すがい
ヤドカリ/ヤドカリ【生物】 .....あまん
ヤドカリのおはら/ヤドカリのお腹 ..... たに
やびじ/八重干瀬【地名】 ..... やびじ
やぶる/破る ..... んだい
やま/山 ..... やま
やま/山（高い岩山） ..... さん
ヤマダニ/ヤマダニ ..... やまだん
やまづみ/山積み ..... やまずん
やまづみする/山積みする ..... んーずん
やまのふもと/山のふもと ..... やまあす
やまばと/山鳩 ..... はとぅ
やまブドウ/山ブドウ.....かにゅーんーた
やまもりにする/山盛りにする ..... むやがらす
やみ/病み（神のことで） ..... かんぶり
やめる/やめる（仕事などを） なっちゃい、なまい
やもうしょう/夜盲症 ..... とぅいみ
ヤモリ/ヤモリ【生物】 .....やーずみゃ
やらせる/やらせる.....とぅとぅっふぁす
やりかた/やり方 あすかた、すきゃき、はかうつ
やりくりじょうず/やりくり上手（家計など）きないむつじゃうず
やりとげる/やり遂げる ..... はんし
やる/やる（＝する） ..... あす
やる/やる（＝あげる） ..... ふぃー
やるきがでない/やる気がでない ..... つーだり
やれ/やれ（「あす」の命令形） ..... あっそぅ
やろう/野郎 ..... ひゃー
やわらかい/やわらかい ..... やーら
やわらかすぎる/柔らかすぎる ..... やーたり
やんちゃ/やんちゃ ..... ぎずぎゃうな

ゆいあげる/結上げる ゆー、ゆーい、ゆい、ゆっづぃ
ゆいごん/遺言……いがんぐい
ゆう/結う……ゆー、ゆーい、ゆい、ゆっづぃ
ゆうかく/遊郭……さかなやー、さかぬやー
ゆうがた/夕方……ゆさらび
ゆうかん/勇敢……はてぃ
ゆうき/勇気……いず
ゆうしゅうなひと/優秀な人……でぃきぶつ
ゆうしゅうなりょうし/優秀な漁師…いんばう
ゆうじょ/遊女……じゅり
ゆうしょく/夕食……ゆい
ゆうのうだ/有能だ……はうか
ゆうのうなひと/有能な人 ちゅーばー、はうか
ゆうふく/裕福……ゆー
ゆうふくな/裕福な……みゃーす
ゆうれい/幽霊 まずむぬ、まずむん、やなむぬ
ゆか/床……ゆか
ゆかいな/愉快な……ゆがいな
ゆがみ/歪み……ゆがん
ゆさぶる/揺さぶる……ゆったーづぁす
ゆしとうふ/ゆし豆腐……たうふゆー
ゆすぐ/ゆすぐ……ゆすず
ゆする/揺する むい、ぶーうー、ぶーっづぁす
ゆずる/譲る ゆらき、ゆらつ、ゆるき、ゆるつ
ユタ/ユタ……むぬすー
ゆたかになる/豊かになる……ゆかい
ゆっくりと/ゆっくりと よーんなー、よーんなーなー
ゆでる/茹でる…ゆーず、ゆーっず、ゆーでぃ
ゆのみ/湯呑……ちゃばん
ゆび/指……うゆび
ゆびわ/指輪……てぃがに
ゆみ/弓……ゆん
ゆめ/夢……いみ、ゆみ
ゆらぐ/ゆらぐ ゆらぎ、ゆらず、ゆりぎ、ゆりず、ゆるぎ、ゆるす、ゆるず、ゆるつ
ゆらす/揺らす ゆい、ゆらす、ゆらがす、ゆるがす
ゆりうごかす/揺り動かす ぶったーらす、むったーっづぁす
ゆるす/許す……ゆらす、ゆるす、んじゅかす
ゆるむ/緩む……ゆるみ、ゆるん
ゆるめる/緩めるゆるつ、ゆるふ、’ゆるみ、ゆるん、ゆーらす
ゆれる/揺れる ゆらぎ、ゆらず、ゆりぎ、ゆりず、ゆるぎ、ゆるす、ゆるず、ゆるつ、ゆい、たっづぁみつ、たっづぁみふ
よ/よ（終助詞）……さ、どー
よあけ/夜明け……なまじゃーか
よい/酔い……びゅーい
よい/良い……かぎ、じゃう、んさ
よいてんき/良い天気……じゃうどぅきゃ
よいひどり/良い日取り じゃうひかず、じゃうひゅーい
よう/酔う……びゅーい
よういだ/容易だ……ちゃーす
よういな/容易な……どぅーやす
ようか/八日……やうか
ようき/容器……たうに
ようす/様子……やうたい
～ようだ/～ようだ（推論）おーかん、やうかん
ようてん/要点……つぶ
ようと/用途……つかいはー
～ように/～ように（「まるで～の__」）.んまり
ように/ように……にゃーん
ように/～ように（する）やうん、やうんてぃー
ように/～ように（なる）やうん、やうんてぃー
ようめい/幼名……やらびなー
よかったね/良かったね（応答）……いーばー
よがわり/世がわり……ゆーがーい
よく/欲……ゆく

よくあつ/抑圧（精神的）.....すずうそぅい
よく～するひと/よく～する人.....じゅー
よくせい/抑制.....たみ
よこになる/横になる.....ゆくたーい
よこみち/横道.....まがい
よごもり/夜籠り【祭礼】ゆーぐむい、ゆぐむい
よごれ/汚れ.....なば
よごれた/汚れた.....っしゃな、っふすー
よそ/よそ.....ゆそぅ
よそうがつかない/予想がつかない...うかーす
よそおい/装い.....そぅがい
よそおう/装う.....そぅがい
よそく/予測.....さんみん
よそくする/予測する.....たみす
よたよたと/よたよたと.....ゆたゆたてぃー
よだれ/よだれっそぅすー、ふつすー、ゆだい、ゆだら
よちよち/よちよち.....たいたい
よちよちあるき/よちよち歩き またたい、またたいあいつ
よつあしあるき/四つ足歩き（赤ちゃんの） たかはずばい
よっか/４日.....ゆーか
よつかど/四つ角.....ゆかどぅ
よつだけ/四つ竹.....ゆっだき
よっつ/四つ.....ゆーつ
よつばのクローバー/四葉のクローバー たいわんなーずつ
よづり/夜釣り.....ゆずー
よどませる/淀ませる.....ゆどぅます
よどみ/淀み.....ゆどぅん
よどむ/淀む.....ゆどぅん
よなおし/世直し.....ゆなうす
よなか/夜中.....にーか、ゆなか
よなき/夜泣き.....ゆなつ
よにん/四人.....ゆたーい
よねん/四年.....ゆーてぃ
よのなか/世の中.....ゆー
よばい/夜這い.....ゆばい
よぶ/呼ぶ.....ゆらう
よふかし/夜更かし.....ゆーか
よむ/読む.....ゆん
よめ/嫁.....ゆみ
ヨモギ/ヨモギ.....やちゅーさ
～より/～より.....んつきゃー
よりいじょうの/より以上の.....かてぃぬ
よりかかる/寄りかかる.....うかい、むちゃい
よりかかる/寄りかかる...くっそぅ　たでぃー
よりもっと/よりもっと.....まさりー
よる/夜.....ゆー
よるのりょう/夜の漁.....いじゃい
よろこばしい/喜ばしい.....かばす
よわい/弱い.....ゆー、ゆーがー
よわる/弱る.....ゆーい
らいう/雷雨.....かんないあみ
らいねん/来年.....やーに、ふたてぃあとぅ
ライびょうかんじゃ/ライ病患者 あいたー、くんきゃ
らく/楽.....らく
らくだ/楽だ.....みゃーす
～らしい/～らしい（推論）.おーかん、やうかん、っじゃ、てぃんど、てぃんどー、はーらー
らっかせい/落花生.....ずまみ
ラッキョウ/ラッキョウ.....だきゃう
らんおう/卵黄.....とぅぬかぬ　あかみー
ランプ/ランプ.....とぅーい
らんぼうな/乱暴な.....あーつな
らんぼうに/乱暴に（扱う） すくつ、そぅくつ、すくつな、そぅくつな
らんぼうもの/乱暴者.....あーつな
リーフ/リーフ.....っし
リーフのそとがわのうみ/リーフの外側の海 ほ

ぅか
りかい/理解.....さだかりかいできる/理解できる.....つかいりかいりょく/理解力.....かんりきむ/力む.....ゆくん、んくんりくつっぽい/理屈っぽい.....ゆがずーりくとう/陸稲.....はたきまいりこん/離婚 とぅずぶとぅばきゃーい、とぅずぶとぅばかーいりし/利子.....りすりっぱなたいかく/立派な体格.....ほぅどぅーりゅうぼく/流木.....ゆりぎりょう/漁.....はまうりりょう/量.....ふさりょうがえ/両替.....でぃんぐりりょうがえする/両替する.....くりりょうけんがせまい/料簡が狭い.....いみずむりょうし/漁師.....いんしゃー、いんまーらりょうしなかま/漁師仲間.....いんにんじゅりょうしん/両親.....んまーさ、んまっざりょうてい/料亭.....さかなやー、さかぬやーりょうまえあしをあげること/両前足を上げること（馬の動作）.....まいだつりょうり/料理.....うさいりょうりする/料理する.....やつ、やふりんか/隣家.....まうきゃーりんげつ/臨月.....なすずつりんじん/隣人.....さとぅびとリンパせん/リンパ腺.....だにリンパせん/リンパ腺（脇の）.....ばっだだにりんびょう/淋病.....ずんびゃうるすばん/留守番.....やーばんれいき/冷気.....ひぐるつーれいせい/冷静.....つむたみれいせいなひと/冷静な人 つむたみ、つむたみゃ
れいりょくがつよい/霊力が強い.....かんだかレスリング/レスリング.....うすあい～れば/～れば（仮定）.....ったーろうあしゃ/聾唖者.....いーさろうどうりょく/労働力.....ひとぅでぃーろうはん/老斑.....ゆむじゃろうひする/浪費する.....ふぁうロクセンスズメダイ/ロクセンスズメダイ【魚】 あうびつ
ロクセンフエダイ/ロクセンフエダイ【魚】 あかんちゃ
ろくにん/六人.....むゆぬひとぅろくまくえん/肋膜炎.....ろくまくろっこつ/肋骨.....やかたぶにロロプ/ロープ.....ぶーわいろ/賄賂.....かまい、てぃだい、、わいるわかい/若い.....ばかわかいじょせい/若い女性.....みやらびわかいだんせい/若い男性.....びきりゃわかくみえる/若く見える ばかさう、ばかしゃう
わかくみえるひと/若く見える人 ばかさう、ばかしゃう
わかす/沸かす あったす、あっちゃす、ばかすわがまま/わがまま.....がいず、ほぅんだいわかもの/若者.....ばかむぬわかる/分かる.....すーわかれ/別れ.....ばかーい、ばきゃーいわかれる/別れる.....ばかーい、ばきゃーいわき/脇.....ばっだわきが/腋臭.....ばっだかじゃわきげ/脇毛.....ばっだぎーわきでる/湧き出る...むりゃがい、ばき、ばつわきばら/脇腹.....やかたばたわきまでのふかさ/脇までの深さ..ばっだだき、ばっだだつ

わく/湧く.....ばつ、ばふ、ばき
わけ/わけ.....ばー
わけあたえる/分け与える.....っそぅず
わけたかみのけ/分けた髪の毛（の人） ばきがみ
わけまえ/分け前....たま、ばきだま、またま、まだま、っじだま、とぅいまい、ふつだま、むつ、むてぃ
わけまえ/分け前（多い） うだまぶた、またまぶた、まだまぶた
わける/分ける.....なかーい、ゆい、ばき
わざと/わざと.....さらたみ
わざわざ/わざわざ うったーてぃー、さらたみ
わずかのあいだ/僅かの間.....ひとぅむつき
わずらわしい/煩わしい.....やっかいな
わすれる/忘れる.....ばすー、ばっし
わたし/私.....ばー、ばん
わたしが/私が.....ばが
わたしたち/私たち.....ばんた、ばんてぃ
わたしたちを/私たちを.....ばんちゅー
わたしに/私に.....ばぬんかい
わたしの/私の.....ばが
わたしを/私を.....ばぬー
わたす/わたす（賄賂を）.....びらう
わたす/渡す.....ふぃー、とぅらす
わだち/轍.....わだち
わたる/渡る.....ばたい
わな/罠.....ばな
わめく/喚く.....ばみつ、ばみふ
わら/藁.....ばら
わらい/笑い.....ばらい
わらう/笑う.....ばらう
わらう/笑う（ニコニコと）..あまい、はがみ、はがみつ、はがみんつ、はがん
わらじ/草鞋.....ふだみ
わりあてきん/割り当て金.....ばいでぃん
わる/割る.....ばい
わるい/悪い.....ばい、やな
わるいくせ/悪い癖.....しゅく
わるいせいかく/悪い性格.....くんじゃう
わるいやつ/悪いやつ.....やなんじゃ
わるく/悪く.....ばいふ
わるくち/悪口 あっく、あっくー、あっこ、あっこー、やなうつ、やなふつ、っさ
わるくちをいう/悪口を言う ふやず、ふぁーず、ふぁやず
わるだくみ/悪だくみ.....さい
わるぢえ/悪知恵 ゆがうむくとぅ、やなうむくとぅ
われる/割れる.....っさき
わんぱくぼうず/腕白坊主.....ばうちら
ワンワン/ワンワン（犬の鳴き声）...ばうばう
を/を（格助詞）.....う、ゆ
～をば/～をば（「うぎゃー」の変異形）うぎゃー
～をば/～をば.....ゆぎゃー
～んだよ/～んだよ.....ふだー

著者略歴

仲間博之 (なかま　ひろゆき)
1947 年　　沖縄県平良市西原で生まれる
1970 年　　琉球大学理工学部物理学科卒業
1970 年　　高校教諭採用
1970 年～2008 年　県立高校勤務
2008 年　　宮古高校校長で定年退職

田窪行則 (たくぼ　ゆきのり)
1950 年　　岡山県玉野市で生まれる
1980 年　　京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得学修 (言語学)
1980 年～1982 年　韓国東国大学慶州分校日語日文学科　専任講師
1980 年～1990 年　神戸大学教養部日本語日本事情　専任講師・同助教授
1990 年～2000 年　九州大学文学部　助教授・同教授
2000 年～2016 年　京都大学大学院文学研究科　教授
2017 年～2023 年　京都大学名誉教授、大学共同利用機関法人人間文化研究機構　国立国語研究所　所長
2023 年～現在　　京都大学・国立国語研究所名誉教授

岩崎勝一 (いわさき　しょういち)
1951 年　　東京都江東区で生まれる
1988 年　　UCLA 言語学博士課程修了
1987 年～1990 年　タイ・タマサート大学 (日本語学科) 国際交流基金派遣講師
1990 年～現在　　UCLA アジア文化学部　助教授・同教授
(2013 年～2016 年　ハワイ大学　東アジア言語文化学部教授)

五十嵐陽介 (いがらし　ようすけ)
1976 年　　東京都稲城市で生まれる
2005 年　　東京外国語大学院地域文化研究科博士後期課程修了博士 (言語学)
2005 年～2006 年　理化学研究所脳科学総合研究センターテクニカルスタッフ
2006 年～2009 年　日本学術振興会特別研究員 PD
2009 年～2015 年　広島大学大学院文学研究科准教授
2000 年～2020 年　一橋大学大学院社会学研究科准教授・同教授
2020 年～現在　　大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所教授

Daniel Wymark (ダニエル・ワイマーク)

1992 年	カリフォルニア州ハリウッドで生まれる
2017 年	UCLA 言語学・数学学部卒業
2017 年～2021 年	カリフォルニア州エル・セグンド、SmartAction、自然言語処理研究・ソフトウェア開発
2021 年～現在	カリフォルニア州トーランス、Celestron、ソフトウェア開発

中川奈津子 (なかがわ　なつこ)

1982 年	石川県宇出津市で生まれ、滋賀県東浅井郡びわ町 (現長浜市) で育つ
2016 年	京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了博士 (人間・環境学)
2015 年～2017 年	日本学術振興会特別研究員 PD/千葉大学
2019 年	千葉大学特任研究員
2019 年～2022 年	国立国語研究所特任助教
2022 年～2024 年 1 月	同准教授
2024 年 2 月～現在	九州大学大学院人文科学研究院准教授

National Institute for Japanese Language and Linguistics

10-2 Midori-cho Tachikawa City, Tokyo, 190-8561 JAPAN

Dictionary of Ikema, a variety of Miyako Ryukyuan

Author: Hiroyuki Nakama, Yukinori Takubo, Shoichi Iwasaki, Yosuke Igarashi, Daniel Wymark, and Natsuko Nakagawa

Published in Tokyo, Japan by Language Variation Division, National Institute for Japanese Language and Linguistics

Printed in Tokyo, Japan by Tachikawa Printing Factory Inc.

南琉球・宮古語　池間方言辞典　西原地区版

発行日	2025 年 1 月 20 日　第 3 版
	2024 年 3 月 26 日　第 2 版（初版『南琉球宮古語　池間方言辞典』から改題）
	2022 年 3 月 26 日　初版
著者・編者	仲間博之（なかまひろゆき）　田窪行則（たくぼゆきのり）　岩崎勝一（いわさきしょういち）　五十嵐陽介（いがらしようすけ）
	ダニエル・ワイマーク　中川奈津子（なかがわなつこ）
出版者	国立国語研究所
	190-8561 東京都立川市緑町 10-2
	0570-08-8595
	https://www.ninjal.ac.jp
印刷所	株式会社立川印刷所
ISBN	978-4-906055-38-8
	C3581